

| 地域 番号 | カテゴリ | 都道府県 | 地域協議会名 | 英語解説文作 成年度 | 英語事 例集対 応番号 |
|----------|---------------|------|---|---------------|-------------------|
| 1 | 文化財 (13地域) | 栃木県 | 日光市多言語解説整備支援事業検 討協議会 | 令和2年度 | 002 |
| 2 | | 神奈川県 | 建長寺多言語解説整備協議会 | 令和2年度 | 005 |
| 3 | | 神奈川県 | 宗教法人 報国寺 | 令和2年度 | 007 |
| 4 | | 山梨県 | 山梨県富士山世界文化遺産保存活 用 推進協議会 | 令和2年度 | 009 |
| 5 | | 岐阜県 | 白川郷多言語解説協議会 | 令和2年度 | 010 |
| 6 | | 滋賀県 | 湖信会 (滋賀県大津市 大津湖都 十社寺) | 令和2年度 | 011 |
| 7 | | 京都府 | 奥嵯峨観光協議会 | 令和2年度 | 012 |
| 8 | | 京都府 | 総本山 仁和寺 | 令和2年度 | 013 |
| 9 | | 京都府 | 八幡市多言語解説整備推進協議会 | 令和2年度 | 014 |
| 10 | | 福岡県 | 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 保存活用協議会 | 令和2年度 | 022 |
| 11 | | 長崎県 | 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連 遺産」保存活用実行委員会 | 令和2年度 | 023 |
| 12 | | 宮崎県 | 青島を中心とする宮崎神話多言語解 説整備協議会 | 令和2年度 | 024 |
| 13 | | 沖縄県 | 「琉球王国のグスク及び関連遺跡群」世 界遺産登録 20周年記念事業実行委 員会 | 令和2年度 | 025 |

地域番号

001

協議会名

日光市多言語解説整備支援事業検討協議会

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|----------------------|--------|------|
| 001-032 | 中禅寺湖の魚 | 515 | QR |
| 001-033 | 奥日光の森 | 945 | QR |
| 001-034 | 修験道と山岳信仰 | 770 | QR |
| 001-035 | 男体山山頂で出土した遺物 | 850 | QR |
| 001-036 | フライフィッシングの聖地 | 715 | QR |
| 001-037 | アーネスト・サトウとイザベラ・バード | 1155 | QR |
| 001-038 | トーマス・B・グラバーとハンス・ハンター | 845 | QR |
| 001-039 | 五百城文哉と小杉放菴 | 710 | QR |
| 001-040 | 星野五郎平と大島藤三郎 | 680 | QR |
| 001-041 | 奥日光の近世史 (1868-1945) | 1360 | QR |
| 001-042 | 奥日光の現代史 (1945年～) | 1145 | QR |
| 001-043 | 各国の外交官の避暑地 | 715 | QR |

【タイトル】 中禪寺湖の魚

【想定媒体】 QR

<簡体字>**中禪寺湖の魚**

中禪寺湖は垂釣運動の聖地、湖内棲息着馬蘇鮭魚、日本紅點鮭、美洲紅點鮭、湖鱒和虹鱒等众多魚類、吸引了許多垂釣愛好者前來。它在日本主要湖泊中海拔最高、直到一個多世紀前還是完全無魚的狀態。

大約兩萬年前、男體山的火山活動阻塞了河道、導致河流改道、形成了堰塞湖以及「奧日光」（日語中「奧」意為深處）的陡峭瀑布。最初、從西北方向流入湖泊的水域中沒有魚、且東邊 97 米高的華嚴瀑布也阻止了魚類從更遠的下游沿大谷川逆流而上。

從 8 世紀晚期開始、奧日光山區成為了重要的宗教苦修中心、直到 1871 年、該地區仍有许多宗教限制。1873 年、人們在這裡放生了奧日光地區人工飼養的鮭魚、湖中開始有了放養魚、次年又增加了鯉魚、鯽魚、鰻魚和泥鰍。1881 年、本地從俄羅斯引進白鮭、接着又從琵琶湖和北海道引進鱒魚、鮭魚和鱒魚等本土魚類。

蘇格蘭商人托馬斯·哥拉巴（Thomas Glover, 1838-1911；長崎著名的「哥拉巴園」就以他的姓氏命名、園內的「舊哥拉巴住宅」是日本現存最早的木質洋樓）長期僑居日本。他是一位飛釣愛好者、在幫助中禪寺湖挑選並放養適合垂釣的魚類方面發揮了重要作用。1902 和 1904 年、他還資助當地從美國科羅拉多州進口了美洲紅點鮭。

<繁体字>**中禪寺湖の魚**

中禪寺湖是垂釣運動的聖地、湖內棲息著櫻鱒、日本紅點鮭、美洲紅點鮭、湖鱒和虹鱒等眾多魚類、吸引了許多垂釣愛好者前來。這裡在日本主要湖泊中海拔最高、直到一個多世紀前還是完全無魚的狀態。

大約兩萬年前、男體山的火山活動阻塞了河道、導致河流改道、形成了堰塞湖以及「奧日光」（日語中「奧」意為深處）的陡峭瀑布。最初、從西北方向流入湖泊的水域中並沒有魚、東邊 97 公尺高的華嚴瀑布也阻止了魚類從更遠的下游沿大谷川逆流而上。

從 8 世紀晚期開始、奧日光山區成為了重要的宗教苦修聖地、直到 1871 年、這裡仍有许多宗教上的限制。1873 年、人們在此放生了奧日光地區人工飼養的鮭魚、湖中開始有了

放養魚，次年又增加了鯉魚、鯽魚、鰻魚和泥鰍。1881年，當地從俄羅斯引進白鮭，接著又從琵琶湖和北海道引進鱒魚、鮭魚和鱒魚等本土魚類。

蘇格蘭商人湯瑪斯·哥拉巴（Thomas Glover, 1838-1911；長崎著名的「哥拉巴園」就以他的姓氏命名，園內的「舊哥拉巴住宅」是日本現存最早的木造洋樓）長期居住在日本。他是一位飛蠅釣愛好者，在幫助中禪寺湖挑選並放養適合垂釣的魚類方面發揮了重要作用。1902和1904年，他還資助當地從美國科羅拉多州進口了美洲紅點鮭。

<日本語仮訳>

中禪寺湖の魚

中禪寺湖はスポーツフィッシングのメッカで、マス、イワナ、カワマス、レイクトラウト、ニジマスなどが釣れる。日本の主要な湖の中では最も標高が高いが、100年ちょっと前までは、魚が全くいなかった。

約2万年前、男体山の火山活動によって、川がせき止められて、流れが変わり、湖が形成され、奥日光に険しい滝が作られた。元々、北西から湖に流れ込む水には魚はおらず、また東側に97メートルの高さの華厳の滝があるため、魚が大谷川を遡って、さらに離れた下流から湖に入ってくるのを妨げた。

8世紀後半から奥日光の山間部は信仰の修行の中心地となり、1871年まではこの辺りでは宗教上の制約がたくさんあった。湖への魚の放流は、1873年に奥日光で育てられたイワナの放流から始まった。1874年には、コイ、フナ、ウナギ、ドジョウが追加された。1881年にはロシアからホワイトフィッシュが輸入され、その後数年間は琵琶湖や北海道からトラウト、サケ、ヒメハヤなどの国産魚が追加された。

スコットランドの商人であり、フライフィッシング愛好家であり、長年日本に住んでいたトーマス・グラバー（1838-1911、長崎の有名な「グラバー園」は彼の名前にちなんで名づけられたもので、中の「旧グラバー住宅」は現存する日本最古の木造洋風建築である）は、スポーツフィッシングに適した魚をこの湖に放流することに尽力した。グラバーは、1902年と1904年にコロラド州からブルック・トラウトを輸入するための資金を提供した。

【タイトル】 奥日光の森

【想定媒体】 QR

<簡体字>

奥日光森林

奥日光地区因海拔高度差异和特殊的气象模式而形成了许多小气候，也因此造就了当地植物的多样性。中禅寺湖与白根山山顶的海拔落差就超过了 1300 米。奥日光山脉大致位于本州岛的中线，东临太平洋，西面日本海，因此部分地区会同时受到来自两个海域的风和天气模式的影响。

三种地带

从伊吕波坡道底部海拔 900 米处的最低点，到日光白根山山顶 2578 米的最高点，奥日光的群山可分为三个植被带。

低区：山地带（落叶阔叶林）

山地带以环绕马返的伊吕波坡道为起点，其中包括战场原湿地和中禅寺湖。它的森林主要由蒙古栎树(*Quercus mongolica* var. *grosseserrata*)等落叶阔叶林组成，但也有一些常绿乔木，如日光冷杉(Nikko fir)。

中区：亚高山带（常绿针叶林）

亚高山带始于汤之湖海拔约 1475 米处，主要被日本北部铁杉(*Tsuga diversifolia*)和卫氏冷杉(*Abies veitchii*)等常绿针叶林覆盖，间杂一些落叶乔木，比如岳桦(*Betula ermanii*)。

高区：高山带（高山灌木）

白根山山顶是从海拔约 2400 米的前白根山向上延伸的高山地带，在林线以上，地面覆盖的高山植物群包括日本岩高兰(Japanese crowberry)、白色龙胆和越橘等。

奥日光巨树

左侧的地图和图表上标示了奥日光最大、最引人注目的 30 棵树。以下 5 棵最有特色且容易到达：

[#1] 250 年树龄的日本春榆(*Ulmus davidiana* var. *japonica*)，高 25 米，位于华严瀑布附近，枝叶凌空舒展，掩映着脚下的华严溪谷；

[#6] 1100 年树龄的日本红豆杉(*Taxus cuspidate*), 高 23.5 米, 位于二荒山神社中宫祠中, 被栃木县指定为天然纪念物;

[#13] 350 年树龄的西博尔德山毛榉(*Fagus crenata*), 高 26 米, 矗立在英国和意大利大使馆别墅纪念公园附近的人行道旁;

[#17] 奥日光“巨树之王”: 西之湖边一棵 1000 年树龄的蒙古栎树(*Quercus mongolica* var. *grosseserrata*), 高 32.5 米, 树干周长达 6.8 米;

[#19] “小田代原贵妇人”: 树龄 80 年的白桦(*Betula platyphylla*), 高 17 米, 位于小田代原, 孤零零的白色树干在周围景色中非常醒目。

<繁体字>

奥日光森林

奥日光地区因海拔高度差异和特殊的氣象模式而形成了許多微氣候, 也造就了當地植物的多樣性。中禪寺湖與白根山山頂的海拔落差就超過了 1300 公尺。奥日光山脈基本位於本州的中線, 東臨太平洋, 西面日本海, 因此一些地區會同時受到來自兩個海域的風和天氣模式的影響。

三種自然帶

從伊呂波坡道底部海拔 900 公尺處的最低點, 到日光白根山山頂 2578 公尺的最高點, 奥日光的群山可分為三個植被帶。

低區：山地帶（落葉闊葉林）

山地帶以環繞馬返的伊呂波坡道為起點, 其中包括戰場原濕地和中禪寺湖。這裡的森林主要由蒙古櫟樹 (*Quercus mongolica* var. *grosseserrata*) 等落葉闊葉林組成, 但也有一些常綠喬木, 如日光冷杉 (Nikko fir)。

中區：亞高山帶（常綠針葉林）

亞高山帶始於約 1475 公尺處, 與湯之湖海拔相同。這裡主要遍佈著日本北部鐵杉 (*Tsuga diversifolia*) 和衛氏冷杉 (*Abies veitchii*) 等常綠針葉林。間雜一些落葉喬木, 如岳樺 (*Betula ermanii*)。

高區：高山帶（高山灌木）

白根山山頂是從海拔約 2400 公尺的前白根山向上延伸的高山地帶。在林木線以上, 地面覆蓋的高山植物群包括日本岩高蘭 (Japanese crowberry)、白色龍膽和越橘等。

奥日光巨樹

左側的地圖和圖表上標示了奥日光最大、最引人注目的 30 棵樹。下述 5 棵樹都各有特色且易於到達：

- [#1] 250 年樹齡的日本春榆 (*Ulmus davidiana* var. *japonica*) ，高 25 公尺，位於華嚴瀑布附近，枝葉凌空舒展，掩映著腳下的華嚴溪谷；
- [#6] 1100 年樹齡的日本紅豆杉 (*Taxus cuspidate*) ，高 23.5 公尺，位於二荒山神社中宮祠中，被栃木縣指定為天然紀念物；
- [#13] 350 年樹齡的西博爾德山毛櫸 (*Fagus crenata*) ，高 26 公尺，矗立在英國和義大利大使館別墅紀念公園附近的人行道上；
- [#17] 奥日光「巨樹之王」：西之湖邊一棵 1000 年樹齡的蒙古櫟樹 (*Quercus mongolica* var. *grosseserrata*) ，高 32.5 公尺，樹幹周長達 6.8 公尺；
- [#19] 「小田代原貴婦人」：樹齡 80 年的白樺 (*Betula platyphylla*) ，高 17 公尺，位於小田代原，孤零零的白色樹幹在周圍景色襯托下非常醒目。

<日本語仮訳>

奥日光の森

奥日光は、この地域の標高差と特殊な気象パターンが生み出す多くの微気候により、多種多様な植物が生息している。中禅寺湖と白根山山頂の標高差は 1,300m 以上ある。奥日光の山々は本州のほぼ中央に位置しており、東は太平洋、西は日本海からの風や気象パターンの影響を受ける地域がある。

3つのゾーン

奥日光の山々は、最も低いいろは坂の下部（900m）から最も高い日光白根山頂（2,578m）までを 3 つの植生帯に分けることができる。

低層:山地帯（落葉広葉樹林）

山地帯はいろは坂の登り始めの馬返の周辺から始まり、戦場ヶ原湿原や中禅寺湖などを含む。その森林はミズナラなどの落葉広葉樹が中心だが、ウラジロモミ（Nikko fir）などの常緑樹も見られる。

中層:亜高山帯（常緑針葉樹林）

亜高山帯は、湯ノ湖の標高約 1,475m から始まる。このエリアの大部分は、コマツカヤシラビソなどの常緑針葉樹林で覆われている。また、岳樺などの落葉樹もある。

上層:高山帯（高山低木林）

白根山の山頂は、前白根山の標高約 2,400m から始まる高山帯にある。樹木限界線より上では、地面はガンコウラン(Japanese crowberry)やトウヤクリンドウ、コケモモなどの高山植物で覆われている。

奥日光の巨樹

奥日光の最も大きく、注目すべき樹木 30 本が左の地図と図に載っている。その中でも特に特徴的で、アクセスしやすいのが以下の 5 本である。

[#1]華厳の滝近くの華厳溪谷に枝を広げる樹齢 250 年のハルニレ(高さ 25m)

[#6]二荒山神社・中宮祠（栃木県指定天然記念物）の樹齢 1,100 年のイチイ(高さ 23.5m)

[#13]英国・イタリア大使館別荘記念公園近くの遊歩道沿いにある樹齢 350 年のブナ(高さ 26m)

[#17]奥日光の巨樹の「王様」西の湖の樹齢 1000 年のミズナラ（高さ 32.5m、周囲 6.8m）

[#19]小田代ヶ原の貴婦人：小田代原にある樹齢 80 年の白樺（高さ 17m）で、孤独に佇む白い幹が周囲の景色に映えている。

【タイトル】 修験道と山岳信仰

【想定媒体】 QR

<簡体字>

修験道和山岳信仰

日光的群山一直是人们信仰的对象，也是宗教崇拜和苦修的场所，这一历史至少可以追溯到高僧胜道上人(735-817)来到当地的 766 年。胜道上人和他的弟子们认为，大山是神明的显现，直到今天它们依然被视作佛教和神道教中诸神的化身。早期的禁欲苦修者既信奉佛教，也信奉被称为“修験道”的山岳信仰，这是一种以在山间苦行为修行方式的多宗教信仰融合体。

胜道及其弟子在奥日光的许多地方都建立了寺庙和神社。他们的修行包括在山间进行数天或数周的长途跋涉，期间在一些特定地点驻足祈祷、诵经，执行密教里护摩火供的仪式。

过去，当地每年都会举行 4 次长途朝圣巡礼。其中，夏季巡礼的部分活动一直保留到了今天，那就是 8 月第一周的“登拜祭”。届时每晚午夜，参与者开始攀登男体山，在太阳升起时到达山顶进行祈祷。

地图下的图片是山中巡礼所用物品

在诵经时，巡礼者会摇动顶部带有金属环的短手杖，其原型正是胜道上人真人像所持的锡杖。

稻草制品是冬天穿的鞋子和绑的护腿。

在手杖和鞋子的左边，是一个背在身后的“箱笈”（木箱），里面装着佛经、法器、佛像和衣服等巡礼时使用的物品。

江户时代(1603-1867)及以后

1617 年，德川幕府的第一位将军德川家康(1543-1616)被供奉在日光东照宫。从此之后，日光便成了朝圣和参拜的热门地。然而，由于旅途过于艰难，几乎没人能通过陡峭的华严溪谷到达奥日光游览。那时女性被禁止踏足奥日光的神山，而男性则需要得到许可，且只能徒步进山，因为牛马也在禁止之列。

日本政府在 1868 年颁布了一系列法令改革全国宗教习俗后，奥日光的限制于 1871 年被取消，其神社和庙宇遂成为普通修行者的巡礼圣地而越来越受追捧。1872 年，女性禁令

也被废除，人们在中禅寺湖边开了许多旅馆，为夏季攀登男体山的参拜者提供服务。由于冬季过于严寒，多年后奥日光才成为全年宜居的场所。

<繁体字>

修驗道和山岳信仰

日光的群山一直是人們敬拜的對象，也是宗教崇拜和苦修的場所，起源至少可以追溯到 766 年高僧勝道上人（735-817）來到此地之時。勝道上人和他的弟子認為，大山是神明的顯現，所以直到今天日光群山也依然被視作佛教和神道教中諸神的化身。早期的禁欲苦修者既信奉佛教，也信奉被稱為「修驗道」的山岳信仰，這是一種以山區苦行為修行方式的多宗教信仰融合體。

勝道及其弟子們在奧日光的多處地方都建立了寺廟和神社。他們的修行包括在山間進行數天或數週的長途跋涉，期間在一些特定地點駐足祈禱、誦經，執行密教裡護摩火供的儀式。

過去，當地每年都會舉行 4 次長途朝聖巡禮。其中，夏季巡禮的部分活動一直保留到了今日，那就是 8 月第一週的「登拜祭」。在這一週，每日午夜參與者開始攀登男體山，在太陽升起時到達山頂進行祈禱。

地圖下的圖片是山中巡禮所用物品

在誦經時，巡禮信眾會搖動頂部帶有金屬環的短手杖，其原型正是勝道上人真人像所持有的錫杖。

稻草製品是冬天穿的鞋子和綁的護腿。

在手杖和鞋子的左邊，是一個背在身后的「箱笈」（木箱），裡面裝著佛經、法器、佛像和衣服等巡禮時使用的物品。

江戶時代（1603-1867）及以後

1617 年，德川幕府的第一位將軍德川家康（1543-1616）被供奉在日光東照宮。從此之後，日光便成了朝聖和參拜的熱門地。然而，由於旅途過於艱難，幾乎沒人能通過陡峭的華嚴溪谷到達奧日光遊覽。另外，女性被禁止踏足奧日光的神山，男性也需要獲得許可方能進入，且因牛、馬同在禁止之列，所以唯有徒步進山。

日本政府在 1868 年頒佈了一系列法令改革全國宗教習俗後，奧日光的限制於 1871 年被取消，這裡的神社和廟宇成為普通修行者的巡禮聖地，並越發受到追捧。1872 年，女性禁令被廢除，人們在中禪寺湖邊開設了許多旅館，為夏季攀登男體山的參拜者提供服務。只是由於冬季過於嚴寒，很多年後奧日光才成為全年宜居的地方。

<日本語仮訳>

修験道と山岳信仰

日光の山々は、少なくとも勝道上人（735-817）がこの地に到着した 766 年以來、信仰の対象で、宗教的な礼拝や修行の場であった。勝道上人とその弟子たちは、山は神の化身であると考えていた。そして、現在でも山は、仏教と神道の両方の神の化身であると考えられている。初期の修行者たちは、仏教と、後に「修験道」と呼ばれるようになった、山中で行う厳しい修行の混交したものの両方の修行をしていた。

勝道上人とその弟子たちは奥日光エリアの多くの山頂に寺や神社を創建した。彼らの修行では、何日も何週間もの長い山歩きをし、指定された場所に立ち寄り、祈り、読経、護摩焚きなどの儀式を行った。

かつては年に 4 回の長期巡礼が行われていた。現在では、8 月の第 1 週に行われる「登拝祭」が夏の風物詩として残っている。毎晩午前零時に始まり、参加者は男体山に登り、山頂に到着してご来光を拝む。

地図の下の絵には、山岳巡礼で使用されたものが掲載されている。

一番上に金属の輪っかがついた手に持つ短い杖は、念仏を唱えるときに振るものである。これは、等身大の勝道上人像が持っている錫杖を改造したものである。

藁の道具は冬用の靴とすね当てである。

杖と靴の左側には、背負って持ち運ぶ木の箱「箱笈」がある。これには、お経や法具、仏像、衣類など、巡礼で使うものが入っていた。

江戸時代（1603-1867）以降

1617 年に徳川初代将軍家康（1543-1616）が日光の東照宮に祀られた後、日光は参拝客に人気の目的地となった。しかし、奥日光を訪れるために険しい華嚴溪谷を通る厳しい旅をする人はほとんどいなかった。女性は奥日光の神聖な山々に入ることが禁じられており、また牛や馬の乗り入れも禁止されていたため、許可を得る男性観光客が徒歩でしか行くことができなかった。

1868 年の一連の政府令により、全国的に宗教的慣習が改革された後、1871 年に制限は撤廃された。奥日光の神社や寺院は、一般の修行者の巡礼地として人気を集めた。1872 年には女人禁制が撤廃され、中禅寺湖のほとりには、夏の間には男体山に登る参拝者のために多くの旅館がオープンした。しかし、厳しい冬のために、誰もが一年中奥日光に住むまでには多くの年月を要した。

【タイトル】 男体山山頂で出土した遺物

【想定媒体】 QR

<簡体字>**男体山山顶的出土文物**

男体山山顶出土的文物种类繁多，包括刀剑、陶器、镜子等。1877年，美国动物学家爱德华·S·莫尔斯(Edward S. Morse, 1838-1925)前往中禅寺湖寻找软体动物，花费了数小时但一无所获，却在登上男体山进入山顶神社时发现了钱币、矛头、剑刃和发束。

日光三所权现

在这幅绘于1313年的画作中，太郎山、女峰山和男体山以神道教神灵的形象出现。这三座山被认为同时具备着佛教和神道教神灵的身份。在轮王寺的三佛堂内，供奉着三尊他们作为佛教神灵真身的大型佛像，名为“日光三所权现本地佛”。佛与菩萨化身为神道教神灵时称作“权现”，是日本佛教用语。

| | 左 | 中 | 右 |
|-------|--------|------|------|
| 山名 | 太郎山 | 女峰山 | 男体山 |
| 神道教形象 | 味耜高彥根命 | 田心姫命 | 大己貴命 |
| 佛教形象 | 马头观音 | 阿弥陀佛 | 千手观音 |

华严瀑布的鸟类

东方毛脚燕(Delichon dasypus)会在夏季来到华严瀑布周边地区。这幅特殊的图画来自1837年出版的五卷日光指南《日光山志》，这部指南不仅涵盖了地形、地理、历史、节日等主题，还收录了鸟类和植被的彩色插图，以及与“日光八景”相关的诗歌。

战场原湿地的景色

这幅描绘战场原湿地的白描画同样出自《日光山志》。画面底部中央，两个小小身影正穿越大片湿地向着汤元温泉前进，矗立在左边最远处的是白根山。

华严瀑布

这是华严瀑布在江户时代(1603-1867)晚期的形象，大谷川从中禅寺湖流出，一路向东，至华严瀑布骤然跌落97米。相传这道瀑布是胜道上人(735-817)在8世纪探索本地时

发现的。华严溪谷中有五道以“五时教”（天台宗将释迦牟尼说法顺序分为华严、鹿苑、方等、般若、法华涅槃等五个阶段）命名的瀑布，它就是其中之一。

《下野中禅寺湖》

昔日的下野国就是今天的栃木县。这张描绘中禅寺湖的画作出自歌川广重（二代）（1826-1869；第一代歌川广重的弟子）的《诸国名所百景》系列。广重二代是一位活跃多产的浮世绘艺术家，以绘制名胜风景著称。画中人物似乎是行走在通往男体山的路上，二荒山神社中宫祠的鸟居矗立水中，隔着中禅寺湖的对面就是歌滨湖岸。

<繁体字>

男體山山頂的出土文物

男體山山頂出土的文物種類繁多，包括刀劍、陶器、鏡子等。1877年，美國動物學家愛德華·S·莫爾斯（Edward S. Morse, 1838-1925）前往中禪寺湖尋找軟體動物，花費了數小時但一無所獲，卻在登上男體山進入山頂神社時發現了錢幣、矛頭、劍刃和幾束頭髮。

日光三所權現

在這幅繪於1313年的畫作中，太郎山、女峰山和男體山以神道教神靈的形象出現。這三座山被認為同時具備著佛教和神道教神靈的身份。在輪王寺的三佛堂內，供奉著三尊祂們作為佛教神靈真身的大型佛像，名為「日光三所權現本地佛」。佛與菩薩化身為神道教諸神時稱作「權現」，是日本佛教用語。

| | 左 | 中 | 右 |
|-------|--------|------|------|
| 山名 | 太郎山 | 女峰山 | 男體山 |
| 神道教形象 | 味耜高彥根命 | 田心姬命 | 大己貴命 |
| 佛教形象 | 馬頭觀音 | 阿彌陀佛 | 千手觀音 |

華嚴瀑布的鳥類

東方毛腳燕（*Delichon dasypus*）會在夏季來到華嚴瀑布周邊地區。這幅特殊的圖畫來自1837年出版的五卷日光指南《日光山志》，這部指南不僅涵蓋了地形、地理、歷史、節日等主題，還收錄了鳥類和植被的彩色插圖，以及與「日光八景」相關的詩歌。

戰場原濕地的景色

這幅描繪戰場原濕地的白描畫同樣出自《日光山志》。畫面底部中央，兩個小小身影正穿越大片濕地向著湯元溫泉前進，矗立在左邊最遠處的是白根山。

華嚴瀑布

這是華嚴瀑布在江戶時代（1603-1867）晚期的形象，大谷川從中禪寺湖流出，一路向東，至華嚴瀑布驟然跌降 97 公尺。相傳這道瀑布是勝道上人（735-817）在 8 世紀探索本地時發現的。華嚴溪谷中有五道以「五時教」（天台宗將釋迦牟尼說法順序分為華嚴、鹿苑、方等、般若、法華涅槃等五個階段）命名的瀑布，華嚴瀑布就是其中之一。

《下野中禪寺湖》

昔日的下野國就是今天的栃木縣。這張描繪中禪寺湖的畫作出自歌川廣重（二代）（1826-1869；第一代歌川廣重的弟子）的《諸國名所百景》系列。廣重二代是一位活躍多產的浮世繪藝術家，以繪製名勝風景著稱。畫中人物似乎是行走在通往男體山的路上，二荒山神社中宮祠的鳥居矗立水中，隔著中禪寺湖的對面就是歌濱湖岸。

<日本語仮訳>

男体山山頂で出土した遺物

男体山の山頂では、刀剣や土器、鏡など多くの種類の遺物が発見されている。1877 年、アメリカの動物学者エドワード・S・モース(1838-1925) が軟体動物を探しに中禪寺湖を訪れた。数時間かけても成功せず、男体山に登り、山頂の祠で硬貨、槍の穂先、刀の刃、髪の毛の束などを発見した。

日光三所権現

1313 年描かれたこの絵では、太郎山・女峰山・男体山を神道の神に見立てた姿で描かれている。この三つの山は、仏教と神道の両方の神の化身と信じられている。輪王寺の三仏堂にもこの神々が仏教の化身の姿をした「日光三所権現本地仏」という名の三体の大きな仏像が祀られている。権現とは、日本の仏教用語であり、神々の化身を意味する。

| | 左 | 中央 | 右 |
|-------|--------|-------|------|
| 山 | 太郎山 | 女峰山 | 男体山 |
| 神道の化身 | 味耜高彦根命 | 田心姫命 | 大己貴命 |
| 仏教の化身 | 馬頭観音 | 阿弥陀如来 | 千手観音 |

華嚴の滝の鳥たち

イワツバメは、夏の間、華嚴の滝周辺へやって来る。この独特な画像は、1837 年に発行された『日光山志』（全 5 巻）に掲載されたものである。地形、地理、歴史、祭りなどの話題に加え、「日光八景」にまつわる詩や、鳥や草木のカラー図版などが掲載されている。

戦場ヶ原湿原の風景

この戦場ヶ原湿原のインク画も『日光山志』に掲載されたものである。中央下の二人の小さな人物は大湿原を横切り、湯元温泉方面に向かっている。左奥にあるのは白根山である。

華巖の滝

これは江戸時代（1603-1867）後期の姿をした華巖の滝である。大谷川は中禅寺湖から東に流れ出て、華巖の滝で 97m の落差をつけている。この滝は、8 世紀に勝道上人（735-817）がこの地を探検した際に発見したと考えられている。華巖渓谷にある五つの滝の一つで、釈迦の五時教から名付けられた。

『下野中禅寺湖水』

かつての下野国は現在の栃木県である。この中禅寺湖の絵は、歌川広重（2 代）（1826-1869）が描いた『諸国名所百景』の中の一景である。二代広重は多作の浮世絵師で、名所・風景の連作で知られている。描かれた人物たちは男体山へと続く道を歩いているように見える。水中には二荒山神社中宮祠の鳥居があり、対岸には歌ヶ浜が見える。

【タイトル】 フライフィッシングの聖地

【想定媒体】 QR

<簡体字>

飞钓圣地

日本的飞钓，始于 19 世纪 90 年代早期的奥日光，当时在中禅寺湖畔消夏的西方人把这项娱乐带到了这里。1889 年，苏格兰商人托马斯·哥拉巴（Thomas Glover, 1838-1911；长崎著名的哥拉巴园就以他的姓氏命名，园内的“旧哥拉巴住宅”是日本现存最早的木质洋楼）在中禅寺湖上开启首钓，并于 1893 年在湖边建造了一座房子。他不仅帮助当地在中禅寺湖和汤川中放养适合英式飞钓的鱼种，更于 1902 年出资引进了美国科罗拉多州的美洲红点鲑鱼卵。鱼卵经孵化后在汤川中放养，可惜所有鱼苗都死于当年晚些时候的一场强烈风暴。1904 年，他再次资助进口了更多的鱼卵，这次的尝试终于取得了成功。

昔日，许多富裕的西方人都会来到中禅寺湖畔度假，在奥日光飞钓最初只是他们的夏季消遣。如今，飞钓已经成为风靡日本各界人士的户外活动。

照片

右上：哥拉巴在大崎的湖畔居所

右下：哥拉巴、大岛久治(1881-1966)和他们的渔获，大约摄于 1898 年。

东京垂钓乡村俱乐部和西六番别墅

哥拉巴于 1893 年建造的这座房子通常被称为“西六番”，这个别称代表它的地址：西边，六号。1927 年，汉斯·亨特(Hans Hunter, 1884-1947)在创立东京垂钓乡村俱乐部两年之后，买下这座别墅作为俱乐部会所。

这个俱乐部是前来中禅寺湖消夏的外国居民和外交官圈层的重要社交中心，其成员中还有一些日本官员、商人乃至皇室成员。作为精英云集之地，据说俱乐部曾在 20 世纪早期的国际外交中扮演着重要角色。西六番别墅在 1940 年被焚毁，现在只剩下砖砌的壁炉、地砖等遗迹。别墅遗址如今是一家公园。

图

左上：显示大崎西六番别墅位置的地形图

左中：别墅和一名职员

左下：为修复而规划的物业平面图

<繁体字>

飛蠅釣聖地

日本的飛蠅釣，始於 1890 年代早期的奧日光，那時在中禪寺湖消暑的西方人把這項娛樂帶到了這裡。1889 年，蘇格蘭商人湯瑪斯·哥拉巴（Thomas Glover, 1838-1911；長崎著名的哥拉巴園就以他的姓氏命名，園內的「舊哥拉巴住宅」是日本現存最早的木造洋樓）第一次在中禪寺湖上釣魚，並於 1893 年在湖邊建造了一座房子。他幫助當地在中禪寺湖和湯川中放養適合英式飛蠅釣的魚種，更於 1902 年出資引進美國科羅拉多州的美洲紅點鮭魚卵。魚卵經孵化後被投放到湯川中，遺憾的是，所有魚苗都死於同年稍晚形成的一場強烈風暴。1904 年，他再次資助進口了更多魚卵，這次的嘗試終於取得了成功。

往昔，許多富裕的西方人都會來到中禪寺湖畔度假，在奧日光飛蠅釣最初只是他們的夏日消遣。如今，飛蠅釣已經成為風靡日本各界人士的戶外活動。

照片

右上：哥拉巴在大崎的湖畔住宅

右下：哥拉巴、大島久治（1881-1966）和他們的漁獲，大約攝於 1898 年。

* * *

東京垂釣鄉村俱樂部和西六番別墅

哥拉巴於 1893 年建造的這座房子通常被稱為「西六番」，這個別稱代表它的地址：西邊，六號。1927 年，漢斯·亨特（Hans Hunter, 1884-1947）在創立東京垂釣鄉村俱樂部兩年之後，買下這座別墅用作俱樂部會所。

這個俱樂部是前來中禪寺湖消暑的外國居民和外交官圈層的重要社交中心，其成員中還有一些日本官員、商人乃至於皇室成員。作為精英雲集之地，傳聞俱樂部曾在 20 世紀早期的國際外交中扮演著重要角色。西六番別墅在 1940 年被焚毀，只剩下了磚砌的壁爐、地磚等遺跡。別墅遺址現在是一座公園。

圖

左上：顯示大崎西六番別墅位置的地形圖

左中：別墅和一名職員

左下：為修復而規劃的房屋平面圖

<日本語仮訳>

フライフィッシングの聖地

日本でのフライフィッシングは 1890 年代初頭に奥日光で始まったが、これは中禅寺湖で夏を過ごした欧米人の影響が大きい。スコットランドの商人トーマス・グラバー（1838-1911、長崎の有名な「グラバー園」は彼の名前にちなんで名づけられたもので、中の「旧グラバー住宅」は現存する日本最古の木造洋風建築である）が 1889 年に初めて中禅寺湖で釣りをし、1893 年には湖畔に家を建てた。彼はイギリス式フライフィッシングに適した魚を中禅寺湖や湯川に放流することに尽力した。1902 年に彼の出資により、コロラド州からカワマス（ヤマメ）の卵を輸入し、孵化した魚は湯川に放流された。残念ながらその年の後半の激しい嵐で全滅したが、1904 年にもっと多くの卵を輸入し、2 度目の挑戦で成功した。

奥日光でのフライフィッシングは、当初、中禅寺湖畔で休暇を過ごしていた多くの裕福な欧米人たちの夏の楽しみだった。しかし、いまでは日本でも人気のアクティビティとなり、さまざまな人たちに親しまれている。

写真

右上：グラバーの大崎の湖畔の家

右下：グラバーと大島久治が漁獲物を手にしている写真（1898 年頃撮影）

* * *

東京アングリング・エンド・カンツリー倶楽部と西六番別荘

グラバーが 1893 年に建てた家は、「西」「六番」という住所にちなんで、通称「西六番」としてよく知られていた。1927 年にハンス・ハンター（1884-1947）がこの家を買った後、2 年前にハンターが設立した東京アングリング・エンド・カンツリー倶楽部のクラブハウスになった。

このクラブは、中禅寺湖で夏を過ごす外国人居住者や外交官たちにとって、重要な社交場であった。会員の中には、日本の官僚やビジネスマン、皇室の方々もおられた。エリートが集う場として、このクラブは 20 世紀初頭の国際外交において重要な役割を果たしていたと言われている。建物は 1940 年に焼失し、レンガ造りの暖炉や床のタイルなどが残っている現在、敷地は公園になっている。

図

左上：大崎の西六番別荘の位置を示す地形図

左中：別荘と一名の従業員

左下：修復のために作成された物件の間取り図

【タイトル】 アーネスト・サトウとイザベラ・バード

【想定媒体】 QR

<簡体字>

欧内斯特·萨道义(1843-1929)

欧内斯特·萨道义(Ernest Satow)通过撰写旅行指南、报纸文章和个人推荐，让西方读者认识了奥日光和日本的许多地区。1862年，萨道义以英国大使馆翻译的身份抵达日本，并于1872年首次造访日光。他为《日本每周邮报》撰写了4篇文章描述日光的魅力，该报纸是日本明治时代(1868-1912)最具影响力的英文报纸之一，也是横滨的外国居民广泛阅读的报纸。1875年，他还出版了《日光指南》一书。萨道义交游广阔，熟识许多颇具影响力的人物，据说他经常推荐大家游览日光和中禅寺湖。

1883年，萨道义在休假几周后，便前往曼谷赴任，但1895年又以驻日特命全权公使的身份回到日本。1896年，萨道义在中禅寺湖南岸建造了一座避暑别墅。1900年，他被派往中国，便将房产转让给了继任者。之后，这里一直被英国大使馆用作避暑地，直到2010年房产所有权被移交回栃木县。经过多年来的数次翻修和扩建，这座别墅现在作为“英国大使馆别墅纪念公园”向公众开放。

图

图中显示的是萨道义撰写的奥日光相关指南扉页，一本是《日光指南》(1875)，一本是与Albert George Sidney Hawes (1842-1897)合著的《日本中部和北部旅行者手册》(1881)。下面是约翰·慕里三世(1808-1892)出版的旅行者手册第二版(1884)，以及书中的一张地图。照片展示了萨道义的中禅寺湖别墅南侧，约1899年。

伊莎贝拉·伯德(1831-1904)

伊莎贝拉·伯德(Isabella Bird)是一位英国旅行家、探险家和多产作家，钟爱偏远地区的长途旅行，尤其是以乡村和山区的跋涉著称。19世纪晚期，她探访了包括中国、日本、朝鲜在内的多个亚洲国家，并著有《中国图像记》(中文版)、《中国奥地纪行》(日文版)等有关中国的书籍，后者也是她人生中出版的最后一部游记。1878年6月，她访问了日光和奥日光，并在《日本奥地纪行》(日文版)中发表了她的旅行记录。这本书于1880年分两卷出版，讲述了她从东京出发到日本北部的旅程。

伯德在书中提及，在萨道义先生的帮助下，她见到了许许多多有意思的事物。此外，她还提到自己享用了已经成为日光特产的鳟鱼。伯德沿着第一伊吕波坡道向上抵达汤元温泉，当时它被称为“中禅寺道”，还是一条筑有许多台阶的狭窄小道。在返回日光之前，她还游览了华严瀑布，并提及一条通往下方观景点的约 61 米长的曲折小径，这比星野五郎平动手开辟通往瀑布下方水潭的道路早了整整 15 年。

图

这里展示了伊莎贝拉·伯德所著《日本奥地纪行》在日本推出的三个版本：

（左）1881 年版

（中）1900 年版

（右）2000 年日文版

书的下方是伯德自己绘制的汤元温泉茶室场景插图（收录在《日本奥地纪行》中）和一份她的日本旅行路线图。

<繁体字>

歐尼斯特·薩道義（1843-1929）

歐尼斯特·薩道義（Ernest Satow）通過撰寫旅行指南、報紙文章和個人推薦，讓西方讀者認識了奧日光和日本的許多地區。1862 年，薩道義以英國大使館翻譯的身份抵達日本，並於 1872 年首次造訪日光。他為《日本每週郵報》撰寫了 4 篇文章，描述日光的魅力，這份報紙是日本明治時代（1868-1912）最具影響力的英文報紙之一，也是橫濱的外國居民廣泛閱讀的報紙。1875 年，他還出版了《日光指南》一書。薩道義交遊廣闊，熟識許多頗具影響力的人物，據說他經常推薦大家遊覽日光和中禪寺湖。

1883 年，薩道義在休假幾週後便前往曼谷赴任，但 1895 年又以駐日特命全權公使的身份回到了日本。1896 年，薩道義在中禪寺湖南岸建造了一座避暑別墅。1900 年，他被派往中國，便將房產轉讓給了繼任者。之後，這裡一直被英國大使館用作避暑地，直到 2010 年房產所有權被移交回栃木縣。經過多年來的數次翻修和擴建，這座別墅現在作為「英國大使館別墅紀念公園」向大眾開放。

圖

圖中顯示的是薩道義撰寫的奧日光相關指南扉頁，一本是《日光指南》（1875），一本是與 Albert George Sidney Hawes（1842-1897）合著的《日本中部和北部旅行者手冊》（1881）。

下面是約翰·慕里三世（1808-1892）出版的旅行者手冊第二版（1884），以及書中的一張地圖。

照片展示了薩道義的中禪寺湖別墅南側，約 1899 年。

伊莎貝拉·伯德（1831-1904）

伊莎貝拉·伯德（Isabella Bird）是一位英國旅行家、探險家和多產的作家，以鍾愛偏遠地區的長途旅行，特別是以在鄉村和山區的跋涉著稱。19 世紀晚期，她探訪了包括中國、日本、朝鮮在內的多個亞洲國家，並著有《中國圖像記》（中文版）、《中國奧地紀行》（日文版）等有關中國的書籍，後者也是她人生中出版的最後一部遊記。1878 年 6 月，她訪問了日光和奧日光，並在《日本奧地紀行》（日文版）中發表了遊記。這本 1880 年分兩卷出版的書，講述她從東京到日本北部的旅程。

伯德在書中提及，在薩道義先生的幫助下，她見到了許許多多有意思的事物。此外，她還說自己曾享用了已經成為日光特產的鱒魚。伯德曾沿當時還被稱為「中禪寺道」的第一伊呂波坡道一路向上抵達湯元溫泉，那時這條路還是一條築有許多台階的狹窄小道。在返回日光之前，她還遊覽了華嚴瀑布，並提到一條通往下方觀景點的約 61 公尺長的曲折小徑，這比星野五郎平動手開闢通往瀑布下方水潭的道路早了整整 15 年。

圖

這裡展示了伊莎貝拉·伯德所著《日本奧地紀行》在日本推出的三個版本：

（左）1881 年版

（中）1900 年版

（右）2000 年日文版

書的下方是伯德自己繪製的湯元溫泉茶室場景插圖（收錄在《日本奧地紀行》中）和一份她的日本旅行路線圖。

<日本語仮訳>

アーネスト・サトウ（1843-1929）

アーネスト・サトウは、ガイドブック、新聞記事、個人的な推薦などを通じて、奥日光をはじめとする日本の多くの地域を欧米の読者に紹介した。

サトウは 1862 年にイギリス公使館の通訳として来日。1872 年に初めて日光を訪れたサトウは、明治時代（1868-1912）に最も影響力を持ち、横浜在住の外国人に広く読まれていた新聞『ジャパン・ウィークリー・メール』に日光の魅力を 4 回にわたって紹介している。1875 年には『日光案内』を

出版。サトウの社会的ネットワークは広く、彼の知人には多くの有力者がいた。彼は日光や中禅寺湖を訪れることを常に勧めていたと言われている。

1883年には、サトウは数週間の休暇をとってバンコクに赴任したが、1895年には駐日特命全権公使として日本に戻ってきた。1896年には中禅寺湖の南岸に夏の別荘を建てた。1900年に中国に赴任したサトウは、別荘の所有権を後任に譲った。別荘は英国大使館の避暑地として使用され、2010年に栃木県に寄贈された。何年にも渡って改修・増築を重ね、現在は「英国大使館別荘記念公園」として一般公開されている。

図

サトウの奥日光に関する情報が書かれた2冊のガイドブック『日光案内』（1875年）と、アルバート・ジョージ・シドニー・ホーズ（1842-1897）と共著した『中部・北部日本旅行案内』（1881年）のタイトルページ。

その下には、ジョン・マレー三世（1808-1892）が出版したハンドブックの第二版（1884年）と、その中の地図のうちの一枚。

写真はサトウの中禅寺湖別荘の南側、1899年頃。

* * *

イザベラ・バード（1831-1904）

イザベラ・バードはイギリス人の旅行者、探検家、多作家で、遠く離れた目的地への長い旅、特に農村や山岳地帯を旅することで知られていた。19世紀後半、彼女は中国、日本、韓国などのアジア諸国を訪れ、『Chinese Pictures』や『中国奥地紀行』などの中国に関する書籍を執筆し、後者は彼女の人生で最後に出版された旅行記でもある。彼女は1878年6月に日光と奥日光を訪れ、『日本奥地紀行』の中で旅行記を発表した。この本は1880年に当初2巻に分けて出版され、東京から北日本までの旅の様子が詳しく描かれている。

この本には、サトウさんのおかげで興味深いさまざまなものを見ることができたと書かれている。また日光ですでに名物となっていた鱒を食べたことも書かれている。バードはまだ「中禅寺道」と呼ばれていてたくさんの階段のある狭い道であった頃の第一いろは坂を登り、湯元温泉まで足を伸ばした。日光に戻る前に華巖の滝を訪れ、展望台まで61m下りるジグザグの道について言及している。これは、星野五郎平が滝壺への道を整備し始める15年前のことであった。

図

展示されているのは、日本で印刷されたバードの『日本奥地紀行』の三つのバージョン

左) 1881年版

中央) 1900年版

右) 2000年日本語版

本の下にあるのは、バード自身が描いた湯元温泉の茶屋の風景（『日本奥地紀行』に掲載）と、日本を旅した時の地図。

【タイトル】 トーマス・B・グラバーとハンス・ハンター

【想定媒体】 QR

<簡体字>**托马斯·B·哥拉巴(1838-1911)**

苏格兰商人托马斯·哥拉巴（Thomas Glover, 1838-1911；长崎著名的哥拉巴园就以他的姓氏命名，园内的“旧哥拉巴住宅”是日本现存最早的木质洋楼）是 1868 年明治维新及之后日本工业化时期的关键人物，也是一位飞钓爱好者，这令他在 19 世纪晚期至 20 世纪早期的奥日光发展中扮演了极其重要的角色。他将飞钓引入这里，在日本确立了这项消遣和运动，因此广受赞誉。

1887 年的汤川垂钓之旅和 1889 年的中禅寺湖之旅，是哥拉巴对奥日光的早期探索。此后，他决定在湖边建立一个稳定的落脚处，遂于 1893 年在大崎地区的中禅寺湖东北岸建造了一栋房子。1927 年，汉斯·亨特(1884-1947)从哥拉巴手里买下这座别墅，用作他创立的东京垂钓乡村俱乐部的会所。俱乐部很快成为外交官圈层在日光避暑时的社交中心。基于它的位置，大家把这栋房子昵称为“西六番”，即“西边，六号”。

图

照片（自上而下）：

哥拉巴在东京（麻布地区）的居所

手持渔具的哥拉巴

哥拉巴在东京（芝地区）的居所

哥拉巴在长崎的居所

* * *

汉斯·亨特(1884-1947)

汉斯·亨特是一位狂热的钓鱼爱好者和成功的商人，也是 20 世纪早期推动中禅寺湖地区社交和政治发展的关键人物。他的日本名字是范多范三郎，是爱德华·H·亨特(1843-1917)与平野爱子(1851-1939)的次子。爱德华·H·亨特是一名英国商人，拥有自己的造船公司，创立了大阪铁工所——也就是后来日立造船株式会社的前身。汉斯·亨特则购买并开发了九州大分县的鲷生金矿，该矿场 1924 年的黄金产量位居亚太地区之首。

1923 年，汉斯·亨特随丸沼鱒鱼垂钓俱乐部到中禅寺湖郊游。两年后，他在日光创立了东京垂钓乡村俱乐部。1927 年，他买下哥拉巴的“西六番”别墅作为俱乐部会所，这里经

常举办社交活动，是中禅寺湖国际社区的中心。俱乐部成员包括许多西方外交官和日本政要，还有三位来自皇室的名誉会员。

图

照片：

(上) 在汤川钓鱼的汉斯·亨特

(下) 汉斯·亨特展示渔获

<繁体字>

湯瑪斯·B·哥拉巴 (1838-1911)

蘇格蘭商人湯瑪斯·哥拉巴 (Thomas Glover, 1838-1911；長崎著名的哥拉巴園就以他的姓氏命名，園內的「舊哥拉巴住宅」是日本現存最早的木造洋樓) 是 1868 年明治維新及之後日本工業化時期的關鍵人物，也是一位飛蠅釣的愛好者，這令他在 19 世紀晚期至 20 世紀早期的奧日光發展中扮演了十分重要的角色。他把飛蠅釣這項消遣和運動帶到了日本並推動了其在本地的發展，因此廣受讚譽。

1887 年的湯川垂釣之旅和 1889 年的中禪寺湖之旅，是哥拉巴對奧日光的早期探索。此後，他決定在湖邊建立一個穩定的落腳處，遂於 1893 年在大崎地區的中禪寺湖東北岸建造了一棟房子。1927 年，漢斯·亨特 (1884-1947) 從哥拉巴手裡買下這座別墅，作為他創立的東京垂釣鄉村俱樂部的新會所。俱樂部很快成為外交官圈層在日光避暑時的社交中心。大家因俱樂部所在位置，而親暱的稱這座房子為「西六番」，即「西邊，六號」。

圖

照片 (自上而下)：

哥拉巴在東京 (麻布地區) 的住所

手持漁具的哥拉巴

哥拉巴在東京 (芝地區) 的住所

哥拉巴在長崎的住所

* * *

漢斯·亨特 (1884-1947)

漢斯·亨特是一位狂熱的釣魚愛好者和成功的商人，也是 20 世紀早期推動中禪寺湖地區社交和政治發展的關鍵人物。他的日本名字是範多範三郎，是愛德華·H·亨特 (1843-1917) 和平野愛子 (1851-1939) 的次子。愛德華·H·亨特是一名英國商人，擁有自己的造

船公司，創立了大阪鐵工所——也就是後來日立造船株式會社的前身。漢斯·亨特則購買並開發了九州大分縣的鯛生金礦，這座礦場 1924 年的黃金產量位居亞太地區之首。

1923 年，漢斯·亨特隨丸沼鱒魚垂釣俱樂部到中禪寺湖郊遊。兩年後，他在日光創立了東京垂釣鄉村俱樂部。1927 年，他買下哥拉巴的「西六番」別墅作為俱樂部會所，這裡經常舉辦社交活動，是中禪寺湖國際社區的中心。俱樂部成員包括許多西方外交官和日本政要，還有三位來自皇室的名譽會員。

圖

照片：

(上) 在湯川釣魚的漢斯·亨特

(下) 漢斯·亨特展示漁獲

<日本語仮訳>

トーマス・B・グラバー (1838-1911)

スコットランドの商人トーマス・グラバー (1838-1911、長崎の有名な「グラバー園」は彼の名前にちなんで名づけられたもので、中の「旧グラバー住宅」は現存する日本最古の木造洋風建築である) は、1968 年の明治維新とその後の日本の工業化の立役者だった。彼はフライフィッシングの愛好家でもあり、そのことから 19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけての奥日光の発展に重要な役割を果たした。彼は、フライフィッシングを日本の娯楽やスポーツとして確立させた功労者でもある。

グラバーが奥日光を訪れたのは、1887 年に湯川で、1889 年には中禪寺湖で釣りをしたのが最初である。1893 年には湖の北東岸の大崎地区に家を見て、そこを拠点とすることを決意した。1927 年、グラバーはこの家をハンス・ハンター (1884-1947) に売却し、ハンターはこの家を新しい「東京アングリング・エンド・カンツリー倶楽部」のクラブハウスとした。やがてクラブは日光で夏を過ごす外交官たちの社交場になった。彼らは、この家の住所「西」の「六番」にちなんで、ここに「西六番」という愛称を付けた。

図

写真 (上から)

東京のグラバー邸 (麻布界隈)

釣り具を持ったグラバー

東京のグラバー邸 (芝界隈)

長崎のグラバー邸

* * *

ハンス・ハンター (1884-1947)

ハンス・ハンターは熱狂的な釣りファンであり、成功した実業家であり、20 世紀初頭の中禅寺湖の社会的・政治的な中心人物であった。日本名は範多範三郎で、エドワード・H・ハンター（1843-1917）と平野愛子（1851-1939）の次男であった。イギリス人の実業家である父のエドワード・H・ハンターは造船業を営み、後に日立造船株式会社となる大阪鉄工所の創業者だった。ハンスは大分県の鯛生金山を取得、開発し、この金山は 1924 年にはアジア太平洋地域で最大の金の産出量を誇った。

1923 年に、丸沼鱒釣倶楽部のメンバーとして中禅寺湖を訪れた。その 2 年後に、日光に「東京アングリング・エンド・カンツリー倶楽部」を設立した。1927 年にはクラブハウスとして使うためにグラバーの「西六番」を購入した。クラブハウスでは頻りに社交行事が行われ、中禅寺湖の国際社会の中心となっていた。クラブの会員には、欧米の外交官や日本の要人が多く、皇族の名誉会員も 3 名いた。

図

写真：

上) 湯川で釣りをするハンス・ハンター

下) ハンス・ハンターが釣った魚を見せているところ

【タイトル】 五百城文哉と小杉放菴

【想定媒体】 QR

<簡体字>

五百城文哉(1863-1906)

五百城文哉因以西洋画的手法描绘日本植物，尤其是他对高山植物的写实画而受到了很高的赞誉。五百城文哉出生于水户（今茨城县），后赴东京求学，师从日本西洋画的奠基人之一高桥由一(1828-1894)。1892年，五百城文哉搬到日光居住。

五百城文哉在奥日光山间的徒步旅行中渐渐爱上了高山植物。他不仅描绘植物，还栽培并研究它们。他在1902年帮助本地建立了日光植物园。此外，他也是日光著名画家小杉放菴的启蒙老师。

三幅小型花卉画作，出自五百城文哉的《日本山草图谱》。

长野县白马山的高山植物风景，约绘于1903年。

五百城文哉的弟子小杉放菴所绘正方形肖像画，《亡师文哉先生》。

* * *

小杉放菴(1881-1964)

艺术家小杉放菴（同“庵”）出生于日光，本名为小杉国太郎。他的西洋画生涯是从在五百城文哉手下当学徒开始的。1898年，小杉放菴搬到东京，遇到了另一位著名的西洋画家小山正太郎(1857-1916)，并进入几所学院和研究所深造。在此期间，他改名为“未醒”，并参加了1932年举办的奥林匹克艺术大赛等国际展览。他的西洋画、书籍插图和日本绘画都受到高度好评，多次在文部省美术展览会中斩获奖项。随着时间的推移，他开始更多关注日本风格的绘画，并最终改名为“放菴”。

小杉放菴的画作既富于幽默感，又不乏对自然的温柔善意。他在日光的大自然中度过年少时代，作品中也充满了童年回忆。《故乡》(1957)是他的作品合集，其中收入了素描、诗歌和童年回忆录，还有一幅星野五郎平的素描。

较大的作品：日本木兰中的红腹灰雀（水墨和颜料画）

较小的作品：

左上：石栎（水彩）

右上：莢迷花（水彩）

左下：大斑啄木鳥（水彩）

右下：太平鳥（水彩）

<繁體字>

五百城文哉（1863-1906）

五百城文哉因以西洋畫的手法描繪日本植物，尤以對高山植物的寫實畫而受到了很高的讚譽。五百城文哉出生於水戶（今茨城縣），後赴東京求學，師從日本西洋畫的奠基人之一高橋由一（1828-1894）。1892年，五百城文哉搬到了日光居住。

五百城文哉在奧日光山間的徒步旅行中漸漸愛上了高山植物。他不僅描繪植物，還栽培並研究它們。他還在1902年幫助本地建立了日光植物園。此外，他也是日光著名畫家小杉放菴的啟蒙老師。

三幅小型花卉畫作，出自五百城文哉的《日本山草圖譜》。

長野縣白馬山的高山植物風景，約繪於1903年。

五百城文哉的弟子小杉放菴所繪正方形肖像畫《亡師文哉先生》。

* * *

小杉放菴（1881-1964）

藝術家小杉放菴（同「庵」）出生於日光，本名為小杉國太郎。他的西洋畫生涯是從在五百城文哉手下當學徒開始的。1898年，小杉放菴搬到東京，遇到了另一位著名的西洋畫家小山正太郎（1857-1916），並進入幾所學院和研究所深造。在此期間，他改名為「未醒」，並參加了1932年舉辦的奧林匹克藝術大賽等國際展覽。他的西洋畫、書籍插圖和日本繪畫都受到高度好評，多次在文部省美術展覽會中斬獲獎項。隨著時間的推移，他開始更多關注日本風格的繪畫，並最終改名為「放菴」。

小杉放菴的畫作富於幽默感，並能感受到他對自然的溫柔善意。他在日光的大自然中度過年少時代，作品中也充滿了童年回憶。《故鄉》（1957）是他的作品合集，其中收入了素描、詩歌和童年回憶錄，其中還有一幅星野五郎平的素描。

較大的作品：日本木蘭中的紅腹灰雀（水墨和顏料畫）

較小的作品：

左上：石櫟（水彩）

右上：莢迷花（水彩）

左下：大斑啄木鳥（水彩）

右下：太平鳥（水彩）

<日本語仮訳>

五百城文哉（1863-1906）

五百城文哉は、日本の植物を西洋風に表現し、特に高山植物を写実的に描いた作品で高い評価を受けた画家である。水戸（現在の茨城県）に生まれ、上京して日本の洋画の創始者の一人である高橋由一（1828-1894）に師事した。1892年に文哉は日光に移り住んだ。

文哉が高山植物を愛するようになったのは、奥日光の山中でのトレッキングがきっかけだった。絵を描くだけでなく、栽培や研究にも力を入れた。1902年には日光植物園の設立に尽力した。また文哉は日光の高名な画家、小杉放庵の最初の師匠でもあった。

花を描いた小さな3枚の絵は、文哉の『日本山草図譜』に掲載されているもの。

長野県白馬山の高山植物を描いた風景 1903年頃

弟子の小杉放庵が「亡師文哉先生」と題して描いた正方形の肖像画

* * *

小杉放庵（1881-1964）

画家の小杉放庵は日光生まれで、本名は小杉国太郎。最初に洋画を学んだのは、五百城文哉に弟子入りした時だった。1898年に上京し、同じく著名な洋画家の小山正太郎（1857-1916）と出会い、いくつかのアカデミーや研究所に所属して勉強を続けた。その間に「未醒」と改名し、1932年のオリンピックの芸術競技などの国際展に出品していた。彼の洋画、書籍の挿絵、日本画などが高く評価され、文部省美術展覧会でも多くの賞を受賞した。時が経つにつれ、彼は日本画のスタイルを重視するようになり、やがて名前を「放庵」と改めた。

彼の絵からは、ユーモアと自然に対する優しさを感じられる。少年時代を日光の自然の中で過ごしたため、彼の作品には、幼い頃の思い出がたくさん詰まっている。『故郷』（1957）は、スケッチや詩、幼少期の回顧録などを集めたもので、中には星野五郎平のスケッチも一枚含まれている。

大きい方の作品：コブシにウソ（墨と顔料）

小さい作品：

左上：シリブカガシ（水彩画）

右上：オオカメノキ（水彩画）

左下：アカゲラ（水彩画）

右下：キレンジャク（水彩画）

【タイトル】 星野五郎平と大島藤三郎

【想定媒体】 QR

<簡体字>

星野五郎平(1827/8-?)

星野五郎平耗费 7 年时间，独力开辟出了第一条通往华严瀑布下方水潭的道路。开始这项工程时，星野五郎平已经 60 多岁，大家亲切地称他“五郎平老爷爷”。在 1900 年道路完工之前，欣赏瀑布的唯一方式是从山谷顶部的观景台向下俯瞰。星野五郎平随后又建造了一座茶室，用于为游客提供服务。如今他开辟的道路和茶室早已不复存在，但 1930 年建成的电梯可以把游人从瀑布上方送到底部。

下面展示的是星野五郎平写给二荒山神社的一封信，请求允许他开辟一条通往华严瀑布的新道路，以及艺术家小杉放菴(1881-1964)在他的作品集《故乡》中回忆与星野五郎平相遇场景的文字及绘画。

文中，小杉放菴回忆起一次春日造访“五郎平老爷爷”的情形。当时五郎平还在修路，俩人正攀在山壁上，忽然头顶上传来不详的崩裂声，泥土、石块、冰和雪纷纷滚落下来，他们立刻分别跳向两边。死里逃生之后，老爷爷毫不在意地吐了吐舌头大笑出声，而年轻的小杉放菴却依然控制不住膝盖打颤。

底图为星野五郎平在华严瀑布下方水潭附近开设的茶室。

* * *

大岛藤三郎（生卒年不详）

大岛藤三郎常年居住在中宫祠地区，对奥日光的经济发展起到了重要作用。大岛藤三郎出生于上州（今群馬县），1868 年明治维新后移居日光，曾在本地担任教师，经营邮局，还做过一些其他工作。

大岛藤三郎堪称当地渔业界的支柱。他于 1886 年创立中禅寺湖渔业协会，并积极展开在奥日光水域放养鱼类的工作。另外，作为托马斯·哥拉巴的密友，他还受托管理哥拉巴的湖畔别墅。

这里展示的是大岛藤三郎的大日本水产会会员证（左）和大岛藤三郎一家在明治时代(1868-1912)的照片。

<繁体字>

星野五郎平 (1827/8-?)

星野五郎平耗費 7 年時間，獨力開闢出了第一條通往華嚴瀑布下方水潭的道路。開始這項工程時，他已經 60 多歲，被親切地稱為「五郎平老爺爺」。在 1900 年道路完工之前，欣賞瀑布的唯一方式是從山谷頂部的觀景台向下俯瞰。星野五郎平隨後又建造了一座茶室，為遊客提供服務。如今他開闢的道路和茶室早已不復存在，但 1930 年建成的電梯可以把遊人從瀑布上方送到底部。

下面展示的是星野五郎平寫給二荒山神社的一封信，請求允許開闢一條通往華嚴瀑布的新道路，以及藝術家小杉放菴 (1881-1964) 在他的作品集《故鄉》中回憶與星野五郎平相遇場景的文字及繪畫。

文中，小杉放菴回憶了在春日對「五郎平老爺爺」的一次拜訪。當時五郎平還在修路，倆人正攀在山壁上，忽然頭頂上傳來不祥的崩裂聲，泥土、石塊、冰和雪紛紛滾落下來，他們立刻分別跳向兩邊。死裡逃生之後，老爺爺毫不在意地吐了吐舌頭大笑出聲，而年輕的小杉放菴卻依然控制不住膝蓋打顫。

底圖為星野五郎平在華嚴瀑布下方水潭附近開設的茶室。

* * *

大島藤三郎 (生卒年不詳)

大島藤三郎常年居住在中宮祠地區，對奧日光的經濟發展起到了重要作用。大島藤三郎出生於上州 (今群馬縣)，1868 年明治維新後移居日光，曾在當地擔任教師，經營過郵局，還從事過一些別的工作。

大島藤三郎堪稱當地漁業界的支柱。他於 1886 年創立中禪寺湖漁業協會，並積極展開奧日光水域的魚類放養工作。此外，作為湯瑪斯·哥拉巴的密友，他還受託管理哥拉巴的湖畔別墅。

這裡展示的是大島藤三郎的大日本水產會會員證 (左) 和大島藤三郎一家在明治時代 (1868-1912) 的照片。

<日本語仮訳>

星野五郎平 (1827/8-?)

星野五郎平は 7 年がかりで独力で華嚴の滝の滝壺への最初の道を開拓した。この事業に取り掛かったときに、星野五郎平はすでに 60 代であったため、「五郎平爺」と呼ばれて親しまれていた。1900 年に彼が道を完成させるまで、谷の上の展望台からしか滝を見ることができなかった。その後、五郎平

は茶屋を建てて客をもてなした。いまでは道も茶屋もないが、滝へは 1930 年に初めて開通したエレベーターで行くことができる。

下には星野五郎平が二荒山神社に宛てた、華厳の滝への新道開削の許可を求める手紙と、芸術家の小杉放庵（1881-1964）が描いた、『故郷』に収められた五郎平との出会いの回想文と絵が展示されている。

本の中で、放庵が春に「五郎平爺」を訪ねたときの思い出が書かれている。当時、五郎平はまだ道路工事をしていた。二人が崖を登っていると、突然頭上で不吉な亀裂の音が響き渡り、土や岩、氷や雪が転がり落ちてきた。五郎平は片方に、放庵はもう片方に飛び移った。五郎平は平然と舌を出して笑っていたが、若き日の放庵は間一髪の命拾いに膝の震えを止めることができなかったという。

下の写真は華厳の滝の滝壺近くの五郎平茶屋。

* * *

大島藤三郎（生没年不詳）

大島藤三郎は、年間を通じて中宮祠地区に住み、奥日光の経済的発展に尽力した。大島は上州（現在の群馬県）で生まれ、1968 年の明治維新後に日光に移り住み、学校の教師や郵便局の経営などをしていた。

大島は漁業界の大黒柱だった。1886 年には中禅寺湖漁業組合を設立し、奥日光に魚を放流するなどの活動を行っていた。また、トーマス・グラバーと親交があり、グラバーの湖畔の別荘の管理を任されていた。

ここで展示されているのは、大島藤三郎の大日本水産会会員証（左）と明治時代（1868-1912）の大島家の家族写真。

【タイトル】 奥日光の近世史（1868-1945）

【想定媒体】 QR

<簡体字>**奥日光近代史(1868-1945)**

1871年，随着宗教限制的废除，奥日光的群山向普罗大众开放，中禅寺湖畔也逐渐发展为国际化的避暑度假胜地。起初，除了寺庙和神社外，这里只有少数建筑物，前往中禅寺湖的唯一途径是从前修行者的巡礼之路。之后，基础设施的建设逐步扩大，奥日光的常住人口也随之增长。早期的开发大部分集中在中禅寺湖东北岸的中宫祠地区，该社区的配套服务设施也稳步增加。1890年，本地有了电报局，1898年开设了邮局，及至1902年，中宫祠已成为栃木县第一个拥有公用电话的地区。

交通

前往奥日光的第一难关是陡峭的华严溪谷。宗教修行者使用的古老小径狭窄且难以穿越，它们首先被一条更宽的崎岖道路取代，不过这条道路沿途有700多个台阶，只能步行或骑马。1889年道路被修整之后，人力车出行变得更为普遍。直至1925年，这条道路再次得以整修，汽车方才可以通行。1932年，随着从马返到明智平的索道开通，游客们有了更便捷的途径来替代蜿蜒的山路。1954年，道路再次拓宽，1965年第二条道路建成，这两条就是今天仍在使用的伊吕波坡道。

钓鱼：产业和娱乐

与普通公众一样，1871年以后鱼类才开始出现在奥日光。华严瀑布是一条从高地延伸而出的主要水道，97米的落差令鱼类无法逆游到更远的上游。自两万年前中禅寺湖形成以来，湖中没有鱼类，直到人类把它们带到这里。1873年，人们开始在这里放养鲑鱼，随后很快添加了鲤鱼、鳟鱼等许多鱼类。1881年，日本农商务省在伊吕波坡道下的深泽建立了一个鱼类孵化基地。

托马斯·哥拉巴（Thomas Glover, 1838-1911；长崎著名的哥拉巴园就以他的姓氏命名，园内的“旧哥拉巴住宅”是日本现存最早的木质洋楼）是一位热爱飞钓的苏格兰商人，于1887年首次访问奥日光。1902年和1904年，他两次提供资助，从美国科罗拉多州引入美洲红点鲑并在中禅寺湖中放养。那段时间，相关组织和团体如雨后春笋般涌现，令垂钓成为了一项常见运动，也发展为一门产业。1886年成立的中禅寺湖渔业协会，1914年成立的

丸沼鱒鱼垂钓俱乐部，1925 年成立的东京垂钓乡村俱乐部等机构都是在这期间先后发展起来的团体。

说明（从右到左）

- 中禅寺道，约 1900 年

当年的崎岖小道，今第二伊吕波坡道的原型，于 1889 年建成，可供人力车通行。

- 中之茶屋

位于中禅寺道（今第二伊吕波坡道）上坡道旁，意为“途中的茶屋”。茶屋供应年糕、团子和茶水，可帮助旅行者在开始最困难的后半程攀登之前补充动力。

- 1902 年足尾台风的破坏

风暴期间的降雨量超过了历史记录，导致男体山发生滑坡，落下的山体经过中禅寺，将立木观音像冲入了中禅寺湖。湖浪高达 6 米，损坏了沿岸不少房屋。

- 战场原湿地上的福特 T 型车

1925 年，中禅寺道拓宽以便客运车辆通行。金谷酒店很快就引进了几辆福特 T 型汽车作为客人往返酒店的摆渡车。这是其中之一，照片拍摄于战场原湿地。

- 山本屋旅馆

到 20 世纪早期，中宫祠地区的湖岸一带出现了许多大酒店和旅馆，如米屋旅馆、葛屋旅馆、湖畔酒店等等。如同这张照片中的山本屋旅馆一样，这些旅馆经常出现在明信片

- 在汤元温泉滑雪

滑雪于 1911 年传入日本，很快，泡温泉就成了汤元温泉客人们在日间滑雪之后的余兴消遣。如今，除了越野滑雪，白根山东坡还提供荒原滑雪、雪鞋徒步等雪地活动。

<繁体字>

奥日光近代史（1868-1945）

1871 年，隨著宗教限制被廢除，奥日光的群山開始向普羅大眾開放，中禪寺湖畔也逐漸發展為國際化的避暑度假勝地。起初，除了寺廟和神社外，這裡只有少數建築物，前往中禪寺湖的唯一途徑是從前修行者的巡禮之路。之後，基礎設施逐步擴大，奥日光的常住人口也隨之增長。早期開發大部分集中在中禪寺湖東北岸的中宮祠地區，這片社區的配套服務設施也穩步增加。1890 年，本地有了電報局，1898 年開設了郵局，及至 1902 年，中宮祠已成為栃木縣第一個擁有公用電話的地區。

交通

前往奧日光最大的難關是陡峭的華嚴溪谷。宗教修行者使用的古老小徑狹窄且難以穿越，所以它首先被一條更寬的崎嶇道路取代，不過這條道路沿途有 700 多個台階，只能步行或騎馬。1889 年道路平整之後，人力車出行變得更為普遍。1925 年，這條道路再次得到整修，可容納汽車通行。1932 年，隨著從馬返到明智平的纜車開通，遊客們有了更便捷的方式來替代蜿蜒的山路。1954 年，道路再次拓寬，1965 年第二條道路建成，這兩條就是今天仍在使用的伊呂波坡道。

釣魚：產業和娛樂

與普通公眾一樣，1871 年以後魚類才開始進入奧日光。華嚴瀑布是從高地延伸出的主要水道，但 97 公尺的落差令魚類無法逆游到更遠的上游。中禪寺湖自兩萬年前形成以來，湖中就沒有魚類，直到人類把牠們帶到這裡。1873 年，人們開始在這裡放養鮭魚，隨後很快添加了鯉魚、鰻魚等許多魚類。1881 年，日本農商務省在伊呂波坡道下的深澤建立了一處魚類孵化基地。

湯瑪斯·哥拉巴 (Thomas Glover, 1838-1911；長崎著名的哥拉巴園就以他的姓氏命名，園內的「舊哥拉巴住宅」是日本現存最早的木造洋樓) 是一位熱愛飛蠅釣的蘇格蘭商人，於 1887 年首次訪問奧日光。1902 年和 1904 年，他兩次提供資助，從美國科羅拉多州引入美洲紅點鮭並在中禪寺湖中放養。那段時間，相關組織和團體如雨後春筍般湧現，令垂釣成為了一項常見運動，並發展為一門產業。1886 年成立的中禪寺湖漁業協會，1914 年成立的丸沼鱒魚垂釣俱樂部，以及 1925 年成立的東京垂釣鄉村俱樂部等機構都是在這段期間先後發展起來的團體。

說明 (從右到左)

- 中禪寺道，約 1900 年

當年的崎嶇小道，今第二伊呂波坡道的原型，於 1889 年建成，可供人力車通行。

- 中之茶屋

位於中禪寺道 (今第二伊呂波坡道) 上坡路旁，意為「途中的茶屋」。茶屋供應年糕、糰子和茶，可幫助旅行者在開始攀爬最困難的後半程之前補充能量。

- 1902 年足尾颱風的破壞

風暴期間的降雨量超過了歷史記錄，導致男體山發生土石流，泥石經過中禪寺，將立木觀音像沖入了中禪寺湖。湖浪高達 6 公尺，損壞了沿岸不少房屋。

- 戰場原濕地上的福特 T 型車

1925 年，中禪寺道拓寬以便客運車輛通行。金谷酒店很快就引進了幾輛福特 T 型汽車作為客人往返酒店的接駁車。這輛是其中之一，照片拍攝於戰場原濕地。

- 山本屋旅館

到 20 世紀早期，中宮祠地區的湖岸一帶出現了許多大飯店和旅館，如米屋旅館、蔦屋旅館、湖畔飯店等等。如同這張照片中的山本屋旅館一樣，這些旅館經常出現在明信片
中。

- 在湯元溫泉滑雪

滑雪於 1911 年傳入日本，很快，泡溫泉就成了湯元溫泉客人們在日間滑雪之後的餘興消遣。如今，除了越野滑雪，白根山東坡還提供荒野滑雪、雪鞋健行等雪地活動。

<日本語仮訳>

奥日光の近世史（1868-1945）

1871 年、宗教上の制約が撤廃され、奥日光の山々は一般大衆に開放された。中禅寺湖畔にも、国際的な避暑地が徐々に形成されていった。当初は寺社以外の建物は少なく、中禅寺湖へ行くにはかつて修験者が使っていた道しかなかった。その後、インフラが徐々に整備され、奥日光の定住人口も増え始めた。初期の開発は中禅寺湖北東岸にある中宮祠エリアを中心に行われ、その地域を支えるサービスも着実に増えていった。1890 年には電信局が、1898 年には郵便局が開設された。また、1902 年には栃木県で初めて中宮祠に公衆電話が設置された。

交通手段

日光から奥日光へ行く際の第一の難関は険しい華厳渓谷である。宗教的修行者が使っていた狭く、踏破しにくい古い道は、最初幅の広いジグザクの道に取って代わった。しかし、この道には 700 段以上の階段があり、徒歩か馬でしか行くことができなかった。1889 年に道が整備されてからは、人力車での移動が一般的になった。1925 年に再び整備され、自動車の通行が可能になった。1932 年には馬返から明智平へのケーブルカーが開通し、旅行者は曲がりくねった山道以外を選択できるようになった。1954 年には道路が再び拡張され、1965 年には第 2 の道路が新設された。この二つが現在も使われている「いろは坂」である。

釣り - 産業と娯楽

一般の人々と同じく、奥日光に魚がやって来たのは 1871 年以降のことである。奥日光の高地から流れ出る水の主な導水路は華厳の滝で、97m の落差があるため、魚はそれ以上上流へ泳ぐことができない。中禅寺湖には 2 万年前に湖が出来て以来、人間が連れてくるまで魚はいなかった。1873 年にイワナが初めて放流され、その後、コイ、ウナギなどさまざまな魚が放流された。1881 年、農商務省はいろは坂の下の深沢に魚の孵化場を作った。

フライフィッシングが好きなスコットランド人の商人トーマス・グラバー（1838-1911、長崎の有名な「グラバー園」は彼の名前にちなんで名づけられたもので、中の「旧グラバー住宅」は現存する日本最古の木造洋風建築である）は、1887 年に初めて奥日光を訪れた。1902 年と 1904 年には、コロラド州からのカワマス放流に資金を提供した。また、1886 年には中禅寺湖漁業組合、1914 年に丸

沼鱒釣倶楽部、1925年には東京アングリング・エンド・カンツリー倶楽部など、この時期には、スポーツとしての釣りや産業としての釣りの両方を支援する組織が次々と誕生した。

キャプション（右から左）

- ・中禅寺道 1900年頃

現在「第2いろは坂」である曲がりくねった道の原型は1889年に開通し、人力車で利用されていた。

- ・中の茶屋

中禅寺道（現在の第2いろは坂）の途中に「中の茶屋」（道中の茶屋）があった。餅や団子、お茶などが用意されていて、最も難所であった坂の後半を登る前に、旅人の疲れを癒していた。

- ・1902年の足尾台風による被害

この時の記録的な大雨で男体山の山崩れが発生し、中禅寺の境内を突き破り、立木観音像が中禅寺湖に流された。湖では6メートルの波が押し寄せ、岸辺の家屋に被害を与えた。

- ・戦場ヶ原のT型フォード

中禅寺道は1925年に乗用車用に拡幅された。まもなく金谷ホテルでは、T型フォードを数台導入し、宿泊客の送迎用車として利用していた。写真はその中の1台で、戦場ヶ原湿原で撮影されたもの。

- ・山本屋旅館

20世紀初頭になると、中宮祠エリアの湖畔には「米屋旅館」や「つたや旅館」、「レーキサイドホテル」などの豪華なホテルや旅館が数多く建ち並び、この写真の「山本屋旅館」のように、これらの旅館は絵葉書にも登場していた。

- ・湯元温泉でのスキー

1911年に日本にスキーが伝わって間もない頃、湯元温泉の宿泊客は昼間スキーを楽しんだ後に、温泉に浸かっていた。現在、クロスカントリースキーのほか、白根山の東斜面ではバックカントリースキーやスノーシューも楽しめる。

【タイトル】 奥日光の現代史（1945年～）

【想定媒体】 QR

<簡体字>

奥日光当代史（1945年起）

二战结束后，为应对与日剧增的游客，奥日光地区的基础设施得以快速拓展。第一批造访此地的游客是留驻日本的联合国军，他们在中禅寺湖北侧建造了一个度假村。

和日本其他地区一样，战后初期对于奥日光来说也是一段艰难的岁月。为应对长期食物短缺的大问题，战场原湿地的一部分被开垦用于种植粮食，直到 20 世纪 70 年代早期才恢复自然状态。随着战后经济逐渐发达，越来越多的人有能力购买汽车，开车也渐渐成为了一种全民消遣。游客数量的剧增令奥日光地区对新道路和停车场的的需求不断扩大。为此，本地在 20 世纪 60 年代完成了几项公共工程，其中包括中禅寺大坝和为保护汤之湖的水质而建造的污水处理厂。

自 20 世纪 70 年代以来，日本的环境意识增强，人们越来越认识到保护自然资源的必要性。日本政府于 1972 年颁布《自然环境保全法》，1993 年颁布《环境基本法》。1995 年，奥日光被纳入政府“绿色钻石计划”，这是一项涉及国家公园和国定公园的保护项目。

为了保护奥日光丰富的河流、湖泊、湿地和其他自然资源，各种措施层出不穷。环境省对湖泊和河流进行了多次水质调查。为改善水质，当地于 20 世纪 90 年代疏浚了汤之湖。2005 年，包括汤之湖、小田代原和战场原湿地在内的超过 2.6 平方公里的土地以“奥日光湿原”之名，被《拉姆萨尔公约》登记在册。

说明（从右到左）：

- 联合国军在日光观光酒店

位于中禅寺湖北岸的日光观光酒店（今中禅寺金谷酒店）为振兴奥日光的旅游业而建。

从二战结束到 1956 年期间，它都被联合国军征用作为度假设施。

- 中禅寺湖畔船屋

这座度假设施于 1947 年由日光观光酒店为联合国军建造，后来成为了中禅寺湖畔标志性建筑。酒店于 1949 年被烧毁，但船屋幸免于难。酒店重建后，船屋作为餐厅一直营业到 1996 年。1999 年栃木县收购了该建筑，经恢复原貌后于 2002 年重新开放。

- 从汤元温泉引入温泉水

1951 年，当地铺设了一条 12 公里长的管道，将汤元温泉的水从源头输送到中宫祠地区，并建造了中禅寺温泉。

- 伊吕波收费坡道

1954 年，为应对越来越多的自驾游旅行者的需求，通往奥日光的道路被改建为伊吕波收费坡道对外开放。第二条公路（第二伊吕波坡道）于 1965 年开通，实现了上、下山的单向交通。两条道路于 1984 年取消收费。

- 疏浚汤之湖

1966 年，当地在汤之湖建立了公共污水处理厂，以解决水质恶化和湖底淤泥问题。如图所示，1992 年至 1996 年期间，为清除湖床上的淤泥，人们对汤之湖进行了疏浚。

- 低排放巴士

自 1993 年开始，从赤沼到小田代原，甚至远至千住滨，奥日光已全境通行低排放巴士。巴士路线中有约 10 公里的路段都被森林环抱，一路不仅可以观赏到湿地、河川，也许还能巧遇日本猕猴或梅花鹿等野生动物，坐在车上便可以享受奥日光的自然美景。

<繁体字>

奥日光当代史（1945 年起）

二战结束后，为了应对日益剧增的游客，奥日光地区的基础设施得到迅速拓展。第一波到此的游客是留驻日本的联合国军，他们在中禅寺湖北侧建造了一个度假村。

和日本其他地区一样，战后初期对于奥日光来说也是一段艰难的岁月。为应对长期食物短缺的大问题，战场原湿地的一部分被开垦用于种植粮食，直到 1970 年代早期才恢复自然状态。随着战后经济逐渐发展，越来越多的人有能力购买汽车，开车也渐渐成为了一种全民消遣。游客数量的剧增令奥日光地区对新道路和停车场的需求随之增加。为此，在 1960 年代，当地完成了几项公共工程，其中包括中禅寺大坝和为保护汤之湖的水质而建造的污水处理厂。

自 1970 年代以来，日本的环境意识增强，人们越来越认识到保护自然资源的必要性。日本政府于 1972 年颁布《自然环境保全法》，1993 年颁布《环境基本法》。1995 年，奥日光被纳入政府「绿色钻石计划」，这是一项涉及国家公园和国定公园的保护专案。

为了保护奥日光丰富的河流、湖泊、湿地和其他自然资源，各种措施不断出笼。环境省对湖泊和河流进行了多次水质调查，为改善水质，当地于 1990 年代疏浚了汤之湖。2005 年，包括汤之湖、小田代原和战场原湿地在内的超过 2.6 平方公里的土地以「奥日光湿原」之名，被登记注册在《拉姆萨尔公约》。

说明（从右到左）：

- 聯合國軍在日光觀光飯店

位於中禪寺湖北岸的日光觀光飯店（今中禪寺金谷飯店）為振興奧日光的旅遊業而建。從二戰結束到 1956 年期間，都被聯合國軍徵用作為度假設施。

- 中禪寺湖畔船屋

這座度假設施是 1947 年由日光觀光酒店為聯合國軍建造，後來成為了中禪寺湖畔代表性地標。飯店於 1949 年被燒毀，但船屋倖免於難。飯店重建後直到 1996 年，船屋一直作為餐廳使用。1999 年栃木縣收購了該建築，在恢復原貌後於 2002 年重新開放。

- 從湯元溫泉引入溫泉水

1951 年，當地鋪設了一條 12 公里長的管道，將湯元溫泉的水從源頭輸送到中宮祠地區，並建造了中禪寺溫泉。

- 伊呂波收費坡道

1954 年，為應對不斷增長的自駕遊旅行需求，通往奧日光的道路被改建為伊呂波收費道對外開放。第二條公路（第二伊呂波坡道）於 1965 年開通，實現了上、下山的單向交通。兩條道路於 1984 年取消收費。

- 疏浚湯之湖

1966 年，當地在湯之湖建立了公共汙水處理廠，以解決水質惡化和湖底淤泥問題。1992 年至 1996 年期間，為了清除湖床上的淤泥，人們對湯之湖進行了疏浚，如圖所示。

- 低碳排放巴士

自 1993 年開始，從赤沼到小田代原，甚至遠至千住濱，奧日光已全境通行低碳排放巴士。巴士路線中有約 10 公里的路段都被森林環抱，一路不僅可以觀賞到濕地、河川，也許還能巧遇日本獼猴或梅花鹿等野生動物，坐在車上便可以享受奧日光的自然美景。

<日本語仮訳>

奥日光の現代史（1945 年～）

第二次世界大戦後、奥日光を訪れる観光客は急増し、それに伴いインフラも急速に整備されていた。最初に訪れたのは進駐軍で、湖の北側に行楽地を作った。

戦後まもなくの奥日光は、日本のほかの地域と同じく厳しい時代を過ごした。問題の一つが慢性的な食糧不足だった。戦場ヶ原湿原の一部が開拓され、1970 年代初頭まで食糧生産に利用されていたが、その後は自然の状態に戻された。戦後の経済成長に伴い、車を購入できる人が増え、ドライブは国民的な娯楽となった。奥日光を訪れる観光客の数が増えるにつれ、道路や駐車場の整備が必要になった。1960 年代、増え続けるコミュニティのニーズにこたえるため、中禪寺ダムや、湯ノ湖の水質を守るための下水処理場などの公共事業計画が完了した。

1970 年代以降、日本では環境に対する意識が高まり、天然資源を保護する必要性が認識されるようになった。1972 年には『自然環境保全法』が、1993 年には『環境基本法』が制定された。

1995 年には、国立公園や国定公園を対象とした政府の自然保護プロジェクト「緑のダイヤモンド計画」の一環として、奥日光が選定された。

奥日光の豊かな川や湖、湿原などの自然資源を守るために、さまざまな施策が講じられている。環境省は湖や川の水質調査を何度も行い、1990 年代に湯ノ湖の浚渫を行って水質を改善した。2005 年には、湯ノ湖や小田代ヶ原湿原、戦場ヶ原湿原など 2.6 平方キロメートル以上の土地が国際的に重要な湿地に関する「ラムサール条約」に基づく「奥日光の湿原」として登録された。

キャプション（右から左）

・日光観光ホテルの連合軍側進駐軍

中禅寺湖の北岸に建つ日光観光ホテル（現・中禅寺金谷ホテル）は、奥日光の観光振興の一環として建設された。第二次世界大戦後、進駐軍に接收され、1956 年までリゾート施設として使用された。

・中禅寺湖畔ボートハウス

中禅寺湖のシンボリック的存在であるこのボートハウスは、1947 年に進駐軍のために日光観光ホテルが湖畔のリゾート施設として建設したものである。ホテルは 1949 年に焼失したが、ボートハウスは残った。ホテル再建後、1996 年までレストランとして利用されていた。1999 年に栃木県がこの建物を取得し、2002 年に当時の姿に戻して再オープンした。

・湯元から温泉を採取

1951 年には、湯元温泉の源泉から中宮祠地区まで温泉水を運ぶための 12km のパイプラインが敷設され、中禅寺温泉が誕生した。

・いろは坂有料道路

車を利用する観光客の増加に対応するため、奥日光への道が整備され、1954 年にはいろは坂有料道路として開通した。1965 年には第 2 の道路（第 2 いろは坂）が開通し、山の上りと下りの一方通行が可能になった。1984 年には両方が無料になった。

・湯ノ湖の浚渫

湯ノ湖の水質悪化と湖底のヘドロの発生に対応するため、1966 年に公共の下水処理場が建設された。1992 年から 1996 年にかけて、湖底のヘドロを除去するための浚渫が行われた（写真）。

・低公害バス

奥日光では 1993 年から低公害バスが運行されており、赤沼から小田代ヶ原、千住ヶ浜まで運行されている。森に囲まれた約 10km の路線沿いには、湿原や川などもあり、ニホンザルやニホンジカなどの野生動物が見られることもある。乗車しているだけで奥日光の美しい自然を楽しむことができる。

【タイトル】 各国の外交官の避暑地

【想定媒体】 QR

<簡体字>

各国外交官の避暑胜地

150 多年来，每到炎夏时节，奥日光因其高海拔和凉爽的气候，令众多前往中禅寺湖的游人流连忘返。在 19 世纪晚期至 20 世纪早期，它曾格外受到驻东京和横滨的各国外交官圈层的青睐。许多大使馆都在湖边拥有度假屋，众多外交官纷纷到中禅寺湖避暑，仿佛这个国家的国际外交舞台每到夏天便会转移到日光来。

根据日本和美国签订的《日美友好通商条约》(1858)等条约，日本开放了一些港口。但在这之后的若干年里，外国居民只能在居住地附近的区域内行动，不能自由旅行。1875 年，日本政府开始受理外籍人士的“内地旅行免状”（在日本国内旅行）申请。但直到 1899 年治外法权被废除后，外国人才能在日本自由旅行。

右上方的文件是一份提交外务大臣陆奥宗光(1844-1897)的内地旅行免状。左边是一份对外国居民申请内地旅行免状的批复，收件人是 F. J. Eldridge 小姐，落款为 1894 年。

右边的照片是中禅寺湖上的游艇比赛，这是男体山游艇俱乐部赞助的活动，每周一次。左边的照片是大尻地区的湖畔度假屋。

意大利大使馆别墅

看板左上角的图片是意大利大使馆别墅，由出生于捷克的美国建筑师安东尼·雷蒙德 (Antonin Raymond, 1888-1976) 于 1928 年建造。安东尼长期在日本开展工作，拥有成功的职业生涯。该建筑的外部和内部表面被日本杉木皮镶板覆盖，与周围环境浑然一体，因此备受关注。直到 1997 年为止，这座别墅都为意大利大使馆所用，次年被栃木县收购，现作为“意大利大使馆别墅纪念公园”向公众开放。别墅一楼有咖啡馆，供应咖啡和甜点。

照片下方地图，显示别墅在中禅寺湖东南岸的位置。右侧的红色草图，展示了别墅的多处建筑细节。左下角是一楼和二楼的平面图。

<繁体字>

各國外交官的避暑勝地

150 多年來，每到炎夏時節，奧日光因其高海拔和涼爽的氣候令前往中禪寺湖的遊人流連忘返。在 19 世紀晚期至 20 世紀早期，這裡曾格外受到駐東京和橫濱的各國外交官圈層的青睞。許多大使館都在湖邊擁有度假屋，眾多外交官都到中禪寺湖避暑，仿佛這個國家的國際外交舞台每到夏天便會轉移到日光。

根據日本和美國簽訂的《日美友好通商條約》（1858）等條約，日本開放了一些港口。但在這之後若干年裡，外國居民只能在居住地附近的區域內行動，不能自由旅行。1875 年，日本政府開始受理外籍人士的「內地旅行免狀」（在日本國內旅行）申請。1899 年治外法權被廢除後，外國人才能在日本自由旅行。

右上方的文件是一份提交外務大臣陸奧宗光（1844-1897）的內地旅行免狀。左邊是一份對外國居民的內地旅行免狀申請的批覆，收件人是 F. J. Eldridge 小姐，落款為 1894 年。

右邊的照片是中禪寺湖上的遊艇比賽，這是男體山遊艇俱樂部贊助的活動，每週一次。左邊的照片是大尻地區的湖畔度假屋。

義大利大使館別墅

看板左上角的圖片是義大利大使館別墅，由捷克出生的美國建築師安東尼·雷蒙德（Antonin Raymond, 1888-1976）於 1928 年建造，他長期在日本工作發展，擁有成功的職業生涯。該建築的外部 and 內部表面被日本杉木皮鑲板覆蓋，與周圍環境渾然一體，因此備受關注。直到 1997 年為止，這座別墅都為義大利大使館所用，次年被栃木縣購回，現作為「義大利大使館別墅紀念公園」向大眾開放。別墅一樓有咖啡館，供應咖啡和甜點。

照片下方是一張地圖，顯示別墅在中禪寺湖東南岸的位置。右側的紅色草圖展示了別墅的多處建築細節。左下角是一樓和二樓的平面圖。

<日本語仮訳>

各国の外交官の避暑地

奥日光は標高が高く冷涼な気候のため、150 年以上にわたって夏の暑い時期に中禪寺湖を訪れる人々を魅了してきた。19 世紀後半から 20 世紀初頭にかけては、東京や横浜を拠点とする外国の外交官たちに特に人気があった。多くの大使館が湖畔に別荘を持ち、避暑のために中禪寺湖を訪れる外交官も多く、まるで夏の間は日本の国際外交の中心が日光に移ったかのようだった。

「日米修好通商条約」（1858）などの条約により日本がいくつかの港が開いてからかなりの年月、外国人居留者は自由に旅行することができず、居留地の一定の区域に制限されていた。1875 年からは、外国人が日本政府に申請して、「内地旅行免状」が出されるようになった。外国人が自由に旅行できるようになったのは、1899 年に治外法権が廃止されてからのことである。

右上の文書は、陸奥宗光（1844-1897）外務大臣宛の「内地旅行免状」申請書である。左は、1894年にMiss F. J. Eldridge宛てに出された、外国人居住者が申請した国内旅行を許可する書簡（内地旅行免状）である。

右側の写真は、男体山ヨットクラブが毎週開催していた中禅寺湖でのヨットレースの様子。左の写真は、湖畔にある大尻地区の別荘。

イタリア大使館別荘

パネル左上の写真はチェコ生まれで日本でも長い間活躍した米国人建築家アントニン・レーモンド（1888-1976）が1928年に建てたイタリア大使館別荘である。外装・内装ともに杉皮張りで仕上げられており、周囲の環境に溶け込む構造が特徴である。1997年までイタリア大使館によって使用されていたが、翌年に栃木県が取得し、現在は「イタリア大使館別荘記念公園」として公開されている。1階にはコーヒーとクッキーなどを楽しめるカフェがある。

写真の下にあるのは、中禅寺湖の南東岸にある別荘の位置を示す地図である。右側の赤いスケッチは、この建物の建築的な詳細の多くを示している。左下は、1階と2階の見取り図である。

地域番号

002

協議会名

建長寺多言語解説整備協議会

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|-----------------|--------|------|
| 002-001 | 三門 | 565 | WEB |
| 002-002 | 三門 | 265 | 看板 |
| 002-003 | 仏殿 | 375 | WEB |
| 002-004 | 仏殿 | 245 | 看板 |
| 002-005 | 法堂 (講堂) | 425 | WEB |
| 002-006 | 法堂 (講堂) | 240 | 看板 |
| 002-007 | 唐門 | 330 | WEB |
| 002-008 | 唐門 | 205 | 看板 |
| 002-009 | 梵鐘 (寺鐘) | 355 | WEB |
| 002-010 | 梵鐘 (寺鐘) | 245 | 看板 |
| 002-011 | 道隆お手植えの柏槨 | 360 | WEB |
| 002-012 | 道隆お手植えの柏槨 | 195 | 看板 |
| 002-013 | 方丈 | 160 | WEB |
| 002-014 | 方丈 | 120 | 看板 |
| 002-015 | 方丈庭園 | 180 | WEB |
| 002-016 | 方丈庭園 | 130 | 看板 |
| 002-017 | 総門 (正門) | 425 | WEB |
| 002-018 | 総門 (正門) | 190 | 看板 |
| 002-019 | 地藏菩薩坐像 | 385 | WEB |
| 002-020 | 地藏菩薩坐像 | 260 | 看板 |
| 002-021 | 法堂 (講堂) : 釈迦苦行像 | 305 | WEB |
| 002-022 | 法堂 (講堂) : 釈迦苦行像 | 200 | 看板 |
| 002-023 | 半僧坊 | 460 | WEB |
| 002-024 | 半僧坊 | 220 | 看板 |
| 002-025 | 西来庵 | 260 | WEB |
| 002-026 | 西来庵 | 205 | 看板 |
| 002-027 | 天井画「雲龍図」 | 240 | WEB |
| 002-028 | 天井画「雲龍図」 | 200 | 看板 |

【タイトル】 三門

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**三門**

走进寺院，映入眼帘的就是“三门”（山门），它是建长寺最重要的建筑之一。这种类型的门是日本禅宗寺庙的传统特色，代表寺庙的神圣空间与日常生活之间的分界线。“三门”的概念来自佛教的“三解脱门”：空、无相和无作，也代表智慧、慈悲和方便。

三门没有门，寓意着寺庙始终敞开大门，对任何有心向禅宗学习的人开放，这是建长寺开山住持兰溪道隆（1213-1278，见小贴士）的重要信念之一。

这座木结构建筑高约20米，二楼供奉着释迦如来、十六罗汉和五百罗汉像，但不对外开放。据说穿过菩萨之下的三门便能净化心灵，为领悟禅宗深意作准备。

现存的三门建于1775年，拥有东日本最大规模的三间二重门结构，被指定为国家重要文化财产。三门曾经被焚毁，全日本都纷纷为它的重建捐资筹款。相传，被建长寺僧人喂食的狸猫（也称狸，日本传说中有变身能力的妖怪）也化身为僧人去募捐，以报答他们的恩情。直到今天，建长寺三门依然还被称为“狸之三门”。

小贴士：

兰溪道隆是来自中国南宋的高僧，13岁在成都大慈寺出家，后来结识了去中国修行的日僧月翁智镜（生卒年不详），并于1246年来到日本。当时镰仓幕府执政北条时赖(1227-1263)邀请他出任日本第一座标准禅寺——建长寺的开山住持。道隆将宋代禅寺的风格毫无保留地引入日本，他所著的《法语规则》规范了日本禅林，被誉为国宝。道隆圆寂后被天皇御赐谥号“大觉禅师”，这是日本最早的禅师称号。

<繁体字>**三門**

走進寺院，映入眼簾的就是三門（山門），也是建長寺最重要的建築物之一。這種類型的門是日本禪宗寺廟的傳統特色，代表著寺廟的神聖空間與百姓日常生活之間的界線。

「三門」的概念來自佛教的「三解脫門」：空、無相和無作，也代表智慧、慈悲和方便。

三門不設門扉，寓意著寺廟始終大門敞開，對任何有心向禪宗學習的人開放，這是建長寺開山住持蘭溪道隆（1213-1278，見小檔案）的重要信念之一。

這座木結構建築高約 20 公尺，二樓供奉著釋迦如來、十六羅漢和五百羅漢像，但不對外開放。傳聞穿過菩薩之下的三門便能淨化心靈，為領悟禪宗深意作準備。

現存的三門建於 1775 年，擁有東日本最大規模的三間二重門結構，被指定為國家重要文化財產。三門曾經被焚毀，全日本都紛紛為其重建募集捐款。相傳，被建長寺僧人餵食的狸貓（也稱狸，日本傳說中有變身能力的妖怪）也化身為僧人去募捐，以報答他們的恩情。直到今天，建長寺三門依然還被稱為「狸之三門」。

小檔案:

蘭溪道隆是來自中國南宋的高僧，13 歲在成都大慈寺出家，後來結識了去中國修行的日僧月翁智鏡（生卒年不詳），並於 1246 年來到日本。當時鎌倉幕府執政北條時賴（1227-1263）邀請他出任日本第一座標準禪寺——建長寺的開山住持。道隆將宋代禪寺的風格毫無保留地引入日本，他所著的《法語規則》規範了日本禪林，被譽為國寶。道隆圓寂後被天皇御賜諡號「大覺禪師」，這是日本最早的禪師稱號。

<日本語仮訳>

三門

境内に入って、最初に目に入るのは三門（山門）です。三門は建長寺で最も重要な建造物の 1 つです。日本の禪宗の寺には伝統的にこうした門が配置されており、寺の神聖な領域と日常の世界との境界を示す目印となっています。なお、三門とは、仏教の「三解脱門」という概念である「空」「無相」「無作」から由来しており、智慧、慈悲、利便性も表しています。

三門には扉がありません。これは、建長寺がいつでも禅を学びたいあらゆる人に開かれているということを示すもので、この考え方は建長寺の開山、蘭溪道隆（1213-1278、詳細は Tips を参照）の主要な信念の 1 つでした。

木造のこの門は約 20 メートルの高さがあります。2 階部分、釈迦像、十六羅漢像、五百羅漢像が安置されていますが、この上層部は非公開です。門をくぐってこれらの像の下を通ることで心が清められ、寺の教えを受け入れる準備が整うと言われています。

現在の三門は 1775 年に建てられたもので、三間二重門として東日本最大の規模を誇り、国の重要文化財に指定されています。それまでにあった門が火事で焼失した後、日本中から寄付が集められ、再建されました。伝説では、建長寺の僧たちから餌をもらっていたタヌキ（変身能力を持つ伝説の妖怪）が、その親切へのお礼として僧に変身して寄付金集めに参加したと伝えられています。今日でも、三門はタヌキの三門としても知られています。

Tips :

中国南宋時代の僧侶である蘭溪道隆は、13歳の時に中国成都の大慈寺に入って出家しました。その後、中国に修行に行っていた日本の僧侶・月翁智鏡（生卒年不詳）と出会い、1246年に来日しました。当時、鎌倉幕府を治めていた北条時頼（1227-1263）は彼を日本で最初の典型的な禅寺である建長寺の開祖として招きました。宋代の禅寺の様式を惜しげもなく日本に導入した道隆は、日本の禅林に関する規範を定め墨跡である『法語規則』を残し、現在も国宝とされています。道隆の没後、当時の天皇から「大覚禅師」の諡号を賜りましたが、これは日本における禅師の称号としては最も古いものです。

【タイトル】 三門

【想定媒体】 看板

<簡体字>

三門

这道“門”代表了寺庙的神圣空间与日常生活之间的分界线。据说从三门之下穿过，就能净化心灵，做好聆听和领悟禅宗深意的准备。

与普通大门不同，三门并没有门，寓意着寺庙始终敞开大门，欢迎任何有心向往禅宗的人到来。二楼供奉着释迦如来、十六罗汉和五百罗汉像，不对外开放。

现存建筑重建于 1775 年，高约 20 米，拥有东日本最大规模的三间二重门结构，被指定为国家重要文化财产。它曾经被焚毁，当时全日本各地都为之重建而筹款。

三门也被称为“狸之三门”，相传被建长寺僧人喂食的狸猫（也称狸，传说中有变身能力的妖怪）也曾化身为僧人去募捐，以报答他们的恩情。

<繁体字>

三門

這道「門」代表寺廟的神聖空間與百姓日常生活之間的界線，據說從三門之下穿過，就能淨化心靈，做好聆聽和領悟禪宗深意的準備。

與普通大門不同，三門不設門扉，寓意著寺廟始終敞開大門，歡迎任何有心嚮往禪宗的人到來。二樓供奉著釋迦如來、十六羅漢和五百羅漢像，但不對外開放。

現存建築重建於 1775 年，高約 20 公尺，擁有東日本最大規模的三間二重門結構，被指定為國家重要文化財產。三門曾經被焚毀，當時全日本各地都為其重建而募款。

三門也被稱為「狸之三門」，相傳被建長寺僧人餵食的狸貓（也稱狸，傳說中有變身能力的妖怪）也曾化身為僧人去募捐以報答他們的恩情。

<日本語仮訳>

三門

この門は、建長寺の神聖な領域と日常の世界との境界を示す目印として機能しています。門をくぐることで心が清められ、寺の教えに耳を傾け受け入れるための準備が整うと言われています。

一般的な門とは異なり、三門には扉がありません。これは、建長寺がいつでも禅について学びたいあ

らゆる人に開かれているということを示すものです。2 階部分は釈迦像、十六羅漢像、五百羅漢像が安置されていますが、この上層部は非公開です。

三門は約 20 メートルの高さがあり、それまでにあった門が火事で焼失した後、1775 年に再建されました。その再建費用を集めようと、日本中で寄付金集めが行われました。三門は三間二重門として東日本最大の規模を誇り、国の重要文化財に指定されています。

三門はタヌキの三門とも呼ばれています。伝説によると、建長寺の僧たちに餌をもらい世話をしてもらっていたタヌキ（変身能力を持つ伝説の妖怪）が、恩返しに僧に変身して門の再建費用の寄付金集めを行ったと伝えられています。

【タイトル】 仏殿

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

佛殿

佛殿（佛堂）是建长寺最重要的建筑之一，也是寺中最早的建筑。佛殿里高大的雕像是建长寺供奉的本尊地藏菩萨。“地狱不空，誓不成佛”，地藏菩萨的慈悲照亮了正道，救度一切向他发出吁求的众生。

与寺内许多建筑物一样，佛殿也遭受过火灾和其他灾难，并多次重建。在日本战国时代(1467-1568)，建长寺长期缺乏庇护，状况岌岌可危。

1603 年德川家康(1543-1616)被任命为幕府将军后，德川幕府(1603-1867)便成为了建长寺在 17 世纪的资助者，开始重建寺庙。1647 年，他们从德川家族位于江户（今东京）的家庙增上寺里搬迁了一座灵庙到镰仓，捐赠给建长寺作为佛殿之用。

与德川家族的渊源令建长寺佛堂比常规的禅寺建筑要富丽堂皇得多，菩萨两旁木板上精雕细刻着凤凰图案，灿烂的镀金天花板上装饰着各种吉祥的神鸟，无不映射出德川幕府的强大权势和影响力。

佛殿建于 1624 年至 1644 年之间，被指定为国家重要文化财产。无论宗教信仰如何，它对所有人开放。

<繁体字>

佛殿

佛殿（佛堂）是建長寺最重要的建築物之一，也是寺中最早的建築物。佛殿裡高大的雕像是建長寺供奉的本尊地藏菩薩，「地獄不空，誓不成佛」，地藏菩薩的慈悲照亮了正道，救度一切向他發出求救的眾生。

與寺內諸多建築物相同，佛殿也曾遭受火災和其他災難，並經歷多次重建。在日本戰國時代（1467-1568），建長寺長期缺乏照護，狀況岌岌可危。

1603 年德川家康（1543-1616）被任命為幕府將軍後，德川幕府（1603-1867）便成為了建長寺在 17 世紀的資助者，開始重建寺廟。1647 年，他們從德川家族位於江戶（今東京）的家廟增上寺裡搬遷了一座靈廟到鎌倉，捐贈給建長寺作為佛殿之用。

與德川家族的淵源令建長寺的佛堂比起常規的禪寺要富麗堂皇得多，菩薩兩旁木板上

精雕細刻著鳳凰圖案，燦爛的鍍金天花板上裝飾著各種吉祥神鳥，無不映射出德川幕府的強大權勢和影響力。

佛殿建於 1624 年至 1644 年之間，被指定為國家重要文化財產。無論宗教信仰如何，佛殿對所有人開放。

<日本語仮訳>

仏殿

仏殿（仏堂）は建長寺の最も重要な建物のひとつであり、建長寺の建物の中で最初に完成した建物でもあります。仏殿には建長寺の本尊である地蔵菩薩の聳え立つような像が祀られています。「地獄不空、誓不成仏（地獄で責め苦しむ者を全て済度しなければ、成仏しないことを誓う）」と諭されたこの地蔵菩薩は、慈愛に満ちた存在が正しき道を照らし、助けを求める者たちを苦難から救います。

境内の多くの建物と同様に、仏殿も火事や災害に遭っており、何度も再建されています。戦国時代（1467–1568）には建長寺は後援者不足に悩まされ、再建を大いに必要としていました。

徳川家康（1543–1616）が 1603 年に将軍として任命されて以降、17 世紀の間は徳川幕府（1603–1867）が建長寺の後援者となり、徳川家が建長寺の再建に資金を提供するようになりました。現在の仏殿は、1647 年に江戸（現在の東京）にある徳川家の菩提寺に当たる増上寺にあった建物が寄進されたものです。

徳川家との繋がり故に、仏殿は典型的な禅寺の建物に比べると遥かに豪華な装飾が施されています。菩薩の両脇の木製パネルには、鳳凰のデザインが細かく彫られており、また、彫刻が施された壁の華やかな羽目板や、きらめく金箔を背景に描かれた縁起の良い鳥たちの天井画などの装飾は、仏殿が建てられた当時の徳川家の権力と影響力を反映しています。

仏殿は 1624 年から 1644 年の間に建てられ、国の重要文化財に指定されています。仏殿は宗教に関係なくすべての人に公開されています。

【タイトル】 仏殿

【想定媒体】 看板

<簡体字>

佛殿

佛殿（佛堂）是建长寺最重要的建筑之一，里面供奉的巨大雕像是寺庙本尊地藏菩萨。

包括佛殿在内的许多寺庙建筑都在 14 世纪和 15 世纪的多次毁灭性火灾中被烧毁，建长寺急待修复，却缺少资助人的支持。17 世纪，德川家族建立江户幕府(1603-1867)，开始重建建长寺。1647 年，幕府从位于江户（今东京）的德川家庙增上寺选了一座灵庙，捐赠给建长寺作为佛殿。

与德川家族的渊源令其佛堂比通常的禅寺建筑要富丽堂皇得多，灿烂的镀金天花板上装饰着各种吉祥的神鸟，令人印象深刻。

佛殿被指定为国家重要文化财产。无论宗教信仰如何，它对所有人开放。

<繁体字>

佛殿

佛殿（佛堂）是建长寺最重要的建筑物之一，里面供奉的巨大雕像是寺庙本尊地藏菩萨。

包含佛殿在内的许多寺庙建筑物，都曾在 14 世纪和 15 世纪的数次毁灭性火灾中被烧毁，建长寺急待修复却缺少资助人的支持。17 世纪，德川家族建立江户幕府（1603-1867），开始重建建长寺。1647 年，幕府从位于江户（今东京）的德川家庙增上寺中选了一座灵庙，捐赠给建长寺作为佛殿。

与德川家族的渊源令建长寺的佛堂相比通常的禅寺要富丽堂皇得多，灿烂的镀金天花板上装饰着各种吉祥神鸟，令人印象深刻。

佛殿被指定为国家重要文化财产，无论参观者的个人宗教信仰为何，佛殿向所有人开放。

<日本語仮訳>

仏殿

仏殿（仏堂）は建長寺で最も重要な建物のひとつです。内部にある大きな像は、建長寺の本尊である地蔵菩薩です。

仏殿を含め、建長寺の建物の多くは、14 世紀と 15 世紀に起きた度重なる壊滅的な火災によって失われてしまいました。建長寺は修復を大いに必要としているにもかかわらず、後援者がいませんでした。1600 年代に入り徳川家が江戸幕府（1603–1867）を開くと、建長寺の再建に着手しました。1647 年に幕府は江戸（現在の東京）にある徳川家の菩提寺である増上寺にあったこの仏殿を寄進しました。

徳川家との繋がり故に、仏殿は典型的な禅寺の建物に比べるとはるかに豪華な装飾が施されています。天井にはきらめく金箔を背景に縁起の良い鳥たちの画が描かれています。

仏殿は国の重要文化財に指定されています。仏殿は宗教に関係なくすべての人に公開されています。

【タイトル】法堂（講堂）

【想定媒体】WEB

<簡体字>

法堂（讲堂）

法堂又称讲堂，高达 20 米，是建长寺最大的殿阁，也是关东地区规模最大的法堂。

法堂最初是寺庙的修行道场，寺内众僧侣汇聚于此，聆听住持讲经说法。后面的须弥坛并非用来供奉神明或者佛像，而是住持召集众人听法的讲坛。

时至今日，修行道场已经迁至别处，法堂的须弥坛上供奉着千手观音。如今的法堂对公众开放，经常承办法要和包括音乐会、艺术展览等在内的特别活动。

2003 年，正逢建长寺创建 750 周年，著名画家兼陶艺家小泉淳作(1924-2012)绘制了传统水墨画《云龙图》作为天井画。他的另一得意之作《双龙图》则位于京都建仁寺法堂的天花板之上。龙是佛教护法八部众之一，带来雨水的云龙寓意智慧法雨（佛法）降临。无论身在法堂的哪个位置，云龙的眼睛仿佛都在关注着每一位来访者。

云龙的下方、千手观音的前面，是一尊巴基斯坦政府赠送的释迦苦行像，刻画出生迦牟尼成佛前瘦骨嶙峋的断食苦修形象，是罕见的佛教艺术珍品。这也是唯一由巴基斯坦官方制作的原版复制品。

法堂于 1814 年重建，已被指定为国家重要文化财产。

<繁体字>

法堂（講堂）

法堂又稱講堂，建築物高度達 20 公尺，是建長寺最大的殿閣，也是關東地區規模最大的法堂。

法堂最初是作為寺廟的修行道場，寺內僧眾齊聚於此，聆聽住持講經說法。後面的須彌壇並非用來供奉神明或者佛像，而是住持召集眾人聽法的講壇。

時至今日，修行道場已經遷移至別處，法堂的須彌壇上供奉著千手觀音，如今的法堂對民眾開放，經常承辦法要和包括音樂會、藝術展覽等在內的特別活動。

2003 年，正逢建長寺創建 750 週年，著名畫家兼陶藝家小泉淳作（1924-2012）繪製了傳統水墨畫《雲龍圖》作為天井畫，他的另一得意之作《雙龍圖》則位於京都建仁寺法堂的天花板之上。龍是佛教護法八部眾之一，帶來雨水的雲龍寓意智慧法雨（佛法）降臨，

無論身處法堂的哪個位置，雲龍的眼睛仿佛都在注視著每一位遊客。

雲龍的下方、千手觀音的前面，是一尊巴基斯坦政府贈送的釋迦苦行像，刻畫出釋迦牟尼成佛前瘦骨嶙峋的斷食苦修形象，是罕見的佛教藝術珍品。這也是唯一由巴基斯坦官方製作的原版複製品。

法堂於 1814 年重建，已被指定為國家重要文化財產。

<日本語仮訳>

法堂（講堂）

高さが 20 メートルもある説法のための建物である法堂は、建長寺の中で最も大きな堂宇です。また、関東地域において最も大きな法堂でもあります。

法堂はかつて住職が建長寺の多くの僧侶らに説法するために使われていました。礼拝のための堂宇ではないため、奥にある須弥壇にも仏や仏像は置かれていませんでした。代わりに、その須弥壇を使って住職が集まった者に説法していました。

現在法堂は説法に使われることはなく、須弥壇には千手観音像が祀られています。いま、法堂は一般に公開されており、法要やコンサートや美術展などの特別なイベントが開催されています。

天井に描かれた龍の墨絵「雲龍図」は、画家・陶芸家の小泉淳作（1924-2012）が 2003 年に完成させたものです。彼は京都の建仁寺の法堂にある有名な天井画「双龍図」の作者でもあります。「雲龍図」は建長寺の創建 750 年を記念して、雨を降らせる雲龍を描いたものです。龍は仏法を守護する八尊の護法善神のひとつで、説法による金言が雨のように降り注ぎ、下で聞く者たちを洗い流すと言われています。その龍の目は部屋のどこにいても追って来るかのようです。

天井の龍の下、千手観音像の手前にはパキスタン政府から寄贈された断食をする釈迦を模った精緻な釈迦苦行像があります。この像はパキスタンにあるオリジナルのレプリカとして唯一公式に制作されたもので、仏教美術の中でも特に希少価値の高いものです。

法堂は 1814 年に再建され、国の重要文化財に指定されています。

【タイトル】法堂（講堂）

【想定媒体】看板

<簡体字>

法堂（讲堂）

法堂也称讲堂，高 20 米，是建长寺最大的殿阁，也是关东地区规模最大的法堂。

法堂最初是寺庙的修行道场，寺内众僧侣汇聚于此，聆听住持讲经说法。时至今日，道场迁移至别处，法堂的须弥坛上供奉着千手观音。如今的法堂对公众开放，经常承办法要和音乐会、艺术展览等各类特别活动。

须弥坛前有一尊罕见而珍贵的释迦苦行像，是巴基斯坦官方制作的唯一原版复制品。天井画《云龙图》由著名画家兼陶艺家小泉淳作(1924-2012)为建寺 750 周年而作，寓意着法雨（佛法）降临。

法堂于 1814 年重建，被指定为国家重要文化财产。

<繁体字>

法堂（講堂）

法堂也稱講堂，建築物高度達 20 公尺，是建長寺內最大的殿閣，也是關東地區規模最大的法堂。

法堂最初是寺廟的修行道場，寺內僧眾齊聚於此，聆聽住持講經說法。時至今日，道場已遷移至別處，法堂的須彌壇上供奉著千手觀音。如今的法堂對民眾開放，經常承辦法要和音樂會、藝術展覽等各類特別活動。

須彌壇前有一尊罕見而珍貴的釋迦苦行像，是巴基斯坦官方製作的唯一原版複製品。天井畫《雲龍圖》由著名畫家兼陶藝家小泉淳作（1924-2012）為建寺 750 週年而作，寓意著法雨（佛法）降臨。

法堂於 1814 年重建，被指定為國家重要文化財產。

<日本語仮訳>

法堂（講堂）

法堂（講堂）は高さが 20 メートルあり、建長寺最大の堂宇であるだけでなく、関東地域において

最も大きな法堂でもあります。

法堂はかつて建長寺の住職が寺の僧侶らに説法を行うために使われていました。しかし現在、法堂は説法にはもう使われていませんが、須弥壇には千手観音像が祀られています。法堂は一般に公開されており、法要や、コンサート、美術展といった特別なイベントが開催されています。

須弥壇の手前にある貴重な釈迦如来苦行像は、パキスタンにあるオリジナルのレプリカとして唯一公式に制作されたものです。天井に書かれた墨絵「雲龍図」は、画家で陶芸家の小泉淳作（1924–2012）が寺の創建 750 年を記念して描き、2003 年に完成させたもので、「法雨」（説法による金言は雨のように降り注ぎ、下で聞く者たちを洗い流す）を表しています。

法堂は 1814 年に再建されており、国の重要文化財に指定されています。

【タイトル】 唐門

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

唐門

黑与金两色装饰的唐门于 1628 年建于江户（今东京）增上寺。同佛殿一样，在 1647 年寺院大规模重建时，德川幕府(1603-1867)将它捐赠给了建长寺。

增上寺与强大的德川幕府密切相关，它是德川家族的菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家庙）。这座大门原本建在第二代幕府将军德川秀忠(1579-1632)夫人的灵庙入口，壮观的规模，黑漆与金箔精巧而华丽的组合，这些都是德川家族建筑的标志。

屋顶的“唐破风”呈弓形起伏，中间高，两端向下弯曲。这是日本最正式的屋顶建筑风格，常用于寺庙、神社和城堡中最重要的大门处。建长寺的唐门正是由四根柱子撑起的“唐破风”大门楼。

在建长寺，唐门是方丈（原寺庙住持的居所）的正门，仅供天皇和外国使节使用，其他一切僧俗人众都只能从边门出入。

唐门被指定为国家重要文化财产，并于 2011 年修复一新。

<繁体字>

唐門

黑、金兩色裝飾的唐門於 1628 年建於江戶（今東京）增上寺，和佛殿一樣，在 1647 年寺院大規模重建時，由德川幕府（1603-1867）捐贈給了建長寺。

增上寺與強大的德川幕府密切相關，是德川家族的菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家廟）。這座大門原本建在第二代幕府將軍德川秀忠（1579-1632）夫人的靈廟入口，宏大的規模，黑漆與金箔精美華麗的組合，都是德川家族建築的標誌。

屋頂的「唐破風」呈弓形起伏，中間高、兩端向下彎曲，這是日本最正式的屋頂建築風格，常用於寺廟、神社和城堡中最重要的大門處。建長寺的唐門正是由四根柱子撐起的「唐破風」大門樓。

在建長寺，唐門是方丈（原寺廟住持的居所）的正門，僅供天皇和外國使節使用，其他一切僧俗人眾都只能從邊門出入。

唐門被指定為國家重要文化財產，並於 2011 年修復一新。

<日本語仮訳>

唐門

黒と金色で飾られた唐門は、1628年に江戸（現在の東京）の増上寺に建てられたもので、仏殿と同様に、1647年の建長寺大改築の際、徳川幕府（1603-1867）から建長寺に寄進されました。

増上寺は徳川家の菩提寺（先祖代々の墓があり、法要を行う寺院）であり、権勢を誇った徳川幕府と密接な関係にありました。唐門は元々二代将軍徳川秀忠（1579-1632）の奥方の霊屋の入り口でした。この門のスケールの大きさや黒漆と精巧な金箔の華やかな組み合わせは、徳川家の建造物の特徴です。

起伏のある屋根は、中央部が高く両端が湾曲している「唐破風」と呼ばれる様式です。唐破風は最も格式が高く、日本各地の寺社や城の重要な門によく取り入れられる様式です。建長寺の唐門は、この唐破風の屋根を備えた四脚門です。

建長寺の唐門は、伝統的に住職の住居であった方丈への正門として使用されています。この門の使用は天皇と勅使のみに厳密に限定されています。それ以外の訪問者は、僧侶を含め方丈の通用口を使用します。

この門は国の重要文化財に指定されており、2011年に修復されました。

【タイトル】 唐門

【想定媒体】 看板

<簡体字>

唐門

唐門建于 1628 年，当时位于江户（今东京）増上寺。与佛殿一样，在 1647 年寺院大规模重建时，徳川幕府(1603-1867)将它捐赠给了建长寺。唐門被指定为国家重要文化财产，并于 2011 年修复一新。

壮观的规模，黑漆与金箔精美华丽的组合，这些都是徳川家族建筑的标志。門楼屋頂的“唐破風”呈弓形起伏，这种建筑形式常用于寺庙、神社和城堡中最重要的大門处。

唐門是方丈（原寺庙住持的居所）的正門，仅供天皇和外国使节使用，其他一切僧俗人众都只能从边門出入。

<繁体字>

唐門

唐門建於 1628 年，當時位於江戶（今東京）増上寺。與佛殿一樣，在 1647 年寺院大規模重建時，被徳川幕府（1603-1867）捐贈給了建長寺。唐門被指定為國家重要文化財產，並於 2011 年修復一新。

宏大的規模，黑漆與金箔精美華麗的組合，這些都是徳川家族建築的標誌。門樓屋頂的「唐破風」呈弓形起伏，這種建築形式常用於寺廟、神社和城堡中最重要的大門處。

唐門是方丈（原寺廟住持的居所）的正門，僅供天皇和外國使節使用，其他一切僧俗人眾都只能從邊門出入。

<日本語仮訳>

唐門

唐門は 1628 年に江戸（現在の東京）の増上寺に建てられたもので、仏殿と同様に 1647 年の建長寺大改築の際、当時権勢を誇っていた徳川幕府（1603-1867）から建長寺に寄進されました。この門は国の重要文化財に指定されており、2011 年に修復されました。

唐門の壮大なスケールや黒漆と精巧な金箔の組み合わせは、徳川家の建築物の特徴です。起伏のある屋根は「唐破風」と呼ばれる建築様式で、日本各地の寺社や城などの重要な門によく使われて

います。

唐門は住職の住居であった方丈への正門であり、この門を使うのは、天皇と勅使のみに厳密に限定されています。それ以外の訪問者は僧侶も含め、方丈の通用口を使用します。

【タイトル】 梵鐘（寺鐘）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

梵钟（寺钟）

1255年，即建长寺建成两年后，寺庙铸造了这座大钟。它是寺内最古老的文物遗存之一，被指定为国宝，与圆觉寺、常乐寺的梵钟并称为“镰仓三大名钟”。建长寺开山住持兰溪道隆(1213-1278)亲自为梵钟撰写铭文，文中提及他是“建长禅寺”的住持，由此可证，在铸钟的时代，建长寺已是纯粹意义上的禅寺。

这座高 2.1 米、重 2.7 吨的大钟由 13 世纪极负盛名的铸造大师“物部重光”铸造。14 和 15 世纪的多次火灾摧毁了大部分寺庙建筑，此钟却得以幸存。二战期间，梵钟的历史地位令它躲过了被政府征用、熔毁的命运，成为日本为数不多幸存下来的古老寺钟之一。

建长寺的其他建筑大多采用铜板屋顶，但钟楼却依然保留了传统的茅草屋顶。尽管年代久远，梵钟仍然保持着最初的功能——报时。根据时节不同，钟声每天下午 5 点到 6 点之间响起。在一些特殊场合，寺庙也会敲响这座古老的梵钟。

<繁体字>

梵鐘（寺鐘）

1255年，即建長寺建成兩年後，寺廟鑄造了這座大鐘，梵鐘是寺內留存最古老的文物之一，被指定為國寶，與圓覺寺、常樂寺的梵鐘並稱為「鎌倉三大名鐘」。建長寺開山住持蘭溪道隆（1213-1278）親自為梵鐘撰寫銘文，文中提及他是「建長禪寺」的住持，由此可證在鑄鐘的時代，建長寺已是純粹意義上的禪寺。

這座高 2.1 公尺、重 2.7 公噸的大鐘由 13 世紀著名的鑄造大師「物部重光」鑄造。14 和 15 世紀的多次火災摧毀了大部分的寺廟建築物，此鐘卻得以倖存。二戰期間，梵鐘的歷史地位令它躲過了被政府徵收、熔毀的命運，成為日本為數不多倖存下來的古老寺鐘之一。

建長寺的其他建築大多採用銅板屋頂，但鐘樓卻依然保留著傳統的茅草屋頂。儘管年歲久遠，梵鐘依然保持著其最初的功能——報時。根據時節不同，鐘聲會在每天下午 5 點到 6 點之間響起，而在一些特殊場合，寺廟也會敲響這座古老的梵鐘。

<日本語仮訳>

梵鐘（寺鐘）

梵鐘は、建長寺が創建された 2 年後の 1255 年に鑄造されました。これは寺で最も古いものの 1 つで、円覚寺、常楽寺の梵鐘とともに、鎌倉三名鐘と称され、国宝にも指定されています。梵鐘には建長寺の初代住職である蘭溪道隆（1213–1278）による銘文が刻まれています。その銘文の中で、道隆は自身のことを「建長禅寺」の住職と呼んでおり、このことからこの鐘が作られた時点でこの寺は禅宗の寺であったことがわかります。

この高さ 2.1 メートル、重さ 2.7 トンの鐘は、13 世紀最も有名な鑄物師の一人だった物部重光によって作られ、14 世紀と 15 世紀に建長寺のほとんどを焼き尽くした火事でも破壊されることがありませんでした。この梵鐘はその歴史的背景のおかげで、第 2 次世界大戦中も政府によって原料として融かすために接收される運命を免れた、日本でも数少ない梵鐘の一つです。

建長寺の他の建造物の屋根は銅板葺ですが、鐘楼は伝統的な藁葺き屋根のままです。梵鐘は古いながらも、今でも本来の役割である「時を知らせる」ために使われています。毎日午後 5 時と 6 時の間（季節によって異なります）と、特別な機会に撞かれます。

【タイトル】 梵鐘（寺鐘）

【想定媒体】 看板

<簡体字>

梵钟（寺钟）

1255年，建长寺铸造了这座大钟。它是非常贵重的文物遗存，也是“镰仓三大名钟之一”，并被指定为国宝。建长寺开山住持兰溪道隆(1213-1278)亲自为梵钟撰写了铭文。

这座高2.1米、重2.7吨的大钟在14和15世纪的多次火灾中幸存了下来。二战期间，梵钟的历史地位令它躲过了被政府征用、熔毁的命运，成为日本为数不多幸存下来的古老寺钟之一。

与建长寺的其他建筑不同，这里的钟楼依然保留了传统的茅草屋顶。尽管年代久远，梵钟仍然天天报时，钟声会在每天下午5点到6点之间响起。在一些特殊场合，寺庙也会敲响这座古老的梵钟。

<繁体字>

梵鐘（寺鐘）

1255年，建長寺鑄造了這座大鐘，梵鐘是非常貴重的文物遺存，也是「鎌倉三大名鐘之一」，並被指定為國寶，建長寺開山住持蘭溪道隆（1213-1278）親自為梵鐘撰寫了銘文。

這座高2.1公尺、重2.7公噸的大鐘在14和15世紀的多次火災中倖存了下來。二戰期間，梵鐘的歷史地位令它躲過了被政府徵收、熔毀的命運，成為日本為數不多倖存下來的古老寺鐘之一。

與建長寺的其他建築不同，這裡的鐘樓依然保留著傳統的茅草屋頂。儘管年代久遠，梵鐘仍然天天報時，鐘聲會在每天下午5點到6點之間響起，在一些特殊場合，寺廟也會敲響這座古老的梵鐘。

<日本語仮訳>

梵鐘（寺鐘）

1255年に鑄造されたこの梵鐘は建長寺で最も古いものの1つで、鎌倉三名鐘と称され、国宝に指定されています。建長寺の初代住職である蘭溪道隆（1213-1278）による銘文が刻まれています。

この高さ 2.1 メートル、重さ 2.7 トンの鐘は、14 世紀と 15 世紀に建長寺のほとんども焼き尽くした火事でも破壊されることがありませんでした。この梵鐘はその長い歴史のおかげで第 2 次世界大戦中も政府によって原料として融かすために接收される運命を免れた、日本でも数少ない梵鐘の一つです。

寺のその他の建造物とは異なり、鐘楼は伝統的な藁葺き屋根のままです。梵鐘は古いながらも、今でも本来の役割である「時を知らせる」ために使われています。毎日午後 5 時と 6 時の間（季節によって異なります）と、特別な機会に撞かれます。

【タイトル】 道隆お手植えの柏楨

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

道隆手植柏

三门和佛殿之间矗立着七棵巨大粗壮的圆柏(*Juniperus Chinensis*)。这些参天大树已有760多年历史，被认为是建长寺创始人兰溪道隆(1213-1278)亲手所植。

道隆是中国南宋的禅宗大师，于1246年来到日本传授禅宗教义。他在福冈和京都度过了最初的几年时光。1253年，镰仓新建了一座禅寺——建长寺，道隆受邀前往担任开山住持。

相传，道隆离开中国时，随身带着故乡四川省的圆柏种子。他知道自己不太可能再回到中国，于是在建长寺播种树苗，以此纪念故乡。

几个世纪过去，树木繁茂如昔。迄今为止，七棵圆柏经历了众多自然灾害，也躲过了14、15世纪带给寺庙毁灭性打击的火灾，是自寺庙初建时留存甚少的“幸运儿”之一。现在，它们已被镰仓市列入了保护名单。

七棵圆柏中最大的一株高达13米，树干周长约6.5米。中国圆柏在日本佛教寺庙中很常见，尤其被认为是禅宗寺庙的象征，一部分原因正是源自建长寺的道隆手植柏。

<繁体字>

道隆手植柏

三門和佛殿之間矗立著七棵巨大粗壯的圓柏 (*Juniperus Chinensis*)，這些參天大樹樹齡已有 760 多歲，被認為是建長寺創始人蘭溪道隆 (1213-1278) 親手種下。

道隆是中國南宋的禪宗大師，於 1246 年來到了日本傳授禪宗教義，他在福岡和京都度過了初到日本的幾年時光。1253 年，鎌倉新建了一座禪寺——建長寺，道隆受邀前往擔任開山住持。

相傳道隆離開中國時，隨身帶著故鄉四川省的圓柏種子，他知道自己不太可能再回到中國，於是在建長寺播種樹苗，以此紀念故鄉。

幾個世紀過去，樹木繁茂如昔。迄今為止，七棵圓柏經歷了許多自然災害，躲過了 14、15 世紀對寺廟造成毀滅性打擊的災火，是自寺廟初建時留存甚少的「幸運兒」之一。現在它們已被鎌倉市列入保護名單。

七棵圓柏中最大的一株高達 13 公尺，樹幹周長約 6.5 公尺，中國圓柏在日本佛教寺廟中很常見，尤其被認為是禪宗寺廟的象徵，一部分原因正是源自建長寺的道隆手植柏。

<日本語仮訳>

道隆お手植えの柏槇

三門と仏殿（仏様のお堂）の間には 7 本の大きな柏槇（*Juniperus chinensis*）が立ち並んでいます。これらの木々は樹齢 760 年を超えており、建長寺の開山である蘭溪道隆（1213-1278）によって植えられたものと考えられています。

道隆は 1246 年に日本へ渡来した中国南宋の禅僧です。道隆は最初の数年間を福岡と京都で過ごし、その後 1253 年に新たな禅寺として創建された鎌倉の建長寺に開山として招かれました。

言い伝えによれば、道隆は来日の際に故郷四川省原産の柏槇の種を持参し、以後中国に帰ることはないと考えた彼が故郷の思い出として、その種から育った苗木を建長寺に植えたとされています。

柏槇の木々は何世紀にもわたって見事に成長しています。14 世紀と 15 世紀の間に建長寺の大部分を破壊してしまった度重なる火災などの多くの自然災害からも生き残ってきました。今では建長寺創建時から現存する数少ないもののひとつとなって、鎌倉市指定保存樹木に認定されています。

7 本の柏槇の中でも最も大きいものは高さが 13 メートルあり、胸高周囲はおよそ 6.5 メートルです。この建長寺での存在もあって、柏槇の木はお寺ではよく見られ、特に禅寺のシンボルとしてされています。

【タイトル】 道隆お手植えの柏槨

【想定媒体】 看板

<簡体字>

道隆手植柏

这条路上七棵巨大粗壮的圆柏(*Juniperus Chinensis*)传说是建长寺的创始人兰溪道隆(1213-1278)亲手种植的。

道隆是中国南宋的禅宗大师，于1246年来到日本传授禅宗之道。相传，道隆离开中国时随身带着圆柏种子。他知道自己不太可能回国，于是在建长寺播种树苗来纪念故乡。

这些圆柏在14和15世纪给寺庙造成毁灭性打击的多次火灾中幸存下来，至今依然繁茂如昔。七棵圆柏中最大的一株高13米，树干周长约6.5米，镰仓市已经把它们列入保护名单。

<繁体字>

道隆手植柏

這條路上七棵巨大粗壯的圓柏（*Juniperus Chinensis*）傳說是建長寺的創始人蘭溪道隆（1213-1278）親手種下的。

道隆是中國南宋的禪宗大師，於1246年來日本傳授禪宗之道。相傳道隆離開中國時隨身帶著圓柏種子。他知道自己不太可能回國，於是在建長寺播種樹苗來紀念故鄉。

這些圓柏從14和15世紀給寺廟造成毀滅性打擊的多次火災中倖存下來，至今依然繁茂如昔。七棵圓柏中最大的一株高13公尺，樹幹周長約6.5公尺，鎌倉市已經把道隆手植柏列入保護名單。

<日本語仮訳>

道隆お手植えの柏槨

この通りに立ち並ぶ7本の柏槨（*Juniperus chinensis*）は、建長寺の開山である蘭溪道隆（1213-1278）によって植えられたとされています。

道隆は1246年に日本へ渡来した中国南宋の禅僧です。言い伝えによれば、道隆は来日の際に故郷四川省原産の柏槨の種を持参し、以後中国に帰ることはないと考えた彼が故郷の思い出として、その種から育った苗木を建長寺に植えたとされています。

以来柏槨は見事に成長し、14 世紀と 15 世紀の間に建長寺の大部分を破壊してしまった度重なる火災からも生き残りました。7 本の柏槨の中でも最も大きいものは高さが 13 メートル、胸高周囲は 6.5 メートルあります。この柏槨は鎌倉市指定保存樹木に認定されています。

【タイトル】 方丈

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

方丈

方丈原本是寺庙住持的住所。现在这里主要用于举办法要和对外的坐禅活动。

这座建筑也被称为“龙王殿”，供奉着一尊戴着宝冠的释迦牟尼像。简洁实用的殿阁与富丽堂皇的唐门形成了鲜明对比。来访者可以在外面的檐廊上随意行走。

方丈于1940年和建长寺总门一起从京都的般舟三昧院迁移至此，它原本是般舟三昧院的正殿，也曾一度被用作校舍。

<繁体字>

方丈

方丈原本是寺廟住持的住所，如今這裡主要用於舉辦法要和對外的坐禪活動。

這座建築也被稱為「龍王殿」，供奉著一尊戴著寶冠的釋迦牟尼像。簡潔實用的殿閣與富麗堂皇的唐門形成鮮明對比，來訪者可以在外面的簷廊上隨意行走。

方丈於1940年和建長寺總門一起從京都的般舟三昧院遷移至此，它原本是般舟三昧院的正殿，也曾一度被用作校舍。

<日本語仮訳>

方丈

方丈は、かつては住職の住居でした。現在は法要や一般向けの座禅会などに使用されています。

龍王殿とも呼ばれるこの建物には、宝冠釈迦如来像が安置されています。唐門の豪華さとは対照的に、方丈はシンプルで機能的な建造物です。訪問者は縁側を歩いて回ることができます。

方丈は総門と同じく、1940年に京都の般舟三昧院から建長寺に移築されました。かつては般舟三昧院の本堂であり、校舎としても使われていたこともありました。

【タイトル】 方丈

【想定媒体】 看板

<簡体字>

方丈

方丈，原本是寺庙住持的住所。现在，这里主要用于举办法要和对外的坐禅活动。这座简洁实用的殿阁与富丽堂皇的唐门形成了鲜明对比。

方丈曾经是京都般舟三昧院的正殿，1940 年迁移至建长寺。来访者可以在檐廊上随意行走，那里是观赏后方庭园的绝佳位置。

<繁体字>

方丈

方丈，原本是寺廟住持的住所，如今這裡主要用於舉辦法要和對外的坐禪活動。這座簡潔實用的殿閣與富麗堂皇的唐門形成了鮮明對比。

方丈曾經是京都般舟三昧院的正殿，1940 年遷移至建長寺。來訪者可以在簷廊上隨意行走，那裡是觀賞後方庭園的絕佳位置。

<日本語仮訳>

方丈

方丈は、かつては寺の住職の住居でした。現在ここでは法要や一般向けの座禅会などが行われています。シンプルな建造物で、唐門の豪華さとは対照的です。

この方丈は、本堂として使用されていた京都の般舟三昧院から 1940 年に建長寺に移築されたものです。訪問者は縁側を歩いて回ることができ、奥の庭園を眺めるのに絶好の場所です。

【タイトル】 方丈庭園

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

方丈庭園

站在方丈の檐廊上，就能看到后面的方丈庭园。相传这个美丽的庭园由建长寺创立之初由开山住持兰溪道隆(1213-1278)亲自设计，是寺庙接待贵宾的地方。位于庭院中心的池塘名为“蘸碧池”，据说形状与汉字“心”的字形十分相似。

葱郁的草坪，起伏的低丘，简单的布局，宁静的氛围，庭园里的一切都是禅宗审美的体现。为纪念建长寺创立 750 周年，庭园曾在 2003 年进行整修，目前已被指定为国家名胜。

<繁体字>

方丈庭園

站在方丈的簷廊上，就能看見後面的方丈庭園，相傳這座美麗的庭園是建長寺創立之初由開山住持蘭溪道隆（1213-1278）親自設計，被寺廟用於作為接待貴賓的場所。位於庭院中心的池塘名為「蘸碧池」，據說形狀與漢字「心」的字形十分相似。

蔥鬱的草坪，起伏的低丘，簡單的佈局，寧靜的氛圍，庭園裡的一切都是禪宗美學的體現，為紀念建長寺創立 750 週年，庭園在 2003 年進行整修，目前已被指定為國家名勝。

<日本語仮訳>

方丈庭園

方丈庭園は方丈の裏手にあり、縁側から眺めることができます。庭園は建長寺開山の蘭溪道隆（1213-1278）が創建時に造られたとされています。ここは貴賓を迎える庭園であり、その中心には蘸碧池と呼ばれる池があります。池の形は「心」という漢字を模しているとも言われています。

庭園には緑豊かな芝生がなだらかに広がり、シンプルな配置と落ち着いた雰囲気は禅の美学を表現しています。2003年に建長寺創建750年を記念して改修され、国の名勝に指定されています。

【タイトル】 方丈庭園

【想定媒体】 看板

<簡体字>

方丈庭園

相传，方丈庭园于建长寺创立之初，由开山住持兰溪道隆(1213-1278)设计。简单的布局，宁静的氛围，庭园里的一切都代表着禅宗审美。庭院中心的池塘名为“蘸碧池”，据说它的形状与汉字“心”十分相似。

2003年，寺庙为纪念建长寺创立750周年而对庭园进行了整修，庭园也被指定为国家名胜。

<繁体字>

方丈庭園

相傳，方丈庭園於建長寺創立之初，由開山住持蘭溪道隆（1213-1278）設計。簡單的佈局、寧靜的氛圍，庭園裡的一切都代表著禪宗審美。庭院中心的池塘名為「蘸碧池」，據說池塘的形狀與漢字「心」十分相似。

2003年，寺廟為紀念建長寺創立750週年而對庭園進行了整修，庭園也被指定為國家名勝。

<日本語仮訳>

方丈庭園

方丈庭園は、建長寺開山の蘭溪道隆（1213-1278）が創建の際に造られたとされています。庭園のシンプルな配置と落ち着いた雰囲気は、禅の美学を表現しています。庭園の中心にある池は蘸碧池と呼ばれ、その形は「心」という漢字を模しているとも言われています。

庭園は2003年に建長寺創建750年を記念して改修され、国の名勝に指定されています。

【タイトル】 総門（正門）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

总门（正门）

总门是建长寺的正门。建长寺的伽蓝布局完全承袭自南宋五山，以南宋首都杭州的径山万寿禅寺为蓝本。寺院的总门、三门、佛殿、法堂、方丈等主要建筑都沿着南北中轴线而建，这也是禅宗寺庙的典型格局。在经过 14 和 15 世纪的数次火灾后，寺庙重建时依然保持了原始布局。

现在的总门于 1783 年建于京都般舟三昧院，1940 年和方丈一起迁至建长寺。因建长寺全称“巨福山建长兴国寺”，总门也被称为“巨福门”。总门顶部木匾上“巨福山”（建长寺的山号）三个大字，意为带来巨大福报的寺院。书写这三个字的是建长寺第十代住持、来自中国浙江的高僧，一山一宁禅师(1247-1317)。匾上的“巨”字多了一点，据说是当时禅师挥毫气势极盛，便在最后添上了这凝聚百贯之力（日本古代重量单位，一贯约 3.75 公斤）的一点，因此它也被称为“百贯点”。

从总门到三门的大道两旁种满了樱花树。春天，繁枝拱卫，形成一条粉色樱花隧道，下面则开满五颜六色的牡丹。总门如同画框一般，尽纳这美妙的场景，使得这里也成为了摄影爱好者钟爱的热门地。

<繁体字>

總門（正門）

總門是建長寺的正門，建長寺的伽藍佈局完全承襲自南宋五山，以南宋首都杭州的徑山萬壽禪寺為藍本，寺院總門、三門、佛殿、法堂、方丈等主要建築都沿著南北中軸線而建，這也是禪宗寺廟的典型佈局。經歷 14 和 15 世紀的數次火災後，寺廟重建但原始佈局從未改變。

現在的總門於 1783 年建於京都般舟三昧院，1940 年和方丈一起遷至建長寺。因建長寺全稱「巨福山建長興國寺」，總門也被稱為「巨福門」，總門頂部木匾上書「巨福山」（建長寺的山號）三個大字，意為帶來巨大福報的寺院。書寫這三個字的是建長寺第十代住持、來自中國浙江的高僧，一山一寧禪師（1247-1317）。匾上的「巨」字多了一點，據說是當時禪師揮毫氣勢極盛，便是最後添上了這凝聚百貫之力（日本古代重量單位，一貫

約 3.75 公斤) の一點，因此也被稱為「百貫點」。

從總門到三門的大道兩邊種滿了櫻花樹，春天枝繁葉茂，形成一條粉色櫻花隧道，下面則開滿五顏六色的牡丹，總門如同畫框一般盡納這美妙的場景，使得這裡成為了攝影愛好者鍾愛的熱門之地。

<日本語仮訳>

総門（正門）

総門は、建長寺の正面玄関にあたります。総門を含めた建物の配置は、中国南宋の首都・中国杭州にある五山第一の径山万寿禅寺を模して造られたものです。禅宗の寺の典型的な様式に倣って、ほぼ北から南に総門、三門、仏殿、法堂、方丈の5つの主な建造物が一列に配置されています。14世紀から15世紀にかけて寺は何度も火事に見舞われましたが、再建の際にも寺の当初の配置は維持されました。

現在の総門は1783年に京都の般舟三昧院に建てられたもので、1940年に方丈とともに建長寺に移築されました。建長寺の正式名称は「巨福山建長興国寺」といい、総門は「巨福門」とも呼ばれています。門に掲げられている木製の額には、建長寺の山号である「巨福山」と書かれており、「大きな福をもたらす寺」という意味です。この書は建長寺第10代住職である中国浙江省出身の僧侶一山一寧（1247-1317）の筆によるものであり、「巨」の字が勢い余って一点加わったことで百貫の重みが増したということで「百貫点」と呼ばれています。

総門から三門にかけては、両側に桜が並ぶ舗装された参道が続いています。春になると、アーチ状に伸びた枝でピンク色の桜のトンネルのようになり、その下には色鮮やかな牡丹が咲き乱れます。総門に縁取られたこの景観は、写真家の間でも人気のスポットとなっています。

【タイトル】 総門（正門）

【想定媒体】 看板

<簡体字>

总門（正門）

总門是建長寺的正門。建長寺全稱「巨福山建長興國寺」，总門頂部的木匾上有「巨福山」（建長寺的山號）三個大字，這是來自中國浙江的建長寺第十代住持一山一寧(1247-1317)的書法作品。現存总門於 1783 年建於京都般舟三昧院，1940 年遷至建長寺。

从总門到三門的大道兩旁種滿了櫻花樹。春天，繁枝拱衛，形成粉色的櫻花隧道，下面開滿五顏六色的牡丹。立身于此，就能將盛開的櫻花和古老的建築盡數收入鏡頭。

<繁体字>

總門（正門）

總門是建長寺的正門，因建長寺全稱「巨福山建長興國寺」，總門頂部的木匾上書有「巨福山」（建長寺的山號）三個大字，這是來自中國浙江的建長寺第十代住持一山一寧（1247-1317）的書法作品。現存總門於 1783 年建於京都般舟三昧院，1940 年遷至建長寺。

從總門到三門的大道兩邊種滿了櫻花樹，春天枝繁葉茂，形成粉色的櫻花隧道，下面則是開滿五顏六色的牡丹，站在總門就能將盛開的櫻花和古老的建築盡數收入鏡頭。

<日本語仮訳>

総門（正門）

総門は、建長寺の正面玄関にあたります。建長寺の正式名称は「巨福山建長興国寺」といい、門に掲げられている木製の額には、建長寺の山号である「巨福山」と書かれています。この書は、建長寺第10代住職である中国浙江省出身の僧侶一山一寧（1247-1317）の筆によるものです。この門は元々、1783年に京都の般舟三昧院に建てられたもので、1940年に建長寺に移築されました。

総門から三門に至る参道には桜が並んでいます。春になると、アーチ状に伸びた桜の枝がピンクに咲き誇るトンネルのようになり、その下には色鮮やかな牡丹が咲き乱れます。総門が切り取る桜と建造物の景観は見事です。

【タイトル】 地藏菩薩坐像

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

地藏菩薩坐像

建长寺供奉的本尊是地藏菩萨，梵文称“乞叉底蘘沙(Ksitigarbha)”。地藏菩萨发愿“地狱不空，誓不成佛，众生度尽，方证菩提。”在日本，地藏菩萨经常被描绘成一位僧人，人们认为他是慈悲的神灵，也是旅行者和儿童的保护神。

地藏菩萨是日本最受欢迎的菩萨之一，通常以戴着红色帽子和围兜的小雕像出现，常见于墓地和路边。虽然许多寺庙都有小地藏像，但大型寺庙很少把地藏菩萨作为本尊佛供奉。地藏菩萨在本地区的历史可以追溯到建长寺创建之前。

1253 年建寺之前，这片现在属于寺院的区域曾经是刑场。人们在这里供奉地藏菩萨像，为被处决者的亡灵祈祷。建长寺建成后，僧侣们就继续肩负了这一使命。

殿阁中的地藏菩萨木雕像于 15 世纪雕刻而成，高约 2.4 米（连底座约 4.8 米）。佛像右手执锡杖，左手托如意宝珠。

大家可以自由参拜地藏菩萨，只需“合掌一礼”——胸前合掌再鞠躬，然后向菩萨祈愿。如果想供奉，把香火钱投入赛钱箱（功德箱）中即可。

<繁体字>

地藏菩薩坐像

建長寺供奉的本尊是地藏菩薩，梵文稱「乞叉底蘘沙 (Ksitigarbha)」，地藏菩薩發願「地獄不空，誓不成佛，眾生度盡，方證菩提。」在日本，地藏菩薩經常被描繪成一位僧人，人們認為祂是慈悲的神靈，也是旅行者和兒童的保護神。

地藏菩薩是日本最受歡迎的菩薩之一，通常以穿戴紅色帽子和圍兜的小雕像出現，常見於墓地或路邊。雖然許多寺廟都有小地藏像，但大型寺廟很少會把地藏菩薩作為本尊佛供奉，地藏菩薩在當地區的歷史可以追溯到建長寺創建之前。

1253 年建寺之前，這片現在屬於寺院的區域曾經是刑場，人們在這裡供奉地藏菩薩像，為被處決者的亡靈祈禱，在建長寺建成後，僧侶們就繼續肩負起這一使命。

殿閣中的地藏菩薩木雕像於 15 世紀雕刻而成，高約 2.4 公尺（連底座約 4.8 公尺），佛像右手執錫杖，左手托如意寶珠。

大家可以自由參拜地藏菩薩，只需「合掌一禮」——胸前合掌再鞠躬，然後向菩薩祈願。如果想供奉，把香火錢投入賽錢箱（功德箱）中即可。

<日本語仮訳>

地藏菩薩坐像

建長寺の本尊はサンスクリット語でクシティガルバとして知られる地藏菩薩です。地藏菩薩は「他者を救うために自らの悟りを後回しにしている者のことであり、地藏は冥界で苦しむ魂たちがいなくなるまでは完全な悟りを開かない」を誓ったとされます。日本では地藏はよく僧として描かれており、慈悲深い仏であり、旅人や子供たちの守護者であると考えられています。

地藏は日本で最も人気のある仏のひとつであり、赤い頭巾とよだれ掛けを身につけた小さな像として現れるのが一般的で、お墓や道端によく見られます。しかし、寺の多くには小さな地藏の像があるものの、地藏が大きな寺の本尊となるのは珍しいことです。この地域における地藏の存在は建長寺の建立前まで遡ります。

1253年に建立される以前、建長寺の所有する土地の一面は処刑場でした。そこには処刑された者たちの魂のために、人々が地藏にお祈りできるように地藏の像が祀られていました。建長寺が建立されると、僧たちがその使命を引き継いだのです。

この木像は15世紀に造られたもので、高さはおよそ2.4メートル（台座を含めると約4.8メートル）あります。地藏像は右手には錫の杖を、左手には如意宝珠を持っています。

どなたでも地藏へとお祈りを捧げることができます。参拝者はただ手を合わせ、深く頭を下げ、それから自分にとって重要なもののかを考えます。また、任意で木の賽錢箱にお金を寄付することもできます。

【タイトル】 地藏菩薩坐像

【想定媒体】 看板

<簡体字>

地藏菩薩坐像

建長寺所奉本尊地藏菩薩の木雕像於 15 世紀雕刻而成。地藏菩薩經常被描繪成一位僧人，發願「地獄不空，誓不成佛」。人們認為他是慈悲的神靈，也是旅行者和兒童的保護神。

地藏菩薩通常以戴著紅色帽子和圍兜的小雕像出現，常見於墓地或路邊，大型寺廟很少會把地藏菩薩作為本尊供奉。

1253 年建寺之前，這片現在屬於寺院的區域曾經是刑場，人們因而在此地供奉地藏菩薩像，為被處決者的亡靈祈禱，而在寺廟建成後，僧侶們就繼續肩負起這一使命。

參拜地藏菩薩只需「合掌一禮」——胸前合掌再鞠躬，然後向菩薩祈願。如果想供奉，把香火錢投入賽錢箱（功德箱）中即可。

<繁体字>

地藏菩薩坐像

建長寺所奉本尊地藏菩薩の木雕像於 15 世紀雕刻而成，地藏菩薩經常被描繪成一位僧人，發願「地獄不空，誓不成佛」。人們認為祂是位慈悲的神靈，也是旅行者和兒童的保護神。

地藏菩薩通常以戴著紅色帽子和圍兜的小雕像出現，常見於墓地或路邊，大型寺廟很少會把地藏菩薩作為本尊供奉。

1253 年建寺之前，這片現在屬於寺院的區域曾經是刑場，人們因而在此地供奉地藏菩薩像，為被處決者的亡靈祈禱，而在寺廟建成後，僧侶們就繼續肩負起這一使命。

參拜地藏菩薩只需「合掌一禮」——胸前合掌再鞠躬，然後向菩薩祈願。如果想供奉，把香火錢投入賽錢箱（功德箱）中即可。

<日本語仮訳>

地藏菩薩坐像

15 世紀に造られたこの木像は建長寺の本尊である地藏菩薩を模っています。地藏はしばしば仏

教の僧として描かれ、「冥界から苦しむ魂たちがいなくなるまで完全な悟りを開かない」と誓ったとされます。地蔵は慈悲深い仏であり、旅人や子供たちの守護者であると考えられています。

しばしば赤い頭巾とよだれ掛けを身に着けた小さな地蔵の像は日本では一般にお墓や道端によく見られます。しかし、地蔵が大きな寺の本尊になることは珍しいことです。

建長寺が 1253 年に建立される前、境内の一画は処刑場でした。処刑された者たちのためにお祈りができるように、そこには地蔵の像が祀られていました。建長寺が建立されると、僧たちがその使命を引き継ぎました。

お祈りをするためには、何か大事なもののことを考えながら、手のひらを合わせ、深く頭を下げましょう。また、木の賽銭箱へお金を任意で寄付することもできます。

【タイトル】法堂（講堂）：釈迦苦行像

【想定媒体】WEB

<簡体字>

法堂（讲堂）：释迦苦行像

须弥坛前的石雕表现了释迦牟尼成佛前断食苦行的状态。佛像身形瘦弱，闭目而坐，双腿盘起呈莲花式，凹陷的胃部和根根突出的肋骨讲述着断食之苦和释迦牟尼承担这份苦难的决心。雕像底部雕刻着 6 位正在祈祷的僧侣。

这尊释迦苦行像是复制品，原件收藏于巴基斯坦拉合尔博物馆，被认为是犍陀罗艺术的无价典范，也是巴基斯坦国宝。犍陀罗艺术融合了古希腊艺术和印度佛教艺术，在公元前 180 至前 10 年曾盛行于印度次大陆，这一时期的雕塑和艺术品经由中国和韩国流传至日本。

这尊佛像是原件的唯一官方复制品，2005 年在爱知世博会上展出后，便由巴基斯坦政府捐赠给了建长寺。这件罕见的艺术珍品体现了古希腊雕塑的写实风格对早期佛陀造像的影响。

<繁体字>

法堂（講堂）：釋迦苦行像

須彌壇前的石雕表現了釋迦牟尼成佛前斷食苦行的狀態，佛像身形瘦弱，閉目而坐，雙腿盤起呈蓮花式，凹陷的胃部和根根突出的肋骨講述著斷食之苦，以及釋迦牟尼承擔這份苦難的決心，雕像底部雕刻著 6 位正在祈禱的僧侶。

這尊釋迦苦行像是複製品，原件收藏於巴基斯坦拉合爾博物館，被認為是犍陀羅藝術的無價典範，也是巴基斯坦國寶。犍陀羅藝術融合了古希臘藝術和印度佛教藝術，西元前 180 至前 10 年曾盛行於印度次大陸，這一時期的雕塑和藝術品經由中國和韓國流傳至日本。

這尊佛像是原件的唯一官方複製品，2005 年在愛知世博會上展出後，便由巴基斯坦政府捐贈給了建長寺。這件罕見的藝術珍品體現了古希臘雕塑的寫實風格對早期佛陀造像的影響。

<日本語仮訳>

法堂（講堂）：釈迦苦行像

須弥壇の前にある石像は、釈迦牟尼が断食をしている様子を模ったものです。やせ細った姿の釈迦牟尼の像は目を閉じ、脚を蓮華座に組んで座っています。窪んだ腹と浮き出たあばら骨が断食の苦難とそれを引き受ける僧たちの決意を物語っています。お祈りをする6人の仏僧が像の台に彫り込まれています。

この像は、パキスタンのラホール博物館に収蔵されており、ガンダーラ美術の貴重な例と見なされ、パキスタンの国宝に指定されている像のレプリカです。ガンダーラ美術は古代ギリシャ芸術とインド仏教芸術が融合し、インド亜大陸で紀元前180年から紀元前10年までの間に栄えた仏教美術です。この時代の彫刻や芸術品は中国や韓国を経て日本へと辿り着きました。

こちらの像はオリジナルの像の唯一の公式なレプリカとして、2005年の愛知万博で展示された後、パキスタン政府によって建長寺へと寄贈されました。像は珍しく貴重な芸術品であり、仏陀の初期の描写に写実的な古代ギリシャ彫刻の影響があったことを示しています。

【タイトル】法堂（講堂）：釈迦苦行像

【想定媒体】看板

<簡体字>

法堂（讲堂）：释迦苦行像

这尊石雕表现了释迦牟尼成佛前断食苦行的状态，憔悴的人物细节讲述着断食之苦和释迦牟尼承受这份苦难的决心。

这尊释迦苦行像是复制品，原件是巴基斯坦国宝，被认为是犍陀罗艺术的无价典范。犍陀罗艺术融合了古希腊艺术和印度佛教艺术，公元前 180 至前 10 年曾在印度次大陆盛行。

巴基斯坦政府将这件原版的唯一官方复制品捐赠给了建长寺。这尊罕见的艺术珍品体现着古希腊雕塑写实风格对早期佛陀造像的影响。

<繁体字>

法堂（講堂）：釋迦苦行像

這尊石雕表現了釋迦牟尼成佛前斷食苦行的狀態，憔悴的身形在細緻的描繪下講述著斷食之苦，以及釋迦牟尼承受這份苦難的決心。

這尊釋迦苦行像是複製品，原件是巴基斯坦國寶，被認為是犍陀羅藝術的無價典範。犍陀羅藝術融合了古希臘藝術和印度佛教藝術，西元前 180 至前 10 年曾在印度次大陸盛行。

巴基斯坦政府將這件原版的唯一官方複製品捐贈給了建長寺。這尊罕見的藝術珍品體現著古希臘雕塑寫實風格對早期佛陀造像的影響。

<日本語仮訳>

法堂（講堂）：釈迦苦行像

こちらの石像は断食をする仏陀を模ったものです。やせ細った姿の細部が断食による試練とそれを引き受けた僧たちの決意を表しています。

この像はレプリカであり、オリジナルの像はパキスタンにあり、ガンダーラ美術の貴重な例と見なされ、パキスタンの国宝に指定されています。ガンダーラ美術は、古代ギリシャ芸術とインド仏教芸術が融合し、インド亜大陸で紀元前 180 年から紀元前 10 年までの間に栄えた仏教美術です。

こちらの像はオリジナルの唯一の公式なレプリカであり、パキスタン政府から建長寺に贈られたものです。像は珍しく貴重な芸術品であり、初期の仏陀の描写に写実的な古代ギリシャ彫刻の影響があったことを示しています。

【タイトル】 半僧坊

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

半僧坊

半僧坊供奉着守护建长寺的神道教神明“半僧坊大权现”（权现是日本佛教用语，意为佛教菩萨为普度众生而化身为神道教的神明）。1890 年，建长寺住持从静冈县方广寺将其恭迎至此。半僧坊本殿位于寺庙北缘，方丈庭园后曲折小径的尽头处，需要登上总计 250 级的台阶，徒步 15 分钟左右可达。

沿途你会看到 12 尊天狗雕像，形态各异，神情凶悍。天狗是日本神话中的妖怪之一，出没于山间，通常被描绘成红脸长鼻子，或长着喙和翅膀的形象。半僧坊的天狗是属于后者的“乌（鸦）天狗”，都是半僧坊大权现的随从。半僧坊大权现神像因在方广寺火患中丝毫未损，所以人们相信它也能保佑建长寺免遭火灾。这里还有可以盖朱印（寺院工作人员用毛笔撰写当天参拜的神佛之名和参拜日期，盖寺院红印）的窗口。

半僧坊旁的观景台可俯瞰山谷全景，在晴朗的日子里，还能看到镰仓海岸和富士山。沿着本殿另一边 180 级陡峭的台阶一路往上，即可在一个更高的观景台上把四周美景尽收眼底。

秋天，两旁层层叠叠的火红枫叶掩映着通往半僧坊的小路，美不胜收。在 6 月上旬至 7 月中旬的雨季里，路旁则有蓝色绣球花（紫阳花）恣意绽放。

<繁体字>

半僧坊

半僧坊供奉著守護建長寺的神道教神明「半僧坊大權現」（權現是日本佛教用語，意為佛教菩薩為普度眾生而化身為日本神明的形態）。1890 年，建長寺住持從靜岡縣方廣寺將其恭迎至此。半僧坊本殿位於寺廟北邊，方丈庭園後曲折小徑的盡頭處，上坡總計 250 級台階，大約要走上 15 分鐘。

途中你會看到 12 尊天狗像，形態各異，神情兇悍，天狗是日本神話中的妖怪之一，出沒於山間，通常被描繪成紅臉長鼻子，或長著喙和翅膀的形象，半僧坊的天狗是屬於後者的「烏（鴉）天狗」，都是半僧坊大權現的隨從。半僧坊大權現神像因在方廣寺火災中絲毫未損，所以人們相信這位神靈也能保佑建長寺免遭火患。這裡還有可以蓋朱印（寺院工

作人員用毛筆撰寫當天參拜的神佛之名和參拜日期，蓋上寺院紅印) 的窗口。

半僧坊旁的觀景台可以俯瞰山谷全景，在晴朗的日子裡，能夠看到鎌倉海岸和富士山。沿著本殿另一邊 180 級陡峭的台階一路往上，就可在一個更高的觀景台上把四周美景盡收眼底。

秋天兩旁層層疊疊的火紅楓葉掩映著通往半僧坊的小路，美不勝收，在 6 月上旬至 7 月中旬的雨季裡，路旁則有藍色繡球花（紫陽花）恣意綻放。

<日本語仮訳>

半僧坊

半僧坊には、建長寺の鎮守である神道の神、半僧坊大権現（権現とは、日本の仏教用語で、衆世を救うために、仏陀や菩薩が神道の神々の姿で現れることを意味します。）が祀られています。1890 年に静岡県の方広寺から運ばれてきた神です。半僧坊は、境内の北端、方丈庭園の裏を巡る小道の終点にあります。上り坂で、250 段の階段を歩くと 15 分ほどかかります。

半僧坊へと続く小道には、12 体の屈強そうな天狗像がさまざまなポーズで並んでいます。天狗とは、山に住む妖怪のような伝説の生き物です。長い鼻がある、またはくちばしと翼があるのが一般的です。半僧坊の天狗像は後者で、烏天狗です。半僧坊大権現に随行し、建長寺を火事から守るのが主な役割です。方広寺が火事になったときに、半僧坊大権現の像が損傷を免れたことから、その力があるとされています。また、半僧坊には朱印（お祈りの対象になる神仏の名前と参拝日を筆で書き、朱印を押す）をもらえる窓口もあります。

半僧坊の横には展望台があり、谷間を一望できます。晴れた日には、鎌倉の海岸や富士山を望むことができます。本殿の反対側には、180 段の急な上り階段があり、高台にある見晴らしの良い場所へと続いています。

秋には、歩道に沿った楓の見事な紅葉があり、本殿への小道は落ち葉で埋め尽くされます。6 月上旬から 7 月中旬の梅雨時には、小道沿いに青い紫陽花が咲きます。

【タイトル】 半僧坊

【想定媒体】 看板

<簡体字>

半僧坊

这里供奉着以守护建长寺免遭火患为任的神道教神明“半僧坊大权现”（权现是日本佛教用语，意为佛教菩萨为普度众生而化身为神道教的神明）。1890年，建长寺住持从静冈县方广寺将其恭迎至此。

传说半僧坊大权现形似天狗，天狗是日本神话中的妖怪，出没于山间和森林。通往神社的路上有12尊“乌（鸦）天狗”雕像，它们都是半僧坊大权现的随从。

在晴朗的日子里，从半僧坊旁的观景台可以看到镰仓海岸和富士山。神社另一边则是180级陡峭的台阶，通往更高、更好的观景点。

<繁体字>

半僧坊

這裡供奉著以守護建長寺免遭火患為己任的神道教神明「半僧坊大權現」（權現是日本佛教用語，意為佛教菩薩為普度眾生而化身為日本神明的形態）。1890年，建長寺住持從靜岡縣方廣寺將其恭迎至此。

傳說半僧坊大權現形似天狗，後者是日本神話中的妖怪，出沒於山間和森林。通往神社的路上有12尊「烏（鴉）天狗」雕像，皆是半僧坊大權現的隨從。

在晴朗的日子裡，從半僧坊旁的觀景台可以看到鎌倉海岸和富士山。神社另一邊則是180級陡峭的台階，通往更高、更好的觀景點。

<日本語仮訳>

半僧坊

建長寺には、寺を火事から守るのが主な役割である神道の神、半僧坊大権現（権現とは、日本の仏教用語で、衆世を救うために、仏陀や菩薩が神道の神々の姿で現れることを意味します。）が祀られています。1890年に静岡県の方広寺の半僧坊の霊は分けられ、建長寺に移されました。

半僧坊大権現は、山や森に棲むといわれる妖怪のような伝説の生き物である天狗の姿をしていると考えられています。本殿への道にある12体の像は、烏天狗の姿で半蔵坊大権現に随行しています。

晴れた日には、本殿横の展望台から鎌倉の海岸や富士山を眺めることができます。本殿の横には180段の急な上り階段があり、さらに見晴らしの良い場所に行くことができます。

【タイトル】 西来庵

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

西来庵

西来庵是供奉建长寺开山住持兰溪道隆(1213-1278)的塔头寺院（后世弟子为了纪念开山住持而修建的小院），也是僧人生活和学习的禅修地。西来庵由本堂、食堂、禅堂和供奉道隆的开山堂组成。这里是建长寺的禁地，普通人无法进入。

作为日本最早被冠为“禅寺”的寺院，建长寺还是修行中国宋代禅宗分支临济宗的专用道场。自 1253 年建寺以来，便始终笃行禅修。僧侣的修行至少需要三年半才能完成。他们学习禅宗经典，练习打坐冥想，并严格节制饮食、戒奢从简，坚持只吃米饭、味噌汤和腌菜等斋食。每个僧人都在禅堂里有一叠榻榻米（约 1.62 平方米）的空间，用于坐禅和睡觉。

<繁体字>

西來庵

西來庵是供奉建長寺開山住持蘭溪道隆（1213-1278）的塔頭寺院（後世弟子為了紀念開山住持而修建的小院），也是僧人生活和學習的禪修地。西來庵由本堂、食堂、禪堂和供奉道隆的開山堂組成，這裡是建長寺的禁地，普通人無法進入。

作為日本最早稱為「禪寺」的寺院，建長寺還是修行中國宋代禪宗分支臨濟宗的專用道場。自 1253 年建寺以來，便始終篤行禪修，僧侶的修行至少需要三年半才能完成，期間他們要學習禪宗經典、練習打坐冥想，並嚴格節制飲食，戒奢從簡，堅持只吃如米飯、味噌湯和醃菜等齋食。每個僧人都在禪堂裡有一疊榻榻米（約 1.62 平方公尺）的空間，用於坐禪和睡覺。

<日本語仮訳>

西来庵

西来庵は、建長寺の初代住職であった蘭溪道隆（1213-1278）に捧げられた塔頭（弟子たちが開創した僧侶を称えるため建てた小院）です。修行僧が生活して学ぶ禅の修行用の僧院としても使われています。西来庵には、本堂、食堂、禅堂、そして道隆に捧げられた開山堂があります。一

般の人は決して立ち入ることは出来ません。

建長寺は、日本最古の禅の修行用の僧院であり、日本で最初に「禅寺」と称した中国宋代風の臨済禅だけを修行する専門道場でもあります。創建された 1253 年から禅の修行が行われています。僧の修行は、終わるまでに少なくとも 3 年半かかります。修行では、禅の教本や経典を読んだり、瞑想を行ったり、米、味噌汁、そして漬物などの簡素な食材からなる厳しい食事制限を続けたりします。それぞれの僧は、禅堂で畳 1 枚（約 1.62 m²）があてがわれ、その狭いスペースで寝たり坐禅を行ったりします。

【タイトル】 西来庵

【想定媒体】 看板

<簡体字>

西来庵

西来庵は供奉建長寺開山住持蘭溪道隆(1213-1278)の塔頭寺院（后世弟子为了紀念開山住持而修建の小院），也是僧人生活和學習的禪修之地。西來庵由本堂、食堂、禪堂和供奉道隆的開山堂組成。這裡是建長寺的禁地，普通人無法進入。

僧侶的修行至少需要三年半才能完成。他們學習禪宗經典、練習打坐冥想，嚴格節制飲食、戒奢從簡，堅持只吃米飯、味噌湯和醃菜等齋食。在禪堂裡，每個僧人都只有一疊榻榻米（約 1.62 平方公尺）的空間用於坐禪和睡覺。

<繁体字>

西來庵

西來庵是供奉建長寺開山住持蘭溪道隆（1213-1278）的塔頭寺院（後世弟子為了紀念開山住持而修建の小院），也是僧人生活和學習的禪修之地。西來庵由本堂、食堂、禪堂和供奉道隆的開山堂組成，這裡是建長寺的禁地，普通人無法進入。

僧侶的修行至少需要三年半才能完成，他們學習禪宗經典、練習打坐冥想，嚴格節制飲食、戒奢從簡，堅持只吃米飯、味噌湯和醃菜等齋食。在禪堂裡，每個僧人都只有一疊榻榻米（約 1.62 平方公尺）的空間用於坐禪和睡覺。

<日本語仮訳>

西来庵

西来庵は、建長寺の初代住職である蘭溪道隆（1213–1278）に捧げられた塔頭（弟子たちが開創した住職を称えるため建てた小院）です。修行僧が生活して学ぶ禪の修行用の僧院としても使われています。西来庵には僧院の本堂、食堂、禪堂、そして道隆に捧げられた開山堂があります。一般の人は決して立ち入ることが出来ません。

僧の修行は、終わるまでに少なくとも3年半かかります。修行では、禪の教本を読んだり、瞑想を行ったり、米、味噌汁、そして漬物からなる厳しい食事制限を続けたりします。禪堂は寝たり坐禅を行ったりするのに使われ、それぞれの僧には畳1枚（約1.62㎡）があてがわれます。

【タイトル】 天井画「雲龍図」

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

天井画《云龙图》

建長寺天花板上的傳統水墨畫《雲龍圖》完成於2003年，出自著名畫家兼陶藝家小泉淳作(1924-2012)之手，為紀念寺廟創建750週年而繪製。小泉以畫龍聞名，另一代表作是京都建仁寺法堂的天井畫《雙龍圖》。

畫中描繪的是神話中可以行雲布雨的雲龍。寺廟住持在法堂中講經論道，便好似灑下智慧法雨（佛法）。雨水從天而降，只是聽者尋求悟道難免也如捕捉雨點般不易。

水墨的黑白配色與法堂裡的彩色經幢形成了鮮明對比，雲龍氣勢洶洶的表情能夠瞬間吸引眾人關注，無論來訪者身在法堂的哪個位置，仿佛都逃離不了雲龍咄咄逼人的目光。

<繁体字>

天井畫《雲龍圖》

建長寺天花板上的傳統水墨畫《雲龍圖》完成於2003年，出自著名畫家兼陶藝家小泉淳作(1924-2012)之手，為紀念寺廟創建750週年而繪製。小泉以畫龍聞名，另一代表作是京都建仁寺法堂的天井畫《雙龍圖》。

畫中描繪的是神話中可以行雲布雨的雲龍，寺廟住持在法堂中講經論道，便好似灑下智慧法雨（佛法）。雨水從天而降，只是聽者尋求悟道難免也如捕捉雨點般不易。

水墨的黑白配色與法堂裡的彩色經幢形成了鮮明對比，雲龍氣勢洶洶的表情能夠瞬間吸引眾人關注，無論來訪者身在法堂的哪個位置，仿佛都逃離不了雲龍咄咄逼人的目光。

<日本語仮訳>

天井画「雲龍図」

天井に描かれた伝統的な墨絵は、建長寺開創750年を記念して2003年に完成した有名な画家・陶芸家の小泉淳作（1924-2012）の作品です。小泉は、京都の建仁寺の法堂の天井に描いた「双龍図」などの龍の絵で知られています。

建長寺の絵は、雨をもたらす雲龍という神話の龍を描いています。この雨は、かつて建長寺の住職が法堂で説教をしたことにちなんでいます。知恵の「法雨」（仏教の教義）と言われ、その知恵に従う

ことは、雨粒を捕まえるのと同じくらい難しいのかもしれない。

白と黒の配色が、堂内の色鮮やかな幟とのコントラストを際立たせ、龍の獰猛な表情が目を引きま
す。龍の目は、あなたが法堂のどこにいても、あなたを直視しているように見えます。

【タイトル】 天井画「雲龍図」

【想定媒体】 看板

<簡体字>

天井画《云龙图》

建长寺天花板上的传统水墨画《云龙图》完成于 2003 年，时值建寺 750 周年。画作出自著名画家兼陶艺家小泉淳作(1924-2012)之手，他以画龙而闻名，另一代表作是京都建仁寺法堂的天井画《双龙图》。

画中描绘的是神话中可以带来雨水的云龙。寺庙住持在法堂中讲经论道，便好似洒播智慧法雨（佛法）。雨水天降，只是悟道或许也如同捕捉雨点一般困难。

来到法堂，不妨留意云龙的双眼——无论你身在哪个位置，仿佛都逃离不了它咄咄逼人的目光。

<繁体字>

天井畫《雲龍圖》

建長寺天花板上的傳統水墨畫《雲龍圖》完成於 2003 年，畫作旨在紀念建寺 750 週年。畫作出自著名畫家兼陶藝家小泉淳作（1924-2012）之手，他以畫龍而聞名，另一代表作是京都建仁寺法堂的天井畫《雙龍圖》。

畫中描繪的是神話中可以帶來雨水的雲龍，寺廟住持在法堂中講經論道，便好似灑下智慧法雨（佛法），雨水天降，只是悟道或許也如同捕捉雨點一般困難。

來到法堂不妨留意雲龍的雙眼，無論你身處哪個位置，仿佛都逃離不了它咄咄逼人的目光。

<日本語仮訳>

天井画「雲龍図」

天井に描かれた伝統的な墨絵は、建長寺開創 750 年を記念して 2003 年に完成した有名な画家・陶芸家の小泉淳作（1924-2012）の作品です。小泉は、京都の建仁寺の法堂の天井に描いた「双龍図」などの龍の絵で知られています。

建長寺の絵は、雨をもたらす雲龍という神話の龍を描いています。この雨は、住職がここで説教をし

たことにちなんです。知恵の「法雨」（仏教の教義）と言われ、その知恵を得ることは雨粒を捕まえるのと同じくらい難しいのかもしれない。

龍の目は、あなたが法堂のどこにいても、あなたを直視しているように見えます。法堂を訪れる際には、是非注目してみてください。

| | | | |
|------|-----|------|----------|
| 地域番号 | 003 | 協議会名 | 宗教法人 報国寺 |
|------|-----|------|----------|

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|--------------|--------|--------|
| 003-001 | 鐘楼 | 360 | WEB |
| 003-002 | 鐘楼 | 75 | パンフレット |
| 003-003 | 迦葉堂 | 425 | WEB |
| 003-004 | 迦葉堂 | 75 | パンフレット |
| 003-005 | 竹林 | 325 | WEB |
| 003-006 | 竹林 | 105 | パンフレット |
| 003-007 | 茶室 | 360 | WEB |
| 003-008 | 茶室 | 40 | パンフレット |
| 003-009 | やぐら：足利家の墓 | 435 | WEB |
| 003-010 | やぐら：足利家の墓 | 85 | パンフレット |
| 003-011 | 報国寺の紹介 | 560 | WEB |
| 003-012 | 報国寺をめぐる散策コース | 490 | WEB |

【タイトル】 鐘楼

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**钟楼**

报国寺的钟楼位于本堂（正殿）前方，是寺内唯一一座传统茅葺建筑。本堂原本也是茅草顶，但1923年的关东大地震摧毁了包括本堂在内的大部分寺庙建筑。寺庙重建时，本堂便换上了瓦片屋顶，唯有钟楼除了在其人字形屋顶最上端铺了数排瓦片之外，依然保留了茅草顶，通过它可以想像本堂旧时的模样。

寺内的梵钟在二战期间被征用熔化，战后重新铸造了新钟。依照传统，敲响梵钟是为了提示每天的修行时间，但由于报国寺周边已成为居民区，现在钟声只在特殊场合响起。比如在辞旧迎新的仪式中，梵钟会在午夜敲响108下。佛教认为世人遭受着108种欲望之苦，钟声会把这些烦恼一一消除，让新的一年有一个崭新的开始。

在钟楼边上的寺庙墓地里有一棵银杏树，据传树龄已有300年。每到秋天，它明亮金黄的叶子就会铺满地面。春天，周遭盛开的樱花和杜鹃花则将整片区域笼上粉红的色调。

<繁体字>**鐘樓**

報國寺的鐘樓位於本堂（正殿）前方，是寺內唯一一座傳統茅葺建築。本堂原本也是茅草屋頂，但1923年的關東大地震摧毀了包括本堂在內大部分寺廟建築，寺廟重建時，本堂換上了瓦片屋頂，唯有鐘樓除了在其人字形屋頂尖端鋪了數排瓦片之外，茅草頂猶存，透過茅草屋頂可以想像本堂重建前的模樣。

寺內梵鐘在二戰期間被徵用融化，於戰後又鑄造了新鐘。依照傳統，敲響梵鐘是為了提醒每天的修行時間，但由於報國寺周邊已成為住宅區，現在鐘聲只在特殊場合響起。比如在慶祝新年的儀式中，梵鐘會於午夜敲響108下。佛教認為這象徵人遭受著108種慾望之苦，而鐘聲會把這些煩惱一一消除，讓新的一年有一個嶄新的開始。

在鐘樓旁邊的寺廟墓地裡有一棵銀杏樹，據說樹齡已有300年，每到秋天明亮金黃的葉子就會鋪滿地面。時序來到春天，周遭盛開的櫻花和杜鵑花則將這片區域整個染上粉紅色調。

<日本語仮訳>

鐘楼

報国寺の本堂の正面に位置する鐘楼は、寺の境内で唯一伝統的な藁葺き屋根を持つ建造物です。本堂も以前は藁葺き屋根でしたが、1923年の関東大震災で本堂を含めて寺のほとんどの建造物が倒壊してしまいました。その後の寺の再建時に、本堂は瓦屋根となりました。しかし、特徴的なアーチを描き最上部には何列か瓦が配されている鐘楼の藁葺き屋根を見れば、本堂の元々の屋根がどのような外観であったのかを窺い知ることができます。

報国寺の鐘は第2次世界大戦中に接收されて溶かされてしまいましたが、戦後新たな鐘が铸造されました。この鐘は伝統的には、1日を通して仏教のお勤めの時間を知らせるために使われていましたが、報国寺の周辺が住宅地となったことから、今では特別な機会にのみ鳴らされています。例えば、新年を迎える儀式では、真夜中に108回鳴らされます。これは、仏教において人間が抱えていると信じられている108の煩惱に対応しており、新年を新鮮な気持ちで迎えるためのものです。

鐘楼の隣にある報国寺の墓地には、樹齢300年と考えられているイチョウの木が生えています。秋になると、鮮やかな黄色の落ち葉が地面に絨毯のように広がります。春には、近くの桜やツツジが咲いて、一帯をピンク色に彩ります。

【タイトル】 鐘楼

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

钟楼

报国寺的钟楼是寺内唯一一座传统茅葺建筑，只要仰望它的茅草屋顶，就可以想像本堂（正殿）旧时的模样。寺内的梵钟在二战期间被熔化，现在的大钟于战后新铸。

<繁体字>

鐘樓

報國寺的鐘樓是寺內唯一一座傳統茅葺建築，只要仰望鐘樓的茅草屋頂，就可以想像本堂（正殿）重建前的模樣。寺內梵鐘在二戰期間被融化，現在的大鐘於戰後重新鑄造。

<日本語仮訳>

鐘楼

鐘楼は報国寺で唯一伝統的な葺き屋根を持つ建造物です。鐘楼の葺き屋根を見れば、本堂の屋根が元々どのような外観であったのかを窺い知ることができます。現在の鐘は、第2次世界大戦中に溶かされた鐘にかわって鑄造されたものです。

【タイトル】 迦葉堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

迦叶堂

迦叶堂位于本堂（正殿）旁，共两层，是报国寺第二主要的建筑，一般不对外开放。楼上是客厅，楼下用于坐禅冥想和举办佛教法事。

每周日早上，迦叶堂的一楼都有坐禅会，任何人都可以参加，坐禅会用日语进行，对没有经验的人来说或许相当有挑战性。参加者和僧人都必须长时间坐或跪在地板上的薄垫子上打坐静思。墙上的木牌上写着定期参与者的名字，其中一些人已经坚持 50 年之久。

迦叶堂内供奉着两尊雕像。一尊是寺庙的创始人天岸慧广(1273-1335)坐在椅子上的木制雕像，雕刻精美且细致入微，光滑的轮廓令它看起来更像是粘土而不是木头。它的历史可以追溯到 1347 年，并在 1923 年将寺庙许多建筑夷平的关东大地震中幸存下来。旁边一尊是身着飘逸红蓝长袍的迦叶尊者，原件是著名佛像雕塑家宅间法眼的作品，但在 1800 年被焚毁，现在这尊为复制品。

迦叶堂后面有一座小庭园，被认为出自天岸慧广的设计。这是一个典型的枯山水禅宗庭园，锦鲤游于池中，小溪流淌，四下绿树成荫，后有寺院竹林。

<繁体字>

迦葉堂

迦葉堂位於本堂（正殿）旁，共有兩層，是報國寺的第二大主要建築，一般不對外開放。二樓是客廳，一樓用於坐禪冥想和舉辦佛教法事。

每週日早上迦葉堂的一樓都有坐禪會，任何人都可以參加，坐禪會是以日語說明，對沒有經驗的訪客或許有一定程度的挑戰性。參與者和僧人都必須長時間坐或跪在地上的薄坐墊上打坐靜思。牆上的木牌上寫著定期參與者的名字，其中一些人已經堅持 50 年之久。

迦葉堂內供奉著兩尊雕像，一尊是寺廟的創始人天岸慧廣（1273-1335）坐在椅子上的木製雕像，雕刻精美且細緻入微，光滑的輪廓令雕像看起來更像是黏土而不是木頭製成。雕像的歷史可以追溯到 1347 年，並在 1923 年將寺廟許多建築夷平的關東大地震中倖存下來。旁邊一尊是身著飄逸紅藍長袍的迦葉尊者，原件是著名佛像雕塑家宅間法眼的作品，但在 1800 年被焚毀，現在這尊為複製品。

迦葉堂後面有一座小庭園，被認為出自天岸慧廣的設計。這是一個典型的枯山水禪宗庭園，錦鯉游於池中，小溪流淌，四下綠樹成蔭，後有寺院竹林。

<日本語仮訳>

迦葉堂

本堂の隣にある 2 階建ての迦葉堂は、報国寺で 2 番目に主要な建物です。通常は一般公開されていません。上の階は応接間で、下の階は座禅や法要に用いられます。

毎週日曜日の朝には、迦葉堂の 1 階で座禅会が行われます。誰でも参加できますが、指導は日本語で行われ、知識のない参加者にとっては中々チャレンジなものとなるでしょう。受講者と僧は、床に薄い座布団を敷いて長時間座ったりひざまじたりして、静かに瞑想を行わなければなりません。壁には定期参加する人の名前を記した木の札がかけられ、その中には 50 年にもわたって報国寺に瞑想しに来ている人もいます。

迦葉堂正面の内陣には 2 体の像が祀られています。1 体は、報国寺を開山した僧である天岸慧広（1273–1335）が椅子に腰掛けた、極めて精緻な木像です。この像は凹凸が滑らかなので、木材ではなく粘土できているように見えます。1347 年に制作され、寺のお堂の多くが倒壊した 1923 年の関東大震災を生き延びました。その隣には、流れるような赤と青のローブを身にまとった迦葉像があります。これは複製で、オリジナルは有名な仏像作家の宅間法眼の作品でしたが、1800 年に焼失しました。

迦葉堂の裏には小さな庭があり、これは天岸慧広による設計であると考えられています。典型的な禪の枯山水で、鯉のいる池と小川があり、木々や報国寺の竹林に取り囲まれています。

003-004

宗教法人 報国寺

【タイトル】 迦葉堂

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

迦叶堂

毎周日早上，迦叶堂都会举办坐禅会。这里供奉着一尊寺庙创始人天岸慧广(1273–1335)的雕像，其历史可以追溯到 1347 年。迦叶堂一般不对外开放。

<繁体字>

迦葉堂

每週日早上迦葉堂都會舉辦坐禪會。這裡供奉著一尊寺廟創始人天岸慧廣（1273–1335）的雕像，其歷史可以追溯到 1347 年。迦葉堂一般不對外開放。

<日本語仮訳>

迦葉堂

ここでは毎週日曜日の朝に座禅会が行われています。迦葉堂には、開山した僧である天岸慧広（1273–1335）をかたどった 1347 年制作の像が安置されています。迦葉堂は通常は一般公開されていません。

【タイトル】 竹林

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**竹林**

報国寺因其竹林而远近闻名。竹林的历史可以追溯到江户时代(1603-1867)中期，这里曾经是为报国寺开山住持天岸慧广(1273-1335)修建的分寺——休耕庵，慧广晚年的大部分时间都在这里坐禅、阅读和作诗。竹林里大约有 2000 棵竹子，多为生长最快的毛竹。毛竹在日本被称为孟宗竹，出自中国《二十四孝》故事中“哭竹生笋”的主人公孟宗，他因在冬天为病重的母亲挖笋而孝感天地。毛竹也是最坚硬的竹子，可用来制作篮子等日常用品。

竹林是个幽静的地方，来访者可以漫步其中，享受斑驳的阳光和微风拂动竹叶的沙沙声响。竹林中有一间茶室，设计初衷是为人们提供一个宁静放松的空间。两条小径穿过竹林在茶室前交会，石灯笼和布满苔藓的雕像在林中随处可见。进入竹林需购买小额门票。

<繁体字>**竹林**

報國寺因其竹林而遠近聞名，竹林的種植始於江戶時代（1603-1867）中期，位於休耕庵的遺址之上。休耕庵是為報國寺開山住持天岸慧廣（1273-1335）建造的分寺，慧廣晚年大部分時間都在寺中打坐、閱讀和作詩。竹林裡大約有 2000 棵竹子，多為生長最快的毛竹。毛竹在日本被稱為孟宗竹，出自中國《二十四孝》故事「哭竹生筍」的主人公孟宗，他因在冬天為病重的母親挖筍而孝感天地。毛竹也是最堅硬的竹子，可用來製作籃子等日常用品。

竹林是個幽靜的地方，參觀者可以漫步其中，享受灑落竹林間的陽光和微風拂動竹葉的沙沙聲響。林中還有一間茶室，設計初衷是為人們提供一處寧靜放鬆的空間，兩條小徑穿過竹林於茶室前交會，石燈籠和佈滿苔蘚的雕像在林中隨處可見。進入竹林需支付小額入場費。

<日本語仮訳>**竹林**

報国寺は、竹林があることで有名です。報国寺を開山した僧である天岸慧広（1273-1335）のために建てられた脇寺である休耕庵の跡地に、江戸時代（1603-1867）半ばに竹が植えられました。晩年の慧広は、時間のほとんどをここで過ごし、坐禅を行ったり詩を読んだり書いたりしていました。竹林には約 2,000 本の竹が植わっており、その多くは最も成長が早い種類である孟宗竹です。和名「孟宗竹」は、中国の故事『二十四孝』の、冬に母親のために筍を掘り採った孝行者の孟宗にちなんだものです。孟宗竹は最も硬い竹でもあり、籠などの日用品を作るのに使われます。

竹林は静かな場所であり、参拝者は自由に散策しながら木漏れ日や風にそよめく葉の音を楽しむことができます。竹林の中には、静かにくつろげる場所として設計された茶室があります。竹林には 2 本の小径が通っており、茶室の前で交わっています。竹林のあちこちに、灯籠や苔むした像が立っています。竹林に入るには少額の入場料が必要です。

【タイトル】 竹林

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

竹林

远近闻名的竹林里大约有 2000 棵毛竹，阳光透过茂密的竹林，洒下斑驳的碎影，这里是理想的拍摄地。毛竹在日本被称为孟宗竹，出自中国《二十四孝》故事中“哭竹生笋”的主人公孟宗，他因在冬天为病重的母亲挖笋而孝感天地。

<繁体字>

竹林

遠近聞名的竹林裡大約有 2000 棵毛竹，陽光透過竹林灑下碎影，令竹林成為理想的拍攝地點。毛竹在日本被稱為孟宗竹，出自中國《二十四孝》故事中「哭竹生筍」的主人公孟宗，他因在冬天為病重的母親挖筍而孝感天地。

<日本語仮訳>

竹林

この有名な竹林には、約 2,000 本の竹が生えています。孟宗竹の木漏れ日が美しい、写真撮影に最適な竹林となっています。和名「孟宗竹」は、中国の故事『二十四孝』の、冬に母親のために筍を掘り採った孝行者の孟宗にちなんだものです。

【タイトル】 茶室

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

茶室

茶室是报国寺最新的建筑之一，它完美地融入了周边的环境，原木结构的弧形屋顶，宛如室外随风摇曳的竹子。茶室采用开放式设计，没有门窗，室内空间和庭园自然衔接。茶座均面向庭园，可将竹林景致尽收眼底。这里是静心放松、享用茶点的好地方。

这里可以享受到正统的抹茶：在陶碗中将抹茶粉溶化后搅拌出泡沫，搭配传统日式甜点一起提供。根据习惯，应先吃甜点，再品尝现沏的热抹茶。甜点是一种将糖和其他食材混合后压入木制模具中制成的和菓子，名叫“落雁”，通常带有季节元素，比如春天的“落雁”就呈樱花状。据说“落雁”的灵感出自于日本近江八景之一“坚田落雁”，而这八景又是仿造中国北宋画家宋迪所绘《潇湘八景》选定。

盛放抹茶的木托盘是当地工匠手作的“镰仓雕”，这是一种从镰仓发展起来的漆器，每一个都雕刻着独一无二的图案。进入竹林和享受抹茶需分别付费。

<繁体字>

茶室

茶室是報國寺最新的建築之一，完美地融入了環境，原木結構的弧形屋頂宛如周邊隨風輕搖的竹子。茶室採用開放式設計，沒有門窗，讓室內空間和庭園自然銜接。座位均面向庭園，可以將竹林景致盡收眼底。這裡是靜心放鬆、享用茶點的好地方。

在這裡可以享受到正統的抹茶：抹茶粉放入陶碗溶化後攪拌出泡沫，搭配傳統日式甜點一起享用。根據習慣應先吃甜點，再品嚐現場沖泡的熱抹茶。甜點是一種將糖和其他食材混合後壓入木製模具中製成的和菓子，名叫「落雁」，通常帶有季節元素，比如春天「落雁」呈櫻花狀。據說「落雁」的靈感出自於日本近江八景之一「堅田落雁」，而這八景又是仿造中國北宋畫家宋迪所繪《瀟湘八景》選定。

盛放抹茶的木托盤是當地工匠手作的「鎌倉雕」，這是一種從鎌倉發展起來的漆器，每一件都雕刻著獨一無二的圖案。進入竹林和享受抹茶需分別付費。

<日本語仮訳>

茶室

茶室は報国寺の中で最も新しい建造物の 1 つで、周囲に自然に溶け込むように設計されました。木造の屋根は曲線を描き、周囲で風に揺れる竹を表現しています。茶室は開放的な設計で、扉や窓はありません。これは、室内の空間を庭の延長であるように感じさせるためです。席は全て庭の方向を向いており、竹林のすばらしい景観を楽しめ、軽食を楽しみながら静かにくつろぐのに最適な場所です。

抹茶は伝統的な様式でふるまわれます。抹茶の粉を陶器の茶碗で溶かして泡立てたものが、和菓子と一緒に供されます。まず和菓子を食べ、それからその場で点てた温かい抹茶を飲むのが作法となっています。抹茶と一緒に提供される和菓子は「落雁」で、これは砂糖などを混ぜたものを木の型で押しかためて、春なら桜のように季節を感じさせる形にしたものです。「落雁」は、中国北宋時代の画家・宋迪が描いた「瀟湘八景」の影響を受け、日本の近江八景のひとつ「堅田落雁」がヒントになったと言われています。

抹茶を提供するのに使われる木のお盆は、地元の職人が作ったもので、鎌倉で発展した漆器である「鎌倉彫」の一例です。それぞれに特有の模様が彫り込まれています。抹茶を楽しむため、そして竹林に入るためには、別途入場券が必要です。

003-008

宗教法人 報国寺

【タイトル】 茶室

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

茶室

一边欣赏竹林景致，一边品尝抹茶和“落雁”甜点。根据习惯，先尝甜点，再品抹茶。

<繁体字>

茶室

一邊欣賞竹林景致，一邊品嚐抹茶和「落雁」甜點。根據習慣，先嘗甜點，再品抹茶。

<日本語仮訳>

茶室

落雁を添えて出された抹茶を楽しみながら、竹林を眺めましょう。まず落雁を食べて、それから抹茶を飲むのが作法となっています。

【タイトル】 やぐら：足利家の墓

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

やぐら(Yagura)：足利家族墓地

迦叶堂后面的山坡上有三个拱形洞窟叫做“Yagura”，它们开凿于崖壁上，用作墓地，里面放置了许多石碑。这种横洞式坟墓是镰仓地区特有的墓葬方式。

日本传统的坟墓，是将遗体葬入竖井式的墓穴中。相比之下，横洞式坟墓的墓穴更浅，沿洞窟地面水平延伸。每个 Yagura 里都有多个骨灰盒，墓碑则立于墓穴上方。

横洞式坟墓之所以起源于镰仓地区，很可能是因为这里缺乏平地，且周围的山丘都是凝灰质砂岩，质地较软，易于开凿。

自 1334 年建寺以来，报国寺就与拥有强大影响力的足利家族关联密切。在足利家忠实的家臣上杉重兼(?-1375)的努力下，死于政治斗争的足利家时(?-1284)之灵被供奉于这座寺庙内。报国寺建成仅仅 4 年后，家时的孙子足利尊氏(1305-1358)就成为幕府将军，建立了足利幕府(1338-1573)。足利家族的一支就此成为日本的统治者，据说，包括家时在内的一些重要家族成员都葬在此处洞窟中。

秋天，洞穴周围的日本枫树红叶灿烂，美景令人流连忘返。

<繁体字>

やぐら(Yagura)：足利家墓地

迦葉堂後面的山坡上有三個拱形洞穴被稱為「Yagura」，是在懸崖上開鑿作為墳墓之用的洞窟。裡面會放置許多石碑，這種橫洞式墳墓是鎌倉地區特有的墓葬方式。

日本傳統的墳墓，是將遺體葬入豎井式的墓穴中。相比之下，橫洞式墳墓的墓穴較淺，沿洞窟地面水平延伸。每個 Yagura 裡都放置多個骨灰罈，墓碑立於墓穴上方。

橫洞式墳墓會出現在鎌倉地區，很可能是因為這裡缺乏平地，且周邊的山丘都是凝灰質砂岩，質地較軟，易於開鑿。

自 1334 年建立以來，報國寺就和擁有強大影響力的足利家關聯密切。在足利家忠誠的家臣上杉重兼 (?-1375) 的努力下，死於政治鬥爭的足利家時 (?-1284) 的靈魂被供奉在這座寺廟內。報國寺建成僅僅 4 年後，家時的孫子足利尊氏 (1305-1358) 就成為幕府將軍，

建立了足利幕府（1338-1573），足利家這一支就此成為日本的統治者。據說，包括家時在內的一些重要家族成員都安葬於這處洞穴中。

秋天，洞穴周圍的日本楓樹紅葉轉紅，幻化為令人陶醉的美景。

<日本語仮訳>

やぐら（Yagura）：足利家の墓

迦葉堂の奥には、丘の斜面に沿って入り口がアーチ型になった 3 つの洞窟があります。これらはやぐらと呼ばれており、墓として使うために崖の斜面に掘られたものです。このような横穴状の墳墓は鎌倉地域に特有のもので、中には多くの石碑があります。

伝統的な日本の墓では、死者の遺体は縦穴に埋められます。それに対して、横穴状の墳墓の穴は浅くて洞窟の床に沿って水平に作られています。それぞれのやぐらには、火葬した遺体をおさめた複数の骨壺があります。墓の上には墓石として碑が建てられています。

横穴状の墳墓は、街に水平な土地がなかったことから、鎌倉で考案されたものと考えられています。鎌倉を囲む山や丘は柔らかい岩である凝灰質砂岩なので、埋葬のための穴を掘るのが簡単だったのです。

1334 年の開山以来、報国寺は影響力の大きな足利家と密接な関係にありました。忠誠な家来の上杉重兼（?-1375 年）の努力によって、この寺において政治闘争で亡くなった足利家時（?-1284）の魂が祀られました。家時の孫にあたる足利尊氏（1305-1358）は、報国寺の開山からわずか 4 年後に将軍となり、足利幕府（1338-1573）を打ち立てました。足利家の一部は日本の統治者となり、家時などの足利家の重要人物の何人かが、このやぐらに埋葬されていると考えられています。

秋になると、やぐらを囲む一帯のもみじが色づき息を呑むような美しさを見せてくれます。

【タイトル】 やぐら：足利家の墓

【想定媒体】 看板

<簡体字>

やぐら(Yagura)：足利家族墓地

这些人工开凿的洞穴是镰仓特有的传统坟墓。据说洞中埋葬着势力强大的足利家族的部分成员，其中包括被供奉于报国寺的足利家时(?-1284)。

<繁体字>

やぐら(Yagura)：足利家墓地

這些人工開鑿的洞穴是鎌倉特有的傳統墳墓。據說洞中埋葬著勢力龐大的足利家的部分成員，其中包括被供奉於報國寺的足利家時（?-1284）。

<日本語仮訳>

やぐら (Yagura) : 足利家の墓

これらの洞窟は人の手で掘られたもので、鎌倉に特有の伝統的な墓地です。報国寺で祀られている足利家時（?-1284）や、その他強大な権力を誇った足利家の人々がここに埋葬されていると言われています。

【タイトル】 報国寺の紹介

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

报国寺

报国寺的正式名称为“功臣山报国寺”，是一座临济宗禅寺。1334 年，为供奉足利家时(?-1284)之灵，足利家族忠实的家臣上杉重兼(?-1375)建造了这座寺庙。开山住持天岸慧广(1273-1335)曾在中国元朝学习禅宗。

大部分寺庙建筑在 1923 年的关东大地震被毁，之后才逐渐重建。今天的报国寺以竹林而闻名，林中大约有 2000 棵毛竹，还有许多石灯笼和一间茶室。这片安静的竹林位于本堂（正殿）后面，据说慧广晚年有许多时间都在这里坐禅、读诗、作诗。

寺庙入口处有一片静谧的苔藓庭园，雕像散落其中，是摄影爱好者青睐之地。寺院内种满了四季时令花卉，每个季节都能欣赏到缤纷美景。春天，樱花、杜鹃花和鸢尾花竞相开放；秋天，银杏叶化作一片金黄；冬天，茶花和梅花争奇斗艳。

报国寺是权倾一时的足利家族的家庙之一。家时的孙子足利尊氏(1305-1358)在 1338 年成为幕府将军，他所开创的足利幕府统治日本直至 1573 年。本堂后被称为“やぐら”(Yagura)的三座横洞式墓穴俯瞰着寺庙庭园，传说这些人工开凿的洞窟里埋葬着包括家时本人在内的足利家族的部分重要成员。

本堂供奉着报国寺的本尊释迦如来，坐像高 50 厘米，姿态端正庄重，颇具中国宋风。本堂边是二层楼的迦叶堂，堂内设一间客厅和一间坐禅室，后者供奉着 1347 年雕刻的慧广木像。

<繁体字>

報國寺

報國寺的正式名稱為「功臣山報國寺」，是一座臨濟宗禪寺。1334 年為供奉足利家時(?-1284)之靈，足利家忠實的家臣上杉重兼 (?-1375) 建造了這座寺廟。開山住持天岸慧廣(1273-1335) 曾在中國元朝學習禪宗。

大部分寺廟建築在 1923 年的關東大地震被毀之後才逐漸重建。今日的報國寺以竹林而聞名，林中大約有 2000 棵毛竹，還有許多石燈籠和一間茶室。這片安靜的竹林位於本堂（正殿）後面，據說慧廣晚年有許多時間都在這裡坐禪、讀詩、作詩。

寺廟入口處有一片靜謐的苔蘚庭園，雕像錯落其中，是攝影愛好者青睞之地。寺院內種滿了四時節令花卉，每季都有繽紛美景可賞。春天，櫻花、杜鵑花和鳶尾花競相開放；秋天，銀杏葉化作一片金黃；冬天，茶花和梅花爭奇鬥艷。

報國寺是權傾一時的足利家的家廟之一，家時的孫子足利尊氏（1305-1358）在 1338 年成為幕府將軍，他所開創的足利幕府統治日本直至 1573 年。本堂後被稱為「やぐら」（Yagura）的三座橫洞式墓穴俯瞰著寺廟庭園，傳說這些人工開鑿的洞窟裡埋葬著包括家時本人在內的足利家部分重要成員。

本堂供奉著報國寺的本尊釋迦如來，坐像高 50 公分，姿態端正莊重，頗具中國宋風。本堂旁邊是二層樓的迦葉堂，堂內設一間客廳和一間坐禪室，後者供奉著 1347 年雕刻的慧廣木像。

<日本語仮訳>

報国寺の紹介

報国寺、正式名称「功臣山報国寺」は、禅宗の臨済宗の寺です。開山は 1334 年で、足利家の忠誠な家来である上杉重兼（?-1375）によって、足利家時（?-1284）の魂に祈りを捧げるために開基されました。開山したのは、中国元朝で禅を学んだ日本の僧である天岸慧広（1273-1335）です。

1923 年の関東大震災によって、報国寺の建造物のほとんどが倒壊し、その後徐々に再建されました。今日、報国寺は竹林があることで最も有名です。竹林には約 2,000 本の孟宗竹が生えており、灯籠や茶室があります。本堂の裏に位置するこの静かな竹林は、慧広が晩年多くの時間を過ごして坐禅を行ったり詩を読んだり書いたりした場所とされています。

報国寺の入り口にある静かな苔庭には像が点在しており、写真愛好家に人気のスポットとなっています。寺の境内全体に、四季折々に花を咲かせる木々や植物が植えられているので、1 年中いつでも自然が織りなす美しい景観を楽しむことができます。春には、桜、ツツジ、そしてアヤメが咲きます。秋にはイチョウの葉が黄金色に染まり、冬には山茶花や梅の花を楽しめます。

報国寺は、かつて強大な権力を誇った足利家の氏寺の 1 つです。家時の孫である足利尊氏（1305-1358）は、1338 年に将軍になりました。足利幕府は 1573 年まで日本を治めました。本堂の裏から庭を見下ろしているのは 3 つの「やぐら」です。「やぐら」とは、墓地として人の手によって掘られた洞窟で、家時を含めて足利家の重要人物がここに埋葬されていると考えられています。

本堂には、報国寺の本尊である 50 センチメートルの高さの釈迦如来坐像が安置されています。端正なその姿は、中国宋風の彫刻を彷彿させます。本堂の隣にある 2 階建ての迦葉堂には、応接間と坐禅用の部屋があります。迦葉堂の坐禅室の中には、1347 年に彫られた慧広の木像が安置されています。

【タイトル】報国寺をめぐる散策コース

【想定媒体】WEB

<簡体字>

报国寺步行游览线

以下步行路线涵盖了寺庙的主要景点，来访者可以按照自己的步调任意游览。

从山门进入报国寺，沿小路前往苔藓庭园。走进纵长的庭园，仿佛置身密林深处。在小路的一个拐角处，寺庙竹林首次显露一抹身影。于小喷泉处右转，上楼梯到达本堂（正殿），这是参拜祈祷的地方。

通往本堂的小路左侧，是一座带传统茅草屋顶的钟楼。钟楼掩映在背后一棵大银杏树下，到了秋天，树叶变得金黄，景色特别迷人。

本堂左边的小楼是竹林和寺庙茶室的售票处。买票后，沿步道走到本堂后面，右转去往有池塘和洁白砾石的禅宗小庭园。上台阶，顺着小路向右走，至分岔路口继续向右，藤蔓覆盖的山坡上有3个洞窟，便是寺庙的“やぐら（Yagura，横洞式坟墓）”。

回到小路分岔口，向另一边的竹林方向走，会经过长满青苔的石塔。进入竹林后，沿着石板小路走到茶室，可选择停下来喝茶吃点心。

离开茶室，顺右边小路穿过竹林，有台阶连接回到本堂前的小路。在本堂外走左边的步道，会经过一棵大樱花树，循着小石阶可以回到苔藓庭园和山门处。在石阶底部向左看，就是两层楼的迦叶堂，它的一楼是坐禅室。高低不平的石板小路与山门前的步道汇合，完成报国寺的环线游览。

<繁体字>

報國寺步行遊覽路線

以下步行路線涵蓋了寺廟的主要景點，遊客可以按照自己的步調任意遊覽。

從山門進入報國寺，沿小路前往苔蘚庭園。走進長條形的庭園，彷彿置身密林。在小路的一個彎角處，寺廟竹林首次顯露出一抹身影。於小噴泉處右轉，上樓梯到達本堂（正殿），就是參拜祈禱的地方。

通往本堂的小路左側是有著傳統茅草屋頂的鐘樓，鐘樓掩映在背後一棵大銀杏樹下，到了秋天，樹葉轉為金黃時的景色特別迷人。

本堂左邊の小樓是竹林和寺廟茶室的售票處。購票後，沿步道走到本堂後面，右轉前往有池塘和潔白礫石的禪宗小庭園。走上臺階，順著小路向右走，至分岔路口繼續向右，藤蔓覆蓋的山坡上有 3 個洞穴，便是寺廟的「やぐら」（Yagura，橫洞式墳墓）。

回到小路分岔口，向另一邊的竹林方向走，會經過長滿青苔的石塔。進入竹林後，沿著石板小路走到茶室，可選擇停下來喝茶吃點心。

離開茶室，取道右邊小路穿過竹林，有臺階連接回到本堂前的小路。本堂外向左邊延伸的小路，會經過一棵大櫻花樹，循著小石階可以回到苔蘚庭園和山門處。在石階底部向左看，就是兩層樓的迦葉堂，其一樓為坐禪室。高低不平的石頭小路與山門前的步道匯合，完成報國寺的環狀遊覽路線。

<日本語仮訳>

報国寺をめぐる散策コース

以下の散策コースをめぐる、報国寺の主な見所を全て、自分のペースで楽しめます。

参拝者は山門を通過して報国寺に入り、そのまま順路に沿って苔庭を進みます。この長い庭は、森の奥深くに立ち入っていくような感覚を与えます。順路に沿って曲がると初めて、寺の竹林が姿を現します。小さな噴水のところで右に曲がって階段を上ると本堂に到着し、参拝者はここで祈りを捧げることができます。

本堂につながる順路の左には、伝統的な藁葺き屋根の鐘楼があります。その後ろには大きなイチョウの木が生えており、鐘楼に影を落としています。秋にはイチョウの葉が黄金色に染まり、特に美しい景観を楽しむことが可能です。

本堂の左にある小さな建物は、竹林と報国寺の茶室への入場券の券売所になっています。ここで入場券を購入して、順路に沿って本堂の裏に向かいましょう。右に曲がって進むと、白い砂利と池が特徴の小さな禪宗の庭があります。階段を上って、順路に沿って右方向に進みます。すると順路が 2 つに分かれるので、右に進んでつる植物に覆われた丘の斜面の方向を眺めましょう。そこにある 3 つの洞窟に、寺の横穴状の墳墓である「やぐら」があります。

順路が 2 つに分かれるところまで戻って、今度は竹林の方に向かいましょう。苔むした石の仏塔を通り過ぎます。竹林に入ったら、石畳の順路をたどって茶室まで歩きましょう。ここで軽食を取りながら一休みするのもおすすめです。

茶室を出たら、右の順路に沿って竹林を進みましょう。階段を進んで順路を辿ると本堂の正面まで戻ります。本堂の外で、左の順路を進んで、大きな桜の木を横切っていきましょう。小さな石の階段で苔庭と山門に戻ります。階段の一番下で左に目を向けると、1 階に坐禅室がある 2 階建ての迦葉堂が見えます。凸凹の石畳の道は山門の正面の歩道に再び合流し、ちょうど一周になります。

| | | | |
|------|-----|------|-----------------------|
| 地域番号 | 004 | 協議会名 | 山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会 |
|------|-----|------|-----------------------|

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|-------------------------------|-------------------|--------|------|
| 004-001 | 富士山ゲート | | 185 | 看板 |
| 004-002 | 富嶽三六〇・御中道回廊 | | 355 | 看板 |
| 004-003 | 『富士北麓参詣曼荼羅』 | | 390 | 看板 |
| 004-004 | 貞観の大噴火 | | 330 | 看板 |
| 004-005 | 富士信仰の大衆化 | | 345 | 看板 |
| 004-006 | 『信仰と靈感：富士山と共に生きる』 | | 270 | 看板 |
| 004-007 | 富士山とその世界 | | 320 | 看板 |
| 004-008 | 『胎内ビジョン』 | | 220 | 看板 |
| 004-009 | 富士山の 女神 | 浅間神崇拜 | 300 | 看板 |
| 004-010 | | 浅間神から浅間大菩薩へ | 180 | 看板 |
| 004-011 | | 浅間神の謎 | 300 | 看板 |
| 004-012 | | 大日如来と女性的な面影 | 300 | 看板 |
| 004-013 | | コノハナサクヤヒメ：浅間神の別の姿 | 310 | 看板 |
| 004-014 | 変わりゆく 富士信仰 | 古代：遥拝 | 815 | 看板 |
| 004-015 | | 修験道の時代：登拝 | 635 | 看板 |
| 004-016 | | 近世の巡礼者たち：巡拝 | 435 | 看板 |
| 004-017 | | 近代：娯楽としての登山 | 360 | 看板 |
| 004-018 | | 現在：新たな登山者、新たな伝統 | 460 | 看板 |
| 004-019 | 日本各地から寄せられた富士信仰 | | 305 | 看板 |
| 004-020 | 巡礼者の町：川口と吉田 | | 350 | 看板 |
| 004-021 | 富士講の信仰を映し出す： 富士山周辺にある清めの水場 | | 300 | 看板 |
| 004-022 | 山中湖 | | 290 | 看板 |
| 004-023 | 明見湖と泉津湖 | | 480 | 看板 |
| 004-024 | 河口湖 | | 285 | 看板 |
| 004-025 | 西湖 | | 260 | 看板 |
| 004-026 | 精進湖 | | 305 | 看板 |
| 004-027 | 本栖湖 | | 305 | 看板 |
| 004-028 | 四尾連湖 | | 295 | 看板 |
| 004-029 | 人穴と白糸の滝 | | 415 | 看板 |

| | | | | | |
|---------|-------------------|------------|-----|-----|----|
| 004-030 | 忍野八海 | | 270 | 看板 | |
| 004-031 | 外八海 | | 270 | 看板 | |
| 004-032 | 御中道：富士中腹の巡礼路 | | 505 | 看板 | |
| 004-033 | 富士山頂で 祈りを捧げる | 失われた仏の世界 | 340 | 看板 | |
| 004-034 | | 御来迎と御来光 | 365 | 看板 | |
| 004-035 | 富士山に祈りを捧げた貴族たち | | 425 | 看板 | |
| 004-036 | 富士塚：江戸中に造られた小さな富士 | | 310 | 看板 | |
| 004-037 | 『富士見十三州輿地全図』 | | 260 | 看板 | |
| 004-038 | 世界各地の富士 | | 320 | 看板 | |
| 004-039 | 富士信仰の 多様な姿 | 伊勢の農村の祭り | 330 | 看板 | |
| 004-040 | | 伊勢の漁村の祭り | 280 | 看板 | |
| 004-041 | 富士山文化 の宝箱 | 東京都台東区下谷 | 305 | 看板 | |
| 004-042 | | 修験の伝統を受け継ぐ | 325 | 看板 | |
| 004-043 | | 富士御室浅間神社 | 190 | 看板 | |
| 004-044 | | 河口浅間神社 | 175 | 看板 | |
| 004-045 | | 北口本宮富士浅間神社 | 215 | 看板 | |
| 004-046 | | 富士山本宮浅間大社 | 195 | 看板 | |
| 004-047 | | (指示書き) | | 45 | 看板 |
| 004-048 | | 溶岩樹型、胎内 | | 390 | 看板 |
| 004-049 | 船津胎内樹型 | | 325 | 看板 | |
| 004-050 | 吉田胎内樹型 | | 340 | 看板 | |
| 004-051 | 人穴（人穴富士講遺跡） | | 280 | 看板 | |

【タイトル】 富士山ゲート

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山門

千百年来，对于无数到访者而言，攀登富士山的神峰都是一段独一无二、甚至足以改变人生的经历，无论古代的苦行者，还是现代登山家，概莫能外。

富士山門歡迎四方來客前往“世界文化遺產中心”南館，這裡有微縮版的“富士山”及其周邊諸地模型。這道門的設計靈感來自於北口本宮富士淺間神社的巨大鳥居，那是日本最大級別的木製鳥居，也是通往富士山頂的經典登山路線——吉田口登山道的起點。

<繁体字>

富士山門

千百年来，對於無數登山客而言，攀登日本人心目中神聖的山——富士山都是獨一無二、甚至足以改變人生的經歷，無論古代的苦行者，還是現代登山家無一例外。

富士山門歡迎四方來客前往「世界文化遺產中心」南館，這裡有微縮版的「富士山」及其周邊地貌模型，這道門的設計靈感來自於北口本宮富士淺間神社的巨大鳥居，那是日本最大級別的木製鳥居，也是通往富士山頂的經典登山路線——吉田口登山道的起點。

<日本語仮訳>

富士山ゲート

何百年もの間、霊峰・富士山に登ることは、修験者から現代の登山家にいたる無数の人々にとって、人生を変えるほどの唯一無二の一大イベントでした。

富士山ゲートをくぐると、来館者は富士山と周辺の地域をミニチュアサイズで再現している世界遺産センターの南館へと迎え入れられます。このゲートのデザインは、北口本宮富士浅間神社の巨大な鳥居をイメージしたものです。日本最大級の大きさを誇る木造のこの大鳥居は、古来巡礼者たちが山頂を目指した吉田口登山道の起点となっています。

【タイトル】 富嶽三六〇・御中道回廊

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富岳三六〇・御中道回廊

本层的亮点是“**富岳三六〇**”※，一个和纸制作的富士山上半部的模型，比例尺为 1/800，因环以回廊可 360 度观赏而得名。**御中道回廊**以富士山半山海拔 2300 到 2800 米间的环山小路“御中道”命名，御中道距峰顶落差约 1300 米。

御中道需按顺时针行走，因此御中道回廊的参观路线也遵循时针走向设计。回廊外的信息墙板介绍了富士山历史及其相关信仰，多媒体投影则赋予富士山模型鲜活多样的面貌，模型北面的吉田口登山道处，则会定时轮播介绍富士山四季美景和富士信仰的短片。

※富岳是富士山的别称。

大泽崩山谷

御中道比通到山顶的登山道更危险，只有最坚毅的巡礼者才敢选择它。在一张令人毛骨悚然的老照片上，一队人正排成单列行走在狭窄难行的山梁上。御中道如今还有部分路段可通行，但无法环山，因为富士山西坡有一段约 500 米宽的“大泽崩”侵蚀山谷，堵截了御中道。

<繁体字>

富嶽三六〇・御中道迴廊

本層的亮點是「**富嶽三六〇**」*，一個和紙製作的富士山上半部模型，比例尺為 1/800，因以迴廊環繞富士山模型可以 360 度觀賞而得名。**御中道迴廊**以富士山半山海拔 2300 到 2800 公尺間的環山小路「御中道」命名，御中道距峰頂落差約 1300 公尺。

御中道需按順時針行走，因此御中道迴廊的參觀路線也遵循時針走向設計。迴廊外的資訊牆板介紹了富士山歷史及其相關信仰，並利用多媒體投影，賦予了山峰模型活潑多樣面貌。一部介紹富士山四季美景和富士信仰的短片，會定時循環投放到模型北側吉田口登山道上。

*富嶽是富士山的別稱。

大澤崩山谷

御中道比通到山頂的登山道更危險，只有最堅毅的朝聖者才敢選擇這條路，在一張令人膽顫心驚的老照片上，一隊人正排成單列行走於狹窄的山梁上。御中道如今還有部分路段可以通行，但由於富士山西坡的「大澤崩」侵蝕谷的出現，路況破碎約 500 公尺，已經無法走完全程。

<日本語仮訳>

富嶽三六〇・御中道回廊

このフロアの目玉は、富士山上部を 800 分の 1 のスケールで和紙を使って再現した**富嶽三六〇**※です。富嶽三六〇は 360 度どこからでも鑑賞できることにちなんで、また観賞用の回廊は、富士山頂からおよそ 1,300 メートル下方、標高 2,300～2,800 メートルあたりの山腹をめぐる「御中道」にちなんで、**御中道回廊**と名付けられました。

時計回りにたどるものとされていた御中道を模して、御中道回廊も時計回りに歩くことを前提に設計されています。壁に設置されたパネルでは富士山の歴史と富士山から生まれた信仰の概要が紹介され、オブジェに投影されたマルチメディア映像は富士山の多彩な表情を浮かび上がらせます。オブジェ北側の吉田口登山道の位置では、富士山の四季折々の美しい自然と富士信仰についての短い動画が一定間隔で上映されています。

※ 富嶽は富士山の別称です。

大沢崩れ

御中道は山頂に続く道よりも危険だったため、屈強な巡礼者だけがこの道に挑みました。写真が普及し始めた頃に撮影された一枚には、人々が不安定な岩棚を一行に並んで横断している血の気が引くような光景が写しだされています。御中道の一部は今でも歩くことができますが、現在は富士山西面の「大沢崩れ」という侵食谷が約 500 メートルにわたって道を寸断しているため、ぐるりと一周巡ることはできなくなりました。

【タイトル】『富士北麓参詣曼荼羅』

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《富士北麓参詣曼荼羅》

这部作品是画家山口晃受委托而绘制，他擅长以传统技法驾驭繁复的当代元素及意象。

参詣曼荼羅起源于16世纪，以全景视角艺术展现日本各宗教圣地，不但向信众传达它们在精神领域的重要性，也扮演着巡礼指南的角色。

山口的曼荼羅描绘了富士山北麓景象。山下景致细致入微，巡礼者登山前小歇的川口、吉田两市及举行其他宗教仪式的忍野八海皆在其中。吉田口登山道由吉田通往山顶，沿途连绵闪烁的灯火来自曾用于祭拜神佛的山间小屋和石窟小屋悬挂的灯笼。云雾缭绕的山顶上，光点代表着传说中居住山巅的九位佛教神明。画面取夜景，因为那是尘世与神界隔膜最薄弱的时刻。

同其他参詣曼荼羅和日本“鸟瞰图”类画作一样，这件作品大体也是“平”的，没有固定的透视，视角多变，任意选取每个素材最好的角度和距离加以描画，就连山口曾在这里遇见的小猫咪和东京天空树也都被画了进去，以完美交融的古今元素呈现出亘古永恒的富士山。

<繁体字>

《富士北麓參詣曼荼羅》

這部作品是委託畫家山口晃繪製而成，他擅長以傳統技法駕馭繁複的當代元素及意象。

參詣曼荼羅起源於16世紀，以全景藝術視角展現日本各宗教聖地，不但向信眾傳達聖地在精神領域的重要性，也扮演著朝聖指南的角色。

山口的曼荼羅描繪了富士山北麓景象，山下景致細緻入微，朝聖者登山前小歇的川口、吉田兩市及舉行其他宗教儀式的忍野八海皆在其中。吉田口登山道由吉田通往山頂，沿途連綿閃爍的燈火來自曾用於祭拜神佛的山間小屋和石室懸掛的燈籠。雲霧繚繞的山頂上，光點代表著傳說中居住山巔的九位佛教神明，而畫面取夜景，彼時正是人間與神界交界最模糊的時刻。

和其他參詣曼荼羅和日本「鳥瞰圖」類畫作一樣，構圖沒有採用透視法，這件作品以比較「平面」的手法描繪，隨著畫家的視角自由移動任意選取繪畫元素，以最好的角度和距離加以描畫，就連山口會在這裡遇見的小貓咪和東京天空樹也都被畫進去，以充滿古今元素的拼貼畫手法呈現出亙古永恆的富士山。

<日本語仮訳>

『富士北麓參詣曼荼羅』

『富士北麓參詣曼荼羅』は、伝統的な技法を用いて現代的なテーマやモチーフを精巧に描いた作風で知られるアーティスト、山口晃氏が依頼を受けて制作したものです。

參詣曼荼羅は、16世紀以降に日本各地で制作された霊場の全景絵図です。これらの絵図は、描かれた霊場の信仰的な重要性を信徒に伝えるとともに、巡礼者にとっての旅行案内の役割を果たしていました。

山口の曼荼羅は富士北麓を描いたものです。巡礼者たちが登拝前に休息をとった川口と吉田の町や、他の宗教的な儀式を行った忍野八海など、富士山周辺の風景が詳細に描かれています。吉田から富士山頂まで延びる吉田口登山道は、神仏の拝所であった道沿いの山小屋と石室の明滅する灯によって照らし出されています。雲に囲まれた山頂の上空に輝く光の点は、そこに住んでいるとされる仏教の九尊を象徴しています。山口は人間と神仏の世界を隔てる帳が最も薄くなる夜の場面を描くことを選びました。

他の參詣曼荼羅や日本の「鳥瞰図」と呼ばれる絵画全般と同様、この作品も特定のパスからではなく比較的平面的な描写です。画家の視点は自由に移動し、それぞれの題材を最も適した角度と距離感で描いています。山口はこの地域を訪れた時に親交を深めた猫、みいちゃんまで描き込みました。また、スカイツリーの姿も確認できます。完成した作品は、悠久の富士山を中心とした、過去と現在が交錯する緻密なコラージュです。

【タイトル】 貞観の大噴火

【想定媒体】 看板

<簡体字>**贞观大喷发**

公元 864 年（贞观*6 年）的贞观大喷发，是有记录以来富士山的第二次大喷发，破坏性堪称后无来者。史料详细记述了当时的景象：草木燃烧；岩浆流入湖泊，令湖水沸腾、鱼龟绝迹。岩浆沿西侧山坡流淌而下，造就了如今青木原树海所在的平原，填平了大半个月（音同“产”）海，只留下今天的西湖与精进湖。

大喷发后，朝廷下令在甲斐国（今山梨县）新建一座神社，以安抚愤怒的富士山神浅间神。尽管山南的骏河国（今静冈县）此前已有一座浅间神社，但显然，该神社的祭司没能恪尽职守。

虽说缺乏确证，但研究者相信新神社就是今河口湖北岸河口浅间神社的前身。因为神社正对熔岩流的喷发口，而非富士山巅。富士山北面的宗教设施建设自此开启，数百年后每年都迎来成千上万的巡礼者。

※贞观：859-877 年，这里指日本年号。

<繁体字>**貞觀大噴發**

西元 864 年（貞觀*6 年）的貞觀大噴發，是有記錄以來富士山的第二次大噴發，破壞性堪稱後無來者。史料詳細記述了當時的景象：草木燃燒；岩漿流入湖泊，令湖水沸騰、魚龜絕跡。岩漿沿西側山坡流淌而下，形成了如今青木原樹海所在的平原，填平了大半個月（音同「產」）海，只留下今天的西湖和精進湖。

大噴發後，日本朝廷下令在甲斐國（今山梨縣）新建一座神社，以安撫憤怒的富士山神淺間神，儘管山南的駿河國（今靜岡縣）已有一座淺間神社，但顯然該神社的祭司未能恪盡職守。

雖說缺乏確證，但研究者相信新神社就是今河口湖北岸河口淺間神社的前身，神社明顯正對熔岩流的源頭，而非富士山巔。從此，富士山北麓的宗教設施逐步完善，數百年後的今天每年都能迎來成千上萬的朝聖者。

*貞觀：859-877 年，這裡指日本年號

<日本語仮訳>

貞觀の大噴火

864 年（貞觀[※]6 年）に発生した貞觀の大噴火は、記録に残る富士山の大噴火としては二番目のもので、以後のどの噴火よりも壊滅的なものでした。当時の記録には、植物が燃え、溶岩が流れ込んだ湖水は沸騰し、魚や亀が死滅したと記述されています。

富士山の西側斜面から流れ出した溶岩は、現在では青木ヶ原の樹海に覆われている広大な平原をつくりだし、剝の海の大部分を埋め尽くしました。今日の西湖と精進湖は、かつて存在した巨大な湖の最後の名残です。

大噴火を受けて、朝廷は富士山の神である浅間神の怒りをなだめるため、甲斐国（現在の山梨県）に新たな神社を建立するよう命じました。浅間神はすでに富士山南側の駿河国（現在の静岡県）の神社で祀られていましたが、大噴火はこの神社の司祭が務めを怠っていた証拠と受け止められました。

決定的な証拠は得られていないものの、今日の研究者は、この新しく造られた神社は河口湖の北岸に立つ現在の河口浅間神社の前身だったのではないかと考えています。その根拠に、この神社は富士山の山頂ではなく溶岩流の噴出口に向かって建てられています。これが、数百年後に毎年何千人もの巡礼者を迎え入れることになる、富士山北麓の宗教施設の始まりでした。

※貞觀：859-877, 日本の元号

【タイトル】 富士信仰の大衆化

【想定媒体】 看板

<簡体字>**富士信仰的大众化**

修验道修士 11 世纪便开始攀登富士山，但富士信仰直到 15 世纪晚期才真正普及。一本名叫《胜山记》的地方志以“不计其数”来形容公元 1500 年登山季的巡礼者。这一年适逢庚申年。在日本，人们习惯把 60 年一度的庚申年敬称为“御缘年”，因为相传富士山就是在庚申年出现的，于是才有了公元 1500 年如潮水般涌来的参拜者。《胜山记》里的这段描述也因是对“庚申缘年”的古老记录而倍受瞩目。

18 世纪，在大都市江户（今东京）出现了名为“富士讲”的组织。它奉古代苦修士长谷川角行(1541?-1646)为精神领袖，发展迅速，在 1717 年食行身禄(1671-1733)出任第六代首领后更是声势日盛。后者引佛教未来佛“弥勒”（日文与“身禄”同音）之名为己用，宣称更好的新时代即将到来。在他的推动下，富士讲的信仰活动也更趋于理性和普救说，甚至大胆宣布女性也能向富士山寻求救赎。

<繁体字>**富士信仰的大眾化**

修驗道修士從 11 世紀就開始攀登富士山，但富士信仰直到 15 世紀晚期才真正普及，一本名叫《勝山記》的地方誌以「不計其數」來形容西元 1500 年登山季的朝聖者。這一年適逢庚申年。在日本，人們習慣把 60 年一度的庚申年敬稱為「御緣年」，因為相傳富士山就是於庚申年出現的，因此才有了西元 1500 年如潮水般湧入的參拜者，《勝山記》裡這段描述也因是對「庚申緣年」的古老記錄而備受矚目。

18 世紀，在大都市江戶（今東京）出現了名為「富士講」的組織，奉古代苦修士長谷川角行（1541?-1646）為精神領袖，迅速發展，在 1717 年食行身祿（1671-1733）出任第六代首領後更是聲勢日盛。後者引佛教未來佛「彌勒」（日文與「身祿」同音）之名為己用，宣稱更好的新時代即將到來。在他的推動下，富士講的信仰活動也更趨於理性並接觸廣泛大眾，甚至大膽宣佈女性也能向富士山尋求救贖。

<日本語仮訳>

富士信仰の大衆化

修験者たちは 11 世紀にはすでに富士山に登っていましたが、富士山がより一般的な信仰の対象となったのは 15 世紀後半のことでした。『勝山記』というこの地域の年代記には、西暦 1500 年の登山シーズンに「無数」の信仰者が訪れるとの記述があります。西暦 1500 年は庚申年にあたります。富士山は庚申年に出現したとされ、人々は 60 年に一度巡り来る庚申年を「御縁年」と呼んで尊びました。このため、庚申年はとりわけ多くの参詣者を集めました。『勝山記』の記述は、庚申縁年に関する古い記録として注目されています。

18 世紀になると、江戸（現在の東京）では「富士講」と呼ばれる講中が現れました。伝説的な修験者で宗教指導者であった長谷川角行（1541?-1646）の宗教思想に端を発するとされる富士講の信仰活動は、特に食行身禄（1671-1733）が 1717 年に 6 代目の指導者となってから急速に広がりました。仏教において将来新しい世をもたらすと信じられている弥勒菩薩にちなんだ行名を持つ食行身禄は、より良い新しい時代が間もなく訪れると説きました。また、信仰に対してより合理的で普遍的なアプローチを強調し、当時としては驚くべきことに、女性も男性と同じように富士山に救いを求める資格があるという考えを持っていました。

004-006

山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会

【タイトル】『信仰と靈感：富士山と共に生きる』

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《信仰与灵感：与富士山同在》

火与水，森林与山岩，严厉与赐福，生与死——富士山远远超越了俗世的常规二元化构成。对于山下居民而言，这座山是恒久的陪伴，是生命之水的源头，四季皆有不同的面貌。对于专程前来的登山者而言，富士山却是彼岸世界，是净化与重生的地方。色彩、声音、变幻的天空，这部短片捕捉并呈现了富士山地区大自然的美丽与严酷，同时也借助罕见的现代修行者与巡礼者的影像，传达数百年来吸引人们到来的信仰。

影片放映处位于富岳三六〇北侧，对应富士山北坡。这里的吉田口登山道正是来自江戸（今东京）的富士讲巡礼者登山的一侧，也是唯一可由山脚直通山顶的登山道。

<繁体字>

《信仰與靈感：與富士山同在》

火與水，森林與山岩，嚴厲與賜福，生與死——富士山遠遠超越了世俗的常規二元論。對於山下居民而言，這座山是恆久的陪伴，是生命之水的源頭，四季皆有不同的風貌。對於專程前來的登山者而言，富士山卻是彼岸世界，是淨化與重生的地方。藉助色彩、聲音和變幻的天空，這部短片捕捉並呈現了富士山地區大自然的美麗與嚴酷；現代修行者和朝聖者的珍貴影像，則傳達著數百年來吸引人們到來的信仰力量。

影片播放處位於富嶽三六〇北側，對應富士山北麓，這裡的吉田口登山道正是來自江戸（今東京）的富士講朝聖者登山的一側，也是唯一可由山腳直通山頂的登山道。

<日本語仮訳>

『信仰と靈感：富士山と共に生きる』

火と水、森と岩、厳しさと恵み、生と死。富士山は私たちの日常世界を構成する二元性を超越しています。富士山の麓に住む人々にとって、この山は常に共にある存在で、季節ごとに異なる顔を持つ生存に欠かせない水源です。登るために訪れる人々にとっては、富士山はまた別の存在であり、清めと

再生の場所です。この短い映像は、色彩や音、移ろう空を通して富士山とその周辺における自然の世界の美しさと厳しさを伝えます。また、数世紀にわたって人々をこの場所に惹きつけてきた信仰の一端を伝えるため、現代の修験者や巡礼者の貴重なクリップも収められています。

スクリーンは、富士山の北面にちなんで富嶽三六〇の北側に設置されており、吉田口登山道を利用する江戸（現在の東京）の富士講巡礼者が登山した側に当たります。吉田口登山道は、現存する麓から山頂までを結ぶ唯一の経路です。

【タイトル】 富士山との世界

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山与它的世界

南馆底楼将富士山地区整个铺在了你的脚下。巨大的地图覆盖以顶峰为中心、直径1000公里的圆形区域。图上数字标出了联合国教科文组织(UNESCO)登录在册的世界遗产地，彩线表示通往各宗教点的道路。四周壁板介绍地图范围外的景点，依照实地与从峰顶俯瞰时的相对位置排布。

这是一个微缩的富士世界，展示了数百年来此山衍生的三大参拜和修行方式：

——**遥拜**：以直面或冥想的方式参拜富士山

——**登拜**：登临神境，重生而归

——**巡拜**：参拜山上及周边各圣地，有八海巡、火山口钵巡等不同路线

来访者可追随当年富士讲巡礼者的脚步，穿过北口本宫富士浅间神社大鸟居，沿吉田口登山道攀上峰顶。也可绕山徐行，欣赏神秘的熔岩树型与神社。

馆内另设艺术、文学、历史、神性山峰等小型主题展，并提供不同路线建议。

<繁体字>

富士山和它的世界

南館一樓將富士山全境整個鋪在了你的腳下，巨大的等高線地圖以頂峰為中心、覆蓋直徑1000公里的圓形區域，圖上標出了聯合國教科文組織（UNESCO）登錄在冊的世界遺產地，彩色的線標示通往各參拜景點的道路。四周牆壁上的面板介紹地圖範圍外的景點，依照實地與從峰頂俯瞰時的相對位置來展示。

這個微縮的富士世界，展示了數百年來朝聖者對此山的三大參拜、修行方式：

——**遙拜**：以直面或冥想的方式參拜富士山

——**登拜**：登臨神境，重生而歸

——**巡拜**：參拜山上及周邊各聖地，有八海巡、火山口鉢巡等不同靈場路線

訪客可追隨當年富士講巡禮信眾朝聖的腳步，穿過北口本宮富士淺間神社大鳥居，沿吉田口登山道登上峰頂。也可繞山徐行，欣賞神秘的熔岩樹型與神社。

館内另設藝術、文學、歴史、神山山頂世界等小型主題展，並提供不同路線建議。

<日本語仮訳>

富士山とその世界

南館の 1 階では、富士山とその周辺が足元に広がっています。この巨大な地形図は、富士山を中心とした直径 1,000km の範囲を表しています。地図上の数字はユネスコ世界遺産に登録されている場所を示し、色のついた線は富士山とその周辺の拝所への経路を示しています。壁のパネルは地図の範囲外にあるほかのスポットを紹介しています。パネルの位置は富士山頂から見た各スポットの方角を示しています。

1 階全体が富士山とその世界の縮図であり、何世紀もわたってこの山が生み出した 3 つの主な礼拝形態と信仰的な慣習を表現しています。

- **遥拝**：直接、あるいは想像上で崇拝する対象としての富士山
- **登拝**：神のいる場所まで登り生まれ変わって戻ってくる
- **巡拝**：八海巡りやお鉢巡り（山頂火口周辺）など、富士山と周辺地域の霊場を巡るルート

昔の富士講巡礼者の足跡をたどり、頂上を極めてみましょう。北口本宮富富士浅間神社の大鳥居から吉田口登山道を辿って山頂を目指しましょう。山麓に点在する神秘的な溶岩樹型や神社を巡りながら富士山をゆっくりひと回りすることもできます。

フロアには、美術、文学、歴史、そして山頂に広がる別世界などをテーマとする小型の展示があり、加えておすすめルートも用意されています。

【タイトル】『胎内ビジョン』

【想定媒体】 看板

<簡体字>**《胎内视界》**

《胎内视界》是富岳三六〇“山腹”里的投影影像展示。“胎内”指的是富士山周边熔岩流经后留下的狭窄“地道”。18 世纪后半叶，富士讲巡礼者开始利用这些通道修行。通道内天然形成的岩石结构形似肋骨与乳房，就好像真的在人体内一样，这就是“胎内”的字面意思。年深日久，巡礼者渐渐相信：只要穿过胎内，爬上地面，就能获得灵魂的重生。

在富岳三六〇的胎内，《胎内视界》将若干世纪以来因富士山而诞生的信仰与艺术作品呈现在屏幕上，并在全天定时轮放。

<繁体字>**《胎内视界》**

《胎内视界》是富岳三六〇「山腹」裡的投影影片展示，「胎内」指的是富士山周邊熔岩流經後留下的狹窄「地道」。18 世紀後半葉，富士講巡禮信眾開始利用這些通道修行。通道內天然形成的岩石結構形似肋骨與乳房，就好像真的在人體內一樣，這就是「胎内」的字面意思。久而久之巡禮信眾漸漸相信：只要穿過胎内，爬上地面，就能獲得精神上的脫胎換骨。

在富岳三六〇胎内播放的《胎内视界》將若干世紀以來因富士山而誕生的信仰與藝術作品呈现在螢幕上，影片全天定時播放。

<日本語仮訳>**『胎内ビジョン』**

胎内ビジョンは富岳三六〇内部の空洞にあるスクリーンに投影映される映像展示です。「胎内」とは富士山周辺にある溶岩流の地下にある狭い洞穴を指します。18 世紀後半になると、富士講巡礼者はこれらの洞穴を信仰の実践に用い始めました。肋骨や乳房に似た岩が形成された洞穴内は、人

間の身体の内部、文字通り「胎内」を暗示していました。やがて、巡礼者たちは、これらの胎内を巡って再び地表に出ることにより、靈的に生まれ変わることができる信じられようになりました。

ここ、富嶽三六〇の「胎内」にある胎内ビジョンでは長年にわたって富士山が生み出した信仰と芸術を紹介しています。映像は終日、一定の間隔で繰り返し上映されます。

【タイトル】 富士山の女神 浅間神崇拜

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山的女神

浅间神崇拜

对富士山的礼赞最早见于 8 世纪的诗集《万叶集》。远在奈良的宫廷朝臣称颂富士山为高邈、永恒的神山，向它祈祷国家平安。峰顶上袅袅升起的烟雾隐喻着压抑却炽烈的激情，总之，它所唤起的敬叹远甚于畏惧。

然而，这座高山还有另一面。9 世纪史料记载下的一次次喷发就展露了它可怕的破坏力。人们将这些喷发解读为山神的怒火，回报以新的神社和加倍的虔诚，期望能安抚愤怒的高山。

富士山神被称为“浅间神”或“浅间大菩萨”。此外日本还有好几座名叫“浅间山”的活火山，或许因为这个名字本身就与火山活动有关。在《万叶集》成书的时代，并没有人在意浅间神的性别，但经过了 9 世纪的频繁喷发后，浅间神是女神的认知便成了共识。

<繁体字>

富士山的女神

淺間神崇拜

對富士山的禮讚最早見於 8 世紀的詩集《萬葉集》，遠在奈良的宮廷朝臣稱頌富士山為高邈、永恆的神山，朝富士山祈禱國泰平安。峰頂上裊裊升起的煙霧，隱喻著壓抑卻熾烈的熱情，總體來說，富士山所喚起的敬歎遠甚於人們的畏懼之心。

然而，這座高山還有另一面，9 世紀史料記載下的一次次火山噴發展露了可怕的破壞力，人們將這些噴發解讀為山神的怒火，報以新的神社和加倍的虔誠，期望能安撫憤怒的高山。

富士山神被稱為「淺間神」或「淺間大菩薩」，此外日本還有好幾座名叫「淺間山」的活火山，或許因為這個名字本身就與火山活動有關。在《萬葉集》成書的時代，並沒有人在意淺間神的性別，但經過了 9 世紀的頻繁噴發後，認定淺間神是女神便成了共識。

<日本語仮訳>

富士山の女神

浅間神崇拜

富士山を礼讃する最古の記録は、8世紀の万葉集に収められた和歌です。遠く離れた奈良の宮廷人たちは、悠久の神聖な山として褒め称え、(富士山に) 国の平安を祈りました。山頂から立ち上る煙はくすぶる情熱に喩えられ、全体として富士山は恐怖よりも畏敬の念を抱かせていたようです。

しかし、富士山には別の側面もありました。9世紀の記録に残されているような噴火は、富士山の持つ恐ろしい破壊的な力を知らしめました。当時の人々はこうした噴火を山の神の怒りと解釈し、荒れ狂う富士山をなだめようと新たな神社を建立したり祭祀を一層励行したりして対応しました。

富士山の神はアサマあるいはセンゲンという名で知られています。日本には他にも浅間山と名付けられた火山が存在することから、この名称の起源は火山活動に関連しているようです。万葉集の歌人たちの時代には浅間神の性にはほとんど関心が払われませんでした。富士山が噴火を繰り返した9世紀の間に、浅間神は明確に女神であると理解されるようになりました。

004-010

山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会

【タイトル】 富士山の女神 浅間神から浅間大菩薩へ

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山の女神

从浅间神到浅间大菩萨

这里展示的是山梨县内现存最古老的浅间神像的复制品。这座富士山女神木像原物出自 11 世纪，现供奉于西北约 90 分钟车程外南阿尔卑斯市的江原浅间神社。

关于这尊神像还有许多未解之谜。神像上雕刻着三个女性形象，皆为浅间神，三者拱卫着中心的佛像。这个佛像有可能是药师菩萨，但特征并不鲜明。至于为什么要以三尊像来表现浅间神，答案尚不得知。

<繁体字>

富士山の女神

從淺間神到淺間大菩薩

這裡展示的是山梨縣內現存最古老的淺間神像的複製品，這座富士山女神木像原物出自 11 世紀，現供奉於距富士山西北約 90 分鐘車程的南阿爾卑斯市江原淺間神社。

關於這尊神像還有許多未解之謎，神像上雕刻著三位女性形象的淺間神，三者圍繞著中心的佛像，這尊佛像有可能是藥師菩薩，但特徵並不明顯。至於為什麼要以三尊像來表現淺間神，答案尚不得知。

<日本語仮訳>

富士山の女神

浅間神から浅間大菩薩へ

これは富士山の女神である「浅間神」の像のうち、山梨県内に現存する最古の作品の複製です。11 世紀に彫られたこの木像の原物は、ここから西北西方向に車で 90 分ほど離れた南アルプス市内の江原浅間神社に祀られています。

この像については未だ多くのことが不明のままです。像には、それぞれ浅間神を模った女性三体と、その中央に立つ仏一体が彫られています。この仏は薬師如来の可能性がありますが、像の特徴からそれを判断することはできません。浅間神が三人として表されている理由も不明です。

【タイトル】 富士山の女神 浅間神の謎

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山的女神

浅间神之谜

江原浅间神社的浅间神像是山梨县内已知现存最古老的神像，本馆展示的是一尊复制品。但富士山南面的静冈县还有更久远的神像。裾野市茶畑的浅间神社里供奉着两尊浅间神像，一尊为四面像，另一尊为三面，全都是女性面容。

显然，江原浅间神社的多面神像并非孤例，但这种表现手法意义何在，目前还是个谜。多面塑像在佛教中很普遍，在神道教中却十分罕见，研究者判断此类神像都出自 10 或 11 世纪。

忍野八海附近的忍草浅间神社供奉着一尊更大的单面女神像，神像雕刻于 1315 年。和其他较小的早期同类神像不同，它的伴神却是两个单面男性神明。那么，此间的 300 年里是否还出现过其他形式的富士山神造像？对于这个问题，研究者还在寻找答案。

<繁体字>

富士山的女神

淺間神之謎

江原淺間神社的淺間神像是山梨縣內已知現存最古老的神像，本館展示的是一尊複製品。但富士山南邊的靜岡縣還有更老的神像。裾野市茶畑的淺間神社裡供奉著兩尊淺間神像，一尊為四面像，另一尊為三面，全都是女性容貌。

顯然，江原淺間神社的多面神像並非少數，但這種表現手法意義何在，目前還是謎。多面塑像在佛教中很普遍，在神道教中卻十分罕見，研究者判斷此類神像都出自 10 或 11 世紀。

忍野八海附近的忍草淺間神社供奉著一尊更大的單面女神像，神像雕刻於 1315 年。和其他較小的早期同類神像不同，祂的伴神是兩尊單面男性神明。那麼，在這期間的 300 年裡是否還出現過其他形式的富士山神像？對於這個問題，研究者還在尋找答案。

<日本語仮訳>

富士山の女神

浅間神の謎

ここで展示されている複製の原物である江原浅間神社の浅間神像は、知られている限りでは山梨県に現存する最古の神像とされています。しかし、富士山の南側に位置する静岡県には、さらに古い神像が確認されています。裾野市茶畑にある浅間神社には浅間神の彫像二体が祀られています。一体は四面像、もう一体は三面像の像で、いずれの面も女性です。

複数の面を持つ神として表現されている江原浅間神社の浅間神は決して特異的ではありません。しかしこの表現の意味するところはまだ謎です。複数の面を持つ像は仏教彫刻ではよく見られますが、神道の神々の描写ではほぼ見られることはありません。研究者たちは、これらの像は全て 10 世紀か 11 世紀の作と判断しています。

忍野八海に程近い忍草浅間神社には、一体の巨大で、顔が一面の女神像が祀られています。この像は 1315 年に彫られました。前の時代に彫られたより小さな浅間神像とは異なり、二体の男神を伴っており、いずれも顔は一面のみです。このような二通りの描写を隔てた 300 年の間に、富士山の神の像は他にも彫られたのでしょうか。これは、今でも研究者たちが取り組んでいる疑問です。

【タイトル】 富士山の女神 大日如来と女性的な面影

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山的女神

大日如来与女性相

这尊神像供奉在吉田口登山道二合目（第二站）的御室浅间神社内，被尊为浅间大菩萨，是在女性神明的基础上雕刻出大日如来的模样。这无疑是“神佛习合”（神道教与佛教融合）的绝佳例证。

把神道教与佛教严格区分的历史并不久，早期人们不认为将神明（神道教的神）与佛陀、菩萨放在一起供奉有何不妥，神道教祭司和佛教僧侣等宗教修行者更是发展出了一套精妙复杂的理论，认为神道教神明就是佛教诸神的化身。

这就解释了，为什么浅间神会有这样一个明显带有佛教气息的名字。从浅间神(Asama no Kami)到浅间大菩萨(Sengen Daibosatsu)，两个“浅间”的汉字相同但读音不同。换言之，富士山一带以“Asama”和“Sengen”为名的各个神社，供奉的都是同一位浅间神。

<繁体字>

富士山的女神

大日如来与女性相貌

這尊神像供奉在吉田口登山道二合目（第二站）的御室淺間神社內，被尊為淺間大菩薩，是在女性神明的基礎上雕刻出大日如來的模樣。這無疑是「神佛習合」（神道教與佛教融合）的絕佳範例。

神道教與佛教間的區隔始於近現代，早期人們並不覺得將神明（神道教的神）與佛陀、菩薩放在一起供奉有何不妥，神道教祭司和佛教僧侶等宗教修行者更發展出一套精妙複雜的理論，認為神道教神明就是佛教諸神的化身。

這也是為何淺間神會帶上具有明顯佛教氣息的名字。從淺間神（Asama no Kami）到淺間大菩薩（Sengen Daibosatsu），兩個「淺間」的漢字相同但讀音不同。換言之，富士山一帶以「Asama」和「Sengen」為名的各個神社，供奉的都是同一位淺間神。

<日本語仮訳>

富士山の女神

大日如来と女性的な面影

この像は吉田口登山道の二合目にある御室浅間神社に祀られています。浅間大菩薩は諸仏菩薩の本地である大日如来として女神の上に描かれていました。この作品は神仏習合（神道と仏教の教えが融合したもの）の絶好例です。

神道と仏教の厳密な分離は主に近代の現象です。過去の時代においては、人々は神と仏を同時に拝むことに矛盾を感じておらず、神道の司祭や仏教の僧侶といった宗教家たちは神を諸仏の化身とする洗練された宗教的理論を発展させました。

このことから、なぜ浅間神に明白な仏教の影響が見られる新たな名前が与えられたのかが分かります。アサマの音読みであるセンゲンを用いて、浅間神は浅間大菩薩となりました。つまり、富士山周辺のアサマ神社とセンゲン神社は違う名前のもとで同じ神を祀っているのです。

【タイトル】 富士山の女神 コノハナサクヤヒメ：浅間神の別の姿

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山的女神

木花开耶姬：浅间神的化身

上面展示的是当年吉田、川口两地御师（传教者）授予“富士讲”信徒的护身符的复制品。这种护身符被称为牛王宝印，或牛王。1788 年的牛王上画的是富士山巅上的阿弥陀佛及其侍者，到 1860 年就变成了一位神道教女神。

在富士山地区，这样的转变早在 1868 年政府下令“神佛分离”之前就开始了。富士山神与神道教“木花开耶姬”女神的重合可以追溯到 17 世纪早期。到了 19 世纪，就连如供奉在忍草浅间神社内的更古老的神像，也都被视同为这位女神。在 1868 年政府令的助推下，富士山神以及全国浅间神社所供神明就是木花开耶姬，很快成为普遍共识，这一点也体现在了下面的雕像和版画中。直至今日，木花开耶姬依然是富士山神最为大众所熟知的形象。

<繁体字>

富士山的女神

木花開耶姬：淺間神的化身

上面是當年吉田、川口兩地御師（傳教者）授予「富士講」信徒護身符的複製品，這種護身符被稱為牛王寶印，或牛王。1788 年的牛王寶印上，是居住在富士山巔的阿彌陀佛及其侍者，到 1860 年就變成了一位神道教女神。

在富士山地區，這樣的轉變早在 1868 年政府下令「神佛分離」之前就開始了，富士山神與神道教「木花開耶姬」女神的結合可以追溯回 17 世紀早期。到了 19 世紀，即便是供奉在忍草淺間神社的早期神，也都被視同為這位女神。在 1868 年政府推行的神佛分離政令下，最終視富士山神以及全國淺間神社所供之神即是木花開耶姬的觀念很快幾乎成為共識。這一點隨即體現在了下面的雕像和版畫中。時至今日，木花開耶姬依然是富士山神最為大眾所熟知的形象。

<日本語仮訳>

富士山の女神

コノハナサクヤヒメ：浅間神の別の姿

上に展示されているのは、吉田と川口の御師たちが富士講信者に配ったお守りです。この種のお守りは牛王宝印、あるいは牛王と呼ばれます。1788年に作られたこの牛王には、富士山の上空にいる阿弥陀如来とその眷属が描かれています。1860年の牛王では、神道の女神が阿弥陀如来に代わっています。

富士山におけるこの変化は、1868年に政府が発した神仏分離令よりずっと前に起こりました。富士山の神と神道の神であるコノハナサクヤヒメが同一視されるようになったのは17世紀初期のことでした。19世紀までには、忍草浅間神社に祀られていた古い像までもがコノハナサクヤヒメを表したものと見なされていました。1868年の政令により、新たな状態の定着が進みました。やがて、富士山の神および国内各地の浅間神社で祀られていた神は、ほぼ一貫してコノハナサクヤヒメと同一の神とされるようになりました。この信仰は下に示されているような彫刻や版画の作品として表現されました。今日に至るまで、富士山の神として最も親しまれているのは、このような図柄です。

【タイトル】 変わりゆく富士信仰 古代：遥拜

【想定媒体】 看板

<簡体字>

变化中的富士信仰

古代：遥拜

富士山的反复喷发，在当时被解读为最可怕、最具破坏力的神之怒火。要预防灾难，就必须安抚富士山神浅间神。当时富士山被归在山南的骏河国（今静冈县）境内，富士山神浅间神也被赐予了“明神”的神圣称号和“正三位”的高贵位阶。但 864 年（贞观六年^{*}）那场大喷发给甲斐国（今山梨县）和富士山北部也造成了重大损害。朝廷匆忙下令在甲斐国再建一座浅间神社。除了以上国家级别的祭祀之外，为供奉山神、祈求火山活动平息，富士山脚的各村都供奉有自己的浅间神。

富士山古来被归在骏河国（今静冈县）境内，因此，朝廷最初只下令在山南修建一座神社，并指派祭司在此行使供奉、安抚山神的重要职责。这就是如今富士山本宫浅间大社的前身。然而，富士山还是在 864 年（贞观六年）发生了一次毁灭性的大喷发，这就是“贞观大喷发”。朝廷经占卜认定，灾祸起源于骏河国祭司的失职。祭司遭到申斥，并被责令加倍努力供奉浅间神。同时，朝廷下令受灾最重的甲斐国（今山梨县）在富士山北侧再建一座浅间神社。神社于次年（865 年）在八代地区建成，并由朝廷指派了新的祭司。研究者相信，这就是今河口湖北岸河口浅间神社的前身。站在神社后的山坡上，河口湖对岸的长尾山与青木原树海一览无余，前者是贞观大喷发的火山口，后者则是在同次喷发留下的熔岩上生长起来的。就这样，一个全新的礼拜场所就在正对当年熔岩喷涌而出的地点上建立起来了。

事实上，对应早期的历次火山喷发，富士山北侧所有主要神社都遵循着类似的选址原则。新仓富士浅间神社所在的山坡，中间隔着 10 世纪上半叶形成的剑丸尾熔岩流遥望富士山；毗邻富士吉田市新仓地区的下吉田也有一座浅间神社，本殿（正殿）正对富士山，背后则是剑丸尾熔岩流。

山脚居民早在几百年前就已经深深了解富士山的威力，各村都有自己供奉山神、祈求火山活动平息的神社，因此，富士山脚才遍布祭祀浅间神的浅间神社。但研究者认为，在 11 世纪以前，并不存在登顶实践信仰的形式。

※貞觀：859-877 年，這裡指日本年號

<繁體字>

變化中的富士信仰

古代：遙拜

富士山的反覆噴發，在當時被解讀為最可怕、最具破壞力的神之怒火，要預防災難，就必須安撫富士山神淺間神。當時富士山被歸在山南的駿河國（今靜岡縣）境內，富士山神淺間神也被賜予了「明神」的神聖稱號和「正三位」的高貴位階。但 864 年（貞觀六年*）那場大噴發給甲斐國（今山梨縣）和富士山北部造成了重大損害，朝廷匆忙下令在甲斐國再建一座淺間神社。除了以上國家級別的祭祀之外，為供奉山神、祈求火山活動平息，富士山腳的各村都供奉著淺間神。

富士山向來被歸在駿河國（今靜岡縣）境內，因此，朝廷最初只下令在山南修建一座神社，指派祭司行使供奉、安撫山神的重要職責，這就是如今富士山本宮淺間大社的前身。然而，富士山還是在 864 年（貞觀六年）發生了一次毀滅性的大噴發，這就是「貞觀大噴發」。朝廷經占卜認定，災禍起源於駿河國祭司的失職，祭司遭到申斥，並被責令加倍努力供奉淺間神。同時，朝廷下令受災最重的甲斐國（今山梨縣）於富士山北側再建一座淺間神社。神社於次年（865 年）在八代地區建成，並由朝廷指派了新的祭司。研究學者相信，這就是今河口湖北岸河口淺間神社的前身。站在神社後的山坡上，河口湖對岸的長尾山與青木原樹海一覽無餘，前者是貞觀大噴發的火山口，後者則是在那次噴發留下的熔岩上生長起來的。就這樣，一個全新的祭祀場所就建在正對當年熔岩噴湧而出的地點。

事實上，對應早期的歷次火山噴發，富士山北側所有主要神社都遵循著類似的選址原則。新倉富士淺間神社所在的山坡，中間隔著 10 世紀上半葉形成的劍丸尾熔岩流遙望富士山；毗鄰富士吉田市新倉地區的下吉田也有一座淺間神社，本殿（正殿）正對富士山，背後則是劍丸尾熔岩流。

山腳居民早在幾百年前就已經深深瞭解富士山的威力，各村都有各自供奉山神、祈求火山活動平息的神社，因此，富士山腳才遍佈祭祀淺間神的淺間神社，但研究學者認為，在 11 世紀以前並不存在登頂修行。

*貞觀：859-877 年，這裡指日本年號

<日本語仮訳>

変わりゆく富士信仰

古代：選擇

繰り返し起こった富士山の噴火は、神の怒りが最も破壊的で恐ろしい形で表現されたものとされてきました。これらの大惨事を防ぐため、富士山の神である浅間神を鎮める必要がありました。富士山は駿河国に帰属すると考えられていましたので、浅間神は同国、すなわち南麓で祀られ、「明神」という権威ある神号と、「正三位」という高い位を与えられていました。しかし、貞観6年[※]にあたる864年の大噴火は、甲斐国（現在の山梨県）の北面に大災害をもたらしました。慌てた朝廷は、駿河国だけでなく、甲斐国においても浅間神を祀らせることとしたのです。こうした国家レベルの祭祀に加え、富士山の山麓に暮らす人びとは、山の平安を祈って村落ごとに浅間神を祀りました。

古くから富士山は駿河国（現在の静岡県）の一部とされていたため、朝廷は富士山の南側に司祭たちが山の神を鎮めるという重要な任に当たることができる神社を建てさせました。この神社は現在の富士山本宮浅間大社の前身でした。しかし、864年、富士山は巨大噴火を発生させました。これが、貞観6年にあたる864年に起こったことから、その名がつけられた「貞観の大噴火」でした。占いにより、朝廷は噴火の原因は駿河国の司祭が、祭祀を怠ったからであると判断しました。司祭たちは叱責を受け、浅間神に対する祭祀の更なる励行を命じられました。加えて、朝廷は噴火による大きな被害を受けた甲斐国（現在の山梨県）の役人たちに、富士山北側にも浅間神を祀る神社を造るよう命じました。この神社は翌年の865年、八代と呼ばれる地域に建てられ、そこで祭祀を行う司祭が新たに任命されました。研究者たちは、この神社は河口湖の北岸に立つ河口浅間神社の前身だったと考えています。神社の背後の山腹からは、河口湖の向こうに、貞観の大噴火の火口である長尾山や、この噴火の溶岩流の上に広がる青木ヶ原樹海が望めます。このように、新たな礼拝の場は、富士山から噴出した溶岩が到達した正確な地点を反映した場所に造営されたのでした。

実のところ、富士山北側の主な神社の全ての立地に、過去の噴火に対する同様の考え方が見られます。新倉富士浅間神社は、10世紀前半に生じた剣丸尾溶岩流の向こうに富士山を望む山腹に位置しています。また、富士吉田市新倉地区に隣接する下吉田地区にある浅間神社の本殿は、剣丸尾溶岩流を背にし、富士山に真っすぐ面しています。

山麓に暮らしていた人々は、何百年も前から富士山の力を知っていました。このため、それぞれの村にはこの山を拝み火山活動が鎮まるよう祈る神社が建てられていました。これが、富士山麓のあちこちに浅間神を祀る浅間神社が存在する理由です。しかし、研究者たちは、信仰の表現としての富士山登頂が始まったのは11世紀になってからであったと考えています。

※貞観：859-877, 日本の元号

【タイトル】 変わりゆく富士信仰 修験道の時代：登拝

【想定媒体】 看板

<簡体字>**变化中的富士信仰****修験道時代：登拝**

修験道是一种融合了佛教密宗、神道教和其他信仰的山岳信仰，起源可以追溯到 7 世纪的神秘主义者役小角（役行者）。他所开创的高山苦修最终在 11 世纪将后世追随者带到了富士山。随着修験道的不断发展，富士山的修行圣地之名渐渐为其他宗教修行者乃至于世俗大众所接受，以攀登富士山为修行的“登拝”由此诞生。

围绕役小角有许多传说，其中不乏与富士山有关的。一则流传甚广的故事就说到，在被流放伊豆半岛附近的伊豆大岛期间，他每晚都踏浪越海，登上富士山苦修。抛开传说，研究者认为，奉役小角为祖师的修験道苦修士出没山区修行，来到富士山的时间应当是 11 世纪。和山下居民供奉山神、祈求火山平静不同，修験道将这座日本最高峰视为践行苦修的好地方。山北的苦修士将位于如今二合目（第二站）的“御室”作为山间大本营，建起一座神殿，殿内供奉役小角像，后来的浅间神社也建在这里。

修験道苦修士们甚至力求将富士山的神力带给无法亲身前往的人。12 世纪中期，被尊为“富士上人”的苦修士末代周游包括首都在内的日本各地，鼓励人们抄写经文，交由他带到富士山埋藏起来。如今富士山周边、山上乃至顶峰都有这一时期的经文出土。

据一份 14 世纪早期的文献记录，曾有佛教僧侣登顶富士山，还举行了“水垢离”（沐浴除垢，净化身心）仪式，这批僧侣本身并无山地经验，带领他们上山的向导很可能就是一名修験道苦修士。由此可见，将富士山作为修行地的观念已开始传入其他宗教。攀登富士山修行的“登拝”传统渐渐形成，直至最终为世俗大众接纳。

<繁体字>**變化中的富士信仰****修験道時代：登拝**

修驗道是一種融合了佛教密宗、神道教和其他信仰的山岳信仰，其起源可以追溯到 7 世紀的神秘主義者役小角（役行者）。他所開創的高山苦修最終在 11 世紀把後世追隨者帶到了富士山，隨著修驗道不斷發展，富士山的修行聖地之名漸漸為其他宗教修行者乃至於世俗大眾所接受，以攀登富士山為修行的「登拜」由此誕生。

圍繞役小角有許多傳說，其中不乏與富士山有關的。一則流傳甚廣的故事就說到，被流放伊豆半島附近的伊豆大島期間，他每晚都踏浪越海，登上富士山苦修。拋開傳說，研究學者認為，奉役小角為祖師的修驗道苦修士出沒山區修行，來到富士山的時間應當是 11 世紀。和山下居民供奉山神、祈求火山平靜不同，修驗道將這座日本最高峰視為踐行苦修的好地方。山北的苦修士將位於如今二合目（第二站）的「御室」作為山間大本營，建起一座神殿，殿內供奉役小角像，後來的淺間神社也建在這裡。

修驗道苦修士們甚至力求將富士山的神力帶給無法親身前往的人。12 世紀中期，被尊為「富士上人」的苦修士末代，周遊包括首都在內的日本各地，鼓勵人們抄寫經文，交由他帶到富士山埋藏起來。如今富士山周邊、山上乃至頂峰都有這一時期的經文出土。

據一份 14 世紀早期的文獻記錄，曾有佛教僧侶登頂富士山，還舉行了「水垢離」（沐浴除垢，淨化身心）儀式，這批僧侶本身並無山地經驗，帶領他們上山的嚮導很可能就是一名修驗道苦修士。由此可見，將富士山作為修行地的觀念已開始傳入其他宗教。攀登富士山修行的「登拜」傳統漸漸形成，直至最終為世俗大眾接納。

<日本語仮訳>

変わりゆく富士信仰

修驗道の時代：登拜

修驗道は、役行者という 7 世紀の神秘主義者を起源とした山岳信仰や密教、神道などを融合した信仰でした。彼が開創した山岳修行は、11 世紀に人々を富士山へと導くことになりました。修験の発展に伴い、富士山は修行の聖地という概念は、修験からほかの宗教の修行者や一般人まで浸透していき、富士山に登る「登拜」という名の修行の伝統が誕生したのです。

役行者の人物像を包む数多くの伝説の中には、富士山にまつわるものもあります。ある伝承によると、伊豆半島沖に浮かぶ伊豆大島で流刑に服していた役行者は、毎晩海上を歩いて富士山に向かい、そこで修行をしたとされます。伝説はさておき、役行者を開祖として崇拝し、山中で祭祀を行う修験の活動は、11 世紀に富士山に到達したと研究者たちは考えています。山麓に暮らしていた人々が富士山を拝み火山活動が鎮まることを祈っていたのとは異なり、修験はこの日本一高い山を自分たちの厳しい修行に適した場所と見なしました。富士山北側で修行するものたちは、二合目の御室と呼ば

れる場所を山内での拠点としました。彼らはここに役行者の像を祀ったお堂を建てました。後に、この場所には浅間神社も建てられました。

また、修験は富士山を直接訪れることのできない人々も富士山の靈力にあやかることを可能にしました。12世紀半ば、富士上人とも呼ばれる末代という修験は、日本の地方の国々、さらには都をも旅してまわり、彼が富士山に代理で埋納する経典を写経することを人々に勧めました。この時期に書写されたとみられる経典は、山頂を含む富士山とその周辺で見つかっています。

14世紀初期のある記録には、普段は山で修行をしない僧侶の集団が、おそらく修験であった案内人に富士山頂まで導かれ、頂上の池で水垢離とよばれる清めの儀式を行ったという記述があります。修行の場所としての富士山の概念は修験から他の宗教者に広がり始めました。これにより、信仰を表現する行為として富士山を登る「登拝」の伝統が確立され、この伝統はやがて一般の巡礼者の間にも浸透していきました。

【タイトル】 変わりゆく富士信仰 近世の巡礼者たち：巡拝

【想定媒体】 看板

<簡体字>

变化中的富士信仰

近代早期巡礼者：巡拜

到 15 世纪下半叶时，攀登富士山的世俗巡礼者人数已经达到了可观的规模。17 世纪早期，随着德川幕府(1603-1868)建立，困扰日本数百年的战乱结束。和平带来了全面的繁荣，兼顾观光与精神洗礼的巡礼旅行被认为能令人直接受益，一时风靡全国。18 世纪，“富士讲”组织兴起，他们致力于宣扬富士山崇拜，组织前往这座神圣高山的巡礼活动。传说葛饰北斋的名画《富岳三十六景》（总计 46 幅）之所以能拥有如此高的声望，其中一大因素就在于富士讲热潮下的社会背景。

富士讲的大本营在江户地区（今东京），据称，当时全城 808 个社区都有自己的富士讲团体。富士讲定期举办集会，每逢登山季，各家团体都选出信徒参与巡礼，并由跟各家团体有关的御师（传道者）在山脚下负责为登山者提供膳宿、补给服务和信仰指导。

年深日久，富士讲巡礼也渐渐发展出新的形式。登顶之外，有人沿半山腰的御中道转山；有人走八海巡路线，在途经的每一个湖泊和池塘举行“水垢离”（沐浴除垢，洁净身心）仪式，这些修行方式就被称为“巡拜”。

<繁体字>

變化中的富士信仰

近代早期巡禮信眾：巡拜

到 15 世紀下半葉時，攀登富士山的一般巡禮信眾規模可觀，17 世紀早期，隨著德川幕府（1603-1868）建立，困擾日本數百年的戰亂終結，和平帶來了全面的繁榮，因巡禮旅行兼顧觀光與精神洗禮於人直接有益，一時風靡全國。18 世紀，「富士講」團體興起，他們致力於宣揚富士山崇拜，舉辦前往這座神聖高山的巡禮活動。據說葛飾北齋的名畫《富嶽三十六景》（總計 46 幅）能舉世聞名，其社會背景之一就是富士講的熱潮。

富士講の大本營在江戸地區（今東京），據說當時全城 808 個社區都有自己的富士講團體。富士講定期舉辦集會，每逢登山季，各團體都選拔信徒參與巡禮，并由跟各團體有關的御師（傳道者）在山腳下負責為登山者提供膳宿、物資補給和說法開示。

經年累月，富士講巡禮也漸漸發展出新的形式，除了登頂之外，有人沿半山腰的御中道轉山；有人走八海巡禮路線，在途經的每一個湖泊和池塘舉行「水垢離」（沐浴除垢，潔淨身心）儀式，這種修行方式被稱為「巡拜」。

<日本語仮訳>

変わりゆく富士信仰

近世初期の巡礼者たち：巡拜

15 世紀後半には、すでに多くの一般巡礼者が富士山に登るようになっていました。17 世紀初頭、数百年にわたって日本を苛んでいた戦乱が終結し、徳川幕府（1603-1868）が開かれました。平和は国中の人々に繁栄をもたらし、靈験あらたかとされていた信仰的な慣習に観光を組み合わせる手段として、全国各地への巡礼が人気を博しました。18 世紀になると、富士山を崇拜し、霊峰・富士への巡礼を取りまとめる「富士講」と呼ばれる団体が数多く組織されました。世界的にも有名な葛飾北斎の『富嶽三十六景』（全 46 枚）の大ヒットの背景のひとつに、「富士講」の流行があったと言われています。

富士講の中心地であった江戸（現在の東京）には、808 の界隈それぞれに 1 つの富士講があったと言われています。富士講は定期的に会合を開き、各講中は毎年登山の季節に代表者数名を富士巡礼へと送り出しました。それぞれの講中と繋がりのあった「御師」と呼ばれる信仰指導者は、参詣者に宿泊施設や物資を提供し、登拜の指導役を務めました。

時代の経過とともに、富士講の巡礼者は異なる崇拜の形を生み出しました。登拜に加え、御中道沿いに富士山中腹の周囲を一周するものもいれば、8 つの湖沼を巡ってそれぞれで水垢離と呼ばれる清めの儀式を行う八海巡りをするものもありました。これらの修行スタイルは「巡拜」と呼ばれました。

【タイトル】 変わりゆく富士信仰 近代：娯楽としての登山

【想定媒体】 看板

<簡体字>

变化中的富士信仰

近代：娱乐性的登山运动

1868年开启的明治维新为日本带来了政治与文化的巨变，同样影响了以富士山为中心的信仰传统。一道拆分神道教与佛教（神佛分离）的政令几乎一夜间改变了富士山的宗教性质。佛教诸神被逐出山顶，佛像或是被毁，或是被“拖下”高山。神道教女神木花开耶姬取代根本佛大日如来，成为高居山巅的富士山神。千百年来，这座高山头一次被认作女神的居所。

与西方世界的日益亲近也为日本带来了新的休闲娱乐方式，比如登山。人们开始单纯为了消遣而攀登富士山，无关苦修或信仰。与此同时，社会潮流与社区生活的改变也使得“富士讲”组织走向衰微。

欢迎女性来到富士山

明治时代(1868-1912)的另一大变革，是解除了女性攀登富士山的禁令。这道存在已久的官方禁令在1872年正式废除，但此前数十年便已有女性来此登山了，就连富士讲的御师们对此也不会提出强烈反对。

<繁体字>

變化中的富士信仰

近代：娛樂性的登山運動

1868年開啟的明治維新為日本帶來了政治與文化的巨變，同樣影響了以富士山為中心的信仰傳統，一道拆分神道教與佛教（神佛分離）的政令幾乎一夜間改變了富士山的宗教面貌。佛教諸神被逐出山頂，佛像或是被毀，或是被「拖下」高山。神道教女神木花開耶姬取代根本佛大日如來，成為高居山巔的富士山神。千百年來，這座高山頭一次被當作了女神的居所。

與西方世界的日益親近也為日本帶來了新的休閒娛樂方式，比如登山。人們開始單純為了休閒而攀登富士山，無關苦修或信仰。與此同時，社會潮流與社區生活的改變也使得「富士講」團體走向衰微。

歡迎女性來到富士山

明治時代（1868-1912）的另一大變革，是解除了女性攀登富士山的禁令。這道存在已久的官方禁令在 1872 年正式廢除，但早在禁令廢除數十年前便有女性來此登山了，就連富士講的御師們也未曾對此提出強烈反對意見。

<日本語仮訳>

変わりゆく富士信仰

近代：娯楽としての登山

1868 年の明治維新がもたらした大きな政治的・文化的な変革は、富士山地域における信仰の伝統にも影響を及ぼしました。政府の発した神仏分離令は、富士山の宗教的な性質をほぼ一夜のうちに変えてしまいました。仏教の神々は即座に山頂から追放され、数々の仏像は破壊されるか、文字通り山腹を引きずり下ろされました。本仏大日如来が住まう山だった富士山は、神道の神、コノハナサクヤヒメを祀る山となりました。長い歴史の中で初めて、富士山は女神コノハナサクヤヒメだけが住まうところと見なされたのです。

西洋との交流が盛んになりつつあった当時の日本では、登山を含む新しい形の娯楽が取り入れられていました。人々は修行や宗教的な目的のためではなく、純粋な娯楽として富士山を登りはじめました。また、社会の動向や地域生活の変化により、富士講の数も減っていきました。

富士山に女性を迎え入れる

明治時代（1868-1912）に起こったもう一つの大きな変化は、富士山における公式な女人禁制の廃止でした。実際には女性は何十年も前から富士山に登っていましたが、長年敷かれていた女人禁制は 1872 年に正式に解かれました。御師の間でさえ、これに対する強い反対はありませんでした。

【タイトル】 変わりゆく富士信仰 現在：新たな登山者、新たな伝統

【想定媒体】 看板

<簡体字>

变化中的富士信仰

当代：新来客，新传统

如今，每一个常规的登山季，富士山都要迎接逾 20 万名登山者。尽管仍有少量“富士讲”团体在坚持，但出于宗教虔诚而来的登山者还是越来越少。不过有一点不可否认，登山这一过程本身依然保有它精神层面的光环，它常常被当作某项人生里程碑的纪念仪式，比如，大学毕业或到了某个特别的年纪，许多人都将登顶富士山视为毕生所愿。

许多人选择在山上过夜，只为能在山顶观看日出景象。也许很少有人会觉得这是一种宗教体验，但苍茫宇宙之下，富士山的存在所带来的敬畏和赞叹，当是与从前的巡礼者一般无二的。

国际化的标志

富士山北麓好几座浅间神社的鸟居上都写着一句古话：“三国第一山”。所谓“三国”，乃是日本、中国和印度。换言之，这句话就是宣称，在当时人们所认知的世界里，富士山是全世界最伟大的山。

尽管远非世界最高峰，但凭借着独特的山形，富士山显然已经成为了 21 世纪的标志性符号之一。无数照片和以葛饰北斋(1760-1849)《神奈川冲浪里》为代表的绘画作品更是让它成为了日本的代名词，而享有盛誉的安全性与非凡的登山体验也吸引着来自世界各地的旅行者。

<繁体字>

變化中的富士信仰

當代：新山友，新氣象

今日，每一個登山季富士山至少迎接 20 萬名登山客，儘管仍有少量「富士講」團體仍依照傳統舉辦巡禮儀式，但出於宗教虔誠而來的登山者是越來越少，但不可否認登山這一

過程本身仍保有精神層面的光環，常常被當作某項人生里程碑的紀念儀式，比如：大學畢業或到了某個特別的年紀，許多人會將登頂富士山視為畢生所願。

為了能在山頂欣賞日出，大部分人會選擇在山上過夜。也許很少有人會覺得這是一種宗教朝聖，但對宇宙中富士山的存在所帶來的敬畏和讚歎，與從前巡禮信眾的心境倒是毫無分別。

國際化的標誌

富士山北麓好幾座淺間神社的鳥居上都寫著一句古話：「三國第一山」。所謂「三國」，乃是日本、中國和印度。換句話說，這就是宣稱在當時人們的認知裡，富士山就是全世界最偉大的山。

儘管遠非世界最高峰，但憑藉獨特的山形，富士山順理成章成為了 21 世紀的標誌性符號之一。無數照片和以葛飾北齋（1760-1849）《神奈川衝浪裡》為代表的繪畫作品更是讓人一看到富士山就聯想到日本，而享有盛譽的安全性和非凡的登山體驗也吸引著來自世界各地的旅行者。

<日本語仮訳>

変わりゆく富士信仰

現在：新たな登山者、新たな伝統

現在、登山シーズンには例年 20 万人以上が富士山を登ります。少数の富士講は今でも活動しているものの、富士山信仰に基づく行為としての登山をする人は減ったかもしれませんが、富士登山には今でも否定しがたい信仰的なオーラが漂います。富士登山は、しばしば大学の卒業や一定の年齢に達したときなどの人生の節目を祝うために行われます。多くの人々は一生に一度は富士山に登りたいと考えています。

山頂からの日の出を見るため、登山者の多数は富士山で一晩を過ごすことを選びます。これを宗教的な体験と考える現代の登山者は少ないかもしれませんが、近代以前の巡礼者たちと同じ様に、彼らも宇宙における富士山の存在を肯定するようなこの光景に畏敬の念を抱いているのかもしれません。

国際的なアイコン

富士山北麓に立つ浅間神社のいくつかでは、鳥居に「三國第一山」という古い語句が掲げられています。この「三國」とは、日本・中国・インドを指します。つまり、富士山は当時の認識における全世界の中で最も偉大な山であると宣言しているのです。

世界最高峰には程遠いものの、富士山の特徴的な姿は明らかに 21 世紀のアイコンのひとつとなりました。無数の写真や葛飾北齋（1760-1849）の『神奈川沖浪裏』のような絵画を通して、日本

の視覚的な代名詞となった富士山は、安全かつ登り甲斐のある山として、世界中の観光客を魅了しています。

【タイトル】 日本各地から寄せられた富士信仰

【想定媒体】 看板

<簡体字>

日本各地的富士信仰

富士山在日本自古享有盛誉，诗歌、散文、美术作品中处处可见，它的美丽早已征服了所有日本人。

11 世纪，火山活动逐渐平息后，修验道苦修士选中这座日本最高峰作为修行地。富士山信仰不断传播发展，到 15 世纪，世俗巡礼者也开始登山礼拜，这就是“登拜”。

这些世俗巡礼者向富士山进奉佛像和鳄嘴铃等宗教仪式器具，妥善安放在登山沿途和山顶极具信仰意义的木构小屋和石室中。与山脚下供奉的木雕神像不同，富士山上的神像多为铜像或铁像，上面刻有铸造年份、供奉者姓名和居住地。右侧地图上标出了已经确认的所有供奉者居住地。其分布以富士山为中心，西及京都，覆盖整个关东地区。富士信仰在日本最大岛屿本州岛上传播之广，由此可见一斑。

<繁体字>

日本各地的富士信仰

富士山在日本自古享有盛譽，詩歌、散文、美術作品中處處可見，富士山的美麗早已征服了所有日本人。

11 世紀，火山活動逐漸平息後，修驗道苦修士選中這座日本最高峰為修行地。富士山信仰不斷傳播發展，到 15 世紀，一般巡禮信眾也開始登山禮拜，這就是「登拜」。

這些一般巡禮信眾向富士山進奉佛像和鱷嘴鈴等宗教儀式器具，妥善安放在登山沿途和山頂極具信仰意義的木構小屋和石室內。與山腳下供奉的木雕神像不同，富士山上的神像多為銅像或鐵像，上面刻有鑄造年份、供奉者姓名和居住地。右側地圖上標出了已經確認的所有供奉者居住地，其分佈以富士山為中心，西至京都，覆蓋整個關東地區，由此可見富士信仰在日本最大島嶼本州上的傳播之廣。

<日本語仮訳>

日本各地から寄せられた富士信仰

古くから富士山は日本全国でよく知られており、詩歌や随筆、美術作品を通して謳われました。その姿の美しさは、日本中の人々を魅了しました。

11 世紀になり火山活動が落ち着くと、修験者たちはこの日本一高い山を修行の場に求めました。富士山を中心とする信仰的な伝統は広がり続け、15 世紀には一般巡礼者もこの山を登り始めました。礼拝の行為として富士山を登る慣習は登拝と呼ばれます。

このような一般巡礼者は富士山に仏像や鰐口などの儀式に使う道具を奉納しました。これらは登山道や山頂にある信仰において大きな重要性を持つ地点に立てられた木造の小屋や石造りの室に保管されました。山麓で拝まれていた木像とは異なり、富士山中の奉納品は銅や鉄の像でした。それぞれの品には通常、その品が作られた年と寄進者の名前および居住地が刻まれていました。右側の地図は、これまでに判明している寄進者たちの居住地を示しています。富士山を中心に、これらの居住地の範囲は関東全域を網羅し、遠くは西の京都にまで及んでいます。このことは、日本最大の島、本州の住民の間に富士信仰がいかに広く普及していたかを示しています。

【タイトル】 巡礼者の町：川口と吉田

【想定媒体】 看板

<簡体字>

巡礼者之城：川口与吉田

15 世纪下半叶，巡礼富士山的人越来越多，为提供人们所需的物质乃至精神补给，北麓的川口、吉田两地随之发展起来。

川口位于河口湖北岸，是甲斐路上的重要驿站。这条道路连接甲斐国（今山梨县）与富士山东麓的骏河国、相模国（今静冈县、神奈川县）。翻越此路线上最后一道主隘口御坂峠而来的巡礼者，通常都会在这里稍作休整后再开始攀登富士山。于是渐渐有御师（传道者）来到川口，为巡礼者提供指引。

更多人选择从吉田出发。这里有“富士山玄关”之称，16 世纪便出现了为巡礼者提供膳宿的御师宿场。吉田市搬迁到如今所在地的时间可以追溯到 1572 年。当时，为避免春季融雪带来滚石和泥石流的风险，人们在原市镇以西 500 米处新建了一条通往富士山的主街，御师宿场沿街分布，最多时曾有 80 多家，只是随着“富士讲”式微，到今天已所剩无几。

<繁体字>

巡禮信眾之城：川口與吉田

15 世紀下半葉，巡禮富士山的人越來越多，為提供人們所需的物資乃至精神補給，北麓的川口、吉田兩地隨之發展起來。

川口位於河口湖北岸，是甲斐路上的重要驛站，這條道路連接甲斐國（今山梨縣）與富士山東麓的駿河國、相模國（今靜岡縣、神奈川縣），翻越此路線上最後一道主隘口「御坂峠」而來的巡禮信眾，通常都會在這裡稍作休息後才開始攀登富士山，於是漸漸有御師（傳道者）來到川口為巡禮信眾提供指引。

更多人選擇從有「富士山玄關」之稱的吉田出發，16 世紀這裡就出現了為巡禮信眾提供膳食住宿的御師宿場。吉田市搬遷到如今所在地的時間可以追溯到 1572 年，當時為避免春季融雪帶來的滾石和土石流風險，人們在原市鎮以西 500 公尺處新建了一條通往富士山的大街，御師宿場沿街分佈，最多時曾有 80 多家，只是隨著「富士講」式微，到今日已所剩無幾。

<日本語仮訳>

巡礼者の町：川口と吉田

15 世紀後半になると、富士山にはますます多くの巡礼者が訪れ始めました。川口と吉田という富士山北麓の 2 地域は、これらの巡礼者の信仰的・実地的なニーズに応じて発展しました。

河口湖の北岸に位置する川口は、すでに甲斐国（現在の山梨県）と富士山東麓の駿河国と相模国（現在の静岡県と神奈川県）を結ぶ甲斐路に設置されていた宿場でした。この経路で富士山に向かう巡礼者にとって、富士山が視界に入る前の最後の主要な難所、御坂峠を越えた先にある川口はありがたい休憩所でした。こういった旅人に役務を提供するため、「御師」と呼ばれる信仰指導者たちが川口に集まってきました。

ほとんどの巡礼者は、16 世紀に御師たちが巡礼者への宿泊場所を提供し始めた「富士山への玄関口」である吉田から出発していました。現在のような街並みになったのは、1572 年です。春先の融雪による土石流の危険を避けるため、住民は元の位置から 500 メートル西に新しい大通りを敷設しました。この新しい大通りは富士山に向かって真っすぐ伸びており、沿道には御師の宿場が軒を連ねていました。最盛期には 80 人以上の御師たちが巡礼者たちに宿泊する場所を提供していました。しかし、その後富士講の信者数が減少したため、今ではかつての宿泊所が数軒佇んでいるのみとなっています。

【タイトル】 富士講の信仰を映し出す：富士山周辺にある清めの水場

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士讲信仰的体现：

富士山周边的净化水域

在登拜之外，富士讲还发展出了其他实践信仰的方式，其中就包括 18 世纪出现的“八海巡”，这是一段环行富士山脚八处水域的朝圣之旅。巡礼者在登山前或后巡行诸湖，每到一处都要将全身或部分身体浸入水中，行净化身心的“水行”仪式。受融合了中国龙文化的龙神信仰影响，人们相信，这些湖泊每个都有自己的龙神（龙王）。“八海”在不同时期和资料里有不同版本，但富士五湖和明见湖总是不变的。

“富士讲”信徒也在日本各地寻找其他净化水域，认为它们同样承袭着富士山的信仰之力，这就有了相对“内八海”的“外八海”。出现于 19 世纪的“忍野八海”全都位于山下的一个村庄里，朝圣行程更加紧凑、便捷。

<繁体字>

富士講信仰的體現：

富士山周邊淨身池

在登拜之外，富士講還發展出了其實踐信仰的方式，其中就包括 18 世紀出現的「八海巡」，這是一段巡迴富士山腳八處水域的朝聖之旅。巡禮信眾在登山前後巡迴諸湖，每到一處都將全身或身體部分浸入水中，行淨化身心的「水行」儀式，受到結合中國龍文化的龍神信仰影響，人們相信這些湖泊都有各自的龍神（龍王）。「八海」在不同時期和文獻裡有不同版本，但富士五湖和明見湖都有出現。

「富士講」信徒也在日本各地尋找其他淨身池，認為其他淨身池同樣承襲著富士山的信仰之力，這樣就有了相對「內八海」的「外八海」，19 世紀出現的「忍野八海」全都聚集在山下的一個村莊中，朝聖行程更為緊湊、便捷。

<日本語仮訳>

富士講の信仰を映し出す：

富士山周辺にある清めの水場

富士講は富士山自体の参詣の他にも信仰を表現する方法を生み出しました。そのひとつは、18世紀に成立した「八海巡り」という富士山麓にある8つの湖への巡礼でした。巡礼者たちは富士山に登る前、あるいは登った後にこれらの湖を巡拝し、水行と呼ばれる心身を清めるために身体の一部または全身を水に浸ける儀式を行いました。中国の龍文化と習合する形での龍神信仰の影響を受け、それぞれの湖には、龍神（龍王）が住んでいると人々は信じていました。八海に数えられる湖の構成は時代により、また書物により異なりましたが、どの構成にも富士五湖と明見湖が含まれていました。

また、富士講信者たちは富士山を中心に据え、より広範な日本各地にも水行の場を求めました。これらの水場はもとの「内八海」に対して「外八海」として知られるようになりました。加えて、19世紀には富士山付近のひとつの村に全ての巡礼地がある「忍野八海」が、より簡便な巡拝の選択肢として確立されました。

【タイトル】 山中湖

【想定媒体】 看板

<簡体字>**山中湖**

山中湖是富士五湖中海拔最高、面积最大的湖，也是人们前来度假的热门之选，因其形状，又有“卧牛湖”之称。南北湖岸的主要道路连接起了富士山北麓和包含骏河国、相模国（今静冈县、神奈川县）等地在内的东部地区。两者都是巡礼者前往北侧吉田口登山道攀登富士山可能行经的道路。传统上，“水行”净化仪式在西南岸举行。

山中湖西南岸村子里的小寺庙门前立着一块石碑，上刻“奉纳鲤”字样，是一个名叫“丸正讲”的富士讲组织在 19 世纪早期立的。

在这里有机会看到“钻石富士”，即日出或日落时，太阳正好嵌在富士山口，宛如璀璨钻石一般的独特景象。每年 10 月中旬至 2 月底日落时分，是欣赏、拍摄这一美景的最佳时间。

<繁体字>**山中湖**

山中湖是富士五湖中海拔最高、面積最大的湖，也是遊客度假的熱門之選，因其形狀又被稱作「臥牛湖」。湖岸南北兩邊各有道路，連接起了富士山北麓和東部的駿河國、相模國（今靜岡縣、神奈川縣）等地。兩路都是巡禮信眾前往北側吉田口登山道攀登富士山的常規道路，傳統上，「水行」淨化儀式在西南岸舉行。

山中湖西南岸村子裡的小寺廟門前立著一塊石碑，上刻「奉納鯉」字樣，是一個名叫「丸正講」的富士講團體在 19 世紀早期立的石碑。

在這裡有機會看到「鑽石富士」，即日出或日落時，太陽正好嵌在富士山口，宛如璀璨鑽石的獨特景象，每年 10 月中旬至 2 月底日落時分，是欣賞、拍攝此一美景的最佳時間。

<日本語仮訳>

山中湖

富士五湖の中で最も標高が高く、最も大きい山中湖は人気の行楽地です。山中湖は、牛が伏せているような形から別名「臥牛湖」とも言われていました。この湖の南北両方から延びる主要な道は、どちらも富士山北麓地域と駿河国や相模国（現在の静岡県と神奈川県）を含めた東側の地域とを繋いでいました。どちらの道も吉田口登山道を通して富士山北面を登りに向かう巡礼者たちが利用しました。山中湖の南西岸で水行と呼ばれる身を清める沐浴の儀式を行うことが慣習となっていました。

山中湖の南西岸の村にある小さなお寺の前には、「奉納鯉」と刻まれた石碑が立っています。この碑は 19 世紀初期に丸正講という名の富士講によって建立されました。

ここでは、「ダイヤモンド富士」を見ることができます。ダイヤモンド富士とは、日の出または日の入りに、富士山頂付近に太陽が重なり、まるでダイヤモンドのように輝く光景です。毎年 10 月中旬から 2 月末まで日の入り時に、その景色を眺めるまたは撮影する最高の時期です。

【タイトル】 明見湖と泉津湖

【想定媒体】 看板

<簡体字>**明見湖和泉津湖****明見湖**

在浮世绘大师葛饰北斋(1760-1849)的《富岳百景》图里，明见湖茅屋环绕，一派宁静安然，富士山只远远地隐约可见。这是自东面翻越鸟居地峠前往吉田的必经地。殊途同归，巡礼者若是自大月取道甲州公路，然后循桂川往西南方向经由富士道前行，最终也会来到这里。

因现在湖中多莲，本地人也称之为“莲池”。明见湖风光秀丽，春可赏樱，夏有莲花与紫阳花，秋天红叶似火。

湖岸村子里有四户人家经营高山小屋，在富士山上为巡礼者提供歇脚或过夜的膳宿服务。其中两个位于半山，两个在山顶处。

泉津湖

泉津湖又称“泉瑞”，较晚才跻身内八海巡礼环线之列。它所取代的是富士山南麓的须津湖，对于由江户南下的巡礼者来说，后者的地理位置实在不太方便。

从北口本宫富士浅间神社（也就是吉田口登山道的起点）开始，徒步约 3 公里即可抵达泉津湖。许多巡礼者都会在登山前顺路先来这里进行“水行”净化仪式。

纵然当年泉水充盈，如今的泉津湖却已不再有泉水涌出地面，只余下两块“富士讲”团体的石碑，告诉人们，这里曾经是信仰圣地。只是虽无涌泉，却依然有本地山泉水经暗渠被引入北口本宫，向神社手水舍的手水钵里源源不断地注入清泉。

<繁体字>**明見湖和泉津湖****明見湖**

在浮世繪大師葛飾北齋（1760-1849）的《富嶽百景》圖裡，明見湖茅屋環繞，一派寧靜安然，遠處的富士山若隱若現。此處是巡禮信眾自東面翻越「鳥居地峠」前往吉田的必經地，若巡禮信眾從大月取道甲州公路，沿桂川往西南方向前行，再經由富士道最終也會來到這裡。

因現在湖中多蓮，本地人也稱之為「蓮池」，明見湖風光秀麗，春可賞櫻，夏有蓮花與紫陽花，秋天紅葉似火。

湖岸村子裡有四戶人家經營高山小屋，在富士山上為巡禮信眾提供歇腳或過夜的用膳住宿服務。其中兩間位於半山，另外兩間高山小屋則座落在山頂。

泉津湖

泉津湖又稱「泉瑞」，較晚才躋身內八海巡禮路線之列，泉津湖取代富士山南麓的須津湖成為巡禮景點，對於由江戶南下的巡禮信眾來說，須津湖的地理位置實在不太方便。

從北口本宮富士淺間神社（也就是吉田口登山道的起點）開始，徒步約 3 公里即可抵達泉津湖，許多巡禮信眾都會在登山前順路先來這裡進行「水行」淨化儀式。

當年泉水充沛的泉津湖，如今已無泉水湧出地面，只留下兩塊「富士講」團體樹立的石碑，告訴人們這裡曾經是信仰聖地。不過雖沒有湧泉，卻依然有本地山泉水經暗渠被引入北口本宮，為神社內手水舍的手水鉢供應源源不斷的清泉。

<日本語仮訳>

明見湖と泉津湖

明見湖

浮世繪の大家である北齋（1760-1849）の『富嶽百景』において、明見湖は茅葺きの家々に囲まれ遠くにかろうじて富士山が見える穏やかな湖として描かれています。東から鳥居地峠を越えてやってくる人々にとって、この地域は吉田への玄関口でした。別の経路を取り、大月で甲州街道から分岐して桂川を南西に進む富士道を通ってきた巡礼者も、この湖にたどり着きます。

現在の明見湖は、湖面に蓮が植生していることから、地元では「蓮池」とも呼ばれていました。美しい景気が広がる明見湖では、春は桜、夏は蓮やあじさい、秋には紅葉が楽しめます。

明見湖畔の集落では 4 世帯が富士山で山小屋を営み、登山者に宿泊する場所を提供していました。山小屋のうち、2 軒は中腹にあり、もう 2 軒は山頂にありました。

泉津湖

泉瑞とも呼ばれる泉津湖は、後に内八海巡礼ルートにも数えられるようになりました。泉津湖は、江戸（現在の東京）からの巡礼者にとっては、不便な富士山の南側にあった須津湖の代わりとなりました。

泉津湖は、吉田口登山道の起点である北口本宮富士浅間神社から3キロメートルほど進んだところにあります。そのため、多くの巡礼者は富士山に向かう途中で水行という清めの儀式を行いました。

かつては湖を満たしていましたが、現在では地表面に湧水を認めることができません。富士講の講中が建立した二基の石碑が、ここが信仰の場であったことがわずかに伝えていています。なお、地表にこそ現れないものの、この地の湧水は暗渠により北口本宮の境内に導かれ、同社の手水舎の手水鉢を清水で満たしています。

【タイトル】 河口湖

【想定媒体】 看板

<簡体字>**河口湖**

对于沿着巡礼古道赴富士山北麓的“富士讲”巡礼者而言，抵达御坂峠意义重大。在这里，他们第一次毫无阻碍地看见富士山，感受它全然的巍峨——那里甚至还有一座鸟居，标志着他们就此踏入了富士山的领域。下到河口湖，迎接他们的又是另一番值得铭记的景象：高山隔湖矗立，宏伟壮丽。葛饰北斋(1760-1849)曾描绘过这一幕。直到今日，人们依然会在春日里聚集到东北湖岸的产屋崎，欣赏繁樱、平湖与富士雄姿交相辉映的美景。

富士讲巡礼者常称河口湖为“船津湖”。所谓“船津”，即泊船之所，而河口湖正是富士讲巡礼者举行“水行”净化仪式的地方。这个名字至今仍被用在本地地名中，最著名的就是相距不远的船津胎内熔岩洞。

<繁体字>**河口湖**

對於沿著巡禮古道赴富士山北麓的「富士講」巡禮信眾而言，抵達「御坂峠」意義重大。在這裡他們第一次毫無阻礙地遠眺富士山，感受山勢巍峨——那裡甚至還有一座鳥居，標誌從此正式踏入了富士山的領域。下到河口湖，迎接他們的又是另一番著名景象：高山隔湖矗立，宏偉壯麗。葛飾北齋（1760-1849）曾描繪過這一幕。直到今日，人們依然會在春日到湖岸東北側的產屋崎，欣賞繁櫻、平湖與富士雄姿交相輝映的美景。

富士講巡禮信眾常稱河口湖為「船津湖」，所謂「船津」，即船隻停泊處，而河口湖正是富士講巡禮信眾舉行「水行」淨化儀式的地方，「船津」一詞常常出現在當地地名中，其中最著名的就是相距不遠的船津胎內熔岩洞。

<日本語仮訳>**河口湖**

古くからの巡礼路を辿って、富士山北麓を目指した富士講の巡礼者たちにとって、御坂峠への到達は大変重要な意味を持っていました。ここで巡礼者たちは道中初めて、何も遮るもののない雄大な富士山を一望する景色を目にできたのです。また、この場所には富士山の領域の入り口を示す鳥居もありました。河口湖まで下ると、巡礼者たちは北斎（1760-1849）の浮世絵に描かれた名高い景観、河口湖の向こうにそびえる富士山の荘厳な眺めも堪能しました。現在でも春になると、河口湖の北東岸にある産屋ヶ崎には桜の景色、湖、そしてその背後にそびえる富士山の雄姿を楽しむために多くの人が訪れます。

富士講の巡礼者たちは、しばしば河口湖を別称である船津湖と呼んでいました。船津とは船着き場のことで、河口湖においてはここが富士講の巡礼者が水行に臨んだ場所でした。この言葉は地元の地名として残っており、もっとも有名なところでは、溶岩洞穴の「船津胎内」がその一例です。

【タイトル】 西湖

【想定媒体】 看板

<簡体字>**西湖**

西湖位于河口湖以西，直到 20 世纪 60 年代才有路可通。此前，就连同在湖岸边的村庄之间也只能划船往来。研究者相信，当年走八海巡的巡礼者多半也依靠船只穿过西湖。

南岸有一个名叫“龙宫洞穴”的熔岩洞，本地居民相信洞中住着一位龙身的水神。当地自古有干旱时来这里向龙神祈雨的习俗，这也是“富士讲”组织将现成圣地纳为己用的一个例证。现在，这个洞穴已经成了剡（音“产”）海神社，每年 8 月 2 日都会举办龙宫祭。

西湖北面是高耸的十二岳，传说修验道的开山祖师役小角在攀登富士山之前，也曾登上这座山。

如今的西湖静谧安宁，是露营及垂钓的胜地。

<繁体字>**西湖**

西湖位於河口湖以西，直到 1960 年代才開通道路。在此之前，湖岸邊的村莊的交通只能依靠船隻。研究學者相信，當年走八海巡的巡禮信眾多半也是划船穿過西湖。

南岸有一處名叫「龍宮洞穴」的熔岩洞，當地居民相信洞中住著一位龍身的水神，當地自古以來有乾旱時來此處向龍神祈雨的習俗，這也是「富士講」將既有的聖地納入巡禮勝地的一個例子。今日，這個洞穴已經成了剡（音「產」）海神社，每年 8 月 2 日都會舉辦龍宮祭。

西湖北面是高聳的十二岳，傳說修驗道的開山祖師役小角在攀登富士山之前，也曾登上這座山。

如今的西湖靜謐安寧，是露營及垂釣的好去處。

<日本語仮訳>**西湖**

西湖は河口湖の西に位置しています。1960年代まで、この湖の周りには道が通っていませんでした。それ以前は、湖岸の集落間の移動にさえ舟が利用されていました。研究者たちは、八海巡りをしていた巡礼者の大部分も舟でこの湖を渡ったと考えています。

西湖の南岸には「竜宮洞穴」と呼ばれる溶岩洞窟があります。地域住民はこの洞穴は龍の姿をした水神の住まいだと信じていました。遠い昔、人々が早魃の際この龍神に雨乞いをしていた竜宮洞穴は、富士講が自分たちの慣行に取り入れた既存の霊場の一例です。現在、剡海神社としても知られるこの洞窟では、毎年8月2日に竜宮祭が執り行われています。

北方には十二ヶ岳がそびえ立っています。修験道の開祖とされる役行者は、富士山に登る前にこの山に登ったと伝えられています。

静かな雰囲気の中、キャンプや釣りを楽しめる湖として人気です。

【タイトル】 精進湖

【想定媒体】 看板

<簡体字>**精進湖**

精進湖は剝（音“産”）海西端最后残留下来的部分。在864年の貞観*大噴發中，这个大湖几乎被熔岩注满，所剩无几。精進湖崎嶇多岩の南岸就是当年熔岩流止步的地方，西岸の「中道往返」是一条连接北面甲府盆地和南面駿河国（今静岡県）的古商道。

湖名“精進”，主要源自修驗道祖師役小角在攀登富士山之前曾在这里举行沐浴儀式之说。不过此说并不可信，因为那时还没有精進湖，这一带还是剝海的一部分。“富士講”巡禮者在北岸精進村附近举行“水行”淨化儀式，那也是隔湖眺望富士山の上佳觀景點，能看到富士山懷擁前方大室山の“抱子富士”景象。

尽管地处偏远，但精進湖是拍摄“逆富士”（富士山水面倒影）的热门地点，靜謐的氛围也頗得垂釣者青睞。

※貞観：859-877年，这里指日本年号。

<繁体字>**精進湖**

精進湖是剝（音「産」）海西端最後殘留下來的湖泊，在864年的貞観*大噴發中这个大湖几乎被熔岩注满，所剩無幾。精進湖崎嶇多岩の南岸就是當年熔岩流止步的地方，西岸の「中道往返」是一條連接北面甲府盆地和南面駿河國（今静岡県）的古商道。

湖名「精進」主要源自修驗道祖師役小角在攀登富士山之前曾在這裡舉行沐浴儀式的傳說。不過此說並不可信，因為那時精進湖還未形成，這裡是剝海的一部分。「富士講」巡禮信眾在北岸精進村附近舉行「水行」淨化儀式，那裡也是隔湖眺望富士山の絕佳觀景點，可以看到富士山懷擁前方大室山の「抱子富士」景象。

儘管地處偏遠，但精進湖是拍攝「逆富士」（富士山水面倒影）的熱門地點，靜謐的氛圍也頗得垂釣者青睞。

*貞観：859-877年，這裡指日本年號

<日本語仮訳>

精進湖

精進湖は、剡ノ海の西端の名残です。864年に発生した貞観[※]の大噴火の際、この大きな湖の大部分は溶岩流で埋め立てられました。精進湖南岸の入り組んだ岩盤は、溶岩の流れがとまったところ
です。湖の西には、北の甲府盆地と南の駿河国（現在の静岡県）を結んだ中道往還という古い交
易路が通っています。

この湖の名前は、修験道の開祖と仰がれる役行者が富士山に登る前に、ここで清めの儀式を行っ
たことに由来するといえます。もっとも、役行者の生きた時代には、精進湖は成立していません。まだ剡
ノ海の一部でしたので、事実とは言えません。富士講の巡礼者は、精進湖北岸の精進村に近い場所
で水行に臨みました。ここは湖越しに素晴らしい富士山の景色が見える最高の場所で、また、精進湖
からの富士山は、手前の大室山を抱えた「子抱き富士」として有名です。

奥まったところにあるものの、精進湖は、「逆さ富士」（水面に映る富士山）の撮影スポットとして人
気があり、またその静かな環境から、釣り愛好家の間でも特に人気のスポットとなっています。

※貞観：859-877，日本の元号

【タイトル】 本栖湖

【想定媒体】 看板

<簡体字>**本栖湖**

本栖湖位于精进湖西南，近静冈县界。它水深 138 米，是富士五湖中最深且清澈度最高的湖，日元千元纸币背面的富士倒影图就是摄影家冈田红阳(1895-1972)在这里拍摄的摄影作品《湖畔之春》。

过去，甲斐国（今山梨县）和骏河国（今静冈县）之间靠一条名为“中道往返”的道路连通。同精进湖边的精进村一样，本栖湖边的本栖村也是道中要驿。湖泊东北不远处的山头上还有一座本栖城。研究者认为，其修建者是甲斐国的武田家族，目的在于观察本国与骏河国之间百姓及物资的动向。如今城堡只存遗址。

“富士讲”巡礼者在湖东岸本栖村外不远处举行“水行”净化仪式，之后向南进入骏河国。如今的东岸是当年熔岩注入湖中形成的，因此并无“岸”可言，就是光秃秃的火成岩。

<繁体字>**本栖湖**

本栖湖位於精進湖西南，近靜岡縣界，水深 138 公尺，是富士五湖中最深且清澈度最高的湖，日本千圓紙幣背面的富士倒影就是攝影家岡田紅陽（1895-1972）在這裡拍攝的作品《湖畔之春》。

過去，甲斐國（今山梨縣）和駿河國（今靜岡縣）之間靠一條名為「中道往返」的道路連通，和精進湖邊的精進村一樣，本栖湖邊的本栖村也是道中重要驛站。湖泊東北不遠處的山頭上還有一座本栖城，研究學者認為，其修建者是甲斐國的武田家，目的在於觀察本國與駿河國之間百姓和物資的動向，如今本栖城只剩下遺址。

「富士講」巡禮信眾在湖東岸本栖村外不遠處舉行「水行」淨化儀式，之後向南進入駿河國。如今的東岸是當年熔岩注入湖中形成的，因此並沒有「岸」，而是光禿禿的火成岩地貌。

<日本語仮訳>

本栖湖

本栖湖は、精進湖の南西、静岡県との県境近くにあります。この湖は富士五湖のなかで水深が最も深く、138mに達します。本栖湖は一番の透明度を誇り、千円札の裏面に描かれている逆さ富士のデザインの元は、写真家の岡田紅陽（1895-1972）がここで撮影した「湖畔の春」です。

かつて、甲斐国（現在の山梨県）と駿河国（現在の静岡県）は「中道往還」という道で結ばれていました。本栖湖畔の本栖集落は、精進湖岸の精進村と同様にこの道の要地でした。近くには、北東にそびえる山の上に本栖城も立っていました。甲斐国の武田氏は、自国と駿河国の間の人々と物資の往来を監視するためこの城を建てたと研究者たちは考えています。現在は城跡のみが残っています。

富士講の巡礼者は、本栖集落に程近い本栖湖の東岸で水行をしたのち、駿河との国境を越え、南に向かって旅を続けました。かつて存在していた湖が溶岩で埋め立てられてできたこの地域では、湖岸はむき出しの火成岩で「浜」はありません。

【タイトル】 四尾連湖

【想定媒体】 看板

<簡体字>**四尾连湖**

四尾连湖位于精进湖西北 9 公里外，海拔 850 米，湖水沁凉、宁静，湖上常年迷雾缭绕，再加上地处僻远，便自然生出了些神秘的气息。湖泊东南方是高耸的蛾岳（有传说称此山得名于中国峨眉山），登上蛾岳顶峰便可眺望东南方的富士山。虽然是内八海中距富士山最远的一个，四尾连湖和蛾岳却是行家们所青睐的风景胜地。

有“富士讲”组织在湖岸边立了一块祭祀尾崎龙神的石碑，表示这个地方对他们来说的意义。当年的富士讲巡礼者是如何来到四尾连湖的，答案尚无定论。研究者猜测，他们或许是从精进湖北岸的村庄出发，翻越“女坂”（也称“阿难坂”）山口，再循着连接山肩各村庄的小路，最终抵达本地。另一种可能则是从本栖湖走山脊线而来。

<繁体字>**四尾連湖**

四尾連湖位於精進湖西北 9 公里外，海拔 850 公尺，湖水沁涼、寧靜，湖上常年迷霧繚繞，再加上地處僻遠，便增添了神秘氣息。湖泊東南方是高聳的「蛾岳」（有傳說稱此山得名於中國峨眉山），登上蛾岳頂峰便可眺望東南方的富士山。雖然是內八海中離富士山最遠的一個，四尾連湖和蛾岳卻是行家青睞的私房風景勝地。

有「富士講」團體在湖岸邊立了一塊祭祀尾崎龍神的石碑，表示這個地方對他們來說有獨特的意義，當年的富士講巡禮信眾是如何來到四尾連湖，答案尚未有定論。研究學者猜測他們或許是從精進湖北岸的村莊出發，翻越「女坂」（也稱「阿難坂」）山口，再循著連接山肩各村莊的小路最終抵達當地；另一種可能是從本栖湖沿山脊線而來。

<日本語仮訳>**四尾連湖**

四尾連湖は、精進湖から9 km北西の標高850mの場所にあります。冷たく穏やかな湖水、水面にしばしば漂う霧は、この地域の比較的奥まった場所柄と相まって、神秘的な雰囲気を作り出しています。この湖の南東には、「蛾ヶ岳」が聳えています。一説に中国の峨眉山にちなんで名づけられたというこの山の頂からは、南東方に富士山を望むことができます。四尾連湖は内八海のなかで富士山から最も遠いところがありますが、蛾ヶ岳とともに知る人ぞ知る景勝地です。

ある富士講が湖岸に建てた尾崎龍神を祀る石碑は、ここが彼らにとって信仰的な重要性を持つ場所だったことを示しています。富士講の巡礼者たちがどのように四尾連湖に向かっていたかは分かっていません。研究者たちは、巡礼者は精進湖の北岸にある集落から女坂（当時は「阿難坂」と呼ばれていた）の峠を登った後、山の肩に点在する村々をつなぐ道をたどったのではないかと考えています。また、本栖湖から稜線沿いのルートを通った可能性もあります。

【タイトル】 人穴と白糸の滝

【想定媒体】 看板

<簡体字>

人穴与白丝瀑布

富士山西侧也发现了几处与长谷川角行(1541?-1646)有关的圣地，他是“富士讲”组织所敬奉的开山祖师。这里同样有富士讲信徒前来朝圣，他们通常选择走连接富士山西、北两侧的神野路而来。

人穴

人穴是个熔岩洞穴，形成于古代的一次熔岩流。如今洞中有积水，但依然可容人直立。早在 13 世纪便有关于人穴的记载，有人相信它是富士山神“浅间大菩萨”的居所，也有人认为它是地狱的入口。无论如何，它的神秘幽远总能唤起人们内心的敬畏。

长谷川角行曾在洞内苦修的说法由来已久。18 世纪开始，富士讲巡礼者将这里奉为圣地，纷纷前来朝圣，他们在洞口立下的石碑如今已超过 200 块。

进入洞穴需预约。

白丝瀑布

传说长谷川角行先是在这里苦修，后来才去了人穴。瀑布本身非凡的美也吸引了艺术家的关注。1762 年，池大雅(1723-1776)将瀑布与背后的富士山巧妙融于画中，在构图上对后世影响巨大。1843 年平井显斋(1802-1856)的作品则更抽象神秘，画家直接将富士山放在画面中心，呈现出二维效果，类似日本各宗教圣地里常见的参诣曼荼罗。

<繁体字>

人穴與白絲瀑布

富士山西側也發現了幾處與長谷川角行（1541?-1646）有關的聖地，他被「富士講」組織奉為開山祖師，此處同樣有富士講信徒前來朝聖，朝聖者通常走連接富士山西、北兩側的神野路而來。

人穴

人穴は座熔岩洞穴，形成於古代的一次熔岩流，如今洞中雖然有積水，但依然可讓人在洞穴內直立走動。早在 13 世紀便有關於人穴的記載，有人相信此處是富士山神「淺間大菩薩」的居所，也有人認為是地獄的入口。無論如何，它的神秘幽遠總能喚起人們內心的敬畏。

長谷川角行曾在洞內苦修的說法由來已久，因此 18 世紀開始，富士講巡禮信眾將這裡奉為聖地，紛紛前來朝聖，而他們在洞口立下的石碑如今已超過 200 塊。

進入洞穴需事先預約。

白絲瀑布

傳說長谷川角行先是在這裡苦修，後來才去了人穴，瀑布本身非凡的美也吸引了藝術家的關注。1762 年，池大雅（1723-1776）將瀑布與背後的富士山巧妙融於畫中，在構圖上對後世影響巨大。1843 年平井顯齋（1802-1856）的作品則更抽象神秘，畫家直接將富士山置於畫面中心呈現出平面效果，類似日本各宗教聖地裡常見的參詣曼荼羅。

<日本語仮訳>

人穴と白糸の滝

富士山の西側にも富士講巡礼者が自分たちの開祖と仰いだ長谷川角行（1541?-1646）ゆかりの霊場があり、一部の富士講巡礼者はこれらの場所も訪れました。彼らが利用した道は神野路と呼ばれ、富士山の北側と西側を結んでいました。

人穴

人穴は遠い昔の溶岩流によって形成されました。洞穴内は一部が浸水しているものの、人が立てるほどの広さがあります。古くは 13 世紀の文献にこの洞穴についての記述があります。人々の中には、人穴は富士山の神である浅間大菩薩の住処であると信じていたものもあれば、地獄への入り口であると信じていたものもありました。訪れた巡礼者たちはその神秘的で心を揺さぶる雰囲気、畏敬の念を覚えます。

角行はこの洞穴内で修行をしたと伝えられています。18 世紀には、富士講の巡礼者たちはこの場所を聖地として崇め、参拝するようになりました。現在、様々な富士講が建てた 200 基以上の石碑が洞穴の入口を取り囲んでいます。

入洞には事前予約が必要です。

白糸ノ滝

伝えられるところによると、角行は人穴の前に、この場所を使って修行していました。また、この滝の類まれな美しさは芸術家たちの注目も集めました。池大雅（1723-1776）が 1762 年に描いた富

士山を背にした滝の絵は、特にその構図において後世の人に影響を与えました。富士山を中央に配置し、日本各地の霊場で作られた参詣曼荼羅という平面的な絵画を模した平井顕斎（1802-1856）による1843年の作品は、より抽象的で、神秘的ですらあります。

【タイトル】 忍野八海

【想定媒体】 看板

<簡体字>**忍野八海**

内八海环绕着富士山，完成整个巡礼需耗费数日。将近 19 世纪中期时，一个甲斐国（今山梨县）境内的“富士讲”组织想出了解决之道：“复兴”忍草村的八处泉池，替代原有的八海巡。

忍草村位于连接明见湖和山中湖的道路边，交通便捷。据记载，这项“复兴行动”中也包括了新建的部分，以确保足够数量的泉池能够集中在一日环线的范围内。计划成功了，忍野八海至今仍是旅游热门地点。不过“忍野八海”之名直到 20 世纪 30 年代才出现，在那之前，一直都只有“忍草元八湖”。

相距不远的忍草浅间神社以三尊 14 世纪的木雕神像闻名。三尊都是坐像，其中最大的一尊是女神像，另两尊为男神。

<繁体字>**忍野八海**

內八海環繞著富士山，完成整個巡禮需耗時數日，在近 19 世紀中期時，一個甲斐國（今山梨縣）境內的「富士講」團體想出了解決之道：「復興」忍草村的八處泉池，替代原有的八海巡。

忍草村位於連接明見湖和山中湖的道路旁邊交通便捷，據記載，這項「復興行動」中也包括了新建的部分，以確保足夠數量的泉池能夠集中在一日巡環路線的範圍內。這個計劃也確實成功了，忍野八海至今仍是旅遊熱點。不過「忍野八海」之名要直到 1930 年代才出現，在這之前一直都稱為「忍草元八湖」。

相距不遠的忍草淺間神社以三尊 14 世紀的木雕神像聞名，三尊都是坐像，其中最大的是女神像，另兩尊為男神像。

<日本語仮訳>

忍野八海

内八海は富士山の周囲に点在していたため、全箇所を巡るのには何日もかかりました。19 世紀後半になる頃、甲斐国のある富士講がこれに対する解決策を編み出しました。それは、忍草という村にある八つの泉を、代替的な八海として「再興」させるというものでした。

忍草村は明見湖と山中湖を結ぶ道沿いの交通便の良い場所に位置していました。この「再興」では、実は一日で巡ることができる範囲に八泉を確保するための新たな工事が行われたことが、文献に示唆されています。この計画は成功し、忍野八海は今日でも人気の観光地となっています。「忍野八海」という名称自体は 1930 年代につけられたもので、それ以前は「忍草の元八湖」と呼ばれていました。

また、近くの忍草浅間神社も、14 世紀に彫られた神の木像 3 体が安置されていることで有名です。3 体とも坐像です。最も大きい像は女神で、他の 2 体は男神です。

【タイトル】 外八海

【想定媒体】 看板

<簡体字>**外八海**

外八海遍及大半个日本，从日光市的中禅寺湖到京都北面的琵琶湖，相距逾 300 公里。和内八海一样，它们也被认为与“富士讲”所奉祖师长谷川角行(1541?-1646)有关。长谷川角行生平里的确有他在日本各地山水间苦修或行“水行”净化的记录，其中就有外八海中的两处：琵琶湖和箱根的芦之湖。

外八海分布图如下。对比右侧这张 1843 年的地图，可以看出，八处水行地围绕富士山组成了一个松散的圆环，且大都能远望富士。

一些富士讲组织不满足于仅仅登上富士山和巡礼内八海，开始追随着长谷川角行的足迹朝圣外八海，行水行仪式。一本 1860 年的旅行指南上已经出现了“外八海”之说，说明当时它们已广为人知。

<繁体字>**外八海**

外八海遍及大半個日本，從日光市的中禪寺湖到京都北面的琵琶湖，相距逾 300 公里，和內八海一樣，據說都是與「富士講」所奉祖師長谷川角行（1541?-1646）有關。長谷川角行生平裡的確有他在日本各地山水間苦修或行「水行」淨化的記錄，其中就有外八海中的兩處：琵琶湖和箱根的蘆之湖。

外八海分佈圖如下。對比右側這張 1843 年的地圖，可以看出八處水行地圍繞富士山形成了一個鬆散的圓環，且景點大都能遠眺富士。

一些富士講團體不滿足於僅僅登上富士山和巡禮內八海，開始追隨著長谷川角行的足跡朝聖外八海、行水行儀式。一本 1860 年的旅行指南上已經出現了「外八海」之說，說明當時外八海是廣為人知的巡禮路線。

<日本語仮訳>

外八海

外八海は、日光の中禅寺湖から 300km 以上離れた京都の北に位置する琵琶湖まで、日本の多くの地域に点在しています。内八海と同様、外八海は富士講が開祖として崇めた長谷川角行（1541?-1646）ゆかりの地とされています。実際、角行の人物伝には、外八海のうち、琵琶湖と箱根にある蘆ノ湖の 2 湖を含む日本各地の山や水場における苦行や水行が記述されています。

下の地図に外八海を表示しています。この地図と右側の 1843 年版の地図を比べると、外八海を構成する八か所の水行場は、大抵遠方に富士山を望む場所にあり、富士山を中心として緩やかな円を描いていることが分かります。

富士講の中には、ただ富士山登頂と内八海巡りを達成するだけに満足せず、角行の足跡をたどって各地で水行をするため外八海巡りを始めた集団もありました。1860 年の旅の手引書には「外八海」と題された八か所が挙げられており、当時すでに外八海が良く知られていたことが伺えます。

【タイトル】 御中道：富士中腹の巡礼路

【想定媒体】 看板

<簡体字>

御中道：富士半山的巡礼之路

中道即富士山腰海拔 2300 至 2800 米处的环形巡礼道。它被视为对意志力和虔诚度的最大考验，难度更甚于登顶。道路穿越大泽崩及多处山谷，危险度很高，只有最熟练的巡礼者才能尝试。富士讲巡礼者以“御”表达敬意，称穿越这条路线的举动为“御中道”。久而久之，人们便直接以这个说法代替了路名。

巡礼者通常在登顶后的返程途中转到御中道，它与吉田口登山道在不净岳（海拔 2500 米）相交，顺时针方向行走，至南坡过夜，次日穿过大泽崩，在小御岳神社参拜后返回吉田口登山道。终点在不净岳下方，因此御中道并不是一个完整闭合的圆。

走御中道有特殊的装备。巡礼者会把一条两米长的白布缠在头上充当帽子，遇险它就是登山索。此外，他们还会随身携带一根两米多长的“中道杖”。

大泽崩

御中道最危险的路段是大泽崩，这是富士山西面的一道 V 形山谷。巡礼者通常在山腰过一夜，黎明时开始穿越。但如今御中道多处路段难以通行，登山者只能走一小段北面维护良好的区间。

大泽崩对面的大泽室是一处山间小屋，可供巡礼者在完成紧张的穿越后稍作休整。旁边有一座名叫“三柱神社”的小神社，墙上挂满了富士讲团队留下的“招旗”（即木制名牌），以示对安全穿越的感激，同时也是成功的证明。

<繁体字>

御中道：富士半山的巡禮之路

中道即富士山腰海拔 2300 至 2800 公尺處的環狀巡禮道，這條路線對意志力和虔誠帶來很大的考驗，難度更甚於登頂。道路穿越大澤崩和多處山谷，危險係數很高，只有經驗老道的巡禮者才能嘗試。富士講巡禮者用「御」表達敬意，於是稱呼穿越這條路線的行動為「御中道」，久而久之，人們就直接以這個說法代替了道路名。

巡禮信眾通常在登頂後的返程途中，再轉至御中道，它與吉田口登山道在「不淨岳」（海拔 2500 公尺）相會，巡禮信眾繼續按順時針方向行走至南坡過夜。第二天穿過大澤崩，在小御嶽神社參拜後返回吉田口登山道，終點在不淨岳下方，因此御中道並不是一個完整的環形路線。

走御中道需要配備特殊的裝備，巡禮信眾會把一條兩公尺長的白布纏在頭上充當帽子，遇險就把白布當作登山索。此外，他們還會隨身攜帶一根長達兩公尺多的「中道杖」。

大澤崩

御中道最危險的路段是大澤崩，是西坡的一道 V 形山谷，巡禮信眾通常會在山腰過一夜，黎明時開始穿越。但現今御中道有多處路段難以通行，徒步者只被允許去北面維護良好的道路走一小段。

大澤崩對面的大澤室是一處山間小屋，供巡禮信眾在穿越驚險路段後稍作休息，旁邊有一座名叫「三柱神社」的小神社，牆上掛滿了富士講團體留下的「招旗」（即木製名牌），以示對安全穿越的感激，同時也是穿越成功的證明。

<日本語仮訳>

御中道：富士中腹の巡礼路

御中道は、富士山の標高 2,300～2,800 メートル帯域を周回する巡礼路でした。この道は富士山登頂よりさらに意志の力と信心を試すものとされていました。大沢崩れをはじめとする数々の谷を渡る道中は危険だったため、最も熟練した巡礼者のみがこの道に挑みました。富士講の巡礼者は、この道を踏破することを、敬意を表す接頭辞「御」をつけて「御中道」と呼びました。時代の経過とともに、この道そのものも御中道と呼ばれるようになりました。

巡礼者は大抵山頂に参拝した帰りに御中道を歩きました。御中道は吉田口登山道の不淨岳（標高 2,500m）から時計回りに分岐していました。巡礼者たちは富士山南側で一晩を過ごし、大沢崩れを越えて小御嶽神社を参拝した後、再び吉田口登山道に合流しました。この合流点は不淨岳の下方だったため、御中道は完全な周回路ではありませんでした。

特別な装備も用いられました。巡礼者たちは長さ 2 m にもなる白い布を頭部に巻いて頭巾としました。この布は、緊急時には登山ロープの役割も果たしました。また、彼らは「中道杖」と呼ばれる丈が 2 m 以上ある杖も使っていました。

大沢崩れ

御中道で最も危険だった箇所は、大沢崩れという富士山西面にある V 字型の谷でした。巡礼者たちは山腹で夜を過ごし、夜明けにこの谷を越えました。今日、御中道の多くの箇所は通行が困難になっており、登山者が歩くことを許可されているのは北面のよく整備された短い区間のみです。

大沢崩れの先には大沢室という小屋があり、巡礼者たちは過酷な大沢越えの後ここで休息を取りました。その隣には三柱神社と呼ばれる小さな神社がありました。この神社には、無事に大沢崩れを越えられたことへの感謝と達成の証として富士講信者たちが奉納した木製の銘板（木製の名牌）が並べられていました。

【タイトル】 富士山頂で祈りを捧げる 失われた仏の世界

【想定媒体】 看板

<簡体字>

在富士山顶祈祷

失落的佛国

在“神佛习合”（神道教与佛教融合）的宗教背景下，富士山曾被赋予了浓厚的佛教色彩。其山顶被比作一朵巨大的莲花，围绕中心火山口不规则排列的峰岳合称“御八叶”（八枚花瓣），每“瓣”的名字都取自一位佛教神明，比如“药师岳”出自药师如来，“观音岳”则取自观音菩萨。人们相信，巨大的火山口内部是浅间大菩萨（浅间神）的圣域——在神佛习合时期，它被视作根本佛大日如来的化身。

“火山口钵巡”为顺时针方向依次参拜各峰。

然而，1868年明治新政府严令“神佛分离”，抹除了富士山上一切佛教痕迹。佛像被移下山，甚至直接销毁。峰岳的名字也被改掉：药师如来的药师岳改变了读音，从代表佛名的“Yakushidake”变成了代表古时医师的“Kusushidake”；大慈大悲观音菩萨的观音岳变成了伊豆岳。当年富士山顶的小佛国，到如今只余回忆。

<繁体字>

在富士山顶祈祷

失落的佛國

在「神佛習合」（神道教與佛教融合）的宗教背景下，富士山曾被賦予了濃厚的佛教色彩，其山頂被比作一朵巨大的蓮花，圍繞中心火山口不規則排列的峰岳統稱「御八葉」（八枚花瓣），每「瓣」的名字都取自一位佛教神明，比如「藥師岳」出自藥師如來，「觀音岳」則取自觀音菩薩。人們相信，巨大的火山口內部是淺間大菩薩（淺間神）的聖域——在神佛習合時期，這位富士山神被視為根本佛大日如來的化身。

「火山口鉢巡」需沿順時針方向依次參拜各峰。

然而，1868年明治新政府嚴令「神佛分離」，抹除了富士山上一切佛教痕跡，佛像被移下山，甚至直接銷毀。峰岳的名字也被改掉：藥師如來的藥師岳改變了讀音，從代表佛

名的「Yakushidake」變成了代表古時醫者的「Kusushidake」；大慈大悲觀音菩薩的觀音岳變成了伊豆岳。當年富士山頂的小佛國，如今只存在於回憶中。

<日本語仮訳>

富士山頂で祈りを捧げる

失われた仏の世界

「神仏習合」の思想のもとでは、仏教的な世界観が富士山を覆っていました。最頂部は、大きな蓮の花に例えられました。広大な中央の火口を囲む不揃いな峰の縁は、「御八葉（八枚の花弁）」と呼ばれ、それぞれの「花弁」には、薬師如来から薬師岳、観世音菩薩にもとづく観音岳といったように、仏教の如来や菩薩の名にちなんだ名称が付けられていました。広大な火口内部は、「神仏習合」時代に本仏大日如来の化身とされた浅間の神、浅間大菩薩の領域であると信じられていました。

お鉢巡りをする巡礼者たちは、これらの花弁を一箇所ずつ時計回りに巡りました。

しかし、1868年以後、新明治政府は徹底した神仏分離を命じました。富士山からは仏教信仰の痕跡がすべて消されました。仏像は山を引きずり下ろされるか、破壊されました。富士山を取り巻く山々の名前までが変えられました。薬師如来にちなんで名付けられた薬師岳（やくしだけ）は、薬師岳（くすしだけ）になり、慈悲の菩薩である観音菩薩にちなんで名付けられた観音岳は伊豆岳になりました。かつて富士山頂に広がっていた仏の世界は、今では記憶の中にしか存在しません。

【タイトル】 富士山頂で祈りを捧げる 御来迎と御来光

【想定媒体】 看板

<簡体字>

在富士山顶祈祷

御来迎与御来光

御来迎：阿弥陀佛现身

条件合适时，背对东升旭日的登山者可能看到富士山顶对面的晨雾中出现一个七彩宝光环绕的巨大人影。这种现象也叫“布罗肯幽灵”，其实是观者自己被投射放大的影子，因常见于德国布罗肯峰得名。富士讲巡礼者称之为“御来迎”。

所谓御来迎，本意是阿弥陀佛现身迎接过世的虔诚信徒进入西方净土。只是在富士山略有不同：峰顶即被视为彼岸世界，登山者进出这一神域，便相当于获得了灵魂的新生，若还能看到阿弥陀佛现身，就是额外的感动和吉兆了。

御来光：光明出现

如今在富士山仍有可能看到御来迎，但人们或许更愿意将它视作纯粹的自然现象。倒是日出东方时的“御来光”更受追捧。和晨昏时分太阳刚好嵌入峰顶山口的“钻石富士”一样，御来光如此受欢迎，说明对于现代登山者而言，这座代表着日本的高山依然以其无限广阔的风光而充满了吸引力。

<繁体字>

在富士山頂祈禱

御來迎和御來光

御來迎：阿彌陀佛現身

條件合適時，登山者若背對東升的旭日，可能會看到富士山頂對面的晨霧中出現一個七彩寶光環繞的巨大人影，這種現象也叫「布羅肯奇景」，實則是觀測者的影子被投射放大，因常見於德國布羅肯峰而得名；富士講巡禮信眾稱之為「御來迎」。

所謂御來迎，本意是阿彌陀佛現身迎接過世的虔誠信徒進入西方淨土。只是在富士山略有不同：峰頂即被視為彼岸世界，登山者進出這一神域，便相當於獲得了靈魂的新生，若還能看到阿彌陀佛現身，就是額外的感動和吉兆了。

御來光：光明出現

如今在富士山仍有可能看到御來迎，但人們或許更傾向將其視作純粹的自然現象。倒是日出東方時的「御來光」更受歡迎，和晨昏時分太陽剛好嵌入峰頂山口「鑽石富士」一樣，御來光非常受登山者歡迎，這座代表著日本意象的高山以其廣闊無邊的景致吸引遊客到來。

<日本語仮訳>

富士山頂で祈りを捧げる

御來迎と御來光

御來迎：阿彌陀如來の出現

一定の条件のもと、昇る朝日を背にして富士山頂を望むと、かなたの霧の中に虹色の輝きを放つ巨大な人型が現れます。観測者自身の影が拡大されるこの現象は、ドイツのブロッケン山でよく発生することにちなんで名付けられた「ブロッケン現象」です。富士講の巡礼者はこれを「御來迎」と呼びました。

通常の文脈では、御來迎という言葉は阿彌陀如來が信者を死後に淨土に連れて行くため迎えに来ることを示唆しました。富士山では、この言葉の意味は微妙に異なりました。富士山の山頂は「あの世」であり、訪れた人を靈的に生まれ変わらせる神聖な領域とされていました。霧の中に輝く阿彌陀如來の姿を目にすることは、非常に感動的で縁起の良い体験でした。

御來光：光の到来

今でも条件が合えば富士山で「御來迎」を見ることができますが、登山者はそれを純粹な自然現象と理解するでしょう。現在の登山者は大抵、御來迎よりも東に太陽が姿を表す際の「御來光」を体験することにより関心があります。日の出や日没に太陽が富士山頂の真後ろにぴったり重なる「ダイヤモンド富士」と同様、御來光の人気は、この日本を象徴する山の無限大のスケールが現代の登山者を魅了し続けていることを示しています。

【タイトル】 富士山に祈りを捧げた貴族たち

【想定媒体】 看板

<簡体字>

礼敬富士的历史名人

11 世纪，一种新的宗教行为出现：埋藏佛经。这是源于佛教的末法观：漫长的末法时代会在 1052 年开启，届时佛教式微，绝望弥漫，直到未来佛弥勒佛降临。抄录佛经埋藏是为了留待后世发掘，以此减轻灾难的影响，同时积累功德。

已知最早的是 1007 年埋在大和国（今奈良县）境内的一套佛经。佛经装在镀金铜盒里，捐经人是曾留下诸多经典名著的实权贵族藤原道长(966-1028)，《源氏物语》的诞生也与他有关。

富士山东、西、南侧能够眺望山峰的地方都出土了刻有藤原显长(1118-1167)名字的瓮。他是当时的地方行政长官，下辖包括三河国（今爱知县东部）在内的好几“国”（地方行政区划，非“国家”之意）。学界推测瓮内藏有佛经，且山北应当还有藤原显长埋下的经瓮有待发掘。

被尊为“富士上人”的 12 世纪修验道修士末代致力于募集佛经埋在山顶，为此曾数百次登上富士山。据说他还前往都城获得了已退位的鸟羽法皇(1103-1156)的支持。近代富士山顶的确出土了朱砂誊抄的佛经，可确认出自 12 世纪。

山北吉田口登山道途中一处重要巡礼点也有此类发现。

<繁体字>

禮敬富士的歷史名人

11 世紀，一種新的宗教行為出現：埋藏佛經，這是源於佛教的末法觀：漫長的末法時代會在 1052 年開啟，屆時佛教式微，絕望瀰漫，直到未來佛彌勒佛降臨。抄錄佛經埋藏是為了留待後世發掘，以此減輕災難的影響同時積累功德。

已知最早的是 1007 年埋在大和國（今奈良縣）境內的一套佛經，佛經裝在鍍金銅盒裡，捐贈人是曾留下諸多經典名著且掌有實權貴族藤原道長（966-1028），包括《源氏物語》的誕生也與他有關。

富士山東、西、南側能夠眺望山峰的地方都出土了刻有藤原顯長（1118-1167）名字の甕，他是當時的地方行政長官，轄包括三河國（今愛知縣東部）在內的好幾「國」（地方行政區劃，非「國家」的意思）。學界推測富士山北側應當還有一個經甕靜待發掘。

被尊為「富士上人」の12世紀修驗道修士末代致力於把募集來的佛經埋在山頂，曾為此數百次登上富士山，據說他還前往都城贏得了已退位の鳥羽法皇（1103-1156）的支持，近代富士山頂的確出土了朱砂謄抄の佛經，可確認是12世紀文物。

山北吉田口登山道途中一處重要巡禮點也有發現以前埋藏の佛經。

<日本語仮訳>

富士山に祈りを捧げた貴族たち

11世紀、新たな信仰行為として經典の埋納が行われるようになりました。この慣習の背景には、末法思想と呼ばれる仏教の教えがありました。つまり、長い末法時代が1052年に訪れ、末法の世では仏教の教えが失われ、未来仏である弥勒菩薩が到来するまで絶望が続くという教えです。そして、この破滅的な事態の影響を軽減し、自分の功德を積む方法の一つは、後世に発見されるように經典の写しを埋納することでした。

現在知られている最古の例は、1007年に大和国（現在の奈良県）で埋められた金箔張りの銅製の入れ物に入った經典一式です。これは、「源氏物語」などの古典文学作品を生んだ宮廷社会の中心にいた貴族、藤原道長（966-1028）が奉納したものでした。

藤原顯長（1118-1167）は、三河国（現在の愛知県東部）など複数の国で行政官を務めた貴族でした。富士山を望む東、西、南のそれぞれの地点で顯長の名が刻まれた壺が出土しています。研究者は、これらの壺には經典が収められていたと考えており、今後、富士山の北でも顯長が埋めた壺が見つかる可能性があるとしています。

「富士上人」としても知られ、12世紀に活躍したのが、富士山頂への經典の埋納を企画し、何百回も富士山に登った末代という修驗者でした。彼は都にまで訪れて退位した鳥羽法皇（1103-1156）の支援を得たとされています。現代になって、実際に朱で書かれた經典が富士山頂で発見されましたが、これらは12世紀のものと考えられています。

また、富士山の北面、吉田口登山道上の重要な巡礼地でも埋納された經典が出土しています。

【タイトル】 富士塚：江戸中に造られた小さな富士

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士塚：遍布江戸的人造小富士

18 世纪晚期，“富士讲”组织开始在江戸（今东京）及周边地区修造富士塚。它们不只是富士山的微缩模型，更被视为同样具备灵力的富士“分身”。无论登顶的蜿蜒山道还是环绕山腰的御中道，重要地标在富士塚上都得到了精心还原。不同的是，它们对所有人开放，包括女性。

第一座富士塚的修造者叫高田藤四郎，其修塚初衷在于致敬他的精神导师，已故富士讲领袖食行身禄(1671-1733)。高田藤四郎本身是一名庭院设计师和园艺师，他购买富士山脚下的火成岩，在本地一个神社境内建起了富士山的复制品。这座小丘于 1779 年对外开放，反响甚至超出了富士讲组织的范畴。到江戸时代(1603-1868)结束时，这座城市及周边已有约 20 座富士塚，及至 19 世纪末 20 世纪初，更新增了约 40 座。

<繁体字>

富士塚：江戸建造的人工小富士山

18 世紀晚期，「富士講」團體開始在江戸（今東京）和周邊地區修造富士塚，不只是富士山的微縮模型，更被視為同樣具備靈力的富士山「分身」。無論登頂的蜿蜒山道還是環繞山腰的御中道，富士塚上都精心還原了這些重要地標。不同的是，它們對所有人開放，包括女性。

第一座富士塚的修造者叫高田藤四郎，其建塚初衷在於致敬他的精神導師，已故富士講領袖食行身祿（1671-1733）。高田藤四郎本身是一位庭院設計師和園藝師，他購買富士山腳下的火成岩，在當地一個神社境內建起富士塚，這座小丘於 1779 年對外開放，其回響不止於富士講信眾之間。到江戸時代（1603-1868）結束時，這座城市及周邊已有約 20 座富士塚，至 19 世紀末 20 世紀初，更新增了約 40 座。

<日本語仮訳>

富士塚：江戸中に造られた小さな富士

18世紀後期、富士講は江戸（現在の東京）および近郊に富士塚を造るようになりました。これらの富士塚は単なる富士山を模したミニチュアではなく、富士山の霊力を有するこの山の「写し」でした。これらの塚には山頂へと続く曲がりくねった道や山腹を一周する御中道といった富士山の重要なランドマークも盛り込むよう注意深く造られていました。実物の富士山とは異なり、富士塚には女性を含め全ての人が上ることができました。

最初の富士塚は、高田藤四郎が亡くなった彼の師である富士講の指導者、食行身禄（1671-1733）に捧げる意味を込めて造ったものでした。造園師と庭師を生業としていた高田は、富士山麓から火成岩を調達し、地元の神社の境内に富士山の複製を完成させました。この富士塚は1779年に一般公開され、富士講と繋がりのない人たちの間でも話題となりました。その後、江戸とその周辺には、江戸時代（1603-1868）の終わりまでにもう20基ほど、19世紀後期から20世紀初期にかけてさらに40基ほどの富士塚が築られました。

【タイトル】『富士見十三州輿地全図』

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《富士见十三州輿地全图》

这幅地图展示了曾经能够看到富士山的十三国（古代地方行政区划，非“国家”之意），画面近底部处的圆形图示代表富士山。十三国之中，甲斐国与骏河国是富士山所在地，“关东八州”以江户（今东京）为中心，此外还有伊豆、信浓、远江三国。村庄、河流、道路，乃至观景点，都一一呈现在图中。

地图出版于 1843 年，正是富士信仰在江户居民间盛行的时期。浮世绘名家葛饰北斋（1760-1849）的《富岳三十六景》系列画作也出自这一时期。这幅地图的出版，说明富士山在当时正得到越来越多的关注。地图本身显然也大受欢迎，曾数度重印，至今仍有不少留存于世。

<繁体字>

《富士見十三州輿地全圖》

這幅地圖展示了曾經能夠看到富士山的十三國（古代地方行政區劃，非「國家」的意思），畫面近底部處的圓形圖示代表富士山。十三國之中，甲斐國和駿河國是富士山所在地，「關東八州」以江戶（今東京）為中心，此外還有伊豆、信濃、遠江三國。村莊、河流、道路，乃至觀景點，都一一呈現在圖中。

地圖出版於 1843 年，正是富士信仰在江戶居民間盛行的時期，浮世繪名家葛飾北齋（1760-1849）的《富嶽三十六景》系列畫作也出自這一時期。這幅地圖的出版，說明富士山在當時已得到越來越多的關注，地圖本身顯然也大受歡迎：曾數度重印，仍有不少印刷品留存至今。

<日本語仮訳>

『富士見十三州輿地全図』

この地図はかつての国々のうち、富士山を望める十三国（昔の行政区画のひとつ、いまの「国」との意味合いは異なる）、富士山の丸い形は下部に描かれています。この十三国は、富士山が立つ甲斐と駿河、江戸（現在の東京）を取り囲む「関八州」、伊豆、信濃、遠江です。また、村や川、道路、観光地なども詳細に描かれています。

この地図は、江戸の住民たちの中で富士信仰がかつてない人気を博していたさなか、1843年出版されました。芸術家の北斎（1760-1849）もこの時期に『富嶽三十六景』という浮世絵の連作を発表しています。この地図に注がれた労力は、当時の富士山に対する関心の高まりを反映しています。この地図は非常に人気があったようで、何度も版が重ねられたため、多くの枚数が現存しています。

【タイトル】 世界各地の富士

【想定媒体】 看板

<簡体字>**落户世界的富士山**

各地居民在当地寻找“乡土富士”的做法由来已久。富士山的名声及其信仰的普及，让人们总是乐于将本地设有浅间神社的山都比做它，哪怕它们无论规模还是形状或许都毫无关联。就像爱知县有犬山称“尾张富士”，岐阜县有浅间山称“美浓富士”，前缀都是当地的古地名。

更近一些时，特别是1868年明治维新以后，许多外形相似或拥有类似标志性雪峰的山都被冠上了“富士”的名号。北海道那座造就了利尻岛的锥形火山“利尻富士”就是外形相似的一例。

美国华盛顿州的日本侨民为解乡愁，将雷尼尔山比作富士山，称之为“塔科马富士”。

如今的乡土富士有数百座之多，海外也至少有十几座。本层环绕“富岳三六〇”设有壁板介绍它们的情况，并依照各山丘对应于富士山的方位加以展示。

<繁体字>**世界各地的富士山**

各地居民在當地尋找「鄉土富士」的做法由來已久，富士山的名聲及其信仰的普及，讓人們總是樂於將本地設有淺間神社的山都比做為富士山，哪怕無論規模還是形狀或許都與富士山毫無關聯，就像愛知縣有犬山稱「尾張富士」，岐阜縣有淺間山稱「美濃富士」，都加上當地的古地名來命名。

到了近代，特別是1868年明治維新以後，許多外形相似或擁有類似富士山頂部覆蓋白雪的山都被冠上了「富士」的名號，北海道那座造就了利尻島的錐形火山「利尻富士」就是因外形相似而冠上富士之名。

美國華盛頓州的日本僑民為解鄉愁將雷尼爾山比作富士山，稱之為「塔科馬富士」。

如今的全日本有數百多座鄉土富士，海外也至少有十幾座，在這層環繞富嶽三六〇設有解說板來介紹這些鄉土富士的情況，並按照其對應於富士山的方位來排列展示。

<日本語仮訳>

世界各地の富士

各地の人々が地元の山を富士山に見立てて、「郷土富士」と呼ぶ風習には長い歴史があります。富士山の名声と富士信仰により、浅間神社を祀る山は、たとえその規模や形状が実物と似つかなくても、富士と名付けられることがよくありました。例として、地域の名称を冠した「尾張富士」（愛知県の犬山）や「美濃富士」（岐阜県の浅間山）が挙げられます。

より後の時代、特に 1868 年の明治維新後には、富士山と雪に覆われた特徴的なその山頂に姿形が似ている山が富士と名付けられることが一般的になりました。北海道の利尻島を形成する円錐形の火山「利尻富士」は、富士山と見た目が似ている郷土富士の一例です。

アメリカ・ワシントン州では、地元の日本人コミュニティが母国を懐かしみ、レーニア山を日本のシンボルである富士山に見立てて「タコマ富士」と名付けました。

今日、海外の十数山を含めた何百もの郷土富士が存在します。このフロアの壁の円形パネルでは、こうした郷土富士を紹介しており、それぞれの名前の由来である富士山から見た方角に配置されています。

【タイトル】 富士信仰の多様な姿 伊勢の農村の祭り

【想定媒体】 看板

<簡体字>

多样的富士信仰

伊势农村祭典

南伊势町切原的浅间山大祭是旁边五之所浦境内浅间山的开山祭典。熊野海岸多山，其中切原的耕地面积相对充裕。

要在大祭期间登拜浅间山的男人需提前两周就开始行“水垢离”沐浴礼。他们走进穿村而过的河里，高喊着“唷，唷”，将身体浸入水中，只露出头颈在外，洗去污垢尘埃。

祭典前夜，全村一起唱着过去巡礼者参诣富士山的“道中歌”，彻夜打年糕。打年糕是水稻种植的象征，由此可见浅间山与水稻种植传统的关系。

祭典当天，男人们抬着四根竹竿，唱着道中歌向浅间山顶进发。竹竿分两“大币”（大圣柱）、两“小币”（小圣柱），都饰以白色纸带。小币立在半山腰。村民在此脱下鞋子，带着大币继续上山。到达山顶后，就要立好大币，念诵经文和祷文，礼迎浅间神降临，祈祷丰收与乡土太平。

<繁体字>

多種樣貌的富士信仰

伊勢農村祭典

南伊勢町切原的淺間山大祭，為毗鄰的五之所浦境內淺間山的開山祭典，熊野海岸多山，而切原的耕地面積相對充裕。

要在大祭期間登拜淺間山的男人需提前兩周就開始行「水垢離」沐浴禮：走進流經村中的河裡，高喊著「唷，唷」，並將身體浸入水中只露出頭頸，洗去污垢塵埃。

祭典前夜，全村一起唱著過去巡禮信眾參詣富士山的「道中歌」，徹夜打年糕。打年糕象徵著水稻種植，由此可見淺間山與水稻種植傳統的關係。

祭典當天，男人們抬著四根竹竿，唱著道中歌向淺間山頂進發，竹竿分兩「大幣」（大聖柱）、兩「小幣」（小聖柱），都以白色紙帶裝飾。小幣立在半山腰，村民在此脫

下鞋子，帶著大幣繼續上山。到達山頂後，就要立好大幣，念誦經文和禱文，禮迎淺間神降臨，祈禱豐收與村裡平安。

<日本語仮訳>

富士信仰の多様な姿

伊勢の農村の祭り

南伊勢町切原の浅間山大祭は、隣接する五ヶ所浦に立つ浅間山の山開きの祭礼です。山地が海に迫る熊野灘沿岸の山岳地帯にあって、切原は比較的耕地に恵まれています。

この祭りのために浅間山へ参詣する男たちは、祭の前の二週間、村内を流れる川で水垢離を行います。彼らは「ヨーヨー」のかけ声とともに首まで水に浸かり、身体の汚れを取り去ります。

祭りの前夜、村民は夜通し一緒に富士参りの道中歌を歌いながら餅をついて過ごします。餅つきは稲作の象徴です。稲作と浅間山の結びつきが見て取れます。

祭り当日、男たちは道中歌を歌いながら 4 本の竹で作られた棒を担いで浅間山を登ります。これらの「大幣」二本と「小幣」二本は、どれも紙垂という白い紙の垂れ飾りがつけられています。山の中腹で二本の小幣を立てると、履物を脱いでから二本の大幣を山頂まで運びます。山頂では大幣を立て、経典や真言を唱えて浅間神を浅間山に正式に迎え、豊穰や村内の平安を祈ります。

【タイトル】 富士信仰の多様な姿 伊勢の漁村の祭り

【想定媒体】 看板

<簡体字>

多样的富士信仰

伊势渔村祭典

方座浦村位于富士山以西 250 公里外。每年 7 月，村民们都要为附近的浅间山举办开山祭典。祭典当天晚上，人们载歌载舞迎接富士山的神明浅间神，化两座山为一体。

浅间祭期间，男性村民将面孔涂得雪白，抬着两根巨大的竹竿向山上进发，竹竿分一“大币”（大圣柱）一“小币”（小圣柱）。竹竿顶端保留枝叶，上面装饰无数白色纸扇，扇面上画着代表太阳的红色圆形图案。它们作为迎接浅间神降临的祭具“依代”，将要高高矗立在山顶上。

男人们全程唱着传统的仪式歌曲，跳着舞，其中“富士是男人的爱之山”这句歌词令人印象深刻。这个祭典或许是将富士信仰融入了本地的歌舞传统。

<繁体字>

多種樣貌的富士信仰

伊勢漁村祭典

方座浦村位於富士山以西 250 公里外，每年 7 月，村民們都要為附近的淺間山舉辦開山祭典。祭典當晚，人們載歌載舞迎接富士山的神明淺間神，讓兩座山合二為一。

淺間祭期間，男性村民將面孔塗得雪白，抬著兩根巨大的竹竿向山上出發，竹竿分一「大幣」（大聖柱）一「小幣」（小聖柱）。竹竿頂端保留枝葉，上面裝飾無數白色紙扇，扇面上畫著代表太陽的紅色圓形圖案。「大幣」、「小幣」將作為迎接淺間神降臨的祭具「依代」，高高矗立在山頂上。

男人們全程唱著傳統的儀式歌曲跳著舞，其中「富士是男人的愛之山」這句歌詞令人印象深刻，伊勢漁村祭典有可能是將富士信仰融入了當地的歌舞傳統。

<日本語仮訳>

富士信仰の多様な姿

伊勢の漁村の祭り

方座浦集落は富士山から西に約 250km のところにあります。毎年 7 月、集落の人々は近くにある浅間山の山開きの祭りを行います。祭りの夜、彼らは歌や踊りを通じて富士山の神である浅間神を迎え、これら二つの山を一つにします。

この浅間祭では、集落の男たちが顔に白塗りの化粧を施し、それぞれ大幣と小幣と呼ばれる 2 本の巨大な竹の棒を担いで浅間山に向かいます。棒の先端は、無数の日の丸扇が取り付けられた枝葉で装飾されています。これらは浅間神の依代（神を降臨させる祭具）として山頂に立てられます。

男たちはこの間ずっと「富士は男の恋の山」という印象的な歌詞を含む伝統的な祭りの歌を歌い踊ります。この祭りでは富士山信仰が歌や踊りという地域の伝統に取り入れられているようです。

【タイトル】 富士信仰の多様な姿 東京都台東区下谷

【想定媒体】 看板

<簡体字>

多样的富士信仰

東京都台东区下谷

今日东京都范围内曾有过约 60 座富士冢。其中大多数在 19 世纪晚期开始的城市化进程中消失或面目全非，但仍有一些原样保留至今。东京都台东区下谷的小野照崎神社里就有这样一座，由当时一个富士讲团体“东讲”于 1828 年建造。

下谷坂本富士高 5 米，直径 16 米。正面有微缩的吉田口登山道，石柱标出沿途各合目（站点），山腰处的御中道也可见踪迹。通过这样的设计，巡礼路线所代表的宗教世界观得以呈现。富士冢脚下立有役小角像和两只猴子像，前者被奉为修验道的创始人，后者是传说中富士山神的使者。

此处富士冢是国家指定重要物质民俗文化财产，日常不开放。只有每年富士山登山季开始的 6 月 30 日和 7 月 1 日两天允许公众登拜。

<繁体字>

多種樣貌的富士信仰

東京都台東區下谷

今日東京都內曾有約 60 座富士塚，其中大多數在 19 世紀晚期開始推行的城市計畫中消失或改造，但仍有一些保持原樣至今。東京都台東區下谷的小野照崎神社裡就有一座富士塚，是當時一個富士講團體「東講」在 1828 年建造。

下谷坂本富士高 5 公尺，直徑 16 公尺，正面有微縮的吉田口登山道，石柱標出沿途各合目，也可精妙呈現山腰處的御中道。通過這樣的設計，巡禮路線所代表的宗教世界觀得以呈現。富士塚腳下立有役小角像和兩隻猴子像，前者為修驗道的創始人，後者則是傳說中富士山神的使者。

這處富士塚是國家指定重要物質民俗文化財產，日常不對外開放，只有每年富士山登山季開始的 6 月 30 日和 7 月 1 日兩天才允許大眾登拜。

<日本語仮訳>

富士信仰の多様な姿

東京都台東区下谷

現在でいう東京圏には、およそ 60 基の富士塚が造られました。ほとんどの富士塚は 19 世紀後期に始まった急速な都市開発で失われたり原型をとどめないほど見た目を変えられたりしましたが、いくつかはもとの姿のまま現存しています。そのうちのひとつは、東京都台東区下谷の小野照崎神社の境内にある、当時の富士講のひとつであった東講によって 1828 年に築かれたものです。

下谷坂本富士は高さ 5 メートル、直径 16 メートルです。この富士塚の正面には、各合目を示す石柱までついた吉田口登山巡礼道がミニチュアサイズで再現されています。中腹で富士塚を取り囲むミニチュア版の御中道の跡も残っています。このような富士塚のデザインは、この巡礼道が体現する精神世界を表しています。下谷坂本富士の麓には、修験道の開祖とされる役行者および古くから富士山の神の使いとされる二匹のサルの像が立っています。

下谷坂本富士は重要有形民俗文化財に指定されており、普段は一般公開されていません。しかし、毎年富士山の登山シーズンの初め、6 月 30 日と 7 月 1 日の 2 日間だけ一般登拝が許されます。

【タイトル】 富士信仰の多様な姿 修験の伝統を受け継ぐ

【想定媒体】 看板

<簡体字>

多样的富士信仰

修验道的传承

圆乐寺位于富士山西北的甲府盆地南缘处，传统上人们认为其创建者是修验道祖师役小角。役小角的生平扑朔迷离，但据编年史书《续日本记》记载，他曾在 699 年被流放伊豆大岛。传说当年他每晚都踏波渡海而来，登上富士山巅。

寺院在吉田口登山道二合目设有一个“佛堂”。据传，寺中的役小角像最初就是登山季时供奉在“佛堂”中的。这尊像造于 12 至 13 世纪，如今是山梨县指定文化财产。

过去数世纪里，圆乐寺曾经在每年 4 月 15 日举办“藤切”仪式。仪式上竖有一座 8.5 米高的木塔，塔顶覆以树枝，环以 28 个紫藤做的圆环，一名苦修士爬上塔顶，砍下最高处的藤环，以此宣告新一季的修行正式开始。这可能是对富士山修验道修行的模仿。

如今，甲府盆地东缘的大善寺也会举办十分相似的仪式。

<繁体字>

多種樣貌的富士信仰

修驗道的傳承

圓樂寺位於富士山西北的甲府盆地南緣處，人們認為其創建者是修驗道祖師役小角。役小角的生平撲朔迷離，但據編年史書《續日本記》記載，他曾在 699 年被流放伊豆大島，傳說當年他每晚都踏波渡海而來，登上富士山巔。

寺院在吉田口登山道二合目設有一間「佛堂」。據傳，寺中的役小角像最初就是登山季時供奉在「佛堂」中，這尊造像刻於 12 至 13 世紀，如今是山梨縣指定文化財產。

過去數世紀裡，圓樂寺曾經在每年 4 月 15 日舉辦「藤切」儀式，儀式上豎有一座 8.5 公尺高的木塔，塔頂覆以樹枝，環以 28 個紫藤做的圓環，一名苦修士爬上塔頂，砍下最高處的藤環，以此宣告新一季的修行正式開始，這項儀式可能是模仿富士山修驗道修行。

如今，甲府盆地東緣的大善寺也會舉辦十分相似的儀式。

<日本語仮訳>

富士信仰の多様な姿

修験の伝統を受け継ぐ

円楽寺は富士山の北西に広がる甲府盆地の南端に位置しています。この寺は修験道の開祖である役行者によって創建されたと伝えられています。役行者の人物伝は著しく神話化されているものの、『続日本紀』という年代記には、彼が 699 年に伊豆大島へと流された記録が残っています。伝承によると、役行者は毎晩、歩いて海上を渡り、富士山へ登ったとされます。

円楽寺は吉田口登山道二合目にお堂を所管していました。円楽寺に伝わる役行者像（12-13 世紀、山梨県指定文化財）は、登山の季節にはこのお堂に安置されていたともいいます。

かつて、円楽寺は毎年 4 月 15 日に「藤切」と呼ばれる行事を執り行っていました。この行事では、柴で覆われ藤蔓でできた 28 本の輪がかけられた高さ 8.5m の木の塔に一人の行者が登り、一番高い位置にある輪を切り落としました。これによって、その年の修行シーズン開始が正式に宣言されました。藤切は富士山での修験道の修行を想起させるものなのかも知れません。

今でも、甲府盆地の東端にある大善寺で非常によく似た行事が開催されています。

004-043

山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会

【タイトル】 富士信仰の多様な姿 富士御室浅間神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山文化的宝库

富士御室浅間神社

富士御室浅間神社位于吉田口登山道二合目处。修验道修士将这里作为大本营，神社本身也是富士山中最古老的浅间神社。

这座神社和河口湖畔胜山中的另一座御室浅间神社都由世代出任神职人员的小佐野家维护，两处神社分别称“本宫”和“里宫”。

本宫的本殿（正殿）在 17 世纪初曾由本地领主鸟居成次(1570-1631)出面重建，1974 年出于保护目的被移到里宫所在地，现已被指定为国家重要文化财产。

<繁体字>

富士山文化的寶庫

富士御室淺間神社

富士御室淺間神社位於吉田口登山道二合目處，修驗道信眾將這裡作為大本營，其本身也是富士山中最古老的淺間神社。

這座神社和河口湖畔勝山中的另一座御室淺間神社都由世代出任神職人員的小佐野家維護，兩處神社分別稱「本宮」和「里宮」。

本宮的本殿（正殿）在 17 世紀初曾由本地領主鳥居成次（1570-1631）出面重建，1974 年出於保護目的被移到里宮所在地，現已被指定為國家重要文化財產。

<日本語仮訳>

富士山文化の宝箱

富士御室浅間神社

富士御室浅間神社は、吉田口登山道の二合目に位置しています。修験者たちはこの地域を拠点としており、この神社は富士山中に建立された最初の浅間神社でした。

この神社と河口湖畔の勝山に立つ別の御室浅間神社は、代々神職を務める小佐野家によって管理されていました。この二社はそれぞれ本宮と里宮と呼ばれていました。

本宮の本殿は 17 世紀初期にこの地の領主、鳥居成次（1570–1631）によって再建されました。この建物は保存のために 1974 年に里宮の境内に移築されました。現在、国の重要文化財に指定されています。

004-044

山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会

【タイトル】 富士信仰の多様な姿 河口浅間神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山文化的宝库

河口浅间神社

10 世纪早期的编年史《日本三代实录》记载，在 864 年的贞观※大喷发后，“甲斐国八代郡”内建起了一座“供奉浅间明神（即浅间神）的神社”。站在河口浅间神社后的山坡上，河口湖对岸的长尾山与青木原树海一览无余，前者是贞观大喷发的火山口，后者则是在同次喷发留下的熔岩上生长起来的。因此，人们相信它就是史书上那座为安抚火山神明而建的神社。

※贞观：859-877 年，这里指日本年号。

<繁体字>

富士山文化的寶庫

河口淺間神社

10 世紀早期的編年史《日本三代實錄》記載，在 864 年的貞觀*大噴發後「甲斐國八代郡」內建起了一座「供奉淺間明神（即淺間神）的神社」。站在河口淺間神社後的山坡上，河口湖對岸的長尾山與青木原樹海一覽無餘，前者是貞觀大噴發的火山口，後者則是在那次噴發留下的熔岩上生長起來的。因此，人們相信這座神社就是史書上那座為安撫火山神明而建的神社。

*貞觀：859-877 年，這裡指日本年號

<日本語仮訳>

富士文化の宝箱

河口浅間神社

10世紀初期に書かれた『日本三代実録』という歳時記には、864年に起こった貞観[※]の大噴火の後、「甲斐国八代郡」に「浅間明神（浅間神の別名）を祀った神社」が建立されたと記されています。河口浅間神社の背後の山からは、河口湖の向こうに、このときの火口である長尾山や、流出した溶岩流の上に広がる青木ヶ原樹海が望めます。そのため、河口浅間神社は日本三代実録にある火山の神を鎮めるために建立された神社だと考えられています。

※貞観：859-877, 日本の元号

【タイトル】 富士信仰の多様な姿 北口本宮富士浅間神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山文化的宝库

北口本宮富士浅間神社

北口本宮富士浅間神社也是吉田口登山道的起点，“富士讲”巡礼者就是走这条路线前往富士山顶的。神社的木头鸟居是日本最大的鸟居之一，高度近 18 米，同时也是富士山本身的入山口。

这里是富士山北麓最具代表性的神社，曾经受到本地领主的庇护。但在 1704 年被划归幕府直接管理之后，这种庇护不复存在，好在富士讲随后兴起，才令它得以保持繁荣发展。神社共有 11 处建筑被指定为国家重要文化财产，其中包括建于 1561 年的东宫本殿。

<繁体字>

富士山文化的寶庫

北口本宮富士淺間神社

北口本宮富士淺間神社也是吉田口登山道的起點，「富士講」巡禮信眾就是走這條路線前往富士山頂。神社的木頭鳥居是日本最大的鳥居之一，高度近 18 公尺，同時也是富士山的入山口。

這裡是富士山北麓最具代表性的神社，受到當地領主的庇護，但在 1704 年被劃歸幕府直接管理之後，這種庇護不復存在，好在富士講隨後興起，才讓神社得以保持繁榮發展。神社共有 11 處建築被指定為國家重要文化財產，其中包括建於 1561 年的東宮本殿。

<日本語仮訳>

富士山文化の宝箱

北口本宮富士浅間神社

北口本宮富士浅間神社は、富士山頂に向かう富士講の巡礼者が通った吉田口登山道の起点です。高さほぼ 18 メートルと日本最大級であるこの神社の木造鳥居は、富士山への玄関口となっています。

北口本宮富士浅間神社は富士山の北麓を代表する神社で、地域の領主の庇護を受けていました。1704年に都留郡が幕府の直轄領となった際、この庇護を失ったものの、神社はその後隆盛した富士講信仰のさなかで繁栄し続けました。境内の建物のうち、1561年に建造された東宮本殿をはじめとする11棟が国の重要文化財に指定されています。

004-046

山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会

【タイトル】 富士信仰の多様な姿 富士山本宮浅間大社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

富士山文化的宝库

富士山本宮浅間大社

富士山本宮浅間大社は全日本所有浅間神社の总本宮（神社总部），山上八合目以上の区域都是它的领域。古时，它是骏河国（今静岡県）的第一神社。在德川幕府开创者德川家康(1543-1616)の资助下，神社本殿（正殿）于17世纪早期建成，現已被指定为国家重要文化财产。

社内藏有狩野元信(1476-1559)所绘《富士参詣曼荼罗》，画中描绘了身着白衣の巡礼者登山前在富士山南侧举行“水行”仪式净化身心的场景。

<繁体字>

富士山文化的寶庫

富士山本宮淺間大社

富士山本宮淺間大社は全日本所有淺間神社の總本宮（神社總部），山上八合目以上の區域都是大社の聖域。古時は駿河國（今静岡県）の第一神社，在德川幕府開創者德川家康（1543-1616）の資助下，神社本殿（正殿）於17世紀早期建成，現已被指定為國家重要文化財產。

大社內藏有狩野元信（1476-1559）所繪《富士參詣曼荼羅》，畫中描繪了身著白衣的巡禮信眾在登山前於富士山南侧舉行「水行」儀式淨化身心的場景。

<日本語仮訳>

富士山文化の宝箱

富士山本宮浅間大社

富士山本宮浅間大社は、日本各地にある浅間神社の総本宮です。この神社の境内には富士山の八合目から上の全域が含まれます。富士山本宮浅間神社は古くは駿河国（現在の静岡県の東

部と中部)の一宮でした。国の重要文化財に指定されている本殿は、17世紀初期に徳川幕府の創始者である徳川家康の(1543-1616)庇護のもとで創建されました。

また、富士山本宮浅間大社は狩野元信(1476-1559)によって描かれた『富士参詣曼荼羅』を所蔵しています。この作品には、白装束をまとった巡礼者たちが富士の南面を登る前に水行(心身を清める沐浴)を行う様子が描かれています。

004-047

山梨県富士山世界文化遺産保存活用推進協議会

【タイトル】（指示書き）

【想定媒体】 看板

<簡体字>

（提示）

将手伸入“水池”，观看影片，了解富士山作为周边地区生命水源所发挥的八个作用。

<繁体字>

（提示）

伸手到「水池」裡，觀看影片，瞭解富士山作為周邊地區的生命水源所發揮的八種作用。

<日本語仮訳>

（指示書き）

「水」の中に手を入れると、周辺地域に暮らす人々の生活に欠かせない水源である富士山が担っている8つの役割を紹介する動画が始まります。

【タイトル】 溶岩樹型、胎内

【想定媒体】 看板

<簡体字>

熔岩树型与胎内

富士山口喷涌而出的熔岩会形成洞穴或树型。

熔岩树型是岩浆流经森林时裹挟树木形成。被熔岩包裹的树木燃尽，却在周边逐渐冷却的岩浆中留下了与其形状大体相当的空洞。有时几棵树被卷在一起，就会形成更大、更复杂的树型。

受岩浆冷却情况影响，这些洞穴内部的岩壁上可能留下类似肋骨的长褶皱，看起来就在人体内部一样，“富士讲”巡礼者因此称之为“胎内穴”，认为它们是富士山体内的秘地，能让进入者重获新生。在五云亭贞秀(1807-1879)一幅名为《富士山体内巡之图》的浮世绘中，巡礼者正匍匐穿过船津胎内仿佛肋骨包裹的狭长通道，接饮乳房状石头上被视为乳汁的水，参拜洞内佛像。

新生与生育

进入胎内就意味着获得灵魂的新生，巡礼者对此笃信不疑，甚至试图将这种力量带回家。有人取洞穴地面的沙土小心包入纸包，有人用纸或布蘸取石头上滴下的“乳汁”。等回到江户后，这些东西就被做成护身符或束腹带，期望能以此保佑孕妇顺利生产。

<繁体字>

熔岩樹型與胎內

富士山口噴湧而出的熔岩會形成洞穴或樹狀的形態。

熔岩樹型是岩漿流經森林時裹挾樹木形成，被熔岩包裹的樹木燃盡，卻在周邊逐漸冷卻的岩漿中留下了與其形狀大致相當的空洞，有時幾棵樹一起被卷進熔岩，就會形成更大、更複雜的熔岩樹型。

受岩漿冷卻情形影響，這些洞穴內部的岩壁上可能留下類似肋骨的長褶皺，看起來就如同在人體內部一樣，「富士講」巡禮信眾因此稱之為「胎內穴」，認為是富士山體內的秘地，能讓進入者重獲新生。在五雲亭貞秀（1807-1879）一幅名為《富士山體內巡之圖》的浮世繪中，巡禮信眾匍匐穿過船津胎內仿佛肋骨包裹的狹長通道，接飲乳房狀石頭上被

視為乳汁的水，參拜洞內佛像。

新生與生育

進入胎內就意味著獲得靈魂的新生，巡禮信眾對此篤信不疑，甚至試圖將這種力量帶回家，有人取洞穴地面的沙土小心以紙包起，有人用紙或布蘸取石頭上滴下的「乳汁」。等回到江戶後，這些東西就被做成護身符或束腹帶，期望能以此保佑孕婦順利生產。

<日本語仮訳>

溶岩樹型、胎内

富士山から流れ出た溶岩は、洞穴や樹型を形成することがありました。

溶岩樹型は溶岩が森林を流る際、木々の幹の周りに形成します。溶岩に包まれた木は燃え尽きてしまいますが、周囲の溶岩が冷え固まるとその形状に近い型が岩の中に穴として残ります。樹型の中には複数の木が共に溶岩に飲み込まれてできたものもあり、こういった樹型はより大きく、形状も複雑です。

溶岩洞穴と樹型のどちらも、溶岩の冷え固まり方によっては内部の岩壁に肋骨のように見える長い襞を持つことがあります。富士講の巡礼者は、このような樹型を人体内部のような穴という意味の「胎内穴」と呼んでいました。胎内穴は富士山の体内に入り生まれ変わることができる神秘の場所と考えられていました。『富士山体内巡之図』と題された五雲亭貞秀（1807-1879）による浮世絵には、巡礼者たちが襞に覆われた狭い船津胎内を這うようにして巡り、乳房のような形の岩から滴る母乳に見立てられた水を飲んだり、洞穴内に安置された仏像を拝んだりする姿が描かれています。

再生と子宝

靈的な再生の手段としての胎内巡りは、巡礼者たちがその靈力を持ち帰る方法を求めたほど篤く信仰されていました。巡礼者の中には、洞穴底面の砂を大切に紙に包んだり、紙片や布片を岩から滴る「乳」に浸したりしたものもありました。江戸に持ち帰られたこのような品々は、安産祈願のお守りや妊婦の腹巻として利用されました。

【タイトル】 船津胎内樹型

【想定媒体】 看板

<簡体字>**船津胎内树型**

10 世纪的剑丸尾熔岩流在富士山北坡留下了 43 个形态大小各异的树型。因为都在船津地区境内，它们被统称为“船津胎内树型”，并以此名被登录为富士山世界遗产的组成部分。最大一处树型由多棵树木共同造就，因此格外长，格外复杂。18 世纪，“富士讲”巡礼者开始将这里奉为圣地，如今人们通常直接称它为“船津胎内”。

丸藤讲的创始人高田藤四郎(1706-1782)历来被视为船津胎内巡礼的开先河者，早在 1770 年前后就将其纳入了该团体的巡礼路线。高田声称，指引他找到此处洞穴的是他的老师，富士讲的伟大领袖食行身禄(1671-1733)所留下的著作。

其他团体后来陆续将佛像和石碑带到该处，高田自己也有一尊木像至今仍立在通道口。

船津胎内全年开放，近年新建成的河口湖户外活动中心也在这里，与圣地分享同一片场地。

<繁体字>**船津胎内樹型**

10 世紀的劍丸尾熔岩流在富士山北坡留下了 43 個形態大小各異的樹型，因為都在船津地區境內，被統稱為「船津胎內樹型」，並以此名被登錄為富士山世界遺產的一部分。最大一處樹型由多棵樹木共同形成，因此格外長且複雜。18 世紀，「富士講」巡禮信眾開始將此處奉為聖地，今天人們通常直接稱此處為「船津胎內」。

丸藤講的創始人高田藤四郎（1706-1782）一直被視為船津胎內巡禮的開山始祖，早在 1770 年前後就將此地納入了該團體的巡禮路線。高田聲稱指引他找到這處洞穴的是他的老師，富士講的偉大指導者食行身祿（1671-1733）的著書。

其他團體後來陸續將佛像和石碑帶往該處，高田自己也有一尊木像至今仍矗立在通道口。

船津胎內全年開放，近年新建成的河口湖戶外活動中心也在這裡，與神社分享同一處場地。

<日本語仮訳>

船津胎内樹型

10 世紀に発生した剣丸尾溶岩流が富士山の北側に残した岩盤には、大小 43 の樹型があります。これらは船津地域にあるため、船津胎内樹型として知られており、富士山の世界遺産登録においてもこの名前で資産登録されています。最も大きいものは、隣接する複数の木々から形成されたことから、非常に長く複雑な形をしています。18 世紀以降、これは富士講の巡礼者たちにとっての信仰の場となりました。今日、この樹型は船津胎内と呼ばれています。

丸藤講の創始者、高田藤四郎（1706–1782）は、1770 年頃、富士講の巡礼先に船津胎内を加えた最初の人物と伝えられています。高田は自身の師で偉大な富士講の指導者であった食行身禄（1671–1733）の著作に導かれてこの洞穴を発見したと述べました。

後に、この場所には他の富士講によって仏像や碑が置かれました。入り口のそばに置かれた高田自身の木像は、今でも同じ場所にあります。

船津胎内は年間を通して参拝できます。同地には神社に加え、近年つくられた河口湖フィールドセンターもあります。

【タイトル】 吉田胎内樹型

【想定媒体】 看板

<簡体字>

吉田胎内树型

吉田胎内树型包括剑丸尾熔岩流留下的 63 个熔岩洞穴，位于船津胎内树型东南约 700 米处的上吉田境内，同样是富士山世界遗产的组成部分。最大的洞穴就叫“吉田胎内”，是“富士讲”巡礼者的圣地。

最早巡礼吉田胎内的是丸藤宗冈讲，这是高田藤四郎(1706-1782)所创丸藤讲的派生团体，前者与船津胎内关系密切。1892 年，丸藤宗冈讲第八代领袖星野堪藏似乎是赢得了吉田御师的支持，选择这里取代“船津胎内”。

鉴于吉田胎内更靠近登顶富士山的吉田口登山道，比起船津胎内来，似乎理应更受巡礼者青睐，然而两处都沿用至今。

富士讲团体以不同方式将它纳入各自行程，有的在登山途中造访，有的返程才去，还有的在登山前一天就去了。

如今，吉田胎内全年大半时间都不开放。但在每年 4 月 29 日“吉田胎内祭”当天，人人都可以匍匐穿过洞穴，重获新生。

<繁体字>

吉田胎内樹型

吉田胎内樹型包括劍丸尾熔岩流留下的 63 個熔岩洞穴，位於船津胎内樹型東南約 700 公尺處的上吉田境内，同樣是富士山世界遺產的一部分，最大的洞穴就叫「吉田胎内」，是「富士講」巡禮信眾的聖地。

最早巡禮吉田胎内的是丸藤宗岡講，是高田藤四郎（1706-1782）所創丸藤講衍伸的團體，且與船津胎内關係密切。1892 年，丸藤宗岡講第八代領袖星野堪藏似乎贏得了吉田御師的支持，選擇此處取代「船津胎内」。

鑒於吉田胎内更靠近登頂富士山的吉田口登山道，比起船津胎内，此處理應更受巡禮信眾青睞，然而兩處胎内至今都深受信眾歡迎。

富士講團體以不同方式將此處納入各自行程，有的登山途中造訪，有的返程才去，甚

至還、有會在登山前一天就去了。

如今，吉田胎内全年大半時間都不開放，但在每年 4 月 29 日「吉田胎内祭」當天，人人都可以匍匐穿過洞穴，重獲新生。

<日本語仮訳>

吉田胎内樹型

吉田胎内樹型は剣丸尾溶岩流内にある 63 の洞穴群のことです。吉田胎内樹型は船津胎内樹型から 700m ほど南東の上吉田に位置しており、富士山の構成資産として世界遺産登録されています。最も大きな洞窟は「吉田胎内」と呼ばれ、富士講修行者たちの聖地です。

最初に吉田胎内を利用したのは、丸藤宗岡講でした。この団体は、高田藤四郎（1706-1782）によって創始され、船津胎内と強い繋がりがあった丸藤講から派生しました。1892 年、丸藤宗岡講第八代先達の星野勘蔵は、吉田胎内を船津胎内の代わりとして採用し、吉田の御師もこれを支持したようです。

吉田胎内は吉田口登山道により近いところにあるため、巡礼者は船津胎内よりこちらのほうをよく利用するのであろうとも考えられますが、しかし、胎内は両方とも使われ続けました。

富士講は、吉田胎内への訪問を様々な形で巡拝の旅程に組み込みました。ある団体は山頂に向かう途中に、またある団体は帰り道にここを訪れ、さらに登頂の前日にこの場所を訪れる団体もありました。

現在、吉田胎内は普段は入場できません。しかし、毎年 4 月 29 日に行われる「吉田胎内祭」では、希望者は誰でも洞穴の中を這って巡ることで、生まれ変わることができます。

【タイトル】 人穴（人穴富士講遺跡）

【想定媒体】 看板

<簡体字>

人穴（人穴富士講遺跡）

和大多数“胎内”洞穴不同，人穴早在富士讲出现之前很久就已广为人知。13 世纪就有记录称其为富士山神“浅间大菩萨”的居所，另一个流传甚广的图绘故事则说曾有一名武士经过它抵达了冥界。

人穴是个寂静的神秘洞穴，高度可容人直立。洞中地面永远积着水。17 世纪早期，苦修士长谷川角行(1541?-1646)曾在这里修行，传说他当时坐在一块木头上闭关冥想了 1000 个日夜。自 18 世纪中期开始，“富士讲”的发展促使更多巡礼者将人穴视为圣地，前来致敬长谷川角行——他们这份信仰的精神祖师。这些巡礼者留下的 200 多块石碑至今仍矗立在洞口。

如今，人穴由富士宫市教育委员会管理。参观需预约，冬季关闭。

<繁体字>

人穴（人穴富士講遺跡）

和大多數「胎內」洞穴不同，人穴早在富士講出現之前就廣為人知了，13 世紀就有記錄稱其為富士山神「淺間大菩薩」的居所，另一個流傳甚廣的圖繪故事則記載，曾有一名武士經過人穴抵達了冥界。

人穴是個寂靜的神秘洞穴，高度可容人直立，洞中永遠積水。17 世紀早期，苦修士長谷川角行（1541?-1646）曾在此處修行，據說他當時坐在一塊木頭上閉關冥想了 1000 個日夜。自 18 世紀中期開始，「富士講」的發展促使更多巡禮信眾將人穴視為聖地，前來致敬長谷川角行——信仰的精神祖師，過往巡禮信眾留下了 200 多塊石碑，至今仍矗立在洞口。

如今，人穴由富士宮市教育委員會管理，參觀需事先預約，冬季不開放參觀。

<日本語仮訳>

人穴（人穴富士講遺跡）

様々な「胎内」洞穴と異なり、人穴は最初の富士講が組織されるよりずっと前から広く知られていました。13 世紀には、この穴は富士山の神「浅間大菩薩」の住まいであると記述され、一般に流通していた絵巻にはこの穴を通して冥界へと旅した武士の話が描かれていました。

人穴は中で人が立てるくらいの高さのひっそりとした神秘的な洞穴です。底部には常に水が溜まっています。17 世紀初期、この洞穴は長谷川角行（1541?-1646）という修験者の修行の場となりました。伝えられるところによると、角行は千日間をこの洞穴内で角材の上で瞑想して過ごしました。18 世紀半ばから、富士講のネットワークが広がるのに伴って、信仰の開祖である角行に参拝する霊場として、より多くの巡礼者が人穴を訪れるようになりました。洞穴の入り口には、今でもこれらの巡礼者たちが残した 200 基以上の石碑が立っています。

現在、人穴は富士宮市教育委員会によって管理されています。冬季を除き、事前予約による見学が可能です。

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|----------------------|--------|------|
| 005-001 | 荻町世界遺産集落 | 510 | WEB |
| 005-002 | 和田家 | 705 | WEB |
| 005-003 | 旧遠山家住宅 | 780 | WEB |
| 005-004 | 明善寺郷土館 | 715 | WEB |
| 005-005 | 明善寺：鐘楼門 | 260 | WEB |
| 005-006 | 荻町城跡 | 315 | WEB |
| 005-007 | 荻町城跡展望台 | 425 | WEB |
| 005-008 | どぶろく祭 | 380 | WEB |
| 005-009 | 白川八幡神社 | 330 | WEB |
| 005-010 | 百足獅子舞 | 545 | WEB |
| 005-011 | 春駒踊り | 415 | WEB |
| 005-012 | 合掌造りの家 | 290 | WEB |
| 005-013 | 茅葺き屋根と「結」の心 | 630 | WEB |
| 005-014 | 白川郷荻町集落の自然環境を守る会 | 415 | WEB |
| 005-015 | 合掌造りの家の構造 | 540 | WEB |
| 005-016 | 礎石の構築 (石場カチ) | 370 | WEB |
| 005-017 | 大家族 | 670 | WEB |
| 005-018 | 茅葺きの材料 | 535 | WEB |
| 005-019 | 焰硝の生産 | 390 | WEB |
| 005-020 | 白川郷の養蚕 | 405 | WEB |
| 005-021 | 雪と白川郷 | 400 | WEB |
| 005-022 | 白山国立公園 | 450 | WEB |
| 005-023 | 白山：霊峰 | 525 | WEB |
| 005-024 | 白水の滝 | 250 | WEB |
| 005-025 | 御母衣ダム | 380 | WEB |
| 005-026 | 豆腐と白川郷 | 485 | WEB |
| 005-027 | すったて | 350 | WEB |
| 005-028 | 秋葉神社 | 325 | WEB |
| 005-029 | 囲炉裏 | 420 | WEB |
| 005-030 | 火天 | 235 | WEB |
| 005-031 | 防火活動 | 310 | WEB |
| 005-032 | 「白川」という地名 | 385 | WEB |
| 005-033 | 白水湖 | 320 | WEB |
| 005-034 | 野外博物館 合掌造り民家園と「であい橋」 | 470 | WEB |
| 005-035 | 飛騨 | 370 | WEB |

| | | | |
|---------|------------------|-----|-----|
| 005-036 | 道の駅白川郷と合掌ミュージアム | 420 | WEB |
| 005-037 | 白川村の大家族 | 285 | WEB |
| 005-038 | 白川村の産業 | 320 | WEB |
| 005-039 | 白川郷での養蚕 | 165 | WEB |
| 005-040 | 養蚕による繁栄 | 235 | WEB |
| 005-041 | 白川郷における焰硝の生産 | 425 | WEB |
| 005-042 | 合掌造りの家での養蚕と焰硝の生産 | 470 | WEB |
| 005-043 | 大家族に関する調査 | 420 | WEB |
| 005-044 | 白川村の大家族の特徴 | 175 | WEB |
| 005-045 | 養蚕と女性の労働力 | 345 | WEB |
| 005-046 | 大家族での暮らし | 360 | WEB |

【タイトル】 荻町世界遺産集落

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

荻町世界遗产村落

荻町古村位于庄川东岸一片平坦的新月形台地上，庄川向北穿越群山环绕的狭长山谷后流入日本海。荻町是白川乡地区最大的村落，总计 100 多户人家，大多数都住在被称为“合掌造”的传统茅葺（茅草屋顶）农舍里。之所以得名“合掌”，是因为它倾斜陡峭的三角形屋顶恰如祈祷祭拜时双手合十的形状。

“合掌造”形成于江户时代(1603-1867)中期，是庄川流域特有的民居形式，也是适应当地环境、气候和产业发展需求的产物。白川乡地区冬季降雪量十分可观，倾斜的屋顶可以避免因积雪过厚导致房屋受损。此外，山墙一侧的壁面上开有多扇大窗，用以确保室内多层式阁楼能得到充分的光照和空气流通。传统上，这类阁楼多用作养蚕。

直至 20 世纪 70 年代，人们才逐渐认识到合掌造建筑的历史价值。当时，由于对庄川流域的工业化和庄川水电站建设持有顾虑，本地居民开始致力于为子孙后代保留这些传统建筑。1976 年，荻町被日本政府选定为“重要传统建筑群保护地区”。1995 年，作为“白川乡·五箇山合掌造集落”的组成部分，此处古村落以其乡村风貌和合掌造传统建筑式样被列入联合国教科文组织世界文化遗产名录。除建筑与景观风貌外，扎根于此的民间互助活动同样得到了很高的评价。

<繁体字>

荻町世界遺產村落

荻町古村位於庄川東岸一片平坦的新月形台地上，庄川向北穿越群山環繞的狹長山谷，奔流入日本海。荻町是白川鄉地區最大的村落，總計 100 多戶人家中大多數都住在被稱作「合掌造」的傳統茅葺（茅草屋頂）農舍裡。之所以得名「合掌」，是因為它陡峭傾斜的三角形屋頂，恰如祈禱祭拜時雙手合十的形狀。

成形於江戶時代（1603-1867）中期的「合掌造」，是庄川流域特有的民居形式，也是適應當地環境、氣候和產業發展需求的產物。白川鄉地區冬季降雪量很大，傾斜的屋頂可以避免因積雪過厚導致房屋受損。此外，山牆的牆壁上開有多扇大窗，可確保室內的多層閣樓獲得足夠的光照和空氣流通。傳統上，這類閣樓多用作養蠶。

直至 1970 年代，人們才開始認識到合掌造建築的歷史價值。當時，對庄川流域的工業化和庄川水電站開發感到憂慮的本地居民，開始致力於為子孫後代保留這些傳統的建築。1976 年，荻町被日本政府選定為「重要傳統建築群保護地區」。1995 年，作為「白川郷・五箇山合掌造集落」的組成部分，這處古村落以其鄉村風貌和合掌造傳統建築樣式被列入聯合國教科文組織世界文化遺產名錄。除建築與景觀風貌外，扎根於此的鄰里互助活動同樣得到了很高的評價。

<日本語仮訳>

荻町世界遺産集落

歴史ある荻町の村は、山々に囲まれた狭くて長い谷を日本海に向かって北流する庄川東岸の、三日月型をした平坦な台地にあります。白川郷地域最大の集落であるこの村には 100 世帯以上が住んでおり、その多くが暮らす伝統的な茅葺き屋根の農家は、「合掌」造りで建てられています。この言葉は、急勾配の三角形の屋根の形が、お祈りをする時の両手を押し付けた形に似ていることを反映しています。

この種類の家は庄川流域特有のもので江戸時代（1603-1867）中期にこの地域の環境、気候、および産業に対応して発達しました。屋根の傾斜は、毎年冬に白川郷を覆い尽くす激しい降雪で、雪が積み重なり、家が傷むのを防ぎます。妻壁には大きな窓があり、伝統的に主として蚕を育てるために使われた多層式の屋根裏部屋へ、日光や空気を取り入れています。

合掌造りの建物の歴史的な価値が認識され始めたのは、1970 年代のことでした。庄川流域の工業化や水力発電ダムの建設を懸念した当時の地元住民たちが、後世の人々のために家屋を保存する取り組みを始めたのです。荻町は 1976 年に「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されました。1995 年には、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」の一部として、その村の景観と伝統的な建築様式がユネスコ世界文化遺産の目録に加えられました。また、建物や景観だけでなく、地域に根付く住民同士の相互扶助の営みも高い評価を受けたとされています。

【タイトル】 和田家

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

和田家

和田家建于江户时代(1603-1867)晚期，是白川乡 100 多座“合掌造”建筑中最大，也最引人注目的一座。这栋宅邸反映了和田家族的财富与权力，昭示出他们正是数个世纪来本地最富有且最具影响力的家族。整个江户时代，和田一族都拥有“名主”（村长）的头衔，并主持着白川乡北端的检查所（政府机构），负责监督检查当地人员出入和物资流动的情况。从最初的火硝（硝酸钾，火药的重要成分）制造与销售，到 19 世纪下半叶开始的蚕丝业，和田家族积累了相当可观的财富。1889 年，和田家族的家主被任命为现代白川村的首任村长。

和田家为三层构造，其中一部分至今依然有人居住，但大部分房间和宽敞的阁楼都面向公众开放。虽然建筑经过了一定程度的翻新，来访者依然可以在这里感受到，在白川乡鼎盛时期里富裕家族的日常生活状态。面对宅邸正门，来访者会看到两个入口：右边一个较小，供住户出入；左边的出入口较大，通向两个榻榻米房间，只有在如政府官员等贵宾到来时才会打开。遍览白川乡，只有和田家才有这样的屋宅入口，由此也能看出这个家族的显赫地位。

民居一楼以一个传统式的“围炉里”（用以烹饪和取暖的地炉）为中心，陈列着餐具、厨具等日常生活用品。此外，室内还有一个装饰华丽的大型家用佛龕。多层复式阁楼里则通过工具及相关装备的展示介绍了屋顶铺设茅草的过程。来访者还可以近距离观察屋顶的内部结构，这种茅草屋顶仅使用草绳和金缕梅嫩枝制作的捆索“ネソ”（Neso；合掌造民居中用于绑缚梁、柱的细枝）加以固定。和田家的房屋是荻町唯一被指定为国家重要文化财产的建筑，除此以外，宅邸还包括一处庭园和池塘、一个醒目的室外大厕所和屋后一间具备高耐火性的“土藏”（土墙仓库）。

<繁体字>

和田家

和田家建於江戶時代（1603-1867）晚期，是白川鄉 100 多座「合掌造」建築中最大、最引人注目的一座。這座宅邸體現了和田家的富庶和權威，昭示著若干世紀以來，他們一

直都是當地最富有、最具影響力的家族。整個江戶時代，和田一族都擁有著「名主」（村長）的頭銜，同時還在白川鄉北端的檢查所（政府機關），負責監督檢查該地區人員出入和物資流動的情況。從最初的火硝（硝酸鉀，火藥的重要成分）製造與銷售，到 19 世紀下半葉開始的蠶絲業，和田家積累了相當可觀的財富。1889 年，和田家的家主被任命為現代白川村的首任村長。

和田家為三層構造，其中有一部分至今依然有人居住，但大部分房間和寬敞的閣樓都面向大眾開放。雖然建築做過一定程度的翻新，遊客依然可以在這裡感受到，在白川鄉的鼎盛時期，富裕家族的日常生活狀態。面對宅邸正門，遊客會看到兩個入口：右邊一個較小，供住戶出入；左邊的出入口較大，通向兩個榻榻米房間，只有在諸如政府官員等貴賓到來時才會打開。整個白川鄉裡，只有和田家才有這樣的屋宅入口，從中也能看出該家族的顯赫地位。

民居一樓以一個傳統式的「圍爐裏」（用以烹飪和取暖的地爐）為中心，陳列著餐具、廚具等日常生活用品。此外，室內還有一個裝飾華麗的大型家用佛龕。多層複式閣樓裏則透過工具及相關裝備展示建築屋頂鋪設茅草的過程。參訪者亦可近距離觀察屋頂的內部結構，這種茅葺屋頂僅使用草繩和金縷梅嫩枝製作的「ネソ」（Neso；合掌造民居中用於綁縛樑、柱的細枝）來固定。和田家宅邸的房屋是荻町唯一的國家指定重要文化財產，除此以外，還有一處庭園和池塘、一個醒目的室外大廁所以及屋後一間具備高耐火性的「土藏」（土牆倉庫）。

<日本語仮訳>

和田家

和田家は白川郷にある 100 以上の「合掌造り」の建物の中でも、最も大きくて目立ったものです。江戸時代（1603-1867）後期に建てられたこの家は、何世紀にもわたってこの地域で最も裕福かつ影響力のあった和田家の富と権力を反映しています。この一族は江戸時代を通して「名主」（一村の総括責任者）の地位を保持し、白川郷の北端でこの地域を出入りする人や物の流れを規制していた番所の役人を務めていました。和田家は、始めは火硝（火薬に不可欠な原料の硝酸カリウム）の生産と取引で、1800 年代後半からは養蚕によって大きな富を蓄えました。1889 年には和田家の当主が、現代の白川村の初代村長に任命されました。

3 階建ての和田家の一部は今でも住居として使われていますが、大部分の部屋と広々とした屋根裏部屋が一般に公開されています。建物はある程度改修されているものの、訪問者は白川郷の最盛期に裕福な家族がどのように暮らしていたか感じることができます。家の正面に向き合うと、2 つの入り口があることに気づきます。右側の小さい方が住人用でした。一方、左側の大きい扉は 2 つの畳敷きの部屋につながっており、政府の役人など重要な客のためにのみ開けられました。白川郷でそのような入り口を持つ建物は和田家のみであり、同家の高い地位を物語っています。

この住居の1階には中央に伝統的な「囲炉裏」（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）があり、食器類や調理器具など日常生活で使われていた品物が展示されています。凝った装飾の大きな仏壇もあります。多層式の屋根裏部屋には道具類や器具類が展示され、この家の屋根がどのように茅葺きされているのか説明しています。訪問客は、藁縄とマンサクの若枝で作られた結束部品（ネソ）だけを使って固定されている屋根の構造の内側を、間近で見することもできます。荻町で唯一国の重要文化財に指定されている家屋に加え、和田家の敷地内には隣接した庭と池、ひときわ大きな屋外便所、および裏には「土蔵」などもあります。

【タイトル】 旧遠山家住宅

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

旧远山家住宅

远山家宅邸位于靠近白川乡南端的御母衣地区，传统“合掌造”民居的所有重要特征在这处房屋上都有体现：使用干芒草铺就的大坡度三角形茅葺屋顶，窗户开在山墙上的大空间多层复式阁楼，位于一楼中心的“围炉里”（用以烹饪和取暖的地炉），地板下一个制造火硝（硝酸钾，火药的主要成分）的火硝坑。这栋房子建于 1850 年，是当时御母衣村最大、最有影响力的远山家族的产业，直到 1967 年都被用作家族宅邸。这个大家庭人口最多时，曾有 48 名成员共住同一屋檐下。在御母衣这样的村落里，这种居住方式十分常见，因为当地耕地匮乏，而养蚕缫丝之类的家庭作坊产业需要全家每一个人出力支持。

远山家宅邸已被指定为国家重要文化财产，现被改造成一个民俗博物馆。在这里，参观者可以了解到，自江户时代(1603-1867)晚期到明治时代(1868-1912)期间，这类偏远山区村民的生活状态。玄关旁是火硝坑，从前坑内会填满稻草、泥土、艾草、蚕粪等混合材料等待发酵。为加快发酵进程，附近一座户外厕所里的尿液也被引来坑中。不过，发酵过程依然需要花费好几年。一楼是宅邸住户的居住空间，有几间卧室、一个餐厅、一个佛龕，以及招待客人的房间。一条走廊将生活区与厨房、浴室和工作间分隔开来。餐具、厨具、农具、渔具、狩猎工具以及其他物品分散陈列在宅邸各处，用以展现这个家庭的日常生活及谋生方式。阁楼主要用来养蚕，养蚕及缫丝设备都在此展出。

1935 年，远山家迎来了一位客人，他在白川乡的经历帮助国际社会第一次认识了“合掌造民居”。这位客人就是德国建筑设计师布鲁诺·陶特(Bruno Taut, 1880-1938)。他在日本花了 3 年时间深入研究这个国家的建筑式样。他在个人著作中将合掌造民居与瑞士阿尔卑斯山区的农舍加以比较，对前者的“合理性”和简洁性大加称赞。陶特的评价激励了本地民众，促使他们随后为保护合掌造民居而付出努力。

<繁体字>

舊遠山家住宅

遠山家宅邸位於靠近白川鄉南端的御母衣地區內，傳統「合掌造」民居的所有重要特徵在這處房屋上都有所體現：使用乾芒草鋪就的大坡度三角形茅葺屋頂、山牆上開窗的大

空間多層複式閣樓、位於一樓中心的「圍爐裏」（用以烹飪和取暖的地爐）、一個位於地板下的製造火硝（硝酸鉀，火藥的主要成分）的火硝坑位。這棟房子建於 1850 年，是當時御母衣村最大、最有影響力的遠山家的產業，直到 1967 年都被用作家族宅邸。這個大家庭人口最多時，曾有 48 名成員同住在這一個屋簷之下。在御母衣這樣的村落裡，這種住家方式十分常見，因為當地耕地匱乏，而養蠶繅絲之類的家庭作坊產業需要全家每一個人分工合作。

遠山家宅邸被指定為國家重要文化財產，現已改造成一個民俗博物館。在這裡，遊客可以瞭解到自江戶時代（1603-1867）晚期到明治時代（1868-1912）期間這類偏遠山區居民的生活情況。玄關旁就是火硝坑，從前坑內會填滿稻草、泥土、艾草、蠶糞等混合材料，等待其發酵。附近一座戶外廁所裡的尿液也被引來坑中，以加快發酵進程，但整個發酵過程依然需要花費好幾年。一樓是宅邸住戶的居住空間，有幾間臥室、一個餐廳、一個佛龕，以及招待客人的房間。一條走廊將生活區與廚房、浴室和工作間分隔開來。餐具、廚具、農具、漁具、狩獵工具及其他物品分散陳列在宅邸各處，用以展示這個家庭的日常生活及謀生方式。閣樓主要用來養蠶，養蠶及繅絲設備都在此展出。

1935 年，遠山家迎來了一位客人，他在白川鄉的經歷說明國際社會第一次認識了「合掌造民居」。這位客人就是德國建築設計師布魯諾·陶特（Bruno Taut, 1880-1938），他耗時 3 年留在日本，深入研究這個國家的建築。在他的著作中，陶特將合掌造民居與瑞士阿爾卑斯山區的農舍加以比較，對前者的「合理性」和簡潔性大加稱讚。陶特的評價激勵了當地民眾，促使他們隨後為保護合掌造民居而付出努力。

<日本語仮訳>

旧遠山家住宅

白川郷の南端近くの御母衣の集落にある遠山家は、伝統的な「合掌造り」建物の主な特徴をすべて示しています。これには、乾燥したススキを使って茅葺きされた急勾配の三角形の屋根や、妻壁に窓を持つ広々とした多層式の屋根裏部屋、1 階の真ん中に置かれた「囲炉裏」（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）、および火硝（火薬に不可欠な原料の硝酸カリウム）を作るための床下の穴などが含まれます。この家は、1850 年頃に当時の御母衣で最も大きく影響力のあった遠山家のために建てられ、1967 年まで住居として使われました。最大 48 人の大家族が、同じ屋根の下、ここで暮らしていました。農地が乏しく、養蚕などの家内工業に全員の労働力が必要だった御母衣のような集落では、そのような居住環境が普通でした。

国の重要文化財に指定されている遠山家は民俗博物館に改装されており、訪問者はここで、江戸時代（1603-1867）後期から明治時代（1868-1912）にかけてこの辺りな山間の地域でどのような暮らしが行われていたのか学ぶことができます。玄関の脇には火硝用の穴があります。かつてはこの穴を藁、土、ヨモギ、蚕の糞などの材料でいっぱいにして、発酵させていました。数年か

かる発酵プロセスを促進するため、近くの野外トイレから尿が穴の中に引かれました。この家の住人が住んでいた 1 階には、寝室が何部屋かと食事部屋が 1 つ、仏壇、および客をもてなすために使われた部屋があります。居住区と台所、浴室、仕事部屋は廊下で分かれています。住居の至るところに食器類や調理器具、農業・漁業・狩猟のための道具、およびその他の品物が展示されており、一家がどのように暮らし、生活の糧を得ていたのか説明しています。屋根裏部屋は主に養蚕のために使われました。この空間にはそのための設備や、生糸を繰糸するための器具が展示されています。

1935 年、遠山家はある客の訪問を受けました。この人物の白川郷での体験のおかげで、「合掌造りの建物」の評判が初めて海外の人たちに広がりました。この訪問客はドイツ人建築家のブルーノ・タウト（1880-1938）で、3 年間日本に滞在してこの国の建築様式を詳細に調査した人物です。彼は著書の中で合掌造りの家屋をスイスアルプスの農家の家屋と比較し、その「合理性」とシンプルさを称賛しました。タウトの言葉が後に地元の人々を刺激し、それらの建築物を保存する取り組みにつながりました。

【タイトル】 明善寺郷土館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

明善寺乡土馆

明善寺是白川乡最重要的宗教场所之一，自 1748 年建成以来，一直是荻町最主要的佛教圣地。这是一座净土真宗寺院，净土真宗是本地占据主导地位的佛教宗派。寺内茅葺屋顶的本堂（正殿）非常独特，其历史可以追溯到 1827 年。本堂旁的建筑称“库里”，是寺院住持及其家人的住所，也是村里最大的“合掌造”民居之一。这座房屋建于 1817 年，如今是一座乡土馆（介绍本地文化历史的设施），帮助参观者了解白川乡的传统生活。

乡土馆是本地区少有的几座灰泥土墙建筑之一，这种墙体的防火性比木墙更好。一楼总面积 330 平方米，被用作生活区，有一个大起居室，房间中央是“围炉里”（用以烹饪和取暖的地炉），上方悬挂一块被称为“火天”(Hiama)的木板，用于阻挡并熄灭炉膛中迸起的火星，驱散煤烟，同时防止热气散出房间。起居室是全家人吃饭和围炉闲坐消磨时光的地方。围炉的座次有严格规定，大家长的座位背靠房屋中心粗壮的支柱，象征他是负担全家生计的顶梁柱。家主的妻子坐在他的右手边，长子坐左手边，其余家庭成员依序坐在暖炉对面。

楼上是一个四层复式阁楼，主要用于养蚕，参观者可以在这里看到各种工具、厨具、装饰品以及其他展现白川乡人传统谋生方式的物品。进入阁楼，还能一览屋顶的内部构造，整个屋顶只用草绳和金缕梅嫩枝做成的捆索“ネソ”（Neso；合掌造民居中用于绑缚梁、柱的细枝）固定。像明善寺库里这样的合掌造民居，地基和一楼通常由经验丰富的木匠建造，格子天花板以上的所有部分则由村民协力安装。

参观完阁楼后，来访者沿着一道檐廊从库里即可前往寺院本堂（正殿）。本堂殿内装饰华丽，是典型的净土真宗寺院风格。墙上绘制的风景画多以富士山为主题，是画家滨田泰介(1932-)的作品。

<繁体字>

明善寺郷土館（岐阜縣重要文化財産）

明善寺是白川郷最重要的宗教場所之一，自 1748 年建成以來，一直是荻町最主要的佛教聖地。這是一座淨土真宗寺院，在當地，淨土真宗是佔據主導地位的佛教宗派。寺內茅

葺屋頂の本堂（正殿）非常獨特，其歷史可以追溯到 1827 年。本堂旁的建築稱「庫裡」，是寺院住持及其家人的住所，也是村裡最大的「合掌造」民居之一。這座房屋建於 1817 年，如今是一座鄉土館（介紹本地歷史文化的設施），幫助參觀者瞭解白川鄉的傳統生活。

鄉土館是本地區少有的幾座灰泥土牆建築之一，這種牆體的防火性比木牆更好。一樓總面積 330 平方公尺為生活區，有一間大起居室，房間中央是「圍爐裏」（用以烹飪和取暖的地爐），其上方懸掛著一塊被稱為「火天」（Hiama）的木板，用於熄滅暖爐中迸出的火星，驅散煤煙，同時防止熱氣散出房間。起居室是全家人吃飯和圍爐閒坐消磨時光的地方。圍爐的座次有嚴格規定，大家長的座位背靠房屋中心粗壯的支柱，象徵他是負擔全家人生計的頂樑柱。家主的妻子坐在他的右手邊，長子坐左手邊，其餘家庭成員依序坐在暖爐的對面。

樓上是四層的複式閣樓，主要用於養蠶，遊客可以在這裡看到各種工具、廚具、裝飾品以及其他能夠展示白川鄉人傳統謀生方式的物品。進入閣樓還能一覽屋頂的內部構造，整個屋頂只用草繩和金縷梅嫩枝做成的「ネソ」（Neso；合掌造民居中用於綁縛樑、柱的細枝）固定。像明善寺庫裡這樣的合掌造民居，地基和一樓通常由經驗豐富的木匠建造，格子天花板以上的所有部分則由村民協力安裝。

參觀完閣樓後，遊客可以沿著一道簷廊從庫裡前往寺院本堂（正殿），殿內裝飾華麗，是典型的淨土真宗寺院風格。牆上繪製的風景畫多以富士山為主題，所有畫作均出自畫家濱田泰介（1932-）之手。

<日本語仮訳>

明善寺郷土館

明善寺は、白河郷で最も重要な信仰の地のひとつで、1748年の創建以来、荻町にある主要な仏教聖地です。この地域の主要な仏教宗派となっている浄土真宗の寺院、明善寺には、1827年に建てられた特徴的な茅葺きの本堂があり、本堂の隣には、この寺の住職やその家族の住居、庫裡があり、この村最大の「合掌造り」の家屋のひとつです。1817年に建てられたこの建物は、現在、白川郷の伝統的な生活を学ぶことができる郷土館となっています。

郷土館の建物は、この地域にはあまり見られない、木造よりも耐火性に優れた漆喰塗りの土壁造りです。その、広さ約 330 平方メートルの 1 階は、中央に「囲炉裏」（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）のある大きな居間を中心とした居住空間となっており、囲炉裏の上には、火の粉を消したり、煙を消したり、家中に熱を逃がさないようにするための「火天」（ひあま）という木の板が吊るされています。居間は、家族が食事をしたり、囲炉裏を囲んで一家団欒のひとつを過ごしたりする場所で、家族は厳密に決められた席順に座っていました。家長は、家族の稼ぎ頭としての役割を象徴する中央の大黒柱に背を向けて座り、その右側には妻、左側には長男が座り、その他の家族は囲炉裏の反対側に座っていました。

主に養蚕に使われていた、階上にある 4 階建ての屋根裏部屋では、白川郷の人々の昔の暮らしぶりを知ることができる道具や台所用品、装飾品などを見学することができます。また、屋根裏部屋では、マンサクの若木で作られたネソという締め具と藁縄で固定された屋根の裏側を見ることができます。明善寺の庫裡のような合掌造りの家の基礎や 1 階は、専門の大工が作るのが一般的でしたが、格子天井の上の部分は村人が協力して組み立てていました。

屋根裏の見学後は、庫裡から屋根付きの回廊を通過して、浄土真宗寺院特有の華やかな装飾が施された本堂に入ることができます。壁に描かれた富士山を中心とした風景画は、浜田泰介画伯（1932- ）の作品です。

【タイトル】 明善寺：鐘樓門

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

明善寺：钟楼門

钟楼門是明善寺的正門，建于 1801 年，其独特之处在于双层结构和高耸的茅葺屋頂。这座門樓出自本地一名工匠的设计，比钟楼門晚 26 年建成的寺院本堂（正殿）在建造时也从中得到灵感，同样采用了茅葺屋頂。钟楼門上原有的梵鐘在二战期间被军方征用，如今悬挂在这里的是战后重铸的替代品，每到典礼和新年前夜（每年 12 月 31 日午夜）等节庆时，钟声都会响起。樓門左侧矗立着一株红豆杉，它于 1827 年寺院本堂竣工时种下，現已被指定为岐阜县天然紀念物。樓門右侧则生长着一株櫻花樹，每当粉红的花朵绽放，便是在告诉人们，白川乡又迎来了春天。

<繁体字>

明善寺：鐘樓門

鐘樓門是明善寺的正門，建於 1801 年，以其獨特的雙層結構和高聳的茅葺屋頂而聞名。這座門樓出自當地一名工匠的設計，比鐘樓門晚 26 年建成的寺院本堂（正殿）在建造時也從中得取靈感，同樣採用了茅葺屋頂。鐘樓門原來的梵鐘在二戰期間被軍方徵用，如今懸掛在這裡的梵鐘為戰後重鑄的替代品，鐘聲會在典禮和新年除夕（每年 12 月 31 日午夜）等節慶時響起。樓門左側矗立著一株紅豆杉，是於 1827 年寺院本堂竣工時種下，現已被指定為岐阜縣天然紀念物。樓門右側則生長著一株櫻花樹，它綻放出的粉紅花朵告知人們，白川鄉又迎來了春天。

<日本語仮訳>

明善寺：鐘樓門

鐘樓門は、明善寺の正門です。1801 年に建てられたこの門は、その 2 階建て構造と、高い茅葺き屋根が特徴的です。このデザインは地元の職人が考案したもので、同じく茅葺き屋根を特徴とするこの寺の現在の本堂は、この門の完成から 26 年後に建設されましたが、このデザインからヒントを得ていました。鐘樓門の元の梵鐘は、第二次世界大戦中に軍用として徴用され、終戦後に新たに鑄造された梵鐘が山門に吊るされ、儀式や大晦日などの行事の際に鳴らされています。

門の左側には、1827 年に本堂の完成を記念して植樹され、岐阜県の天然記念物に指定されたイチイの木があり、右側には、桜の木があり、そのピンクの花が白川郷の春の訪れを知らせます。

【タイトル】 荻町城跡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

荻町城遺址

公元 15 世纪到 16 世纪，早在荻町的第一座“合掌造”建筑出现的数百年之前，这座村庄及周边地区都处于武将内岛氏的掌控之下。内岛氏在荻町以南的归云城建立了他们强有力的统治，并沿着庄川岸边修建了一系列山顶军事堡垒，用以保卫他们的领地免受敌对家族入侵。荻町城便是这些军事堡垒中的一处，据推测，它当年的构造主要包括旱壕沟、防御堤围以及石头城墙等部分，其中，城墙沿如今荻町城遗址观景台所在小山的山脊修建。城堡守备军的指挥官是内岛氏的家臣山下氏胜(1568-1653)。1585 年，疑似一场地震摧毁了归云城，给予内岛氏致命的一击。此后，山下氏胜背叛内岛氏，另投他主，荻町堡垒就此废弃。当年的防御工事，如今也只留下了零星散碎的残迹。

<繁体字>

荻町城遺址

西元 15 世紀到 16 世紀，早在荻町的第一棟「合掌造」建築出現的數百年之前，這座村莊及周邊地區都處於武將內島氏的掌控之下。內島氏在荻町以南的歸雲城建立了強而有力的統治，並沿著庄川岸邊修建了一系列位於山頭的軍事堡壘，用以保衛他們的領地免受敵對家族入侵。荻町城便是這些軍事堡壘中的一座，據推測當年的構造主要包括沿如今荻町城遺址觀景台所在小山的山脊修建的石頭城牆、旱壕溝和防禦工事等幾個部分。城堡守備軍的指揮官是內島氏的家臣山下氏勝（1568-1653）。1585 年，疑似一場地震摧毀了歸雲城，給予內島氏致命的一擊。之後山下氏勝背叛內島氏另投他主，荻町城就此廢棄。當年的防禦工事，如今也只留下了零星散碎的殘跡。

<日本語仮訳>

荻町城跡

荻町に初めて「合掌造り」の家が建てられた何百年も前の 15 世紀から 16 世紀にかけて、この村とその周辺は、武將の内ヶ島氏が支配していました。内ヶ島氏は、荻町の南にある帰雲城に本拠地を置き、庄川沿いのいくつかの丘陵地に砦を次々と築き、敵対する一族の侵入から領地を

守りました。その中のひとつが荻町城で、現在の荻町城址展望台のある丘の尾根に沿って築かれた石垣、空堀や堤防を中心に構成されていたと考えられています。この城の守備兵らは、山下氏勝（1568-1653）という内ヶ島氏の家臣が指揮していました。1585年には、地震で帰雲城が破壊されたとされ、内ヶ島氏に致命的な打撃をもたらしました。山下氏勝は別の主人に仕えることを選び、荻町を捨て、彼の砦は廃墟と化しました。今日では城郭の一部だけが残っています。

【タイトル】 荻町城跡展望台

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

荻町城遗址观景台

站在荻町城遗址观景台上，可将荻町全貌尽收眼底。荻町是白川乡中心地区的一处村庄，也是联合国教科文组织世界文化遗产“白川乡·五箇山合掌造集落”的组成部分。站在山顶观景台上俯瞰脚下，如画卷一般展开的风景中星罗棋布着以陡斜三角结构屋顶为特色的“合掌造”民居，四季景象皆令人难忘。因此，这里也是上佳的摄影点。

远眺村庄，来访者可能会留意到，大部分合掌造民居都是南北朝向。这样的设计，一方面是为了让大坡度倾斜的房顶能够获取最大限度的日照；另一方面，则是为了保护这种又高又窄的建筑免受从南面或北面穿越庄川流域而来的强风损害。荻町内也有非南北朝向的合掌造民居，但大都应是从别处迁来的。从观景台还能看出，河谷内相对缺乏平坦的耕地，这是荻町的另一大显著特征。本地居民很难单纯依靠农业谋生，因此，在江户时代(1603-1867)中期，养蚕业成为了村民最主要的经济来源之一。合掌造民居之所以能够普及，在很大程度上就是因为民居内光照充足的复式阁楼非常适合养蚕。

<繁体字>

荻町城遗址观景台

荻町城遗址观景台可将荻町全貌尽收眼底。荻町是白川乡中心地区的一处村庄，也是联合国教科文组织世界文化遗产「白川乡·五箇山合掌造集落」的组成部分。站在山顶观景台上俯瞰脚下，如画卷一般展开的风景中，星罗棋布着以陡斜三角结构屋顶为特色的「合掌造」民居，一年四季皆是令人难忘的景象。这里也是最佳的摄影点。

访客远眺村庄时可能会留意到，大部分合掌造民居都是南北朝向，这样的设计，一方面是为了让大坡度倾斜的房顶能够获取最大限度的日照；另一方面，则是为了保护这种又高又窄的建筑免受穿越庄川流域而来的强劲南风或北风损害。荻町村内非南北朝向的合掌造民居，应该都是从别处迁来。从观景台还能看到荻町的另一大明显特征——河谷内相对缺乏平坦的耕地。当地居民很难单纯依靠农业谋生，因此，在江户时代（1603-1867）中期，养蚕成为了村民最主要的经济来源之一。合掌造民居之所以能够普及，在很大程度上就是因为民居内光照充足的复式阁楼非常适合养蚕。

<日本語仮訳>

荻町城跡展望台

荻町城跡展望台からは、白川郷の中心集落であり、世界文化遺産、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」の一部となっている荻町の集落を一望することができます。丘の上の展望台の下に広がる風景には、急勾配の三角屋根が特徴の「合掌造り」の家屋が点在しており、一年を通して印象的な光景を織りなします。ここは最高の撮影ポイントです。

集落を見渡すと、合掌造りの家の多くが南北方向に建てられていることがわかるでしょう。これは、茅葺き屋根の日照量を最大にするためと、通常は庄川流域を通過して北と南方向から吹き付ける強風から背が高く細長い構造物を守るため、南北方向に建てられていない合掌造りの家は、おそらく他の地域から荻町に移築されたものでしょう。また、展望台から見ても明らかなのは、川の谷間には平坦な耕作地が比較的少ないということですが、これも荻町の特徴です。この地の人々は、農業だけでは生計を立てることができなかつたため、江戸時代（1603-1867）中期には養蚕を取り入れ、これが主な収入源となりました。合掌造りの家は、その採光性が高く多層構造となっていた屋根裏部屋という空間が養蚕に最適だったことから人気が高まりました。

【タイトル】どぶろく祭

【想定媒体】WEB

<簡体字>

浊酒祭

浊酒祭是白川乡最重要的年度盛事之一。它并不是一个单独的节日，而是由一系列丰收庆典组成。各庆典前后相继，于每年10月14日到19日之间在本地神社轮流举办，以此庆祝农耕季的结束，感谢神明赐予丰收。不同神社的庆典仪式差别不大，大多以一场挨家挨户走遍乡里的神輿游行宗教仪式为主，加上狮子舞和其他传统演艺表演。当然，还少不了要痛饮浊酒，也就是未经过滤的清酒。每座神社都会自酿浊酒，据考，这一习俗最晚始于江户时代(1603-1867)早期。日本政府自1896年起禁止私自酿酒，对酒类酿造业实施了严格的规范管理，但神社得到了酿酒特许权，可以不受相关法令约束，不过前提是他们酿造的酒只能用于宗教目的，不可销售牟利。白川八幡神社的浊酒祭每年都会吸引最多的参拜者，其中许多人都是为了品尝神社酿造的浊酒而特意赶来。只需支付400日元香资，来访者就可以拿到一只酒杯，无限畅饮。

<繁体字>

濁酒祭

濁酒祭是白川鄉最重要的年度盛事之一。它並不是一個單獨的節日，而是由一系列豐收慶典組成。各慶典前後相繼，於每年10月14日到19日之間在當地神社輪流舉辦，以慶祝農耕季的結束，感謝神明賜予豐收。不同神社的慶典儀式差別不大，大多以一場挨家挨戶走遍鄉裡的神輿遊行宗教儀式為主，加上獅子舞和其他傳統表演活動。此外，當然還要痛飲濁酒，也就是未經過濾的清酒。每座神社都會自釀濁酒，這一習俗最晚始於江戶時代(1603-1867)早期。日本政府自1896年起禁止私釀酒，對酒類釀造業實施了嚴格的規範管理，但神社擁有釀酒特別許可，可以不受相關法律法規管轄，不過前提是他們釀造的酒只能用於宗教目的，不可銷售牟利。白川八幡神社的濁酒祭每年都會吸引很多參拜者，其中許多人是為了品嚐神社釀造的濁酒而特意趕來。只需支付400日元香油錢，參與者就可以拿到一隻酒杯並隨意無限續杯暢飲。

<日本語仮訳>

どぶろく祭

どぶろく祭は、白川郷の年間行事の中でも最も重要なもののひとつです。この祭は、単発のものではなく、10月14日から19日まで、この地域の神社で次々に行われる、農事繁期終了を祝い、神々に五穀豊穰を感謝する一連の収穫祭です。その内容は、神輿が近隣の家々を練り歩く神輿行列をはじめとする宗教的な儀式、獅子舞などの伝統芸能や、大量のどぶろく（無濾過のにごり酒）の振る舞いなどで構成されており、どの神社もほぼ同じです。少なくとも江戸時代（1603-1867）初期以降、これらの神社はそれぞれ独自のどぶろくを醸造することが習わしとなっています。これらの神社は、政府が自家醸造を禁止し、酒類の製造が厳格に規制された後の1896年に特別な酒類製造免許を付与されました。神社は、宗教上の目的のみのために酒を醸造し、利益のために酒を販売しないことを条件に、これらの規則を免除されました。400円の寄付と引き換えに、何度でもおかわりができる盃がもらえる白川八幡宮のどぶろく祭には、最も多くの参拝客が訪れ、その多くはこの神社のどぶろくの試飲を目当てに訪れます。

【タイトル】 白川八幡神社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白川八幡神社

白川八幡神社は荻町の主神社。神社建立時間已不可考，但人们推测它应该有着非常古老的起源。已知史料中，首次提及它是在 17 世纪，当时，掌管荻町的侍大将（在总大将之下负责指挥一队军事力量的军官）山下氏胜(1568-1653)代表总大将家族内岛氏重建了这座神社。应该就是在这一时期，神社与武士的守护神“八幡神”建立起了关系。同样在 17 世纪，佛像被请入神社本殿（正殿）旁的释迦堂。它们的存在提醒着我们，如今泾渭分明的神道教与佛教，在日本过去的一千多年里曾有着如何紧密的融合。本殿对面是神酒殿，那是神社每年冬天酿造神酒的地方。本地信徒和访客可以在每年 10 月 14、15 两日前来神社，品尝这些神酒。届时，神社会举办每年一度的浊酒祭，庆祝农耕季的结束，感谢神明赐予丰收。

<繁体字>

白川八幡神社

白川八幡神社是荻町的主要神社，神社建立時間已不可考，但人們推測應該有著非常古老的起源。已知史料中首次提及神社是在 17 世紀，當時掌管荻町的侍大將（在總大將之下負責指揮一支軍隊的軍官）山下氏勝（1568-1653）代表總大將家族內島氏重建了這座神社。應該就是在這一時期，神社與武士的守護神「八幡神」建立起了關係。同樣在 17 世紀，佛像被請入神社本殿（正殿）旁的釋迦堂。祂們的存在提醒著我們，如今涇渭分明的神道教與佛教，在日本過去的一千多年裡曾有著如何緊密的融合。本殿對面是神酒殿，那是神社每年冬天釀造神酒的地方。當地信徒和訪客可以在每年 10 月 14、15 兩日前來神社品嚐這些神酒。屆時，神社會舉辦每年一度的濁酒祭，慶祝農耕季的結束，感謝神明賜予豐收。

<日本語仮訳>

白川八幡神社

白川八幡神社は、荻町の主な神社です。非常に古くからの起源をもつと考えられていますが、正確に何年に建てられたのかはわかっていません。白川八幡神社が最初に歴史の記録に登場したのは、17世紀に武将の内ヶ島氏の代理として荻町を統治し侍大将（大將軍の下で一軍を指揮する者）の山下氏勝（1568-1653）によって再建された時のことです。この神社と武士の守護神である八幡神との関係は、この時期にまでさかのぼると考えられています。また17世紀からは、本殿の隣の釈迦堂に仏像が祀られています。これらの仏像の存在は、現在では別々に考えられている神道と仏教が、日本で1000年以上にわたりどのように密接に結びついてきたかを示すものです。また本殿の反対側には、毎年冬に神社のお神酒が醸造される神酒殿があります。このお神酒は、10月14日と15日に農繁期の終わりを祝い、収穫を神々に感謝するために神社で毎年開催される「どぶろく祭り」で、地元の信者と訪問者たちに提供されます。

【タイトル】 百足獅子舞

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

百足獅子舞

獅子舞是遍布全日本的一种传统演艺形式，舞者全身穿着狮子服饰，头戴狮头面具上场表演。各地的狮子舞表演中，编舞、服装及舞者人数都有明显不同。在白川乡，一只狮子需要四名舞者扮演，四人有八足，这便是本地“百足狮子舞”（或称“蜈蚣狮子舞”）之名的由来。在百足狮子舞的表演中，狮子要与两名勇士对抗。依照传统，勇士应当由儿童扮演。整个演出包括两大主要场景：第一场，狮子与一条代表灾祸的蛇搏斗，并吃掉它；第二场，勇士奋起对抗狮子，在这一段里，狮子又化身为灾难、疾病及种种不祥的象征。狮子被勇士打败，到最后起身与勇士共舞，这是表演的最高潮部分，意在提醒我们：自然是无法被征服的，因此，人类必须学会与之和谐共存。

本地狮子舞表演最晚亦可追溯至 18 世纪晚期，百足狮子舞是白川乡特有的形式，但它也受到庄川沿岸其他地区类似舞蹈的影响，吸收了它们的表演特征。狮子的舞蹈部分与白川乡上游飞驒（音同“驼”）地区的常规狮子舞十分相似；勇士的舞蹈部分则引入了下游——即今天的富山县和石川县地区——的相应传统风俗。即便同样是百足狮子舞，各村的表演形式也存在细微差别。如今，可独立表演百足狮子舞的村内协会共有 7 家。每年 10 月是各协会舞者一展才能的时候，届时，作为一年一度的浊酒祭的组成部分，整个白川乡都有百足狮子舞上演。

<繁体字>

百足獅子舞

獅子舞是日本各地都有的一種傳統演藝形式，屆時舞者全身穿著獅子服飾，頭戴獅頭面具上場表演。各地的獅子舞表演中，編舞、服裝及舞者人數都有明顯不同。在白川鄉，一隻獅子需要四名舞者扮演，四人有八足，這便是當地「百足獅子舞」（或「蜈蚣獅子舞」）之名的由來。在百足獅子舞的表演中，獅子要與兩名勇士對抗。依照傳統，勇士應當由兒童扮演。整個表演包括兩大主要場景：第一場，獅子與一條代表災禍的蛇搏鬥，並吃掉牠；第二場，勇士奮起對抗獅子，在這一段裡獅子又化身為災難、疾病和各種不祥的

象徴。獅子被勇士打敗後，最後起身與勇士共舞——這段表演的最高潮部分，意在提醒我們：自然無法被征服，因此人類必須學會與之和諧共存。

當地獅子舞表演最晚亦可追溯至 18 世紀晚期，百足獅子舞是白川鄉特有的形式，但也受到庄川沿岸其他地區類似舞蹈的影響而吸收了部分表演特徵。獅子舞蹈表演形式與白川鄉上游飛驒（音同「駝」）地區的常規獅子舞很相似。勇士部分，則受到了下游地區——今日的富山縣和石川縣的傳統風俗影響。即便同樣是百足獅子舞，各村的表演形式也存在細微差別，如今有 7 個村內協會都會演出他們自己獨特的百足獅子舞。每年 10 月是各協會舞者一展才能的時候，屆時作為一年一度的濁酒祭的活動之一，整個白川鄉都有百足獅子舞的表演。

<日本語仮訳>

百足獅子舞

獅子舞は日本全国でみられる、獅子の衣装とお面を付けて踊るという一般的な伝統芸能です。振り付け、衣装、参加する人数などは、地域によって大きく異なります。白川郷では、獅子舞は常に 4 人が一緒になって踊ることになっており、足が 8 本あることから「百足獅子舞」という名前が付けられています。この百足獅子舞では、獅子は 2 人の勇敢な戦士と戦います。戦士は伝統的に子供たちが演じるようになっており、また百足獅子舞のパフォーマンスは主に 2 つの場面で構成されています：最初の場面では、獅子は災難の象徴と考えられている蛇と戦い、そして蛇を食べます。次の場面では戦士が獅子と戦います。獅子はここでは災害や病気など様々な災いの象徴なのです。そして、戦士は獅子を倒しますが、獅子はクライマックスで立ち上がり、自分を倒した戦士たちと一緒に踊るのです。最後の場面は、自然は飼いなすことができないので、人間は自然と調和して生きる方法を学ばなければならないことを気づかせてくれます。

少なくとも 18 世紀後半から白川郷で行われている、この百足獅子舞は白川郷特有のものですが、庄川沿いの他の場所で行われる似たような踊りの影響も取り入れています。獅子だけが踊る部分は、白川郷上流に位置する飛驒地域で一般的な獅子舞と似ていますが、戦士が加わることは、現在は富山県と石川県となっている下流の地域で行われている伝統から取り入れられたとも考えられています。また百足獅子舞自体も、村ごとに少し異なります。現在、独自の百足獅子舞を行う村の協会は、全部で 7 つあります。毎年開催されているどぶろく祭りの一環として、白川郷のあちこちで百足獅子舞が踊られる 10 月には、演者たちの素晴らしい才能は高い評価を受けることとなります。

【タイトル】春駒踊り

【想定媒体】WEB

<簡体字>

春駒舞

春駒舞是荻町特有的一种传统演艺形式，融合了戏曲、音乐和舞蹈。舞者装扮成日本人信奉的“七福神”模样，与两名舞妓一同表演神话里各种有关七福神的滑稽片段。演出共包含 6 出剧目，其中一出表演的是繁荣与商业之神“惠比寿”钓海鲷的场景，海鲷是幸运的象征；另一出则演绎农业与财富之神“大黑天”用槌子变出钱币的故事。

荻町的春駒舞最迟在明治时代(1868-1912)起便已出现，顾名思义，它的名字与春季有关。传统阴历二月的第一个“午日”（马日）称“初午”，大约对应阳历的 2 月下旬到 3 月中旬之间，春駒剧团在这天进入村庄，挨家挨户表演他们可招徕好运的演出，祈祷来年富足。早春标志着养蚕季和农耕季的开端，春駒舞则被认为是宣告这一开端的吉祥方式。如今，这一活动仍是荻町年历上的固定节庆项目，只是改到了元旦举行。届时，这支奇异的队伍将穿行在村庄里，拜访每户人家，并喝上几口日本酒。此外，春駒舞也会在每年 10 月的浊酒丰收祭以及婚礼等庆典上表演。

<繁体字>

春駒舞

春駒舞是荻町特有的一種傳統表演形式，融合了戲曲、音樂和舞蹈。舞者要裝扮成日本人所信奉的「七福神」的模樣，與兩名舞妓一同表演神話裡各種有關七福神的滑稽片段。演出共包含 6 齣劇碼，其中一齣表演的是繁榮與商業之神「惠比壽」釣鯛魚的場景，鯛魚象徵著幸運；另一齣則演繹農業與財富之神「大黑天」用槌子變出金幣的故事。

荻町的春駒舞最遲在明治時代（1868-1912）起便已經出現，顧名思義最初源於春季。傳統農曆二月的第一個「午日」（馬日）稱「初午」，大約是西曆的 2 月下旬到 3 月中旬之間，春駒劇團在這天進入村莊，挨家挨戶表演他們可招徠好運的劇目，祈禱來年富足。早春代表著養蠶季和農耕季的開端，春駒舞則被認為是宣告這一開端的吉祥方式。如今，這一活動仍是荻町年曆上的固定節慶項目，只是改到了元旦舉行。屆時，這支奇異的隊伍穿行在村莊裡，拜訪每一戶人家，並都要喝上一點日本酒。此外，春駒舞也會在每年 10 月的濁酒豐收祭以及婚禮等慶典上表演。

<日本語仮訳>

春駒踊り

春駒踊りは、荻町の集落特有の伝統芸能の一つです。演劇、音楽、踊りを組み合わせたこの春駒踊りは、日本で信仰される七福神の衣装を着た演者たちが 2 人の舞妓とともに、幸運の神である七福神に関連する伝説をテーマにした、さまざまなコミカルなパフォーマンスを披露します。春駒踊りは、繁栄と商売の神である恵比寿天が幸運の象徴である鯛を釣る、農業と富の神である大黒天が打出の小槌でお金を出すなどの、6 つの演目で構成されています。

この春駒踊りは、少なくとも明治時代（1868-1912）から荻町で行われており、その名のとおり、もともとは春にちなんでいたようです。伝統的な太陰暦の 2 月の最初の「午（うま）の日」である初午（現在は 2 月下旬～3 月中旬）に、この春駒踊りの一団は村の家から家へと訪れ、1 年の繁栄を祈ってこれらの幸運を呼ぶパフォーマンスを行っていたようです。早春は養蚕と農業の季節の始まりであり、春駒踊りはこれらの始まりを知らせる縁起の良い方法と考えられていました。春駒踊りは今でも荻町の毎年恒例の行事ですが、現在は元旦に行われています。元旦になると風変わりな一団が村の中をパレードし、次々と家を訪れ、すべての家で日本酒を飲んでいきます。また春駒踊りは、10 月のどぶろく祭や結婚式などのお祝いの時にも行われることがあります。

【タイトル】 合掌造りの家

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

合掌造民居

白川乡的传统茅葺民居都属于“合掌造”。所谓“合掌”，即双手合十祈祷的动作，这种民居因大坡度倾斜的三角形屋顶形似合掌而得名。在合掌造民居中，山墙（即建筑两头屋顶下方的三角形墙壁）直面风吹日晒，这种建筑式样是适应本地区独特的环境、气候和产业需求而发展出来的。

白川乡在冬季里时常被大雪覆盖，如此陡峭的屋顶坡度就是为了避免积雪太厚以至损害房屋安全。此外，为了在下雨时尽可能保持墙体干燥，毫无防护的墙体会在山墙端建成略微向外倾斜的样式。山墙墙面上通常开有几扇大窗户，确保多层阁楼通风良好、日光充足。传统上，阁楼多用于养蚕，直到 20 世纪的前数十年里，养蚕缂丝都还是白川乡的一大主要产业。

<繁体字>

合掌造民居

白川鄉的傳統茅葺民居都屬於「合掌造」。所謂「合掌」，指的是雙手合十祈禱的樣子，民居因大坡度傾斜的三角形屋頂形似合掌而得名。在合掌造民居中，山牆（即建築兩頭屋頂下方的三角形牆壁）直面風吹日曬，這種建築形式是為適應當地獨特的環境、氣候和產業需求發展而來。

白川鄉冬季多被大雪覆蓋，這樣陡斜的屋頂坡度，是為了避免積雪太厚損害房屋。此外，為了在下雨時盡可能保持牆體乾燥，毫無防護的牆體在山牆端建成略微向外傾斜的樣式。山牆牆面上通常開有幾扇大窗戶，為多層閣樓提供了充足的採光和良好的通風條件，傳統上，閣樓多用於養蠶，直到 20 世紀前幾十年，養蠶繅絲始終是白川鄉的主要產業之一。

<日本語仮訳>

合掌造りの家

白川郷の伝統的な茅葺き屋根の農家は、「合掌造り」の様式で建てられています。この合掌造りという名前は、急勾配の屋根でできた三角形の形が、両手を合わせて祈っているように見えることに由来しています。この合掌造りの家では、「妻壁」（建物の両側の屋根の端の間の三角形の壁の部分）は、風と日光にさらされたままになります。この様式は、白川郷独自の環境、気候、産業に対応するために生み出されたのです。

屋根の勾配は、白川郷でよく見られる大雪が屋根に積もって家を損傷させるのを防ぎ、また保護されていない妻壁は、雨の時に家をできるだけ乾いた状態に保つためにわずかに外向きの角度で作られています。これらの壁には、通常は日光と空気を多層の屋根裏部屋に取り入れるためのいくつかの大きな窓があります。この屋根裏部屋は、20 世紀の最初の数十年まで、白川郷の主要な産業であった養蚕業に伝統的に使用されていました。

【タイトル】 茅葺き屋根と「結」の心

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

茅葺屋顶与“结”

“合掌造”民居的茅草屋顶会因日晒雨淋而逐渐老朽，必须每 20 年或 30 年定期翻修一次。在白川乡，更换屋顶从来都是一项群体合作的工程，最多时一次可能动员到 200 位村民参与。这种合作精神以严格的互惠为前提，被称为“结”。需要更换屋顶的屋主首先拜访同属一个居民组的近邻。如果房屋小，动员一个居民组即可更换，但如果房屋较大，就需要其他组的村民支援。

在塑料膜还未出现的年代，茅草屋顶必须在一天内更换完毕，如今大多数更换屋顶的工作依然遵循这样的时间安排。主人一家要在天亮前拆除旧茅草，为前来帮忙的“结”成员做好更换屋顶的准备。“结”成员届时会根据各自的技能和经验承担不同的任务，最年长者通常负责监督，年轻的村民则为屋顶上的作业人员递送茅草束，或在工程结束后打扫卫生。屋主一家要在这天为大家提供茶点小吃，并和其他村民一起准备一顿被称为“直会”的宴席，在换顶工程完成后款待所有参与者。

每位“结”成员的具体付出都会被记录在一本被称为“结账”的册子里，从每个人所担任的工作、准备的茅葺材料，乃至为宴席提供的清酒数量，都有案可查。保留记录是为了确保公平性与互惠性，而这正是“结”传统的两大核心价值。现存最古老的“结账”出自 1792 年，由此也可以证明，白川乡互助协力完成茅草屋顶工程的传统已经持续了至少两个世纪以上。如今，更换屋顶的工作一般交由专业人士完成，但村民们为了确保茅葺技艺能够代代传承，依然坚持每年至少在春季或秋季聚集一次，秉持“结”的精神，共同翻新一处屋顶。

<繁体字>

茅葺屋頂與「結」

「合掌造」民居的茅葺屋頂會因日曬雨淋而逐漸老朽，必須每 20 年或 30 年定期翻新一次。在白川鄉，更換屋頂一直都是社區互助合作的工作，最多時一次可能動用到 200 位村民。這種合作精神以嚴謹的互惠為前提，被稱為「結」。需要更換屋頂的屋主首先拜訪屬於同一個居民組的近鄰。如果房子小，一個組即可完成更換工作，但如果房子較大，就需要其他組的村民支援。

在塑膠膜還未出現的時代，茅草屋頂必須在一天內更換完畢，如今大多數更換屋頂的工作依然遵循這樣的時間安排。屋主一家要在天亮前聚集起來拆除舊茅草，為前來幫忙的「結」成員做好更新屋頂的準備。「結」成員會根據各自的技能和經驗承擔不同的任務，最年長者通常負責指導，年輕的村民則為在屋頂上鋪茅草的人遞送茅草束，或在工作結束後清理環境。屋主一家還要在這天為大家提供茶點小吃，並和其他村民一起準備一頓被稱為「直會」的宴席，在茅葺作業完成後招待所有參與者。

每位「結」成員的具體付出都會被記錄在一本被稱為「結帳」的冊子裡，從每個人所擔任的工作、準備的茅葺材料，乃至為宴席提供的清酒數量。保留記錄是為了確保公平性與互惠性，而這正是「結」傳統的兩大核心價值。現存最古老的「結帳」出自 1792 年，由此也可以證明，白川鄉互助協力完成茅葺屋頂更換工作這一傳統已經持續了至少兩個世紀以上。如今，更換屋頂的工作通常交由專業人士完成，但村民們為了確保茅葺技藝能夠一代代傳承下去，依然每年至少會在春季或秋季聚集一次，秉持「結」的精神，共同翻新一處屋頂。

<日本語仮訳>

茅葺き屋根と「結」の心

「合掌造り」の家の茅葺き屋根は天候の影響によって徐々に傷んでくるため、通常は 20～30 年に 1 回、定期的に葺き替える必要があります。白川郷ではこの屋根の葺き替えは伝統的に、一度に最大 200 人の村人が参加する共同作業だったのです。厳格な互惠関係を前提とする、この白川郷の助け合いの精神を「結（ゆい）」と言います。家の所有者は、まずは同じ「組」の隣人に声をかけます。家が小さい場合は、屋根の葺き替えは 1 つの組で行うことができますが、家が大きな場合は、村の他の組からの支援が必要になります。

まだビニールシートが無かった時代には、屋根の葺き替えは 1 日で行う必要があり、現在でもほとんどの屋根の葺き替え作業は、このスケジュールに従って行われています。その家の家族は夜明け前に集まって屋根の古い茅を取り除き、スキルと経験に応じて様々な役割を与えられた、「結」の参加者の到着のために屋根の準備を行います。通常は最年長の人作業を監督し、若い村人は屋根で作業をする人に草の束を渡したり、作業の後片付けを担当します。家主の家族は、日中は軽食を出し、屋根の葺き替えが完了したら、参加者全員が共にする「直会（なおり）」と呼ばれる宴会を村人たちと一緒に用意します。

「結帳」と呼ばれる冊子には、行われた作業や用意された茅葺きの材料、そして宴会に提供された酒瓶の数まで、結のそれぞれの参加者の貢献が記録されています。このような記録の管理は、結の伝統において重要な 2 つの価値である、公平性と互惠性を確保するのに役立つのです。現存する最古の結帳は 1792 年からのもので、この結帳は、白川郷で 2 世紀以上にわたって屋根の茅葺きが共同で行われてきたことの証明になっています。現在は屋根の葺き替えは通常プロによって行われていますが、村人たちは今でも少なくとも年に 1 回、通常は春か秋に集まり、「結」の心

で屋根の葺き替えを行っています。これは、茅葺きの技術が次の世代に確実に受け継がれるようにするために行われているのです。

【タイトル】 白川郷荻町集落の自然環境を守る会

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白川乡荻町集落自然环境保护协会

1995年，荻町村落作为“白川乡·五箇山合掌造集落”的组成部分，被列入联合国教科文组织的世界文化遗产名录。这一认定标志着本地数十年来为保护传统村庄风貌的努力终于结出了硕果。二战以后，高速发展的日本经济对电力的需求越来越大，庄川上修起了好几座水坝。这些项目为白川乡带来了繁荣，却也被视为对本地传统风貌和固有生活方式的威胁。截至1971年，荻町的“合掌造”民居数量便已经减少了一半。

同年，为保护合掌造民居和本地社区，荻町居民自发组建了“白川乡荻町集落自然环境保护协会”。协会制定了准则，禁止买卖、出租或拆除合掌造民居，将民居定位为富有价值的历史及旅游资源。多年的努力终于得到了回报，1976年，荻町被国家指定为“重要传统建筑群保存地区”，20年后又跻身世界遗产名录。荻町的所有居民都是该协会会员，协会每月召开会议，讨论涉及合掌造民居或周遭环境的改造申请。协会的意见直接影响到村政府对申请的批复结果。

<繁体字>

白川郷荻町集落自然環境保護協會

1995年，荻町聚落作為「白川郷・五箇山合掌造集落」的組成部分，被列入聯合國教科文組織的世界文化遺產名錄。這一認定代表著當地數十年來為保護傳統村莊風貌的努力終於有了結果。二戰以後，高速發展的日本經濟對電力的需求越來越大，庄川上修起了好幾座水壩。這些項目為白川郷帶來了繁榮，卻也被視為對當地風貌和固有生活方式的威脅。到1971年為止，荻町的「合掌造」民居數量已經減少了一半。

同年，為保護合掌造民居和本地社群，荻町居民自發組建了「白川郷荻町集落自然環境保護協會」。協會制定了禁止買賣、出租或拆除合掌造民居的準則，並將其定位為富有歷史價值及旅遊資源。多年的努力得到了回報，荻町在1976年被國家指定為「重要傳統建築群保存地區」，20年後終於躋身世界遺產之列。荻町的所有居民都是該協會成員，協會每月召開會議，討論有關合掌造民居或周遭環境的改造申請。協會的意見直接影響到村政府對這些申請的批准結果。

<日本語仮訳>

白川郷荻町集落の自然環境を守る会

荻町の集落は 1995 年に、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」の一部として、ユネスコ世界文化遺産に登録されました。この決定は、村の伝統的な特徴を保存しようという数十年にわたる地元の努力の成果でした。第二次世界大戦後、急速に成長する日本経済に力を与えるため電力がより多く必要となり、庄川に複数のダムが建設されました。これらの事業により白川郷は経済的に豊かになったものの、それは地元の風景とこれまで続けてきた生活様式への脅威とも思われました。1971 年までに、荻町の「合掌造り」の家が半分にまで減ってしまいました。

同年、荻町の住民は、合掌造りの家と地元社会を守るために白川郷荻町集落の自然環境を守る会を発足させました。同会は、価値ある歴史的観光資源である合掌造りの家を売らない、貸さない、壊さないのガイドラインを定めました。これらの努力が実を結び、まず 1976 年には荻町が「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、その 20 年後には世界遺産に登録されました。荻町の全住民が同会に入っており、毎月会議を行って、合掌造りの家やその周辺への変更申請を検討しています。この会の意見は、申請の承認あるいは却下を決める自治体の決定に影響を与えています。

【タイトル】合掌造りの家の構造

【想定媒体】WEB

<簡体字>

合掌造民居的建筑结构

典型的“合掌造”民居主要由两大空间组成：一楼是生活起居区域；上面则为多层阁楼区域，传统上，阁楼一般用于养蚕，阁楼屋顶呈三角形，两侧屋顶面倾斜角度很大。一楼建筑的主要承重结构由一根平行于屋脊的中央大梁和一根位于建筑中心的粗大立柱组成。此外，另有多根横梁，平行架在墙柱上，与中央大梁垂直相交。这是日本传统农舍建筑的典型构造，室内无需设置更多立柱，可尽量增加生活空间。

合掌造民居的屋顶不需要使用钉子，是庄川流域独有的建筑形式。屋顶的三角形框架由粗大的原木架成，原木两根一组嵌入一楼天花板横梁上的槽口，构成了三角形的底部。这些原木支撑着由房梁和较细的椽木所组成的网状屋顶结构，梁木之间仅以草绳和金缕梅嫩枝制作的捆索“ネソ”（Neso；合掌造民居中用于绑缚梁、柱的细枝）固定。捆索必须使用新鲜枝条，这样，它们打成的结才会随着枝条逐渐干燥而进一步收紧。合掌造民居的茅草屋顶通常每隔20年到30年便需要更新一次，届时草绳和捆索也要一并更换。

不过，这种独特的屋顶构造也有弱点，它对于因大风或地震造成的横向晃动的抗力比较薄弱。为了解决这个问题，屋顶额外设计了用以对抗横向作用力的斜梁。此外，为了对抗通常从南方或北方吹过庄川流域的强风，白川乡内绝大多数合掌造民居的山墙都为南北朝向。

<繁体字>

合掌造民居的建築結構

典型的「合掌造」民居主要由兩大空間組成：一樓是生活居住區域；上面為多層閣樓區域。傳統上，閣樓一般用於養蠶，上方屋頂呈三角形，兩側屋面傾斜角度很大。一樓建築的主要承重結構由一根平行於屋脊的中央大樑與一根位於建築中心的粗大立柱組成。此外，另有多根被架在牆柱上的橫樑垂直橫跨中央大樑。這是日本傳統農舍建築的典型構造，室內無需設置更多立柱，盡可能擴大生活空間。

完全無需使用釘子的合掌造民居的屋頂，是庄川流域地區獨有的建築形式。屋頂三角形框架由粗大原木架成。原木兩根一組嵌入一樓天花板橫樑上的槽口中，構成三角形的底

部。這些原木支撐著由房樑和較細的椽木組成的網狀屋頂結構，樑木之間僅以草繩和金縷梅嫩枝製作的「ネソ」（Neso；合掌造民居中用於綁縛樑、柱的細枝）固定。使用新鮮枝條製作捆綁物是關鍵所在，因為嫩枝打成的結會隨著枝條的逐漸乾燥而進一步收緊。合掌造民居的茅葺屋頂通常每隔 20 到 30 年便需要更新一次，屆時草繩和捆綁物也要一併更換。

不過這種獨特的屋頂構造也有弱點，對於因大風或地震造成的橫向晃動抗力比較薄弱。為了解決這個問題，屋頂額外設計了用以對抗橫向作用力的斜樑。此外，為了對抗通常從南面或北面吹過庄川流域的強風，白川鄉絕大多數合掌造民居的山牆為南北朝向。

<日本語仮訳>

合掌造りの家の構造

典型的な「合掌造り」の家は、2 つのはっきり区別されたスペースからなります。その家の住人が暮らす 1 階と、その上にある多層構造の屋根裏で、ここは伝統的に養蚕に利用され、急勾配の三角屋根で覆われています。1 階の構造は、屋根の棟と並行に走る大きな中央の梁が、建物の中央にある太い柱に取り付けられて構造を支えています。この中央の梁に直角に、壁の柱に支えられた追加の梁があります。この基本的な構造は、居住スペースを減らす形で部屋の中に柱を立てる必要のないもので、日本の伝統的な農家建築に典型的なものです。

それに対して合掌造りの屋根の構造は、庄川流域特有のもので、全く釘を使わずに作られています。屋根の三角形はその枠となっている太い丸太で作られており、丸太のそれぞれのペアは 1 階上部に設置され三角の下部を構成する水平の梁に掘られた溝に立っています。これらの丸太が、藁の縄やマンサクの若木でできた締め具（ネソ）で結び合わされた屋根の梁や細い垂木のネットワークを支えています。新鮮なネソを使うことが重要です。なぜなら、そうすれば結び目が素材の乾燥と共に固く縛られることになるからです。縄とネソは、20 年から 30 年ごとに屋根を葺き替える時に交換されます。

合掌造りの家の特徴的な屋根の構造のため、合掌造りの家屋はこのままでは風や地震などによる水平方向の振動に弱いです。この弱点に対応するため、合掌造りの屋根には水平方向の圧力に備えるため追加で斜め方向にも梁が渡されています。加えて、白川郷のほとんどの合掌造りの家は、妻壁が北と南に面して建てられています。これは庄川流域に大抵北か南から吹いてくる強風に備えるためでもあります。

【タイトル】礎石の構築（石場力子）

【想定媒体】WEB

<簡体字>

修筑石头地基（石場力子）

典型的“合掌造”民居的地基构造简单，通常只需利用传统的人力打桩机将大石头打入地下即可完成。这种装置需要数十人协作，操作时，所有人合力拉绳，拽起充当锤子的巨大木桩，然后一起松开，让木桩砸在石块上。完成一栋房屋的地基，需要对每一块基石重复数次这样的工作。本地将这种地基打桩的方式称为“石場力子”(Ishiba-kachi)，从前，它往往需要集合全村之力共同完成。每一次“石場力子”都是一项重要活动，在修筑地基的过程中，村民们会齐声唱歌喊号子，借以保持动作一致。这种合作精神在白川乡被称为“结”，它以严格的互惠性为前提。时至今日，当某座合掌造民居需要更换茅草屋顶时，“结”之精神同样会再度发挥作用。直到 20 世纪 60 年代早期，本地居民都是采用这种打桩筑石的传统方式修筑地基，但此后因为不再新建合掌造民居，这种传统也随之消失。

<繁体字>

修築石頭地基（石場力子）

典型的「合掌造」民居的地基構造簡單，通常只需利用傳統的人力打樁機將大石頭打入地下即可完成。這種裝置需要數十名人員協作，所有人合力拉繩，拉起充當錘子使用的巨大木樁，然後一起鬆開，讓木樁砸在石塊上。完成一棟房屋的地基，需要對每一塊基石重複數次這樣的動作。當地將這種修築地基的方式稱為「石場力子」（Ishiba-kachi），從前往往往需要集合全村之力共同完成。每一次「石場力子」都是重要活動，打造地基的過程中，村民們會齊聲唱歌喊口號，藉以保持動作一致。這種合作精神在白川鄉被稱為「結」，並以嚴格的互惠性為前提。時至今日，當某座合掌造民居需要更換屋頂重新茅葺時，互助合作的「結」依然存在。直到 1960 年代早期，當地居民都是採用這種打樁築石的傳統方式修築地基，但此後因為再也沒有新建合掌造民居，所以這種打樁築石的方式也不再延續。

<日本語仮訳>

礎石の構築（石場力子）

典型的な「合掌造り」の家は、伝統的な人力の杭打ち機を使って大きな石を地面に打ち込んで作るシンプルな基礎の上に建っています。このような機器を動かすには、重りとして機能する巨大な丸太を引き上げるロープを引くために数十人の人出が必要です。引き手たちが同時にロープを離すことで丸太がターゲットに落ちます。このプロセスが基礎を構成するそれぞれの石で複数回繰り返されます。地元では「石場カチ」と呼ばれるこの基礎作り作業には、昔は村人総出で参加する共同作業でした。石場カチのそれぞれの過程はちょっとした行事で、その間村人たちは動きを合わせるために歌を歌います。このような厳格な互恵関係を基礎とする協力精神は、白川郷では「結」と呼ばれ、今でも合掌造りの家の屋根の葺き替えが必要な時などに発揮されています。石場カチは1960年代初期までは伝統的な形で実践されていましたが、新たに合掌造りの家が作られることがなくなったために途絶えてしまいました。

【タイトル】 大家族

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**大家庭**

论及白川乡的经济与社会史，可以简单概括为本地居民如何适应在耕地缺乏的环境中求生存的历史。通常，日本家族里除了家业继承人（通常是长子）之外的子孙都会搬出去，另行组建自己的新家。但在该地区的部分区域，特别是北部和南部区域，情况却有所不同。在这里，由于耕地不足，整个大家庭往往同住一个屋檐之下，耕种同一片田地。自江户时代(1603-1867)中期到明治时代(1868-1912)，蚕丝业一直是白川乡居民赖以谋生的主业，进而促进大家族共居一处的生活方式逐渐系统化，并得以不断发展。养蚕是劳动密集型产业，因此，一家之主往往希望将子女乃至孙辈都留在家中，共同劳作。

典型的大家庭由一名大家长统领，他通常与妻子以及包括家业继承人一家在内的所有子女住在一起。女儿们结婚后依然留在家中，丈夫定期上门拜访。同样，没有继承权的儿子们也住在家里，婚后只是定期上门去见他们居住在同村娘家的妻子。这一制度的建立是以必要性而非强制性为基础，其中依然容许存在一定限度的个人自由。大家庭中的每一个小家庭每周都能够拥有一天的自由时间，在这一天里，他们可以从日常事务中抽身出来，或夫妻子女相伴共处，或照料一下分给自家的小片田地。大家长会买下他们种出的粮食作物，让小家庭也能有一些属于自己的收入。

在南部的御母衣村里，远山家族在明治时代曾有过最多 48 名成员共居一屋的时候。他们的宅邸“旧远山家”如今是一座民俗资料馆，参观者可以在馆内了解白川乡的历史和本地村民的传统生活方式。随着养蚕技术和方法的进步，对家庭劳动力的需求日益减少，及至 20 世纪 30 年代，大家族的生活方式便已基本消失。

番号 NO : 005-017

<繁体字>**大家庭**

白川鄉的經濟與社會史，大致可以概括為當地居民如何適應在耕地缺乏的環境中求以生存的歷史。一般除了家業繼承人（通常是長子）以外的子孫，都會搬出去另建自己的家庭，但該地區的一部分，特別是北部和南部區域卻不同。這裡由於耕地不足，整個大家庭

往往同住一個屋簷之下，耕種同一片田地。自江戶時代（1603-1867）中期直至明治時代（1868-1912），蠶絲業都是白川鄉居民賴以謀生的主業，大家族共居一處的方式因而得以系統化並不斷發展。養蠶是勞動密集型產業，因此，一家之主往往希望將子女乃至孫輩都留在家中齊力合作。

典型的大家庭由一名大家長統領，他通常與妻子以及所有子女住在一起，其中包括家業繼承人一家。女兒們結婚後依然留在家中，丈夫定期上門拜訪。同樣，沒有繼承權的兒子們也住在家裡，婚後只是定期上門去見他們同村另居的妻子。這一制度的建立以必要性而非強制性為基礎，其中依然容許存在一定限度的個人自由。組成大家庭的每一個小家庭每週都有一天的自由時間，這天他們可以從日常事務中抽身出來，或夫妻子女相伴共處，或是照料一下分給自家的那一小片田地。大家長會買下他們種出的糧食作物，讓小家庭也能有一些屬於自己的收入。

在南部的御母衣村裡，遠山家在明治時代曾有過最多 48 名成員共居一處的時候。他們的宅邸「舊遠山家」如今是一座民俗資料館，遊客可以在館中瞭解白川鄉的歷史和當地村民的傳統生活方式。只是隨著養蠶技術和方法的進步，對家庭勞動力的需求減少，到 1930 年代時，大家族的生活方式基本上已經消失了。

<日本語仮訳>

大家族

白川郷の経済・社会的歴史は、主に地元住民が利用可能な耕作地の欠如に適応してきた歴史です。同地域の一部、特に北部と南部では、耕作地の不足は、他の場所では通例だったように後継者（普通は長男）以外の子どもが家を出て自分の家族を始めるのではなく、大家族が皆同じ屋根の下で暮らし、同じ畑を耕すことを意味しました。大家族が同じ家で暮らす習慣は、白川郷の人々が養蚕を主な生業とした江戸時代（1603-1837）中頃から明治時代（1868-1912）に組織化されますますます発展しました。養蚕には労働力が必要だったので、家族の長たちは子どもや孫たちを働かせるために家に留めようとしていました。

一般的な大家族は、妻と暮らす家父長、後継者とその家族、そして他の子どもたちです。娘たちは結婚しても家に残り、夫が定期的に訪問する形を取り、同様に、相続権を持たない息子たちも村の他の場所にいる妻を訪問しました。このシステムは強制というより必要に迫られて作られたもので、そこには一定の個人の自由もありました。週に 1 日、大家族の中の核家族は普段の義務を免れ、自分たちの時間を持つことが許されていました。そのような日には、夫と妻とその子どもたちは一緒に時間を過ごしたり、自分たちだけの小さな畑で仕事をすることができました。彼らの生産した作物は家父長が購入し、これが核家族の個人的な収入になりました。

南部の御母衣集落では、明治時代のある時点で遠山家の最大 48 名の家族が一緒に暮らしていました。彼らの住居であった旧遠山家住宅は、今は民俗資料館になっており、観光客は、白

川郷の歴史や、1930 年代までに養蚕技術の発展により家族の労働力の必要性が減少してほとんど消滅してしまった村人の伝統的な地域社会での生活スタイルについて、もっとよく学ぶことができます。

【タイトル】 茅葺きの材料

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

茅葺の材料

在白川乡，传统上用来铺设“合掌造”民居屋顶的是被一种称为“青茅”的芒草，它们通常被种植在庄川流域沿岸阳光充足、土壤条件适宜的山头及高坡上。每个家庭都有自家的青茅地，夏季耕种，在雪季到来前的 10 月下旬到 11 月底之间收割。采收工作必须赶在第一场雪降下之前完成，劳动强度非常大。每个茅草屋顶平均需要大约一万束芒草，但一个有经验的人每天也只能割 60 到 100 束。割下来的青茅首先需要晒干，然后捆扎成圆柱状干草垛，存放在山坡上。需要铺设屋顶时，再把干草垛拆开并扎成捆后推下山去。如果地面还有雪，也可以串成一个巨大的“雪橇”，由一名村民拖着滑下山。

现在，种植茅葺用芒草的土地通常都可通汽车，所以芒草收割完后就在村里晒干，干草则存放在棚屋里。青茅本身已经成为稀缺的资源，目前基本被另一品种的“芒”所取代，它们同为芒属，但后者生长更快，更常见。自 20 世纪 70 年代以来，当地人口不断减少，传统芒草种植地难以为继，如今白川乡使用的芒大多产自静冈县境内的富士山周边地区。青茅茎干中空，而芒的茎干内却有着独特的厚绒毛，因此，雨雪过后，使用芒铺设的茅草屋顶需要更长时间才能晾干，这也决定了它劣化得更快，每隔 20 到 30 年就必须更换一次。相比之下，青茅屋顶的使用寿命要长出数十年之多。

<繁体字>

茅葺的材料

在白川鄉，傳統上用來鋪設「合掌造」民居屋頂的是一種被稱為「青茅」的芒草，通常被種植在庄川流域沿岸陽光充足、土壤條件適宜的山頭高坡上。每個家庭都有屬於自己的土地，夏季耕種，通常在雪季到來前的 10 月下旬到 11 月底之間收割，採收工作必須趕在第一場雪降下之前完成，勞動強度非常大。每個茅葺屋頂需要用到大約一萬束芒草，但一個有經驗的人每天卻只能割 60 到 100 束。割下來的青茅首先需要曬乾，然後捆紮成圓柱狀乾草垛存放在山坡上。需要鋪設屋頂時，再把乾草垛拆開紮成捆推下山去，如果地面還有雪，也可以串成一個巨大的「雪橇」，由一位村民拖著滑下山。

現在、茅葺用の芒草地一般汽車都可以到達，所以收割後的芒草在村裡曬乾，乾草則存放在棚屋裡。青茅本身已經成為稀少的資源，被同為芒屬，且生長更快、更常見的品種「芒」所替代。自 1970 年代以來，當地人口不斷減少，傳統的採草種植地難以為繼，如今，白川鄉使用的芒大多來自靜岡縣境內的富士山周邊地區。由於桿內有著獨特厚絨毛的芒替代了莖桿中空的青茅，雨雪過後，茅草屋頂需要更長的時間才能晾乾。因此，用芒鋪設的屋頂劣化得更快，每隔 20 到 30 年就必須更換一次。相比之下，青茅屋頂的使用壽命要多出數十年。

<日本語仮訳>

茅葺きの材料

かつて白川郷の大部分で「合掌造り」の家の茅葺き材として使用されていたのは、伝統的に「カリヤス」と呼ばれるススキ属の一種でした。カリヤスは、大抵、標高が高く日射量が豊富で土壌も適している、庄川流域の丘陵地帯で栽培されていました。各家庭専用の畑があり、夏の間カリヤスを育てて雪の季節が来る前の 10 月下旬から 11 月末までの間に刈り取っていました。初雪が降る前に刈り取りを完了する必要があり、多くの人手が必要でした。というのも慣れた人なら 1 日で 60～100 束を刈り取るのも可能でしたが、平均的な屋根を茅葺きするにはおよそ 1 万束が必要だったからです。刈り取ったカリヤスはまず乾燥させてから、巨大な円錐状に積み上げて丘陵地帯で保管していました。茅葺屋根を葺き替える必要が出ると、ニューを解体して使っていました。乾いたカリヤスの束を結ぶと、山腹から押して下に転がすか、地面に雪が残っている間は村人が巨大なそりのように「運転して」谷底まで滑らせて移動していました。

現在では、茅葺きに使うススキは車で行ける範囲にある畑でしか栽培されておらず、集落の中で乾燥させています。乾燥済みの草は小屋に入れて保管されています。カリヤスという草自体が入手困難となり、同じススキ属の「ススキ」という成長が速くもっと一般的な品種に取って代わられました。1970 年代以降の人口減少により、昔ながらの採草地の維持は困難となり、現在白川郷で使用されているススキの多くは静岡県の富士山付近で栽培されています。カリヤスは茎の中が空洞ですが、その代わりに茎の内部が濃い綿毛で覆われているススキが使われるようになったため、茅葺屋根に雨や雪が降ってから乾燥するまでの時間が長くなってしまいました。それゆえ、ススキを使用した茅葺屋根の劣化は比較的早くなり、20～30 年ごとに葺き替えなければなりません。それに対しカリヤスを使った茅葺屋根ならこれより数十年も長持ちすることがあります。

【タイトル】 焰硝の生産

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

火硝生产

火硝（硝酸钾）制造向来就是白川乡的一大传统支柱产业。火硝生产技术来自邻近的五箇山，那里的火硝制造业在 1543 年引进欧洲火枪后便开始急剧增长。

白川乡的村民会在“合掌造”民居一楼的“围炉里”（用以烹饪和取暖的地炉）旁挖掘一个 2 米左右的深坑，用于制造火硝。坑内填满稻草、泥土、艾草、蚕粪等原料，放置三到四年，等待它们发酵。在这期间，由于细菌的硝化作用，泥土中会生成硝酸钙。村民们把发酵后的泥土卖给被称为“上煮屋”的精炼厂，白川乡共有 3 家这样拥有正规生产许可的工厂。工厂将泥土与水混合，加热浓缩，提炼出液态的硝酸钾。之后，再通过过滤、蒸馏浓缩、冷却等工序，最终将液态硝酸钾加工为硝酸钾结晶。

精炼厂将硝酸钾晶体卖给周边各藩和相关商人，销售范围远至大阪。白川乡的火硝生产一度十分繁荣，但在进入明治时代(1868-1912)后，受到来自智利的廉价替代品冲击，本地产业逐步走向衰落。

<繁体字>

火硝生產

製造火硝（硝酸鉀），向來就是白川鄉的一大傳統主要產業。火硝生產技術來自鄰近的五箇山，該地區的這項產業自 1543 年引入歐洲火槍之後急劇發展起來。

白川鄉的村民在「合掌造」民居一樓的「圍爐裏」（用以烹飪和取暖的地爐）旁挖掘一個約 2 公尺的深坑，用於製造火硝。坑內填滿了包括稻草、泥土、艾草、蠶糞等原料，放置三到四年等待它們發酵。在這期間，由於細菌的硝化作用，泥土中會生成硝酸鈣。村民們把經過發酵的泥土出售給被稱為「上煮屋」的精煉廠，白川鄉共有 3 家這樣擁有正規生產許可的工廠。工廠將泥土與水混合，加熱濃縮，提煉出液態的硝酸鉀。隨後再對這些液體進行過濾、蒸餾濃縮、冷卻，最終加工出硝酸鉀結晶。

精煉廠將硝酸鉀晶體賣給周邊各藩和相關商人，銷售範圍遠至大阪。白川鄉的火硝生產一度十分繁榮，但在進入明治時代（1868-1912）後，因來自智利的廉價替代品，當地產業逐步走向沒落。

<日本語仮訳>

焰硝の生産

かつて白川郷の主要産業の1つは、焰硝（硝酸カリウム）の生産でした。焰硝の製造に必要な技術は近隣の五箇山から伝わりました。五箇山では1543年にヨーロッパから火縄銃が伝来して以来、焰硝の製造業が急激に発展していました。

村人たちは「合掌造り」の家の囲炉裏（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）の下に、深さ最大2メートルの穴を掘ってそこで焰硝を作っていました。穴の中には、ワラ・土・ヨモギ・蚕糞などの材料を混ぜたものを溜めて放置しておき、3～4年間発酵させていました。時間が経つにつれて、バクテリアの硝化作用により硝酸カルシウムを含んだ土壌が出来上がります。こうして出来た土壌は、白川郷に3カ所あった認可を受けた「上煮屋」に売られます。上煮屋では土壌を水と混ぜ、加熱して濃縮し、液体の硝酸カリウムに精製していました。それから液体を濾過し煮詰めて濃縮してから冷ますと、焰硝の結晶が出来上がりました。

上煮屋では、遠くは大阪まで様々な藩や商人たちに焰硝を販売していました。焰硝の製造業は、明治時代（1868-1912）に安価な代替品がチリから輸入されるまで栄えましたが、その後はこの地方での生産量は減少していきました。

【タイトル】 白川郷の養蚕

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白川乡的蚕丝产业

白川乡的蚕丝产业最晚出现于 18 世纪，到 19 世纪下半叶时便已发展成为该地区的主要产业，这也是本地开始大规模建造“合掌造”民居的时期。这种民居有着独特的三角形屋顶，屋顶斜面坡度很大。合掌造民居之所以能够得以普及，很大一部分原因就在于，它们非常适合桑蚕养殖。在典型的合掌造民居的大斜面屋顶下，是宽敞的多层阁楼。山墙端的多扇窗户有利于采光和空气流通，使得阁楼成为一处光照与通风俱佳的空间。与此同时，一楼“围炉里”（用以烹饪和取暖的地炉）源源不断地产生出热量与煤烟，透过被叫做“簀子”的格子天花板向上传递，确保阁楼内既干燥又温暖。对于害怕寒冷与潮湿的桑蚕而言，合掌造民居的复式阁楼无疑是它们的理想居所。

从江户时代(1603-1867)晚期直至 20 世纪最初的数十年期间，白川乡始终是首屈一指的高品质生丝产区。这应当归功于当地合宜的民居建筑形式、充足的劳动力，以及在山坡上种植桑树以确保桑蚕食物供应的技术。

<繁体字>

白川鄉的蠶絲產業

白川鄉的蠶絲產業最晚出現於 18 世紀，19 世紀下半葉時已經發展成為該地區的主要產業，這也是當地開始大規模建造「合掌造」民居的時期。這種民居有著獨特的三角形屋頂，屋頂斜面坡度很大。合掌造民居能夠普及，很大一部分原因就在於房屋構造非常適合桑蠶養殖。典型的合掌造民居的斜面屋頂下，有著寬敞的多層閣樓空間。山牆端的多扇窗戶有利於採光和空氣流通，使得閣樓成為了一處光照與通風俱佳的空間。與此同時，一樓「圍爐裏」（用以烹飪和取暖的地爐）的熱量與煤煙透過被叫做「簀子」的格子天花板向上传遞，確保了閣樓的乾燥溫暖。對於既怕寒冷又怕潮濕的桑蠶而言，合掌造民居的複式閣樓便無疑是它們最理想的居所。

從江戶時代（1603-1867）晚期直至 20 世紀最初的幾十年裡，白川鄉之所以能成為高品質生絲首屈一指的產區，應當歸功於當地合宜的民居建築形式、充足的勞動力，以及在山坡上種植桑樹以確保桑蠶食物供應的技術。

<日本語仮訳>

白川郷の養蚕

養蚕は遅くとも 18 世紀までには白川郷で始まっており、19 世紀後半には地元の主要産業となりました。この地域の特徴である、急勾配の三角形の屋根を備える「合掌造り」の家が多く建てられるようになったのもこの時期でした。実際、合掌造りの家屋が流行った主な理由は、養蚕に適していたからです。典型的な合掌造りの家には、傾斜した屋根の下に広い屋根裏部屋があり、そこは複数の層に分かれています。妻壁にある窓から日光と空気が入るので、屋根裏部屋は明るく換気の良い空間となります。さらに「囲炉裏」（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）から「糞の子」と呼ばれる格子天井を伝わって上昇してくる熱と煙により、暖かく乾燥した状態に保たれます。こうした要因が合わさって、屋根裏部屋は寒さと湿気に敏感な蚕を育てるのに理想的な場所でした。

白川郷は、合掌造りの家・蚕の餌となる桑を近くの傾斜地で栽培できたこと・十分な労働力が確保できたという要因が重なり、江戸時代（1603-1867）後期から 20 世紀初頭の数十年までの間、周辺地域の中でも指折りの高品質な生糸を生産する地域となりました。

【タイトル】 雪と白川郷

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

雪与白川乡

白川乡位于白山脚下的庄川流域。白山海拔 2702 米，地处内陆，距日本海大约 50 公里。每年冬天，来自日本海的水汽不断与白山碰撞，在本地区上空大量凝结，形成降雪。因此，每年 11 月下旬到 3 月期间，庄川流域的降雪量都非常大。而白川乡居民的生活方式也体现出对本地多雪气候的适应。其中，最著名的就是本地传统建筑“合掌造”民居的茅葺屋顶，它被设计成人字形，其初衷就是为了防范因积雪过厚或融水滴入屋内导致房屋受损。不过，单凭陡斜的屋顶设计依然无法彻底解决积雪问题，大部分人家每个冬天至少要爬上屋顶一次，手工铲除积雪。“雪围”是本地另一项应对积雪的房屋保护措施，即沿着屋顶下方围绕房屋所修建的栅栏，它可以防止屋顶滑落的积雪堆积后压垮房屋墙壁。

白川乡过去偶尔会出现因大雪封山而与世隔绝的情况，但如今全年可保道路畅行无阻。每年 1 月和 2 月间，许多游客前往荻町村，欣赏冬日美景。届时，每周日晚上都会举行冬季点灯活动。

<繁体字>

雪與白川鄉

白川鄉位於白山腳下的庄川流域，海拔 2702 公尺的白山，地處內陸，距日本海約 50 公里。每年冬天，日本海的潮濕空氣不斷碰撞高山後在上空大量凝結，所以從 11 月下旬到 3 月這段期間，庄川流域的降雪量十分大。而白川鄉居民的生活方式早就適應了多雪的氣候，其中最著名的就是當地傳統建築「合掌造」民居的茅葺屋頂，這種大坡度傾斜的屋頂，最初就是為了防範因積雪太厚或融水滴入屋內導致房屋受損。但即便如此，單憑屋頂設計依然無法徹底解決積雪問題，大部分人家每個冬天至少必須爬上屋頂一次剷除積雪。當地另一項應對積雪保護房屋的措施，是沿著屋頂下方圍繞房屋修建一種被稱為「雪圍」的柵欄，它可以防止屋頂滑落的積雪堆積在地面壓垮屋牆。

白川鄉過去偶爾會有大雪封山以至與世隔絕的時候，但如今道路全年皆可暢行無阻。每年 1 月和 2 月間，許多遊客都會前往荻町古村，欣賞冬日美景。這個時期，每週日晚上都有冬季點燈活動。

<日本語仮訳>

雪と白川郷

白川郷は庄川流域、日本海から約 50 km内陸にある白山（標高 2,702m）の麓にあります。毎年冬になると、海（日本海）からの湿った空気が山（白山）に何度もぶつかるようになり、11 月下旬から 3 月にかけて庄川流域にはたくさんの雪が降ります。白川郷の住民は昔から、大雪の降る天候に順応して暮らしてきました。非常に有名な話として、この地域の伝統的な「合掌造り」の家の茅葺き屋根が急勾配になったもとの理由は、屋根に積もった雪やそれが解けた水が滴り落ちることによる損傷を防ぐためでした。しかし、屋根を急勾配にしても雪の付着を完全に防ぐことはできず、ほとんどの住民が少なくとも毎年冬に一度は雪下ろしするために屋根に上る必要があります。雪の重みから家屋を守るために地元で取られているもう一つの対策として、屋根の端の下の壁の側面に沿ってフェンスを設置するやり方があります。雪囲いと呼ばれるこういったフェンスを設置すると、屋根から落ちて地面に積もった雪で、家の壁が押しつぶされるのを防ぐ効果があります。

白川郷は、かつては雪が山道を塞いで外界から遮断されることもありましたが、今では年中いつでも簡単に出入りできるようになりました。1 月と 2 月には、日曜の夜にライトアップが行われる荻町集落の冬景色を鑑賞するためたくさんの観光客がやってきます。

【タイトル】 白山国立公園

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白山国立公園

白山国立公園以海拔 2702 米的白山为中心，横跨岐阜、福井、富山、石川 4 县，是联合国教科文组织认定的生物圈保护区。白山是一座活火山，最后一次喷发是在 1659 年。它自古就被奉为宗教崇拜的对象，与富士山和位于富山县的立山（又称“馆山”）一同被视为日本三大灵峰。从国立公園在白川乡的一侧可攀登白山。通往顶峰的山道被称为“平瀬道”，起点位于大白川水坝，水坝在整个夏季直至秋季的 10 月下旬以前都可驱车前往。登山道沿途需穿越一片天然山毛榉及橡树林，翻越临近的大仓山，最终抵达白山山顶，全程大约需要 4 个小时。

大白川水坝旁是翡翠般碧绿的白水湖，游客可选择一间湖畔小屋歇歇脚，或是在旁边的露营地里过夜。这里的风景吸引了无数观光者前来，尤以初夏时节和 10 月金秋的红叶季为甚，来访者还可以在大白川露天温泉浴场里一边享受温泉，一边欣赏风景。沿公路向白川乡方向下山，几分钟路程开外便是白水瀑布，瀑布悬挂在一壁断崖上，垂直跌落 72 米后汇入大白川。在“合掌造”传统民居声名鹊起之前，此处瀑布就是白川乡最重要的旅游景点。

<繁体字>

白山國立公園

白山國立公園以海拔 2702 公尺的白山為中心，橫跨岐阜、福井、富山、石川 4 縣，是聯合國教科文組織認定的生物圈保護區。白山是一座活火山，最後一次噴發是在 1659 年。白山自古就被奉為宗教崇拜的聖地，與富士山和位於富山縣的立山（又稱「館山」）一同被視為日本三大靈峰。從國立公園在白川鄉的一側可攀登白山。通往頂峰的山道被稱為「平瀬道」，起點位於大白川水壩，水壩在整個夏季直至秋季的 10 月下旬以前都可驅車前往。登山道沿途需穿越一片天然山毛櫸及橡樹林，翻越臨近的大倉山，最終抵達白山山頂，全程大約需要 4 個小時。

大白川水壩旁是翡翠般碧綠的白水湖，遊客可在湖畔的小屋裡選擇一間歇歇腳，或是在旁邊的露營地過夜。這裡的風景吸引了無數觀光客前來，人潮尤以初夏時節和 10 月金秋的紅葉季為盛，人們還可以在大白川露天溫泉浴場裡享受這處風光。沿公路向白川鄉方向

下山，幾分鐘路程開外便是白水瀑布，瀑布懸掛在一壁斷崖上，垂直跌落 72 公尺，匯入大白川。在「合掌造」傳統民居聲名鵲起之前，這處瀑布就是白川鄉最重要的旅遊景點。

<日本語仮訳>

白山国立公園

白山国立公園は、2702 メートルの白山（はくさん）を中心として、岐阜、福井、富山、石川の 4 県にまたがって広がっており、ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）に認定されています。白山は、1659 年に最後に噴火した活火山であり、大昔から宗教的な信仰の対象となってきました。富士山、富山県の立山と共に、日本の三大霊峰のひとつとされています。白山は、白山国立公園の白川郷側から登ることができます。頂上への登山道は、「平瀬道」として知られており、大白川ダムから始まります。ダムには夏中、および秋の 10 月下旬まで、車で行くことができます。平瀬道は、途中、ブナやナラの自然林を通り、隣接する大倉山を越えて、頂上へと続きます。頂上には、約 4 時間で到着可能です。

大白川ダムの隣にあるのは、エメラルドグリーンの白水湖です。来訪者は、湖畔のロッジのひとつで休憩するか、隣接するキャンプ場で宿泊することができます。その風景は、特に初夏や 10 月の秋の紅葉シーズン間にファンを引き付けていますが、大白川露天風呂からも見るすることができます。白川郷に向かって道を数分下ったところには、白水の滝があります。白水の滝では、水が崖を 72 メートルの高さから大白川へと流れ落ちていきます。この滝は、白川郷が伝統的な「合掌造り」の農家で有名になる前には、この地域の主要な観光名所でした。

【タイトル】 白山：靈峰

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白山：一座灵峰

白山与富士山及位于富山县的立山（又称“馆山”）一起，被视为日本三大灵峰。从史前时代至今，它一直是人们尊崇礼拜的对象。这座海拔 2702 米的火山在过去的若干个世纪里多次喷发，最近的一次发生在 1659 年。它那不可预知的能量贯穿整个历史，激发了本地居民的敬畏与崇敬之心。这座山峰也是本地人用水、食物和其他生存必需品的来源。据推测，以白山为对象的有组织性的崇拜始于公元 8 世纪，当时，佛教的苦行者选择了这座高山作为修行地。这些信徒不但攀登峰顶，还常常长时间留在山中修行，借以锤炼自己的精神与信念。

随着时间的推移，苦行僧的信仰传遍白山四周的村庄，各村内相继建起远距离崇拜山峰神灵的圣地。这类“白山神社”在岐阜、石川和福井等邻近各县最为普遍，就连北到秋田、南至福冈的日本海沿岸地区也为数不少。沿海地区的分布可能源自于海员对白山信仰的传播。对于出海者来说，山峰是一个重要的地标，通常能在暴风雨和险恶的水流情况中为航行指明方向。

在白川乡，白山信仰最迟自中世纪起就已经成为本地宗教信仰活动中的一大核心要素。就目前所知，本地区有两条古老的山道通向峰顶，但事实上，早期佛教苦行僧参拜这座高山时大多从其他方向登山。如今，庄川流域依然保留着数量众多的白山神社。

<繁体字>

白山：一座靈峰

白山與富士山及位於富山縣的立山（又稱「館山」）一起被視為日本三大靈峰。早在史前時代，它就是人們尊崇禮拜的對象，至今依然是宗教聖地。這座海拔 2702 公尺的火山在過去的若干個世紀裡曾多次噴發，最近的一次發生在 1659 年。這股不可預知的能量貫穿整個歷史，激發了當地居民的敬畏與崇敬。這座山峰也是當地人用水、食物和其他生活必需品的來源。據推測，以白山為對象、有組織性的有規劃性的信仰活動始於西元 8 世紀，當時佛教的苦行者選擇了這座高山作為修行地。這些信徒不但攀登峰頂，還常常長時間留在山中修行，藉以錘煉自己的精神與信念。

隨著時間推移，苦行僧的信仰傳遍白山周圍的居民聚落，並在那裡建起了遙拜山神的禮拜場所。這類「白山神社」在岐阜、石川和福井等鄰近各縣最為普遍，就連在北到秋田、南至福岡的日本海沿岸地區也為數不少。這樣的分佈很可能是因為白山信仰是由海員傳播的緣故，對他們來說高山是重要的地標，常能在暴風雨和險惡的水流情況中為航行指明方向。

在白川鄉，白山信仰最遲自中世紀起就已成為了當地宗教信仰活動中的一大核心要素。就目前所知，該地區有兩條古老的山道通向峰頂，但事實上早期佛教苦行僧參拜這座高山時大多從其他方向登山。如今庄川流域依然保留著數量眾多的白山神社。

<日本語仮訳>

白山：靈峰

白山は、富士山と立山（富山県に位置）と共に日本の三大靈峰のひとつとされており、先史時代から現在に至るまで畏敬の対象となってきました。この2702メートルの火山は、何世紀にもわたって繰り返し噴火しており、直近の噴火は1659年です。その予測不可能な力は、水や食料、その他生活に不可欠なものに関して、それでもなおこの山に頼っていた地元の人々の中に、歴史を通じて畏れと尊敬の念をかき立ててきました。組織的な白山信仰は、8世紀に始まったと考えられています。当時、仏教の修行者たちが白山を修行の地として使用し始めたのです。このような信者たちは登頂して、靈的な修養を自らの身に染み込ませるため、しばしば山中で長期間過ごしていました。

やがて、修行者の信仰は白山周辺の集落にも広まり、白山の神々を遠くから崇拝する神聖な場所が作られました。そのような「白山神社」は、岐阜、石川、福井といった近隣県にわたって最もよく見られますが、北は秋田から南は福岡まで、とりわけ日本海沿岸にも多数存在します。この分布は、白山信仰が船乗りによって広まったためである可能性が高いです。船乗りにとって白山は、荒れがちで油断できない海において方向感覚をもたらしてくれる重要な目印でした。

白川郷では少なくとも中世の時代から、白山信仰は、地元の宗教的な習わしの中心的な要素となってきました。白山を崇拝していた初期の仏教修行者たちのほとんどは別の方角から登頂していたものの、この地域からは2本の古い登山道が山頂へ続いていたことが知られています。白山神社は、庄川流域の至るところに多数残っています。

【タイトル】 白水の滝

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白水瀑布

白水瀑布位于白山国立公園内の、地处翡翠般碧綠的白水湖下游一條从白川郷通往国立公園的公路尽头。

这座落差达 72 米的瀑布形成于白山的一次喷发，当时熔岩流顺着山坡流淌，冷却凝固后在大白川沿岸形成了若干陡峭的悬崖。稍带浑浊且富含矿物质的水帘垂直跌入下方河流，这便是“白水”之名的由来。在白川郷因“合掌造”传统民居而声名鹊起之前，它已经是本地最重要的旅游景点。靠近白水瀑布停车场有一个观景台，是欣赏瀑布及其周边密林山野风光的最佳场所。每到秋天，山林红叶烂漫，热烈明亮。附近的大白川露天温泉也是赏景的好去处。

<繁体字>

白水瀑布

白山國立公園內的「白水瀑布」位於翡翠般碧綠的白水湖下游、從白川郷通往國立公園的公路盡頭。

這座落差達 72 公尺的瀑布形成於白山的一次噴發，當時熔岩流順著山坡流淌，冷卻凝固後在大白川沿岸形成了若干陡峭的懸崖。稍帶渾濁且富含礦物質的水簾垂直落入下方河流，這便是「白水」之名的由來。在白川郷因「合掌造」傳統民居而聲名鵲起之前，白水瀑布已經是當地最重要的旅遊景點。靠近白水瀑布停車場有一個觀景台，是欣賞瀑布及其周邊密林山野風光的最佳地點。每到秋天，山林紅葉爛漫。附近的大白川露天溫泉也是賞景的好去處。

<日本語仮訳>

白水の滝

白水の滝は、白山国立公園内に位置しており、エメラルドグリーンの白水湖のちょうど下流で、白川郷から国立公園へと続く道路の突き当りにあります。

72メートルの滝は、白山の噴火によって形作られました。溶岩が斜面を流れ落ちて固まり、大白川に沿って険しい崖ができたのです。そのいくぶん濁った、鉱物を豊富に含み、下の川に垂直に落ちる水から名付けられた「白水」の滝は、白川郷が伝統的な「合掌造り」の家で有名になる前には、主要な観光名所でした。白水の滝の駐車場近くにあるすばらしい景色の展望台からは、滝と、木々が生い茂った周囲の斜面からなる最高の景色を見ることができ、秋には、色とりどりの紅葉で美しく染まります。白水の滝近辺には、大白川露天風呂があり、ここも景色を楽しむ良い場所です。

【タイトル】 御母衣ダム

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**御母衣水坝**

御母衣水坝巍然屹立于如今的白川村南端。水坝与它脚下的水力发电厂合力为工业城市名古屋及周边的中部地区供应电力。这是一座堆石坝，建在庄川上，坝高 131 米，厚 56 米，于 1960 年竣工，是当时亚洲同类水利设施中最大的一座。鉴于水坝下方的土地存在多条断层线，比起混凝土大坝来，堆石坝是更为合理的选择。水坝建成后，便有了如今的御母衣湖。湖水淹没了三个村落，当地居民不得不因此搬迁。湖西岸是庄川樱公园，公园里的两棵樱花树曾经种在如今沉于水下的一座寺院内，承载着对这一地区过往历史的纪念意义。春天水位下降至最低，站在水坝上方的 156 号国道上，还能看到过去村庄的部分遗迹。秋天走上水坝顶端，无论远眺下游的白川乡，还是欣赏上游的湖泊，都足以尽览格外美丽的秋日风景。水利工程爱好者或许会对“御母衣水坝公园”感兴趣，园内主要介绍御母衣水坝的修建过程以及如今的运转情况。

<繁体字>**御母衣水壩**

御母衣水壩巍然屹立於如今的白川村南端，水壩與腳下的水力發電廠合力為工業城市名古屋及周邊的中部地區供應電力。這是一座堆石壩，建在庄川上，壩高 131 公尺，厚 56 公尺，於 1960 年竣工，是當時亞洲同類水利設施中最大的一座。考慮到水壩下方的土地存在多條斷層線，因此，堆石壩是比混凝土大壩更好的選擇。水壩建成後，便形成了如今的御母衣湖，湖水淹沒了三個聚落，當地居民不得不為此搬遷。湖西岸是莊川櫻公園，公園裡的兩棵櫻花樹曾經種在如今沉於水下的一座寺院內，對這一地區的過往歷史有著紀念意義。春天水位下降至最低，站在水壩上方的 156 號國道上便能看到過去村莊的部分遺跡。走上水壩頂端，無論遠眺下游的白川鄉，還是欣賞上游的湖泊，都能把秋季裡格外美麗的風景盡收眼底。水利工程愛好者或許會對「御母衣水壩公園」感興趣，園內主要介紹御母衣水壩當初的修建過程及如今的運轉情況。

<日本語仮訳>

御母衣ダム

御母衣ダムは、現在の白川村の南端に聳えています。このダムは、その足元にある水力発電所と合わせて、工業都市・名古屋とその周辺の中中部地方に電力を供給しています。庄川に位置するこのロックフィルダムは、高さ 131 メートル、厚さ 56 メートルあり、1960 年の完成時にはこの種の建造物としてアジアで最大のものでした。ダム地点の真下、地中には複数の断層線があるということが意味していたのは、このロックフィル構造の方がコンクリートよりも適しているということでした。ダムの建設により、御母衣湖ができました。それによって、3 つの村落が水中に沈み、住民たちは転居を余儀なくされました。水底に沈んだ寺院にあった 2 本の桜の木は、湖の西側、現在の庄川桜公園へと移植されました。桜の木はそこで、この地域の過去を思い出させるものになっています。かつての村の名残は、水位が最も低くなる春には、ダムの上の国道 156 号からも見るすることができます。来訪者は、ダムの上を歩くこともできます。そこからの、白川郷の方角の下流、そして湖に向かっての眺めは両方とも、秋にはとりわけすばらしい景色です。ダムファンの人ならば、「MIBORO ダムサイドパーク」に興味があるかもしれません。ここでは、御母衣ダムがどのように建設され、現在どう使用されているかが説明されています。

【タイトル】 豆腐と白川郷

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**豆腐与白川乡**

数个世纪以来，豆腐一直是白川乡本地饮食中的重要组成部分。过去，这种食材之所以普及，在很大程度上是因为它简单易得。本地出产黄豆，尽管耕地缺乏，但农民们学会了将这种耐寒作物种在稻田中的田垄上。此外，宗教对白川乡居民的饮食直到最近都有着强大的影响力，豆腐能够成为本地料理的一大主角，其中也不乏它的助力。虔诚的佛教徒通常都坚持素食，因此，豆腐就成了摄取蛋白质的主要来源。传统上，白川乡几乎所有居民都是佛教净土真宗的信徒，这一宗教流派在 13 世纪被引入该地区，很快便成为了乡村生活中的重要角色。严格的素食通常只是对僧侣的要求，但普通人在宗教节日里也会吃斋饭。对于净土真宗的信徒而言，在诸多节日活动中，最重要的是每年一度为纪念宗派创始人亲鸾(1173-1263)而举办的“报恩讲”。在白川乡，报恩讲的仪式结束之后要安排一顿饭，菜单中就包括了好几种豆腐菜肴。其中有一种烤着吃的“石豆腐”，质地格外硬实，烤过之后口感更硬，当然，它其实并不至于像名字所说的那样硬如石头。许多本地餐馆都供应这道菜，通常放在铁板上端上桌，搭配酱油和木鱼花（晒干、发酵并熏制后薄切的鲣鱼片）食用。

<繁体字>**豆腐與白川鄉**

數個世紀以來，豆腐一直在白川鄉當地飲食中扮演重要組成部分。過去，這種食材之所以普及，在很大程度上是因為簡單易得。當地出產黃豆，儘管耕地缺乏，但農民們學會了將這種耐寒作物種在稻田間的壟上。此外，直到相當近期，宗教對白川鄉居民的飲食選擇始終有著強大的影響力，豆腐能夠成為當地料理的一大主角，其中也不乏來自宗教的助力。虔誠的佛教徒通常都堅持素食，因此，豆腐就成了攝取蛋白質的主要來源。傳統上，白川鄉幾乎所有居民都是佛教淨土真宗的信徒，這一宗教流派在 13 世紀被引入該地區，很快便成為了鄉村生活中的重要角色。嚴格的素食通常只是對僧侶的要求，不過普通人在宗教節日裡也會吃素。對於淨土真宗的信徒而言，諸多節日活動中，最重要的是每年一度為紀念宗派創始人親鸞（1173-1263）而舉辦的「報恩講」。在白川鄉，報恩講的儀式完成之後要安排一頓飯，菜單中就包括了好幾道豆腐菜肴。其中有一種特別硬的豆腐是烤著吃，

烤過之後會更硬，被稱為「石豆腐」，當然，其實並不至於像名字所說的那樣硬。許多當地餐廳裡都供應這道菜，通常盛在鐵板上端上桌，搭配醬油和柴魚片（曬乾、發酵並燻製後薄切的柴魚片）食用。

<日本語仮訳>

豆腐と白川郷

豆腐は、何世紀もの間、白川郷の郷土料理の重要な部分を占めてきました。かつて、豆腐が普及したのは主に入手しやすかったからでした。大豆は、耕作に適した土地が少ないにもかかわらず、この地域で育てることができました。農家は、田んぼの間の縁にこの珍しい作物を植えることができたのです。宗教は、白川郷では比較的最近まで人々の食べるものに大きな影響を持っていましたが、豆腐を料理の頼みの綱として確立するのにも一役買いました。信仰心の篤い仏教徒は、菜食に従うことも多く、菜食では、豆腐は重要なタンパク源です。伝統的に、白川郷の住民は、ほぼ全員が仏教の浄土真宗の信者でした。浄土真宗は、13世紀にこの地に伝えられ、村の生活に重要な役割を果たすようになりました。厳格な菜食主義は主に僧侶に限定されていましたが、一般の人々は宗教の祝祭日に仏教の食事をとりました。その中でも浄土真宗信者にとって最も重要なものは、浄土真宗の宗祖である親鸞（1173-1263）を祀るために毎年行われる「報恩講」です。白川郷では、報恩講の祭祀に続いて、数種類の豆腐を含む食事が供されます。並外れて固い種類の豆腐は、後に焼いて食べるようになりましたが、それによってさらに固くなり、今では「石とうふ」と呼ばれています。名前がほのめかすほどには固くないが、この料理は多くの地元のレストランで食べることができます。お店では通常、鉄板の上に載って出てきて、醤油と鰹節（乾燥、発酵、燻製された魚のフレーク）と共に食べます。

【タイトル】 すったて

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**摺立汁(Suttate-jiru)**

摺立汁(Suttate-jiru)就是“现磨的汤”，是白川乡的一道特色料理，起源于佛教的素食。这种汤品滋味浓郁，采用现磨的黄豆加上味噌、酱油调制的汤底制作而成，原本是一道斋菜，主要出现在与佛教净土真宗有关的宗教活动上。数个世纪以来，净土真宗都是本地区最主要的宗教信仰。随着时间推移，这道汤品渐渐融入世俗，成为日常饮食文化的一部分。但直到近年，才渐渐开始为白川乡以外的地区所熟悉。

本地一些勇于创新的居民发明了“摺立鍋”(Suttate-nabe)，这道料理很快便流行起来。它是一种火锅，以摺立汁为汤底，加入蘑菇、日式大葱以及飞驒（音同“驼”）地区的名产——飞驒牛肉等食材制成。摺立锅汤汁滑润，香气四溢，柔和绵密的口感与豆浆火锅有些相似，可在荻町村及周边的特定餐厅品尝。

<繁体字>**摺立汁 (Suttate-jiru)**

摺立汁 (Suttate-jiru) 即「現磨的湯」，是白川鄉的一道特色料理，起源於佛教的素食。這種湯風味濃郁，採用現磨黃豆加上味噌、醬油調製的湯底製作而成，原本是一道素菜，主要出現在與佛教淨土真宗有關的宗教活動上。數個世紀以來，淨土真宗都是當地最主要的宗教信仰。隨著時間推移，這道湯漸漸融入尋常百姓家中，成為了日常飲食文化的一部分。但直到近年來，才漸漸開始為白川鄉以外的地區所熟悉。

當地一些勇於創新的居民發明了「摺立鍋」 (Suttate-nabe)，這道料理很快流行起來。這是火鍋料理，在摺立汁裡加入蘑菇、大蔥以及飛驒（音同「駝」）地區名產——飛驒牛肉等食材煮成。摺立鍋湯汁滑潤，香氣四溢，柔和綿密的口感與豆漿火鍋有些類似，可在荻町村及周邊的特定餐廳享用。

<日本語仮訳>**すったて**

すったて汁は、仏教の精進料理に起源を持つ白川郷の名物料理です。挽きたての大豆と、味噌と醤油でできたスープを合わせた濃厚な料理で、もともとは主に、何世紀にもわたってこの地域の支配的な信仰であった、仏教の浄土真宗に関連した宗教行事の際に提供されました。すったて汁は次第に日常の食文化の一部になりましたが、白川郷以外では最近まで知られていませんでした。

進取の気性に富む何人かの地元住民が、きのこや長ねぎ、飛騨地域で育てた飛騨牛などの食材をすったてと組み合わせた鍋料理、すったて鍋を発明し、人気が高まりました。クリーミーで香り高く、豆乳を使った鍋料理にいくらか似たマイルドな味わいのすったて鍋は、荻町や周辺の一部のレストランで食べることができます。

【タイトル】 秋葉神社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

秋叶神社

纵观历史，火灾始终是荻町所面临的最大威胁之一。木构民居的茅草屋顶很容易着火，尽管村民们竭尽全力防范，荻町依然遭遇过好几次毁灭性的火灾。1718 年和 1749 年的两次火灾最为严重，其中，荻町西部都是受损最严重的区域。那里的村民希望能够阻止这类不幸再次发生，于是决定建造一座神社，以求在未来可能发生的灾害中得到庇佑。这座神社在很长一段时间里都是一处朴素低调的拜祭场所，直到大正时代(1912-1926)，社殿得以重建，开始正式供奉神道教的火神迦具土神。也就是在这一时期，神社改名秋叶神社，以表明它与静冈县秋叶山本宫的关系，而秋叶山本宫正是供奉迦具土神的总本社（神社总部）。如今，秋叶神社依然是深受本地村民敬重的地方，人们相信，它守护着整个荻町。

<繁体字>

秋葉神社

縱觀歷史，火始終是荻町所面臨的最大威脅之一。木造民居的茅葺屋頂很容易著火，儘管村民們竭盡全力防範，荻町依然遭遇過好幾次毀滅性的火災。最嚴重的兩次火災分別發生在 1718 年和 1749 年，在這兩次大火中，荻町西部都是受損最嚴重的區域。荻町西部村民希望能夠阻止這類不幸再次發生，於是決定建造一座神社，以求在未來可能發生的災害中得到庇佑。這座神社在很長一段時間裡都是個樸素低調的祈禱祭拜場所，直到大正時代（1912-1926）社殿得以重建，開始正式供奉神道教的火神迦具土神。也就是在這時，神社改名秋葉神社，以此表明其與靜岡縣秋葉山本宮的關係，秋葉山本宮是供奉迦具土神的總本社（神社總部）。如今，秋葉神社依然是深受村民敬重的地方，人們相信神社守護著整個荻町村。

<日本語仮訳>

秋葉神社

歴史を通じて、火事は荻町にとって最大の脅威のひとつでした。村の木造家屋の茅葺き屋根は火が付きやすく、地元住民の最大限の努力にも関わらず、集落では何度も破壊的な火災が発生しています。二つ最大級の火災は 1718 年と 1749 年に発生したもので、どちらの場合も、荻町西部が特に大きな被害を受けました。このような不幸に終止符を打つべく、荻町西部の住民は、将来の災害から地域を守る神社の創建を決めました。大正時代（1912-1926）に神社の建物が再建され、神道の火の神、カグツチに正式に献じられるまで、この聖域はあまり目立ちませんでした。カグツチを祀る神道の総本山、静岡県秋葉山本宮との関係を際立たせるため、秋葉神社と改名されたのもこの時です。現在、秋葉神社は荻町全体を守ると信じられており、今も住民に敬われています。

【タイトル】 围炉裏

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**围炉里**

“围炉里”是“合掌造”民居一楼用于烹饪和取暖的地炉，也是民居的温暖之源。除了烧水、做饭等日常生活杂务之外，围炉里历来都承担着社交功能。无论同居一室的家庭成员，还是外来的客人，大家都会围炉而坐，吃饭、聊天，或者只是单纯地彼此陪伴，共度时光。此外，炉灶的烟雾与热气冉冉上升，透过被叫做“簀子”的格子天花板传到阁楼，这对于合掌造民居的建筑也颇有助益——年深日久，煤烟附着在房间建筑的每一寸内表面，将它们浸染成均匀的深色，也增强了木头的防潮防蛀性能；热气升上阁楼，有助于茅草屋顶保持干燥，防止因茅草腐烂导致屋顶过早腐朽。同样是这些热气，还能够帮助稳定阁楼内的温度，对于利用合掌造建筑的阁楼空间养蚕而言非常重要。从 18 世纪到 20 世纪前几十年之间，蚕丝业始终是本地的一大兴旺产业。另外，围炉里还支撑起了本地另一个产业。人们在炉灶旁挖坑用于制造火硝（硝酸钾），火硝是火药的主要成分之一。火硝的生产有赖于原材料的发酵，而发酵需要围炉里稳定供给的热量。

<繁体字>**圍爐裏**

圍爐裏是「合掌造」民居一樓用以烹飪和取暖的地爐，也是民居的溫暖之源。除了燒水做飯等日常生活雜務之外，圍爐裏歷來都承擔著社交的功能。無論同居一室的家庭成員，還是外來的客人，大家都會圍繞圍爐裏而坐，吃飯、聊天，或者只是單純地彼此陪伴共度時光。再者，爐灶的煙與熱氣冉冉上升，透過被叫做「簀子」的格子天花板傳到閣樓，這對於合掌造民居的建築也頗有助益。年深日久，煤煙附著在房間建築的每一寸內表面，將它們浸染成均勻的深色，也增強了木頭的防潮防蛀性能。熱氣升上閣樓，有助於茅草屋頂保持乾燥，防止茅草腐爛導致屋頂過早腐朽。這些熱氣還能夠幫助閣樓保持溫暖，這對利用合掌造建築的閣樓空間養蠶來說非常重要。從 18 世紀到 20 世紀前幾十年間，蠶絲業始終是當地的一大興旺產業。圍爐裏甚至還支撐起了當地另一大產業。人們在爐灶附近挖坑，用於製造火硝（硝酸鉀），火硝是火藥的主要成分之一。火硝的生產有賴於原材料的發酵，而發酵需要圍爐裏穩定供給熱量。

<日本語仮訳>

囲炉裏

囲炉裏とは、「合掌造り」の家の 1 階に置かれた炊事兼暖房用の炉のことで、合掌造りの家の温かな中心です。料理や湯を沸かすといった日常の家事に加え、囲炉裏は伝統的に、社会的な目的を果たしました。住民や来客が、囲炉裏の周りに集まり、食事したり、会話したり、あるいは単に一緒に過ごしたりしました。さらに、囲炉裏から絶えず立ち昇り、「簀の子」と呼ばれる格子の天井を通して屋根裏に入ってゆく煙と熱の恩恵を受けるため、合掌造りの家が建てられました。時と共に煙のすすが室内のあらゆる部分に付着して黒くなり、湿気や害虫に対する木材の耐性を高めます。屋根裏に達する熱は茅葺き屋根の乾燥を保ち、腐敗や早期劣化を防ぎます。この同じ熱は屋根裏の温度をかなり安定させるのにも役立ちますが、18 世紀から 20 世紀の最初の数十年まで盛んだった養蚕が、合掌造りの家の屋根裏で行われていた頃、これは重要なことでした。最後に、囲炉裏は別の地元産業をも支えました。囲炉裏の近くに穴を掘り、火薬の重要な原料である焰硝（硝酸カリウム）を作ったのです。その製造には、安定した熱の供給に頼る発酵プロセスが含まれています。

【タイトル】 火天

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**火天**

白川郷的所有「合掌造」民居裡都有「圍爐裏」（用以烹飪和取暖的地爐），圍爐裏上方都懸掛著一塊木板，自主樑上垂下，被下方爐膛裡冒出的煤煙燻得發黑。這塊木板名叫「火天」，在傳統上具有多重功用：板上可存放工具，板下可懸掛需要煙燻的食物。然而，火天最主要的用途是攔截並熄滅爐火中迸起的火星，避免火星飛竄到天花板、牆壁甚至更危險的茅草屋頂，引發威脅整個村莊安危的大火。此外，火天還有助於讓煙霧在整個房間裡散開，阻止熱氣散逸，即便在嚴寒的冬季，圍爐裏周圍依然能夠保持溫暖。

<繁体字>**火天**

白川郷的所有「合掌造」民居裡都有「圍爐裏」（用以烹飪和取暖的地爐），其上方都懸掛著一塊木板，自主樑上垂下，被下方爐膛裡冒出的煤煙燻得發黑。這塊木板名叫「火天」，在傳統上具有多重功用，板上可存放工具，板下可懸掛需要煙燻的食物。然而，火天最主要的用途是攔截並熄滅爐火中迸起的火星，避免火星飛竄到天花板、牆壁甚至更危險的茅草屋頂，引發威脅整個村莊安危的大火。此外，火天還有助於讓煙霧在整個房間裡散開，阻止熱氣散逸，即便在嚴寒的冬季，圍爐裏周圍依然能夠保持溫暖。

<日本語仮訳>**火天**

白川郷の「合掌造り」の家にはすべて「囲炉裏」（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）があり、その上部には主要な梁から吊るされた木の板があって、囲炉裏の火のすすで黒くなっています。「火天」と呼ばれるこの板は、伝統的に様々な用途で用いられました。その上に道具を保管したり、そこから食べ物を吊るして燻製を作ったりすることができます。しかし、火天の主な機能は、囲炉裏からの火花を、天井、壁、あるいはさらに悪いことに茅葺き屋根に達する前に消し、村全体を脅かす火災を防ぐことでした。火天はまた、家中に煙を放散させ、熱が逃げるのを防ぎ、真冬でも囲炉裏周辺を暖かく保ちました。

【タイトル】 防火活動

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

防火措施

荻町の“合掌造”民居拥有茅草屋顶和木墙结构，很容易遭受火患威胁。如果一处房屋失火，火势就很可能蔓延至临近建筑，甚至有可能波及整个村庄。事实上，在过去的若干个世纪里，这样的大火灾的确发生过不止一次。如今，为了防范此类灾害再度发生，本地居民齐心协力，每天晚上轮流巡视村庄，提醒乡邻小心火烛。在荻町，最有特色的社区防火活动是每年一度对村内约 50 架消防水枪的统一检测。水枪安装在三角形的棚子下，分置于各合掌造民居之间，由设备两侧的住户共同操作。打开阀门后，水枪喷出的水就会在建筑之间形成水幕，从而防止火势从一栋房屋蔓延至另一栋。这一活动通常在仲秋时节举行，从荻町城遗址观景台望去，所有水枪同时打开的场景着实令人难忘。

<繁体字>

防火措施

擁有茅葺屋頂和木牆結構的荻町「合掌造」民居，很容易遭受火患威脅。過去，如果一處房屋失火，火勢就很可能蔓延至臨近建築，甚至整個村莊都可能受到波及。事實上，在過去數個世紀裡，這樣的大火災的確發生過不止一次。如今，為了防範此類災害再度發生，當地居民齊心協力每天晚上輪流巡視村莊，提醒鄰里小心火燭。在荻町最有特色的社區防火活動是每年一度對村內約 50 架放水銃的統一檢測。放水銃放置在三角形棚子下，分置在合掌造民居之間，由設備兩側的住戶共同操作。當閥門打開，水銃噴出水來，在建築之間形成水幕，從而阻斷火勢從一棟房屋蔓延至另一棟。這項活動通常在中秋時節舉行，從荻町城遺址觀景台望去，所有放水銃同時打開的場景令人難忘。

<日本語仮訳>

防火活動

茅葺き屋根と木造の壁を持つ荻町の「合掌造り」の家は、火に対して非常に脆弱です。従来より、ある建物で火災が発生すると近くの家や村全体に延焼する危険が高く、前世紀には実際に複

数の大火が発生しています。近年では、住民はこうした災害を防止すべく協力し、夜に交代で村をパトロールして、近所の人々に可燃物に注意するよう呼びかけています。荻町の地域防火活動で最も有名なのは、毎年行われる、約 50 基の放水銃の点検です。それらは合掌造りの家の間のあちこちにある三角形の小屋の中に設置されており、その両側の家の住民が共同で操作しています。装置のバルブを開けると、建物の間に水のカーテンを作ることができ、ある家から別の家への延焼を防ぐことができます。荻町城跡展望台からの眺める、通常秋の中頃に行われる放水銃の一斉点検の様子は印象的です。

【タイトル】「白川」という地名

【想定媒体】WEB

<簡体字>

“白川”之名

所谓“白川”，就是“白色的河流”，它被用作如今岐阜县庄川流域一带的地名已有数个世纪的历史。之所以得名“白川”，原因与附近的活火山“白山”有关——白山地底温泉里的矿物质流入庄川的一条支流，使得庄川水流经常呈现出浑浊发白的状态。

在江户时代(1603-1867)，白川地区共有 42 个村落，它们被合称为“白川乡”。当时，日本的绝大多数地区都归属于各地大名（日本封建时代的领主）管辖，白川乡却不同，它直属德川幕府（中央政府）管控。幕府从这个人口相对稀少的地区采购物资，以木材为主，也包括一些贵重金属。

1868 年，幕府终结，王权复兴，白川乡随即被分割为两个行政区：白川村和庄川村。42 个居民点中的 23 个被划归白川村，余下的属于庄川村。白川村至今犹存，庄川村如今却已成为高山市的一部分。而沿用至今的“白川乡”之名，依然泛指历史上的整个地区，切勿跟范围稍小的“白川村”混淆。

<繁体字>

「白川」之名

所謂「白川」，就是「白色的河流」，此名被用作如今岐阜縣庄川流域一帶的地名已有數個世紀的歷史。之所以得名「白川」，是因為附近的一座活火山「白山」，其地底有溫泉礦物質湧入庄川的一條支流，令庄川的水流常常呈現出渾濁發白的水質。

在江戶時代（1603-1867），白川地區共有 42 個村莊，被合稱為「白川鄉」。當時日本的絕大多數地區都歸屬於各地大名（日本封建時代的領主）管轄，白川鄉卻不同，直屬德川幕府（中央政府）管控。幕府從這個人口相對稀少的地區採購以木材為主的物資，也包括一些貴重金屬。

1868 年幕府終結，王權復興，白川鄉隨即被分割為兩個行政區：白川村和莊川村。42 個村莊中的 23 個被劃歸白川村，餘下的屬於莊川村。白川村至今猶存，莊川村如今卻已成為高山市的一部分。而沿用至今的「白川鄉」之名，依然指稱歷史上的整個地區，特別留意不要跟範圍稍小的「白川村」搞混。

<日本語仮訳>

「白川」という地名

「白い川」を意味する白川という地名は、現在の岐阜県の庄川流域で何世紀にもわたって使用されてきました。「白川」は、活火山である白山の下から流れ出る温泉の鉱物が支流の 1 つに流れ込むため、しばしば濁って見える庄川の水を形容した言葉です。

江戸時代（1603-1867）、白川には 42 の集落があり、全体で白川郷と呼ばれていました。地元の大名（日本の封建時代の領主）が統治していた当時の日本のほとんどの地域とは異なり、白川郷は徳川幕府（中央政府）の直接統治下にありました。幕府は比較的人口の少ないこの地域から主に木材を、さらに貴金属をいくらか調達しました。

幕府の終焉と、それに伴う 1868 年の王政復古の後、白川郷は白川と荘川の 2 つの行政単位に分割されました。42 の集落のうち 23 の集落が白川村となり、現在に至ります。残りの集落は現在の高山市の一部である荘川村に割り当てられました。「白川郷」の名は今もこの歴史的な地域を指して用いられますが、より小さな「白川村」と混同すべきではありません。

【タイトル】 白水湖

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**白水湖**

白水湖位于白山国立公園内，海拔近 1300 米，距离荻町古村约 45 分钟车程。1963 年，此处湖泊因大白川水坝的建造而形成。水坝紧邻停车场，是国立公园在这一侧的入口。白水湖以其翡翠般碧绿的湖水而闻名，这是因为附近的活火山“白山”地底有温泉矿物质融入湖中，才造就了这样的水色。夏季前来的旅行者可以租借小船或站立式冲浪板亲水游玩，亦可在湖岸边的大白川露天温泉浴场里泡着温泉欣赏湖光山色。附近还有一处露营地，可供来客在树龄足有数百年的山毛榉和橡树下扎营住宿。露营地于 7 月至 10 月间开放，通常在秋季到来时便会关闭，那时，周遭漫山的树叶才刚刚开始泛红。正常情况下，秋叶最美的时节通常都在 10 月下旬之前。通往白水湖的公路于 10 月底至来年 5 月底之间封闭。

<繁体字>**白水湖**

白水湖位於白山國立公園內，海拔近 1300 公尺，距離荻町古村約 45 分鐘車程。這處湖泊於 1963 年因大白川水壩的建造而形成。水壩緊鄰停車場，是國立公園在這一側的入口。白水湖以其翡翠般碧綠的湖水而聞名，這是因為附近的活火山——白山地底有溫泉礦物質融入湖中，才造就了這樣的湖色。夏季前來的旅行者可以租借小船或立式划槳（即 SUP）親近湖水，或在湖岸邊的大白川露天溫泉浴場裡泡著溫泉欣賞湖光山色。附近還有一處露營地，可供遊客在幾百歲樹齡的山毛櫸和橡樹下紮營住宿。露營地於 7 月至 10 月間開放，通常在秋季到來時便會關閉，那時周遭漫山的樹葉才剛剛開始變紅。正常情況下，秋葉最美的時節通常都在 10 月下旬之前。通往白水湖的公路於 10 月底至隔年 5 月底之間封鎖。

<日本語仮訳>**白水湖**

白水湖は、荻町の歴史的集落から車で約 45 分、白山国立公園の中、海拔 1300 メートル近いところに位置しています。湖は、1963 年、大白川ダム建設によって形成されました。ダムは駐車

場に隣接しており、国立公園のこの部分への入口となっています。白水湖はそのエメラルドグリーンの水で有名ですが、この色は、近くにある活火山の白山の下で湖へと放出される温泉のミネラルによるものです。夏は、手漕ぎボートや SUP（スタンダップパドルボード）を借りたり、湖畔にある大白川露天風呂に浸かりながら、湖を近くに望むことができます。また付近にキャンプ場があり、樹齢数百年のものもあるブナや檜の木の木陰のテントで宿泊することができます。キャンプ場は 7 月から 10 月中頃までオープンしており、キャンプ場が閉まると通常すぐに秋が来て、周囲の山々が紅葉する時期となります。典型的な年では、秋の紅葉は 10 月末頃まで楽しめます。10 月の終わりから 5 月の終わりまで、湖への道は通行止めとなります。

【タイトル】 野外博物館 合掌造り民家園と「であい橋」

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

野外博物館・合掌造民家園与交谊桥

驾车前往荻町古村时，通常会首先抵达庄川西岸，根据规定，自驾游览者需要将车停放在河岸边的停车场里，然后步行过河，前往村庄中心区域。大型停车场旁是“综合导览所交谊馆”，这是一处旅游信息中心，装修成了传统“合掌造”民居的样子，覆盖着茅草屋顶。旁边的礼品商店里出售来自白川乡各地的纪念品和特色食品。在它们背后，是露天的“野外博物馆·合掌造民家園”，园内共有 25 座建筑，包括几座合掌造民居、数个仓库和棚屋，都是出于保护和展示的目的被专门移到这里的。

从停车场和博物馆所在地前往荻町中心区域，需要穿过“交谊桥”，这是一座长 107 米的人行吊桥，横跨庄川，建于 1993 年。作为村庄的一个入口，这座桥显得有些窄小，也未经涂装，这是因为其设计宗旨就在于将吊桥融入周围环境。2003 年，日本土木学会将设计大奖授予交谊桥，以表彰它质朴的风格，以及为保护传统乡村风貌禁止汽车进入的设计。行走桥上，来访者可以低头看一看脚下平静而略显浑浊的河流，“白川”地区正因此得名。这座桥深受摄影师青睐，尤其是在秋天庄川沿岸秋叶转红之后的时节里。

<繁体字>

野外博物館・合掌造民家園與相逢橋

駕車前往荻町古村的遊客大多首先抵達庄川西岸，根據規定，他們需要將車停放在河岸邊的停車場裡之後，下車步行過河前往村莊中心區域。大型停車場旁是「綜合導覽所交誼館」，這是一處旅遊服務中心，裝修成了有茅葺屋頂傳統「合掌造」民居的樣子。旁邊的禮品商店裡販售來自白川鄉各地的紀念品和特色食品。在旅遊服務中心背後，是一家露天「野外博物館・合掌造民家園」，園內共有 25 座建築，包括幾棟合掌造民居、一些倉庫和棚屋，都是出於保護和展示的目的被移來此處。

從停車場和博物館所在地前往荻町中心區域，需要穿過「相逢橋」，這是一座長 107 公尺的人行吊橋，建於 1993 年，橫跨庄川。作為村莊的入口之一，這座橋顯得有些窄小，也未經塗裝，這是因為其設計宗旨就是要與周遭環境融為一體。2003 年，日本土木學會將設計大獎授予相逢橋，以表彰其質樸的風格以及透過禁止汽車通行達到保護傳統鄉村風貌

的目的。行走於橋上，遊客可以低頭俯瞰一下腳下平靜而略顯渾濁的河流，當地的「白川」之名正是來自於這條河。這座橋深得攝影師青睞，尤其是秋天庄川沿岸秋葉轉紅之後的最佳時節。

<日本語仮訳>

野外博物館 合掌造り民家園と「であい橋」

荻町の歴史的集落を車で訪れる人たちのほとんどは、庄川の西側に到着します。観光客はここにある駐車場に車を駐めるよう求められており、それから歩いて川を渡り、村の中心まで進みます。大きな駐車場の側には、伝統的な「合掌造り」の家を模した茅葺屋根の観光案内所「総合案内所であいの館」があります。近くのギフトショップでは、白川地域中から集められた土産物や地域特産の食べ物が売られています。これらの建物の後ろには「野外博物館 合掌造り民家園」があり、そこには合掌造りの農家や蔵、小屋など25軒の建物が移築され、保存・展示されています。

駐車場と博物館の区域は、1993年に庄川に建設された、長さ107メートルの歩行者用の吊り橋「であい橋」で荻町の中心部と繋がっています。集落への入口の一つとして機能しているこの橋は、周囲に溶け込むようデザインされているため、比較的幅が狭く、塗装されていません。この建造物の控えめなスタイルと、通りに車を入れないことで伝統的な街並みを守るという役割が、日本の土木学会に認められ、同会は2003年であい橋に学会のデザイン最優秀賞を授与しました。訪れる人たちはこの橋を渡りながら、白川地域の名前の由来である、静かで少し濁った川の水を見下ろすことができます。橋には、特に秋、庄川沿いの木の葉が紅葉した後に、写真家たちが集まります。

【タイトル】 飛驒

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**飞驒**

白川乡所在的飞驒（音同“驼”）地区横跨岐阜县北部及飞驒山脉西部区域，除白川乡之外，该地区还包括高山、飞驒、下吕等市町村。从古代直至1871年之前，这一带都被称为“飞驒国”，是日本国内比较低调的一处乡村区域，主要作为木材和金属产地而为人所知。及至中世纪，中央集权的国家政权衰落，飞驒成为多个武将家族争夺之地，各家竞相大兴土木，城堡和哨卡遍布整个地区。荻町城就是这些军事堡垒中的一个，城堡遗址如今变成了一个观景台，来访者可以在那里登高俯瞰荻町古村。1692年，当政的德川幕府（中央政府）直接接手了这一地区的管辖权，并通过高山实施管理，高山至今仍是飞驒地区人口最多的中心城市。进入明治时代(1868-1912)后，在林业与矿业这两大传统核心产业之外，本地又增加了一项养蚕业，该产业直到进入20世纪时都十分繁荣，而白川乡地区更是这一产业的重镇。

<繁体字>**飛驒**

白川鄉所在的飛驒（音同「駝」）地區，橫跨岐阜縣北部及飛驒山脈西部地區，除白川鄉之外，該地區還包括高山、飛驒、下呂等市町村。從古代直至1871年之前，這一帶被稱為「飛驒國」，它是日本國內相對小眾的一處鄉村區域，主要以木材和金屬產地而為人們所知。及至中世紀，中央集權的國家政權衰落，飛驒成為多個武將家族爭奪之地，各家競相大興土木，城和哨卡遍佈整個地區。荻町城就是這些軍事堡壘中的一個，荻町城遺址如今變成了一個觀景台，遊客可以在那裡登高俯瞰荻町古村。1692年，當政的德川幕府（中央政府）直接接手了這一地區的管轄權，並通過高山實施管理，高山至今仍是飛驒地區人口最多的中心城市。進入明治時代（1868-1912）後，在林業與礦業這兩大傳統核心產業之外，又增加了一項養蠶業，該產業直到進入20世紀時都十分繁榮，而白川鄉地區更是這一產業的重鎮。

<日本語仮訳>

飛騨

白川郷は、飛騨エリアの一部ですが、飛騨は岐阜県北部、飛騨山脈の西側に広がり、白川のほか、高山、飛騨、下呂の市町村を含みます。古くから 1871 年まで、この地域は飛騨国と呼ばれ、田舎で、主に木材や金属の産地として知られる、日本の中でも比較的マイナーな地域でした。中世の中央集権国家が衰退した後、数多くの戦国武将家の中で飛騨の争奪戦がなされ、地域のあちこちに彼らは城や前哨基地を建てました。そんな砦の一つが荻町城で、その跡地は現在、来訪者が荻町の歴史的集落を上から見下ろすことができる展望台になっています。1692 年に権力の座にある徳川幕府（中央政府）がこの地域を直接治めることとし、高山の町から統治するようになり、高山は今でも最も人口の多い飛騨の中心地です。明治時代（1868-1912）までには、主な産業だった林業と鉱業に養蚕が加わり、白川郷を中心に、養蚕は 20 世紀に入っても盛んに行われていました。

【タイトル】 道の駅白川郷と合掌ミュージアム

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

道之站·白川乡与合掌博物馆

“道之站·白川乡”是一处公路休息站，游客可以坐下来吃顿简餐，逛逛纪念品商店，店里出售手工艺品、小吃、糖果甜食和其他本地特产。这里还有一座“合掌博物馆”，馆内提供有关传统“合掌造”民居的历史与建筑构造的详尽介绍。展品中最引人注目的是半座真实大小的合掌造民居，来访者可以走进室内，近距离观察建筑细节。民居屋顶以横切方式加以展示，一部分铺着茅草，另一部分则露出内部的构造，便于参观者了解茅草如何被固定到屋顶架构上，而屋顶结构又是如何只用由草绳和金缕梅嫩枝制作的捆索“ネソ”（Neso；合掌造民居中用于绑缚梁、柱的细枝）便完成固定的。博物馆以真人模型展示茅草工人的具体工作与不同各岗位的不同职责：有监督指挥的，有负责把干草送上屋顶的，有实际铺设屋顶的，还有用草绳将茅草束绑在屋顶框架上的。这座民居模型的下方立着一台白川乡地区传统式样的人力打桩机，新建合掌造民居时，人们需要使用它来夯实础石，打筑地基。展品旁均设有说明展板。

<繁体字>

道之站·白川郷與合掌博物館

「道之站·白川郷」是一處公路休息站，遊客可以坐下來吃頓簡餐，也可以逛逛紀念品商店，店裡出售手工藝品、小吃、糖果甜食和其他當地特產。這裡還有一座「合掌博物館」，館內提供有關傳統「合掌造」民居的歷史與建築構造的詳盡介紹。展品中最引人注目的是半座常規大小的合掌造民居，遊客可以走進室內，近距離觀察建築情形。這座橫切式的茅草屋頂只鋪設了一半，剩下一半露出內部結構，便於遊客了解茅草如何被鋪設在屋頂框架結構上，整個屋頂又如何只用由草繩和金縷梅嫩枝製作的「ネソ」（Neso；合掌造民居中用於綁縛樑、柱的細枝）來固定。博物館以真人模型展示茅草工人的具體工作和各崗位的不同職責：有監督指揮的人，有負責把乾草送上屋頂，也有實際鋪設屋頂，還有用草繩將茅草束綁在屋頂框架上的人。這座民居模型的下方立著一台白川郷地區傳統式樣的人力打樁機，新建合掌造民居時，人們會用打樁機來夯實礎石、打築地基。展品旁都設有說明展板。

<日本語仮訳>

道の駅白川郷と合掌ミュージアム

「道の駅白川郷」は、幹線道路沿いの休憩所で、座って軽い食事をしたり、手工芸品、スナック、お菓子、その他の特産品などを売る土産物店を見て回ったりできる場所です。施設内には、「合掌ミュージアム」もあり、伝統的な「合掌造り」の家の歴史や構造がよくわかる展示がされています。中でも一番注目すべき展示は半分解体された原寸大の合掌造りの農家で、中に入って細部を近くで見ることができます。屋根の一部は茅で葺かれ、残りの部分は構造がむき出しになっており、見学者は屋根の断面を見て、荒縄とマンサクの若木で作った締め具（ネソ）でしっかり組んだ屋根の構造体に茅がどのように固定されているかを理解することができます。屋根を葺く人の仕事や、彼らの様々な役割、たとえば監督する、乾燥させた茅を屋根まで運ぶ、実際の茅葺作業、縄で茅の束を屋根の枠に綴じつけるなどを見せるためマネキンが使われています。展示民家の土台の側には、白川郷で伝統的に合掌造りの家の礎石を打ち込む時に使われていた人力のくい打ち機が置かれています。展示品の周囲には説明のパネルもあります。

【タイトル】 白川村の大家族

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白川村の大家庭

19 世紀至 20 世紀早期，远山家是白川村南部最大且最具影响力的家族。远山家宅邸建于 1850 年前后，进入 20 世纪时，还有差不多 45 名家庭成员共居于此。过去，这种共同生活方式在今白川村南部和北部等区域很常见，这些地方耕地缺乏，因此村民们常常选择共居形式，即所有家庭成员长期生活在同一屋檐下，耕种同一片土地，而不是让家业继承人（通常是长子）之外的其他子女搬出去另建家庭。这种约定俗成的生活方式在明治时代（1868-1912）得到了进一步发展。当时，养蚕缫丝是白川乡居民的主要收入来源，这是一项劳动密集型产业，因此，大家长往往倾向于将子女及孙辈都留在家中，共同劳作。

<繁体字>

白川村の大家庭

在 19 世紀至 20 世紀早期之間，遠山家是白川村南部最大且最具影響力的家族。遠山家宅邸建於 1850 年前後，進入 20 世紀時，還有差不多 45 名家庭成員共居此處。過去這種共同生活方式在如今白川村南部和北部等區域很常見，這些地方耕地缺乏，所以當地村民常常選擇共居形式，即所有家庭成員長期生活在同一屋檐下，耕種同一片土地，而不是讓傳承家業者（通常是長子）之外的其他子女搬出去另築家庭。這種生活方式在當地早已約定俗成，進入明治時代（1868-1912）後得到了進一步的發展。當時，養蠶繅絲是白川鄉居民的主要收入來源，這是一項勞力密集型產業，所以大家長往往傾向於將子女、孫輩都留在家中，共同分工合作。

<日本語仮訳>

白川村の大家族

遠山家は 19 世紀と 20 世紀初期の白川村南部で最も大きく力のある一族でした。20 世紀初頭には、一族の 45 人ほどが、1850 年頃に建てられたこの遠山家に一緒に住んでいました。現在の白川村の南部や北部の地域では、農地が限られていたため、後継者（普通は長男）以外の子供達が家を出て新しい家族を始めるのではなく、大家族全員が一つの屋根の下に住み続

けて同じ畑を耕す、このような共同生活の形式がよく見られました。大家族同居の形態は慣行化され、白川郷の人々が養蚕（カイコの飼育）を主な生活手段としていた明治時代（1868-1912）に更に発展しました。養蚕は手間のかかる仕事であるため、家長は子供たちや孫たちを一家に留めて労働力にしようとしていました。

【タイトル】 白川村の産業

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白川村の产业

今日の白川村，95%以上の土地都是山地，不适合种植水稻或其他常见粮食作物。过去，本地人主要依靠种植能在庄川流域的山地上生长的作物谋生。桑叶收下来可以养蚕，艾草可以用于制造火硝（硝酸钾，火药的主要成分）。林业及关联产品的销售也是本地村民的收入来源之一，如收割可用于制漆的漆树汁等。1898 年以来的相关记录显示，白川乡向富山县售出的主要产品是各类生丝，其次是木材和谷物，而自外地购入的产品则包括大量的稻米、棉布、海鲜、盐和清酒。19 世纪 80 年代晚期，日本开始从智利进口廉价的火硝替代品，导致白川乡传统主力产品火硝的需求量大幅度下跌。尽管如此，1898 年的本地账目依然显示为贸易顺差，由此可见，白川乡在当时的日本是相对繁荣的地区之一。

<繁体字>

白川村の産業

今日の白川村，95%以上都是山地，不適合種植水稻或其他常見的糧食作物。當地人過去主要依靠種植能在庄川流域山地上生長的作物謀生。桑葉收下來可以養蠶，艾草可以用於製造火硝（硝酸鉀，火藥的主要成分）。林業及關聯產品的銷售也是當地村民的收入來源之一，如收割可用於製漆的漆樹汁。1898 年以來的相關記錄顯示，白川鄉向富山縣售出的主要產品是各類生絲，其次是木材和穀物，而自外地購入的產品中包括大量的稻米、棉布、海鮮、鹽和清酒。19 世紀 80 年代晚期，日本開始從智利進口廉價的火硝替代品，導致白川鄉的傳統主力產品火硝的需求量大幅度下跌。儘管如此，1898 年的當地帳目依然顯示為貿易黑字，由此可見，白川鄉是當時日本相對繁榮的一個地區。

<日本語仮訳>

白川村の産業

現在の白川村は、土地の 95%以上は山地で、米やその他の代表的な主要穀物の栽培には適していません。地元の人々は、伝統的に庄川流域の斜面で育てられる植物の栽培に頼った産

業を中心に生計を立てていました。桑の葉は養蚕のために、ヨモギは火薬の主原料となる焰硝を生産するために収穫されました。また、村人たちは林業や、漆の原料となるウルシの樹液などの林業関連の商品の取引で生活していました。1898年からの記録では、白川から富山県へ販売された品物は主に生糸の類、次いで木材、穀物で、ほかの場所から大量に持ち込まれた品は米、綿織物、魚介類、塩、酒などであったことがわかります。白川郷にとって伝統的に重要な製品であった焰硝の需要は、1880年代後半に日本がチリから安価な代替品を輸入するようになってから激減しました。それにもかかわらず、1898年の帳簿では取引の収支が黒字になっており、当時の白川郷が比較的繁栄していた地域であったことがわかります。

【タイトル】 白川郷での養蚕

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白川郷的蠶絲產業

史料显示，到18世纪中期时，庄川沿岸各村庄便以蚕丝产业闻名整个飞驒地区（“驛”音同“駝”，今岐阜县北部区域）了。白川郷常常出现在这类记录中，可见它当时已经作为生丝的主要产区之一，赢得了一定的声誉。这份声誉来自白川郷蚕丝的高品质，它在飞驒地区和日本海沿岸强大的加贺藩（今富山县和石川县）一带都是非常受欢迎的商品。

<繁体字>

白川郷的蠶絲產業

史料顯示，到18世紀中期時，庄川沿岸各村莊便以蠶絲產業聞名整個飛驒地區（「驛」音同「駝」，今岐阜縣北部區域）。白川郷常常出現在這類記錄中，可見此地在當時已經以生絲主要產區的身份累積了一定的名聲。這份聲譽來自白川郷的高品質蠶絲，在飛驒地區和日本海沿岸強大的加賀藩（今富山縣和石川縣）一帶都是非常受歡迎的商品。

<日本語仮訳>

白川郷での養蚕

記録によると、18世紀中頃までには、庄川沿いの村々は、飛驒地方（現在の岐阜県北部）において養蚕で知られるようになっていました。こうした記録には白川郷が頻繁に登場しており、その時期までに生糸の一大産地として名を馳せるようになっていたことがうかがえます。その名が知られていたのは白川郷の絹の品質の高さによるもので、飛驒や日本海沿岸の有力な加賀藩（現在の富山県、石川県）において需要の高い商品となっていました。

【タイトル】 養蚕による繁栄

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

蚕丝产业的繁荣

自江戸時代(1603-1867)以後、白川郷居民の主要現金収入基本都来自于養蚕繅絲和火硝生產。特別是從江戸時代末期到明治時代(1868-1912)晚期之間，日本成為了重要的生絲出口國，產品需求迅速增長，蚕丝产业随之发展为白川郷の支柱产业。1870年以来的相关记录显示，在如今白川村所轄区域内，居民平均每户每年能够产出 65 公斤生絲，產量高居飛驒（音同“駝”）一帶所有地区之首。遠山家は白川地区生産力最強の家族之一，最高峰時，一個春季就能產出 375 公斤生絲。

<繁体字>

蠶絲產業的繁榮

自江戸時代（1603-1867）以後，白川郷居民的主要現金收入基本都來自於養蠶繅絲和火硝生產。特別是江戸時代末期到明治時代（1868-1912）晚期之間，日本成為重要的生絲出口國，產品需求迅速增長，因此生絲生產也成為了白川郷的主要產業。1870年以來的記錄顯示，在如今白川村所轄區域內，居民平均每户每年能夠產出 65 公斤生絲，產量高出飛驒（音同「駝」）一帶的任何地區。遠山家は白川地區生産力最強の家族之一，最高峰時單單一個春季就能產出 375 公斤生絲。

<日本語仮訳>

養蚕による繁栄

江戸時代（1603-1867）以降、白川郷の人々は、主に養蚕と火硝の生産で通貨を獲得していました。特に幕末から明治時代（1868-1912）後期にかけて、日本が生糸の一大輸出国となり、需要が急増したことから、養蚕は地域の特に重要な産業となりました。1870年からの記録によると、現在の白川村にある集落では、1世帯あたり年間平均 65kg の絹が生産されており、これは飛驒地方周辺のどの地域よりも多いものでした。白川でも有数の生産量を誇っていたうちのひとつである遠山家では、最盛期には、一度の春だけで 375kg もの生糸を生産していました。

【タイトル】 白川郷における火硝の生産

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白川乡的火硝生产

白川乡的传统支柱产业之一是火硝（硝酸钾）生产，而火硝是制作火药不可或缺的原材料。本地火硝生产技术来自邻近的五箇山地区，自 1543 年欧洲火枪传入日本后，五箇山地区的火硝产业就呈现出了急剧增长的态势。白川乡的村民们在自家“围炉里”（用以烹饪和取暖的地炉）附近向下挖出一个 2 米左右的深坑，用于制造火硝。村民们将粗成品出售给在白川乡被称为“上煮屋”的 3 家精炼厂中的其中一家，由拥有生产许可的精炼厂将粗成品进一步提炼为火硝结晶。

精炼厂将火硝成品卖给各藩和相关经销商，销路远至大阪。最大的买家是日本海沿岸地区最有权势的加贺藩（今富山县和石川县），最多时，该藩能包揽白川乡火硝总产量的一半。有商人获得了与加贺藩藩主的专属交易权，借此积累下可观的财富，到 1788 年时，便已经有足够的财力建造出整个白川乡内最大、最豪华的宅邸。

火硝产业的繁荣只延续到了明治时代(1868-1912)，来自智利的廉价替代品在这一时期被引入日本，直接导致了本地产业的衰落。

<繁体字>

白川郷的火硝生產

白川郷的主要傳統產業之一，就是生產火藥的主要成分之一，火硝（硝酸鉀）。相關生產技術來自鄰近的五箇山地區，該地區的火硝產業自 1543 年歐洲火槍傳入日本後就呈現出了急劇增長的趨勢。白川郷的村民們在自家「圍爐裏」（用以烹飪和取暖的地爐）附近的地下挖出一個大約 2 公尺的深坑，用於製造火硝。村民們把粗成品出售給白川郷 3 家擁有生產許可、被稱為「上煮屋」的精煉廠中的一家。粗成品在工廠進一步被提煉為火硝結晶。

精煉廠將火硝成品賣給各藩和相關經銷商，銷路遠至大阪。他們最大的客戶是日本海沿岸地區最有權勢的加賀藩（今富山縣和石川縣），最多時能包攬白川郷火硝總產量的一半。有位商人得到了與加賀藩藩主的專屬交易權，藉此積累下可觀的財富，到 1788 年時，已經有足夠的財力建造出整個白川郷內最大、最豪華的宅邸。

火硝産業的繁榮只延續到了明治時代（1868-1912），來自智利的廉價替代品在這一時期被引入日本，直接導致了當地産業的沒落。

<日本語仮訳>

白川郷における焰硝の生産

白川郷の伝統的な主要産業の一つは、火薬に不可欠な原料となる焰硝（硝酸カリウム）を生産することでした。必要となる技術は、1543年にヨーロッパから火縄銃が伝来してから焰硝製造業が飛躍的に発展した近隣の五箇山から伝わりました。村人たちは、家の「囲炉裏」（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）の近くにある深さ2メートルほどの穴で焰硝を作り、その粗生成物を白川郷に3つあった認可を受けた「上煮屋」の1つに売っていました。焰硝の結晶への精製はそうした上煮屋で行われました。

上煮屋は、遠くは大阪まで、数々の藩や商人と焰硝の取引を行っていました。最大の取引先は日本海沿岸の有力な加賀藩（現在の富山県、石川県）で、最も多い時には白川郷で生産される焰硝の半分以上を購入していました。加賀藩の当主と独占的に取引を行うことを認められていたある商家は、1788年には当時の白川郷で最大の豪邸を建てられるほどの財力を蓄えていました。

チリから安価な代替品が輸入され、地元での生産量が減少する明治時代（1868-1912）まで焰硝産業が栄えていました。

【タイトル】合掌造りの家での養蚕と火硝の生産

【想定媒体】WEB

<簡体字>

合掌造民居里的蚕丝产业与火硝制造

庄川流域气候严寒，春季降温尤其剧烈。这样的气候条件原本并不适合养蚕，因为桑蚕对于寒冷和潮湿都十分敏感。尽管先天条件不利，白川乡的养蚕缫丝业依旧得以繁荣发展，这在很大程度上得益于本地区的传统“合掌造”民居。典型的合掌造民居内有宽敞的多层阁楼，开在山墙端的多扇窗户为阁楼内部提供了充足的光照和空气流通，使之拥有良好的采光与通风性能。此外，一楼室内的“围炉里”（用以烹饪和取暖的地炉）散发出的煤烟与热气透过被称为“簀子”的格子天花板上升，确保阁楼空间温暖干燥。因此，合掌造民居的阁楼便成为了理想的养蚕场所。

合掌造民居也同样适合制造火硝，直到明治时代(1868-1912)，它一直是白川乡的另一大主要产业。人们在靠近围炉里的地方垂直向下挖掘一个火硝坑，往坑内层层堆积稻草、泥土、艾草、蚕粪和人类尿液等原材料，等待它们发酵。随着时间推移，在细菌引发的硝化作用下，土壤中便会生成火硝的粗成品——硝酸钙。

远山家的火硝坑至今仍在屋内的地面下保存完好。大门旁有一个木桶，用于存放尿液，以备在合适的时候倒入坑中，加快发酵进程。

<繁体字>

合掌造民居裡的蠶絲產業與火硝製造

庄川流域氣候嚴寒，春季氣溫驟降明顯。這樣的氣候條件原本並不適合養蠶，因為桑蠶對於寒冷和潮濕都十分敏感。然而，儘管先天條件不利，白川鄉的養蠶繅絲業依舊發展得繁榮興旺，這在很大程度上得益於該地區的傳統「合掌造」民居。典型的合掌造民居內有寬敞的多層閣樓，開在山牆端的多扇窗戶讓閣樓內有充足的陽光和空氣，所以閣樓的採光通風性能良好；與此同時，一樓室內的「圍爐裏」（用以烹飪和取暖的地爐）散發出的煤煙與熱氣，透過被叫做「簀子」的格子天花板上升，確保閣樓內溫暖乾燥。因此，合掌造民居的閣樓便成為了理想的養蠶場所。

此外，合掌造民居也同樣適合製造火硝，直到明治時代（1868-1912），它一直是白川鄉的另一大主要產業。人們在靠近圍爐裏的地方垂直向下挖掘一個火硝坑，往裡面層層

堆積包括稻草、泥土、艾草、蠶糞和人類尿液等原材料，等待它們發酵。隨著時間推移，在細菌引發的硝化作用下，土壤中便會生成硝酸鈣。

遠山家在屋內的地面下的火硝坑至今仍保存完好。大門旁有一個木桶，用於存放尿液，以備在合適的時機加入坑中，加快發酵進程。

<日本語仮訳>

合掌造りの家での養蚕と焰硝の生産

庄川流域の厳しい気候は、特に春になると急激に気温が下がるという特徴があり、蚕は寒さや湿気に弱いことから、養蚕には向いていません。このような悪条件にもかかわらず、白川郷で養蚕業が盛んになったのは、伝統的な「合掌造り」の家のおかげでした。典型的な合掌造りの家は、広々とした複数の階層から成る屋根裏部屋を備えています。妻壁の窓から日差しや風が入るため、屋根裏部屋は採光性と通気性に優れ、「囲炉裏」（屋内の床に設置する炊事兼暖房用の炉）から「簀の子」と呼ばれる格子天井まで立ち上る熱や煙で温かく乾燥した状態に保たれています。これらの要因が相まって、屋根裏は蚕を育てるのに理想的な場所となりました。

合掌造りの家は、明治時代（1868-1912）まで白川郷のもう一つの主要産業であった焰硝の製造にも適していました。囲炉裏の近くに掘った穴を、藁、土、ヨモギ、蚕の排泄物、人の尿などを混ぜたもので満たし、そのまま発酵させました。時間の経過とともに、バクテリアの硝化によって土の中に硝酸カルシウムが形成されるのです。

この家の下には、遠山家が焰硝を製造していた穴がそのまま残っています。入口の横には、発酵を促すために穴に散布するまでの間、尿を貯めておいた樽があります。

【タイトル】 大家族に関する調査

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

有关大家庭生活制度的研究

所谓“大家庭制度”，即整个大家庭同住在一个屋檐下。这种生活方式在白川乡的部分地区曾经十分普遍，不过该制度引起学者关注，还是在进入明治时代(1868-1912)以后。

1888年，一名京都大学的人类学者发表了一篇有关白川村民公共生活方式的论文，文中将这种生活方式描述为一种奇风异俗，迅速引发了大众的兴趣。研究者和新闻记者纷纷从日本全国各地赶到白川，只为一睹他们心目中古怪的家庭制度，却几乎没有人尝试探讨这种体系制度的由来或意义。

第一位对白川大家庭制度做出缜密学术研究的，是经济史学者本庄荣治郎(1888-1973)。他在1911年的一项研究中阐述了这一制度的起源、组织结构、目的与意义，并结合当时不断发展变化的世界环境，对它的前景做出了预测。本庄荣治郎的多项调研结论都基于他对这栋远山家住宅的观察。他的工作为后续有关大家庭制度的研究奠定了基础，引导人们开始理解，这其实是一种因应白川地区社会及自然环境条件而形成的合理机制。

<繁体字>

有關大家庭生活制度的研究

「大家庭制度」，即整個大家庭同住了一個屋檐下，這種生活方式在白川鄉的部分地區曾經十分普遍，但直到明治時代（1868-1912），該制度才開始引起學者的關注。

1888年，一名京都大學的人類學者發表了一篇有關白川村民公共生活方式的論文，文中將這種生活方式描述為一種奇風異俗，迅速引發了大眾的興趣。研究者和新聞記者紛紛從日本全國各地趕到白川，只為一睹他們心目中古怪的家庭制度，卻幾乎沒有人嘗試探討這種體系制度的由來或意義。

第一位對白川大家庭制度做出縝密學術研究的，是經濟史學者本庄榮治郎（1888-1973）。他在1911年的一項研究中闡述了這一制度的起源、組織結構、目的與意義，並結合當時不斷發展變化的世界環境對大家庭的前景做出了預測。本庄榮治郎的多項調研結論，都基於他對這棟遠山家住宅的觀察。他的工作為後續有關大家庭制度的研究奠定了基礎，並讓人們漸漸開始理解，該制度是一種因應白川地區社會及自然環境條件而自然形成的合

理機制。

<日本語仮訳>

大家族に関する調査

白川郷の一部でかつて一般的であったひとつ屋根の下に暮らす大家族制が、明治時代（1868-1912）になって研究者の注目を集めるようになりました。

1888年、京都大学の人類学者が白川村人の共同生活についての論文を発表したことをきっかけに、その人類学者が変わっていて珍しいと記述した風習への関心が急速に高まってきました。日本中の研究者や記者が白川に足を運び、特殊であるとみなした家族制度を観察しましたが、その起源や目的を理解しようとする人はほとんどいませんでした。

白川の大家族について厳密な調査を行った最初の研究者は、経済史学者の本庄栄治郎（1888-1973）でした。彼は1911年の研究論文で、その成り立ち、組織、目的、変化する世界の中での展望を述べています。本庄は、この家に住んでいた遠山家の観察に基づいて、多くの結論を出しています。彼の研究は、その後の大家族制の研究の基礎となり、そうした大家族制は白川地域の社会的・環境的条件によって形成された合理的な仕組みとして理解されるようになりました。

【タイトル】 白川村の大家族の特徴

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白川村大家庭の特徴

白川对典型的大家庭并没有严格的定义，各村的家庭规模和具体的生活安排都有一定的差异。但一般来说，在一个典型的大家庭里，大家长就是家主，他与妻子以及包括家业继承人一家在内的所有子女住在一起。女儿婚后仍留在家里，她们的丈夫会定期上门探望。没有继承权的儿子也是如此，需要定期到村里妻子的娘家探望他们的妻子。女儿的孩子也由娘家家主抚养。

<繁体字>

白川村の大家庭の特徴

白川對於大家庭的構成並沒有嚴格的定義，因為無論家庭規模還是具體的日常生活安排，每個村莊都多少有些不同。但一般來說，每一個典型的大家庭都由一名家主統領，他與妻子及所有子女共同生活，其中包括家業繼承人一家。女兒們結婚之後也依然留在家中，丈夫會定期上門探望。沒有家業繼承權的兒子們也一樣，他們要定期去探訪住在同村裡別處的妻子。女兒生下的孩子也由娘家家主負責撫養長大。

<日本語仮訳>

白川村の大家族の特徴

村によって家族の規模や具体的な生活様式が多少異なるため、白川の典型的な大家族とはどんなものかという厳密な定義はありません。そうとはいえ、典型的な大家族では家長が中心となり、家長の妻、後継者とその家族、そして他の子供たちが同居していました。娘たちは結婚後も家に残り、夫が定期的に妻のもとを訪れていました。後継者ではない息子たちも同様に、村内の他の場所にいる妻のもとを訪れていました。その家の娘に生まれた子供は、家長が育てました。

【タイトル】 養蚕と女性の労働力

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

养蚕与女性劳作

在白川乡，养蚕和缫丝都是典型的劳动密集型工作，尤其依赖女性劳动力。由于庄川流域缺乏耕地，供应桑蚕食料的桑树只能种植在半山腰的若干零散土地上，且土地彼此相距较远。除了采摘桑叶之外，将生丝从蚕茧中抽出的缫丝工程也需要大量的劳动力投入。这项单调、劳累的工作主要由女性承担。每年7月到9月，她们每天都要从清晨一直忙碌到傍晚，有时甚至在夜幕降临之后还要再点上一盏油灯继续劳作。就远山家而言，缫丝最初完全是手工操作，直到19世纪晚期才部分实现了机械化。缫丝机被放置在主屋旁的一间棚屋里，由水车驱动，棚屋内可容纳八名女性肩并肩工作。鉴于女性在蚕丝产业中的重要性，一家之主通常都希望将儿孙辈里的女性留在家里，由此形成了本地独特的婚姻制度——丈夫定期造访岳家探望妻子，而不是与妻子共筑新家庭。

<繁体字>

養蠶與女性勞作

在白川鄉，養蠶和繅絲都是典型的勞動力密集型工作，尤其依賴女性勞動力。由於庄川流域耕地不足，桑蠶的食物——桑樹只能種在山坡的若干零散土地上，且土地彼此相距較遠。除了採摘桑葉之外，將生絲從蠶繭中抽出來的繅絲環節也需要大量的勞動力投入，這項單調、勞累的工作主要由女性承擔。每年7月到9月，她們每日從清晨忙碌到傍晚，有時甚至在夜幕降臨之後還要再點上一盞油燈繼續勞作。就遠山家而言，繅絲最初完全依靠手工處理完成，直到19世紀晚期才部分實現了機械化。繅絲機被放置在主屋旁的一個棚屋裡，由水車驅動，棚屋內可容納八名女性肩並肩工作。女性承擔了蠶絲產業中的大量工作，因此，一家之長傾向於將兒孫輩裡的女性後代都留在家中工作，從而形成了當地獨特的婚姻制度——丈夫定期造訪岳家探望妻子，而不是與妻子一起獨立門戶。

<日本語仮訳>

養蚕と女性の労働力

白川郷の養蚕と生糸の製糸はたくさんの人手を要する作業で、中でも女性の労働力に頼っていました。庄川流域の耕地不足から、蚕の餌となる桑は山の中腹で栽培され、それぞれの場所が離れた複数の狭い区画で栽培されることも少なくありませんでした。桑の葉の収穫だけでなく、繭から生糸をほぐす繰糸の作業にも多くの労働力が必要でした。この単調で骨の折れる仕事は、通常7月から9月にかけて、毎日早朝から夕方まで、時には日暮れを過ぎてから石油ランプの灯りのもとで行われ、主に女性によって担われていました。遠山家では、繰糸は当初、完全な手作業でしたが、1800年代後半に一部機械化されました。母屋の隣にある小屋には、水車を動力とする繰糸機が置かれ、女性8人が並んで作業するスペースがありました。養蚕における女性の労働の重要性から、家長は女性の子供や孫を手元に置いて家で働かせることになり、結果として独立した家に夫婦が同居せずに夫が実家に住む妻を訪問する婚姻制度が生まれたのです。

【タイトル】 大家族での暮らし

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

大家庭中的生活

和 19 世纪晚期那些哗众取宠的猎奇文章里所写的不同，大家庭制度是建立在必要性而非强制性的基础之上的，每位家庭成员依然拥有一定的个人自由空间。通常，组成大家庭的所有小家庭都享有每周一天的休息时间，也有的会像远山家那样，每五天休息一天。每逢休息天，小家庭的所有成员都可以暂且放下日常职责，或夫妻、孩子相互陪伴，或去照看一下分配给自己的小块田地。私留地的庄稼收成由大家长统一收购，小家庭以此换得属于自己的收入。不过，轮休的小家庭在休息天必须自行准备餐食，大家长不负责供餐。远山家至今保留着当年这一制度下大家长统购农作物的账本，里面记录了从 1851 年到 1891 年之间的购买明细。从中可以得知，除了大家长之外，当时大家庭中的所有成年人都会从事这样的私留地耕作，通常种植稗子、黄豆、稻米、栗子、荞麦、桑叶等农作物。

<繁体字>

大家庭中的生活

和 19 世纪晚期那些譁眾取寵的獵奇文章裡所寫的不同，大家庭制度是建立在必要性而非強制性的基礎之上，每一位家庭成員依然擁有一定的個人自由空間。通常，大家庭中的每一個小家庭每週都能休息一天（或者像遠山家那樣，每五天休息一天）。在這一天，他們可以暫且放下日常的職責，或夫妻、孩子相互陪伴，或去照看一下分配給自己的小塊田地。他們種出的農作物都賣給大家長，以換得一些屬於小家庭的私人收入。不過小家庭在休息日必須自行準備餐點，因為這一天大家長不會為他們供餐。遠山家至今保留著當年實施這一制度時大家長購買農作物的帳本，裡面留有從 1851 年到 1891 年之間的購買記錄。從中可以看出，除了大家長之外，家庭中所有成年人都會從事這樣的私人耕作，通常種植稗草、黃豆、稻米、栗子、蕎麥、桑葉等作物。

<日本語仮訳>

大家族での暮らし

1800年代後半の煽るような文章に書かれていたことと違い、大家族制は強制ではなく必要性に基づいて構築されたもので、ある程度の個人の自由がありました。週に1日（または遠山家のように5日に1回）、大家族の中の核家族には、通常の務めを休むことが認められていました。そんな日には、夫婦や子供たちが一緒に過ごしたり、自分たちのために割り当てられた小さな畑で作業をしたりすることができました。彼らが生産した作物はすべて家長によって購入され、核家族独自の収入となりました。一方、核家族は、休みの日には大家族制の家族からは食事が提供されないため、自前で食材を調達して調理しなければなりませんでした。遠山家では、この制度で家長が購入した作物の記録を残していました。1851年から1891年までの期間を記録したもので、家長を除く家の大人全員が、ヒエ、大豆、米、粟、ソバ、桑の葉などを栽培し、こうした個人のための農業を行っていたことがわかります。

| | | | |
|------|-----|------|---------------------|
| 地域番号 | 006 | 協議会名 | 湖信会（滋賀県大津市 大津湖都十社寺） |
|------|-----|------|---------------------|

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名（タイトル） | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|--------------|--------|--------|
| 006-001 | 三井寺 | 925 | WEB |
| 006-002 | 三井寺 | 305 | パンフレット |
| 006-003 | 石山寺 | 955 | WEB |
| 006-004 | 石山寺 | 375 | パンフレット |
| 006-005 | 建部大社 | 430 | WEB |
| 006-006 | 建部大社 | 295 | パンフレット |
| 006-007 | 日吉大社 | 640 | WEB |
| 006-008 | 日吉大社 | 370 | パンフレット |
| 006-009 | 西教寺 | 775 | WEB |
| 006-010 | 西教寺 | 295 | パンフレット |
| 006-011 | 近江神宮 | 645 | WEB |
| 006-012 | 近江神宮 | 375 | パンフレット |
| 006-013 | 延暦寺 | 955 | WEB |
| 006-014 | 延暦寺 | 415 | パンフレット |
| 006-015 | 立木観音（立木山安養寺） | 550 | WEB |
| 006-016 | 立木観音（立木山安養寺） | 315 | パンフレット |
| 006-017 | 岩間寺 | 680 | WEB |
| 006-018 | 岩間寺 | 360 | パンフレット |
| 006-019 | 浮御堂 | 580 | WEB |
| 006-020 | 浮御堂 | 380 | パンフレット |
| 006-021 | 瀬田の唐橋 | 520 | WEB |
| 006-022 | 旧竹林院 | 450 | WEB |
| 006-023 | 琵琶湖疏水 | 580 | WEB |
| 006-024 | びわ湖パレイ | 430 | WEB |
| 006-025 | 大津市歴史博物館 | 340 | WEB |
| 006-026 | 鮒寿司 | 575 | WEB |
| 006-027 | しじみ飯 | 345 | WEB |
| 006-028 | 坂本蕎麦 | 570 | WEB |
| 006-029 | 落雁 | 480 | WEB |
| 006-030 | 大津絵 | 580 | WEB |
| 006-031 | 穴太衆 | 575 | WEB |
| 006-032 | 船幸祭 | 390 | WEB |
| 006-033 | 大津祭 | 490 | WEB |
| 006-034 | 山王祭 | 510 | WEB |
| 006-035 | 大津百町 | 405 | WEB |

| | | | |
|---------|---------------|-----|-----|
| 006-036 | 坂本エリア | 395 | WEB |
| 006-037 | 堅田エリア | 410 | WEB |
| 006-038 | 近江八景：概要 | 700 | WEB |
| 006-039 | 近江八景：石山秋月 | 260 | WEB |
| 006-040 | 近江八景：瀬田夕照 | 310 | WEB |
| 006-041 | 近江八景：粟津晴嵐 | 305 | WEB |
| 006-042 | 近江八景：矢橋帰帆 | 335 | WEB |
| 006-043 | 近江八景：三井晩鐘 | 325 | WEB |
| 006-044 | 近江八景：唐崎夜雨 | 345 | WEB |
| 006-045 | 近江八景：堅田落雁 | 305 | WEB |
| 006-046 | 近江八景：比良暮雪 | 320 | WEB |
| 006-047 | 大津市の概要 | 480 | WEB |
| 006-048 | 東海道の宿場町としての大津 | 495 | WEB |
| 006-049 | 大津と京都の関係 | 340 | WEB |
| 006-050 | 大津の芭蕉 | 560 | WEB |

006-001

湖信会（滋賀県大津市 大津湖都十社寺）

【タイトル】 三井寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

三井寺

三井寺是天台寺门宗的总本山（总部），位于大津市与京都边界的长等山脚下。

弘文天皇(648-672)之子“大友与多王”于 672 年建造了这座寺院，取名“园城寺”，以悼念亡父。200 年后，长吏圆珍（814-891；长吏，相当于住持）将其改名为“三井寺”，10 世纪时，这里成为了天台寺门宗寺院。

三井寺在战乱中多次被焚毁，却总是一次次重建，因此被称为“不死鸟之寺”。在约 1.21 平方公里的土地上，以光净院客殿为首的 4 座建筑物被指定为国宝，8 座被指定为国家重要文化财产。此外，在雕刻、绘画等方面，寺院拥有国宝 6 件，国家指定重要文化财产 34 件。值得一提的是，三井寺的国宝数量位居日本第九。

大门（仁王门）是国家指定重要文化财产之一，建于 1452 年，在 1601 年三井寺重建时才迁到本寺。气势宏伟的两层木门楼采用传统的“扁柏皮葺”人字形屋顶，两胁配以两尊建于 1457 年的仁王像（金刚力士像）。

巨大的木造金堂（大雄宝殿）建于 1599 年，被指定为国宝。金堂前的钟楼建于 1602 年，是国家指定重要文化财产。它与普通钟楼的不同之处在于悬山顶和木柱打造的格子结构，更富于装饰性。钟楼里悬挂着的梵钟对应着著名的“近江八景”之一“三井晚钟”。“近江八景”是指近江国（今滋贺县）中 8 个历史悠久的风景名胜，它们经常被作为诗歌和艺术的题材。

寺院内最有特色的建筑是室町时代(1336-1573)的“一切经藏”（藏经阁）。这座禅宗风格的建筑里有一个放佛经的八角形书架——“八角轮藏”，发明于中国。尽管轮藏巨大，装满了一整套完整的佛经，但只需一位僧人就能转动它。

三井寺的许多其他宝物都收藏在现代化文化财产仓库中，包括可追溯到 9 世纪的雕像、幕府将军的签名卷轴、以及国宝劝学院中代表安土桃山时代(1568-1603)的艺术家狩野光信(1565-1608)所作的 39 幅屏风画。这些屏风画中有 15 幅是华丽壮观的金箔屏风，堪称典范之作。

三井寺以春季樱花盛开的美景，以及可一览大津市中心和琵琶湖全景而闻名。位于高地上的观音堂前是最佳观景点，可以俯瞰湖景。这里也是日本关西地区“西国三十三所”观音巡礼中的一处。

风情万般的环境和建筑，令三井寺成为了许多电视剧和电影作品的外景拍摄地，比如电影《浪客剑心》。

<繁体字>

三井寺

三井寺是天台寺門宗的總本山（總部），位於天津市和京都天然分界線的長等山腳下。

弘文天皇（648-672）之子大友與多王於 672 年建造了這座寺院，取名「園城寺」，以悼念亡父。200 年後，長吏圓珍（814-891；長吏，相當於住持）將其改名為「三井寺」，10 世紀時，這裡成為天台寺門宗寺院。

三井寺在戰亂中多次被焚毀，卻總能一次次重建，因此被稱為「不死鳥之寺」。在約 1.21 平方公里的土地上，以光淨院客殿為首的 4 座建築物被指定為國寶，8 座被指定為國家重要文化財產。此外，在雕刻、繪畫等方面，寺院擁有國寶 6 件，國家指定重要文化財產 34 件。值得一提的是三井寺的國寶數量眾多，位居日本第九。

大門（仁王門）是國家指定重要文化財產之一，建於 1452 年，在 1601 年三井寺重建時才遷到這裡。氣勢宏偉的兩層木門樓採用傳統的「扁柏皮葺」人字形屋頂，兩肋配以兩尊建於 1457 年的仁王像（金剛力士像）。

巨大的木造金堂（大雄寶殿）建於 1599 年，也被指定為國寶。金堂前的鐘樓建於 1602 年，是國家指定重要文化財產。與普通鐘樓的不同，其懸山頂和木柱打造的格子結構更富於裝飾性。鐘樓裡懸掛著的梵鐘對應著著名的「近江八景」之一「三井晚鐘」。「近江八景」是近江國（今滋賀縣）中 8 個歷史悠久的風景名勝，常被詩歌和藝術作為創作題材。

寺院內最具特色的建築是室町時代（1336-1573）的「一切經藏」（藏經閣）。禪宗風格的建築裡有一個存放佛經的八角形「八角輪藏」，這種書架發明於中國。儘管輪藏巨大，裝滿了一整套完整的佛經，但只需一位僧人就能轉動。

三井寺其他許多的寶物都收藏在現代化文化財產倉庫中，包括可追溯到 9 世紀的雕像、幕府將軍的簽名卷軸，以及國寶勸學院中安土桃山時代（1568-1603）的代表藝術家狩野光信（1565-1608）所作的 39 幅屏風畫。其中 15 幅是華麗壯觀的金箔屏風，堪稱典範之作。

三井寺憑藉春季櫻花盛開之美景，以及可一覽天津市中心和琵琶湖全景而聞名。位於高地上的觀音堂前是最佳觀景點，可以俯瞰湖景。這裡也是日本關西地區「西國三十三所」觀音巡禮中的一處。

風情萬般的環境和建築，令三井寺成為了許多電視劇和電影作品的外景拍攝地，比如電影《浪客劍心》。

<日本語仮訳>

三井寺

三井寺は天台寺門宗の総本山で、大津市と京都の境にある長等山の麓にあります。

この寺院は 672 年に、大津京の滅亡をともした弘文天皇（648-672）の皇子、大友与多王が亡き父の菩提を弔うために「園城寺」として創建しました。200 年後に長吏・円珍（814-891、長吏とは寺院首席のこと）が延暦寺の別院となし、「三井寺」と呼ばれるようになり、10 世紀には天台寺門宗の寺院となりました。

三井寺は歴史を通じて何度か戦乱により何度も焼失しましたが、そのたびに再建され、不死鳥の寺と呼ばれています。約 1.21 平方キロメートルの境内には、国宝光浄院客殿をはじめ、国宝 4 棟、重要文化財 8 棟があります。そのほか三井寺には彫像、絵画など 6 件の国宝と 34 件の重要文化財があり、特に国宝については、国内では 9 番目の数の多さとなります。

国の重要文化財の一つは大門で、1452 年に建造され、1601 年の寺院再建時に三井寺に移されました。堂々たる 2 階建ての木造の門は、伝統的な檜皮葺の入母屋造の屋根をしており、1457 年にまで遡る守護神たる 2 体の仁王像が安置されています。

広大な木造の金堂は 1599 年に建てられたもので、国宝に指定されています。金堂の前の 1602 年に建てられた鐘楼は、もうひとつの国の重要文化財です。切妻屋根に格子というその構造は、通常の鐘楼よりも装飾の要素を高めています。内部には、近江八景の一つに見られる有名な「三井の晩鐘」が吊られています。近江八景は近江国（現在の滋賀県）の美しい景観を選定した伝統あるもので、詩歌や美術の主題として人気が高まりました。

境内の最も特徴ある建物に数えられるものに、室町時代（1336-1573）に建造された一切経蔵があります。この禅様式の建物には、中国で発明された、経典の収納棚を八角形型に配置した八角輪蔵があります。一切経が収納された輪蔵は、その大きさにもかかわらず、僧 1 人で回転させることができます。

三井寺のその他の宝物の多くは、現代的な文化財収蔵庫に収められています。また、文化財収蔵庫では、9 世紀に制作された彫像、かつての将軍たちの署名がなされた巻物や、国宝勸学院にある桃山時代を代表する絵師狩野光信（1565-1608）作の 39 枚の襖絵が展示されています。その襖絵のうち金地著色の 15 枚は非常に華麗なものであり、彼の代表作でもあります。

三井寺は、春の時期の桜の花咲く境内の美しさや、大津市中心部と琵琶湖を一望できる眺めで有名です。最高の眺望ポイントは、湖を見下ろす高台にある観音堂の前です。観音堂は、西日本の関西エリアにある「西国三十三所」観音巡礼の一つにもなっています。

風情ある境内と伽藍は、『るろうに剣心』など数多くのドラマや映画作品のロケ地として活用されています。

【タイトル】 三井寺

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**三井寺**

弘文天皇(648-672)之子“大友与多王”为悼念亡父，于 672 年建造了这座寺院。三井寺在历史上多次被毁又多次重建，因此被称为“不死鸟之寺”。在约 1.21 平方公里的土地上共有 40 座重要建筑。包括几处建筑在内，三井寺一共拥有 10 件国宝和 42 件国家指定重要文化财产。三井寺的许多宝物都收藏在现代化文化财产仓库中，藏品中有一套共 15 幅的金箔屏风画。

寺院大门（仁王门）是国家指定重要文化财产之一，建于 1452 年，在 1601 年三井寺重建时才迁至本寺。寺内还有其他诸多值得关注的建筑，例如：拥有宽大悬山顶的钟楼，使用传统八角形“轮藏”来收藏经书的“一切经藏”（藏经阁），以及高地之上可俯瞰琵琶湖和大津市中心的观音堂。

<繁体字>**三井寺**

弘文天皇（648–672）之子「大友與多王」為悼念亡父，於 672 年建造了這座寺院。三井寺在歷史上多次被毀又多次重建，也因此被稱為「不死鳥之寺」。在約 1.21 平方公里的土地上共有 40 座重要建築，包括其中幾處建築在內，三井寺一共擁有 10 件國寶和 42 件國家指定重要文化財產。三井寺的許多寶物都收藏在現代建立的文化財產倉庫中，藏品中有一套共 15 幅的金箔屏風畫。

寺院大門（仁王門）是國家指定重要文化財產之一，建於 1452 年，在 1601 年三井寺重建時才遷至本寺。其他值得關注的建築還包括：擁有寬大懸山頂的鐘樓，使用傳統八角形「輪藏」來收藏經書的「一切經藏」（藏經閣），以及高地之上可俯瞰琵琶湖和大津市中心的觀音堂。

<日本語仮訳>**三井寺**

672年に、弘文天皇（648-672）の皇子、大友与多王が亡き父の菩提を弔うために創建しました。この寺院は歴史を通じて何度か破壊されましたが、そのたびに再建され、「不死鳥の寺」としても知られています。約1.21平方キロメートルの境内には重要な建物が40棟あります。そのいくつかを含め、三井寺には国宝の指定を受けたものが10件、重要文化財が42件あります。三井寺の宝物の多くは現代的な文化財収蔵庫に収められており、そのなかには金地著色の15枚の障壁画も含まれます。

国の重要文化財の一つは大門（仁王門）で、1452年に建造され、1601年の寺院再建時に三井寺に移されました。特に注目に値する他の建物としては、切妻屋根の鐘楼と、伝統的な八角形の回転式経典収蔵庫である「八角輪蔵」を備えた一切経蔵が挙げられます。観音堂は琵琶湖を見下ろす高台にあり、湖と大津市中心部を一望のもとに眺めることができます。

【タイトル】石山寺

【想定媒体】WEB

<簡体字>**石山寺**

石山寺是真言宗佛教圣地，位于大津市濑田川西岸的伽蓝山脚下。这座古老寺院占据着山腹以下好几段平坦的地势，随着山坡向上，才能逐渐看到它显露出寺院建筑的真容。

传说是良弁僧正(689-773)于 747 年建立了石山寺，他也是奈良东大寺的创始人。东大寺以巨大的铜佛像而闻名。相传，这尊铜佛原本要镀金，但由于当时日本不出产黄金，金料不足以完成这项工程。良弁便将圣德太子的念持佛放在如今石山寺所在的一处岩石上，祈求问题能顺利解决。祈祷得到了回应，但他却再也无法从岩石上移走佛像，于是，石山寺就围绕着这尊佛像建造起来。

山体本身有一部分由深色硅灰石组成，巨大的岩石露出地面，在本堂（正殿）前形成巍峨的半圆，被指定为了国家天然纪念物。通往两层多宝塔的楼梯上，是观赏这些圣石的最佳位置。枫树和杉树在小路上空连成了拱形，营造出近乎丛林的氛围，秋天树叶变色时尤为引人入胜。本堂面对郁郁葱葱的自然绿野，仿佛是欣赏周边林地的观景台。

被指定为国宝的本堂是滋贺县最古老的木建筑，里面供奉的如意轮观音菩萨坐像也特别值得一提，它是日本唯一的天皇敕封的密佛，每三十三年或天皇登基次年才能直接参拜。

木结构的多宝塔是日本同类古塔中最古老的一座，由镰仓时代(1185-1333)的第一位幕府将军源赖朝(1147-1199)于 1194 年建造。两层塔顶独有的柔和曲线赋予这座大型宝塔以优雅的轻盈感。宝塔本身被指定为国宝，塔内雕刻与绘画均为国家重要文化财产。

石山寺还因贵族女作家紫式部于 11 世纪在此动笔创作《源氏物语》而闻名，《源氏物语》是世界上第一部长篇小说。据说她在寺庙最高处看到满月悬于琵琶湖上的景象，从而得到了创作灵感。这正是被誉为“近江八景”之一的“石山秋月”。“近江八景”是近江国（今滋贺县）一系列具有传统意义的风景名胜，常被作为诗歌和艺术的主题。景色与满月有关，直至今日，寺庙仍然会举办赏月活动，中秋时分的秋月祭最是适合欣赏这轮被列入“日本一百名月”的满月。此外，寺中梅花、樱花、杜鹃花、紫藤、牡丹、绣球花（紫阳花）等四季花朵一应俱全，是众所周知的赏花名利。

拥有 800 年历史的东大门左侧的巨型草鞋，表明石山寺深受朝圣者欢迎。它是日本关西地区“西国三十三所观音巡礼”中的第 13 站。大门上贴满了朝圣者多年来留下的“千社札”（一种纸札），那是他们的朝圣证明。但为了保护历史建筑，该习俗已被禁止。

<繁体字>

石山寺

石山寺是真言宗佛教聖地，位於天津市瀨田川西岸的伽藍山腳下。古老的寺院佔據著山腹以下好幾段平坦的地勢，隨著山坡往上，漸漸顯露出其建築的真容。

傳說是良弁僧正（689-773）於 747 年建立了石山寺，他也是奈良東大寺的創始人。東大寺以巨大的銅佛像而聞名。相傳這尊銅佛原本要鍍金，但由於當時日本不出產黃金，金料不足以完成這項工程。良弁便將聖德太子的念持佛放在如今石山寺所在的一處岩石上，祈求問題能順利解決。祈禱得到了回應，但他卻再也無法從岩石上移走佛像，於是石山寺就圍繞著這尊佛像建造起來。

山體本身有一部分由深色砂灰石組成，巨大的岩石露出地面，在本堂（正殿）前形成嵯峨的半圓，被指定為了國家天然紀念物。通往兩層多寶塔的樓梯上，是觀賞這些聖石的最佳位置。楓樹和杉樹在小路上空連成了拱形，營造出近乎叢林的氛圍，秋天樹葉變色時尤為引人入勝。本堂面對鬱鬱蔥蔥的自然綠野，仿佛是欣賞周邊林地的觀景台。

被指定為國寶的本堂是滋賀縣最古老的木建築，裡面供奉的如意輪觀音菩薩坐像也特別值得一提，祂是日本唯一由天皇勅封的密佛，每三十三年或天皇登基次年才能直接參拜。

木結構的多寶塔是日本同類古塔中最古老的一座，由鎌倉時代（1185-1333）的第一位幕府將軍源賴朝（1147-1199）於 1194 年建造。兩層塔頂獨有的柔和曲線賦予這座大型寶塔以優雅的輕盈感。寶塔本身被指定為國寶，塔內雕刻與繪畫均為國家重要文化財產。

石山寺還因貴族女作家紫式部於 11 世紀在此動筆創作《源氏物語》而聞名，《源氏物語》是世界上第一部長篇小說。據說她在寺廟最高處看到滿月懸於琵琶湖上的景象，從而得到了創作的靈感，而這正是被譽為「近江八景」之一的「石山秋月」。「近江八景」是近江國（今滋賀縣）一系列具有傳統意義的風景名勝，常被作為詩歌和藝術的主題。景色與滿月有關，直至今日，寺廟仍然會舉辦賞月活動，中秋時分的秋月祭最適合欣賞這輪被列入「日本百名月」的滿月。此外，這裡也因一年鮮花不斷而久負盛名，有梅花、櫻花、杜鵑花、紫藤花、牡丹、繡球花（紫陽花）等四季花朵可供觀賞。

擁有 800 年歷史的東大門左側的巨型草鞋，表明石山寺深受朝聖者歡迎，是日本關西地區「西國三十三所觀音巡禮」中的第 13 站。大門上貼滿了朝聖者多年來留下的「千社剝」（一種紙剝），那是他們的朝聖證明。但為了保護歷史建築，此習俗已被禁止。

<日本語仮訳>

石山寺

石山寺は大津市内を流れる瀬田川の西岸、伽藍山の麓にあります。その古くからの敷地は、山腹へと上っていく何段もの平地が占めており、この真言宗の聖域にある建物が次第にその姿を現すようになっていきます。

石山寺は747年に僧、良弁（689-773）が創建したと伝えられています。良弁は奈良の東大寺も創建しています。東大寺は銅で造られた大仏で有名です。伝説では、銅の大仏には金メッキを施すことになっていましたが、当時の日本は金をまったく産出しなかったため、像を完成させるのに十分な量は確保できていませんでした。良弁は、聖徳太子の念持仏を現在の石山寺の地にあった岩の上に安置し、解決策を祈りました。祈りはこたえられましたが、その時にはもう仏像は岩から外れませんでした。そこで、その周りに石山寺を建立しました。

山そのものの一部が黒っぽい硅灰石できており、本堂の前にはこの石が巨大な姿で地上に露出して半円状のごつごつした岩の塊を形作っており、国の天然記念物に指定されています。この聖なる岩を眺める最高の場所は、二重の塔（多宝塔）へと至る階段からです。楓や杉の木がアーチ状に通路に覆いかぶさって、ジャングルとってよいくらいの雰囲気を生み出し、葉が色づく秋にはとりわけ印象的です。本堂からは青葉茂る自然の眺めが開けており、周囲の森林地帯を眺められる展望台のような役割を果たしています。

本堂は滋賀県最古の木造建築であり、国宝にも指定されました。また、本堂に祀られている本尊、如意輪観世音菩薩坐像は日本で唯一の勅封の秘仏であり、33年に一度と天皇陛下御即位の翌年のみ御開扉を行います。

木造の多宝塔は、この種のものとしては日本最古の建物です。1194年に鎌倉時代（1185-1333）の初代将軍である源頼朝（1147-1199）によって建てられました。塔の2層の屋根の特徴的な緩やかな曲線は、この大きな建物に優美な軽やかさを与えています。多宝塔は国宝に指定されており、内部に収められた彫像と絵画は重要文化財に指定されています。

石山寺は高貴な女性の紫式部が11世紀に世界初の小説、『源氏物語』を書き始めた場所として知られています。紫式部はこの寺院の最高地点から琵琶湖上の満月を眺めていて、小説の着想を得たと伝えられています。この眺望スポットからの眺めは、「石山の秋月」と呼ばれる近江八景の一つとして不朽のものとなりました。「近江八景」は近江国（現在の滋賀県）の美しい景観を選定した伝統あるもので、詩歌や美術の主題になっています。この眺めは満月と結び付いており、寺は今日でも観月の会を催しています。中秋の名月の頃に開催される「秋月祭」は、この「日本百名月」に認定登録された満月を鑑賞する最高の舞台です。また、梅、桜、ツツジ、藤、牡丹や紫陽花など、四季折々の花が楽しめる寺としても名高いです。

800年の歴史がある東大門の左側には巨大なわらじがあり、この寺の巡礼人気が高いことを示しています。寺院は西日本の関西エリアにある西国三十三所観音巡礼の第13番札所です。門は巡礼の証として長年にわたって巡礼者が貼り付けていった千社札だらけです。この風習は、歴史的建造物を保護するために中止されました。

【タイトル】 石山寺

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**石山寺**

据说，良弁僧正(689-773)于 747 年建立了石山寺，他也是奈良东大寺的创始人。传说中，石山寺的位置就是良弁当年为寻找装饰东大寺大铜佛所需黄金而祈愿的地方。

石山寺还以贵族女作家紫式部在此动笔创作《源氏物语》而闻名，《源氏物语》写于 11 世纪，是世界上第一部长篇小说。据说其灵感来自她在寺庙最高处所见到的琵琶湖上的满月。石山寺的本堂（正殿）是滋贺县最古老的木建筑，被指定为国宝。本堂内供奉的如意轮观音菩萨坐像也特别值得一提，它是日本唯一的天皇敕封的密佛，每三十三年或天皇登基次年才能直接参拜。石山寺还拥有日本最古老的木结构双层多宝塔。多宝塔建于 1194 年，同样被指定为国宝，塔内雕刻和绘画均为国家重要文化财产。

寺院各处都是郁郁葱葱的自然美景，从秋日红叶尽染到春日樱花盛开，一年之中胜景不断。本堂前的圣岩是山体的硅灰石，被指定为国家天然纪念物。

<繁体字>**石山寺**

據說，良弁僧正（689-773）於 747 年建立了石山寺，他也是奈良東大寺的創始人。傳說中，良弁當年為尋找裝飾東大寺大銅佛所需黃金而祈願的地方，就是石山寺所在位置。

石山寺還因貴族女作家紫式部在此動筆創作《源氏物語》而聞名，《源氏物語》寫於 11 世紀，是世界上第一部長篇小說。據說其靈感來自她在寺廟最高處所見到的琵琶湖上的滿月。石山寺的本堂（正殿）是滋賀縣最古老的木建築，被指定為國寶。本堂內供奉的如意輪觀音菩薩坐像也特別值得一提，祂是日本唯一由天皇敕封的密佛，每三十三年或天皇登基次年才能直接參拜。石山寺還擁有日本最古老的木結構雙層多寶塔，多寶塔建於 1194 年，同樣被指定為國寶，塔內雕刻和繪畫均為國家重要文化財產。

寺院都到處是鬱鬱蔥蔥的自然美景，從秋日紅葉盡染到春日櫻花盛開，一年四季勝景不斷。本堂前的聖岩是山體的矽灰石，被指定為國家天然紀念物。

<日本語仮訳>

石山寺

石山寺は 747 年に仏教の僧、良弁（689–773）が創建したと伝えられています。良弁は奈良の東大寺も創建しています。伝説では、石山寺が建てられた地は、東大寺の銅の大仏を荘厳する金を探していた良弁が、その祈りを捧げるためにやってきた場所とされています。

石山寺は高貴な女性の紫式部が 11 世紀に世界初の小説、『源氏物語』を書き始めた場所として知られています。紫式部はこの寺院の最高地点から琵琶湖上の満月を眺めていて、小説の着想を得たと伝えられています。石山寺の本堂は滋賀県最古の木造建築であり、国宝に指定されています。本堂に祀られている本尊、如意輪観世音菩薩坐像は日本で唯一の勅封の秘仏であり、33 年に一度と天皇陛下御即位の翌年にのみ御開扉を行います。石山寺には日本最古の木造の二重の塔（多宝塔）もあります。同じく国宝の指定を受けているこの多宝塔は 1194 年に建立されたもので、内部に収められた彫像と絵画は国の重要文化財に指定されています。

寺院の境内は緑したたる自然が豊かで、燃えるような楓の木の秋の紅葉や春の桜など一年中楽しめます。本堂の前の神聖な奇岩は、山そのものに由来する硅灰石で、国の天然記念物に指定されています。

006-005

湖信会（滋賀県大津市 大津湖都十社寺）

【タイトル】 建部大社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

建部大社

建部大社は滋賀県最重要的神社之一，位于瀨田川東岸，建于 8 世纪，被指定为县内“一之宮”（第一神社）。至少从平安时代(794-1185)开始，它就一直保持着这样的特殊地位。

建部大社供奉着神话中的武神皇子“日本武尊”（据传 72-114），他是日本最受欢迎的英雄之一，据说他挥舞的草薙剑是象征日本皇位的一大神器。日本各地有许多供奉日本武尊的神社，建部大社是其中最古老的之一。

长长的碎石路两侧杉树林立，从鸟居穿过一片幽静之地，通向本殿（正殿）。入口附近的“手水舍”是进入神社之前洗手漱口的水盆，这里的手水舍会在你洗手时播放音乐。

三棵聚生于本殿前的杉树是神社的象征，被视为神木。8 座小社排列在本殿两侧，各自供奉着不同的神灵，他们仿佛是王子的一部分家臣，使日本武尊神社更为完整。这些建筑的旁边是一口养着锦鲤的小池塘。

建部大社有一座宝物殿，供奉着平安时代建造的神道教神像，它们均被指定为国家重要文化财产。同时展出的还有每年 8 月 17 日船幸祭时使用的“神輿”（神轿）。

<繁体字>

建部大社

建部大社は滋賀縣最重要的神社之一，位於瀨田川東岸，建於 8 世紀，被指定為縣內「一之宮」（第一神社），至少從平安時代（794-1185）開始，就一直保持著這樣的特殊地位。

建部大社供奉著神話中的武神皇子「日本武尊」（據傳 72-114），他是日本最受歡迎的英雄之一，據說他揮舞的草薙劍是象徵日本皇位的一大神器。日本各地有許多供奉日本武尊的神社，建部大社是其中最古老的之一。

長長的碎石路兩側杉樹林立，從鳥居穿過一片幽靜之地，通向本殿（正殿），入口附近的「手水舍」是進入神社之前洗手漱口的水盆，這裡的手水舍會在你洗手時播放音樂。

三棵聚生於本殿前的杉樹是神社的象徵，被視為神木。8 座小社排列在本殿兩側，各自供奉不同的神靈，仿佛是王子的一部分家臣，讓日本武尊神社更為完整。旁邊是一座養著錦鯉的小池塘。

建部大社有一座寶物殿，供奉著平安時代建造的神道教神像，牠們均被指定為國家重要文化財產，同時展出的還有每年 8 月 17 日船幸祭時使用的「神輿」（神轎）。

<日本語仮訳>

建部大社

建部大社は滋賀県で大変重要な神社の一つです。この神社は瀬田川の東側にあり、8 世紀にまで遡ります。滋賀県の一之宮（第一位の神社）に指定されており、少なくとも平安時代（794-1185）以降この特別な地位を保っています。

建部大社は、西暦紀元 72 年に生まれ 114 年に亡くなったと伝えられる武勇に長けた伝説的な皇子、ヤマトタケルを祀っています。ヤマトタケルは日本で最も人気の高い英雄の一人で、日本の皇位の象徴の一つになっている聖なる武器、草薙剣を使いこなしたといわれています。ヤマトタケルを祀る神社は日本全国にたくさんありますが、建部大社はその最古の一つです。

両側を杉の木立に囲まれた長い砂利道が、鳥居からひっそりした境内を通して本殿へとつながっています。入り口近くには、神社に入る前に手と口を清めるための水鉢である、手水舎があります。建部大社の手水舎は、手を洗う際に音楽が流れます。

本殿の前に 3 本まとめて立っている杉の木は、神社のシンボルで、御神木とされています。本殿の両側には小さな社が 8 つ並んでいます。別々の神格を祀るこれらの社はヤマトタケル社を補完するように配置されており、あたかも皇子の家臣の一部であるかのようです。これらの建物の隣りには小さな池があり、鯉が泳いでいます。

建部大社には宝物殿があり、平安時代に制作された神道の神の像が収められています。この古代の制作品は国の重要文化財に指定されています。神輿も展示されており、年に一度、8 月 17 日に行われる船幸祭で実際に使用されます。

【タイトル】 建部大社

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**建部大社**

建于 8 世纪的建部大社被指定为近江国（今滋贺县）的“一之宫”（第一神社），至少从平安时代(794-1185)开始，它就一直保有这一特殊地位。

建部大社供奉着传说中的武神皇子“日本武尊”（据传 72-114），据说他挥舞的草薙剑是象征日本皇位的一大神器。日本各地有许多供奉日本武尊的神社，但建部大社是其中最古老的之一。

三棵聚生于本殿（正殿）前的杉树是神社的象征，被视为神木。8 座小社排列在本殿两侧，供奉着不同的神灵，令日本武尊神社更为完整。

建部大社有一座宝物殿，供奉着平安时代建造的神道教神像，它们均被指定为国家重要文化财产。同时展出的还有每年 8 月 17 日船幸祭时使用的“神舆”（神轿）。

<繁体字>**建部大社**

建於 8 世紀的建部大社被指定為近江國（今滋賀縣）的「一之宮」（第一神社），至少從平安時代（794-1185）開始，就一直保有這一特殊地位。

建部大社供奉著傳說中的武神皇子「日本武尊」（據傳 72-114），據說他揮舞的草薙劍是象徵日本皇位的一大神器。日本各地有許多供奉日本武尊的神社，但建部大社是其中最古老的之一。

三棵聚生於本殿（正殿）前的杉樹是神社的象徵，被視為神木。8 座小社排列在本殿兩側，供奉著不同的神靈，令日本武尊神社更為完整。

建部大社有一座寶物殿，供奉著平安時代建造的神道教神像，牠們均被指定為國家重要文化財產，同時展出的還有每年 8 月 17 日船幸祭時使用的「神輿」（神轎）。

<日本語仮訳>**建部大社**

建部大社は 8 世紀にまで遡ります。近江国（現在の滋賀県）の一之宮（第一位の神社）に指定されており、少なくとも平安時代（794-1185）以降この特別な地位を保っています。

この神社は、日本の皇位の象徴の一つとみなされている聖なる剣を使いこなした武勇に長ける伝説的な皇子、ヤマトタケルを祀っています。ヤマトタケルを祀る神社は日本全国にたくさんありますが、建部大社はその最古の一つです。

本殿の前に 3 本まとまって立っている杉の木は、神社のシンボルで、御神木とされています。本殿の両側にある 8 つの小さな社は別々の神格を祀っており、ヤマトタケル社を補完しています。

建部大社には宝物殿があり、平安時代に制作された神道の神の像が飾られており、それらは国の重要文化財に指定されています。神輿も展示されており、年に一度、8 月 17 日に行われる船幸祭で実際に使用されます。

006-007

湖信会（滋賀県大津市 大津湖都十社寺）

【タイトル】 日吉大社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日吉大社

据传，日吉大社已有 2000 年历史。8 世纪的日本神话传说编年史《古事记》被认为是日本最早的史书，其中就提到了日吉大社。神社矗立在比睿山麓，供奉神道教的山神“山王”，是日本全国 3800 多座日吉神社、日枝神社、山王神社的总本宫（神社总部）。随着时间的推移，其他神灵也陆续被请入大社，占地广阔的神社内曾供奉 108 位不同的神灵。日吉大社也是附近延历寺建筑群的守护神社。

日吉大社内绿树成荫，十分安静。大宫川流经此地，时而成为溪流，时而化作小瀑布，掩去了外界尘世的喧嚣。秋季，鲜红的叶子从 3000 多棵枫树上飘落，铺满整座神社。

入口处的大宫桥被认为是日本最古老的石桥，它与旁边两座小桥一起被指定为国家重要文化财产。1571 年，战国枭雄织田信长(1534-1582)力图摧毁抵抗他统治且具有政治影响力的组织，烧毁了日吉大社和延历寺，最初的木桥也因此被毁。17 世纪后期，大宫桥被重建为石桥。

这座神社还以与众不同的山王鸟居而闻名，鸟居顶部有一个形似双手合十拜佛的三角形，象征了神道教和佛教的融合。神社所在的比睿山是野猴的家园，它们被认为是神的使者。人们相信猴子具有避邪的力量，因此在许多建筑物上都能看到猴子图案。

日吉大社包括两大主神社：西本宫和东本宫，两者的本殿（正殿）都被指定为国宝。两座本殿的传统“扁柏皮葺”屋顶必须每 50 年更换一次，各自的走廊里都有一对足有 400 多年历史的守护狛犬像（日本石狮）。在西本宫本殿旁边有一个房间，存放着日吉大社一年一度的山王祭所使用的七座“神舆”（神轿）中的一座。

<繁体字>

日吉大社

日吉大社據說擁有 2000 年歷史。8 世紀的日本神話傳說編年史《古事記》被認為是日本最早的史書，其中就已提到了日吉大社。神社矗立在比睿山麓，供奉神道教的山神「山王」，也是日本全國 3800 多座日吉神社、日枝神社、山王神社的總本宮（神社總部）。隨

著時間的推移，其他神靈也陸續被請入大社，占地廣闊的神社內曾供奉 108 位不同的神靈，日吉大社也是附近延曆寺建築群的守護神社。

日吉大社內綠樹成蔭十分安靜，大宮川流經此地，時而成為溪流，時而化作小瀑布，掩去了外界塵世的喧囂。秋季，鮮紅的葉子從 3000 多棵楓樹上飄落，鋪滿整座神社。

入口處的大宮橋被認為是日本最古老的石橋，與旁邊兩座小橋一起被指定為國家重要文化財產。1571 年，戰國梟雄織田信長（1534-1582）力圖摧毀抵抗他統治且具有政治影響力的組織，燒毀了日吉大社和延曆寺，最初的木橋也因此被毀。17 世紀後期，大宮橋被重建為石橋。

這座神社還以與眾不同的山王鳥居而聞名，鳥居頂部有一個形似雙手合十拜佛的三角形，象徵了神道教和佛教的融合。神社所在的比叡山是野猴的家園，牠們被認為是神的使者，人們相信猴子具有避邪的力量，因此在許多建築物上都能看到猴子圖案。

日吉大社包括兩大主神社：西本宮和東本宮，兩者的本殿（正殿）都被指定為國寶。兩座本殿的傳統「扁柏皮葺」屋頂必須每 50 年更換一次，各自的走廊裡都有一對足有 400 多年歷史的守護「狛犬」像（日本石獅）。在西本宮本殿旁邊有一間房間，存放著日吉大社一年一度的山王祭所使用的七座「神輿」（神轎）中的一座。

<日本語仮訳>

日吉大社

日吉大社は 2 千年の歴史を謳っています。日本の歴史を文書に記録した最初のものと考えられている 8 世紀成立の、神話と伝説からなる年代記の『古事記』に、この神社について記述があります。日吉大社は比叡山の麓にあり、神道の山の神である山王を祀っています。日本全国に見られる 3,800 社以上の日吉神社、日枝神社、山王神社の総本宮です。時とともに他の神格も祀られるようになり、かつては広大な境内に 108 柱のさまざまな神が祀られていました。日吉大社は、多くのお堂からなる近くの延曆寺の伽藍の鎮守社にも当たります。

日吉大社の境内は樹木が生い茂りひっそりしています。境内を大宮川が流れ、小さな滝もあり、水の流れて外界の音はかき消されます。秋には、境内の 3 千本以上の楓の木から落ちる鮮やかな赤色の葉に辺り一面覆われます。

入り口には、日本最古の石橋と考えられている大宮橋があります。そばの 2 基の小さな橋とともに、国の重要文化財に指定されています。元の木造橋は、武将織田信長（1534-1582）がその支配に抵抗した政治的影響力のある組織を壊滅させようと、1571 年に日吉大社と延曆寺を焼き払った際に、破壊されました。橋は 17 世紀後半に石造橋として架け直されました。

この神社は、頂上に仏様に手を合わせる姿を表す三角形がある、特徴的な山王鳥居でも有名です。これは神仏合体を象徴しています。また、比叡山には野生の猿も多く、猿は神の使いと考えられています。猿には魔除けの力があると信じられており、多くの建物で猿のモチーフを目にすることができます。

境内には社が集まった 2 つの主要なエリアがあります。西本宮と東本宮です。どちらの本殿も国宝に指定されています。両本殿の伝統的な檜皮葺の屋根は 50 年ごとに葺き替える必要があります。どちらの本殿の回廊にも、400 年以上前にまで遡る、守護者たる 1 対の狛犬（日本の石獅子）の像が置かれています。西本宮の本殿のわきには、日吉大社の例祭である山王祭で使用される 7 基の神輿のうち 1 基を保管している部屋があります。

【タイトル】 日吉大社

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**日吉大社**

日吉大社供奉着比睿山的神道教神灵，它是日本全国各地 3800 多座日吉神社、日枝神社、山王神社的总本宫（神社总部）。日吉大社据说有 2000 年历史，鼎盛时期曾供奉 108 位不同的神灵。

日吉大社内绿树成荫，十分安静。大宫川流经此地，掩去了外界尘世的喧嚣。秋季，鲜红的叶子从 3000 多棵枫树上飘落下来，铺满整座神社。

入口处的大宫桥被认为是日本最古老的石桥。它曾经是一座木桥，在神社遭焚毁时一同被毁，现在的石桥重建于 17 世纪后期。这座神社还以与众不同的山王鸟居而闻名，鸟居顶部有一个形似双手合十拜佛的三角形，象征了神道教和佛教的融合。神社所在的比睿山中多野猴，它们被认为是神的使者。

西本宫和东本宫的本殿（正殿）都被指定为国宝，它们传统的“扁柏皮葺”屋顶必须每 50 年更换一次。两处本殿的走廊里各有一对可追溯到 400 多年前的狛犬（日本石狮）雕像守护在那里。

<繁体字>**日吉大社**

日吉大社供奉著比睿山的神道教神靈，也是日本全國各地 3800 多座日吉神社、日枝神社、山王神社的總本宮（神社總部）。日吉大社據說有 2000 年歷史，鼎盛時期曾供奉 108 位不同的神靈。

日吉大社內綠樹成蔭十分安靜，大宮川流經此地，掩去了外界塵世的喧囂。秋季，鮮紅的葉子從 3000 多棵楓樹上飄落下來鋪滿整座神社。

入口處的大宮橋被認為是日本最古老的石橋，其實曾經是一座木橋，在神社遭焚毀時一同被毀，現在的石橋重建於 17 世紀後期。這座神社還以與眾不同的山王鳥居而聞名，鳥居頂部有一個形似雙手合十拜佛的三角形，象徵了神道教和佛教的融合。神社所在的比睿山中多野猴，牠們被認為是神的使者。

西本宮和東本宮的本殿（正殿）都被指定為國寶，其傳統「扁柏皮葺」屋頂必須每 50 年更換一次。兩處本殿的走廊裡各有一對可追溯到 400 多年前的狛犬雕像（日本石獅）守護在那裡。

<日本語仮訳>

日吉大社

日吉大社は神道の神である比叡山の神を祀っており、日本全国に見られる3,800社以上の日吉神社、日枝神社、山王神社の総本宮です。日吉大社は 2 千年の歴史を謳い、最も多い時には 108 柱ものさまざまな神を祀っていました。

神社の境内は樹木が生い茂りひっそりしており、境内を流れる大宮川の水の流れの音で、外界の音はかき消されます。秋には、境内の 3 千本以上の楓の木から落ちる鮮やかな紅葉に辺り一面覆われます。

神社の入り口には、日本最古の石橋と考えられている大宮橋があります。この橋は、以前の木造橋ともども神社が焼き払われた後、17 世紀後半に建造されました。この神社は、頂上に仏様に手を合わせる姿を表す三角形がある、特徴的な山王鳥居でも有名です。これは神仏合体を象徴しています。また、比叡山には野生の猿も多く、猿は山の神の使いと考えられています。

西本宮と東本宮の本殿は国宝に指定されています。両本殿の伝統的な檜皮葺の屋根は 50 年ごとに葺き替えられます。どちらの本殿の回廊にも、400 年以上前にまで遡る、守護者たる 1 対の狛犬（日本の石獅子）の像が置かれています。

【タイトル】西教寺

【想定媒体】WEB

<簡体字>**西教寺**

西教寺位于比睿山脚下，俯瞰琵琶湖，据说是圣德太子(574-622)于公元 7 世纪建造，与佛教天台宗真盛派创始人真盛(1443-1495)有着密不可分的关联。

真盛把西教寺变成了修习“不断念佛”的道场，即不断念诵“南无阿弥陀佛”，每念 10 遍就敲一次“钲吾”（日本念佛时敲击的法器）。今天，西教寺的僧人依然在本堂（正殿）轮流修习不断念佛来获得开悟，只是已不再通宵达旦。

1571 年，战国枭雄织田信长(1534-1582)烧毁了西教寺，寺庙现存所有建筑均于之后重建。织田信长试图在其统治期间统一全日本，故摧毁了许多政治力量强大并且反对他的寺庙。不过，西教寺的早期重建却是由织田信长的家臣明智光秀(1526-1582)筹措，西教寺因此成为了明智光秀家的菩提寺（安葬并祭祀祖先的家庙），他和妻子都被安葬于此，寺庙还存有一份明智光秀的亲笔捐赠书。

如今的本堂建造于 1739 年，是国家指定重要文化财产。本堂完全采用榉木建造，未使用任何其他材料，哪怕是钉子。2.7 米高的平安时代(794-1185)阿弥陀佛像是堂内的主角，前梁上是佛陀十六大弟子的木雕，眼睛均以水晶嵌制而成。诵经钲吾之声不绝，为这座建筑带来了超脱凡尘俗世之感。寺内还有一尊模样调皮的猴子雕像，是为向比睿山的野猴表示敬意而建，传说它们是这座寺庙的守护者。

本堂旁边是一个大型客殿，从京都伏见城迁来，同样被指定为国家重要文化财产。客殿有 5 个房间，障子门和墙上的各幅画作均由著名的狩野派艺术家创作，也有可能就是出自艺术大师狩野永德(1543-1590)的亲笔。

客殿外有一座建于 17 世纪的传统庭园，借周围山峦为景。庭园里有一个形似琵琶湖的池塘，池边土地代表湖泊南岸一带，也就是今天的滋贺县。宗祖大師殿供奉寺院创始人真盛，透过堂外装饰性的唐门，可以看到真正的琵琶湖美景。西教寺的参道（神社或寺庙门前供参拜者行走的道路）边有枫树、樱花和杜鹃花，春秋两季尤为斑斓。

<繁体字>**西教寺**

西教寺位於比叡山腳下俯瞰琵琶湖，據說是聖德太子（574-622）於西元 7 世紀建造，與佛教天台宗真盛派創始人真盛（1443-1495）有著密不可分的關聯。

真盛把西教寺變成了修習「不斷念佛」的道場，即不斷念誦「南無阿彌陀佛」，每念 10 遍就敲一次「鉦吾」（日本念佛時敲擊的法器）。今日，西教寺的僧人依然在本堂（正殿）輪流修習不斷念佛來獲得開悟，只是已不再通宵達旦。

1571 年，戰國梟雄織田信長（1534-1582）燒毀了西教寺，所以寺廟現存所有建築都是在那之後重建的。織田信長試圖在其統治期間統一全日本，於是摧毀了許多政治力量強大並且反對他的寺廟。不過，西教寺的早期重建卻是由織田信長的家臣明智光秀（1526-1582）籌措，西教寺因此成為了明智光秀家的菩提寺（安葬並祭祀祖先的家廟），他和妻子都被安葬於此，寺廟還存有一份光秀的親筆捐贈書。

如今的本堂建造於 1739 年，是國家指定重要文化財產。本堂完全採用檜木建造，未使用任何其他材料，哪怕是一根釘子。2.7 公尺高的平安時代（794-1185）阿彌陀佛像是堂內的主角，前梁上是佛陀十六大弟子的木雕，眼睛均以水晶嵌製而成。誦經鉦吾之聲不絕，為這座建築帶來了超脫凡塵俗世之感。寺內還有一尊模樣調皮的猴子雕像，是為向比叡山的野猴表示敬意而建，傳說牠們是這座寺廟的守護者。

本堂旁邊是一個大型客殿，是從京都伏見城遷來，同樣被指定為國家重要文化財產。客殿有 5 個房間，障子門和牆上的各幅畫作均由著名的狩野派藝術家創作，或許出自藝術大師狩野永徳（1543-1590）的手筆。

客殿旁有一座建於 17 世紀的傳統庭園，借周圍山巒為景。庭園裡有一個形似琵琶湖的池塘，池邊土地代表湖泊南岸一帶，也就是今天的滋賀縣。宗祖大師殿供奉寺院創始人真盛，透過堂外裝飾性的唐門，可以看到真正的琵琶湖美景。西教寺的參道（神社或寺廟門前供參拜者行走的道路）邊有楓樹、櫻花和杜鵑花，春秋兩季尤為斑斕。

<日本語仮訳>

西教寺

西教寺は、琵琶湖を見渡せる比叡山の麓に位置しています。7 世紀に聖徳太子（574-622）によって創建されたと伝えられています。この寺は、仏教の天台宗真盛派の開祖である僧の真盛（1443-1495）とは切っても切れない関係にあります。

真盛は、この寺を不断念仏の道場にしました。不断念仏では、「南無阿彌陀仏」と継続的に唱えます。10 回唱えるごとに鉦が鳴らされます。西教寺の僧たちは、今でも交代で本堂で不断念仏を唱えることで、悟りを開こうとしています。ただし現在では、夜間は行われていません。

現在の西教寺の建造物は全て、1571 年に武将織田信長（1534-1582）によって焼き払われた後に建設されたものです。信長は日本全国を自身の統治下で統一しようと、自身に対抗した

政治的に強大な寺の多くを破壊しました。しかし、西教寺の場合、信長の家来だった明智光秀（1526-1582）が早期の再建の手配をしました。光秀は西教寺が菩提寺（先祖代々の墓があり、法要を行う寺院）で妻とともに西教寺の境内にお墓があります。西教寺には明智光秀本人が署名した寄進状もあります。

現在の本堂が建てられたのは1739年で、国の重要文化財に指定されています。本堂は全てケヤキで作られており、それ以外の素材は、釘を含めて一切使われていません。中では、平安時代（794-1185）から伝わる2.7メートルの阿弥陀仏像が室内で圧倒的な存在感を放っています。また正面の欄干には釈迦の16人の弟子の木像があり、水晶で作られた目ははめ込まれています。常に念仏と鉦の音が聞こえることで、このお堂には異世界のような雰囲気広がっています。いたずら好きそうな猿の像もあります。これは比叡山に住む野生の猿をかたどったもので、猿は寺を守る存在であると信じられています。

本堂の横には大きな客殿があり、これは京都の伏見城から移されたもので、国の重要文化財に指定されています。客殿には5つの部屋があり、どれも襖や壁には異なる絵が描かれています。制作したのは有名な狩野派の絵師たちです。狩野派を代表する絵師である狩野永徳（1543-1590）が描いた可能性もあります。

客殿には、17世紀に遡る、周囲の山を借景とした伝統的な庭園もあります。琵琶湖のような形をした池があり、その周囲の地面は琵琶湖の南岸地域、現在の滋賀県を表しています。創建した僧である真盛を祀る宗祖大師殿の正面の装飾的な唐門を通して見ると、本物の琵琶湖を最も美しく眺めることができます。西教寺の正面参道（社寺に参拝する人のためにつくられた道）には楓、桜、およびツツジが並び、春と秋には鮮やかな色に包まれます。

006-010

湖信会（滋賀県大津市 大津湖都十社寺）

【タイトル】 西教寺

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

西教寺

西教寺与佛教僧人真盛(1443-1495)关系密切，他把西教寺变成了修习“不断念佛”的道场，即不断念诵“南无阿弥陀佛”，其间以敲击“钲吾”（日本念佛时敲击的法器）计数分段。今天的西教寺僧人依然在本堂（正殿）修习念佛以求得开悟，不过已不再通宵达旦。现存本堂建造于 1739 年，被指定为国家重要文化财产。它完全采用榉木建造，未使用包括钉子在内的任何其他材料。

客殿从京都伏见城迁来，也是国家指定重要文化财产。客殿有 5 个房间，障子门和墙上的画作由著名的狩野派艺术家创作，也有可能就出自艺术大师狩野永德(1543-1590)的亲笔。客殿的庭园模拟了周边的环境，有一个池塘代表琵琶湖，池边土地代表湖泊南岸一带，也就是今天的滋贺县。

<繁体字>

西教寺

西教寺與佛教僧人真盛（1443-1495）關係密切，他把西教寺變成了修習「不斷念佛」的道場，即不斷念誦「南無阿彌陀佛」，其間以敲擊「鉦吾」（日本念佛時敲擊的法器）計數分段。今天的西教寺僧人依然在本堂（正殿）修習念佛以求得開悟，不過已不再通宵達旦。現存本堂建造於 1739 年，被指定為國家重要文化財產。建築完全採用榉木建造，未使用包括釘子在內的任何其他材料。

客殿從京都伏見城遷來，也是國家指定重要文化財產。客殿有 5 個房間，障子門和牆上的畫作由著名的狩野派藝術家創作，也有可能就出自藝術大師狩野永德（1543-1590）的親筆。客殿的庭園模擬了周邊的環境，有一個池塘代表琵琶湖，池邊土地代表湖泊南岸一帶，也就是今天的滋賀縣。

<日本語仮訳>

西教寺

西教寺は、真盛（1443-1495）という仏教の僧と切っても切れない関係にある寺です。真盛は、西教寺を不断念仏の道場にしました。不断念仏とは、阿弥陀仏の名前を唱え続けながら鉦を鳴らすという修行です。西教寺の僧たちは、今でも本堂で不断念仏を唱えています。ただし現在では、夜間も行われていません。現在の本堂は 1739 年に遡るもので、釘を一切使わずに全てケヤキで作られています。国の重要文化財に指定されています。

こちらも国の重要文化財に指定されている客殿は、京都の伏見城から移されたものです。客殿には 5 つの部屋があり、それぞれの部屋の襖と壁には異なる絵が描かれています。制作したのは有名な狩野派の絵師たちです。狩野派を代表する絵師である狩野永徳（1543-1590）が描いた可能性もあります。客殿庭園は、周囲の地形をモデルにした設計になっています。琵琶湖の形をした池があり、その周囲の地面は琵琶湖の南岸地域、現在の滋賀県を表しています。

【タイトル】 近江神宮

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**近江神宮**

近江神宮建于 1940 年，主奉神是大津历史上的重要人物天智天皇(626-672)。天智天皇在 667 年将首都从飞鸟（今奈良县）迁至大津，近江神宮就在他当年的宮殿附近。供奉天皇的本殿（正殿）位于一座大型拜殿的后方，拜殿前有朱红色楼門高耸，在四周茂密森林的一片绿色中显得分外醒目。

让天智天皇闻名于世的是，他借助来自中国的技术，制造了日本第一个以水计时的“漏刻”，从此建立了日本的计时系统。近江神宮的钟表馆宝物馆里收藏了大量来自日本和世界各地的钟表。馆外的小池塘前，展示着一个漏刻复制品，虽然从现存资料中已经无法了解漏刻的实际尺寸，但功能并无差别。漏刻的附近还有一个龙形“火钟”。每年 6 月 10 日是日本于 1920 年制定的“时间纪念日”，届时神宮会举办“漏刻祭”来纪念第一个漏刻的诞生。

天智天皇与和歌也有不解之缘。在著名的和歌集《百人一首》中，第一首就是他的作品。这部诗集共收录了 100 首由 7 世纪到 13 世纪的诗人创作的和歌，作者不乏当时的朝廷要员。这些诗歌也是流行纸牌游戏“竞技歌牌”的基础，该游戏通过朗读和歌的前半段，来让玩家争夺写有下半段的歌牌。

近江神宮是竞技歌牌比赛的重要赛场之一，承办“全日本高中歌牌锦标赛”的年度决赛，以及争夺日本第一竞技歌牌手的“名人战”和“女王战”。赛场均设在现代建筑式样的近江劝学馆中。如果喜欢以竞技歌牌为主题的《花牌情缘》系列动漫、漫画和电影，一定能在剧中找到近江神宮。游客可以租借传统服饰漫步神社周边，还可以在“近江劝学馆”购买到成套的歌牌及歌牌形米饼。

<繁体字>**近江神宮**

近江神宮建於 1940 年，主奉神是大津歷史上的重要人物天智天皇（626-672）。天智天皇在 667 年將首都從飛鳥（今奈良縣）遷至大津，近江神宮就在他當年的宮殿附近。供奉天皇的本殿（正殿）位於一間大型拜殿的後方，拜殿前有高聳的朱紅色樓門，在四周茂密森林的一片綠色中顯得分外醒目。

天智天皇以根據來自中國的技術為基礎，建造了日本第一個以水計時的「漏刻」，從此建立了日本的計時系統而聞名。近江神宮的鐘錶館寶物館裡收藏了大量來自日本和世界各地的鐘錶。館外的小池塘前，展示著一個漏刻複製品，雖然從現存資料中已經無法瞭解漏刻的實際尺寸，但功能並無差別。漏刻的附近還有一個龍形「火鐘」。每年6月10日是日本於1920年制定的「時間紀念日」，屆時神宮會舉辦「漏刻祭」來紀念第一個漏刻的建造。

天智天皇與和歌也有不解之緣。在著名的和歌集《百人一首》中，第一首就是他的作品。這部詩集共收錄了100首從7世紀到13世紀的詩人創作的和歌，作者不乏當時的朝廷要員。這些詩歌也是流行紙牌遊戲「競技歌牌」的基礎，這個遊戲透過朗讀和歌的前半段，來讓玩家競爭搶下半段的歌牌。

近江神宮是競爭激烈的歌牌比賽重要賽場之一，承辦「全日本高中歌牌錦標賽」的年度決賽，以及爭奪日本第一競技歌牌手「名人戰」和「女王戰」。賽場均設在現代建築式樣的近江勸學館中。如果喜歡以競技歌牌為主題的《花牌情緣》系列動漫、漫畫和電影，一定能在劇中找到近江神宮。神社有提供傳統服飾租借服務供遊客體驗，「近江勸學館」則有出售成套的歌牌及歌牌形仙貝。

<日本語仮訳>

近江神宮

近江神宮は、大津の歴史における重要人物である天智天皇（626-672）をご祭神とし、1940年に創建されました。天智天皇は、667年に都を飛鳥（今日の奈良県）から大津に移されました。近江神宮は、天智天皇の宮殿があった場所の近くに位置しています。天智天皇は、大きな拝殿の後ろにある本殿に祀られています。これらの社殿の正面には、鮮やかな朱色の楼門がそびえ立っており、周囲の森に密集して生える木々の緑とコントラストをなしています。

天智天皇は、中国から伝えられた技術を基に日本初の漏刻を作り、日本に時間を計るシステムを打ち立てたことで有名です。近江神宮の時計館宝物館には、日本や世界各地から集められた数多くの時計が収蔵されています。屋外の小さな池の前には、現存資料からは実際に使用された「漏刻」の大きさはわからないものの、機能する漏刻のレプリカが展示されており、その近くには龍をかたどった「火時計」が立っています。毎年6月10日には、はじめての漏刻の制作を記念して、1920年に日本で制定された「時の記念日」を祝う「漏刻祭」が開催されます。

また天智天皇は、和歌とも関連が深い存在です。天智天皇は、有名な『百人一首』の第1首を詠まれました。『百人一首』とは、7～13世紀の歌人が詠んだ100首の和歌を集めたもので、作者には当時の朝廷の有力人物が多く含まれます。『百人一首』の和歌は、競技かるたという人気のカードゲームにも使われます。上の句が朗読されると、下の句が書かれたカードを競って探すというゲームです。

競技かるたの世界において、近江神宮は重要な大会の開催場所となっています。「全国高等学校かるた選手権大会」の年間決勝戦、そして日本の競技かるたナンバーワンを決める「名人位」と「クイーン位」の決定戦が行われるのです。大会は、現代様式で建てられた「近江勸学館」で行われます。競技かるたがテーマの『ちはやふる』というアニメ、漫画、そして映画のシリーズのファンなら、作品に近江神宮が登場することから、近江神宮に見覚えがあるかもしれません。伝統的衣装をレンタルして近江神宮の周辺で着用することもでき、また近江勸学館ではかるたセットやかるたの形をしたせんべいも売られています。

【タイトル】 近江神宮

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**近江神宮**

近江神宮建于 1940 年，主祭天智天皇(626-672)，他于 667 年将日本首都迁至大津。天皇被供奉在位于一座大型拜殿后的本殿（正殿）中。高耸的朱红色门楼是进入近江神宮中心的门户，在四周茂密森林的一片绿色中，它显得分外醒目。

天智天皇因建造了日本第一个以水计时的“漏刻”而闻名。近江神宮内设一个钟表馆宝物馆，收藏了大量来自日本和世界各地的钟表，馆外展示着一个可以计时的漏刻复制品。每年 6 月 10 日，神宮都会举办纪念漏刻诞生的“漏刻祭”。

天智天皇亲笔写下了著名和歌集《百人一首》的开篇之作，这部诗集收录了包括诸多朝廷要员在内的中世纪诗人创作的 100 首和歌。这些诗歌也是流行纸牌游戏“竞技歌牌”的基础，该游戏通过朗读和歌的上半段，来让玩家竞争抢夺写有下半段的歌牌。近江神宮是竞技歌牌赛的重要赛场之一，经常举办争夺日本第一竞技歌牌手的“名人战”和“女王战”。

<繁体字>**近江神宮**

近江神宮建於 1940 年，主祭天智天皇（626-672），他於 667 年將日本首都遷至大津，天皇被供奉於一座大型拜殿後的本殿（正殿）中。高聳的朱紅色樓門是進入近江神宮中心的門戶，在四周茂密森林的一片綠色中，顯得分外醒目。

天智天皇因建造了日本第一個以水計時的「漏刻」而聞名，近江神宮內設一個鐘錶館寶物館，藏有大量來自日本和世界各地的鐘錶，館外展示著一個可以計時的漏刻複製品。每年 6 月 10 日，神宮都會舉辦紀念漏刻誕生的「漏刻祭」。

天智天皇親筆寫下了著名和歌集《百人一首》的開篇之作，這部詩集收錄了包括諸多朝廷要員在內的中世紀詩人創作的 100 首和歌。這些詩歌也是流行紙牌遊戲「競技歌牌」的基礎，該遊戲透過朗讀和歌的上半段，來讓玩家競爭搶奪下半段歌牌。近江神宮是歌牌比賽的重要賽場之一，經常舉辦爭奪日本第一競技歌牌手的「名人戰」和「女王戰」。

<日本語仮訳>

近江神宮

近江神宮は 1940 年に建設され、667 年に日本の都を大津に移された天智天皇（626–672）を祀っています。天智天皇は、大きな拝殿の後ろにある本殿に祀られています。近江神宮の中心部に入るには、そびえ立つ鮮やかな朱色の門（楼門）をくぐります。楼門は、近江神宮の周囲の森に密集して生える木々の緑とコントラストをなしています。

天智天皇は、日本初の水時計（漏刻）を作られたことで有名で、近江神宮には、日本や世界各地から集められた数多くの時計が収蔵されている時計館宝物館があります。境内には機能する漏刻のレプリカが展示されており、毎年 6 月 10 日には、そのオリジナルの制作を記念して「漏刻祭」が開催されます。

天智天皇は、有名な百人一首の第 1 首となる和歌を詠まれました。百人一首とは 100 首の和歌を集めたもので、作者には宮中の有力人物が多く含まれます。百人一首の和歌は、競技かるたという人気のカードゲームにも使われます。上の句が朗読されると、下の句が書かれたカードを競って探すというゲームです。競技かるたの世界において、近江神宮は重要な大会の開催場所となっています。日本の競技かるたナンバーワンを決める「名人位」と「クイーン位」の決定戦などの大会が定期的に行われています。

【タイトル】 延暦寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**延历寺**

延历寺是日本历史上最重要的佛寺之一，位于自古以来就被视作神山的比睿山上。这座庞大的寺庙占据了面积约为 17 平方公里的森林，与位于京都、大津、宇治等地的几个寺庙共同被登录为一项联合国教科文组织的世界遗产。

延历寺由高僧最澄（767-822，见小贴士）于 788 年创立，是佛教天台宗总本山（总部）。其他几门佛教宗派的创始人也曾在延历寺修行，因此，它又被称为日本佛教的“母山”。在其悠久的历史中，延历寺始终海纳百川，还会接待来自中国和朝鲜半岛的佛教僧侣。

鼎盛时期，延历寺内约有 3000 座建筑。但在 1571 年，整个寺院都在战国枭雄织田信长(1534-1582)发起的一次围攻中被焚毁。织田信长试图在其统治期间统一全日本，故摧毁了许多政治力量强大并且反对他的寺庙。之后，延历寺逐步得以重建。今天，寺院共由 100 座殿阁和其他建筑物组成，并分为三大主要区域：东塔、西塔和横川，各区域内都设有一座本堂（正殿）。

东塔是延历寺的核心区域，宝物殿和寺院总本堂“根本中堂”都在这里。本堂里供奉着数尊药师佛像，其中一尊据说是由最澄大师亲自雕刻而成。壮阔的根本中堂内有一盏长明灯，自 788 年点燃后从未熄灭。根本中堂被指定为国宝，大约每 60 年翻新一次，每次所用建材同为榉木、柏木以及传统的铜板屋顶。

西塔在东塔以北约 1 公里处，非常宁静，遍地都是樱花树和山茶花。比睿山海拔较高，樱花满开比大津其他地区要晚大约 1 个月。在青翠葱茏的环境中，明亮的朱红色常行堂和法华堂分外引人注目。两处佛堂形状相同，以小檐廊相连，合称为“にない堂”(Ninaido)。寺僧在两个佛堂内进行各类不同的修行。

横川位于比睿山最北端，可从东塔乘坐摆渡车前往。沿着一条长长的小路，穿过秋天时会变得火红的枫树林，就是“元三大师堂”。这里供奉着延历寺的前住持良源(912-985)，谥号元三大师。他为复兴延历寺做出了很大的贡献，据说还是“御神签”的创始人，这种预测凶吉的签文在日本许多神社和寺庙中都很流行。

小贴士：

最澄大师出生于今滋贺县大津市坂本一带，本名广野，12岁出家，14岁剃度，法号最澄。804年，他作为遣唐使前往中国浙江省的天台山学习佛法，回国后开创了日本佛教天台宗，并在延历寺创建了天台宗寺院。866年，清和天皇赐谥号“传教大师”，这也是日本最早的大师称号。

<繁体字>

延曆寺

延曆寺是日本歷史上最最重要的佛寺之一，位於自古以來就被視作神山的比叡山上。這間龐大的寺廟佔據了面積約為 17 平方公里的森林，與位於京都、大津、宇治等地的多個地點共同組成了一處聯合國教科文組織的世界遺產。

延曆寺由高僧最澄（767-822，見小檔案）於 788 年創立，是佛教天台宗總本山（總部）。其他幾門佛教宗派的創始人也曾在延曆寺修行，因此，延曆寺又被稱為日本佛教的「母山」。在其悠久的歷史中，延曆寺始終海納百川，還曾接待過來自中國和朝鮮半島的佛教僧侶。

鼎盛時期，延曆寺內約有 3000 座建築。但在 1571 年，整個寺院都在戰國梟雄織田信長（1534-1582）發動的一次圍攻中被焚毀。織田信長試圖在其統治期間統一全日本，故摧毀了許多政治力量強大並且反對他的寺廟。而後延曆寺逐步得到重建，直至今日。目前寺院共由 100 座殿閣和其他建築物組成，並被分為三大主要區域：東塔、西塔和橫川，各區域內都設有一座本堂（正殿）。

東塔是延曆寺的核心區域，寶物殿和寺院總本堂「根本中堂」都在這裡，本堂裡供奉著數尊藥師佛像，其中一尊據說是由最澄大師親自雕刻而成。寬闊的根本中堂內有一盞長明燈，自 788 年點燃後從未熄滅。根本中堂被指定為國寶，大約每 60 年翻新一次，每次所用建材同為檜木、柏木以及傳統的銅板屋頂。

西塔在東塔以北約 1 公里處，非常寧靜，遍地都是櫻花樹和山茶花。比叡山海拔較高，櫻花滿開比大津其他地區要晚大約 1 個月。在青翠蔥蘢的環境中，明亮的朱紅色常行堂和法華堂分外引人注目。兩處佛堂形狀相同，以小簷廊相連，合稱為「にない堂」（Ninaido），寺僧在兩間佛堂進行不同的修行。

橫川位於比叡山最北端，可從東塔乘坐接駁車前往，沿著一條長長的小路，穿過秋天時會變得火紅的楓樹林，就是「元三大師堂」。這裡供奉著延曆寺的前住持良源（912-985），諡號元三大師。他為復興延曆寺做出了很多貢獻，還被認為是「御神籤」的創始人，這種預測凶吉的籤文在日本許多神社和寺廟中都很流行。

小檔案：

最澄大師出生於今滋賀縣大津市坂本一帶，本名廣野，12 歲出家，14 歲剃度，法號最澄。804 年，他作為遣唐使前往中國浙江省的天台山學習佛法，回國後開創了日本佛教天台宗，並在延曆寺開闢了天台宗寺院。866 年，清和天皇賜諡號「傳教大師」，這也是日本最早的大師稱號。

<日本語仮訳>

延暦寺

延暦寺は、日本で最も歴史的に重要な仏教寺院の 1 つです。いこしえより神聖な山として信仰を集めてきた比叡山に位置しています。広大な境内には約 17 平方キロメートルもの森が広がっています。延暦寺は、京都、大津、そして宇治のいくつかの場所をまとめてユネスコの世界遺産に登録されています。

延暦寺は、最澄（767–822、詳細は Tips を参照）という仏教の僧によって 788 年に創建され、天台宗の総本山となっています。また、その他いくつかの仏教の宗派の祖師も、延暦寺で修行を行っています。そのため延暦寺は、日本仏教の「母山」として知られています。その長い歴史の中で、延暦寺は中国や朝鮮半島から僧を迎えるなど、様々な試みを取り入れてきました。

延暦寺の境内には、最も多かった時で約 3,000 もの建造物がありました。しかし、1571 年には、境内の全てが武将の織田信長（1534–1582）による襲撃で焼き払われました。信長は日本全国を自身の統治下で統一しようとし、自身に対抗した政治的に強大な寺の多くを破壊しました。延暦寺は徐々に再建され、今日では 100 お堂やその他の建造物からなります。境内は東塔、西塔、そして横川の 3 つの主な区域に分かれており、それぞれのエリアに本堂があります。

東塔は延暦寺の中核的存在で、国宝殿や延暦寺の総本堂である根本中堂があります。根本中堂には、薬師如来像がいくつも安置されており、そのうち 1 つは最澄自身が彫ったものだと言われています。広大な根本中堂には、延暦寺の不滅の法灯も灯されています。788 年に灯されて以来、一切途切れたことがありません。根本中堂は約 60 年ごとに改修されますが、毎回同じケヤキ材とヒノキ材、そして伝統的な銅板屋根が使われます。根本中堂は国宝に指定されています。

西塔は東塔から約 1 キロメートル北にあり、桜の木と椿が多く生えている閑静な場所となっています。比叡山は標高が高いので、桜は大津のその他の地域と比べて 1 ヶ月ほど遅く咲きます。このように周辺を緑に覆われているので、鮮やかな朱色の常行堂と法華堂はひととき目をひきます。常行堂と法華堂は全く同じ形をしたお堂で、屋根付きの小さな廊下でつながっており、これらをまとめて「にない堂」と呼びます。僧たちは、それぞれのお堂をそれぞれ異なる修行に用います。

横川は比叡山の最も北にあり、東塔からシャトルバスで行くことができます。秋になると燃えるような赤に染まるもみじの木を分け入る長い小径を下ると元三大師堂があります。元三大師堂は、死後元三大師として知られるようになった、かつての延暦寺の住職の良源（912–985）に捧げられています。良源は、延暦寺の復興に身を捧げた人物で、また今日では日本の多くの神社や寺で人気を集めるおみくじの元祖であるとも言われています。

Tips :

祖師最澄は現在の滋賀県大津市の坂本地区に生まれ、12 歳で出家し、14 歳で得度し、「最澄」という名前をもらいました。804 年に、遣唐使として中国浙江省の天台山に渡り、仏教を学びました。帰国後、日本仏教の天台宗を創設し、天台宗の寺院として延暦寺を開きました。866 年に、日本における最初の大師号として、清和天皇から「伝教大師」の号が送られました。

【タイトル】 延暦寺

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**延历寺**

延历寺由高僧最澄(767-822)于 788 年创立，是佛教天台宗总本山（总部），也被称为日本佛教的“母山”。延历寺与位于京都、大津、宇治等多处的若干寺庙共同组成了一项联合国教科文组织的世界遗产。

寺庙位于大津市比睿山顶，占据了约 17 平方公里的森林，在鼎盛时期，寺内约有 3000 座建筑。然而，1571 年，因为反对战国枭雄织田信长(1534-1582)，整个寺院遭焚毁。今天的延历寺由 100 座殿阁和其他建筑物组成，分为三大主要区域：东塔、西塔和横川。

东塔是延历寺总本堂“根本中堂”的所在地，根本中堂被指定为国宝，里面的长明灯自 788 年点燃后从未熄灭。西塔“にない堂”(Ninaido)是一座由两栋建筑相连的大佛堂，主要供寺僧在这里进行各类不同的修行。

位于横川的“元三大师堂”供奉延历寺的前住持良源(912-985)。他谥号元三大师，被认为是“御神签”的创始人，这种预测凶吉的签文在日本许多神社和寺庙中都很流行。

<繁体字>**延曆寺**

延曆寺由高僧最澄（767-822）於 788 年創立，是佛教天台宗總本山（總部），也被稱為日本佛教的「母山」。延曆寺與位於京都、大津、宇治等多處寺廟共同組成了一項聯合國教科文組織的世界遺產。

寺廟位於大津市比睿山頂，佔據了約 17 平方公里的森林，在鼎盛時期寺內約有 3000 座建築。但在 1571 年，因為反對戰國梟雄織田信長（1534-1582），整個寺院遭焚毀。今天的延曆寺由 100 座殿閣和其他建築物組成，分為三大主要區域：東塔、西塔和橫川。

東塔是延曆寺總本堂「根本中堂」的所在地，根本中堂被指定為國寶，裡面的長明燈自 788 年點燃後從未熄滅。西塔「にない堂」（Ninaido）是一座由兩棟建築連接在一起的大佛堂，主要供寺僧進行不同的修行。

位於橫川的「元三大師堂」供奉延曆寺的前住持良源（912-985）。他諡號元三大師，被認為是「御神籤」的創始人，這種預測凶吉的籤文在日本許多神社和寺廟中都很流行。

<日本語仮訳>

延暦寺

延暦寺は、最澄（767-822）という僧によって 788 年に創建され、仏教の天台宗の総本山となっています。また延暦寺は、日本仏教の「母山」としても知られています。延暦寺は、京都、大津、そして宇治の多くの寺をまとめて登録されたユネスコの世界遺産の一部となっています。

境内には、大津の比叡山山頂の森が約 17 平方キロメートル広がっています。延暦寺には、最も多かった時で約 3,000 もの建造物がありました。しかし、1571 年には、延暦寺が対立した武将の織田信長（1534-1582）によって境内の全てが焼き払われました。今日の延暦寺の境内には、100 のお堂やその他の建造物があります。境内は東塔、西塔、そして横川の 3 つの主な区域に分かれています。

東塔には、延暦寺の総本堂である根本中堂があります。根本中堂は国宝に指定されており、その中には延暦寺の不滅の法灯も灯されています。788 年に灯されて以来、一切途切れたことがありません。西塔にある「にない堂」は、2 つのお堂がつながったもので、僧たちはここで異なる修行を行います。

横川に位置する元三大師堂は、元三大師としても知られるかつての延暦寺の住職の良源（912-985）に捧げられたお堂です。良源は、今日では日本の多くの神社や寺で人気を集める御神籤の考案者であると言われています。

【タイトル】立木観音（立木山安養寺）

【想定媒体】WEB

<簡体字>**立木观音（立木山安养寺）**

立木观音（立木山安养寺）（以下称“立木观音寺”）是大津最著名的寺庙之一。寺庙坐落在濑田川边的一座山上，远离市区喧嚣，但交通便利，有巴士可达。从山脚下出发，最近的上山路是一条有 800 多级不规则台阶的蜿蜒小道，两侧摆放着雕像和石灯笼，攀登约需 30 分钟；也可取道一条更平缓但不那么近的路，但约需耗时 90 分钟。途中漫山都是杉树，一路往上，山下的车水马龙与河流的湍急水声渐渐消失，取而代之的是悦耳的鸟鸣。

立木观音寺由开创了日本佛教真言宗的著名高僧空海（774-835 年，谥号弘法大师）建造。传说当年，空海在濑田川边看到对岸有一棵闪闪发光的神树，正在这时，一头白鹿出现在他面前，载着他一跃跨过河川来到树下。一人一鹿继续前行，最终到达山顶时，白鹿显身为大慈大悲观世音菩萨。

寺庙以观音菩萨为主佛，本堂（正殿）里供奉着 1.6 米高的木雕观音像，相传为空海亲手雕刻。据说这座雕像取材自山腰一棵神树的树干，高度与空海身高相等。

虽然观音像并不对外开放，寺内依然有两处参拜观音菩萨的地方：一个在本堂前面，一个在本堂后面更靠近殿内木雕观音像的一个小空间。此外，寺庙入口处还有一座空海骑着神鹿的雕像。

本堂后的高地上，是寺庙除厄钟和守护立木观音寺的“奥之院”。与本堂一样，参拜者可以在奥之院的殿前或是殿后祈祷。

<繁体字>**立木觀音（立木山安養寺）**

立木觀音（立木山安養寺）（以下簡稱「立木觀音寺」）是大津最著名的寺廟之一，寺廟坐落在濑田川邊一座山的高處，遠離市區喧囂，但交通便利有巴士可到達。從山腳下出發，最近的上山路是一條有 800 多級不規則台階的蜿蜒小道，兩側擺放著雕像和石燈籠，攀登約需 30 分鐘；也可取道一條更平緩但不那麼近的路，但約需耗時 90 分鐘。途中漫山都是杉樹，隨著步步攀登深入，山下的車水馬龍與河流的湍急水聲漸漸消失，取而代之的是鳥鳴聲。

立木観音寺由開創了日本佛教真言宗の著名高僧空海（774-835 年，諡號弘法大師）建造。傳説當年，空海在瀨田川邊看到對岸有一棵閃閃發光的神樹，正在這時，一頭白鹿出現在他面前，載著他一躍跨過河川來到樹下。當一人一鹿繼續前行最終到達山頂時，白鹿顯身為大慈大悲觀世音菩薩。

寺廟以觀音菩薩為主佛，本堂（正殿）裡供奉著 1.6 公尺高的木雕觀音像，相傳為空海親手雕刻，據說這座雕像取材自山腰一棵神樹的樹幹，高度與空海身高相等。

雖然觀音像並不對外開放，寺內依然有兩處參拜觀音菩薩的地方：一個在本堂前面，一個在本堂後面更靠近殿內木雕觀音像處的一處小區域。此外，寺廟入口處還有一座空海騎著神鹿的雕像。

本堂後的高地上是寺廟除厄鐘和守護立木観音寺的「奥之院」，和本堂一樣參拜者可以在奥之院的殿前或是殿後祈禱。

<日本語仮訳>

立木観音（立木山安養寺）

立木観音（立木山安養寺）（以下「立木観音寺」という）は天津で最も有名なお寺の 1 つです。人里離れた境内は瀨田川の横にそびえる山の標高の高いところにあり、天津市の中心部の喧騒からは離れていますが、バスで簡単にアクセスできます。山の麓から最短距離で登る道は、曲がりくねった 800 段を超える不規則な形の階段で、像や石灯籠が立ち並んでいます。約 30 分で登ることができます。また、最短距離ではありませんが、よりなだらかな道で立木観音寺に行くこともでき、こちらは約 90 分かかります。山は杉の木で覆われ、登ると麓の交通や川の音は消えて、代わりに鳥のさえずりが聞こえてきます。

立木観音寺は、有名な僧で仏教の真言宗の開祖である空海（774-835、死後に弘法大師として知られる）が創建しました。伝説によると、空海の前に白い鹿が現れました。空海はその鹿にまたがって瀨田川を跳び越え、川の向こうに見えた神聖な光を放つ木のところに辿り着きました。さらにその鹿に乗って山頂まで行くと、白い鹿は慈愛の菩薩である観音に変身しました。

立木観音寺は観音を本尊とし、本堂には空海が彫ったと言われている 1.6 メートルの観音菩薩の木像が祀られています。この像は、山腹の神聖な木の幹から彫り出され、高さは空海の身長と同じであると言われています。

観音菩薩像は一般公開されていませんが、寺では観音に祈りを捧げる場所は 2 カ所あります。1 つは本堂の正面、もう 1 つは本堂の裏側の小さなエリアで、観音菩薩像が祀られている場所により近いところです。立木観音寺の入り口には聖なる鹿に乗る空海をかたどった別の像があります。

本堂の裏側のさらに高い場所には、寺の厄除の鐘と立木観音寺の鎮守社である奥の院があります。本堂と同じく、参拝者は奥の院の正面でも裏側でも祈りを捧げることができます。

【タイトル】立木観音（立木山安養寺）

【想定媒体】パンフレット

<簡体字>

立木观音（立木山安养寺）

立木观音（立木山安养寺）由创立日本佛教真言宗的著名高僧空海（774-835 年）建造。传说当年曾有一头白鹿载着空海跃过濑田川，将他带到对岸一棵闪光的神树下，当一人一鹿到达附近的山顶时，白鹿变成了大慈大悲观世音菩萨。

寺庙以观音菩萨为主佛，本堂（正殿）里供奉着 1.6 米高的木雕观音像，相传为空海亲手雕刻。参拜者可以在本堂前面向观音菩萨祈祷，也可以在本堂后面一块小空间里进行，后者更靠近殿内供奉的木雕观音像。观音像不对外开放，但寺庙入口处还有一座空海骑神鹿的雕像。

通往寺庙最近的上山路是一条有 800 多级不规则台阶的蜿蜒小道，漫山都是杉树。一路往上，山脚下的车水马龙与河流的湍急水声渐渐消失，取而代之的，是悦耳的鸟鸣。

<繁体字>

立木觀音（立木山安養寺）

立木觀音（立木山安養寺）由創立日本佛教真言宗的著名高僧空海（774-835 年）建造。傳說當年曾有一頭白鹿載著空海躍過濑田川，將他帶到對岸一棵閃光的神樹下，當一人一鹿到達附近的山頂時，白鹿變成了大慈大悲觀世音菩薩。

寺廟以觀音菩薩為主佛，本堂（正殿）裡供奉著 1.6 公尺高的木雕觀音像，相傳為空海親手雕刻。參拜者可以在本堂前面向觀音菩薩祈禱，也可以在本堂後面一處小區域參拜，後者更靠近殿內供奉的木雕觀音像。觀音像不對外開放，但寺廟入口處還有一座空海騎神鹿的雕像。

通往寺廟最近的上山路是一條由 800 多級不規則台階組成的蜿蜒小道，漫山都是杉樹，隨著步步攀高，山腳下的車水馬龍與河流的湍急水聲漸漸消失，取而代之的是鳥鳴聲。

<日本語仮訳>

立木觀音（立木山安養寺）

立木観音（立木山安養寺）は、仏教の真言宗を開いた空海（774-835）が開山した寺院です。言い伝えによると、空海の前に白鹿が現れ、それに乗って瀬田川を飛び越え、対岸から見た神々しく輝く木にたどり着いたといいます。彼が鹿に乗って近くの山頂まで行くと、そこで鹿は慈悲の菩薩である観音様へと変身しました。

この寺院は観音様を祀っており、本堂には空海が彫ったといわれる 1.6 メートルの木彫りの観音像があります。拝観者は、本堂の正面から観音様にお参りすることもできますが、この仏が安置されている場所により近い、本堂裏手にある小さな空間を利用することもできます。この仏像は公開されていませんが、寺の入り口にある別の像では、空海が聖なる鹿に乗っている姿が描かれています。

寺院まで登る最短の道筋は、800 段以上もある曲がりくねった石段です。山は杉で覆われており、登るのに従い、車の音や麓の川のせせらぎは鳥のさえずりに変わっていきます。

【タイトル】 岩間寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**岩間寺**

岩間寺位于大津南部的一座山中，临近大津和宇治的交界处，是由高僧泰澄(682-767)在 722 年建立的佛教真言宗寺庙，正式名称为“正法寺”。泰澄在治愈了元正天皇（683-748，日本历史上第 5 位女天皇）的疾病后，获得了建造寺庙的许可。

传说泰澄之所以选择在此建庙，是因他曾听到大慈大悲观世音菩萨的咒文从这些丰茂的桂树中传出，遂认定此地必是观音圣地，请求开山建寺。寺内深处有一棵据说树龄超过 500 年的巨大桂树，树干分出虬结交缠的粗大树枝，树前有一座供奉树神的神龛。

岩間寺的本尊是元正天皇的御念持佛——高 15 厘米的铜镀金观音像。它曾被安置在一尊木雕观音像中，据说那是泰澄用当地桂树亲自雕刻而成，但现已遗失。供奉观音像的本堂（正殿）于 1577 年重建，本堂可以参拜，但铜镀金观音像并不对外公开，目前可以看到的是一尊更大的观音像。

传说每到晚上本尊观音像都会飞出本堂，下到冥界救赎灵魂，第二天早晨才返回，每每因花费心力而大汗淋漓，故又被称为“出汗观音”。

除此之外，岩間寺的观音也被认为有助于预防老年痴呆症。本堂前有一个更大的佛堂，是举行特殊仪式祈求观音帮助抵御衰老的地方。仪式上，信徒面向观音像站立，头顶一个大陶盘，据说这有助于提高脑力。佛堂对面的大师堂里有泰澄和真言宗创始人空海(774-835)的人像雕塑。

本堂边上有个小庭园，池塘里锦鲤悠游。据说俳句诗人松尾芭蕉(1644-1694)最著名的俳句之一“古池や 蛙飛びこむ 水の音”（古池塘 青蛙跳入 水声响）的创作灵感，就来自这个池塘。松尾芭蕉是大津各寺院的常客，传闻这句名句是他在岩間寺逗留后所写，现刻于庭园里的大石碑上。

<繁体字>**岩間寺**

岩間寺位於大津南部的一座山中，靠近大津和宇治的交界處，是由高僧泰澄(682-767)在 722 年建立的佛教真言宗寺廟，正式名稱為「正法寺」。泰澄在治癒了元正天皇（683-748，日本歷史上第 5 位女天皇）的疾病後，獲得了建造寺廟的許可。

傳說泰澄選擇在此建廟的原因，是曾聽到大慈大悲觀世音菩薩的咒文從這些豐茂的桂樹中傳出，認定此地必是觀音聖地，於是請求開山建寺。寺內深處有一棵據說樹齡超過 500 年的巨大桂樹，樹幹分出糾結交纏的粗大樹枝，樹前有一座供奉樹神的神龕。

岩間寺的本尊是元正天皇的御念持佛——高 15 公分的銅鍍金觀音像，祂曾被供奉在一尊木雕觀音像中，據說那是泰澄用當地桂樹親自雕刻而成，但現已遺失。供奉觀音像的本堂（正殿）於 577 年重建，本堂開放但銅鍍金觀音像並不對外公開，取而代之的是一尊更大的觀音像。

傳說每到晚上本尊觀音像都會飛出本堂，下到冥界救贖靈魂，第二天早晨才返回，每每因花費心力而大汗淋漓，故被稱為「出汗觀音」。

除此之外，岩間寺的觀音也被認為有助於預防老年癡呆症。本堂前有一個更大的佛堂，是舉行特殊儀式祈求觀音幫助抵禦衰老的地方。儀式上，信徒面向觀音像站立，頭頂一個大陶盤，據說這有助於提高腦力。佛堂對面的大師堂裡有泰澄和真言宗創始人空海（774-835）的人像雕塑。

本堂邊上有個小庭園，池塘裡錦鯉悠遊，據說俳句詩人松尾芭蕉（1644-1694）最著名的俳句之一「古池や 蛙飛びこむ 水の音」（閑寂古池旁 青蛙跳進水中央 撲通一聲響）的創作靈感，就來自這個池塘。松尾芭蕉是大津各寺院的常客，傳聞這首名篇是他在岩間寺逗留後寫下，現被刻在庭園裡的大石碑上。

<日本語仮訳>

岩間寺

岩間寺は、大津と宇治の市境に近い、大津の南にある山中に位置しています。この寺は、722 年に僧の泰澄（682-767）が創建した真言宗の寺院で、正式には正法寺として知られています。泰澄は、元正天皇（683-748、日本で 5 人目の女帝）の病気を治したことで、この寺院の創建を許可されました。

泰澄が寺院の創建にこの地を選んだのは、この地は桂の木が豊かだったからだと言われています。言い伝えによると、泰澄は慈悲の菩薩である観音の真言が木々から聞こえてきたことで、この地が神聖な場所であると考え、そこに聖域を設ける許可を願い出たと言われています。境内の裏手には、樹齡 500 年以上ともいわれる桂の巨木があります。その幹は、絡み合った太い枝に分かれており、その前には木の神を祀った祠が立っています。

岩間寺の本尊は、元正天皇の御念持仏であった、高さ 15 センチの金銅でできた観音像です。この観音像は、かつては泰澄が地元の桂の木から彫ったとされる木彫りの観音像の中に安置されていま

したが、この木像は現在では失われています。金銅の観音像は 1577 年に再建された本堂に祀られています。建物は参拝者に公開されていますが、観音像は公開されていません。本堂内にあるより大きな観音像は公開されています。

毎晩、本尊の観音像は本堂の外へと飛び出し、魂を救うため地獄に下りていると言われています。観音様が毎朝戻ってくる際には、この奮闘によりびしょりと汗をかいていると言われており、このことから、別名「汗かき観音」とも呼ばれています。

岩間寺の観音様は、魂を救うだけでなく、ぼけ封じにも効果があるとされています。本堂前にある大きなお堂では、観音様に老いの防止を祈願する特別な儀式が行われます。参拝者は観音像と向かい合って立ち、頭上に思考力を高めると言われている大きな陶器の皿をのせます。このお堂の向かい側には大師堂があり、そこには泰澄と真言宗の開祖である空海（774-835）の彫刻が展示されています。

本堂の横には小さな庭園があり、その池では鯉が泳いでいます。この池は、俳人・松尾芭蕉（1644-1694）の最も有名な俳句のひとつ、「古池や 蛙飛びこむ 水の音」のきっかけになったと言われています。芭蕉は大津にある寺院をよく訪れ、岩間寺に滞在した後にこの句を詠んだと考えられています。庭の大きな石の上に置かれた銘板には、この句が刻まれています。

【タイトル】 岩間寺

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**岩間寺**

岩間寺由高僧泰澄(682-767)于 722 年建立。传说泰澄听到大慈大悲观世音菩萨的咒文从漫山遍野的桂树中传出，遂认定本地必是观音圣地。寺内后方，在一棵据说有 500 余年树龄的巨大桂树前有一座神龛，供奉着树神。

岩間寺的本尊是一座 15 厘米高的銅鍍金觀音像，它曾被藏於一尊木雕觀音像中，據說那是泰澄用桂樹親自雕刻而成，現已遺失。如今，銅鍍金觀音像被供奉在重建於 1577 年的本堂（正殿）中，並不對外公開，參拜者可以見到的是另一尊較大的觀音像。傳說中，本尊觀音像每晚下到冥界救贖亡靈，忙得大汗淋漓，因此又被稱為“出汗觀音”。岩間寺的觀音也被認為有助於抵禦衰老，寺廟會舉辦特殊儀式來幫助信徒預防老年癡呆，保持頭腦敏銳。

本堂邊上的小庭園裡有一個小池塘，據稱，松尾芭蕉(1644-1694)造訪岩間寺時就是在此獲得靈感而留下了俳句名篇。

<繁体字>**岩間寺**

岩間寺由高僧泰澄（682-767）於 722 年建立，傳說泰澄聽到大慈大悲觀世音菩薩的咒文從漫山遍野的桂樹中傳出，遂認定本地必是觀音聖地。寺內後方，在一棵據說有 500 多年樹齡的巨大桂樹前有一座神龕，供奉著樹神。

岩間寺的本尊是一座 15 公分高的銅鍍金觀音像，祂曾被藏於一尊木雕觀音像中，據說那是泰澄用桂樹親自雕刻而成，但現已遺失。如今，銅鍍金觀音像供奉在重建於 1577 年的本堂（正殿）中，並不對外公開，參拜者可以見到的是另一尊較大的觀音像。傳說中，本尊觀音像每晚下到冥界救贖亡靈，忙得大汗淋漓，因此又被稱為「出汗觀音」。岩間寺的觀音也被認為有助於抵禦衰老，寺廟會舉辦特殊儀式來幫助信徒預防老年癡呆，保持頭腦敏銳。

本堂邊上的小庭園裡有一個小池塘，據稱是松尾芭蕉（1644-1694）造訪岩間寺時就是在此獲得靈感而留下了俳句名篇。

<日本語仮訳>

岩間寺

岩間寺は、722年に仏教の僧の泰澄（682-767）が創建した寺院です。言い伝えによると、泰澄は慈悲の菩薩である観音の真言がこの山に豊富な桂の木々から聞こえてきたことで、この地が観音様の聖地であると考えました。境内の裏手には、樹齢500年以上ともいわれる桂の巨木があり、その前には木の神を祀った祠が立っています。

岩間寺は観音様を祀っており、この寺院の本尊は、高さ15センチの金銅でできた観音像です。この観音像は、かつては泰澄が桂の木から彫ったとされる木彫りの観音像の中に安置されていました。この木彫りの観音像は失われ、金銅の観音像は1577年に再建された本堂に安置されています。この古来の仏像は公開されていませんが、その代わりにより大きな観音像を見ることができます。毎晩、本尊の観音像は魂を救うため地獄に下り、奮闘によりびっしょりと汗をかいていると言われるため、別名「汗かき観音」とも呼ばれています。また、岩間寺では、観音様は加齢による老いを防ぐと信じられており、ぼけ封じのための特別な儀式が行われています。

本堂脇の庭園に小さな池があり、俳人・松尾芭蕉（1644-1694）が岩間寺を訪れた後に詠んだ、ある有名な俳句のきっかけを与えたと言われています。

【タイトル】 浮御堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**浮御堂**

“浮御堂”是满月寺的一部分，也是琵琶湖上最美的景点之一。这座“漂浮的御堂”坐落于通向湖面的木桥（现用混凝土支柱加固）先端，看起来就像漂浮在水上一样。僧人源信(942-1017)为了祈求湖上交通安全而建造了这座御堂。他之所以选择湖面狭窄的坚田地区建堂，是因为这里是商贸水上运输的重要港口。浮御堂在1934年的一场台风中遭到严重破坏，1937年得以重建，后于1982年进行了精心翻修。

浮御堂朴实无华，其建筑本身并不突出，胜在遗世独立的位置和幽静的环境。一棵曲折多节的老松的枝叶低垂于桥上，几根木柱支撑起了枝条。堂内有1000尊小阿弥陀佛金像，堂外面向琵琶湖的一侧有个小舞台，原本是面朝神像进行神圣的舞蹈和音乐仪式的地方。

数世纪以来，浮御堂一直是艺术家热衷追捧的主题。黄昏时分野雁从御堂上空降落的景象被称为“坚田落雁”，是“近江八景”之一。“近江八景”是指一系列近江国（今滋贺县）秉承传统选取的风景名胜，因曾被浮世绘大师歌川广重(1797-1858)所绘而闻名。俳句诗人松尾芭蕉(1644-1694)曾多次造访满月寺，并以在浮御堂中见到的月色为题材写下了俳句，诗句如今就刻在寺内的一块岩石上。

满月寺被认为是建于平安时代(794-1185)晚期，主佛是大慈大悲观世音菩萨。寺内观音堂所供的观音像出自平安时代，已被指定为国家重要文化财产，堂内天花板上绘着供奉菩萨的鲜艳花朵。

<繁体字>**浮御堂**

「浮御堂」是滿月寺的一部分，也是琵琶湖上最美的景點之一。這座「漂浮的御堂」坐落於通往湖面的木橋（現用混凝土支柱加固）前端，看起來就像漂浮在水上一樣。僧人源信（942-1017）為了祈求湖上交通安全而建造了這座御堂。他選擇了湖面狹窄的堅田地區，因為這裡是商貿水上運輸的重要港口。浮御堂在1934年的一場颱風中遭到嚴重破壞，1937年得以重建，並於1982年進行了精心翻修。

浮御堂樸實無華，其建築本身並不突出，勝在遺世獨立的位置和幽靜的環境。一棵曲折多節的老松的枝葉低垂於橋上，幾根木柱支撐起了枝條。堂內有 1000 尊小阿彌陀佛金像，堂外面向琵琶湖的一側有個小舞台，原本是朝向神像進行神聖的舞蹈和音樂儀式的地方。

數世紀以來，浮御堂一直是藝術家創作的熱門主題，黃昏時分野雁從御堂上空降落的景象被稱為「堅田落雁」，是「近江八景」之一。「近江八景」是指一系列近江國（今滋賀縣）秉承傳統選取的風景名勝，因曾為浮世繪大師歌川廣重（1797-1858）所繪聞名。俳句詩人松尾芭蕉（1644-1694）曾多次造訪滿月寺，並以在浮御堂中見到的月色為題材寫下了俳句，詩句如今就刻在寺內的一塊岩石上。

滿月寺被認為是建於平安時代（794-1185）晚期，供奉大慈大悲觀世音菩薩，寺內觀音堂所供的觀音像出自平安時代，已被指定為國家重要文化財產，堂內天花板上繪著供奉菩薩的鮮豔花朵。

<日本語仮訳>

浮御堂

浮御堂は禅寺である満月寺の一部で、琵琶湖屈指の景勝地の一つです。この「浮かぶ御堂」は、湖につながる木造の橋（現在はコンクリート製の支柱で補強されている）の先にあり、まるでこの建物が水面に浮かんでいるかのような見えます。僧侶・源信（942-1017）が、湖上の交通安全祈願のために浮御堂を建立しました。彼が湖が狭くなる堅田地区を選んだのは、湖を渡って物資を運ぶ商人や貿易商たちで賑わう港だったからです。浮御堂は 1934 年の台風で大きな被害を受けましたが、1937 年に再建され、1982 年には念入りに改修されました。

木造の御堂は飾り気のない簡素な建物で、建築自体よりも、その寂しげな佇まいと静かな環境で知られています。橋の上には、曲がりくねった老松が低く垂れ下がっており、その枝は木の支柱で支えられています。堂内には 1,000 体の小さな金の阿彌陀如来像が祀られており、琵琶湖に面した堂の外には小舞台があり、元々は堂内の仏像に向かって行われる、聖なる舞や音楽の儀式に使われていました。

浮御堂は何世紀にもわたり、芸術家に人気の題材となっています。夕暮れ時に御堂の上を雁が降りてくる様子は、「堅田落雁」と呼ばれ、「近江八景」のひとつです。「近江八景」とは、伝統に則って選ばれた近江国（現在の滋賀県）の一連の景勝地を指し、浮世絵師・歌川広重（1797-1858）が描いたことでもよく知られています。俳人・松尾芭蕉（1644-1694）はこの寺を何度も訪れ、お堂にかかる月を見て俳句をしたためました。この句は、境内の岩に彫られています。

満月寺は、平安時代（794-1185）末期に創建されたとされ、慈悲の菩薩である観音菩薩を祀っています。この寺の観音堂には、国の重要文化財に指定されている平安時代の観音像が安置されています。堂内の天井には色鮮やかな花々が菩薩への供物として描かれています。

【タイトル】 浮御堂

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**浮御堂**

“浮御堂”是满月寺的一部分，也是琵琶湖上最美的景点之一。“漂浮的御堂”坐落于通向湖面的木桥（用混凝土支柱加固）前端，如浮在水面一般。僧人源信(942-1017)为祈求湖上交通安全而建造了这座御堂。浮御堂在 1934 年的一场台风中遭到严重破坏，1937 年得以重建，并在 1982 年进行了精心翻修。

浮御堂的景色曾激发许多艺术家的灵感。黄昏时分野雁从御堂上空降落景象被称为“坚田落雁”，是“近江八景”之一。“近江八景”包括近江国（今滋贺县）的一系列秉承传统选取的风景名胜，因被浮世绘大师歌川广重(1797-1858)绘制入画而闻名。俳句诗人松尾芭蕉(1644-1694)曾多次造访满月寺，还以在浮御堂中见到的月色为题材写下了俳句。

满月寺被认为建于平安时代(794-1185)晚期，主佛是大慈大悲观世音菩萨。寺内观音堂所供奉的观音像出自平安时代，是国家指定重要文化财产。

<繁体字>**浮御堂**

「浮御堂」是滿月寺的一部分，也是琵琶湖上最美的景點之一，這間「漂浮的御堂」坐落於通往湖面的木橋（用混凝土支柱加固）前端，儼然浮在水面一般。僧人源信（942-1017）為祈求湖上交通安全而建造了這座御堂。浮御堂在 1934 年的一場颱風中遭到嚴重破壞，1937 年得以重建，並在 1982 年進行了精心翻修。

浮御堂的景色曾激發許多藝術家的靈感，黃昏時分野雁從御堂上空降落的景象被稱為「堅田落雁」，是「近江八景」之一。「近江八景」包括近江國（今滋賀縣）的一系列秉承傳統選取的風景名勝，因被浮世繪大師歌川廣重（1797-1858）繪製入畫而聞名。俳句詩人松尾芭蕉（1644-1694）曾多次造訪滿月寺，還以在浮御堂中見到的月色為題材寫下了俳句。

滿月寺被認為建於平安時代（794-1185）晚期，供奉大慈大悲觀世音菩薩，寺內觀音堂所供奉的觀音像出自平安時代，是國家指定重要文化財產。

<日本語仮訳>

浮御堂

浮御堂は禅寺である満月寺の一部で、琵琶湖屈指の景勝地の一つです。この「浮かぶ御堂」は木造建築で、湖につながる木造の橋（現在はコンクリート製の支柱で補強されている）の先端にあります。水面位浮かんでいるかのように見える御堂は、僧侶・源信（942-1017）により、湖上の交通安全祈願のために建てられました。浮御堂は1934年の台風で大きな被害を受けましたが、1937年に再建され、1982年に改修されました。

浮御堂の風景は、多くの芸術家に刺激を与えています。夕暮れ時に御堂の上を雁が降りてくる様子は、「堅田落雁」と呼ばれ、「近江八景」のひとつです。「近江八景」とは、伝統に則って選ばれた近江国（現在の滋賀県）の一連の景勝地を指し、浮世絵師・歌川広重（1797-1858）が描いたことでもよく知られています。俳人・松尾芭蕉（1644-1694）はこの寺を何度も訪れ、お堂にかかる月を見て俳句をしたためました。

満月寺は、平安時代（794-1185）末期に創建されたとされ、慈悲の菩薩である観音菩薩を祀っています。この寺の観音堂には、国の重要文化財に指定されている平安時代の観音像が安置されています。

【タイトル】 瀬田の唐橋

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**瀬田唐橋**

建于公元 7 世纪的濑田唐桥，自古以来就是大津的象征。它全长 224 米，横跨于从琵琶湖流向大阪湾的濑田川之上，属于连接京都（日本故都，794-1868）和江户（今东京）的古东海道的一部分。

最初的桥梁比现在更靠南一些，16 世纪时，战国梟雄织田信长(1534-1582)为它选定了如今的位置，从而形成了现在双桥交汇于河心小岛的景观。

濑田唐桥位于从江户到京都的交通要道东海上，曾许多著名战役的发生地，因此有“得唐桥者得天下”的传言。当地还流传着一位强大的藤原氏武士曾在桥上打败一只巨型蜈蚣的故事，为此，河东岸靠近大桥处竖有一块纪念碑。

桥栏杆上绿色洋葱状的装饰物被称为“拟宝珠”，源自朝鲜半岛和中国的传统桥梁设计。这种风格的由来也体现在桥名上，“唐”(Kara)代表着中国或朝鲜半岛。

现在的大桥建于 1979 年，依然是大津市的主干道。在一年一度的建部大社“船幸祭”中，濑田唐桥扮演着非常重要的角色——载着神輿的祭船会从桥下通过，届时桥上禁止通行，以确保没有人可以行走在神灵上方。

濑田唐桥被认为是日本三大名桥之一，著名的“近江八景”中有一处就是“濑田夕照”。近江八景是近江国（今滋贺县）一系列具有传统意义的风景名胜，常被用作诗歌和艺术创作的主题。

<繁体字>**瀨田唐橋**

瀨田唐橋自古就是大津的象徵，建於西元 7 世紀。這座橋全長 224 公尺，橫跨於從琵琶湖流向大阪灣的瀨田川之上，屬於連接京都和江戶（今東京）的古東海道的一部分。

最初的橋樑比現在更靠南一些，16 世紀時戰國梟雄織田信長（1534-1582）選定了如今的位置，從而形成了現在雙橋交匯於河心小島的景觀。

瀬田唐橋位於從江戶（今東京）到京都（日本古都，794-1868）的交通要道東海道上，這裡曾爆發過許多著名戰役，因此有「得唐橋者得天下」的傳言。當地還流傳著一位強大的藤原氏武士曾在橋上打敗一隻巨型蜈蚣的故事，在河東岸靠近大橋處豎有一塊紀念碑。

橋欄杆上綠色洋蔥狀的裝飾物被稱為「擬寶珠」，源自朝鮮半島和中國的傳統橋樑設計。這種風格的由來也體現在橋名上，「唐」（Kara）代表著中國或朝鮮半島。

現在的大橋建於1979年，依然是天津市的主幹道。在一年一度的建部大社「船幸祭」中，瀬田唐橋扮演著非常重要的角色——載著神輿的祭船會從橋下通過，屆時橋上禁止通行，以確保沒有人可以行走在神靈上方。

瀬田唐橋被認為是日本三大名橋之一，有名的「近江八景」中的一處就是「瀬田夕照」。近江八景是近江國（今滋賀縣）一系列具有傳統意義的風景名勝，常被用作詩歌和藝術創作的主題。

<日本語仮訳>

瀬田の唐橋

瀬田の唐橋は、7世紀に架けられた大津の古くからのシンボルです。琵琶湖から大阪湾につながる瀬田川に架かるこの全長224mの橋は、京都と江戸（現在の東京）を結ぶ旧東海道の一部です。

元々の橋は現在の橋よりもさらに南にありました。16世紀に武将・織田信長（1534-1582）が現在の場所に設置し、川の中洲で2つの橋をつなげた現在の形となりました。

この橋は、江戸（現在の東京）から京都（日本の都、794-1868）への主要ルートである東海道沿いにあります。この橋は多くの有名な合戦が行われた場所でもあり、そこから「（瀬田の）唐橋を制する者は天下を制す」との言が生まれました。地元には、有力な藤原氏の武士が橋の上で巨大なムカデを倒したという言い伝えが残っています。川の東岸の橋の近くには、この武士の碑があります。

橋の手すりにある緑色の玉ねぎ型の装飾は「擬宝珠」と呼ばれ、朝鮮半島や中国の伝統的な橋のデザインに基づいています。その由来は橋の名前にも反映されており、「唐」は中国や朝鮮半島を意味します。

現在の橋は1979年に架けられたもので、いまでも大津の主要な幹線道路となっています。毎年行われる建部大社の船幸祭では、この橋が重要な役割を果たしており、神輿を乗せた祭礼船が橋の下を航行します。この間、この橋は通行止めとなり、船で運ばれている神々の上を何人たりとも歩くことはできません。

日本三名橋のひとつに数えられる瀬田の唐橋は近江国（現在の滋賀県）の伝統ある景勝地「近江八景」のひとつであり、「瀬田夕照」をはじめ、詩や芸術の題材にもなっています。

【タイトル】旧竹林院

【想定媒体】WEB

<簡体字>**旧竹林院**

竹林院位于坂本町，原是一座称为“里坊”的小寺院，用来供老年僧人居住，同时让他们从事一些简单的工作。坂本地区以里坊众多而闻名，一直在比睿山各寺院里修行的僧侣老来下山可以在这里平静地度过晚年。本地曾有 80 个里坊，现在只剩下 54 家，竹林院是少数向公众开放的旧里坊之一。

竹林院建于 1592 年，占地 3300 平方米，自明治时代(1868-1912)以来便不再有僧侣居住，保留了宁静安详的环境。院内包括一个本堂（正殿）、两间茶室和一个郁郁葱葱的庭园。

长满苔藓的庭园是用来安静冥想的场所，它设计时借取了比睿山下方的八王子山和日吉大社的殿阁的风景，现被指定为国家名胜。流经日吉大社的大宫川之水被引入庭园，形成潺潺小溪和瀑布。保存完好的花园里植物繁多，为四季带来不同色彩。夏天，紫薇花从白色变成粉红色；秋天，红色和橙色的枫叶铺满了大地。

两层楼的本堂建于 1898 年，被指定为大津市文化财产，很适合观赏庭院风景。二楼的主室两侧都面对庭园，是备受青睐的摄影点。将相机架在漆木桌上，可以同时拍摄到庭园和它在桌面上的倒影，对称的构图效果别具一格。

<繁体字>**舊竹林院**

竹林院位於坂本町，原是供年老僧人居住並從事簡單工作的小寺院，稱作「里坊」。坂本以里坊眾多聞名，一直在比睿山各寺院裡修行的僧侶老來便可以下山在這裡平靜地度過晚年。當地曾有 80 個里坊，現在只剩下 54 處，竹林院是少數向公眾開放的舊里坊之一。

竹林院建於 1592 年，占地 3300 平方公尺，自明治時代（1868-1912）以來便不再有僧侶居住，因此保留了寧靜安詳的環境，院內包括一個本堂（正殿）、兩間茶室和一個鬱鬱蔥蔥的庭園。

長滿苔蘚的庭園為冥想而設計，借景比睿山下方的八王子山和日吉大社的殿閣，被指定為國家名勝。流經日吉大社的大宮川之水被引入庭園，形成潺潺小溪和瀑布，保存完好

的花園裡植物繁多，為四季帶來不同色彩。夏天，紫薇花從白色變成粉紅色；秋天，紅色和橙色的楓葉鋪滿了大地。

兩層樓的本堂建於 1898 年，被指定為大津市文化財產，此處很適合觀賞庭院風景。二樓的主室兩側都面對庭園，是備受青睞的攝影點。將相機架在漆木桌上，可以同時拍下庭園與其在桌面上的倒影，對稱的構圖效果別具一格。

<日本語仮訳>

旧竹林院

坂本町にある竹林院は、元々は歳を取った僧侶たちが住み込みで簡単な仕事を行う小規模の寺院「里坊」でした。坂本は、比叡山のお堂で長年修行してきた僧侶たちが、山を下りて晩年を心穏やかに過ごす場所である里坊が数多くあることで知られています。坂本にはかつては 80 軒の里坊がありましたが、現在は 54 軒しか残っていません。竹林院は、一般公開されている数少ない元里坊です。

竹林院は 1592 年に創建されましたが、明治時代（1868–1912）以降僧侶は居住しておらず、静かな環境が保たれています。3,300 平方メートルの敷地内には本堂、2 つの茶室、緑豊かな庭園などがあります。

国指定の名勝である苔むした庭園は、比叡山の麓にある八王子山や日吉大社のお堂を借景とし、静かな瞑想の場として設計されています。日吉大社を流れる大宮川から引かれた水が庭園内に流れ、せせらぎや小さな滝を作り出しています。非常によく手入れされた庭には、様々な植物が植えられており、四季折々の彩りを添えています。夏には白からピンク色に染まったサルスベリの花、秋には赤やオレンジ色に染まった紅葉が地面を埋め尽くします。

この風景は、1898 年に建てられ、大津市の文化財に指定されている 2 階建ての本堂から楽しむことができます。2 階の主室は二面を庭に面しており、写真家に人気のスポットとなっています。漆塗りの木製テーブルの上にカメラを置くことで、庭だけでなくテーブルの天板に映る庭の様子を撮影でき、左右対称の独特の写真を撮ることもできます。

【タイトル】琵琶湖疏水

【想定媒体】WEB

<簡体字>**琵琶湖疏水**

“琵琶湖疏水”，即琵琶湖运河，它从大津的琵琶湖流向京都多条河流，为曾经的都城送去新鲜饮用水和水电能源，也为巡游于两座城市之间的游船提供航道。

20 公里长的“第一疏水”（主运河）始建于 1885 年，5 年后竣工。项目由土木工程师田边朔郎(1861-1944)主持，这在当时被认为是现代工程的一项壮举。田边还利用流经运河的水，在京都建起了日本第一座水力发电站。除了提供饮水和电力，运河也是京都和大津之间人员、货物往来的最快途径。

第一疏水始于琵琶湖的西南部，经由三井寺进入第一个（也是最长的）涵洞后，流经京都的山科地区，再穿过另外三个涵洞后到达南禅寺附近，那里至今仍有一条砖砌的引水渠。之后，第一疏水在皇居附近汇入鸭川，最终在伏见流入堀川。大津和京都之间存在海拔高差，因此南禅寺附近的运河有一段特别倾斜，此处斜面上的“蹴上斜坡铁路”就是为了帮助船只上下通行而建。

第一疏水取得了巨大成功，因此，“第二疏水”（第二条运河）随后在 1912 年建成。这是一条地下运河，在蹴上斜坡铁路下方与前者连通。然而，铁路和公路运输的发展很快令运河的便利性黯然失色，船只在 1951 年停止运营。蹴上斜坡铁路变成了步行道，人们也无法再乘船欣赏运河沿岸的樱花和枫树。尽管船运一度中断，但运河的电力和淡水供应从未间断。2015 年，运河终于恢复行船，从大津到京都船程约 1 小时，回程只需一半时间。

<繁体字>**琵琶湖疏水**

「琵琶湖疏水」，即琵琶湖運河，從大津的琵琶湖流向京都多條河流，為曾經的都城送去新鮮飲用水和水电能源，也為兩座城市之間的遊船提供了巡遊的航道。

20 公里長的「第一疏水」（主運河）始建於 1885 年，於 5 年後竣工。這項建造計畫由土木工程師田邊朔郎（1861-1944）主持，在當時被認為是現代工程的一項壯舉。田邊還利用流經運河的水，在京都建起了日本第一座水力發電站。除了提供飲水和電力，運河也是京都和大津之間人員、貨物往來的最快途徑。

第一疏水始於琵琶湖の西南部，經由三井寺進入第一個（也是最長的）涵洞後，流經京都的山科地區、穿過另外三個涵洞，到達南禪寺附近，那裡至今仍有一條磚砌的引水渠。第一疏水在皇居附近匯入鴨川，最終在伏見流入堀川。大津和京都之間存在海拔高差，因此南禪寺附近的運河有一段特別傾斜，這處斜面上的「蹴上斜坡鐵路」就是為了幫助船隻上下通行而建。

第一疏水取得了巨大成功，因此「第二疏水」（第二條運河）隨後在 1912 年建成，這是一條地下運河，在蹴上斜坡鐵路下方與前者連通。然而，鐵路和公路運輸的發展很快令運河的便利性黯然失色，船隻在 1951 年停止運營。蹴上斜坡鐵路變成了步行道，人們也無法再乘船欣賞運河沿岸的櫻花和楓樹。儘管船運一度中斷，運河卻始終供應著電力和淡水。2015 年，運河終於恢復船運，從大津到京都船程約 1 小時，回程只需一半時間。

<日本語仮訳>

琵琶湖疏水

「琵琶湖疏水」は、大津の琵琶湖から京都の複数の河川へと流れています。この水路は、かつての首都に新鮮な飲料水と水力発電を供給し、2つの都市を結ぶ遊覧船の運行ルートともなっています。

1885年に20kmの第1疏水の建設が始まり、5年後に完成しました。このプロジェクトは、土木技師の田辺朔郎（1861-1944）が先頭に立って行われ、当時の近代工学の偉業とされました。また田辺は、この水路を流れる水を利用した、日本初の水力発電所を京都に建設しました。琵琶湖疏水は、飲料水や電力の供給源であるだけでなく、京都-大津間で人や物を移動する際の最速手段でもありました。

「第1疏水」は、琵琶湖の南西部から始まり、三井寺を過ぎて最初の（そして最も長い）トンネルを通り、京都の山科地区に出ます。そこからさらに3本のトンネルを抜けて、南禅寺の近くを通りますが、そこではレンガ造りの水道橋が今でも水を運んでいます。この水路は、御所近くの鴨川に合流し、やがて伏見の堀川に合流します。大津と京都には標高差があり、南禅寺付近の水路沿いの区間は特に急勾配になっています。その地域の斜面を船が上下に移動するために作られたのが、線路付きの傾斜機「蹴上インクライン」です。

琵琶湖疏水が大成功を収めたことから、1912年に蹴上インクラインの下で合流する完全に地下化された「第2疏水」が増設されました。しかし、鉄道や道路交通が瞬く間に運河の利便性を越え、1951年にはボートも運行されなくなりました。蹴上インクラインは遊歩道となり、疏水沿いの桜やカエデの木は船上からは楽しめなくなりました。船の通行は一時期止まっていましたが、水路には水が流れ続け、発電や真水の供給に利用され続けてきました。2015年、疏水に船が再び航行するようになりました。大津から京都まではおよそ1時間、京都から大津まではその半分ほどの時間で移動できます。

【タイトル】びわ湖バレイ

【想定媒体】WEB

<簡体字>**琵琶湖山谷**

“琵琶湖山谷”位于打见山和蓬莱山之间。从琵琶湖西侧的志贺火车站乘坐 10 分钟公交车，再换乘索道 5 分钟即可到达。秋天的山谷中，原本青翠的树木被染得橙黄鲜红；冬季，这里则成了大津和京都居民钟爱的滑雪胜地。天气温暖的时候，琵琶湖山谷还提供滑索和森林高空绳索课程。

两座山顶上都有琵琶湖露台。打见山上的大露台(Grand Terrace)设有观景台、室外无边泳池和一个舒适的咖啡馆。它通过走廊与北露台(North Terrace)相连，那里也有一个无边泳池，附带休息室和咖啡厅。蓬莱山上，“Cafe 360”咖啡馆有一个宽敞的拱形木制平台，配有舒适的座椅和一个饮品站。两座山上都可以俯瞰琵琶湖全景，欣赏它琵琶一般的独特外形。

琵琶湖山谷地区在本地的“比良八讲”节中扮演着重要角色，这场佛教祭典于每年 3 月 26 日举行。届时，人们需要从靠近打见山顶的一口井中取水倒入琵琶湖，还会在近江舞子的湖边燃起巨大的篝火。这个节日标志着春天的开始，同时祈祷湖上交通安全和湖水的净化。

<繁体字>**琵琶湖山谷**

「琵琶湖山谷」位於打見山和蓬萊山之間。從琵琶湖西側的志賀火車站搭乘公車約 10 分鐘，再換坐纜車 5 分鐘即可到達。秋天的山谷中，原本青翠的樹木被染得橙黃鮮紅；冬日，這裡是大津和京都居民鍾愛的滑雪勝地。天氣溫暖的時候，琵琶湖山谷還提供滑索和森林高空繩索課程。

兩座山頂上都有琵琶湖露台，打見山上的大露台（Grand Terrace）設有觀景台、室外無邊際泳池和一家舒適的咖啡館。其與北露台（North Terrace）透過走廊相連，那裡也有一個無邊際泳池，帶有休息室和咖啡廳。蓬萊山上「Cafe 360」咖啡館有一個寬敞的拱形木製平台，配有舒適的座椅和一個飲料站，兩座山上都可以俯瞰琵琶湖全景，欣賞如琵琶一般的獨特外形。

琵琶湖山谷地區在當地的「比良八講」節中扮演著重要角色，這場佛教祭典於每年 3 月 26 日舉行。屆時，人們需要從靠近打見山頂的一口井中取水倒入琵琶湖，還會在近江舞子的湖邊燃起巨大的篝火。這個節慶代表春天的開始，同時祈禱湖上交通安全和湖水的淨化。

<日本語仮訳>

びわ湖バレイ

「びわ湖バレイ」は打見山と蓬萊山の間位置しています。琵琶湖西岸の志賀駅からバスで 10 分移動し、続いてロープウェイに乗ると 5 分で到着します。秋には緑豊かな溪谷の木々がオレンジ色や赤色に染まり、冬の溪谷は大津や京都の住民の間でスキー場として親しまれています。暖かい時期には、ジップラインや森の上に張り巡らされたロープコースも利用できます。

びわ湖テラスは、それぞれの山頂に施設があります。打見山には、展望台や屋外インフィニティプール、居心地の良いカフェを備えた「グランドテラス」があります。さらに、「ノーステラス」とは廊下でつながっており、屋外インフィニティプールに加えて独自のラウンジやカフェスタンドがあります。蓬萊山の「Café 360」には、アーチ型の大きなウッドデッキがあり、快適な座席やドリンクスタンドが設置されています。両方の山からは琵琶湖が一望でき、琵琶の形をした特徴的な湖面を見ることができます。

びわ湖バレイの地域は、地元のお祭り「比良八講」で重要な役割を果たしています。毎年 3 月 26 日に行われるこの仏教の儀式は、打見山の山頂付近にある井戸から水を汲み上げ、琵琶湖に注ぐというものです。近江舞子の湖畔では、大きなかがり火が焚かれます。このお祭りでは、春の始まりを告げるとともに、湖上の安全と湖水の浄化を祈願します。

【タイトル】 大津市歴史博物館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**大津市历史博物馆**

大津市历史博物馆是了解大津市的理想去处。几个世纪以来，大津市一直是琵琶湖上的交通和贸易枢纽。这座两层楼高的博物馆位于大津市绿意盎然的中心街区，紧邻三井寺。博物馆的常展全面展示了自绳文时代（公元前1万年—公元前300年）起的本地文物。

大津的自然美景一直激发着画家和诗人的灵感，特别是在当时作为从江户（今东京）到京都的最后一个驿站，深受艺术创作者的青睐。博物馆藏有大量“大津绘”，这是江户时代(1603-1867)在大津发展起来的一种民间绘画。

包括歌川广重(1797-1858)在内的许多著名画师都描绘过大津周边的经典美景，创作了各自风格迥异的“近江八景”图。博物馆展出了许多以近江八景为主题的浮世绘木版画，令来访者在亲临美景之前就能先欣赏到它们在古时的模样。

<繁体字>**大津市歷史博物館**

大津市歷史博物館是認識大津市的好去處。幾個世紀以來，大津市一直是琵琶湖上的交通和貿易樞紐。這座兩層樓高的博物館位於大津市綠意盎然的中心街區，緊鄰三井寺。博物館的常展全面展示了自繩文時代（西元前1萬年—西元前300年）以後的當地文物。

大津的自然美景一直激發著畫家和詩人的靈感，在處於作為江戶（今東京）到京都驛道最後一站的時代裡，此處更是熱門的藝術創作題材。博物館藏有大量「大津繪」，這是江戶時代（1603-1867）在大津發展起來的一種民間繪畫。

包括歌川廣重（1797-1858）在內的許多著名畫師都描繪過大津周邊的經典美景，創作了風格各異的「近江八景」圖。博物館展出了許多描繪近江八景的浮世繪木版畫，方便遊客在親臨美景之前，就能先欣賞到此處在歷史上曾經的模樣。

<日本語仮訳>**大津市歴史博物館**

大津市歴史博物館は、何世紀にもわたり琵琶湖の交通や交易の要衝であった大津の街を知るのに最適な場所です。2階建ての博物館は、大津市の緑豊かな中心部にある三井寺のそばに位置しています。常設展示では、縄文時代（紀元前1万年～紀元前300年）からの地元の工芸品を幅広く展示しています。

この地域の自然の美しさは、絵師や歌人にもインスピレーションを与えてきました。大津は、特に江戸（現在の東京）から京都へ向かう街道の最後の宿場町であった時代には、芸術作品の題材として人気がありました。大津市歴史博物館には、江戸時代（1603-1867）に大津で発展した民俗絵画である「大津絵」が展示されており、市内最大級の豊富なセレクションとなっています。

歌川広重（1797-1858）をはじめとする著名な絵師たちが、大津周辺の伝統的な美しい風景を描いた「近江八景」を独自に制作しました。近江八景を描いた木版画の数々が展示されており、実際に景色を体験する前に歴史的なイメージを鑑賞できるようになっています。

【タイトル】 鮒寿司

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**鲫鱼寿司**

鲫鱼寿司是一道传统鱼料理，源自平安时代(794-1185)的近江国（今滋贺县）。它属于日本最古老的寿司——发酵寿司，通常使用发酵后的鱼（而非鲜鱼）制成。这种寿司与泰国北部至中国云南部分地区的料理方式很接近，都是用盐和米饭令鱼发酵而成。据说鲫鱼寿司起源于中国内地，原本使用的是鲤鱼，传入近江国后才改为鲫鱼。今天的鲫鱼寿司只取琵琶湖及其相连河川独有的日本鲫鱼制作。

制作鲫鱼寿司非常耗时间，数百年来，制法始终如一。首先，刮去鱼鳞、去除鱼鳃和内脏，清洗干净，保持鱼身和鱼骨完好。然后，在鱼身里塞满盐，腌制几个月。下一步，掏出食盐，填入米饭，并且把鱼叠放在装满米饭的大容器内，密封后将容器放入水中。随着时间的推移，米饭中的乳酸菌会溶解鱼骨，使鱼发酵。在没有冰箱的时代，人们发明出这样的方式，用来储存生鱼以备日后之用。

鲫鱼寿司通常选用带籽的鲫鱼制作，食用时切成块，以冷盘形式上桌。包括鱼头在内的整条鱼都被摆放在盘子里，点缀少量发酵的米饭。初次来到这座城市的人见到这道菜肴可能会非常吃惊，然而，扑鼻而来的强烈酸味才是它最显著的特征。它首先呈现出浓浓的醋味，之后，酸味和咸味会被鱼籽的微妙风味取代。鱼肉质度松软，与其他寿司截然不同。

鲫鱼寿司可以作为清酒的佐酒小菜直接食用，也可以做成茶泡饭吃。正如蓝纹奶酪与葡萄酒是绝配，这种强烈的味道非常适合搭配酒类。

<繁体字>**鮒魚壽司**

鮒魚壽司是一道傳統魚料理，源自平安時代（794-1185）的近江國（今滋賀縣），屬於發酵壽司，是最古老的壽司形態，即使用發酵後的魚（而非鮮魚）製成。這種做法與泰國北部至中國雲南部分地區的料理方式很接近，都是用鹽和米飯讓魚發酵而成。據說鮒魚壽司起源於中國內地，原本使用的是鯉魚，傳入近江國才改為鮒魚。今天的鮒魚壽司只取琵琶湖及其相連河川獨有的日本鮒魚製作。

製作鯽魚壽司非常耗時間，數百年來，始終保持著古老的製法。首先，刮去魚鱗、去除魚鰓和內臟，清洗乾淨，保持魚身和魚骨完好。然後，在魚身裡塞滿鹽，醃製幾個月。下一步，掏出食鹽、填入米飯，並且把魚疊放入裝滿米飯的大容器內，密封後將容器放入水中。隨著時間的推移，米飯中的乳酸菌會溶解魚骨使魚發酵。在沒有冰箱的時代，人們發明出這樣的方式，用來儲存生魚以備日後之用。

鯽魚壽司通常選用帶卵的鯽魚製作，食用時切成塊，以冷盤形式上桌。包括魚頭在內的整條魚都被擺放在盤子裡，點綴少量發酵的米飯。初次來到這座城市的人見到這道菜肴可能會非常吃驚，然而，撲鼻而來的強烈酸味才是這道料理最明顯的特徵。首先呈現出濃濃的醋味，之後酸味和鹹味會被魚籽的微妙風味取代，魚肉質地鬆軟，與其他壽司截然不同。

鯽魚壽司可以作為清酒的佐酒小菜直接食用，也可以做成茶泡飯吃。正如藍紋乳酪與葡萄酒是絕配，這種強烈的味道非常適合搭配酒類。

<日本語仮訳>

鮒寿司

鮒寿司は、平安時代（794-1185）から近江国（現在の滋賀県）で食されてきた伝統的な魚料理です。鮒寿司はなれずし（発酵させた魚）の一種で、最も古い寿司の形態です。鮒寿司の塩と米で魚を発酵させるという料理法は、タイの北部から中国雲南省にかけての地域の料理と酷似しています。また、鮒寿司はもともと中国奥地で鯉を使ってつくられた寿司が始まりで、製法が近江国に渡来してから鮒が使われるようになったと言われています。鮒寿司は、琵琶湖とその周辺の河川にしか生息していないニゴロブナ（*Carassius auratus grandoculis*）を材料としています。

鮒寿司作りは、数百年前から変わらない手間のかかる作業です。魚の身と骨はそのままに、鱗を落とし、エラと内臓を取って洗います。次に、身を保存するために塩を詰め、数カ月間熟成させます。その後、塩を取り出してご飯を入れ、ご飯が詰まった大きな容器に魚を重ねた後、密閉した容器を水の中に入れます。時間が経つと、米に含まれる乳酸菌が骨を溶かし、魚を発酵させます。これは、冷蔵庫がなかった時代に、生の魚を保存しておく必要があったために生まれた技術です。

鮒寿司は、通常卵を持った鮒を選びます。卵を詰めて切り分けた後、冷やして供されます。皿の上には、頭部を含めて魚が丸ごと盛り付けられ、少量の食用の発酵米が添えられているのを見ると、街を初めて訪れた人は驚くかもしれません。しかし、一番気になるのは鋭い酸味のある臭いです。最初は酢の味が強く感じられますが、時間が経つにつれ、酸味と塩気が卵の微妙な風味に変わります。さらに、他の寿司にはない柔らかな食感が特徴です。

そのまま酒の肴にしたり、お茶漬けにしたりしていただきます。風味が強いので、ブルーチーズとワインのように、お酒との相性は抜群です。

【タイトル】 しじみ飯

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**蚬子饭**

这道从昭和时代(1926-1989)早期就开始流行的美食是大津本地特色，用小个的蚬子、米饭、生姜和酱油烹调而成。

所有食材都放在一个被称为“釜”(Kama)的传统小铁锅里煮熟后一起食用。过去，人们把大釜作为饭锅，在烧柴的炉灶上煮饭。将所有食材都放到一起烹饪的好处颇多：米饭可以充分吸收蚬子的咸鲜味；加酱油后锅底就会有一层焦黄的锅巴，能带来微脆的口感；细小柔软的蚬子让味道更加鲜美；姜丝可增香提味；铁锅则能保温。

蚬子饭通常和豆腐、腌菜和其他湖鲜搭配为“定食”（套餐）供应。就餐时，用木勺将蚬子饭从饭锅里盛入碗中食用。

蚬子饭在大津市中心的石山寺一带特别受欢迎，传统上会使用原产于琵琶湖和瀨田川上游的瀨田蚬子来制作。蚬子饭通常是当地料理的主食，有时也被用于应对宿醉，因为人们认为蚬子对肝脏有益。

<繁体字>**蚬仔飯**

這道大津當地特色美食從昭和時代（1926-1989）早期就開始流行，用小顆的蚬仔、白飯、生薑和醬油烹調而成。

所有的材料都放在一個被稱為「釜」（Kama）的傳統小鐵鍋裡煮熟後一起食用。過去，人們使用大釜作為飯鍋，在燒柴的爐灶上煮飯。將所有食材都放到一起烹飪的好處頗多：米飯可以充分吸收蚬仔的鹹鮮味；加醬油後，鍋底會有一層焦黃的鍋巴，能帶來微脆的口感；細小柔軟的蚬仔讓味道更加鮮美；薑絲可增香提味；鐵鍋則能保溫。

蚬仔飯通常和豆腐、醃菜和其他湖鮮搭配為「定食」（套餐）供應，就餐時先用木勺將蚬仔飯從鍋裡盛入碗中食用。

蚬仔飯在大津市中心的石山寺一帶特別受歡迎，傳統上會使用原產於琵琶湖和瀨田川上游的瀨田蚬仔來製作。蚬仔飯被視為當地料理的主餐，有時也被用於應對宿醉，因為人們相信蚬仔對肝臟有益。

<日本語仮訳>

しじみ飯

しじみ飯は天津の名物料理です。昭和（1926-1989）初期から親しまれてきた料理で、小ぶりのシジミを飯、生姜、醤油で炊き上げたものです。

「釜」と呼ばれる伝統的な小さな鉄製の鍋で、すべての食材を調理して提供されます。昔は、薪ストーブでご飯を炊くための鍋として大きな釜を使っていました。釜ですべてを一緒に炊くことには、さまざまなメリットがあります。ご飯がアサリの塩気とうま味を吸収し、醤油のおかげで鍋の底にくっついてお焦げがきれいに焼けるのです。ご飯のお焦げが多少カリッとした食感を与え、小さく柔らかいシジミは味を引き立て、生姜はアクセントを与え、そして金属の鍋は熱を保ちます。

しじみ飯は、豆腐や漬物、その他の魚介類と一緒に定食の一品として提供されることが多いです。食事の際には、木のしゃもじを使い、鍋のご飯を器に盛って食べます。

しじみ飯は、天津市中心部の石山寺周辺で特に人気があります。この料理で伝統的に使用されているシジミは、琵琶湖や瀬田川上流域に生息するセタシジミと呼ばれる品種です。しじみ飯は郷土料理の主食とされており、シジミは肝臓に良いと考えられていることから、二日酔い対策に活用する人もいます。

【タイトル】 坂本蕎麦

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**坂本荞麦面**

数百年来，坂本町作为通往延历寺和日吉大社的门户而繁荣兴旺。本地区也以众多小寺和保存完好的古老小街区而闻名。商店街上古朴的传统木造“町屋”（商人或工匠的住宅）鳞次栉比，餐厅里提供各种本地特色料理，其中之一就是荞麦面。

这里的荞麦面跟寺庙一样历史悠久。自古以来，它就是延历寺的佛教僧侣素餐里的主食，特别是断食等苦修后能有这样一餐尤为珍贵。在荞麦面制作技术成熟之前，人们只是简单地在荞麦粉中加入热水搅拌食用。江户时代(1603-1867)，延历寺的僧侣开始制作传统荞麦面，坂本町也因此闻名。即使在今天，人们在寺庙节庆场合也会吃坂本荞麦面。

坂本荞麦面的种类很多，无论冷面或热面，餐厅都坚持选用当地食材，并按照传统食谱烹制。面条既可搭配琵琶湖出产的湖鲜，也可像僧侣吃的“精进料理”（素餐）一样，只配蔬菜。

“鹤喜荞麦面”是坂本第一家荞麦面店，由一名曾在延历寺做饭的僧人于1716年创立。它不但接待本地僧侣，还首开先河地同时接待造访延历寺、日吉大社、西教寺等地的朝圣者和游客，确立了坂本荞麦面的良好声誉。今天的鹤喜荞麦面仍然在为延历寺等坂本町各处的僧侣提供服务。餐厅为传统的二层木构建筑，装饰阳台的栏杆上点缀着许多鹤型木板雕刻。这座建筑已经有130年历史，从大津市中心迁来后便取代了以前的店面，由于外观保存完好，已成为国家登录物质文化财产。

<繁体字>**坂本蕎麥麵**

數百年來，坂本町因作為通往延曆寺和日吉大社的門戶而繁榮興旺，這片地區也以眾多小寺和保存完好的古老小街區而聞名。商店街上古樸的傳統木造「町屋」（商人或工匠的住宅）鱗次櫛比，餐廳裡提供著當地特色料理，其中之一就是蕎麥麵。

這裡的蕎麥麵和寺廟一樣歷史悠久，自古以來就是延曆寺佛教僧侶食餐裡的主食，特別在斷食等苦修後能有這樣一餐尤為珍貴。在蕎麥麵製作技術成熟之前，人們只是簡單地

在蕎麥粉中加入熱水攪拌食用。江戸時代（1603-1867），延曆寺の僧侶開始製作傳統蕎麥麵，坂本町也因此聞名。即使到了今天，人們在寺廟節慶場合也會吃坂本蕎麥麵。

坂本蕎麥麵的種類很多，無論冷麵或湯麵，餐廳都堅持選用當地食材，並按照傳統食譜製作，麵條既可搭配琵琶湖出產的湖鮮，也可像僧侶吃的「精進料理」（素食）一樣只配蔬菜。

「鶴喜蕎麥麵」是坂本第一家蕎麥麵店，由一名曾在延曆寺做飯的僧人於1716年創立。這裡不但接待當地僧侶，還首開先河地同時接待造訪延曆寺、日吉大社、西教寺等地的朝聖者和遊客，奠定了坂本蕎麥麵的良好聲譽。今天的鶴喜蕎麥麵仍然為延曆寺等坂本町各處的僧侶提供著服務，餐廳為傳統的二層木造建築，裝飾陽台的欄杆上點綴著許多鶴型木板雕刻。這座建築已經有130年歷史，從大津市中心遷來後便取代了以前的店面，由於外觀保存完好已成為國家登錄物質文化財產。

<日本語仮訳>

坂本蕎麥

数百年前より、坂本の町は延曆寺や日吉大社への玄関口として栄えてきました。また、小さなお寺が多く、保存状態の良い古い町並みが残っていることでも知られています。商店街には、昔ながらの木造の町家（商家や職人の住い）が立ち並び、蕎麥などの特産品を売る店があります。

この地域の蕎麥との関わりは、お寺と同じくらいの歴史があります。延曆寺で僧侶が食する精進料理の中で、蕎麥は古くから主食とされてきました。特に、断食などの修行の後の食事として重宝されていました。蕎麥打ちの技術が発達する以前は、蕎麥粉とお湯を単に混ぜて食べていました。江戸時代（1603-1867）には、延曆寺の僧侶が伝統的なそば打ちを始め、坂本も有名になりました。現在でも、お寺の祝いの場では坂本蕎麥が食べられています。

坂本蕎麥には複数の種類がありますが、冷たい蕎麥であれ、温かい蕎麥であれ、料理店は伝統的なレシピと地元の食材にこだわっています。琵琶湖の魚介類を使った蕎麥や、僧侶の食べ方に合わせた野菜の蕎麥もあります。

「鶴喜そば」は、延曆寺で厨房を担当していた僧侶が1716年に始めた、坂本で最初の蕎麥屋です。地元の僧侶だけでなく、延曆寺や日吉大社、西教寺などへの巡礼者や観光客にも蕎麥を振る舞うようになり、坂本の蕎麥の評判が確立しました。現在も延曆寺をはじめ、坂本の僧侶たちには鶴喜そばが提供されています。木造2階建ての伝統的な蕎麥屋の建物の濡れ縁には、鶴の形にくり抜かれた飾りが施されています。築130年のこの建物は、大津の中心部から移築されてきたものです。外觀の保存状態が良いことから、国の登録有形文化財になっています。

【タイトル】 落雁

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**落雁**

“落雁”是一种将砂糖压制成各种形状的传统“和菓子”（日式糕点），它用抹茶粉、肉桂等成分着色，通常搭配日本茶食用。因为落雁的配料简单，只用了砂糖、糯米粉、水和色素，通常可以保质一年，因此非常适合作为寺庙的供品。

糕点师会选用在日本种植、加工的高品质砂糖“和三盆糖”来制作落雁。将砂糖与其他原料混合后，放入木制模具中压制成形即可。

虽然用这种方式制作的干点心很多，但人们认为“落雁”之名来自大津北面的坚田地区，尤其是浮御堂。该地区和这座禅寺的木造御堂均以出现在近江八景之一的“坚田落雁”中而负有盛名。“近江八景”是当地一系列经典风景名胜，作为诗歌和艺术题材也广受欢迎。落雁的意思是“降落的大雁”，据传：白色糕点上撒上黑芝麻就如同大雁降落在湖面上，因此得名“落雁”。而现在，“坚田落雁”这道风景已被烙刻在落雁糕点上。

随着落雁在日本逐渐流行，糕点师们开始根据季节或当地环境将它们塑造成各种形状。但坚田的一家和菓子店依然坚持制作传统落雁，所用的甚至还是 100 多年前的木模具。只是如今很少有工匠懂得如何制造模具，人们不得不向技术妥协，甚至开始采用一些用 3D 打印机制作的现代模具。

<繁体字>**落雁**

「落雁」是一種將砂糖壓製成各種形狀的傳統「和菓子」（日式糕點），這道點心用抹茶粉、肉桂等成分著色，通常搭配日本茶食用。因為落雁的配料簡單，只用了砂糖、糯米粉、水和色素，通常可以保存一年，因此非常適合作為寺廟的供品。

糕點師會選用在日本種植、加工的高品質砂糖「和三盆糖」來製作落雁，將砂糖與其他原料混合後，放入木製模具中壓製成形即可。

雖然用這種方式製作的乾點心很多，但人們認為「落雁」之名來自大津北面的堅田地區，尤其是浮御堂。當地和這座禪寺的木造御堂均因出現在近江八景之一的「堅田落雁」中而頗負盛名。「近江八景」是當地一系列經典的風景名勝，作為詩歌和藝術的題材也廣

受歡迎。落雁的意思是「降落的大雁」，有一種說法是在白色糕點上撒上黑芝麻就如同大雁降落在湖上，因此得名「落雁」，而現在「堅田落雁」這道著名的風景已被印刻在落雁糕點上。

隨著落雁在日本逐漸流行，糕點師們開始根據季節或當地環境開始塑造成各種形狀，但堅田的一家和菓子店依然堅持製作傳統落雁，所用的甚至還是 100 多年前的木模具。只是如今很少有工匠懂得如何製造模具，人們不得不向技術妥協，甚至開始採用一些用 3D 列印機製作的現代模具。

<日本語仮訳>

落雁

「落雁」は、砂糖を押し固めて様々な形に成形した伝統的な和菓子の一種です。抹茶やシナモン、その他の材料で色付けされており、日本茶と一緒に供されることが多いお菓子です。材料は砂糖、もち粉、水、着色料のみと比較的シンプルなため、一般的に 1 年ほど日持ちします。そのため、お寺のお供え物としても最適です。

菓子職人は、国内で栽培・加工された極上の砂糖「和三盆糖」を使って落雁を作っています。他の材料と混ぜ合わせ、木の型に入れて押し固めます。

このようにして作られた干菓子は数多くありますが、落雁の名前の由来は、大津市北部の堅田地区、とりわけ浮御堂とされています。この地とお寺の木造御堂は「近江八景」の「堅田落雁」に登場することで知られています。「近江八景」とは、歌や芸術作品の題材として人気のある景勝地を描いた伝統的な一連の風景画です。落雁とは「降りてくる雁」という意味で、白いお菓子の上に胡麻をかけたものがその光景に似ていたことが名前の由来であるとの説もあります。今日では、落雁を型に入れる際に、この名景をイメージした焼印が押されるようになっています。

落雁が日本全国に普及すると、菓子職人は季節やその土地に合わせて様々な形に成形するようになりました。堅田のある和菓子店では、今でも伝統的な落雁を作っており、100 年以上前に作られた木型が残っています。今日では、型の作り方を知っている職人が少ないため、技術的な妥協の末、3D プリンターで型を作っているところもあります。

【タイトル】 大津絵

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**大津绘**

“大津绘”是江户时代(1603-1867)在大津发展起来的一种民间绘画。当时，连接江户（今东京）和京都的是东海道，大津则是这条路上到达京都前的最后一站，这里成为了行旅商人的聚集地。于是当地画师渐渐开始绘制画作，作为纪念品出售给过路人。

最初的大津绘以宗教为主题，直接画在粗糙的纸张上，以便于携带。画作均不留署名，可供人们挂在家中供奉。这类绘画仅使用 7 种基本颜色，通常为黑色、白色、褐色和用于当地寺庙装饰的朱红色。

渐渐的，民间故事人物乃至原创题材都成为了大津绘的主题，装扮成善良僧侣的恶鬼，或是幸运之神正在给人剃头等情景开始出现在画面里，这种带有不恭与嘲讽的画风逐步流行。此外，画作上还常常留有讽喻的题词，用来揶揄日常生活中人们的愚蠢行为。随着大津绘日益风行，画面色彩也更加缤纷。为提高产量，大津绘还引入了江户浮世绘所用的木版印刷术。不过，这种技术仅用于印制轮廓，其余部分依然需要手绘。

进入明治时代(1868-1912)，利用东海道的人越来越少，大津绘的知名度也开始下降。尽管如此，这门艺术依旧被代代相传。自 1868 年以来一直坐落于大津市中心的高桥家族的画室，如今是世界仅存的大津绘专门店，收藏的作品可追溯到明治时代。高桥松山是经营该画廊的第五代画师，也是大津市内唯一的大津绘画师，现在依然在进行新的创作。因此，在这家画室里可以同时感受到大津绘的历史和未来。

<繁体字>**大津繪**

「大津繪」是江戶時代（1603-1867）在大津發展起來的一種民間繪畫，當時連接江戶（今東京）和京都的是東海道，大津則是這條路上到達京都前的最後一站，這裡因此成為行旅商人的聚集地。當地畫家漸漸開始繪製畫作，作為紀念品出售給過路人。

最初的圖畫以宗教為主題，直接畫在粗糙的紙張上以方便攜帶，畫作均不留署名，可供人們掛在家中供奉。這類繪畫僅使用 7 種基本顏色，通常為黑色、白色、褐色和用於當地寺廟裝飾的朱紅色。

漸漸的，民間故事人物乃至原創題材都被納入了大津繪的主題範圍，基調也帶上了不恭和嘲諷的意味，出現了裝扮成善良僧侶的惡鬼，或是幸運之神正在給人剃頭等畫面。旁邊還常常有諷喻的題詞，揶揄日常生活中人們的愚蠢行為。隨著大津繪日益流行，畫面色彩也更加繽紛。為提高產量，大津繪還引入了江戶浮世繪所用的木版印刷術。不過，這種技術僅用於印製輪廓，其餘部分依然需要手繪。

進入明治時代（1868-1912），隨著利用東海道的人數減少，大津繪的知名度也開始下降。儘管如此，這門藝術還是代代相傳。高橋家的畫室自 1868 年以來一直坐落於大津市中心，亦是如今世界僅存的大津繪專門畫室，收藏著可追溯到明治時代的作品。高橋松山是經營該畫室的第五代畫師，也是大津市內唯一的大津繪畫師，現在依然在進行新的創作。因此，在這家畫室裡可以同時感受到大津繪的歷史和未來。

<日本語仮訳>

大津絵

大津絵は、江戸時代（1603-1867）に大津で発展した郷土民画の一つです。当時、大津は江戸（現在の東京）と京都を結ぶ東海道上、京都の一つ手前の宿場でした。街は旅人や商人の拠点となり、地元の絵師は通りすがりの人に描いた絵をお土産として販売するようになりました。

元々は宗教をテーマにした絵で、持ち運びに便利のようにざら紙に直接描かれていました。絵は匿名で制作され、礼拝の対象として家庭に飾られるようにデザインされていました。色使いは 7 色と基本的なもので、黒、白、黄土色に加え、地元の寺院の装飾に用いられた朱色の絵の具だけで描かれるのが一般的でした。

時間の経過とともに、大津絵のテーマは拡大し、人気のある民話の登場人物やオリジナルの創作物を含むようになりました。優しい僧侶に扮した鬼や、福の神が他人の頭を剃る姿を描いたものなど、より不敬で風刺的なトーンになっていきました。また、絵の横には、日常の愚かさを揶揄するものが書かれていることも少なくありません。大津絵の人気が高まるにつれ、絵柄もカラフルになり、生産を速めるために江戸の浮世絵のような木版画の技法が採用されるようになりました。しかし、この技法は輪郭だけに使われ、それ以外の部分は手描きで描かれていました。

明治時代（1868-1912）になると東海道の利用が減り、大津絵の人気は衰退していきます。しかし、その後も大津絵は何世代にもわたって受け継がれています。1868 年から大津の中心街に工房を構えてきた高橋家のアトリエは、世界で唯一残っている大津絵の専門店です。明治時代に遡る作品を所蔵しています。高橋松山は、大津絵工房を運営する 5 代目の絵師であり、いまも新しい作品を制作しています。ここに来れば、大津絵の歴史と未来を一度に感じることができます。

【タイトル】 穴太衆

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**穴太衆**

大津北部的坂本地区到处都是古老粗糙的石墙，已与景观融为一体。从日吉大社到比睿山山顶的延历寺，在坂本的各处圣地都能看到风格相似的石墙。这些石墙都是住在坂本附近被称为“穴太衆”的人们留下的遗产。穴太衆不是一个明确的种族，而是世代承袭石匠技艺的石匠家族。

穴太衆石匠最初建造了日吉大社的地基和挡土墙。当延历寺开始在坂本为年长僧侣建造退休住宅“里坊”时，穴太衆工匠又开始负责打造石墙，遂造就了今天的特色街景。1571年，在战国枭雄织田信长(1534-1582)围攻延历寺之后，他的一位部将报告说，尽管寺庙已经被大火吞噬，穴太衆筑造的防护石墙却依然坚固，未曾倒塌。1576年，织田信长委托穴太衆在琵琶湖东侧修筑新安土城的地基，引起了其他武将对穴太衆的关注。

与普通石匠不同，穴太衆既不使用砂浆或其他粘合剂砌石，也不对石头塑形或雕刻，他们只是从大批天然岩石中选出一些，再像拼图一样将它们堆叠起来。大小石块混杂，留有许多缝隙，营造出穴太衆石墙的独特质感。将最合适的石头放在最恰当的位置至关重要，哪怕只有一块石头出错，便意味着整面石墙都必须重筑。据说，要做出如此细致的判断，穴太衆工匠必须能够“听到”每块石头“想去”的位置。

今天，仍有一家穴太衆石匠公司使用传统技术筑墙，只是现在每块石头都会被贴上标签。从坂本到九州的熊本城，他们正致力于日本各地历史遗迹的重建。

<繁体字>**穴太眾**

大津北部的坂本地區到處都是古老粗糙的石牆，已與景觀融為一體。從日吉大社到比睿山山頂的延曆寺，在坂本各處聖地都能看到風格相似的石牆。這些石牆都是住在坂本附近被稱為「穴太眾」的人群留下的遺產，穴太眾並不是一個特定的族群，而是世代承襲石匠技藝的石匠家族。

穴太眾石匠最初建造了日吉大社的地基和擋土牆，當延曆寺開始在坂本為年長僧侶建造退休住宅「里坊」時，穴太眾工匠又繼續負責打造石牆，從而造就了今天的特色街景。

1571年、在戦國梟雄織田信長（1534-1582）圍攻延暦寺之後，他的一位部將報告說，儘管寺廟已經被大火吞噬，穴太衆築造的防護石牆卻依然堅固未曾倒塌。1576年，織田信長委託穴太衆在琵琶湖東側修築新安土城的地基，引起了其他武將對穴太衆的關注。

與普通石匠不同，穴太衆不使用砂漿或其他黏合劑砌石，不對石頭塑形或雕刻，他們只是從大批天然岩石中挑選出一些，再像拼圖一樣將它們堆疊起來。大小石塊混雜，留有許多縫隙，營造出穴太衆石牆的獨特質感。將最合適的石頭放在最恰當的位置至關重要，哪怕只有一塊石頭出錯，便意味著整面石牆都必須重築。據說要做出如此細緻的判斷，穴太衆工匠必須能夠「聽到」每塊石頭「想去」的位置。

時至今日，仍有一家穴太衆石匠公司使用傳統技術築牆，只是現在每塊石頭都會被貼上標籤，從坂本到九州的熊本城，他們正致力於日本各地歷史遺跡的重建。

<日本語仮訳>

穴太衆

大津市北部に位置する坂本地区には、古めかしく荒々しい石垣が多く見られ、風景に溶け込んでいます。日吉大社をはじめ、比叡山山頂の延暦寺に至るまで、地元の霊場にも同様の石垣が見られます。これらの石垣は、坂本の近くに住んでいた穴太衆と呼ばれる人々の遺産です。穴太衆は明確な民族ではなく、石工の一族であり、その知識を世代から世代へと受け継いでいました。

穴太衆は当初、日吉大社で基礎や擁壁を作っていました。延暦寺が坂本に老僧のための里坊を建てるようになると、穴太衆の職人が石工を担当し、今日に残る特徴的な町並みを作り出しました。1571年に武將の織田信長（1534-1582）が延暦寺を包囲した際には、寺が炎に包まれても、穴太衆が作った石垣は崩れなかったと信長の部下の一人が報告しています。1576年、信長は琵琶湖東岸の安土城の基礎工事を穴太衆に依頼し、他の武將たちが穴太衆の石工に注目するきっかけになりました。

一般的な石工とは異なり、穴太衆は石垣を固めるためにモルタルなどの接着剤を使用しません。穴太衆はまた、石の形を整えたり削ったりする代わりに、天然の石を選び、パズルのように積み上げていきます。そのため、大小の石が混在し、隙間が多く、独特の風合いを醸し出しています。一つでも石の位置を間違えてしまうと、壁全体を作り直すことになってしまうので、石を最適な場所に配置することが重要です。このような細かい判断をするために、穴太衆は使うべき場所を石から「聞き取る」ことができなければならないと言われています。

今日、伝統的な技術を駆使する穴太衆の会社が一つだけ残っていますが、それぞれの石にはラベルが付けられています。同社は坂本から九州の熊本城まで、全国各地の歴史遺産の復興に取り組んでいます。

【タイトル】 船幸祭

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**船幸祭**

“船幸祭”是大津三大祭典之一，于每年 8 月 17 日举行。祭典从供奉着传奇武神皇子“日本武尊”的建部大社开始，但濑田川是主会场。

首先，建部大社里装饰得光彩夺目的神輿被抬上“御座船”。船只穿过濑田唐桥，顺着濑田川而下，前往南乡地区。这个祭典旨在再现日本武尊的一部分传奇，把人们带回到皇子不得不渡海击败强敌的时代。

濑田川被认为是龙神的家园，每艘御座船的船头都装饰着金色龙头。建部大社有两座大神輿，较老的一座造于江户时代(1603-1867)。祭典中会用到多座神輿，其中一座重到需要 100 人才能抬上御座船，孩子们则可以抬较为轻巧的小神輿。

据说神輿里承载着日本武尊之灵，因此必须格外小心对待。为确保神輿从桥下经过时无人会在上方亵渎日本武尊，船幸祭期间，濑田唐桥将禁止通行。夜晚，南乡的祭祀仪式结束后，御座船返回濑田唐桥东端北侧的河岸——濑田滨。随着大神輿的移动，烟花在岸边同步绽放，照亮夜空。

<繁体字>**船幸祭**

船幸祭是大津三大祭典之一，於每年 8 月 17 日舉行，祭典從供奉著傳奇武神皇子「日本武尊」的建部大社開始，主舞台是在濑田川上。

首先，建部大社裡裝飾得光彩奪目的神輿將被抬上「御座船」，船隻穿過濑田唐橋，順著濑田川而下前往南鄉地區，這個祭典主要是再現日本武尊的一部分傳奇，把人們帶回到皇子不得不渡海擊敗強敵的時代。

濑田川被認為是龍神的家園，每艘御座船的船頭都裝飾著金色龍頭，建部大社有兩座大神輿，較老的一座造於江戶時代（1603-1867）。祭典中會用到多座神輿，其中一座重到需要 100 人才能抬上御座船，孩子們則可以抬較為輕巧的小神輿。

據說神輿裡承载著日本武尊之靈，因此必須特別小心對待。為確保神輿從橋下經過時無人在上方褻瀆日本武尊，所以船幸祭期間濑田唐橋將禁止通行。夜晚，南鄉的祭祀儀式

結束後，御座船返回瀨田唐橋東端北側の河岸——瀨田濱。隨著大神輿的移動，煙火在岸邊同步綻放照亮夜空。

<日本語仮訳>

船幸祭

船幸祭は大津三大祭の一つで、毎年 8 月 17 日に開催されます。この祭りは、伝説の武将の皇子・ヤマトタケルを祀る建部大社から始まりますが、主な会場は瀨田川です。

まず、建部大社鮮やかに飾り立てられた神輿を御座船に運び入れます。船は瀨田の唐橋をくぐり抜け、瀨田川を下って南郷地区に向かいます。この祭りは、ヤマトタケル伝説の一部を再現したもので、皇子が強敵を倒すために海を渡らなければならなかった時のことを思い起こさせてくれます。

瀨田川には龍神が住んでいるとされていることから、各船の舳先には金色の龍の頭が飾られています。建部大社には大きな神輿が 2 基あり、古い方は江戸時代（1603-1867）に作られたものです。祭りで使用される神輿のうち 1 基は、100 人がかりで船まで運ばなければならないほど重い一方で、子供たちは小さくて軽い神輿を担ぎます。

神輿にはヤマトタケルの霊が宿っていると言われていたため、大切に扱わなければなりません。船幸祭の期間中は、瀨田の唐橋が通行止めになります。これは、神輿が橋の下を通るときに、神輿の上に人がいてヤマトタケルへの侮辱にならないようにするためです。夕方になり、南郷での神事が終わると、船は瀨田の唐橋の東端の北側の河原である瀨田浜に戻り、大神輿の動きに合わせた華々しい花火が辺りを照らします。

【タイトル】 大津祭

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**大津祭**

“大津祭”是大津市最大的节日，每年 10 月中旬举行。它是“湖国三大祭”之一，被指定为国家重要非物质文化遗产。在为期两天的节日期间，13 辆巨型花车将围绕天孙神社附近的市中心街区巡游。花车被称为“曳山”，带有大轮子，风格近似京都祇园祭中使用的高大花车。据说这项庆典活动于 17 世纪由当地商人创办，其灵感便来自于京都最著名的祇园祭。

与祇园祭不同的是，大津祭以在花车上放置机关人偶为特色，当时这在日本尚属首创。每辆花车上都有诠释不同传说或民间故事的独特人偶，有的可以自行活动，有的则需要花车上的乐师和表演者来操纵的大型木偶。花车上的人还会向人群派撒幸运符。后来，日本各地也开始将机关人偶引入节日庆典。

每辆花车背面都装饰着独特的挂毯，其中一些历史非常悠久。有两辆花车上的挂毯展示了“特洛伊陷落”的片段，它们来自 16 世纪的比利时，是教皇送给“大名”（封建时代的领主）的礼物，现已被指定为国家重要文化财产。

今天使用的花车都被认为出自江户时代(1603-1867)。位于大津市中心的“大津祭曳山展示馆”里，一楼展示着节日花车的复制品，二楼展馆每两个月轮流展示各花车上复杂精美的木制和金属装饰品。

<繁体字>**大津祭**

「大津祭」是大津市最大的節日，每年 10 月中旬舉行，是「湖國三大祭」之一，也被指定為國家重要非物質民俗文化財產。在為期兩天的節日期間，13 輛巨型花車將圍繞天孫神社附近的市中心街區巡遊，花車被稱為「曳山」，配有大輪子，風格近似京都祇園祭中使用的高大花車，據說這項慶典活動是 17 世紀由當地商人所創辦，靈感便來自於京都最著名的祇園祭。

然而，與祇園祭不同的是大津祭以在花車上放置機關人偶為特色，當時這在日本尚屬首創之舉。每輛花車上都有詮釋不同傳說或民間故事的獨特人偶，有的可以自行活動，有

的則是需要花車上的樂師和表演者來操縱的大型人偶。花車上的人還會向人群撒帶來幸運的護身符，漸漸地日本各地的其他節日也將機關人偶引入了慶典。

每輛花車背面都裝飾著獨特的掛毯，其中一些歷史非常悠久，有兩輛花車上的掛毯展示了「特洛伊陷落」的片段，掛毯來自 16 世紀的比利時，是教皇送給「大名」（封建時代的領主）的禮物，現已被指定為國家重要文化財產。

今天使用的花車都被認為出自江戶時代（1603-1867），位於大津市中心的大津祭曳山展示館裡，一樓展示著節日花車的複製品，二樓展館則每兩個月輪流展示各花車上複雜精美的木製和金屬裝飾品。

<日本語仮訳>

大津祭

大津祭は毎年 10 月中旬に開催される市内最大の祭りで、「湖国三大祭」のひとつに数えられ、国指定重要無形民俗文化財になっています。2 日間にわたって行われる祭りでは、13 基の巨大な曳山が天孫神社付近の市街地一帯を回ります。曳山とは山車のことで、京都の祇園祭で用いられる大きな車輪のついた背の高い山鉾と同じ様式です。17 世紀に地元の商人が始めた大津祭は、京都の有名な祭りに触発されたものと言われています。

しかし、祇園祭とは異なり、大津祭では山車にからくり人形を乗せるようになりました。これは日本で初めてのことでした。それぞれの曳山には、さまざまな伝説や民話をモチーフにした特徴的な人形があらわれています。自動で動くものもあれば、巨大な木製あやつり人形のように、曳山に乗っている人や奏者が操るものもあります。曳山の上の人々は、観客に向かって幸運のお守りもばら撒きます。時が経つにつれて、日本中の他の祭りでも同様のからくり人形を採り入れるようになりました。

それぞれの曳山の背面には特徴的なタペストリーが飾られており、驚くほど長い歴史をもつ織物もあります。2 基の曳山には、教皇から大名に贈られた、トロイ城陥落を描いた 16 世紀のベルギー製のタペストリーが飾られており、国の重要文化財に指定されています。

現在祭りに使われている曳山は、江戸時代（1603-1867）に製作されたものだと考えられています。大津市の中心部にある大津祭曳山展示館の 1 階では、祭りに使用する曳山のレプリカが展示されています。2 階では、2 ヶ月ごとに異なる曳山が取り上げられ、その精巧な木製・金属製の装飾品の数々が入れ替えで展示されています。

【タイトル】 山王祭

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**山王祭**

日吉大社因“山王祭”而广为人知。山王祭是“湖国三大祭”之一，被大津市指定为重要非物质民俗文化财产。1200 多年来，这个祭祀每年都会举办活力四射的庆典活动。节日从 3 月初就开始了，但主要活动集中在 4 月 12 日至 14 日，此时通常也是樱花烂漫时节。

4 月 12 日晚上，两座“神輿”（神轿）从八王子山山顶附近的神社中抬出。从神社下到日吉大社大约只需 30 分钟，一路火炬熊熊燃烧，抬舆人大声呼喊号子，游行队伍热闹无比。神輿中的神灵是一对夫妇神，下山是为了举行婚礼。日吉大社拥有 7 架 400 年历史的神輿，但祭典中使用的神輿均为 40 年前所造。

4 月 13 日，日吉大社的神官会向 4 位神明敬茶，所用茶叶采自当地一个据说是日本最古老的小茶园。白天，周边街道上有花车游行，孩子们穿着盔甲参与其中。天黑之后，大捆的竹子被点燃，人们手持竹火炬或木火炬，跑过街道进入神社。奔跑者在神輿前排成队，用力摇晃神輿代表阵痛，然后神輿被推倒在地，代表已婚神灵的孩子降生。最后，众人抬起神輿，跑过夜幕里的神社，大声呐喊诵咒，周遭人群则为他们欢呼鼓劲。

最后一天，4 月 14 日，游行队列较为平静，人们抬着神輿从山腰下到湖边，将它们放在船上，绕湖巡游。最后，神輿被请下船后返回日吉大社。

<繁体字>**山王祭**

日吉大社因「山王祭」而廣為人知，山王祭是「湖國三大祭」之一，被大津市指定為重要非物質民俗文化財產。1200 多年來，每年都會舉辦活力四射的慶典活動，節日從 3 月初就開始，但主要活動集中在 4 月 12 日至 14 日，此時通常也是櫻花爛漫的季節。

4 月 12 日晚上，兩座神輿從八王子山山頂附近的神社中抬出，從神社下到日吉大社大約只需 30 分鐘，一路火炬熊熊燃燒，抬輿人大聲呼喊著號子，遊行隊伍熱鬧無比。神輿中的神靈是一對夫婦神，下山是為了舉行婚禮，日吉大社擁有 7 架 400 年歷史的神輿，但祭典中使用的神輿均為 40 年前所造。

4月13日、日吉大社神官會向4位神明敬茶、所用茶葉採自當地一個據說是日本最古老的小茶園。白天周邊街道上有花車遊行，孩子們穿著盔甲參與其中。天黑之後，大捆的竹子被點燃，人們手持竹火炬或木火炬，跑過街道進入神社。奔跑者在神輿前排成隊，用力搖晃神輿代表陣痛，然後神輿被推倒在地，代表已婚神靈的孩子降生。最後，眾人抬起神輿，跑過隱身於夜幕中的神社，大聲吶喊誦咒，周遭人群則為他們歡呼鼓勁。

最後一天4月14日，遊行隊列相對平靜，人們抬著神輿從山腰下到湖邊，將神輿放在船上，繞湖巡遊。最後，神輿被請下船後返回日吉大社。

<日本語仮訳>

山王祭

日吉大社は、山王祭で有名です。山王祭は「湖国三大祭」のひとつでもあり、大津市に重要無形民俗文化財に指定されています。この活気あふれる年に一度の祭典は、1200年以上の歴史があります。祭りは3月上旬から始まりますが、メインイベントは4月12日から14日にかけて行われ、通常は桜の花が咲く中で開催されます。

4月12日の夜、八王子山の頂上付近にある神社の建物から2基の神輿が運び出されます。神社の建物から日吉大社までの距離は徒歩で30分ほどですが、松明が燃やされ、担ぎ手たちのかけ声が響く行列は迫力満点です。神輿の中の夫婦神は、結婚するために山の麓まで運ばれます。日吉大社には400年前の神輿が7基ありますが、祭りで使われるのは40年ほど前に造られた神輿です。

4月13日、日吉大社の宮司が、日本最古とされる地元の小さな茶畑から採れたお茶を、4基の神輿に献じます。日中は、甲冑を着た子供たちが周囲の通りを練り歩く山車のパレードがあります。暗くなると、竹を束ねた大松明が点火され、参加者たちは松明を振り回しながら通りを駆け抜け、境内に入ります。走ってきた人々は神輿の前に並び、陣痛の苦しみを表現するように神輿を激しく揺り動かした後、地面に落とします。これは、結婚した神々の間に子供が誕生したことを表しています。最後に、担ぎ手たちは神輿を持ち上げて、暗い境内のなかで叫んだり、かけ声をかけながら駆け抜け、大勢の群衆がそれに対して声援を送ります。

最終日の4月14日には、神輿が神社から山腹を下って湖へと運ばれ、行列はより穏やかなものとなります。神輿は船に乘せられ、湖の周りを巡航した後、船から降ろされ、日吉大社に帰っていきます。

【タイトル】 大津百町

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**大津百町**

整个江户时代(1603-1867)里，大津都是连接江户（今东京）与京都的东海道在抵达京都前的最后一站，被视为通往当时首都——京都的门户。许多商人和旅行者都路经此地，大津也因此发展为商业重镇。沿路的传统木造“町屋”（商人或匠人的住宅）里遍布着旅馆、茶室和商店，形成了多元化的街区，被称为“大津百町”。

时至今日，人们仍然行走在穿越大津市区的东海道上。昔日的里程碑如今还在，标出了到京都的距离，路边建筑也保存完好。百町地区保留了大约 1500 座历史悠久的町屋，其中一些是江户时代建筑。一处街角立有一块铭牌，告诉人们这里是臭名昭著的“大津事件”发生地，在日本排外情绪依然非常强烈的 1891 年，这里发生了刺杀俄国皇太子未遂事件。

在百町地区中心附近，部分东海道路段已经恢复了江户时代的面貌。一些出售当地糖果和湖鲜的商店已经经营了好几代，依然笑迎八方来客。在一条老商街上，一家拥有 350 年历史的清酒酿造厂仍在运作。

<繁体字>**大津百町**

整個江戶時代（1603-1867），大津都是連接江戶（今東京）與京都的東海道在抵達京都前的最後一站，被認作是當時首都——京都的門戶。許多商人和旅行者路經此地，大津也因此發展為商業重鎮，沿路的傳統木造「町屋」（商人或匠人的住宅）裡遍佈著旅館、茶室和商店，形成了多元化的街區，被稱為「大津百町」。

時至今日，人們仍然行走在穿越大津市區的東海道上，昔日的里程碑如今還在，標出了到京都的距離，路邊建築也保存完好。百町地區保留了大約 1500 座歷史悠久的町屋，其中一些是江戶時代建築。一處街角立有一塊銘牌，標明這裡是臭名昭彰的「大津事件」發生地，在日本排外情緒依然非常強烈的 1891 年，就是在這裡發生了刺殺俄國皇太子未遂事件。

在百町地區中心附近，部分東海道路段已經恢復了江戶時代的面貌，一些出售當地糖果和湖鮮的商店已經經營了好幾代，依然笑迎八方來客。在舊時的商店街上，一家擁有350年歷史的清酒釀造廠持續營業。

<日本語仮訳>

大津百町

江戸時代（1603-1867）を通して、大津は江戸（現在の東京）と京都をつなぐ東海道において、京都の直前に位置する街であり、当時の首都への玄関口でした。多くの商人や旅行者が通過したことから、大津は商業拠点へと発展。通りには宿屋や茶屋、商店が入った伝統的な木造の町家（商家や職人の住い）が軒を連ね、多様性のあるコミュニティを形成し、やがて「大津百町」として知られるようになりました。

現代の人々も、大津の繁華街を通り抜けて東海道を歩きます。京都までの距離を示す古い標石が今なお残っており、通り沿いの建物も美しく保存されています。百町エリアには約1,500軒もの歴史的な町家が残っており、そのなかには江戸時代に建造されたものもあります。街の一角にある碑は、1891年に起きた悪名高い「大津事件」の場所を示しています。この事件では、外国に対する反発感情がまだ強かった時代に、ロシア皇太子の暗殺が図られ、失敗に終わりました。

百町エリアの中心付近では、東海道の一部が江戸時代の様子に復元されています。何代にもわたって経営していることもある地元の菓子や海産物を販売している商店は、今でも旅行者を歓迎しています。350年の歴史を持つ酒蔵も、昔ながらの商店街で営業を続けています。

【タイトル】 坂本エリア

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**坂本地区**

数百年来，位于大津市北部的坂本町始终是通往延历寺和日吉大社的门户。在比睿山顶创建了延历寺的高僧最澄(767-822)就出生在这里。连接坂本町市区和延历寺的“坂本索道”是日本最长的索道。

坂本地区保留着许多历史建筑，颇具旧日风情。搭乘火车可轻松抵达，步行则是探索本地的最佳方式。通往日吉大社的主街两侧，遍布着小型寺庙和在延历寺修行的僧侣年老后的隐居处所“里坊”。这些建筑都有独特的粗糙石墙，那是当地被叫作“穴太众”的石匠集团所确立的特殊式样。京阪线的坂本比睿山口车站旁就是日吉茶园，它被认为是日本最古老的茶园。当年最澄将茶从中国带到了日本，相传他在这里亲手种下了从中国浙江天台山带回的茶种，这才有了这片茶园。

主要的商店街两旁都是古老的木结构店面，屋檐下摆放着传统的折叠木凳，这里有许多供应荞麦面等当地特色料理的餐厅。小街曲巷连接着一些意想不到的地方，也许是隐蔽的山路，也许是安静的墓地。

<繁体字>**坂本地區**

數百年來，位於大津市北部的坂本町始終是通往延曆寺和日吉大社的門戶，在比睿山頂建立了延曆寺的高僧最澄（767-822）就出生在此。連接坂本町市區和延曆寺的「坂本纜車」是日本最長的纜車。

坂本地區保留著許多歷史建築頗具舊日風情，搭乘火車可輕鬆抵達，步行是探索當地的最佳方式。通往日吉大社的主街兩側遍佈小型寺廟和在延曆寺修行的僧侶年老歸隱處「里坊」。這些建築都有著獨特的粗糙石牆，那是當地被叫作「穴太眾」的石匠集團確立的特殊式樣。京阪線的坂本比睿山口車站旁就是日吉茶園，此處被認為是日本最古老的茶園。當年最澄將茶從中國帶到了日本，相傳他在這裡親手種下了從中國浙江天台山帶回的茶種，這才有了這片茶園。

主要的商店街兩旁都是古老的木結構店面，屋簷下擺放著傳統的折疊木凳，有許多供應蕎麥麵等當地特色料理的餐廳。小街曲巷連接著一些意想不到的地方，也許是隱蔽的山路，也許是安靜的墓地。

<日本語仮訳>

坂本エリア

大津市北部の坂本は、数百年間にわたり延暦寺や日吉大社への門前町としての役割を担ってきました。比叡山の山頂で延暦寺を開山した僧侶・最澄（767-822）は、坂本で生まれました。また、延暦寺と坂本を結ぶ日本最長のケーブルカーである「坂本ケーブルカー」の駅もあります。

坂本には、歴史的建造物が多く残っており、昔ながらの魅力を保っています。このエリアへは電車で簡単にアクセスでき、探索する場合は徒歩が最適です。日吉大社に至る大通り沿いには、小規模な寺院の他、延暦寺で修行を積んだ僧侶たちが隠居する里坊が並んでいます。これらの建物に特徴的なごつごつした石垣は、地元の穴太衆と呼ばれる石工集団によって確立された特殊な様式で作られています。京阪線の坂本比叡山口駅の側には、日本最古の茶園と伝えられる日吉茶園があり、日本にお茶を持ち込んだ最澄が、そこに中国浙江省の天台山から持って帰った茶種を蒔いたとされています。

主要な商店街には古い木造の店が並んでおり、各店舗の軒先には伝統的な折りたたみ式の木製ベンチが置かれています。また、蕎麦などの地元の名物料理を提供する飲食店も豊富に揃っています。脇道や路地に入っていくと、人目に付かない山道や静かな墓地など、思いがけない場所にたどり着くことがあります。

【タイトル】 堅田エリア

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**坚田地区**

坚田地区位于琵琶湖西岸的大津市北部，现在是一座安静的湖畔小镇，坐落着寺庙和传统民居。它曾经也是一座重要的城市，当地居民被称作“湖族”，意为湖上的人，他们控制着琵琶湖上船只的通行。1090年，当地人开始将湖中渔获进献给京都的下鸭神社，作为回报，他们获得了琵琶湖的独家捕鱼和通行权，並从中贏取了丰厚利润。由于坚田位于琵琶湖最窄处，当地人受命检查每艘经过坚田的船只并向其征收税款。及至江户时代(1603-1867)早期，随着琵琶湖的湖上交通枢纽移至大津，坚田的影响力也逐渐降低。

今天，包括浮御堂在内的几处寺庙成为了坚田的景点。著名禅师一休(1394-1481)也曾在坚田的一座寺庙修行。俳句诗人松尾芭蕉(1644-1694)时常访问坚田，他的许多学生都住在坚田及周边地区。本地至今可见的传统日式糕点“落雁”的灵感来自“近江八景”之一“坚田落雁”。近江八景是近江国（今滋贺县）一系列经典风景名胜，作为诗歌和艺术的主题广受欢迎。

<繁体字>**堅田地區**

堅田地區坐落於琵琶湖西岸的大津市北部，現在是一座安靜的湖畔小鎮，分佈著寺廟和傳統民居。這裡曾經也是一座重要的城市，當地居民被稱作「湖族」，意為湖上的人，他們控制著琵琶湖上船隻的通行。1090年，當地人開始將湖中漁獲進獻給京都的下鴨神社，作為回報他們獲得了琵琶湖的獨家捕魚和通行權，從中贏取了豐厚利潤。由於堅田位於琵琶湖最窄處，當地人受命檢查每艘經過堅田的船隻並向其徵收稅款。及至江戶時代（1603-1867）早期，琵琶湖的湖上交通樞紐移至大津，堅田的影響力隨之逐漸降低。

今天，包括浮御堂在內的幾處寺廟成為了堅田的景點，著名禪師一休（1394-1481）也曾在堅田的一座寺廟修行。俳句詩人松尾芭蕉（1644-1694）經常訪問堅田，他的許多學生都住在堅田及周邊地區。當地至今可見的傳統日式糕點「落雁」的靈感來自「近江八景」之一「堅田落雁」，近江八景是近江國（今滋賀縣）一系列的經典風景名勝，為廣受歡迎的詩歌和藝術主題。

<日本語仮訳>

堅田エリア

堅田エリアは、琵琶湖西岸の大津市北部に位置しています。現在は、寺院や伝統的な家屋がある閑静な湖畔の町ですが、かつてはこの街に与えられた権利により栄えていました。堅田の住民は、湖の民を意味する「湖族」と呼ばれ、琵琶湖の船の往來を管理していました。堅田の人々は、1090年より琵琶湖で釣った魚を京都の下鴨神社に奉納するようになりました。その見返りとして、琵琶湖での独占的な漁業権と通行権が与えられ、莫大な利益を得たのです。堅田は湖が最も狭まっている部分に位置しており、その住民らは堅田を通り過ぎる船を査察し、税金を徴収する任務を担いました。江戸時代（1603-1867）初期までに、琵琶湖の海上交通の拠点が天津に移ったため、堅田はその影響力を失っていきました。

現在の堅田の観光スポットとしては、浮御堂などの寺院が挙げられます。有名な禅僧である一休（1394-1481）は、堅田の別の寺院で修行していました。俳人の松尾芭蕉（1644-1694）は定期的にこの地域を訪れ、その弟子の多くは堅田やその近辺に住んでいました。この街は、詩や芸術作品で頻りに描かれるようになった、近江八景（近江国（現在の滋賀県）の伝統的な美しい景観）のひとつです。その景色は「堅田落雁」と呼ばれ、今でも地元で作られている「落雁」という伝統的なお菓子の元になりました。

【タイトル】近江八景：概要

【想定媒体】WEB

<簡体字>

近江八景

“近江八景”（见小贴士 1）是近江国（1871 年后称滋贺县）8 处绝美的风景名胜，在大量诗画中都有描绘。这里美丽的自然风光自古闻名，吸引了众多艺术家、朝圣者和贵族接踵而至。江户时代(1603-1867)，许多人都会在前往京都（当时首都）的途中来到近江，因此该地区也成为了著名的艺术创作题材。

近江八景的由来众说纷纭，但普遍认为，八景的确立是源于近卫信尹(1565-1614)在 17 世纪初创作的一系列诗歌。此前，中国画家宋迪(1015-1080)最初以“潇湘八景”（见小贴士 2）入画，对日本许多艺术家、作家和禅师都带来了影响。于是，日本艺术家也开始采用“八景”为主题来表现日本各地美景。

到了 17 世纪下半叶，近江八景已经被画在了扇子、障子门、大门和陶瓷上。铃木春信(1725-1770)、葛饰北斋(1760-1849)等许多木版画家也都创作了关于八景的浮世绘。但与这一主题关系最密切的艺术家，可能要数歌川广重(1797-1858)，众所周知，他创作的近江八景系列画作多达约 20 个不同版本。

近江八景几乎是对应着潇湘八景绘制，许多基本的画面元素都相同，如水上满月、夜雨、大雁等等，只是场景转移到了琵琶湖及其周边的石山寺、濑田唐桥、浮御堂、比良山脉、三井寺等大津历史胜地。八处景观至今仍可造访。

小贴士 1：近江八景

以琵琶湖南部区域比照洞庭湖，对应选取八处景观，分别为：石山秋月、濑田夕照、粟津晴岚、矢桥归帆、三井晚钟、唐崎夜雨、坚田落雁、比良暮雪。

小贴士 2：潇湘八景：

中国著名的系列风景名胜，出自湖南省湘江流域的洞庭湖，包括洞庭秋月、渔村夕照、山市晴岚、远浦归帆、烟寺晚钟、潇湘夜雨、平沙落雁、江天暮雪。

<繁体字>

近江八景

「近江八景」（見小檔案 1）是近江國（1871 年後稱滋賀縣）8 處絕美的風景名勝，出現在大量詩畫中都有描繪。長久以來，這裡都以美麗的自然風光聞名，吸引了不少藝術家、朝聖者和貴族的目光。江戶時代（1603-1867），許多人在前往京都（當時首都）的途中經過近江，並且該地區也是著名的藝術創作題材。

近江八景的由來眾說紛紜，但普遍認為八景的確立是源於近衛信尹（1565-1614）在 17 世紀初創作的一系列詩歌。此前，中國畫家宋迪（1015-1080）開創性地以「瀟湘八景」（見小檔案 2）入畫，這種做法對日本許多藝術家、作家和禪師都產生了影響，於是日本藝術家也開始採用「八景」為主題來表現日本各地美景。

到了 17 世紀下半葉，近江八景已經被畫在了扇子、障子門、大門和陶瓷上，鈴木春信（1725-1770）、葛飾北齋（1760-1849）等許多木版畫家都創作了關於八景的浮世繪。但與這一主題關係最密切的藝術家，可能要數歌川廣重（1797-1858）。眾所周知，他創作的近江八景系列畫作多達約 20 個不同版本。

近江八景幾乎是對應瀟湘八景繪製，許多基本的畫面元素都相同，如水上滿月、夜雨、大雁等等，只是場景轉移到了琵琶湖及其周邊的石山寺、瀨田唐橋、浮御堂、比良山脈、三井寺等天津歷史勝地。八處景觀至今仍可造訪。

小檔案 1：近江八景

以琵琶湖南部區域比照洞庭湖，對應選取八處景觀，分別為：石山秋月、瀨田夕照、粟津晴嵐、矢橋歸帆、三井晚鐘、唐崎夜雨、堅田落雁、比良暮雪。

小檔案 2：瀟湘八景：

中國著名的系列風景名勝，出自湖南省湘江流域的洞庭湖，包括洞庭秋月、漁村夕照、山市晴嵐、遠浦歸帆、煙寺晚鐘、瀟湘夜雨、平沙落雁、江天暮雪。

<日本語仮訳>

近江八景：概要

「近江八景」^{*1}は、近江国（1871 年以前の滋賀県）における 8 つの美しい景観のことで、数多くの詩や絵画に描かれてきました。この地域はその美しい自然で昔から有名で、芸術家や巡礼者、貴族など、多彩な人々を魅了してきました。江戸時代（1603-1867）に京都（当時の都）に向かう途中、多くの人々が近江を通ったことで、この地域は芸術作品のモチーフとしても有名でした。

近江八景の起源については諸説ありますが、17 世紀初頭に一連の詩で八景を描いた近衛信尹（1565-1614）により確立されたと一般的には認められています。それ以前は、日本の芸術家や作家、禅僧たちは、中国の芸術家・宋迪（1015-1080）が最初に描いた「瀟湘八景図」^{*2}の影響

を受けていました。日本の芸術家たちは、日本の様々な地域の美しさを表現するために、「八景」のモチーフを採用しました。

17世紀後半には、近江八景が扇子やふすま、扉、陶磁器に描かれるようになっていました。鈴木春信（1725-1770）や葛飾北斎（1760-1849）など、多くの木版画家が八景の浮世絵を制作しました。おそらく、八景と最も関連性が深い芸術家は、近江八景の連作として約20種の作品を創作したことで知られる歌川広重（1797-1858）でしょう。

近江八景は、瀟湘八景を忠実に翻案したものであり、水上の満月や、夜の雨、雁など、基本的な光景の多くが共通していますが、舞台は琵琶湖やその周辺に移し替えられています。石山寺、瀬田の唐橋、浮御堂、比良山地、三井寺など、大津の歴史的な場所の多くが近江八景に含まれています。八景はいずれも、現在でも訪れることができます。

※1:近江八景

琵琶湖南部エリアを中国の洞庭湖と対照し、八通りの景観を選んだと言われている。具体的には、石山秋月、瀬田夕照、粟津晴嵐、矢橋帰帆、三井晚鐘、唐崎夜雨、堅田落雁、比良暮雪。

※2:瀟湘八景

洞庭湖が流れる中国湖南省付近の八通りの名高い景観を絵画化したもの。具体的には、洞庭秋月、漁村夕照、山市晴嵐、遠浦帰帆、煙寺晚鐘、瀟湘夜雨、平沙落雁、江天暮雪。

【タイトル】 近江八景：石山秋月

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**近江八景：石山秋月**

在“近江八景”问世之前，大津的石山寺就以可眺望琵琶湖美景而闻名。寺院坐落于山腰，最高处有用来专门赏月的地方。11 世纪时，贵族女作家紫式部便是在这里看到水上明月的景象，从而受到启发，创作了《源氏物语》。

在歌川广重(1797-1858)以此为题材的浮世绘作品中，最著名的就是保永堂版：一轮满月高悬在万里无云的夜空中，前景是伽蓝山，背景是横跨水上的濑田唐桥，赏月点和本堂（正殿）也出现在画中。

如今，湖两岸的建筑越来越多，但景色依然令人着迷。像歌川广重画作里那样的观景制高点或许再难寻觅，但石山寺仍然会举办赏月活动。

<繁体字>**近江八景：石山秋月**

在「近江八景」問世之前，大津的石山寺就以可眺望琵琶湖美景而聞名，寺院坐落於山腰，最高處有專門的賞月點。11 世紀時，貴族女作家紫式部便是在這裡看到水上明月的景象，並受到啟發創作了《源氏物語》。

在歌川廣重（1797-1858）以此為題材的浮世繪作品中，最著名的就是保永堂版：一輪滿月高懸在萬里無雲的夜空中，前景是伽藍山，背景是橫跨水上的瀨田唐橋，賞月點和本堂（正殿）也出現在畫中。

如今，湖兩岸的建築越來越多，但景色依然令人著迷，像歌川廣重畫作裡那樣的觀景制高點或許再難尋覓，但石山寺仍然會舉辦賞月活動。

<日本語仮訳>**近江八景：石山秋月**

大津の石山寺は、近江八景が誕生する以前から琵琶湖を一望できる場所として有名でした。山腹にある寺院の最も高い場所に位置する月見のためのスポットは、11 世紀に貴族の女性である紫式

部が、水上の月を見たことでインスピレーションを受けて、『源氏物語』を書き始めた場所だと考えられています。

歌川広重（1797-1858）がこの景観を描いた浮世絵のなかで最も有名なのは、雲のない夜空に満月が浮かんでいる保永堂版です。伽藍山が前景を占め、背景には瀬田の唐橋が水上に架かっています。石山寺の月見台と本堂も描かれています。

現在は湖の両側に建物が増えていますが、この景観はいまだに魅力的です。広重の版画と同じように見える見晴らしの良い場所を見つけるのは難しいかもしれませんが、石山寺では今でも月見のイベントが開かれています。

【タイトル】 近江八景：瀬田夕照

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**近江八景：瀬田夕照**

瀬田川从琵琶湖流向大阪湾，成为大津世代代的重要水道。大津是连接东京和京都的东海道在到达京都之前的最后一站，无数旅人都曾跨越瀬田川往返旧时首都。在铁路普及日本全国之前，全长 224 米的瀬田唐桥是瀬田川上最便捷的桥梁，也是东海道的一部分，更是东海道和大津市的象征。

歌川广重(1797-1858)的这幅浮世绘描绘了沿河以及远处湖面上的点点帆船，前景醒目的瀬田唐桥通过一座河心小岛连通瀬田川两岸，三上山则诡异地若隐若现在背景之中。

今天的琵琶湖上仍然有很多船只航行，只是不再有那么多帆船，瀬田唐桥被新干线铁路桥和大型高速公路桥等现代桥梁包围。歌川广重作品中的旧木桥后来用混凝土重建，但依然不乏古色古香的魅力。

<繁体字>**近江八景：瀬田夕照**

瀬田川從琵琶湖流向大阪灣，成為大津世代代的重要水道，大津是連接東京和京都的東海道在到達京都之前的最後一站，無數旅人跨越瀬田川往返舊時首都。在鐵路普及日本全國之前，全長 224 公尺的瀬田唐橋是瀬田川上最便捷的橋樑，也是東海道的一部分，也因此成為東海道和大津市的象徵。

歌川廣重（1797-1858）的這幅浮世繪描繪了沿河以及遠處湖面上的點點帆船，前景醒目的瀬田唐橋通過一座河心小島連通瀬田川兩岸，三上山則詭異地若隱若現在背景之中。

今天的琵琶湖上仍然有很多船隻航行，只是不再有那麼多帆船，瀬田唐橋被新幹線鐵路橋和大型高速公路橋等現代橋樑包圍，歌川廣重作品中的舊木橋後來用混凝土重建，但依然不乏古色古香的魅力。

<日本語仮訳>**近江八景：瀬田夕照**

琵琶湖から大阪湾へと流れる瀬田川は、何世代にもわたって大津の重要な水路となってきました。大津は、東京と京都をつなぐ東海道において、京都の直前に位置する街であり、首都への往来のために無数の旅行者たちが瀬田川を渡っていきました。日本中に鉄道が敷かれる前は、長さ 224 メートルの瀬田の唐橋が瀬田川を横断する最も簡単な方法であり、この橋はそれ自身が一部となっている東海道と、大津の街の両方を象徴する存在になりました。

歌川広重（1797-1858）がこの景色を描いた浮世絵には、川沿いとその向こうに点在する帆船が描かれています。瀬田の唐橋は手前に大きく描かれており、橋は真ん中の島を介して瀬田の両岸につながり、その背景では、三上山が不気味にそびえ立っています。

現在でも湖には多くのボートがありますが、帆船はそれほど多くありません。また、瀬田の唐橋は、新幹線の鉄道橋と、さらに大きな高速道路の橋という近代的な橋の間に挟まれています。広重が描いた古い木の橋は、その後コンクリートで改築されましたが、昔ながらの魅力を保っています。

【タイトル】 近江八景：粟津晴嵐

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**近江八景：粟津晴嵐**

粟津は大津一處以松樹聞名の區域，位於琵琶湖南端與瀨田川匯合處。連接東京和京都的舊東海道穿過這裡，通過瀨田唐橋與大津各地相連。北面緊鄰膳所城，此城由德川幕府在江戶時代(1603-1867)建造，但 1868 年明治維新以後被拆除。

許多描繪「粟津晴嵐」的畫作都突出了膳所城的雄偉建築，但在著名的保永堂版歌川廣重(1797-1858)浮世繪中，城幾乎消失在湖上的帆船和岸邊的松樹背後。今天，東海道不再是主要步行道，周邊也再沒有那麼多樹木和帆船。不過，這裡有一片安靜的公共綠地，掩映在外圍虯勁多節的松林內，沿著湖岸線蜿蜒伸展。昔日城堡的所在地如今是膳所城遺址公園，也是一處熱門的春季賞櫻勝地。

<繁体字>**近江八景：粟津晴嵐**

粟津是大津一處以松樹聞名の區域，位於琵琶湖南端與瀨田川匯合處，連接東京和京都的舊東海道穿過這裡，通過瀨田唐橋與大津各地相連。北面緊鄰膳所城，此城由德川幕府在江戶時代（1603-1867）建造，但 1868 年明治維新以後被拆除。

許多描繪「粟津晴嵐」的畫作都突出了膳所城的雄偉建築，但在著名的保永堂版歌川廣重（1797-1858）浮世繪中，城幾乎消失在湖上的帆船和岸邊的松樹背後。今日東海道不再是主要步行道，周邊也再沒有那麼多樹木和帆船。不過，這裡有一片安靜的公共綠地，掩映在周邊虯勁多節的松林內，沿著湖岸線蜿蜒伸展。昔日城所在地如今是膳所城遺址公園，也是熱門的春季賞櫻勝地。

<日本語仮訳>**近江八景：粟津晴嵐**

粟津は、松の木で有名な大津内の地区です。琵琶湖の南端にあり、瀨田川と湖が合流する辺りに位置しています。東京と京都を結ぶ旧東海道がこのエリアを通り、瀨田の唐橋と大津の他の地域を

結んでいます。そのすぐ北には、江戸時代（1603-1867）に徳川幕府によって建てられ、1868年の明治維新後に破壊された膳所城がありました。

粟津の晴嵐を描写した絵の多くは、膳所城の堂々とした建築を全面に押し出したものですが、保永堂が出版した歌川広重（1797-1858）の有名な浮世絵では、湖上の帆船と海岸の松の木々に隠れて、城がほとんど見えません。現在、東海道は歩行を主とした道路ではなく、樹木や帆船もかつてほど多くはありません。しかし、湖の周りの海岸線に沿って、ふしくれた松の木が並ぶ静かな公園があります。かつて城があった場所は、膳所城跡公園となっており、春には桜の名所として知られています。

【タイトル】近江八景：矢橋帰帆

【想定媒体】WEB

<簡体字>**近江八景：矢橋帰帆**

矢橋是琵琶湖東側的港口城市，位於大津對岸，現屬於草津市的一部分。在鼎盛時期，矢橋港是連接京都和東京的東海道上非常受朝聖者和旅行者歡迎的地方。東海道繞著琵琶湖一路向南，經瀨田唐橋跨過瀨田川才能到達大津，趕時間的行人通常會取捷徑：在矢橋租船，跨湖直達大津。在 19 世紀晚期鐵路出現之前，水路依然是最快的選擇。

在保永堂版的歌川廣重(1797-1858)浮世繪中，一眼看不到盡頭的船隻從矢橋小小的港口一直排到對岸的大津，船帆的高度和角度皆不同，看起來有些船幾乎就要相互碰上。

如今港口不再繁忙，從岸邊看出去，景色也有了不同。港口前的矢橋歸帆島於 1982 年建造，現代的近江大橋成為最常用的跨湖交通。然而，琵琶湖上仍有大量船隻往來，只是大多數已用引擎取代了船帆。

<繁体字>**近江八景：矢橋歸帆**

矢橋是琵琶湖東側的港口城市，位於大津對岸，現屬於草津市的一部分。在鼎盛時期，矢橋港連接了京都和東京的東海道，非常受朝聖者及旅客歡迎。東海道繞著琵琶湖一路向南，經瀨田唐橋跨過瀨田川才能到達大津，趕時間的行人通常會取捷徑：在矢橋租船，跨湖直達大津。19 世紀晚期鐵路出現之前，水路依然是最快的選擇。

在保永堂版的歌川廣重（1797-1858）浮世繪中，一眼看不到盡頭的船隻從矢橋小小的港口一直排到對岸的大津，船帆的高度和角度皆不同，看起來有些船幾乎就要碰上。

如今港口不再繁忙，從岸邊看出去，景色也有了不同。港口前的矢橋歸帆島於 1982 年建造，現代的近江大橋成為最常用的跨湖交通。雖然琵琶湖上仍有大量船隻往來，不過大多數已用引擎取代了船帆。

<日本語仮訳>**近江八景：矢橋帰帆**

矢橋は、大津の向い、琵琶湖東側にある港町でした。現在は草津市の一部となっていますが、最盛期の矢橋港は、京都と東京を結ぶ東海道の巡礼者や旅人に人気がありました。東海道は琵琶湖を南に巡り、瀬田の唐橋で瀬田川を渡ります。そこで急ぐ人たちは、矢橋で船を借りて湖を渡って、大津に向かうことが多かったのです。1800年代後半に鉄道が登場するまでは、船を利用するのが最速の手段でした。

歌川広重（1797-1858）の保永堂版浮世絵には、矢橋の小さな港から大津に向かって、様々な高さや角度で張った帆の船列が、延々と続いているように見えます。中には、ほとんど触れ合っているように見える船もあります。

今日では港の賑わいもなくなり、岸辺からの眺めも変わっています。矢橋帰帆島は1982年に港の前に建設され、近代的な近江大橋を利用して湖を渡るのが最も一般的な方法になっています。しかし、今では帆ではなくエンジンで航行している船が多いとはいえ、琵琶湖にはまだまだ多くの船が行き交っています。

【タイトル】 近江八景：三井晩鐘

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

近江八景：三井晩鐘

位于长等山脚下的三井寺是大津最古老的佛寺之一。三井寺命运多舛，曾多次被焚毁又重建。它的梵钟是寺内众多国家指定重要文化财产之一，名列日本“三大名钟”。它的钟声是“近江八景”之“三井晩钟”的灵感来源。

歌川广重(1797-1858)等浮世绘画家在相应作品中并非着墨梵钟本身，而是以寺院远景引人联想到钟声响彻山谷的情景。在保永堂版的歌川广重画作中，前景的农田和远处的群山比寺庙本身更为突出。

今天，昔日的农田已经被商店和民居替代，更明显的区别是，这里有了琵琶湖“疏水”（运河）。在歌川广重作画的半个世纪后，当地开凿了琵琶湖疏水，并通过贯穿山下的隧道等水道系统将大津与京都连接起来。疏水和通往寺院的道路两旁都种满了樱花树，春日里，四顾皆是灿烂的粉红。

<繁体字>

近江八景：三井晩鐘

位於長等山腳下的三井寺是大津最古老的佛寺之一，三井寺命運多舛，曾多次被焚毀又重建。梵鐘是寺內眾多的國家指定重要文化財產之一，名列日本「三大名鐘」。其鐘聲是「近江八景」之「三井晩鐘」的靈感來源。

在歌川廣重（1797-1858）等浮世繪畫家的相應作品中，他們並未著墨梵鐘本身，而是以寺院遠景引人聯想到鐘聲響徹山谷的情景。尤其是保永堂版的歌川廣重畫作中，前景的農田和遠處的群山比寺廟本身更突出。

時至今日，往昔的農田已經被商店和房屋替代，更明顯的區別是，這裡有了琵琶湖「疏水」（運河）。在歌川廣重作畫的半個世紀後，當地開鑿了琵琶湖疏水，並通過貫穿山下的隧道等水道系統將大津與京都連接起來。疏水和通往寺院的道路兩旁都種滿了櫻花樹，春日裡四顧皆是燦爛的粉紅。

<日本語仮訳>

近江八景：三井晩鐘

長等山の麓にある三井寺は、大津で最も古い仏教寺院の一つです。三井寺は動乱の歴史を持ち、何度も焼失していますが、その度に再建を繰り返しています。三井寺には多くの重要文化財がありますが、晩鐘はその一つです。日本三名鐘の一つとされ、その音色によって、「近江八景」の題材の一つにもなっています。

歌川広重（1797-1858）をはじめとする浮世絵師たちは、鐘そのものを描くのではなく、遠くから境内を描き、谷間に鳴り響く鐘の音を連想させるように描きました。広重の版元である保永堂版では、寺院そのものよりも手前の農地や遠くの山々がより目立っています。

現在は農地の代わりにお店や家々が建ち並んでいますが、それ以上に当時との違いが目立つのは琵琶湖疏水の存在です。広重が版画を制作してから半世紀後に掘られたもので、山の下を穿ったトンネルなどの水路で、大津と京都を結んでいます。疏水やお寺に続く道沿いには、たくさんの桜の木が立ち並び、春には近隣を鮮やかなピンク色に染め上げます。

【タイトル】 近江八景：唐崎夜雨

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

近江八景：唐崎夜雨

唐崎位于大津市北部的琵琶湖西岸，唐崎神社就座落在一片伸入湖中的三角洲上。神社建于公元 7 世纪，是日吉大社的摄社（本社の附属神社，所供奉的神灵与本社主祭神渊源深厚），日吉大社本身位于更北的坂本地区。唐崎神社以神圣古老的日本松树（灵松）而闻名，它曾为众多艺术家带来灵感，包括歌川广重(1797-1858)和俳句诗人松尾芭蕉(1644-1694)。

保永堂版的歌川广重浮世绘将焦点集中在广袤无垠的松林，它被大雨笼罩，从水边看去，一如前景中的小船那样宛若漂浮水上。歌川广重画中壮观的松树是第二代唐崎松，在 1591 年第一代被砍伐后种植。不幸的是，这棵树在 1921 年枯萎，现存松树是它的后代。经过了一个世纪的生长，新树虽没有达到与前代同等的雄伟规模，但在雨中已然有了优雅神秘的气度。

<繁体字>

近江八景：唐崎夜雨

唐崎位於大津市北部的琵琶湖西岸，一片伸入湖中的三角洲上坐落著唐崎神社。神社建於西元 7 世紀，是日吉大社的攝社（本社の附屬神社，所供奉的神靈與本社主祭神淵源深厚），日吉大社本身位於更北的坂本地區。唐崎神社以神聖古老的日本松樹（靈松）而聞名，曾為眾多藝術家帶來靈感，其中包括歌川廣重（1797-1858）和俳句詩人松尾芭蕉（1644-1694）。

保永堂版的歌川廣重浮世繪將焦點集中在廣袤無垠的松林，樹林被大雨籠罩，從水邊看去宛然漂浮水上，一如前景中的小船那樣。歌川廣重畫中壯觀的松樹是第二代唐崎松，是在 1591 年第一代被砍伐後種植的。不幸的是，這棵樹在 1921 年枯萎，現存松樹是它的後代。經過了一個世紀的生長，新樹雖然沒有達到與上一代同等的雄偉規模，但在雨中已然有了優雅神秘的氣度。

<日本語仮訳>

近江八景：唐崎夜雨

唐崎は大津の北、琵琶湖の西岸に位置しています。琵琶湖の方に突き出た土地に唐崎神社があります。神社は 7 世紀に創建されたもので、さらに北にある坂本地区の日吉大社の摂社（本社に付属する神社で、祀られている神は本社の本尊と深い関係がある）。歌川広重（1797-1858）や俳人松尾芭蕉（1644-1694）など多くの芸術家に影響を与えた神聖な古い松の木（霊松）で有名な神社です。

広重の浮世画の保永堂版では、広大な松の木の広がり完全に焦点を当てています。大雨に覆われ、水辺から見ると前景の小舟のように、ほとんど浮いているように見えます。広重が描いた雄大な松の木は、1591 年に初代の唐崎の松を伐採した後に植えた 2 代目の松の木です。残念ながら、広重時代の木も 1921 年に枯れ、現在の木はその子孫です。100 年の歳月を経ても、新樹はまだ先代のような壮大なスケールには達していませんが、雨の中では優雅で神秘的な姿を見せてくれます。

006-045

湖信会（滋賀県大津市 大津湖都十社寺）

【タイトル】近江八景：堅田落雁

【想定媒体】WEB

<簡体字>

近江八景：堅田落雁

位于琵琶湖西岸的坚田以“浮御堂”闻名，此处佛教建筑是一座建在湖中立柱上的御堂，看上去如同漂浮在水面上一般。虽然世代几经交替，僧侣和旅人依然一直来到这里祈求湖上交通平安。

许多关于“坚田落雁”的画作都描绘了渔民，在保永堂版的歌川广重(1797-1858)浮世绘中，渔民们正在暮色中归航。画中有浮御堂，但更多的水岸部分都藏在了阴影中，纷纷落下的大雁在橙色的天空下化成了一个黑色的剪影。

浮御堂在1937年遭台风严重破坏后重建，如今仍然保持着与昔日一般无二的宁静氛围。当地渔民仍在湖上寻找好渔获，傍晚的天空中仍不时能看到成群的大雁。这幅景象也为当地出产的传统日式糕点“落雁”提供了灵感。

<繁体字>

近江八景：堅田落雁

位於琵琶湖西岸的堅田以「浮御堂」聞名，這處佛教建築是一座建在湖中立柱上的御堂，看上去如同漂浮在水面上一般，世世代代的僧侶和旅人都來到這裡祈求湖上交通平安。

許多關於「堅田落雁」的畫作都描繪了漁民，在保永堂版的歌川廣重（1797-1858）浮世繪中，漁民們在暮色中歸航。畫中有浮御堂，但更多的水岸部分都藏在了陰影中，紛紛落下的大雁在橙色的天空下化成了一道道黑色的剪影。

浮御堂在1937年遭颱風嚴重破壞後重建，如今依然保持著與昔日一般無二的寧靜氛圍。當地漁民仍在湖上尋找好漁獲，傍晚的天空中仍不時能看到成群的大雁，這幅景象也為當地出產的傳統日式糕點「落雁」提供了靈感。

<日本語仮訳>

近江八景：堅田落雁

琵琶湖の西岸にある堅田は、浮御堂で有名です。この仏教建築物は、湖の上に高床式に建てられた木造の御堂で、水の上に浮かんでいるように見えます。琵琶湖の旅の安全を祈願するため、何世代にもわたる僧侶や訪問者がここに訪れます。

この場面は漁師の姿が多く描かれていますが、歌川広重（1797-1858）の浮世絵の保永堂版には、夕暮れ時に漁師が岸边に向かって航海している姿が描かれています。浮御堂は見えますが、水辺から見た残りの陸地はほとんど影になっており、また下りてくる雁がオレンジ色の空に小さな黒い形の集合体となって描写されています。

浮御堂は台風の影響が大きかった 1937 年に再建されたものですが、当時のままのどかな雰囲気を保っています。地元の漁師たちは今でも大漁を求めて湖に向かい、また時には夕空に雁の群れが見られることもあります。このイメージは、今でも地元で作られている「落雁」という伝統的な甘味の創作につながっています。

【タイトル】 近江八景：比良暮雪

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**近江八景：比良暮雪**

天津西北部的比良山脉上有武奈岳、蓬莱山、打见山三大山峰。每年 3 月，来自比良山脉的强风“比良岚”从这里吹向山下的琵琶湖，因常常造成船舶失事而声名不佳。

“比良暮雪”是“近江八景”中唯一的冬景，它既是一道美丽的风景，又在提醒人们大山的严酷。在保永堂版的歌川广重(1797-1858)浮世绘中，锯齿般陡峭的白色山峰令白雪覆盖的房屋和几个出门的人都显得黯淡渺小，只有湛蓝的琵琶湖带来了唯一一抹亮色。

与歌川广重所在的时代相比，如今的比良山脉不再难以抵达，它早已是徒步、登山和滑雪的热门地。火车从天津市中心开往比良地区，琵琶湖山谷则有一条通往蓬莱山顶的索道。在这里可以俯瞰琵琶湖全景，一年四季都值得前往，而枫红如火的秋天最是不容错过。

<繁体字>**近江八景：比良暮雪**

天津西北部的比良山脉上有武奈岳、蓬莱山、打见山三大山峰。每年 3 月，来自比良山脉的强风「比良岚」从这儿吹向山下的琵琶湖，因常常造成船舶失事而声名狼藉。

「比良暮雪」是「近江八景」中唯一的冬景，既是一道美丽的风景，又在提醒人们大山的严酷。在保永堂版的歌川广重（1797-1858）浮世绘中，锯齿般陡峭的白色山峰，衬托出白雪覆盖的房屋和几个出门的人的黯淡渺小，只有湛蓝的琵琶湖带来了唯一一抹亮色。

与歌川广重所在的时代相比，比良山脉如今不再难以攀登，且已是健行、登山和滑雪的热门景点。火车从天津市中心开往比良地区，琵琶湖山谷则有一条通往蓬莱山顶的缆车。在这里可以欣赏到琵琶湖全景，一年四季都值得前往，而枫红如火的秋天最是不容错过。

<日本語仮訳>**近江八景：比良暮雪**

天津の北西部にある比良山系には三大峰があります：武奈ヶ岳、蓬莱山、打見山です。比良山系から3月に琵琶湖に吹き下ろす強風は「比良おろし」として知られ、この時期の難破船の原因ともなることで良く知られています。

比良暮雪は、「近江八景」の中で唯一冬に描かれている情景です。美しい風景であると共に、山々の厳しさを思い起こさせます。歌川広重（1797-1858）の浮世絵の保永堂版には、白くてギザギザした峰が、雪をかぶった家々や外に出かけるわずかな人々の姿を矮小化しています。琵琶湖の明るい青だけが鮮やかな色です。

比良山系は広重の時代よりもアクセスしやすく、ハイキングや登山、スキーなどが楽しめる人気のスポットです。大津市の中心部から比良方面には電車で行くことができ、琵琶湖バレイには蓬莱山の頂上付近まで行けるロープウェイがあります。比良山系からは琵琶湖を一望でき、一年中いつでも訪れる価値がありますが、特に鮮やかな紅葉が楽しめる秋はおすすめです。

【タイトル】 大津市の概要

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

大津市概要

大津市是毗邻琵琶湖西南角的港口城市。四周美景环绕，一侧是湖水，另一侧是郁郁葱葱的绿色山脉。这里距离京都仅 10 公里，搭乘火车 9 分钟即可抵达。

历史和寺庙

大津市现为滋贺县首府，在 667 年至 672 年曾是日本首都。市内有数座大津早期的古老神社和寺庙，包括著名的三井寺、日吉大社、浮御堂和近江神宫。另一个重要景点是位于比睿山山顶的延历寺，此处占地广阔的寺院与京都、大津、宇治等多地的设施一起，被登录为联合国教科文组织世界遗产。

琵琶湖和湖鲜

大津市地处日本最大的淡水湖琵琶湖畔，出产 60 多种本地水生动物，因此，本地料理也以大量湖鲜为特色。“蚬子饭”使用本地蚬子与生姜、米饭一同烹制，“鲫鱼寿司”则将鲫鱼腌制发酵后制成，它们是大津市的两大特产。

大津的艺术

琵琶湖上的如画美景和湖鲜的种类一样繁多，非常适合乘船游览。“近江八景”是一系列具有传统意义的风景名胜，均出自大津及周边地区，其中一些就位于琵琶湖沿岸。这些景点都向公众开放，通过观赏艺术家的画作，还可以感受到它们的古今异同。

休闲娱乐

大津北部的琵琶湖山谷设有滑雪场，城市周围的僻静山野中也有不少徒步路径。

<繁体字>

大津市概要

大津市是毗鄰琵琶湖西南角的港口城市，四周美景環繞，一側是湖水，另一側是鬱鬱蔥蔥的綠色山脈。這裡距離京都僅 10 公里，搭乘火車 9 分鐘即可抵達。

歴史和寺廟

大津市現為滋賀縣首府，在 667 年至 672 年曾是日本首都。市內有數座大津早期的古老神社和寺廟，包括著名的三井寺、日吉大社、浮御堂和近江神宮。另一個重要景點是位於比叡山山頂的延曆寺，這處占地廣闊的寺院與京都、大津、宇治等多地的設施經統合入選為聯合國教科文組織世界遺產。

琵琶湖和湖鮮

大津市地處日本最大的淡水湖琵琶湖畔，出產 60 多種當地湖泊生物，因此，當地料理也以大量湖鮮為特色。「蜆仔飯」使用當地蜆仔與生薑、白飯一同烹製，「鯽魚壽司」則將鯽魚醃製發酵後製成，已經是大津市的兩大特產。

大津的藝術

琵琶湖上的如畫美景和湖鮮的種類一樣繁多，非常適合乘船遊覽。「近江八景」為一系列具有傳統意義的風景名勝，均出自大津及周邊地區，其中一些就位於琵琶湖沿岸。這些景點都向大眾開放，透過藝術家的畫作，還可以感受到這些景點的古今異同。

休閒娛樂

大津北部的琵琶湖山谷設有滑雪場，城市周圍的僻靜山野中也有不少健行路線。

<日本語仮訳>

大津市の概要

大津市は、琵琶湖の南西端に隣接する港湾都市です。街の片側は水と、反対側は緑豊かな山々に囲まれ、自然の美しさに包まれています。京都からわずか 10 キロのところであり、電車で 9 分で行くことができます。

歴史と寺院

大津市は現在滋賀県の県庁所在地で、667 年から 672 年の間、日本の都であったこともあります。市域内には、大津の初期の頃の古い神社仏閣がいくつかあります。その中でも特に注目すべきは、三井寺、日吉大社、浮御堂、近江神宮です。もう一つの見どころは、比叡山の山頂にある延暦寺で、その大きく広がった境内は、大津、京都、隣接する宇治の一部を含み、ユネスコの世界遺産に登録されています。

琵琶湖と海産物

大津市は、60 種以上の海洋生物の在来種が生息する日本最大の淡水湖である琵琶湖の湖畔に位置していることから、湖の幸をふんだんに使った郷土料理が特徴です。シジミを生姜と米で炊き上げた「しじみ飯」と、鮎を塩漬けにし、発酵させた「鮎寿司」は大津の二大名物料理です。

芸術の大津

琵琶湖は絵に描いたような景色と多彩な湖の幸が楽しみ、ボートでのクルージングにも最適です。「近江八景」は、伝統的な美しい場所の風景画を揃えたもので、いずれも大津市とその周辺、一部は琵琶湖沿いの景観を元としています。そうした景観はすべて一般公開されており、アーティストが描いた作品と、現代の実際の様子とを比較することができます。

レクリエーション

大津市の北側のびわ湖バレイにスキー場があり、街周辺には人里離れた山間部を巡るハイキングコースがあります。

【タイトル】 東海道の宿場町としての大津

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**东海道驿站——大津**

长期以来，大津一直被视为通往京都的门户，因为这两座城市的距离非常近。江户时代(1603-1867)，大津被设为连接江户（今东京）和京都的东海道上的最后一个驿站，其门户地位也因此变得更加正式。

“五街道”是包含连接江户和日本其他地区的五条官道，东海道便是其中之一。由于幕府在江户而天皇在京都，所以两座城市之间的交通便捷至关重要。为此，德川幕府开发了 5 条道路，并在沿线设立“宿场”（驿站），以确保政府官员和旅人在旅途中有休息的地方。大津被指定为沿海路线东海道上的第 53 个（最后一个）宿场，同时也是较长的内陆官道“中山道”的终点。

大津逐渐成为武士、贵族以及朝圣者、商人和艺术家的聚集地。矗立着传统木造町屋（商人或工匠的住宅）的市中心遍布旅馆、茶室和商店。除了热情好客的民风，大津的面料同样有名，因此许多旅人都会在进入京都之前换上更好一些的衣服。各色商业从大津沿着东海道蔓延开去，以至于这里渐渐有了“大津百町”的称号。

江户时代初期，当地艺术家开始绘制图画作为旅游纪念品出售。这些图片最初只是佛教画，但艺术家们很快就形成了他们玩世不恭的风格。于是这些作品迅速流行起来，被称为“大津绘”。

<繁体字>**東海道驛站——大津**

長期以來，大津一直被視為通往京都的門戶，因為這兩座城市的距離非常近。江戶時代（1603-1867），大津被設為連接江戶（今東京）和京都的東海道上的最後一個驛站，其門戶地位也因此變得更加正式。

「五街道」是包含連接江戶和日本其他地區的五條官道，東海道便是其中之一。由於幕府在江戶而天皇在京都，兩座城市之間的交通便捷至關重要。為此，德川幕府開發 5 條道路，並在沿線設立「宿場」（驛站），以確保政府官員和旅人在旅途中有休息的地方。

大津被指定為沿海路線東海道上的第 53 個（最後一個）宿場，同時也是較長的內陸官道「中山道」的終點。

大津逐漸成為武士、貴族以及朝聖者、商人和藝術家的聚集地，矗立著町屋（日式傳統木造城市住宅）的市中心遍布旅館、茶室和商店。除了熱情好客的民風，大津的布料同樣有名，因此許多旅人都會在進入京都之前換上一些更好的衣服。各色行業從大津沿著東海道蔓延開去，以至於這裏漸漸有了「大津百町」的稱號。

江戶時代初期，當地藝術家開始繪製圖畫作為旅遊紀念品出售，這些圖片最初只是佛教畫，但藝術家們很快就形成了他們玩世不恭的風格，這些作品迅速流行起來，被稱為「大津繪」。

<日本語仮訳>

東海道の宿場町としての大津

大津は古くから、近接している京都の玄関口とされてきました。江戸時代（1603-1867）には、江戸（現在の東京）と京都を結ぶ東海道の最後の宿場町として大津が置かれたことで、玄関口としての地位がより正式なものとなりました。

東海道は、江戸と日本各地を結ぶ公式に認められた五つの街道（五街道）のひとつでした。幕府が江戸に、天皇が京都にいたため、両都市間の移動が容易であることに重きが置かれました。徳川幕府は五街道を整備し、それに沿って宿場を設けることで、役人や旅人が旅の途中で休む場所を確保しました。大津は、東海道（沿岸ルート）の 53 番目で、最後の宿場町に指定され、より距離の長い内陸の中山道の終点でもありました。

大津は、武士や貴族だけでなく、巡礼者や商人、芸術家の拠点となったのです。昔ながらの木造の町家（商家や職人の住い）がある繁華街には、旅館や茶屋、商店などが軒を連ねていました。おもてなしの心に加えて、大津は織物で有名でした。そのため、旅行者の多くが京都に入る前に着物を良いものに新調したのです。大津を起点に多様な事業が東海道沿いに広がったため、やがて「大津百町」と呼ばれるようになりました。

江戸時代初期には、地元の絵師たちが絵を描いて旅人のお土産として販売するようになりました。当初は仏画として描かれていましたが、次第に自由奔放な作風に変化していきます。作品はやがて人気を博していき、大津絵と呼ばれるようになりました。

【タイトル】 大津と京都の関係

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**大津与京都的关系**

从京都搭乘火车，只需 9 分钟就能到达大津。许多住在大津的人都在京都工作，京都的游客也常去大津一日游或休个长假。然而，这两个城市不仅仅是共享一条火车线，更是有着深厚的历史渊源。

8 世纪时，位于大津的比睿山延历寺承担起了保护当时新都“平安京”（今京都）的任务。现在这座占地 17 平方公里的寺庙又与京都的许多其他寺庙被统合登录为联合国教科文组织世界遗产。并且在江户时代(1603-1867)，大津是东海道上的京都门户，东海道连接着京都和江户（今东京），前往京都的旅客和货物都要先经过大津。

这两座城市之间还有琵琶湖“疏水”（运河）连通，疏水为京都送去琵琶湖的新鲜饮用水和水力发电的能源。如同水道初通时一样，游船如今依然行驶在古老的疏水上，载着游人，穿行于京都和大津之间的优美风景当中。

<繁体字>**大津與京都的關係**

從京都搭乘火車，只需 9 分鐘就能到達大津。許多住在大津的人都在京都工作，京都的遊客也常去大津一日遊或休個長假。然而這兩個城市不僅僅是共用一條火車線，更是有深厚的歷史淵源。

8 世紀時，位於大津的比睿山延曆寺承擔起了保護當時新都「平安京」（今京都）的任務。現在這座占地 17 平方公里的寺廟又與京都的許多其他寺廟共同成為一項聯合國教科文組織世界遺產。並且在江戶時代（1603-1867），大津成為了東海道上的京都門戶，東海道連接京都和江戶（今東京），前往京都的旅客和貨物都要先經過大津。

這兩座城市之間還有琵琶湖「疏水」（運河）連通，疏水為京都送去琵琶湖的新鮮飲用水和水力發電的能源。如同水道初通時一樣，遊船如今依然行駛在古老的疏水上，載著遊客穿梭於京都和大津之間的優美風景當中。

<日本語仮訳>

大津と京都の関係

大津は京都から電車でわずか9分です。大津の住人は京都に通勤している人が多く、京都を訪れる人は日帰り、または長期滞在目的で大津を訪れています。しかし、この2つの都市は鉄道路線につながっている以上のものを共有しており、深く絡み合った歴史を持っています。

8世紀、大津の比叡山延暦寺は、当時の新しい都であった平安京（現・京都）の守護を任されていました。現在、寺院の17平方キロメートルの敷地全体が、他の京都の寺院の多くを含むユネスコの世界遺産に登録されています。江戸時代（1603-1867）、大津は京都と江戸（現在の東京）を結ぶ東海道の京都の玄関口としての役割を果たしていました。京都を目指す旅行者や物資は、まずは大津を経由しました。

また、両都市は琵琶湖疏水によっても結ばれています。琵琶湖は、疏水を介して新鮮な飲料水と水力発電を京都に供給しています。最初に建設されたときと同じように、京都と大津を結ぶ風光明媚なルートを、旅行者を乗せた船が由緒ある疏水を行きかいます。

【タイトル】 大津の芭蕉

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**芭蕉在大津**

诗人松尾芭蕉(1644-1694)是大津常客，他的俳句最为当今世人熟知。松尾芭蕉在江户（今东京）的文学圈内有了声誉之后，他便以教授俳谐诗为主业，闲暇时从事俳句创作。然而，松尾芭蕉从未真正满足于城市生活，他在巅峰时期开始游历日本，用从旅行中获取的灵感创作散文和俳句。

在松尾芭蕉的时代，大津是连接江户和京都的东海道上抵达京都前的最后一站，因此，这位云游诗人选择在这里落脚也不足为奇。大津偏远的寺庙和传统的街区触动了松尾芭蕉，也成为了他许多俳句的主题。他创作了 89 首关于大津及周边地区的诗歌，占已发表作品的百分之十。

松尾芭蕉频繁回到大津，他的学生们也开始到市中心以北的坚田居住。松尾芭蕉自己则选择住在附近的浮御堂，写下了不少关于这座“漂浮的御堂”和南边唐崎神社里参天松树的诗句。这两处景致同属近江国（今滋贺县）经典风景系列“近江八景”，浮世绘画家将它们永远地定格在了作品当中。另一处与松尾芭蕉有关的著名景点是岩间寺，寺内的锦鲤池被认为是他最著名的俳句之一的灵感源泉。诗曰“古池や 蛙飛び込む 水の音”，大意是：古池塘 青蛙跳入 水声响。庭园里一块大石的石碑上刻着这首诗。

松尾芭蕉热爱大津，他最后的愿望是安葬于此。当他在大阪去世后，朋友和学生带着他的遗体乘船沿河北上，来到琵琶湖，最终将他埋葬在了大津市中心的义仲寺内。

<繁体字>**芭蕉在大津**

詩人松尾芭蕉（1644-1694）是大津常客，當今世人最熟知的是他的俳句，在江戶（今東京）的文學圈內有了聲譽之後，他就以教授俳諧詩為主業，閒暇時從事俳句創作。然而，松尾芭蕉從未真正滿足於城市生活，他在巔峰時期開始遊歷日本，用從旅行中獲得的靈感來創作散文和俳句。

在松尾芭蕉的時代，大津是連接江戶和京都的東海道上抵達京都前的最後一站，因此這位雲遊詩人選擇在這裡落腳也不足為奇。大津偏遠的寺廟和傳統的街區觸動了松尾芭蕉，

也成為了他許多俳句的主題。他創作了 89 首關於大津及周邊地區的詩歌，佔已發表作品的 10%。

松尾芭蕉頻繁回到大津，他的學生們也開始到市中心以北的堅田居住。松尾芭蕉自己則選擇住在附近的浮御堂，寫下了不少關於這座「漂浮的御堂」和南邊唐崎神社裡參天松樹的詩句。這兩處景致同屬近江國（今滋賀縣）傳統風景系列「近江八景」，都被浮世繪畫家永遠地定格在了作品當中。另一處與松尾芭蕉有關的著名景點是岩間寺，寺內的錦鯉池被認為是他最著名的俳句之一的靈感源泉。詩曰「古池や 蛙飛び込む 水の音」，大意是：閑寂古池旁 青蛙跳進水中 撲通一聲響。庭園裡一塊大石的石碑上刻著這首詩。

松尾芭蕉熱愛大津，他最後的願望是安葬於此。當他在大阪去世後，朋友和學生帶著他的遺體乘船沿河北上，來到琵琶湖，最終將他埋葬在了大津市中心的義仲寺內。

<日本語訳>

大津の芭蕉

俳人の松尾芭蕉（1644-1694）は大津を頻繁に訪れました。現在では彼の俳句が最も有名です。江戸（現在の東京）の文壇で名を馳せた後、俳諧教師をしながら、時間がある時に俳句を詠んでいました。しかし、都会の生活に満足することはなく、名声の絶頂期には日本を放浪し、旅先からインスピレーションを得た散文や俳句を書くようになりました。

芭蕉の時代には、大津は江戸と京都を結ぶ東海道の京都手前の最後の宿場町であり、放浪の俳人が最終的にそこにたどり着いたとしても不思議ではありません。大津の人里離れた寺院や伝統的な町並みは、芭蕉の琴線に触れたようであり、多くの俳句の題材となっています。大津とその周辺の地を題材にした俳句を 89 首詠んでおり、それは彼が公表した作品の 10%を占めています。

芭蕉は頻繁に大津に戻ったので、門下生たちは中心市街の北側にある堅田に住み始めました。芭蕉は近くの浮御堂に泊まり、この浮御堂や南にそびえ立つ唐崎神社の松を詠んでいます。この 2 つの場所は、近江国（現在の滋賀県）の伝統的な景観である「近江八景」の一部として、浮世絵師たちによって不滅のものとされています。大津で芭蕉ゆかりの地としてもう一つ注目すべきは、岩間寺です。そこにある鯉の池が彼の最も有名な俳句の一つの題材になったと考えられています：「古池や 蛙飛び込む 水の音」。庭の大きな石には、その句を刻んだ銘板が貼られています。

芭蕉は大津をこよなく愛していたので、最後の願いはその街に葬られることでした。大阪での死後、友人や弟子たちは琵琶湖に向けて川を上り亡骸を運びました。お墓は大津市中心部の義仲寺にあります。

地域番号

007

協議会名

奥嵯峨観光協議会

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|--------------|--------|------|
| 007-001 | 愛宕念仏寺 | 535 | WEB |
| 007-002 | 本堂 | 500 | WEB |
| 007-003 | 地藏堂 | 390 | WEB |
| 007-004 | ふれ愛観音堂 | 310 | WEB |
| 007-005 | 三宝の鐘 | 250 | WEB |
| 007-006 | 千二百羅漢 | 710 | WEB |
| 007-007 | 化野念仏寺 | 475 | WEB |
| 007-008 | 本堂 | 180 | WEB |
| 007-009 | 西院の河原 | 665 | WEB |
| 007-010 | 仏舍利塔 | 140 | WEB |
| 007-011 | 竹林 | 165 | WEB |
| 007-012 | 嵯峨鳥居本 歴史的な通り | 1245 | WEB |
| 007-013 | 祇王寺 | 1015 | WEB |

【タイトル】 愛宕念仏寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

爱宕念佛寺

爱宕念佛寺地处京都西部的嵯峨岚山背后僻静的奥嵯峨地区。这座氛围宁静温馨的寺院坐落在山腹中，旁边是一条古老的参拜道，一直通往神圣的爱宕山。爱宕念佛寺最著名的是1200尊罗汉石像，寺内有很多枫树，石像都被安放在枫树下。寺院本堂（正殿）内供奉着一尊千手观音像，本堂本身的历史可追溯到镰仓时代(1185-1333)，已被指定为国家重要文化财产。

根据寺院的记录，爱宕念佛寺初建于公元766年，原本是在如今的京都祇园地区一带，但建成后数次因自然灾害被毁，又数次重建。1922年，出于保护目的，寺院迁到现在的地点，主殿被小心地拆解并复原，此外，还在新址上增加了几处建筑。

为修复因台风造成的损害，1980年开始，寺院经历了一系列修葺翻新工程。时任寺院住持的西村公朝(1915-2003)同时也是一名佛像雕塑家，他在当时发起了一项振兴寺院的项目，邀请普通参拜者亲自动手雕刻罗汉石像，将它们安置在寺院中，于是便有了如今这1200尊罗汉石像所造就的爱宕念佛寺最独特的景观。

寺内还有一些著名的佛像和建筑，其中包括一尊可以用手触摸的观音菩萨像，一尊据说可消除火患、保佑长寿的地藏菩萨像，以及一套音色各不相同的“三宝梵钟”，三口钟上分别刻有“佛”“法”“僧”三字，各自代表了不同的佛学要义。

<繁体字>

愛宕念佛寺

愛宕念佛寺地處京都西部嵯峨嵐山背後僻靜的奧嵯峨地區，這座氛圍寧靜溫馨的寺院坐落在山腹之中，旁邊是一條古老的參拜道，一直通往神聖的愛宕山。愛宕念佛寺最著名的是1200尊羅漢石像，寺內有很多楓樹，石像都被安放在楓樹下。寺院本堂（正殿）內供奉著一尊千手觀音像，本堂本身的歷史可追溯到鎌倉時代（1185-1333），已被指定為國家重要文化財產。

寺院記録顯示，愛宕念佛寺初建於西元 766 年，原本是在如今的京都祇園地區一帶，但建成後數次因自然災害被毀，又數次重建。1922 年，出於保護目的，寺院遷到現在的地點，主殿被小心地拆解並復原，此外，還在新址上增加了幾處建築。

為修復因颱風造成的損害，1980 年開始，寺院經歷了一系列修葺翻新工程。時任寺院住持的西村公朝（1915-2003）也是一名佛像雕塑家，在同一時期發起了一項振興寺院的計畫，邀請一般參拜者親自雕刻羅漢石像並放置在寺院之中，於是 1200 尊羅漢石像成就了如今愛宕念佛寺最獨特的景觀。

寺內還有一些值得留意的佛像和建築，其中包括一尊可以用手觸摸的觀音菩薩像，一尊據稱可消除火災、保佑長壽的地藏菩薩像，以及一套音色各不相同的「三寶梵鐘」，三口鐘身上分別刻有「佛」「法」「僧」三字，各自代表著不同的佛學要義。

<日本語仮訳>

愛宕寺念仏寺

愛宕念仏寺は、京都西部の嵯峨嵐山を越えた静かな奥嵯峨地域に位置しています。この静かで落ち着いた、心地良い歓迎の雰囲気があるお寺は、神聖な愛宕山へと続く由緒ある巡礼の道沿いの山腹に建っています。愛宕念仏寺で特に注目すべき所は、たくさんのモミジの下にある 1200 体の仏教の羅漢の石像です。千手観音の像が祀られている本堂は鎌倉時代（1185-1333）に作られたもので、国指定重要文化財です。

お寺の記録によると、愛宕念仏寺は 766 年に、現在の京都の祇園地域の近くに建立されましたが、天災で幾度も被害を受け、数回再興されました。このお寺が保存のため 1922 年にいまの所在地へ移された時、本堂は注意深く解体・再構築されました。そして、その他の新しい建物も数棟、新たな境内に建てられました。

台風によって受けた損傷を修復するため、1980 年に一連の大規模な修理が始まりました。ほぼ同時期に、住職であり仏師であった西村公朝（1915-2003）は、お寺を復興するための事業を起こしました。この事業では、一般の人々を招いて境内に置く羅漢の石像を彫ってもらい、出来上がった 1200 体の石像は愛宕念仏寺の際立った特徴となりました。

このお寺には、その他にも注目すべき像や建築物が多数あります。触ってもいいようにデザインされた観音菩薩の像や、火災から身を守り、長寿祈願を聞き入れると言われている地藏菩薩の像、そして、仏教の教えの重要なコンセプトである「仏・法・僧」の文字が刻まれ、異なる音色を持つ「三宝の鐘」と呼ばれる 3 個一組の鐘があります。

【タイトル】 本堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

本堂（正殿）

爱宕念佛寺的本堂是一处保存完好的镰仓时代(1185-1333)建筑典范，已被指定为国家重要文化财产。寺院的建筑物于 1922 年被整体迁移到现在的山腰位置，在 20 世纪 80 年代经过了一系列重大修复。本堂的小方格天花板是典型的镰仓时代设计风格，靠近中心处有一块凹陷的区域，强调佛坛上方空间的重要性与神圣性。寺院所奉本尊佛原本就供在这块凹陷天花板的正下方，但后来为了腾出空间，方便僧众在殿内绕圈行走诵经，佛坛才被后移到了如今的位置。

殿内供奉的本尊佛是除厄千手观音，人们相信，这位慈悲的观音菩萨能够护佑众生，消灾除厄。“千手”及各手中所持法器象征着菩萨对需要帮助者伸出的援手。这尊观音像还有一个特征，就是其面部左右两眼的表情并不一致：一侧展露严厉的慈爱，一侧显示温柔的悲悯，以此表现菩萨慈悲的两面性，因此它又被称为“慈面悲面千手观音”。观音像大致是在本堂建造时雕刻，数世纪以来，观音也曾失落一些手臂，但后来都由寺院住持西村公朝(1915-2003)修复。此外，殿内其他值得关注的佛像还包括守护飞行安全的飞云观音菩萨，以及母亲与孩子们的守护神诃梨帝（俗称“鬼子母神”，是保佑好孕、安产的守护神）。

<繁体字>

本堂（正殿）

愛宕念佛寺的本堂是一處保存完好的鎌倉時代（1185-1333）建築範例，已被指定為國家重要文化財產。寺院的建築整體於 1922 年被遷移到現在的山腰位置，1980 年代又經過了一系列重大修復。本堂的小方格天花板是典型的鎌倉時代設計風格，靠近中心處有一塊凹陷的區域，強調佛壇上方空間的重要和神聖性。寺院所奉本尊佛原本就供在這塊凹陷天花板的正下方，但後來為了騰出空間，方便僧眾在殿內繞圈行走誦經，佛壇被移往後面。

殿內供奉的本尊佛是除厄千手觀音，人們相信這位慈悲的觀音菩薩能夠護佑眾生，消災除厄。「千手」及各手中所持法器象徵著菩薩對需要幫助者伸出的援手。這尊觀音像還有一個獨特之處，其面部左右眼神並不一致，一側露嚴厲的慈愛，一側顯溫柔的悲憫，用左右臉表現菩薩慈悲的兩面性，因此又被稱為「慈面悲面千手觀音」。觀音像大致與本堂

建造年代一致，這麼多世紀以來，觀音也會失落一些手臂，但後來都由寺院住持西村公朝（1915-2003）修復。此外，殿內值得注目的佛像還包括守護飛行安全的飛雲觀音菩薩，以及母親與孩子們的守護神訶梨帝（俗稱「鬼子母神」，是好孕、安產的守護神）。

<日本語仮訳>

本堂

愛宕念仏寺の本堂は、鎌倉時代（1185-1333）の建築物の保存状態が良い例であり、国重要文化財に指定されています。この建物は1922年に山腹にある現在の場所に移築され、1980年代に大規模な修理が行われました。小組格天井は鎌倉時代の設計の特徴を持ち、その中央付近には上に持ち上がった空間がありますが、それはかつて仏座上部の空間の重要性や神聖さを強調していました。この寺院の本尊は、元来この持ち上がった天井の真下に安置されていましたが、その後、お経を唱えながら本殿を回って歩くなどの祈願方法に適した空間を作るため、仏座は後ろに下げられました。

ご本尊は厄除千手観音、厄から守ってくれるといわれる慈悲の菩薩です。この千手観音の多数の手とそれらの手にある持物は、助けを必要とする人々を救うために手を差し伸べる菩薩を象徴しています。この像のもうひとつの特徴は、その御面の眼差しが左右対称ではなく、厳しい愛情の慈愛と優しい愛情の慈愛、という仏の慈悲の二面性を顔の左右に分けて表現されているということから、「慈面悲面の千手観音」と称されています。千手観音像は、本堂が建てられた頃に彫られました。何世紀にもわたって、この像には手の一部がありませんでしたが、後に、住職である西村公朝（1915-2003）によって修理されました。本堂で注目すべきほかの像としては、空の旅の守護者である飛雲観音、母子の守護者である訶梨帝菩薩（子宝授与と安産祈願の神様「鬼子母神」です）が挙げられます。

【タイトル】 地藏堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

地藏堂

地藏堂是 1922 年爱宕念佛寺迁到现址后才修建的。堂内供奉一尊火除延命地藏菩萨像，传说能够赐人延年益寿之福，并保护人们免于火灾等各类灾害。据寺院记载，这尊佛像自平安时代(794-1185)雕成以来，便被视为防范火灾的守护神而受到供奉礼拜。佛像曾在江户时代(1603-1867)经历过修复，外形根据当时的审美标准有所修整。后来，寺院住持西村公朝(1915-2003)重塑并替换了佛像手臂，他凭借个人在雕塑与修复方面的专业素养，尽可能地重现了佛像在平安时代的模样。

火除延命地藏菩萨左右所立雕像均为西村公朝亲手雕刻而成，取材自爱宕念佛寺所属佛教天台宗历史上的重要人物。右侧雕像为天台大师（538-597；中文名“智顛”），他是一位中国神学家，也是天台宗的创始人。左侧雕像为传教大师“最澄”（767-822），这位日本僧人曾在中国修习天台宗佛法，回国后建立了日本天台宗。

<繁体字>

地藏堂

地藏堂是 1922 年愛宕念佛寺遷到現址後才修建，堂內供奉一尊火除延命地藏菩薩像，傳說能夠賜人延年益壽之福，並保護人們免於火災等各類災害。據寺院記載，這尊佛像自平安時代（794-1185）雕成，便被視為防範火災的守護神而受到供奉禮拜。佛像曾在江戶時代（1603-1867）經歷過修復，外形根據當時的審美標準有所修整。後來，寺院住持西村公朝（1915-2003）重塑並替換了佛像手臂，他憑藉個人在雕塑與修復方面的專業素養，盡可能的重現了佛像在平安時代的模樣。

火除延命地藏菩薩左右所立均為西村公朝親手雕刻的雕像，取材自愛宕念佛寺所屬佛教天台宗歷史上的重要人物。右側雕像為天台大師（538-597；中文名「智顛」），他是一位中國神學家，也是天台宗的創始人。左側雕像為傳教大師「最澄」（767-822），這位日本僧人曾在中國修習天台宗佛法，回國後建立了日本天台宗。

<日本語仮訳>

地蔵堂

地蔵堂は、1922年に愛宕念仏寺が今の場所に移動された後に建てられました。この中には、延命長寿の祈願と、火災や災害から身を護るご利益があるとされる火除延命地蔵菩薩が祀られています。寺院によると、この像は平安時代（794-1185）に彫られて以来、火から身を守る地蔵として祀られてきたと言われていています。江戸時代（1603-1867）には修理が行われ、当時の美的感覚に合わせていくつかの変更を加えられました。この像の腕は後に住職である西村公朝（1915-2003）によって付け替えられましたが、彼は自身の彫刻家・修理技師としての専門知識を活かして、平安時代の姿と考えられる像の姿を再現しました。

火除延命地蔵菩薩の左右には、西村公朝によって彫られた、愛宕念仏寺が属する天台宗にとって重要な歴史上の人物を表した像があります。右の像は、中国の神学者であり、中国天台宗の開祖であった天台大師（538-597、智顛）を表しています。左の像は、中国で中国天台宗の教えを学んだ後に天台宗を開いたとされる日本の僧侶で、最澄とも呼ばれている伝教大師（767-822）の像です。

【タイトル】 ふれ愛観音堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

ふれ愛(Fureai)观音堂

“ふれ愛观音堂”里供奉着一尊可以触摸的大慈大悲观音菩萨像，安置初衷是让视力障碍者也能礼佛参拜。它是日语里“ふれ愛”(Fureai)的具象化体现，既表达了“触摸”的字面义，也蕴含着“沟通联接”的比喻义，因此，雕像被命名为“ふれ愛观音”。

大多数寺院的佛像都只可远观，可对于视力障碍人士来说，无疑很难瞻仰和敬拜。这尊 1991 年建造的“ふれ愛观音”像就是为了弥补这一缺憾。它允许人们双手直接触摸菩萨，用十指感受观音像丰富的面部表情、僧袍的褶皱流线以及其他细节轮廓。堂内一面墙上还有日文盲文镌刻的佛像介绍。

观音像放置的高度可确保孩子也能摸到。每一位来访者都可以触摸“ふれ愛观音”，通过接触与佛像交流。

<繁体字>

ふれ愛 (Fureai) 觀音堂

「ふれ愛觀音堂」裡供奉著一尊可以觸摸的大慈大悲觀音菩薩像，設置初衷是讓視障人士也能禮佛。這尊觀音像是日語裡「ふれ愛」(Fureai)的具象化體現，既表達了「觸摸」的字面含義，也蘊含著「溝通連接」的喻意，因此，佛像被命名為「ふれ愛觀音」(親切觀音)。

大多數寺院的佛像都只可遠觀，對於視障人士來說，無疑很難瞻仰進而禮敬神佛。這尊 1991 年建造的「ふれ愛觀音」像就是為了彌補這一缺憾。允許人們用雙手直接觸摸菩薩，用十指感受觀音像豐富的面部表情、僧袍的褶皺流線以及其他細節輪廓。堂內一面牆上還用日本點字鑄刻著對佛像的介紹。

觀音像供奉的高度確保孩子也能摸到。每一位訪客都可以觸摸「ふれ愛觀音」，透過觸摸直接與佛像交流。

<日本語仮訳>

ふれ愛観音堂

「ふれ愛観音堂」は、触ってもいいようにデザインされた仏像を祀っています。この仏像は、慈悲の菩薩である観音を表現しており、目の不自由な人も参拝できるように作られました。文字通りの「触れること」と概念的な「つながり」の両方を意味する「ふれあい」のコンセプトを体現して、この像は「ふれ愛観音」と名付けられました。

寺院の仏像のほとんどは遠くから見ることしかできないため、目の不自由な人が仏様を認識して祈りを捧げることは困難になっています。「ふれ愛観音」像はこの問題を解決するため 1991 年に作られました。参拝者はこの仏像の表情豊かな顔の特徴や流れるような袈裟のひだ、そしてその他の精緻な形を自らの指で触り、心で感じるすることができます。お堂の内壁には日本語の点字で仏像についての説明が書かれています。

この仏像は子供たちにも手が届くよう、十分に低い位置に安置されており、誰でも自由に「ふれ愛観音」に手で触れることができ、触ることにより仏像と通じ合うことができます。

【タイトル】 三宝の鐘

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

三宝之钟

从寺门通往本堂（正殿）的台阶边矗立着一座钟楼，上悬三口金钟，它们被合称为“三宝之钟”，分别代表佛教中的佛、法、僧“三宝”。“佛”即达到开悟境界者，比如后来成为了释迦牟尼佛的历史人物乔达摩·悉达多；“法”即佛法，包括宇宙的自然秩序；“僧”即修行和传播佛法的信徒教众。三口钟上分别镌刻着以上三个汉字。

许多寺院都有梵钟，但成套的三口钟非常少见。这种设计的初衷是希望借助声调音色不同的三口钟，以通俗易懂的方式来表现佛教三宝的精神意蕴。来访者可以依照“佛、法、僧”的顺序敲钟，聆听钟声在山间回响。

<繁体字>

三寶之鐘

從寺門通往本堂（正殿）的台階邊上立著一座鐘樓，上懸三口金鐘被合稱為「三寶之鐘」，分別代表著佛教中的佛、法、僧「三寶」。「佛」即達到開悟境界者，比如後來成為了釋迦牟尼佛的歷史人物喬達摩·悉達多；「法」即佛法，包括宇宙的自然秩序；「僧」即修行和傳播佛法的信徒教眾。三口鐘上分別鐫刻著以上三個漢字。

許多寺院都有梵鐘，但成套的三口鐘非常少見。其設計概念是希望借助聲調音色不同的三口鐘，以通俗易懂的方式來表現佛教三寶的精神意蘊。訪客可以依照「佛、法、僧」的順序敲鐘，聆聽鐘聲在山間迴響。

<日本語仮訳>

三宝の鐘

寺院の入口から本堂へ続く階段の途中にあるのは、3つの金色の鐘が下がった鐘楼です。それらの鐘は三宝の鐘として知られており、仏教の「三宝」と言われている、佛、法、僧を表しています。「佛」は釈迦（ガウタマ・シッダールタ）のように悟りを開いた人を意味し、「法」は仏の教えと宇宙の自然律を表し、「僧」は自らの信仰を實踐し広める仏教徒の集団です。三宝の鐘のそれぞれには、三宝のうち1つの漢字が書かれています。

多くの寺院は鐘を所有していますが、3つの鐘が配置されているのはかなり珍しいことです。このデザインは、3つの異なる音色を持つ3つの鐘が、仏教の三宝の宗教的なコンセプトを分かりやすく伝えるように、という願いを込めて考案されました。参拝者は、三宝の鐘を宝（佛、法、僧）の順番に鳴らし、山腹に反響するこだまを聞くことができます。

【タイトル】 千二百羅漢

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

一千二百罗汉像

爱宕念佛寺最大的特色，当属寺院內散布的 1200 尊表情丰富的罗汉石像。所谓罗汉，即明悟佛法要义和佛教经义的人。在佛教艺术品和各种故事中，他们常常被描述为有着特定人数的群体，比如，乔达摩·悉达多最终涅槃成佛（约公元前 5—前 4 世纪；即释迦牟尼佛）时在场的五百罗汉。

1981 年，爱宕念佛寺开始大规模的修葺翻新，同时，为赢得信徒的支持，发起了一项五年内造 500 尊罗汉像的活动。人们从日本各地专程赶来，在住持西村公朝(1915-2003)的指导下学习基本的石雕技艺，就地雕刻石像。五年 500 尊罗汉像的目标仅耗时一年便告达成，可远近信众依然在不断提出申请。为达成众人的心愿，寺院决定额外增加 700 尊石雕的名额。于是，十年过去了，寺院拥有了 1200 尊罗汉像。第二批石像尺寸略小，为的是能在有限的寺院空间内，放置尽可能多的雕像。

每一位雕刻者都有自己的理由，或许是为了纪念所爱的人，或许是为表达虔诚，又或许是为自己的人生留下一份印记。在西村公朝的鼓励下，参与者将他们的心神倾注在各自的罗汉像上，令每一尊罗汉都展现出了极其丰富的设计构思和独特姿态：有的在虔诚祈祷，有的展露出欣悦的笑容，还有许多石像手持五花八门的物件，从喜爱的动物、体育用品，到照相机、卡式录音机等现代设备，对雕刻者或启发雕刻者灵感的人来说，它们都具有独特的意义。这 1200 尊罗汉像后来还出现在了动漫《浪客剑心》中，此外，它们和迪斯尼大片《冰雪奇缘》里的石头精灵也如出一辙。

短短几十年间，爱宕念佛寺的罗汉像就覆上了青苔。如今看去，它们俨然如同这山间早已存在了千百年的风景一样。人们为了青苔罗汉摩肩接踵而来，而寺中枫叶分外绚烂的春、秋两季更是最热门的时节。

<繁体字>

一千二百羅漢像

愛宕念佛寺最大的特色，當屬寺院內散佈的 1200 尊表情豐富的羅漢石像。所謂羅漢，就是明悟佛法要義和佛教經義的人。在佛教藝術品和各種故事中，羅漢常常被描述為有著

特定人數の群體，比如，喬達摩·悉達多最終涅槃成佛（約西元前 5—前 4 世紀；即釋迦牟尼佛）時在場的五百羅漢。

1981 年，隨著大規模修葺翻新工程開展，愛宕念佛寺同時發起了一項五年內造 500 尊羅漢像的計劃，旨在贏得信徒的支持。來自日本各地的參與者，在住持西村公朝（1915-2003）的指導下學習基本的石雕技藝，就地雕刻石像。五年 500 尊羅漢像的目標僅耗時一年便圓滿達成，可遠近信眾依然不斷提出申請。為如眾人所願，寺院決定再增加 700 尊石像，於是十年間就有了 1200 尊羅漢像。第二批石像尺寸略小，為的是能在有限的寺院空間內盡可能供奉羅漢像。

所有參與的雕刻者都有自己的理由，或許是為了紀念所愛的人，或許是為了表達虔敬之心，也或許是為自己的人生留下一份印記。在西村公朝的鼓勵下，參與者將心魂都傾注在他們的羅漢像上，令每一尊羅漢都展現出極其豐富的雕刻理念和獨特形態：有的正在虔誠祈禱，有的展露出欣悅的笑容，還有許多石像手持五花八門的物件，從喜愛的動物、體育用品，到照相機、卡式錄音機等現代設備，對雕刻者或啟發雕刻者靈感的人來說，這些都是有著獨特意義的東西。這 1200 尊羅漢像後來還出现在了動漫《浪客劍心》中，與迪士尼熱賣大座《冰雪奇緣》裡的石頭精靈也如出一轍。

短短幾十年間，愛宕念佛寺的羅漢像就覆上了青苔，如今看去，仿佛早已是這山間存在了千百年的風景一樣。越來越多的人因羅漢像慕名而來，春、秋兩季寺中楓葉分外絢爛，更是最熱門的時節。

<日本語仮訳>

千二百羅漢像

愛宕念仏寺の最も際立った特徴の 1 つは、境内じゅうに置かれている 1200 体の表情豊かな石像です。石像は、仏法と仏の教えの真理を理解し悟りを開いた人物である羅漢を表すものです。仏教の美術や物語において羅漢は、ガウタマ・シッダールタ（釈迦、紀元前 5 世紀から 4 世紀頃）が完全な涅槃に達したとき、彼の臨終に立ち会ったと言われる五百羅漢のように、特定の人数の集団としてしばしば表現されます。

愛宕念仏寺は 1981 年に、寺院の大規模改修と並行して、信者の支持を集めるため 5 年をかけて 500 体の羅漢像を作る事業を始めました。参加者は日本全国からやって来て、住職の西村公朝（1915-2003）の指導のもとで石彫の基本を学び、境内で石像を彫りました。当初の 500 体の像を作るという目標は 5 年ではなく 1 年以内に達成されましたが、応募はあらゆる地域から殺到し続けました。これらの希望に応えるため、愛宕念仏寺がさらに 700 体の羅漢像を安置することにした結果、石像は 10 年間で合計 1200 体になりました。2 回目の募集で作られた石像は、境内の使える空間を最大限活用するため、より小さくなっています。

参加者にはそれぞれ、愛する人への供養、信心の表現、または自身が生きた証など、羅漢像を彫る個人的な動機がありました。公朝の励ましもあって、奉納者たちが心と魂を自身の羅漢像に注ぎ込んだ結果、多様なデザインと表現が生まれました。羅漢像の中には深い祈りのポーズを取るものや、楽しそうな笑顔を見せるものもありますが、多くの像はお気に入りの動物やスポーツ用品、あるいはカメラやカセットプレーヤーといった現代的な機器まで、奉納者または石像のインスピレーションの元となった人にとって特別な意味を持つ物品を持っています。1200 体の羅漢像はアニメ「るろうに剣心」にも出てきます。また、ディズニー映画『アナと雪の女王』に出てくる石の妖精も、この羅漢像に酷似していると言われています。

ほんの数十年前で愛宕念仏寺の羅漢像は苔で覆われてしまったため、今では何世紀にもわたって山の風景の一部であったかのように見えます。これらの石像を目当てに、特にそれらを取り囲むモミジの葉がとりわけ鮮やかになる春と秋に、多くの参拝者をこの寺院を訪れます。

【タイトル】化野念仏寺

【想定媒体】WEB

<簡体字>

化野念佛寺

化野念佛寺位于京都西部嵯峨嵐山背后奥嵯峨山间的化野地区。这一地区自古就是墓葬祭祀之地，地名本身也蕴含着稍纵即逝的无常意味——“化”者，即幻化无常、空幻虚无，又有“生”“死”之间往复转化之意，所指向的，或是现世重生，或是去往极乐净土。据传，佛教真言宗开山祖师空海(774-835)早在大约 1200 年前就在这个地区建造起了一座寺院，为安葬于此的人们祈祷，超度。后来，日本净土宗创始人法然(1133-1212)将它改为修行“念佛”祈祷的寺院。所谓“念佛”，就是祈祷者不断口诵“阿弥陀佛”名号，以此护送逝者前往极乐净土。

“西院河原”是化野念佛寺最大的特色之一，这个专门的区域里安置了大约 8000 个石佛和石塔墓碑，这些佛像和墓碑是几个世纪以来为纪念安葬于此的逝者而建造的。寺内值得关注的还有几座佛堂和佛像、一个印度式大舍利塔、宁静的墓园和一片静谧的竹林。寺院每年举办各种纪念活动和仪式，在 8 月底的“千灯供养”祭奠上，将有数以千计的蜡烛在石佛和石塔墓碑间点燃。

化野念佛寺是祭奠和纪念长眠于此的逝者亡灵之地，因此，来访者参观寺院时需心怀敬意，保持安静。

<繁体字>

化野念佛寺

化野念佛寺位於京都西部嵯峨嵐山背後奥嵯峨山間的化野地區，這片地區自古就是墓葬祭祀之地，地名本身也蘊含著稍縱即逝的無常意味——「化」者，即幻化無常、空幻虛無，又有「生」、「死」之間往復轉化之意，指的或是現世重生，或是去往極樂淨土。據傳，佛教真言宗開山祖師空海（774-835）早在大約 1200 年前就在這個地區建造了一座寺院，為安葬於此的人們祈禱、超渡。後來，日本淨土宗創始人法然（1133-1212）將其轉換成修行「念佛」祈禱的寺院。所謂「念佛」，就是祈禱者不斷口誦「阿彌陀佛」名號，以此護送逝者去往極樂淨土。

化野念佛寺最大の特色之一是「西院河原」，這是一片安置了近 8000 座石佛和石塔墓碑的專用區域，這些佛像和墓碑是若干個世紀以來為紀念被安葬於此的人們而建。寺內值得關注的還有幾座佛堂和佛像、一座印度式大舍利塔、寧靜的墓園和一片靜謐的竹林。寺院每年會舉辦各種紀念活動和儀式，在 8 月底的「千燈供養」祭奠上，將有數以千計的蠟燭在石佛和石塔墓碑間點燃。

化野念佛寺是祭奠和紀念長眠於此的逝者亡靈之地，因此參訪者參觀寺院時需保持安靜與尊敬。

<日本語仮訳>

化野念仏寺

化野念仏寺は、京都西部の嵯峨嵐山を超えた奥嵯峨の山中の化野地区にあります。この場所は古くから葬送の地や追悼の地としての役割を果たしており、この地区の名前は、はかなさを意味しています。「あだし」とははかない、むなしいとの意で、又「化」の字は「生」が化して「死」となり、この世に再び生まれ化ける事や、極楽浄土に往来する願いなどを意図しています。真言宗の開祖である空海（774-835）が、この地に埋葬された人々の霊を祀るため、約 1200 年前にこの地区に寺院を創建したと言われています。その後、日本の浄土宗の開祖である法然（1133-1212）は、この寺院を、念仏と呼ばれる祈願の形式を修行する寺院へと転換させました。念仏とは、極楽浄土へ生まれ変われるよう阿弥陀仏の名前を唱えるものです。

化野念仏寺の最も注目すべき特徴の 1 つは、何世紀にもわたってこのエリアに葬られた人々の約 8000 の石仏・石塔を保存するための専用の空間である「西院の河原」です。境内には、ほかにも見どころであるお堂や仏像の数々、大きなインド様式の仏舎利塔、静かな墓地、そして穏やかな竹林もあります。このお寺では、石仏・石塔に数千本のろうそくを灯す 8 月下旬の「千灯供養」という行事など、年間を通じて様々な供養や宗教行事を行っています。

化野念仏寺は、この地区に葬られた人々の霊を祀る供養の地ですので、この寺院を散策する参拝者には、静粛かつ礼儀正しくあることが求められます。

【タイトル】 本堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

本堂（正殿）

化野念佛寺の本堂建于 1712 年，所奉本尊佛为阿弥陀佛，佛像出自镰仓时代(1185-1333)。阿弥陀佛又称无量光佛、无量寿佛，历来格外受到净土宗礼敬。这尊佛像衣饰简单，呈静坐参禅状。正殿左侧供奉着一尊十一面观音像，这是大慈大悲观世音菩萨的化现之一，有十一个头。右侧是另一尊阿弥陀佛像，呈半跏趺坐姿，一腿盘坐，一腿下垂，像是正要从基座上站起来一般。

<繁体字>

本堂（正殿）

化野念佛寺の本堂建於 1712 年，所奉本尊佛為阿彌陀佛，佛像出自鎌倉時代（1185-1333）。阿彌陀佛又稱無量光佛、無量壽佛，歷來格外受到淨土宗禮敬。這尊佛像衣飾簡單，呈靜坐參禪狀。正殿左側供奉著一尊十一面觀音像，這是大慈大悲觀世音菩薩的化身之一，有十一個頭。右側是另一尊阿彌陀佛像，呈半跏趺坐姿，一腿盤坐，一腿下垂，就像是正要從基座上站起來一般。

<日本語仮訳>

本堂

化野念仏寺の本堂は 1712 年に建てられたもので、本尊である鎌倉時代（1185-1333）の阿弥陀如来像を祀っています。阿弥陀如来は、限りない光と限りない命を持つ仏としても知られており、浄土宗の教えにおいて特に崇拝されています。その姿は、質素な衣に身を包み、深く瞑想する座像で表現されています。本堂の左側には、十一の頭を持つ姿をした慈悲の菩薩である十一面観音の像があります。右側には、片足があぐらをかき、片足を下げ、台座から立ち上がろうとしているように見える、もう 1 体の阿弥陀如来半跏像があります。

【タイトル】 西院の河原

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

西院河原

寺院中心の矮牆内是一片特殊的区域，名叫“西院河原”。这是一处纪念地，专门用来容纳过去数个世纪以来散布在化野地区各处的石佛和石塔，数量总计近 8000 座。石佛和石塔在这里排列得整整齐齐，间杂着一些微型五层佛塔、圆形墓碑和样式简单的佛像。

早在平安时代(794-1185)，化野地区就开始被用作墓葬之地。最初，人们只是将亡者尸身留在山间，后来开始建造简单的坟墓埋葬逝者，有时也会在坟上留下石佛和石塔等标记物。一个又一个世纪过去，这些石佛和石塔渐渐被泥土和荒草掩埋。大约在 100 年以前，人们开始有组织地寻找并搜集散落在本地区的墓碑，将它们移到安全的地方，以便后人缅怀祭祀。就这样，石佛和石塔汇聚到了化野念佛寺，并被精心安置在特别划定的地方。这片区域中心矗立着一座高大的十三层佛塔，上有一尊阿弥陀佛坐像，俯瞰着这片土地。

得名“河原”，是因为它与佛教传说中地狱的“赛之河原”有相似之处。传说认为，早夭孩童的灵魂都会被送到这片位于地狱边界的河岸原野上，因为他们犯下了让父母伤痛的罪过，所以必须在河岸边堆石头，一块一块地垒出小小的佛塔，以此赎罪，寻求解脱。可是，出没河岸的恶鬼常常推倒佛塔，破坏他们的努力。在传说故事里，地藏菩萨最终总会来到河原，安抚并指引这些幼小的灵魂超脱。化野念佛寺的这片区域并不是专为孩童所建，也没有喻示地狱的意思，取名“河原”，只是因为这成排的石佛和石塔与传说中的场景相似。请务必谨记，西院河原内禁止摄影摄像。

每年 8 月底，西院河原会举行名为“千灯供养”的特殊祭奠仪式。期间，无数蜡烛将为逝者点燃，照亮夏日的暗夜。

<繁体字>

西院河原

寺院中心矮牆内是一片特殊的区域，名叫「西院河原」。这是一处纪念地，专门用来接纳过去数个世纪以来散布在化野地区各处将近 8000 座的石佛和石塔。石佛和石塔排列得整整齐齐，其中也间杂著一些微型五层佛塔、圆形墓碑和样式简单的佛像。

早在平安時代（794-1185）開始，化野地區就被視作墓葬地。起初，人們只是將亡者屍身留在山間，後來開始建造簡單的墳塋埋葬逝者，有時也會在墳上留下石佛和石塔等標記。一個又一個世紀過去，這些石佛和石塔漸漸被泥土荒草掩埋。大約在 100 年以前，人們開始有計畫地尋找並搜集該地區散落的墓碑，並移到安全的地方，以便後人緬懷祭祀。就這樣石佛和石塔匯聚到了化野念佛寺，被精心安置在特別劃定的地方。這片區域中心矗立著一座高大的十三層佛塔，上有一尊阿彌陀佛坐像，俯瞰著這片土地。

得名「河原」，是因為與佛教傳說中地獄的「賽之河原」（即三途川）有些相似。傳說，早夭孩童的靈魂都會被送到這片位於地獄邊界的河岸原野上，因為他們犯下了讓父母傷痛的罪過，所以必須在這裡沿著河岸堆石頭，一塊一塊地疊出小小的佛塔，以此贖罪尋求解脫。可是出沒河岸的惡鬼常常推倒佛塔，摧毀他們的努力。在這些傳說故事裡，地藏菩薩最終總會來到河原，安撫並指引這些幼小的靈魂超脫。化野念佛寺的這片區域倒不是專為孩童所建，也沒有暗示是地獄的意思，取名「河原」只是因為這成排的石佛和石塔。請務必謹記，西院河原內禁止拍照。

每年 8 月底，西院河原會舉行名為「千燈供養」的特殊祭奠儀式。期間，無數蠟燭將為逝者點燃，照亮夏日的暗夜。

<日本語仮訳>

西院の河原

境内の中央に、「西院の河原」と呼ばれる低い石垣に囲まれた専用の空間があります。ここは、何世紀にもわたって化野エリアの至る所に置かれていた約 8000 の石仏・石塔が安置されている供養の場です。ここに集められた石仏・石塔のほか、小型の五重塔、丸い墓石、簡素な仏像などもきちんと配列して安祀されています。

化野地区は、早くも平安時代（794-1185）から葬送の地として利用されていました。当初、人々は遺体を山に置いていきましたが、後に簡素な墓に埋葬するようになり、時には、埋葬した場所に石仏・石塔を置きました。何世紀も経つにつれて、これらの石仏・石塔は土と茂る植物に覆われてしまいました。100 年ほど前から、この地区一帯に散乱していた石仏・石塔を集めて、適切に供養できる安全な場所に移設するための、組織的な取り組みが始まりました。石仏・石塔は化野念仏寺に集められ、亡くなった人の霊に敬意を表するため、専用の場所に大切に配置されました。その中央では十三重塔が高くそびえており、阿彌陀如来の座像がこの場所を見下ろしています。

この場所の名前は、「賽の河原」と呼ばれる仏教の地獄の俗説的な描写になぞらえていることに由来しています。この苦難の場に送られた子供たちの魂は、救済を祈願し、両親を悲嘆に暮れさせた罪滅ぼしのために、河原の石を 1 つずつ積み重ね、小さな塔を作ります。しかし、子供たちの試みは、河原を歩き回って塔を崩す鬼によって否応なく中断されてしまいます。これらの物語では、地藏菩薩が現れて、これらの幼い魂を救い導きます。化野念仏寺の西院の「河原」は、地獄を象徴するために設けら

れたものではなく、特に子供と関係している訳でもありませんが、たくさんの石仏・石塔の列があるため、このように名付けられました。なお、西院の河原の塀の内側での写真撮影は禁止されていますので、ご注意ください。

「千灯供養」と呼ばれる特別な供養が、毎年 8 月末に西院の河原で行われています。この行事の際は、無数のろうそくが故人へのお供え物として灯され、夏の闇夜を照らします。

【タイトル】 仏舎利塔

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

佛舍利塔

寺院最東面有一座圓頂狀的磚砌大舍利塔，這是安放逝者遺骨的藏骨堂。舍利塔建於1968年，採用印度供奉佛骨舍利的佛塔樣式，在日本佛寺中並不常見。舍利塔南面矗立著一個高高的“陀蘭那”，它是一種石門，也常見於印度的宗教場所。佛舍利塔雖然不對外開放，但罕見的建築外觀非常值得賞看。

<繁体字>

佛舍利塔

寺院最東面有一座圓頂狀磚砌的大舍利塔，這是安放逝者遺骨的藏骨堂。舍利塔建於1968年，為印度供奉佛骨舍利的佛塔樣式，在日本佛寺中並不常見。在舍利塔南面矗立著一個高高的「托拉納」，它也是印度常見的宗教場所石門。佛舍利塔雖然不對外開放，但罕見的建築外觀非常值得觀賞。

<日本語仮訳>

仏舎利塔

境内の一番東側には、故人の遺骨を最終的に納める場である納骨堂としての役割を果たす、大きなドーム型でレンガ造りの仏舎利塔があります。この仏舎利塔は、釈迦の遺骨を祀ることを目的とした伝統的なインドの仏舎利塔の様式で、1968年に建てられたものであり、日本の寺院ではあまり一般的ではない建造物です。仏舎利塔のすぐ南には、同様にインドにあるものを模った、儀式に用いる石門のトラナが高くそびえ立っています。仏舎利塔は一般公開されていませんが、その珍しい建築様式は外からでも見ることができます。

【タイトル】 竹林

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

竹林

距本堂（正殿）不远有一道石阶，夹道皆是浓密的孟宗竹林。“孟宗竹”又名“毛竹”，可以长到20多米高，因枝干优雅挺拔、竹叶繁茂葱郁而被认为极具观赏性。幽静的小道蜿蜒向上，右转后没入竹林，仿佛石阶在竹林中向着远处无限延伸。化野念佛寺的这处静谧之地比附近人气旺盛的岚山嵯峨野竹林面积小一些，地理位置也略显偏僻，但风光之美不遑多让。

<繁体字>

竹林

距本堂（正殿）不遠有一道石階，夾道皆是濃密的孟宗竹林。這種竹子可以長到20多公尺高，枝幹優雅挺拔、竹葉繁茂蔥鬱，極具觀賞性。幽靜的小道蜿蜒向上，右轉後盡頭沒入竹林，給人以彷彿穿行在一條無盡延伸的竹徑中的感覺。化野念佛寺的這處靜謐之地比附近人氣景點嵐山嵯峨野竹林的面積小一些，且略顯偏僻，但風光之美不遑多讓。

<日本語仮訳>

竹林

本堂を抜けて少し行った所に、孟宗竹の豊かな木立が両側に並ぶ石段があります。孟宗竹は20メートルを超える高さになることもあり、その優雅な茎と密集した葉によって非常に装飾的であると見なされています。静かな小道は上へ向かいながら右の方へ湾曲し、その行く手を隠しているため、まるで石段が竹林の中で無限に続くように見えます。化野念仏寺境内の中にあるこのしずかな場所は、この近くにある人気の嵐山の嵯峨野竹林よりも規模が小さく、少し人里離れたところにありますが、嵯峨野竹林に劣らず美しいです。

【タイトル】嵯峨鳥居本 歴史的な通り

【想定媒体】WEB

<簡体字>

嵯峨鳥居本历史老街

风景优美的嵯峨鳥居本小镇位于京都西面的奥嵯峨地区，沿一条通往爱宕神社的古老的参拜道展开。此处爱宕山脚下的小镇距离渡月桥、天龙寺、嵯峨野竹林等岚山热门景点均不过短短 30 分钟的步行路程。道路沿途有几处博物馆、历史遗址和寺院，其中包括了化野念佛寺和爱宕念佛寺。化野念佛寺内安放着 8000 座石佛和石塔，以纪念多个世纪以来安葬于此的魂灵；爱宕念佛寺则以 1200 尊罗汉像闻名。

嵯峨鳥居本的主街上有许多 19 世纪至 20 世纪早期的房舍，大多保存状态良好，这一区域已于 1979 年被国家指定为京都四大传统建筑群保护地区之一。格子窗、灰泥墙、瓦片或茅草屋顶的传统木造城市住宅“町家”（商人或工匠的住宅）与农舍杂处共存的景象是这一地区的特色。尽管靠近繁华的岚山，但数世纪以来，嵯峨鳥居本却始终保留着它古色古香的氛围，环绕四周的群山与原野更为它平添了几分魅力。

早在 16 世纪末，这里便已是一处农民、山民和渔民聚居的村落，但随着前往爱宕神社参拜的巡礼者越来越多，村庄渐渐发展为以接待旅行者为主的“门前町”（神社或寺庙周边发展起来的城镇）。所谓“鳥居本”，即“鳥居脚下之地”。鳥居一般为神社大门，在这里特指小镇主街尽头那道朱红色的大门，它也是爱宕神社的第一道鳥居。到 19 世纪下半叶时，这里已是一个繁华的小镇，本地农户、商人的住宅与接待过往巡礼者的店铺、茶室比邻而居。

嵯峨鳥居本的历史建筑中有一些至今仍是私人宅邸，其他的则被改造成了咖啡馆、茶室、古董商店、特色土产纪念品店等商业设施，为游客参观小镇风貌和邻近古迹景点增添了多样化的乐趣。其中，一处保存完好的町家被改造成了“京都市嵯峨鳥居本城市风貌保存馆”，来访者可在馆内进一步了解这个地区的风貌与历史。

京都市嵯峨鳥居本城市风貌保存馆

“京都市嵯峨鳥居本城市风貌保存馆”所在建筑原本是一处町家，于明治时代(1868-1912)早期建造。为了促进本地区传统风貌的宣传与保护，此处房舍在 1993 年被改建为博物馆，它本身就是保存完好的明治时代建筑的范例，可从中一窥 150 年前的本地区生活景象。其建筑外观的特点在于：一楼为精细的格子，二楼为白色灰泥墙搭配条栅的“虫笼窗”，

屋顶铺瓦，上立一根大烟囱。除开阔的正面玄关外，建筑整体形态非常接近于京都传统的町家。建筑内部包括一个大灶台、一口室内水井和几间相连的房间，房间都面对庭园。

如今，这些房间分别被用于展示各类照片、历史地图以及建筑图解，展品涉及嵯峨鸟居本保护区和其他京都的国家指定传统建筑群保护地区。此外，一个大型立体模型提供了1930年周边区域的鸟瞰全景，古镇、地区周边的神社与佛寺、穿越本地区的火车线路均在模型中得到展现。此外，模型还特别展示了每年8月16日“五山送火祭”（5座山岳分别以篝火勾勒出不同形状）的情形，曼荼罗山正是这个京都著名祭典中的一处场所，届时人们会在山上点起篝火，排列出巨大的鸟居形状。

馆内的文字介绍以日文为主，但形式多样的展品足以让来访者沉浸在本地街区的氛围与历史之中，得到一次身临其境般的体验。

<繁体字>

嵯峨鳥居本歷史老街

風景優美的嵯峨鳥居本小鎮位於京都西面的奧嵯峨地區，以通往愛宕神社的古老的參拜道為中心向外擴展。這處愛宕山腳下的小鎮距離渡月橋、天龍寺、嵯峨野竹林等嵐山熱門景點不過短短30分鐘的步行路程。道路沿途有幾處博物館、歷史遺址和寺院，其中包括化野念佛寺和愛宕念佛寺。化野念佛寺內有8000座石佛和石塔，用來紀念數世紀以來安葬於此的魂靈；愛宕念佛寺則以1200尊羅漢像聞名。

嵯峨鳥居本的主街上有許多19世紀至20世紀早期的房舍，大多保存狀態良好，這一區域已於1979年被國家指定為「京都四大傳統建築群保護地區」之一。格子窗、灰泥牆、瓦片或茅草屋頂的傳統木造城市住宅「町家」（商人或工匠的住宅）與農舍雜處共存的景象是這一地區的特色。儘管靠近繁華的嵐山，但數世紀以來，嵯峨鳥居本卻始終保留著古色古香的氛圍，環繞四周的群山和原野更為她平添了幾分吸引力。

早在16世紀末，這裡便已是一處農民、山民和漁民聚居的村落，但隨著前往愛宕神社參拜的巡禮信眾越來越多，村莊漸漸發展為以接待遊客為主的「門前町」（神社或寺廟周邊發展起來的城鎮）。所謂「鳥居本」，即「鳥居腳下之地」。鳥居一般為神社大門，在這裡是指小鎮主街盡頭那道朱紅色的大門，它也是愛宕神社的第一道鳥居。到19世紀下半葉時，這裡已是一個繁華的小鎮，當地農戶、商人的住宅與接待過往巡禮信眾的店鋪、茶室比鄰而居。

嵯峨鳥居本的歷史建築中有一些至今仍是私人宅邸，其他的則被改造成了咖啡廳、茶屋、古董商店、特色土產紀念品店等商業設施，為遊客參觀小鎮風貌和鄰近古跡景點增添了多種樂趣。其中一處保存完好的町家被改造成了「京都市嵯峨鳥居本城市風貌保存館」，遊客可在館內進一步加深對該地區及其歷史的瞭解。

京都市嵯峨鳥居本城市風貌保存館

「京都市嵯峨鳥居本城市風貌保存館」所在建築原本是一處町家，建於明治時代（1868-1912）早期。為了促進推廣和幫助保護本地傳統風貌，於 1993 年被改建為博物館，其房屋本身就是保存完好的明治時代建築的樣本，可從中一窺 150 年前的本地區生活景象。建築外觀特徵是，一樓為精細的格子設計、二樓為白色灰泥牆搭配小格子「蟲籠窗」、屋頂鋪瓦，立一根大煙囪。除寬闊的正面玄關外，整體建築形態非常接近京都傳統的町家。建築內部包括一個大灶台、一口室內水井和幾間相連的房間，房間都面對庭園。

如今，這些房間分別被用於展示各類照片、歷史地圖以及建築圖解，展品涉及嵯峨鳥居本保護區和其他京都的國家指定傳統建築群保護地區。此外，一個大型立體模型提供了 1930 年周邊區域的鳥瞰全景，古鎮、周邊的神社與佛寺、穿越當地的火車線路均被囊括其中。模型中還展示了，每年 8 月 16 日，曼荼羅山作為京都著名的「五山送火祭」（在五座山岳點起排列成不同的形狀的篝火）的一部分，人們在山上點起篝火排列成巨大的鳥居形狀的情形。

館內的文字介紹以日文為主，但形式多樣的展品足以讓訪客沉浸到當地街區的氛圍與歷史裡，擁有一次身臨其境般的體驗。

<日本語仮訳>

嵯峨鳥居本 歴史的な通り

嵯峨鳥居本の風光明媚な町は、愛宕神社に至る古来の巡礼ルートに沿って、京都西部の奥嵯峨地域にあります。渡月橋や天龍寺、嵯峨野竹林などの嵐山の人気スポットから約 30 分歩くと、愛宕山の麓へたどり着きます。この道沿いには、いくつかの博物館や史跡があり、また、この辺りで何世紀もの間に葬られた人々の約 8000 の石仏・石塔を安置する化野念仏寺や、1200 体の羅漢像で有名な愛宕念仏寺などのお寺もあります。

嵯峨鳥居本のメインストリートには、よく手入れされた 19 世紀から 20 世紀初頭の家屋が多く存在するため、1979 年に、京都の 4 か所の伝統的建造物群保存地区の 1 つとして国の選定を受けました。格子窓、漆喰壁、そして瓦葺屋根または茅葺屋根のある伝統的な木造町住宅「町家」（商家や職人の住いを指す）と農家が両方あることが、この地区の特徴です。多くの人で賑わう嵐山地区に近いにもかかわらず、嵯峨鳥居本は何世紀にもわたって伝統的な雰囲気を維持し、山々や野原、畑に囲まれ、その魅力を高めています。

16 世紀末には、農林業や漁業の集落がすでにここに存在していましたが、愛宕神社への参拝者が増えるにつれ、集落はその旅行者のニーズに応じた「門前町」（社寺の門前に発達した町）へと発展しました。鳥居本は「鳥居（神社の入り口）の足元」を意味し、その鳥居とは、町のメインストリートの端にある大きな朱色の門、つまり愛宕神社の一之鳥居のことです。19 世紀後半までこの町は、商人や農家の家が並び、また通過する巡礼者のためのお店や茶屋も軒を連ねる、栄えた町になりました。

嵯峨鳥居本には、現代でも依然として個人の住宅として機能している建造物もあります。その他は、カフェ、茶屋、骨董品店、または土産物専門店で生まれ変わり、町並みや周辺の史跡の散策を様々な楽しめます。保存状態の良い町家の1軒を復元整備してできたのが「京都市嵯峨鳥居本町並み保存館」ですが、そこで来館者は、この地区とその歴史を学ぶことができます。

京都市嵯峨鳥居本町並み保存館

「嵯峨鳥居本町並み保存館」は、元々は明治時代（1868-1912）初頭に建てられた町家でした。この建造物は、伝統的な町並みを紹介し、保存するため、1993年に博物館として改修されました。この家自体が、150年前のこの地区での生活が垣間見える、明治期の建築物の特に保存状態の良い例となっています。その外観は、1階の細かい格子、2階の白い漆喰壁と薄く細長い板の“虫かごのような”窓（虫籠窓）、瓦葺屋根の大きな煙出しを特徴としています。広い正面玄関を除けば、この建造物の様式は京都の伝統的な町家にとってもよく似ています。内部には、大きなかまど、屋内井戸、そして庭に面してつながった部屋があります。

現在それらの部屋には、嵯峨鳥居本伝統的建造物群保存地区をはじめ、その他の京都にある国の選定を受けた伝統的建造物群の、様々な写真、歴史地図、建築図面が展示されています。大きなジオラマでは、歴史的な町並み、近隣の神社や寺院、この地区を走っていた列車の線路など、1930年に存在した周辺地区の全景を見ることができます。また、毎年夏の8月16日に5つの様々な形のかがり火が焚かれる京都の有名な「五山の送り火」の一つとして、小さな炎を並べて大きな鳥居の形を描く曼荼羅山も、そのジオラマの中に描かれています。

保存館では主に日本語で情報が書かれていますが、豊富な展示物を見ることにより、来館者はこの地区の歴史や雰囲気を感じるような体験ができます。

【タイトル】 祇王寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**祇王寺**

祇王寺从前是一处尼庵，坐落在京都西部嵯峨岚山背后、奥嵯峨地区的丘陵地带之中。寺院以其庭院中浓郁的青苔、繁茂的枫树以及质朴天然的茅葺建筑而闻名。寺院历史与一位名叫“祇王”的宫廷舞姬有着密切的关联，她原本是一名“白拍子”（盛行于平安时代末期至室町时代初期的一种歌舞表演的舞者），后来出家为尼，她的故事在13世纪的著名长篇历史小说《平家物语》中有详细记叙。

据故事所说，祇王是一名非常有天赋的舞蹈家，深得当时京都最有权势的武将之一平清盛(1118-1181)的青睐。平清盛宠爱祇王多年，但最终还是将目光转向了另一位名叫“佛御前”的年轻白拍子。祇王不但被平清盛从身边赶走，更被迫为取悦他的新宠而表演。祇王不堪羞辱，想过自杀，但最终还是选择离开都城，和母亲刀自、妹妹祇女一同出家为尼。她们在奥嵯峨地区一个名叫“往生院”的大寺中结庐而居，一心一意诵经奉佛。后来，佛御前幡然醒悟，意识到自己终有一天也难逃被抛弃的命运，于是想要弥补自己曾为祇王带来的痛苦，最终，追随她们母女三人削发为尼，四人相伴度过了余生。

后来，为了纪念祇王，人们在往生院内建起一座小小的尼庵，起名“祇王寺”。即使在往生院本身已经荒芜废弃时，祇王寺依然香火不断，直到1868年，明治政府下令拆分神道教和佛教，各佛教寺院从此式微，甚至于没落。幸而有相距不远的大觉寺代为保住了祇王寺的佛像和古墓。1895年，在大觉寺的支援下，祇王寺得以重建。为援助寺庙复兴，原京都府知事（行政长官）捐建了一座有榻榻米地板和格子圆窗的茅葺房屋。如今，祇王寺的本尊佛大日如来像就供奉在这处建筑中，佛像周围环侍着祇王、祇女、刀自、佛御前以及平清盛的塑像。其中，祇王像和祇女像被认为出自镰仓时代(1185-1333)。相距此处不远，有一个不起眼的墓地和两座祭奠祇王故事人物的大石塔。左侧石塔较高大，用来纪念祇王、祇女和刀自，右边石塔则为祭拜平清盛而设。

著名的祇王寺庭院里种满了枫树，地面大多覆盖着厚厚的青苔。寺院内的苔藓种类不下20种，在精心养护之下，充分展现着它们天生具有的自然之美。庭院一角汇聚了寺院内各种苔藓的样本，呈现出它们各自不同的质感与色调。院内曲径蜿蜒，串连起四季常青的山茶花、曲曲折折的小溪，一直通往院墙外的竹林。在这样的传统园林景观中，自然也少

不了石灯笼和蹲踞（茶室外低矮的手水钵）的点缀。庭院风景四时皆宜，春有粉樱，夏有绿野，冬有白雪，但秋季红叶飘零时尤其美丽，那也是游人最多的时候。

<繁体字>

祇王寺

祇王寺从前是一座尼庵，坐落在京都西面的嵯峨嵐山背後、奧嵯峨地區的丘陵地帶。寺院的庭院以濃郁的青苔、繁茂的楓樹以及質樸天然的茅葺建築而聞名。寺院歷史與一位名叫「祇王」的宮廷舞姬關聯密切，她原本是一名「白拍子」（盛行於平安時代末期至室町時代初期一種歌舞表演的舞者），後來出家為尼，她的故事在 13 世紀的著名長篇歷史小說《平家物語》中有詳細記敘。

據故事所說，祇王是一名非常有天賦的舞蹈家，深得當時京都最有權勢的武將之一平清盛（1118-1181）的青睞。平清盛儘管寵愛祇王多年，但目光最終還是轉向了另一位更年輕的名為「佛御前」的白拍子。祇王不但被平清盛從身邊趕走，更被迫為取悅他的新寵表演。祇王不堪羞辱想過自殺，但最終還是選擇離開都城，和母親刀自、妹妹祇女一同出家為尼。她們在奧嵯峨地區一個名叫「往生院」的大寺中結廬而居，一心一意誦經奉佛。後來，佛御前幡然醒悟，意識到自己終有一天也難逃被拋棄的命運，於是想要彌補自己曾為祇王帶來的痛苦，最終追隨她們母女三人削髮為尼，四人相伴度過了餘生。

日後，為了紀念祇王，人們在往生院內建起一座小小的尼庵，起名「祇王寺」。即使在往生院本身已經荒蕪廢棄時，祇王寺依然香火不斷，直到 1868 年，明治政府下令拆分神道教和佛教，各佛教寺院從此式微乃至沒落。幸而有相距不遠的大覺寺代為保住了祇王寺的佛像和古墓。1895 年，在大覺寺的支援下，祇王寺得以重建。為援助寺廟復興，原京都府知事（直轄市市長、縣長）捐建了一座有榻榻米地板、格子圓窗的茅葺房屋。如今祇王寺的本尊佛大日如來像就供奉在這處建築中，佛像周圍環侍著祇王、祇女、刀自、佛御前以及平清盛的塑像，其中祇王像和祇女像被認為出自鎌倉時代（1185-1333）。相距此地不遠有一處不起眼的墓地和兩座祭奠祇王故事人物的大石塔。左側石塔較高大，用來紀念祇王、祇女和刀自，右邊石塔則為祭拜平清盛而設。

著名的祇王寺庭院裡種滿了楓樹，地面大多覆蓋著厚厚的青苔，寺院內的苔蘚種類不下 20 種，在精心養護之下，充分展現著苔蘚本身的自然之美。庭院一角彙聚了寺院內各種苔蘚的樣本，呈現出各自不同的質地與色調。院內曲徑蜿蜒，串連起四季常青的山茶花、曲曲折折的小溪，最終通往院牆外的竹林。這樣傳統園林景觀中自然也少不了石燈籠和蹲踞（茶室外低矮的手水鉢）的妝點。庭院風景四時皆宜，春有粉櫻，夏有綠野，冬有白雪，但秋季紅葉飄零時尤其美麗，那也是遊客最多的時候。

<日本語仮訳>

祇王寺

かつて尼寺であった祇王寺は、京都西部の嵯峨嵐山を越えた奥嵯峨地域の丘陵地に佇んでいます。このお寺は、素朴な茅葺屋根の建物を取り囲む緑豊かな苔とモミジの庭園で有名です。祇王寺の歴史は、後に尼となった「白拍子」（平安時代末期から室町時代初期にかけて行われた歌舞の一種の舞踊家）、祇王との強い結びつきもあり、祇王の物語は13世紀の長編歴史物語の傑作である『平家物語』に詳しく書かれています。

物語によると、祇王は、京都で最も権勢を誇った武将のひとりである平清盛（1118-1181）の寵愛を得た才能のある白拍子でした。祇王は数年間は清盛の寵愛を受けていましたが、清盛はその後、仏御前という名の若い踊り子に心変わりしました。祇王は清盛の傍から追い出されただけでなく、清盛は彼の新たに寵愛する女性のために舞を披露するよう強要しさえしました。悲しみに打ちひしがれた祇王は自害を考えましたが、最終的に都を離れ、母の刀自と妹の祇女と共に尼になる道を選びました。彼女たちは、奥嵯峨地域にあった往生院と呼ばれる大きな寺院の境内の草庵に住み、祈りに人生を捧げました。仏御前は、自分も結局は捨てられるであろうことに気付き、自分が原因となった苦悩を贖うことを望んでいたため、この3人の女性たちの後を追ひ、そして彼女たちは共に終生尼として過しました。

後に、往生院の敷地内にあった小さな尼寺は、祇王を偲んで祇王寺として知られるようになりました。往生院が荒廃した後も、明治政府が1868年に神仏分離を命じたことにより仏教寺院が衰退するまで、その尼寺は活動を続けていました。1895年、祇王寺の仏像と墓などを保管していた近隣の大覚寺の支援を受けて、祇王寺は再建されました。畳の床と格子付きの丸窓を備えた茅葺屋根の建物は、寺院の再生を支援するため、元京都府知事から寄付されました。現在この建物には、大日如来が本尊として祀られており、その周りには、祇王、祇女、刀自、仏御前、そして清盛の像が安置されています。それらの像の内、祇王と祇女の像は鎌倉時代（1185-1333）作と考えられています。この近くには、ささやかな墓地と、祇王の物語の登場人物を供養する2つの大きな石塔があります。左側の高い方の石塔は、祇王、祇女、刀自を供養するもので、右側の石塔は清盛を祀るものです。

祇王寺の有名な庭園にはモミジがたくさんあり、境内のほとんどは豊かな苔に覆われています。そこには20種類以上の苔が生えていますが、その自然の美しさを最大限に生かすため、適度に手入れされています。庭園の一角では祇王寺の庭に生息する様々な種類の苔のサンプルを展示していて、様々な質感や色合いを見せてくれます。庭園の小道は、常緑の椿、曲がりくねった小川、垣根のすぐ向こうにある竹林、そして石灯籠やつくばいなどの伝統的な景観装飾の間を通りながら蛇行しています。この庭園はどの季節でも美しい景色を提供しています。春は薄桃色の桜、夏は一面の新緑、冬は雪化粧。特にたくさんの散紅葉が静かに重なる秋には人気を集めます。

| | | | |
|------|-----|------|---------|
| 地域番号 | 008 | 協議会名 | 総本山 仁和寺 |
|------|-----|------|---------|

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|--------------------|--------|------|
| 008-001 | 天和時代の仁和寺の地図 (天和古図) | 335 | 看板 |
| 008-002 | 九所明神と灯笼 (国指定重要文化財) | 320 | 看板 |
| 008-003 | 霊宝館 | 320 | 看板 |
| 008-004 | 水掛不動尊 | 300 | 看板 |
| 008-005 | 菅原道真の岩 | 335 | 看板 |
| 008-006 | 福王子神社秋季大祭 | 325 | WEB |
| 008-007 | 済心塚 | 240 | 看板 |
| 008-008 | 仁和寺の花祭り | 315 | WEB |
| 008-009 | 北庭 | 265 | 看板 |
| 008-010 | 南庭 | 250 | 看板 |
| 008-011 | 御室八十八箇所巡りの白黒版画 | 345 | 看板 |
| 008-012 | 御室八十八ヶ所巡礼の色絵図 | 260 | 看板 |
| 008-013 | 御室八十八ヶ所四国栗毛 | 300 | 看板 |
| 008-014 | 松林庵 | 320 | 看板 |
| 008-015 | 都名所図会 | 325 | 看板 |

【タイトル】 天和時代の仁和寺の地図（天和古図）

【想定媒体】 看板

<簡体字>

天和時代の仁和寺地図（《天和古図》）

于 1683 年绘制的《天和古图》，是现存仁和寺最古老的地图。该图描绘了 1646 年重建后的寺庙，寺内主要建筑均在图中：金堂（本堂）、五重塔、观音堂、九所明神神社、通往金堂的主路上的三道大门，以及 1887 年毁于大火的旧御室御殿。1924 年被指定为国家名胜的“御室樱”也在图中。江户时代后期(1603-1868)，仁和寺在赏樱季节对外开放，这片樱花便也成了广受欢迎的“庶民之樱”。

《天和古图》出自仁和寺重建工程的主建筑师奥田和泉掾之手，冠天和时代（1681-1684，天皇年号）为名。1683 年，为迎接来自皇家的新住持，灵元天皇(1654-1732)次子觉观法亲王(1672-1707)，仁和寺进行了维修，地图的绘制可能也是其中一项工程。

<日本語仮訳>

天和時代の仁和寺の地図（天和古図）

「天和古図」は、仁和寺を描いた現存する最古の地図です。この地図は、1683 年に作成されたもので、1646 年の再建後の仁和寺を描いています。金堂（本堂）、五重塔、観音堂、九所明神、金堂へ至るまでの間に通る三つの門、1887 年の火災で焼失した旧御室御殿など、主たる建造物がすべて描かれています。また、江戸時代（1603-1868）後半に仁和寺が花見の季節に境内を一般公開したことで庶民の桜として親しまれ人気を博した御室桜も描かれています。御室桜は 1924 年に国の名勝に指定されました。

「天和古図」は、再建事業を担った建築士の奥田和泉掾が描き、天和時代（天皇の代を表す元号 1681-1684）にちなんで名づけられたものです。霊元天皇（1654-1732）の第 2 皇子の覚観法親王（1672-1707）を新しい住職として朝廷から迎えるにあたって、1683 年に行われた整備作業の一環として作成された可能性もあります。

【タイトル】 九所明神と灯籠（国指定重要文化財）

【想定媒体】 看板

<簡体字>

九所明神神社和灯笼（国家重要文化财产）

九所明神是一座建在佛寺内的神社，它提醒着人们，这些宗教传统在日本历史上曾如何紧密交织。神佛合一持续了 1000 多年，直到 1868 年一系列政令正式将神道教和佛教拆分。但神社仍经常担任佛寺的守护者，正如九所明神之于仁和寺。

本殿（正殿）和左右两殿一共供奉着 9 位神明。本殿里供奉的是皇族和武士的守护神八幡三神，左右两殿各供奉着 4 位神明。京都的主要神社中也都供奉着这些神明，据说，将诸神聚集于此，能确保宫廷的安全与繁荣。

门前的三盏石灯笼可以追溯到 1644 年，与现存神社同年建成。它们的式样以茶道大师和灯笼设计师古田织部(1544-1615)的名字命名，也称“织部灯笼”，其特征是圆形的底座上部和冠部的石头宝珠。

<日本語仮訳>

九所明神と灯籠（国指定重要文化財）

九所明神は、仏教寺院の境内にある神社です。日本の歴史の中で、神道と仏教の宗教的伝統がいかに密接に絡み合っていたかが思い起こされます。神仏習合は、1868 年に政府が発令した一連の命令がこれら 2 つの宗教を公式に分離するまで千年以上続きましたが、今でも九所明神と仁和寺と同様に、未だに多くの神社が仏教寺院の守護神の役割を果たしています。

本殿と本殿に隣接する 2 棟の拝殿（左右殿）に計 9 柱の神が祀られています。本殿には、皇室の先祖であり、武士の守護神でもある八幡三神、左右両殿には 4 柱ずつの神が祀られています。これらの神は、京都の主要な神社に祀られており、朝廷の安全と繁栄を願ってここに一堂に集められたものと考えられています。

門前にある 3 基の附石灯籠は、現在の社殿が完成した 1644 年に遡るものです。これらは、茶人・灯籠師であった古田織部（1544-1615）の名を冠した織部灯籠という様式のもので、台座上部の丸みを帯びた形状と上部に冠されたコブのような宝珠が特徴的です。

【タイトル】 霊宝館

【想定媒体】 看板

<簡体字>

灵宝馆

灵宝馆收藏并展示仁和寺的佛像、绘画、经卷、书信等珍贵文物。被指定为国宝的阿弥陀三尊像是馆内一大亮点，与9世纪创建的寺庙同时面世。此外，中国北宋时代的孔雀明王像，以隋唐医书为底本编撰的医学书《医心方》，弘法大师空海在中国西安青龙寺抄写并带回的密教经典《三十帖册子》，均是被指定为国宝的馆藏文物。历史上，仁和寺与朝廷关系密切，地位非比寻常，1867年之前的寺院住持均由皇室成员担任，因此，院内还珍藏了许多天皇写给住持的亲笔文件。

这座竣工于1927年的钢混结构建筑令人联想到日本古代的仓库，由建筑师片冈安(1876-1946)设计，被指定为“登录物质文化财产”。灵宝馆每年从4月1日和10月1日开始，举办两次为期50天左右的“名宝展”。

<日本語仮訳>

霊宝館

霊宝館では、仁和寺所有の仏像、絵画、写経、書簡などの貴重な品々を保管・展示しています。見どころのひとつは、9世紀の開山当時に遡る阿弥陀三尊像で、国宝に指定されています。また、中国北宋時代の孔雀明王像、隋・唐時代の医書をベースにした『医心方』、弘法大師空海が中国西安青龍寺で書写し持ち帰った『三十帖冊子』のいずれも国宝に指定されています。1867年までは皇族が門跡を務めていたため、天皇の手書きの文書や門跡宛の文書が数多く残されていることから、仁和寺がその歴史において朝廷と密接な関係を持つ場所だったことを物語っています。

この、日本古来の土蔵建築を彷彿とさせる鉄筋コンクリート造りの建物は、建築家の片岡安（1876-1946）の設計によるものです。1927年に竣工し、登録有形文化財に指定されています。霊宝館は、毎年4月1日と10月1日の2度、約50日間開催される「名宝展」の期間に一般公開されています。

【タイトル】 水掛不動尊

【想定媒体】 看板

<簡体字>

水挂不动明王

这座灵场（神佛显灵显著的地方）内岩石上的石像，代表佛教密宗五大明王之一、仁和寺所属真言宗所尊奉的主神不动明王。他右手执利剑，左手执罽(juàn)索，准备向恶魔和佛教的其他敌人释放怒火。与不动明王同时出现的，常常是火焰背光和坚固的岩石底座，据说这代表着不动明王无可撼动（即所谓“不动”）的坚定决心。“水挂”在日语里是浇水的意思，人们用长柄勺舀水浇洒不动明王像，然后开始祈祷。

相传，在江户时代(1603-1868)的某一天，京都一条河流爆发洪水，有人听到呼救声，随之便发现了佛像。出水后，不动明王要求去往仁和寺，并最终被安置在了寺中泉眼边的一块岩石上。现在，这眼泉水被引入佛像前的水盆内。

<日本語仮訳>

水掛不動尊

霊場（神仏の通力が現われる場所）内の岩上の石像は、密教の五大明王の一尊であり、仁和寺が属する真言宗の中心尊である不動明王を表現したものです。右手には剣を振りかざし、左手に縄を持ち、今すぐにでも悪魔や仏教の敵に対して怒りを解き放たんとしています。一般的な不動明王のイメージと同様、この像には炎の光輪と頑丈な岩の台座があり、不動明王（不動とは、「動かない」ということを意味します）の決意を表していると言われています。水掛とは「水をかける」という意味で、お参りをする前に像に水をかけるための長い柄杓が用意されています。

伝説によると、この像は江戸時代（1603-1868）のある日、氾濫した京都の川の中で、「助けてください」という声を聞いた人が発見したということです。水から上がると、明王が仁和寺に連れて行ってほしいと頼み、泉の横の岩の上に安置されました。その湧き水は今、像の前の井戸に貯められています。

【タイトル】菅原道真の岩

【想定媒体】看板

<簡体字>

菅原道真之石

这块岩石之上安坐着水挂不动明王石像，参拜者在此为其浇水并祈祷。传说日本历史上的一位传奇人物也曾在这块石头上小憩。

菅原道真(845-903)是一名学者和官员，在宇多天皇(867-931)的朝廷中崭露头角后受到重用，901年因权力斗争失败被贬九州。离开京都前，菅原道真前往仁和寺，准备向他从前的支持者、寺院首任住持宇多法皇（退位并进入佛门的天皇称“法皇”）告别。只可惜住持当时忙于主持仪式，道真在这块岩石上坐等了整整一天后还是没能谒见，无奈离开。

道真最终死于流放地九州，不久，京都就屡遭疾病和自然灾害侵袭。这些灾难都被归为道真冤魂的复仇，于是朝廷立刻建造了一座新神社北野天满宫来安抚他的在天之灵。从此，天满宫便成为了奉菅原道真为学问之神的神社，遍布日本各地。

<日本語仮訳>

菅原道真の岩

現在、参拝者が祈りを捧げる前に水をかける石像、水掛不動尊が安置されている岩は、かつては日本史の伝説的な人物が休息をとった場所だったと言われています。

菅原道真（845-903）は、宇多天皇（867-931）の治世中に朝廷で名を上げた知識人で官僚でした。権力争いに敗れた道真は、901年に九州に左遷されました。道真は、京都を出発する前に仁和寺を訪れました。それはかつての支援者であり、仁和寺の初代住職となった宇多法皇（退位後仏門に入った天皇の呼称）に別れを告げるためでした。宇多法皇は、勤行で忙しかったため、道真は丸一日この岩の上に座って待たされることになったのです。道真は結局、宇多法皇との謁見が叶うことなく去って行きました。

道真公は左遷先で亡くなり、その直後に都は疫病や天災に何度も見舞われました。これらの災難は、道真の祟りによるものだと言われ、朝廷はすぐに道真の祟りを鎮めるために北野天満宮を建立しました。菅原道真を学問の守護神として祀る天満宮は、日本全国各地にあります。

【タイトル】 福王子神社秋季大祭

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

福王子神社秋季大祭

福王子神社位于仁和寺西边，供奉仁和寺创建者宇多天皇(867-931)的母亲班子皇太后(833-900)。每年10月的第三个星期日，这里会举行福王子神社秋季大祭，以赞颂母子亲情。

届时，一座被认为承载班子之灵的精致神舆（神轿）从神社出发，穿过周围的街区后到达仁和寺。游行队伍从二王门进入寺庙，经过通常只为天皇随从或使者开放的敕使门，在宸殿前停下。殿阁最内室供奉着宇多天皇（又称宇多法皇）的画像，画像前摆放着被认为身伏班子之灵的“玉串”（献神用的小杨桐树枝，带叶，缠以白纸或白布），此刻喻示着母子重逢。随后，神轿被抬回福王子神社。

这个秋日祭典也在提醒着人们，在日本历史的很长一段时间里，神道教和佛教的信仰、习俗如何紧密交织，相互融合。

<日本語仮訳>

福王子神社秋季大祭

仁和寺のすぐ西にある福王子神社は、仁和寺の開祖、宇多天皇（867-931）の母、班子皇太后（833-900）を祀った神社です。毎年10月の第3日曜日に開催される福王子神社秋季例大祭では、この母子の絆が祝われます。

班子の霊が宿っているとされる精巧な造りの神輿が、神社から周辺地域を通過して仁和寺へと運ばれてきます。行列は、二王門を通過して境内に入り、通常は天皇の従者や使者だけに開かれている勅使門をめぐり、宸殿の前で止まります。宸殿の最も奥にある部屋に祀られている宇多天皇（宇多法皇）の肖像画の前には、班子の霊が宿っているとされる神聖な木の枝「玉串」（サカキの小枝に白い紙・布の垂を付けた供物。）が供えられます。これが、母と息子の再会を象徴する瞬間であると考えられています。そして、神輿は担がれ、福王子神社へと戻っていきます。

この秋季大祭の儀式は、日本の歴史の中で神道と仏教の信仰と時きたりがいかに密接に絡み合っていたかを思い起こさせます。

【タイトル】 濟心塚

【想定媒体】 看板

<簡体字>

濟信冢

这座松树覆盖的土丘，祀奉高僧济信(954-1030)，仁和寺第二任住持性信法亲王(1005-1085)的老师。济信是高阶贵族源雅信(920-993)的儿子，也是当时宫廷和贵族青睐的两大佛教宗派之一密宗真言宗的僧人。他不断获得晋升，曾在当时京都最古老的寺院和真言宗本山（总部）东寺担任多个重要职位。

济信最终被任命为大僧正，并于 1020 年获授僧人前所未有的殊荣——可以乘坐牛车进入皇宫内廷，而不必遵循常例把车輿留在宫门口。尽管济信冢以坟茔之姿示人，但通常认为济信的遗骸并不在其中。

<日本語仮訳>

濟心塚

この松の木が茂る塚は、僧侶で、仁和寺の第 2 世門跡、性信法親王の師でもあった濟信大僧正（954-1030）を祀っています。濟信は、身分の高い貴族、源雅信（920-993）の息子で、当時の宮廷と貴族に好まれていた 2 つの仏教宗派のひとつ、密教の真言宗の僧侶でした。濟信は、僧職を経て出世し、京都最古の寺、当時の真言宗本山の東寺で要職を歴任しました。

濟信は、最終的には大僧正に任命され、1020 年には、牛車宣旨を受け、宮門の前で牛車を降りる代わりに、牛車に乗車したまま宮門を通過することを許可されるという前代未聞の権利を与えられました。濟心塚は、埋葬塚のように見えますが、濟信の遺体はそこに埋葬されていないと考えられています。

【タイトル】 仁和寺の花祭り

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

仁和寺花节

春天，数百年来深受京都人钟爱的花草纷纷盛开，仁和寺的土地便展现出绚丽多彩的一面。仁和寺花节通常在 3 月中旬至 5 月上旬举行，焦点是盛开的“御室樱”，这种樱花以花朵大、花香甜美而著称。它们被种在硬土中，以保持树木低矮，刻意营造出一种美感。御室樱有好几个品种，最常见的是花朵洁白如云的御室有明。

自江户时代(1603-1868)仁和寺首次向公众开放赏樱以来，御室樱就享有盛誉，它以“庶民之樱”之名，在很多和歌中被咏叹，至今仍在每年春天吸引着无数游人前来。这片樱花在 1924 年被指定为国家名胜。在 4 月中旬满开的樱花美景中，还有杜鹃花轻粉浅紫的身影。待到花节进入尾声，更有枫树吐绿，衬托花景。

花节期间，进入寺庙需要 500 日元门票。

<日本語仮訳>

仁和寺の花祭り

仁和寺の境内は、京都の人々が何世紀にもわたって愛でてきた草木が咲き乱れる春になると、最も色鮮やかになります。仁和寺の花祭り（仁和寺御室花まつり）は、甘い香りの大輪の花を特徴とする桜の一種、御室桜の開花を中心に、通常、3 月中旬から 5 月初旬まで開催されます。審美的効果を目的として意図的に樹高を低く保つために硬い土壌の上に植えられた御室桜には、数種の品種があります。これらの品種の中で最も一般的なのが、白くふわっとした花をつける御室有明です。

御室桜は、仁和寺が花見の季節に境内を一般公開した江戸時代（1603-1868）からその名を馳せてきており、庶民の桜として親しまれ、数多くの和歌に詠われていました。今日でも毎年春になると多くの人で賑わいます。御室桜は 1924 年に国の名勝に指定されました。通常、ツツジが背景にピンクと薄紫の色合いを景観に加え、4 月中旬に満開になります。この花祭りの終盤に近づくと、カエデの鮮やかな緑が桜の背景になります。

花祭りの期間中は、境内に入るのに 500 円の入場料が必要となります。

【タイトル】 北庭

【想定媒体】 看板

<簡体字>

北庭

宸殿北側の庭園，通过心形池泉式池塘、瀑布和覆盖着葱茏树木的人工山丘等元素，营造出令人更为宁静平和的氛围。飞涛亭茶室矗立在假山上，因前往茶室必须经过水花飞溅的瀑布而得名。

北庭被认为建于 17 世纪后期，但 1887 年焚毁御殿的那场大火也几乎将它毁于一旦。1914 年，在第七代小川治兵卫(1860-1933)的主持下，北庭重建。它兼顾了特色功能的布局与周边建筑，呈现出如今的面貌。从宸殿望向庭园时这一点尤其鲜明：飞涛亭与中门和庭外的五重塔对齐，形成一排错落有致的高楼。中门和五重塔最初被漆成朱红色，是这里至今依然引人注目的美景中的一部分。

<日本語仮訳>

北庭

宸殿の北側にある庭園は、心の安らぎを得ることを目的としており、心の文字の形をした池、滝、青々とした木々に覆われた築山といった要素で実現されています。築山の上にある茶室「飛濤亭」は、そこにたどり着くまでに滝の水しぶきがかかってしまうことにちなんで、そのように名付けられました。

この庭園の歴史は 1600 年代後半に遡ると考えられていますが、1887 年の御殿の火災でほぼ完全に焼失してしまいました。1914 年に、七代目小川治兵衛（1860-1933）の監修のもと、周囲の建造物を考慮した上でそれぞれの要素を配置し、現在の姿に再建されました。特に宸殿から庭を眺めるとそのことがよくわかります。ここからは、飛濤亭や中門、外にある五重塔へと、高い建物が一列に並んでいる景色を望むことができます。中門や五重塔は、元々は鮮やかな朱色に塗られており、いまなお印象的な景観に寄与していたそうです。

【タイトル】 南庭

【想定媒体】 看板

<簡体字>

南庭

宸殿南側の庭園刻意簡化，意在凸显庄严之感。从宸殿透过两扇大门眺望庭园，杉树和松树衬托下的，是一个由完美的白色砂砾铺就的石庭。这些砂石来自京都白川地区，如今已经难觅更换石材，因此必须定期清洗以保持庭园面貌不变。宸殿正前方的树木，左边是樱花，右边是蜜橘。自 10 世纪在京都御所正殿前首先选择种植这两种树之后，它们就被视为与皇室相关的吉祥组合。

仁和寺的贵宾经南庭前往御殿。天皇和皇家使臣由较大的敕使门进入，直接穿过庭园到达白书院，其他皇室成员则使用不那么显眼的皇族门，穿过宸殿前的两棵树之间进入御殿。

<日本語仮訳>

南庭

宸殿の南側の庭は、厳肅さを演出できるように意図的に簡素な造りになっています。宸殿から 2 つの門に向かって庭を見渡すと、杉や松を背景に、白砂利を敷き詰めた石庭が広がっています。これらの石は京都の白川地域で採集したもので、もはや交換用の石を入手することできないため、庭本来の姿を維持するために定期的に洗浄しています。宸殿の真正面には、桜（左）と橘（右）の木があります。この組み合わせは 10 世紀に京都御所の正殿前に桜と橘の木が植えられて以来、縁起が良いものとされる皇室と所縁の深いものです。

仁和寺への重要な来訪者は、御殿に向かう途中で南庭を通ります。御殿に入る際には、天皇とその使者たちは、大きな勅使門から入り、庭を通過して直接白書院に向かいますが、他の皇族は、あまり目立たない皇族門を使い、宸殿の前にある 2 本の木の間を通過して入ります。

【タイトル】 御室八十八箇所巡りの白黒版画

【想定媒体】 看板

<簡体字>

黑白版画《御室八十八所巡礼》

1827年，“四国遍路”88寺巡礼の微縮版——仁和寺“御室88所巡礼”发布，这幅黑白木版画随即面世。它其实是一张向百姓宣传御室巡礼的广告，主要强调一条紧凑的巡礼路线。路线沿仁和寺后被统称为成就山の陡峭山丘展开，全程只需2小时。要知道，全长1,200公里的四国遍路需要人们花费几个月的时间来跨越四个县，才能走完88座寺庙。与之相比，御室朝圣是一项了不起的创举。成就山の朝圣之路上铺着取自四国88寺の沙子，因此，御室朝圣被认为能带来与四国遍路相同的福报。

江戸時代(1603-1868)，四国遍路88寺巡礼の人气达到顶峰，民间开始为无法走完全程の人打造小型巡礼路线。仁和寺の第29任住持济仁法亲王(1797-1847)便是应信众要求，开发了仁和寺の“御室88所巡礼”。

<日本語仮訳>

御室八十八箇所巡りの白黒版画

この白黒の木版画は、四国八十八ヶ寺巡礼のミニチュア版である仁和寺の御室八十八箇所巡りが1827年に開始された直後に描かれたものです。この版画は、御室巡礼を一般の人に宣伝するための広告の一種です。仁和寺の裏手の急坂を2時間で登って行く、成就山と総称されるコンパクトな規模のルートを際立たせています。4つの県にまたがる1,200キロの道のりにおよぶ八十八箇所の寺院を、数ヶ月かけて巡る四国の八十八箇所霊場巡りと比較すると、巡りやすいことがわかるでしょう。成就山の道には四国八十八箇所霊場のお寺の砂が入っているため、御室八十八箇所霊場を巡ると、四国八十八箇所のお寺を巡ったのと同様のご利益があるとされています。

民衆の間で四国八十八ヶ所巡りの人气が最高潮に達した江戸時代(1603-1868)、その全行程を歩けない人々のためにミニ巡礼を行うようになりました。仁和寺版は、第29世門跡の济仁法親王(1797-1847)が信徒からの要望を受けて考案したものです。

【タイトル】 御室八十八ヶ所巡礼の色絵図

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《御室八十八所巡礼》彩绘地图

这张手绘彩色地图描绘了 19 世纪 20 年代仁和寺背后的丘陵景观。那时还没有“御室 88 所巡礼”，从图中可以看到，在御室巡礼被打造成四国遍路微缩版之前，成就山的众多山丘都各有其名。地图由仁和寺绘制，是申请打造御室巡礼许可时向政府提交的参考文件之一。图中黄色方块被认为是沿途 88 座灵场的位置，蓝色方块则代表施工期间挖掘的两个池塘。

仁和寺的申请获得批准，“御室 88 所巡礼”于 1827 年开启。多年来，这条路线历经变化，也经过了 1830 年破坏性大地震后的大规模修复重建，但至今依然基本保留着地图上所描绘的面貌。

<日本語仮訳>

御室八十八ヶ所巡礼の色絵図

この手書きのカラー地図は、御室八十八ヶ所巡礼が開かれる以前の、1820 年代の仁和寺裏の丘陵風景を描いたものです。四国八十八ヶ所巡礼のミニチュア版である御室巡礼が造られる以前は、成就山と現在では総称されている数々の丘の一つひとつに、名前があったことがわかります。この地図は、仁和寺が御室巡礼の建設の許しを国に求めた際に、参考資料として作成・提出されたものです。黄色の四角は、参道沿いにある 88 のお堂の場所を示していると考えられ、青色の四角は、建設中に掘られた 2 つの池を表しています。

仁和寺の申請は承認され、御室八十八ヶ所霊場は 1827 年に開山しました。年月を重ねるにつれ参道は変遷を遂げ、1830 年の大震災後には大規模な修復や再建も行われましたが、それでも現在の巡礼路は、この地図で描かれている基本的な姿を保っています。

【タイトル】 御室八十八ヶ所四国栗毛

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《御室八十八所四国栗毛》

《御室八十八所四国栗毛》（意为御室 88 所朝圣之旅）是一本以仁和寺“御室 88 所巡礼”为背景的幽默旅行日记。它于 1832 年出版，以纪念大地震两年后经修复重新开放的御室朝圣之路，同时作为仁和寺的广告宣传之用。

这部作品是作者山东京鹤模仿十返舎一九所著《东海道中膝栗毛》（中译本为《东海道徒步旅行记》）创作。后者是一套 12 卷的幽默旅行书，用插图漫画的方式写就京都与江戸（今东京）之间交通要道东海道的旅行指南。它在日本风行一时，为后来者所纷纷效仿。

以御室巡礼为主题的这一版本面世，表明了这条巡礼路线不仅仅关乎宗教，也关乎旅行，同样能为异想天开的、充满滑稽动作和古怪人物的有趣故事提供背景。

<日本語仮訳>

御室八十八ヶ所四国栗毛

「御室八十八ヶ所四国栗毛」（御室八十八ヶ所を巡礼する旅行記の意）は、仁和寺の御室八十八ヶ所巡礼を舞台にしたユーモラスな旅行記です。その 2 年前の大震災による修復を終え、巡礼路が再開されたことを記念して 1832 年に出版されたもので、仁和寺の宣伝としての役割も担っていました。

作者の山东京鹤は、十返舎一九の「東海道中膝栗毛」（中訳本のタイトル「東海道徒步旅行記」）を手本にして、この話を作りました。「東海道中膝栗毛」は 12 部構成で、京都と江戸（現在の東京）を結ぶ交通路・東海道の旅の案内書として書かれた絵入り小説です。日本で当時、最も人気を集めた本のひとつであり、広く模倣されました。

御室巡礼を舞台にした改作が出版されたという事実は、御室巡礼が、宗教的な場所以上のものとして捉えられていたことを示唆しています。この場所は観光地でもあったため、一風変わったばか騒ぎや突飛なキャラクターたちが登場する楽しい物語の背景となる可能性も秘めていたのです。

【タイトル】 松林庵

【想定媒体】 看板

<簡体字>

松林庵

松林庵は江戸時代(1603-1868)末期负责侍奉并保护仁和寺僧侶の历代武士の故居。1937年、武士家族后人将其捐赠给寺庙，其后历经数次搬迁才落户现址。

翻新后的建筑多了几分趣味性。双层建筑中大小不一的房间以艺术装饰、低矮的门口和令人称奇的角度为特色。独特的风格在二楼尤为突出，这里有一个小型展览室和同样小巧的茶室，可以通过一座微型小桥进入，在桥上能俯瞰中央的楼梯。

房子后面是一个小庭园，也是翻新工程的一部分，从一楼客厅推开障子门就能欣赏。当然，你也可以坐在房间外面的檐廊下享受美景。2018年翻新后的松林庵成为一家豪华的寺庙宿坊对外开放，它作为仁和寺旅行的一项私人体验项目，最多可接纳5人团体留宿，费用100万日元（不含膳食）。

<日本語仮訳>

松林庵

松林庵は、江戸時代（1603–1868）の末期に、仁和寺の住職に仕え守護を任された歴代の寺侍の旧宅です。1937年にその家の子孫が仁和寺に寄進したもので、現在の地に落ち着くまでに何度か移築されています。

改築された建物の造りは、遊び心を感じさせるものとなっています。2階建ての建物にある様々な大きさの部屋は、風雅な装飾や背の低い扉、意表を突いた角度などが特徴的です。この特異な造りは2階の部分に顕著で、そこには中央の階段を見下ろす小さな橋を渡って入ることができる、小ぶりな展示室と小さな茶室があります。

建物の裏手には、改修工事の際に造られた小さな庭園があり、1階の居間から障子を開けて眺めることができるように設計されています。庭園に面した縁側に座った際にも、その景色を望むことができます。2018年に豪華な宿坊としてオープンし、仁和寺の貸切ツアーの一環として、1泊100万円で最大5名まで宿泊することができます（食事代は含まれていない）。

【タイトル】 都名所図会

【想定媒体】 看板

<簡体字>

《都名所図会》

出版于 1780 年的《都名所図会》（即京都名胜图），是有关京都及周边地区的系列旅行指南书。该系列一炮而红，并引发了大量类似作品出版，比如连接京都和江户（今东京）之间的交通要道东海道，以及伊势神宫（现三重县内）的插图指南。

书中名胜地皆兼备文字描述和细节图示，大多为鸟瞰图。特别值得注意的是，包括仁和寺在内的大多数景点都几乎没有实际相应的俯视位置，因此，画家不得不尽量凭借想象力创作，并常在不确定比例或其他细节处画上云彩。在描绘樱花盛开的仁和寺时，就使用了这种技法。画中，人们三五成群，在樱花树下野餐——这场景至今在每年春天日本各地的公园中仍能看到。以真正的指南风格而言，仁和寺樱花的范围和壮观程度似乎被夸大了，当时的樱花面积应该更小一些。

<日本語仮訳>

都名所図会

「都名所図会」（都の名所図の意）は、京都とその周辺の旅行案内書として 1780 年に出版されたシリーズです。このシリーズは人気を博し、京都と江戸（現在の東京）を結ぶ交通路である東海道や、現在の三重県にある伊勢神宮の図入りガイドといった、多くの類似の作品が生まれるきっかけとなりました。

「都名所図会」にある「名所」は、文章と詳細な図の両方を用いて説明されており、その多くが鳥瞰的な視点から描かれています。これは、仁和寺などの紹介されている名所を見渡すことができるような物理的な場所がほとんど無かったことを踏まえると、特筆すべき点です。そのため、絵師たちは想像力に頼らざるを得ず、バランスや詳細が分からない箇所には雲を描くことが多々ありました。この手法は仁和寺の図でも用いられており、桜の季節の境内を描いています。桜の木の下で行楽をする人々の姿が描かれていますが、これは、現代でも毎年春になると日本各地の公園で見られる光景です。ガイドブックとしては、当時の仁和寺の桜の生えている範囲や素晴らしさがやや誇張されているようにも見え、当時はもう少し狭い範囲に限られていたと考えられます。

| | | | |
|------|-----|------|-----------------|
| 地域番号 | 009 | 協議会名 | 八幡市多言語解説整備推進協議会 |
|------|-----|------|-----------------|

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|----------|---------------|--------|------|
| 009-001 | 石清水八幡宮と男山 | 370 | 看板 |
| 009-002 | 石清水八幡宮と男山 | 870 | WEB |
| 009-003 | 石清水八幡宮の御祭神と歴史 | 355 | 看板 |
| 009-004 | 石清水八幡宮の御祭神と歴史 | 550 | WEB |
| 009-005 | 本社 | 310 | 看板 |
| 009-006 | 本社 | 735 | WEB |
| 009-007 | 摂社と末社 | 305 | 看板 |
| 009-008 | 石清水八幡宮の摂社と末社 | 470 | WEB |
| 009-009 | 石清水八幡宮の石灯籠 | 335 | WEB |
| 009-010 | 五輪塔 (航海記念塔) | 295 | 看板 |
| 009-011 | 五輪塔 (航海記念塔) | 480 | WEB |
| 009-012 | 石清水社と石清水井 | 300 | 看板 |
| 009-013 | 石清水社と石清水井 | 330 | WEB |
| 009-014 | エジソン記念碑 | 295 | 看板 |
| 009-015 | エジソン記念碑 | 520 | WEB |
| 009-016 | 松花堂庭園と美術館 | 300 | 看板 |
| 009-017 | 松花堂庭園と美術館 | 650 | WEB |
| 009-018① | 名勝庭園と松花堂昭乗 | 290 | 看板 |
| 009-018② | 名勝庭園と松花堂昭乗 | 500 | WEB |
| 009-019 | 草庵「松花堂」 | 275 | WEB |
| 009-020 | 泉坊書院 | 270 | WEB |
| 009-021 | 茶室「松隠」 | 200 | 看板 |
| 009-022 | 茶室「松隠」 | 355 | WEB |
| 009-023 | 茶室「竹隠」 | 175 | 看板 |
| 009-024 | 茶室「竹隠」 | 295 | WEB |
| 009-025 | 茶室「梅隠」 | 205 | 看板 |
| 009-026 | 茶室「梅隠」 | 455 | WEB |
| 009-027 | 松花堂弁当 | 240 | 看板 |
| 009-028 | 松花堂弁当 | 420 | WEB |
| 009-029 | 八角堂 | 295 | 看板 |
| 009-030 | 八角堂 | 600 | WEB |
| 009-031 | 正法寺 | 315 | 看板 |
| 009-032 | 正法寺 | 695 | WEB |
| 009-033 | 阿弥陀如来坐像 | 305 | 看板 |
| 009-034 | 阿弥陀如来坐像 | 475 | WEB |

| | | | |
|---------|------------|-----|-----|
| 009-035 | 善法律寺 | 325 | 看板 |
| 009-036 | 善法律寺 | 650 | WEB |
| 009-037 | 神應寺 | 285 | 看板 |
| 009-038 | 神應寺 | 635 | WEB |
| 009-039 | 飛行神社 | 380 | 看板 |
| 009-040 | 飛行神社 | 730 | WEB |
| 009-041 | 単伝庵（らくがき寺） | 300 | 看板 |
| 009-042 | 単伝庵（らくがき寺） | 575 | WEB |
| 009-043 | 相槌神社 | 295 | 看板 |
| 009-044 | 相槌神社 | 565 | WEB |
| 009-045 | 伊佐家住宅 | 665 | WEB |

【タイトル】 石清水八幡宮と男山

【想定媒体】 看板

<簡体字>

石清水八幡宮与男山

石清水八幡宮是一座拥有近 1200 年历史的神社。859 年，人们从九州の宇佐神宮礼迎八幡大神落户男山，神社自此建立。八幡神是京都和皇室の守护神，数个世纪以来，贵族平民无不來此参拜，祈福消灾。神社渐渐扩大至整座男山，拥有一个本社、若干末社和众多佛寺，就连山脚都发展成了兴旺的市镇。

自 6 世纪佛教传入，日本便形成了将神道教神明（神）与佛教神明（佛陀和菩薩）糅合崇拜的传统，石清水八幡宮古来就是这样一个结合了神道教和佛教两种要素的综合体。格外推崇八幡神信仰的石清水八幡宮，在促进融合发展以及向全国传播八幡信仰上起到了很大的作用。然而 1868 年政府颁发了“神佛分离令”，持续千年的“神佛习合”宣告终结。今天，石清水八幡宮是日本最重要的神社之一，以它悠久的历史、神佛习合的宗教传统和引人注目的建筑而闻名。

2016 年，本殿（正殿）及相关几处建筑一同被指定为国宝。

<繁体字>

石清水八幡宮與男山

石清水八幡宮是一座擁有近 1200 年歷史的神社，859 年，信徒從九州の宇佐神宮禮迎八幡大神到男山，神社自此建立。八幡神是京都和皇室の守護神，數世紀以來，貴族平民無不來此參拜，祈福消災。神社漸漸擴建至整座男山，擁有一間本社、若干末社和諸多佛寺，就連山腳都成了興旺的市鎮。

自 6 世紀佛教傳入，日本便形成了將神道教神明（神）與佛教神明（佛陀和菩薩）糅合崇拜的傳統，石清水八幡宮自古也是這樣一個神道教和佛教結合的參拜場所。特別推崇八幡神信仰的石清水八幡宮，在宗教融合發展和八幡信仰的全國傳播中起到了重大作用。然而 1868 年政府頒發了「神佛分離令」，持續千年的「神佛習合」宣告終結。今日石清水八幡宮是日本最重要的神社之一，以其悠久的歷史、神佛習合的宗教傳統和獨特的建築群而聞名。

2016 年，本殿（正殿）及相關幾處建築一同被指定為國寶。

<日本語仮訳>

石清水八幡宮と男山

石清水八幡宮は、1200 年近くの歴史を持つ神社です。その起源は、八幡神が九州の宇佐神宮から男山に遷座された 859 年まで遡ります。八幡神は京都と皇室の守護神として崇敬されていたため、貴族も庶民も同様に、今日まで続く厄除け祈願に参詣するようになりました。やがて、石清水八幡宮の境内は山全体へと広がり、大きな本社、若干の末社、多数の寺院を構え、山のふもとには町が栄えるようになりました。

神道のご神体（神）と仏教の神聖な存在（仏陀、菩薩）を合祀するというこのスタイルは、仏教が 6 世紀に日本へ伝来して以来徐々に伝統となりました。石清水八幡宮は、古くから神道と仏教の宗教的要素を組み合わせた宮寺でした。八幡神への信仰が特に篤かった石清水八幡宮は、神仏習合の発展と八幡神信仰を全国に広める上で大きな影響を及ぼしました。この神仏習合は、政府が 1868 年に「神仏分離」令を出すまで、1000 年以上続きました。現在、石清水八幡宮は全国有数の神社の一つとして、その長い歴史、神仏習合の宗教的伝統、注目すべき建築物で知られています。

2016 年には、本殿を含むいくつかの建造物が国宝に指定されました。

【タイトル】 石清水八幡宮と男山

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

石清水八幡宮与男山

石清水八幡宮神社已有近 1200 年的历史，自古就是日本最重要的神社之一。若干世纪以来，上至天皇、幕府将军、贵族、武士，下至商人、平民，无不来此参拜。八幡神是京都和日本皇室的守护神，所以来这里祈求消灾除厄是由古流传至今的习俗。石清水八幡宮如今依然是全国首屈一指的除厄神社，从新春的除厄大祭开始，参拜者终年络绎不绝。

公元 859 年，僧人行教创建了石清水八幡宮。相传，当时他正在九州的宇佐神宮参拜，却得到八幡神亲传神谕，称：“吾将移座王都旁男山之巔，镇护国家！”根据这道神谕，八幡神被礼迎至男山，同时朝廷下令在山上修建新的神社，并于 860 年完工。

历史上，石清水八幡宮曾得到无数名人显贵的支持，其中包括皇室成员、源氏的传奇武士、权势滔天的幕府将军、富裕的一方领主等。神社规模不断扩大，在 14 世纪至 19 世纪中期，逐渐发展为拥有一个本社（神社内的主要建筑群）、数家末社（小型神社，供奉与本社祭祀之神关系深厚的神明）以及众多佛教寺院的大型神道教设施，几乎占用了整座男山。山脚下的一个繁华小镇，忙碌于接待来自各地的朝圣者、往返大阪与京都的商人，乃至石清水八幡宮里众多的僧侣和神职人员。

石清水八幡宮曾经是一座“神社—佛寺”合一的综合体，兼备神道教与佛教的元素。自公元 6 世纪佛教传入日本，这种同时供奉神道教神明（神）和佛教神明（佛陀与菩萨）的“神佛习合”（神道教与佛教相融合）方式开始在部分地区兴起。对八幡神信仰特别推崇的石清水八幡宮，在促进神佛习合以及八幡信仰在全国范围传播发展上发挥了重要作用。神道教与佛教的融合持续了 1000 多年，直到 1868 年明治政府下达“神佛分离令”分割两种宗教后方才停止。自此，石清水八幡宮神社境内的所有佛教元素都被移除。

石清水八幡宮至今依然是日本最重要的神社之一，除了悠久的历史与神佛习合的宗教传统之外，卓越的建筑也是它为人称道之处。2016 年，包括本殿（正殿）在内的几处建筑都被指定为国宝。本社建于 17 世纪，昂居男山之巔，堂皇富丽，是现存为数甚少的“八幡造”式建筑之一。此外，神社内还有许多小神社、鸟居、灯笼小径、竹林、一口圣井和漫山遍野的历史古迹。

<繁体字>

石清水八幡宮與男山

石清水八幡宮神社已有近 1200 年的歷史，一直是日本最重要的神社之一。數世紀以來，上至天皇、幕府將軍、貴族、武士，下至商人、平民，無不來此參拜。又因為八幡神是京都和日本皇室的守護神，這裡從古至今都是人們祈求消災除厄的祈福所。直到今日，石清水八幡宮依舊是全國香火最旺盛的消災神社之一，從新春的消災大祭開始，前來參拜者全年絡繹不絕。

西元 859 年，僧人行教創建了石清水八幡宮。據傳當時他在九州的宇佐神宮參拜，卻得到八幡神親傳神諭，稱：「吾將移座王都旁男山之巔，鎮護國家！」。根據這道神諭，八幡神被禮迎至男山，同時朝廷下令在山上修建新的神社，並於 860 年完工。

歷史上，石清水八幡宮得到無數名人顯貴的支持，其中包括皇室成員、源氏的傳奇武將、權勢滔天的幕府將軍、富甲一方領主等。神社規模不斷擴大，在 14 世紀至 19 世紀中期，漸至發展為擁有本社（神社內的主要建築群）、幾間末社（小型神社，供奉與本社祭祀之神關係深厚的神明）和許多佛教寺院的一大宗教設施，幾乎佔據整座男山。山腳下的繁華的小鎮，每天忙碌接待從各處趕來的朝聖者、往返大阪與京都的商人，以及石清水八幡宮裡眾多的僧侶和神職人員。

石清水八幡宮曾經是一座「神社—佛寺」合一的參拜場所，兼備神道教與佛教的元素。西元 6 世紀佛教傳入日本，於是同時供奉神道教神明（神）和佛教神明（佛陀與菩薩）的做法逐漸在部分地區興起，稱「神佛習合」（神道教與佛教相融合）。對八幡神信仰格外推崇的石清水八幡宮，在促進神佛習合以及八幡信仰在全國的傳播和發展上發揮了很大作用。神道教與佛教的融合持續了 1000 多年，直到 1868 年明治政府下令分離兩種宗教方才停止。自此，石清水八幡宮神社內的所有佛教元素都被移除。

直到今天，石清水八幡宮依然是日本香火最旺盛的神社之一，除了悠久的歷史與神佛習合的宗教傳統之外，卓越的建築也是其為人稱道之處。2016 年，包括本殿（正殿）在內的幾處建築都被指定為國寶。本社建於 17 世紀，昂居男山之巔，堂皇富麗，是現存為數不多的「八幡造」式建築之一。此外，神社內還有許多小神社、鳥居、燈籠小徑、竹林、一口聖井和漫山遍野的歷史古跡。

<日本語仮訳>

石清水八幡宮と男山

1200年近くの歴史を有する石清水八幡宮は、古くから日本で最も重要な神社のひとつに数えられてきました。八幡神は京都と皇室の守護神として崇敬されていたため、天皇、将軍、貴族、武士、商人、庶民に至るまで、今日まで続く厄除け祈願に参詣するようになりました。石清水八幡宮は、今なお全国屈指の厄除の神社として、新春の厄除大祭を始め年間を通し参拝に訪れる方々が後を絶ちません。

僧侶である行教が石清水八幡宮を創建したのは859年のことでした。彼は九州の宇佐神宮を訪れ、八幡神から「吾れ都近き男山の峯に移座して国家を鎮護せん」というお告げを受けたと言われています。この御託宣を受けて、八幡神は男山に遷座され、そして860年には朝廷の命による石清水八幡宮の社殿の建設が完了しました。

石清水八幡宮は、朝廷、伝説に残る源氏の武士、権力を持つ将軍や大名など、その歴史を通じて多くの重要人物の庇護を受けてきました。石清水八幡宮は次第にその規模を拡大し、14世紀～19世紀半ばにかけてほぼ男山全体へ広がり、本社（神社内の主要建築群）、いくつかの末社（本社ゆかりの神様を祀る小社）、数多くの寺院を構えるまでに発展しました。麓には、参詣者や大阪と京都の間を行き来する商人、石清水八幡宮の多くの神職や僧侶らをもてなす町が栄えました。

石清水八幡宮は、かつては神道と仏教の宗教的要素を組み合わせた宮寺でした。神道のご神体（神）と仏教の神聖な存在（仏陀、菩薩）を合祀する「神仏習合」は、仏教が6世紀に日本へ伝来した後、日本の一部の地域でみられるようになりました。八幡神への信仰が特に篤かった石清水八幡宮は、神仏習合の発展と八幡神信仰を全国に広める上で大きな影響を及ぼしました。この神仏習合は、明治政府が1868年に神仏分離令を出すまで、1000年以上続きました。その後、仏教の要素は境内から取り除かれました。

石清水八幡宮は、現在全国有数の神社の一つです。その長い歴史や神仏習合の宗教的伝統、そして素晴らしい建築物で知られています。2016年には、本殿を含むいくつかの建造物が国宝に指定されました。男山山頂にある豪華な装飾が施された本殿は17世紀に建てられたもので、八幡造り建築の数少ない現存例の1つです。神社の境内には、多数の小さな神社、鳥居、灯籠が並ぶ小道、竹林、神聖な井戸があり、山中には歴史的遺構も点在しています。

【タイトル】 石清水八幡宮の御祭神と歴史

【想定媒体】 看板

<簡体字>

石清水八幡宮の神明与历史

石清水八幡宮供奉着日本皇室及国家的守护神——八幡神。八幡神为三神一体：传说中第 15 代天皇应神天皇的神格、其母神功皇后、比咩大神（比咩大神是三位与海洋有关的女神的总称）。

859 年，八幡神自九州宇佐神宮移座男山，次年正式受供于新神社中。八幡神因向来被视为日本皇室的神圣先祖而受到历任天皇的尊奉。数世纪以来，在位天皇和上皇出巡石清水八幡宮的大型参拜活动总计 240 多次。强大的武士家族源氏同样奉八幡神为氏神（家族守护神）。在他们的推动下，八幡神社遍布全国，数量跃居全日本神社第二。

石清水八幡宮最重要的祭典是每年 9 月 15 日的“石清水祭”，这是代天皇行祭祀的“敕祭”，由来已久。届时，神明们被请入三座神輿，抬至男山脚下，天皇使臣在此祈求国泰民安。公开的庆祝活动除了传统音乐和宫廷舞蹈表演之外，还有一场放生仪式。

<繁体字>

石清水八幡宮の神明與歷史

石清水八幡宮供奉著日本皇室和國家的守護神——八幡神。八幡神為三神一體：傳說中第 15 代天皇應神天皇的神格、其母神功皇后、比咩大神（比咩大神為三位與海洋有關的女神的總稱）。

859 年，八幡神自九州宇佐神宮移座男山，次年正式受供於新神社中。八幡神向來被視為日本皇室的神聖先祖，受歷任天皇的尊奉。數世紀以來，在位天皇和上皇出巡石清水八幡宮的大型參拜活動總計 240 多次。強大的武士家族源氏同樣奉八幡神為氏神（家族守護神）。在他們的推動下，八幡神社遍佈全國，數量躍居全日本神社第二。

石清水八幡宮最重要的祭典是每年 9 月 15 日的「石清水祭」，這是代天皇行祭祀的「敕祭」，由來已久。屆時神明們被請入三座神輿，抬至男山腳下，天皇使臣在此祈求國泰民安。公開慶祝活動除了傳統音樂和宮廷舞蹈表演之外，還有一場放生儀式。

<日本語仮訳>

石清水八幡宮の御祭神と歴史

石清水八幡宮には、日本と皇室の守護神である八幡神が祀られています。八幡神は、日本の伝説的な 15 代天皇である応神天皇が神格化された形態であり、その母である神功皇后と、海に関連する 3 人の女神である比咩大神を一体とし、八幡神として祀っています。

八幡神は、859 年に九州の宇佐神宮から男山に遷座され、翌年に新しく建てられた社殿に正式に祀られました。八幡神は皇室の祖先神であるとされ、厚い崇敬を受けていた石清水八幡宮への天皇と上皇による御幸は、何世紀にもわたって 240 回以上行われました。権勢を誇った武家の源氏も八幡神を氏神として崇めていました。彼らの庇護を受けて八幡神社は全国に広がり、日本で 2 番目に多い神社となりました。

石清水八幡宮の最も重要な例祭は、9 月 15 日に開催される石清水祭です。この神事は、天皇の代わりに執行する祭祀の「勅祭」として、長い歴史を持っています。この例祭の間、神々は 3 つの神輿に移されて男山のふもとに運ばれ、そこで天皇の使者が平和と国の安泰のために祈祷を行います。公的な祭儀として、伝統的な舞楽が披露され、放生行事も行われます。

【タイトル】 石清水八幡宮の御祭神と歴史

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

石清水八幡宮の神明与历史

石清水八幡宮供奉着日本皇室及国家的守护神——八幡神。八幡神为三神一体：传说中第 15 代天皇应神天皇的神格、其母神功皇后、比咩大神（比咩大神是三位与海洋有关的女神的总称）。

公元 859 年，八幡神被行教和尚从九州的宇佐神宫礼迎至男山，次年被正式供奉在新建成的神社内。八幡神向来被认为是日本皇室的神圣先祖，因而受到历任天皇的尊奉。若干个世纪以来，在位天皇和已退位的太上皇出巡石清水八幡宮的盛大参拜活动总计 240 多次。强大的武士家族源氏同样将八幡神奉为氏神（家族保护神）。在他们的支持与推动下，八幡神社遍布全国，成为了日本数量第二多的神社。

在千余年“神佛习合”（神道教与佛教相融合）的历史里程中，八幡神也发展为兼具神道教与佛教特征的神明，广受崇拜。19 世纪，两大宗教因政令拆分，从此，石清水八幡宮便只将八幡神当作神道教的八幡大神加以供奉。

每年 9 月 15 日举行的“石清水祭”是石清水八幡宮最重要的祭典仪式。这种受皇命所托，由天皇代理人在指定神社祭祀祈福的“敕祭”，历史悠久。祭典期间，神社内供奉的神明被请入三座神輿，抬到男山脚下。天皇使者会在此行礼祭拜，祈求神明庇佑、国泰民安。向民众开放的庆典活动除了传统音乐和宫廷舞蹈的表演之外，还有一场放生鱼鸟的仪式。放生原本是佛教仪式，由此也反应出石清水八幡宮宗教融合的渊源。

<繁体字>

石清水八幡宮の神明與歷史

石清水八幡宮供奉著日本皇室和國家的守護神——八幡神。八幡神為三神一體：傳說中第 15 代天皇應神天皇的神格、其母神功皇后、比咩大神（比咩大神為三位與海洋有關的女神的總稱）。

西元 859 年，八幡神被行教和尚從九州的宇佐神宮禮迎至男山，次年被供奉於新建成的神社內。八幡神向來被視為日本皇室的神聖先祖，受歷任天皇的尊奉。數世紀以來，在位天皇和已退位的太上皇出巡石清水八幡宮的盛大參拜活動總計 240 多次。強大的武士家

族源氏同様將八幡神奉為氏神（家族保護神）。在他們的支持與推動下，八幡神社遍佈全國，成為日本數量第二多的神社。

在千餘年「神佛習合」（神道教與佛教相融合）的歷史里程中，八幡神也發展成兼具神道教與佛教特徵的神明，廣受崇拜。19 世紀時兩大宗教因政令開始拆分，自此石清水八幡宮便只將八幡神當作神道教的八幡大神加以供奉。

石清水八幡宮最重要的祭典儀式叫「石清水祭」，於每年 9 月 15 日舉行。這種受皇命所託，由天皇代理人在指定神社祭祀祈福的「敕祭」，有著悠久的歷史。祭典期間神社內供奉的神明被請入三座神輿內，抬到男山腳下。天皇使者會在這裡行禮祭拜，祈求神明庇佑、國泰民安。向民眾開放的慶典活動除了傳統音樂和宮廷舞蹈的表演之外，還有一場放生魚鳥的儀式，放生原本是佛教儀式，由此也反映出石清水八幡宮宗教融合的淵源。

<日本語仮訳>

石清水八幡宮の御祭神と歴史

石清水八幡宮には、日本と皇室の守護神である八幡神が祀られています。八幡神は、日本の伝説的な 15 代天皇である応神天皇が神格化された形態であり、その母である神功皇后と、海に関連する 3 人の女神である比咩大神を一体とし、八幡神として祀っています。

八幡神は、859 年に僧侶の行教によって九州の宇佐神宮から男山に遷座され、860 年には新しく建てられた社殿に正式に祀られました。八幡神は皇室の祖先神であるとされ、厚い崇敬を受けていた石清水八幡宮への天皇と上皇による御幸は、何世紀にもわたって 240 回以上行われました。権勢を誇った武家の源氏も八幡神を氏神として崇めていました。彼らの庇護を受けて八幡神の神社は全国に広がり、日本で 2 番目に多い神社となりました。

何世紀にもわたって、神道と仏教は神仏習合の形で信仰され、その間、八幡神は神道と仏教の両方の側面を持つ神として広く信仰されていました。19 世紀に政府の命により二つの宗教が分離され、それ以来、石清水八幡宮では八幡神を神道の神である八幡大神として祀っています。

石清水八幡宮の最も重要な例祭は、毎年 9 月 15 日に開催される石清水祭です。この神事は、勅命により開催され、天皇の代理人が指定された神社でお供え物と祈りを捧げる祭事である勅祭として、長い歴史を持っています。この例祭の間、神々は 3 つの神輿に移されて男山のふもとに運ばれ、そこで天皇の使者が平和と国の安泰のために祈祷を行います。この公的な祭事として、伝統的な舞楽が披露され、石清水八幡宮がもつ神仏習合のルーツを反映した仏教の儀式を基にした、囚われた鳥や魚を解放する放生行事も行われます。

【タイトル】 本社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

本社

石清水八幡宮本社（神社内の主要建筑群）是全日本最大、最古老的“八幡造”神社建筑典范，其历史可以追溯到1634年，那年德川幕府第三代将军德川家光(1604-1651)完成了对本社的全面整修改建。本社内许多建筑都被指定为国宝。

楼门是本社前的两层建筑，参拜者在此参拜祈福。楼门连通环绕主体建筑的檐廊，进门后便是拜殿，神官们在此举办宗教仪式，拜殿又与神社本殿（正殿）相连。社内各处总计饰有不下150处色彩绚丽的木刻，题材涵盖动物、植物及神话生物。

本殿更是典型的八幡造风格。侧面看去，仿佛两座独立建筑，其实只是在同一座建筑上加盖了两个屋顶。殿内又分内、外两殿，各有三个房间，每间供奉一尊神明。两个屋顶之间架有一个金色雨水槽，为著名武将织田信长(1534-1582)捐赠。

<繁体字>

本社

石清水八幡宮本社（神社內的主要建築群）是日本最大、最古老的「八幡造」神社的建築典範，其歷史可以追溯到1634年，德川幕府第三代將軍德川家光（1604-1651）時代完成的那次重建。本社內許多建築都被指定為國寶。

樓門是本社前的兩層建築，參拜者在此參拜祈福，樓門連通環繞主體建築的簷廊。進門便是拜殿，神官們在此舉行宗教儀式，拜殿又與神社本殿（正殿）相連。社内各處總計飾有不下150處色彩絢麗的木刻，題材涵蓋動物、植物及神話生物。

本殿更是典型的八幡造風格，側面看去仿佛兩座獨立建築，其實只是在同一座建築上加蓋了兩個屋頂。殿內又分內、外兩殿，各有三個房間，每間供奉一尊神明，兩個屋頂之間架有一個金色雨水槽，為著名武將織田信長（1534-1582）捐贈。

<日本語仮訳>

本社

石清水八幡宮の本社（神社内の主要建築群）は、日本最大かつ最古の八幡造りの神社建築です。1634年に徳川三代将軍である徳川家光（1604-1651）の下で再建が完了しました。本社にある多くの建造物が国宝に指定されています。

参拝者は、2階建ての楼門の前で参拝します。本社の正面を飾る楼門は、中の建物を囲むように屋根付きの回廊へと続きます。門の向こうには、神職が儀式を行う拝殿があり、本殿（正殿）につながっています。建物は、植物や動物、神話上の生き物など150点以上の色鮮やかな木彫によって彩られています。

本殿は八幡造りの特徴を有し、横から見ると2つの別々の建物のように見えますが、実際には2つの屋根を持つ1つの建物です。本殿は外殿と内殿に分かれ、いずれの側にも部屋が3つ並んでおり、3神がそれぞれ祀られています。屋根と屋根の間には、戦国武将である織田信長（1534-1582）が寄贈した金色の雨樋が配されています。

【タイトル】 本社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

本社

石清水八幡宮の本社（神社の主要建筑群）是全日本最大、最古老的“八幡造”神社建筑典范，其中 10 栋建筑及建筑附带的 3 枚纪念木牌均已在 2016 年被指定为国宝。此外，还有数十建筑、古籍、神像等被指定为国家重要文化财产。

现存建筑群的历史可以追溯至德川幕府第三代将军德川家光(1604-1651)当政期间，当时，本社经历了大规模的重修改建，工程持续数年之久，直到 1634 年才完工。石清水八幡宮在历史上曾得到许多强大领主的支持，包括“战国三杰”：被视为最初致力统一日本的伟大武将织田信长(1534-1582)捐赠了一条金色雨水槽；信长的继任者丰臣秀吉(1537-1598)捐资以示支持；德川幕府第一代将军德川家康(1543-1616)则免去了神社所在地八幡町的税收。

本社前精美的两层楼门是参拜者日常进行祷告的地方。楼门两侧延伸开去的是一条檐廊，环抱着整个建筑群。穿过楼门便是拜殿，由神官主持的祭祀仪式就在这里举行，拜殿又与本殿（正殿）相连。本社所有建筑均漆作明亮的朱红色，饰有 150 多个以动物、植物及神话生物为题材的彩色木雕。必须关注的是，依照惯例，四方守护神兽的方位应当为南朱雀、北玄武、东青龙、西白虎，在这里却变成了东虎、西龙，与祭祀御祭神的位置刚好相反。据传，这也与德川家光有关：他自己生肖为龙，德川幕府开幕将军德川家康(1543-1616)肖虎，而日本传统以东为上位，西为下位，为表尊重，德川家光才特意做出这样的调整。

本殿带有十分显著的八幡造建筑风格。外表看去，它仿佛是由一条走廊连接起来的两栋独立建筑，其实只是有着两个人字形屋顶的一栋建筑。本殿内部分为外殿和内殿，两殿各有三个并排的房间，每间供奉一尊神明。人们相信，神明们“工作”时在外殿接受参拜者的礼拜、祈祷，休息时则退回内殿。

本社导览游由殿内神官负责，讲解内容详尽，包括神社介绍和本地传说故事。请留意，导览游通常只提供日语讲解。

<繁体字>

本社

石清水八幡宮の本社（神社の主要建築群）は全日本最大、也最古老的「八幡造」神社建築典範，其中 10 棟建築及建築附帶的 3 枚紀念木牌均在 2016 年被指定為國寶。此外，還有數十建築、古籍、神像等都被指定為國家重要文化財產。

現存建築群的歷史可以追溯至德川幕府第三代將軍德川家光（1604-1651）掌權期間，當時本社進行了大規模的重修改建，工程持續數年之久，直到 1634 年才完工。石清水八幡宮在歷史上得到許多強大領主的支持，包括「戰國三傑」：被視為最初致力統一日本的偉大武將織田信長（1534-1582）捐贈了一條金色雨水槽；信長的繼任者豐臣秀吉（1537-1598）捐贈資金；德川幕府第一代將軍德川家康（1543-1616）則免去了神社所在地八幡町稅收。

本社前精美的兩層樓門是參拜者日常進行祈禱的地方，樓門兩側延伸開去的是一條簷廊，環抱整個建築群。穿過樓門便是拜殿，由神官主持的祭祀儀式就在這裡舉行，拜殿又與本殿（正殿）相連。本社所有建築均漆作明亮的朱紅色，飾有超過 150 個以動物、植物及神話生物為題材的彩色木雕。依照慣例，四方守護神獸的方位應當為南朱雀、北玄武、東青龍、西白虎，獨特的是在這裡卻變成了東虎、西龍，與祭祀御祭神的位置剛好相反。據傳這也與德川家光有關：他自己生肖為龍，德川幕府開幕將軍德川家康（1543-1616）肖虎，而日本傳統以東為上位，西為下位，為表尊重，德川家光才特意做出這樣的調整。

本殿帶有十分鮮明的八幡造建築風格，外表看上去仿佛是由一條走廊連接起來的兩棟獨立建築，但實際上是有著兩個人字形屋頂的一棟建築。本殿內部分為外殿和內殿，兩殿各有三間並排的房間，每間供奉一尊神明。人們相信神明們「工作」時在外殿接受參拜者的禮拜、祈禱，休息時則退回內殿。

本社の解説導覽項目由殿内神官提供，解説内容詳盡，包括神社介紹和當地傳說故事，請留意導覽通常只提供日語講解。

<日本語仮訳>

本社

石清水八幡宮の本社（神社の主要建築群）は、日本最大かつ最古の八幡造りの神社建築です。本社にある 10 棟と付随した棟札 3 枚が 2016 年に国宝に指定されており、また建造物、文書群、御神像など国の重要文化財に指定されたものは数十にのぼります。

本社は徳川三代将軍である徳川家光（1604-1651）の時代に長期間かけて大規模な修造が行われ、1634 年に完了しました。石清水八幡宮は、その他にも数多くの有力な大名（たとえば戦国三英傑）からの庇護を受けました。最初の偉大な天下統一者とみなされている織田信長（1534-1582）は、金色の雨樋を寄進し、信長の後継者である豊臣秀吉（1537-1598）は

資金を提供し、初代徳川将軍である徳川家康（1543-1616）は神社のある八幡の町を課税対象から除外しました。

本社の正面を飾る精巧な 2 階建ての楼門は、参拝者が通常、祈りを捧げる場所です。この門は、中の建物を囲む屋根付きの回廊へとつながります。門を過ぎると神職が儀式を行う拝殿があり、この拝殿は本殿（正殿）とつながっています。すべての建物が明るい朱色で塗られており、植物や動物、神話上の生き物など 150 点以上の色鮮やかな木彫によって彩られています。注目すべきなのは、四方を守護する四神（神獣）の配置方位です。通常なら、南に朱雀、東に青龍、西に白虎、北に玄武ですが、ここでは東に虎、西に龍になっており、御祭神を祀る位置と順番と逆になっています。これは徳川家光と深く関わっていると言われていています。家光の生まれ年が辰年で、幕府の初代将軍である徳川家康は虎年です。日本では東が上位で西が下位になっており、家光が家康への尊敬の意を表するため、このような配置にしたと言いつたされています。

本殿は八幡造りの建築様式の特徴を有し、一見すると廊下でつながった 2 つの別々の建物のように見えますが、実際は 2 つの切妻屋根を持つ 1 つの建物です。本殿の中は外殿と内殿に分かれ、いずれの側にも部屋が 3 つ並んでおり、それぞれに神が祀られています。神々は毎日の祈祷の間は外殿に居て、休息のために内殿に下がると信じられています。

本社のガイド付きツアーは神職によって行われており、石清水八幡宮や地元の伝説に関する説明を聞くことができます。ツアーは通常日本語で行われますのでご注意ください。

【タイトル】 摂社と末社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

摄社与末社

石清水八幡宮本社后面有好几座小型神社，其中一些同样已被指定为国家重要文化财产。大型神社境内常会有一些这样的小神社，通常供奉与本社主祭神有关的其他神明，以方便信徒一次完成多项参拜。这些小神社被称为摄社和末社，摄社与本社的关系更加密切。

石清水八幡宮最重要的两处摄社是若宮社和若宮殿社，这是神社土墙边东北角上的一对木构神社，外有格栅围栏。只要在本殿（正殿）参加祭拜仪式，就会得到一件象征性的祈祷衣，称“洁净之衣”（即“净化的祈祷衣”），供人们在做完仪式后写下祈愿，再进奉至若宮社或若宮殿社。男人拜若宮社，这里供奉着仁德天皇，他是坐镇本殿的应神天皇之子。女人拜若宮殿社，供奉仁德天皇的姐妹，即皇室公主们。

<繁体字>

攝社與末社

石清水八幡宮本社後面有好幾間小型神社，其中幾間同樣已被指定為國家重要文化財產，大型神社境內常設有一些小神社，通常供奉與本社主祭神有關的其他神明，方便信徒一次參拜多位神明。這些小神社被稱為攝社和末社，前者與本社的關係更加密切。

石清水八幡宮最重要的兩處攝社是若宮社和若宮殿社，是神社土牆邊東北角上的一對木構小神社，外有格柵圍欄。只要在本殿（正殿）參加祭拜儀式，就會得到一件象徵性的祈禱衣，稱「潔淨之衣」（即「淨化的祈禱衣」），供人們在儀式完成後寫下祈願，再進奉至若宮社或若宮殿社。男人拜若宮社，這裡供奉著仁德天皇，也是坐鎮本殿的應神天皇之子。女人則拜若宮殿社，內供奉仁德天皇的姐妹，即皇室公主們。

<日本語仮訳>

摂社と末社

石清水八幡宮の本社の裏手にはいくつかの小さな神社があり、その一部は国指定重要文化財です。大きな神社は通常、境内にこのような複数の小さな神社を有し、これらは多くの場合、本社

神に何らかの形で関連する神が祀られています。これにより、参拝者は一箇所でも多くのことを祈ることができます。これらの小さな神社は「摂社」と「末社」と呼ばれ、前者は後者より本社とのつながりが深いです。

石清水八幡宮の摂社の中で最も重要な二つの摂社は、土堀の北東の角にある格子柵に囲まれた一対の木造神社である若宮社と若宮殿社です。本殿での神事に参加する人は、「清めの衣」と呼ばれる象徴的な祈願衣を受け取ります。神事後、参加者は清め衣に自分の願いを書き、若宮社または若宮殿社に奉納します。男性は、本殿に祀られている応神天皇の息子である仁徳天皇を祀る若宮社へ参拝します。女性は、仁徳天皇の姉妹である皇女を祀る若宮殿社へ参拝します。

【タイトル】石清水八幡宮の摂社と末社

【想定媒体】WEB

<簡体字>

石清水八幡宮の摂社と末社

石清水八幡宮本社の後面還有好几座小型神社，其中一些已被指定為國家重要文化財產。大型神社境內常會有被稱為“攝社”或“末社”的小神社，通常供奉與本社主祭神有關的其他神明，這樣可便於信徒一次完成多項參拜。

“攝社”與“末社”都是本社の附屬神社，常常合稱“攝末社”。簡單說來，攝社所供奉的神靈通常與本社主祭神淵源深厚，末社供奉的神靈則相對關係疏遠，因此，就與本社の關係而言，前者近於後者。

石清水八幡宮最重要的兩處攝社は若宮社和若宮殿社，這是神社東北角上的一對木構神社，均圍以格柵圍欄。只要在本殿（正殿）參加祭拜儀式，就會收到一件象徵性的祈禱衣，稱“潔淨之衣”（即“淨化的祈禱衣”），供祭拜者在做完儀式後寫下自己的祈願，再把它掛在若宮社或若宮殿社的柵欄上。男性拜若宮社，這裡供奉的是仁德天皇，他是坐鎮本殿的應神天皇之子。女性拜若宮殿社，這裡供奉仁德天皇的姐妹，也就是皇室公主們。

同在本社後的其他末社也各自供奉著不同的神明，分別保佑人際和諧、心想事成、風調雨順、出海平安、五穀豐登、漁獲豐沛、平安出行、身體健康、生意興隆等等。

<繁体字>

石清水八幡宮的攝社與末社

石清水八幡宮本社の後面還有好幾座小型神社，其中一些已被指定為國家重要文化財產。大型神社境內常設有被稱為「攝社」或「末社」的小神社，通常供奉與本社主祭神有關的其他神明，方便信徒一次參拜多位神明。

「攝社」與「末社」都是本社の附屬神社，常常合稱「攝末社」，簡而言之，攝社所供奉的神靈通常與本社主祭神淵源深厚，末社供奉的神靈則相對關係疏遠，因此就與本社の關係而言，攝社近於後者。

石清水八幡宮最重要的兩處攝社は若宮社和若宮殿社，這是神社東北角上的一對木構神社，外有格柵圍欄。只要在本殿（正殿）參加祭拜儀式，就會收到一件象徵性的祈禱衣，稱「潔淨之衣」（即「淨化的祈禱衣」），供祭拜者在儀式完成後寫下自己的祈願，再把

它掛在若宮社或若宮殿社的柵欄上。男性拜若宮社，這裡供奉的是仁德天皇，是坐鎮本殿的應神天皇之子。女性拜若宮殿社，這裡供奉仁德天皇的姐妹，也就是皇室公主們。

同樣位於本社後的其他末社也各自供奉著不同的神明，分別保佑人際和諧、心想事成、風調雨順、出海平安、五穀豐登、漁獲豐沛、平安出行、身體健康、生意興隆等等。

<日本語仮訳>

石清水八幡宮の摂社と末社

石清水八幡宮の本社の裏手には国の重要文化財に指定されているいくつかの小さな社殿があります。大きな神社は通常、境内に複数の「摂社」または「末社」と呼ばれるより小さな神社を有し、それらは多くの場合、本社に祭神に何らかの形で関連する神が祀られています。これより、参拝者は一箇所ですべての事を祈ることができます。

「摂社」も「末社」も、本社に付属する神社で、総称して「摂末社」と呼ばれることが多いです。簡単に言えば、摂社に祀られている神は、通常神社の本尊と深い関係があり、一方末社に祀られている神は比較的遠い存在であるため、前者の方が後者よりも本社との関わりが深いことが窺えます。

石清水八幡宮の摂社の中で最も重要な二つの摂社は、本殿の北東にある一対の木造神社である若宮社と若宮殿社です。本殿で神事に参加する人は、「清めの衣」と呼ばれる象徴的な祈願衣を受け取ります。神事後、参加者はその祈願衣に自分の願いを書き、若宮社または若宮殿社の柵に掛けます。男性は、本殿に祀られている応神天皇の息子である仁德天皇を祀る若宮社へ参拝します。女性は、仁德天皇の姉妹である皇女を祀る若宮殿社へ参拝します。

本社の裏にあるその他の末社には、良縁、必勝、豊かな降雨、航海安全、五穀豊穰、豊漁、交通安全、無病息災、商売繁盛などに関連するさまざまな神々が祀られています。

【タイトル】 石清水八幡宮の石灯笼

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

石清水八幡宮の石灯笼

石清水八幡宮神社共有約 450 個石灯笼，形態各異。為祈福、還願而向神社或寺院進奉石灯笼的習俗由來已久。依照慣例，石灯笼上會刻有日期，有時還有進奉者的姓名、職業，甚至禱文。

這些石灯笼的進奉時間跨越了 13 世紀晚期到 20 世紀早期的漫長區間，但它們異乎尋常地被集中到各主要參道及神社土牆沿線却是近年來的事。其中一些是自 19 世紀晚期以後，從男山各處被陸續遷移過來的。

石清水八幡宮內最古老的石灯笼是「永仁石灯笼」，它是國家指定重要文化財產。上面的石刻銘文「永仁三年，乙未年，三月」，表示它出自永仁年間，於 1295 年進奉。如今，這個石灯笼被安放在神社管理處旁邊的石庭中。這是一座日式枯山水庭園，為園林大師重森三玲(1896-1975)於 1952 年建造，其中，白沙代表海洋，永仁石灯笼與園內各處的岩石代表島嶼。

<繁体字>

石清水八幡宮の石燈籠

石清水八幡宮神社共有約 450 個石燈籠，且形態各異。為祈福、還願而向神社或寺院進奉石燈籠的習俗由來已久。依照慣例，石燈籠上會刻有日期，有時還有進奉者的姓名、職業，甚至禱文。

這些石燈籠的進奉時間跨越了 13 世紀晚期到 20 世紀早期的漫長歲月，但近年來，石燈籠卻突然集中出現在各主要參道神社土牆沿線，其中一些是自 19 世紀晚期開始，從男山各處被陸續遷移過來。

石清水八幡宮內最古老的石燈籠是「永仁石燈籠」，也是國家指定重要文化財產。上面的石刻銘文「永仁三年，乙未年，三月」，表示出自永仁年間，於 1295 年進奉。如今，這個石燈籠被安放在了神社管理處旁的石庭中，這座日式枯山水庭院為園林大師重森三玲(1896-1975)於 1952 年建造，其中白沙代表海洋，永仁石燈籠與園內各處的岩石則代表島嶼。

<日本語仮訳>

石清水八幡宮の石灯籠

石清水八幡宮の境内には、さまざまなデザインの石灯籠が約 450 基あります。社寺に灯籠を寄進してご利益を祈ったり、願いが叶ったことへの感謝を示したりすることは、伝統的に行われています。灯籠には通常、日付が刻まれており、寄進者の名前、事業、または祈りが記されていることもあります。

石灯籠は 13 世紀末期から 20 世紀初頭に寄進されましたが、主な参道や神社の土堀に沿って異常なほど置かれたのは近年のことです。19 世紀末期以降、男山の他の場所からここに運ばれたものもあります。

石清水八幡宮で最も古い灯籠は、国指定重要文化財に指定されている永仁の石灯籠です。この灯籠には「永仁三年乙未三月」と刻銘があり、永仁時代の 1295 年に寄贈されたことを意味します。灯籠は現在、社務所の隣にある石庭に置かれています。この伝統的な枯山水庭園は、1952 年に有名な作庭家の重森三玲（1896-1975）によって作られました。白い砂は海を表しており、永仁の石灯籠と庭の各所に配置された石は島を表しています。

【タイトル】五輪塔（航海記念塔）

【想定媒体】看板

<簡体字>

五轮塔（航海記念塔）

该塔建于镰仓时代(1185-1333)，是一座五轮形制的石头宝塔。塔高 6 米，基座宽 2.4 米，属于日本同类宝塔中最大级别。它是国家指定重要文化财产。

五轮塔属于佛塔的一种，于平安时代(794-1185)中期传入日本，多以石材建造。塔有五形，从下到上依次象征传说中构成宇宙的五大元素：地、水、火、风、空。较小的五轮宝塔多被用作墓碑和纪念塔，常见于佛寺和墓地。

与大多数五轮塔不同，这一座上没有铭文，我们无从得知它为何而建。流传最广的说法是：1175 年前后，一名商人自中国返程，在海上遭遇大风暴，性命攸关之际，他开始向八幡神祈祷，结果奇迹般地顺利抵岸。为感谢神明庇佑，商人便修建了这座石塔，因此，它有时也被称为“航海纪念塔”。

<繁体字>

五輪塔（航海紀念塔）

這座塔建於鎌倉時代（1185-1333），是一座五層石頭寶塔，塔高 6 公尺，基座寬 2.4 公尺，屬於日本同類寶塔中最大級別，也是一處國家指定重要文化財產。

五輪塔屬於佛塔的一種，於平安時代（794-1185）中期傳入日本，多以石材建造。塔有五形，從下到上依次是傳說構成宇宙的五大元素的象徵：地、水、火、風、空。較小的五輪寶塔多被用作墓碑和紀念塔，常見於佛寺和墓地。

與大多數五輪塔不同，這座塔上沒有銘文，我們無法得知它為何而建。流傳最廣的說法是：1175 年前後，一名商人自中國返程，在海上遭遇大風暴，性命攸關之際，他開始向八幡神祈禱，結果竟奇跡般順利抵岸。石塔便是這位商人為感謝神明庇佑而建，因此它有時也被稱為「航海紀念塔」。

<日本語仮訳>

五輪塔（航海記念塔）

この五輪塔は、鎌倉時代（1185-1333）に建てられた 5 段の石塔です。高さ 6 メートル、最下段の横幅は 2.4 メートルで、五輪塔の中では日本最大級の大きさです。この塔は国の重要文化財に指定されています。

五輪塔とは仏塔の一種であり、平安時代（794-1185）中期に日本に伝来したものです。ほとんどは石造りで、その形は宇宙を構成するとされる 5 大要素を象徴しています。下段から上段に向かって、地、水、火、風、空を表しています。仏教寺院や墓地では、この塔の小ぶりなものが墓標や記念塔としてよく使われます。

いわゆる五輪塔とは異なり、この五輪塔は刻銘がないため、制作の意図や目的は分かっていません。一般的な説によると、1175 年頃、ある商人が中国から帰国する途中、海上で激しい嵐に巻き込まれ、命の危険を感じた彼は、八幡神に祈り、奇跡的に岸までたどり着くことができたといいます。彼は祈りに応えてくれた神に感謝して、この石塔を建立しました。この説話にもとづき、この塔は「航海記念塔」とも呼ばれています。

【タイトル】五輪塔（航海記念塔）

【想定媒体】WEB

<簡体字>

五轮塔（航海記念塔）

距离石清水八幡宮神社不远的男山脚下矗立着一座高大的五轮式石头宝塔，名字就叫“五轮塔”。这座宝塔高达6米，是日本同类宝塔中最大的一座，也是国家重要文化财产。

五轮塔是佛塔样式中的一种，在平安时代(794-1185)中期被引入日本。它们大多为石头建造，以五种形状象征佛教密宗所认为的五大宇宙构成元素，从底部到顶部的顺序为立方体、球形、三角锥体、半月形和宝珠形，依次代表地、水、火、风、空。较小的五轮宝塔常被用作墓碑和纪念塔，在佛寺和墓地中很常见。

男山的这座五轮塔建于镰仓年间(1185-1333)。和绝大多数五轮塔不同，这一座塔上没有任何铭文，因此我们也无从得知它是为何而建。有关它来历的传说很多，其中流传最广的是：大约1175年前后，一名往来宋朝做生意的尼崎商人在一次自中国返回日本的途中，在海上遭遇大风暴，性命攸关之际，他向八幡神祈求庇护，最终奇迹般地脱险，顺利抵岸。于是，商人建造了这尊巨大的佛塔，以感谢神明的回应与庇佑，因此这座宝塔有时也被称为“航海記念塔”。其他说法则包括：它是石清水八幡宮的创建者行教和尚的坟墓；它是祭奠武士之灵的纪念碑；它是供服丧期满者拜祭故去家人的地方。

<繁体字>

五輪塔（航海紀念塔）

距離石清水八幡宮神社不遠的男山山腳下矗立著一座高大的五層式石頭寶塔，名字就叫「五輪塔」，寶塔高達6公尺，是日本同類寶塔中最大的一座，也是國家重要文化財產。

五輪塔是佛塔樣式中的一種，在平安時代（794-1185）中期被引入日本，大多為石頭建造，以五種形狀象徵佛教密宗所認為的五大宇宙構成元素，從底到頂層順序為立方體、球形、三角錐體、半月形和寶珠形，依次代表地、水、火、風、空。較小的五輪寶塔常被用作墓碑和紀念塔，常見於佛寺和墓地中。

男山腳下的這座五輪塔建於鎌倉年間（1185-1333），和大部分五輪塔不同，塔身沒有任何銘文，因此我們也無從得知是為何而建。有關這座五輪塔來歷眾說紛紜，其中流傳最廣的是：大約1175年前後，一名往來宋朝做生意的尼崎商人從中國返回日本途中，在海

上遭遇大風暴，性命攸關之際他向八幡神祈求庇護，最終奇跡般地脫險，順利抵岸。於是，商人建造了這尊巨大的佛塔，感恩神明的回應與庇佑，因此這座寶塔有時也被稱為「航海紀念塔」。其他說法則包括：五輪塔是石清水八幡宮的創建者行教和尚的墳墓；是祭奠武士之靈的紀念碑；是供服喪期滿者祭拜已故家人的地方。

< 日本語仮訳 >

五輪塔（航海記念塔）

五輪塔と呼ばれる大きな5段の石塔が、石清水八幡宮からそう遠くない男山山麓に建っています。高さは6メートルで、日本最大級の大きさです。この塔は国指定重要文化財となっています。

五輪塔は仏塔の一種であり、平安時代（794-1185）中期に日本に伝来しました。ほとんどは石造りで、5つの形は仏教の密教において宇宙を構成するとされる5大要素を象徴しています。下から上に、立方体、球、ピラミッド、半球、そして宝石の形となっており、それぞれ地、水、火、風、空を表しています。仏教寺院や墓地では、この塔の小ぶりなものが墓標や記念塔としてよく使われます。

この五輪塔は鎌倉時代（1185-1333）に建てられました。いわゆる五輪塔とは異なりこの五輪塔は刻銘がないため、制作の意図や目的は分かっていません。一般的な説によると、1175年頃、宋と貿易をしていた尼崎の商人が中国から帰国する途中、海上で激しい嵐に巻き込まれ、命の危険を感じた彼は、八幡神に祈り、奇跡的に岸までたどり着くことができましたといいます。彼は祈りに応えてくれた神に感謝して、この石塔を建立しました。この説話にもとづき、この塔は「航海記念塔」とも呼ばれています。その他にも複数の伝説があり、石清水八幡宮の創始者である行教の墓であるとか、武士の霊を慰めるためのものであるとか、亡くなった家族の忌明けの際の参拝場所としての役割を果たしている、ともいわれています。

【タイトル】 石清水社と石清水井

【想定媒体】 看板

<簡体字>

石清水社与石清水井

石清水社は石清水八幡宮神社の一個「攝社」（供奉與本社主祭神有關的其他神明的小神社），兩者名字都來源於神社內一處名叫「石清水」（山岩間流出的清淨之水）的山泉。據傳，無論極寒之冬還是大旱之年，這處泉水從不斷絕，因此，男山及附近地區的居民都視之為聖泉。依照神社慣例，前來參拜的天皇和將軍都要取泉水供奉石清水八幡宮本殿的神明。時至今日，人們依然以這處泉水供神。

石清水社現存建築的歷史可追溯至 17 世紀早期，保護聖泉的井壁上飾有波紋及神話生物圖案，1636 年進獻的石頭鳥居是男山現存最古老的鳥居。神社建築、水井和鳥居同為京都府指定文化財產。

石清水社供奉的是天之御中主神，傳說他能滿足人們最迫切的心願。

<繁体字>

石清水社與石清水井

石清水社は石清水八幡宮神社の一個「攝社」（供奉與本社主祭神有關的其他神明的小神社），名字均來源於神社內一處名叫「石清水」（山岩間流出的清淨之水）的山泉。據傳無論是極寒之冬還是大旱之年，這處泉水從未斷絕。因此，男山和附近地區的居民視其為聖泉。依照神社慣例，前來參拜的天皇和將軍都是來此取泉水，以供奉石清水八幡宮本殿的神明，時至今日人們依然以這處泉水供神。

石清水社現存建築的歷史可追溯至 17 世紀早期，保護聖泉的井壁上飾有波紋及神話生物的圖案，進獻於 1636 年的石頭鳥居是男山現存最古老的鳥居。神社建築、水井和鳥居同為京都府指定文化財產。

石清水社供奉的是天之御中主神，祂能滿足人們最迫切的心願。

<日本語仮訳>

石清水社と石清水井

石清水社は石清水八幡宮の摂社であり、どちらの神社も、石清水と呼ばれる、境内に湧き出る山の泉にちなんで名付けられました。この泉は寒い冬や厳しい干ばつの際も頼りになる水源として役立っていたため、男山とその周辺地域の住民はこの泉を神聖視していたと言われています。神社の伝承によれば、ここを訪れる天皇や将軍は、この泉から汲んだ湧き水を石清水八幡宮の本社の神々に献供するのを慣習としており、今でもこの水は献供に使われています。

現存する石清水社の建造物は 17 世紀初頭に建てられました。この神聖な泉を含む井戸には、波の絵や神話上の生き物の絵が描かれています。1636 年に寄進された石造りの鳥居は、今なお男山に立っている鳥居の中で最古のものです。石清水社の社殿、井戸、そして鳥居は、京都府の文化財に指定されています。

石清水社に祀られている神様は、人々の最も大切な願いを叶えてくれると言われている、天之御中主です。

【タイトル】 石清水社と石清水井

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

石清水社与石清水井

石清水社は石清水八幡宮神社の一個「攝社」（供奉與本社主祭神有關的其他神明的小神社），位於男山東坡一條通往本社的小徑邊。兩個神社的名字都來源於神社內一處名叫「石清水」（意為「山岩間流出的清淨之水」）的山泉。據傳，這處泉水寒冬不凍，大旱不涸，從未斷絕，因此，男山及周邊一帶的居民都視其為聖泉。依照神社慣例，前來參拜的天皇和將軍都要汲取泉水供奉石清水八幡宮本殿的神明。這一傳統延續到今天，人們依然以這處泉水供神。

石清水社現存建築的歷史可追溯至 17 世紀早期，保護聖泉的井壁上飾有波浪圖紋及神話生物的圖案，1636 年進獻的石頭鳥居是男山現存最古老的鳥居。神社建築、水井和鳥居同為京都府指定文化財產。

石清水社供奉的是天之御中主神，傳說他能滿足人們最迫切的心願。

<繁体字>

石清水社與石清水井

石清水社は石清水八幡宮神社の一個「攝社」（供奉與本社主祭神有關的其他神明的小神社），坐落在男山東坡一條通往本社的小徑旁。名字均來源於神社內一處名叫「石清水」（意為「山岩間流出的清淨之水」）的山泉。據傳這處泉水寒冬不凍、大旱不涸、從不斷絕。因此，男山和周邊一帶的居民都視其為聖泉。依照神社慣例，前來參拜的天皇和將軍都是來此取泉水，以供奉石清水八幡宮本殿的神明，這一傳統延續到今天，人們依然以這處泉水供神。

石清水社現存建築的歷史可追溯至 17 世紀早期，保護聖泉的井壁上飾有波浪圖紋及神話生物的圖案，1636 年進獻的石頭鳥居是男山現存最古老的鳥居。神社建築、水井和鳥居同為京都府指定文化財產。

石清水社供奉的是天之御中主神，傳說祂能滿足人們最迫切的心願。

<日本語仮訳>

石清水社と石清水井

石清水社は石清水八幡宮の摂社であり、本社に通じる男山の東斜面の道沿いにあります。どちらの神社も、石清水と呼ばれる、境内に湧き出る山の泉にちなんで名付けられました。この泉は、寒い冬や厳しい干ばつの際にも頼りになる水源として役立っていたため、男山とその周辺地域の住民は、この泉を神聖視していたと言われています。神社の伝承によれば、ここを訪れる天皇や将軍は、この泉から汲んだ湧き水を石清水八幡宮の本殿の神々に献供するのを慣習としており、今でもこの水は献供に使われています。

現存する石清水社の建造物は 17 世紀初頭に建てられました。この神聖な泉を含む井戸には、波の絵や想像上の生き物の絵が色とりどりに描かれています。1636 年に寄進された石造りの鳥居は、いまなお男山に立っている鳥居の中で最古のもです。石清水社の社殿、井戸、そして鳥居は、京都府の文化財に指定されています。

石清水社に祀られている神様は、人々の最も大切な願いを叶えてくれると言われている、天之御中主です。

【タイトル】 エジソン記念碑

【想定媒体】 看板

<簡体字>

爱迪生纪念碑

这座纪念碑是为纪念爱迪生及其丰功伟绩而建。托马斯·爱迪生(1847-1931)是美国著名发明家、革新者与实业家，他的许多发明成果对现代生活影响巨大。相传白炽灯泡的诞生与八幡市大有渊源。

1878年，爱迪生正致力于电子照明系统的研究，需要制造出一种可长时间持续照明的灯泡，而解决问题的关键在于找到合适的灯丝材质。尝试过无数材料后，他将目光锁定在了竹子上。随后，他的助手被派往世界各地搜寻竹子样本，其中也包括了京都。优质的竹子果然令他造出了可持续使用1000小时以上的灯丝，为白炽灯的应用普及做出了重大贡献。据传，爱迪生选用的就是产自石清水八幡宫神社附近山谷里的竹子，这里的竹子因品质优越而全国闻名。

神社的第一座爱迪生纪念碑建于1934年，1958年迁到现址，1984年改建。

<繁体字>

愛迪生紀念碑

這座紀念碑是為紀念愛迪生及其豐功偉績而建的，湯瑪斯·愛迪生（1847-1931），美國著名發明家、革新者與實業家，擁有眾多重要的發明，對現代生活影響巨大。相傳，白熾燈泡的誕生與八幡市大有淵源。

1878年，愛迪生正埋頭於電子照明系統的研究，需製造出一種可長時間持續照明的燈泡，而其關鍵就是燈絲的材質。嘗試過無數材料後，他將目光鎖定在竹子上。隨後，他的助手被派往世界各地搜尋竹子樣本，其中也包括京都。果不其然，優質的竹子加工出可持續使用1000小時以上的燈絲，為白熾燈的應用和普及作出了重大貢獻。據說，愛迪生選用的就是產自石清水八幡宮神社附近山谷裡的竹子，這裡的竹子因高品質而全國聞名。

神社的第一座愛迪生紀念碑建於1934年，1958年遷到現址，於1984年改建。

<日本語仮訳>

エジソン記念碑

この記念碑はエジソンとその業績をたたえて建てられたものです。トーマス・アルバ・エジソン（1847-1931）は、米国の多作な発明家、革新者、実業家です。彼は、現代の生活に大きな影響を与えた多くの発明品を開発および改良しました。エジソンの白熱電球に関する研究は八幡と深い関わりがあるとされています。

エジソンが1878年に電灯の開発に取り組んでいた際、長持ちする信頼性の高い電球を作る必要に迫られていました。問題は、フィラメントに適した素材を見つけることでした。何千もの素材を試した末に、竹が最も有望であるという結論に至ったエジソンは、京都を含め世界中に助手たちを派遣し、竹の標本を集めました。この高品質の竹の標本から、1000時間以上燃焼する耐久性に優れたフィラメントが生まれ、この発見は白熱電球の普及に大きく貢献しました。エジソンがフィラメントとして使用していたのは、質が高いことで全国的に有名だった石清水八幡宮の近くの林の竹だったと言われています。

神社の最初のエジソン記念碑は、1934年に建立されました。1958年に現在の場所に移転され、1984年にデザインを一新し再建されました。

【タイトル】 エジソン記念碑

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**爱迪生纪念碑**

托马斯·阿尔瓦·爱迪生(1847-1931)，著名的美国发明家、革新者与实业家，成果极丰。留声机、第一代摄影机、白炽灯泡……经他发明或改良的许多东西对现代生活都有着不容忽视的影响。传说其中白炽灯泡的研究就与八幡市有着密不可分的关系。1934年，人们在男山上的石清水八幡宫神社内修建起一座纪念碑，用以纪念爱迪生及其成就。1958年，纪念碑原样迁移到如今的地点，1984年对其进行了重新设计和改建。

1878年，爱迪生正致力于研究电子照明系统，计划制造一种可长时间持续照明的灯泡，而关键是必须找到合适的灯丝材料。他尝试过无数种材料，从金属到棉线，甚至胡须，最终判断：竹丝可能是最有希望的。于是，他的助手被派往世界各地搜寻竹子样本，其中也包括了京都。果然，质量上乘的竹子造出了能够持续使用1000小时以上的耐用的灯丝。这项发现为白炽灯的应用普及做出了重大贡献。人们相信，爱迪生最终选用的就是产自石清水八幡宫神社附近林中的竹子，这里的竹子向来以品质优越闻名全日本。

每逢这位大发明家的生日和忌日，石清水八幡宫都会举办纪念活动，一年两度，分别在2月11日当天和10月18日前后。此外，神社内还有纪念爱迪生的木制绘马（日本神社或寺院中许愿用的小牌子，通常为木制，并绘有图案），他在八幡市的地位与声望由此可见一斑。

<繁体字>**愛迪生紀念碑**

湯瑪斯·阿爾瓦·愛迪生（1847-1931），著名的美國發明家、革新者和實業家，成果極豐。留聲機、第一代攝影機、白熾燈泡……經他發明或改良的許多東西對於現代生活來說都有著不容忽視的影響。傳說其中白熾燈泡的研究就與八幡市有著密不可分的關係。1934年，人們在男山上的石清水八幡宮神社內修建起一座紀念碑，用以紀念愛迪生及其成就。1958年，紀念碑原樣遷移到現址，並於1984年完成了重新設計和改建。

1878年，愛迪生正埋首於研究電子照明系統，試圖製造出一種可長時間持續照明的燈泡，其中的關鍵點在於找到合適的燈絲材料。他嘗試過無數種材料，從金屬到棉線，甚至

鬚鬚，最終判斷：竹絲可能是最有希望的。於是，他派遣助手前往世界各地搜尋竹子樣本，其中也包含京都。果不其然，品質上乘的竹子能加工出可持續使用 1000 小時以上的耐用燈絲，這個發現為白熾燈的應用和普及做出了重大貢獻。人們相信愛迪生最終選用的就是產自石清水八幡宮神社附近林中的竹子，這裡的竹子向來以品質優越聞名全日本。

每逢這位大發明家的生日和忌日，石清水八幡宮都會舉辦紀念活動，一年兩度分別在 2 月 11 日當天和 10 月 18 日前後。此外，神社內還有紀念愛迪生的木製繪馬（日本神社或寺院中許願用的小牌子，通常為木製並繪有圖案），他在八幡市的地位和聲望由此可見一斑。

<日本語仮訳>

エジソン記念碑

トーマス・アルバ・エジソン（1847-1931）は、米国の多作な発明家、革新者、実業家です。彼は、蓄音機、初期の映写機、白熱電球など、現代の生活に大きな影響を与えた多くの発明品を開発および改良しました。エジソンの白熱電球に関する研究は八幡と深い関わりがあるとされており、1934 年にエジソンとその業績をたたえて、男山の石清水八幡宮境内に記念碑が建てられました。この記念碑は 1958 年に現在の場所に移設され、1984 年にデザインを一新し再建されました。

エジソンが 1878 年に電灯の開発に重点的に取り組んでいた際、長持ちする信頼性の高い電球を作る必要に迫られていました。問題は、フィラメントに適した材料を見つけることでした。彼は、金属から綿糸、さらにはあごひげまで、何千もの素材を試し、竹が最も有望であるという結論に至りました。彼は京都を含め世界中に助手たちを派遣し、竹の標本を集めました。その旅で集められた高品質の竹の標本から、1000 時間以上燃焼する耐久性に優れたフィラメントが生まれ、そしてこの発見は白熱電球の普及に大きく貢献しました。エジソンがフィラメントとして使用していたのは、質が高いことで全国的に有名だった石清水八幡宮の近くの林の竹だったと言われています。

エジソンの誕生と没後を記念して、石清水八幡宮は毎年 2 月 11 日と、10 月 18 日前後に 2 つの祭りを開催しています。またこの神社には、エジソンの八幡における重要性和知名度を反映した、エジソンを記念した絵馬（日本の社寺に祈願の目的で奉納する絵が描かれた木製の板）もあります。

【タイトル】 松花堂庭園と美術館

【想定媒体】 看板

<簡体字>

松花堂庭园与美术馆

松花堂庭园不仅风景如画，还以传统茶室、与茶文化（茶道）相关的历史性设施和一座美术馆闻名。园内种有 40 多种竹子，约 300 棵山茶花树、枫树和其他植物，所以这个 22,000 平方米的庭园四季皆景色宜人。

园名取自松花堂昭乘(1584-1639)，他是一名在石清水八幡宫内落发出家的僧人，更是茶道大师、艺术家、当时的三大书法家之一。他隐居的草庵和寺院客殿如今就在庭园内庭，内庭已被指定为国家名胜。

为保护古迹及文化遗产，八幡市在 1977 年修建了这座庭园。外庭的三个仿古茶室展现了日本茶室建筑演变的不同阶段，这里会定期举办茶会和文化活动。

美术馆常展聚焦松花堂昭乘的生平与艺术成就，此外，全年都有关于石清水八幡宫及八幡市历史文化的各种主题展。

<繁体字>

松花堂庭園與美術館

松花堂庭園不僅風景如畫，還以傳統茶室、與茶文化（茶道）相關的歷史性設施和美術館聞名。園內種有 40 多種竹子，約 300 棵山茶花樹、楓樹和各式植物，所以這個 22,000 平方公尺的庭園四季皆景色宜人。

園名取自松花堂昭乘（1584-1639），他是在石清水八幡宮內落髮出家的僧人，更是茶道大師、藝術家、當時的三大書法家之一。其隱居的草庵和寺院客殿，如今就在庭園內庭，內庭已被指定為國家名勝。

為保護古跡及文化遺產，八幡市在 1977 年修建了這座庭園。外庭的三個仿古茶室展現了日本茶室建築不同階段的演變，這裡定期舉辦茶會和文化活動。

美術館常展聚焦松花堂昭乘的生平與藝術成就，此外全年都有關於石清水八幡宮及八幡市歷史文化的各種主題展。

<日本語仮訳>

松花堂庭園と美術館

松花堂庭園には、絵のように美しい景観、伝統的な茶室と茶道（茶の湯）に関連するその他の歴史的な建物、そして美術館があります。40 種以上の竹、約 300 本の椿、モミジ、そしてその他の多くの植物が 22,000 平方メートルの敷地内に茂っているこの広々とした庭園は、四季折々の景観を堪能することができます。

庭園の名前は松花堂昭乗（1584-1639）という、石清水八幡宮境内に住んでいた僧侶に由来しています。彼は優れた茶人、芸術家で、当時の三大書家の一人に数えられていました。彼の隠居の草庵と客殿がある内園は、国の名勝に指定されています。

これらの建物を保存し八幡の文化遺産を保護することを目的に、1977 年に八幡市は松花堂庭園を設立しました。外園には茶室建築の変遷が分かる 3 つの伝統的な茶室が再現され、茶会や文化イベントの開催に定期的に利用されています。

松花堂美術館の常設展では、松花堂昭乗の生涯と作品に焦点を当てています。その他にも、石清水八幡宮と八幡市の歴史・文化に関する作品を展示するさまざまな展覧会を、年間を通して開催しています。

【タイトル】 松花堂庭園と美術館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

松花堂庭園和美術館

松花堂庭園占地 22000 余平方米，以如畫的景致、傳統茶室、與茶文化（茶道）相關的历史性設施和一座美術館而聞名。偌大的庭園裡種有 40 多種竹子，以及約 300 棵的山茶花、櫻花樹、楓樹、綉球花和其他各種植物，一年四季皆有景可賞。行走在蜿蜒曲折的小徑上，來訪者可以欣賞到不同時期的茶室建築典範，還可投喂庭園池塘裡的五彩錦鯉，當然，也可以只是享受這裡靜謐的氛圍。

園名取自松花堂昭乘(1584-1639)，他是佛教僧侶、茶道大師、藝術家，也是當時世所公認的三大書法家之一。昭乘居住在石清水八幡宮內，神道教與佛教交融合一的石清水八幡宮曾是八幡地區的宗教與文化中心。而他後來隱居的草庵和寺院客殿如今就安置在松花堂庭園的內庭裡，來訪者可在此暢想這位大師的晚年生涯。蔥郁繁茂的內庭如今已被指定為國家名勝，庭內還有一座古墳塋。

八幡市於 1977 年修建松花堂庭園，旨在保護並推廣八幡市的文化遺產。除草庵和寺院客殿之外，建造者還在外庭修建了三個傳統茶室，代表了日本茶室建築的不同演變階段。三個茶室以同樣常常出現在日本詩畫中的松竹梅（中國稱“歲寒三友”）為名，分別稱為：松隱、竹隱、梅隱。茶室常年定期舉辦茶會及其它文化活動。

松花堂美術館位於庭院正門右側，內設常展，主要展示松花堂昭乘的生平與藝術成就。此外全年皆有特別主題展，多為石清水八幡宮及八幡市历史文化相關展覽。美術館隔壁是著名的日本料理店——京都吉兆松花堂店，店內所售“松花堂便當”也與松花堂昭乘大有淵源。

此外，美術館別館、美術館一樓講習室及松竹梅三處茶室均可出租，且可供拍攝使用，但需要提前申請。

<繁体字>

松花堂庭園和美術館

松花堂庭園占地 22,000 餘平方公尺，以如畫的景致、傳統茶室、與茶文化（茶道）相關的歷史性設施和美術館而聞名。偌大的庭園裡種有 40 多種竹子，以及約 300 棵的山茶

花、櫻花樹、楓樹、繡球花和其他品種的植物，一年四季皆有景可賞。行走在蜿蜒曲折的小徑上，訪客可以欣賞到不同時期的經典茶室建築，還可投餵庭園池塘裡的五彩錦鯉；當然，也可以只是享受這裡靜謐的氛圍。

園名取自松花堂昭乘（1584-1639），他是佛教僧侶、茶道大師、藝術家，也是當時公認的三大書法家之一。松花堂昭乘居住在石清水八幡宮內，神道教與佛教交融合一的八幡宮曾是八幡地區的宗教與文化中心。而他後來隱居的草庵和寺院客殿，如今就安置在松花堂庭園的內庭裡，供訪客回顧這位大師的晚年生涯。蔥郁繁茂的內庭如今已被指定為國家名勝，庭內還另有一座古墳塋。

為了保護八幡市的文化遺產並加以推廣，八幡市於1977年修建了松花堂庭園。除草庵和寺院客殿之外，建造者還在外庭修建了三個傳統茶室，代表著日本茶室建築在不同階段的演變。三間茶室以同樣常常出現在日本詩畫中的松竹梅（在中國稱「歲寒三友」）命名，分別稱為：松隱、竹隱、梅隱。茶室常年定期舉辦茶會及其他文化活動。

松花堂美術館位於庭院正門右側，內有常設展，主要展示松花堂昭乘的生平與藝術成就。全年也有特展，多為石清水八幡宮及八幡市歷史文化相關展覽。美術館旁是著名的日本料理店——京都吉兆松花堂店，店內所售「松花堂便當」也與松花堂昭乘大有淵源。

此外，美術館別館、美術館一樓講習室和松竹梅三處茶室均可出租，也供拍攝使用，但需要提前申請。

<日本語仮訳>

松花堂庭園と美術館

22,000 平方メートルを超える面積を誇る松花堂庭園には、絵のように美しい景観、伝統的な茶室と茶道（茶の湯）に関連する歴史的な建物、そして美術館があります。この広い庭園には、40 種以上の竹、約 300 本の椿、桜、モミジ、アジサイ、その他多種多様な植物が生い茂っており、四季折々の景観を堪能できます。ゆったりと蛇行する小道を歩きながら、数種類の茶室建築を眺めたり、庭園の池の色とりどりの鯉に餌をやったり、静かな雰囲気を楽しんだりすることもできます。

この庭園の名前は、優れた茶人、芸術家でもあり、当時の三大書家の一人に数えられていた僧侶の松花堂昭乘（1584-1639）に由来しています。昭乘は、かつて神道と仏教を融合して信仰し、八幡エリアの宗教と文化の中心地でもあった、石清水八幡宮の境内に住んでいました。彼が隠棲していた草庵と寺にあった客殿は現在松花堂庭園の内園に保存されており、昭乘の晩年の暮らしを想像させてくれます。緑豊かな内園には古墳もあり、国の名勝に指定されています。

八幡市は、八幡の文化遺産の保存と振興を図るために、1977年に松花堂庭園を設立しました。草庵と客殿に加えて、茶室建築の変遷が分かる伝統的な茶室の3つが、外園に再現されています。茶室は、松、竹、梅（中国では「歳寒三友」ともいう）という、日本の芸術や詩によく登場する3つの

植物の一つにちなんで、それぞれ「松隠」、「竹隠」、「梅隠」と名づけられています。これらの茶室は、茶会やその他の文化イベントの開催にも定期的に利用されています。

松花堂美術館は、松花堂庭園の正面入口の右側にあります。美術館では、松花堂昭乗の生涯と作品に焦点を当てた常設展を開催しており、また、年間を通じて、石清水八幡宮と八幡市の歴史・文化に関する作品を展示する企画展を開催しています。美術館の隣には、京都吉兆松花堂店という有名な日本料亭があり、松花堂昭乗に影響を受けた「松花堂弁当」を提供しています。

また、美術館別館、3つの茶室、および美術館棟1階の講習室は、貸館として利用でき、かつ撮影可能になっています。ただし、事前に申請が必要です。

【タイトル】 名勝庭園と松花堂昭乗

【想定媒体】 看板

<簡体字>

名胜庭园与松花堂昭乘

松花堂庭园内庭是国家指定名胜，葱茏景致中巧妙融入了松花堂昭乘退隐后居住的草庵、佛寺客殿和一座可追溯至公元4至5世纪的东车冢古坟。其中，草庵和客殿原址在石清水八幡宫内，因19世纪下半叶“神佛分离令”而几经搬迁，最后才落户这里。草庵、草庵茶庭（露天）及其石清水八幡宫内旧址如今都被指定为国家史迹。

松花堂昭乘(1584-1639)是一名僧人，也是著名的茶道大师、艺术家和当时的三大书法名家之一。松花堂是他晚年的雅号，取自草庵的名字，表示“热爱松之花的僧人之家”。昭乘在55岁左右卸去泷本坊住持之职，移居泉坊，于1637年修建松花堂草庵，既为居所，也是茶室，当年他常在这里举办小型茶会和清谈会。

<繁体字>

名勝庭院與松花堂昭乘

松花堂庭園內庭是國家指定名勝，草木蔥蘢的景致中，坐落著松花堂昭乘退隱後居住的草庵、佛寺客殿，以及可追溯至西元4—5世紀的東車塚古墳。其中，草庵和客殿原址在石清水八幡宮內，因19世紀下半葉「神佛分離令」而幾經搬遷，最後才落戶這裡。草庵、草庵茶庭（露天）及其石清水八幡宮內舊址如今都被指定為國家史跡。

松花堂昭乘（1584-1639）是一名僧人，也是著名的茶道大師、藝術家和當時三大書法名家之一，松花堂是他晚年的雅號，取自草庵的名字，代表「熱愛松之花的僧人之家」。昭乘在55歲左右卸去瀧本坊住持之職，移居泉坊，又於1637年修建松花堂草庵，既為居所也是茶室，並常在這裡舉辦小型茶會和清談會。

<日本語仮訳>

名勝庭園と松花堂昭乗

国の名勝に指定されている松花堂庭園の内園には、松花堂昭乗の隠棲していた草庵と寺の客殿、そして4～5世紀に造られた東車塚古墳があり、それらが巧みに緑豊かな眺めの中に配られています。

草庵と泉坊の客殿は元々石清水八幡宮の境内に建てられていたもので、19 世紀後半の「神仏分離令」の後、何度か場所を変え、最終的にここに移築されました。草庵と草庵の庭（露地庭）、そして石清水八幡宮の境内の跡地は、国の史跡に指定されています。

松花堂昭乗（1584-1639）は、僧侶でありながら、有名な茶人で芸術家でもあり、当時の三大書家の一人に数えられていました。松花堂は彼の雅号であり、草庵の名でもあります。松花堂は「松の花を愛した僧侶の家」という意味です。昭乗は 50 代半ばで瀧本坊の住職を辞して泉坊に移り住み、1637 年に住居と茶室を兼ねた小さな草庵を建てました。昭乗はここで小さな茶会を開いたり、講話を行ったりしていました。

【タイトル】 名勝庭園と松花堂昭乗

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**名胜庭园与松花堂昭乘**

松花堂庭园内庭是国家指定名胜。松花堂昭乘退隐后居住的草庵、寺院客殿和一座可追溯至公元 4 至 5 世纪的东车冢古坟在这里与葱茏景致巧妙相融。

松花堂昭乘(1584-1639)是一名佛教僧侣，也是著名的茶道大师、艺术家和那个时代世所公认的三大书法名家之一。“松花堂”是他的雅号，乃以其所居草庵自称，可以理解为“热爱松之花的僧人之家”。古人相信松树每千年才会开一次花，因此将它引为一种诗化的意向，喻指珍稀难得的美丽存在。

昭乘法师十几岁便来到男山开始修行生涯，最终成为泷本坊的住持。泷本坊是当年石清水八幡宫“神社—佛寺”群中的诸多小佛寺中的一座。昭乘与艺术家、贵族和皇室皆过从甚密，他所举办的茶会总是当时文化精英会聚的场所。昭乘五旬近半时卸去了住持职务，搬到附近另一处寺院泉坊居住，并于 1637 年在那里修造了一座草庵，取名“松花堂”。此处草庵既是他的居所，也是茶室，他当年常在这里举办小型茶会和清谈会。

19 世纪下半叶，政府下达“神佛分离令”（即拆分神道教与佛教），泉坊的草庵和客殿自石清水八幡宫搬离。此后它们又历经数次搬迁，最后落户松花堂庭园内。时至今日，草庵、草庵茶庭（露天庭院）以及它们最初在石清水八幡宫内的旧址都已被指定为国家史迹。

<繁体字>**名勝庭院與松花堂昭乘**

松花堂庭園內庭是國家指定名勝。草木蔥蘢的景致中，坐落著松花堂昭乘退隱後居住的草庵、佛寺客殿，以及可追溯至西元 4 至 5 世紀的東車塚古墳。

松花堂昭乘（1584-1639）是一名佛教僧侶，也是著名的茶道大師、藝術家和當時公認的三大書法名家之一，「松花堂」是他的雅號，乃以其所居草庵自稱，可以理解為「熱愛松之花的僧人之家」。古人相信松樹每千年才會開一次花，因此將之引為一種詩化的寓意，意指珍稀難得的美麗存在。

昭乘法師十幾歲便來到男山開始修行生涯，最終成為瀧本坊的住持，瀧本坊是當年石清水八幡宮「神社—佛寺」群中的諸多小佛寺之一。昭乘與藝術家、貴族和皇室皆過從甚

密，他所舉辦的茶會因而成為當時文化精英會聚の場合。昭乗在五旬近半の年紀卸去了住持職務，搬到附近另一處寺院泉坊居住，並於 1637 年在那裡修造了一座草庵，取名「松花堂」，這裡既是他的居所也是茶室，所以常會在這裡舉辦小型茶會和清談會。

19 世紀下半葉，政府下達「神佛分離令」（即拆分神道教與佛教），泉坊的草庵和客殿自石清水八幡宮搬離。此後草庵又歷經數次搬遷，最後落戶松花堂庭園內。時至今日，草庵、草庵茶庭（露天庭院）以及最初所在的石清水八幡宮內的舊址都已被指定為國家史跡。

<日本語仮訳>

名勝庭園と松花堂昭乗

国の名勝に指定されている松花堂庭園の内園には、僧侶である松花堂昭乗が隠棲していた草庵と寺の客殿、そして 4～5 世紀に造られたと思われる東車塚古墳があり、それらが巧みに緑豊かな眺めの中に配されています。

松花堂昭乗（1584-1639）は、僧侶でありながら、有名な茶人で芸術家でもあり、当時の三大書家の一人に数えられていました。松花堂は彼の雅号であり、「松の花を愛した僧侶の家」という意味を持ちます。古くは、松の花は千年に一度しか咲かないといわれており、松の花は珍しく美しい出来事の比喩として使われていました。

昭乗は 10 代の頃に男山を訪れ仏門に入り、最終的には瀧本坊の住職にまで上り詰めました。瀧本坊はかつて石清水八幡宮寺を構成していた数多くの小さな寺院の 1 つでした。芸術家、公家や大名、そして皇族とのつながりが深かった昭乗は、同時代の文化人を集めて茶会を開いていました。昭乗は 50 代半ばで住職を辞して近くの泉坊に移り住み、1637 年に小さな草庵を建て、その草庵を「松花堂」と名付けました。この建物は住居と茶室を兼ねており、昭乗はここでも小さな茶会を開いたり、講話を行ったりしていました。

19 世紀後半の政府による「神仏分離令」の後、泉坊の草庵と客殿は石清水八幡宮の境内から移築されました。その後何度か場所を変え、最終的に松花堂庭園内の現在の場所に移設されました。草庵と草庵の庭（露地庭）、そして石清水八幡宮の境内の跡地は、国の史跡に指定されています。

【タイトル】 草庵「松花堂」

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

草庵“松花堂”

这座茅草顶的小屋“松花堂”由佛僧松花堂昭乘(1584-1639)于1637年建造，这里既是他晚年的居所，也是他追求艺术的大本营。昭乘法师与当时的艺术家、贵族和皇室往来密切，卸去泷本坊住持之任后，他依然在这处小屋里的茶室享受茶道，举办茶会。

草庵是一座样式简单的传统建筑，茅草铺顶，有一个两叠榻榻米大小的茶室。小巧的座席边环绕着一个佛龕、一个陈列艺术品的壁龕、一个烧水的圆形炉台和几个摆放茶具的架子。竹编天花板上的图案已不复原貌，现在这幅神鸟飞翔图是在草庵从石清水八幡宫内原址迁离后绘制的。

草庵“松花堂”及其露天茶庭均已被指定为国家史迹，草庵同时也是京都府指定文化财产。

<繁体字>

草庵「松花堂」

茅草頂的小屋「松花堂」由佛僧松花堂昭乘（1584-1639）於1637年建造，這裡既是他晚年的居所，也是他追求藝術的大本營。昭乘法師與當時的藝術家、貴族和皇室往來密切，卸去瀧本坊住持之任後，他依然在這處小屋裡的茶室享受茶道、舉辦茶會。

草庵是一座樣式簡單的傳統建築，茅草鋪頂，有一間兩疊榻榻米大小的茶室。小巧的座席邊環繞著一個佛龕、一個陳列藝術品的壁龕、一個燒水的圓形爐臺和幾個擺放茶具的架子。竹編天花板上的圖案已不復原貌，今日所見的這幅神鳥飛翔圖，是草庵從石清水八幡宮內原址遷離後才繪製。

草庵「松花堂」及其露天茶庭均已被指定為國家史跡，草庵同時也是京都府指定文化財產。

<日本語仮訳>

草庵「松花堂」

草庵「松花堂」は、1637年に僧侶松花堂昭乗（1584-1639）が建て、彼が晩年に住居兼芸術活動の拠点として利用していた場所です。芸術家、公家や大名、そして皇族とのつながりが深かった昭乗は、瀧本坊の住職を辞した後も、この小さな建物内の茶室で茶会を開き、客をもてなしていました。

草庵は、茅葺き屋根と2畳の茶室を備えた伝統的でシンプルな造りです。狭い畳の周りを、仏壇、美術品を飾る床の間、水を沸かす丸炉、茶道具を収納するための棚が取り囲んでいます。竹を編んだ天井には、当初は別の絵が描かれていましたが、現在の飛翔する想像上の鳥の絵は、この草庵が石清水八幡宮の境内の元の場所から移築された後に描かれたものです。

草庵「松花堂」と草庵の庭（露地庭）は国の史跡となっており、草庵の建物は京都府の文化財に指定されています。

【タイトル】 泉坊書院

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

泉坊书院

泉坊曾是石清水八幡宮“神社—佛寺”建築群中的一座佛教寺院。書院由原泉坊客殿的玄關、主室和待客室構成。傳說這個玄關最初是由當時被稱為“天下人”的豐臣秀吉(1537-1598)所建的伏見城的一部分，門上還有他的桐紋家徽。主室及待客室依然保留着典型的17世紀上半葉的建築風格和華麗的裝飾。

19世紀下半葉，明治政府下令神佛分離，所有佛教設施均從石清水八幡宮神社境內遷出。保存完好的泉坊客殿的主室、待客室和玄關，被安置在松花堂庭園，成為今天“泉坊書院”的一部分，三者皆為京都府登錄文化財產。現存建築由江戶時代(1603-1867)留存古建、明治31年(1898)改建部分以及大正年間(1912-1926)擴建翻新部分組成。

<繁体字>

泉坊書院

泉坊曾是石清水八幡宮「神社—佛寺」建築群中的一座佛教寺院，書院由原泉坊客殿的玄關、主室和待客室構成。據說玄關最初是由當時被稱為「天下人」的豐臣秀吉(1537-1598)所建的伏見城的一部分，門上還有其桐紋家徽，而主室和待客室至今依舊保留著17世紀上半葉的典型建築風格和華麗的裝飾。

19世紀後半葉，明治政府下令神佛分離，所有佛教設施均從石清水八幡宮神社境內遷出。保存完好的泉坊客殿的主室、待客室和玄關，被安置在松花堂庭園，成為今天「泉坊書院」的一部分，三者皆為京都府登錄文化財產。現存建築由江戶時代(1603-1867)留存古老建築、明治31年(1898)改建部分以及大正年間(1912-1926)擴建翻新部分組成。

<日本語仮訳>

泉坊書院

泉坊はかつて神仏習合の施設だった石清水八幡宮の境内にあった寺坊です。泉坊書院には、旧泉坊の客殿の玄關、主室、次の間が組み込まれています。伝承によると、玄關は元々、当時の天下

人である豊臣秀吉（1537-1598）によって建てられた伏見城の一部であり、彼の桐の紋章は今もその扉に見られます。主室と次の間は、17世紀初頭の華麗な装飾と古典的な建築様式を保持しています。

19世紀後半の神仏分離令により、すべての仏教関連の建物が石清水八幡宮の境内から取り払われました。泉坊の客殿の主室、次の間と玄関は丁寧に保存され、その後、松花堂庭園の現在の泉坊書院に組み込まれました。これら3つの建築要素は京都府登録文化財です。現存する建造物は明治31年（1898）に上棟された後、大正期（1912-1926）にかけて増改築され、江戸時代（1603-1867）初期の遺構と近代の増改築部分からなります。

【タイトル】 茶室「松隠」

【想定媒体】 看板

<簡体字>

茶室“松隠”

“松隠”重现了当年石清水八幡宮内の泧本坊閑云軒茶室の独特风貌。昔日，閑云軒孤懸山壁一側，以高脚木柱支撐，宛若飄浮於雲端。茶室與客廳居高臨下，可一覽八幡與更遠處的京都全景。

据传，閑云軒是小堀遠州(1579-1647)为当时已是泧本坊住持的好友松花堂昭乘(1584-1639)设计建造的。小堀遠州不但是位大名（日本封建時代の大領主），更是著名的茶道大師與園林建築大師。原茶室毀於1773年的一場大火，今日茶室凭借过去的图纸得以重建。

<繁体字>

茶室「松隠」

「松隠」重現了當年石清水八幡宮內的瀧本坊閑雲軒茶室的獨特風貌，昔日閑雲軒孤懸山壁一側，以高腳木柱支撐，宛若飄浮於雲端。茶室與客廳居高臨下，可一覽八幡與更遠處的京都全景。

據傳閑雲軒是小堀遠州（1579-1647）為當時已是瀧本坊住持的好友松花堂昭乘（1584-1639）設計建造的。小堀遠州不但是位大名（日本封建時代的大領主），更是著名的茶道大師與園林建築大師。原茶室於1773年毀於火災，幸好還有從前的圖紙供後人參考重建。

<日本語仮訳>

茶室「松隠」

「松隠」は、石清水八幡宮境内の瀧本坊にかつて建てられていた、閑雲軒と呼ばれるユニークな茶室を再現した建物です。元々の閑雲軒は、山腹に立てられた高い柱の上に建っていたため、まるで空中に浮かんでいるかのように見えました。茶室と客間からは、八幡とその向こうに広がる京都の景色を一望できました。

著名な茶人であり、作庭家でもあった大名（日本封建時代の領主）の小堀遠州（1579-1647）が、瀧本坊の当時の住職であった友人の松花堂昭乗（1584-1639）のために閑雲軒を設計したと言われています。閑雲軒は 1773 年に焼失しましたが、昔の絵図を元に再建されました。

【タイトル】 茶室「松隠」

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

茶室“松隱”

茶室“松隱”以“松”为名，取松树历寒冬而依然枝叶苍翠、强劲坚韧的高洁寓意，且松树被视为吉祥的象征。整栋建筑里有一处完全复制“闲云轩”的茶室。闲云轩取“漂浮在云端的茶室”之意，是当年石清水八幡宫内泷本坊里独一无二的茶室，它曾孤悬山侧，以高脚柱支撑，看上去就好像漂浮在云端一般。茶室高悬于山坡上方 7 米处，从客厅可一览山下八幡与更远处的京都全貌。

据传，闲云轩出自著名茶道大师、园林建筑设计师以及一方大名（日本封建时代的大领主）小堀远州(1579-1647)之手，是他特意为时任泷本坊住持的好友松花堂昭乘(1584-1639)设计建造。原茶室毁于 1773 年的一场大火，现在的茶室根据从前的图纸修建。

松隱是松花堂庭園外庭三个茶室中最大的一个，共有玄关、两间茶室，以及为做准备工作、存放茶具而设的“水屋”。

茶道爱好者们常常来到这里举办活动、开设课程。

<繁体字>

茶室「松隱」

茶室「松隱」以「松」為名，取松樹歷寒冬而依然枝葉蒼翠、強勁堅韌的高潔寓意，且松樹被視為吉祥的象徵。整棟建築裡有一處完全複製的「閑雲軒」茶室，閑雲軒取「漂浮在雲端的茶室」之意，是當年石清水八幡宮內瀧本坊裡獨一無二的茶室。閑雲軒孤懸山側，以高腳柱支撐，看上去就好像漂浮在雲端上一般。茶室高懸於山坡上方 7 公尺處，從客廳還可一覽山下八幡和更遠處的京都全貌。

據傳閑雲軒出自著名茶道大師、園林建築設計師以及一方大名（日本封建時代的大領主）小堀遠州（1579-1647）之手，是他特為時任瀧本坊住持的好友松花堂昭乘（1584-1639）所設計建造。原茶室毀於 1773 年的一場火災，現在的茶室根據從前的圖紙修建。

松隱是松花堂庭園外庭三間茶室中最大的一個，共有一個玄關、兩間茶室，以及為完成準備工作、存放茶具而設的「水屋」。

茶道愛好者們常常來到這裡舉辦活動、開設課程。

<日本語仮訳>

茶室「松隠」

茶室「松隠」は、寒い冬にも緑の葉を保ち、丈夫で耐久性があることから縁起物とされている松の木にちなんで名づけられました。この建物の中には、石清水八幡宮の境内の瀧本坊にかつて建てられていた、閑雲軒と呼ばれるユニークな茶室のレプリカがあります。元々の閑雲軒は、山腹に立てられた高い柱の上に建っていたため、まるで空中に浮かんでいるかのように見えました。山の斜面より 7 メートル上にあった茶室からは、八幡とその向こうに広がる京都の景色を一望できました。

著名な茶人であり作庭家でもある大名（日本封建時代の領主）の小堀遠州（1579-1647）が、瀧本坊の当時の住職であった友人の松花堂昭乗（1584-1639）のために閑雲軒を設計したと言われています。閑雲軒は 1773 年に焼失しましたが、昔の絵図を元に再建されました。

松隠は松花堂庭園の外園にある 3 つの茶室の中で最も大きいものです。この建物には玄関と 2 つの茶室、準備をしたり茶道具を置いたりするための場所（水屋）があります。

茶の湯をたしなむ人々は、この茶室を使って茶会を開いたりお稽古を行ったりしています。

【タイトル】 茶室「竹隠」

【想定媒体】 看板

<簡体字>

茶室“竹隠”

“竹隠”是较近期茶室建筑的范例。它的原型是一座别墅庭院茶室，据传出自第四代木村清兵卫(1900-1970)之手。木村清兵卫出身于京都地区专精传统茶室建筑的著名木匠世家，他是该世家最后一位传人。

竹隠只有一间茶室，窗户采光充足，因此室内颇为明亮。陈列艺术品的壁龛内专设一个空间名为“琵琶床”，用以展示日本琵琶。

这里定期举办适合茶道初学者的茶会，面向游人开放。

<繁体字>

茶室「竹隠」

「竹隠」是近期茶室建筑的范例，其原型据传出自第四代木村清兵卫（1900-1970）之手的别墅庭院茶室，木村清兵卫出身京都地区专精传统茶室建筑的著名木匠世家，他是该世家最后一位传人。

竹隠只有一间茶室，窗户采光充足，因此室内通透明亮，陈列艺术品的壁龛内专门有一个空间名为「琵琶床」，用以展示日本琵琶。

這裡定期有適合茶道初學者的茶會，開放給遊客。

<日本語仮訳>

茶室「竹隠」

竹隠は、比較的新しい茶室建築の一例です。竹隠は、四代目木村清兵衛（1900-1970）によって建てられたと言われているある別荘の庭にあった茶室のレプリカです。木村清兵衛は、伝統的な茶室建築を専門とした有名な京都の大工の家の最後の人でした。

竹隠には茶室が1つしかありません。窓は光を充分取り入れ、内部をより明るくし、また美術品を展示するための床の間には、琵琶を飾っていた琵琶床と呼ばれる専用のスペースがあります。

竹隠では、観光客も参加できる、初心者向けの茶会が定期的に開催されています。

【タイトル】 茶室「竹隠」

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

茶室“竹隐”

“竹隐”是近代茶室建筑的一个范例，其原型是一座别墅庭院茶室，据传出自第四代木村清兵卫(1900-1970)之手。木村清兵卫是京都地区著名的木匠世家，家族专精传统茶室建筑，他是该世家的最后一位传人。“竹隐”之名，取竹子强韧有力、生长迅速且能经冬傲雪之意。

与梅隐、松隐两座茶室所展现的早期茶室建筑风格不同，竹隐只有一间茶室，四叠半榻榻米大小，这样的空间向来被认为最适合举办茶会。建筑本身采光充足，室内比较明亮。此外，壁龛中专设一处“琵琶床”，用以展示日本琵琶。

春（3—5月）、秋（10—11月）两季，竹隐会在周日举办适合初学者参与的茶会，游客无需预约即可参加。详情可咨询松花堂庭园售票处或美术馆办公室。

<繁体字>

茶室「竹隱」

「竹隱」是近代茶室建築的一大範例，其原型據傳出自第四代木村清兵衛（1900-1970）之手的一座別墅庭院茶室。木村清兵衛是京都地區著名的木匠世家，家族專精傳統茶室建築，他是該世家的最後一位傳人。「竹隱」之名，取竹子強韌有力、生長迅速且能經冬傲雪之意。

與梅隱、松隱兩間茶室所展現的早期建築風格不同，竹隱只有一間茶室，四疊半榻榻米大小，這樣的室內空間被認為是最適合舉辦茶會。建築本身採光充足，因此室內比較明亮。此外壁龕中專設了一處「琵琶床」，用以展示日本琵琶。

春（3—5月）、秋（10—11月）兩季，竹隱會在周日舉辦適合初學者參與的茶會，遊客無須事先預約即可參加，詳情可諮詢松花堂庭園售票處或美術館辦公室。

<日本語仮訳>

茶室「竹隠」

「竹隠」は、比較的新しい茶室建築の一例です。竹隠は四代目木村清兵衛（1900-1970）によって建てられたと言われているある別荘の庭にあった茶室のレプリカです。木村清兵衛は伝統的な茶室建築を専門とした有名な京都の大工の家の最後の人です。茶室の銘は、丈夫で成長が早く、冬の寒さに強いことから縁起の良い植物とされている竹に由来しています。

梅隠や松隠に代表される古い様式とは異なり、竹隠は茶室 1 つのみで構成されています。この 4 畳半の部屋は、茶会に理想的なサイズであると考えられています。その建築は十分な自然光を取り入れ、内部を比較的明るくし、琵琶を飾っていた琵琶床と呼ばれる専用のスペースが設けられています。

竹隠では、春（3 月～5 月）と秋（10 月～11 月）の日曜日に、初心者向けの茶会が行われています。参加には予約は不要です。庭園のチケット窓口または松花堂美術館事務局までお問い合わせください。

【タイトル】 茶室「梅隠」

【想定媒体】 看板

<簡体字>

茶室“梅隠”

“梅隠”重现的传统茶室是千宗旦(1578-1658)钟爱的风格，千宗旦的祖父便是对日本茶道文化有着深远影响的“茶圣”千利休(1522-1591)。

与一般直接入室的茶室不同，梅隠茶室门前有一处带蔽日屋顶、四周土墙护卫、沿路铺着踏脚石的内庭。庭内四叠半榻榻米大小的小茶室是按照千宗旦最初的设计重建的，它背后还有另一个较大的茶室。茅草顶、土墙和茶室内部格局陈设，营造出一种简朴的美，展示着茶道所推崇的“侘寂”美学（体会事物的残缺、古旧之美）。

<繁体字>

茶室「梅隠」

「梅隠」重現的傳統茶室是千宗旦（1578-1658）所鍾愛的風格，千宗旦的祖父便是對日本茶道文化有著深遠影響的「茶聖」千利休（1522-1591）。

與一般直接入室的茶室不同，梅隠茶室門前有一個帶蔽日屋頂、被四周土牆環繞、鋪著踏腳石的內庭。內庭中按照千宗旦最初的設計，重建了四疊半榻榻米大小的小茶室，背後還有另一個較大的茶室。茅草頂、土牆和茶室內部格局陳設，營造出一種簡樸的美，展示著茶道所推崇的「侘寂」美學（體會事物的殘缺、古舊之美）。

<日本語仮訳>

茶室「梅隠」

「梅隠」には、千宗旦（1578-1658）好みの伝統的な茶室が再現されています。千宗旦は茶道（茶の湯）の発展に多大な影響を与えた著名な茶人、千利休（1522-1591）の孫にあたります。

一般的な茶室では、外部から直接中に入りますが、梅隠の茶室の前には屋根と土壁に囲まれた飛び石のある露地があります。露地の中に入ってすぐの4畳半の小間は、千宗旦の設計図を元に建てられており、後ろには茶室があります。茅葺き屋根や土壁、そして茶室内部の様子は、茶の湯をたしなむ

人々が大切にしている侘び寂びの美学（不足や古びたものから感じられる美しさ）を反映し、素朴な美しさを醸し出しています。

【タイトル】茶室「梅隠」

【想定媒体】WEB

<簡体字>

茶室“梅隱”

“梅隱”以“梅”为名，取梅花先于百花开放，预示春天到来的吉祥寓意。梅隱以茶道世家千家第三代家主千宗旦(1578-1658)所钟爱的一个小茶室为原型，并在此基础上加以创新。千宗旦的祖父是著名茶道宗师千利休(1522-1591)，他对日本茶道的发展影响深远。

通常，客人进门后便是茶室，但在梅隱，首先需要穿过一个带蔽日屋顶、四周土墙护卫、沿路铺着踏脚石的内庭。梅隱共有两个茶室，临近入口处四叠半榻榻米大小的小茶室依照千宗旦原本的设计重建。后面一个更大一些，两个茶室之间留有准备区。茅草屋顶、土墙，加上未经打磨的粗栗木壁龕柱，营造出简朴、自然的美感，体现了茶道中人所推崇的“侘寂”美学（体会事物的残缺、古旧之美）。

距离茶室不远处有一个“水琴窟”，这是一种传统的庭院设施，能发出不可思议的美妙音色。简单说来，就是一个底部开小口的罐子，倒置着埋在石头“手水钵”（神社或佛寺中供人洗手的水槽，多为石制）前，当流水自手水钵滴落到罐子里，就会发出轻柔、悦耳的滴水声，常被人们与铃音或十三弦古琴声相提并论。来访者可以借助手水钵旁插入地下的竹管聆听水声。

<繁体字>

茶室「梅隱」

「梅隱」以「梅」為名，取梅花先於百花開放，預示春天到來的吉祥寓意。梅隱以茶道世家千家第三代家主千宗旦（1578-1658）所鍾愛的一間小茶室為原型，並在此基礎上加以創新，千宗旦的祖父是著名茶道宗師千利休（1522-1591），他對日本茶道的發展影響深遠。

通常，客人進門便是茶室，但在梅隱，人們首先需要走過一個帶蔽日屋頂、被四周土牆環繞、鋪著踏腳石的內庭。梅隱共有兩間茶室，其中接鄰入口處四疊半榻榻米大小的小巧茶室，是依照千宗旦原本的設計重建，後面一個茶室更大一些，兩個茶室之間留有準備區。茅草屋頂、土牆，加上未經打磨的粗栗木壁龕柱，營造出簡樸、自然的美感，體現了茶道中人所推崇的「侘寂」美學（體會事物的殘缺、古舊之美）。

距離茶室不遠處有一個「水琴窟」，這是一種傳統的庭院設施，能發出令人驚嘆的美妙音色。簡單說來，就是一個底部開小口的罐子，倒置埋在石頭「手水鉢」（神社或佛寺中供人洗手的水槽，多為石製）前，當流水自手水鉢滴落到罐子裡，就會發出輕柔、悅耳的滴水聲，常被人們與鈴音或十三弦古琴聲相提並論。訪客可以借助手水鉢旁插入地下的竹管聆聽水聲。

<日本語仮訳>

茶室「梅隠」

梅隠の名前は、他の植物より先に花を咲かせ、春の訪れを告げることから縁起物とされている梅を連想させます。梅隠には、茶道の千家の三代目当主である千宗旦（1578-1658）好みの伝統的な茶室が再現されています。宗旦は、日本の茶道の発展に多大な影響を与えたことで知られる著名な茶人、千利休（1522-1591）の孫にあたります。

客が外から直接入る一般的な茶室とは異なり、梅隠を訪れた客はまず、屋根と土壁に囲まれた飛び石のある露地を通ります。中に入ってすぐの4畳半の小間は、千宗旦の設計図を元に建てられました。後ろには広間があり、間には準備のためのスペースがあります。茅葺き屋根、土壁、そして荒削りの栗の木で作られた床の間の柱は、茶の湯をたしなむ人々が大切にしている侘び寂びの美学（不足や古びたものから感じられる美しさ）を反映し、素朴な自然美を醸し出しています。

茶室の近くには水琴窟という、昔ながらの不思議な音色を発する庭園設備があります。石の手水鉢（社寺で手洗いに使うための水鉢。石造りのものがもっとも多い）の前に、底に小さな穴を開けた壺が上下逆さまに埋められています。手水鉢から壺の中に水が滴る時、鈴または琴によく例えられる、水滴が奏でる穏やかな音がします。この音は、手水鉢の脇の地中に差し込まれた竹の管を通して聞くことができます。

【タイトル】 松花堂弁当

【想定媒体】 看板

<簡体字>

松花堂便当

现代日本与松花堂昭乘有着最直接关系的，当属四等分的正方形餐盒“松花堂便当”。昭乘很喜欢用这种农家用来放种子的盒子放画具和颜料。为了更美观，他还在上面刷上薄漆，绘一些自然风物的水墨画。

用它作餐具的设想出现在 1933 年，当时日本知名美食餐厅吉兆的创始人在八幡参加一场茶道盛会，一个这样的漆盒引发了他的灵感。于是，他决定将其改良后用在餐厅里，并为这种餐食取名“松花堂便当”。餐厅的八幡分店京都吉兆松花堂店就开在松花堂美术馆隔壁，用这种独特的便当盒为顾客提供高品质的日本料理享受。

<繁体字>

松花堂便當

當代日本與松花堂昭乘有著最直接關係的，應該就是「松花堂便當」了，即一種四等分的正方形便當盒。當時昭乘很喜歡一種農民用的木製種子盒，便改來放畫具和顏料。為了更美觀，他在盒上刷上薄漆，並繪上一些自然風物的水墨畫。

將這種盒子用作餐具的設想誕生於 1933 年，當時日本知名美食餐廳吉兆的創始人在八幡參加一場茶道盛會，一個這樣的漆盒引發了他的靈感，於是他決定將其改良後用在自己開的餐廳裡，並將這種餐食取名為「松花堂便當」。餐廳的八幡分店京都吉兆松花堂店就開在松花堂美術館隔壁，以這種獨特的便當盒形式為顧客提供高品質日本料理享受。

<日本語仮訳>

松花堂弁当

現代の日本において松花堂昭乗とのつながりが最も強く感じられるのは、四等分された四角い弁当箱「松花堂弁当」です。昭乗は、農民が種を運ぶために使っていた木箱に手を加え、絵の具や小物用の入れ物にするのを常としていました。その箱をより魅力的に仕上げようと、彼は薄く漆を塗り、自然をテーマにした墨絵を施していました。

この箱を使って食べ物を供するというアイデアは、有名な日本料理店「吉兆」の創業者が八幡で行われた茶会に出席した 1933 年に生まれました。彼は昭乗が好んだ漆塗りの箱にインスピレーションを得てその箱を彼の料亭で用いることにし、「松花堂弁当」と名付けました。八幡の京都吉兆松花堂店は、松花堂美術館の隣にあり、この独特な様式の弁当箱で高級日本料理を提供しています。

【タイトル】 松花堂弁当

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

松花堂便当

将食物艺术性地摆放在便当盒里的日式料理形式，如今早已风靡全球。其中最常见的是使用一种正方形便当盒，盒内平均分为四格，即“松花堂便当”。这个名字取自松花堂昭乘(1584-1639)，一位大约 400 年前生活在八幡的佛教僧人、艺术家、书法家。昭乘很喜欢农民用来携带种子的木盒，于是将其改成工具盒，用来放置颜料和画具。为了让盒子更好看一些，他还在上面漆上薄漆，绘一些自然风物主题的水墨画。

用这种盒子作餐具的创意诞生在 1933 年，当时日本知名美食餐厅吉兆的创始人来到八幡参加一场茶道盛会，一个昭乘风格的漆盒引发了他的灵感。于是，他决定将其改良后用在自己的餐厅里，并把用这种漆盒盛放的餐食命名为“松花堂便当”。这种内部分格的餐盒使得“在艺术化呈现食物的同时，分隔不同菜色以保持其各自风味”的设想成为了可能。如今，松花堂便当盒在全日本随处可见，甚至已经走到了国外。位于八幡市的京都吉兆松花堂店，就座落在松花堂美术馆隔壁，用这种独特的便当盒为顾客提供高品质的日本料理享受。

<繁体字>

松花堂便當

如今這類利用便當盒實現藝術化的擺盤，以供給客人享用的日式料理風格早已風靡全球。在這其中，最常用到的是一種正方形的便當盒，盒內平均分為四格，此即為「松花堂便當」。這個名字取自松花堂昭乘（1584-1639），一位大約 400 年前生活在八幡的佛教僧人、藝術家、書法家。昭乘很喜歡農民用來攜帶種子的木盒，於是將其改作工具盒，用來放置顏料和畫具。而為了讓盒子更好看一些，他在上面漆上了薄漆，並畫上一些以自然風物為主題的水墨畫。

用這種盒子作餐具的創意誕生於 1933 年，當時日本知名美食餐廳吉兆的創始人來到八幡參加一場茶道盛會，一個昭乘風格的漆盒引發了他的靈感。於是，他決定將其改良後用在自己的餐廳裡，並把用這種漆盒盛放的餐食命名為「松花堂便當」。這種內部分格的便當盒促使「在藝術化呈現料理的同時，能夠分隔不同菜色以保持其各自風味」的設想成為

可能。如今，松花堂便當盒在全日本隨處可見，甚至已經走向國外。而位處八幡的京都吉兆松花堂店，就座落在松花堂美術館隔壁，以這種獨特的便當盒形式，為顧客提供高級日本料理的享受。

<日本語仮訳>

松花堂弁当

弁当箱に食品を美しく配置して供する日本の様式は、世界中で人気を博しています。その中でもよく使われている弁当箱の一つは、四角い箱の中を四等分した、「松花堂弁当」と呼ばれるものです。この名前は、400年ほど前に八幡に住んでいた芸術家で書家でもあった僧侶の松花堂昭乗（1584-1639）にちなんだものです。昭乗は農民が種を運ぶために使っていた木箱に手を加え、絵の具や小物用の入れ物にしていました。その箱をより魅力的に仕上げようと、彼は薄く漆を塗り、自然をテーマにした墨絵を施していました。

この箱を使って食べ物を供するというアイデアは、有名な日本料理店「吉兆」の創業者が八幡で行われた茶会に出席した1933年に生まれました。彼は昭乗が好んだ漆塗りの箱にインスピレーションを得てその箱を彼の料亭で用いることにし、「松花堂弁当」と名付けました。この仕切りのある箱のおかげで、料理を美しく盛り付けることができ、料理の味や香りが混ざることなく個々の風味を保てるようになりました。今では松花堂弁当は日本全国で人気を博し、さらに海外でも見かけられるようになりました。八幡の京都吉兆松花堂店は、松花堂美術館の隣にあり、この独特な様式の弁当箱で高級日本料理を提供しています。

【タイトル】 八角堂

【想定媒体】 看板

<簡体字>

八角堂

八角堂是原来石清水八幡宮內主要佛教建築中唯一存世的佛堂。它的建築形態很罕見，不是規則的正八邊形，各壁面的邊長並不全都相等。

歷史上，石清水八幡宮曾是踐行“神佛習合”的“社寺”綜合體。八角堂初建於 13 世紀，此後幾度修葺重建，如今的形態可追溯至 17 世紀。1868 年，明治政府下令拆分神道教與佛教，移除石清水八幡宮境內所有佛教設施。為保全八角堂，當時附近正法寺的前任住持在 1870 年將它遷到如今的位置，安置在一座古墳頂上。

曾供奉於堂中的阿彌陀佛坐像高 3 米，現已被指定為國家重要文化財產。佛像自 1998 年起在京都國立博物館展出，2008 年移入正法寺。2012 年，八角堂現址及其舊址因曾是石清水八幡宮的一部分，而一同被指定為國家史跡。

<繁体字>

八角堂

原石清水八幡宮的重要佛教建築物中，八角堂是唯一留存至今的佛堂，建築形態很罕見，並非規則的正八邊形，各壁面邊長度並不全都相等。

歷史上石清水八幡宮曾是實踐「神佛習合」的「社寺」綜合體。八角堂初建於 13 世紀，此後幾度經歷修葺重建，如今的建築形態可追溯至 17 世紀。1868 年，明治政府下令拆分神道教與佛教，移除石清水八幡宮境內的所有佛教設施。為保全八角堂，附近正法寺的前任住持在 1870 年將八角堂遷到如今所在的一座古墳頂上。

曾供奉於堂中的一尊 3 公尺高的阿彌陀佛坐像，現今被指定為國家重要文化財產，自 1998 年起在京都國立博物館展出，2008 年移入正法寺。2012 年，八角堂現址及其舊址因曾是石清水八幡宮的一部分，而一同被指定為國家史跡。

<日本語仮訳>

八角堂

八角堂は、かつて石清水八幡宮の主要な仏教関連の建物の中で、唯一現存しているお堂です。8つの壁面を持ったお堂の建築様式は比較的珍しいもので、正八角形ではなく、壁面の幅は全部が同じ長さではありません。

かつて、石清水八幡宮は神道と仏教を融合して信仰していた神仏習合の施設でした。八角堂はもともと13世紀に建てられたもので、何度か再建・修繕されています。現在の形となったのは17世紀に遡ります。1868年に、明治政府は神仏分離を命じ、石清水八幡宮から全ての仏教建築を取り除かなければならなくなりました。八角堂を救うため、近くの正法寺の元住職が、1870年に現在地である古墳の頂上にこのお堂を移しました。

かつて八角堂に祀られていた高さ3メートルの阿弥陀如来坐像が国の重要文化財に指定されています。1998年から京都国立博物館で展示され、2008年に正法寺へ移されました。八角堂の元々あった場所と現在地は、かつて石清水八幡宮の境内の一部だったものとして、2012年に国の史跡に指定されました。

【タイトル】 八角堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

八角堂

八角堂是原石清水八幡宮重要佛教建築中唯一留存至今的佛堂。历史上，石清水八幡宮曾是践行“神佛习合”（神道教与佛教相融合）的“社寺”综合体。八角堂中曾经供奉的阿弥陀佛与至今仍供奉于石清水八幡宮本殿的八幡神之间也大有关联。

这座朱红色八角佛堂的建筑风格很罕见：它并非标准的正八边形，因此壁面边长并不完全相等。简单来说，可以将它看作一个切掉了四角的正方形。尽管这座佛堂始建于13世纪，但它如今的形态却只能追溯到17世纪。在高阶贵族和权势领主的捐赠下，八角堂经历过数次重建与修葺，这样的经济支持也反映出当时阿弥陀佛与八幡神信仰的影响力和普及程度。

1868年，明治政府颁布“神佛分离令”拆分神道教与佛教，下令移除石清水八幡宮境内的所有佛教建筑及佛像法器。为保全八角堂，附近正法寺的一位前住持出面，在1870年将它移到了现在的地方，安置在一座古坟顶上。

曾供奉于八角堂的阿弥陀佛是一尊3米高的木雕坐像。佛像上没有制作者署名，但根据其样式风格，有研究者猜测它可能是镰仓时代(1185-1333)著名雕刻家快庆的作品。这尊佛像被指定为国家重要文化财产，1998年开始在京都国立博物馆展出，直至2008年移入正法寺。

2012年，八角堂现址及旧址作为石清水八幡宮的组成部分，一同被指定为国家史迹。佛堂本身刚在2019年完成了一次大规模翻修。基于大量研究分析，佛堂内外均采用明亮鲜艳的色彩重新漆绘，以重现它数世纪前的风采。

八角堂内部一般不对公众开放，但每年都有几次特别开放的机会。

<繁体字>

八角堂

原石清水八幡宮的重要佛教建築物中，八角堂是唯一留存至今的佛堂。歷史上石清水八幡宮曾是實踐「神佛習合」（神道教與佛教相融合）的「社寺」綜合體。八角堂中曾經供奉的阿彌陀佛，與至今仍供奉於石清水八幡宮本殿的八幡神之間，也大有關聯。

這座朱紅色的八角佛堂具有很罕見的建築風格：並非標準的正八邊形，壁面長度不完全相等，簡單來說，可以將八角堂看作一個切掉了四角的正方形。儘管這座佛堂始建於 13 世紀，但如今的形態卻只能追溯到 17 世紀。在高階貴族和權勢領主的捐贈下，八角堂經歷過數次重建與修葺，這樣的經濟支持也反映出當時阿彌陀佛與八幡神信仰的影響力和普及程度。

1868 年，明治政府頒佈「神佛分離令」拆分神道教與佛教，致使石清水八幡宮必須移除範圍內的一切佛教建築及佛像法器。為保全八角堂，附近正法寺的一位前住持出面，在 1870 年將八角堂安置於如今所在的一座古墳頂上。

曾供奉於八角堂的阿彌陀佛是一尊 3 公尺高的木雕坐像，佛像上沒有製作者署名，但根據其樣式風格，有研究者猜測可能是鎌倉時代（1185-1333）著名雕刻家快慶的作品。這尊佛像被認定為國家重要文化財產，自 1998 年開始在京都國立博物館展出，後在 2008 年被移入正法寺。

2012 年，八角堂現址及舊址作為石清水八幡宮的組成部份，一同被指定為國家史跡。佛堂本身在 2019 年完成了一次大規模翻修，基於大量研究分析，佛堂內外均採用明亮鮮豔的色彩重新漆繪，以重現數世紀前的風采。

八角堂內部一般不對公眾開放，但每年都有幾次特別開放的機會。

<日本語仮訳>

八角堂

八角堂は、かつて石清水八幡宮の一部を成していた主要な仏教関連の建物の中で、唯一現存しているお堂です。石清水八幡宮はかつて神道と仏教を融合して信仰していた神仏習合の施設でした。八角堂にかつて祀られていた阿彌陀如来は、今なお石清水八幡宮の本殿に祀られている八幡神と強い繋がりがあった仏です。

この朱色のお堂は、比較的珍しい建築様式で建てられた八角のお堂で、正八角形ではなく、壁面の幅は全部が同じ長さというわけではありません。角が切り取られた正方形のような形です。八角堂はもともと 13 世紀に建てられたものですが、現在の形となったのは 17 世紀に遡ります。このお堂は、高位の貴族や権力者からの寄進で何度も再建・修繕されました。この経済的支援は、当時阿彌陀如来と八幡神への信仰の強さとその広がりを反映しています。

1868 年に明治新政府は神仏分離を命じ、石清水八幡宮から全ての仏教建造物と仏像・仏具を取り除かなければならなくなりました。八角堂を救うため、近くの正法寺の元住職が、1870 年に現在地である古代古墳の頂上にこのお堂を移しました。

かつて、八角堂には高さ 3 メートルの阿彌陀如来の木製の坐像が祀られていました。その像に彫刻家の署名はありませんが、その様式から、鎌倉時代（1185-1333）の有名な彫刻家、快慶の作で

ある可能性がある」と指摘する研究者もいます。この像は国の重要文化財に指定され、1998 年から京都国立博物館で展示され、2008 年に正法寺へ移されました。

八角堂が元々あった場所と現在地は、石清水八幡宮の境内の一部として、2012 年に国の史跡に指定されました。お堂自体には大規模修繕が行われ、2019 年に完了しました。徹底的な分析に基づき、このお堂の内側と外側は、何世紀も前の姿を再現した明るい色に塗り替えられました。

八角堂の内部は通常、一般公開されていませんが、年に数回の特別な機会に公開されます。

【タイトル】 正法寺

【想定媒体】 看板

<簡体字>

正法寺

正法寺是一座保存完好的 17 世纪佛寺，以佛像、绘画和庭园著称。

寺庙始建于 1191 年，原是镰仓幕府创建者源赖朝(1147-1199)家臣志水家的菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家庙）。1546 年，后奈良天皇(1497-1557)下旨，令正法寺为国祈运。此外，德川幕府开幕将军德川家康(1543-1616)的侧室御龟之方(1576-1642)也给予正法寺大力支持，在 1630 年捐建了如今的本堂（正殿）、大方丈和唐门。

本堂内的木构彩绘至今仍保留着最初的色彩，堂内供奉的阿弥陀佛木像出自镰仓时代(1185-1333)，中国古典及自然山水屏风画则是大方丈和书院的亮点。

本堂、大方丈、唐门和阿弥陀佛及两胁坐像均是国家指定重要文化财产，小方丈、钟楼和书院则为京都府指定文化财产，庭园是京都府指定名胜。

寺院日常不开放，每年仅在几个特别开放日允许访客入内参观。

<繁体字>

正法寺

正法寺是一座保存完好的 17 世纪佛寺，以佛像、绘画和庭园著称。

寺廟始建於 1191 年，原是鎌倉幕府創建者源賴朝（1147-1199）的家臣志水家的菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家廟）。1546 年，後奈良天皇（1497-1557）下旨，令正法寺為國祈運。此外，德川幕府開幕將軍德川家康（1543-1616）的側室御龜之方（1576-1642）也給予了正法寺大力的支持，她於 1630 年捐建了如今的本堂（正殿）、大方丈和唐門。

本堂內的木構彩繪至今仍保留著最初的色彩，堂內供奉的阿彌陀佛木像出自鎌倉時代（1185-1333），中國古典及自然山水屏風畫則是大方丈和書院的亮點。

本堂、大方丈、唐門和阿彌陀佛及兩脅坐像均是國家指定重要文化財產，小方丈、鐘樓和書院則為京都府指定文化財產，庭園是京都府指定名勝。

寺院平常不開放，每年僅在幾個特別開放日允許訪客入內參觀。

<日本語仮訳>

正法寺

正法寺は、保存状態の良い17世紀の寺院建築であり、注目に値する像、絵画、庭園があります。

この寺院は、鎌倉幕府を開いた源頼朝（1147-1199）の家臣であった志水家の菩提寺（先祖代々の墓があり、法要を行う寺院）として1191年に建立されました。1546年から、正法寺は後奈良天皇（1497-1557）の命により、国の安全と繁栄を祈願する役目も任されました。徳川初代将軍である徳川家康（1543-1616）の側室となったお亀の方（1576-1642）の大きな恩恵を受けました。本堂、大方丈、唐門は1630年に彼女の寄進により建てられました。

本堂の塗装された木造の内部は今でもほとんど元の色を保っており、中には鎌倉時代（1185-1333）の阿弥陀如来像が本尊として祀られています。また、大方丈と書院に飾られている中国古典と自然をテーマにした襖絵も見どころです。

本堂、大方丈、唐門と阿弥陀如来及両脇坐像は国指定重要文化財、小方丈、鐘楼と書院は京都府指定文化財に指定されています。庭園は京都府指定名勝です。

この寺院は通常一般公開されていませんが、年に数回の特別な機会に訪問することができます。

【タイトル】 正法寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

正法寺

正法寺始建于1911年，原是志水家族的菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家庙），志水家族的一位先祖正是镰仓幕府开创者源赖朝(1147-1199)的家臣。1546年，奉后奈良天皇(1497-1557)昭令，这座寺院开始担负起祈祷国运昌隆、国泰民安的职责。如今的正法寺是一座保存完好的17世纪佛教寺院建筑，以佛像、绘画和美丽的庭院著称。

志水家的女儿御龟之方（也称“阿龟”；1576-1642）是德川幕府的开幕将军德川家康(1543-1616)的侧室，正法寺因她的慷慨捐赠而受益匪浅。在民间传说里，阿龟为孩子洗澡时偶然遇上了路过的将军队伍，匆忙之下，她将澡盆连同孩子一并端起避让，德川家康因而对她一见钟情。在为德川家康生下一个健康的儿子后，她终于在幕府站稳了脚跟，有能力支持志水家的家庙，使之托庇于强大的德川幕府之下。现已被指定为国家重要文化遗产的本堂（正殿）、大方丈和唐门都是在御龟之方的捐助下于1630年建成的。

本堂内供有御龟之方及其一脉德川家后人的牌位，但殿内供奉的主佛是镰仓时代(1185-1333)的阿弥陀佛及两胁坐像。本堂内部的木构彩绘如今依然大体呈现着最初的颜色，其中有几幅画作都出自同一位匠人之手，这位画者也是为德川家康华丽的陵寝日光东照宫作画的艺术师之一。此处建筑牌匾上的题字则是出自后奈良天皇手书。

毗邻本堂的大方丈和书院内存有中国古典及自然山水主题的屏风画。此外，庭园是京都府指定名胜，小方丈、钟楼和书院则是京都府指定文化财产。

被指定为国家重要文化遗产的阿弥陀佛坐像最初供奉在距此不远的八角堂内，自1998年起在京都国立博物馆展出，后出于文物保护目的，才于2008年移入正法寺法云殿内供奉。

寺院日常不对外开放，但每年都有几次特别开放的机会可供访客入内参观，比如，除夕夜就可来此敲钟，辞旧迎新。

<繁体字>

正法寺

正法寺始建於 1191 年，原是鎌倉幕府創建者源賴朝（1147–1199）的家臣志水家の菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家廟）。1546 年，奉後奈良天皇（1497-1557）昭令，這座寺院開始擔負起祈禱國運昌隆、國泰民安的職責。如今的正法寺是一座保存完好的 17 世紀佛教寺院建築，以佛像、繪畫和美麗的庭院著稱。

志水家の女兒御龜之方（也稱「阿龜」；1576-1642）是德川幕府的開幕將軍德川家康（1543-1616）的側室，正法寺因她的慷慨捐贈而受益匪淺。在民間傳說裡，阿龜為孩子洗澡時偶然遇上了路過的將軍隊伍，匆忙之下，她將澡盆連同孩子一併端起避讓，德川家康因而對她一見鍾情。在為德川家康生下一個健康的兒子後，她終於在幕府立下了根基，可以有力量支持本家的家廟，使之托庇於強大的德川幕府之下。現已被指定為國家重要文化財產的本堂（正殿）、大方丈和唐門都是在御龜之方的捐助下於 1630 年而建成。

本堂內供有御龜之方及其德川家一脈後人的牌位，但殿內供奉的主佛則是鎌倉時代（1185-1333）的阿彌陀佛及兩脅坐像。本堂內部的木構彩繪如今大多數依然呈現著最初的顏色，其中有幾幅畫作都出自同一位匠人之手，這位畫者也是為德川家康華麗的陵寢日光東照宮作畫的藝術家之一，這處建築牌匾上的題字則是出自後奈良天皇手書。

毗鄰本堂的大方丈和書院內存有中國古典及自然山水主題的屏風畫。此外，庭園是京都府指定名勝，小方丈、鐘樓和書院則是京都府指定文化財產。

被指定為國家重要文化財產的阿彌陀佛坐像最初供奉在距此不遠的八角堂內，自 1998 年起在京都國立博物館展出，後出於文物保護目的，於 2008 年移入正法寺法雲殿內供奉。

寺院平常不對外開放，但每年都有幾次特別開放的機會可供訪客入內參觀，比如，除夕夜就可來此敲鐘，去舊迎新。

<日本語仮訳>

正法寺

正法寺は、鎌倉幕府を創立した源賴朝（1147-1199）の家臣を祖とする志水家の菩提寺（先祖代々の墓があり、法要を行う寺院）として 1191 年に建立されました。1546 年からは、後奈良天皇（1497-1557）の命により、国の安全と繁栄を祈願する役目も任されました。現在の正法寺は保存状態の良い 17 世紀寺院建築の一例であり、注目に値する像、絵画、眺めの美しい庭園があります。

正法寺は、徳川初代将軍である徳川家康（1543-1616）の側室となった志水家の娘であるお亀の方（1576-1642）の大きな恩恵を受けていました。地元の伝説によると、お亀が将軍の行列に道を譲るために、子どもを沐浴させていた重いたらいを持ち上げるのを見て、家康はお亀に目を留めたと言われています。家康の健康な息子を産んだお亀は彼女の菩提寺を支援する影響力を得ることとなり、徳川幕府からの庇護を取り付けることができるようになりました。国指定重要文化財である本堂、大方丈、唐門は、1630 年にお亀の方の寄進で建てられたものです。

本堂にはお亀と徳川の子孫の位牌も保管されており、鎌倉時代（1185-1333）の阿弥陀如来及両脇坐像を本尊として祀っています。木造の本堂の内部は、徳川家康の豪華な霊廟である日光東照宮を手がけた芸術家の 1 人による絵画を含め、元の鮮やかな色が保たれています。建物の額字は後奈良天皇自身の書に基づいて彫られたものです。

本堂と隣接する大方丈と書院には、中国古典と自然をテーマにした襖絵が飾られており、庭園は京都府名勝指定を受けています。また、小方丈、鐘楼と書院は京都府の文化財に指定されています。

国の重要文化財に指定されている阿弥陀如来坐像は近くにある八角堂に祀られていましたが、1998 年より京都国立博物館で展示されたのち、2008 年に正法寺の法雲殿に移され、大切に保管されています。

この寺院は通常一般公開されていませんが、年に数回の特別な機会に訪問することができます。たとえば、大晦日の「除夜会」では鐘つきを体験することができます。

【タイトル】 阿弥陀如来坐像

【想定媒体】 看板

<簡体字>

阿弥陀佛坐像

阿弥陀佛是无量光佛、无量寿佛。这尊被指定为国家重要文化财产的坐像可以追溯到镰仓时代(1185-1333)。佛像高 2.8 米，桧木制，为双手结说法印的阿弥陀佛坐像。4.8 米高的背光上还雕有 13 尊小佛像，上面仍残留着金箔装饰的痕迹。虽然没有署名，但有研究者猜测它或许是镰仓时代雕刻家快庆的作品。

阿弥陀佛坐像是从石清水八幡宫“神佛习合”时期留存至今、为数稀少的一尊佛教雕像，它最初被供奉在神社内的八角堂。1868 年，明治政府下令“神佛分离”，所有佛教相关设施都被迫移出石清水八幡宫神社境内。为保全八角堂和阿弥陀佛坐像，一位正法寺的前任住持在 1870 年将它们迁到了距离寺院不远的一座古坟上。2008 年，出于文物保护目的，佛像被移入正法寺法云殿内供奉。

<繁体字>

阿彌陀佛坐像

阿彌陀佛是無量光佛、無量壽佛。這尊被指定為國家重要文化財產的坐像可以追溯到鎌倉時代（1185-1333）。佛像高 2.8 公尺，檜木製，為雙手結說法印的阿彌陀佛坐像。4.8 公尺高的背光上還雕有 13 尊小佛像，上面仍殘留著金箔裝飾的痕跡。雖然沒有署名，但研究者猜測可能是鎌倉時代雕刻家快慶的作品。

阿彌陀佛坐像是從石清水八幡宮「神佛習合」時期留存至今為數稀少的一尊佛教雕像，祂最初被供奉在神社內的八角堂，1868 年，明治政府下令「神佛分離」，所有佛教相關設施都被迫移出石清水八幡宮神社境內。為保全八角堂和阿彌陀佛坐像，一位正法寺的前任住持在 1870 年將其遷到了距離寺院不遠的一座古墳上。2008 年，出於文物保護目的，佛像被移入正法寺法雲殿內供奉。

<日本語仮訳>

阿弥陀如来坐像

「無量光如来・無量寿如来」とも呼ばれる阿弥陀如来のこの坐像は、鎌倉時代（1185-1333）に制作され、国の重要文化財に指定されています。高さ 2.8m のこの仏像は檜でできており、両手で説法印を結ぶ阿弥陀如来を表現しています。高さ 4.8m の光背には 13 体の小さな仏が配されており、元々この仏像を飾っていた金箔が今なおわずかに残っています。作者の署名はありませんが、研究者は、この阿弥陀如来坐像は鎌倉時代の有名な彫刻家である快慶の作であると推測しています。

これは、神道と仏教を融合して信仰していた神仏習合の施設であった石清水八幡宮に残された、希少な仏像の 1 つです。元々、石清水八幡宮の境内にあった八角堂に祀られていました。1868 年に明治政府が神仏分離を命じ、石清水八幡宮から仏教にまつわる物をすべて取り除かなければならなくなりました。八角堂と阿弥陀如来坐像を救うために、正法寺の元住職が 1870 年にそれらを正法寺の近くにある古墳の上に移しました。2008 年に、この像は、保護と保存のため正法寺の法雲殿に移されました。

【タイトル】 阿弥陀如来坐像

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

阿弥陀佛坐像

正法寺的法云殿内供奉着一尊高大的阿弥陀佛坐像，阿弥陀佛是无量光佛、无量寿佛。这尊阿弥陀佛结珈趺坐在莲花宝座上，面带安详的微笑，双手抬至胸前结说法印。佛像雕刻于镰仓时代(1185-1333)，现为国家指定重要文化财产。

佛像本身高 2.8 米，以桧木制成。阿弥陀佛佛身上曾覆以金箔装饰，僧袍色彩鲜艳。背光（佛像背后象征佛光的莲花瓣状饰物）高 4.8 米，雕刻有 13 尊小佛像、祥云和其他装饰元素，至今仍能看到残留金箔的痕迹。佛像上没有造像者署名，但有研究者根据风格猜测它或许是镰仓时代著名雕刻家快庆的作品。

石清水八幡宫在很长一段时间里都是践行神道教与佛教融合发展的社寺综合体，这尊阿弥陀佛坐像就是从那个时期留存至今、极为稀少的一尊佛教雕像。它最初被供奉于当时神社境内一个名叫“八角堂”的朱红色八边形佛堂内。明治政府于 1868 年颁布“神佛分离令”（即拆分神道教与佛教），石清水八幡宫内的一切佛教设施都不得被移除。为保全八角堂和阿弥陀佛坐像，一位正法寺的前任住持在 1870 年将它们迁到了距离寺院不远的一座古坟上。2008 年，为了更妥善保护并保存文物，阿弥陀佛坐像被移入正法寺法云殿——此处佛殿专门为此而建。

<繁体字>

阿彌陀佛坐像

正法寺的法雲殿內供奉著一尊高大的阿彌陀佛坐像，阿彌陀佛是無量光佛、無量壽佛。這尊阿彌陀佛結珈趺坐在蓮花寶座上，面帶安詳的微笑，雙手抬至胸前結說法印。佛像雕刻於鎌倉時代（1185-1333），現為國家指定重要文化財產。

佛像本身高 2.8 公尺，以檜木製成。阿彌陀佛佛身上曾覆以金箔裝飾，僧袍色彩鮮豔，背光（佛像背後象徵佛光的蓮花瓣狀飾物）高 4.8 公尺，雕刻有 13 尊小佛像、祥雲和其他裝飾元素，至今仍能看到殘留金箔的痕跡。佛像上沒有造像者署名，但研究者根據風格猜測認為，這可能是鎌倉時代著名雕刻家快慶的作品。

在很長一段時間裡，石清水八幡宮都是實踐神道教與佛教融合發展的神社—佛寺綜合體，這尊阿彌陀佛坐像就是從那個時期留存至今、極為稀少的一尊佛教雕像。最初，祂被供奉於當時神社界內一個名叫「八角堂」的朱紅色八邊形佛堂內，明治政府在 1868 年頒佈「神佛分離令」（即拆分神道教與佛教）後，石清水八幡宮內的一切佛教設施都遭到移除。為保全八角堂和阿彌陀佛坐像，一位正法寺的前任住持在 1870 年將其遷到了距離寺院不遠的一座古墳上。2008 年，為了更妥善保護和保存文物，阿彌陀佛坐像被移入正法寺法雲殿——這處佛殿專門為此而建。

<日本語仮訳>

阿彌陀如来坐像

正法寺の法雲殿には、「無量光如来・無量寿如来」とも呼ばれる大きな阿彌陀如来の坐像があります。この阿彌陀如来は穏やかな表情で結跏趺坐を組み、両手は胸の前で說法印を結んでいます。この像は鎌倉時代（1185-1333）に制作されたもので、国の重要文化財に指定されています。

像自体の高さは 2.8 メートルで、檜でできています。阿彌陀如来の体はかつて漆塗りにされた上に金箔で覆われ、衣は色鮮やかに彩られていました。高さ 4.8m の光背（仏像の背後にさす光明を蓮華の花びらの形に表したもの）には、13 体の小さな仏、巻き雲、その他の装飾要素が配されており、今なお少量の金箔が残っています。彫像には作者の署名はありませんが、その様式から研究者は、鎌倉時代の有名な彫刻家である快慶の作であると推測しています。

この阿彌陀如来坐像は、かつて長い間、神道と仏教を融合して信仰していた神仏習合の施設であった石清水八幡宮に残された、希少な仏像の 1 つです。元々は石清水八幡宮の境内にあった八角堂と呼ばれる八角形の朱色のお堂に祀られていました。しかし、1868 年に明治政府が神仏分離を命じ、石清水八幡宮から仏教にまつわる物をすべて取り除かねばならなくなりました。八角堂と阿彌陀如来坐像を救うため、正法寺の元住職が 1870 年にそれらを正法寺の近くにある古墳の上に移しました。2008 年に阿彌陀如来坐像は、その保護と保存を目的に建てられた、正法寺の法雲殿に移されました。

【タイトル】 善法律寺

【想定媒体】 看板

<簡体字>

善法律寺

善法律寺是位于男山脚下的一座律宗佛寺，因有红枫近百株，也称“红叶寺”。寺院是时任石清水八幡宫检校的“善法寺宫清”的菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家庙），建于 13 世纪中期。宫清任职当时，石清水八幡宫还是践行“神佛习合”的“社寺”综合体。第三代足利将军足利义满(1358-1408)的母亲纪良子(1336-1413)出身善法寺家族，相传这里远近闻名的红枫由她捐种。

善法律寺的本堂（正殿）和正门都是京都府指定文化财产，先后建成于 17 和 18 世纪。本堂内有许多珍贵佛像和其他艺术品，最知名的是主佛僧形八幡神坐像。传说它出自平安时代(794-1185)，原本雕刻的是地藏菩萨，后来才被作为八幡大菩萨祭拜。此像曾在神佛习合时代供奉于石清水八幡宫，1868 年政府下令拆分两教后才移到了善法律寺。寺内许多珍品都是八幡市指定文化财产。

<繁体字>

善法律寺

這是位於男山腳下的一座律宗佛寺，因有紅楓近百株，也稱「紅葉寺」。寺院原是時任石清水八幡宮檢校的「善法寺宮清」的菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家廟），建於 13 世紀中期。宮清任職當時石清水八幡宮還是踐行「神佛習合」的「社寺」綜合體。第三代足利將軍足利義滿（1358-1408）的母親紀良子（1336-1413）出身善法寺家，相傳這裡遠近聞名的紅楓就是她捐種的。

善法律寺的本堂（正殿）和正門都是京都府指定文化財產，先後建成於 17 和 18 世紀。本堂內有許多珍貴佛像和其他藝術品，最知名的是主佛僧形八幡神坐像，傳說祂出自平安時代（794-1185），原本雕刻的是地藏菩薩，後來才被作為八幡大菩薩祭拜。在神佛習合時代，此像會供奉於石清水八幡宮，1868 年政府下令拆分兩教後才移到了善法律寺，寺內許多珍品都是八幡市指定文化財產。

<日本語仮訳>

善法律寺

善法律寺は、男山のふもとにある律宗のお寺です。境内にある約 100 本の美しいモミジの木から、別名もみじ寺とも呼ばれています。善法律寺は、石清水八幡宮がかつて神道と仏教を融合して信仰していた神仏習合の施設であった頃に検校を務めた「善法寺宮清」によって、13世紀半ばにその菩提寺（先祖代々の墓があり、法要を行う寺院）として建立されました。足利三代将軍、足利義満（1358-1408）の母である紀良子（1336-1413）は、善法寺家の出身で、有名なモミジの木も彼女の寄進がきっかけだったと言われています。

京都府の文化財に指定されている善法律寺の本堂と表門は、それぞれ 17 世紀と 18 世紀に建てられました。本堂には貴重な像やその他の芸術作品が数多くありますが、最も有名なのは、この寺の本尊である僧形八幡坐像です。この像は元々、地蔵菩薩像として平安時代（794-1185）に制作され、後年、八幡大菩薩を表したものとして祀られるようになったと言われています。この像は神仏習合の時代に石清水八幡宮に祀られていましたが、1868 年に政府の命令により両宗教が分離されたとき、善法律寺に移されました。寺宝の多くは、八幡市文化財に指定されています。

【タイトル】 善法律寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

善法律寺

善法律寺是一座坐落在男山脚下的佛教律宗寺院。寺院内外的近百株红枫让它有了另一个名字：“红叶寺”。每到秋天枫叶变红和春天新绿绽放的时节都格外漂亮。

善法律寺于13世纪中叶，由石清水八幡宫中历任检校（统管神社与佛寺的长官）的善法寺家当代家主“善法寺宫清”作为菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家庙）所建。宫清任职时的石清水八幡宫还是践行“神佛习合”（神道教与佛教相融合）的“社寺”综合体。宫清的曾孙女纪良子(1336-1413)后来嫁给第二任足利将军为侧室，并生下了第三任足利将军。她是善法律寺非常有影响力的赞助人，之后历代将军对善法律寺提供资助及支持成为了足利家的传统，传说寺院著名的红枫林就是这位将军母亲捐种的。

善法律寺的本堂（正殿）和正门都是京都府指定文化财产，两者的历史可分别追溯至17世纪和18世纪。相传修建正殿所用的建筑材料都取自曾属于石清水八幡宫的一处建筑物。本堂内有许多被指定为八幡市文化财产的珍贵佛像和其他艺术品。其中最引人注目的，是一尊僧形八幡神坐像，这也是寺院的主佛。据传，这尊坐像出自平安时代(794-1185)，原本雕刻的是地藏菩萨，到后来才被当作八幡大菩萨来祭拜。在漫长的“神佛习合”时期，这尊佛像一直被供奉在石清水八幡宫内，直到1868年政府下令拆分两种宗教后，才移入善法律寺。八幡神像两侧的佛龛里分别供奉着不动明王和爱染明王，这两尊佛像均出自镰仓时代(1185-1333)。主神龛后另有一间佛堂，堂内供有多尊佛像，其中一尊宝冠阿弥陀佛坐像也是自石清水八幡宫神社内移来。

善法律寺对公众开放，但进入本堂（正殿）需预约，寺院仅接受日文预约申请。

<繁体字>

善法律寺

善法律寺是一座坐落在男山脚下的佛教律宗寺院，寺院内外的近百株红枫因而有「紅葉寺」別稱，每到秋天楓葉變紅和春天新綠綻放的時節都格外美麗。

善法律寺於13世紀中葉，由石清水八幡宮中歷任檢校（統管神社與佛寺的長官）之一的善法寺家族當代家主「善法寺宮清」作為菩提寺（特指安葬、供奉祖先的家廟）而建，

宮清任職時の石清水八幡宮還是實踐「神佛習合」（神道教與佛教相融合）的「社寺」綜合體。善法律寺宮清的曾孫女紀良子（1336-1413）後來嫁給第二任足利將軍為側室，並生下了第三任足利將軍。她是於善法律寺影響力很大的贊助者，之後歷代將軍對善法律寺提供資助及支持成為了足利家的傳統，傳說寺院著名的紅楓林就是這位將軍母親所捐種。

善法律寺的本堂（正殿）和正門都是京都府指定文化財產，兩者的歷史可分別追溯至 17 世紀和 18 世紀，相傳修建正殿所用的建築材料都取自曾屬於石清水八幡宮的一處建築物。本堂內有許多被指定為八幡市文化財產的珍貴佛像和其他藝術品，其中最引人注目的，是一尊僧形八幡神坐像，這也是寺院的主佛。據傳，這尊像出自平安時代（794-1185），原本雕刻的是地藏菩薩，到後來才被當作八幡大菩薩來祭拜。在漫長的「神佛習合」時期，這尊佛像一直被供奉在石清水八幡宮內，直到 1868 年政府下令拆分兩種宗教後，才移入善法律寺。八幡神像兩側的佛龕裡分別供奉著不動明王和愛染明王，這兩尊佛像均出自鎌倉時代（1185-1333）。主神龕後另有一間佛堂，堂內供有多尊佛像，其中一尊寶冠阿彌陀佛坐像也是自石清水八幡宮神社內移來。

善法律寺對公眾開放，進入本堂（正殿）需預約，但寺院僅接受日文預約申請。

<日本語仮訳>

善法律寺

善法律寺は、男山のふもとにある律宗のお寺です。境内にある約 100 本の美しいモミジの木から、別名もみじ寺とも呼ばれています。このモミジは、葉が色づく秋が最も見頃ですが、鮮やかな新緑が現れる春もおすすです。

善法律寺は、13 世紀半ばに、近くの石清水八幡宮がかつて神道と仏教を融合して信仰していた神仏習合の施設であった頃に検校（社寺を統括する長官）を歴任した家系の当主であった善法律寺によって、菩提寺（先祖代々の墓があり、法要を行う寺院）として建てられました。彼の曾孫娘の紀良子（1336-1413）は、足利二代將軍の側室で三代將軍の母となった人物で、この寺院の非常に影響力のある支援者であり、足利將軍はその後も何代にもわたりその伝統を守り続けました。有名なモミジの木も彼女の寄進がきっかけだと言われています。

京都府の文化財に指定されている善法律寺の本堂と表門は、それぞれ 17 世紀と 18 世紀に建てられました。本堂は、かつて石清水八幡宮にあった建物の材料の一部を使って建てられたと言われています。八幡市の文化財に指定されている貴重な彫像や芸術作品が数多くあります。最も注目すべきは、寺院の本尊である僧形八幡坐像です。この像は元々、地藏菩薩像として平安時代（794-1185）に制作され、後年八幡大菩薩として祀られるようになったと言われています。この像は、神仏習合時代の長い年月、石清水八幡宮に祀られていましたが、1868 年に政府の命令により両宗教が分離されたときに、善法律寺に移されました。八幡神の脇仏である不動明王と愛染明王の大きな像は、鎌倉

時代（1185-1333）の作です。本尊の後ろには、石清水八幡宮から移された宝冠阿弥陀如来坐像をはじめとする数々の仏像を安置した奥殿があります。

善法律寺の境内は一般公開されていますが、本堂の拝観は事前にご予約いただく必要があります。お問い合わせは日本語のみでの受付となりますので、ご注意ください。

【タイトル】 神應寺

【想定媒体】 看板

<簡体字>

神应寺

有说法称神应寺是石清水八幡宮の創建者行教和尚在 860 年所建。寺院の建造初衷是为安放日本第十五任天皇应神天皇の牌位。

直到室町时代(1336-1573)，神应寺才成为曹洞宗禅寺。包括丰臣秀吉(1537-1598)和德川家康(1543-1616)以及其后诸多德川幕府将军在内的权势人物都对神应寺十分推崇。

本堂（正殿）主供药师佛，此外还有一尊衣冠束带的丰臣秀吉像和出自平安时代(794-1185)早期的行教像。其中行教像被指定为国家重要文化财产，在“神佛习合”时期一直供奉在石清水八幡宮内，1868 年政府下令拆分神道教与佛教后，才被移至神应寺。

寺院脚下的山谷内有若干佛堂，名叫“奥之院”，其中一处供奉着不动明王。也有参拜者专为到“ひきめ”(Hikime)瀑布苦修冥想而来。

<繁体字>

神應寺

有說法稱神應寺是石清水八幡宮的創建者行教和尚在 860 年所建，寺院の建造初衷是為安放日本第十五任天皇應神天皇の牌位。

直到室町時代（1336-1573），神應寺才成為曹洞宗禪寺，包括豐臣秀吉（1537-1598）和德川家康（1543-1616）以及其後諸多德川幕府將軍在內的權勢人物都對神應寺十分推崇。

本堂（正殿）主供藥師佛，此外還有一尊衣冠束帶的豐臣秀吉像和出自平安時代（794-1185）早期的行教像。其中行教像被指定為國家重要文化財產，在「神佛習合」時期一直供奉在石清水八幡宮內，1868 年政府下令拆分神道教與佛教後，才被移入神應寺。

寺院腳下的山谷內有若干佛堂，名叫「奧之院」，其中一處供奉著不動明王。也有參拜者是專為到「ひきめ」（Hikime）瀑布苦修冥想而來。

<日本語仮訳>

神應寺

神應寺は、石清水八幡宮を開いた行教律師によって、860年に創建されたと言われています。このお寺は元々、第15代天皇である應神天皇の御位牌を祀るために建てられました。

神應寺は室町時代（1336-1573）から続く曹洞宗の寺院です。ここは豊臣秀吉（1537-1598）や、徳川家康（1543-1616）を起源とする徳川家の歴代将軍などの権力者たちから崇拝されてきました。

本堂には、薬師如来の像が安置されています。また、衣冠束帯の豊臣秀吉像や、国指定重要文化財である平安時代（794-1185）初期の行教律師像もあります。行教像は元々、神仏習合の時代の石清水八幡宮に安置されていました。1868年の政府の命による神仏分離が行われた後、神應寺に移されました。

神應寺の麓谷の奥には「奥の院」と称される数棟のお堂があり、その中の一棟には不動明王が祀られています。また、「ひきめの滝」で滝行を行うために奥の院を訪れる参拝者もいます。

【タイトル】 神應寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**神应寺**

神应寺坐落于男山东北坡，与石清水八幡宫之间隔着一条山谷。春日时节，寺院遍地开满日本鸢尾，成片的枫树新绿绽放；到了秋天，枫叶染红转黄，热烈明亮。两季美景吸引无数游人应时前来游赏。

相传神应寺是行教和尚于公元 860 年创建，即他建立石清水八幡宫之后不久。修建寺庙的初衷是为了供奉应神天皇的牌位，这位传说中的日本第十五代天皇的神格，正是供奉于石清水八幡宫的八幡神。神应寺历史上几度改变宗派归属，直到室町时代(1336-1573)才成为曹洞宗禅寺并延续至今。在第十二代住持任上时期，神应寺得到了包括丰臣秀吉(1537-1598)、德川家康(1543-1616)在内诸多当权者的认可推崇。家康之后的历代德川将军也都延续了这一传统。

寺院正殿供奉的主佛是药师佛，佛教中能除病痛疾厄的佛陀。此外，同时受供于此的还有：一尊衣冠束带的丰臣秀吉像，有说法认为这是他的儿子丰臣秀赖(1593-1615)所供；一尊寺院创建者行教和尚的坐像，其历史可追溯到平安时代(794-1185)早期。其中，行教像已被指定为国家重要文化财产。在“神佛习合”（神道教与佛教相融合）时期，行教像一直供奉在石清水八幡宫内，那时后者还是践行两教融合的“社寺”综合体。1868 年，政府下令拆分神道教与佛教，行教像遂被移至神应寺。

寺院脚下的山谷内有若干佛堂，名叫“奥之院”，其中一处供奉智慧光明之佛不动明王，一处供奉着一尊大慈大悲菩萨十一面观音像，其他另有几处供奉立志普渡众生的地藏菩萨。也有参拜者是专为到谷中“ひきめ”(Hikime)瀑布苦修冥想而来。

神应寺的坡上和山谷区域均对公众开放，但进入主要建筑参观需预约，寺院仅接受日文预约申请。

<繁体字>**神應寺**

神應寺坐落於男山東北坡，與石清水八幡宮之間隔著一條山谷。春季時分，寺院遍地開滿日本鳶尾花，成片的楓樹新綠綻放；到了秋天，楓葉染紅轉黃，樹影婆娑，兩季美景吸引無數遊人應時前來遊賞。

相傳神應寺是行教和尚在西元 860 年創建，也就是在他建立石清水八幡宮之後不久。寺廟的修建初衷是為了供奉應神天皇的牌位，這位傳說中的日本第十五代天皇的神格，也是石清水八幡宮所供奉的八幡神。神應寺歷史上曾幾度改變宗派歸屬，直到室町時代（1336-1573）才成為曹洞宗禪寺，延續至今。在第十二代住持任上，神應寺得到了包括豐臣秀吉（1537-1598）、德川家康（1543-1616）在內諸多當權者的認可和敬重，家康之後的各代德川將軍也都延續了這一傳統。

寺院正殿所供奉的主佛是藥師佛，是佛教中能除病痛疾厄的佛陀。此外，同時受供於此的還有：一尊衣冠束帶的豐臣秀吉像，有說法認為這是他的兒子豐臣秀賴（1593-1615）所供；一尊寺院創建者行教和尚的坐像，其歷史可追溯到平安時代（794-1185）早期。其中，行教像已被指定為國家重要文化財產。在「神佛習合」（神道教與佛教相融合）時期，行教像一直供奉在石清水八幡宮內，那時後者還是實踐兩教融合的「社寺」綜合體。1868 年，政府下令拆分神道教與佛教，行教像遂被移入神應寺。

寺院腳下的山谷內有若干佛堂，名叫「奧之院」，其中一處供奉智慧光明之佛不動明王，一處供奉著一尊大慈大悲菩薩十一面觀音像，其他另有幾處供奉立志普渡眾生的地藏菩薩。也有參拜者是專為到谷中「ひきめ」（Hikime）瀑布苦修冥想而來。

神應寺的坡上和山谷區域均對公眾開放，進入主要建築參觀需預約，但僅接受日文預約申請。

<日本語仮訳>

神應寺

神應寺は男山の北東側にあり、石清水八幡宮から谷を隔てて建っています。境内には春に咲く「シヤガ」が群生しています。また多くのもみじの木があり、春には青もみじ、秋には色鮮やかな黄色や紅に染まり、参拝者たちを楽しませています。

神應寺は行教律師が石清水八幡宮の開山後間もない、860 年に創建したと言われています。神應寺は元々、石清水八幡宮で八幡神として神格化された日本の伝説的な第 15 代天皇である、應神天皇の御位牌を祀るため建てられました。この寺院は長い歴史の中で何度か宗派を変えましたが、室町時代（1336-1573）からは曹洞宗の寺院になりました。第 12 代住職の代に、神應寺は、豊臣秀吉（1537-1598）、徳川家康（1543-1616）などの権力者たちから崇拜されました。そして家康の後の歴代の徳川家の将軍たちもそれに倣いました。

本堂には、医学と治療の仏様である薬師如来像が本尊として安置されています。また、豊臣秀吉の息子の秀頼（1593-1615）からの寄進とされる衣冠束帯の豊臣秀吉像や、平安時代（794-1185）初期に作られた創建者である行教律師の座像もあります。国指定重要文化財の行教像は元々、神仏習合時代の石清水八幡宮に安置されていました。1868年の政府の命による神仏分離の後、神應寺に移されました。

神應寺の麓谷の奥には「奥の院」と称される数棟のお堂があり、智慧の仏である不動明王が祀られているお堂、慈悲の菩薩である十一面観音が祀られているお堂、そして生命のある全てのものの救世主である地蔵菩薩が祀られているお堂があります。また、「ひきめの滝」で滝行を行うために奥の院を訪れる参拝者もいます。

神應寺の坂上の部分と谷の部分を含む境内は一般公開されていますが、主な建築物に入るには予約が必要です。お問い合わせは日本語のみでの受付となりますので、ご注意ください。

【タイトル】 飛行神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

飞行神社

飞行神社的历史并不长，由日本航空飞行先驱二宫忠八(1866-1936)所建。

忠八自小对飞行着迷，20 多岁便从大自然中得到灵感，研制了一架固定机翼的“乌鸦型飞行器”，并在 1891 年试飞成功。此外，他还制作了一架无尾双翼载人式“玉虫型飞行器”（玉虫：宝石甲虫）。此后，为积攒制造载人飞机的资金，忠八曾一度中断研制，在药企工作多年。终于，他在八幡开始研制全尺寸的飞行器，但在完成前夕的 1903 年传来消息：莱特兄弟成功制造出了世界上首架自带可持续飞行动力系统的可操控型重型载人飞机。

后来，航空事故带来的死亡渐渐令忠八无法释怀。他转投神道教，于 1915 年建起这座飞行神社，主祭天空之神饶速日命。左侧祭坛祭祀日本药业杰出人物，右侧祭祀因空难丧生的人们。基于同一天空下的理念，飞行神社不论国别，为全球空难者祭祀祈福。

神社内有一个博物馆，主要展示忠八生平及其发明，展品包括设计图、风筝、照片和飞机模型等。

<繁体字>

飛行神社

飛行神社的歷史並不長，為日本航空飛行先驅二宮忠八（1866-1936）所建。

忠八自小對飛行著迷，20 多歲便從大自然中得到靈感，研製了一架固定機翼的「烏鴉型飛行器」，並在 1891 年試飛成功。此外，他還製作了一架無尾雙翼載人式「玉蟲型飛行器」（玉蟲：寶石甲蟲）。此後，為積攢製造載人飛機的資金，忠八在製藥公司工作多年才得以繼續研製。終於他在八幡開始建造全尺寸的飛行器，但尚未完成，便在 1903 年傳來消息：萊特兄弟成功製造出了世界首架可操控型重型載人飛機，自帶可持續飛行動力系統。

之後，航空事故帶來的死亡漸漸令忠八無法釋懷。他轉投神道教，於 1915 年建起這座飛行神社，主祭天空之神饒速日命。左側祭壇祭祀日本藥業傑出人物，右側祭祀因空難喪生的人。基於同一天空下的理念，飛行神社不論國別，為全球空難者祭祀祈福。

神社內有一個博物館，展示忠八生平及其發明，展品包括設計圖、風箏、照片和飛機模型等。

<日本語仮訳>

飛行神社

飛行神社は、日本航空界の先駆者である二宮忠八（1866-1936）によって創建された比較的新しい神社です。

忠八は、幼い頃に空を飛ぶことへ興味を持ち始め、20代の頃、彼は自然から着想を得て、固定翼の「カラス型飛行器」を製作し、1891年にはその飛行に成功。また、尾翼がなく人が乗れる複葉機モデルである「玉虫型飛行器」を作りました。忠八は、有人飛行機の製作資金を得るために何年も製薬会社で働き努力しました。彼は八幡で試作機の製作を始めましたが、完成前の1903年に、ライト兄弟が動力付き重航空機の制御飛行を世界で初めて成功させました。

その後、飛行機関連の死者が増加することを憂慮していた忠八は、神職となり、1915年に「飛行神社」を創設しました。中央の祭壇には、空の神様である饒速日命が祀られています。左側の祭壇には、日本の製薬業界の著名人が祀られています。右側の祭壇は、航空事故で亡くなられた御霊が祀られています。世界は同じ空の下でつながっているという信念に基づき、飛行神社は国籍に関係なく、すべての犠牲者を祀っています。

この神社には、スケッチ、凧、写真、そして飛行機の模型を含め、忠八と彼の発明に関連する品々を収蔵する資料館があります。

【タイトル】 飛行神社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

飞行神社

飞行神社的历史并不长，它是一座现代神社，为日本航空飞行先驱二宫忠八(1866-1936)创建。这里以祈祷飞行安全和祭奠所有空难者而闻名。基于全世界共处同一天空之下的理念，飞行神社不论国别，为全球所有在飞行事故中遇难的人们祭祀祈福。

二宫忠八从小便对飞行器着迷，终其一生不曾改变。父母双双故去时，他才十几岁的年纪，却已开始为叔父的药厂工作。为了维持学业，他还自己设计风筝售卖。20 多岁时，他进入部队成为一名医务兵。在此期间，忠八由大自然中得到灵感，研制出了一架以橡胶提供动力的固定翼模型飞机，称“乌鸦型飞行器”，并在 1891 年试飞成功。随后，他又在 1893 年成功制作了“玉虫型飞行器”（玉虫：宝石甲虫），这是一款无尾双翼式载人模型飞机。但由于资金短缺，忠八只能暂时搁置后续研究计划，花费了数年时间供职于医药行业以积蓄资金。终于，他在八幡找到了一片地，开始建造全尺寸的飞行器。然而，项目尚未完成，便在 1903 年传来消息：莱特兄弟成功制造出了世界首架可操控型重型载人飞机，且飞机自带可持续飞行动力系统。

忠八的研发项目虽然半途而废，但他对飞行器的热爱从未消失。但随着人类进入飞行时代，丧生于飞行事故的人越来越多，这让忠八始终无法释怀。为此，他投身神道教，并在 1915 年建造了这座神社，命名为“飞行神社”。神社本殿（正殿）内设有三个祭坛：中央祭坛供奉天空之神饶速日命；右侧祭坛祭祀空难中丧生者的亡灵及诸航空先驱；左侧祭坛供奉日本制药业的杰出人物。

神社在 1989 年重建，增加了一个古典西式拜殿，有立柱和彩绘玻璃装饰，玻璃上绘有曾启发二宫忠八发明灵感的小动物。

神社内的博物馆展出二宫忠八相关生平及其发明，展品包括设计图、照片、艺术品、风筝和他所研制的飞机模型。此外，飞行爱好者捐献的数百架飞机模型也都陈列在这里。

<繁体字>

飛行神社

飛行神社の歴史並不長，它是一座現代神社，為日本航空飛行先驅二宮忠八（1866-1936）所創建，以祈禱飛行安全和祭奠所有空難者而聞名。基於全世界共處同一天空之下的理念，飛行神社不論國別，為全球所有在飛行事故中遇難的人們祭祀祈福。

二宮忠八從小便對飛行器著迷，終其一生不會改變。父母雙雙去世時，他才十幾歲的年紀，卻已開始在叔父的藥廠裡工作。為維持學業，他還同時售賣自己設計的風箏。20 多歲時，他進入部隊成為一名醫務兵。在此期間，忠八由大自然中得到靈感，研製出了一架以橡膠提供動力的固定翼模型飛機，稱「烏鴉型飛行器」，並在 1891 年試飛成功。隨後，他又在 1893 年成功製作了「玉蟲型飛行器」（玉蟲：寶石甲蟲），這是一款無尾雙翼式載人模型飛機。但由於資金短缺，忠八只能暫時擱置後續研究計畫，花費了數年時間任職於醫藥行業累積資金。終於，他在八幡找到了一片地，開始製作全尺寸的飛行器，然而項目尚未完成，便在 1903 年傳來消息：萊特兄弟成功製造出了世界首架可操控型重型載人飛機，自帶可持續飛行動力系統。

忠八的研發雖然半途而廢，但他對飛行器的熱愛從未消失。但隨著人類進入飛行時代，喪生於飛行事故的人越來越多，這讓忠八始終無法釋懷。為此，他投身神道教，並在 1915 年建造了這座神社，命名為「飛行神社」。神社本殿（正殿）內設有三個祭壇：中央祭壇供奉天空之神饒速日命；右側祭壇祭祀空難中喪生者的亡靈，以及航空先驅們；左側祭壇供奉日本製藥業的傑出人物。

神社在 1989 年重建，增加了一個古典西式拜殿，有著立柱和彩繪玻璃裝飾，玻璃上繪有啟發二宮忠八發明靈感的小動物。

神社內的博物館展出二宮忠八相關生平及其發明，展品包括設計圖、照片、藝術品、風箏和他所研製的飛機模型。此外，飛行愛好者捐獻的數百架飛機模型也都陳列在此。

<日本語仮訳>

飛行神社

飛行神社は、日本航空界の先駆者である二宮忠八（1866-1936）によって創建された比較的新しい神社です。安全な空の旅を祈願する場所として有名であり、航空事故で亡くなったすべての人々の霊を祀っています。世界は同じ空の下でつながっているという信念に基づき、飛行神社は国籍に関係なくすべての犠牲者を祀っています。

忠八は、幼い頃に空を飛ぶことへ興味を持ち始め、それは生涯を通してずっと続きました。両親亡き後、伯父の薬種商で働いていた 10 代の頃、学業のために凧を設計して販売しました。看護卒を務めていた 20 代の頃、彼は自然から着想を得て、固定翼のゴム製の「カラス型飛行器」を作り、1891 年にその飛行に成功しました。次に 1893 年に、尾翼がなく人が乗れる複葉機モデルである「玉虫型飛行器」を作りましたが、資金不足のため、忠八のさらなる計画は頓挫しました。彼は製薬業界で数年働いた後、八幡に土地を得て実物大の試作機の製作を開始しました。しかし、そのプロジェクトが完了

する前の 1903 年に、ライト兄弟が、動力付き飛行機の持続的な制御飛行を世界で初めて成功させてしまいます。

忠八は自身のプロジェクトは断念したものの、飛行機への熱意を失うことはありませんでした。人類が飛行の時代に入ると、彼は飛行機関連の事故による死者数の増加を憂慮しました。このことが彼を神職へと導き、1915 年にはこの神社を創設し、「飛行神社」と名付けました。その本殿は 3 つの祭壇からなります。中央の祭壇には、空の神様である饒速日命が祀られています。右側の祭壇は、航空事故で亡くなった御霊と航空業界の開拓者たちが祀られています。左側の祭壇には、日本の製薬業界の著名人が祀られています。

この神社は 1989 年に古代西洋風の拝殿を備えて再建され、拝殿は柱と、忠八の模型に影響を与えた動物を描いたステンドグラス装飾を備えています。

資料館には、忠八と彼の発明に関連する多くの品々が展示されており、その中にはスケッチ、写真、アート、凧、そして彼が開発した飛行機の模型なども含まれます。航空愛好家から寄贈された何百もの飛行機の模型も展示されています。

【タイトル】 単傳庵（らくがき寺）

【想定媒体】 看板

<簡体字>

单传庵（涂鸦寺）

单传庵也常被称为“涂鸦寺”。其他神社或寺庙，参拜者多会把心愿写在被称为“绘马”的小木牌上，挂在殿外。这里则不同，祈愿都是直接写在寺院大黑堂内的墙壁上，更方便殿内供奉的大黑天看到。

在日本，大黑天是七福神中掌管财富之神。单传庵供奉的小佛像被称为“行走的大黑天”，因为它的姿态仿佛正在迈步行走。依照寺庙传说，这尊佛像所使用的香樟木，是著名武士、武将楠木正成(1294?-1336)当年为祈求胜利而捐献给附近石清水八幡宫神社的。

单传庵的源起已不可考，现存记录只显示它在 1711 年由临济宗妙心寺派的瑞应和尚(1664-1734)重建。寺庙曾数度迁址，至 20 世纪早期荒废塌毁，后于 20 世纪 50 年代在当地社区的支持和捐助下得以复兴至今日面貌。

<繁体字>

單傳庵（塗鴉寺）

單傳庵也常被稱為「塗鴉寺」。其他神社、寺廟，參拜者多會把心願寫在「繪馬」（彩繪木牌）上，再將繪馬掛在殿外，這裡則是直接把祈願寫在寺院大黑堂內的牆壁上，方便殿內供奉的大黑天看到。

在日本，大黑天是七福神中掌管財富之神。單傳庵供奉的小神像被稱為「行走的大黑天」，因為小神像姿態就好像正邁步行走。依照寺廟傳說，這尊佛像所使用的香樟木，是著名武士、武將楠木正成（1294?-1336）當年為祈求勝利而捐獻給附近石清水八幡宮神社的。

單傳庵的源起已不可考，現存記錄只顯示在 1711 年由臨濟宗妙心寺派的瑞應和尚（1664-1734）重建。寺廟曾數度遷址，至 20 世紀初時荒廢塌毀，後於 20 世紀 50 年代在當地社區的支持和捐助下得以復興至今日面貌。

<日本語仮訳>

単伝庵（らくがき寺）

単伝庵寺院は「らくがき寺」として一般に知られています。小さな木製の平板（絵馬）に願い事を書いて神社や寺院のお堂の外に掛けるという一般的な習慣とは異なり、大黒堂に安置されている大黒天に願い事をより良く見てもらえるようにと、参拝者は大黒堂の内壁に直接願い事を書きます。

日本では、大黒天は財福の神様であり七福神の一柱です。単伝庵にある小さな像は、走っているかのように彫られていることから、「走り大黒天」と呼ばれています。寺の伝説では、この像は、著名な武士・武将である楠木正成（1294？-1336）が戦の勝利を祈願して近隣の石清水八幡宮に寄進した楠の木の一部で作られているといわれています。

単伝庵の起源は不明ですが、現存する記録によると、1711年に臨済宗妙心寺派の僧侶である瑞応（1664-1734）が再興したとされています。その後何度か移転を繰り返しますが、20世紀初頭には荒廃してしまいます。1950年代になって地域の支援と寄進により、現在の形に復興しました。

【タイトル】 単傳庵（らくがき寺）

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

单传庵（涂鸦寺）

单传庵是一座小小的佛寺，更为人所知的名字是“涂鸦寺”。自从供奉大黑天的新佛堂“大黑堂”落成，一个新传统随之形成：参拜者直接将祈愿写在大黑堂内墙上，方便神明看到。它取代了寻常把心愿写在被称为“绘马”的小木牌上、再挂在神庙或佛堂外的做法。每年 12 月底，寺僧都会重新粉刷内壁，以备来年参拜者能继续在白墙上写下心愿。

单传庵的起源已不可考，现存记录只显示它在 1711 年由临济宗妙心寺派的和尚瑞应(1664-1734)重建。这座小寺曾数度迁址，20 世纪早期更是陷入了荒废塌毁的境地。但随后，一位受命前来的新任住持开始募捐，终于在 1957 年重建寺庙，并新增了现在的大黑堂。

大黑堂中供奉的大黑天，它在日本文化中是七福神中掌管财富之神。堂内这尊小佛像被称为“行走的大黑天”，因为它的姿态就像正在迈开步子行走。佛像身背大号褡裢，手持木槌，两者皆是财富丰饶的象征。依照寺庙传说，这尊佛像所用的香樟木，是著名武士、武将楠木正成(1294?-1336)当年为祈求胜利而向附近的石清水八幡宫捐赠的一段。

不过，大黑堂并非单传庵的本殿，本殿是一座两层结构的佛堂，主要供奉一尊近年雕刻的释迦牟尼佛像，另有一尊在寺中已供奉 200 余年的大慈大悲观音菩萨像。此外，地藏堂供奉救赎众生的地藏菩萨，精心养护的寺庙庭园里也散布着好几处小佛坛。

单传庵每逢周六、周日及新年假期对外开放。工作日可接受团队参观，需电话预约，请留意寺院只接受日文申请。

<繁体字>

單傳庵（塗鴉寺）

單傳庵是一座小小的佛寺，更為人所知的名字是「塗鴉寺」。自從供奉大黑天的新佛堂「大黑堂」落成後，一個新的傳統隨之形成：參拜者直接將祈願寫在大黑堂內牆上，方便神明看到。它取代了尋常把心願寫在被稱為「繪馬」的小木牌上、再掛在神廟或佛堂外的做法。每年 12 月底，寺僧都會重新粉刷內壁，以備來年參拜者能繼續在白牆上寫下心願。

單傳庵の起源已不可考，現存記錄只顯示於 1711 年由臨濟宗妙心寺派的和尚瑞應（1664-1734）重建。這座小寺曾數度遷址，20 世紀早期更是陷入了荒廢塌毀的境地。但隨後，一位受命前來的新任住持開始募捐，終於在 1957 年重建寺廟，並新增了現在的大黑堂。

大黑堂中供奉的大黑天，在日本文化中是七福神中掌管財富之神。堂內這尊小佛像被稱為「行走的大黑天」，因為其姿態像是正在邁步行走。佛像身背大號褡褳，手持木槌，兩者皆是財富豐饒的象徵。依照寺廟傳說，這尊佛像所用的香樟木，是著名武士、武將楠木正成（1294?-1336）當年為祈求勝利而向附近的石清水八幡宮捐贈的一段。

不過，大黑堂並非單傳庵的本殿。本殿是一座兩層結構的佛堂，主要供奉一尊近年雕刻的釋迦牟尼佛像，另有一尊在寺中供奉了 200 餘年的大慈大悲觀音菩薩像。此外，地藏堂供奉救贖眾生的地藏菩薩，精心養護的寺廟庭園裡也散佈著好幾處小佛壇。

單傳庵每逢週六、週日及新年假期對外開放，平日也可接受團體參觀，但需要透過電話預約，並且請留意寺院僅接受日文申請。

<日本語仮訳>

単傳庵（らくがき寺）

単傳庵は、「らくがき寺」として有名な小さな寺院です。大黒天像を安置するために新しいお堂「大黒堂」が建てられたとき、大黒天に願い事をより良く見てもらえるよう、内壁に直接願い事を書くのが習わしとなりました。これは、絵馬と呼ばれる小さな木製の平板に願い事を書いて神社や寺院のお堂の外に掛けるという、一般的な習慣の代わりとなるものです。僧侶たちが新年に備えて 12 月下旬に壁を塗り直すので、新年になると参拝者は再び白い壁に書くことができます。

単傳庵の起源は不明ですが、現存する記録によると、1711 年に臨濟宗妙心寺宗派の僧侶である瑞應（1664-1734）が再興したとされています。何度か移転を繰り返しますが、20 世紀初頭には荒廃してしまいます。新たに任命された住職は托鉢を行い、1957 年に新しい大黒堂ができ、寺は復興しました。

お堂に安置されている小さな像は、日本でいう財福の神様であり七福神の一柱である大黒天を表現しています。この像は、走っているかのように彫られていることから「走り大黒天」と呼ばれています。大黒天は大きな袋を背負い、木槌を手に持っており、その両方が繁栄を象徴しています。寺の伝説では、この像は、著名な武士・武将である楠木正成（1294? -1336）が戦の勝利を祈願して近隣の石清水八幡宮に寄進した楠の木の一部で作られているといわれています。

大黒堂の他に、この寺院には 2 階建ての本堂があり、そこでは本尊である近年に作られた釈迦牟尼仏像と、慈悲の菩薩である観音菩薩の像を安置しています。観音菩薩像は、200 年以上も単傳庵で保管されています。地藏堂は、生命のある全てのものの救世主である地藏菩薩を祀っており、この寺院の手入れの行き届いた庭には、他にもいくつか小さな祭壇があります。

単伝庵は土・日・年末年始に参拝のため公開されています。平日は、電話での事前予約により団体での参拝が可能です。お問い合わせは日本語のみでの受付となりますので、ご注意ください。

【タイトル】 相槌神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

相槌神社

相槌神社与铸刀关系密切，人们相信用神社旁的井水能够铸出上好的刀剑。相传平安时代(794-1185)后期的名匠五郎太夫安纲和三条宗近都用这处井水铸造刀剑，其中最出名的杰作就是“髭切”“膝丸”，这两柄是英豪辈出的源氏家族所珍藏的名刀。

在神社传说中，安纲铸刀时会得到掌管商业和农业的稻荷神现身相助。因此，宝刀顺利铸成后不久，相槌神社就在这口井旁建起，用以祭祀稻荷神。江户时代(1603-1867)，井口筑起石台，又不知从什么时候开始，刀匠三条宗近的介绍也出现在了神社铭牌上。

石清水八幡宫对相槌神社的管理只持续到1710年，但因相槌神社的神德信仰深厚，以至本地居民自发募集资金进行修葺维护。

相槌神社背依男山，社旁的参道通往石清水八幡宫。

<繁体字>

相槌神社

相槌神社與鑄刀關係密切，人們相信用神社旁的井水能夠鑄出上好的刀劍。相傳平安時代（794-1185）後期的鑄刀名匠五郎太夫安綱和三條宗近都用這處井水鑄造刀劍。其中，最出名的傑作就是「髭切」「膝丸」這兩柄，是被英豪輩出的源氏家所珍藏的名刀。

在神社傳說中，安綱鑄刀時會得到掌管商業和農業的稻荷神現身相助，因此寶刀順利鑄成後不久，相槌神社就在這口井旁建起，用以祭祀稻荷神。江戶時代（1603-1867），井口築起了石台，而又不知從何時開始，刀匠三條宗近的介紹也出现在了神社銘牌上。

石清水八幡宮對相槌神社的管轄持續到了1710年。由於相槌神社的神德信仰深厚，以致當地居民自發募集資金進行修葺維護。

相槌神社背依男山，社旁的參道通往石清水八幡宮。

<日本語仮訳>

相槌神社

相槌神社は、その水が優れた刀を作るのに適しているとされる井戸が神社脇にあることから刀作りとのゆかりの深い神社です。平安時代（794-1185）後期には、有名な刀鍛冶である五郎太夫安綱と三条宗近が、相槌神社の隣にある井戸の水を使って刀を鍛造したと言われています。その中で最も有名なのは髭切と膝丸で、この 2 本の刀は、多くの武将を輩出した源氏の宝刀と見なされています。

神社の伝説によると、商業と農業の神である稲荷の神が、安綱の刀の鍛造を助けるため現れたとされています。この刀が無事に完成した後、この稲荷の神を祀るため、井戸の隣に相槌神社が建立されました。相槌神社の井戸には、江戸時代（1603-1867）に石が敷き詰められ、いつ頃かは不明ですが、神社の銘板に刀工の三条宗近についての記載が加えられました。

相槌神社は 1710 年まで石清水八幡宮によって管理されていましたが、その神徳への信仰が非常に厚かったことから、近隣住民が独自に資金を集めて手入れを行うようになりました。

相槌神社の裏手にある山は男山で、神社の脇から出ている参道は石清水八幡宮に続いています。

【タイトル】 相槌神社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

相槌神社

相槌神社位于男山脚下一条通往石清水八幡宫神社的参道起点旁。相传，平安时代(794-1185)晚期的著名刀匠五郎太夫安纲和三条宗近当年铸刀时用的都是神社旁那口井里的水，其中最著名的就是历史上英豪辈出的源氏家族所拥有的两柄珍品名刀“髭切”和“膝丸”。

在神社的传说中，当年五郎太夫安纲铸刀时会得到掌管商业与农业的稻荷神现身相助。因此，宝刀顺利铸成后，相槌神社就在井旁建立起来，用以供奉稻荷神。神坛两侧立有两尊狐狸塑像，狐狸被认为是稻荷神的信使。

这口井曾被称为“山之井”或“藤木井”，因为井台的石板是江户时代(1603-1867)幕府里担任“金银御用改役”（统管货币制造、鉴定、检验的长官）的后藤庄三郎捐赠。这是八幡地区现存的五处古井中的一口。不知从什么时候开始，神社的铭牌上也出现了刀匠三条宗近的介绍。

石清水八幡宫对相槌神社的管理只持续到了1710年，但因相槌神社的神德信仰深厚，以至当地民众自行发起捐募进行修缮维护。

关于“髭切”“膝丸”这两把与相槌神社关系密切的太刀，传言猜测颇多。多份古籍均表明，它们在历史上曾数次改名，也曾属于不同的主人。如今京都府北野天满宫和大觉寺各藏有一把被指定为国家重要文化财产的珍贵古刀，有人认为它们就是“髭切”和“膝丸”。

相槌神社对公众开放，但除了每月1日和15日举办常规仪式时之外，神社事务所日常无人值守。更多信息可参见相槌神社官方网站。

<繁体字>

相槌神社

相槌神社位於男山腳下一條通往石清水八幡宮神社的參道起點旁。相傳，平安時代(794-1185)晚期的著名刀匠五郎太夫安綱和三條宗近當年鑄刀時，用的都是神社旁那口井裡的水，其中最著名的就是歷史上英豪輩出的源氏家族所擁有的兩柄珍品名刀「髭切」和「膝丸」。

在神社的傳說裡，五郎太夫安綱當年鑄刀時會得到掌管商業與農業的稻荷神現身相助，因此，在寶刀順利鑄成後，相槌神社就在井旁建立起來，用以供奉稻荷神，神壇兩側立有兩尊狐狸塑像，狐狸被認為是稻荷神的信使。

這口井曾被稱為「山之井」或「藤木井」，因為井台的石板是由江戶時代（1603-1867）在幕府擔任「金銀御用改役」（統管貨幣製造、鑑定、檢驗的長官）的後藤莊三郎捐贈。這是八幡地區現存的五處古井之一。不知從什麼時候開始，神社的銘牌上也出現了刀匠三條宗近的介紹。

石清水八幡宮對相槌神社的管理只持續到 1710 年，但因相槌神社神德信仰深厚，以至於當地民眾自行發起捐募進行修繕維護。

關於「髭切」和「膝丸」這兩把與相槌神社關係密切的太刀，傳言猜測頗多。多份古籍均表明，這兩把太刀在歷史上曾數次改名，也曾屬於不同的主人。如今京都府北野天滿宮和大覺寺各藏有一把被指定為國家重要文化財產的珍貴古刀，有人認為它們就是「髭切」和「膝丸」。

相槌神社對外開放，但除了在每月 1 日和 15 日舉辦定期儀式外，其他時間神社事務所無人值守，更多資訊可參見相槌神社官方網站。

<日本語仮訳>

相槌神社

相槌神社は、男山のふもと、石清水八幡宮に続く参道の入口にあります。平安時代（794-1185）後期には、有名な刀鍛冶である五郎太夫安綱と三条宗近が、相槌神社の隣にある井戸の水を使って刀を鍛造したと言われています。その中で最も有名なのは髭切と膝丸で、この 2 本の刀は、歴史を通じて多くの武将を輩出した源氏の宝刀と見なされています。

神社の伝説によると、商業と農業の神である稲荷の神が、五郎太夫安綱の刀の鍛造を助けるため現れたとされています。刀が無事に完成した後、この稲荷の神を祀るため、井戸の隣に相槌神社が建立されました。その祭壇の両脇には、この神の使いとされる 2 体のキツネの像が並んでいます。

「山ノ井」または「藤木井」と呼ばれた神社の井戸は、江戸時代（1603-1867）の幕府金銀御用改役後藤庄三郎によって、井戸の石が寄進され、石が敷き詰められました。この井戸は、八幡の 5 つの由緒ある井戸の中のひとつです。そしていつ頃かは不明ですが、神社の銘板に刀工の三条宗近についての記載が加えられました。

相槌神社は 1710 年まで石清水八幡宮によって管理されていましたが、その神徳への信仰が非常に厚かったことから、近隣住民が独自に資金を集めて神社の手入れを行うようになりました。

髭切と膝丸という、相槌神社に関係のある 2 本の刀については、依然として多くの憶測がなされています。数多くの古文書によると、それらは長い歴史の中で数回、名前と所有者を変えました。現在で

は、京都の北野天満宮と大覚寺に保管されている 2 本の貴重な歴史のある刀剣が、伝説の髭切と膝丸ではないかという説もあります。両刀ともに国の重要文化財に指定されています。

相槌神社は一般に公開されていますが、毎月 1 日と 15 日の定期的な神事以外は、社務所は無人となっています。詳しくは、[相槌神社公式サイト](#)をご覧ください。

【タイトル】伊佐家住宅

【想定媒体】WEB

<簡体字>

伊佐家住宅

此处大宅邸是伊佐家的祖屋，这个家族世代代担负本地村长之责。主屋经历过一次精心修复，保存完好，是江户时代(1603-1867)中期典型的本地住宅建筑范本。主屋于 1975 年被指定为国家重要文化财产，随后，五个库房、一处柴木房、原始设计文献、修建规划以及这片土地本身一并在 1980 年被追加指定。

18、19 世纪间直接受命于德川幕府而负责管理村庄事务的村长有多么富庶，从伊佐家住宅即可见一斑。主屋于 1734 年重建，其特征包括：分外厚实的茅草屋顶，一堵通常只在贵族或武士家里才能看到的红色土墙，一个配有巨大灶台的大厨房和数量众多的房间。伊佐家曾用过的家居用品也同样保存完好，至今仍在这座宅邸里随处可见。正屋的许多建筑设计都与村长的职责息息相关，如会见村民、接待幕府官员等重要宾客、为节庆备餐等等。

主屋南侧有一段通往正门的木头台阶，过去专用于迎接贵宾。只有身份高贵的人家才能在家中修建这样的阶梯走道，由此亦可窥见伊佐家的家世身份。客人循着台阶进入宽敞的玄关，随后穿过设有一个巨大佛龕的前厅，被引入主屋最西侧的内客厅。内客厅里饰有雕花木制楣窗、陈列艺术品的错落木架和日式壁龕，以及一个推拉门上饰有金箔和绘画的小橱柜。玄关、前厅和内客厅全都保留着江户时代的风貌，是这所家宅的珍贵之处。

宅邸里还有许多值得关注的建筑物和特色景致，如两个用来存储村民缴纳的贡米的大谷仓、通常只在神社和寺院中才能见到的连接主屋与谷仓的挑高檐廊。石墙环绕的宅邸南面还保留着部分沟渠，那是当年护卫宅邸的“护宅河”，宅子北面则是一片竹林。整座宅邸占地面积总计 2600 平方米。

伊佐家住宅通常不对外开放，但可提前预约参观。

<繁体字>

伊佐家住宅

這處大宅邸是伊佐家的祖屋，這個家族世代代擔任著當地村長之責。主屋曾經過一次精心修復，目前保存完好，是江戶時代（1603-1867）中期典型的本地住宅建築物範本。

主屋在 1975 年被指定為國家重要文化財產，隨後，五個庫房、一處柴木房、原始設計文獻、修建規劃以及這片土地本身一併在 1980 年被追加指定。

18、19 世紀間直接受命於德川幕府而負責管理村莊事務的村長有多富庶，從伊佐家住宅即可見一斑。主屋經歷 1734 年重建，其特徵包括：分外厚實的茅草屋頂，一堵通常只會出現在貴族或武士家裡的紅色土牆，一個配有巨大灶台的大廚房和數量眾多的房間。伊佐家用過的家居用品同樣保存完好，如今在這座宅邸裡隨處可見。正屋的許多設計都與村長的職責息息相關，如會見村民、接待幕府官員等重要賓客、為節慶備餐等等。

主屋南側有一段通往正門的木頭臺階，過去專用於迎接貴賓，只有身份高貴的人家才能在家中修建這樣的階梯走道，由此亦可窺見伊佐家的家世身份。客人循著臺階而上進入寬敞的玄關，再穿過設有巨大佛龕的前廳後，會被引入主屋最西側的內客廳。內客廳裡飾有雕花木製楣窗、陳列藝術品的錯落木架和日式壁龕，以及一個在推拉門上飾有金箔和繪畫的小櫥櫃。玄關、前廳和內客廳全都保留著江戶時代的風貌，是這所家宅的珍貴之處。

宅邸裡還有許多值得被關注的建築物和特色景致，如兩個用來存儲村民繳納的貢米的大穀倉、通常只能在神社和寺院中見到的連接主屋與穀倉的挑高簷廊。石牆環繞的宅邸南面還保留著部分溝渠，那是當年護衛宅邸的「護宅河」，宅子北面則是一片竹林。整座宅邸占地面積總計 2600 平方公尺。

伊佐家住宅通常不對外開放，但可提前預約參觀。

<日本語仮訳>

伊佐家住宅

この広々とした施設は、何代にもわたって庄屋を務めた伊佐家の先祖代々の住宅です。主屋は、江戸時代（1603-1867）中期のこの地域特有の屋敷建築で、美しく修復され、良好な状態で保存されています。1975 年に主屋が国の重要文化財に指定され、1980 年に 5 つの蔵、木材小屋、普請文書、古図、土地が追加指定されました。

伊佐家の住宅は、18～19 世紀にかけて徳川幕府天領地の管理を任されていた裕福な庄屋という地位にふさわしい造りとなっています。1734 年に再建された主屋は、特別に厚い茅葺きの屋根や、通常は公家や武士の家にしかなかった赤い土壁、特に大きなかまどである「大くど」を備えた広い台所、そして部屋が複数あるのが特徴です。伊佐家が日常的に使っていた道具の多くも良い状態で保存され、随所に見られます。母屋の多くの部分は、村人と会ったり、幕府の役人などの大事な客をもてなしたり、祭礼用の食事を用意したりという、庄屋の務めを果たすためにとても重要なものでした。

主屋の南側には、かつては賓客を迎えるために使われていた、正面玄関に続く木製の式台が備えられています。このような式台は身分が高い人の家にしか許されておらず、家の格式が一目で分かるものです。賓客はこの式台を上って広々とした玄関から入り、続いて大きな仏壇のある控えの間を通り、その後、主屋の西側の端にある奥座敷に通されます。奥座敷は、彫刻が施された木製の欄間や美術

品を展示するための床の間と違い棚、金箔と絵画で覆われた引き戸のある小さな飾り棚があります。玄関と控えの間、そして奥座敷は全て、江戸時代の姿を今に伝える貴重な要素です。

敷地内にはその他にも注目すべき建造物や特徴があります。村の年貢米を保存するための二つの大きな蔵や、神社やお寺で多く見られる様式で作られ、高い所にある、主屋と二つの蔵をつなぐ屋根付きの渡り廊下などがあります。石垣で囲まれた敷地の南側には、かつて屋敷を囲んでいた堀の跡があり、また北側には竹林があります。敷地面積は 2,600 平方メートルにもおよびます。

伊佐家住宅は一般公開されていませんが、予約をすれば見学できます。

| | | | |
|------|-----|------|---------------------------|
| 地域番号 | 010 | 協議会名 | 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会 |
|------|-----|------|---------------------------|

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|--------------|--------|------|
| 010-001 | 鎮国寺 | 655 | WEB |
| 010-002 | 織幡神社 | 450 | WEB |
| 010-003 | 唐津街道 原町 | 535 | WEB |
| 010-004 | 唐津街道 赤間宿 | 630 | WEB |
| 010-005 | 北斗の水くみ海浜公園 | 345 | WEB |
| 010-006 | さつき松原遊歩道 | 440 | WEB |
| 010-007 | さつき松原遊歩道の展望所 | 640 | WEB |
| 010-008 | 御嶽山展望台 | 525 | WEB |
| 010-009 | 八所宮 | 575 | WEB |
| 010-010 | 風車展望台 | 290 | WEB |
| 010-011 | 砲台跡 | 710 | WEB |
| 010-012 | 街道の駅 赤馬館 | 515 | WEB |
| 010-013 | 地島 | 830 | WEB |
| 010-014 | 沖ノ島展望台 | 305 | WEB |
| 010-015 | 倉瀬展望台 | 365 | WEB |
| 010-016 | 宗像でのサイクリング | 375 | WEB |
| 010-017 | 須賀神社 | 375 | WEB |
| 010-018 | 城山ハイキング | 480 | WEB |
| 010-019 | 薦ヶ嶽城址 | 495 | WEB |
| 010-020 | ふれあいの森総合公園 | 355 | WEB |
| 010-021 | 白石浜 | 285 | WEB |
| 010-022 | 大峰山展望台 | 475 | WEB |
| 010-023 | 在自山と金刀比羅神社 | 345 | WEB |
| 010-024 | 歴史ある津屋崎千軒地区 | 800 | WEB |
| 010-025 | 藍の家 | 505 | WEB |
| 010-026 | 津屋崎祇園山笠祭り | 595 | WEB |
| 010-027 | 津屋崎千軒かき | 320 | WEB |
| 010-028 | ふくつの鯛茶づけ | 410 | WEB |
| 010-029 | 直売所「あんずの里」 | 420 | WEB |
| 010-030 | お魚センターうみがめ | 465 | WEB |
| 010-031 | 福津の海水浴場 | 645 | WEB |
| 010-032 | 日本海海戦記念碑 | 575 | WEB |
| 010-033 | 大森宮となまずの伝説 | 500 | WEB |
| 010-034 | 舍利蔵自然林のなぎの木 | 375 | WEB |
| 010-035 | あなご | 475 | WEB |

| | | | |
|---------|----------|-----|-----|
| 010-036 | とらふぐ | 345 | WEB |
| 010-037 | 宗像のご紹介 | 520 | WEB |
| 010-038 | 福津のご紹介 | 520 | WEB |
| 010-039 | 宗像における選択 | 330 | WEB |
| 010-040 | 福津における選択 | 330 | WEB |

【タイトル】 鎮国寺

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

镇国寺

镇国寺据说由空海（774-835；谥号弘法大师）建于 806 年。空海是一位很有影响力的僧人，他在 804 年前往中国学习密宗佛教，随后将真言宗的教义引入了日本。

传说，空海在前往中国的途中遇到了一场大风暴。他向佛祖、诸位菩萨以及宗像三女神（保佑海员的三位神道教神灵）祈祷。

在空海祈祷时，不动明王（一位令人生畏的守护神，会保护信徒并慑服邪魔）出现在他眼前。最后，他的船安全抵达了中国。回到日本后，空海前往宗像大社，感谢保佑他旅途平安的神灵。镇国寺供奉着不动明王和宗像三女神，后者在镇国寺被视为三位佛陀。

三女神分别被描绘为宇宙佛大日如来、历史佛释迦如来和治愈佛药师如来。6 世纪，佛教传入日本后，神道教和佛教的神灵折衷融合，其形象也常常互相替换。从边津宫可以直接看到镇国寺，边津宫是供奉宗像三女神的宗像大社三座神社中的最大的一座。

镇国寺内有主殿（本堂）、护摩堂和几个较小的拜殿。主殿内有五座佛陀，其中三座代表宗像三女神。护摩堂内会举行敬拜不动明王的火祭。有一条小路引导游客穿过森林，沿途有许多雕像和石碑，其中包括弘法大师的雕像。

镇国寺的主要活动包括每年 4 月 28 日举行的不动明王祭拜仪式。只有这时，镇国寺才会向公众展示不动明王的雕像。仪式上，信徒会围着祭祀火堆祈祷。然后，朝拜者可以踏过温暖的煤块来摆脱厄运。仪式面向公众开放。

镇国寺一年四季都有鲜花绽放，1 月有梅花，春天有樱花、杜鹃和鸢尾花，初夏（6 月）有绣球花，夏天有莲花（7 月至 8 月）和彼岸花（9 月）。11 月至 12 月，日本枫树的叶子会变为红色，银杏树叶则会变为金黄色。

<繁体字>

鎮國寺

鎮國寺由空海（西元 774-835；諡號弘法大師）建於西元 806 年，他在西元 804 年前往中國學習密宗佛教後，將真言宗的教義引入日本，是一位具影響力的僧人。

根據傳說，空海在前往中國的途中遇到了一場大風暴。於是他向佛祖、諸位菩薩以及宗像三女神（保佑航海者的三位神道教神明）祈禱。

在空海祈禱時，不動明王（一位令人生畏的守護神，會保護信徒並懾伏邪魔）出現在他眼前，乘坐的船最終安全抵達中國。回到日本後，空海前往宗像大社，感謝保佑他旅途平安的神明。鎮國寺供奉著不動明王和宗像三女神，信徒將後者視為鎮國寺三位佛陀來敬奉。

三女神分別被描繪為宇宙中心之佛大日如來、歷史之佛釋迦如來，以及治癒之佛藥師如來，6 世紀佛教傳入日本後，神道教和佛教的神明折衷融合，形象也常互換。供奉宗像三女神的宗像大社三座神社中，最大的一座是邊津宮，從邊津宮可以直接看到鎮國寺。

鎮國寺內有主殿（本堂）、護摩堂和幾個較小的拜殿。主殿內供奉著五座佛陀，其中三座代表宗像三女神。護摩堂內則會舉辦敬拜不動明王的火祭儀式。附近有一條小路引領著遊客穿過森林，欣賞沿途遍佈的雕像和石碑，其中包括弘法大師的雕像。

鎮國寺所舉辦的主要活動，包括每年 4 月 28 日的不動明王祭拜儀式，寺方僅在此時才會向一般民眾展示不動明王的雕像。儀式上，信徒圍著祭祀火堆祈禱。然後參拜者可以踏過溫暖的煤塊，據信可以擺脫厄運。此外，這場儀式開放一般民眾參加。

鎮國寺一年四季繁花盛開，1 月的梅花，春季有櫻花、杜鵑和鳶尾花，初夏（6 月）的繡球花，夏季則是蓮花（7 月至 8 月）與彼岸花（9 月）。在 11 月至 12 月間，日本楓樹和銀杏樹的葉子會轉為紅色和金黃色。

<日本語仮訳>

鎮国寺

鎮国寺は、806 年に空海(774～835 年)が創建したとされています。空海は、密教を学ぶために 804 年に中国へと渡った後、真言宗を日本に紹介した影響力のある僧です。その死後は、「弘法大師」として知られるようになりました。

伝説によると、空海は大嵐の中を中国に出航しました。彼は、仏と菩薩に祈り、宗像三女神に祈りました。宗像三女神とは、船旅をする人を守る三体の神のことです。

空海が祈ると、彼の前に不動明王の姿が現れました。不動明王とは、信じる者を守り悪霊を鎮める恐ろしい守護仏です。空海の船は、中国に無事到着しました。空海は、日本に戻ってくると宗像大社を訪れ、航海の無事を神々に感謝しました。鎮国寺は、不動明王と宗像三女神を祀っており、宗像三女神は三体の仏として祀られています。

宗像三女神は、大日如来、釈迦如来、薬師如来の姿で祀られています。仏教が6世紀に日本に導入されてから、神道の神と仏教の仏が重ね合わされることが多くなり、相互に入れ替えて描かれるようになりました。鎮国寺は、神道の宗像大社三宮のうち最も大きな辺津宮から見るところにあります。宗像大社三宮は宗像三女神を祀っています。

鎮国寺の境内には、本堂、護摩堂およびそれより小さなお堂がいくつかあります。本堂には5体の仏像があり、うち3体は宗像三女神を表したものです。護摩堂では、不動明王を崇める火の儀式が行われます。森に囲まれた境内の小道は、弘法大師像の像や石碑の横を訪問者たちを誘います。

鎮国寺の主な行事の1つは、年に1回、4月28日に不動明王を記念して行われる儀式です。これは、一般の人が不動明王像を見ることができる唯一の機会です。この儀式では、火の周りでの祈祷などが行われます。その後、参拝者は暖かい炭の上を歩いて厄払いをすることができます。この儀式は一般に公開されています。

鎮国寺の敷地では1年を通じて花が咲きます。1月には梅の花、春には桜・ツツジ・シャガ、そして初夏（6月）には紫陽花が咲きます。夏には蓮の花（7月～8月）と彼岸花（9月）が咲きます。11月から12月には、カエデとイチョウの葉が赤や金色に染まります。

【タイトル】 織幡神社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**织幡神社**

织幡神社位于钟崎港——宗像地区最大的港口的最高处。神社主要供奉着武内宿禰，他是一位颇具传奇色彩的贤臣，曾辅佐过五位天皇和神功皇后。传说 201 年至 269 年期间，神功皇后在位，她曾与武内宿禰从钟崎出海远征朝鲜。

在通往神社的台阶底部，矗立着一块巨大的岩石，巨石上捆绑着被称为“注连绳”的绳索，以此表明其神圣地位。这块巨石最初沉没在岸边的海水之中，根据当地的传说，人们一直认为巨石是一口大钟，是在从朝鲜来日本的航行中遗落的。

站在台阶尽头，游客能够俯瞰整个渔港和钟崎海滩。神社背靠一片亚热带森林，其中生长着 20 多种树木，包括巨大的橡树、罗汉松（学名：Podocarpus macrophyllus）、珊瑚树、樟树，以及传统神道仪式所用植物红淡比（学名：Cleyera japonica）。

在通往织幡神社的主路左侧，有一座供奉渔民保护神惠比寿的小神社。当地渔民和“海女”会在此朝拜。海女是当地女性潜水员，会自由潜水至海底收集海胆、鲍鱼和其他贝类。钟崎地区拥有悠久的海女传统，附近还有一座海女纪念碑。

<繁体字>**織幡神社**

織幡神社坐落於鐘崎港（宗像地區第一大港口）的最高處，社內主祀武內宿禰，他是傳說中的政治家，據說曾輔佐過五位天皇和神功皇后。相傳神功皇后在位期間，即西元 201 年至 269 年時，武內宿禰伴隨皇后從鐘崎出海，遠征朝鮮。

通往神社的台階底部，矗立著一塊巨大岩石，巨石上綁著名為「注連繩」的繩子，以此表明神聖地位。這塊巨石最初沉在岸邊的海中，根據當地傳說，昔日人們一直認為這塊巨石，是從朝鮮到日本航程中遺下的一口古老大鐘。

站在台階的最高處，遊客能將整座漁港和鐘崎海灘盡收眼底。神社後方是一片亞熱帶森林，其中包括巨大的橡樹、羅漢松（學名：Podocarpus macrophyllus）、珊瑚樹、樟樹，以及傳統神道儀式所用植物紅淡比（學名：Cleyera japonica）等，共逾 20 多種樹木。

通往織幡神社的主要道路左側，有座供奉漁民保護神惠比壽的小神社，當地漁民和「海女」多會在此參拜。海女一般都由女性擔任潛水員，自由潛水至海底採集海膽、鮑魚和其他貝類。擁有悠久海女傳統的鐘崎地區，附近有一座海女紀念碑。

<日本語仮訳>

織幡神社

織幡神社は、宗像地域で一番大きな漁港である鐘崎を見下ろす位置にあります。ここに祀られている主神は、武内宿禰命です。武内宿禰は、摂政を務めた神功皇后や五人の天皇に仕えたと言われる、伝説に伝わる政治家です。伝説によると神功皇后は摂政として 201 年から 269 年まで君臨し、武内宿禰と共に鐘崎から朝鮮半島へ船で遠征に出たとされています。

織幡神社に至る階段のふもとには大きな岩があり、神聖なものであることを示す「しめ縄」がかかっています。この岩は、元は沖合に沈んでいました。地域の言い伝えにより、この岩は朝鮮半島からの航海中に失われた古代の鐘だと長い間考えられていました。

織幡神社の階段の頂上からは、漁港と鐘崎の浜を一望することができます。神社の後ろには、大きなカシ、イヌマキ(学名:Podocarpus macrophyllus)、サンゴジュ、クスノキ、サカキ(学名:Cleyera japonica)など、20 種を超える木から成る亜熱帯の森があります。サカキは、神道の儀式で伝統的に使われてきた植物です。

織幡神社の正面入口の左手には、恵比須を祀った小さな神社があります。恵比須は漁師の守り神です。地域の漁師と海女・海士がこの神社にお参りします。海女・海士とは、素潜りで海底からウニ、アワビ、およびその他の貝や甲殻類を採る人々で、女性の海女が一般的です。鐘崎地域には海女・海士の長い伝統があり、付近にはその記念碑があります。

010-003

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】唐津街道 原町

【想定媒体】WEB

<簡体字>

唐津街道原町

原町位于唐津街道沿途，是一处历史悠久的城镇景观。原町长约 100 公里，连接佐贺县的唐津市和福岡县的北九州市。

在江户时代(1603-1867)，唐津街道是贯穿九州的主要道路之一。九州大名也曾使用这条道路，他们必须每隔一年觐见幕府将军一次，并在江户（现在的东京）居住一段时间，以示对幕府的忠诚。

虽然这条道路的大部分路段已完成现代化，但仍有几段保留了历史氛围。原町就是其中之一，其中江户时代、明治时代(1868-1912)和大正时代(1912-1926)的各种建筑经过修复得到了保留。部分旧建筑现在成为了商店和餐馆。例如，荞麦面馆 Kaido Soba Takarai 位于一栋拥有 150 年历史的修复建筑内，古玩店乐市乐座则使用一间大正时代的大宅。

原町是两位战后时期著名画家——中村研一(1895-1967)和中村琢二(1897-1988)兄弟的出生地。两人都擅长西洋肖像画。他们童年时期的家建于 1907 年，经修复后成为一间私人博物馆（中村研一·琢二生家美术馆）。

得益于当地的保护工作，许多古老的建筑得到保存或整修，使该地区的传统特征得以保留。现在这里仍可看到留有旧时白墙的古老连排房屋。见到一只大型木制灯笼和一幅知名建筑地图时，即代表已抵达唐津街道上历史悠久的原町。

<繁体字>

唐津街道原町

原町是唐津街道沿途的一處歷史悠久的城鎮。唐津街道全長約一百公里，連接佐賀縣唐津市和福岡縣北九州市。

在江戶時代（西元 1603-1867）時，唐津街道是貫穿九州的主要道路之一，九州大名也會使用此路，因為他們每隔一年必須謁見幕府將軍一次，並在江戶（現在的東京）生活，以示對幕府的忠誠。

這條道路雖然大部分的路段已完成現代化，但仍有幾段道路保留了歷史氛圍，原町就是其中之一，其中多座建築歷經江戶時代、明治時代（西元 1868-1912）和大正時代（西元 1912-1926），修復後得以保留至今。部分舊建築現在成了商店與餐廳，比如蕎麥麵館「街道蕎麥 Takarai」位於一棟擁有 150 年歷史且經過修復的建築內，古玩店「樂市樂座」則在大正時代的豪宅中經營。

此外，原町是兩位戰後時期著名畫家中村研一（西元 1895-1967）、中村琢二（西元 1897-1988）兄弟的出生地，兩人皆擅長西洋肖像畫，他們童年時期的家建於西元 1907 年，經過修復後成為一間私人博物館「中村研一・琢二生家美術館」。

當地致力於古蹟維護工作，因此許多老舊建築得以保存或翻新，也讓該地區的傳統特色能夠延續下來，如今仍可在此看到留有舊時白牆的老式連排房屋（町屋）。此外，見到大型木製燈籠和饒富趣味的建築地圖時，便可知道已經抵達唐津街道上歷史悠久的原町。

<日本語仮訳>

唐津街道 原町

原町は、唐津街道沿いの歴史的な町並みです。唐津街道とは、佐賀県の唐津市と福岡県の北九州市を結ぶ 100km ほどの長さの道です。

江戸時代(1603～1867 年)、唐津街道は、九州を通る主要街道の 1 つでした。大名も唐津街道を使っていました。大名は、幕府への忠誠を示すため、隔年で江戸(現在の東京)の将軍に拝謁し、江戸に住むよう求められていました。

唐津街道の多くの部分は近代化されましたが、昔の雰囲気を保っている地域もいくつかあります。原町はこのような地域の 1 つであり、江戸時代、明治時代(1868～1912 年)、大正時代(1912～1926 年)の様々な建物が修復されて残っています。いくつかの古い家屋は、現在、店舗やレストランとして使われています。「街道そば たからい」は、築 150 年の家を修復したそば屋です。「楽市楽座」は、大正時代の豪邸を使った古美術店です。

原町は、戦後の著名な画家である中村研一(1895～1967年)・琢二(1897～1988年)兄弟の出身地です。2人とも洋画の肖像画を専門としていました。2人が子ども時代を過ごした家(1907年築)は、修復され私立「中村研一・琢二生家美術館」になっています。

地域における保存の努力により、古い建物の多くが、この地域の伝統的な性格を保つために維持・修復されてきました。この地域では、白壁の古い町屋を見ることが出来ます。また、木製の大きな灯籠と、興味深い建物の地図が、唐津街道の歴史ある地区である原町の目印になっています。

【タイトル】唐津街道 赤間宿

【想定媒体】WEB

<簡体字>**唐津街道赤間宿**

赤間宿是唐津街道上的一个驿站。在江户时代(1603-1867)，唐津街道是贯通九州的主要交通路线之一。福岡的铁路基础设施始建于明治时代(1868-1912)，在此之前，唐津街道是连接佐贺县唐津市和福岡县北九州市的主要路线。赤間宿是这条路线上的 21 个驿站之一，旅客可以在这里饮马、用餐以及寻找过夜的住处。这里一度是宗像的主要集市区，直到明治时代一条连通福岡和北九州的新铁路绕开了此地。

唐津街道的赤間宿路段长 500 米，保留了建于 19 世纪的商店和连排房屋，至今仍有旧时的氛围。创立于江户时代的一些企业仍在运营，包括为宗像大社的神道教仪式供应清酒的胜屋清酒厂。胜屋清酒厂始建于江户时代，在明治时代得到扩建。制作清酒的水抽取自该地区现存的两口井之一。另一口井位于游客信息中心赤马馆。

当地社区致力于通过艺术节和街头庆祝等活动来振兴城镇。在每年 2 月举办的赤間宿祭及于历史悠久的胜屋清酒厂进行的开仓仪式等，皆为倍受欢迎的活动。造访开仓仪式的游客可以品尝酒厂生产的各种清酒，包括限量版佳酿，还可以享用清酒馒头等美食。

根据当地传说，该地区的名字来源于一匹红马。传说，神武天皇（据信是日本的第一任天皇）带着他的军队前往大和（现在的奈良），经过此地时，一位神祇骑着一匹红马出现，带领他们安全通过了该地区。“赤間”在日文中的发音与“赤马”相同，意为“红色的马”。据说，为供奉这位沿途守护神武天皇的神，日本第 40 任天皇天武天皇(631-686)下令修建了宗像的八所宫神社。

<繁体字>**唐津街道赤間宿**

赤間宿是唐津街道上的一个驿站。在江户时代（西元 1603-1867）时，唐津街道是贯穿九州的主要交通路线之一。直到明治时代（西元 1868-1912）开发福岡铁路基础设施之

前，唐津街道作為主要路線，連接佐賀縣唐津市與福岡縣北九州市，赤間宿則是這條路線上的 21 個驛站之一，旅客可以在這裡讓馬喝水、用餐並尋找過夜的地方。這裡直到明治時代都是零售店在宗像地區最為集中的地方，只是當時興建連接福岡和北九州的新鐵路並未經過此地。

唐津街道的赤間宿路段長 500 公尺，保留了 19 世紀興建的商店和傳統民房「町屋」，因此至今依然洋溢舊時氛圍。其中一些企業創立於江戶時代，直到現在仍有經營，包括為宗像大社的神道教儀式供應清酒的勝屋酒造。勝屋酒造始於江戶時代，在明治時代被擴建。這間酒造製作清酒時的水，從該地區現存的兩口井之一抽取，另一口井則位於「赤馬館」旅遊資訊服務中心。

當地社區致力於透過藝術節、街頭慶典等活動振興城鎮。在每年 2 月舉辦的赤間宿祭及於歷史悠久的勝屋酒造進行的開倉儀式等，為當地廣受歡迎的活動。造訪開倉儀式的遊客可以品嚐酒造生產的不同種類清酒，包括限量版的佳釀，還能享用清酒饅頭等美食。

根據當地傳說，該地區的名字源於一匹紅馬。傳說故事中神武天皇（據信是日本的第一任天皇）帶著他的軍隊，在前往大和（現在的奈良）途經此地時，一位神明騎著一匹紅馬出現，帶領他們安全通過。「赤間」在日文發音中則跟「紅色的馬」相同。據說，為了供奉這位沿途守護神武天皇的神明，日本第 40 任天皇天武天皇（西元 631-686）下令修建宗像的八所宮。

<日本語仮訳>

唐津街道 赤間宿

赤間宿は、唐津街道の宿場町です。唐津街道は、江戸時代(1603～1867 年)、九州を通る主要交通路の 1 つでした。明治時代(1868～1912 年)に福岡で鉄道が発達するまで、唐津街道は、佐賀県の唐津市と福岡県の北九州市を結ぶ主要路でした。赤間宿は、唐津街道に 21 ある宿場町の 1 つでした。赤間宿では、旅人が馬に水をやり、食事をし、その夜の宿を見つけることができました。赤間宿は、明治時代まで、宗像で一番小売店が集まっている場所でした。しかし、明治時代に福岡と北九州をつないだ新しい鉄道路線は、赤間宿を通りませんでした。

現在、赤間宿には唐津街道の昔の雰囲気を残した通りが 500m ほどあります。この通りには、19 世紀に建てられた店舗や町屋が並んでいます。宗像大社の神事に酒を提供している勝屋酒造など、いくつかの企業は、江戸時代から事業を続けています。勝屋酒造の建物は、江戸時代の元々の建物

を明治時代に増築したものです。酒を造るための水は、この地域に 2 つ残っている井戸の 1 つから汲み上げています。もう 1 つの井戸は、「街道の駅 赤馬館」にあります。

地元のコミュニティは、アートやストリートフェスティバルなどのイベントを開催し、町の活性化に努めています。また、赤間宿まつりや、歴史ある勝屋酒造によって開催される「蔵開き」は毎年 2 月に行われており、とても人気です。蔵開きに訪れた人々は、限定種を含むこの蔵元の様々な日本酒を試飲できるほか、酒饅頭などのグルメを楽しむことができます。

地元の言い伝えによると、この地域の名前は「赤馬」から来ています。日本の初代天皇だと信じられている神武天皇が、その軍勢と大和(現在の奈良)へ向かう途中にこの地域を通っていると、赤い馬に乗った神が現れ、神武天皇たちを無事に導いたそうです。「赤間」という地名の読みは、「赤馬」と同じです。宗像の八所宮は、神武天皇をその旅の間守った神を祀るよう、第 40 代天皇の天武天皇(631~686 年)が要請して建立されたと言われています。

010-005

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】 北斗の水くみ海浜公園

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

北斗水汲海浜公園

北斗水汲海浜公園是觀星的理想地點。公園位於九州西海岸，面朝玄界灘，幾乎沒有受到光污染。這裡是世界上極少數可以看到北斗七星（大熊座的一部分）看似要沉入大海的地方。這一現象出現在北方地平線約北緯33度的天空中。遊客可以在9月下旬（晚上10點左右）至10月下旬（晚上8:30左右）的夜晚看到北斗七星，屆時它的杯狀部分會觸碰到地平線。

北斗水汲海浜公園的管理樓上方有一個觀景台，遊客可以在觀景台上敲响飾有北斗七星的“幸福之鐘”。

公園里的海灘臨近釣川河口。這是福岡熱門的衝浪點，每年都會舉行衝浪比賽。遊客還可以在海邊體驗立式單槳衝浪(SUP)。觀景台下方的停車場附近有淋浴和衛生間設施。宗像公路服務區距離海灘只有10分鐘的步行路程，遊客可以在此處用餐、獲取旅遊信息，以及租賃自行車。

<繁体字>

北斗水汲海濱公園

北斗水汲海濱公園是觀星的理想地點，公園正對九州西海岸的玄界灘，幾乎沒有光害。遊客來到這裡可以欣賞北斗七星（大熊座的一部分）看似沉入海中的景色，而且全世界能觀測此景的地方屈指可數，因為這一現象僅出現在北緯33度附近北方地平線上的天空，遊客在9月下旬（晚上10:00左右）至10月下旬（晚上8:30左右）時，在此看到北斗七星杯狀的部分，好像就要碰觸到地平線的樣子。

此外，北斗水汲海濱公園的管理中心上方，有一座觀景台，遊客可在上面敲響有北斗七星裝飾的「幸福之鐘」。

至於公園裡鄰近釣川河口的海灘，是福岡熱門的衝浪地點，每年都會舉行衝浪比賽。遊客還可以在海邊體驗 SUP（立式槳板運動）。觀景台下方的停車場附近設有淋浴設施和廁所，而宗像道路休息站距離海灘步行只需 10 分鐘，遊客可以在此用餐、取得旅遊資訊和租借自行車。

<日本語仮訳>

北斗の水くみ海浜公園

「北斗の水くみ海浜公園」は、星を見るのに理想的な場所です。この公園は、九州の西にある玄界灘に面しており、ほとんど光害がありません。この公園は、北斗七星(おおぐま座の一部)が海に浸かっているように見える、世界でも数少ない場所のひとつです。この現象は、北緯 33 度周辺で、北側の水平線上の空に見えます。9 月下旬(午後 10 時ころ)から 10 月下旬(午後 8 時 30 分ころ)までの夜にこの公園を訪れると、北斗七星のコップの部分が水平線に触れているのを見ることができます。

北斗の水くみ海浜公園の展望台は、管理棟の上にあります。この展望台を訪れると、北斗七星で飾られた「幸せの鐘」を鳴らすことができます。

この公園のビーチは、釣川の河口のそばにあります。このビーチは、福岡のサーファーに人気のある場所です。ここでは、毎年サーフィン大会が行われます。また、このビーチではスタンドアップパドルボードにも挑戦できます。展望台の下にはシャワーとお手洗いがあり、駐車場も近くにあります。このビーチは、「道の駅むなかた」から歩いて 10 分です。「道の駅むなかた」には、レストランと観光案内所があり、レンタサイクルも利用できます。

【タイトル】 さつき松原遊歩道

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

五月松原海滨步道

五月松原海滨步道是一条沿宗像海岸铺就的人行道，途中还会穿过五月松原的一片松林。步道长约 1.5 公里，起点位于北斗水汲海滨公园附近，游客可从步道远眺大岛和地岛。

天气晴朗之日，还有机会领略冲之岛的秀丽景致。此岛已被联合国教科文组织列为世界遗产，距离海岸约 60 公里。冲之岛是一处神圣之地，不对游客开放。

400 多年前，在黑田长政(1568-1623)的指示下，人们首次在五月松原种植松树。黑田长政于 17 世纪初叶开始统治筑前国（今福岡的一部分），这是他在此地所植八片松林中的第一片，其目的是防止海岸线遭到侵蚀。目前大部分松树的树龄都在 200 岁左右，当地社区正在种植新的松树幼苗，以确保松林得以延续。五月松原的松林沿着钟崎和神凑之间的海岸伸展，长达 5.5 公里，是“日本白砂青松 100 选”之一。

沿着松林还设有一条自行车道。车道以宗像公路服务区为起点，游客沿途还可观赏宗像周围的主要景点。从海滨步道出发，步行几分钟便可到达公路服务区。到了夏天，松林前的海滩便成了备受欢迎的游泳场所。

<繁体字>

五月松原海濱步道

五月松原海濱步道是一條沿著宗像海岸鋪設的步道，途中會穿過五月松原的一片松林。這條步道長約 1.5 公里，起點位於北斗水汲海濱公園附近，遊客可從步道远眺大島和地島。

若天氣晴朗，人們還有機會觀賞沖之島的秀麗景致，該島距離海岸約 60 公里，已獲聯合國教科文組織列為世界遺產。此外，沖之島是一處神聖之地，不對遊客開放。

黑田長政（西元 1568-1623）自 17 世紀前葉起統治築前國（現今福岡的一部分），400 多年前，在他的指示下，人們開始在此種植松樹。黑田長政總共種下八片松林，這裡是最

先種植の一處，目的是為了防止海岸線遭到沖蝕。目前大部分松樹的樹齡都在 200 歲左右，當地社區正在種植新的松樹幼苗，確保松林得以延續。五月松原的松林沿著鐘崎和神湊之間的海岸延伸，長達 5.5 公里，並獲選為日本的「白砂青松百選」之一。

沿著松林另設有一條自行車道。此外，從松原海濱步道出發，步行幾分鐘即可到達宗像道路休息站，以該處為起點，沿途能欣賞宗像周圍的主要景點。到了夏季，松林前方的海灘則成為廣受歡迎的游泳場所。

<日本語仮訳>

さつき松原遊歩道

宗像の海岸沿いに位置するさつき松原遊歩道は、「さつき松原」の一部を通る、舗装された歩道です。この遊歩道は、北斗の水くみ海浜公園の近くから始まっており、長さは約 1.5km あります。この歩道からは、大島と地島を見ることができます。

晴れた日には、約 60km 離れた沖合に世界遺産として登録されている沖ノ島を見ることができます。沖ノ島は聖なる場所であり、訪れることはできません。

ここにはじめて松の木が植えられたのは 400 年以上前です。17 世紀初めに筑前(現在の福岡県の一部)を支配していた黒田長政(1568～1623 年)の指示の下で松の木が植えられました。この松原は、彼が海岸線を浸食から守るためにこの地域に植えた 8 つの松原のうち最初のものでした。現在の松の木のほとんどは、樹齢 200 年ほどのものです。地域の人々は、この松原が残り続けるよう、新しい松の苗木を植えています。さつき松原は、鐘崎と神湊の間の海岸に沿って 5.5km にわたっています。また、日本の「白砂青松 100 選」にも選ばれています。

さつき松原沿いには自転車道があります。自転車道は、「道の駅むなかた」から始まり、宗像一帯の主な見どころを巡ります。「道の駅むなかた」は、さつき松原遊歩道から歩いて数分の休憩施設です。さつき松原前の浜辺は、夏には人気のある海水浴場になります。

010-007

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】 さつき松原遊歩道の展望所

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

五月松原海滨步道观景台

五月松原海滨步道上铺有木制观景台，可在此欣赏沿岸优美的景致。游客可从观景台远眺大岛、地岛和冲之岛等几座岛屿。步道穿过一片黑松(Pinus thunbergii)。400 多年前，人们在这里种植了首批黑松，用来防止海滩遭受侵蚀，现在看到的大部分黑松林则种植于 200 年前。

圣岛景致

人们将冲之岛视为“神宿之岛”，宿居在此的神明自古以来就备受崇敬。天气晴朗之日，游客便可以远眺距离海岸约 60 公里的这座岛屿。公元 4 世纪至 9 世纪期间，人们在这里举行祭拜仪式，祈求航行平安。海岸上可遥望冲之岛的地方被称为“遥拜所”，是人们从远处敬拜圣岛的场所。在江户时代(1603-1867)，人们常到松林中的这些绝佳位置遥拜圣岛。

步道上设有两座面朝大海的木制观景台，台上还设有标示近海岛屿的标识牌。从观景台上望去，列岛中最大的岛屿大岛和地岛清晰可辨，天气晴朗之日，还可从两座岛屿之间远眺冲之岛的身影。

古代贸易路线

冲之岛上出土了约 80,000 件文物，其年代可追溯至公元 4 世纪至 9 世纪，据说这些文物是人们为祈求航行平安而献给宗像大社所供奉神明的祭品。祭品包括各种马具配件、一枚金戒指以及多面青铜镜，其来源最远可追溯至古代波斯，是日本与世界其他地区早期贸易往来的证据。

在松林附近的地区还挖掘出了古代土器和陶器碎片，其中部分碎片的年代可追溯至约 5000 年前。后来出土的一些陶器碎片与冲之岛发现的陶器较为相似，表明两地之间存在直接联系。

2017 年，“神宿之岛”宗像・冲之岛及相关遗产群被列为世界遗产。

<繁体字>

五月松原海濱步道觀景台

五月松原海濱步道是一座沿著海岸鋪設的步道，途中設有木造觀景台，在此可以欣賞沿岸優美的景致。遊客可從觀景台上遠眺大島、地島和沖之島等多座島嶼，沿著步道行走則會穿越一片黑松（學名：Pinus thunbergii）。400 多年前，人們在此種植了第一批黑松，防止海灘遭受侵蝕，現今所看到大部分的黑松林則種植於 200 年前。

聖島景致

沖之島被視為一座「神宿之島」，宿居於此的神明自古以來受到敬仰。若在天氣晴朗的時候，遊客能夠遠眺這座距離海岸約 60 公里的島嶼。西元 4 世紀至 9 世紀期間，人們在此舉行祈求航行平安的祭拜儀式。海岸上可遙望沖之島的地方被稱為「遙拜所」，意即能從遠處敬仰聖島的場所。在江戶時代（西元 1603-1867）時，大家常到這些松林中能看清楚聖島的位置遙拜。

步道中設有兩座正對大海的木造觀景台，上頭立有標示沿岸島嶼的牌子。從觀景台上望去，可清楚看見大島、地島兩座最大的島嶼，若在天氣晴朗之日，還能從兩座島嶼之間一睹遠處沖之島的景致。

古代貿易路線

沖之島上出土約 80,000 件文物，年代可追溯至西元 4 世紀至 9 世紀，據說這些文物是人們為了祈求航行平安，獻給宗像大社神明的祭品。包括各種馬具配件、一枚金戒指以及多面青銅鏡，祭品的來源最遠則可溯及古波斯，也是早期日本與世界其他地區貿易往來的證據。

松林地區附近另外挖掘出古代土器和陶器碎片，其中部分碎片的年代可溯及約 5,000 年前。至於後來出土的一些陶器碎片，與沖之島所發現的陶器相吻合，顯示兩地之間有直接聯繫。

到了西元 2017 年，「神宿之島」宗像・沖之島及相關遺產群被列為世界遺產。

<日本語仮訳>

さつき松原遊歩道の展望所

舗装された「さつき松原遊歩道」には、海岸沿いの美しい景色が見られる木造の展望所があります。展望所からは、大島、地島、沖ノ島などいくつかの島を見ることができます。この遊歩道は、クロマツ(学名:Pinus thunbergii)が並ぶ中を通っています。ここにはじめて松の木が植えられたのは 400 年以上前で、浜辺を浸食から守るためのものでした。現在の木の多くは、200 年前に植えられたものです。

聖なる島の眺め

沖ノ島は聖なる島と考えられており、そこに住む神々は古代から崇められてきました。晴れた日には、約 60km 沖合にある沖ノ島を見ることができるかもしれません。沖ノ島では、4 世紀から 9 世紀の間、安全な船旅を祈る儀式が行われていました。海岸で沖ノ島を望める場所は、遠くから沖ノ島に祈るための「遥拝所」だと考えられています。江戸時代(1603~1867 年)、人々は、これらの見晴らしの良い松原の場所に来て祈っていました。

遊歩道には海に面した 2 か所に木造の展望所があり、沖の島々を示す表示があります。大きな島は大島と地島で、展望所からはっきり見えます。空気の澄んだ晴れの日には、大島と地島の間、遠方に沖ノ島が見えます。

古代の交易路

沖ノ島では、4 世紀から 9 世紀の品々が約 8 万点も発見されてきました。これらの品は、安全な船旅のために、宗像大社の神々へ捧げられたものだと考えられています。これらの奉獻品には、馬具、金の指輪、青銅鏡などが含まれており、遠くは古代ペルシアから来たものもあります。これらは、日本と他国が早くから交易を行っていた証拠です。

さつき松原近くの地域からは、古代の土器やその破片が発掘されており、中には約 5,000 年前に遡るものもあります。これらの破片には、沖ノ島で発見された土器に合致するものもあり、2 つの場所の間に直接のつながりがあることを示しています。

"「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群"は、2017 年に世界遺産として登録されました。

【タイトル】 御嶽山展望台

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**御岳山观景台**

御岳山观景台位于大岛的最高峰御岳山的山顶附近，能够俯瞰玄界滩全貌，还能看到冲之岛、壹岐岛、对马岛，以及从福岡到北九州的九州岛海岸线。人们认为御岳山的山顶一直是隔海祭拜（遥拜）冲之岛的场所。冲之岛被认为是神圣之地，普通民众无法进入。自古以来，当地居民会前往能够看到冲之岛的地方，在远处祭拜岛上的神明。

冲之岛地处九州岛与朝鲜半岛旧航线之上，往返于两地经商、旅行的船员有时会来到冲之岛，祈祷旅途平安，或者等待风暴平息。观景台有英文讲解牌，介绍冲之岛出土的文物。这些文物可追溯到公元四世纪，据说是人们为祈求航行平安而献给宗像大社中供奉的神明的祭品。文物包括陶质容器、金戒指以及青铜镜，其来源可追溯至古波斯。

御岳山徒步

春季樱花和杜鹃花开满山坡，观景台也迎来旺季。这里还是九州偶来路线上的热门歇脚点。偶来路线是遍布九州的一系列徒步旅行路线，每一条路线都能在一天内走完。宗像・大岛路线略长于 11 公里，全程约需 4-5 小时。

御岳神社坐落于御岳山山顶，属于中津宫神社辖区。中津宫神社是宗像大社的三大神社之一，这些神社里供奉着宗像三女神。中津宫神社大殿外有一条颇为险峻的小径，通往御岳山观景台和御岳神社，步行约 20 分钟即可抵达观景台，而御岳神社就在观景台旁。

<繁体字>**御嶽山觀景台**

御嶽山觀景台位於御嶽山頂附近，而御嶽山則是大島的最高峰，能夠俯瞰玄界灘的全貌，還能遙望沖之島、壹岐島、對馬島，以及從福岡到北九州的九州島海岸線。人們一直將御嶽山的山頂視作隔海祭拜（遙拜）沖之島的場所，而且認為沖之島屬於神聖之地，普

通民眾無法進入。自古以來，當地居民多會前往能夠看到沖之島的地方，並從遠處祭拜島上神明。

沖之島地處九州島與朝鮮半島的舊航線上，往返兩地經商、旅行的船員有時會在沖之島停留，祈願旅途平安，或者等待風雨平息。觀景台設有英文講解看板，介紹沖之島出土的文物，歷史可溯及西元四世紀，據說是人們為了祈求航程平安，進而獻給宗像大社所供奉神明的祭品。這些文物則包括陶器、金戒指以及青銅鏡等，它們的來源最遠則可達古波斯。

御嶽山徒步路線

春季櫻花和杜鵑花開滿山坡，御嶽山觀景台因此成為春季的人氣景點，也是「九州偶來」其中一條路線上的熱門歇腳之處。「九州偶來」是遍布九州的徒步路線，當中每條路線都能在一天之內走完。宗像・大島路線僅有 11 公里長，全程約需 4 至 5 小時。

御嶽神社坐落於御嶽山的山頂，屬於中津宮神社的一部分。中津宮神社是宗像大社供奉宗像三女神的三大神社之一，本殿外有一條陡峭的小徑，步行 20 分鐘即可抵達御嶽山觀景台，御嶽神社則在觀景台的旁邊。

<日本語仮訳>

御嶽山展望台

御嶽山展望台は、大島の最高峰である御嶽山の頂上近くに位置しています。この展望台からは、玄界灘を越えて、沖ノ島、杵岐、対馬および福岡市から北九州市までの九州の海岸線が見渡せます。御嶽山の頂上は、沖ノ島を遥拝する場所だったと信じられています。沖ノ島は聖地だと考えられており、一般人が立ち入ることはできません。古来人々は、沖ノ島が見える場所を訪れて、沖ノ島の神々に遠くから祈ってきました。

九州と朝鮮半島の間では、古くから海路で交易や移動が行われており、沖ノ島はこの古い海路上にあります。船乗りたちは、旅の安全を祈ったり、嵐から逃れるために沖ノ島に立ち寄ることもあったでしょう。展望台には英語の表示もあり、沖ノ島で発見された品々がいくつか紹介されています。これらの品は 4 世紀にまで遡り、安全な船旅のために宗像大社の神々へ捧げられたものだと考えられています。これらの品には、土器、金の指輪、青銅鏡などが含まれており、遠くは古代ペルシアから来たものもあります。

御嶽山周辺を歩く

この展望台は、山肌に桜やつつじが咲いている春に人気のスポットです。また、「九州オルレ」の1コースの休憩所としても人気があります。「九州オルレ」とは、九州各地に設けられたハイキング道の名称であり、各ハイキング道は1日で歩けます。大島コースの距離は11kmあまりで、歩き終わるのに約4～5時間かかります。

御嶽山の頂上にある御嶽神社は、中津宮の一部です。中津宮は、宗像三女神を祀る宗像大社三宮の1つです。中津宮の本殿から急な道を登っていくと、御嶽山展望台と御嶽神社にたどり着きます。展望台までは約20分かかります。御嶽神社は展望台のそばにあります。

【タイトル】 八所宮

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**八所宮神社**

八所宮神社位于宗像市的吉武地区，据说建于公元 674 年。神社里供奉着四组神灵，其中包括创造出日本大小岛屿的神灵，以及在神武天皇（据信是日本的第一任天皇）路过九州北部时保护他的神灵。

据当地传说，神武天皇从日向（今宫崎县）的驻地出发，穿越此地，前去征服大和（今奈良）的土地。这时，一位神祇骑着一匹红马出现，带领他们安全通过此地。神社里有几块具有历史意义的祭祀木牌（绘马），其上便描绘了这则故事。

据说，为供奉这位沿途守护神武天皇的神祇，日本第 40 任天皇天武天皇(631-686)下令在此处修建了八所宮神社。八所宮神社自修建以来，在保护皇室家族及其臣子方面充当了重要角色。1586 年，丰臣秀吉(1537-1598)来到九州镇压强大的军阀时，曾在八所宮神社祈求胜利。他是著名的军阀和政治家，完成了织田信长(1534-1582)于 16 世纪开启的日本统一大业。成功之后，他便把几件珍宝献给了神社，其中包括一把剑。

每年人们都会在八所宮神社举办秋日节庆活动，至今已持续 200 多年。庆典在每年 10 月的第三个周末举办，以夜晚游行开启庆典序幕。当地人身穿江户时代(1603-1867)服饰，手提灯笼，抬着可移动的神龛从八所宮神社前往钓川。通往神社的路上摆满了小吃摊，更添节日气氛，在周末的节日期间，还会有骑射表演、传统舞蹈、儿童相扑比赛等活动。节日在周日午夜结束。

<繁体字>**八所宮神社**

八所宮神社位於宗像市的吉武地區，據說建於西元 674 年。神社裡供奉著 4 組神明，包括創造出日本大小島嶼的神明，以及神武天皇（據信是日本的第一任天皇）在行經九州北部時保護他的神明。

根據當地傳說，神武天皇從日向（今宮崎縣）駐點出征大和（今奈良縣）時，途中一位神明騎著一匹紅馬現身，帶領他們安全通過此地。神社有幾塊具有歷史意義的奉納木牌（繪馬），上面便描繪了這則故事。

據說，為了供奉這位沿途守護神武天皇的神明，日本第 40 任天皇天武天皇（西元 631-686）下令在此修建八所宮神社。自修建以來，八所宮神社在保護皇室家族，及其臣子方面扮演著重要角色。豐臣秀吉（西元 1537-1598）是著名的武將和政治家，完成了織田信長（西元 1534-1582）16 世紀開啟的統一日本大業。他於西元 1586 年來到九州，在鎮壓強大的武將前，曾到八所宮神社祈求勝利。取得成功之後，豐臣秀吉便將幾件珍寶獻給神社，其中包括一把劍。

時至今日，每年人們都會在八所宮神社舉辦秋季祭典活動，這項傳統已持續 200 多年。祭典於每年 10 月的第 3 個週末舉行，以夜晚遊行開啟序幕，隊伍由身穿江戶時代（西元 1603-1867）服飾的當地人所組成，並且手提燈籠、抬著可移動的神龕，從八所宮神社出發前往釣川。通往神社的路上處處可見小吃攤販，更添祭典氣氛。在祭典期間的週末，還有弓馬武術表演（流鏑馬）、傳統舞蹈和兒童相撲比賽等活動。最後，祭典會在週日午夜結束。

<日本語仮訳>

八所宮

宗像の吉武地区にある八所宮は、674 年に創建されたと言われています。この神社には、4 組の神々が祀られています。その中には、日本の島々を造った神や、九州北部を旅する神武天皇を守った神が含まれています。神武天皇は、日本の初代天皇だったと信じられています。

地域の伝説によると、神武天皇が、大和(現在の奈良)の地を征服するために日向(宮崎)の拠点を発ってこの地域を旅していた時に赤い馬に乗った神が現れました。この神は神武天皇を案内して、この地域を無事に通過させました。八所宮の古い絵馬には、この物語を描いたものがあります。

神武天皇を守った神々を祀るよう、第 40 代天皇である天武天皇(631~686 年)が要請してここに神社が建立された、と言われています。八所宮は創建以来、皇族とそこに使える者たちを守る役割を果たしてきました。有名な武將にして政治家であり、織田信長(1534~1582 年)が始めた 16 世紀日本の統一を完成させた豊臣秀吉(1537~1598 年)は、1586 年に九州の有力武將を制圧す

るために九州に来た際に、ここで勝利を祈りました。秀吉は、この制圧を成功させた後、八所宮にいくつかの宝物(刀など)を奉納しました。

八所宮では、秋季例大祭が 200 年以上にわたって行われています。10 月の第 3 土曜・日曜に行われるこのお祭りは、江戸時代(1603～1867 年)の装束を着た地域住民による夜の行列から始まります。地域住民は、提灯を持ち神輿を担いで、八所宮から釣川まで歩きます。神社の参道には食べ物の屋台が並び、お祭りの雰囲気盛り上げます。このお祭りの間には、他に流鏝馬、伝統舞踊、子ども相撲などが行われます。このお祭りは、日曜の深夜に幕を閉じます。

010-010

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】 風車展望台

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

风车观景台

大島北側伫立著一座風車，風車下方設有遮蔭觀景區，遊客可在其中觀賞玄界灘的景致。在夏末，風車附近的山丘上會開滿大波斯菊，秋日時分則會長滿銀色的蒲葦草。在風車附近有一處小型馬場，遊客可在此預訂馬場的騎馬遊。

島上還有二戰炮台和觀測站的遺址，距離風車觀景台只有不到 10 分鐘的步行路程。遊客可以租自行車前往風車觀景台，也可以從渡輪港口乘坐環線巴士，巴士在島上的大多數景點都會停靠。

風車是九州偶來徒步路線上的一站。偶來路線是遍布九州的一系列徒步旅行路线，每一条路线都能在一天内走完。这些路线都用标志和彩带做上了明显的标记。大岛路线的长度稍稍超出 11 公里，全程约需 4-5 小时才可走完。

<繁体字>

風車觀景台

大島北側佇立著一座風車，設有遮蔭的觀景台，遊客可以前往觀賞玄界灘的風景。在夏末時，風車附近的山丘開滿大波斯菊，秋日時分則會長滿銀色的蒲葦。此外，在風車的附近還有一處小型馬場，遊客在此也能預訂騎馬遊覽行程。

島上擁有二戰時期的砲台與觀測所遺址，從風車觀景台步行不到 10 分鐘即可抵達。前往風車觀景台時，遊客也能租借自行車，或從渡輪港口乘坐環線巴士前往，其中巴士在島上多數景點皆有停靠。

這座風車是「九州偶來徒步路線」上的一站。「九州偶來徒步路線」遍布九州，其中每條徒步路線都能在一天之內走完，沿途皆有清楚的路標和彩帶。大島路線的長度有 11 公里多，走完全程約需 4-5 小時。

<日本語仮訳>

風車展望台

大島の北側には屋根付きの展望所のある風車があり、玄界灘を望むことができます。風車近くの丘は、晩夏には秋桜の花で覆われ、秋には銀色のすすきで覆われます。風車の近くには、馬のいる小さな牧場があり、この地域を馬でめぐるツアーを予約できます。

風車展望台は、第二次世界大戦時の砲台観測所の跡から歩いて 10 分かかりません。風車展望台へは自転車を借りて訪れることも出来ますし、島内のほとんどの観光地に停車する循環バスにフェリーの船着場から乗ることもできます。

この風車は、「九州オルレ」ハイキングコースのひとつの経由地でもあります。「九州オルレ」とは、九州各地に設けられたハイキング道の名称であり、各ハイキングコースは 1 日で歩けます。ハイキング道は、色のついたリボンと標識でよく分かるようになっています。大島コースの距離は 11km あまりで、歩き終えるのに約 4～5 時間かかります。

【タイトル】 砲台跡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**炮台遗址**

大岛上有一处隐蔽的观测站和军事炮台，是北九州周边海岸防御工事的一部分。观测站和军事炮台始建于明治时代(1868-1912)，用来抵御俄罗斯舰队的潜在攻击，以保护海岸线。日本赢得日俄战争(1904-1905)后，许多防御工事便被拆除了。20 世纪 30 年代，日军进驻中国东北地区之时，一些防御工事再次得到加强。

大岛炮台于 1936 年竣工，其中包括四座混凝土炮塔，一座隐蔽的观测站，一座弹药库和一间探照灯储存室。在第二次世界大战期间，日军又加装了重型火炮，包括四门射程可达约 20 公里的火炮。这些火炮虽已不在岛上，但游客仍可沿着承载火炮的环形混凝土坑漫步。

观测站是一处简易的混凝土掩体，隐藏在一座假山中，在这里还可以观赏海景。观测站当年用于计算敌船与炮台的距离及其速度。游客可以步行穿过观测站，天气晴朗之日，还可以看到自古以来备受崇敬的“神宿之岛”冲之岛。

日俄战争期间，日本和俄罗斯为在东北地区和朝鲜攫取利益激烈相争，在冲之岛沿岸爆发了海战。1905 年 5 月 27 日，日本海海战在对马海峡爆发，海军大将东乡平八郎(1848-1934)率领日军作战，日本海军摧毁了三分之二的俄罗斯舰队，一些在战斗中阵亡的俄罗斯海军官兵被带到大岛进行安葬。2013 年，人们在炮台遗址附近建立了一座纪念双方死难者的纪念碑，两国的相关人士每年都会来到这里举行追悼会。

对马海峡紧靠“神宿之岛”冲之岛，一名冲之岛冲津宫神社（宗像大社三大神社之一）的僧人曾目睹这场战役，并将其记录在了自己的日记中。战后，东乡平八郎大将为纪念此次胜利，将三笠号旗舰上的指南针捐赠给了宗像大社。这块指南针目前陈列在神宝馆中，其位于宗像大社的边津宫神社辖区内，游客可以前往参观。

<繁体字>

砲台遺址

大島上有一處隱蔽的觀測所和軍事砲台，屬於北九州周邊海岸防禦工事的一部分。觀測所和軍事砲台始建於明治時代（西元 1868-1912），以防俄羅斯艦隊可能對海岸線發動攻擊，其中許多防禦工事於日俄戰爭（西元 1904-1905）後，日軍取得勝利便遭拆除。直到日軍 1930 年代進駐中國東北地區，人們再次對部分防禦工事進行強化工程。

大島砲台於西元 1936 年竣工，由 4 座混凝土砲塔，以及隱蔽的觀測所、彈藥庫和探照燈儲存室所組成。到了二戰期間，日軍又加裝了重型大砲，包括 4 門射程距離可達 20 公里左右的大砲。這些大砲現已不在島上，不過遊客來到此處，仍可沿著承載大砲的環形混凝土坑漫步。

觀測所則是一處簡易的混凝土掩體，隱藏在一座人造山丘中，當年用於計算敵船與砲台之間的距離、速度，時至今日，造訪此處的遊客能在此觀賞海景。此外，遊客可以步行穿過觀測所，若在天氣晴朗的時候，還可看到自古以來備受崇敬的「神宿之島」沖之島。

日俄戰爭期間，日本和俄羅斯為了爭奪東北地區及朝鮮的利益權，在沖之島沿岸爆發海戰。西元 1905 年 5 月 27 日，日本海海戰於對馬海峽爆發，日軍由海軍大將東鄉平八郎（西元 1848-1934）指揮。在這場戰役中，俄羅斯艦隊三分之二的艦艇遭到擊沉，一些戰死的俄羅斯海軍官兵則被帶到大島安葬。時至西元 2013 年，人們在砲台遺址附近建立了一座紀念雙方死難者的紀念碑，每年兩國的相關人士都會來此舉行追悼會。

對馬海峽緊鄰「神宿之島」沖之島。一名沖之島沖津宮神社（宗像大社三大神社之一）的神職人員目睹了這場戰役，並記錄在自己的日誌中。戰後，東鄉平八郎海軍大將為紀念此次勝利，將三笠號旗艦上的指南針捐贈給宗像大社。這個指南針目前陳列在宗像神寶館中，其位於宗像大社的邊津宮神社境內，遊客可以前往參觀。

<日本語仮訳>

砲台跡

大島の隠されていた観測所と軍の砲台は、北九州一帯の海岸に設けられた一連の軍事施設の 1 つです。これらの施設が初めて設置されたのは明治時代(1868～1912 年)であり、ロシア艦隊が行う可能性のある攻撃から海岸線を守るためのものでした。その多くは、日露戦争(1904～1905 年)で日本が勝利した後に撤去されました。一部の軍事施設は、日本軍が満州に駐屯した 1930 年代に再び強化されました。

大島の砲台は、1936年に完成しました。この砲台はコンクリート製の砲座4基、隠されていた観測所、弾薬庫およびサーチライトの格納庫から構成されていました。第二次世界大戦中には、射程距離が約20kmある大砲4基など、重火器が設置されました。大島にはもう大砲はありませんが、ここを訪れば、大砲が据えつけられていたコンクリート製の円形の穴の周囲を歩くことができます。

観測所はコンクリート製のシンプルな塚で、人工の丘に隠されており、海が見えるようになっています。この観測所は、敵艦の距離と速度を計算するのに使われていました。観測所には歩いて入れます。晴れた日には、沖ノ島を見ることができます。沖ノ島は聖なる島であり、古くから信仰の対象となってきました。

日本とロシアは、満州および朝鮮半島の利権をめぐる戦った日露戦争時に、沖ノ島の沖で海戦を行いました。日本海海戦は、1905年5月27日に、東郷平八郎(1848~1934年)海軍大將が指揮する日本軍により、対馬海峡で戦われました。日本海軍は、ロシア艦隊の2/3を破壊しました。戦死したロシア水兵の一部は、大島に運ばれて埋葬されました。2013年には、亡くなった両軍の人々の慰霊碑が、砲台跡の近くに建立されました。毎年、両国からの参加者がこの地を訪れ、慰霊祭を行います。

対馬海峡は、聖なる島である沖ノ島の近くにあります。沖ノ島の沖津宮にいた神職は、日本海海戦を目撃し、それを日誌に記録しました。沖津宮は、合わせて宗像大社と呼ばれる三宮の1つです。日露戦争後、東郷平八郎大將は、勝利を記念して、旗艦 三笠の羅針盤を宗像大社に寄贈しました。宗像大社辺津宮の境内にある神宝館を訪れると、この羅針盤を見ることができます。

【タイトル】 街道の駅 赤馬館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**赤马馆游客中心**

赤马馆游客中心位于赤间宿，后者是唐津街道上的一处驿站。在江户时代(1603-1867)，唐津街道是贯通福岡的主要路线。在赤马馆周围的地区有各式风格的商店和连排房屋，其中多数建于 19 世纪和 20 世纪早期。现代游客中心模仿江户时代的商铺样式，使用从传统风格建筑中回收的材料修建而成。中心入口处较为狭窄，内部各房间向远处延伸。

赤马馆游客中心的工作人员由当地志愿者组成，其中一些志愿者还会说英语。游客可以穿着和服参与茶道仪式。游客中心提供各种尺寸的男款及女款和服，欢迎游客穿着和服在古朴的街道上漫步。这些活动需要至少提前三天预订。

游客中心提供当地地图，以及有关宗像地区历史和景点的小册子，还提供可租赁的自行车和免费 Wi-Fi。中心设有咖啡馆，还有一处售卖当地手工艺品和特产（如仙贝和酱油）的商店。庭院里的井是赤间宿现存的两口井之一。在江户时代，赤间宿有七口井，从地下泉眼中汲取水源。另一口至今仍运转良好的井在紧邻赤马馆的胜屋酿酒厂。胜屋酿酒厂使用井水进行酿造，为宗像大社的神道教仪式供应日本酒。

在江户时代，唐津街道是连接佐贺县的唐津和北九州的主要路线。赤间宿便是该地区的 21 个驿站之一，旅客可以在这里寻找过夜住处、用餐及采购。

<繁体字>**赤馬館遊客中心**

赤馬館遊客中心位於赤間宿；赤間宿是唐津街道上的一處驛站，唐津街道則是在江戶時代（西元 1603-1867）貫穿福岡的主要路線。赤馬館周圍地區有各式風格的商家和傳統民房「町屋」，其中多數建於 19 世紀和 20 世紀早期。這座現代化遊客中心仿造江戶時代的商家構造，並採用傳統建築中再利用的材料修建而成。中心入口處較為狹窄，越往裡面各個房間的空間也隨之變寬。

赤馬館遊客中心的工作人員由當地志工組成，其中一些人能以英語溝通。此外，來到此處的遊客可以穿著和服參與茶道儀式，遊客中心還有提供各種尺寸的男款及女款和服，讓遊客穿著和服在古樸的街道上漫步。若要參加這些活動，至少需要提前三天預訂。

遊客中心備有當地地圖，以及關於宗像地區歷史和景點的觀光手冊，也提供自行車租借和免費 Wi-Fi 服務。不僅如此，中心設有咖啡館，還有一處販售當地手工藝品和特產（如仙貝和醬油）的商店。至於庭院裡的井，則是赤間宿現存的兩口井之一。回溯至江戶時代，赤間宿有七口井，水源來自地下泉水，至今仍運作良好的另一口井，位於緊鄰赤馬館的勝屋酒造。勝屋酒造以井水釀酒，供應宗像大社舉行神道教儀式時所需的清酒。

在江戶時代時，唐津街道是連接佐賀縣唐津和北九州的主要路線。赤間宿便是該地區的 21 個驛站之一，遊客可以在這裡尋找住宿地點、用餐及購物。

<日本語仮訳>

街道の駅 赤馬館

「街道の駅 赤馬館」は、唐津街道の宿場町だった赤間宿に位置しています。唐津街道は、江戸時代(1603～1867 年)の間、福岡を通る主要路の 1 つでした。赤馬館周辺の地域には、主として 19 世紀～20 世紀初頭のさまざまな様式の店舗や町屋があります。この現代的な観光案内所は、江戸時代の商家を模して建設されました。その建材は、伝統的な様式の建物から再利用したものです。間口は狭く、奥に向かって部屋が広がっています。

「街道の駅 赤馬館」には地元の有志がおり、英語を話せる人もいます。訪問者は、着物を来て茶道を体験することができます。赤馬館には、あらゆるサイズの男女の着物が揃っています。着物を着て古い町並みを散策することもできます。これらについては、3 日前までに予約する必要があります。

赤馬館には、この地域の地図、宗像地域の歴史と見どころに関するパンフレット、レンタサイクルおよび無料の Wi-Fi が用意されています。地元の工芸品やせんべい・醤油などの特産品を販売するお店とカフェもあります。中庭には、赤間宿に残る 2 つの井戸の 1 つがあります。江戸時代の間、この地域には 7 つの井戸があり、地下水を汲み上げていました。もう 1 つの井戸は、赤馬館の隣の勝屋酒造にあります。勝屋酒造は、この井戸水を使っており、宗像大社の神事に酒を提供しています。

江戸時代、唐津街道は、佐賀の唐津と北九州をつなぐ主要路でした。赤間宿は、この地域にある 21 の宿場町の 1 つでした。旅人は、ここで宿を見つけ、食事をし、買い物をすることができました。

【タイトル】地島

【想定媒体】WEB

<簡体字>**地島**

地島位于福岡海岸附近，岛上群峰林立、森林茂密。岛上有近 6000 棵野生山茶树，山茶花从 1 月下旬一直开到 3 月，地岛也因此而闻名于世。地岛是一处颇受欢迎的一日游目的地和垂钓点，乘坐轮渡便可从九州主岛上的神湊港到达地岛的两处港口。1996 年，两条山路上两旁种上了山茶树，形成了一条贯穿全岛的迷人步道，此路线两小时内便可走完。

山茶花

从 1 月下旬到 3 月期间，成千上万棵山茶树在岛上绽放。每年 3 月的第 2 个周六便是地岛茶花节，节日期间会有小吃摊兜售当地捕捞的海鲜，还会有音乐表演。在秋季，人们会采集成熟的山茶花种子制成茶花油，用于烹饪以及头发和肌肤的保湿。

泊渔港

地岛有两个小渔港，泊和豊岡渔港，渡轮在这两个港口都会停靠，泊渔港离大陆更近。筑前国（今福岡县）的统治者黑田长政(1568-1623)曾下令建造石码头，码头的遗迹留存至今。

白滨渔港

白滨渔港是两个港口中较大的一个，位于该岛的西侧，岛上唯一的商店和餐厅（由渔民直接经营）就位于白滨，此处有一座小型神道教神社，名为牧神社，俯瞰着港口，还有一条两旁种满茶树的小路，从港口直通至岛上最北端的仓瀬观景台。

严岛神社

这座小神社位于泊渔港附近，供奉着宗像的三女神，她们为海上航线保驾护航。到了 7 月，岛上的居民便会举行地岛祇园山笠节，祈求远离疾病和灾难。居民从严岛神社出发，推着一辆装饰过的花车穿过小镇，然后用船将花车运到白滨渔港，最后再将花车送回神社。

渔业

地岛的主要产业之一便是渔业。在泊渔港的沿岸，经常可以看到一字排开的陶制章鱼捕捞罐，茶花节期间，路边小摊也会售卖新鲜烹制的海鲜。常见的渔获物包括章鱼、鱿鱼、黑鲷、海胆和鲍鱼。在水温上升致使鲍鱼、海胆和蛸螺的捕获量减少之前，女性潜水员（即“海女”）曾在岛上生活和工作，她们会通过自由潜水寻找贝类。地岛东南海岸的裙带菜长势十分茂盛，人们最常食用的是裙带菜的叶片，通常会将其与味噌汤一同烹煮，但地岛居民还会食用叶柄（日语：mekabu），通常做法就是将叶柄煮熟，切碎，然后同米饭一起食用。

<繁体字>

地島

地島位於福岡海岸附近，島上群峰綿延、森林茂密，而且有近 6,000 棵野生山茶樹。從 1 月下旬至 3 月期間，在島上能欣賞山茶花一齊綻放，也是此地的知名景色。此外，地島也是熱門的一日遊景點和垂釣點，遊客從九州主島上的神湊港乘坐渡輪，即可抵達地島的兩處港口。西元 1996 年，為了創造一條貫穿全島的迷人步道，人們在兩條山路的路旁種植山茶樹，這條徒步路線 2 小時內便能走完。

山茶花

從 1 月下旬到 3 月期間，上千棵山茶樹在島上各處綻放花朵。每年 3 月第 2 個週六是地島的山茶花祭，期間會有小吃攤販售當地捕撈的海鮮，還有音樂表演。到了秋季時，人們會採集成熟的山茶種子製成山茶花油，用於烹飪以及頭髮和肌膚的保濕。

泊漁港

地島有兩座小漁港，分別是泊漁港和豐岡漁港，渡輪在兩邊都會停靠。泊漁港距離九州本島較近，這座石造碼頭由築前國（今福岡縣）的統治者黑田長政（西元 1568-1623）下令興建，遺跡留存至今。

豐岡漁港

豐岡漁港在兩個港口中規模較大，位於地島的西側。島上唯一的商店和餐廳（由漁民直接經營）位於豐岡，此處還有一座可俯瞰港口的小型神道教神社，名為牧神社，另有一條兩旁種滿山茶樹的小路，從港口直通島上最北端的倉瀨觀景台。

嚴島神社

這座小神社位於泊漁港附近，裡頭供奉保佑海上航程平安的宗像三女神。到了 7 月，島上的居民會舉辦地島祇園山笠祭，祈求遠離疾病和災難。在祭典期間，居民會從嚴島神社出發，推著裝飾精美的山車穿過小鎮，然後用船將山車運往豐岡漁港，最後再將山車送回神社。

漁業

漁業是地島的主要產業之一。在泊漁港的沿岸，經常可見一字排開用來捕章魚的陶罐。山茶花祭期間，小吃攤販也會販售新鮮烹煮的海鮮，常見的漁獲包括章魚、魷魚、黑鯛、海膽和鮑魚。在海水溫度上升導致鮑魚、海膽和角蠓螺的捕獲量減少前，女性潛水員（即「海女」）曾在島上生活和工作，以自由潛水的方式採集貝類與甲殼類海鮮。此外，地島東南海岸的海帶芽生長茂盛。人們最常吃海帶芽的葉狀部分，通常將其放入味噌湯，但地島居民還會料理葉柄部分（日語：mekabu），常見的做法是將葉柄部分煮熟並切碎，然後放在白飯上一起享用。

<日本語仮訳>

地島

地島は福岡の沖にある山が多い森に覆われた島で、1 月下旬から 3 月に咲く約 6,000 本の野生のツバキで有名です。地島は日帰りの旅行先や、釣りのポイントとして人気があります。地島には、九州本島の神湊港から船で行ける港が 2 つあります。1996 年、地島を縦断する魅力的な歩道を作るため、2 か所の山道にツバキの木が植えられました。この道は、2 時間以内で歩き通せます。

ツバキ

地島中に生育する数千本のツバキの木は、1 月下旬から 3 月にかけて花を咲かせます。3 月の第 2 土曜日に開催される「地島椿まつり」では、地元で獲れた海産物が屋台で販売され、音楽演奏の催しがあります。秋には、成熟したツバキの種を集めて椿油が作られます。椿油は、髪や肌の保湿に使われ、料理にも用いられます。

泊漁港

地島には、泊と豊岡という 2 つの小さな漁港があり、九州本島からの船は両方に停ります。九州本島に近いのは泊漁港の方です。泊漁港には筑前（現在の福岡）を治めていた黒田長政（1568～1623）の命により建設された石でできた元の埠頭の跡が残っています。

豊岡漁港

豊岡漁港は泊より少し大きな港で、島の西側に位置しています。この島唯一の店舗と食堂（漁師直営）は、豊岡にあります。港を見下ろす小さな神社は、牧神社です。ツバキの並ぶ道が、港から地島の北端にある倉瀬展望台へと続いています。

巖島神社

泊漁港の近くにあるこの小さな神社は、海路を守る宗像三女神を祀っています。7月、この島に暮らす人々は、地島祇園山笠祭を行い、病気と災害から守られるよう祈りを捧げます。人々は、巖島神社を出発し、飾りつけられた山車を引いて町の中を巡ります。次いで、山車を船で豊岡漁港に運んだ後、この神社に山車を戻します。

漁業

地島の主な産業の1つが漁業です。泊漁港の海岸では、タコを捕まえる陶器の罟が並んでいるのをよく見かけます。「椿まつり」では、新鮮な海産物が屋台で売られています。よく獲れるのは、タコ、イカ、クロダイ、ウニ、アワビなどです。この島では、水温が上がってアワビ、ウニ、サザエの水揚げが減るまで、素潜りで貝類や甲殻類を採る海女が暮らし、働いていました。地島の南東沖にはワカメが繁茂しています。ワカメで最もよく使われるのは葉状の部分であり、味噌汁に入れることが多いのですが、地島で暮らす人々は、ワカメの根元の部分（めかぶ）も食べます。通常、めかぶはゆでて刻み、ごはんに乗せて食べます。

【タイトル】 沖ノ島展望台

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**冲之岛观景点**

在地岛的最高点远见山（182 米）上有两处观景区，在那里可饱览九州海岸以西玄界滩的壮美景致。冲之岛观景台面朝冲之岛，此岛自古以来被奉为“神宿之岛”。因为冲之岛本身并不允许游客踏足，所以在这片区域中，可遥望冲之岛的地方都被称为“遥拜所”，即人们从远处敬拜岛上诸神的场所。当地人和徒步旅行者仍然会来到这些地点，表达他们对冲之岛的敬意。

冲之岛观景台设有英文指示牌，可帮助游客在地平线上确定此岛的位置。紧邻观景区便可看到石墙的遗迹，据说是江户时代(1603-1867)警卫室和瞭望塔的遗迹，其建造目的是观察船只和寻找鲸鱼。

第二处观景点位于远见山徒步路线上，名为大敷观景台，在这片宽敞的空地上可眺望北九州的景致。

<繁体字>**沖之島觀景台**

在地島的最高點遠見山（標高 182 公尺）上有 2 座觀景台，可以飽覽九州海岸以西玄界灘的景致。沖之島觀景台正對沖之島，該島自古以來被奉為「神宿之島」。至於沖之島本身並未開放遊客進入，因此在此地區，能夠遙望沖之島的地方都被稱為「遙拜所」（即人們從遠處祭拜島上神明的場所）。時至今日，當地人和徒步旅行的遊客仍會前往上述場所，表達他們對沖之島的崇敬之意。

沖之島觀景台設有英文解說牌，標示沖之島在地平線上的位置。緊鄰觀景台是一座石牆遺跡，據說在江戶時代（西元 1603-1867）時是警衛室和瞭望塔，用於觀察船隻與尋找鯨魚。

此外，另一座觀景台則位於遠見山的徒步健行路線上，名為大敷觀景台，從此處能眺望北九州の景致。

<日本語仮訳>

沖ノ島展望台

地島で最も標高の高い遠見山(182m)には 2 つの展望台があり、九州の海岸の西側に広がる玄界灘を見渡せます。沖ノ島展望台は、沖ノ島のほうを向いています。沖ノ島は聖なる島であり、古くから信仰の対象となってきました。この地域一帯で、沖ノ島が見える場所は、沖ノ島の神々に遠くから祈るための「遥拝所」だと考えられています。沖ノ島自体を訪れることは許されないためです。地元の人々や山歩きをする人々は、現在もこれらの場所に来て、沖ノ島に敬意を表しています。

沖ノ島展望台には英語の表示もあり、水平線上で沖ノ島を見つける助けになります。この展望台のそばには、石垣の跡があります。これは、船を監視し鯨を見つけるために建てられた江戸時代(1603～1867年)の番所と見張り台の跡だと考えられています。

2 つ目の展望台は、遠見山の登山道にある大敷展望台です。ここからは、北九州方面が望めます。

010-015

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】 倉瀬展望台

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

仓瀬观景台

仓瀬观景台位于地岛最北端，在这里可以饱览玄界滩中的大岛和冲之岛景致。观景台上有一处标识牌，标明了冲之岛在地平线上的位置。

仓瀬观景台位于悬崖顶上，是一片宽阔的草地观景区，观景区内还设有座位。在悬崖底部附近，游客可以看到一处半淹水的岩礁，在近海处还可看到一块巨大的岩石，形状类似于传统的日本酒瓶。

沿着 1.2 公里长的山茶小径，可从白滨轮渡港口步行至仓瀬观景台，全程大约 20 分钟。小径两旁种着一排排的山茶树，适合各种体能的人在此活动。在观景台前方约 700 米处，有一条通往祇园山山顶（139 米）的小路，这条路以一处石制的鸟居为标志，天气潮湿时路面便有些湿滑，在山顶附近还有一处石质神殿（日语：hokora），里面供奉着祇园天神。

仓瀬观景台是最受徒步者欢迎的野餐地点，位于白滨渔港的 Nagomi 是岛上唯一的餐厅，在那里可以买到午饭便当。

<繁体字>

倉瀨觀景台

倉瀨觀景台位於地島北端，在這裡可以飽覽玄界灘的大島和沖之島景致。觀景台上設有解說牌，標示出沖之島在地平線上的位置。

倉瀨觀景台位於懸崖上方一片寬闊的草地觀景區，並且設有座位。遊客可在懸崖的底部附近，看見岩礁一半沒入水中，還有近海處一塊形狀與傳統日本酒瓶相似的巨石。

從豐岡渡輪港口出發，可步行沿著 1.2 公里長的山茶花小徑前往倉瀨觀景台，全程約 20 分鐘。小徑兩旁種著山茶樹，而且適合不同體能水平的人健行。在觀景台前方約 700 公尺處，有一條岔出的小徑通往祇園山（標高 139 公尺）山頂。這條小徑略為陡峭，有座石

造鳥居標示其所在的位置，雨後路面會有些濕滑。山頂附近還有一處石造的小型神殿（日語：祠），當中供奉著祇園天神。

倉瀨觀景台是深受徒步健行者喜愛的野餐地點。位於豐岡漁港的「Nagomi（なごみ）」則是島上唯一的餐廳，在那可以購買便當享用。

<日本語仮訳>

倉瀨展望台

倉瀨展望台は地島北端にあり、玄界灘に浮かぶ大島と沖ノ島を望めます。この展望台には、水平線上の沖ノ島の位置を示す表示があります。

倉瀨展望台は、崖の上を開けた草原の展望台で椅子も設けられています。崖の下の近くには、半分海に沈んだ岩礁が見え、少し沖には大きな岩が見えます。この岩は徳利に似た形をしています。

豊岡港から、長さ 1.2km の「つばきロード」を倉瀨展望台まで歩くには、20 分ほどかかります。この道にはツバキの木が並んでおり、ほとんどの人の体力に適しています。展望台の約 700m 手前には、祇園山(139m)の頂上に向かう分かれ道があります。この少し急な道の目印は石の鳥居です。この道は、雨だと滑りやすくなります。頂上近くには、石でできた小さなほこらがあり、祇園天神が祀られています。

倉瀨展望台は、山歩きの際に食事をする場所として人気があります。お弁当は、「なごみ」という食堂で購入できます。「なごみ」はこの島唯一の食堂で、豊岡漁港にあります。

【タイトル】 宗像でのサイクリング

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**宗像骑行**

宗像的自行车道可让游客以自己的步调探索此地。道路上的标示十分清晰，蓝色的车道表示无汽车区，车道途经多处历史和自然景观，包括玄海国定公园的部分景点。尽管山峰附近有些路途较为陡峭，但大部分车道较为平坦，适合各种体能的人骑行。自行车租赁点也提供电动自行车，先到先得。

宗像地区有多处自行车租赁点，当地还有许多咖啡馆和路边餐厅，以及充足的自行车停车点。游客可从宗像道路休息站获取此地区的地图和相关信息。

这条路线的亮点之一是一条海滨小道，这条小道以五月松原海滨步道为起点，途中穿越一片黑松林，抵达钟崎渔港。在靠近内陆的地方，这条路线蜿蜒经过四塚连山之一的汤川山（471 米），穿越其绿树成荫的山坡。这条路线的大部分穿过农村地区，途经农场和稻田。经过宗像大社附近的吉田大坝后，便是可以看见远处山峦的大片田野，这里的车道又直又长，游客可在此尽情享受骑行乐趣。

<繁体字>**宗像自行車之旅**

遊客可在宗像的自行車道上騎自行車，以自己的步調探索此地，而且沿路標示十分清楚，藍色的車道表示無汽車路段。沿著車道騎行，可以經過多處歷史和自然名勝，包括玄海國定公園的部分景點。除了山區有些路段較為陡峭，大部分的車道都相當平緩，適合各種體力水平的人們。此外，自行車的租借點另有提供電動自行車，租借的優先順序採取先到先服務的原則。

宗像地區有多處自行車租借點、咖啡館和位於路邊的餐廳，以及充足的自行車停車點。遊客可前往宗像道路休息站索取此區的地圖和相關資訊。

這條路線的亮點之一是從五月松原海濱步道出發，途中會穿越一片黑松林，最後抵達鐘崎漁港的海濱小徑。至於靠近內陸的路線，則從四塚連山之一的湯川山（標高 471 公尺）蜿蜒而過，沿途穿越綠樹成蔭的山坡。這條路線的多處路段經過農村地區，可以欣賞農場和稻田風情，騎過宗像大社附近的吉田大壩，則是遠處可見山巒景色的大片田野，這裡車道又長又直，遊客能在此盡情享受騎行樂趣。

<日本語仮訳>

宗像でのサイクリング

自転車道を使えば、宗像地域を自分のペースで探索できます。自転車道は、自動車が入れないことを示す青色に塗られており、はっきり分かるようになっています。自転車道は、歴史・自然に関する見どころや、玄海国定公園の一部を通っています。自転車道のほとんどは平坦で、すべての体力レベルの人に適しています。ただし、山の近くではより起伏の大きな箇所もあります。自転車を借りられる場所では、電動自転車も先着順で借りられます。

宗像地域には、自転車を借りられる場所がいくつかあります。また、「道の駅むなかた」では、地域に関する情報と地図を手に入れることができます。宗像地域の道沿いにはたくさんのレストランやカフェがあり、自転車置場も豊富です。

この自転車道で特に素敵な場所の 1 つは、さつき松原遊歩道からクロマツの林を通して鐘崎漁港へ至る海辺の道です。さらに内陸に向かうと、この自転車道は、四塚連山の一部である湯川山 (471m) の斜面の森を蛇行していきます。この自転車道の多くは田舎を走っており、田畑を通り過ぎていきます。宗像大社近くの吉田ダムを過ぎると、遠くに山々を見つつ田畑を通り抜けていくな長い道を楽しむことができます。

【タイトル】 須賀神社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**須賀神社**

从 19 世纪晚期开始，人们便一直在日本福津市手光地区的须贺神社内举行敬拜“神宿之岛”冲之岛的神道教仪式。每年 5 月，在水稻种植季开始之前，当地人会聚集于神社以祈求身体健康，并在祭坛上供奉米饭和蔬菜，然后与神职人员一同向着冲之岛的方向祈祷。

根据当地的说法，这一传统始于 1890 年的痢疾爆发后。社区的一些成员当时前往冲之岛祈求疾病结束，不久之后，人们开始慢慢恢复，疾病的传播也随之停止。

奇迹般地恢复之后，人们开始普遍在离须贺神社最近的山峰在自山（249 米）敬拜冲之岛。随着时间推移，人们开始在神社中遥拜冲之岛，而非攀登上山举行仪式。面向在自山和冲之岛的两道石阶旁边便有一座石坛，游客可站立在台阶上，更好地欣赏在自山山顶的景致。

为防止未来疫情爆发，须贺神社附近的手光村引入了集体医疗救助制度。村民每年贡献一定比例的水稻收成，用以聘请医生为社区服务。

<繁体字>**須賀神社**

須賀神社位於日本的福津市手光地區，自 19 世紀晚期以來，便是舉行敬拜「神宿之島」沖之島神道教儀式的場所。每年 5 月在水稻種植季開始前，當地人會聚集在神社祈求身體健康，並在祭壇奉上米飯和蔬菜，然後與神職人員一同向著沖之島這座聖島祈禱。

根據當地說法，在西元 1890 年爆發痢疾後便有這項傳統。當時，社區的一些成員前往沖之島祈求疫情能夠結束，人們不久之後逐漸康復，疾病也不再繼續傳播。

人們在奇跡般地康復後，開始前往離須賀神社最近的山峰在自山（標高 249 公尺）上，然後從可清楚看見沖之島的地方敬拜，自此成為一種普遍的習俗。不過隨著時間推移，人

們逐漸改在神社內遙拜沖之島，而非登上山舉行儀式。在兩道石階旁，有座正對著在自山和沖之島的石壇，遊客可站在台階上取得更好的視野，欣賞在自山山頂的景致。

為了防止未來疫情再次爆發，須賀神社附近的手光村引入了集體醫療救助制度，村民每年貢獻一定比例的水稻收成，聘請醫生前往社區服務。

<日本語仮訳>

須賀神社

福津市の手光地区にある須賀神社では、19 世紀後半から、聖なる島である沖ノ島を遥拝する神道の儀式が行われてきました。田植えの季節が始まる前、毎年 5 月に地元の人々が健康を祈るためにこの神社に集まり、祭壇に米と野菜を備え、沖ノ島に向かって神官と祈ります。

地域の言い伝えによると、この伝統が始まったのは、1890 年に赤痢が流行した後のことです。この地域から数名が沖ノ島に行き、赤痢がなくなるよう祈りました。その後まもなくして人々は回復し始め、赤痢の流行は止まりました。

この奇跡的な回復後、須賀神社に最も近い山である在自山(249m)の見晴らしの良い場所から沖ノ島に遥拝することが一般的になりました。人々は、時が経つにつれて、在自山に登るのではなく須賀神社の敷地から沖ノ島に祈るようになりました。2 つの石段の近くにある石の祭壇は、在自山と沖ノ島のほうを向いています。この石段の上に立てば、在自山の頂上をもっとよく眺めることができます。

須賀神社周辺の集落である手光の人々は、今後病気が発生した場合に備えて、集団での医療扶助の仕組みを導入しました。村人は、自分たちを診る医者を雇うために、収穫した米の一部を毎年出しあったのです。

【タイトル】 城山ハイキング

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**城山徒歩**

城山（369 米）是被统称为“四塚连山”的四座山峰之一。从赤间登山口上山的道路保养得很好，还设有结实的原木台阶。这条小径颇受登山者的欢迎，因为沿途可饱览整个地区的景致。

山顶附近的石墙遗迹标志着此处是葛岳城旧址的所在地。据信，宗像家族于 13 世纪建造了葛岳城，并在 1560 年对防御工事进行了加固，以防遭受敌人的袭击。宗像家族统治该地区直至 16 世纪，其家族成员还曾多次担任宗像大社的宫司。宗像大社是供奉宗像三女神的三座神社的总称。

在上山途中，游客可以见到一些珍稀植物和真菌的身影。在夏季，淡黄裙鬼笔（学名：Phallus luteus）便会在靠近山脚的茂密森林中生长，其特点就是有一条从蘑菇帽垂下来的花边裙带。再往山上走，还有这种蘑菇的白色变种。血红肉果兰（学名：Cyrtosia septentrionalis）是一种不寻常的兰花，生长于森林中。这种植物拥有红色豆荚状果实，表明其属于异养菌兰，这种兰花以真菌为养分来源，而非通过光合作用产生营养。

宗像地处盆地，而四塚连山是其最为突出的自然地标，徒步旅行者无需特殊设备就能爬上这些山，而且一天之内就能爬完四座山。

<繁体字>**在城山徒步健行**

城山（標高 369 公尺）是統稱為「四塚連山」的四座山峰之一。從赤間的登山口上山，除了山道狀況維護良好，還設有堅固的原木台階，沿途也能飽覽整個地區的景致，因此在登山客間很受歡迎。

山頂附近的石牆殘跡，顯示著蔦嶽城舊址的所在地。據信，宗像家族於西元 13 世紀建造了蔦嶽城，並在 1560 年進行強化工程，以防遭受敵人的攻擊。西元 16 世紀以前，宗像家族一直統治著該地區，家族成員還會擔任宗像大社の宮司；宗像大社は供奉宗像三女神的三座神社總稱。

上山途中，遊客可以看見一些珍稀植物和真菌。在夏季時，淡黃裙鬼筆（學名：Phallus luteus）在靠近山腳的茂密森林中生長，特色是從蕈帽處下垂的花邊裙帶，再往山上走，還能見到這種蕈菇的白色變種。血紅肉果蘭（學名：Cyrtosia septentrionalis）則是生長於這片森林中的一種特殊蘭花，擁有紅色豆莢狀的果實，表示這種植物屬於蘭菌根（與根中的菌共生），即以真菌為養分來源，而非透過光合作用取得養分的蘭花。

此外，宗像地處盆地，因此四塚連山是最為突出的自然地標，徒步健行者無需特殊裝備即能登山，而且一天內要爬完四座山也不無可能。

<日本語仮訳>

城山ハイキング

城山(369m)は、まとめて「四塚連山」と呼ばれる 4 つの山の 1 つです。赤間の登山口から城山に登る道は、よく管理されており、しっかりした丸太の階段が設けられています。登山道からはこの地域全体を眺めることができ、登山者に人気があります。

山頂近くの石垣の名残は、蔦ヶ嶽城の跡を示すものです。蔦ヶ嶽城は 13 世紀に宗像氏が築いたと考えられており、1560 年には敵の攻撃から城を守るために防御が強化されました。宗像氏は、この地域を 16 世紀まで統治し、宗像大社の宮司を務めていました。宗像大社とは、宗像三女神を祀る 3 つの神社の総称です。

城山に登る途中では、希少な植物や菌類をいくつか目にするかもしれません。夏には、山麓近くの深い森で、黄色のウスキキヌガサタケ(学名:Phallus luteus)が育ちます。このキノコは、かさから下がっているレースのような「スカート」が特徴です。さらに山を登っていくと白色のウスキキヌガサタケが出てきます。ツチアケビ(学名:Cyrtosia septentrionalis)は、この森で育つ珍しい種類の蘭です。ツチアケビの赤いさや型の果実は、この植物が菌従属栄養の蘭の一種であることを示しています。この種の蘭は、光合成によって栄養素を作るのではなく、菌類に栄養を頼っています。

宗像は盆地に位置しており、四塚連山は最も明確な自然の境界線です。四塚連山には特別な装備なく登ることができますし、1 日で 4 つの山すべてに登ることも可能です。

【タイトル】 蔦ヶ嶽城址

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**葛岳城旧址**

城山山顶附近的石墙遗迹标志着葛岳城（又名赤间山城）旧址的所在地。宗像家族于十三世纪修建葛岳城，并一直统治该地区直到十六世纪。沿着上山的步道望去，葛岳城的残垣断壁清晰可辨，足见其昔日的庞大规模与防御能力。

大约在 1560 年，人们通过修筑大规模土木工事（包括堆土垒、挖壕沟等）对葛岳城进行扩建并加固，使其成为一座大型要塞。经此扩建，葛岳城一举成为该地区最大的城堡。包括其土木工事区域在内，葛岳城东西长约 800 米，南北宽约 500 米。根据城内残留的碎铁片和其他考古证据，当年铁匠很有可能在城内打造箭头和其他武器。

大友家族从十二世纪到十六世纪一直统治着九州东部的大片地区，葛岳城曾多次遭受其攻击，却始终岿然不动。但在 1586 至 1587 年间，丰臣秀吉的军队在征服九州大名的战役中，攻占了葛岳城。战败后，宗像家族被迫领命迁出葛岳城。在丰臣秀吉的命令下，葛岳城的一部分被拆除，余下的区域则沦为一片废墟。

天气晴朗之日，站在城山山巅可以眺望“神宿之岛”冲之岛的秀丽景致。可遥望冲之岛的地方被称为“遥拜所”，是人们从远处敬拜圣岛的场所。由于整座冲之岛都禁止普通公众踏足，人们会来到“遥拜所”对其进行敬拜。

<繁体字>**蔦嶽城舊址**

城山山頂附近的石牆殘跡，標示了蔦嶽城（又名赤間山城）舊址的所在地。宗像家族於 13 世紀修建蔦嶽城，並在 16 世紀前一直統治著該地區。沿著登山步道望去，蔦嶽城的斷垣殘壁清晰可辨，足見其昔日的龐大規模與堅不可摧的防禦力。

大約在西元 1560 年時，人們為了強化蔦嶽城的防禦力，進行大規模的土木工程，包括堆土壘、挖壕溝等，讓這座城堡擴建成為一座大型要塞。經此擴建，蔦嶽城一舉成為該地區最大的城堡，包括土木工程擴建區域在內，蔦嶽城東西長約 800 公尺，南北寬約 500 公尺。此外，根據城內殘留的碎鐵片和其他考古證據，那時的鐵匠很有可能已在城內打造箭鏃和其他武器。

從 12 到 16 世紀，大友家族一直統治著九州東部大部分的地區，蔦嶽城曾多次遭受他們攻擊，但始終都倖存了下來。不過到了西元 1586 至 1587 年間，豐臣秀吉的軍隊在征服九州大名的戰役中，攻佔了蔦嶽城。戰敗的宗像家族於是被下令遷出蔦嶽城。在豐臣秀吉的命令下，蔦嶽城的部分區域遭到拆除，餘下地方則淪為一片廢墟。

在天氣晴朗時，站在城山山頂可以眺望「神宿之島」沖之島的秀麗景致。人們遙望沖之島的地方被稱作「遙拜所」，意即從遠處敬拜聖島的場所。由於整座沖之島禁止一般民眾登島，人們因此前往這些「遙拜所」祈願。

<日本語仮訳>

蔦ヶ嶽城址

城山の頂上近くにある石垣の名残は、蔦ヶ嶽城の跡を示すものです(この城は、赤間山城とも呼ばれます)。この地域を 16 世紀まで統治していた宗像氏が、13 世紀に蔦ヶ嶽城を築きました。登山道沿いに見える城壁の名残は、この城の規模とかつての防御力について教えてくれます。

この城は、1560 年頃、土壘や堀などの大規模な土木工事により拡張して防御を固め、包囲に耐えられる城砦となりました。この拡張により、蔦ヶ嶽城は地域で最大の城となりました。この城はえなどを含めて、東西 800m、南北 500m にわたっていました。鉄の破片やその他の考古学的証拠から、鍛冶屋は城の敷地内で矢じりやその他の武器を作っていた可能性が高いと考えられます。

この城は、12～16 世紀に九州東部の多くを支配していた大友氏からの数度の攻撃に耐えました。しかし 1586～1587 年、豊臣秀吉の軍勢が九州の諸大名を制圧する中でこの城を落としました。宗像氏は、敗北後にこの城を離れるよう命じられました。この城の一部は豊臣秀吉の命令により取り壊され、それ以外の部分は荒廃しました。

晴れた日には、城山の頂上から聖なる島である沖ノ島を見ることができます。沖ノ島を望める場所は、遠くから沖ノ島に祈るための「遙拜所」だと考えられています。沖ノ島に一般人が立ち入ることはできないため、人々はこれらの「遙拜所」に来て祈ります。

010-020

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】 ふれあいの森総合公園

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

交流之森公園

交流之森公園占地面積約49公頃，其中設有多條森林步道和一個瞭望點，在瞭望點可以眺望九州以西的玄界灘。公園東部設有觀景台，名為“*Nozomi no Oka*”，意為“希望之丘”。遊客可從觀景台看到沖之島，一座自古以來備受崇敬的神聖島嶼。

公園森林裡放置的巢箱吸引各種鳥類前來棲息。森林中常見的鳥類包括樹鶯、金翅雀、黑背白鵲鴿以及綉眼鳥。黃昏時分，有時還能在園內兩處池塘附近看見夜鷺的身影。

秋季，大浦池周圍的銀杏樹葉鋪滿地面，彷彿一張金色的地毯。冬季，生長在林下灌木叢中的寒莓（學名：*Rubus buergeri*）藤蔓會結出如覆盆子一般顏色鮮紅的果實。冬季，相原池周圍會開出美麗的山茶花。而春季，種植在池塘和運動場周邊的染井吉野櫻會競相綻放。

交流之森公園內還有兒童遊樂場、滑板場、兩座遮蔭涼亭等其他設施。

<繁体字>

交流之森公園

交流之森公園占地49公頃，其中設有多條森林步道和一處瞭望點，從那裡可以遠眺九州以西的玄界灘。公園的東邊設有觀景台，名為「希望之丘」。遊客可從觀景台看見沖之島，那是一座自古以來備受崇敬的神聖島嶼。

公園的森林裡放置著巢箱，聚集各種鳥類前來入住。森林中常見的鳥類包括短翅樹鶯、金翅雀、黑背白鵲鴿以及綠繡眼。到了黃昏時分，有時還能在園內兩處池塘附近看見夜鷺的身影。

時至秋季，大浦池周圍布滿銀杏樹的落葉，彷彿一張金色的地毯。入冬之後，生長於林內灌木叢中寒莓（學名：*Rubus buergeri*）的藤蔓上，結出形似覆盆子的鮮紅果實。此外，

冬季在相原池邊也開出美麗的山茶花。到了春天，種植在池子和運動場附近的染井吉野櫻花則會競相綻放。

交流之森公園內另外設有兒童遊樂場、滑板場、兩座涼亭等其他設施。

<日本語仮訳>

ふれあいの森総合公園

「ふれあいの森総合公園」の49ヘクタールの敷地には、森の中の散策路や九州の西側に開けた玄界灘を望める場所などがあります。この公園の東部には、「望みの丘」という展望台があります。この展望台からは、沖ノ島が見えます。沖ノ島は聖なる島であり、古くから信仰の対象となってきました。

この公園の森にある巣箱には、様々な鳥類が集まります。この森でよく見られる鳥には、ウグイス、カワラヒワ、ハクセキレイ、メジロなどがいます。この公園にある2つの池の近くでは、黄昏時にゴイサギが見つかることもあります。

秋の大浦池周辺では、いちよの葉が色づいて、黄金の葉のじゅうたんができます。冬には、フユイチゴ(学名:Rubus buergeri)のつるが、森の下生えの中で、赤いイチゴのような実をつけます。冬の相原池周辺ではツバキが咲き、春にはソメイヨシノの花が開きます。ソメイヨシノは、池と運動場の周辺に植えられています。

「ふれあいの森総合公園」のその他の施設には、子どもの遊び場、スケートボード場、2つの東屋などがあります。

010-021

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】 白石浜

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白石滨海滩

僻静的白石滨海滩位于福津市北部，因其白色沙粒、清澈海水以及正对冲之岛（一座自古以来备受崇敬的神圣岛屿）的绝佳视野而闻名。数世纪以来，人们在这片海滩上举行仪式，敬奉冲之岛上的神明，并祈求风调雨顺，五谷丰登。

每年夏季水稻种植季节结束时，人们会汇聚在白石滨海滩共同庆祝。他们会将榻榻米垫子平铺在沙滩上，并举行简单的仪式，即朝着冲之岛的方向献上清酒和赤饭（煮熟的红豆饭）。仪式结束后，参与者会一同用餐。这些传统相传一直延续到二十世纪中叶。

白石滨海滩于七月和八月间向游泳爱好者开放，凭借其优良水质位列福冈地区最佳游泳场地之一。除游泳季之外，通往海滩的窄道禁止车辆通行。

<繁体字>

白石濱海灘

僻靜的白石濱海灘位於福津市北部，因其白色的沙灘與清澈海水，以及正對沖之島（一座自古以來備受崇敬的神聖島嶼）的絕佳視野而聞名。數個世紀以來，人們在這片海灘舉行儀式，敬奉沖之島上的神明，並祈求風調雨順、五穀豐收。

每年當夏季水稻種植季結束時，人們會聚集在白石濱海灘一同慶祝，並舉行簡單的儀式，像是把榻榻米鋪在沙灘上，朝著沖之島的方向獻上清酒和赤飯（將紅豆與米飯一起烹煮的料理）。儀式完畢後，參與者會一同用餐。上述傳統相傳一直延續到 20 世紀中葉。

白石濱海灘在 7 月至 8 月間開放，憑藉其優良水質成為福岡地區的熱門游泳去處之一，吸引游泳的愛好者前來消暑。此外，除了游泳季節，通往海灘的窄路禁止車輛通行。

<日本語仮訳>

白石浜

白石浜は福津市北部にあり、市街地からは離れています。この浜は、白い砂と澄んだ水、そして沖ノ島が見えることで知られています。沖ノ島は聖なる島であり、古くから信仰の対象となってきました。白石浜では数世紀にわたって、沖ノ島の神々を崇め、豊作を祈る儀式が行われていました。

毎年夏に田植えシーズンが終わると、人々は白石浜に集まってお祝いをしていたことでしょう。砂地に畳を敷き、沖ノ島の方角にお酒と赤飯を供えて、簡素な儀式を行いました。儀式の後には、参加者たちで食事を共にしたことでしょう。これらの伝統は20世紀半ばまで続いていたとされています。

浜は7月から8月の間は海水浴場として開放されており、その水質の良さから、福岡でも有数の海水浴場となっています。海水浴シーズン以外は、ビーチまでの細い道路が通行止めになります。

【タイトル】 大峰山展望台

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**大峰山观景台**

大峰山观景台（海拔约 114.5 米）位于渡半岛海拔最高处，从这里放眼望去，多处世界遗产（统称为“神宿之岛”宗像·冲之岛及相关遗产群）的风光尽收眼底。新原·奴山古坟群坐落于俯瞰福津市的高原之上，以其古墓（古坟）为特色，是该地区的世界遗产地之一。新原·奴山古坟群建于公元五、六世纪，专供统治这片地区的宗像家族使用。古墓的照片会在观景台附近展出。

游客可在观景台俯瞰相岛和大岛。晴朗时，还有机会观赏“神宿之岛”冲之岛的秀丽景致。观景台附近的公园被当地人称为“东乡公园”，因为园内立有为纪念日俄战争(1904-1905)的日本海海战而修建的纪念碑。纪念碑仿照舰队旗舰三笠号战列舰舰桥的外观建造。该战役于 1905 年 5 月 27 日在福津市海岸附近的对马海峡爆发。日本舰队由海军大将东乡平八郎(1848-1934)指挥。在这场成败攸关的战役中，三分之二的俄国舰队惨遭摧毁，有效地结束了战争。

观景台和纪念碑都位于大峰山自然公园，园内建有数条环山步道。自然公园的樱花树和日本枫树尤为引人注目。通向观景台的小径两旁栽有常青山茶树，以及据说约有 200 多年历史的大型红楠。

<繁体字>**大峰山觀景台**

大峰山觀景台（標高 114.5 公尺）位於渡半島的最高點，從這裡放眼望去，可將多處世界遺產（統稱「神宿之島」宗像・沖之島及相關遺產群）的風光盡收眼底。新原・奴山古墳群是其中的世界遺產之一，坐落於俯瞰福津市的高原上，以古墳為其特色，建於西元 5、6 世紀，是過去統治這一帶的宗像家族墳墓，觀景台附近還有展出古墳的照片。

遊客可在觀景台俯瞰相島和大島。天氣晴朗時，還有機會欣賞「神宿之島」沖之島的優美風光。當地居民將觀景台附近的公園稱為「東郷公園」，因為園內設有紀念日俄戰爭（西元 1904-1905）的日本海海戰紀念碑，紀念碑則仿照三笠號戰艦（艦隊旗艦）艦橋的外型建造。西元 1905 年 5 月 27 日，日本海海戰在福津市外海的對馬海峽爆發，日本艦隊由海軍大將東郷平八郎（西元 1848-1934）指揮，並在如此決定性的戰役中，擊沉俄國艦隊三分之二的艦艇，最後成功結束這場戰爭。

觀景台和紀念碑位於大峰山自然公園，園內設有數條環山步道，遍布美麗的櫻花樹和日本楓樹，成為公園迷人的特色。通往觀景台的小徑兩旁種有四季常青的山茶樹，以及樹齡據估約 200 年的高大紅楠。

<日本語仮訳>

大峰山展望台

大峰山展望台(114.5m)は、渡半島で最も標高が高い地点に位置しています。この展望台からは、世界遺産の"「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群"に含まれている場所のいくつかを見渡すことができます。世界遺産の 1 つである新原・奴山古墳群は、福津市の上の高台にある古墳群です。これらの古墳は、この地域を統治していた宗像氏の墓で 5～6 世紀に築かれたものです。展望台の近くには、これらの古墳の写真が展示されています。

この展望台からは相島や大島が見え、晴れた日には聖なる島である沖ノ島も見えます。この展望台周辺の公園は、地元では「東郷公園」として知られています。この公園には、日露戦争(1904～1905 年)での日本海海戦を記念した碑があるからです。この記念碑は連合艦隊の旗艦「三笠」の艦橋を模したと言われています。日本海海戦は、1905 年 5 月 27 日、福津沖の対馬海峡で行われました。日本の艦隊を率いていたのは、東郷平八郎(1848～1934 年)海軍大将でした。この決定的な戦いの間に、ロシア艦隊の 2/3 は破壊され、日露戦争は終結することになりました。

この展望台と記念碑は、大峰山自然公園の中に位置しています。この自然公園には、大峰山を巡る登山道があり、桜の木と紅葉の木が特徴です。展望台への道沿いには、常緑の椿の木と、大きなタブの木が立ち並んでいます。これらのタブは樹齡約 200 年だと考えられています。

【タイトル】 在自山と金刀比羅神社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**在自山和金刀比罗神社**

在自山（海拔约 249 米）两侧修建有两座神社，即宫地狱神社和金刀比罗神社。两座神社之间设有徒步步道。在自山山峰附近的空地上矗立着一红一白两处鸟居，在这里放眼远眺，能看见“神宿之岛”冲之岛。想要遥拜冲之岛的人会利用这块空地。站在鸟居之下，可眺望福津市乃至玄界滩的绝佳景致，因此，这里也深受摄影爱好者的喜爱。

金刀比罗神社起初修建于在自山山巅，但于江户时代(1603-1867)被迁移至山脚。这座神社与香川县的金刀比罗宫有着密切联系，因为两座神社都供奉着大物主神，即海神和海员的守护神。金刀比罗神社因其每年 9 月 9 日举办的秋季丰收节而闻名。当地人装扮成在江户时代统治这片地区的黑田家族成员的样子，在五彩斑斓的游行队伍中，托举着便携式神社，从金刀比罗神社出发前往海滩，然后再返回神社。

<繁体字>**在自山與金刀比羅神社**

宮地嶽神社、金刀比羅神社坐落於在自山（標高 249 公尺）的兩側，兩座神社之間設有健行步道。在自山的山頂附近空地矗立著兩座鳥居（一紅一白），從這裡可以清楚看見「神宿之島」沖之島，由於視野清楚，信眾們利用此地遙拜沖之島。從鳥居遠望，可以欣賞福津市與玄界灘的絕佳景色，因此也深受攝影師們的喜愛。

金刀比羅神社最初建於在自山的山頂，但在江戶時代（西元 1603-1867）時移至山腳下，這座神社與香川縣的金刀比羅宮有著密切關聯，因為兩座神社皆供奉大物主神（海神，同時也是水手的守護神）。金刀比羅神社以每年 9 月 9 日舉辦的秋季豐收祭而聞名。當地人會在祭典中裝扮成黑田家族（江戶時代統治此區的家族）成員的模樣，並扛著神輿跟隨造型五彩繽紛的遊行隊伍，從金刀比羅神社出發前往海邊，然後再返回神社。

<日本語仮訳>

在自山と金刀比羅神社

在自山(249m)の両側には、それぞれ宮地嶽神社と金刀比羅神社が位置しており、登山道がこれら2つの神社を結んでいます。在自山の頂上近くの開けたところには2つの鳥居（一基が紅、一基が白）が立っています。ここからは聖なる島である沖ノ島方面が望めます。遠くからでも沖ノ島を祈りたい人々が、この開けた場所を利用しています。鳥居を通して福津市と玄界灘を見渡す眺めは、写真家たちに人気があります。

金刀比羅神社は、元は在自山の頂上にありましたが、江戸時代(1603～1867年)の間に山のふもとに移されました。この神社は、香川の金刀比羅宮とつながりがあります。どちらの神社も、海の神であり船乗りを守る大物主を祀っています。金刀比羅神社は、毎年9月9日に豊作を祈って行われる秋祭りで知られています。地域の住民は、江戸時代にこの地域を治めていた黒田家の人々の装束を着て色鮮やかな行列を作り、神輿を担いで金刀比羅神社から海まで往復します。

【タイトル】 歴史ある津屋崎千軒地区

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

津屋崎千軒历史区

津屋崎千軒是位于福津市的历史区。这片区域中有保存完好的明治时代(1868-1912)商铺，以及清酒酿造厂和海胆商店等老牌企业。此地的狭窄街道两旁曾经建有大量房屋，因此得名津屋崎千軒（千軒意为“一千座房屋”）。其中一些历史性建筑对游客开放。1905 年政府控制盐业生产之前，这座城镇一度作为当地的盐业中心繁荣发展。津屋崎盐田于 1911 年关闭。

传统企业

蓝之家（即“靛蓝之家”）修建于 1901 年，原本是一家靛蓝染色工坊。如今，该工坊已成为对外开放的民俗博物馆。蓝之家的旁边是一家名为丰村酒造的家族企业，成立于 1874 年。明治时代的店面可供游客自由参观，店铺后面的酿造厂则仅在活动或节庆期间对外开放。家族经营的原田工坊专门制作津屋崎手绘泥塑人偶，迄今已有超过 240 年的历史。原田家族会为每年举办津屋崎祇园山笠节的彩车制作人偶。

这里的游客信息中心名为津屋崎千軒 Nagomi，经特殊设计，外观类似于传统商铺。信息中心有关于该地区历史的展览和展品，并提供小册子和地图。

传说中的神社

波折神社是一座位于津屋崎千軒中心地带的神道教神社，其中供奉着三位据说能保护渔夫的神明。当地流传着这样一个传说：从前，三名来自津屋崎的渔夫被困于暴风雨中。正当他们祈求能平安返程时，三位神明出现了，并将渔夫安全送达离海岸不远的岛屿上。几天后，暴风雨逐渐平息，渔夫也平安抵达港口。渔夫在他们的渔船上发现三块石头，并一致认为这就是那三位神明的化身。他们将石头带回津屋崎，并修建了波折神社，以供奉三块石头，并敬拜拯救他们于危难中的神明。

神社区域内有一尊石像，雕刻着一只乘风破浪的“冲浪兔”。这尊石像由当地社区居民于 1927 年（根据十二生肖，这一年是兔年）赠予神社。

每年七月，神社都会充当津屋崎祇园山笠节的起点。该节日已拥有超过 300 年的历史。节日期间，不同队伍会扛着色彩缤纷的华丽木质彩车，在狭窄的街道上展开你追我赶的比赛。

<繁体字>

津屋崎千軒歷史區

津屋崎千軒是福津市內一處歷史悠久的街區，擁有明治時代（西元 1868-1912）以來保存狀態依舊完好的商家，而且至今仍有營業的包括清酒釀造廠，以及海膽專賣店等。此區的狹窄街道兩旁，昔日曾經建有大量房屋，因此成為「津屋崎千軒」名字的由來（日語中「千軒」意指「一千棟房屋」），其中一些歷史建築如今開放遊客入內參觀。此外，津屋崎千軒昔日曾是當地的鹽業中心，因此繁榮發展，只是西元 1905 年後鹽業改由政府接管，津屋崎的鹽田到了西元 1911 年已關閉。

傳統產業

「藍之家」建於西元 1901 年，原是藍染工坊，如今轉為對外開放的民俗博物館。藍之家的旁邊則是一間名為「豐村酒造」的家族企業，創業於西元 1874 年，遊客在此可以自由參觀從明治時代留存下來的店面，至於店鋪後方的釀造廠，僅在活動或祭典期間對外開放。

「筑前津屋崎人形巧房」由原田家族經營，專門製作津屋崎人偶（一種手工繪製的泥塑人偶），迄今已有超過 240 年的歷史。當地每年舉辦津屋崎祇園山笠祭，其中山車所使用的人偶便是由原田家族製作。

這裡的旅遊資訊服務中心「津屋崎千軒 Nagomi」外觀經過特殊設計，類似傳統商店，裡頭則設有當地歷史相關的展示，並提供觀光手冊和地圖。

傳說中的神社

波折神社是一座神道教神社，位於津屋崎千軒的中心地帶，供奉三位據信能守護漁夫的神明。根據當地傳說，三名來自津屋崎的漁夫受困於暴風雨中，正當祈求平安返航之時，三位神明現身，並將他們安全送至離海岸不遠的島上。幾天後暴風雨平息，漁夫們也安然無恙回到港口，漁夫們在船上發現三塊石頭，認為那就是三位神明的化身，於是他們將石頭帶回津屋崎，並修建了波折神社，供奉著三塊石頭，祭拜曾在危難中拯救自己的神明。

神社境內有尊雕刻出兔子乘風破浪模樣的石像，名叫「乘波兔」。這尊石像由當地居民於西元 1927 年（根據十二生肖，該年是兔年）贈予神社。

毎年 7 月、当地都會舉辦逾 300 年歷史的津屋崎祇園山笠祭，波折神社便是這場祭典的出發地。祭典期間，各個隊伍扛著色彩繽紛且裝飾精美的木製山車，在狹窄的街道上展開競賽。

<日本語仮訳>

歴史ある津屋崎千軒地区

津屋崎千軒は福津の歴史ある地区であり、保存状態の良い明治時代(1868～1912 年)の商家が並んでいて、昔から営業が続く酒蔵やうに店など、いずれも歴史ある建物が現役で活躍しています。この地区の名前は、かつては狭い通りに多くの家が立ち並んでいたことに由来します(「千軒」とは、千軒の家という意味)。いくつかの歴史的建造物は公開されています。津屋崎千軒は、1905 年に製塩業が政府の管理下に入るまで、この地域の製塩業の中心として栄えました。津屋崎の塩田は 1911 年に閉鎖されました。

伝統産業

「藍の家」は、藍染物の工房だった建物です(1901 年築)。現在は民俗博物館として公開されています。「藍の家」の隣には、1874 年に創業し家族で経営している「豊村酒造」があります。豊村酒造では、明治時代の店頭を訪れることができます。敷地の奥にある酒造所は、催事やお祭りの際に公開されます。家族経営の「筑前津屋崎人形巧房」は、津屋崎人形を 240 年以上にわたって作り続けてきました。津屋崎人形とは、焼き物に手作業で彩色した人形です。「筑前津屋崎人形巧房」は、年 1 回行われる津屋崎祇園山笠祭りの山車のために人形を製作しています。

観光案内所「津屋崎千軒なごみ」は、伝統的な商家を模して設計されています。「津屋崎千軒なごみ」には、パンフレットや地図とともに、この地域の歴史に関する展示があります。

伝説を持つ神社

波折神社は津屋崎千軒地区の中心にあり、漁師の守り神だと信じられている三体の神を祀っています。この地域の伝説によると、かつて、津屋崎の漁師 3 人が、ひどい嵐につかまってしまったことがあります。漁師たちが身の安全を祈ると、三体の神が現れ、漁師たちを海岸からすぐの島へと無事に導いてくれました。数日後、嵐が収まると、漁師たちは安全に港へ戻りました。漁師たちは、自分たちの船で 3 つの石を見つけ、これらの石は三体の神を表していると信じました。漁師たちは、3 つの石を津屋崎に持ち帰りました。そして、これらの石を祀り、自分たちを救ってくれた神々を崇めるために、波折神社を建立しました。

波折神社の境内には、波頭に立つ「波乗りうさぎ」を描いた石像があります。この像は干支の卯年である 1927 年に地元の人々が神社に寄進したものです。

毎年 7 月、波折神社は津屋崎祇園山笠祭りの出発地点になります。このお祭りの起源は、300 年以上前にさかのぼります。このお祭りでは、色鮮やかに飾りつけた木製の山車を担いだ各組が狭い通りを走って競争します。

【タイトル】 藍の家

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**蓝之家**

蓝之家（即“靛蓝之家”）是一栋连排房屋，修建于1901年，原本是一家靛蓝染色工坊。如今，该工坊已成为对外开放的民俗博物馆。该建筑保存完好，能让游客清楚了解该地区明治时代(1868-1912)的房屋外观。

打开木质滑门，映入眼帘的是玄关入口，此处的地板由三和土压制而成。该玄关入口原本是用作销售和交付货物的场地。客人在脱下鞋后会被邀请前往主接待室。接待室内平铺着榻榻米，可用木质滑门将其划分为不同区域。玄关天花板的一些横梁曾在海水中浸泡多年，以防昆虫侵蚀，这一过程被称为“盐木”。至今仍可在横梁表面见到残留的白色细盐。

蓝之家的建筑特点有利于控制室温。这座房屋正面设有板条形的木质屏风，可以调节进入屋内的光线和风。这些屏风也可被全部移除，使房屋内部对街道敞开。打开房屋前面的飘窗，凉爽的微风迎面而来。内部房间中手工雕刻的木质“栏间”（楣板）可将光线引入室内，并让空气流通。房屋后面有一个带井的庭院花园，给屋内带来了更多自然光线，从前人们会在这里印染织物。厕所和浴室通过花园一侧的走廊连接至主屋。

蓝之家的当地志愿导游会为游客介绍建筑特色。参观靛蓝染色工坊需提前预约。蓝之家于2007年被列为日本有形文化遗产。

<繁体字>**藍之家**

藍之家修建於西元1901年，原本是間經營藍染工坊的町屋（一種老式連排房屋），如今轉為對外開放的民俗博物館。該建築保存完好，能讓遊客清楚了解明治時代（西元1868-1912）的當地房屋樣貌。

拉開木製拉門後，映入眼簾的是玄關入口，這裡的地板由三和土壓製而成。玄關入口昔日作為銷售和交付貨物的場所，客人會在脫下鞋後受邀前往主要的會客室，室內有鋪著榻榻米，並以木製拉門劃分不同區域。玄關天花板的部分橫樑在海水中浸泡多年，以防木頭遭到蟲蛀，這一工法稱作「鹽木」，因此至今仍可在橫樑的表面上，看到殘留的白色細鹽。

藍之家的建築特點在於方便控制室內溫度。由於房屋正面裝有木製的格子門，可以調節進入屋內的光線及風，這些格子門也能全部拆除，房屋即可對外敞開。打開房屋前側的窗戶，由於面向海灣，可以感受涼爽的海風微微吹來。屋裡房間由手工雕刻的木製「欄間」（位於天花板與門之間的門楣，又稱門頂窗、橫楣上的裝飾），可將光線引入室內，並讓空氣流通。房屋後方則是一座有井的中庭，這個空間為屋內帶來更多自然光線，昔日人們都會在此染製衣物。至於廁所和浴室，則以沿著中庭一側的走廊通往主屋。

藍之家的當地義工導遊會替遊客介紹建築特色。若想參觀藍染工坊，必需提前預約。西元 2007 年時，藍之家被列為日本有形文化財。

<日本語仮訳>

藍の家

「藍の家」は、藍染物の工房だった町屋です(1901 年築)。現在は民俗博物館として公開されています。この建物は良く保存されており、明治時代(1868～1912 年)のこの地域の家屋がどういう姿だったかを訪問者たちもはっきり理解させてくれます。

木製の引き戸を開けて玄関から入ります。玄関部分の床は、土を固めた「たたき」です。この玄関部分は、販売や配達に使われたことでしょう。訪問客は履物を脱いだ後、座敷に上がるよう勧められたでしょう。座敷は畳敷きであり、木製の引き戸で仕切ることができます。玄関部分の天井のはりの一部は、虫害から木を守るために数年間海水につけたものです。この工程を「塩木」(しおぎ)といいます。現在でも、白色の細かい塩がはりに残っているのが見えます。

藍の家は、屋内の温度管理に役立つ特徴を持って建てられています。藍の家の前面には木製の格子戸があり、家に入る日光と風を調整しています。これらの格子戸を完全に外して、通りとの仕切りをなくすこともできます。藍の家の前面にある窓を開けると、涼しい海風が入ってきます。奥の部屋にある手彫りの「欄間」(天井と扉の間にある木の板)は、光と空気が通るようになっています。藍の家の後方には井戸を備えた中庭があり、より多くの自然光が部屋に入るようになっています。ここでは布が染められていたでしょう。お手洗いと風呂は、この中庭の一辺に沿った廊下で母屋とつながっています。

藍の家では地元の有志が案内を行っており、建物の特徴を訪問者に教えてくれます。藍染め体験には予約が必要です。藍の家は 2007 年に国の有形文化財として登録されました。

【タイトル】津屋崎祇園山笠祭り

【想定媒体】WEB

<簡体字>**津屋崎祇園山笠节**

津屋崎祇園山笠节拥有超过 300 年的历史。节日的主要活动是一场精彩的追逐赛，各支队伍扛着色彩缤纷的华丽木质彩车，在福津市津屋崎地区狭窄的街道上你追我赶。代表福津市三个地区的不同队伍从波折神社出发，沿着不同的路线前进直至汇合，这时他们之间的较量才正式开始。

高耸的彩车

每个彩车（山笠）高约 5 米，重约 1 吨，由 30 名社区成员进行搬运。彩车上装饰着精致的战斗场景，其中有令人生畏的骑马武士、城堡、一簇簇鲜花以及手绘的海浪。武士雕像是传统的津屋崎人偶，由黏土制成，色彩艳丽。每个居民区都会利用代代传承的传统建造技术，亲手打造自己的彩车。

人们可通过参赛者所佩戴的发带（一字巾）分辨出不同的竞争地区：渔港的队伍称北流，佩戴粉色发带；商业区的队伍称新町流，佩戴黄色发带；农业区的队伍称冈流，佩戴红色发带。

驱逐传染病的祈祷

津屋崎祇園山笠节衍生自福岡地区已举办 780 多年的博多祇園山笠节。举办这两种节日的目的都是保佑城市，避免传染病和灾难的危害。这个节日在第二次世界大战期间被迫暂停，但在经历多次反反复复的波折后，终于在 1975 年完全恢复。津屋崎祇園山笠节于距 7 月 19 日最近的周末举行，首先，人们会在星期六的夜晚走上街道提灯游行，紧接着在星期天早晨展开正式比赛。节日结束之际，各队会将彩车上的装饰物赠予当地居民，以保佑他们，免受疾病和灾难的折磨。在津屋崎千軒商业区，许多房屋门口都挂着这些手绘护身符。

<繁体字>**津屋崎祇園山笠祭**

津屋崎祇園山笠祭擁有 300 多年的歷史。祭典的主要活動是一場色彩繽紛的追逐比賽，三支隊伍扛著華麗的木製山車，在福津市津屋崎地區狹窄的街道上競速。代表福津市三個地區的隊伍從波折神社出發，各自沿著不同路線前進，然後在同一地點匯合，接著比賽正式開始，看誰最快能夠抵達終點。

高聳的山車

每座山車（山笠）高約 5 公尺，重約 1 噸，由 30 名社區成員一同扛起。山車上裝飾著精緻的戰鬥場景，其中有令人生畏的騎馬武士、城堡、花吹雪及手繪的海浪圖案，採用的武士人偶則是傳統的津屋崎人偶，由黏土製成並且色彩鮮豔。每個地區都會使用代代相傳的傳統建造技術，親手打造自己的山車。

透過參賽者配戴的頭巾（一字巾，即部分祭祀儀式中所用的頭巾）顏色，可以分辨出不同的參賽地區隊伍：來自漁港地區的隊伍叫作「北流」，配戴桃色頭巾；商業區隊伍則是黃色頭巾的「新町流」；農業區的隊伍名為「岡流」，綁著紅色頭巾。

驅逐傳染病的祈願

津屋崎祇園山笠祭衍生自福岡地區已舉辦 780 多年的博多祇園山笠祭，兩項祭典旨在保佑當地免於遭受傳染病及災難的危害。津屋崎祇園山笠祭在第二次世界大戰期間被迫暫停，之後歷經波折，終於在 1975 年完全復辦，祭典會在最靠近 7 月 19 日的週末舉行，人們首先於星期六的夜晚提燈上街遊行，緊接著在星期天早晨正式展開比賽。祭典結束時，各隊伍會將山車上的裝飾送給當地居民，保佑他們免於疾病與災難。在津屋崎千軒的商業區，許多房屋門口都掛有這些手繪的護身符。

<日本語仮訳>

津屋崎祇園山笠祭り

津屋崎祇園山笠は、300 年以上前に遡る祭りです。この祭りの中心となる行事として、色鮮やかに飾りつけた木製の山車を担いだ 3 つの組が、福津の津屋崎地区の狭い通りを走って競争します。福津の 3 つの地域を代表する各組は、波折神社を出発後、異なる道をたどってから合流し、目的地まで戦います。

聳え立つ山車

それぞれの山車(山笠)の高さは約 5m、重さは約 1 トンあり、30 人で担ぎます。山車は華やかな戦いの風景で飾られており、馬に乗った恐ろしい侍、城、描かれた波と花ふぶきが目を引きまします。侍の

人形は伝統的な津屋崎人形です。土から作られており、鮮やかな色で塗られています。各地域は、世代から世代に受け継がれてきた伝統的な組立技法を使って、山車を手で作ります。

競争するこれらの 3 地域は、鉢巻の色でわかります。漁港である「北流」は、桃色の鉢巻をします。商業地域である「新町流」は、黄色の鉢巻をします。農業地域である「岡流」は、赤色の鉢巻をします。

感染症に対する祈り

この祭りは、博多祇園山笠という祭りから来たものです。博多祇園山笠は、福岡で 760 年以上行われてきた祭りです。2 つの祭りとも、感染症や災害から街を守るために行われています。第二次世界大戦中、津屋崎祇園山笠は中止されていました。その後、何回かの中断と再開を経て、1975 年に完全に復活しました。津屋崎祇園山笠祭りは、7 月 19 日に最も近い週末に行われます。土曜の夜、提灯を持って通りを走り抜けることから始まり、日曜の朝に、祭りの中心となる追山が行われます。山車を担いだ各組は、祭りの終わりに、山車の飾りを病気や災害からのお守りとして地域の世帯に渡します。これら手描きのお守りは、津屋崎千軒の商業地域で多くの家の玄関に飾られています。

【タイトル】 津屋崎千軒かき

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**津屋崎千軒牡蛎**

渔民在津屋崎潮滩附近的筏架上精心培育津屋崎千軒牡蛎，那里的潮间带海水赋予其甜中带咸的清新口感。虽然小型牡蛎可以在福津海滨自然生长，但津屋崎渔业合作社早已成功培育出大型牡蛎。

津屋崎渔业合作社与福冈县立水产高等学校建立了合作关系，该校是福津市的一所职业学校，专门研究水产养殖和海洋科学。高等学校的学生会帮忙培育牡蛎苗并采收成熟牡蛎。每只牡蛎都由操作人员亲手排布于筏架上，以保证所有牡蛎都可以在富含藻类的潮汐水域中得到滋养，且牡蛎与牡蛎之间也不会过于拥挤。牡蛎大约需要一年时间才会成熟。在冬季的牡蛎采收季，游客可于津屋崎港口的海龟渔业中心（お魚センターうみがめ）购买新鲜的牡蛎。许多当地餐厅冬天时也会供应新鲜的津屋崎千軒牡蛎。

<繁体字>**津屋崎千軒牡蠣**

津屋崎千軒牡蠣養殖於津屋崎潮間帶附近的浮筏上，經過漁民精心培育，嚐來帶有潮間帶海水甜中帶鹹的滋味。雖然小型牡蠣自然地在福津海濱生長，但在津屋崎漁業協會的努力下，已成功培育出大型的牡蠣。

津屋崎漁業協會與福岡縣立水產高等學校攜手合作，由於該職業學校專門研究水產養殖和海洋科學，因此學生會協助培育牡蠣苗，並采收成熟牡蠣。每顆牡蠣皆由學生親手放在浮筏上，保證牠們都能在富含藻類的潮間帶得到滋養，而且牡蠣之間的距離也不會過於擁擠。牡蠣大約需要一年時間才會成熟，在冬季的牡蠣豐收季時，遊客可在津屋崎港口的海龜漁獲直銷中心（お魚センターうみがめ）購買新鮮的牡蠣，當地許多餐廳也會在冬季時供應新鮮的津屋崎千軒牡蠣。

<日本語仮訳>

津屋崎千軒かき

津屋崎干潟近くの筏で大切に育てられた津屋崎千軒かきは、潮間帯の水が牡蠣に甘みと塩味を与えています。福津の沖で自然に育つのは小さなカキですが、津屋崎の漁協は、より大きなかきを育てるのに成功しました。

漁協は、養殖や海洋学を専門とする福津市にある高等専修学校の福岡県立水産高等学校と連携しています。この高校の生徒が、かきの採苗や水揚げを手伝っています。藻類が豊富な潮の満ち引きに均等にさらされるように、また過密状態を避けるために、筏の周りでそれぞれの牡蠣を手で移動させます。カキが成熟するには、約 1 年かかります。冬の収穫期には、津屋崎港の「お魚センターうみがめ」で新鮮なかきを買うことができます。この期間は地元の多くのレストランも、新鮮な津屋崎千軒カキを提供しています。

【タイトル】 ふくつの鯛茶づけ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**福津鯛鱼茶泡饭**

煮熟的米饭上铺上鱼片，再从上至下淋上汤头，即为茶泡饭。野生鯛鱼（日语：tai）是福津的主要渔获之一，经常充当茶泡饭的食材。用餐者可以通过添加额外的配料来自行定制茶泡饭，例如添加山葵、干海藻（日语：nori）、葱和芝麻粒。茶泡饭里的鯛鱼为生鱼片，当地常常混合酱油、清酒和芝麻油对其进行轻度腌渍。浇下热腾腾的汤头（由绿茶或日式高汤制成）后，鱼片会受到轻微的烹制，鱼肉的质感也会有所改变。用餐者在添加汤头前，可先品尝生鱼片。

食用鯛鱼的最佳季节为春末和秋季。每年5月中旬至6月底，福津市都会举办鯛鱼茶泡饭集市。当地餐厅对这道美食进行了各种原创演绎，从传统茶泡饭到欧式融合茶泡饭，应有尽有。

在日本文化中，鯛鱼料理常常出现于特定场合，因为鯛鱼体色为红色，体型呈圆形，这都象征着好运。它的日文名称“tai”听起来也很像“medetai”，即“庆祝”。人们通常会在新年和婚礼上享用鯛鱼，相扑手夺冠后也会获赠一整条鯛鱼。

<繁体字>**福津鯛魚茶泡飯**

茶泡飯是將煮熟的白飯鋪上魚片，再淋上湯頭的一種料理。野生鯛魚（日語發音：tai）是福津的主要漁獲之一，經常用於茶泡飯的食材。享用茶泡飯時，可依喜好加上額外的配料，製作屬於自己的茶泡飯，例如加上芥末、海苔（日語發音：nori）、蔥和芝麻粒。茶泡飯裡的鯛魚是生魚片，一般會先混合醬油、清酒和芝麻油稍微醃漬，然後澆下熱騰騰的湯頭（由綠茶或日式高湯製成），生魚片稍微變熟，魚肉的質感也會有所改變。品嚐這道美食時，建議先試吃生魚片，再加上湯頭。

鯛魚的當令季節為春末和秋季。每年 5 月中旬至 6 月底，福津市都會舉辦鯛魚茶泡飯市集，當地餐廳推出各式各樣的鯛魚茶泡飯，從日式傳統到融合歐風的茶泡飯，可謂應有盡有。

在日本文化中，鯛魚經常出現於特定場合，因其帶著紅色與圓潤的外型都象徵著好運。在日語中，鯛魚（日文發音：tai）聽起來很像「medetai」（日語中「慶祝」的意思），於是人們通常會在新年和婚禮上享用鯛魚，相撲選手奪冠後也會獲贈一整條的鯛魚。

<日本語仮訳>

ふくつの鯛茶づけ

茶づけとは、ご飯に魚の刺身を乗せて、その上からだし汁を注いだ料理です。天然の鯛は福津の主な海産物であり、茶づけで出されることもよくあります。茶づけには、わさび・海苔・ねぎ・ごまなどを加えて、好みの味にすることができます。鯛は刺身で出され、多くの場合、醤油・酒・ごま油を混ぜたものに軽く漬けられています。熱々のだし汁(緑茶や魚の出汁から作られます)で、鯛に少し火が通り、食感が変わります。だし汁を加える前に生の刺身で味わうこともできます。

鯛の旬は、晩春と秋です。福津では通常、5 月中旬から 6 月末に、鯛茶づけフェアが行われます。地元のレストランが、伝統的なものから欧風のものまで、各店ならではの鯛茶づけをお出します。

鯛は、その赤い色と丸い姿が幸運を意味するため、特別な機会によく出されます。「たい」という名前は、「めでたい」という言葉にも似ています。鯛は、新年のお祝いや結婚式で食べられます。また、尾頭付きの鯛が優勝した力士に送られることもよくあります。

010-029

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】直売所「あんずの里」

【想定媒体】WEB

<簡体字>

杏之里农贸市场

杏之里是一家农贸市场，主要销售当地水果、蔬菜、新鲜鱼类，以及酱汁、酱菜、零食和午饭便当等其他产品。福津市气候温暖，冬季无霜，是全年种植各种花卉与农产品的理想之地。福津地区是日本主要的花卉种植区之一。杏之里市场的产品旁还会展示当地种植户、加工师傅与渔民的照片和寄语。

该市场也会销售当地工艺品与纪念品，并设有游客观光手册分发点。有一家餐厅和一座社区中心与市场相连。游客可在社区中心参加烹饪课与手工艺工作坊。

市场周围的山丘上有一座很大的杏园，“杏之里”之名即源于此地。从停车场出发，拾级而上，穿过果园即可到达山顶的杏之里公园。公园占地广阔，于其中可欣赏玄界滩美景。果园内有 2500 棵杏树。每年春季，游客都可以在此欣赏盛开的杏花与樱花。到了夏季，市场会出售新鲜的杏子与杏酱。

杏之里市场创立于 1994 年，当时一些农人的妻子聚集在道路的一个地点，以小货车的车厢为货摊出售农产品。两年之后，这里发展成了永久性市场，主要出售当地农产品和其他产品。

<繁体字>

杏之里農夫市集

杏之里是一間農夫市集，主要販售當地蔬果、新鮮魚類，以及調味料、醬菜、輕食和便當等產品。福津市的氣候溫暖，冬季無霜，全年都是種植各種花卉與農產品的理想所在，也是日本主要的花卉種植地區之一。杏之里市集所販售的產品旁還會展示當地種植戶、製造者與漁民的相片和留言。

市集中亦會販售當地的工藝品與紀念品，並讓遊客索取觀光手冊。此外，市集、餐廳與社區中心相鄰，遊客可在社區中心參加烹飪課與手工藝工作坊。

市場附近的山丘上有一座很大的杏園，也是「杏之里」名稱的由來。從停車場出發，穿過杏園即可抵達山頂的杏之里公園，這座公園占地遼闊，可眺望到玄界灘的美景。杏園內有 2,500 棵杏樹，每到春季，遊客都能在此欣賞盛開的杏花與櫻花；時值夏季，市場則會販售新鮮的杏子與杏子果醬。

杏之里市場創立於西元 1994 年，當時有些農民的太太會聚集在道路旁的某個地點，將自家的農產品放在小貨車の後車廂上販賣。兩年後，這裡發展成長期經營的市集，主要銷售當地的農產品和其他產品。

<日本語仮訳>

直売所「あんずの里」

あんずの里は、地元の果物と野菜、新鮮な魚や、他にも調味料や、漬物、軽食やお弁当などの製品を販売している直売所です。福津の気候は温暖で、冬も霜が降りません。そのため、年中花と農作物を育てるのに理想的な場所になっており、全国でも屈指のお花の産地となっています。あんずの里の商品は、地元の栽培者・製造者・漁師の写真やメッセージとともに陳列されています。

あんずの里では、地元の工芸品やお土産も販売されており、この地域の観光パンフレットも用意されています。あんずの里には、レストランと交流館が併設されています。コミュニティセンターでは、料理教室や工芸体験に参加することができます。

この施設の名前は、直売所の上の丘に広がるあんずの果樹園から来ています。駐車場から果樹園を抜けて歩いて行くと、丘の上にはあんずの里公園があります。この広い公園からは、玄界灘が望めます。果樹園には 2,500 本のあんずの木があります。春には、あんずの花と桜の花が楽しめます。夏には、新鮮なあんずとあんずジャムがこの直売所で販売されます。

この直売所は 1994 年に始まりました。農家の女性たちが、軽トラックの荷台に自分たちで作った農産物を積んで販売するために、道路脇に集まったところから始まったのです。2 年後に、それが地元の農作物と産品を販売する常設の直売所へと発展しました。

【タイトル】 お魚センターうみがめ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

海龟渔业中心

津屋崎港口的海龟渔业中心是销售新鲜鱼类和当地农产品的市场。该市场毗邻码头，清晨来的游客还能看到将每日渔获从渔船上卸下并直接运进市场的全过程。

各种各样新鲜的当地海产品均在市场中有售，包括红鲷鱼、鱿鱼、鰹鱼、蝾螺，以及在附近潮滩养殖的津屋崎千轩牡蛎。除了新鲜鱼类，该市场还出售蔬菜、酱油和清酒等当地农产品。如果支付额外费用，工作人员还会将鱼洗净剔骨，或是制成生鱼片。装有活鱼的大型鱼缸俨然是当地海洋生物的展台。

周日早晨，渔民家庭会沿着码头摆起市集，直接在船上销售产品。沿着码头可以看见几种不同类型的渔船，包括稍大的拖网渔船与捕鱿鱼船。福津地区因鱿鱼而远近闻名，该地区的鱿鱼以近岸浅水区的小鱼为食。捕鱿鱼通常在夜间进行，与其他渔船不同，捕鱿鱼船会发出多束灯光以吸引各种小鱼，小鱼游向灯光处，而鱿鱼则会追随猎物游至捕鱿鱼船附近。

在温暖的对马海流（沿着日本列岛西海岸向北流动的洋流）滋养下，福津附近海域里茂密的浮游植物茁壮生长。这片海域富含浮游植物，可提供充足的食物来源，因此将小鱼、虾和螃蟹吸引至此，从而创造了理想的捕鱼环境。

<繁体字>

海龜漁獲直銷中心

海龜漁獲直銷中心位於津屋崎漁港，是銷售新鮮漁獲和當地農產品的市場。這座漁獲市場鄰近碼頭，若在清晨時分造訪，就能完整目睹每日漁獲從漁船卸下，並且直接運往市場的過程。

市場中販售著各式各樣新鮮的當地海產，包括紅鯛魚、魷魚、鰯魚、海螺，以及在附近潮間帶養殖的津屋崎千軒牡蠣。除了新鮮漁獲，這裡還有販售蔬菜、醬油和清酒等當地自產自銷的商品。如果支付額外費用，店家還會將魚洗淨並去骨，或是製作成生魚片。市場中的大型魚缸則展示著當地的海洋生物，可供客人欣賞。

在週日的早晨，漁家沿著碼頭擺起市集，直接在船上銷售海產。沿著碼頭可以看見幾種不同類型的漁船，包括稍大的拖網漁船與捕魷魚的船隻。福津地區是著名的魷魚產地，該區的魷魚在近岸的淺水區以小魚為食，捕魷魚船則通常在夜間出海，其中特色在於船會發出多束燈光，吸引各種小魚游向亮處；魷魚則因追食獵物，跟著游到船的附近。

福津附近的海域在溫暖的對馬海流（沿著日本列島西海岸向北流動的洋流）滋養下，豐富的浮游植物得以在此生長茁壯，並吸引小魚、蝦和螃蟹前來覓食，進而形成理想的捕魚環境。

<日本語仮訳>

お魚センターうみがめ

津屋崎港にある「お魚センターうみがめ」は、新鮮な魚と地元の農産物を販売する市場です。この施設は埠頭の隣にあります。早朝に訪れると、その日獲れた魚を漁師が陸に揚げてこの市場に直接運んでいるのを見ることができます。

市場を訪れると、真鯛、イカ、ブリ、サザエ、津屋崎千軒かきなど、地元の新鮮な海産物を幅広く購入することができます。津屋崎千軒かきは、近くの干潟で育てられています。市場では新鮮な魚とともに、野菜や醤油、日本酒などの地場産品を販売しています。追加料金を払うと魚をさばいた切り身や刺身にしてもらうこともできます。大きな生け簀では、地元の海の生き物が見られます。

日曜の朝には地元の漁師とその家族たちが、埠頭にそって魚市場を開き、自分たちの漁船から直接販売を行います。埠頭には、より大型のトロール船や、イカ釣り船など、いくつかの種類の漁船が停泊しています。福津地域はイカで有名です。イカは沖合の浅いところで、植物プランクトンや小魚を餌にしています。イカ釣りは夜に行われます。イカ釣り船の特徴は、小魚を引きつける明かりを何本も灯していることです。その結果、明かりに向かう獲物を追ってイカも寄ってきます。

福津周辺の海には、暖かい対馬海流によって育まれた植物プランクトンが豊かに繁殖しています。対馬海流とは、日本列島西岸を北上する海流です。植物プランクトンの豊富なこれらの海域が、食料源を追って移動する小魚やエビやカニをもたらし、漁業にとって理想的な条件を作り出しています。

010-031

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】 福津の海水浴場

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

福津海滩

福津市位于面朝玄界滩的一片微微弯曲的海湾上，海湾两端的岬角拱卫着湾内的城市。这片海岸分为几个避风海滩，是游泳和水上运动的好去处。主要的海滩有福间海滩、宫地滨海滩和津屋崎海滩。在这些面朝西方的海滩上可以欣赏落日景观。每年 8 月，从海上浮动平台发射的烟花会点亮夜空，游客可在海滨观看这一盛况。

福间海滩

福间海滩是福津市最热闹的海滩，海岸边的咖啡馆、餐厅和冲浪用品店全年营业。福间海滩为游客提供各式各样的住宿服务，包括家庭经营的简单民宿（日语：minshuku）、精品酒店和豪华露营区。海滩最南端是名为“Beach House”的游客信息中心，其中提供地图以及关于滑浪风帆和立式桨板运动(SUP)等当地活动的手册。福间海滩是西日本最好的滑浪风帆海滩之一。

宫地滨海滩

宫地滨海滩处于福间海滩和津屋崎海滩之间，较为安静。该海滩设有停车场与卫生间。海滩旁有一座标志性的石制鸟居，鸟居后的道路一直延伸至宫地岳神社。

津屋崎海滩

津屋崎海滩位于宫地滨海滩北边，与福间海滩相比较为安静，商店也较少。此处海滩较为宽广，海水也较浅，适宜儿童玩乐。许多海滨小屋建于昭和时代(1926-1989)，因而这片区域有着悠闲复古的氛围。其中一些海滨小屋已被改造成旅馆和餐厅。海滩旁有一处名为“潮汤之里夕阳馆”的公共沐浴设施，该设施所用水为加热海水（日语：潮湯）。

特定情况下，可以在海滩之间的海岸沿线看到一种独特的现象。这种现象被称为“福津镜海”，发生于风平浪静的退潮之时，那时的海岸看起来像一面大镜子，映射出天空和周围的景色。

<繁体字>

福津市海灘

福津市位於一座些微彎曲的海灣上，面向玄界灘，兩端有岬角保護。由於這片海岸分成數個遮蔽型的海灘，成為游泳和從事水上運動的好去處。主要的海灘有福間、宮地濱和津屋崎海灘，這些海灘面向西邊，可以觀看落日的美景。每年 8 月，從海上漂浮的平台發射煙火點亮夜空，遊客能在海濱欣賞此一盛況。

福間海岸

福間海岸擁有福津市最熱鬧的海灘，其中的咖啡廳、餐廳和衝浪用品店全年皆有營業。此處另有多樣的住宿選擇，包括家庭經營的簡單民宿、精品飯店以及豪華露營區。「Beach House」旅遊資訊服務中心位於海灘的最南端，提供地圖以及介紹當地滑浪風帆、立式划槳（SUP）等活動相關資訊的觀光手冊。福間海灘是西日本數一數二的滑浪風帆勝地。

宮地濱海水浴場

宮地濱海水浴場位於福間海灘和津屋崎海灘之間，相對較為安靜，附設停車場與洗手間，還有一座石造鳥居，標示著從海水浴場通往宮地嶽神社的道路。

津屋崎海水浴場

津屋崎海水浴場位於宮地濱海灘的北邊，比福間海灘安靜，商店較少，而且面積寬廣，海水也淺，適合兒童前來遊玩。當地許多海灘小屋建於昭和時代（西元 1926-1989），因此有著悠閒復古的氛圍，其中一些小屋現已改裝成旅館和餐廳。海灘旁有一處名為「潮湯之里夕陽館」的公共澡堂，其中浴池使用加熱海水（日語：潮湯）。

在特定的情況下，可在海灘之間的海岸線看到一種獨特現象。這種現象稱作「福津鏡海」，出現於幾乎無風的退潮之時，整片海岸看來像一面大鏡子，映照出天空和周圍的景色。

<日本語仮訳>

福津の海水浴場

福津は玄界灘に面したなだらかなカーブを描く湾に位置し、両端にある岬で守られています。この海岸線は海水浴やウォータースポーツに適したいくつかの保護されたビーチに分かれています。福間、宮地

浜、津屋崎が主なビーチです。これらのビーチは西に面しており、夕日が望めます。8 月には、海上から打ち上げられる花火が空を照らし、訪問客はそれを浜辺から見るすることができます。

福間海岸

福間海岸は、福津のビーチの中で最も活気があるところです。ビーチ沿いには、カフェ、レストラン、サーフショップが年間を通して営業しています。福間海岸には、簡素な民宿、ブティックホテル、グランピング場など、さまざまな宿泊施設があります。福間海岸の一番端には、「ビーチハウス」という観光案内所があります。ここでは、ウインドサーフィンやスタンドアップパドルボード（SUP）といったこの地域のアクティビティに関するパンフレットと地図がもらえます。福間海岸は福岡県内有数のマリンスポーツのメッカとして知られています。

宮地浜海水浴場

宮地浜海水浴場は、福間海岸と津屋崎海水浴場の間にある、静かな海水浴場です。駐車場とお手洗いがあります。石の鳥居が、この海水浴場から宮地獄神社に至る道を示しています。

津屋崎海水浴場

宮地浜の北にある津屋崎海水浴場は、福間海岸より静かなところで、お店も多くありません。ビーチは広く、水深も浅いので子供向けです。海の家が多くは、昭和(1926～1989 年)に建てられたものです。この地域には、くつろいだ懐かしい雰囲気があります。海の家いくつかは、民宿やレストランに変わりました。海水浴場のそばには、「潮湯の里 夕陽館」という公衆浴場施設があります。この浴場では、海水を温めた「潮湯」が使用されています。

また、ビーチの間の海岸沿いでは、一定の状況が重なると見られる現象があります。福津の「かがみの海」と呼ばれるユニークな現象で、風があまりなく、干満の差が大きい時の干潮時に起こります。潮が大きく引き切る前が見頃で、海岸が大きな鏡のようになり空や周りの景色を映し出します。

【タイトル】 日本海海戦記念碑

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**日本海海战纪念碑**

纪念碑位于大峰山（114.5 米）山巅，为纪念日本海军在日俄战争(1904-1905)中取得胜利而建。当时俄日两大帝国野心勃勃，为了争夺中国的战略要地、称霸亚洲而发动了这场战争。1905 年 5 月 27 日，日本海海战在福津市海岸边的对马海峡爆发。日本舰队由海军大将东乡平八郎(1848-1934)指挥。在这场决定性的战役中，俄国舰队三分之二的舰艇被击沉，战争就此结束。

纪念碑位于渡半岛的最高点，建于 1934 年，即东乡去世的那一年。纪念碑形似日本舰队旗舰三笠号战列舰的前甲板和舰炮。纪念碑上有两块铜制匾额：一块描绘了东乡平八郎大将的形象，另一块则纪念当时战舰上悬挂的信号旗。开战前，东乡命令三笠号升起旗帜，集结舰队开赴战场。旗语是：“诸君一同努力。”纪念碑最初拟定的名称为“日俄战争胜利纪念碑”，但根据当地的说法，东乡反对使用“胜利”一词，因为他对双方的伤亡都表示哀悼。

东乡大将因其卓越的战争才能，有时被称为“日本的纳尔逊”。东乡曾在伦敦皇家海军学院深造，他对纳尔逊勋爵非常崇拜。在距离当时约一个世纪前的特拉法加战役中，纳尔逊曾下令旗舰皇家海军“胜利号”升起信号旗，东乡决定在战斗中升起信号旗，也许是受到纳尔逊的启发。

纪念碑后有一座小观景台，可以俯瞰海战战场对马海峡。那里有一张铸铁地图，展示了战斗中的关键交战地点。

<繁体字>**日本海海戰紀念碑**

日本海海戰紀念碑位於大峰山（標高 114.5 公尺）的山頂，紀念日本海軍在日俄戰爭（西元 1904-1905）中取得勝利而建。當時日、俄兩大帝國野心勃勃，爭奪中國的戰略要

地，並想稱霸亞洲，因而發動這場戰爭。西元 1905 年 5 月 27 日，日本海海戰在福津市海岸邊的對馬海峽爆發。日本艦隊由海軍大將東鄉平八郎（西元 1848-1934）指揮。在這場決定性的戰役中，俄國艦隊三分之二的艦艇遭到擊沉，戰爭就此結束。

紀念碑位於渡半島的最高點，興建於西元 1934 年，即東鄉去世的那一年。紀念碑形似曾為日本海軍艦隊的旗艦「三笠號」戰艦的前甲板和艦砲。紀念碑上有兩塊銅製匾額：一塊描繪東鄉平八郎海軍大將的形象，另一塊則紀念當時戰艦上懸掛的信號旗。開戰前，東鄉命令三笠號升起旗幟，集結艦隊前往戰場。這面旗幟傳達的訊息是：「諸君一同努力。」此外，紀念碑最初擬定的名稱為「日俄戰爭勝利紀念碑」，但根據當地流傳的說法，東鄉對戰爭雙方的傷亡感到悲痛，因此反對使用「勝利」一詞。

東鄉海軍大將因其卓越的戰爭才能，有「日本的納爾遜」的稱號。東鄉在就讀於倫敦皇家海軍學院時，就相當崇拜納爾遜子爵。由於納爾遜曾在距離當時約一世紀前的特拉法加海戰中，下令旗艦皇家海軍勝利號升起信號旗，因此可見，東鄉要求在戰爭中升起信號旗的決定，或許受到納爾遜的啟發。

紀念碑後方有一座小觀景台，可以俯瞰當時海戰的戰場對馬海峽，那裡陳列著一張鑄鐵地圖，展示了這場戰役中的關鍵交戰地點。

<日本語仮訳>

日本海海戦記念碑

大峰山(114.5m)の頂上にあるこの記念碑は、日露戦争(1904~1905年)における日本海軍の勝利を記念したものです。アジアにおける帝国の野望から戦争が始まり、中国国内の戦略的な領土をめぐる双方が争いました。日本海海戦は1905年5月27日、福津沖の対馬海峡で起きました。日本の艦隊を率いていたのは、東郷平八郎(1848~1934年)海軍大将でした。この決定的な戦いの間に、ロシア艦隊の2/3は破壊され、日露戦争は終結することになりました。

この記念碑は、渡半島の最も高いところに位置しており、東郷が亡くなった1934年に建立されました。この記念碑は、日本艦隊の旗艦だった戦艦三笠の前甲板と主砲にやや似ています。記念碑には2つの銅板があり、一つは東郷平八郎提督が描かれ、もう一つは東郷が艦隊の出撃に合わせて三笠に掲揚した海上信号旗を表したものです。この旗は、「各員一層奮励努力セヨ」という内容を伝えるものでした。この記念碑は、元は「日露戦争勝利記念碑」と名づけられる予定でした。しかしこの地域に伝わる話では、東郷が日露双方の死者を悲しんで、「勝利」という言葉に反対したそうです。

東郷大将はその戦略能力により、「日本のネルソン卿」と呼ばれることもありました。彼はロンドンの王立海軍兵学校の生徒だった時に、ネルソン卿へ憧れを抱くようになりました。戦いにおいて信号旗を掲げるという東郷の決定は、それより 100 年前にトラファルガーの海戦でネルソンが旗艦の HMS Victory に掲げた信号旗から影響を受けたのかもしれない。

この記念碑の後ろには、戦いが行われた対馬海峡を望む小さな展望所があります。鑄鉄製の地図は戦闘の主要な交戦を示しています。

【タイトル】 大森宮となまずの伝説

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**大森宮与鯰鱼的传说**

位于福津市西乡的大森宮以数座鯰鱼雕像为特色，这些雕像将神社与当地寓言故事联系在一起。根据故事描述，河津兴光（生歿年不详）是一名武士，拥有西乡附近的土地，危难时被一条鯰鱼所救。河津是大内家族的封臣，大内家族势力庞大，12 世纪至 14 世纪间掌管了西日本的大片土地。奉大内家族之令，河津于 1511 年参加了京都的船冈山之战，战时身负重伤。就在他躺在海岸上奄奄一息时，一条巨大的鯰鱼出现并携他穿过海浪抵达盟友营地，河津因此得以在营地中接受治疗。

河津兴光坚信救他的鯰鱼是自己先祖神灵的化身。回到西乡后，他立即禁止当地居民食用鯰鱼。鯰鱼已成为这片区域的象征，当地标牌上也绘有鯰鱼的图像。

神社的鯰鱼雕像

正面的鸟居前有一只巨大的青铜鯰鱼。主殿大厅前，还有两条鯰鱼充当守卫，一条嘴唇张开，另一条则闭着，两条鯰鱼代替了神社中常见的狛犬（日本石狮或狐狸）守卫。大森宮正殿里的画作描绘了这则传说，画上河津兴光身着全套武士盔甲，骑着一条巨大的黑色鯰鱼乘风破浪。

神社位于一座树木繁茂的花园之中，园内还有池塘与红色的小桥。神社附近还有一座名为“鯰鱼之乡”的大型公园，公园内有一处传统风格的花园，花园的池塘内养有鯰鱼。

<繁体字>**大森宮與鯰魚的傳說**

大森宮位於福津市的西鄉地區，以境內數座鯰魚雕像為特色，而且這些雕像顯示神社與一則當地的民間故事有關。根據當地流傳的民間故事，河津興光（生歿年不詳）是一名擁有西鄉附近土地的武士，在身陷危難時得到一條鯰魚的救助。河津是大內家族的家臣；大內家族的勢力強大，在 12 世紀至 14 世紀間掌控著西日本的大片領土。奉大內家族之令，

河津於西元 1511 年參與了京都的船岡山合戰，最後身負重傷，就在他奄奄一息躺在海岸上時，一條巨大的鯰魚出現，並載著他越過海域抵達盟友營地；河津因此得以在營地中接受治療。

河津興光堅信救他的鯰魚是當地先祖神靈的化身，於是回到西鄉後，他就禁止當地居民食用鯰魚。時至今日，鯰魚已成為這個地區的象徵，當地的標示牌上也繪有鯰魚圖案。

大森宮的鯰魚雕像

大森宮正面的鳥居前，有一座巨大的青銅鯰魚雕像。主殿大廳前則放置著兩座鯰魚雕像，其中一座嘴巴張開，另一座則閉著，兩座雕像替代了一般神社常見狛犬（通常是日本石獅或狐狸）的位置，扮演著守護神的角色。正殿裡的畫作描繪鯰魚的傳說，畫中的河津興光身著全套武士盔甲，騎著一條巨大的黑色鯰魚乘風破浪。

大森宮位於一座綠意盎然的庭園之中，園內還有一個池塘與一座紅色的橋；附近另有一座名為「鯰魚之鄉」的大型公園，裡頭有一座傳統風格的庭園，園內的池塘則有鯰魚悠游其中。

<日本語仮訳>

大森宮となまずの伝説

福津市の西郷の地区にある大森宮の特徴は、なまずの像がいくつかあることです。これらの像は、大森宮と地域の民話とのつながりを示しています。この民話は、西郷周辺の土地を所有していた武士の河津興光(生没年不詳)がなまずに助けられた、というものです。河津は、有力な大内氏の家臣でした。大内氏は、12～14 世紀に、西日本の広い地域を支配していました。大内氏の命令により、河津は 1511 年に京都で船岡山合戦に加わり、重傷を負いました。彼が瀕死の状態で水辺に横たっていると、大なまずが現れました。大なまずは、水の上を渡って自軍がいるところまで彼を運んでくれ、彼はそこで手当てを受けることができました。

河津興光は、氏神がなまずとして現れて自分を助けてくれた、と考えました。彼は西郷に戻ると、村人たちがなまずを食べるのを禁じました。なまずはこの地域の象徴になり、この地域の標識にはなまずの絵が入っています。

大森宮のなまず像

正面の鳥居の前に、銅製の大きななまず像があります。拝殿の前になまず像がもう 2 つあり、神社で通常見られる狛犬に代わって守り神となっています。片方のなまず像は口を開け、もう片方のなまず

像は口を閉じています。大森宮の本殿内にある絵は、上記の伝説を描いたものです。河津興光が武士の鎧を着て黒い大なまずに乗り、水の上を渡っています。

この神社は緑濃い庭の中にあり、庭には池と赤い橋があります。神社の近くには、「なまずの郷」という大きな公園があります。この公園内には伝統的な形式の庭園があり、その池にはなまずがたくさん泳いでいます。

【タイトル】 舍利藏自然林のなぎの木

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

舍利藏自然森林的竹柏树

舍利藏自然森林空地上生长着五棵巨大的竹柏（学名：Nageia nagi，也叫 Asian bayberry），标志着建于 718 年的胜宝寺遗址。传说森林里有约 15 座小型寺庙建筑，但在 950 年左右均已焚毁。较晚年代建造的一座小型拜殿和一座钟楼仍矗立在林木之中。

据说这 5 棵竹柏树树龄已超过 800 岁，且已被列为福冈天然纪念物。当地传说称，钟楼旁那棵最大的竹柏树是由备受尊崇的高僧行基(668-749)从印度带回的树种长成，行基亦曾筹集资金建立奈良的东大寺。人们认为行基在创建胜宝寺之初就已种下这棵树。

寺庙和神社的庭院里常常可以见到竹柏树。竹柏树树叶很厚，上面的叶脉垂直分布，很难撕开。这种坚韧性使竹柏叶成为备受喜爱的护身符，人们认为它可以抵御厄运，也将其视为夫妻之间纽带的象征。游客可以沿着舍利藏公民馆旁的竹林小径抵达竹柏树所在之处。

<繁体字>

舍利藏自然森林的竹柏樹

舍利藏自然森林中有五棵巨大的竹柏（學名：Nageia nagi，也稱作 Asian bayberry），同時這裡也是建於西元 718 年勝寶寺的遺址。據說森林中原本約有 15 座小型寺院建築，但在西元 950 年左右均已焚毀，較晚年代建造的小型拜殿和鐘樓，仍矗立於森林中。

這五棵竹柏樹的樹齡據說超過 800 年，且已登錄為福岡縣的天然紀念物。根據當地流傳的說法，鐘樓旁最大棵的樹木是由高僧行基（西元 668-749）昔日從印度帶回的樹種，他也曾籌措資金興建奈良東大寺，因此備受尊崇。人們相傳行基在興建勝寶寺時便種下了這棵樹。

竹柏樹在寺院和神社境內經常可見，這種樹木的樹葉很厚，葉脈呈垂直分布，難以撕開；如此的堅韌性，也讓竹柏葉成為備受喜愛的護身符，一般據信其能保護人們免於厄運，同時也是情侶間深厚感情的象徵。不妨沿著舍利藏公民館旁的竹林小徑漫步，就能抵達竹柏樹的所在之處。

<日本語仮訳>

舍利藏自然林のなぎの木

舍利藏自然林内の開けたところにある5本のなぎの大木は、718年に建てられた勝宝寺の跡を示しています。この林には小さなお堂が15ほどあったと言われていましたが、950年頃に焼けてしまいました。は木々の間に、小さな観音堂と鐘楼があり、両方とも比較的には最近建てられたものです。

5本のなぎの木は、樹齢800年を超えと言われ、福岡県の天然記念物に指定されています。地域の言い伝えによると、鐘楼のそばにある一番大きななぎの木は、尊敬されている僧の行基(668～749年)がインドから持ち帰った若木が育ったものだということです。行基は、奈良の東大寺を建設するための資金を集めた僧です。行基は、勝宝寺を創建したときにこの木を植えたと考えられています。

なぎの木は、寺社の敷地によく見られます。その葉は厚く、ちぎりにくい葉脈が縦に走っています。この強い葉は、不運からのお守り、またカップルの間の絆を象徴するお守りとして人気があります。この5本のなぎの木には、舍利藏公民館のそばにある竹の生えた道を進むとたどり着けます。

【タイトル】 あなご

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**康吉鰻**

康吉鰻（日语：anago）常见于宗像海岸附近的海域。该地区出产的康吉鰻数量为福岡县之最，捕获的康吉鰻大部分都会在钟崎港上岸。鰻鱼在对马海流的温暖水域中茁壮成长，该洋流沿着日本列岛西海岸向北流过宗像。丰富的浮游植物在温暖的海水中茁壮成长，引来随洋流迁徙的小鱼、虾和螃蟹。康吉鰻以这些小型海洋生物为食。

渔民将长筒型捕鰻网（约 1.5 米长）部分浸没于鰻鱼觅食的海床上，从而将其捕获。每个捕鰻网可以捕获五或六条成熟鰻鱼，每条可达 1 米长。体型较小的鰻鱼可以从孔洞中逃逸，因此只有发育更成熟的鰻鱼才会被捕获。直至售出之前，鰻鱼都会被养在鱼缸之中。

在宗像附近捕获的主要鰻鱼品种为星康吉鰻（学名：Conger myriaster）。它的体型比淡水鰻鱼小，有着光滑的棕色皮肤，身体两侧各有一行白点。与味道浓郁的普通鰻鱼相比，康吉鰻味道更淡，但略带甜味。康吉鰻在宗像沿海水域的强劲水流里逆流而行，因此肉质较为密实。

每年 5 月至 11 月为康吉鰻的捕捞季。7 月下旬至 9 月底，宗像的诸多餐厅会供应康吉鰻寿司、生鱼片、天妇罗或烤鰻鱼。康吉鰻口味的米饼在该地区的纪念品商店随处可见。

<繁体字>**星康吉鰻**

星康吉鰻（俗稱星鰻、穴子）經常出沒於宗像海岸附近的海域。該區捕獲的星康吉鰻數量為福岡縣之最，大部分皆由鐘崎港上岸。由於對馬海流沿著日本列島的西海岸向北，流經宗像地區，形成溫暖海域，星康吉鰻在其滋養下得以茁壯成長；溫暖海域能讓豐富的浮游植物在此蓬勃生長，同時吸引隨著洋流遷徙的小魚、蝦和螃蟹前來，星康吉鰻因此能以這些小型海洋生物為食。

漁民會將部分的長筒型捕鰻網（約 1.5 公尺長），放入星康吉鰻覓食的海床上伺機捕捉牠們，每張捕鰻網可以捕獲五或六條大型星鰻，每條可達一公尺長。體型較小的星康吉鰻可從網子的孔洞逃走，因此只能捕捉到成熟的星鰻。星康吉鰻在售出之前，漁民都會將牠們養在水箱之中。

在宗像附近捕獲的鰻魚品種以星康吉鰻（學名：Conger myriaster）為主，這種鰻魚的體型比淡水鰻魚小，有著光滑的棕色皮膚，身體兩側各有一排白點。與味道濃郁的普通鰻魚相比，星康吉鰻嚐起來較淡，而且略帶甜味。此外，星康吉鰻在宗像沿海海域強勁的水流中逆流而游，因此肉質較為密實。

每年 5 月至 11 月是星康吉鰻的捕撈漁期。7 月下旬至 9 月底，許多位於宗像的餐廳供應星鰻製成的壽司、生魚片、天婦羅或烤星鰻。當地的紀念品店也多有販售星鰻口味的仙貝。

<日本語仮訳>

あなご

宗像沖の海では、あなごがよく見られます。この海域は、福岡であなごが最も多く獲れるところです。獲れたあなごのほとんどは鐘崎港に水揚げされます。あなごは、対馬海流の温かい海水に多く生息しています。対馬海流は、宗像を過ぎて日本列島の西岸沿いに北上していきます。この温かい海水には植物プランクトンが豊富で、植物プランクトンとともに小魚やエビやカニも対馬海流に沿って移動してきます。あなごは、これらの小さな海洋生物を餌にします。

あなごが餌を食べに来る海底に、一部を埋めた長い筒の罟(長さ約 1.5m)で捕まえます。それぞれの罟は、5～6 匹の大きなあなご(最大体長 1m)を捕まえることができます。小さなあなごは穴から逃げられるので、より成長したあなごのみが捕まります。あなごは販売の準備ができるまで、タンクの中で生かしておきます。

宗像周辺で獲れる主なあなごの種類は、マアナゴ(学名:Conger myriaster)です。マアナゴは、ウナギより小さく、体の両側に白い点線があり、皮膚は茶色でなめらかです。通常のウナギの濃厚な味わいに対し、あなごは、あっさりとしているながらもほのかに甘い味わいをしています。マアナゴは、宗像沖の強い海流に逆らって泳ぐことで、身が引き締まっています。

マアナゴの漁期は、5 月から 11 月です。7 月下旬から 9 月末まで、宗像の料理店では、あなごを寿司や、刺身、天ぷら、焼あなごなどにして提供しています。あなご味のせんべいは、この地域の様々なお土産屋で購入できます。

【タイトル】 とらふぐ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**虎河豚**

宗像的钟崎渔港是整个福冈县虎河豚（日语：torafugu）渔获最多的地方。人们认为，宗像海岸附近的汹涌海浪为肉质鲜美紧实的河豚鱼创造了有利的生长条件。

虎河豚在日本被视作珍馐。虎河豚在日语中简称“fugu”，以滋味鲜美、肉质紧实而闻名。虎河豚体内有一种强效神经毒素，这种毒素集中在肝脏和卵巢，因此，只有具备特殊证书的厨师才能处理这种鱼。河豚的制作方法特殊，这使其成为一道昂贵的菜肴。

人们通常生吃河豚。厨师会将河豚处理成极薄的生鱼片，然后精心摆盘成菊花状。在宗像，人们流行用豆腐和蔬菜打底的火锅（日语：tecchiri）来涮河豚肉。冬季是虎河豚的旺季。为抵御严寒，河豚会长出一层脂肪，所以此时的河豚肉口感更为丰富。每年 2 月至 3 月，宗像各地的餐馆为庆祝渔业丰收，会提供打折的虎河豚菜肴。

<繁体字>**虎河豚**

虎河豚（日語：torafugu）在宗像鐘崎漁港的捕獲量為福岡縣之最，人們認為因為宗像海岸的附近浪濤洶湧，於是這裡的河豚長得強壯、肉質緊實。

虎河豚在日本被認為是一道珍貴的佳餚，日語簡稱「fugu」，以滋味鮮美、肉質緊實聞名。由於虎河豚體內有一種強效神經毒素，集中在肝臟和卵巢，只有具備特殊許可證照的廚師，才能料理這種魚類，如此特殊的製作方法也讓它成為一道昂貴的料理。

人們通常生吃河豚，廚師會將其切成極薄的生魚片，然後精心擺盤成菊花狀。在宗像流行以豆腐和蔬菜為湯底的火鍋（日語：tecchiri）來涮河豚肉，人們得以充分享受河豚的美味。冬季是虎河豚的時令季節，此時河豚為了抵禦嚴寒，會長出一層脂肪，因此口感更為豐富。每年 2 月至 3 月，宗像各地餐廳為慶祝漁獲豐收，會以折扣價供應虎河豚料理。

<日本語仮訳>

とらふぐ

宗像の鐘崎漁港は、福岡で最も多くのとらふぐが水揚げされる港です。宗像沖の荒波がしっかりとした肉付きの強いフグの成長を育むと考えられています。

日本では、とらふぐは珍味だと考えられています。単に「ふぐ」と言えばとらふぐのことです。とらふぐは、身の引き締まった繊細な味わいで有名です。とらふぐには強力な神経毒が含まれており、特に肝臓と卵巣に集中しています。ふぐを調理するには特別な免許が必要です。ふぐ料理が高価なのは、特別な調理が必要だからです。

ふぐは紙のように薄い刺身にし、菊の花のようにお皿に盛りつけて食べるのが一般的です。宗像では、豆腐・野菜と鍋にする「てっちり」が、ふぐの楽しみ方として人気があります。とらふぐの旬は冬です。とらふぐは冬の寒さから身を守る脂肪の層をつけ、これがより豊かな味わいを与えます。2～3月には、宗像中の料理店が、水揚げを祝い割引価格でとらふぐ料理を提供します。

010-037

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会

【タイトル】 宗像のご紹介

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

宗像简介

宗像是福冈市以北的沿海地区，面朝玄界滩，四周群山环绕。该地区有一处世界遗产，其范围内有多座神社、古坟和一座圣岛。

南乡地区

南乡位于宗像东侧，是宗像最靠近福冈的地区。江户时代(1603-1867)的唐津街道贯穿该地区，连通福冈县和佐贺县。原町是唐津街道的其中一段，目前仍保留着传统街景。

玄海和赤间地区

坐落在海岸线上的玄海地区拥有渔港和海滩。边津宫是三座宗像大社中最大的神社，同样位于该地区。内陆的赤间地区则在群山怀抱之中，此地区还有江户时代的驿站赤间宿，历史悠久的唐津街道从旁穿过。

宗像的岛屿

从神湊港搭乘渡轮前往大岛和地岛非常方便。大岛上有中津宫神社和冲津宫遥拜所这两座神社，以及二战时期的炮台遗迹。地岛则以山茶树林和便于行走的徒步路线而闻名。

世界遗产地

宗像一直是海员前往亚洲大陆前祈求旅途平安的重要落脚点。早在公元 4 世纪，距离海岸约 60 公里的冲之岛上就举行过保佑海员的仪式，这是已知最早的神道教活动案例之一。2017 年，这座岛屿和宗像的其他宗教场所被指定为世界遗产地，即“神宿之岛”宗像・冲之岛及相关遗产群。

该世界遗产包含宗像大社（供奉宗像三女神的三座神社）、“神宿之岛”冲之岛，以及埋葬着曾统治该地区的宗像家族成员的 41 座古坟。

<繁体字>

宗像簡介

宗像是位於福岡市以北的沿海地區，面對玄界灘，四周群山環繞，擁有一處世界遺產，範圍包括多座神社、一座古墳以及一座聖島。

南鄉地區

南鄉位於宗像東側，是最靠近福岡的地區，貫穿此區的唐津街道於江戶時代（西元 1603-1867）時連接福岡縣和佐賀縣，其中名為原町的路段，目前仍保留著傳統街景。

玄海和赤間地區

玄海地區坐落在海岸線上，擁有漁港和海灘，邊津宮同樣位於該區，是三座宗像大社中最大的神社。內陸的赤間地區四周環山，留有江戶時代的驛站「赤間宿」，位於歷史悠久的唐津街道上。

宗像的島嶼

若想前往大島和地島，從神湊港搭乘渡輪非常方便。大島上有中津宮神社、沖津宮遙拜所兩座神社，以及二戰時期留存至今的砲台遺跡。至於地島則以山茶樹林和輕鬆悠閒的健行路線而聞名。

世界遺產地

宗像過去一直是船員在出發亞洲大陸前，祈求旅途平安的重要場所。早在西元 4 世紀時，距離海岸約 60 公里的沖之島上，就曾舉行過保佑船員的儀式，這也是已知最早的神道教活動例子之一。時至 2017 年，沖之島和宗像其他的宗教聖地獲指定為世界遺產地，即「神宿之島」宗像・沖之島及相關遺產群。

此世界遺產地包括宗像大社（供奉宗像三女神的三座神社）、「神宿之島」沖之島，以及埋葬著曾統治宗像地區的宗像家族成員的 41 座古墳。

<日本語仮訳>

宗像のご紹介

宗像は、福岡市の北にある沿岸部の地域です。玄界灘に面し、山に囲まれています。宗像地域には、神社・古墳・聖なる島を含む世界遺産があります。

南郷地区

南郷は、宗像の東側部分にあり、福岡に最も近い地区です。江戸時代(1603～1867 年)に福岡と佐賀をつないでいた唐津街道は、この地区を通っています。原町の伝統的な町並みが残っています。

玄海・赤間地区

海岸沿いの玄海地区には、漁港と浜辺があります。宗像大社三宮の中で最大の辺津宮は玄海地区にあります。内陸の赤間地区は山に囲まれています。歴史ある唐津街道において、江戸時代に宿場町だった赤間宿はこの地区にあります。

宗像の島々

大島と地島は、神湊港から船で簡単に訪れることができます。大島には、中津宮と沖津宮遥拝所という 2 つの神社があり、第二次世界大戦時の砲台の跡があります。地島は、椿の林と歩きやすいハイキング道で知られています。

世界遺産

宗像は長い間、船乗りたちがアジアの大陸に旅立つ前に安全を祈る重要な場所でした。沖に約 60km 離れた聖なる島である沖ノ島では、4 世紀から船乗りを守る儀式が行われていました。この儀式は、神道の最初期の実践例として知られているものの 1 つです。沖ノ島と、宗像にあるその他の宗教的な場所は、2017 年に"「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群"として世界遺産に指定されました。

世界遺産には、宗像大社(宗像三女神を祀る 3 つの神社)、「神宿る島」沖ノ島、およびこの地域を統治した宗像氏の古墳 41 基が含まれています。

【タイトル】 福津のご紹介

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**福津简介**

福津是一座面朝玄界滩的沿海小城，坐落于主要城市福岡和北九州之间。该地区拥有农场、海滩和具有历史意义的商业区，商业区内建于明治时期(1868-1912)的房屋仍然保存完好。

著名的神社和海滩

福津最出名的是宫地狱神社。这座大型神社伫立在又长又直的“光之路”尽头，路的另一端直通大海。每年有两次（2月和10月），夕阳会正对着这条道路，使之散发出金色的光芒。

福津有宽阔的沙滩，包括津屋崎海滩、宫地滨海滩和福间海滩，这些海滩坐拥诸多咖啡厅、餐厅和海上运动用品商店，另外还有一处较为宁静的白石滨海滩。

世界遗产地

2017年，“神宿之岛”宗像・沖之岛及相关遗产群获登录为世界遗产。游客可以在福津游览新原·奴山古坟群。古坟群中的41座古坟是为了曾经统治着宗像地区的宗像家族，於5世纪和6世纪间所建成。

津屋崎千轩历史区

在江户时代(1603-1867)，津屋崎千轩地区凭借盐业生产而发展为一座富裕的商业小镇。据说当时该地区有上千栋房屋。江户时代的大部分房屋都已被烧毁，但一些明治时代的建筑典范得以幸存。

在7月举行的津屋崎祇园山笠节期间，津屋崎町狭窄的街道上会挤满观众。代表福津三个社区的队伍会扛着华丽的木制花车在街道上赛跑。这一节日已有超过300年的历史。

<繁体字>

福津簡介

福津是一座面對玄界灘的沿海小型城鎮，坐落於福岡和北九州這兩座大都市間，擁有農場、海灘，以及歷史悠久的商業區，區內建於明治時代（西元 1868-1912）的房屋至今仍保存完好。

著名的神社與海灘

宮地嶽神社是福津最負盛名的景點，這座大型神社佇立在既長又直的「光之路」盡頭，路的另一端則直通大海，每年有兩次（分別在 2 月和 10 月時），夕陽會正對這條道路，使其散發出金色光芒。

此外，福津擁有多處廣闊的沙灘，包括津屋崎海灘、宮地濱海灘和福間海灘，這些主要海灘有咖啡廳、餐廳和海上運動用品店；另外還有一處較為寧靜的白石濱海灘。

世界遺產地

「神宿之島」宗像・沖之島及相關遺產群於 2017 年獲登錄為世界遺產。來到福津的遊客可以造訪新原・奴山古墳群，古墳群中的 41 座古墳是為了曾經統治著宗像地區的宗像家族，於西元 5 世紀和 6 世紀間所建成。

津屋崎千軒歷史區

津屋崎千軒地區在江戶時代（西元 1603-1867）時，憑藉著鹽業生產，發展成為一座富裕的商業小鎮，當時據說這裡有上千棟房屋。時至今日，江戶時代大部分的房屋都已燒毀，但一些明治時代的建築樣式仍有保存下來。

到了 7 月，這裡會舉辦擁有 300 多年歷史的津屋崎祇園山笠祭，祭典期間狹窄的街道上擠滿觀眾，代表福津其中三個社區的隊伍則會扛著華麗的木造山車在區內賽跑。

<日本語仮訳>

福津のご紹介

福津は、福岡市と北九州市という 2 つの大都市の間に位置する、玄界灘に面した小さな市です。この地域には、田畑があり、砂浜があり、保存状態のよい明治時代(1868～1912 年)の家が並ぶ歴史的な商業地区があります。

有名な神社と海水浴場

福津で最も有名なのは宮地嶽神社です。この大きな神社は、海に至る長い真っすぐな道(「光の道」と呼ばれています)の端にあります。2月と10月の年に2回、沈む夕陽が「光の道」のちょうど正面に見え、この道は黄金の光に輝きます。

福津には広い砂浜があります。津屋崎、宮地浜、福間が主な海水浴場で、カフェ、レストラン、マリンスポーツショップがあります。白石浜は、より静かな砂浜です。

世界遺産

"「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群"は、2017年に世界遺産として登録されました。福津を訪れる人は、新原・奴山古墳群を見ることができます。この41基の古墳は、宗像地域を統治した宗像氏の人々のために5〜6世紀に作られたものです。

歴史ある津屋崎千軒地区

江戸時代(1603〜1867年)の間、津屋崎千軒地区は、豊かな商業の町でした。この地域の製塩業のおかげです。当時、この地区には、千軒を超える家があると言われていました。江戸時代の家のほとんどは焼けてしまいましたが、明治時代のすぐれた建築はいくつか残っています。

7月、津屋崎祇園山笠祭りの間、津屋崎地区の狭い通りは、見物客で混み合います。福津の3つの地域を代表する各組が、飾りつけた木製の山車を担ぎ、通りを走って競争します。このお祭りの起源は、300年以上前にさかのぼります。

【タイトル】 宗像における遙拝

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**宗像遙祭**

沖之島是位于宗像海岸附近的一座神圣岛屿。只有少数在此任职的神道教僧人可以出入。人们要想祭拜岛上冲津宫神社所供奉的神灵和圣岛本身，必须进行远程祭拜（遥拜）。

宗像地区遥祭活动很常见，一千多年以来，这里一直供奉着宗像三女神（分别供奉在边津、中津、冲津神社）。大岛各处修建了冲津宫遥拜所等拜殿，但宗像附近许多遥拜点都是选取地形上的有利位置，或在山顶，或在海滩，只要能够看到圣岛，即可开展遥拜。宗像附近有许多遥拜点，五月松原海滨步道沿线就有许多。

直到二十世纪中期，祭拜冲之岛神明的庆典还十分常见，特别是海岸附近。农民会前往遥拜点，献上食物、米酒等贡品，感谢神明保佑稻米种植季一切顺利，祈祷丰收和健康。虽然此类正式庆典现在已经比较少见，但当地人还是会前往遥拜点祷告。

<繁体字>**宗像遙拜**

沖之島是一座神聖島嶼，位於宗像海岸附近，只有少數在此任職的神道教神職人員可以出入。人們如果要祭拜島上沖津宮神社所供奉的神靈和聖島本身，必須採取從遠處祭拜的方式（亦即遙拜）。

宗像地區供奉著宗像三女神（分別供奉在邊津、中津、沖津神社），千年以來常見遙拜活動。大島各處建有沖津宮遙拜所等拜殿，不過宗像地區附近許多的遙拜地點，則以清楚看見聖島為準，因此選取地形上利於觀看的位置，像是山頂或海灘旁邊。宗像一帶亦有多處遙拜地點，像是五月松原海濱步道沿線，就有許多可供人們遙拜的地點。

直到二十世紀中期，祭拜沖之島神明的慶典依舊十分常見，特別在沿岸地區，農民前往遙拜地點，獻上食物與酒等貢品，感謝神明保佑稻作一切順利，同時祈求豐收和無病無災。雖然這類正式慶典現在已經比較少見，不過當地居民仍會前往遙拜地點祈願。

<日本語仮訳>

宗像における遥拝

沖ノ島は、宗像沖にある聖なる島です。沖ノ島に上陸できるのは、ここで奉仕する一握りの神官に限られています。人々が沖ノ島の沖津宮に祀られている神に祈り、聖なる沖ノ島に祈るためには、遠くから祈る「遥拝」を行う必要があります。

遥拝は、宗像一帯で広く行われています。宗像地域では、宗像三女神(辺津宮、中津宮、沖津宮に祀られています)が 1,000 年以上にわたって崇められてきました。いくつかの場所には大島にある沖津宮遥拝所のような拝殿が建てられてきましたが、宗像周辺の多くの遥拝所は山の上や浜辺など、聖なる島を一望できるシンプルな見晴らしの良い場所にあります。宗像一帯には、さつき松原遊歩道沿いなど遥拝を行える場所がいくつかあります。

20 世紀半ばまでは、沿岸部を中心に沖ノ島の神を祀る儀式が当たり前のように行われていました。農民たちは遥拝所で食べ物と酒を供え、田植えの時期にその成功を感謝し、五穀豊穰と無病息災を願っていました。これらの正式な儀式は稀なものになってしまいましたが、この地域の人々は今も遥拝所を訪れて祈りを捧げています。

【タイトル】 福津における遙拝

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**在福津遙拜神灵**

冲之岛是宗像和福津海岸附近的一座圣岛。只有少数在此修行的神道教僧侣才能踏上这座岛屿。如果想祭拜这座岛屿和供奉在岛上冲津宫神社内的神灵，就必须进行遙拜（日语：遙拜）。

遙拜在宗像地区十分普遍，在福津也是如此，当地人敬拜宗像三女神（分别奉祀于边津宫、中津宫和冲津宫）已有数千年之久。福津的部分祭拜场所是建筑物，但也有许多遙拜点位于山腰或海滩上布置简单但视野良好的位置。福津有多处遙拜点，包括手光村和白石滨海滩。

在 20 世纪中叶之前，人们通常会在水稻种植结束时举行祭拜冲之岛神灵的仪式。人们会在遙拜点献上食物和清酒，感谢神明保佑稻米种植季一切顺利，祈祷农业或渔业丰收、身体健康。虽然这些正式的仪式现已不太常见，但仍然会在须贺神社举行，该地区的人们也会前去祷告。

<繁体字>**福津遙拜**

冲之島是宗像和福津海岸附近的一座聖島，只允許少數在此任職的神道教神職人員出入。若想祭拜島上冲津宮神社所供奉的神明和聖島本身，人們必須採取從遠處祭拜的方式（亦即遙拜）。

宗像地區供奉著宗像三女神（分別供奉在邊津宮、中津宮和冲津宮）。數千年以來，包括福津在內，遙拜活動在宗像地區十分普遍，部分遙拜場所的地點蓋有建築物，但也有許多位置單以視野良好為主要考量，選在山腰或海灘上的遙拜地點。福津亦有多處遙拜地點，包括手光村落和白石濱海灘。

直到 20 世紀中葉，祭拜沖之島神明的儀式依舊十分常見，通常會在水稻種植季結束時舉辦，人們會前往遙拜地點，獻上食物與酒等貢品，感謝神明保佑稻作一切順利，同時祈願農漁業豐收及無病無災。上述這類正式慶典雖然現已比較少見，不過須賀神社至今仍有舉辦，當地居民也依然會前往遙拜地點祈願。

<日本語仮訳>

福津における遥拝

沖ノ島は、福津・宗像沖にある聖なる島です。上陸できるのは、ここへ仕える一握りの神官に限られています。島と沖津宮神社に祀られている神の参拝者は、遠方から参拝(遥拝)をしなければなりません。

遥拝は、福津を含む宗像地域で広く行われています。宗像地域では、宗像三女神(辺津宮、中津宮、沖津宮に祀られています)が数千年にわたって崇められてきました。いくつかの遥拝所には建物があるものの、福津一帯の多くの遥拝所は、山腹や浜辺にある単に見晴らしのよい場所です。福津には、手光という集落や白石浜などに、いくつかの遥拝所があります。

20 世紀半ばまでは、田植えの終了時に、沖ノ島の神々を崇める儀式が広く行われていました。人々は、遥拝所で食べ物と酒を供え、田植えの成功を感謝し、豊作や豊漁と健康を祈ったのでしょう。これらの正式な儀式は今では一般的ではなくなりましたが、今でも須賀神社で行われており、地域の人々が参拝に訪れています。

| | | | |
|------|-----|------|------------------------------------|
| 地域番号 | 011 | 協議会名 | 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 保存活用実行委員会 |
|------|-----|------|------------------------------------|

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|--------------------------------------|--------|------|
| 011-004 | キリスト教 文化遺産群 南蛮船来航の地 | 630 | WEB |
| 011-005 | 須崎キリシタン墓碑群 | 1075 | WEB |
| 011-006 | 砂原キリシタン墓碑群 | 830 | WEB |
| 011-007 | 白浜キリシタン墓碑 | 805 | WEB |
| 011-008 | 吉川キリシタン墓碑群 | 965 | WEB |
| 011-009 | 谷川「流しや (Rushiya)」 キリシタン墓碑 | 1105 | WEB |
| 011-010 | 西正寺キリシタン墓碑群 | 925 | WEB |
| 011-011 | 里坊キリシタン墓碑群 | 745 | WEB |
| 011-012 | 小川キリシタン墓碑 | 795 | WEB |
| 011-013 | 有家キリシタン史跡公園墓碑群 | 1165 | WEB |
| 011-014 | 中須川キリシタン墓碑四基 | 930 | WEB |
| 011-015 | 宮の本キリシタン墓碑群 | 950 | WEB |
| 011-016 | 有馬セナリ跡地 | 590 | WEB |
| 011-033 | 万聖堂跡 | 550 | WEB |
| 011-034 | 潜伏時代のキリシタン墓碑 | 835 | WEB |
| 011-035 | 出島和蘭 (オランダ) 商館跡 | 970 | WEB |
| 011-036 | サント・ドミンゴ教会跡資料館 | 695 | WEB |
| 011-037 | 浦上天主堂 | 1060 | WEB |
| 011-038 | 次兵衛岩洞窟 | 355 | WEB |
| 011-039 | バスチャンの小屋 | 410 | WEB |
| 011-040 | 枯松神社 | 750 | WEB |
| 011-041 | ド・ロ神父の大平作業場跡 | 590 | WEB |
| 011-042 | 野道共同墓地 | 435 | WEB |
| 011-043 | 馬込教会 | 570 | WEB |
| 011-044 | 長崎と天草地方の潜伏キリシタン 関連遺産インフォメーションセンター | 320 | WEB |
| 011-045 | 大浦天主堂キリシタン博物館 | 480 | WEB |
| 011-046 | 長崎歴史文化博物館 | 485 | WEB |
| 011-047 | 日本二十六聖人記念館 | 1390 | WEB |
| 011-050 | 浦上キリシタン資料館 | 335 | WEB |

011-004

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】南蛮船来航の地

【想定媒体】WEB

<簡体字>

南蛮船来航之地

这块石碑为纪念葡萄牙船只的到来而立。所谓“南蛮”，在这里指的是“欧洲”。早在 16 世纪，口之津就已经是一个繁华的贸易港口了，从诸如“唐人町”这样的地区名称中可以看出，当时本地已不乏来自亚洲大陆的访客。葡萄牙商船于 1562 年首次开抵口之津，得到本地吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）大名（日本封建时代的领主）有马晴信(1567-1612)的父亲有马义贞(1521-1577)许可，在当地开展贸易。此后，葡萄牙商船曾在 1567 年至 1582 年间 5 次落锚本港。除单纯的商业贸易之外，还与掌控岛原藩的有马氏建立起了包括资金借贷、武器供应等往来关系。1563 年，由商人转变为耶稣会传教士的路易士·德·阿尔梅达(Luis de Almeida)在本地兴建教堂。1564 年，早在 1549 年便随同圣方济·沙勿略 (St. Francis Xavier, 1506-1552；最早将基督教传入日本的西班牙传教士) 首次来日的日本传教团体负责人科斯梅·德·托雷斯(Cosme de Torres)选择口之津作为他的传教基地，港口的地位日渐重要。到了 1579 年，负责巡视亚洲传教活动的耶稣会东方总视察员范礼安神父(Father Alessandro Valignano, 1539-1606)同样选择口之津，作为召开日本全国外来传教士会议的地点。

此处南蛮船来航之地是长崎县指定遗址。因多年土地改造再开发，纪念碑最终定址于内陆地区。石碑周边曾经是一片开垦出的稻田，现在是一座公园。

<繁体字>

南蠻船來航之地

這塊石碑是為紀念葡萄牙船隻到來而立。所謂「南蠻」，在這裡指的是「歐洲」。早在 16 世紀，口之津就已經是一處繁華的貿易港口，從諸如「唐人町」這樣的地區名稱中可以看出，那時此處已經有來自亞洲大陸的訪客。葡萄牙商船於 1562 年首次開抵口之津，得到本地吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）大名（日本封建時代的領主）有馬晴信（1567-1612）的父親有馬義貞（1521-1577）許可開展貿易。此後，葡萄牙商船曾在 1567 年至 1582 年間 5 次落錨此港，除單純的商業貿易之外，還與掌控島原藩的有馬氏建立起了包括資金借貸、武器供應等往來關係。1563 年，由商人轉變為耶穌會傳教士身份

的路易士・徳・阿爾梅達（Luis de Almeida）在當地興建教堂。1564年，早在1549年便隨同聖方濟・沙勿略（St. Francis Xavier, 1506-1552；最初將基督教傳入日本的西班牙傳教士）首次來日的日本傳教團體負責人科斯梅・徳・托雷斯（Cosme de Torres）選擇口之津作為他的傳教基地。於是，這處港口的地位日漸重要。到了1579年，負責巡視亞洲傳教活動的耶穌會東方總視察員范禮安神父（Father Alessandro Valignano, 1539-1606）也選擇了口之津作為召開日本全國外來傳教士會議的地點。

這處南蠻船來航之地是長崎縣指定遺址，紀念碑落址在這處內陸地區是經歷多年土地改造再開發的結果。如今，周圍的土地已成為一個公園，但過去曾是一片開墾出的稻田。

<日本語仮訳>

南蛮船来航の地

この碑はポルトガル船の来航を記念して建てられました。南蛮とは、欧州のことです。口之津は16世紀にはすでに交易港として栄えていました。例えば、唐人町と呼ばれる地域の存在は、アジア大陸からわたってきた人々がいたことを示しています。しかし、ポルトガルの商船が初めて口之津に来たのは、キリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）大名（日本の封建時代の領主）有馬晴信（1567-1612）の父、有馬義貞（1521-1577）がポルトガル商船にこの港での交易を許可した1562年のことでした。ポルトガル商船は1567年から1582年の間にさらに5回ここに寄港し、貿易だけでなく融資や武器の供給を通じて有馬氏との関係を築いていきました。1563年には、元商人のイエズス会宣教師、ルイス・デ・アルメイダがこの地に教会を建てました。1564年、フランシスコ・ザビエル（1506-1552、はじめて日本にキリスト教を伝えたスペイン人宣教師）と共に1549年に初来日した日本地区の布教責任者コスメ・デ・トーレスは、口之津を自身の活動拠点に選びました。口之津がこのように非常に重要な港となったことをうけて、イエズス会のアジア地区における活動を統括していた巡察師アレックスサンドロ・ヴァリニャーノ神父は、この場所を1579年の全国外国人宣教師会議の開催地に選びました。

記念碑が立っている場所は、長崎県指定史跡です。記念碑が内陸部にあるのは、長年にわたる埋め立ての結果です。現在は公園になっている記念碑周辺の地域は、もともと稲作のために埋め立てられた場所でした。

【タイトル】 須崎キリシタン墓碑群

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**須崎吉利支丹墓碑群**

风光如画的加津佐町坐落于一处山海之间的河口旁。村子的佛教墓地里保存着 6 块吉利支丹（16 世纪至明治时代日本的基督教徒）的墓碑，确切地说，5 块为墓碑，1 块为吉利支丹相关遗物。其中 1 块墓碑单独安放，另外 5 块在另一处排成一行。

单独的那块墓碑最耐人寻味。长崎一带的吉利支丹墓碑大多采用本地一种类似安山岩或石英安山岩的灰色火山岩制作，可这一块采用的石材是从天草运来的粉色砂岩。能够用得起价格高昂的外来材料，说明在 17 世纪早期已经有部分本地人拥有了不凡的经济实力。这是一块平置式半圆柱体墓碑，长达 1.2 米。

墓碑上有一块活动金属罩，碑铭因此大体保存完好。碑文最左侧刻着墓主人的教名“る井寸”(Ruis)。相邻的一列是他去世时的年纪，可能是 19 或 29 岁。下一列是卒年，能看清是 2 日，但月份已经缺失。最右侧一列刻着“庆长十八年”（1613 年），正是日本全面禁止基督教的前一年。

另外 5 块安置在一起，其中，两块是平放的半圆柱体，两块是扁平石板，还有一块只剩残片。两块扁平石板上都刻着十字架，一个是一条横杠的拉丁十字，另一个是双横杠的宗主教十字。这两块石板有可能曾是半圆柱体墓碑的基座。此外，两块半圆柱体墓碑中较小的一块可能是孩子的墓碑。

须崎吉利支丹墓碑群为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计 192 块，其中 146 块在长崎县，全都出自 17 世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于 1581 年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原

本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

須崎吉利支丹墓碑群

風光如畫的加津佐町坐落於一處山海之間的河口旁，村子的佛教墓地裡保存著 6 塊吉利支丹（16 世紀至明治時代日本的基督教徒）的墓碑——確切地說，5 塊為墓碑，1 塊為吉利支丹相關遺物。其中 1 塊墓碑單獨放置，另外 5 塊在別處排成一行。

單獨的那塊墓碑最耐人尋味。長崎一帶的吉利支丹墓碑大多採用當地一種類似安山岩或石英安山岩的灰色火山岩製作，可這一塊不同的是，其採用的石材是從天草運來的粉色砂岩。能夠用得起價格高昂的外來材料，說明在 17 世紀早期已經有部分當地人擁有了不凡的經濟實力。這是一塊平置式的半圓柱體墓碑石，長度為超乎尋常的 1.2 公尺。

墓碑上有一塊活動金屬罩，碑銘因此得以大體完好保存。碑文最左側刻著墳墓主人的教名「る井寸」（Ruis）。緊鄰的一列是墓主去世時的年紀，可能是 19 或 29 歲。下一列是他的卒年，能看清是 2 日，但月份已經缺失，最右側一列刻著「慶長十八年」（1613 年），正是日本全面禁止基督教的前一年。

另外 5 塊安置在一起，其中兩塊是平放的半圓柱體，兩塊是扁平石板，還有一塊只剩下了殘片。兩塊扁平石板上都刻著十字架，一個是一條橫槓的拉丁十字，另一個是雙橫槓的宗主教十字，這兩塊石板有可能曾是半圓柱體墓碑的基座。此外，兩塊半圓柱體墓碑中較小的一塊可能是孩子的墓碑。

須崎吉利支丹墓碑群為長崎縣指定史跡。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常

常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

須崎キリシタン墓碑群

風光明媚な加津佐町は、山と海に挟まれた河口のそばにあります。この町の仏教墓地には、合計6基のキリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）墓碑（正確には5基のキリシタン墓碑と1点のキリシタン関連遺物）があります。1基は単独で建てられており、5基は別の場所に一列に並んでいます。

最も興味深いのは、単独の墓碑です。長崎周辺にみられるキリシタン墓碑のほとんどは、安山岩やデイサイトといった地元で採れる灰色の火山岩で作られているのに対し、この墓碑は天草から運ばれたピンク色の砂岩で作られています。高価な外材が使われていることは、17世紀初期、この地域に並外れた経済力を持つ住民がいたことを示しています。この墓碑は平置き半円柱型で、全長は非常に長い1.2メートルです。

保存状態の良い碑銘は、取り外し可能な金属製のカバーで保護されています。銘の左端の行には「る井寸（読み方 Ruis）」という洗礼名が刻まれています。次の行には、「る井寸」が亡くなった年齢（19歳もしくは29歳）が記されています。その次の行には、亡くなった日付が記されており、「2日」というのは見てとれますが、何月かは読み取れません。右端の行に刻まれている慶長十八年（1613年）は、全国にキリスト教禁教令が出された前年です。

他の5基は一か所に集められています。そのうち2基は平置き半円柱型で、別の2基は平板型、そして1基は単なる断片です。平板型の墓石の両方に十字架が彫られています。片方は横棒が1本のラテン十字、もう片方は横棒が2本の総主教十字です。平板型の石は、かつては半円柱型の墓石の土台であった可能性があります。また、平置き半円柱型の2基のうち、小さい方は子どもの墓碑だった可能性があります。

須崎キリシタン墓碑群は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている 192 基のうち、146 基が長崎県にあり、その全てが 17 世紀初期のもので、1581 年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という 3 文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考えて良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置きの中にも、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓碑は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で発見されることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

011-006

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 砂原キリシタン墓碑群

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

砂原吉利支丹墓碑群

这两块墓碑位于一片可以直接俯瞰大海的山坡上，坡上松林覆盖。两者都是平置式的平板形墓碑，但石材有所不同。风化较严重的一块是玄武岩质的海底火成岩。保存状况较好的为安山岩制成，这块墓碑正面的底端刻有一个鸢尾花十字架，这种十字架样式华丽，四臂端头均饰有三瓣花形，代表圣父、圣子、圣灵三位一体。不过，它如今的石板底座并非原有的墓碑组成部分。

两块墓碑上都没有留下姓名和日期，但据推算，它们可能出自 17 世纪早期。本地人曾将它们称为“牛之墓”或“牛之神”，这或许是因为吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）在圣诞节常吃牛肉的缘故。

砂原吉利支丹墓碑群为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计 192 块，其中 146 块在长崎县，全都出自 17 世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于 1581 年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

砂原吉利支丹墓碑群

這兩塊墓碑位於一片可以直接俯瞰大海的山坡上，坡上松林覆蓋。兩塊都是水平嵌入地面的平板形墓碑，但石材不同。風化較嚴重的一塊是玄武岩質的海底火成岩。保存狀況較好的則採用安山岩製成，墓碑正面底端刻有一個鳶尾花十字架，這種十字架樣式華麗，十字架四臂前端均飾有三瓣花形，代表聖父、聖子、聖靈三位一體，可以留意一下其實石板底座並非原墓碑的組成部分。

兩塊墓碑上都沒有留下姓名和日期，但據推算可能出自 17 世紀早期，當地人會稱呼墓碑為「牛之墓」或「牛之神」，這或許是因為吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）在耶誕節常吃牛肉的緣故。

砂原吉利支丹墓碑群為長崎縣指定史跡。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

砂原キリシタン墓碑群

この2基の墓碑は、松に覆われた丘の中腹に、海を見下ろして立っています。どちらも形状は平置き平板ですが、異なる石材が使われています。風化による損壊が激しい方は玄武岩質水底火砕岩で作られています。比較的保存状態が良い方は安山岩で作られており、前面の端には「花十字」（十字の各先端が父なる神、子なるキリスト、聖霊という三位一体なる神を表す三枚の花弁で飾られた十字架）が刻まれています。ちなみに、この墓石が載っている石の土台は元の墓碑の一部ではありません。

どちらの墓碑にも名前や日付は刻まれていませんが、これらは17世紀初期につくられたものと推定されています。おそらくキリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）たちがクリスマスに牛肉を食べていたことにちなんで、地元の人たちはかつてこれらの墓碑を「牛の墓」あるいは「牛の神」と呼んでいました。

砂原キリシタン墓碑群は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている192基のうち、146基が長崎県にあり、その全てが17世紀初期のもので、1581年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という3文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考えて良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置き墓石の中には、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓碑は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で見られることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

011-007

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 白浜キリシタン墓碑

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

白濱吉利支丹墓碑

这块平置式半圆柱体墓碑长仅 55 厘米，只是寻常墓碑长度的一半，因此，人们推测它的主人是一名儿童。墓碑以安山岩制成，这种火山岩通常为灰色，但这一块因为被火烧过而微微泛红。墓碑正面有凸起的浮雕边框，并刻有一个保存完好的鸢尾花十字架，这是一种样式华丽的十字架，四臂端头上均饰有代表圣父、圣子、圣灵三位一体的三片花瓣形装饰。由于周边还发现过骨骼和其他石板式墓碑，所以这一带很可能曾经是一片墓地。

白濱吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）墓碑是长崎县指定史迹。另外，运气好的话，来访者还可以看到在下方海滩上出没的海龟！

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计 192 块，其中 146 块在长崎县，全都出自 17 世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于 1581 年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

白濱吉利支丹墓碑

這塊水平放置式的半圓柱體墓碑全長僅有 55 公分，是尋常墓碑長度的一半，因此人們推測墓碑主人是一名兒童。墓碑以安山岩製成，這種火山岩通常為灰色，但這一塊因為被火燒過而微微泛紅。墓碑正面有凸起的浮雕邊框，並刻有一個保存完好的鳶尾花十字架，這是一種樣式華麗的十字架，十字架的四臂尖端上均飾有代表聖父、聖子、聖靈三位一體的三片花瓣形裝飾。鑒於周邊還發現過骨骸和其他石板式墓碑，推測這裡原先很可能是一片墓地。

白濱吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）墓碑為長崎縣指定史跡。另外，如果運氣好的話，還可以看到在下方的海灘上出沒的海龜！

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

白浜キリシタン墓碑

全長わずか 55cm のこの平置き半円柱型の墓碑は、長さが通常の半分程度であることから、子どもの墓碑であると推測されています。この墓碑に使われている火成岩の一種である安山岩は通常は灰色ですが、この墓碑は火に晒されたことから赤みを帯びています。浮き彫りで縁取られた正面には、花十字（クローバー十字）と呼ばれる、十字の各先端が父なる神、子なるキリスト、聖霊という三位

一体なる神を表す三枚の花弁で飾られた彫刻が良好な状態で残されています。付近で骨や他の平板型の墓碑が見つかることから、この場所にはおそらく墓地があったのでしょう。

白浜キリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）墓碑は長崎県指定史跡です。余談ですが、運が良ければ下の海岸でウミガメを見かけられるかもしれません！

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている192基のうち、146基が長崎県にあり、その全てが17世紀初期のもので、1581年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という3文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考えて良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置きの中にも、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓碑は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で発見されることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

011-008

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】吉川キリシタン墓碑群

【想定媒体】WEB

<簡体字>

吉川吉利支丹墓碑群

这 4 块墓碑均位于南岛原市南有马町的佛教徒墓园内，墓园风光优美，可远眺有明海对面的天草地区。其中两块平置式墓碑被安置在一处小小的“覆屋”（保护户外文物或遗迹的简单棚子）内，较短的一块呈长方体形状，长一些的为半圆柱体。它们有两个共同的特征：一是两块墓碑的碑身与基座均为一体式构造，即都是由整块石料雕刻而成；二是所用石料都是熔灰岩，而这种石材在岛原半岛并不常见。

另外两块墓碑则饱受日晒雨淋，其中，被青苔覆盖的那一块原本也是平置式墓碑，如今却直立着，露出地面的部分高 41 厘米，总长度不详，但无论状态如何，它的厚度都超乎寻常。

巧合的是，南有马町正是殉道的吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）武士亚当·荒川出生的地方。他在外国传教士被驱逐后接管了当地的吉利支丹团体，并于 1614 年在天草市惨遭斩首。教皇本笃十六世曾在 2008 年为 188 名日本殉道者举行宣福礼，册封“新真福”，荒川就是其中的一位。

吉川吉利支丹墓碑群现为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计 192 块，其中 146 块在长崎县，全都出自 17 世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于 1581 年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

吉川吉利支丹墓碑群

這 4 塊墓碑建於南島原市南有馬町的佛教徒墓園內，墓園風光優美，可遠眺有明海對面的天草地區。其中有兩塊水平放置式的墓碑被安置在一處小小的「覆屋」（保護戶外文物或遺跡的簡單棚子）內，較短的一塊為方柱狀，稍微長一些的呈半圓柱形狀。這兩塊墓碑有兩個共同特徵：第一，兩塊墓碑的碑身與基座均為一體式結構，即都是由整塊石材雕刻而成；第二，所用石料都是熔灰岩，而這種石材在島原半島並不常見。

另外兩塊墓碑則飽受日曬雨淋，其中被青苔覆蓋的那一塊，原本也是水平放置式墓碑，如今卻直立著。露出地面的部分高約 41 公分，總長度不詳。但無論保存狀態如何，墓碑看上去似乎都格外厚實。

巧合的是，南有馬町正是殉道的吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）武士亞當·荒川出生的地方，他在外國傳教士被驅逐後接管了當地的基督教團體，並於 1614 年在天草市慘遭斬首。教皇本篤十六世曾在 2008 年為 188 名日本殉道者舉行宣福禮，荒川就是那時被冊封為新真福的一位。

吉川吉利支丹墓碑群現為長崎縣指定史跡。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

吉川キリシタン墓碑群

南島原市南有馬町にあるこれらの4基の墓碑は、有明海の向こうに天草を望む美しい景色が見える仏教墓地に置かれています。4基のうち2基は小さな覆屋で保護されています。短い方は平置きで、長い方は平置きの半円柱型です。この2基には二つの共通する特徴があります。一つ目は、それぞれの墓碑の上部と土台部が一個の石から彫り出されていることです。二つ目は、これらは両方とも島原半島では珍しい溶結凝灰岩で作られているものです。

ほかの2基は風雨にさらされたままになっています。苔に覆われている立碑の方は、かつては平置きにされていました。この墓石の地面から突き出ている部分は41cmですが、全長は不明です。いずれにせよ、この墓石は非常に厚みがあるようです。

南有馬町は殉教したキリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）武士アダム荒川の生まれた場所でもあります。外国人司祭が追放された後、この地域のキリシタンたちの世話をしていたアダム荒川は、1614年に天草で斬首されました。荒川は、2008年にローマ教皇ベネディクト16世によって列福された日本人殉教者188人の1人です。

吉川キリシタン墓碑群は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている192基のうち、146基が長崎県にあり、その全てが17世紀初期のもので、1581年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という3文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考える良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置きの墓石の中には、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓石は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で見発見されることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

011-009

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 谷川「流しや (Rushiya)」キリシタン墓碑

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑

前往“流しや”(Rushiya)的坟墓需要爬过一段陡峭的短坡，坟墓所在的小墓园坐落于一片杂乱无章却不失秀美风光的旧农舍之上。这块墓碑本身是一块平置式的安山岩平石板，保存状态相当完好。墓碑正面刻有一个鸢尾花十字架，这是一种华丽的十字架，四臂端头上均有代表圣父、圣子、圣灵三位一体的三瓣花形装饰。墓碑背面可见完整清晰的铭文。碑铭从左往右为：“1月17日，流しや，20岁，庆长15年（1610年）”。“流しや”，读作Rushiya，是墓碑主人的教名。墓碑各面均有凸起的浮雕边框。

这个墓园距离日野江城遗址仅1公里。日野江城是掌控岛原地区的吉利支丹（自16世纪至明治时代日本的基督教徒）大名（日本封建时代的领主）有马晴信(1567-1612)的城堡。当时，只有上流社会的人才能用得起这样的石头墓碑，再加上墓碑主人刚巧死在有马晴信的贿赂丑闻爆发之前，所以这位“流しや”(Rushiya)很可能与有马家族有着某种关系。贿赂案导致有马晴信失去了幕府将军的宠信，身为虔诚的吉利支丹，他无法选择切腹自杀，所以最终在1612年被斩首。为重获将军恩宠，有马晴信的儿子兼继任者有马直纯拒绝信奉基督教，甚至开始迫害引导其家族改信基督教的人。

谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计192块，其中146块在长崎县，全都出自17世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于1581年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手

水钵)，还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

谷川「流しや」(Rushiya) 吉利支丹墓碑

前往「流しや」(Rushiya) 的墳墓需要爬過一段陡峭的短坡，墳墓所在的小墓園坐落在一片看似雜亂無章卻風光秀美的舊農舍之上。這塊墓碑本身是一塊水平放置式的安山岩平石板，保存狀態相當完好。墓碑正面刻有一個鳶尾花十字架，這是一種樣式華麗的十字架，十字架四臂尖端上均有代表聖父、聖子、聖靈三位一體的三瓣花形裝飾；墓碑背面可見完整清晰的銘文。碑銘從左往右為：「1 月 17 日，流しや，20 歲，慶長 15 年（1610 年）」。「流しや」，讀作 Rushiya，是墳墓主人的教名，而墓碑各面均有凸起的邊框浮刻。

這處墓園距離日野江城遺址僅 1 公里，日野江城是掌控島原地區的吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）大名（日本封建時代的領主）有馬晴信（1567-1612）的城。當時只有上流社會的人才能用得起這樣的石頭墓碑，墓碑的主人剛巧逝於有馬晴信的賄賂醜聞爆發之前，因此，這位「流しや」(Rushiya) 很可能與有馬家族有著某種關係。這樁賄賂案導致有馬晴信失去了幕府將軍的寵信，而身為虔誠的吉利支丹，他無法選擇切腹自殺，所以最終在 1612 年被斬首。有馬晴信的兒子兼繼任者的有馬直純為重獲將軍恩寵拒絕信奉基督教，進而開始迫害導致其家族改信基督教的信徒。

谷川「流しや」吉利支丹墓碑為長崎縣指定史跡。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒

於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑

流しやのお墓を訪ねるには、短い急な丘を登り、雑然とした農家の家屋が立ち並ぶ趣深い村落の上にある小さな古い墓地まで歩いていかななくてはなりません。流しやの墓碑は、安山岩で作られた平板型の墓石を平置きしたもので、保存状態は非常に良好です。正面には花十字（クローバー十字）と呼ばれる、十字の各先端が父なる神、子なるキリスト、聖霊という三位一体なる神を表す三枚の花弁で飾られた彫刻が、背面には完全に読み取ることができる碑銘があります。碑銘には左から右に「1月17日、流しや、20歳、慶長15年（1610）年」と記されています。「流しや」（Rushiya）は故人の洗礼名です。墓石の各面は浮き彫りで縁取られています。

この墓地は日野江城の跡地からわずか1キロのところにあります。日野江城は、島原を統治していたキリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）大名（日本の封建時代の領主）・有馬晴信（1567-1612）の居城でした。石の墓碑が買うことができたのは上流階級の人々だけだったので、流しやは有馬家と何らかの関係があったと考えられます。流しやが亡くなったのは、晴信が贈賄事件を起こしたことで将軍の不興を買い、斬首に処された1612年のすこし前でした。（キリスト教の教えにより、自殺である切腹は許されませんでした。）春信の後を継いだ息子の直純は、将軍の恩寵を受け続けるため、キリスト教を否定し、もともと自身の家族が改宗させた人々を迫害するようになりました。

谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている192基のうち、146基が長崎県にあり、その全てが17世紀初期のもので、1581年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式

の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という3文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考えて良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置きのお墓石の中には、ひっくり返されて仏教のお墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリスト教のお墓石は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で見られることがよくあります。

長崎のキリスト教のお墓石の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリスト教のお墓石群、砂原キリスト教のお墓石群、白浜キリスト教のお墓石、吉川キリスト教のお墓石群、谷川「流しや（Rushiya）」キリスト教のお墓石、西正寺キリスト教のお墓石群、里坊キリスト教のお墓石群、小川キリスト教のお墓石、有家キリスト教史跡公園のお墓石群、中須川キリスト教のお墓石群、宮の本キリスト教のお墓石群が挙げられます。

<簡体字>**西正寺吉利支丹墓碑群**

西正寺墓园位于岛原半岛中部。有记录显示，在 1588 年至 1595 年期间，本地区曾两度设立耶稣会神学院。那个时代，神学院、教会学校乃至教堂的频繁搬迁都是常事，一切皆取决于不同时期各地方大名（日本封建时代的领主）对基督教的喜恶。

这里并排摆放着 4 块吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）墓碑，都是人们后来搜集并安置过来的。其中，保存最完好的是一块石英安山岩材质的平置式柱状墓碑，长 105 厘米。墓碑顶部呈柔和的弧形，正面刻有鸢尾花十字架，这是一种华丽的十字架，四臂顶端皆有代表圣父、圣子、圣灵三位一体的三瓣花形装饰。其余三块墓碑中，也有两块很不寻常——它们的柱状碑身与基座均以一整块石料雕出，其中一块风化严重，勉强能辨认出鸢尾花十字架的雕刻。第四块墓碑的风化情况最严重，这是一块平板式的墓碑，同样使用石英安山岩制成。

西正寺吉利支丹墓碑群为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计 192 块，其中 146 块在长崎县，全都出自 17 世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于 1581 年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、

西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

西正寺吉利支丹墓碑群

西正寺墓園位於島原半島中部，有記錄顯示在 1588 年至 1595 年期間，該地區曾兩度設立耶穌會神學院。那個時代神學院、教會學校乃至於教堂的頻繁搬遷都是常態，一切皆取決於不同時期各地方大名（日本封建時代的領主）對基督教的接受程度。

這裡並排安放著 4 塊吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）墓碑，都是人們後來搜集並安置過來。其中保存最完好的是一塊石英安山岩材質的水平放置式柱狀墓碑，長約 105 公分。墓碑頂部呈柔和的弧形，正面刻有鳶尾花十字架，這是一種華麗的十字架，四臂尖端皆有代表聖父、聖子、聖靈三位一體的三瓣花形裝飾。餘下三塊墓碑中，有兩塊不是很尋常——柱狀碑身與基座均為整塊石材一體雕刻而成，其中一塊風化嚴重，僅能勉強辨認出鳶尾花十字架的雕刻。第四塊墓碑的風化情況最嚴重，這是一塊平板式的墓碑，同樣是使用石英安山岩製成。

西正寺吉利支丹墓碑群為長崎縣指定史跡。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

西正寺キリシタン墓碑群

西正寺墓地は島原半島の中ほどにあります。記録によると、この地域では 1588 年から 1595 年の間にイエズス会のセミナリヨが 2 回開かれました。（当時はセミナリヨやコレジヨ、さらには教会までもが、その時々における大名（日本の封建時代の領主）たちのキリスト教に対する態度に応じて場所を頻繁に移していました。）

この場所の 4 基のキリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）墓碑は、一か所に集められ一列に並べられています。4 基のうち、最も保存状態が良いのは、デイサイト（石英安山岩）でつくられた長さ 105cm の柱型の石が平置きされているものです。上部には緩やかな丸みがつけられており、正面には花十字（クローバー十字）と呼ばれる、十字の各先端が父なる神、子なるキリスト、聖霊という三位一体なる神を表す三枚の花弁で飾られた彫刻があります。別の 2 基は柱型の上部と台座部分が一つの石から彫り出されているのが特徴的です。その片方にはかなり風化が進んだ花十字が見て取れます。最も風化の激しい 4 基目は平板型で、これも石英安山岩で作られています。

西正寺キリシタン墓碑群は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている 192 基のうち、146 基が長崎県にあり、その全てが 17 世紀初期のもので、1581 年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という 3 文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考えて良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置き墓石の中には、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓碑は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で発見されることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

011-011

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 里坊キリシタン墓碑群

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

里坊吉利支丹墓碑群

这5块石英安山岩材质的平板式墓碑躺在一片稻田边。习惯上，它们都被称为“山伏之墓”，即“山中隐士的坟墓”。其中一块崩碎过，只余下一片接近正方形的残块，上面刻有一个双横杠的宗主教十字架。有趣的是，这个地区如今在日语里仍被称为“切支谷”(Kirishitani)，明示了它与吉利支丹（自16世纪至明治时代日本的基督教徒）之间的关联。

里坊吉利支丹墓碑群为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计192块，其中146块在长崎县，全都出自17世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于1581年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

里坊吉利支丹墓碑群

這 5 塊石英安山岩材質的平板式墓碑被放置在一塊稻田邊。這些墓碑照慣例被稱為「山伏之墓」，即「山中隱士的墳墓」。其中一塊碑體崩裂，只留下一片接近正方形的殘塊，上面刻有一個雙橫槓的宗主教十字架。有趣的是這個地區如今在日語裡仍被稱為「切支谷」（Kirishitani），明示了它與吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）之間的關聯。

里坊吉利支丹墓碑群為長崎縣指定史跡。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

里坊キリシタン墓碑群

デイサイト（石英安山岩）でつくられた 5 基の平板型墓碑は、田んぼの一角に置かれています。これらの墓碑は昔から「山伏の墓」と呼ばれていました。損壊してほぼ正方形になっている 1 基には、横棒が 2 本の形総主教十字が刻まれています。興味深いことに、この地域は今でもキリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）との繋がりを明示する「切支谷（キリシタニ）」という地名で呼ばれています。

里坊キリシタン墓碑群は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている 192 基のうち、146 基が長崎県にあり、その全てが 17 世紀初期のもので、1581 年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という 3 文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考えて良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置き墓石の中には、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓碑は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で発見されることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

011-012

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】小川キリシタン墓碑

【想定媒体】WEB

<簡体字>

小川吉利支丹墓碑

这块墓碑虽然位于私人产业内，但来访者可以步行穿过草地前往参观。这是一块方柱形墓碑，正面上缘带有轻微的弧度。它本来应该是平置在地面上，如今却竖直站立着。正面的浮雕鸢尾花十字架保存完好，很是难得。这是一种华丽的十字架，四臂终端均有代表圣父、圣子、圣灵三位一体的三瓣花形装饰。

该墓碑为本地历史学者森丰造于 1902 年发现。他还于同一年内在附近的中洲川找到了另外 4 块墓碑。这两次发现被认为是开启了长崎县吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）墓碑发掘行动的标志性事件。

小川吉利支丹墓碑为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计 192 块，其中 146 块在长崎县，全都出自 17 世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于 1581 年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

小川吉利支丹墓碑

這塊墓碑雖然位於私有地內，但來訪遊客可以步行穿過草地前往參觀。這是一塊方柱形墓碑，正面上緣帶有輕微的弧度，墓碑原本應該是水平放置在地面上，如今卻豎直站立。非常難得的是正面的浮雕鳶尾花十字架保存完好，這是一種樣式華麗的十字架，四臂尖端均有代表聖父、聖子、聖靈三位一體的三瓣花形裝飾。

該墓碑為當地歷史學者森豐造於 1902 年發現，於同一年內在附近的中洲川他還找到了另外 4 塊墓碑。這兩次發現被認為是開啟了長崎縣吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）墓碑發掘行動的代表性事件。

小川吉利支丹墓碑為長崎縣指定史跡。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

小川キリシタン墓碑

この墓碑は私有地内に置かれていますが、草地を歩いて見に行くことができます。上面がわずかに弧を描いているこの長方形の柱型の墓石は、本来は地面に平置きにされるよう作られたものの、現在は縦置きで展示されています。正面に浮き彫りされた花十字（クローバー十字）と呼ばれる、十字の各

先端が父なる神、子なるキリスト、聖霊という三位一体なる神を表す三枚の花弁で飾られた彫刻の保存状態が非常に良好であることは特筆に値します。

この墓碑は 1902 年に郷土史家の森豊造氏によって発見されました。同年、森氏は近くの中洲川でさらに 4 基の墓石を発見しました。これらの発見は、長崎県におけるキリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）墓碑発見の黎明とされています。

小川キリシタン墓碑は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている 192 基のうち、146 基が長崎県にあり、その全てが 17 世紀初期のもので、1581 年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という 3 文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考える良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置きの中には、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓碑は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で発見されることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

<簡体字>

有家吉利支丹史迹公园墓碑群

在 17 世纪早期，“有家”曾是岛原半岛的经济中心之一，因此，本地富户自然有足够的经济能力购买昂贵的墓碑。

这座公园位于一片俯临大海的和缓山坡上，园内安放 20 块从有家各处发掘而来的吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）墓碑。要知道，整个日本也只找到了 192 块同类墓碑，所以只需造访这个史迹公园，就能一次性看到总量 10% 以上的吉利支丹墓碑。公园于 1986 年正式对外开放，旨在纪念“岛原之乱”(1637-1638)的 350 周年，在那场起义中，许多日本吉利支丹惨遭杀害。

园中有 3 块墓碑带有装饰性雕刻，其中一块刻有一个鸢尾花十字架，这是一种华丽的十字架，四臂的端头上均饰有代表圣父、圣子、圣灵三位一体的三瓣花形；另一块刻着双横杠的宗主教十字架；第三块则拥有鸢尾花十字架与宗主教十字架的独特组合。

所有墓碑中，只有一块刻有铭文。文字刻在碑身上方的长条面而非正面，内容是：“庆长十二年”（1607 年），然后是名字“类子”(Luis)和日期“三月二十四日”。

园内还有一些古老的石头佛塔，包括五轮塔。统治岛原的有马晴信(1567-1612)在 1579 年成为了一名吉利支丹，曾在他的城堡日野江城中取用佛塔石材建造了一段台阶，这样，众人上下台阶时只能将其踩在脚下。这也为后来江户时代(1603-1868)禁教后的“踏绘”仪式埋下了伏笔，这种仪式是让人踩踏刻绘了圣母或耶稣的画像，借以甄别吉利支丹。

有家吉利支丹史迹公园墓碑群为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计 192 块，其中 146 块在长崎县，全都出自 17 世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于 1581 年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石

头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

有家吉利支丹史迹公园墓碑群

在 17 世纪早期，「有家」曾是岛原半岛的经济中心之一，这也代表著当地富绅有足夠的經濟能力購買昂貴的墓碑。

這座公園位於一片俯臨大海的緩坡上，園內共有 20 塊從有家各處發掘而來的吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）墓碑。要知道，整個日本也只找到了 192 塊同類墓碑，所以只需造訪這個史迹公園，就能一次性參觀總量 10% 以上的吉利支丹墓碑。公園於 1986 年開園，旨在紀念「島原之亂」（1637-1638）350 週年，在這場起義中有許多日本吉利支丹慘遭殺害。

園中有 3 塊墓碑帶有裝飾性雕刻，其中一塊刻有一個鳶尾花十字架，這是一種樣式華麗的十字架，四臂的尖端上均飾有代表聖父、聖子、聖靈三位一體的三瓣花形；另一塊刻著雙橫槓的宗主教十字架；第三塊則是擁有鳶尾花十字架與宗主教十字架的獨特組合。

所有墓碑中只有一塊刻有銘文，文字刻在碑體上方的側面而非墓碑正面，內容是：「慶長十二年」（1607 年），然後是名字「類子」（Luis）和日期「三月二十四日」。

園內還有一些古老的石頭佛塔，包括五輪塔。統治島原的有馬晴信（1567-1612）在 1579 年成為了一名吉利支丹，曾在他的日野江城中建造了一段取自佛塔石材的台階，眾人踩踏上下台階時便會將其踩在腳下。這為後來江戶時代（1603-1868）禁教後讓人踩踏刻繪了聖母或耶穌像以辨別吉利支丹的「踏繪」儀式埋下了伏筆。

有家吉利支丹史迹公園墓碑群為長崎縣指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境内の吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

有家キリシタン史跡公園墓碑群

17世紀初期、有家は島原半島の経済の中心地のひとつでした。これは、有家の裕福な人々は高価な墓碑をつくらせる財力を有していたことを意味します。

海を見下ろす緩やかな斜面につくられたこの公園には、有家のあちこちから集められた20基の墓碑があります。キリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）墓碑は全国に192基しかありません。つまりこの公園を訪れるだけで、総数の1割以上を目にすることができるのです。有家キリシタン史跡公園は、多くの日本人キリシタンが虐殺された島原の乱（1637-1638）後350年忌を記念して1986年に開園しました。

墓碑の3基には装飾的な彫刻が施されています。それぞれに彫られているのは、花十字（クローバー十字）と呼ばれる、十字の各先端が父なる神、子なるキリスト、聖霊という三位一体なる神を表す三枚の花弁で飾られた彫刻と、横棒が2本の総主教十字、そして花十字と総主教十字を組み合わせた独特の十字架です。

碑銘が刻まれている墓碑は1基のみです。碑の正面ではなく上部の長い面に刻まれた銘には「慶長十二年（1607年）」、「類子（ルイス）」という漢字2文字の名前、そして「三月二十四日」の日付が記されています。

また、公園には五輪塔などの古い石の仏塔もいくつか展示されています。1579年にキリスト教に改宗した島原を治めていた有馬晴信（1567-1612）は、日野江城に仏塔の石だけを使った階段をつくらせ、人々が階段を上がる時にこれらの石が踏まれるようにしました。これは後にキリシタンが強制された「踏み絵」（江戸時代（1603-1868）にキリスト教棄教が強要されたのち、キリシタンでないことを証明するために、キリスト、マリアの絵像を踏むこと。）を想起させます。

有家キリシタン史跡公園墓碑群は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている 192 基のうち、146 基が長崎県にあり、その全てが 17 世紀初期のもので、1581 年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という 3 文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考えて良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置きの中にも、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓碑は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で発見されることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

<簡体字>

中須川的四块吉利支丹墓碑

这 4 块吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）墓碑都使用石英安山岩制成，整齐地排列在国道 251 号线旁。它们原本藏身于附近的一片树丛中，1902 年被本地历史学者森丰造发现后移来此处。这一发现引发了长崎县寻找吉利支丹墓碑的风潮。据推测，这一地区曾有过一所神学院。此外，传说这些墓碑在当地被视作能够恩赐丰收吉祥的水神大人，并受到拜祭。

两块平板式的墓碑上没有任何标记，另一块表面略呈弧形的方柱式（或者说盒状）墓碑上，朝上的一面刻有一个保存非常完好的鸢尾花十字架浮雕，这是一种华丽的十字架造型，四臂顶端皆装饰有代表圣父、圣子、圣灵三位一体的三瓣花形。

第四块墓碑除饰有一个宗主教十字架外，碑体形状也很不寻常：那是一个平置的五边形柱体，顶上呈屋脊状隆起，由一条脊线与两个斜面组成，斜面之间的夹角比常见的人字形墓碑小一些。

中須川吉利支丹墓碑群为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计 192 块，其中 146 块在长崎县，全都出自 17 世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于 1581 年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

中須川的四塊吉利支丹墓碑

這 4 塊吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）墓碑都使用石英安山岩製成，被整齊排列在國道 251 號旁。這些墓碑原本藏身於附近的一片樹叢中，1902 年被當地歷史學者森豐造發現後遷葬此處。這一發現引發了長崎縣尋找吉利支丹墓碑的風潮。據推測這一地區曾有過一所神學院。此外，據說這些墓碑在當地被視作能夠恩賜豐收吉祥的水神大人並受到祭拜。

兩塊平板式的墓碑上沒有任何標記，另一塊表面略呈弧形的方柱式（或者稱作盒狀）墓碑上，朝上的一面刻有一個保存非常完好的鳶尾花十字架浮雕，這是一種華麗的十字架造型，四臂尖端皆裝飾有代表聖父、聖子、聖靈三位一體的三瓣花形。

第四塊墓碑飾有一個宗主教十字架，墓碑整體形狀很少見：那是一個平置的五邊形柱體，頂上呈屋脊狀隆起，由一條脊線與兩個斜面組成，斜面之間的夾角比常見的人字形墓碑小一些。

中須川吉利支丹墓碑群為長崎縣指定史跡。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

中須川キリシタン墓碑四基

デザインでつくられた4基のキリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）墓碑は、国道251号線の傍らに並べられています。これらは、1902年に郷土史家の森豊造氏によって付近の木立で発見された墓碑をこの場所に移設したものです。この発見以後、長崎ではキリシタン墓碑の発見が相次ぎました。この付近にはかつてセミナリヨがあったとされます。また、地元の人々は、豊穰をもたらしてくれる水の神「水神様（すいじんさま）」としてこれらの碑を拜んでいたと言われています。

平板型の墓碑2基には何も刻まれていません。しかし、丸みをおびた四角柱型（または箱型）の1基の上面には、非常に残存状態の良い花十字（クローバー十字）と呼ばれる、十字の各先端が父なる神、子なるキリスト、聖霊という三位一体なる神を表す三枚の花弁の浮き彫りが見てとれます。

この墓碑群の4基目は、総主教十字の装飾が施されており、上面に稜線があり、側面が傾斜している平置き五角柱型という珍しい形をしています。一般的な切妻型に比べると、この墓石は側面の間の角度が小さくつくられています。

中須川キリシタン墓碑群は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている192基のうち、146基が長崎県にあり、その全てが17世紀初期のもので、1581年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という3文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考える良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置き墓石の中には、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓石は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で発見されることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

011-015

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 宮の本キリシタン墓碑群

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

宮之本吉利支丹墓碑群

这里共有 8 块吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）墓碑，均为石英安山岩材质，样式各有不同，包括：平置式半圆柱体、人字形石板和扁平石板等。它们来自周边各地，在重见天日以前，不是被埋在了地下，就是已经砌进了墙里。如今则统一被安放在一处简单的“覆屋”（保护户外文物或遗迹的简单棚子）下，以避风雨。

最左边的人字形石板墓碑长 143 厘米，是日本已知第二长的吉利支丹墓碑。通常来说，九州的吉利支丹墓碑整体比关西地区的长一些，其中，大分县的一块以 178.5 厘米的长度位居日本之冠。本地的这块墓碑在上侧面约正中的位置上有一个小圆孔，由此可以推测，它上面可能曾经立有一个十字架。

左起第四块墓碑是横卧的半圆柱式样，长 101 厘米，中段处也有一个类似的小孔。此外，碑身半圆形的正面刻有一个双横杠的宗主教十字架。

除了这两块以外，其他墓碑上均已无任何装饰及姓名、日期等碑文痕迹留存。

宫之本吉利支丹墓碑群为长崎县指定史迹。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计 192 块，其中 146 块在长崎县，全都出自 17 世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于 1581 年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

宫之本吉利支丹墓碑群

這裡共有 8 塊吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）墓碑，均為石英安山岩材質，樣式各有不同，包括：水平放置式半圓柱體、人字形石板和扁平石板等。這些墓碑來自周邊各地，在重見天日以前，不是被埋在了地下，就是已經砌進了石牆裡。如今則統一被安置在「覆屋」（保護戶外文物或遺跡的簡單棚子）下以避風雨。

最左邊的人字形石板墓碑長 143 公分，是日本已知第二長的吉利支丹墓碑。一般來說，九州的吉利支丹墓碑整體比關西地區的長一些，其中大分縣的一塊以 178.5 公分的長度位居日本之冠。當地的這塊墓碑在朝上側面約正中的位置上有一個小圓孔，由此推測上面有可能曾經立有一個十字架。

左起第四塊墓碑是橫臥的半圓柱式樣長 101 公分，中段處也有一個類似的小孔。此外，其半圓形的正面刻有一個雙橫槓的宗主教十字架。

除了這兩塊以外，其他墓碑上均已無任何裝飾及姓名、日期等碑文痕跡留存。

宮之本吉利支丹墓碑群為長崎縣指定史跡。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

宮の本キリシタン墓碑群

この場所には、デイサイトで作られた、平置き半円柱型、切妻板型、平板型など異なる形状のキリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）墓碑が合計8基あります。付近の様々な場所で埋められていたり壁に組み込まれていたりしたこれらの墓碑は、現在は簡素な覆屋の中に並べられ、風雨から守られています。

一番左に置かれている全長143cmの切妻型の墓碑は、全国で2番目に長いキリシタン墓碑です。一般的に、九州のキリシタン墓碑は関西のものより長い傾向にあります。最も長い178.5cmの墓碑は大分県にあります。また、この墓碑は、上面のほぼ真ん中に小さな穴が空いている点も特徴的です。この穴はかつて十字架を立てるのに使われたと推測されています。

左から4基目の全長101センチの平置き半円柱形墓碑にも真ん中に同じような穴があります。半円形の正面には横棒が2本の総主教十字が彫られています。

ほかの墓碑には、装飾、名前、日付のいずれも残存していません。

宮の本キリシタン墓碑群は長崎県指定史跡です。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている192基のうち、146基が長崎県にあり、その全てが17世紀初期のもので、1581年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓石には漢字数文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓石には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という3文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考えて良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置き墓石の中には、ひっくり返されて仏教の墓石にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓碑は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で見られることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白濱キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正

寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

【タイトル】有馬セミナリ跡地

【想定媒体】WEB

<簡体字>**有马神学院遗址**

这里被认为是日本最早的神学院之一“有马神学院”的遗址。负责巡视亚洲传教活动的耶稣会东方总视察员范礼安神父(Father Alessandro Valignano, 1539-1606)于 1579 年来到日本，在为期 3 年的留日巡察期间，他为掌管岛原地区的大名（日本封建时代的领主）有马晴信(1567-1612)施行了洗礼。然而，范礼安的首要目标是为天主教在日本的传播发展建立起一个完备而稳固的体系。显然，想培养必要数量的吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒），就需要更多的神父，而唯一的解决之道就是将日本本土吉利支丹培养为神职人员。范礼安共创建了两所神学院，一所位于有马本地（今长崎县），另一所位于安土（今滋贺县）。此外，他还在九州东部的大分建立了一所教会学校。

确定有马神学院的确切地址是令后世学者颇为困扰的难题。一方面，是因为本地地形自 16 世纪以来已经发生了变化；另一方面，则是受限于地图——目前能找到的最古老的版本也是出自 17 世纪 40 年代，不但时间上比神学院的建立晚了足足 60 余年，而且地图本身所提供的信息也不够详细。从史料中只能得知一点：神学院的学生可以从学院步行抵达海边。基于这一信息，在长崎创建了“日本二十六圣人纪念馆”的耶稣会修士、历史学者迪亚哥·帕切科神父(Father Diego Pacheco, 1922-2008)推断，有马神学院的确切位置很可能就是这里。

<繁体字>**有馬神學院遺址**

這裡被認為是日本最早的神學院之一「有馬神學院」的遺址。負責巡視亞洲傳教活動的耶穌會東方總視察員范禮安神父（Father Alessandro Valignano, 1539-1606）於 1579 年來到日本，在為期 3 年的留日巡察過程中，他為掌管島原地區的大名（日本封建時代的領主）有馬晴信（1567-1612）施行了洗禮。然而范禮安的首要目標是為天主教在日本的傳播發展建立起一個完備而穩固的體系。可想而知，如果想培養一定數量的吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒），就需要更多的神父，而唯一的解決之道就是將日本本土吉

利支丹培養為神職人員。范禮安共創建了兩所神學院，一所位於有馬本地（今長崎縣），另一所位於安土（今滋賀縣）。此外，他還在九州東部的大分建立了一所教會學校。

確定有馬神學院的確切位址是令後世學者頗為困擾的難題。一方面，因為當地地形自 16 世紀以來已經發生了變化；另一方面，則是受限於地圖——目前能找到的最古老的版本也是出自 1640 年代，不但時間上比神學院的建立晚了足足 60 餘年，而且地圖本身所提供的資訊也不夠詳細。從史料中只能得知一項：神學院的學生可以從學院步行抵達海邊。基於這一資訊，在長崎創建了「日本二十六聖人紀念館」的耶穌會修士、歷史學者迪亞哥·帕切科神父（Father Diego Pacheco, 1922-2008）推斷，有馬神學院的確切位置很可能就是這裡。

<日本語仮訳>

有馬セナリヨ跡

ここは日本で最初のセナリヨ（神学校）のひとつがあったと推測されている場所です。イエズス会のアジア全域の布教活動を統括していた巡察師アレッサンドロ・ヴァリニャーノ（1539-1606）神父は、1579 年に来日しました。3 年間の日本滞在中、ヴァリニャーノ神父は島原を治めていた大名（日本の封建時代の領主）、有馬晴信（1567-1612）に洗礼を受けました。しかし、ヴァリニャーノ神父の一番の目標は、日本におけるカトリック布教のために強固な基盤を確立することでした。一定数のキリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）を獲得するためには、より多くの司祭が必要とされるのが明白になったため、必要な司祭の数を揃える唯一の方法として、日本人司祭の養成を開始する決定がなされました。ヴァリニャーノ神父は、有馬（現在の長崎県）と安土（現在の滋賀県）のセナリヨ 2 校に加え、九州東部の大分にコレジヨを 1 校設立しました。

学者たちは、有馬セナリヨの場所を特定するのに苦労しました。16 世紀以降地形が変わっているだけでなく、入手可能な最古の地図は、1640 年代（セナリヨが設立されてから 60 年後）のもので、あまり詳細に描かれていなかったためです。記録から、学生たちは神学校から海まで歩いて行けたことが分かっています。この情報に基づいて、長崎の「日本二十六聖人記念館」を創設し初代館長に就任したイエズス会の司祭で歴史家のディエゴ・パチエコ神父（1922-2008）は、実際に有馬セナリヨがあったのはおそらくこの場所だったことを割り出しました。

011-033

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 万聖堂跡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

万圣堂遗址

万圣堂是长崎的第一座教堂，建于1569年。这里便是它的遗址所在地。（“万圣堂”日文名为“トードス・オス・サントス”，取葡萄牙文“Todos os Santos”音译而来，意思就是“所有圣徒”。）

当初，日本第一位吉利支丹（自16世纪至明治时代日本的基督教徒）大名（日本封建时代的领主）大村纯忠(1533-1587)的家臣“长崎甚左卫门纯景”将这处遗址所在的土地赐给路易士·德·阿尔梅达(Luis de Almeida, 1525?-1583)。路易士原本是一名商人，后来成为了耶稣会的传教士。将在这片土地上的佛寺改造成教堂的，则是1556年来到日本并写下大量有关这个国家著述的耶稣会神父加斯佩·维列拉(Father Gaspar Vilela, 1525?-1572)。自16世纪90年代晚期开始，这里先后出现过一座神学院、一所教会学校以及一个金属活字印刷所。此外，1602年到1605年间，本地还曾有过一家修道院。及至1612年，有马氏的领地“岛原藩”摒弃了基督教，“有马神学院”随后搬到了这里。

1620年，在幕府下令全国禁教的6年之后，万圣堂被拆除，代之以一座禅宗寺院——春德寺。现存寺院建于江户时代(1603-1868)晚期，但寺内水井的历史被认为或许可以追溯至教堂还健在的16世纪晚期或17世纪早期。

<繁体字>

萬聖堂遺址

萬聖堂是長崎的第一座教堂，建於1569年。這裡是它的遺址。（「萬聖堂」的日文名為「トードス・オス・サントス」，取葡萄牙文「Todos os Santos」音譯而來，意思就是「所有聖徒」。）

最初，日本第一位吉利支丹（自16世紀至明治時代日本的基督教徒）大名（日本封建時代的領主）大村純忠（1533-1587）的家臣「長崎甚左衛門純景」將這處遺址所在的土地賜給了路易士·德·阿爾梅達（Luis de Almeida,1525-1583），路易士原本是一名商人，後來成為了耶穌會的傳教士。1556年來到日本並寫下大量有關這個國家的著述的耶穌會神父加斯佩·維列拉（Father Gaspar Vilela,1525-1572），則將在這片土地上的佛寺改造成了教

堂。自 1590 年代晚期開始，這裡先後出現過一座神學院、一所教會學校以及一處金屬活字印刷所。此外，在 1602 年到 1605 年間，當地還曾有過一間修道院。直至 1612 年有馬氏的領地「島原藩」摒棄了基督教，「有馬神學院」隨之搬到了這裡。

1620 年，在幕府下令全國禁教的 6 年之後萬聖堂被拆除，以一座禪宗寺院——春徳寺取代之。現存寺院建於江戶時代（1603-1868）晚期，但寺內水井的歷史被認為或許可以追溯至 16 世紀晚期或 17 世紀早期，當時教堂還矗立在此。

<日本語仮訳>

万聖堂跡

この場所は 1569 年に建てられた長崎の最初の教会堂、万聖堂（日本名「トードス・オス・サントス」はポルトガル語 Todos os Santos の音読みで、諸聖人の意味）の跡地です。

元商人のイエズス会士ルイス・デ・アルメイダ（1525？-1583）は、日本初のキリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）大名（日本の封建時代の領主）大村純忠（1533-1587）の家臣、長崎甚左衛門純景からこの土地を与えられました。1556 年に来日し、日本についての詳細な記述を残したイエズス会の司祭ガスパル・ヴィレラ（1525？-1572）神父は、ここに建っていたお寺を改築して教会を建てました。1590 年代後半から、この場所にはセミナリオとコレジヨ、そして金属活版印刷所が置かれました。ここには 1602 年から 1605 年にかけて修練院があり、1612 年に有馬領がキリスト教を放棄した際は有馬のセミナリオもここに移されました。

幕府が日本全国に禁教令を発してから 6 年後の 1620 年、トードス・オス・サントスは取り壊され、その跡地にはこの春徳寺という禅寺が建てられました。現在のお寺の建物は江戸時代（1603-1868）の後期に建立されたものですが、その井戸は教会が健在だった 16 世紀末から 17 世紀初期のものとして残っています。

<簡体字>

潜伏时代的吉利支丹墓碑

这块墓碑位于长崎的佛教公墓“经之峰共同墓地”中，靠近围墙边。这是一块平置式石板墓碑，石板中央隆起，自中心线向两侧延伸呈斜面状，通常称为“切妻型”（人字形）墓碑。碑上没有铭文。

1614年，基督教在日本被禁，各相关团体均遭到迫害。吉利支丹（自16世纪至明治时代日本的基督教徒）被强制改宗佛教，基督教式样的墓碑也不再具有容身之地，因为它们大多水平放置，与竖立在地面上的佛教墓碑不同，很容易被辨认出来。19世纪早期，长崎代官（地方政府长官）高木作右卫门听说坂本地区发现了一个“形状奇怪的墓”，于是派人前去调查，幸而当时官方无法确认它与吉利支丹有关，这块墓碑才得以保存下来。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已确认建于吉利支丹时期早期的墓碑共计192块，其中146块在长崎县，全都出自17世纪早期。全国最古老的吉利支丹墓碑于1581年建造，位于大阪附近的四条畷（音同“缀”）市。

长崎境内的吉利支丹墓碑多为平板、人字形板、半圆柱体或长方体的平置式样，展现了当时欧洲墓碑的风貌。和佛教徒死后在墓碑上篆刻汉字法号类似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗礼时获得的教名。此外，常见的装饰还包括花形十字架（鸢尾花十字架）、双横杠十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶稣的字母缩写“IHS”。鉴于石头墓碑是一种昂贵的奢侈品，可以推测，它们的主人非富即贵。自基督教被禁后，一些原本平置的墓碑或被竖立插入土中改成直立式的佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水钵），还有的被砌进了石墙，甚至干脆埋到了地下。长崎县发现的吉利支丹墓碑几乎都已不在原位，不过大多也都相距不远。

这些墓碑中有很多都是长崎县指定史迹，包括：须崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白滨吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川“流しや”(Rushiya)吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史迹公园墓碑群、中须川吉利支丹墓碑群、宫之本吉利支丹墓碑群等。

<繁体字>

潜伏時代の吉利支丹墓碑

這塊墓碑安葬於長崎的佛教公墓「經之峰共同墓地」，靠近圍牆邊。這是一塊水平放置式的石板墓碑，有屋脊狀隆起的中線，向下延伸出兩側斜面，通常稱為「切妻型」（人字形）墓碑。碑上沒有銘文。

1614 年基督教在日本被禁，各相關團體遭到迫害。吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）被強制改信佛教，基督教樣式的墓碑也不再具有容身之地，因為它們大多被水平放置，與豎立在地面上的佛教墓碑相去甚遠，很容易分辨。19 世紀早期，長崎代官（地方政府長官）高木作右衛門聽說坂本地區發現了一個「形狀奇怪的墓」，於是派人前去調查，幸而當時官方無法確認它與吉利支丹有關，這塊墓碑才得以保留下來。

日本吉利支丹墓碑概要

日本已確認建於吉利支丹時期早期的墓碑共計 192 塊，其中 146 塊在長崎縣，全都出自 17 世紀早期。全國最古老的吉利支丹墓碑建於 1581 年，位於大阪附近的四條畷（音同「綴」）市。

長崎境內的吉利支丹墓碑多為平板、人字形板、半圓柱體或方形柱體的平置式樣，展現了當時歐洲墓碑的風貌。和佛教徒死後在墓碑上篆刻漢字法號類似，吉利支丹墓碑上常常刻有墓主人在接受西式洗禮時獲得的教名。此外，常見的裝飾還包括花形十字架（鳶尾花十字架）、雙橫槓十字架（宗主教十字架）或代表救世主耶穌的字母縮寫「IHS」。鑒於石頭墓碑是一種昂貴的奢侈品，可以推測，墓碑的主人非富即貴。自基督教被禁後，一些原本水平放置的墓碑或被豎直插入土中改成直立式佛教墓碑，或被挖空改造成洗手的水盆（手水鉢），有的則被砌進了石牆裡，還有的甚至乾脆埋沒在地下。長崎縣發現的吉利支丹墓碑很少有保留在原本安葬的地方，不過大部分的墓碑也都相距不遠。

這些墓碑中有許多是長崎縣指定史跡，包括：須崎吉利支丹墓碑群、砂原吉利支丹墓碑群、白濱吉利支丹墓碑、吉川吉利支丹墓碑群、谷川「流しや」（Rushiya）吉利支丹墓碑、西正寺吉利支丹墓碑群、里坊吉利支丹墓碑群、小川吉利支丹墓碑、有家吉利支丹史跡公園墓碑群、中須川吉利支丹墓碑群、宮之本吉利支丹墓碑群等。

<日本語仮訳>

潜伏時代のキリシタン墓碑

この墓碑は、仏式のお墓が並ぶ長崎の「経の峰共同墓地」の周壁に接して置かれています。墓碑の形状は平置きにした石板上部の中心線両側が斜面になっている「切妻型」です。碑銘の跡はありません。

1614年にキリスト教禁教令が出された後、キリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）は迫害を受けるか強制的に仏教に改宗させられました。その結果、平置きのお墓が多く、背の高い仏式の墓とは違いが一目瞭然のキリスト教式の墓は、容認されなくなりました。19世紀初期、長崎代官高木作右衛門は、坂本地区にある「変わった形のお墓」のことを耳にし、その調査を命じました。しかし、この墓碑がキリスト教に関係するという確たる証拠は得られず、墓碑はそのまま残されました。

日本のキリシタン墓碑について

日本におけるキリシタン初期につくられたキリシタン墓碑として確認されている192基のうち、146基が長崎県にあり、その全てが17世紀初期のもので、1581年につくられた日本で最も古いキリシタン墓碑は、大阪市に近い四條畷市にあります。

長崎地域のキリシタン墓碑は、当時のヨーロッパの墓のデザインを反映し、平板型・切妻型・半円柱型・角柱型のいずれかに整形した石を平置きにしたものがほとんどです。仏教の墓碑には漢数字文字からなる故人の死後の名前（戒名）が刻まれるのに対し、キリシタン墓碑には、多くの場合、西洋式の洗礼名が記されます。花十字（クローバー十字）や横棒が二本形（総主教十字）、イエス・キリストの名前の略語である「IHS」という3文字で飾られていることもあります。石の墓標は高級品だったため、墓碑で弔われているのは金銭と権力に恵まれた人々だったと考えて良いでしょう。キリスト教が禁止された後、このような平置きのお墓の中には、ひっくり返されて仏教の墓碑にされたり、くり抜かれて手を洗うための手水鉢にされたり、石垣に組み込まれたり、地中に埋められたものもありました。長崎のキリシタン墓碑は、ほとんどが当初置かれた場所には残っていないものの、もとの設置場所の付近で見られることがよくあります。

長崎のキリシタン墓碑の多くは長崎県指定史跡です。須崎キリシタン墓碑群、砂原キリシタン墓碑群、白浜キリシタン墓碑、吉川キリシタン墓碑群、谷川「流しや（Rushiya）」キリシタン墓碑、西正寺キリシタン墓碑群、里坊キリシタン墓碑群、小川キリシタン墓碑、有家キリシタン史跡公園墓碑群、中須川キリシタン墓碑群、宮の本キリシタン墓碑群が挙げられます。

【タイトル】 出島和蘭（オランダ）商館跡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**出島和蘭（荷兰）商館遗址**

1614年，基督教传教士的驱逐令颁布后，幕府本身也陷入了两难境地，既希望继续保持与葡萄牙的商贸往来，又想要确保没有神父或宗教物品混进来流入民间“腐蚀”大众。“出岛”，便是他们的解决方案。这是一座人造岛，于1634年到1636年间建成。原计划是：把葡萄牙商人集中在岛上，与普通民众隔绝；同时在岛上完成所有抵岸船只人员与货物的盘查审核工作。

然而，就在出岛建成之后的第二年（1637年），岛原之乱爆发，情势脱离了掌控。尽管基督教只是起义的导火索之一，但幕府选择将叛乱的原因完全归结为宗教问题。于是，自1639年起，葡萄牙船只在日本彻底遭到封禁，出岛遂成空岛。这给长崎的商人带来了双重打击，因为他们不但在商业上依赖葡萄牙的物资供应，此前还出资在出岛上建造房舍，准备供给外国商人使用。于是，他们游说官方将原本设在平户岛的和蘭商館（即荷兰商会）迁至出岛，并于1641年获得幕府许可。日本官方之所以能够接受荷兰人，是觉得他们更加务实。较之宗教信仰，荷兰官方更重视商业贸易的发展。就这样，直至江户时代(1603-1868)结束以前，出岛便成为了西方物资与文化知识进入日本的唯一渠道。

如今，出島和蘭（荷兰）商館遗址已被指定为国家史迹。

一分为二的岛屿

出島大略可分为东、西两个部分。

西半岛上的建筑可追溯至江户时代。其中特别值得注意的是“一番船船头部屋”（荷兰商船船长和商会职员居所）和“甲比丹部屋”（商会会长的事务所兼会所），两者均装有“玻璃障子”（玻璃窗），内部为和洋结合的式样——日式榻榻米地板，搭配那个时代的荷兰家具。出島西端的海门从前直面大海，历经多次土地改造工程后，如今面对的是一条公路。当年，货物进、出口各仅有一个关口可通行，以便于轻松查出十字架、徽章等基督教违禁品。

东半岛上的建筑出自明治时代(1868-1912)。“旧出島神学校”创建于1878年，时值基督教禁教令解除5年之后，它也是日本现存最古老的新教神学院。“旧长崎内外俱乐部”的历

史可追溯至 1903 年，是模仿英国绅士俱乐部而创立的机构，旨在为日本人和西方人提供社交机会。俱乐部原址位于大浦，后来才搬迁到这里。

出岛的许多建筑中都设有展览，有的向来访者展示这座岛屿全盛时期日本进口产品（砂糖）与出口物资（银，以及后来的铜和瓷器）的相关情况，有的展出当时荷兰人的日常用品。

<繁体字>

出島和蘭（荷蘭）商館遺址

1614 年，基督教傳教士的驅逐令頒布後，幕府本身也陷入了兩難境地，既希望繼續保持與葡萄牙的商貿往來，又想要確保沒有神父或宗教物品混進來流入民間腐蝕大眾。「出島」便是他們的解決方案。這是一座人造島，於 1634 年到 1636 年間建成。原計劃是：把葡萄牙商人集中在島上，與普通民眾隔絕；在這裡仔細盤查抵岸船隻的人員與貨物。

然而，就在出島建成之後的第二年（1637 年），島原之亂爆發，令情勢脫離了軌道。儘管基督教只是起義的導火線之一，但幕府選擇將宗教問題視為叛亂的唯一原因。於是，自 1639 年起葡萄牙船隻在日本徹底遭到封禁，出島成了無人島。這為長崎的商人帶來了雙重打擊，因為他們不但在商業上依賴葡萄牙的物資供應，在此之前還出資在出島上建造房舍準備供給外國商人使用。他們遊說官方將原本設在平戶島的和蘭商館（即荷蘭商會）遷至出島，並於 1641 年獲得幕府許可。日本官方之所以能夠接受荷蘭人，是覺得他們更加務實。比起宣揚宗教信仰，荷蘭官方更重視商業貿易的發展。就這樣，直至江戶時代（1603-1868）結束以前，出島都是西方物資與文化知識進入日本的唯一管道。

如今，出島和蘭（荷蘭）商館遺址已被指定為國家史跡。

一分为二的島嶼

出島大略可分為東、西兩個部分。

西半島上的建築可追溯至江戶時代。其中特別值得注意的是「一番船船頭部屋」（荷蘭商船船長和商會職員的居所）和「甲比丹部屋」（商會會長的事務所兼會所），兩者均裝有「玻璃障子」（玻璃窗），內部亦是和洋結合的風格——日式榻榻米地板，搭配著那個時代的荷蘭傢俱。出島西端的海門從前直面大海，歷經多次土地改造工程後，如今面對一條公路。當年，進口貨物走一個口入關，出口貨物走另一個口出關，這樣就能輕鬆查出十字架、徽章等基督教違禁品。

東半島上的建築出自明治時代（1868-1912）。「舊出島神學校」創建於 1878 年，時值基督教禁教令解除 5 年之後，它是日本現存最古老的新教神學院。「舊長崎內外俱樂部」

的歴史可追溯至 1903 年，是模仿英國紳士俱樂部創立的機構，旨在為日本人和西方人提供社交機會。俱樂部原址位於大浦，後來才搬遷到這裡。

出島の許多建築中都設有展覽，或向參觀者展示這座島嶼全盛時期日本進口產品（砂糖）與出口物資（銀，以及後來的銅和瓷器）的相關情況，或展出當時荷蘭人的日常用品。

<日本語仮訳>

出島和蘭（オランダ）商館跡

1614 年にキリスト教宣教師の追放令を出した後、幕府はジレンマを抱えていました。ポルトガルとの貿易は継続したいと考える一方で、民衆を墮落させる神父やキリスト教に関する物が密かに持ち込まれることは防ぎたかったからです。1634 年から 1636 にかけて築かれた人工の島「出島」は、この問題に対する幕府の解決策でした。この島は、ポルトガル商人を民衆から隔離して一カ所に集めるとともに、到着した船の乗組員と積荷を入念に調べることができる場所でした。

出島が完成した翌年の 1637 年に勃発した「島原の乱」により、事態は思わぬ方向へと動きました。キリスト教は島原の乱の原因のひとつに過ぎなかったものの、幕府はこの反乱の動機を完全に宗教的なものと見なしました。そのため、1639 年、ポルトガル船は日本への入港を全面的に禁止され、出島はもぬけの殻となりました。これは長崎の商人にとって二重の痛手でした。長崎の商人たちは、ポルトガル人との貿易に頼って商売をしていただけでなく、出島の外国人商人のための住宅建設に出資していたのです。彼らはオランダ商館を平戸島から出島に移すように働きかけ、幕府は 1641 年にこれに応じました。幕府がオランダ人を認めたのは、オランダ人は実利的なので宗教よりも貿易を優先することをいとわないだろうと考えたためです。その後、江戸時代（1603-1868）の終わりまで、出島は西洋の品物と知識を入手する唯一の窓口となりました。

出島和蘭商館跡は国指定史跡です。

半々に分かれた島

出島は大きく二地域に分けられます。

西側の半分には江戸時代の建物があります。中でも注目すべきは、「一番船船頭部屋」（オランダ船船長や商館員の居宅）と「カピタン部屋（商館長の事務所兼居宅）」です。これらには「ガラスの障子」という窓がついており、畳の上に当時のオランダの家具が置かれた和洋折衷の内装が施されています。出島の西端にある海門は、かつては直接海に面していましたが、埋め立て工事が行われたため、現在は道路に面しています。輸入品の窓口も輸出品の窓口もそれぞれひとつだけだったので、十字架やメダイなどのキリシタン関連の禁制品の調査を容易に行うことができました。

島の東半分には、明治時代（1868-1912）の建物が並んでいます。「旧出島神学校」は、キリスト教が解禁された 5 年後の 1878 年に建てられました。「旧出島神学校」は日本に残る最古のプロテスタントのキリスト教神学校です。1903 年に設立された「旧長崎内外クラブ」は、イギリスの紳士クラブをモデルにした団体で、日本人と西洋人が交流する機会を提供することを目的としていました。旧長崎内外クラブは大浦から出島に移されました。

出島の様々な建物内に、最盛期の出島で取引された日本の輸入品（砂糖）と輸出品（銀、後に銅や磁器）や、オランダ人が使っていた日用品に関する展示があります。

011-036

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 サント・ドミンゴ教会跡資料館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

圣多明我教会遗址资料馆

圣多明我教会遗址资料馆位于一所外观气派的日式小学地下，入口面对一条通往长崎历史文化博物馆的小路，很不起眼。遗址虽然相对隐蔽难找，但其考古价值会让人觉得不枉此行。

多明我会传教士当年自菲律宾的马尼拉来到日本，1602年，在九州西部的下甕岛建起了他们的第一座教堂。1606年，传教士拆除原教堂，搬到了九州的川内。1609年再次拆除搬迁，将教堂建在了长崎，也就是如今的遗址资料馆所在地。教堂为石头筑基的木结构建筑，是这座城市里最晚建成的基督教堂之一。1614年，日本政府颁布基督教禁令，同时下令拆毁所有教堂，这座以多明我会创始人之名命名的圣多明我教堂因此只存在了短短5年时间。

20世纪90年代晚期，这所小学重建时发现了教堂遗迹。为配合校舍下方资料馆的修建，学校修改了设计方案。遗址现场设有架空通道，从上面首先看到的是教堂地基，之后是一条伊比利亚风格的石板通道，道路右侧设有排水渠，这些都属于17世纪早期的建筑风格。

17世纪，历任四代长崎代官（地方政府长官）的末次家在教堂原址上建造宅邸；之后，在18世纪晚期至19世纪晚期期间担任本地地方长官的高木家族，同样选择这里建造了私宅。通道右侧的水井即可追溯至高木家宅邸建成时期。

通道尽头是一个小小的展览区。出土物品中特别值得留意的是教堂屋瓦，瓦面上饰有花形十字架（鸢尾花十字架）。其他出自圣多明我教堂时期的展品还包括基督教像章、十字架、指环和玫瑰串珠等。

1663年，长崎经历了一场严重的火灾，因此展品中也包括了烧焦的盘子等器皿和经火后变成赤土色的灰色瓦片。此外，发掘过程中还出土了中国的茶杯、茶壶，荷兰的锡罐、玻璃制品、盘子等多种日用品。

<繁体字>

聖多明我教會遺址資料館

聖多明我教會遺址資料館位於一所外觀氣派的典型日式小學地下，有點不起眼的入口開在一條通往長崎歷史文化博物館的小路上。遺址地點隱蔽難找，但其考古價值非凡。

多明我會修士當年自菲律賓的馬尼拉來到日本，1602年在九州西部的下甌島建起了他們的第一座教堂。1606年，他們拆除原教堂，搬遷到了九州的川內。1609年，又再度拆除搬遷，建在了長崎，也就是如今遺址資料館的所在地。教堂為建在石頭基礎上的木結構建築，是這座城市裡最晚建成的教堂之一。1614年，日本政府頒布基督教禁教令，同時下令拆毀所有教堂，所以這座以多明我會創始人之名命名的聖多明我教堂，只存在了短短5年。

1990年代晚期，在重建這所小學時發現了教堂遺跡。為配合校舍下方資料館的修建，學校修改了設計方案。遺址現場設有架空的通道，走在上面首先看到的就是教堂地基，之後是一條伊比利亞風格的石板通道，道路右側設有排水渠，它們都屬於17世紀早期的建築風格。

17世紀，教堂原址上建起了宅邸，成為歷任四代長崎代官（地方政府長官）末次家的居所。18世紀晚期至19世紀晚期，擔任當地地方長官高木家又在此處建造了私宅。通道右側的水井，可追溯至高木家宅邸建成時期。

通道盡頭是一個小小的展覽區，出土物品中特別值得注意的是教堂屋瓦，瓦面上飾有花形十字架（鳶尾花十字架）。其他出自聖多明我教堂時期的展品還包括基督教像章、十字架、指環和玫瑰串珠等。

1663年，長崎經歷了一場嚴重的火災，因此展品中也包括了燒焦的盤子等器皿和經火後變成赤土色的灰色瓦片。此外，發掘過程中還出土了中國的茶杯、茶壺，荷蘭的錫罐、玻璃製品、盤子等許多日用品。

<日本語仮訳>

サント・ドミンゴ教会跡資料館

この資料館は、和風の立派な外観をした小学校の地下にあり、中に入るには、長崎歴史文化博物館へと続く脇道にある目立たない出入口を通ります。少し分かりにくいところがありますが、考古学的に興味深い遺構が見られます。

ドミニコ会の宣教師たちはフィリピンのマニラから日本にやってきました。彼らは1602年に九州の西に位置する下甌島に最初のドミニコ会の教会を建てました。その後、1606年にその教会を解体して九州本土の川内に移築しました。1609年、彼らは再び教会を解体し、今度はここ長崎に移築しました。石の基礎の上に木材でつくられたこの教会は、最後に長崎に建てられた教会のひとつでした。1614年のキリスト教禁教令によってすべての教会の取り壊しが命じられたため、ドミニコ会の創始者の名前にちなんでサント・ドミンゴと名づけられたこの教会はわずか5年間で役目を終えました。

サント・ドミンゴ教会の遺構は、1990年代後半、小学校の建て替えの際に発見されました。校舍はこの資料館を下部に収容するよう設計されています。館内に巡らされた高架通路から最初に見える

のは、教会の地下室の基礎です。その先には、右側に排水溝がついたイベリア風の石置があります。どちらも 17 世紀初期につくられたものです。

17 世紀、教会の跡地には 4 代にわたって長崎の代官を務めた末次家の屋敷がありました。その後、18 世紀後半から 19 世紀後半にかけて代官を務めた高木家の屋敷がこの場所に建てられました。通路の右側にある井戸は、高木家がここに住んでいた時代のものでした。

通路の最後には小さな展示エリアがあります。特筆すべきは、花十字（クローバー十字）で飾られた教会の屋根瓦です。他のサント・ドミンゴ教会時代の遺物には、メダイ、十字架、指輪、ロザリオなどがあります。

長崎は 1663 年に大火災に見舞われました。展示品の中にはその火災で焼け焦げた皿や、熱で土色が灰色に変色した瓦なども含まれています。発掘調査では、中国の茶碗や急須、オランダのジンの瓶、グラス、皿などの日用品も出土しました。

【タイトル】 浦上天主堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**浦上天主堂**

浦上天主堂有一段悲惨的历史。在 18 世纪晚期至 19 世纪晚期的一系列大规模宗教镇压行动中，浦上地区的大量吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）遭到了迫害。1865 年，一位浦上地区的女子来到长崎的大浦天主堂，向伯纳德·帕蒂让神父(Father Bernard Petitjean, 1829-1884)说出了日本潜伏吉利支丹的存在。结果弄巧成拙，帕蒂让和他在巴黎外国传教团的同伴们对潜伏吉利支丹的传教活动却引发了浦上地区的第四次，也是最后一次镇压行动，称“浦上四番崩”(1867-1873)。在这次宗教镇压中，总计超过 3000 名浦上吉利支丹被流放到日本各地。

1873 年，基督教禁教令解除，有幸平安返乡的浦上吉利支丹希望建造一座教堂，用于祈祷礼拜。最初，他们只能设置了一个临时的教堂，直到 1895 年，一座真正的、带有石头装饰的罗马式红砖教堂才在皮埃尔—西奥多·弗雷诺神父(Father Pierre-Théodore Fraineau)的指挥下动工兴建。但由于资金短缺，这座天主教堂历时足足 20 年才最终建成，落成时间是 1914 年，弗雷诺神父已经过世 3 年了。教堂的两座钟楼则是又过了 11 年后才建好。最终，浦上天主堂成为了当时亚洲最大的教堂之一。奉献给无原罪圣母的浦上天主堂，也是长崎大司教区的主教座堂。

教堂特意选择了建在村长家宅邸的原址上，因为此前的 250 年间，村长家一直要求本地吉利支丹参与“踏绘”仪式，逼迫他们践踏基督和圣母的画像。不幸的是，教堂所在地距离 1945 年 8 月 9 日被投放到长崎的那颗原子弹的爆炸中心只有几百米，北塔的钟楼被炸飞，如今还能在教堂左边的一条小溪上找到它。教堂原本有两口钟，其中一口在爆炸中幸存下来，至今仍在使用的。

1946 年，损毁的教堂被一座木结构建筑替代。如今的钢筋水泥建筑则是建成于 1959 年。1980 年，为迎接教皇若望·保禄二世的到来，教堂铺设了砖瓦。次年，教皇来到这里，主持了一场弥撒。这座天主堂共可容纳 1000 人入内礼拜。

钟塔残骸并不是原子弹爆炸留下的唯一痕迹，这里还有一座头部曾遭焚烧的圣母玛利亚木像。原件保留在教堂前方一角的小圣堂里，不对游客开放，来访者可以在教堂后面看到复制品。在通往教堂的小路左侧，排列着一组在爆炸中被烧毁或损坏的原教堂雕像。道路另一侧是教堂大厅，在原子弹爆炸中受损的宗教物品陈列于此。

庭園里，正對教堂放着一塊自山口縣萩市移來的“拷問石”。萩市是“浦上四番崩”鎮壓行動中浦上吉利支丹的流放地之一，他們被迫蹲在這塊石頭上經受日晒風吹雨淋，直到死去，或放棄信仰。

<繁體字>

浦上天主堂

浦上天主堂有一段悲慘的歷史，在 18 世紀晚期至 19 世紀晚期的一系列宗教鎮壓行動中，浦上地區的大量吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）遭到迫害。1865 年，一位浦上地區的女子來到長崎的大浦天主堂，向伯納德·帕蒂讓神父（Father Bernard Petitjean, 1829-1884）說出了日本潛伏吉利支丹的存在。結果弄巧成拙，之後帕蒂讓和他在巴黎外國傳教團的同伴們對潛伏吉利支丹的傳教，卻引發了浦上地區第四次也是最後一次鎮壓行動，稱「浦上四番崩」（1867-1873）。在這次宗教鎮壓中，總計超過 3000 名浦上吉利支丹被流放到日本各地。

1873 年，基督教禁教令被解除，有幸平安返鄉的浦上吉利支丹希望建造一座教堂，用於祈禱禮拜。最初，他們只能設立一座臨時教堂，直到 1895 年，一座帶有石頭裝飾的羅馬式紅磚教堂在皮埃爾—西奧多·弗雷諾神父（Father Pierre-Théodore Fraineau）的指揮下動工興建。受制於資金短缺，教徒們足足花了 20 年時間、於 1914 年終於建成這座天主教堂，但此時弗雷諾神父已經過世 3 年。教堂的兩座鐘樓則又是在 11 年後才建好。最終，浦上天主堂成為了當時亞洲最大的教堂之一。奉獻給無原罪聖母的浦上天主堂，也是長崎大司教區的主教座堂。

教堂特意選擇建在村長家宅邸的原址上，這是因為過去的 250 年間，村長家一直要求本地吉利支丹參與「踏繪」儀式，逼迫他們踐踏基督和聖母的畫像。不幸的是教堂所在地距離 1945 年 8 月 9 日被投放到長崎的那顆原子彈的爆炸中心只有幾百公尺，北塔的鐘樓被炸飛，如今還能在教堂左邊的一條小溪上找到殘骸。教堂原本有兩口鐘，其中一口在爆炸中倖存下來，至今仍在使用的。

1946 年，損毀的教堂被一座木結構建築替代，如今的鋼筋水泥建築於 1959 年建成。1980 年，為迎接教皇若望保祿二世的到來，教堂鋪設了磚瓦。次年，教皇在這裡主持了彌撒。這座天主堂共可容納 1000 人入內禮拜。

鐘塔殘骸並不是原子彈爆炸留下的唯一痕跡，這裡還有一座頭部被燒毀的聖母瑪利亞木像。原件保留在教堂前方一角的小聖堂裡，不對遊客開放，訪客可以在教堂後面看到複製品。通往教堂的道路左側，安放一組在爆炸中燃燒損毀的原教堂聖像。道路另一側是教堂大廳，裡面陳列著在原子彈爆炸中受損的宗教物品。

庭園裡正對教堂放著一塊自山口縣萩市移來的「拷問石」。萩市是「浦上四番崩」鎮壓行動中浦上吉利支丹的流放地之一，他們被迫蹲在這塊石頭上禁受風吹日曬雨淋，直到死去或放棄信仰。

<日本語仮訳>

浦上天主堂

浦上天主堂には悲劇的な歴史があります。多くのキリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）がいた浦上地域では、18世紀後半から19世紀後半にかけて繰り返し大規模な摘発が行われ、キリシタンたちを苦しめました。1865年、浦上からやってきた女性が、長崎の大浦天主堂でベルナルド・プティジャン（1829-1884）神父に日本の潜伏キリシタンの存在を明かしました。これを受けてプティジャン神父とパリ外国宣教会の仲間たちが行った宣教活動は、皮肉なことに、3,000人以上の浦上キリシタンが日本各地に流刑にされた最後の弾圧「浦上四番崩れ」（1867-1873）の引き金となりました。

1873年にキリスト教が解禁されると、無事に帰郷した浦上キリシタンたちは礼拝を行える教会を求めました。当初は仮の教会を設けていましたが、1895年、ピエール・テオドール・フレノー神父の指揮のもと、石の装飾が施された赤煉瓦造りのロマネスク様式の教会の建設が始められました。資金不足に悩まされ、信徒たちはこの天主堂を建てるのに20年間を費やしました。天主堂はフレノー神父が亡くなってから3年後の1914年ようやく献堂されましたが、2つの鐘楼が完成するまでには、さらに11年の歳月がかかりました。完成当時、浦上天主堂はアジアでも最大級の教会のひとつでした。無原罪の聖母に捧げられた教会である浦上天主堂は、カトリック長崎大司教区の司教座聖堂です。

この天主堂の建設地には、250年間にわたって踏絵で地域のキリシタンたちにキリストと聖母マリアの絵板を踏むことを強制した庄屋の屋敷跡があえて選ばれました。悲しいことに、この場所は1945年8月9日に長崎に投下された史上二発目の原子爆弾の爆心地から数百メートルしか離れていませんでした。北塔の鐘楼は爆発で吹き飛ばされ、教会の左手にある小さな川の上に横たわっているのが見えます。もともとあった2つの鐘のうち1つは爆発を耐え抜き、現在でも使われています。

破壊された天主堂は1946年に木造に建て直されました。現在の鉄筋コンクリート造の建物は1959年に完成しました。1981年にここでミサを行った教皇ヨハネ・パウロ2世の訪問を控えて1980年に外観がレンガタイルで覆われました。浦上天主堂は1,000人の礼拝者を収容できます。

原爆の痕跡は鐘楼の残骸だけではありません。頭部が焼け焦げた聖母マリアの木像もそのひとつです。実物は教会の手前の一角にある小聖堂に保管されており、観光客はここには立ち入ることができませんが、教会の奥に置かれているレプリカを見ることができます。教会へと続く道の左側にある原爆で燃えて損壊した像の数々はもとの天主堂に置かれていたものです。その反対側には教会のホールがあり、被曝した信仰具が展示されています。

教会に面した庭園には山口県の萩で使われた「拷問石」と呼ばれるものがあります。萩は浦上四番崩れの際に浦上キリシタンが流された土地のひとつでした。キリシタンたちはこの石の上に正座させられ、命を失うか棄教するまで野ざらしにされました。

011-038

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 次兵衛岩洞窟

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

次兵衛岩洞窟

次兵衛，全名“金鍔次兵衛”（“金鍔”即金色的刀剑护手），教名“托马斯·德·圣奥古斯丁”(Tomás de San Agustin, 1600-1637)。幕府于 1614 年颁布禁教令，全面禁止基督教，身为神父的次兵衛先是被迫逃往菲律宾，之后又设法潜回日本（具体时间不详），重新开始宣教。这个偏僻的洞窟被认为是他当年躲避当局的藏身地之一。1637 年，次兵衛在长崎附近被捕并殉难。据传，当时他就在长崎奉行所（政府办公机构）的马厩里工作，大胆隐藏在当局的眼皮底下。教皇本笃十六世曾在 2008 年为 188 名日本殉道者举行宣福礼，册封“新真福”，次兵衛就是其中的一位。

洞窟距最近的停车场约 40 分钟步程。道路随着一条小溪穿山谷而过，沿途草木葱茏，是一段空气清新、有益强身健体的巡礼之路。建议到访者跟随向导同行，以免迷路。

<繁体字>

次兵衛岩洞窟

次兵衛，全名「金鍔次兵衛」（金鍔意為金色的刀劍護手），教名「湯瑪斯·德·聖奧古斯丁」（Tomás de San Agustin, 1600-1637）。1614 年，幕府頒布禁教令，全面禁止基督教，當時身為教父的次兵衛先逃往菲律賓，後來又設法潛回日本（具體時間不詳），重新開始宣教。這處偏僻的洞窟被認為是他躲避幕府的藏身地之一。1637 年，次兵衛在長崎附近被捕並殉難。據傳，當時他就在長崎奉行所（政府辦公機構）的馬廄裡工作，大膽藏身在敵人的眼皮之下。教皇本篤十六世曾在 2008 年為 188 名日本殉道者舉行宣福禮，次兵衛就是那時被冊封為新真福的一位。

洞窟距最近的停車場步行約 40 分鐘，道路隨著一條小溪穿山谷而過，沿途草木蔥蘢，是一條空氣清新、有益健康的巡禮之路，建議到訪客跟隨嚮導同行，以免迷路。

<日本語仮訳>

次兵衛岩洞窟

「金鍔（金色の刀の鍔）次兵衛」（1600-1637）、または洗礼名である「トマス・デ・サン・アウグスチノ」として知られる次兵衛という人物は、幕府が全国にキリスト教を禁ずる禁教令を発布した1614年、日本人司祭として活動していました。次兵衛は禁教令が出された当初フィリピンに逃れましたが、その後（正確な時期は不明）どうにか日本に帰国し、密かに宣教を続けました。この人里離れた洞窟は、次兵衛が当局から隠れるのに使った場所のひとつとされています。1637年、次兵衛は長崎の近くで捕らえられ殉教しました。伝えられるところによると、次兵衛は当時長崎奉行所の馬小屋で働いていたそうです。なんと大胆なことでしょう！彼は2008年にローマ教皇ベネディクト16世によって列福された188人の日本人殉教者の1人でした。

この洞窟は最寄りの駐車場から徒歩40分のところにあります。緑豊かな谷の底を流れる小川に沿って次兵衛岩洞窟へと向かう道中、健康的な運動と新鮮な空気を楽しめます。迷う可能性があるため、ここを訪れる際はガイドと一緒にいくことをおすすめします。

011-039

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 バスチャンの小屋

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

巴斯蒂安小屋

巴斯蒂安是一名 17 世纪的日本传道士，他以两桩事迹闻名。其一，他在 1634 年结合日本旧历编撰出了一套教会历，供潜伏吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）作为典礼历使用。其二，他曾提出 4 项预言，并且最终全部成真，其中一条就是：禁教令将在七代（约合 230 年）以内解除。

后世对巴斯蒂安的生平所知甚少，通常认为他出生于长崎半岛中部的布卷町一带，后来为躲避搜捕，不断改换住地，大半生都在藏匿中度过。这座覆盖着单层木板屋顶的简陋石屋，是在巴斯蒂安曾经藏身的小屋原址上重建的。

电影导演马丁·斯科塞斯(Martin Scorsese)在为他的电影《沉默》筹备调研时，曾造访外海地区，这座小屋给他留下了深刻的印象，以至于他后来在电影中也设计了一个类似的场景。电影中的小屋被设计为外海（电影里称作“Tomogi”）地区宗教领袖的居所。电影于 2016 年上映，原著是日本作家远藤周作的同名小说，它被誉为战后日本文学的金字塔。

<繁体字>

巴斯蒂安小屋

巴斯蒂安是一名 17 世紀的日本福音傳道士，他以兩樁事蹟聞名。其一，他在 1634 年結合日本舊曆編撰出一套教會曆，供潛伏吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）作為典禮曆使用。其二，他曾提出了 4 則預言，包括禁教令將在七代（約合 230 年）以內解除這條，所有預言全部成真。

後世對巴斯蒂安的生平所知甚少，通常認為他出生於長崎半島中部的布卷町一帶，為了躲避搜捕，不斷改換住地，大半生都在藏匿中度过。這座覆蓋著單層木板屋頂的簡陋石屋，是在巴斯蒂安曾經藏身的小屋原址上重建的。

電影導演馬丁·史柯西斯（Martin Scorsese）在為他的電影《沉默》籌備調研時，曾造訪外海地區，這座小屋給他留下了深刻的印象，以至於他後來在電影中也設計了一個類似的場景。電影中的小屋被設計為外海（電影裡稱作「Tomogi」）地區宗教領袖的居所。電

影於 2016 年上映，原著是日本作家遠藤周作的同名小説，該小説被譽為戰後日本文學的金字塔。

<日本語仮訳>

バスチャンの小屋

バスチャンは 17 世紀の日本人伝道者で、2 つのことで有名です。1634 年、彼は日本の旧曆に合わせた教会曆を編纂しました。この教会曆は潜伏キリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）たちが使った典礼曆となりました。また、彼は 7 世代後（約 230 年後）にキリスト教が解禁されることを示唆する 4 つの予言を残しました。そして、これらの予言は事実となりました。

バスチャンの生涯についてはほとんど何も知られていません。彼は長崎半島の真ん中あたりに位置する布巻町で生まれ、人生の大半を捕まらないように場所を転々としながら潜伏して過ごしたと考えられています。こけら葺きの屋根のこの素朴な石造りの建物は、かつてバスチャンが身を潜めていた小屋の跡地に復元されたものです。

映画監督のマーティン・スコセッシは、2016 年に公開された映画『沈黙』の取材のために外海地域を訪れた際、この小屋に非常に感銘を受け、撮影のためにこれによく似た建物を建てさせました。その建物は、外海（映画ではトモギ村とされる）集落のキリシタンたちのリーダーの家として使われました。原作は日本文学の金字塔と讃えられている遠藤周作の同名小説です。

011-040

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 枯松神社

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

枯松神社

这个地区在明治时代(1868-1912)成为了吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）潜伏时期的圣地。但在许多年里，这里都只有一个被称为“祠”的微型石头神社。第一座正式的木头神社建于 1938 年。时值中日战争期间，被送上前线的男人们相信，出发前来到这座神社祈祷能够保佑他们在战场上免受伤害，而那些自战争中平安归来的人们也会来到这里，进奉清酒酒器还愿。如今的建筑建于 2003 年，完全保留了神社最初的风貌。

前往神社的上坡途中会经过一对平坦的巨石。较低处的岩石下方有一处空洞，传说是当年本地潜伏吉利支丹的活动场所，他们在这里修习、背诵祷文，还会安排岗哨以躲避搜捕。

这座神社最初是为标记圣胡安(San Juan)之墓而建。他是一名西班牙方济各会修士，死于饥寒交迫，后被本地人安葬于此。圣胡安因为是巴斯蒂安的导师而闻名。巴斯蒂安是日本本土的传教士，他编纂了日本教会日历，并预言了基督教迫害的结束时间。

如今的枯松神社内有两个微型石头神堂。位于中心的一个较大，可追溯至 1933 年；左侧的一个较小，出自明治时代。

这个地方最初被称为“圣胡安枯松神社”，“枯松”即干枯的松树，但当年生长在这里的松树如今都已经被换成了樟树。神社周围的平地一度被用作吉利支丹墓地，如今堆放得像台阶一样的扁平石块有可能就是当年的吉利支丹墓碑。

山下的小墓园建成于 1990 年，园内的一个家族墓甚至结合了三种宗教的元素：一侧是基督教墓碑，装饰着镀金十字架，刻有墓主人接受西式洗礼时获得的教名；中央是一座竖直安放的佛教墓碑，上面刻着亡者的法号；较远处还有一座球根形的小墓碑，是道家式样。

1999 年以来，神社在每年 11 月举办多宗教融合的“枯松神社祭”，本地天主教徒、原吉利支丹与佛教徒会聚一堂，共同祈祷亡者安息、先人安宁。该祭典不对公众开放。

<繁体字>

枯松神社

這片區域因明治時代（1868-1912）吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）潛伏時期的歷史而被奉為聖地，但在許多年裡，這裡只有一座被稱為「祠」的微型石頭神社。第一座常見的木頭神社建於 1938 年。時值中日戰爭期間，被送上前線的男人們相信，出發前來到這座神社祈禱能夠保佑他們在戰場上免受傷害，而那些從戰場上平安歸來的人們則會來到這裡，進奉清酒酒器還願。如今的建築建於 2003 年，完全保留了這座神社最初的風貌。

前往神社的上坡途中會經過一對平坦的巨石，較低處的岩石下方有一處空洞，傳說是當年當地潛伏吉利支丹的活動場所，他們在這裡修習背誦禱文，並安排哨崗以躲避偵察。

這座神社最初是為標記聖胡安（San Juan）之墓而建，他是一名西班牙方濟各會修士，死於饑寒交迫，後被當地人安葬在這裡。聖胡安因是巴斯蒂安的導師而聞名，巴斯蒂安是一位出生於日本的傳教士，編撰了日本教會曆並預言了基督教禁教情形的終結時間。

如今的枯松神社內有兩座微型石頭神堂，位於中心的一座較大，可追溯至 1933 年；左側的一座較小是出自明治時代。

這個地方最初被稱為「聖胡安枯松神社」，「枯松」就是乾枯的松樹，但曾經生長在這裡的松樹已經全都被換成了樟樹。神社周圍的平地一度被用作吉利支丹墓地，如今被堆積成台階的扁平石塊有可能就是當年的吉利支丹墓碑。

山下的小墓園建成於 1990 年，裡面有一個家族墓結合了三種宗教的元素。一側是基督教墓碑表面裝飾著鍍金十字架，刻有墓主人接受西式洗禮時獲得的教名；中央的豎直放置的佛教墓碑上，則刻著亡者的法號；較遠處還有一座球根形的小墓碑，是道家式樣。

1999 年以來，神社在每年 11 月舉辦多宗教融合的「枯松神社祭」，當地天主教徒、原吉利支丹與佛教徒全都聚一堂，共同祈禱亡者安息、先人安寧，該祭典不對大眾開放。

<日本語仮訳>

枯松神社

この地域は明治時代（1868-1912）に潜伏キリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）時代の聖地となりました。しかし、長年ここには小さな石造りの祠しかありませんでした。最初の正式な木造の社殿は日清戦争中の 1938 年に建てられました。戦地に送られる男たちは、この神社で祈願すれば戦災を免れると信じ、無事に帰還したものは感謝の気持ちを込めて酒器を奉納しました。建立当初と全く同じつくりの現在の社殿は 2003 年に建造されたものです。

神社に向かう上り坂の途中、二つの巨大な平たい岩のそばを通ります。低い方の岩の下には空間があります。伝承によると、この地域の潜伏キリシタンは、見つからないように見張り役を立てて、この岩陰でオラシオを覚え、練習していました。

枯松神社は、フランシスコ会のスペイン人修道士サン・ジワンの墓所を示すために建てられました。彼は寒さと飢えで命を失い、地域の人々によってこの場所に埋葬されました。サン・ジワンは、バスチャンという日本の教会暦を編纂し、キリスト教迫害の終焉を予言した日本人伝道者の師として有名です。

現在の社殿の内部には二つ小さな祠があります。中央にある比較的大きい方は 1933 年につくられたもので、その左にある小さい方は明治時代（1868–1912）のものです。

この場所はもともと「サン・ジワン枯松神社」と呼ばれていました。枯松は文字通り「枯れた松」を意味しますが、かつてここに生えていた松は全てクスノキに植え替えられています。神社周辺の平地一帯はかつてキリシタン墓地でした。現在階段のように積まれている平たい石は、もとは墓石だったものかもしれない。

丘の下には 1990 年につくられた小さな墓地があります。この墓地には三つの宗教の要素を組み合わせた家族墓があります。片側には金色の十字架と西洋風の洗礼名が刻まれたキリスト教式の墓石、中央には戒名が記された縦長の仏式の墓石、そして離れたところに小さな球根の形をした道教式の碑があります。

1999 年から、枯松神社は毎年 11 月に「枯松神社祭」を開催しています。この祭事では、地元のカトリック信者、旧キリシタン、仏教徒が一同に会し、宗派を越えてともに先祖の冥福を祈ります。この行事は一般公開されていません。

<簡体字>

德·罗兹神父大平作业场遗址

马克·德·罗兹神父(Father Marc de Rotz, 1840-1914)是一名法国贵族，出生于诺曼底，后经伯纳德·帕蒂让神父(Father Bernard Petitjean)招揽加入巴黎外国传教团。他于 1868 年来到日本，1879 年受命掌管外海教区。

德·罗兹神父致力于传播上帝福音的热情与他想要提高教区居民生活品质的热忱相得益彰。为了实现这个目标，他倾注了自己身为建筑设计师和商人的全部才华，乃至所有个人资产。外海地区地势陡峭多山，自然条件并不适合发展农业，因此，与当地其他地方一样，大平村十分贫困。自 1884 年到 1901 年期间，德·罗兹神父召集村民共同开垦山坡，修造梯田，尝试种植红薯、茶叶和小麦。村民们从此有了红茶和小麦意粉等面条可以出售给居住在长崎的外国人。

此处石头建筑是用来存放农具的仓库，设计者就是德·罗兹神父，这位富有才华的业余建筑设计师还设计了出津教堂和长崎的罗典神学校（“罗典”即“拉丁”）等多处建筑。仓库内墙格外厚重结实，以确保能够抵御来自海上的狂风。德·罗兹神父习惯骑马出门，由出津出发，巡查农作物情况。如今来访者还能在这座建筑的另一头找到他的拴马环。

圣母报喜会成立于 1975 年，由岩永マキ(Iwanaga Maki)在德·罗兹神父指导下创建的女性服务团体“十字会”演变而来。目前该组织正在计划重耕农田，同时准备将仓库翻修成作坊。

<繁体字>

德·羅茲神父大平作業場遺址

馬克·德·羅茲神父（Father Marc de Rotz, 1840-1914）是一名法國貴族，出生於諾曼第，後經伯納德·帕蒂讓神父（Father Bernard Petitjean）招攬加入巴黎外國傳教團。他於 1868 年來到日本，1879 年受命掌管外海教區。

德·羅茲神父對於傳播上帝福音的熱情與他想要提高教區居民生活品質的熱忱相得益彰。因此，他將自己身為建築設計師和商人的才華與個人財富全部投注到了這個目標上。由於地勢陡峭多山，外海地區的天然條件並不適合發展農業，大平村與當地其他地方同樣

貧困。從 1884 年到 1901 年的期間，德・羅茲神父召集村民共同開墾山坡，修建梯田，嘗試種植紅薯、茶葉和小麥。村民們因此有了紅茶和小麥粉意麵等麵條可以出售給居住在長崎的外國人。

這處石頭建築是存放農具的倉庫，設計者就是德・羅茲神父，這位富有才華的業餘建築設計師還設計了出津教堂和長崎的羅典神學校（「羅典」即「拉丁」）等多處建築。倉庫內牆格外厚重結實，確保能夠抵禦來自海上的狂風。德・羅茲神父習慣騎馬出門，由出津出發巡查農作物情況。如今來訪遊客還能在這座建築的另一頭找到他的拴馬環。

聖母報喜會成立於 1975 年，由岩永マキ（Iwanaga Maki）在德・羅茲神父指導下創建的女性服務團體「十字會」演變而來。如今，他們正在計劃重耕農田，還準備把倉庫修葺成作坊。

<日本語仮訳>

ド・ロ神父の大平作業場跡

フランス・ノルマンディの貴族の家に生まれたマルク・ド・ロ神父（1840-1914）は、ベルナール・ブティジャン神父の誘いに応じてパリ外国宣教会に入会しました。彼は 1868 年に来日し、1879 年に外海教区の主任司祭を任じられました。

ド・ロ神父は、神の言葉を広めることと同じくらい、教区の人々の生活の質を向上させることに情熱を傾け、建築家と起業家としての才能と私財をこの目標に捧げました。森に覆われた急峻な丘陵地であった外海地域の地形は農業に適しておらず、大平は近隣の集落と同じように貧しい集落でした。1884 年から 1901 年にかけて、ド・ロ神父は村人たちに丘を整地させ、サツマイモ、茶、小麦を栽培するための段々畑をつくらせました。集落の人々は、長崎の外国人居留地の住民に紅茶と小麦粉で作ったパスタなどの麺類を売りました。

主に石でつくられたこの建物は、主に農機具を保管する納屋として使われていました。この建物を設計したのはド・ロ神父です。才能豊かなアマチュア建築家でもあったド・ロ神父は、出津教会や長崎の羅典神学校（羅典はラテンのこと）などの設計も手掛けました。重厚な内壁により、この納屋は海から吹き込む猛烈な風にも耐える構造強度を持っています。ド・ロ神父はよく志津から馬に乗って農作物を見に行っていたとされ、建物の奥の方には神父の馬が繋がれていた綱の輪が残っています。

1975 年に設立されたお告げのマリア修道会の前身は、岩永マキがド・ロ神父の指導の下で創設した女性奉仕団体「十字会」でした。お告げのマリア修道会は、再びこの耕作地で農作物を作ることを計画しており、納屋は作業場として建て替えられる予定です。

011-042

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 野道共同墓地

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

野道公共墓地

这块梯田模样的墓地位于出津教堂的北面，基督教式样的扁平石板式墓碑是它的特色。巴黎外国传教团的马克·德·罗兹神父(Father Marc de Rotz, 1840-1914)长眠于此，这位法国神父自 1879 年起主持本地教区事务长达 35 年。

德·罗兹神父出身贵族家庭，个人可支配的财富也相当可观。他将私财直接用于造福贫穷的教区居民，包括创建了一所幼儿园、一个女性职业培训中心、一家面条加工厂和一座茶园。他对于提高人们生活水平的热情甚至惠及了身后事——他于 1889 年着手修建此处墓地，村民们免费出力共同建造。

由于山坡太陡，这片墓地足足花了 10 年才修造完成。德·罗兹本人于 1914 年被安葬在这里。他的坟墓原本位于较高的一层，为了方便人们造访才移到了下面。德·罗兹至今仍被视为本地英雄，甚至出现在了学校的教科书里。墓地内，早期的坟墓大都只是用简单的石堆作为标记，但近年来大多数都被替换成了平置式的石板墓碑。墓地最高层专供安葬孩童使用，修葺最少，最能够体现墓地当初的面貌。

<繁体字>

野道公共墓地

這塊梯田模樣的墓地位於出津教堂的北面，基督教式樣的扁平石板式墓碑是其特色。巴黎外國傳教團的馬克·德·羅茲神父（Father Marc de Rotz, 1840-1914）長眠於此，這位法國神父自 1879 年起主持此地教區事務總計長達 35 年。

德·羅茲神父出身貴族家庭，個人可支配的財富也相當可觀。他將個人資產直接用於造福貧窮教區的居民，包括創建了一所幼稚園、一個女性職業培訓中心、一家麵條加工廠和一座茶園。他對於提高人們生活水平的熱情甚至延伸到了身後事——他於 1889 年開始著手修建這處墓地，村民們免費提供了勞動力。

由於山坡地勢陡峭，這片墓地足足花了 10 年才修造完成，而德·羅茲本人也於 1914 年被安葬在於此。他的墳墓原本位於較高的一層，後來為了方便人們憑弔才移到了下方。德·羅茲至今仍被視為當地英雄，甚至還出現在學校的教科書上。墓地內早期的墓碑大都

只是用簡單的石堆來標記，直到近年大多數都被替換成了水平放置式的石板墓碑。墓地最高層以安葬孩童為主，由於該層墓地較少修葺，因此保留墓地當初的面貌。

<日本語仮訳>

野道共同墓地

出津教会のすぐ北に位置するこの段状の墓地には、キリスト教式の平板型の墓石があります。ここには、1879 年から 35 年間にわたってこの地域の主任司祭を務めたパリ外国宣教会のフランス人司教マルコ・ド・ロ神父（1840–1914）が埋葬されています。

ド・ロ神父は貴族の家に生まれ、自由に使える財産に恵まれていました。彼は、貧しい自分の教区民のために、私財を投じて幼稚園、女性の職業訓練所、パスタ工場、茶畑などを造設しました。人々の状況を改善しようとする神父の熱意は人が亡くなった後にまで及びました。1889 年、ド・ロ神父はこの墓地の建設に着手し、集落の人々は無償で労働力を提供しました。

急勾配の丘の斜面という立地のため、この墓地の完成には丸 10 年を要しました。ド・ロ神父自身は 1914 年にここに埋葬されました。神父のお墓はもともとここより高いところにあったのですが、後によりお参りしやすいよう下に移されました。ド・ロ神父は今でもこの地域の英雄で、学校の教科書でも取りあげられるほどです。元は簡素な石塚であったこの場所のお墓の多くは、近年平板型の墓石に取り替えられています。子どもたちが埋葬されている墓地の一番高い部分は、ほとんど手つかずの状態が残っているため、墓地の元の様子が最もよく分かります。

【タイトル】馬込教会

【想定媒体】WEB

<簡体字>**马込教堂**

马込（同“迂”）教堂位于长崎湾外的伊王岛上，是国家登录有形文化财产。在基督教被禁的两个半世纪里，许多吉利支丹（自16世纪至明治时代日本的基督教徒）都搬来这座岛上居住，因为这里归属于佐贺藩管辖，而佐贺藩的官员并不像周边其他藩那样热衷于宗教迫害。但在1865年“潜伏吉利支丹发现”事件之后，长崎的法国传教士与潜伏吉利支丹团体重建联系，由此引发了新一波镇压浪潮，佐贺藩也没能置身事外。此次镇压始于1867年，一直持续到1873年明治政府最终解除基督教禁教令才告终结。

宗教信仰一旦得到许可，岛上的吉利支丹居民便立刻决定要修建一座教堂。最初他们可能只是对当地吉利支丹领袖的宅邸进行了改造。之后，来自巴黎外国传教团的法国神父约瑟夫·马尔芒(Joseph Marmand)于1890年在本地建起了一座真正的教堂。只是这处建筑在1927年雷击和1930年台风的接连攻击下被毁。如今这座拥有5个尖顶和白色灰泥墙面的哥特式建筑于1931年建成。自1923年关东大地震之后，日本全国的公共设施建筑都开始采用钢筋混凝土结构，逐渐放弃了较为脆弱的砖石结构。这项改变为建筑设计师们提供了更多的自由表达空间。作为建筑材料，钢筋混凝土的功能性更为丰富，再加上基督教徒也不再需要顾忌外在压力而刻意保持低调，因此，就像这座马込教堂一样，教堂建筑得以展现出更加丰富多彩的面貌。

<繁体字>**馬込教堂**

馬込（同「迂」）教堂位於長崎灣外的伊王島上，是國家登錄有形文化財產。在基督教被禁的兩個半世紀裡，許多吉利支丹（自16世紀至明治時代日本的基督教徒）都移居到這座島上，因為這裡隸屬於佐賀藩管轄，而佐賀藩的官員並不像周邊其他藩一樣熱衷於宗教迫害。但在1865年「潛伏吉利支丹發現」事件之後，長崎的法國傳教士與潛伏吉利支丹團體重建聯繫，因此引發了新一波鎮壓浪潮，佐賀藩也沒能置身事外。這一輪鎮壓始於1867年，一直持續到1873年明治政府最終解除基督教禁教令才告終結。

一旦明治政府許可他們的宗教信仰，島上的吉利支丹居民便決定要修建一座教堂。最初，他們只是對當地吉利支丹領袖的宅邸進行了改造，之後，來自巴黎外國傳教團的法國神父約瑟夫·瑪律芒（Joseph Marmand）在 1890 年建起了一座真正的教堂。只是這座教堂在 1927 年和 1930 年接連遭受雷擊和颱風肆虐而被毀，如今擁有 5 個尖頂和白色灰泥牆面的哥德式建築建成於 1931 年。自 1923 年關東大地震之後，日本全國的公共設施建築都開始採用鋼筋混凝土結構，逐漸放棄了較為脆弱的磚石結構。這項改變為建築設計師提供了更多的自由表達空間，鋼筋混凝土作為建築材料在功能性方面具備更為豐富的可能性，再加上基督教徒已經沒有必要顧及外在壓力而保持低調，所以就像這座教堂一樣，教堂設計便可以展現出更加豐富多彩的面貌。

<日本語仮訳>

馬込教会

馬込教会は長崎湾のすぐ外側に浮かぶ伊王島に位置し、国の登録有形文化財です。キリスト教が禁止されていた 2 世紀半の間、多くのキリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）がここに移住してきたのは、伊王島が佐賀藩の管轄下にあったためです。佐賀藩の役人は周辺の他の藩ほどキリシタンの迫害に熱心ではありませんでした。しかし、1865 年の「信徒発見」の後、長崎のフランス人宣教師たちが潜伏キリシタンたちとの接触を再開したことにより、新たな弾圧の波が押し寄せ、佐賀もこの波に飲み込まれました。この弾圧は 1867 年に始まり、明治政府がついに禁教令を解いた 1873 年まで続きました。

キリスト教が合法化されると、伊王島に住んでいたキリシタンたちは早速教会を建てることにしました。最初はおそらく地元のキリシタンたちをまとめるリーダーの家を教会とただけでした。その後、1890 年にパリ外国宣教会のフランス人司祭ジョゼフ・マルマン神父が正式な教会を建設しました。しかし、この建物は 1927 年の落雷と 1930 年の台風によって大破しました。現在の 5 本の尖塔を持つ白い漆喰仕上げのゴシック様式の建物は 1931 年に建てられたものです。1923 年に起こった関東大震災の後、日本中の公共建築物は、比較的脆弱なレンガではなく、鉄筋コンクリートで建てられるようになりました。これにより、建築家の表現の自由度が高まりました。この素材の優れた汎用性に加え、キリスト教徒が目立たないようにしなければならないというプレッシャーもなくなったことから、教会はこのような華麗なデザインを採用できたのです。

011-044

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

长崎和天草地区的潜伏吉利支丹相关遗产信息中心

此处信息中心位于滨海的出岛码头，左右两侧分别是长崎县美术馆和长崎港码头大楼。中心除了可提供英文、韩文和日文咨询服务之外，还配备有多语言的信息展示板、相关手册和视频，介绍潜伏吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）相关情况，并提供免费 Wi-Fi，便于游客规划长崎和天草地区潜伏吉利支丹遗址之旅。

本地许多重要景点都是天主教堂，它们至今仍在在使用。除常规服务外，教堂还会举办婚丧嫁娶和洗礼等仪式。信息中心可以代为致电教堂，查询日程安排，预先告知对方造访者的拜访意向，确认到访许可，以避免过门而不得入的遗憾。此项服务可通过网络、电话或现场申请。

URL：<http://kyoukaigun.jp/>

<繁体字>

長崎和天草地區的潛伏吉利支丹相關遺產資訊服務中心

這處資訊服務中心位於濱海的出島碼頭上，左右兩側分別是長崎縣美術館和長崎港碼頭大樓。中心除了可提供英文、韓文和日文諮詢服務以外，還配備有多語言的資訊告示板、相關手冊和影片用以介紹潛伏吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）相關情況，並提供免費 Wi-Fi，便於遊客規劃長崎和天草地區潛伏吉利支丹遺址之旅。

當地許多重要景點都是天主教堂，至今仍在在使用。除一般服務外，這些教堂還會舉辦婚喪嫁娶和洗禮儀式。資訊服務中心可以幫忙致電教堂查詢日程安排，預先告知對方訪客的拜訪緣由並確認獲得到訪許可，以免過門而不得入的遺憾。此項服務可透過網路、電話或在現場申請。

URL：<http://kyoukaigun.jp/>

<日本語仮訳>

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター

このインフォメーションセンターは、「出島ワーフ」という長崎県美術館と長崎港ターミナルビルに挟まれたバイサイドエリアにあります。センターのスタッフは英語、韓国語、日本語での問い合わせに対応できます。潜伏キリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）についての多言語パネルやパンフレット、ビデオが置かれており、無料 Wi-Fi も利用できるこのインフォメーションセンターは、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産を巡る旅程を立てるのに役立つ場所です。

重要な見どころの多くはカトリックの教会です。これらの教会は、普段の礼拝に加え、葬儀、結婚式、洗礼式などが行われる祈りの場です。インフォメーションセンターでは、見学希望者が確実に見学できるよう、電話で事前に教会側の都合を確認し、希望者の訪問予定を先方に伝えてくれます。このサービスはセンターで直接申し込めるほか、インターネットまたは電話でも利用可能です。

URL : <http://kyoukaigun.jp/>

011-045

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】大浦天主堂キリシタン博物館

【想定媒体】WEB

<簡体字>

大浦天主堂吉利支丹博物館

在大浦天主堂下方靠右侧，矗立着两栋带有外走廊的古老庄严的建筑。白石灰墙面的旧罗典神学院（拉丁神学院）建于 1875 年，红砖墙的旧长崎大司教馆则建于 1915 年。两处建筑的设计者皆为外海地区那位多才多艺的教区神父，马克·德·罗兹神父(Father Marc de Rotz, 1840-1914)。2018 年，长崎大司教区将它们改造为吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）博物馆。

建于 1864 年的大浦天主堂是长崎地区最古老的天主教堂。1865 年 3 月 17 日，浦上地区的潜伏吉利支丹就是在这里向伯纳德·帕蒂让神父（Father Bernard Petitjean）告知了他们的存在，史称“潜伏吉利支丹发现”事件。而帕蒂让神父行走长崎各处布道时，常常用全新的像章、玫瑰念珠和十字架等与本地吉利支丹团体换取旧的宗教物件，比如吉利支丹们在过去数个世纪的禁教期间所使用的玛利亚观音像。他将这些物品带回大浦天主堂，于是，大司教区拥有了一系列有趣的潜伏吉利支丹藏品，其中部分便在这里展出。此外，博物馆还按时间顺序介绍了基督教传入日本后被压制以及复兴的过程。

<繁体字>

大浦天主堂吉利支丹博物館

在大浦天主堂下方右側，矗立著兩棟帶有外走廊的莊嚴老建築。白石灰牆面的舊羅典神學院（拉丁神學院）建於 1875 年，紅磚牆的舊長崎大司教館則建於 1915 年。兩處建築的設計者皆為外海地區那位多才多藝的教區神父，馬克·德·羅茲神父（Father Marc de Rotz, 1840-1914）。2018 年，長崎大司教區將這兩棟建築改造為吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）博物館。

建於 1864 年的大浦天主堂是長崎地區最古老的天主教堂。1865 年 3 月 17 日，浦上地區的潛伏吉利支丹就是在這裡向伯納德·帕蒂讓神父（Father Bernard Petitjean）告知了他們的存在，史稱「潛伏吉利支丹發現」事件。而帕蒂讓神父行走長崎各處佈道時，常常用新的徽章、玫瑰念珠和十字架與本地吉利支丹社群換取宗教文物，比如吉利支丹們在過去數個世紀的禁教期間所使用的瑪利亞觀音像。他將這些文物帶回大浦天主堂，於是大司教區

就擁有了一系列有趣的潛伏吉利支丹藏品，其中部分在這裡展出。此外，博物館還按照時間順序介紹基督教傳入日本後受壓制以及復興的歷程。

<日本語仮訳>

大浦天主堂キリシタン博物館

大浦天主堂のすぐ下、右手に、外廊下のある 2 つの古い荘厳な古い建物が立っています。白い漆喰塗りの旧羅典（ラテン）神学校は 1875 年、赤レンガの旧長崎大司教館は 1915 年に建てられました。どちらも多才であった外海教区の司祭マルコ・ド・ロ神父によって設計された建築物です。2018 年、長崎大司教区はこれらをキリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）博物館として開設しました。

1864 年に建設された大浦天主堂は、長崎で最も古いカトリック教会です。1865 年 3 月 17 日、浦上の潜伏キリシタンたちがベルナルド・プティジャン神父に自分たちの存在を明かした「信徒発見」と呼ばれる出来事が起こったのがこの場所でした。プティジャン神父は、説教のため長崎各地を訪れた際、しばしば、地元のキリシタン集落が禁教時代に使っていたマリア観音像などの古い信仰具と引き換えに、新しいメダイやロザリオ、十字架などを授けました。そして、そのような古い信仰具を大浦天主堂に持ち帰りました。こうした経緯から、長崎大司教区は数多くの興味深い潜伏キリシタンの遺物を所有しており、その一部がこの博物館に展示されています。また、大浦天主堂キリシタン博物館では日本におけるキリスト教伝来・弾圧・復活の歴史がわかりやすく年代順に紹介されています。

【タイトル】 長崎歴史文化博物館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

长崎历史文化博物馆

长崎历史文化博物馆于 2005 年 11 月开馆。博物馆建在长崎县美术博物馆原址上，在美术馆之前，这里是长崎奉行所的东役所。这段历史同样展现在了博物馆极富传统建筑风格的正面外墙上——上为白石灰墙面、下为坚实的石垣。

葡萄牙人、西班牙人、中国人和荷兰人会聚长崎，借助国际贸易的发展，这个原来的小小村落最终成长为大城市。在持续两个多世纪的锁国(1639-1853)时期里，出岛始终是日本与欧洲往来的唯一窗口。这座博物馆回溯了各国商人与文化如何通过长崎商贸影响日本，以及他们如何反过来受到日本影响的过程。

博物馆专设一处区域，通过展板及有关潜伏吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）的展品，全面概述了基督教在日本的发展历史。另一处区域则忠实再现了曾经矗立于此的长崎奉行所旧貌，并重现了一段庭审场景。

其他展区则着重展示诸多其他相关主题，包括：南蛮贸易（锁国政策施行前日本与葡萄牙的贸易往来）、日本与荷兰的关系、来自中国的影响（亮点在于受黄檗宗僧人及来日中国文人影响而诞生的书画名品），以及 19 世纪中期以来从电报到摄影等诸多西方技术如何经由长崎进入日本的历程等。

<繁体字>

長崎歷史文化博物館

長崎歷史文化博物館於 2005 年 11 月開館。博物館建在長崎縣美術博物館原址上，在美術館之前這裡原是長崎奉行所的東役所。這段歷史也展現在了博物館極富傳統建築風格的正面外牆上——上為白石灰牆面，下為堅實的石垣。

葡萄牙人、西班牙人、中國人和荷蘭人匯聚長崎，這裡原本只是一個小小的村落，因國際貿易而得以成長為大城市。在持續兩個多世紀的鎖國（1639-1853）時期裡，出島始終是日本與歐洲往來的唯一窗口。這座博物館驗證了各國商人與文化如何通過長崎商貿影響日本，以及他們如何受到日本影響的過程。

博物館専設一處區域，透過展示板及有關潛伏吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）的展品，全面概述了基督教在日本的發展歷史。另一處區域則忠實再現曾經矗立於此的長崎奉行所舊貌，其中包括重現庭審場景。

其他展區的主要展示還包括有關南蠻貿易（鎖國政策施行前日本與葡萄牙的貿易往來）、日本與荷蘭的關係、來自中國的影響（重點在於受黃檗宗僧人及來日中國文人影響而誕生的書畫名品），以及 19 世紀中期以來，從電報到攝影的各種西方技術如何經由長崎進入日本等諸多主題。

<日本語仮訳>

長崎歴史文化博物館

長崎歴史文化博物館は 2005 年 11 月に開館しました。この博物館は長崎県立美術博物館の跡地に建てられました。さらに昔は長崎奉行所の東役所が置かれていたこの場所の歴史は、長崎歴史文化博物館の白漆喰壁が載る堅牢な石垣という伝統的な外観に反映されています。

長崎にはポルトガル人やスペイン人、中国人、オランダ人がごそってやってきて、国際貿易によって小さな集落から大都市へと変貌を遂げました。鎖国（1639–1853）が敷かれていた約 2 世紀の間、日本にとって出島はヨーロッパとの唯一の接点でした。この博物館では、長崎を通じて交易を行っていた国々の人々や文化が日本にどのような影響を与え、逆に日本がそれらの国々にどのような影響を与えたのかを検証しています。

館内の一角には、潜伏キリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）関連の品々とともに、日本におけるキリスト教の歴史の全体像を詳細に解説したパネルが展示されています。また、別の一角には、かつてこの場所にあった長崎奉行所が忠実に復元されており、奉行所で行われた裁判を再現した場面も見るすることができます。

他の展示では、南蛮貿易（鎖国以前のポルトガルとの交易）や日本とオランダの関係、中国から受けた影響（黄檗僧や来日した中国の文化人たちの影響を受けた書画の名品は見どころ）。そして、19 世紀半ば以降長崎を経由して日本に伝わった電報や写真をはじめとする様々な西洋の知識技術が紹介されています。

011-047

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 日本二十六聖人記念館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日本二十六圣人纪念馆

此处设施包括一个广场、一座纪念碑、一个博物馆和一座教堂。纪念馆坐落于一座名叫“西坂”的小丘上，可居高临下俯瞰长崎，这里也是 1597 年 2 月 5 日 26 名天主教徒被处以死刑的地方。当时，在国家掌权者丰臣秀吉的命令下，日本兴起了迫害吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）的第一次浪潮。1862 年，26 名殉道者被追奉为圣徒。1962 年，为纪念封圣 100 周年，纪念馆建成开馆，归属于耶稣会管辖。

殉教者塑像

广场上巨大的高凸浮雕铜像出自雕刻家舟越保武(1912-2002)之手，他在不到四十岁时成为了一名天主教徒。作品以真人等身尺寸展示了 26 名殉道者的风采，其中三个形体较小的是儿童，被害时年龄不过 12 岁到 14 岁之间。作品顶端镌刻的拉丁文“Laudate Dominum Omnes Gentes”（列国万民，请赞美上主）是诸殉道者临死前念诵的句子。下方的若干十字架则表明了他们被处死的方式。殉教者群像正对大浦天主堂。曾到此参观的名人包括：1981 年到访的教皇若望·保禄二世，1982 年到访的特蕾莎嬷嬷，2019 年到访的教皇方济各等。此处设施对于天主教会有着独特的意义，因为这 26 名殉道者来自不同的国家，除日本教徒外，还有 4 名西班牙人、1 名墨西哥人和 1 名葡萄牙人。

风格独特的建筑作品

博物馆和教堂的设计都出自今井兼次(1895-1987)之手，这是又一位改宗天主教的日本设计师。他年轻时曾前往西班牙旅行，被加泰罗尼亚的现代主义建筑设计师安东尼·高迪 (Antoni Gaudi) 的作品深深打动。这座教堂的双塔极具圣家堂风格，从它们的有机形态、色彩缤纷的马赛克瓷砖，到以餐具碎片拼贴出马赛克背景和白色凤凰的博物馆西墙，无不体现着高迪的影响。

博物馆正墙蕴藏多重含义。墙体最下部设计为刷着白色灰浆的石垣，令人联想起长崎寺町地区的墙壁，它们通常使用来自澳门的灰浆粉刷，而澳门正是耶稣会传教士的一大重要基地。石垣上方的设计灵感来自围绕刑场四周的竹栅栏“竹矢来”。再上面两层的柱子则令人联想起监狱，较粗的柱子从中段开始贴上了彩色瓷砖，直到顶部变为红色，代表着行刑处死长崎殉道士们时刺入他们的身体而染上鲜血的矛尖。

藏品丰富的博物馆

这座博物馆由耶稣会经营，藏品来自过去的 4 个多世纪之间，具有非凡的历史价值。其中特别珍贵的是：一封圣方济·沙勿略（St. Francis Xavier, 1506-1552，最初将基督教传入日本的西班牙传教士）在 1546 年写给葡萄牙国王若昂三世的亲笔信；一封朱利安·中浦在 1621 年写给高级耶稣会士描述日本吉利支丹所受迫害的亲笔信，朱利安·中浦曾于 1582 年作为天正遣欧使节团成员出使罗马，回到日本后成为了一名神父；一幅《雪中的圣母玛利亚》画像，画作被认为出自长崎，绘制时间在 1600 年到 1614 年之间。馆内还藏有数量众多的古地图，配有绘制日本吉利支丹被处决场景的血腥插画的古书，以及 19 世纪晚期报道天主教传教士回归的老报纸。

教皇比约十二世于 1950 年将西坂指定为天主教朝圣地。博物馆还藏有一些来访信徒会感兴趣的圣物，如沾染着殉道者鲜血的丝织品，26 圣人中圣保罗·三木、圣雅各·喜齐和圣若望·五岛等日本本土神父的遗骨。

博物馆正门外的小塑像是圣洛伦佐·鲁伊兹(Saint Lorenzo Ruiz)，他是首位菲律宾籍的基督教殉道者，也是首位菲律宾圣徒，1637 年在这里遭处决。

<繁体字>

日本二十六聖人紀念館

這處園區包含了一個廣場、一座紀念碑、一間博物館和一座教堂。紀念館坐落於可俯瞰長崎的一座名叫「西坂」的小丘上，這裡是 1597 年 2 月 5 日 26 名天主教徒被處以死刑的地方。當時在國家掌權者豐臣秀吉的命令下，日本興起了迫害吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）的第一次浪潮。1862 年，26 名殉道者被追奉為聖徒。1962 年，為紀念封聖 100 週年，紀念館建成開館，它受耶穌會管轄。

殉教者塑像

廣場上巨大的高凸浮雕銅像出自雕刻家舟越保武（1912-2002）之手，他在不到四十歲時成為了一名天主教徒。作品以真人等身尺寸展示了 26 名殉道者的風采，其中三個形體較小的是兒童，被害時年齡不過 12 歲到 14 歲之間。作品頂端鐫刻的拉丁文「Laudate Dominum Omnes Gentes」（列國萬民，請讚美上主），是諸位殉道者臨死前念誦的句子。下方若干十字架標示了他們被處死的方式。殉教者群像正對大浦天主堂。曾到此參觀的名人包括：1981 年到訪的教宗若望保祿二世；1982 年到訪的德雷莎修女；2019 年到訪的教宗方濟各。這處紀念館對於天主教會還有著獨特的意義，在於這 26 名殉道者來自不同的國家，除日本教徒外，還有 4 名西班牙人、1 名墨西哥人和 1 名葡萄牙人。

風格獨特的建築作品

博物館和教堂的設計都出自今井兼次（1895-1987）之手，他也是一位改信天主教的日本設計師。年輕時，今井曾前往西班牙旅行，加泰隆尼亞的現代主義建築設計師安東尼·高第（Antoni Gaudi）的作品給他留下了深刻的印象。教堂雙塔類似聖家堂風格，從有機的形態、色彩繽紛的馬賽克瓷磚，到以餐具碎片拼貼出馬賽克背景和白色鳳凰的博物館西牆，無不展現出高第的影響。

博物館正面牆面蘊含著多重意義，牆體最下部設計為刷著白色灰漿的石垣，令人聯想起長崎寺町地區的牆壁，牆體通常使用來自澳門的灰漿刷成，而澳門正是耶穌會傳教士的一大重要基地。石垣上方的設計靈感來自刑場周圍的竹柵欄「竹矢來」。上面兩層柱子則令人聯想起監獄，較粗的柱子從中段開始貼有彩色瓷磚，到頂部變為紅色，代表著長崎殉道士們被處刑時刺入他們身體而染上了鮮血的矛尖。

珍藏豐富的博物館

這座博物館由耶穌會經營，收藏著過去 4 個多世紀以來具有非凡歷史價值的文物，其中特別珍貴的有：一封聖方濟·沙勿略（St. Francis Xavier, 1506-1552，最初將基督教傳入日本的西班牙傳教士）在 1546 年寫給葡萄牙國王約翰三世的親筆信；一封朱利安·中浦於 1621 年寫給高級耶穌會士描述日本吉利支丹所受迫害的親筆信，朱利安·中浦曾於 1582 年作為天正遣歐使節團成員出使羅馬，回到日本後成為一名神父；一幅被認為出自長崎的《雪中的聖母瑪利亞》畫像，繪製時間在 1600 年到 1614 年之間。館內還藏有數量眾多的古地圖，配有日本吉利支丹遭處決的血腥插畫的古書，以及 19 世紀晚期報導天主教傳教士回歸的老報紙。

教宗庇護十二世於 1950 年將西坂指定為天主教朝聖地，博物館還藏有一些信徒會感興趣的聖物，如沾染著殉道者鮮血的絲織品，26 聖人中聖保羅·三木、聖雅各·喜齊和聖若望·五島等日本本土神父的遺骨。

博物館正門外的小塑像是聖洛倫佐·魯伊茲（Saint Lorenzo Ruiz），他是首位菲律賓籍的基督教殉道者，也是首位菲律賓聖徒，1637 年在這裡遭處決。

<日本語仮訳>

日本二十六聖人記念館

広場・記念碑・博物館・教会を併設するこの複合施設は、長崎を見下ろす西坂の丘に建てられています。ここでは、キリシタン（16世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）への迫害が始まりつつあった 1597 年 2 月 5 日、日本を統治していた豊臣秀吉の命により、26 人のカトリック信者が処刑された場所です。この 26 人の殉教者は 1862 年に列聖されました。イエズス会によって管理されているこの複合施設は、その列聖 100 周年を記念して 1962 年に開かれました。

殉教者の像

広場に設置された巨大な高浮き彫りのブロンズレリーフは、30代後半にカトリックに改宗した彫刻家、舟越保武（1912-2002）によって制作された等身大の二十六聖人像です。そのうち最も小さい3人は、処刑当時12歳から14歳の子どもでした。上部に刻まれているラテン語は、殉教者たちが死ぬ間際に唱えたとされる「Laudate Dominum Omnes Gentes（すべての人よ、主を讃えよ）」という言葉で、その下のたくさんの十字架は殉教者たちの処刑方法を表しています。殉教者の像は大浦天主堂に向けて設置されています。過去には1981年の教皇ヨハネ＝パウロ2世、1982年のマザー・テレサ、2019年の教皇フランシスコといった要人がこのモニュメントを訪れました。殉教者には、日本人信徒の他にスペイン人4人、メキシコ人1人、ポルトガル人1人が含まれていました。複数の国の信徒が亡くなったこの場所は、カトリック教会にとって特別な意味を持っています。

風変わりな建築

博物館と教会はいずれも、同じくカトリックに改宗した建築家、今井兼次（1895-1987）の設計です。若い頃にスペインを旅した今井は、カタルーニャ出身のモダニズム建築家、アントニ・ガウディの作品に深い感銘を受けました。ガウディの影響は、カラフルな陶製のタイルでモザイクが施され、有機的な形をしたサグラダ・ファミリアを彷彿とさせる聖フィリッポ教会の双塔や、食器の破片を使ったカラフルなモザイクの背景に白い鳳凰が描かれた記念館の西壁に見ることができます。

博物館のファザードには、何重もの意味が込められています。最下部の白いモルタルで固められた石垣は、マカオから輸入されたモルタルが使われた長崎の寺町の石壁を思わせるデザインで、マカオはイエズス会の重要な拠点でした。その上の部分は処刑場を取り囲んでいた「竹矢来」をモチーフにしています。上の二層は、牢獄を連想させる縦格子です。太めの格子の間にあるカラータイルの模様は上部が赤くなっており、これは長崎の殉教者が磔にされた時に脇腹に刺された血まみれの槍を表しています。

貴重な宝が豊富な博物館

イエズス会によって運営されているこの博物館には、400年以上前のものを含む非常に歴史的価値の高い品々が収蔵されています。とりわけ貴重な展示品には、聖フランシスコ・ザビエル（1506-1552、はじめて日本にキリスト教を伝えたスペイン人宣教師）が1546年にポルトガル国王ジョアン3世に宛てて書いた手紙の原本、天正遣欧使節の一員として1582年にローマに渡り、帰国後司祭となった中浦ジュリアンが1621年に日本人キリシタンに対する迫害について上級イエズス会士に宛てて綴った手紙の原本、そして、1600年から1614年の間に長崎で描かれたと考えられている「雪のサンタマリア」と呼ばれる聖母マリアの絵などがあります。また、数多くの古地図や日本人キリシタンが処刑される様子を描いた生々しい挿絵入りの古書、カトリック宣教師の帰還を報じた19世紀後半の新聞も展示されています。

教皇ピウス12世は1950年に西坂を公式のカトリック巡礼地に認定しました。博物館では、殉教者の1人の血で染まった絹や、26聖人に含まれる日本人司祭、聖パウロ三木・聖ヤコブ喜斎・聖ヨハネ五島の遺骨といった、キリスト教徒にとって特に興味深い聖遺物も公開されています。

博物館の入り口のすぐ外にある小さな像は、1637年にこの地で処刑された聖ロレンソ・ルイスです。彼は最初のフィリピン人キリシタン殉教者であり、最初のフィリピン人聖人でもあります。

011-050

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」保存活用実行委員会

【タイトル】 浦上キリシタン資料館

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

浦上吉利支丹资料馆

这家小型资料馆位于长崎市北部居民区内一栋公寓的底楼，距离浦上天主堂约 5 分钟步程。资料馆免费对外开放，由一位成功的出版商经营，部分资金来自公众捐赠。顾名思义，资料馆着重介绍浦上地区的基督教历史，尤其侧重于两大近代悲惨事件。其一是“浦上四番崩”(1868-1873)，这是日本政府镇压基督教的最后一次大规模行动，数千名浦上吉利支丹（自 16 世纪至明治时代日本的基督教徒）被流放到日本各地，其中数百人丧生。另一次是 1945 年 8 月 9 日的长崎原子弹爆炸事件，浦上地区的 12,000 名基督教徒中，约有 8500 名在爆炸中遇难。

资料馆虽然规模不大，但除了常展之外，也会举办其他小型展览。馆内最里面有一个播放天主教影片的视频区，前方柜台则出售相关图书和其他吉利支丹纪念品。

<繁体字>

浦上吉利支丹資料館

這個小型資料館，位於長崎市北部住宅區內一棟公寓的底樓，距離浦上天主堂步行約 5 分鐘。資料館免費對外開放，它由一位成功的出版商經營，部分資金來自公眾捐贈。顧名思義，資料館的特色在於介紹浦上地區的基督教歷史，尤其側重於兩大近代悲劇事件。其一是「浦上四番崩」（1868-1873），這是日本政府最後一次鎮壓基督教，數千名浦上吉利支丹（自 16 世紀至明治時代日本的基督教徒）被流放到日本各地，其中數百人喪生。另一次是 1945 年 8 月 9 日的長崎原子彈爆炸事件，浦上地區的 12,000 名基督教徒中，約有 8500 名在爆炸中不幸遇難。

資料館雖然規模不大，但仍會在常態展之外舉辦其他小規模的特展。資料館最裡面有一個放映天主教影片的視頻區，前方櫃檯販售相關圖書和其他吉利支丹紀念品。

<日本語仮訳>

浦上キリシタン資料館

この小さな資料館は、長崎市北部の住宅街に立つマンションビルの 1 階、浦上天主堂から徒歩 5 分ほどのところにあります。この資料館は実績のある出版社の経営者が一部を個人の寄付に頼って運営しているもので、入場は無料です。名前の通り、この資料館は浦上のキリスト教の歴史を紹介しており、特に比較的近年に起こった二つの悲劇的な出来事に焦点を当てています。そのひとつは浦上四番崩れ（1867-1873）です。この当局によるキリスト教弾圧の最後の試みでは、数千人の浦上キリシタン（16 世紀から明治時代における日本のキリスト教信者）が日本各地に流配され、数百人の命が犠牲となりました。もうひとつは 1945 年 8 月 9 日の長崎への原爆投下です。原爆によって浦上のキリシタン 12,000 人のうち約 8,500 人が命を失いました。

小さな資料館ではあるものの、ここでは常設展示の他に小規模な展示も行われています。資料館の奥ではカトリック関連の映画が紹介されており、手前ではキリスト教関連の書籍や記念品が販売されています。

| | | | |
|------|-----|------|------------------------|
| 地域番号 | 012 | 協議会名 | 青島を中心とする宮崎神話多言語解説整備協議会 |
|------|-----|------|------------------------|

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | | 中国語文字数 | 想定媒体 | |
|---------|--------------------|------------|--------|--------|--------|
| 012-001 | 青島の亜熱帯の植物 | | 390 | QR | |
| 012-002 | 青島周辺の奇岩群 (「鬼の洗濯板」) | | 270 | QR | |
| 012-003 | 青島神社 | 歴史 | 395 | 看板 | |
| 012-004 | | 神聖な紙漉 | 370 | 看板 | |
| 012-005 | | 植生 | 470 | 看板 | |
| 012-006 | | 元宮 | 325 | 看板 | |
| 012-007 | | 御成道 | 350 | 看板 | |
| 012-008 | | お清め | 260 | 看板 | |
| 012-009 | | 天の平瓮 | 350 | 看板 | |
| 012-010 | | 青島と神話 | | 710 | QR |
| 012-011 | | 青島神社 | 概要 | 880 | パンフレット |
| 012-012 | 日向神話館 | | 2285 | パンフレット | |
| 012-013 | 江田神社 | 禊の神話 | 645 | QR | |
| 012-014 | | 歴史 | 375 | 看板 | |
| 012-015 | みそぎ池 | | 335 | 看板 | |
| 012-016 | 住吉神社 | | 370 | 看板 | |
| 012-017 | 宮崎神宮 | 概要 | 415 | QR | |
| 012-018 | | 歴史 | 350 | 看板 | |
| 012-019 | | 五所稻荷神社 | 290 | 看板 | |
| 012-020 | | 白い藤 | 245 | 看板 | |
| 012-021 | | 徴古館 | 305 | 看板 | |
| 012-022 | 護國神社 | | 345 | 看板 | |
| 012-023 | 皇宮神社 | 概要 | 335 | 看板 | |
| 012-024 | | 経籠記 | 310 | 看板 | |
| 012-025 | 鵜戸神宮 | 歴史と神話 | 700 | 看板 | |
| 012-026 | | 運玉 | 270 | 看板 | |
| 012-027 | | 九柱神社 | 350 | 看板 | |
| 012-028 | | 聖なる石 (ご霊石) | 330 | 看板 | |
| 012-029 | | 玉橋 (神橋) | 340 | 看板 | |
| 012-030 | | うさぎの像 | 235 | 看板 | |
| 012-031 | | 撫でうさぎ | 225 | 看板 | |
| 012-032 | | 福注連縄とお祓い | 240 | 看板 | |
| 012-033 | | 崖と団塊 | 330 | 看板 | |

| | | | | |
|---------|----------|--------------|-----|-----|
| 012-034 | 鵜戸神宮 | お乳水 | 230 | 看板 |
| 012-035 | | お乳岩 | 230 | 看板 |
| 012-036 | | 鵜戸山八丁坂 | 210 | 看板 |
| 012-037 | | 吾平山陵 | 315 | 看板 |
| 012-038 | 不動窟と波切神社 | | 325 | 看板 |
| 012-039 | 鵜戸-国指定名勝 | | 330 | 看板 |
| 012-040 | 潮嶽神社 | | 390 | 看板 |
| 012-041 | 駒宮神社 | 概要 | 435 | QR |
| 012-042 | | 御銚の窟 | 280 | 看板 |
| 012-043 | | 「陰陽石」と「銭石」 | 280 | 看板 |
| 012-044 | | 日向シャンシャン馬の伝統 | 545 | QR |
| 012-045 | 吾平津神社 | | 315 | 看板 |
| 012-046 | 吾田神社 | | 285 | 看板 |
| 012-047 | 祇園神社 | | 330 | 看板 |
| 012-048 | 日本の神話 | 淤能碁呂島 | 240 | WEB |
| 012-049 | | 神々の完成 | 435 | WEB |
| 012-050 | | 日本列島の誕生 | 310 | WEB |
| 012-051 | | 神々の誕生 | 220 | WEB |
| 012-052 | | 火の神の斬首 | 240 | WEB |
| 012-053 | | 黄泉の国へ | 510 | WEB |
| 012-054 | | 禊 | 500 | WEB |
| 012-055 | | 木花咲耶姫 | 500 | WEB |
| 012-056 | | 山幸彦と海幸彦 | 810 | WEB |
| 012-057 | | 鷓鴣草葺不合尊 | 400 | WEB |
| 012-058 | | 鷓鴣草葺不合尊の系譜 | 265 | WEB |

【タイトル】 青島の亜熱帯の植物

【想定媒体】 QR

<簡体字>**青岛的亚热带植物**

青岛生长着北纬这个维度上很难见到的热带和亚热带植物。能拥有这样特殊的自然生态，主要归功于日本暖流（黑潮），它自东海而来，在流经青岛后，沿着日本的太平洋海岸线穿过濑户内海奔向东北方，它为本地带来了温和的气候和丰沛的降水量。

岛上已知的 226 种植物中，有 27 种属于热带或亚热带植物，它们共同作为“青岛亚热带性植物群落”被指定为国家特别天然纪念物。同时，这里也是北半球最北的棕榈科植物群生地，其中最常见的蒲葵(*Livistona chinensis*)更是遍布各处。全岛生长着近 5000 株蒲葵，有的树龄已达 350 年，几个世纪以来，它们一直是青岛的标志。岛上其他值得留意的植物还包括：海芋（*Alocasia odora*；有毒性）、亚洲文殊兰（*Crinum asiaticum*；日本称“滨木棉”）和厚叶石斑木（*Rhaphiolepis umbellata*；日本称“车轮梅”）。

<繁体字>**青島的亞熱帶植物**

青島生長著在這個北緯度上很難見到的熱帶和亞熱帶植物。能擁有這樣特殊的自然生態，主要歸功於黑潮。這股暖流自東海而來，在流經青島後，隨後沿著日本的太平洋海岸線穿過濑戶內海奔向東北方，它為當地帶來了溫和氣候和豐沛的雨量。

島上已知的 226 種植物中，27 種屬於熱帶或亞熱帶植物，共同作為「青島亞熱帶植物群落」被指定為國家特別天然紀念物。同時，這裡也是北半球最北的棕櫚科植物群生地，其中最常見的蒲葵（*Livistona chinensis*）更是遍佈全島，幾個世紀以來一直被認為是青島的標誌。全島生長著近 5000 株蒲葵，有的樹齡已達 350 年。此外，其他值得留意的植物還包括：姑婆芋（*Alocasia odora*；有毒性）、亞洲文殊蘭（*Crinum asiaticum*；日本稱「濱木棉」）和厚葉石斑木（*Rhaphiolepis umbellata*；日本稱「車輪梅」）。

<日本語仮訳>

青島の亜熱帯の植物

青島では、北ではほとんど見られない熱帯や亜熱帯の植物が生育する独特の植生が形成されています。こうした植物がこの島で育つのは、東シナ海から青島を通過して日本の太平洋側に沿って瀬戸内海に向かって北東に流れる暖流である「黒潮」の影響により、気候が温暖で年間降雨量が多いことが理由です。

この島に育つ226種の植物のうち、27種は熱帯または亜熱帯の植物で、「青島亜熱帯性植物群落」として国の特別天然記念物に指定されています。また、ここは北半球最北のヤシ科植物の群生地でもあり、そのうち、最も多く見られるのはビロウ (*Livistona chinensis*) で、青島のいたるところに自生しています。ビロウは昔からこの島のシンボリックな存在です。約5,000本のビロウの中には、樹齢350年のものもあります。この島に生えるその他の特筆すべき植物には、毒性のあるクワズイモ (*Alocasia odora*)、ハマユウ (*Crinum asiaticum*、浜木綿)、シャリンバイ (*Rhaphiolepis umbellata*、車輪梅) などがあります。

【タイトル】 青島周辺の奇岩群（「鬼の洗濯板」）

【想定媒体】 QR

<簡体字>**环绕青岛的奇岩（“魔鬼的搓衣板”）**

在环绕青岛的海岸上，布满了一排排笔直延伸至大海中的奇异岩层，本地人称这样的景观为“魔鬼的搓衣板”，因为远远看去，它们就像是一整块巨大的搓衣板。这些岩层由中新世晚期（700 万年前）的沙泥在海水中分层沉积后交替堆叠而成。之后，由于地壳运动和地壳抬升的作用，这些层状岩石以略微倾斜的角度露出了海面。在长年海浪的拍击下，较为柔软的泥岩层比相对硬实的砂岩层更快遭到侵蚀，从而渐渐在岩体上形成了波状纹路。这些奇异的岩层顺着宫崎海岸线绵延 8 公里，北起青岛，经户崎鼻岬，直至巾着岛。

“魔鬼的搓衣板”现已被指定为日本天然纪念物。

<繁体字>**環繞青島的奇岩（「魔鬼的洗衣板」）**

在圍繞青島的海岸上，佈滿了一排排筆直延伸到海裡的奇異的岩層，當地人稱之為「魔鬼的洗衣板」，因為遠遠看去它們就像是一塊巨大的洗衣板。這種岩層在中新世晚期（700 萬年前）由沙泥在海水中分層沉積後交替堆疊而成。此後的地殼運動和地殼抬升，讓這些層狀岩石以略微傾斜的角度升上海面。隨著海浪拍擊岩石，相對柔軟的泥岩層比硬度較高的砂岩層更快被侵蝕，於是漸漸在岩體上形成波狀紋路。這些奇異的岩層順著宮崎海岸綿延 8 公里，北起青島，經戶崎鼻岬直至巾着島。

「魔鬼的洗衣板」現已被指定為日本天然紀念物。

<日本語仮訳>**青島周辺の奇岩群（「鬼の洗濯板」）**

青島を取り囲むように海に向かって広がっている奇岩群は、遠くから見ると大きな洗濯板のように見えることから、地元では「鬼の洗濯板」と呼ばれています。この奇岩群は、中新世後期（700 万年前）に海

中で蓄積された砂と泥が交互に重なってできたものです。層状になった岩盤が地殻の変動や隆起で少し傾いた状態で水面上に現れ、それが波に洗われるうちに、柔らかい泥岩の層がより硬い砂岩の層より速く侵食され、岩盤に稜線が生まれました。この奇岩群は、青島から南に向かって戸崎鼻岬を通り過ぎて巾着島まで、8キロメートルにわたって宮崎の海岸で見ることができます。

青島の「鬼の洗濯板」は日本の天然記念物に指定されています。

【タイトル】 青島神社の歴史

【想定媒体】 看板

<簡体字>**青島神社の歴史**

青島自古就被视为神圣之地，据推测，当年整座岛屿都会被作为神的居所而得到供奉。在有桥梁连通之前，上岛者要趁落潮时涉水过海，借海水洗净身心后，才能踏上岛屿祭拜神祇。有关岛上存在神社的记录最早出现于平安时代(794-1185)。到了江户时代(1603-1867)，青島神社被归入饫肥藩（“饫”，音同“玉”；今宫崎县南部海岸地区），在藩主（日本封建时代的领主）伊东家族的庇护下日渐壮大。1737年，伊东家族解除了只有神社神官和达官显贵才能踏足青島神圣土地的禁令。

青島神社供奉着山幸彦、丰玉姬和他们的月老盐椎神。神社与两位神祇的爱情故事有着深厚的渊源。据说成书于8世纪的日本首部历史著作《古事记》中就有相关记载。他们的传说是日本创世神话之一，故事解释了皇室血统的神圣渊源，详情请参见神社内“神话馆”的展示。两位神祇结缘于本地传说中“鸭子越冬的地方”，因此，青島神社也曾被称为“鸭就宫”。

<繁体字>**青島神社の歴史**

青島自古就被視為神聖之地，據推測當年整座島嶼都會被作為神的居所而得到供奉。在有橋樑連通之前，登島要趁退潮時涉水過海，借海水潔淨身心後，才能踏上島嶼祭拜神明。有關島上存在神社的記錄最早出現於平安時代（794-1185）。到了江戶時代（1603-1867），青島神社被歸入饫肥藩（「饫」，音同「玉」；今宮崎縣南部海岸地區），在藩主（日本封建時代的領主）伊東家的庇護下日漸壯大。1737年，伊東家解除了只有神社神官和達官顯貴才能踏足青島神聖土地的禁令。

青島神社供奉著山幸彦、豐玉姬和他們的月老鹽椎神。神社與兩位神祇的愛情故事淵源深厚，在成書於8世紀的日本首部歷史著作《古事記》裡對此就有記載。這是日本創世神話之一，故事解釋了皇室血脈的神聖起源。詳細請見神社內「神話館」的展示。這對愛侶因當地傳說的「鴨子越冬的地方」而結緣，因此青島神社也曾被稱為「鴨就宮」。

<日本語仮訳>

青島神社の歴史

青島は古代から神聖な場所と考えられてきました。当時は、島自体が神の住処として信仰を集めていたと考えられています。島への橋がかけられる前から、人々は干潮時に歩いて島に渡り、海で身を清めてから儀式を行っていました。この場所に神社が存在したことを示す最古の記録は、平安時代（794–1185）に遡ります。江戸時代（1603–1867）には、餂肥藩（現在の宮崎県南部の海岸沿いの地域）の大名であった伊東家の庇護を受け、青島神社は勢力を拡大しました。1737 年には、それまで神主と高官以外による神社の境内への立ち入りを禁じていた規則が撤廃されました。

青島神社には、山幸彦と豊玉姫、そしてこの 2 人が出会うきっかけとなった塩槌神が祀られており、神社は山幸彦と豊玉姫の伝説と深い関わりがあります。この物語は 8 世紀に書かれたとされる日本最古の歴史書である『古事記』に登場する日本の創造神話に沿ったもので、天皇家の祖先が神であることを説明する話のひとつです。神社の神話館の展示でより詳しく知ることができます。山幸彦と豊玉姫は青島の民間伝承では「鴨が冬を越すためにやってくる場所」で出会ったとされており、青島神社はかつて鴨就宮（「鴨が休む神社」）と呼ばれていました。

【タイトル】 青島神社：神聖な紙撻

【想定媒体】 看板

<簡体字>

青島神社：神聖的紙撻

用系在一起的绳结或线结来象征某种关系和纽带，日语称“絆”，这个概念在日本神话和宗教信仰里有着极其重要的意义。神道教的根本概念认为，天地万物皆为绳结所连接，因此，它们与生命也密不可分。用丝线打成的绳结则被特别视为恋爱关系的象征。8世纪编撰成书的《万叶集》是日本现存最古老的诗集，其中收录了许多以线结喻示爱情的诗句。日本现代文化和语言里至今依然常见类似有关生命与爱情的联想。

纸撻也是绳结的一种，最晚自江户时代(1603-1867)开始，人们就把纸撻系在神圣的建筑或树木上，为健康、辟邪、爱情美满等祈愿。青島神社准备了各种颜色的纸撻：紫色代表健康；绿色代表学业或技艺有成；黄色代表事业成功；粉红色关乎爱情、婚姻、孩子、顺产等；白色适用于其他一切祈福。来访者按需购买后系在树木或绳索上即可。纸撻单价100日元，相当于对神社的供奉。

<繁体字>

青島神社：神聖的紙撻

用繫在一起的繩結或線結象徵某種關係和紐帶，日語稱「絆」，這一概念在日本神話和宗教信仰裡扮演著重要角色。神道教的根本概念認為天地萬物皆為繩結所連接，因此繩結與生命也密不可分。另外還多使用絲線傳達繩結是戀愛的象徵。成書於8世紀的《萬葉集》是日本現存最古老的詩集，其中多有以線結作為愛情例證的譬喻。現今，日本現代文化和語言裡依然常見類似有關生命與愛情的聯想。

紙撻也是繩結的一種，最晚自江戶時代（1603-1867）開始，人們就把紙撻繫在宗教相關的建築或樹木上為健康、辟邪、愛情美滿等祈願。青島神社準備了不同顏色的紙撻：紫色代表健康；綠色代表學業或技藝有成；黃色代表事業成功；粉紅色關乎愛情、婚姻、孩子、順產等；白色適用於其他一切祈福。參拜者依照需要購買後繫在樹木或繩索上即可。紙撻單價100日圓，相當於給神社的香油錢。

<日本語仮訳>

青島神社：神聖な紙紮

結んだ紐や縄が象徴する「絆」という概念は、日本の神話や宗教において重要な役割を担っています。根本的には神道ではこうした結び目は天と地、そして万物を結びつけるものとみなされ、生命そのものと密接に関係しています。また結び目は恋愛の象徴でもあり、糸で表現されることもあります。8世紀に編纂された現存する日本最古の和歌集である『万葉集』には、紐の結び目を愛の象徴として詠んだ歌が数多く収められています。このように結び目に生命と愛を見出す考え方は、現代の日本の文化や言語にも受け継がれています。

紙紮（こより）も結び目のひとつで、少なくとも江戸時代（1603–1867）以降、神聖な建造物や木に紙紮を結びつけるという形で、健康や厄除け、恋愛運などを祈願するようになりました。青島神社では、希望の紙紮を購入して木や縄に結びつけて願い事をすることができます。紫色の紙紮は健康祈願、緑の紙紮は仕事や学業成就、黄色の紙紮は商売繁盛、ピンクの紙紮は恋愛や子宝、安産、夫婦円満、そして白い紙紮はいずれにも分類できない願い事のために使われます。紙紮は1本100円で、神社への寄付となります。

【タイトル】 青島神社：植生

【想定媒体】 看板

<簡体字>

青島神社：植被

青島几乎全境覆盖着亚热带森林。四季常青的蒲葵(*Livistona chinensis*)最为常见，全岛总计约 5000 株，其中有的已生长了 350 年之久，若干世纪以来，它始终被视为青島的象征。蒲葵可长到 15 米高，春天开白色或黄色小花。果实绿色，至深秋成熟掉落。它的扇形叶片在平安时代(794-1185)备受推崇，常常被进献至京都的宫廷。

岛上另外 225 种植物里还有如下几种值得关注：有毒性的海芋(*Alocasia odora*)；夏季开白花的亚洲文殊兰 (*Crinum asiaticum*；日本称“滨木棉”)；传统上用于熬煮染料的小型灌木厚叶石斑木 (*Rhaphiolepis umbellata*；日本称“车轮梅”)。

来访者有机会看到的植物还包括：赧桐(*Clerodendrum japonicum*)，这种灌木通常高约 2 米，在初夏至初秋绽放鲜艳的红色花朵；风藤(*Piper kadsura*)，胡椒科藤本植物，浆果状果实在深秋转为橙色；红楠(*Machilus thunbergii*)，阔叶常绿樟科植物，高度可达 30 米，比更古老的蒲葵森林还要高。

<繁体字>

青島神社：植被

青島幾乎全境覆蓋著亞熱帶森林，四季常青的蒲葵 (*Livistona chinensis*) 最為常見，總計約 5000 株，其中有的已生長 350 年之久，若干世紀以來始終被視為青島的象徵。蒲葵可長到 15 公尺高，春天開白色或黃色小花。果實綠色，至深秋成熟、掉落。蒲葵的扇形葉片在平安時代 (794-1185) 備受推崇，常常被進獻至京都的宮廷。

島上另外 225 種植物中還有下列幾種值得關注：有毒性的姑婆芋 (*Alocasia odora*) ；夏季開白花的亞洲文殊蘭 (*Crinum asiaticum*；日本稱「濱木棉」) ；傳統上用於熬煮染料的小型灌木厚葉石斑木 (*Rhaphiolepis umbellata*；日本稱「車輪梅」) 。

參觀遊客有機會看到的植物還包括：赧桐 (*Clerodendrum japonicum*)，這種灌木通常高約 2 公尺，在初夏至初秋綻放鮮豔的紅色花朵；風藤 (*Piper kadsura*) ，胡椒科藤本植物，漿果

狀果實在深秋轉為橙色；紅楠（*Machilus thunbergii*），闊葉常綠樟科植物，高度可達 30 公尺，長得比古老的蒲葵森林更高。

<日本語仮訳>

青島神社：植生

青島はほぼ亜熱帯林で覆われています。最も多く見られる木は常緑のビロウ（*Livistona chinensis*）で、古くからこの島のシンボリック的存在になっています。約 5,000 本のビロウの中には、樹齢 350 年のものもあります。ビロウは最大 15 メートルの高さまで育ち、春には白または黄色の小さな花を咲かせます。そして緑の実晩秋に熟して地面に落ちます。扇型の葉は、平安時代（794–1185）に重宝されており、京都の宮中に献上されていました。

青島に生えるその他 225 種の植物のうち特筆すべき種には、毒のあるクワズイモ（*Alocasia odora*）、夏に花を咲かせる白いハマユウ（*Crinum asiaticum*、浜木綿）、小さな低木で、伝統的に煮出して染料を作るのに使われてきたシャリンバイ（*Rhaphiolepis umbellata*、車輪梅）などがあります。

来訪者はさらに、通常約 2 メートルの高さの低木で、初夏から初秋にかけて鮮赤色の花を咲かせるヒギリ（*Clerodendrum japonicum*）や、ベリーのような実が晩夏に橙色になるフトウカズラ（*Piper kadsura*）、月桂樹の 1 種の常緑広葉樹で、高さは 30 メートルになることもあり、ビロウの森の中でひときわ高く聳え立つタブノキ（*Machilus thunbergii*）に出会うこともできるかもしれません。

【タイトル】 青島神社：元宮

【想定媒体】 看板

<簡体字>

青島神社：元宮

元宮（即“最初的神社”）位于青岛中心，自古以来就是祭拜神明、举行仪式的地方。这片区域出土有陶器、骨骸、贝壳及其他多种器物，有可能都是弥生时代（公元前 300 年—公元 300 年）宗教仪式中使用的物品。据传，岛上第一座用于敬神的建筑出现于 1000 多年前。江户时代(1603-1867)，信徒们来到这里祈求不受疾病困扰，通常会留下一缕头发以表达虔诚。这一传统延续至今，只不过已经演变成将神圣的纸捻系在神社的树木或绳索上许愿。1907 年，当时的嘉仁皇太子（1879-1926；后来的大正天皇）参拜元宫，引起了大众关注。随后数年内，众多皇室成员纷纷前来拜祭祈祷。及至 20 世纪 60 年代晚期，曾经只有神道教神官与皇室贵族才能进入的青島神社，终于对公众开放。

<繁体字>

青島神社：元宮

元宮（即「最初的神社」）位於青島中心，自古以來就是祭拜神明、舉行儀式的地方。這片區域出土陶器、骸骨、貝殼及其他多種器物，有可能都是彌生時代（西元前 300 年—西元 300 年）宗教儀式中所用到的物品。據傳，島上第一座敬神的建築出現於 1000 多年前。江戶時代（1603-1867），來這裡祈求不受疾病侵擾的信徒，常常會留下一縷頭髮表達虔誠。這一傳統延續至今，只不過已經演變成了將神聖的紙撚繫在神社的樹木或繩子上許願。1907 年，當時的嘉仁皇太子（1879-1926；後來的大正天皇）參拜元宮，引起大眾關注。隨後數年內，眾多皇室成員紛紛前來祭拜祈禱。及至 1960 年代晚期，曾經只有神道教神官與皇室貴族才能進入的青島神社，終於對大眾開放。

<日本語仮訳>

青島神社：元宮

元宮は青島の中央、古代から崇拜と祭祀の場となってきた場所にあります。地中からは、弥生時代（300BCE-300CE）に宗教的儀式で使われた可能性が高い土器、骨、貝殻その他が出土しています。ここに青島で最初の神聖な建物が建てられたのは 1,000 年以上前のことであると考えられています。江戸時代（1603-1867）には、信仰心の篤い人々がここで病気に罹らないよう祈り、その信仰心の印として髪の毛の束を残していきました。この伝統は、参拝者が神聖な紙縵を神社の木や縄に結びつけて願い事をするという形で受け継がれています。1907 年に皇太子嘉仁親王（大正天皇、1879-1926）がこの神社を参拝されたことで注目が高まり、その後多くの皇族が元宮に参拝されるようになりました。かつては神職と皇族しか立ち入ることができませんでしたが、1960 年代後半に一般の人も神社に入れるようになりました。

【タイトル】 青島神社：御成道

【想定媒体】 看板

<簡体字>

青島神社：御成道

一条 60 米长的小道连接起青岛神社本殿（正殿）与神殿原址“元宫”两处建筑，它就是当年仅供天皇或皇室成员使用的专用道路——“御成道”，最初是为迎接 1907 年嘉仁皇太子（1879-1926；后来的大正天皇）的到来而建。直到 20 世纪 60 年代晚期，道路大门都只为皇室成员打开。曾经走过这条道路的皇室成员和名人包括：昭和天皇裕仁(1901-1989)，他在 1920 年以皇太子身份前来，通往青岛的首座现代桥梁因此得以建成；业已退位的明仁太上皇(1933-)，他在 1962 年以皇太子身份来此参拜；战后日本第一任首相东久迩宫稔彦王(1887-1990)。

如今，后来者可以踏着他们的足迹，穿过大门及左右两侧的绘马架（“绘马”即写有愿望和祈求的许愿小木板），沿御成道走过一片热带风貌的棕榈林，前往元宫。

<繁体字>

青島神社：御成道

一條 60 公尺長的小道連接起青島神社本殿（正殿）與神殿原址「元宮」兩處建築，這是當年僅供天皇或皇室成員使用的專用道路「御成道」，最初是為迎接 1907 年嘉仁皇太子（1879-1926；後來的大正天皇）的到來而建。直到 1960 年代晚期，道路大門都只為皇室成員打開。曾經踏上這條道路的皇室名人包括：昭和天皇裕仁（1901-1989），他在 1920 年以皇太子身份前來，通往青島的首座現代橋樑因此得以建成；業已退位的明仁太上皇（1933- ），他在 1962 年以皇太子身份來此參拜；以及戰後日本第一任首相東久邇宮稔彥王（1887-1990）。

如今，遊客可以踏著他們的足跡，穿過大門及其左右兩側的繪馬架（繪馬是寫有願望和祈求的許願小木板），沿御成道走過一片熱帶風貌的棕櫚林前往元宮。

<日本語仮訳>

青島神社：御成道

青島神社の本殿とかつての聖域があった元宮との間を結ぶ60メートルの道は、御成道と呼ばれており、元々は天皇と皇族のみが通るための道として 1907 年の皇太子嘉仁親王（大正天皇、1879-1926）行幸に合わせて整備されました。1960 年代末まで、皇族の参詣の折しか門が開けられることはありませんでした。1920 年に皇太子として訪問されたことで青島に初めて現代的な橋を渡すきっかけとなった昭和天皇の裕仁殿下（1901-1989）、1962 年に皇太子として神社に参拝された上皇の明仁殿下（1933- ）、そして戦後初の総理大臣である東久邇宮稔彦王（1887-1990）などが御成道をお歩きになりました

今日、このような皇族方のご足跡を追って参拝する人々は、門をくぐって願い事や祈りが書かれた絵馬がかけられた棚の間を通り抜けます。そこから道は檳榔の木が生えるジャングルのような森の中を通り、元宮に向かいます。

【タイトル】 青島神社：お清め

【想定媒体】 看板

<簡体字>

青島神社：净化仪式

为了以洁净的身心面对神明，在前往神社本殿（正殿）参拜前，需要先在神社内一个叫“手水舍”的水池旁完成净化仪式，即用那里的水钵及长柄水杓来洗手、漱口。手代表身体，口象征灵魂。

净化仪式步骤：

1. 微鞠一躬，然后上前至水钵边。
2. 从钵中舀一瓢水，倒一些在左手上。
3. 换手，将水杓交到左手，倒一些水在右手上。
4. 再次换手，左手窝起呈勺状，往里倒入适量水，捧水漱口。
5. 再次冲洗左手。
6. 竖起水杓，让杓中余水沿杓柄流下以清洗杓柄，以备后来者使用。
7. 将水杓放回水钵处。
8. 再次微鞠一躬，离开手水舍。

<繁体字>

青島神社：淨化儀式

為了以潔淨的身心面對神明，在進入神社本殿（正殿）參拜前，需要先在神社內一個叫「手水舍」的水池旁完成淨化儀式，即用那裡的水鉢及長柄水杓淨手漱口。手代表身體，口象徵靈魂。

淨化儀式步驟：

1. 微一鞠躬，然後上前至水鉢邊。
2. 從鉢中舀一瓢水，倒一些在左手上。

3. 換手，將水杓交到左手，倒一些水在右手上。
4. 再次換手，左手窩起呈勺狀，往裡倒入適量水，捧水漱口。
5. 再次沖洗左手。
6. 豎起水杓，讓杓中餘水沿杓柄流下以清洗杓柄，以便後面的人使用。
7. 將水杓放回水鉢處。
8. 再次微鞠一躬，離開手水舍。

<日本語仮訳>

青島神社：お清め

神社に入る際には、参拝者は本殿に進む前に身を清める儀式を行います。これは、神々に近づく前に、不純なものを体からも魂からも洗い流すために行われます。手水舎と呼ばれるお清めの場所には水盆があり、柄杓が置いてあるので、身体象徴である手を洗い、魂象徴である口をゆすぐことができます。

お清めの方法

1. 水盤に近づく前に軽くお辞儀をしましょう。
2. 柄杓に水盆の水を汲み、左手に水をかけましょう。
3. 柄杓を左手に持ち替えて、右手に水をかけましょう。
4. 再度持ち替えて、左手を丸めて水を注ぎ、口をすすぎましょう。
5. 再度左手を清めましょう。
6. 柄杓を垂直に持ち上げて、次の人のために残りの水で取っ手を洗いましょう。
7. 柄杓を水盆のところに返ししましょう。
8. 手水舎を離れる前に軽くお辞儀をしましょう。

【タイトル】 青島神社：天の平瓮

【想定媒体】 看板

<簡体字>

青島神社：天之平瓮

平瓮是一种不上釉的素烧陶盘，自弥生时代（公元前 300 年—公元 300 年）起便在日本被用作宗教器具。平瓮的记录最早见于公元 720 年完成的古代史书《日本书纪》，在传说中的日本首任天皇“神武天皇”的语录中被提及。神武天皇将平瓮描述为一种占卜工具，鼓励信徒在诵咒祈愿之前先借助它们清净身心，以利心愿达成。直到奈良时代(710-794)，日本宫廷都保持着使用平瓮占卜的习惯。此外，类似的陶盘也被用作供神的食器。

“元宫”出土了大量曾用于古代仪式中的平瓮。如今也有本地陶土烧制的平瓮可供来访者投掷占卜，一窥吉凶。首先，应面朝神社围栏外的圣地鞠躬两次，默思心愿；然后，将平瓮掷出。据说，如果盘子落在圣地范围内，愿望便能实现，且以摔碎为吉兆，喻示可以驱邪除恶。作为捐赠神社的香资，每个平瓮收费 200 日元。

<繁体字>

青島神社：天之平甕

平甕是一種不上釉的素燒陶盤，自彌生時代（西元前 300 年—西元 300 年）起便在日本被用作宗教器具。平甕首次出現在西元 720 年完成的古代史書《日本書紀》內，在傳說中的日本首任天皇「神武天皇」的話語裡被提及。他將平甕描述為一種占卜工具，鼓勵信徒在誦咒祈願之前先借助平甕清淨身心，以利心願達成。直到奈良時代（710-794），日本宮廷都保持著使用平甕占卜的習慣。此外，類似的陶盤也被用作供神的食器。

「元宮」出土了大量曾用於古代儀式中的平甕，如今也有當地陶土燒製的平甕可供參拜者投擲占卜，一窺吉凶。首先，應面朝神社圍欄外的聖地鞠躬兩次，默念心願，再將平甕擲出。據說，如果盤子落在聖地範圍內，願望便能實現；若摔碎則為吉兆，可以驅邪除惡。每個平甕收費 200 日圓，作為捐贈神社的香油錢。

<日本語仮訳>

青島神社：天の平瓮

平瓮は素焼きの皿の一種で、日本では弥生時代（300BCE-300CE）から宗教的な目的で使われてきました。720年に編纂された古代の日本に関する歴史書である『日本書紀』では、この皿は神話上の初代天皇である神武天皇によるものとされている言葉の中で言及されています。神武天皇は、平瓮を占いの道具であるとし、平瓮で心と体の両方を清めてから願いが叶うよう呪文を唱えることを勧めています。平瓮は奈良時代（710-794）には宮中で占いに使われ、またこれに似た土器の皿は神々に食べ物を供える時にも使われていました。

元宮では古代の祭祀で使われた同じような土器が大量に出土しており、参拝者は地元の粘土で作られた平瓮を神社の脇の柵越しに聖域に向かって投げることで運勢を占うことができます。皿を投げる前にまず聖域に向かって2回お辞儀をし、願い事を思い浮かべます。平瓮が聖域内に着地したら願いが叶い、皿が着地した瞬間に割れると開運厄除けと言われています。皿1枚につき神社に200円をお納めください。

【タイトル】 青島と神話

【想定媒体】 QR

<簡体字>**青岛与神话**

在日本的神话体系里，紧接在创世神话之后的，就是太阳女神“天照大神”如何派遣孙子“琼琼杵尊”从天界降临人世并统治世界的传说。这一系列神话确立了天皇一族血脉的神圣性。

在故事中，琼琼杵尊与木花咲耶姬（“咲”，音同“笑”）婚后生下三个孩子，其中两个就是“海幸彦”与“山幸彦”兄弟，哥哥海幸彦后来成长为捕鱼高手，弟弟则成了出色的猎人。一天，山幸彦提议兄弟俩暂时交换工具，体会一下彼此的行当。就这样，山幸彦带着哥哥的钓钩出海捕鱼，而海幸彦则尝试打猎。不料山幸彦弄丢了向哥哥借来的鱼钩，怎么也找不到。这时，一位名叫“盐椎”的老人出现，指点沮丧的山幸彦前往海神“绵津见”的宫殿里寻找。

山幸彦依言而行，在绵津见的宫殿里遇到了海神的女儿“丰玉姬”，两人坠入爱河。他们的婚姻也成为了陆地与海洋连接的象征。在绵津见的领地里度过了三年时光之后，山幸彦终于找回钓钩，决定回家将钓钩送还给兄长。他乘鰐蛟（鲨鱼）登岸，最终解决了当初导致他离开的兄弟嫌隙。此后，山幸彦和丰玉姬有了一个儿子，他便是后来日本神话中初代天皇“神武天皇”的父亲。

青岛神社将山幸彦、丰玉姬和盐椎神都作为神道教神明加以供奉。神社在每年1月的第二个星期一举办冬日祭“裸参り”（Hadakamairi；意为裸身参拜），演绎山幸彦自海神宫殿返回陆地时的场景：传说这位乘鰐蛟归来的神明登岸时受到了人们欢喜雀跃的热烈欢迎。参加庆典者浑身上下只围一条兜裆布，冲入冰冷的海浪中，完成身心的净化。本地人向来认为，青岛就是山幸彦与丰玉姬初次相会的地点。在本地版的神话中，两人相遇之处被描绘为“鸭子前来越冬的地方”。这便是青岛神社诸多古名中“鸭就宫”（意为“鸭子栖息的神社”）一名的由来。

<繁体字>**青島與神話**

在日本的神話體系裡，緊接在創世神話之後就是太陽女神「天照大神」如何派遣孫子「瓊瓊杵尊」從天界降臨人世並統治世界的傳說，這一系列神話確立了天皇一族血脈的神聖性。

在故事中，瓊瓊杵尊與木花咲耶姬結婚（「咲」，音同「笑」），後者誕下三個孩子，其中兩個就是海幸彥與山幸彥兄弟，哥哥後來成長為捕魚的高手，弟弟則成了出色的獵人。一天，弟弟山幸彥提議兄弟倆暫時交換工具，體驗一下彼此平時如何維生。就這樣，山幸彥帶著哥哥的釣鉤出海捕魚，而海幸彥則嘗試打獵。不料山幸彥弄丟了向哥哥借來的魚鉤，怎麼找也找不到。這時，來了一位名叫「鹽椎」的老人，指點沮喪的山幸彥前往海神「綿津見」的宮殿裡尋找。

山幸彥依言而行，在綿津見的宮殿裡遇到了海神的女兒豐玉姬，兩人墜入愛河。他們的婚姻也成為了陸地與海洋連接的象徵。在綿津見的領地裡度過了三年時光之後，山幸彥終於找回了釣鉤，選擇回家將釣鉤送還給兄長。祂乘鱷鮫（鯊魚）登岸，最終解決了當初祂離開導致的兄弟嫌隙。此後，山幸彥和豐玉姬有了一個兒子，祂便是後來日本神話中初代天皇「神武天皇」的父親。

青島神社將山幸彥、豐玉姬和鹽椎神都作為神道教神明加以供奉。神社在每年1月的第二個星期一舉辦冬日祭「裸參り」（Hadakamairi；意為裸體參拜），重現山幸彥自海神宮殿回來時的場景：傳說這位乘鱷鮫歸來的神明登岸時受到了人們歡喜雀躍的熱烈歡迎。參加慶典者渾身上下只圍一條兜襠布，衝入冰冷的海浪中，完成身心的淨化。當地人向來認為，青島就是山幸彥與豐玉姬首次相會的地方。這個神話流傳於當地的版本中，倆人初會之處被描繪為「鴨子前來過冬的地方」。這便是青島神社諸多古名中「鴨就宮」（意為「鴨子棲息的神社」）一名的由來。

<日本語仮訳>

青島と神話

日本の神話には、天照大神が孫の瓊瓊杵尊を天から降ろして天下を治めるといふ天地創造神話に続く伝説があります。この一連の物語は天皇家の神系を確立するもので、瓊瓊杵尊は木花咲耶姫と結婚し、3人の子供を産みます。その中には、漁の達人となった海幸彦と狩猟の名人となった山幸彦の兄弟がいました。ある日、弟の山幸彦は2人の道具を交換してお互いの商売を知ろうと提案します。山幸彦は兄の釣り針で釣りに出かけ、海幸彦は狩りに挑戦します。ところが山幸彦は借りていた釣り針をなくしてしまい、どんなに探しても見つかりません。落ち込む山幸彦に塩椎という老人が訪ねてきて、海の神である綿津見の宮を探せと伝えます。

山幸彦は言われた通りにし、綿津見の宮で海神の娘・豊玉姫と出会います。2人は恋に落ち、2人の結婚は海と陸の結びつきを象徴するものになります。しかし3年間綿津見のもとで過ごした山幸彦は、ついに見つけた兄の釣り針を持ち帰るために故郷に戻ることを選びます。山幸彦は鮫に乗って岸まで行き、家出の原因となった兄弟間の対立に決着をつけます。山幸彦と豊玉姫の間には息子が生まれますが、この息子は後に神話上の初代天皇である神武天皇の父となります。

青島神社は、山幸彦、豊玉、塩槌神の三神を祀っています。毎年1月の第2月曜日に行われる「裸参り」は、山幸彦が海神の宮殿から帰ってきた際に、鮫に乗った山幸彦の上陸を群衆が大喜びで迎えたと言われる光景を再現するものです。ふんどし姿の参加者は、冷たい波の中に駆け込んで身を清める儀式を行います。また、当地の言い伝えでは青島は山幸彦と豊玉姫が初めて出会った場所とされており、地元版の神話では、この彼らの出会いの場は「鴨が冬を越す場所」と表現されています。これが青島神社の古名の1つである「鴨就宮」（「鴨が休む神社」の意）の由来となっています。

【タイトル】 青島神社

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>**青島神社****历史**

自古以来，青島这座神圣的岛屿就被视为神明的居所而倍受崇拜。早在平安时代(794-1185)，岛上就建起了首座宗教设施。江户时代(1603-1867)，饫肥藩（“饫”，音同“玉”；今宫崎县南部海岸地区）藩主接过了维护和发展神社的职责，才令它拥有了如今的面貌。直到1737年禁令解除之前，除神社神官和达官贵人之外，任何人都不得踏足这座岛屿的神圣海岸。

神明

青島神社供奉着三位神明：山幸彦、丰玉姬和盐椎神。关于山幸彦和丰玉姬的爱情故事，在成书于公元8世纪的日本神话及历史书籍《古事记》中就有记载。传说，狩猎高手山幸彦和海神的女儿丰玉姬是日本第一位天皇“神武天皇”的祖父母。在这则故事中，盐椎神是这对爱侣的月老。

节庆

青島神社全年举办各种祭典活动。春祭、秋祭的规模较小，夏祭、冬祭则会吸引大量居民与游客参与。夏祭在每年的阴历六月十七、十八日举办，公历约介于7月中旬至8月上旬之间，其特色在于船队的环岛游行。届时，领头船上会安放一架“神舆”（神轿）。待祭典结束，再由一些身强力壮的年轻人将神舆抬回岸上。夏祭主要祈求五谷丰登、渔猎丰收，是青島神社最热闹的祭典，场面十分壮观。

冬祭则着重再现山幸彦神话故事中的场景。神话中，山幸彦前往海神宫殿，遇到了海神的女儿丰玉姬，这对爱侣在海神宫里共同生活了三年，但最终，山幸彦还是乘着鳄蛟（鲨鱼）返回了陆地上的家园。登岸时，他受到了民众的热烈欢迎。这个“裸参り”（Hadakamairi；意为裸身参拜）祭典于每年1月的第二个星期一举行，参加者全身只围一条兜裆布冲入冰冷的海浪中，以净化自身的方式迎接神明归来。

岛屿

青岛周长约 1.5 公里，几乎完全被丛林般的植被覆盖。岛上 226 种野生植物中，有 27 种为热带或亚热带植物，其中最为常见的是棕榈科的蒲葵(Livistona chinensis)，数个世纪以来，它与这座岛屿的关系一直十分密切。青岛四周被形态奇异的岩石包围，本地人称之为“魔鬼的搓衣板”，因为远远看去，它们就像是一块巨大的搓衣板。数百万年前，这些岩体因地壳运动和地壳抬升而露出海面，经过海浪的侵蚀雕琢，最终形成了如今的波状地貌。

<繁体字>

青島神社

歷史

自古以來，青島這座神聖的島嶼就被視作神明的居所而受到崇拜。早在平安時代（794-1185），島上就建起了第一處宗教設施。江戶時代（1603-1867），由飫肥藩（「飫」，音同「玉」；今宮崎縣南部海岸地區）藩主開始負責維護和發展神社後，它才擁有如今的面貌。直到 1737 年禁令解除前，這座島嶼的神聖海岸除神社神官和達官貴人之外，任何人都不得踏入。

神明

青島神社供奉著三位神明：山幸彥、豐玉姬和鹽椎神。8 世紀的《古事記》記錄著日本神話及歷史，其中就敘述了山幸彥和豐玉姬的愛情故事。狩獵高手山幸彥和海神的女兒豐玉姬，正是傳說中日本第一位天皇「神武天皇」的祖父母。在這則故事裡，鹽椎神是這對愛侶的月老。

節慶

青島神社全年舉辦各種祭典。春、秋祭規模較小，夏、冬祭則會吸引大量人群。夏祭在每年的陰曆六月十七、十八日舉辦，西曆約介於 7 月中旬至 8 月上旬之間，其特色是船隊的環島遊行。屆時，領頭船上會安放一架神輿。待祭典終了，再由一些身強力壯的年輕人將神輿抬回岸上。祈求五穀豐登、漁獵豐收的夏祭，是青島神社最熱鬧的祭典，現場十分壯觀。

冬祭則著重再現山幸彥神話故事中的場景。神話中，山幸彥前往海神宮殿，遇到了海神的女兒豐玉姬，這對愛侶在海神宮裡共同生活了三年，但最終，山幸彥乘著鱷鮫（鯊魚）回到了自己陸地上的家園。登岸時，祂受到了民眾的熱烈歡迎。這個「裸參り」（Hadakamairi，

意為裸體參拜) 祭典於每年 1 月的第二個星期一舉行, 參與的人全身只圍一條兜襠布衝入冰冷的海浪中, 以淨化自身的方式來迎接神明。

島嶼

青島周長約 1.5 公里, 幾乎完全被密林一般的植被覆蓋著。島上 226 種野生植物中有 27 種為熱帶或亞熱帶植物。而棕櫚科的蒲葵 (Livistona chinensis) 便是最常見的一種, 數個世紀以來與這座島嶼關係密切。青島四周環繞形態奇異的岩石, 當地人稱之為「魔鬼的洗衣板」, 因為遠遠看去就像是一塊巨大的搓衣板。數百萬年前, 這片海蝕平台因地殼運動和地殼抬升從海中升起, 而後經過海浪的侵蝕雕琢, 最終形成了如今的波狀地貌。

<日本語仮訳>

青島神社

歴史

古代より神聖な島である青島は、神の住処として崇拝されてきました。青島に初めて宗教施設が建てられたのは、平安時代 (794-1185) のことでした。その後江戸時代 (1603-1867) に飢肥藩 (現在の宮崎県南部沿岸地域) の大名が社殿の維持・拡張を担当するようになり、現在の形になりました。1737 年には、それまで神職や高官以外には禁止されていた島の神聖な岸辺への立ち入りが解禁されました。

御祭神

青島神社は、山幸彦・豊玉姫・塩槌神の三神を祀っています。山幸彦と豊玉姫の恋物語は、日本の神話と歴史を記した 8 世紀の歴史書である古事記に記されています。狩猟の名人である山幸彦と海神の娘である豊玉姫は、伝説の初代天皇である神武天皇の祖父母です。物語の中では、塩槌神がこの 2 人の恋人たちの縁を結んだとされています。

祭礼

青島神社では、年間を通して祭りが催されます。春と秋の例大祭の規模は小さめですが、夏と冬の例大祭には多くの人で賑わいます。夏祭は旧暦の 6 月 17 日、18 日 (現在の暦では 7 月中旬から 8 月初旬) に行われ、島を一巡りする船の行列が見ものです。最初の船に神輿を積み込みます。祭りの最後には、若くて元気な参加者たちによって神輿は岸まで担がれます。大変壮観で、青島神社の最も賑やかなこの夏祭りは、五穀豊穰を祈願して行われます。

冬祭りでは、山幸彦の神話の一場面を再現します。豊玉姫の父である海神の宮殿で姫と山幸彦が出会い、2 人は 3 年間宮殿で暮らしますが、やがて山幸彦は鯨の背に乗って故郷である陸へと帰っていきま

す。到着した山幸彦は大喜びの群衆に迎えられます。1月の第2月曜日に行われる「裸参り」では、ふんどし姿の参加者が寒波の中に駆け込み、神への挨拶の意味を込めて身を清めます。

島

青島は周囲約 1.5km の島で、ほとんどがジャングルのような森に覆われています。島には 226 種の植物が自生していますが、そのうち 27 種は熱帯・亜熱帯の植物です。その中でも最も一般的なのはビロウというヤシ科の木の種類で、古くから島と密接に関わってきました。青島は奇岩に囲まれており、遠くから見ると巨大な洗濯板に似ていることから、地元では「鬼の洗濯板」と呼ばれています。これらの岩石は、数百万年前に地殻変動や陸地の隆起によって海から出てきたものが、波の浸食によって現在のような畝状になったといわれています。

【タイトル】 青島神社：日向神話館

【想定媒体】 パンフレット

<簡体字>

青島神社：日向神话馆

在日本的神话体系里，紧接在创世神话之后的便是有关太阳女神“天照大神”派遣孙子自天界降临并治理人世的传说，这就是阐述日本皇室神圣血脉谱系的“日向神话”。青岛的日向神话馆以蜡像雕塑的方式，通过 12 个场景，生动展示了这一系列故事。

故事发生在日向国（今宫崎县）。公元 8 世纪，身处奈良（当时的日本首都）的学者们首次将这些神话传说整理成文。他们选择了日向国作为故事展开的地点，这很可能是因为日向国位于遥远的东南方，被认为是最接近东升旭日的地方，也就是说，是最接近神域的地方。它与太阳的关系从地名上就可以看出。“日向”，是进入现代社会以前，日本唯一以“日”入名的县级地方。

场景一

高高的天界里，神道教众神之中最伟大的太阳女神天照大神站在她的孙子“琼琼杵尊”面前。她命令孙子降入凡世，去统领他的人民，并递给他一把稻穗——这是日本的主要作物，也是财富的象征。另外三位坐着的神明也将三件神圣的宝物赠送给琼琼杵尊，分别是一柄宝剑、一面镜子和一块宝玉。这些物品代表着君权神授，依照传说，它们经由历代天皇传承至今，就是现在的皇室三神器“草薙剑”“八尺镜”和“八尺琼勾玉”。

场景二

自天界降临人间后，琼琼杵尊便遇见了山神“大山津见”的女儿木花咲耶姬（“咲”，音同“笑”），并向她求婚。大山津见同意了，但提出了一个条件：琼琼杵尊必须同时迎娶木花咲耶姬和她的姐姐“磐长姬”。琼琼杵尊拒绝了长得没那么漂亮的磐长姬，只接受了木花咲耶姬。大山津见这才说出，只有同时与他的两个女儿成婚，琼琼杵尊才能获得永远的幸福，而拒绝磐长姬则意味着他将失去永生的能力。琼琼杵尊这一命运攸关的选择，刚好解释了被视为现世神明的日本天皇为什么也会像普通人一样受生老病死之困。

木花咲耶姬很快便怀上了三胞胎，孰料琼琼杵尊不肯相信孩子是他亲生的。为了自证清

白，木花咲耶姬将自己锁在一间小屋里并放火烧屋，她坚信，神明的孩子不管在怎样的情况下都能够毫发无伤地顺利出世。这个故事与后世孕妇分娩时在产房周边点火的风俗有关，这一风俗普遍存在于古代亚洲的沿海地区，人们相信这样不但能洁净分娩的场地，还有助于促进产妇的血液循环，确保顺利分娩。

场景三

木花咲耶姬和琼琼杵尊的三个孩子都是男孩。其中，“山幸彦”和“海幸彦”分别成长为了出色的猎人和高明的渔夫。一天，山幸彦提议两人交换工具，体验一下彼此的行当。于是，山幸彦带着哥哥的钓钩出海捕鱼，海幸彦则尝试打猎。不料这枚借来的钓钩却被山幸彦弄丢了，怎么也找不到。无奈之下，他折断自己的宝剑，打造了许多新钓钩，但海幸彦始终不肯收下它们。

场景四

一位名叫“盐椎”的老翁找到了满心沮丧的山幸彦，指点他乘船出海，到海神“绵津见”的宫殿里寻找他哥哥的钓钩。

场景五

山幸彦来到海神绵津见的宫殿，爬上井旁的一棵大树，正巧遇到海神女儿“丰玉姬”的侍女前来井边打水。侍女发现了山幸彦，并将他带到丰玉姬面前，两人一见钟情。绵津见看重山幸彦的神族血统，认可了他们爱侣的关系。

在神话中，山幸彦爬的那棵树被描述为“香木”，多特指沉香或檀木等因为具有芬芳气味和药用价值而在古代亚洲拥有很高价值的树木。此外，丰玉姬侍女所拿的水壶和中国帝王宫廷里所用的一样装饰着珠宝。在公元8世纪的日本人眼里，中国皇帝是世界上最有权势的人。故事里诸如此类的细节，无不意在展现神明世界的光彩绚烂。

场景六

山幸彦受绵津见之邀，出席了一场在海神宫举办的盛筵。最终，他与丰玉姬成婚，两人幸福地生活在一起。在这里，你能看到丰玉姬就坐在为这对夫妻跳舞的舞者后面。

场景七

在绵津见的宫殿里度过三年之后，山幸彦渐渐心神不宁起来。他想起了自己出海的初衷，是要找回丢失的兄长的钓钩。丰玉姬于是请求父亲帮忙寻找。

场景八

海神绵津见为了帮山幸彦找钓钩，传令海中所有鱼类到宫中集合。除了嘴巴受伤的鲷鱼，其他鱼类都来到了宫殿。绵津见得知鲷鱼是因为钓钩受的伤，便将它传召了过来。

场景九

既然找回了兄长的钓钩，山幸彦便决定乘鳄蛟（鲨鱼）登岸回家。离开之前，丰玉姬告诉他，他们的孩子就要出生了，山幸彦应当为她在陆地上修造一座产房。绵津见则将一对可以控制潮汐的宝珠送给了山幸彦，作为饯别礼。

场景十

山幸彦想将钓钩还给海幸彦，可海幸彦拒绝接受，还威胁自己的弟弟。于是，山幸彦使用海神赠送的宝珠召来海潮。海幸彦几乎溺毙，最终屈服投降。

场景十一

山幸彦开始为妻子建造产房，可还没等完工，丰玉姬就到了临盆的时刻。她进入小屋分娩，恳求山幸彦在孩子出生前不要往里看。可山幸彦没能忍住诱惑，不料竟看到海神的女儿丰玉姬变成了一头巨大的鳄蛟。真身被发现，丰玉姬满心痛苦地回到海中，留下了她刚刚出生的孩子。这个孩子就是“鸕鷀草葺不合尊”，他由丰玉姬的妹妹“玉依姬”抚养长大，后来迎娶玉依姬为妻。

这一幕场景描绘了丰玉姬与儿子的告别。地上的黑色羽毛是山幸彦搜集的鸕鷀羽毛，它们被认为能够帮助孕妇顺利分娩，原本是准备铺在那座没能及时完工的产房屋顶上的。使用鸕鷀捕鱼是日本古代的一种捕鱼方式，渔民训练鸕鷀将捕到的鱼保留在喉部的囊袋里，过后再吐出来交给渔民。这些鸟儿快速反刍吐出鱼的过程被视为顺利生产的象征，因此，日本古代女子在分娩时经常会将一根鸕鷀羽毛放在身边。而丰玉姬产房的屋顶全部使用这种羽毛铺就，表达的是神明的神圣尊贵。

场景十二

鸕鷀草葺不合尊和妻子玉依姬共有四个儿子。在这一幕场景里，孩子们已经长大，最小的儿子带着哥哥们开启了征服全日本的征程。他们从日向国出发向东前进，在不断的战斗中打败了众多对手，一直来到了如今奈良县所在的地区。在那里，小儿子建立起一个政权，宣布自己为“神武天皇”，成为日本的第一位统治者。

<繁体字>

青島神社：日向神話館

在日本的神話體系裡，緊接在創世神話之後的就是有關太陽女神「天照大神」派遣孫子自天界降臨並治理人世的傳說，這就是闡述日本皇室神聖血脈譜系的「日向神話」。青島的日向神話館以蠟像雕塑的方式，透過 12 個場景展示這一系列故事。

故事發生在日向國（今宮崎縣）。西元 8 世紀，身處奈良（當時的日本首都）的學者們首次將這些神話傳說整理成文，他們之所以選擇日向國作為故事展開的地點，是因為日向國位於遙遠的東南方，那裡被認為是最接近東升旭日的地方，也就是最接近神域的地方。這種與太陽的關聯從地名中就能看出。「日向」是進入現代社會以前，日本唯一以「日」命名的縣級城鎮。

場景一

高高的天界裡，神道教眾神之中最偉大的太陽女神天照大神站在她的孫子「瓊瓊杵尊」面前。她命令孫子降入凡世，去統領人民，並遞給祂一把稻穗——這是日本主要的作物，也是財富的象徵。三位坐著的神明也將三件神聖的寶物贈送給了瓊瓊杵尊：一柄寶劍、一面鏡子和一塊寶玉。這些物品代表著君權神授，並且依照傳說，歷經代代天皇交接傳承一直保留到了今日，便是如今的皇室三神器「草薙劍、八咫鏡、八咫瓊勾玉」。

場景二

自天界降臨人間後，瓊瓊杵尊便遇見了山神「大山津見」的女兒木花咲耶姬（「咲」，音同「笑」），並向她求婚。大山津見同意了，但提出了一個條件：瓊瓊杵尊必須同時迎娶木花咲耶姬和她的姐姐磐長姬。瓊瓊杵尊拒絕了沒那麼漂亮的磐長姬，只接受了木花咲耶姬。大山津見於是說，只有同時與祂的兩個女兒成婚，瓊瓊杵尊才能獲得永遠的幸福，而拒絕磐長姬則意味著祂將失去永生的能力。瓊瓊杵尊在這一命運攸關的選擇，剛好解釋了被視為現世神明的日本天皇為什麼也會像普通人一樣，身受生老病死之苦。

木花咲耶姬很快便懷上了三胞胎，孰料瓊瓊杵尊不肯相信孩子是祂親生的，為了自證清白，木花咲耶姬將自己鎖在一間小屋裡並放火燒屋，她堅信神明的孩子不管在怎樣的情況下都能夠毫髮無傷地順利出世。這個故事與後世孕婦分娩時在產房周邊點火的風俗有關，這一風俗普遍存在於古代亞洲的沿海地區，人們相信這樣不但能潔淨分娩的場所，還有助於促進產婦的血液循環，確保順利分娩。

場景三

木花咲耶姬和瓊瓊杵尊的三個孩子都是男孩。其中，山幸彥和海幸彥分別成長為了一名出色的獵人和一名高明的漁夫。一天，山幸彥提議兩人交換工具，體驗一下彼此平時如何維生。就這樣，山幸彥帶著哥哥的釣鉤出海捕魚，海幸彥則嘗試打獵。不料這枚借來的釣鉤被山幸彥弄丟了，怎麼也找不到。無奈之下，祂折斷自己的寶劍，打造了許多新的釣鉤，可是海幸彥始終不肯收下這些釣鉤。

場景四

一位名叫「鹽椎」的老翁找到了滿心沮喪的山幸彥，指點祂乘船出海，到海神「綿津見」的宮殿裡尋找祂哥哥的釣鉤。

場景五

山幸彥來到海神綿津見的宮殿，爬上井旁的一棵大樹，正巧遇到海神女兒豐玉姬的侍女前來井邊打水，侍女發現了山幸彥，並將祂帶到豐玉姬面前，倆人就這樣相愛了。綿津見看重山幸彥的神族血統，認可了兩位愛侶的關係。

在神話中，山幸彥爬的那棵樹被描述為「香木」，那是沉香或檀木等因為具有芬芳氣味和藥用價值而在古代亞洲是擁有很高價值的樹木。豐玉姬侍女所拿的水壺和中國帝王宮廷裡所用的一樣裝飾著珠寶。在西元8世紀的日本人眼裡，中國皇帝是世界上最具有權勢的人。故事裡諸如此類的細節，無不意在展現神明世界的光彩絢爛。

場景六

山幸彥受綿津見之邀，出席了一場在海神宮舉辦的盛筵。最終，與豐玉姬成婚，倆人幸福地生活在一起。在這裡，你能看到豐玉姬就坐在為這對夫妻跳舞的舞者的後面。

場景七

在綿津見的宮殿裡度過三年之後，山幸彥漸漸心神不寧起來。祂想起了自己出海的初衷是要找回丟失的兄長的釣鉤，豐玉姬於是請求父親幫忙尋找。

場景八

海神綿津見為了幫山幸彥找釣鉤，傳令海中所有的魚類到宮中集合。其中只有嘴巴受傷的鯛魚沒有到。綿津見得知鯛魚因釣鉤而受傷，便傳召其前來。

場景九

既然找回了兄長的釣鉤，山幸彥便決定乘鱷鮫（鯊魚）登岸回家。離開之前，豐玉姬告訴她，他們的孩子就要出生了，山幸彥應當為她在陸地上修造一座產房。綿津見則將一對可以控制潮汐的寶珠送給了山幸彥，作為餞別禮。

場景十

山幸彥想將釣鉤還給海幸彥，可是海幸彥拒絕接受，還威脅自己的弟弟。山幸彥便使用海神贈送的寶珠召來海潮，海幸彥幾乎溺斃，終於還是屈服了。

場景十一

山幸彥開始為妻子建造產房，可還沒等到完工，豐玉姬就要臨盆了。她進入小屋生產，懇求山幸彥在孩子出生前不要往小屋裡看。可山幸彥沒能忍住誘惑，於是看到海神的女兒豐玉姬變成了一隻巨大的鱷鮫。真身被發現後豐玉姬滿心痛苦地回到海中，留下了她剛剛出生的孩子。這個孩子就是「鸕鷀草葺不合尊」，由豐玉姬的妹妹玉依姬撫養長大，後來迎娶她為妻。

這一幕場景描繪了豐玉姬與兒子的道別，地上的黑色羽毛本是山幸彥搜集來準備鋪在那座沒能及時完工的小屋上。那是鸕鷀的羽毛，被認為能夠幫助孕婦順利分娩。鸕鷀捕魚是日本古代的一種捕魚方式，訓練鸕鷀將捕到的魚保留在喉部的囊袋裡，過後再吐出來交給漁民。這些鳥兒快速反芻吐出魚的過程被視為順利生產的象徵。因此，日本古代女子在分娩時常會將一根鸕鷀羽毛放在身邊。在故事裡，豐玉姬產房的屋頂全部使用這種羽毛來鋪，展現了神明的神聖尊貴。

場景十二

鸕鷀草葺不合尊和妻子玉依姬共有四個兒子。在這一幕場景裡，孩子們已經長大，最小的兒子帶著哥哥們開啟了征服全日本的征程。他們從日向國出發向東前進，在不斷的戰鬥中打敗了許多對手，一直來到了如今奈良縣所在的地區。在那裡小兒子建立起一個政權，宣佈自己為神武天皇，成為日本第一位統治者。

<日本語仮訳>

青島神社：日向神話館

日本神話には、天地創造神話に続き、天照大神が孫を天から降ろして天下を治めたという伝説があります。青島神社の「日向神話館」では、蠟人形を使って天皇家の系譜に関する物語（日向神話）を12の場面で表現しています。

物語の舞台は日向国（現在の宮崎県）です。8世紀当時首都であった奈良で学者たちが最初に神話を記した際、遠く南東にある日向は太陽の昇る場所、ひいては神々の領域に最も近い場所とされていたため、この地を舞台に選んだと考えられます。この太陽との結びつきは地名にも表れています。日向は、近世日本で唯一「日」の文字が名前に入った場所でした。

場面 1

天高く、神道の神々の中で最も偉大な太陽神・天照大神が、孫の瓊瓊杵尊の前に立ちはだかります。天照大神は瓊瓊杵尊に地上に降りて人々を支配するように命じ、日本の主食であり繁栄の象徴でもある稲穂を渡します。座っていた3柱の神々は瓊瓊杵尊に草薙剣・八咫鏡・八咫瓊勾玉という3つの神聖な宝物を授けます。これらの品々は神の支配を意味し、伝説によれば、天皇から天皇へと受け継がれ、現在の皇室の三種の神器となっています。

場面 2

天から降りた瓊瓊杵尊は、山の神である大山津見の娘、木花咲耶姫と出会い、結婚を申し込みます。大山津見はこれに同意しますが、木花咲耶姫だけでなく姉の磐長姫とも結婚するならばという条件を出します。しかし、瓊瓊杵尊は、木花咲耶姫だけを選び、器量の良くない磐長姫を拒絶します。大山津見は、2人の娘と結婚すれば瓊瓊杵尊は永遠の幸せを手に入れることができたが、磐長姫を拒否したことで、瓊瓊杵尊は不老不死を失ったと明かします。瓊瓊杵尊のこの運命的な選択は、生ける神とされる日本の天皇が、なぜ普通の人間と同じように寿命を持たねばならなかったかという理由を説明するものです。

木花咲耶姫はすぐに3つ子を妊娠しますが、瓊瓊杵尊はそれが自分の子供であると認めようとしませんでした。木花咲耶姫は自分の正しさを証明するために、神の子供はどんなことがあっても無傷で生まれてくるという確信に基づいて、自分自身を小屋に閉じ込め火をつけます。この物語は、古代の海域アジア全体で行われていた、その場を浄め、母親の血行を良くするとして出産に使われる建物の周りに火を灯すという伝統の由来になっています。

場面 3

木花咲耶姫と瓊瓊杵尊の3人の子供は全員男の子でした。その中に、狩猟の達人に成長した山幸彦と漁の名人になった海幸彦がいました。ある日、山幸彦は道具を交換してお互いの商売を知ろうと提案します。山幸彦は兄の釣り針で釣りに出かけ、海幸彦は狩りに挑戦します。しかし、山幸彦は借りていた釣り針をなくしてしまい、どんなに探しても見つかることができません。山幸彦は剣を折って新しい釣り針を何本も作りますが、海幸彦は受け取りませんでした。

場面 4

絶望した山幸彦のもとに、塩槌という老人が訪ねてきて、船に乗り込み、海の神である綿津見の宮で兄の釣り針を探すように言います。

場面 5

海の神である綿津見の宮殿に到着した山幸彦は、井戸のそばの木に登ります。そこへ綿津見の娘である豊玉姫に使える女官（従者）が井戸に水を汲みに来ます。彼女は山幸彦に気づき、豊玉姫に山幸彦を紹介し、2人は恋に落ちます。綿津見は、山幸彦の神聖な血統を理由に、2人の関係を認めます。

神話では、山幸彦が登った木を「芳しい」と表現していますが、これは沈香や白檀など、古代アジアでは香りや薬効が高く評価されていた木を指しています。また、豊玉の従者が持っていた水差しは、8世紀の日本人から見れば世界の権力者であった中国の皇帝の宮廷で使われていた宝石が付いているものと同様のものです。このような細部は、神々の世界の素晴らしさを伝えるためのものでした。

場面 6

山幸彦は、綿津見の宮殿の盛大な宴に招かれます。山幸彦はのちに、2人をもてなすための踊り子の後ろに座っていた豊玉と結婚し、2人は幸せに暮らします。

場面 7

綿津見の宮殿で3年間暮らした山幸彦は、不安を募らせているように見えます。山幸彦は、なくした兄の釣り針を取り返すために海に出たことを思い出していたのです。豊玉は父親に釣り針を探すのを手伝ってほしいと頼みます。

場面 8

海の神である綿津見は、山幸彦が探している釣り針を見つけようと、海中の魚たちを宮中に集めるように命じます。すると口を痛めたという鯛を除いて、すべての魚が集まってきました。その怪我は釣り針が引っかったことによるものだとわかったので、綿津見は鯛を呼び寄せました。

場面 9

なくした兄の釣り針を取り戻した山幸彦は、鯨に乗って岸に戻ることにしました。山幸彦が出立する前に、豊玉はもうすぐ子供が生まれるので産屋を建てて欲しいと伝えます。餞別として、綿津見は山幸彦に潮を操る一对の宝珠を授けました。

場面 10

山幸彦は釣り針を海幸彦に返そうとしますが、海幸彦は受け取ることを拒否し、弟を脅します。山幸彦は海の神からもらった宝珠を使って潮を呼び込み、海幸彦は溺れかけますが、ついに屈服します。

場面 11

山幸彦は妻のために産屋を建て始めますが、完成前に妻が産気づきます。中に入った豊玉は、山幸彦に「子供が生まれる前の自分を見ないでくれ」と懇願します。しかし、山幸彦は誘惑に抗えず、海の娘である豊玉が巨大な鮫に変身しているのを見てしまいます。本当の姿を知られてしまった豊玉は、生まれたばかりの赤ん坊を残して嘆き悲しみながら海へと帰っていきます。子供の鷓鴣草葺不合尊は、豊玉の妹である玉依姫に育てられますが、この 2 人は後に結婚します。

この場面では、子供に別れを告げる豊玉姫の姿が表現されています。地面の黒い羽は、山幸彦がお産までに完成させられなかった産屋の屋根に使われたもので、安産の縁起物とされていた鶺鴒の羽です。古代日本で行われていた鶺鴒飼漁では、鶺鴒がのどで魚を捕まえ、その魚を漁師のために吐き出す訓練をします。魚を吐き出すのが早いことから鶺鴒は安産の象徴になり、女性はお産の際には鶺鴒の羽を近くに置くようになりました。豊玉の産屋の屋根全体がこの羽で作られていたことは、神の偉大さを象徴しています。

場面 12

鷓鴣草葺不合尊と妻の玉依姫には 4 人の息子がいました。成長した兄弟たちは末っ子に率いられて日本統一の旅に出ますが、この場面ではその様子が描かれています。日向から東進し、多くの敵と戦いながら、現在の奈良県にたどり着きます。そこで末っ子が政権を樹立し、自らを神武天皇であると宣言して、日本の最初の統治者となったのです。

【タイトル】 江田神社：禊の神話

【想定媒体】 QR

<簡体字>

江田神社：“禊”的神话

日本创世神话的核心人物是“伊邪那岐命”和“伊邪那美命”，这是一对兄妹，也是日本最早的夫妻，他们结合之后，伊邪那美命便产下了日本列岛各岛和住在岛上的众神。伊邪那美命因生育火神死去，她的兄长无法承受这样的悲痛，试图将她从黄泉带回。可当伊邪那岐命找到妹妹时，伊邪那美命却告诉他，自己已经无法回到生者的世界了，因为她已经吃下了亡灵世界的食物。后来，伊邪那岐命在黄泉众神的追击下逃走，最后用一块巨大的圆石封闭了两个世界之间的通道。

回到生者的世界后，伊邪那岐命急于洗去在黄泉受到的污染，于是脱去衣物，全身没入水中清洗身体。在这场洗濯净化（即“禊”，音同“戏”）的过程中诞生了许多神明，其中包括神道教众神中最重要三位大神：太阳女神“天照大御神”；黑夜之主，月神“月读命”；海洋与风暴之神“建速须佐之男命”。

在日本第一部历史著作《古事记》的记载中，伊邪那岐命的这一次“禊”就发生在日向国（今宫崎县）。公元8世纪，身处奈良（当时的日本首都）的学者完成了对创世神话的首次编辑整理，他们选择了日向国作为故事发生的地点，这或许是因为它位于遥远的东南方，被认为是最接近东升的旭日——也就是最接近神域的地方。按照书中叙述，伊邪那岐命是在一处河口进行的洗濯净化，河岸边是一片葱翠的原野，生长着四季常青的草木。这个地点是永生的象征，并不具体指向现实世界里任何特定的地点，只是后来人们将它附会到了日向国的许多地方。江田神社一带就是其中之一，神社因供奉伊邪那岐命和伊邪那美命而引来了许多祈求良缘的参拜者。

<繁体字>

江田神社：「禊」的神話

日本創世神話的核心人物是「伊邪那岐命」和「伊邪那美命」，這是一對兄妹，也是日本最早的夫妻，他們的結合令伊邪那美命產下了日本列島各島和住在島上的眾神。伊邪那美

命因生育火神死去，她的兄長無法承受這樣的悲痛，試圖將她從黃泉帶回。可當伊邪那岐命找到妹妹時，伊邪那美命卻告訴她，自己已經無法回到生者的世界了，因為她已經吃下了亡魂世界的食物。後來，伊邪那岐命在黃泉眾神的追擊下逃走，最後用一塊巨大的圓石封閉了兩個世界之間的通道。

回到生者的世界後，伊邪那岐命急於洗去在黃泉受到的污染，於是脫去衣物，沒入水中清洗身體。在這場洗濯淨化（即「禊」，音同「戲」）的過程中誕生了許多神明，其中包括神道教眾神中最重要三位大神：太陽女神「天照大御神」；黑夜之主，月神「月讀命」；海洋與風暴之神「建速須佐之男命」。

在日本第一部歷史著作《古事記》中，伊邪那岐命的這一次「禊」就發生在日向國（今宮崎縣）。西元8世紀，身處奈良（當時的日本首都）的學者完成了對創世神話的首次編輯整理，他們之所以選擇日向國作為故事發生地，或許是因其位於遙遠的東南方，那是被認為最接近東升旭日、即最接近神域的地方。按照書中敘述，伊邪那岐命在一處河口洗濯淨化，河岸邊是一片蔥翠的原野，生長著四季常青的草木。這個地點是永生的象徵，而不具體指向現實世界裡任何特定的地點，只是後來人們將此處附會到了日向國的許多地方。江田神社一帶就是其中之一，神社因供奉伊邪那岐命和伊邪那美命而引來了許多祈求良緣的參拜者。

<日本語仮訳>

江田神社：禊の神話

日本の創造神話は伊邪那岐命と伊邪那美命という兄と妹の神を中心とする物語で、2人は日本最初の夫婦とも言われています。2人が結ばれたことによって、日本列島の島々とそこに住まうさまざまな神々が生まれました。伊邪那美命は火の神を産む際に亡くなり、悲しみに耐えかねた兄は伊邪那美命を黄泉の国から救い出そうとします。しかし、伊邪那岐命が妹のもとへ行くと、伊邪那美命は死者の国で作られた食べ物を食べてしまったため、生者の世界には戻れないと言います。伊邪那岐命は黄泉の国の神々に追われながら逃げ出し、巨大な岩で2つの世界の間の通路を封印します。

生者の世界に戻ると、冥府の汚れを洗い流そうと必死になった伊邪那岐命は、服を脱ぎ捨て、水に身を浸して体を清めます。この「禊」の結果、神道の三大神と呼ばれる太陽の女神である天照大御神、月の神であり夜の主である月読命、そして海と嵐の神である須佐之男命など、さまざまな神が誕生します。

日本最古の歴史書である『古事記』には、伊邪那岐命の「禊」は日向国（現在の宮崎県）で行われたと記されています。8世紀に学者たちが当時の首都であった奈良で最初に創造神話をまとめた際には、遠く南東方向にある日向は、昇る太陽、ひいては神々の領域に最も近い場所とされていたため、日向を選んだと考えられます。禊の場所は、常緑樹が生い茂る青々とした平原が広がる河口とされています。この場所は、現実世界の特定の場所ではなく、永遠の命を象徴する場所でしたが、後に日向の様々な場所

と結びついていきました。その一つが伊邪那岐命と伊邪那美命を祀る江田神社の周辺であり、この神社には良縁を求める参拝者が多く訪れます。

【タイトル】 江田神社の歴史

【想定媒体】 看板

<簡体字>

江田神社的历史

江田神社是宫崎县最古老的宗教场所之一，相关记录可追溯至公元 9 世纪。自奈良时代 (710-794)到 11 世纪，日向国（今宫崎县）共设有 16 个驿站，其中之一就在江田村落。这些驿站既是行政管理机构，也是文化交流中心。供职驿站的都是受过教育的政府官员，奈良时代的政府官员必须修读权威史书，这一时期首次整理成文并得到官方认可的创世神话也在其中。相传江田神社最初建在江田驿站内，驿站官员很可能影响到了神社对所供神明的选择——“伊邪那岐命”和“伊邪那美命”是神道教的创世神明，也是日本神话中的重要角色。

进入 12 世纪，中央集权削弱，江田驿站随之式微，但神社依然得到了本地社会的支持。它曾在 1662 年的一次地震中严重受损，后迁至新址。1868 年明治维新后，明治天皇(1852-1912)的新政府奉神道教为国教，鼓励崇拜并维护如江田神社般与本土神话有关的地方。

<繁体字>

江田神社的歷史

江田神社是宮崎縣最古老的宗教場所之一，相關記錄可追溯至 9 世紀。自奈良時代 (710-794) 到 11 世紀，日向國（今宮崎縣）的 16 個驛站中就有 1 個設在江田村落。這些驛站既是行政管理機構，也是文化交流中心。任職驛站的都是受過教育的政府官員，奈良時代的政府官員必須修讀權威史書，這一時期首次整理成文並得到官方認可的創世神話也在書單中。相傳江田神社最初就建在江田驛站內，驛站官員很可能影響了神社對供奉神明的選擇——「伊邪那岐命」和「伊邪那美命」是神道教的創世神明，也是日本神話中的重要角色。

進入 12 世紀，中央集權削弱，江田驛站隨之式微，但神社依然得到了當地社群的支持。神社曾在 1662 年的一次地震中嚴重受損，後遷至新址。1868 年明治維新後，明治天皇（1852-1912）新政府奉神道教為國教，鼓勵崇拜並維護如江田神社般與本土神話有關的地方。

<日本語仮訳>

江田神社の歴史

江田神社は、宮崎県で最も古い宗教施設の 1 つで、9 世紀にまで遡る記録が残っています。奈良時代（710-794）から 11 世紀にかけて、江田集落は日向国（現在の宮崎県）にあった 16 の駅の一つでした。駅には教育を受けた役人が常駐し、行政の拠点として、また知的交流の拠点として機能していました。奈良時代の役人は、この時期に初めて文書化された、日本の建国神話を記した公認の歴史書を学ぶことを義務付けられていました。江田神社は、もともとは江田駅の敷地内に建てられたとされているため、江田駅の役人が地域の神社の神格選定に影響を与えた可能性もあります。日本神話で重要な役割を持つ伊邪那岐命と伊邪那美命という神道の創造神を祀っているのは、これが理由なのかもしれません。

江田駅の重要性は、12 世紀に入り、中央集権国家の影響力が低下していく中で衰退していきますが、江田神社は地域の人々によって維持されていました。江田神社は 1662 年の地震で大きな被害を受け、元の場所から移築されました。1868 年の明治維新後、明治天皇（1852-1912）の新政府は、神道を国教として制度化し、江田神社のように土着神話にゆかりのある場所の参拝と整備を奨励しました。

【タイトル】 みそぎ池

【想定媒体】 看板

<簡体字>**禊之池**

“禊”（音同“戏”）是神道教的核心仪式之一，意思是洗濯净化，即在参拜前洁净身心，它与日本创世神话有关。神话里的“伊邪那岐命”和“伊邪那美命”兄妹是生育日本列岛及岛上众神的创世神明，不料妹妹意外身死，伊邪那岐命深入黄泉试图带回妹妹不成，返回人世后，他跳入河中洗涤黄泉污浊，诸多神明就此诞生，包括神道教的三位大神：太阳女神“天照大御神”；黑夜之主，月神“月读命”；海洋与风暴之神“建速须佐之男命”。

8 世纪，奈良的学者首次将日本神话整理成文，编为《古事记》一书。或许是出于心目中最接近日出及神域的考虑，他们将这次洗濯净化的地点放在了遥远东南一隅的日向国（今宫崎县）。故事中那个草木长青的河口只是永生的象征，却被后人附会到了日向国的好几个地方，其中就包括宫崎市内的“禊之池”。

<繁体字>**禊之池**

「禊」（音同「戲」）是神道教的核心儀式之一，意為洗濯淨化，即在參拜前潔淨身心，儀式與日本創世神話有關。神話裡的「伊邪那岐命」和「伊邪那美命」兄妹是生育日本列島及島上眾神的創世神明，不料妹妹意外身死，伊邪那岐命深入黃泉試圖帶回妹妹不成，回到人世後，祂跳入河中洗滌陰世污濁，從中誕生了諸多神明，包括神道教的三位大神：太陽女神「天照大御神」；黑夜之主，月神「月讀命」；海洋與風暴之神「建速須佐之男命」。

8 世紀，奈良的學者首次整理日本神話，編纂了《古事記》。或許是出於心目中最接近日出及神域之地的考慮，他們將這次洗濯淨化的地點放在了遙遠東南一隅的日向國（今宮崎縣）。故事中那個草木長青的河口本來只是永生的象徵，卻被後人附會到了日向國的好幾個地方，其中就包括宮崎市內的「禊之池」。

<日本語仮訳>

みそぎ池

神道の中心的儀式である「禊」（みそぎ）は、参拝の前に心身を浄めるために行われます。この慣習は、兄妹である伊邪那岐命と伊邪那美命という神が日本列島の島々とそこに住む神々を創造したとされる、日本の創造神話にも登場します。伊邪那美命は不慮の死を遂げてしまい、伊邪那岐命は妹を黄泉の国から連れ戻そうとしますが失敗し、生者の世界に戻る際、水に身を浸して死者の世界の汚れを洗い落とします。この「禊」により、神道で祀られるさまざまな神々が生まれますが、中でも最も重要な三神に、太陽の女神である天照大御神、月の神であり夜の主である月読命、そして海と嵐の神である須佐之男命がいます。

8世紀の識者たちが奈良で『古事記』の中の日本神話を最初に編纂した際に、遠く南東方向にある日向（現在の宮崎県）を舞台として選びました。禊は常緑植物が育つ緑豊かな平野に面した河口で行われたとされますが、この場所は永遠の命を象徴していましたが、後にここ宮崎市の「みそぎ池」など、日向のさまざまな場所と結び付けられるようになりました。

【タイトル】 住吉神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>**住吉神社**

住吉神社供奉三位重要的神道教神明：底筒之男命、中筒之男命、上筒之男命。他们是海洋和水手的保护神，合称“住吉三神”。在日本神话里，这三位神明都诞生于创世神明“伊邪那岐命”跳入水中所进行那第一次“禊”（音同“戏”）。在那场洗濯净化仪式中，还诞生了许多神明，也全都受供于此。遍布全国的 2000 多个住吉神社清楚地体现了海洋在日本生活和文化里的地位，以及“净化”神话在神道信仰中的重要性。

这座神社的创建时间不明，但通常认为它在数世纪中曾经历多次搬迁。显然，它过去的规模更大，特别是在明治天皇(1852-1912)将神道教定为国教，政府鼓励人们保护并发展本土神话相关场所的明治时代(1868-1912)。及至 1914 年，神社的人气已经足以支持铁路交通路线从最近的火车站延伸到此。1929 年之前，本地一个青年协会坚持使用手推车沿轨道帮助信徒往来神社。

<繁体字>**住吉神社**

住吉神社供奉三位重要的神道教神明：底筒之男命、中筒之男命、上筒之男命。他們是海洋和水手的保護神，合稱「住吉三神」。在日本神話裡，這三位神明都誕生於創世神明「伊邪那岐命」跳入水中進行的第一次「禊」（音同「戲」）。在那場洗濯淨化中還誕生了許多神明，他們全都被供奉於此。遍佈全國的 2000 多座住吉神社明證了海洋在日本生活、文化裡的地位，以及淨化神話對於神道信仰的重要性。

這座神社的創建時間不明，但通常認為在數世紀以來曾經多次搬遷。顯然，神社過去的規模更大，特別是在明治天皇（1852-1912）將神道教定為國教，政府鼓勵人們保護並發展本土神話相關場域的明治時代（1868-1912）。及至 1914 年，神社的人氣已足以支持鐵路交通路線自最近火車站延伸至此。1929 年之前，當地一個青年協會堅持使用手推車沿軌道幫助信徒往來神社。

<日本語仮訳>

住吉神社

住吉神社には、合わせて「住吉三神」と呼ばれ、海と船乗りの守護神として知られる神道の重要な三神である、底筒之男命、中筒之男命、上筒之男命が祀られています。日本の神話によると、これらの神々は創造神伊邪那岐命が水に身を浸して行った最初の「禊」の結果として生まれたとされています。伊邪那岐命の禊の結果、他の多くの神々も生み出され、それらの神々すべてがここに祀られています。日本の生活と文化における海、また神道信仰における禊の神話の重要性は、日本全国に 2,000 以上の住吉神社があるという事実によって証明されています。

この神社がいつ建てられたのかは定かではありませんが、何世紀にもわたって、何度も移転したと考えられています。過去において、特に明治時代（1868-1912）には、明治天皇（1852-1912）が神道を国教に制定し、住吉神社など古代神話に関連する場所での参拝や、その維持活動を奨励した住吉神社の境内は、現在よりもかなりの広さがありました。1914 年までに、住吉神社の人気は最寄駅から境内まで線路が延長されるほどまでに高まりました。1929 年まで、参拝客を神社に運ぶため、地元の青年協会のメンバーがこれらの線路に沿って荷車を押していました。

【タイトル】 宮崎神宮

【想定媒体】 QR

<簡体字>**宮崎神宮**

宮崎神宮是宮崎縣的神道教主要聖地。神宮供奉的“神武天皇”，是傳說中的日本首位天皇。在相關神話故事中，神武天皇首先統治了本地周邊地區，隨後一路東征，打敗敵對部落，終於在今天的奈良縣境內建立起了政權。

傳說神武天皇去世後即被奉為神明，受供於如今宮崎神宮所在地，但這座神宮的早期歷史目前尚不明朗。有關神社的最早記錄出現於鎌倉時代(1185-1333)，但直到 1868 年明治維新後，宮崎神宮的地位才得到極大的提升。明治天皇(1852-1912)的新政府鼓勵人們崇拜和保護與本土皇室血脈起源神話、傳說等相關的設施。現存神宮建築建於 1907 年，屋頂的設計和屋頂上突出的裝飾都借鑒了古代神社建築的“神明造”風格。神社選用日向特產狹野杉木而非更為常見的柏木建造，設計者是建築師伊東忠太(1867-1954)，東京的明治神宮也是他的作品。除本殿（正殿）外，占地 0.25 平方公里的神宮內還有其他幾座神社、一處庭園以及“宮崎縣綜合博物館”。

<繁体字>**宮崎神宮**

宮崎神宮是宮崎縣的神道教主要聖地。神宮供奉神武天皇，是傳說中的日本首位天皇。在相關神話故事中，祂最初統治著當地周邊地區，後來一路東征，打敗敵對部落，終於在今日的奈良縣境內建立起了政權。

傳說神武天皇去世後即被奉為神明，受供於如今宮崎神宮所在地，但這座神宮的早期歷史目前尚不明朗。有關神社的最早記錄出現於鎌倉時代（1185-1333），但直到 1868 年明治維新後，宮崎神宮的地位才得到極大的提升。明治天皇（1852-1912）的新政府鼓勵人們崇拜和保護與本土皇室血脈起源神話傳說等相關的設施，現存神宮建築建於 1907 年，屋頂的設計和屋頂上突出的裝飾都借鑒了古代神社建築的「神明造」風格。神社選用日向特產狹野杉木而非更為常見的柏木建造，由建築師伊東忠太（1867-1954）設計，東京的明治神宮也是他的作

品。除本殿（正殿）外，占地 0.25 平方公里的神宮内還容納著其他幾座神社，外加一處庭園以及「宮崎縣綜合博物館」。

<日本語仮訳>

宮崎神宮

宮崎神宮は、宮崎県における神道の主要な聖地です。日本初代の天皇、神武天皇を祀っており、伝説によれば、彼は周辺地域を支配したのち、東方へと向かい敵対する豪族を制圧し、現在の奈良県に政府を樹立したとされています。

神武天皇は死後神格化され、現在宮崎神宮が建つ場所に祀られたと言われていますが、その初期の歴史は不明です。この神宮は鎌倉時代（1185-1333）の記録に初めて登場しますが、1868 年の明治維新になってから注目されるようになりました。明治天皇（1852-1912）による新政府は、天皇家の起源にまつわる古代神話や伝説に関連した場所での参拝や、その維持管理を奨励しました。現在の建物は 1907 年に建てられました。突き出た装飾が施された屋根のデザインは、古代神社建築の神明造りに由来しています。一般的なヒノキではなく、日向の名材・狭野杉で建てられており、その構造は、東京の明治神宮も手がけた建築家、伊東忠太（1867-1954）が設計しました。広さ 0.25 平方キロメートルの境内には、本殿に加えて他のいくつかの神社、庭園、宮崎県総合博物館があります。

【タイトル】 宮崎神宮の歴史

【想定媒体】 看板

<簡体字>**宮崎神宮的历史**

相传，宫崎神宫是日本神话里首任天皇“神武天皇”的孙子所建，旨在供奉这位开国先祖及其父母。事实上，人们对这处圣地的早期历史所知不多，能够与今日神宫相关联的宗教场所记录最早可以追溯到镰仓时代(1185-1333)。宫崎神宫的地位提升，与 1868 年明治维新密切相关。这场维新终结了长达近 7 个世纪的武士政权，明治天皇(1852-1912)的新政府鼓励崇拜并维护与本土皇族血脉神话传说有关的场所。1907 年，神宫大规模扩建，相关建筑均依照古代神社建筑风格重建。此后神宫建筑及外观就几乎没再改变，只在 1940 年进一步扩大了占地面积。

来访者可沿主参道前往开放式的拜殿参拜。拜殿后方，与之一墙之隔的是币殿，币殿背后是正殿。占地 0.25 平方公里的神社内还有其他几处神社、一个庭园及一个“宫崎县综合博物馆”。

<繁体字>**宮崎神宮的歷史**

相傳，宮崎神宮是日本神話裡首任天皇「神武天皇」的孫子為供奉這位開國先祖及其父母而建。事實上，人們對這處聖地的早期歷史所知不多，能夠與今日神宮相關聯的宗教場所記錄最早可以追溯到鎌倉時代（1185-1333）。宮崎神宮的地位提升，與 1868 年明治維新息息相關。這場維新終結了長達近 7 個世紀武士政權，明治天皇（1852-1912）新政府鼓勵崇拜並維護與本土皇族血脈神話傳說有關的場域。1907 年，神宮大規模擴建，相關建築均依照古代神社建築風格重建。此後神宮建築及外觀就幾乎沒再改變，只在 1940 年進一步擴大了佔地面積。

參觀者可沿主參道前往開放式的拜殿參拜。拜殿後方與之一牆之隔的是幣殿，幣殿背後是正殿。占地 0.25 平方公里的神社内還有其他幾處神社、一座庭園及宮崎縣綜合博物館。

<日本語仮訳>

宮崎神宮の歴史

伝説によると、宮崎神宮は初代天皇である神武天皇の孫によって、この国の創設者である神武天皇および自身の両親を祀るために創建されました。とはいえ、この神社の初期の歴史はあまり知られておらず、現在の神宮に確実に結びつけられる宗教上の場所の最初の記録は、鎌倉時代（1185-1333）のものであります。宮崎神宮が有名になったのは、日本でほぼ7世紀におよぶ武士による支配が終わった、1868年の明治維新と同時期でした。明治天皇（1852-1912）による新政府は、天皇家の起源にまつわる古代神話や伝説に関連した場所での参拝や、その維持管理を奨励しました。1907年、神宮の境内は大幅に拡張され、その構造は古代神社建築に参考にした技法で再建されました。それ以来、建物と構成はほとんど変化していませんが、1940年に境内がさらに拡張されました。

参拝客は、神宮の参道の先にある拝殿で神々に祈ります。拝殿の先、塀の向こう側には幣殿があり、その後ろに本殿があります。広さ 0.25 平方キロメートルの境内には、他にもいくつかの神社、庭園、宮崎県総合博物館があります。

【タイトル】 宮崎神宮：五所稻荷神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>**宮崎神宮：五所稻荷神社**

“五所稻荷神社”供奉着五位与作物丰收、商业成功有关的神道教神明。这些神明最初都被单独供奉在宫崎神社的周围，直到 1868 年帮助明治天皇(1852-1912)重掌政权的明治维新之后，神宫扩张，才归于一处。明治政府十分看重与皇室血脉起源神话及传说有关的神社，当时，为了扩大这些具有权威性的神社，人们常将供奉其他本地神明的宗教设施迁移或合并。正是在这样的背景下，五所稻荷神社于 1871 年建立，将五位神道教神明归于一处供奉。它最初建在宫崎神宫本殿（正殿）的东侧，于 20 世纪早期本殿重建时迁到了如今的位置。附近几座醒目的红色鸟居是 1968 年为纪念明治维新 100 周年而增建。

<繁体字>**宮崎神宮：五所稻荷神社**

「五所稻荷神社」供奉著五位與作物豐收、商業成功有關的神道教神明。這些神明最初分散在宮崎神宮各處分別供奉，直到 1868 年幫助明治天皇（1852-1912）重掌政權的明治維新之後，神宮擴張才歸於一處供奉。明治政府十分看重與皇族血脈起源神話和傳說有關的神社，在當時為了擴大這些具有權威性的神社，常常將供奉其他當地神明的宗教設施遷移或予以合併。正是在這樣的背景下，五所稻荷神社於 1871 年建立，將五位神道教神明歸於一處供奉。它最初建在宮崎神宮本殿（正殿）的東側，於 20 世紀早期本殿重建時遷到了如今的位置。附近幾座醒目的紅色鳥居是 1968 年為紀念明治維新 100 週年而增建。

<日本語仮訳>**宮崎神宮：五所稻荷神社**

五所稻荷神社は、五穀豊穰と商売繁盛にかかわる神道五神を祀っています。明治天皇（1852-1912）が政治的権力を奪還した 1868 年の明治維新の後に宮崎神宮の境内が拡張される前は、こ

これらの神々は宮崎神宮周辺の別々の場所に祀られていました。明治政権は、天皇家の起源にまつわる古代神話や伝説に関連した神社を重視し、そうした権威ある神社の拡張のために、当地の神々を祀る聖域はしばしば移動されたり、統合されたりしました。五所稲荷は 1871 年に当地の五神を祀るために建てられたもので、そうした再編の一例です。当初は宮崎神宮本殿の東側にありましたが、本殿が再建された 1900 年代初めに本殿が再建された際に現在の場所に移築されました。1968 年、明治維新 100 周年を記念して、特徴的な赤い鳥居が近くに建てられました。

【タイトル】 宮崎神宮：白い藤

【想定媒体】 看板

<簡体字>**宮崎神宮：白花紫藤**

这株巨大的日本白花紫藤(*Wisteria floribunda f. alba*)树龄已超过 400 岁，是宫崎神宫庭园的一大亮点。它于 1907 年移来此处，当时正值神宫大规模扩张，各殿阁重建，一部分原来的森林被改造成了如今这座庭园。白花紫藤本是一名本地商人献给神宫的供奉品，自种下以来便被精心养护至今。紫藤主干上的分支向西南方向伸展逾 12 米，向东北方延伸约 6 米，是日本同类品种中最大的一株。这株紫藤已被指定为天然纪念物，每到 4 月中旬，便会绽放出馥郁的白花，长长的花簇挂满枝干。

<繁体字>**宮崎神宮：白花紫藤**

這株巨大的日本白花紫藤（*Wisteria floribunda f. alba*）樹齡已超過 400 歲，是宮崎神宮庭園的一大看點。紫藤於 1907 年移來此處，當時神宮大規模擴張各殿閣重建，一部分原來的森林則被改造成了如今這座庭園。這株白花紫藤本是一名當地商人獻給神宮的供奉品，自種下以來便被精心養護至今。紫藤主幹上的分枝向西南方向伸展逾 12 公尺，向東北方延伸約 6 公尺，是日本同類品種中最大的一株。這株紫藤已被指定為天然紀念物，每到 4 月中旬，便會綻放出馥郁的白花，長長的花簇掛滿枝幹。

<日本語仮訳>**宮崎神宮：白い藤**

樹齡 400 年以上と推定されるこの巨大なオオシラフジ（*Wisteria floribunda f. alba*）は、宮崎神宮庭園の見どころのひとつです。神社の境内が大幅に拡張され、その構造が再建された 1907 年に、藤は現在の場所に移され、当時は森林に覆われていたこのエリアは、庭園に変わりました。藤はある地元商人から神社へ寄進されたもので、それ以来丁寧に手入れされてきました。幹から南西に 12 メートル以

上、北東に約 6 メートル伸びる、日本最大級の藤です。天然記念物に指定されており、4 月中旬に枝に沿って長い房状に香り高い白い花を咲かせます。

【タイトル】 宮崎神宮：徴古館

【想定媒体】 看板

<簡体字>

宮崎神宮：徴古館

宮崎神宮徴古館（“以史证史之馆”）建于 1911 年，最初用于存放历史上被捐赠给神宫的艺术品、资料和其他宝贵物品。这座两层楼的建筑为折衷主义风格，在日本传统建筑的基础上融合了西式建筑的特点。它最重要的一大特征，就是被称为“海鼠壁”（又叫“生子壁”）的墙壁。这是一种墙面工艺，用浓稠的灰泥在黑色墙面上勾出白色菱形图案。采用这项工艺，最初是为了提高防火仓库土墙的防潮防水性，进入明治时代(1868-1912)后演变为对西式砖瓦水泥风貌的外观装饰的追求。作为登录有形文化财产，徴古馆如今依然是一处收藏设施，偶尔举办展览，但不再对游客开放。馆内大多数收藏已经转移到别的地方，比如相距不远的宫崎县综合博物馆。

<繁体字>

宮崎神宮：徴古館

宮崎神宮徴古館（「以史證史之館」）建於 1911 年，當時用於存放史上被捐贈給神宮的藝術品、文獻和其他珍貴物品。這座兩層樓的建築為折衷主義風格，在日本傳統建築的基礎上融合了西式建築的特點。其最重要的一大特徵，就是叫「海鼠壁」（又稱「生子壁」）的牆壁。這是一種牆面工藝，用濃稠的灰泥在黑色牆面上勾出白色菱形圖案。引入該工藝的目的，最初是為了提高防火倉庫土牆的防潮防水性，卻在明治時代（1868-1912）變成了追求西式磚瓦水泥風貌的外觀裝飾。被登錄為有形文化財產，徴古館如今是一處收藏設施，偶爾舉辦展覽，但不再對遊客開放。館內大多數收藏已經轉至他處，如相距不遠的宮崎縣綜合博物館。

<日本語仮訳>

宮崎神宮：徴古館

宮崎神宮徴古館（歴史がおのずから現れる館、の意）は、神社に寄進された美術品、資料、その他の貴重品を保管するために、1911年に建設されました。この2階建ての建物は、西洋の影響と日本の伝統建築を組み合わせた折衷的スタイルを持ち、最も特徴的なものの1つが「なまこ壁」です。黒いタイルの上に厚い漆喰の継ぎ目で作られた白縁のひし形パターンは、もともとは蔵の耐火性の土壁を水から保護するために考え出されたものですが、明治時代（1868-1912）には、レンガとモルタルの洋風の外観を実現するために使用されました。有形文化財に登録されている徴古館は、今も保管庫として、また時折展示のために使用されていますが、現在は一般公開されていません。コレクションの大部分は、近くの宮崎県総合博物館など他の場所に移されています。

【タイトル】 護國神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>**护国神社**

日本共有 52 座供奉 1868 年明治维新以来阵亡军人及其他军事相关人员亡灵的神社，宫崎县的护国神社就是其中之一。首开这类神社先河的，是建于 1869 年的东京招魂社（今靖国神社），其初衷是供奉在明治维新前的那场内战中为天皇而战的阵亡者。不久之后，天皇颁布敕令，各地纷纷建起类似的神社。

宫崎县由若干封建领主的领地合并而成，各地间缺乏共识，因此，这股为战争阵亡者修建神社的风潮直到 20 世纪 40 年代早期才波及到这里。二战期间死亡人数的不断攀升是促成该神社修建的主要因素。1945 年 8 月，日本投降，战争结束，刚启动的神社工程随着联合国军事力量的进驻而中断。驻军 1952 年撤离，神社 1955 年完工。社内供奉着 4 万多名出生于宫崎县的阵亡者。神社的小博物馆内展出部分家属捐赠的死者个人遗物等各类展品。

<繁体字>**護國神社**

宮崎縣的護國神社是日本 52 座供奉 1868 年明治維新以來陣亡軍人及戰爭相關逝者的神社之一。首開這類神社先河的是建於 1869 年的東京招魂社（今靖國神社），其初衷是供奉在明治維新前的那場內戰中為天皇戰鬥的陣亡者。一道天皇敕令很快頒布，各地都建起了類似的神社。

宮崎縣由若干封建領主的領地合併而成，各地間缺乏共識，因此，這股為戰爭陣亡者修建神社的風潮直到 1940 年代早期才擴及到此，二戰期間死亡人數不斷攀升促成了這座神社的建造。1945 年 8 月，日本投降戰爭結束，剛啟動的神社工程隨著聯合國軍事力量進駐而中斷。駐軍於 1952 年撤離，神社在 1955 年完工。社內供奉著 4 萬多名出生於宮崎縣的陣亡者。神社的小博物館內展出部分家屬捐贈的死者個人遺物及其他展品。

<日本語仮訳>

護国神社

宮崎県護国神社は、1868年の明治維新以来、戦争で亡くなった軍人やその他の軍関係者の御霊を祀る全国52の神社のひとつです。こういった神社の最初のもは、東京招魂社（現在の靖国神社）で、明治維新をもたらした内戦で天皇に仕えた人々を慰霊するため、1869年に建てられました。その後ほどなくして、天皇の勅令により全国に同様の神社が創建されました。

さまざまな藩主が治めた数多くの藩を統合してできた宮崎県の土地柄のため、地元の合意に至らず、宮崎に戦没者を祀る神社を建てる動きは1940年代初頭までずれ込みました。第二次世界大戦中に死者数が増加し、神社建設が始まりましたが、日本が降伏して戦争が終わった1945年8月時点でも、建設はほとんど着手されていませんでした。その後連合国による占領で建設は中止され、1952年に占領が終了した後の1955年、ついに宮崎県護国神社が完成しました。神社は現在、宮崎で生まれた4万人以上の人々の御霊を称えています。戦没者の家族から寄贈された所持品その他が、神社の境内の小さな博物館に展示されています。

【タイトル】 皇宮神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

皇宮神社

皇宮神社隶属于附近的宮崎神宮，同样与传说中的日本首任天皇“神武天皇”关系密切。神社里供奉着神武天皇、皇后“吾平津媛”和他们的两个儿子。

多个世纪以来，神社所在的小山一直是本地要地。山上第一座神社的出现时间已不可考，但到了江户时代(1603-1867)末期，随着天皇信仰的复兴和民众对古代神话的兴趣增长，这座小山被认定为神武天皇的宫殿旧址。传说神武天皇就是从这里出发，最终在如今的奈良县登基称皇。

1868 年明治维新之后，明治天皇(1852-1912)的新政府鼓励崇拜并维护与本土神话及皇室血脉起源传说有关的场所。1934 年，皇宮神社扩建。1940 年，正值二战期间，天皇崇拜最盛，一座巨大的石碑出现在参道附近，标志着神武发兵东征之处。1976 年，神社于现址完成重建。

<繁体字>

皇宮神社

皇宮神社隸屬於附近的宮崎神宮，同樣與傳說中的日本首任天皇「神武天皇」關係密切。神社供奉著神武天皇、皇后「吾平津媛」和祂們的兩個兒子。

多個世紀以來，神社所在的小山一直是當地要地。山上第一座神社的出現時間已不可考，但到了江戶時代（1603-1867）末期，隨著天皇信仰的復興和民眾對古代神話的興趣增長，這座小山被認為神武天皇的宮殿舊址。傳說神武天皇就是從這裡出發，最終在如今的奈良縣登基稱皇。

1868 年明治維新之後，明治天皇（1852-1912）的新政府鼓勵崇拜並維護與本土神話及皇室血脈起源傳說有關的場域。1934 年，皇宮神社擴建。1940 年，正值二戰期間，對天皇崇拜最為興盛，一座巨大的石碑出現在參道附近，標誌著神武發兵東征之處。1976 年，神社於現址完成重建。

<日本語仮訳>

皇宮神社

皇宮神社は近くにある宮崎神宮の管理下にあり、日本の初代天皇、神武天皇と密接なつながりがあります。神武天皇と妻である吾平津媛、その息子 2 人を祀っています。

神社が建つ丘は何世紀にもわたって、地元の重要な場所でした。ここに最初の神社がいつ建てられたかは不明ですが、天皇崇拝が復活し、日本の古代神話への関心が高まるにつれ、江戸時代の終わりまでに、この丘には神武天皇の皇居があったとされました。神武天皇はここから出発し、現在の奈良県に政権を樹立して、天皇を宣言しました。

1868 年の明治維新後、明治天皇による（1852–1912）新政府は、天皇家の起源にまつわる古代神話や伝説に関連した場所での参拝や、その維持管理を奨励しました。1934 年に神社は拡張され、戦時中の天皇崇拝の最盛期だった 1940 年には、神武天皇の軍が東征した場所を示す、巨大な石碑が参道近くに建てられました。神社自体は、1976 年に現在の場所に再建されました。

【タイトル】 皇宮神社：經壘記

【想定媒体】 看板

<簡体字>

皇宮神社：經壘記碑

这块名为“经壘记”的石碑是宫崎代官（地方政府长官）于 1846 年为记录碑下这块土地的历史而立。碑文里说，这里曾经是神武天皇的宫殿，他由此出发东征，在如今奈良县地界建立政权，自任日本首位天皇。文中援引本地从未遭受严重地震损害的记录为例，以此证明这一叙述的可信度。

这块石碑可被视为文化潮流的产物，时值天皇崇拜复兴，古代神话重新引起大众兴趣。这场潮流延及学界，诞生了“国学”。宫崎是日本国学的兴盛地，当地甚至兴建了一所学校，向大众传授教义。本地历史也被溶于神话文本重新解读，许多出现在经壘记中的地方都摇身化作了正式的宗教场所。石碑位于皇宮神社旧址，神社如今相距不远，供奉着神武天皇、他的妻子和他们的两个儿子。

<繁体字>

皇宮神社：經壘記碑

這塊名為「經壘記」的石碑是宮崎代官（地方政府長官）於 1846 年為了記錄腳下這片土地的歷史而立。碑文裡說，這裡是神武天皇的宮殿所在地，祂由此出發東征，在如今奈良縣地界建立政權，自任日本首位天皇。文中援引當地從未遭受嚴重地震損害之事為例，證明其敘述的可信度。

這塊石碑可視為文化潮流的產物，時值天皇崇拜復興，古代神話重新引起大眾興趣。這場潮流延及學界，誕生了「國學」。宮崎是國學的興盛地，甚至興建了一所學校，向大眾傳授教義。當地歷史也被溶於神話文本重新解讀，許多出現在經壘記中的地方都搖身化作了正式的宗教場所。石碑位於皇宮神社舊址，相距不遠的神社供奉著神武天皇、祂的妻子和祂們的兩個兒子。

<日本語仮訳>

皇宮神社：經壘記

1846年に宮崎代官（地方政府の長）が土地の歴史を伝えるために、「經壘記」という名の石碑を建てました。石碑に刻まれた文字によれば、ここは神武天皇の皇居があった場所であることを伝えており、彼はここから東に向かい、現在の奈良県に朝廷を開き、自らが日本の初代天皇であることを宣言しました。經壘記は、神聖なる建国者との関係を示す証拠として、この地が一度も大きな地震被害を受けたことがないという事実に触れています。

石碑は、天皇崇拜の復活や日本の古代神話に対する新たな関心が生まれた、当時の知的傾向の産物とみなすことができます。学術的に国学と呼ばれるこの動きは宮崎で盛んとなり、民衆に国学の教義を教える学校が設立されました。土地の歴史が神話の文脈の中で解釈し直され、經壘記で説明されている場所などが、正式な礼拝地にも変わりました。石碑は皇宮神社があった場所に立っています。現在、同神社はこの近くにあり、神武天皇とその妻、その2人の息子が神道の神として祀られています。

【タイトル】 鵜戸神宮の歴史と神話

【想定媒体】 看板

<簡体字>**鵜戸神宮的历史与神话**

鵜戸神宮建于天然岩洞内，自古被视为圣地。因为人们相信，出自于自然造化的天然岩洞是神明的居所。神宮如今供奉神道教神明“鸕鷀草葺不合尊”，他是传说中日本首任天皇“神武天皇”的父亲，传说他出生时产房的鸕鷀羽毛屋顶都还没来得及造好，因此才有了这个不太吉祥的名字。据传闻，他出生的地方就是如今鵜戸神宮所在的岩洞。

关于鵜戸神宮的文献记录可追溯至公元 782 年，一位名叫“快久”的修行者为了维护神社而修建了一座佛寺。江户时代(1603-1867)，在饫肥藩（“饫”，音同“玉”；今宫崎县南部海岸地带）藩主伊东家族的资助下，神社规模不断壮大。历代饫肥藩主（日本封建时代的领主）负责维护神社设施，并于 1711 年建造了一座新的本殿（正殿），留存至今。新本殿融合了一些佛教元素，如梵钟形状的窗户，以及出自中国和印度神话中的生物雕刻。在日本，神道教与佛教在传统以及装饰风格上的融合被视为常态，直至江户时代结束以前，两者的信仰与修行习惯都保持着紧密的交融。

如今的鵜戸神宮是纯粹的神道教圣地，供奉的“鸕鷀草葺不合尊”是日本神话体系中的重要神明。在神话里，狩猎高手“山幸彦”和海神的女儿“丰玉姬”相爱结合，山幸彦要为妻子修造一座小屋作为产房。但本该用鸕鷀羽毛铺设的屋顶还没完工，丰玉姬就提早临盆。她进入小屋，请求山幸彦在孩子出生之前不要看她。可山幸彦没能忍住，看到丰玉姬——这位海神的女儿变成了一头巨大的鳄蛟（鲨鱼）。暴露了真身的丰玉姬满心痛苦，留下了她刚刚出生的孩子孤身回到海里。孩子被取名为“鸕鷀草葺不合尊”，意思是“鸕鷀羽毛屋顶没盖好就出生的人”。据本地传闻，如今鵜戸神宮所在的岩洞就是他出生的地方。

<繁体字>**鵜戸神宮的歷史和神話**

建造在天然岩洞里的鵜戸神宮，自古便被視為聖地，因為人們相信，源於大自然的天然岩洞是神明的居所。神宮如今供奉神道教神明「鸕鷀草葺不合尊」，祂是傳說中日本首任天皇「神武天皇」的父親，相傳因為出生時產房的鸕鷀羽毛屋頂還沒來得及造好，才被配上不那麼吉祥的名字。根據當地傳說，祂出生的地方就是如今鵜戸神宮所在的岩洞。

鵜戸神宮的相關文獻記錄可追溯至西元 782 年。當時，一位名叫「快久」的修行者為維護神社修建了一座佛寺。江戶時代（1603-1867），在飢肥藩（「飢」，音同「玉」；今宮崎縣南部海岸地帶）藩主伊東家的資助下，神社規模不斷得以擴大。歷代飢肥藩主（日本封建時代的領主）一直負責維護神社設施，並於 1711 年建造了一座新的本殿（正殿），且留存至今。新本殿融合了一些佛教元素，如梵鐘形狀的窗戶，以及出自中國和印度神話中的生物雕刻。在日本，神道教與佛教的傳統以及裝飾風格的融合被視為常態，江戶時代末期以前，兩者的信仰與修行習慣一直緊密交融。

如今的鵜戸神宮是純粹的神道教聖地，所奉「鸕鷀草葺不合尊」是日本神話體系中的重要神明。在神話裡，狩獵高手「山幸彥」和海神的女兒「豐玉姬」幸福懷子。山幸彥要為妻子修造一座小屋作為產房，但鸕鷀羽毛做成的屋頂還沒完工，豐玉姬就提早臨產。她進入小屋，請求山幸彥在孩子出生之前不要看她。可山幸彥忍不住還是偷看了，看到豐玉姬——這位海神的女兒竟變身成了一頭巨大的鱷魚（鯊魚）。暴露了真身的豐玉姬悲痛不已，留下了剛剛出生的孩子回到了海裡。孩子被取名為「鸕鷀草葺不合尊」，意思是「產房的鸕鷀羽毛屋頂沒蓋好就出生的人」。據本地傳說，現在鵜戸神宮所建之地的岩洞就是祂出生的地方。

<日本語仮訳>

鵜戸神宮の歴史と神話

鵜戸神宮は、神殿が鎮座する洞窟のような、自然物が神の住まうところだと信じられていた太古の昔から神聖とされていた場所に立っています。ここには伝説上の初代天皇である神武天皇の父、鸕鷀草葺不合尊が祀られています。その縁起の悪い名は、鵜の羽で葺いた屋根がすべて葺き終わらぬうちに生まれたことに因んでいると言われています。地元の伝説によれば、彼が生まれたのが現在の鵜戸神宮のある洞窟であるとされています。

この地が最初に歴史に登場するのは、快久という名の僧が神社を維持するために仏教寺院を建立した 782 年です。江戶時代（1603-1867）には飢肥藩（現在の宮崎県南部の海岸地方）の藩主である伊東家の庇護を受け、神殿の規模が大きくなります。飢肥藩主は神社を維持する任務を引き継ぎ、

1711 年には本殿を新たに建設し、現在でもそれが使われています。新しい本殿には、梵鐘のような形をした窓や中国やインドの神話に登場する生物を描いた彫像など、仏教の要素が見られます。日本では古くから神道と仏教の伝統や装飾様式の融合は自然なことと考えられており、江戸時代末まで仏教と神道の信仰および慣習は密接に絡み合っていました。

現在は神道だけの聖地となっている鵜戸神宮は、日本の神話で重要な役割を果たしている、鷓鴣草葺不合尊を祭神として祀っています。神話では、狩りの名手である山幸彦と海の神の娘である豊玉姫が子供を授かります。山幸彦は妻のために産屋を建てますが、鷓鴣の羽でできた屋根が完成する前に妻が産気づいてしまいます。豊玉姫は産屋に入り、赤ん坊が生まれるまでは彼女の姿を見ないよう山幸彦に哀願しました。しかし、山幸彦は誘惑に打ち勝つことができず、海の娘である豊玉姫が巨大な鮫に変身するところを見てしまいます。本当の姿を見られてしまった豊玉姫は、生まれたばかりの赤ん坊を置いて、嘆き悲しみながら海へと帰っていきます。その子供こそが「鷓鴣の羽の屋根の完成が間に合わなかった者」という意味の「鷓鴣草葺不合尊」です。地元では、現在鵜戸神宮が建っている洞窟が誕生の場所だと言い伝えられています。

【タイトル】 鵜戸神宮：運玉

【想定媒体】 看板

<簡体字>**鵜戸神宮：運玉**

造訪鵜戸神宮者可以通过投掷“运玉”（幸运球）来求取好运。这些陶土小球应当瞄准这处山脊下方一块海龟状岩石上的小水塘投掷，水塘以绳索圈出作为标记。依照规矩，男性用左手投掷，女性用右手。据说，如果小球落入塘中，投掷者的心愿就能实现。在 20 世纪 50 年代以前，人们投的还是硬币。但总有小孩子想爬下去捡取塘中的钱币，为排除安全隐患，才改成了如今的陶土小球。这块龟状岩石就被称为“龟石”，同样与神社所奉主神“鸕鷀草葺不合尊”的神话传说有关。相传，鸕鷀草葺不合尊刚出生就被身为海神女儿的母亲抛下，是母亲的妹妹骑着巨龟来见他，并将他抚养长大。

<繁体字>**鵜戸神宮：運玉**

造訪鵜戸神宮者可以通過投擲「運玉」（帶來幸運的小陶球）來求取好運。這些陶土小球應當瞄準這處山脊下方一塊海龜狀岩石上的小水塘投擲，水塘以繩索圈出作為標記。依照規矩，男性用左手投擲，女性用右手。據說，如果小球落入塘中，投擲者的心願就能實現。在 1950 年代以前，人們投的還是硬幣。但總有小孩子想爬下去撿取塘中的錢幣，為排除這樣的危險，才改成了如今的陶土小球。這塊龜狀岩石就被稱為「龜石」，同樣與神社所奉主神「鸕鷀草葺不合尊」的神話傳說有關。相傳，鸕鷀草葺不合尊剛出生就被身為海神女兒的母親拋下，是母親的妹妹騎著巨龜來見祂，並將祂撫養長大。

<日本語仮訳>**鵜戸神宮：運玉**

鵜戸神宮の参拝者は、運玉（幸運を呼ぶ玉）を投げることで、運気を上げることができます。運玉は粘土でできた小玉で、この尾根の下の亀の形をした岩の上にある、縄で目印が付けられた小さな水たまり

に向かって投げます。男性は左手で、女性は右手で投げるのが習わしです。小玉が水たまりに入れば、投げた人の願いが成就すると言われています。1950年代以前は、人々はこの小玉ではなく硬貨を投げていました。しかし、子供たちが水たまりまで下りて行ってお金を集めようとして危険だったため、中止されました。この岩は亀石と呼ばれ、この神社の主祭神である鷓鴣草葺不合尊にまつわる神話にちなんでいます。生まれてすぐ海の神の娘である母親に捨てられた鷓鴣草葺不合尊は、叔母によって育てられますが、その叔母は巨大の亀の背中に乗って彼に会いに来たのです。

【タイトル】 鵜戸神宮：九柱神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

鵜戸神宮：九柱神社

九柱神社規模不大，却供奉了九尊神道教神明，九扇門後各有一尊。這九位神明都與日本神話中的第一次「禊」有關。「禊」（音同「戲」）即洗濯淨化，也稱「祓」（音同「福」），是神道教的核心儀式之一，現主要用在參拜前潔淨身心。參拜神社時先要在大門處洗手漱口，這就是「禊」禮。

在日本創世神話中，「伊邪那岐命」和「伊邪那美命」兄妹創造了日本列島和島上諸神。不料妹妹在兩人任務完成之前就死去，伊邪那岐命試圖從黃泉將她救出，但沒有成功。回到生者的世界後，伊邪那岐命立刻全身沒入水中，洗濯陰間的污濁，過程中一共誕生了 20 多位神明，其中就包括九柱神社供奉的 9 位神明。其中，合稱「住吉三神」的底筒之男命、中筒之男命、上筒之男命，是海洋和水手的守護神，因鵜戸神宮臨海的地勢和本地漁民的崇敬而受到供奉。

<繁体字>

鵜戸神宮：九柱神社

九柱神社規模不大，卻供奉了九尊神道教神明，九扇門後各有一尊。這九位神明都與日本神話中的第一次「禊」有關。「禊」（音同「戲」）意為洗濯淨化，或又稱「祓」（音同「福」），是神道教的核心儀式之一，旨在參拜前潔淨身心。參拜神社時先要在正門處洗手漱口，這就是「禊」禮。

在日本創世神話中，「伊邪那岐命」和「伊邪那美命」兄妹創造了日本列島和島上諸神。不料妹妹在任務完成前死去，伊邪那岐命深入黃泉試圖將她救出未果，回到生者的世界後，伊邪那岐命立刻全身沒入水中洗濯陰世污濁。在此過程中誕生了 20 多位神明，包括九柱神社供奉的 9 位神明。其中，合稱「住吉三神」的底筒之男命、中筒之男命和上筒之男命是海洋和水手的守護神，因鵜戸神宮臨海的地勢和當地漁民的崇敬而受供於此。

<日本語仮訳>

鵜戸神宮：九柱神社

九柱神社は規模こそ小さいものの、9つの扉の後ろに1人ずつ、合計9人の神道の神様を祀った神社です。9祭神は、日本の神話の重要な物語である最初の清めの行為にまつわる神々です。これは「禊」または「祓」と呼ばれる神道では中心的な儀式であり、参拝の前に心身を清めるために行われます。神社の入り口で手と口を洗うことがこれにあたります。

日本の創造神話では、伊邪那岐命と伊邪那美命という兄妹の神が日本列島の島々とそこに住まう様々な神々を生み出しました。しかし伊邪那美命はその務めを果たす前に亡くなってしまい、伊邪那岐命は妹を黄泉の国から連れ戻そうとします。その試みは失敗に終わり、現世に戻ってきた彼は水に体を浸して死者の世界の穢れを洗い落とします。この清めの結果、24人以上の神様が生まれ、その中には九柱神社に祀られている9人の神様もいました。また、「住吉三神」として知られる底筒之男命、中筒之男命と上筒之男命も含まれています。海と船乗りの守り神であるこれらの神が含まれているのは、鵜戸神宮が海岸にあり、地元の漁師に親しまれていたことが理由です。

【タイトル】 鵜戸神宮：聖なる石（ご霊石）

【想定媒体】 看板

<簡体字>

鵜戸神宮：圣石（灵石）

圣石是鵜戸神宮最古老的遺存之一，也是佛教時代的印記，其歷史或許可以追溯到 15 世紀。當時神社的正式身份還是一座真言宗佛寺，供奉一位“權現神”（佛教神佛的神道教化身）。這座寺廟代表了日本獨特的宗教信仰體系：如今看來互不相干的神道教和佛教，在時逾千年的漫長歷史中曾經緊密交融。至今仍為真言宗所重視的護摩儀式（以火焚物供神，又稱“火供”）過去就在石板前進行，石板上原本鐫有梵文，看來像是被刻意抹除了，只留下了靠近石板中心處的圓形印記。梵文估計是在 1868 年之後被抹除的，當時明治天皇(1852-1912)的新政府嚴令拆分神道教與佛教，在某些地區直接導致了大量佛教建築、佛像和佛教藝術品被毀。宮崎縣等地相對溫和，只抹去了神社中最为明显的佛教痕迹。

<繁体字>

鵜戸神宮：聖石（靈石）

聖石是鵜戸神宮最古老的遺蹟之一，也是佛教時代的印記，其歷史或許可以追溯至 15 世紀。當時神社的正式身份還是一家真言宗佛寺，供奉一位「權現神」（佛教神佛的神道教化身）。這座寺廟代表了日本獨特的宗教信仰體系：如今看來互不相干的神道教和佛教，在時逾千年的歷史歲月裡曾經緊密交融。至今仍為真言宗所重視的護摩儀式（以火焚物供神，又稱「火供」），過去在石板前進行。石板上原本鐫有梵文，看來像是被刻意抹除，只留下了靠近石板中心處的圓形印記。估計梵文是在 1868 年之後被抹除，當時明治天皇（1852-1912）的新政府嚴令拆分神道教與佛教，在某些地區直接導致了大量佛教建築、佛像和佛教藝術品被毀。而宮崎縣等地相對溫和，只抹去了神社中最明顯的佛教痕迹。

<日本語仮訳>

鵜戸神宮：聖なる石（ご霊石）

この石板は、鵜戸神宮に現存する最も古い遺構の一つで、仏教時代の名残でもあります。この石は15世紀のものと考えられ、当時、この神社は正式には仏陀が神道の神として現れた権現を祀る真言宗の仏教寺院でした。これは、現在は別々とされる2つの宗教が、日本では1000年以上にわたって密接に結びついていたことを物語っています。現在の真言宗でも重視されている護摩炊きの儀式が、この石板の前で行われていました。石板には元々梵字が刻まれていましたが、意図的に取り除かれ、石板の中央近くに丸い印だけが残っています。梵字が消されたのは、明治天皇（1852-1912）の新政府が神仏分離を命じた1868年以降だと思われます。日本の一部地域では、これにより仏教建築、彫像、美術品などが広範囲に破壊されました。宮崎を含むその他の地域では、反仏教の動きは激しくなかったため、仏教を最も象徴する印のみを消すにとどまりました。

【タイトル】 鵜戸神宮：玉橋（神橋）

【想定媒体】 看板

<簡体字>

鵜戸神宮：玉橋（神橋）

穿过玉桥，来访者就能进入鵜戸神宮最神圣的部分：本殿（正殿），它建在沿崖壁凿刻的陡峭石阶下方的一个岩洞中。过去，信徒们须在上桥前脱鞋，赤足进入本殿，因为人们相信这样可以避免这片神圣的区域受到外界杂质污染。这一风俗如今不复存在，但在过了桥之后，来访者的言行举止亦须符合圣地要求。

玉桥左侧不远处、面向正殿的小道上摆放着许多石灯笼，它们都是由当年饫肥藩（“饫”，音同“玉”；今宫崎县南部海岸一带）藩主（日本封建时代的领主）伊东家族捐赠，该家族在江户时代(1603-1867)大力推崇鵜戸神宮，并提供资助加以维护。这些石灯笼的火袋（放置灯火的地方）形态各异，展示出不同的月相，同时饰有伊东家族的家纹。这个家族的家纹是由八个小圈环绕着一个球体，代表印度佛教思想中的宇宙。

<繁体字>

鵜戸神宮：玉橋（神橋）

穿過玉橋，參訪者就能進入鵜戸神宮最神聖的部分：本殿（正殿），本殿建在沿崖壁鑿刻的陡峭石階腳下的一個岩洞中。過去，信徒們要在上橋脫前鞋，赤足進入本殿，因為人們相信這樣可以避免這片神聖的區域受到外界雜質污染。此風俗如今不再延續，但在過了橋之後，參訪者的言行舉止最好能與聖地相符。

面向正殿、神橋左側不遠處的小道上擺放著許多石燈籠，它們都來自當年饫肥藩（「饫」，音同「玉」；今宮崎縣南部海岸一帶）藩主（日本封建時代的領主）伊東家的捐贈，該家族在江戶時代（1603-1867）大力推崇鵜戸神宮，並提供資助加以維護。這些石燈籠的火袋（放置燈火的地方）形態各異，展示出不同的月相，還飾有伊東家的家紋。伊東家的家紋是由八個小圈環繞著一個球體，代表印度佛教思想中的宇宙。

<日本語仮訳>

鵜戸神宮：玉橋（神橋）

玉橋を渡ると、参拝者は鵜戸神宮で最も神聖な場所である本殿にたどり着きます。本殿は、岩に彫られた急な階段を下りた先にある洞窟の中に鎮座しています。かつて参拝者は橋のたもとで履物を脱ぎ、本殿まで裸足で進んでいました。これにより、神聖な場所が外界の不純物で汚れることを防げると信じられていたのです。今はこのような慣習はありませんが、橋の向こう側では聖地にふさわしい行動が求められます。

橋の近く、本殿に向かって左の参道には、数多くの石灯籠が建っています。これらは飢肥（現在の宮崎県南部の海岸地方）藩主である伊東家から贈られたものです。伊東家は江戸時代（1603-1867）、鵜戸神宮を崇敬し、その維持のために資金を提供していました。灯籠の一つ一つ形状が異なる火袋（火を灯すところ）は月相を表し、インド仏教思想の宇宙を象徴する1つの球体が小さな8つの円で囲まれた伊東家の家紋で装飾されています。

【タイトル】 鵜戸神宮：うさぎの像

【想定媒体】 看板

<簡体字>**鵜戸神宮：兔子像**

鵜戸神宮境内散布着许多兔子的雕像，它们被认为是神宫所奉诸神明的信使。这个传说的由来并不一定准确，倒是兔子与神社主祭神“鸕鷀草葺不合尊”的关系常常被提起。在日文中，“鸕鷀草葺不合尊”的假名“うがやふきあわせずのみこと”的第一个字“う([u])”与代表兔子的“卯（う）”相同。本地许多传说也提到，神宫周围的树林里栖息着许多野兔，只是如今已不见踪影。此外，每逢日本旧历每月第一个卯日的“缘日祭”，商贩们都会来到神宫，摆出食物、饮料和儿童游戏摊，届时还会有剑道和射箭比赛。

<繁体字>**鵜戸神宮：兔子像**

鵜戸神宮境内散佈著許多兔子的雕像，兔子被認為是神宮所奉諸神明的信使。這個傳說的由來不一定準確，倒是兔子與神社主祭神「鸕鷀草葺不合尊」的關係常常被提起。在日文中，「鸕鷀草葺不合尊」的假名「うがやふきあわせずのみこと」的第一個字「う([u])」與代表兔子的「卯（う）」相同。當地許多傳說也提到神宮周圍的樹林裡棲息著許多兔子，只是如今已經不見蹤影。此外，每逢日本舊曆每月第一個卯日的緣日祭，商販們都會來到神宮，擺出食物、飲料和兒童遊戲攤，屆時還會有劍道和射箭比賽。

<日本語仮訳>**鵜戸神宮：うさぎの像**

鵜戸神宮の境内には、ご祭神の神使だと信じられているうさぎの像が点在しています。この伝説の起源は定かではありませんが、主祭神である鸕鷀草葺不合尊とうさぎとの関係がしばしば引き合いに出されます。鸕鷀草葺不合尊の最初の「ウ」は、日本語ではうさぎ（卯）でもあります。神社の周りの森にたくさんのう

さぎがいたという言い伝えもありますが、現在では一羽も見ることができません。毎月、初の卯の日には縁日祭が開かれ、飲食物や子供向けのゲームの屋台が並び、剣道や弓道のトーナメントが実施されます。

【タイトル】 鵜戸神宮：撫でうさぎ

【想定媒体】 看板

<簡体字>**鵜戸神宮：抚摸之兔**

“抚摸之兔”（即“可以抚摸的兔子”）是鵜戸神宮境内诸多兔子雕像中最有名的一座。人们相信，兔子是神宮所供主神“鸕鷀草葺不合尊”的信使，而“抚摸之兔”全身都拥有这位神明的治愈之力。身受病痛困扰的信徒只要在赛钱箱（功德箱）中投入少量香资，然后抚摸兔子身上对应自己病痛的部位，就有望获得痊愈。最晚自江户时代(1603-1867)开始，这类疗愈疾患的雕像就已经成为许多神社和部分佛寺的特色，牛的雕像最常见，但也可能是其他动物，乃至佛像。

<繁体字>**鵜戸神宮：撫摸之兔**

「撫摸之兔」（即「可以撫摸的兔子」）是鵜戸神宮境内諸多兔子雕像中最有名的一座。人們相信，兔子是神宮所供主神「鸕鷀草葺不合尊」的信使，而「撫摸之兔」的周身都帶有這位神明的治癒之力。身受病痛困擾的信徒只要在賽錢箱（功德箱）中投入少許香油錢，然後撫摸兔子身上對應自己病痛的部位，就有望獲得痊癒。至少自江戶時代（1603-1867）開始，這類療癒疾患的雕像就成為了許多神社和部分佛寺的特色。牛的雕像最常見，但也可能是其他動物，甚至佛像。

<日本語仮訳>**鵜戸神宮：撫でうさぎ**

撫でうさぎは、鵜戸神宮の境内にある数多くのうさぎの像の中で最も有名なものです。このうさぎは、主祭神である鸕鷀草葺不合尊の神使と信じられており、撫でうさぎには祭神の病氣平癒の力が吹き込まれているとされています。病氣を患っている参拝者たちは、お賽銭箱に少額のお賽銭を入れた後、自分が治したい体の箇所と同じうさぎの体の箇所を撫でます。少なくとも江戸時代（1603-1867）以降、この種

の病氣平癒のための像が、日本の数多くの神社や一部の仏教寺院に見られます。牛の形をしたものが最も一般的ですが、他の動物や仏様の形をしたものもあります。

【タイトル】 鵜戸神宮：福注連繩とお祓い

【想定媒体】 看板

<簡体字>

鵜戸神宮：福注連繩與祓禮

为了能以洁净的身心面对神明，在进入神社之后，通常需要先完成仪式性的自我净化（即“祓”礼，音同“福”），然后才能前往本殿（正殿）参拜。在鵜戸神宮，这项净化仪式需要分两步完成。

首先，需从右侧的箱子内取一根“福注连绳”（绑在小棍上的圆环状细绳），用它拂过周身，以洁净心灵。然后放回左边的箱子里，切勿随身带走。在这里，建议投入 100 日元作为香资。

第二步，前往“手水舍”，用水钵和长柄木杓冲洗手与口，以洁净身体。

至此，所有准备就绪，可以穿过玉桥前往神宮最神圣的区域了。

<繁体字>

鵜戸神宮：福注連繩與祓禮

為了以潔淨的身心面對神明，在進入神社本殿（正殿）參拜之前，通常先要儀式性地完成自我淨化（即「祓」禮，音同「福」）。在鵜戸神宮，這項淨化儀式需要分兩個步驟完成。

首先，需從右側的箱子內取一根「福注連繩」（綁在小棍上的圓環狀細繩），用來拂過周身，以潔淨心靈。然後放回左邊的箱子裡，切勿隨身帶走。在這裡，建議投入 100 日圓作為香油錢。

第二步，前往手水舍，用水鉢和長柄木杓沖洗手與口，以潔淨身體。

至此，所有準備就緒，可以穿過玉橋前往神宮最神聖的區域了。

<日本語仮訳>

鵜戸神宮：福注連繩とお祓い

神社に入るにあたり、参拝者は本殿に向かう前に清めの儀式を行います。これは、神々に近づく前に心身の穢れを落とすために行われます。鶺鴒神宮では、このお祓いの儀式は二段階で行われます。

まず、参拝者は右側にある箱から福注連縄（棒に結われた小さな縄）を手に取り、それで全身を撫でて心を清めます。使った後の福注連縄は、左側の箱に入れます（お土産として持ち帰るのはおやめください）。ここで 100 円の初穂料をお納めください。

次に、参拝者は手水舎へと進みます。水盤には柄杓が置いてあり、身を清めるために手と口を洗います。これで、神社で最も聖なる領域へとつながる玉橋を渡る準備が整ったとされます。

【タイトル】 鵜戸神宮：崖と団塊

【想定媒体】 看板

<簡体字>**鵜戸神宮：悬崖与团块**

在环绕着鵜戸神宮的海岸線上，散佈著形狀奇異的岩石和大圓石，它們是本地區數百萬年前地質活動的結果。神宮本殿（正殿）所在的岩洞，乃至本地懸崖，都由堅硬的砂岩與較軟的泥岩組合而成。大約800萬年前，在地震與其他因素的作用下，沙與泥在水下沉積，交錯層疊。水母、海參等無數有機生物葬身其中。隨著時日推移，沙與泥固結成岩，形成了如今鵜戸海岸上最常見的淡黃色岩石。海水中的鈣質將有機生物殘骸周圍尚且鬆軟的沉積物凝結起來，形成了被稱為「團塊」的圓形巨石，圓石分散兀立於海岸懸崖各處。在地殼的抬升活動作用下，遍佈圓石的懸崖漸漸露出海面。數百萬年來，海浪拍擊岩石，開鑿出如今鵜戸神宮所在的岩洞。最終，這一大自然的傑作成為了人們眼中「神的居所」而倍受崇拜。

<繁体字>**鵜戸神宮：懸崖與團塊**

在環繞鵜戸神宮的海岸線上，散佈著形狀奇異的岩石和大圓石，這些奇岩異石是當地數百萬年前地質運動的結果。神宮本殿（正殿）所在的岩洞乃至當地懸崖，都由堅硬的砂岩與較軟的泥岩組合而成。大約800萬年前，在地震與其他因素作用下，沙與泥在水下沉積，交錯層疊，水母、海參等無數有機生物葬身其中。時日推移，沙與泥固結成岩，形成了如今鵜戸海岸上最常見的淡黃色岩石。海水中的鈣質將有機生物殘骸周圍尚且鬆軟的沉積物凝結起來，形成了被稱為「團塊」的圓形巨石，圓石分散兀立於海岸懸崖各處。隨著地殼的抬升運動，遍佈圓石的懸崖漸漸露出海面。數百萬年來，海浪拍擊岩石，開鑿出如今鵜戸神宮所在的岩洞。之後，這一大自然的傑作被視為神的居所而受到崇拜。

<日本語仮訳>**鵜戸神宮：崖と団塊**

鵜戸神宮周辺の海岸線には、奇岩や丸石が点在しています。これらは、数百万年前にこの地で起きた地殻変動を物語っています。本殿が鎮座している洞窟を含め、この地域の崖は、硬い砂岩とそれよりも柔らかい泥岩が組み合わさってできています。約 800 万年前の地震も一因となり、砂と泥が層をなして海中に堆積しました。クラゲやナマコなど数えきれないほどの有機体がこれらの層の中に埋まります。この砂と泥が時間をかけて固まって岩となり、現在、鵜戸の海岸で広くみられる黄色っぽい岩を作り出したのです。海水に含まれるカルシウムが生物の死骸の周りのまだ柔らかい堆積物を固め、団塊と呼ばれる丸石を形成し、これが崖の側面のあちこちに突き出しています。地盤の上昇に伴い、団塊が点在する崖が海中から現れました。鵜戸神宮の洞窟は、何百万年もの間岩を打ち砕いてきた波によって削られ、自然が生み出した傑作である洞窟が、やがて神の住むところとして崇拜されるようになったのです。

【タイトル】 鵜戸神宮：お乳水

【想定媒体】 看板

<簡体字>

鵜戸神宮：御乳水

这个盆中的水引自鵜戸神宮岩洞左侧岩壁上突起的“御乳岩”，称“御乳水”。因得岩石下的溪流补给，洞中之水从来都不冻不涸，且水量充足。可以想象，这里的水自古便得到本地居民的崇奉。此外，人们视“御乳水”为母乳充足的象征，取其用于分娩，毕竟母乳是多还是少，在婴儿配方奶粉发明之前可是生死攸关的头等大事。

来访者可用放置在这里的长柄木杓取水饮用。自江户时代(1603-1867)起，人们便在神宫里用这些水制作糖果，并在岩洞入口的御守（护身符）贩售处出售。

<繁体字>

鵜戸神宮：御乳水

這個盆中的水引自鵜戸神宮岩洞左側岩壁上突起的「御乳岩」，稱「御乳水」。由於岩石下有溪流補給，洞中之水從來都不結凍不乾涸，且水量充足。可以推測，洞中之水自古便得到了當地居民的推崇。此外，人們視「御乳水」為母乳充足的象徵而用於分娩，因為母乳是多還是少，這在嬰兒配方奶粉發明之前是生死攸關的頭等大事。

到訪者可用放置在這裡的長柄木杓取水飲用。自江戶時代（1603-1867）起，人們便在神宮裡用這些水製作糖果，並在岩洞入口的御守（護身符）販售處出售。

<日本語仮訳>

鵜戸神宮：お乳水

このたらいに入った水は、左側にある岩窟の壁から突き出た鵜戸神宮の「お乳岩」から引かれています。岩窟の水は、岩の下を流れる小川のおかげで凍ることがなく、かつては大量に流れていたことから、古来より地元の人々に崇められてきたと考えられています。この水は出産時に使用されたと考えられており、乳児用粉ミルクが発明される以前は生死に関わる問題であった、十分な量の母乳を象徴するものでした。

来訪者は、江戸時代（1603-1867）からこの神宮で作られ、岩窟の入り口そばのお守り販売所で売られている飴の製造にも利用されるこの水を、備え付けの柄杓を使って飲むことができます。

【タイトル】 鵜戸神宮：お乳岩

【想定媒体】 看板

<簡体字>**鵜戸神宮：御乳岩**

岩洞凹凸不平の岩壁上有一处形似双乳の突起，自古便受到人们供奉。这一对“御乳岩”总是湿漉漉的，水滴不断自“乳尖”缓缓滴落。在本地传说中，它们与鵜戸神宮の主祭神“鸕鷀草葺不合尊”有关。神话故事里的他，刚出生就被身为海神女儿的母亲抛下。母亲回到了自己万顷碧波下的家里，“御乳岩”则被认为是她留给儿子的饯别礼。鸕鷀草葺不合尊喝岩石产下的“乳汁”长大，成为传说中日本首任天皇“神武天皇”的父亲。信徒们触摸岩石，祈求分娩顺利、孩子平安长大、母亲身体健康。

<繁体字>**鵜戸神宮：御乳岩**

岩洞凹凸不平の岩壁上有一處形似雙乳の突起，自古便受到人們供奉。這一對「御乳岩」總是濕漉漉的，水滴不斷自「乳尖」緩緩滴落。在當地傳說中，「御乳岩」與鵜戸神宮の主祭神「鸕鷀草葺不合尊」有關。神話故事裡的鸕鷀草葺不合尊，剛出生就被身為海神女兒的母親拋下。母親回到了自己碧波萬頃下的家裡，「御乳岩」則被認為是她留给兒子的饯別禮。鸕鷀草葺不合尊喝岩石產下的「乳汁」長大，成為傳說中日本首任天皇「神武天皇」的父親。信徒們觸摸岩石，祈盼分娩順利、孩子平安長大、母親身體健康。

<日本語仮訳>**鵜戸神宮：お乳岩**

岩窟の凹凸のある壁の一部は、突き出た胸のような形をしています。この「お乳岩」は、先端からゆっくりと水が滴り落ちるため常に湿っており、古くから崇拜されてきました。地元の言い伝えでは、鵜戸神社の主祭神である鸕鷀草葺不合尊の伝説とつながりがあります。その神話によると、海の神の娘である母親が波の下にある故郷へと帰ってしまい、鸕鷀草葺不合尊は捨てられてしまいます。この「お乳岩」は母から息子

への饒別で、彼は「お乳岩」から出る「乳」で育ち、その後伝説的な日本の初代天皇である神武天皇の父になったとされています。参拝者はこの岩に触れ、安産、子育ての無事、母親の健康を祈願します。

【タイトル】 鵜戸神宮：鵜戸山八丁坂

【想定媒体】 看板

<簡体字>

鵜戸神宮：鵜戸山八丁坂

所谓“鵜戸山八丁坂”，就是“通往鵜戸神宮的8丁长的山坡”，“丁”是日本古代长度单位，1丁约合109米。鵜戸山八丁坂是鵜戸神宮前最古老的参道，815级石阶一直通到吹毛井港口，最迟在江户时代(1603-1867)便已开始使用。若干个世纪以来，无数人走过这段台阶，它的中轴部分被磨得明显凹陷了下去。本地流传的说法是，佛教比丘尼们从海岸采石，将它们稳稳地顶在头上，一块一块搬上山来，才建起了这些石阶。

<繁体字>

鵜戸神宮：鵜戸山八丁坂

所謂「鵜戸山八丁坂」，就是「通往鵜戸神宮的8丁長的山坡」，「丁」是日本古代長度單位，約合109公尺。它是鵜戸神宮前最古老的參道，815級石階一直通到吹毛井港口，最遲在江戶時代（1603-1867）便已開始使用。若干個世紀以來，無數人走過這段台階，它的中央部分被磨得明顯凹陷了下去。當地流傳的說法是，佛教比丘尼們從海岸採石，然後將石頭穩穩地頂在頭上，一塊塊搬上山來，建起了這些石階。

<日本語仮訳>

鵜戸神宮：鵜戸山八丁坂

鵜戸山八丁坂は「鵜戸神宮へつながる八丁の坂」を指し、丁は日本の古い長さの単位で109メートルに相当します。この坂は鵜戸神宮への最も古い参道です。815段の石段は吹毛井の港から続いており、少なくとも江戸時代（1603-1867）から使われてきました。石段の中央部は、何世紀にもわたって踏まれ続けてきた無数の足によってすり減り、明らかに周囲よりも低くなっています。地元では、この石段は頭の上でバランスを取りながら海岸から石を運び上げた尼僧によって作られたと伝えられています。

【タイトル】 鵜戸神宮：吾平山陵

【想定媒体】 看板

<簡体字>

鵜戸神宮：吾平山陵

吾平山陵位于鵜戸神宮上方的半山处。本地传说，这片林地是“鸕鷀草葺不合尊”的安葬处，他是鵜戸神宮的主祭神，也是日本神话中首任天皇“神武天皇”的父亲。这里是专司皇室相关事务的宫内厅在九州的一处管辖地之一。1868 年明治维新后，掌控在武士阶层手中长达数世纪之久的政权重归天皇，宫内厅的前身机构依据首次出现于《日本书纪》（日本早期历史辑录，成书于公元 720 年）中的名单，将这些分布在全国各地的古墓认定为“天皇墓”。只是有的墓址存在多个可能性，以至于鸕鷀草葺不合尊等部分神话中的皇室先祖如今有了不止一处官方认定墓葬地。

吾平山陵封闭无法进入，但沿林边小道步行约 20 分钟可抵达围栏外侧。小道崎岖难行，雨后尤其湿滑，务必小心出行。

<繁体字>

鵜戸神宮：吾平山陵

吾平山陵位於鵜戸神宮上方的半山處。當地傳說這片林地是「鸕鷀草葺不合尊」的安葬處，祂是鵜戸神宮的主祭神，也是日本神話中首任天皇「神武天皇」的父親。這裡是專司皇室相關事務的宮內廳在九州的幾處管轄地之一。1868 年明治維新後，掌控在武士階層手中長達數世紀之久的政權重歸天皇，宮內廳的前身依據首次在《日本書紀》（日本早期歷史輯錄，成書於西元 720 年）中出現的名單，將這些分佈在全國的古墓認定為「天皇墓」。只是有的墳墓存在多個可能的位置，以致鸕鷀草葺不合尊等部分神話中的皇室先祖有了不止一處官方認定安葬地。

吾平山陵封閉無法進入，但沿林邊小道步行約 20 分鐘即可抵達圍欄外側。小道崎嶇難行，雨後更加難走，請務必小心出行。

<日本語仮訳>

鵜戸神宮：吾平山陵

吾平山陵は鵜戸神社の境内上の山腹にあります。地元の言い伝えでは、この森林に覆われた場所は、日本の神話で初代天皇の神武天皇の父で、鵜戸神宮の祭神である鸕鷀草薙不合尊の墓とされています。ここは九州にいくつかある宮内庁管轄地のひとつです。宮内庁は、皇室に関する事項を担当する政府機関です。何世紀にもわたる武士階級の統治が終わり、1868年の明治維新で天皇が復権した後、宮内庁の前身機関は720年に編纂された初期の日本の歴史書である『日本書紀』に最初に記されたリストに基づいて、全国にある古代の墓を「天皇の墓」として認定しました。しかし、記載された墓の中には、複数の候補地があるものもありました。その結果、鸕鷀草薙不合尊をはじめとする天皇家の神話上の祖先には、複数の墓が公式に存在することになりました。

吾平山陵は囲いで覆われ、立ち入ることはできませんが、森の端から小道をたどると、墓地を取り巻く囲いに約20分で着きます。特に雨が降った後は、道を進むのが難しいことがありますのでご注意ください。

【タイトル】 不動窟と波切神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

不动窟与波切神社

“不动窟”是一个海边岩洞，和鹤户神宫本殿（正殿）所在的洞窟非常相似，只是规模小一些。多个世纪以来，它一直都是宗教礼拜场所。最初，这里是苦修僧人的修行地，他们通过长居于远离人烟的自然环境中来完成精神修炼。后来，洞窟渐渐发展为本地渔民的祭拜地。如今的神社里供奉着海之诸神。“波切神社”堪称 1868 年以前日本神佛习合（神道教与佛教相融合）时期古代神社的典范，它在神道教的建筑上装饰了佛教元素，旁边一块岩架的下方还立着一尊不动明王像。不动明王是佛教五明王之一，它能够守护虔诚的信仰，以坚定的父母之心引导信众。这尊特殊的雕像为波切不动明王，是不动明王的“乘风破浪”之相，也是水手的保护神。

从鹤户神宫出发，沿山路行走，30 分钟内即可抵达不动窟脚下。

<繁体字>

不動窟與波切神社

不動窟是一個海邊岩洞，和鶴戶神宮本殿（正殿）所在的岩洞非常相似，只是規模小一些。多個世紀以來，這處岩洞一直都是宗教禮拜場所。最初為苦修僧人的修行地，他們透過長居遠離人煙的自然環境中來完成精神修行。後來，這裡漸漸發展為當地漁民的祭拜場所。如今，神社供奉海之諸神。波切神社堪稱 1868 年以前日本神佛習合（神道教與佛教相融合）時期古代神社的典範，這處名為神道教的建築上有佛教元素的裝飾，旁邊一塊岩架的下方還立著一尊不動明王像。不動明王是佛教五明王之一，被認為能夠守護虔誠的信仰，以堅定的父母之心引導信眾。這尊特殊的雕像為波切不動明王，是不動明王的「乘風破浪」之相，也是水手的保護神。

從鶴戶神宮出發，沿山路行走，30 分鐘內即可抵達不動窟腳下。

<日本語仮訳>

不動窟と波切神社

不動窟は、鵜戸神宮の本殿がある場所によく似ていながらも、より規模の小さい海辺の洞窟です。この洞窟は何世紀にもわたる崇拜の場で、もともとは文明から遠く離れた過酷な状況で長期間を過ごして精神修養を行う修行僧のためのものでしたが、後に地元の漁師にとっての祈りの場となりました。現在の神社は海の神々が祀られていますが、この神社は神道と仏教の明確な区別がなされていなかった 1868 年以前の日本の歴史の典型です。名目上は神道の建造物ですが、仏教を象徴するもので飾られています。神社横の石造りの退避所の下には、忠実な信仰を守り、親の激しい愛情で信者を導くとされる、仏教の五明王の一人である不動明王の像が立っています。この特別な彫刻は、波を切る姿で表現された波切不動明王で、船乗りの守護神とされています。

不動窟には、鵜戸神宮から山道を経由して徒歩 30 分以内で行くことができます。

【タイトル】 鵜戸-国指定名勝

【想定媒体】 看板

<簡体字>**“国家名胜”鵜戸**

上千年来，森林覆盖的鵜戸崎一直受到旅行者的喜爱，它的海岸线上散布着数百万年前地质活动留下的奇岩怪石。早期到来的多是苦修者，他们通过长居与世隔绝之地来完成精神修行。随着宗教有组织性的发展，尤其是佛教在日本的普及，这类圣地也渐渐开始出现了神社和佛寺。如今，鵜戸的宗教圣地是拥有 1200 年历史的神社“鵜戸神宮”，它与天皇血脉神圣起源的古代神话有关。

古时令巡礼者震惊的奇岩和圆石，如今是地质学者的研究对象。据推测，这些由坚硬砂岩与松软泥岩组合而成的山崖至少形成于 800 万年前。岬角南侧突出海面的岩石海岸呈波纹状隆起，本地人称之为“魔鬼的搓衣板”，这样的景观是由各岩层的软硬度差异造成的——泥岩受侵蚀消失，砂岩留了下来。2017 年，鵜戸被指定为国家名胜。

<繁体字>**鵜戸，國家名勝**

鵜戸崎被森林覆蓋，上千年來一直受到旅行者的喜愛，其海岸線上散佈著數百萬年前地質運動留下的奇岩怪石。早期到來的多是苦修者，他們透過長居與世隔絕之地來完成精神修行。隨著宗教有組織的發展，尤其是佛教在日本的普及，這類聖地也開始出現神社和佛寺。鵜戸的宗教聖地如今是擁有 1200 年歷史的神社「鵜戸神宮」，與天皇血脈神聖起源的古代神話有關。

古時令巡禮信眾震驚的奇岩和圓石，如今是地質學者的研究重點。據推測，這些由堅硬砂岩與鬆軟泥岩組合而成的山崖至少形成於 800 萬年前。岬角南側突出海面的岩石海岸呈波紋狀隆起，當地人稱之為「魔鬼的洗衣板」，這個景觀是由於各岩層的軟硬度差異造成的，泥岩受侵蝕消失，砂岩留了下來。2017 年，鵜戸被指定為國家名勝。

<日本語仮訳>

鵜戸-国指定名勝

森林に覆われた鵜戸崎は、千年以上にわたって旅人から親しまれてきました。岬の海岸線には、数百万年前の地殻変動によって形成された奇岩や巨岩が点在しています。初期の訪問者の多くは宗教的な苦行者で、彼らは孤立した場所で長期間過ごすことによって精神修養をするためにやって来ました。組織化された宗教の発展、特に日本での仏教の普及は、その後、こういった神聖な場所に神社や寺院を建立することにつながりました。鵜戸に設立された宗教的聖域は、1200年の歴史を持つ鵜戸神宮で、天皇家の神聖な起源にまつわる古代神話とも関連があります。

古代の巡礼者を驚かせた岩や巨岩は、現在、地質学者によって研究されており、彼らは硬い砂岩と柔らかい泥岩が混ざった鵜戸の断崖は、少なくとも800万年前に形成されたと推定しています。岬の南側の海から突き出た筋状の岩場は、地元では「鬼の洗濯板」として知られ、残っている砂岩と侵食された泥岩の層の硬度の違いによって、独特の形となりました。2017年、日本政府は鵜戸を国指定名勝に指定しました。

【タイトル】 潮嶽神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>**潮岳神社**

潮岳神社是日本唯一供奉“海幸彦”的神社，他是日本古代神话中的悲剧人物，传说中的日本首位天皇“神武天皇”的神圣先祖之一。海幸彦是一名技艺高超的渔夫，一天，身为猎人的弟弟“山幸彦”说服他交换工具，却遗失了他的鱼钩，以至兄弟反目相争。后来海幸彦被迫漂泊海上，最终流落到一个荒无人烟的地方度过了余生。据本地传说，这个地方就是如今潮岳神社的所在地。此外，民间还认为，神社信徒间因此形成了一项流传至今的传统：绝不可互借缝纫针，以免像这对兄弟一样出现龃龉。

神社建立时间不详，但在今宫崎县南部地区一直颇具影响力。江户时代(1603-1867)，神社得到本地藩主（日本封建时代的领主）伊东家族的支持和维护，并于 1832 年完成重建。每年 2 月 11 日的神社“春大祭”上，人们会以野猪头和鱼头供神，同时演出“神乐舞”祈祷丰收。神乐舞起源于江户时代，其中包括对海幸彦神话以及其他古老传说的重新演绎。

<繁体字>**潮嶽神社**

潮嶽神社是日本唯一供奉「海幸彦」的神社。海幸彦是日本古代神話中的一名悲劇人物，也是傳說中首位天皇「神武天皇」的神聖先祖之一。海幸彦是一位技藝高超的漁夫，一天，身為獵人的弟弟「山幸彦」說服祂交換工具，卻遺失了祂的魚鉤，以至兄弟反目成仇。後來海幸彦被迫漂泊海上，最終流落到一個荒無人煙的地方度過了餘生。據當地傳說，這個地方就是潮嶽神社的所在地。還相傳，神社信徒間因此形成了一項流傳千百年的傳統：絕不可互借縫紉針，以免像這對兄弟一樣出現齟齬。

神社建立時間不詳，但在今宮崎縣南部地區一直頗具影響力。江戶時代（1603-1867），神社得到當地藩主（日本封建時代的領主）伊東家的支持和維護，並於 1832 年完成重建。每年 2 月 11 日的神社「春大祭」上會以野猪頭和魚頭祭神，同時演出神樂舞祈禱豐收。神樂舞起源於江戶時代，其中包括對海幸彦神話以及其他古老傳說的重新演繹。

<日本語仮訳>

潮嶽神社

潮嶽神社は、伝説の初代天皇である神武天皇の神聖な先祖にまつわる神話に登場する、悲劇のキャラクター「海幸彦」を祀った日本で唯一の神社です。海幸彦は漁の名人でしたが、ある日、狩人で弟の山幸彦と道具を交換するよう説得されました。しかし、山幸彦は海幸彦の釣り針を失くしてしまい、そのことで何年にもわたって兄弟の間にヒビが入り、最終的には海幸彦は、何日も海で漂流した末に、隔絶の地で余生を過ごしました。地元の言い伝えによると、その場所が現在の潮嶽神社がある場所でした。この神話は、神社の信者が二人の兄弟の間に起きたような不和を避けるために、互いに縫い針を借りることを控えるべきという、今日まで続く伝統に影響を与えたと言われています。

潮嶽神社がいつ創建されたのかは不明ですが、現在の宮崎県南部に長い間影響力を持ってきました。江戸時代（1603-1867）、当神社はこの地域の藩主であった伊東氏によって維持され、1832年には同氏によって再建されました。この神社で奉納される神楽も江戸時代から始まりました。神楽は毎年2月11日に行われる「春大祭」で披露され、来る季節の豊作を祈願します。その舞いは海幸山幸神話やその他の古い伝説を改作したもので、イノシシや魚の頭を神々に捧げるお祭りの一部となっています。

【タイトル】 駒宮神社

【想定媒体】 QR

<簡体字>**駒宮神社**

如今宫崎县所在的地区曾是著名的良马产地，其历史至少可以追溯至奈良时代(710-794)。当时这里仍属于偏远地区，但出产的马匹却已受到朝廷的褒奖。这段历史被保留在了“驹宫神社”，神社境内有许多马的雕像。神社所在地是一段古老的海岸，据说它自史前时代起就是一处圣地，当时的人们很可能是将如今神社殿阁后方的悬崖视为神的居所加以崇拜。随着海面后退，周边露出的土地被用作农耕和放牧，驹宫神社也就成为了一处农耕区域的宗教中心。

及至江户时代(1603-1867)，驹宫神社得到饫肥藩（“饫”，音同“玉”；今宫崎县南部沿海区域）藩主（日本封建时代的领主）伊东家族的庇护，该家族每年向神社捐赠一匹马，以示其信仰与支持。如今，驹宫神社里供奉的是神武天皇，他是神话中日本的第一位天皇。相传神武天皇在这里度过了他的少幼时代，这一点在 1868 年明治维新后被进一步强调。明治天皇(1852-1912)的政府将神道教尊为国教，鼓励人们崇拜和维护与本土皇室血脉起源等本土神话传说有关联的场所。

<繁体字>**駒宮神社**

如今宮崎縣所在的地區曾是知名的良馬產地，其歷史至少可以追溯至奈良時代（710-794），當時這裡仍屬於偏遠地區，但出產的馬匹卻已受到朝廷的褒獎。這段歷史被保留在了駒宮神社裡，內有許多馬的雕像。神社所在地是一段古老的海岸，據說自史前時代起就是神聖的地方，當時的人們很可能是將如今神社建築後方的懸崖視為神的居所加以崇拜。隨著海面後撤，周邊露出的土地被用作農耕和放牧，駒宮神社也就成為了一處農耕區域的宗教中心。

及至江戶時代（1603-1867），駒宮神社得到了饫肥藩（「饫」，音同「玉」；今宮崎縣南部沿海區域）藩主（日本封建時代的領主）伊東家的庇護，該家族每年向神社捐贈一匹馬，以示其信仰與支持。如今駒宮神社裡供奉的是神武天皇，祂是神話中日本的第一位天皇。相傳神武天皇在這裡度過了祂的少幼時代，這一點在 1868 年明治維新後被進一步強調。明治天

皇（1852-1912）的政府將神道教尊為國教，鼓勵人們崇拜和維護與皇室血脈起源等當地神話傳說有關聯的場域。

<日本語仮訳>

駒宮神社

現在宮崎県となっているこの地域は、少なくとも奈良時代（710-794）に、僻地だったこの地域産の馬が朝廷に珍重されて以来、馬の飼育が盛んです。その歴史が息づいているのが、駒宮、つまり「馬の神社」であり、境内には馬の像が数多くあります。古くからの海岸線にあるこの神社の境内は、太古の昔から聖地として信仰されており、現在の社殿の裏手にある崖を神の住処として人々が崇拜していたのではないかと考えられています。海が後退した後、周辺の土地は農耕や放牧に利用され、駒宮神社は農民の信仰の中心地となりました。

江戸時代（1603-1867）、駒宮は信仰と庇護の象徴として毎年馬を寄進していた飢肥藩の藩主である伊東家（現在の宮崎県南部沿岸部）からの保護を受けていました。現在の駒宮神社は、神話上の初代天皇である神武を祀っています。神武天皇はここで幼少期を過ごしたと言われており、特に1868年の明治維新以降にその点が強調されました。明治天皇（1852-1912）による政府は、神道を国教として制度化し、皇室の起源に関する土着の神話や伝説に関連した場所の崇拜と維持を奨励しました。

【タイトル】 駒宮神社：御鉾の窟

【想定媒体】 看板

<簡体字>

駒宮神社：御鉾之窟

在古代日本，石头、树木以及其他各种自然产物都常常被当作神的居所得到崇拜，至于修建房舍供奉神明的观念，是后来才渐渐普及开来的。就“驹宫神社”而言，相传其本殿（正殿）背后的悬崖才是最初被崇拜的对象。在史前时代，这些悬崖紧邻海岸，如今还能看到崖壁上受到海浪侵蚀的痕迹，只是被泥土遮住了一部分。

从这里往下几米处有一个风浪侵蚀形成的岩壁洞穴，很可能就是当年举办宗教仪式的地方。依照本地传说，神话里的日本首任天皇“神武天皇”在踏上统一全国的征途之前，将他心爱的“御鉾”（带纓穗的长柄双刃武器）留在了这里。如今，岩洞口放置着一柄御鉾的金属仿制品作为标记。

<繁体字>

駒宮神社：御鉾之窟

在古代日本，石頭、樹木以及其他各種自然產物都常常被當作神的居所得到崇拜，修建屋舍供奉神明的觀念是後來才漸漸普及起來。就駒宮神社而言，相傳，本殿（正殿）背後的懸崖才是最初被祭拜的對象。在史前時代，這些懸崖緊鄰海岸，如今還能看到崖壁上有海浪侵蝕的痕跡，只是被泥土遮住了一部分。

從這裡往下幾公尺處有一個風浪侵蝕形成的岩壁洞穴，此處很可能是當年舉辦宗教儀式的地方。依照當地傳說，神話裡的日本首任天皇「神武天皇」在出發開啟統一全國的大業之前，將祂心愛的御鉾（帶纓穗的長柄雙刃武器）留在了這裡。如今，岩洞口放置著一柄御鉾的金屬仿製品作為標記。

<日本語仮訳>

駒宮神社：御鉾の窟

古代日本では、岩や木などの自然物を神の住処として祀ることが多く、建物に神を祀るという考え方が広まったのは、その後のことです。駒宮神社では、本殿の裏手にある断崖が本来の参拝対象であったと考えられています。これらの崖は先史時代に海岸沿いにあったもので、現在では部分的に土壌で覆われていますが、波の浸食の痕跡を残しています。

この場所の数メートル下には、波と風によって岩に彫られた洞窟があり、祭祀に使われていたと考えられています。地元の言い伝えによると、この洞窟は神話上の日本の初代天皇である神武が、国を統一するための旅に出る前に、愛用していた鉾（袋穂をもつ両刃の長柄の武器）を納めた場所だと言われています。現在は洞窟の入り口に伝説の武器の金属製複製品があり、洞窟の場所を示しています。

【タイトル】 駒宮神社：「陰陽石」と「錢石」

【想定媒体】 看板

<簡体字>

駒宮神社：“阴阳石”与“钱石”

据传，驹宫神社本殿（正殿）后面的断崖才是自古以来就受到崇拜的对象。只需要稍稍发挥想象就能看出，在凹凸不平的崖壁上有一对石块，形似彼此相向的男性和女性生殖器，这就是“阴阳石”。在日本，类似的石头向来被认为是求子、安产和婚姻幸福的吉祥之物。2018年，在对这处岩壁前方区域的发掘中出土了许多钱币状的小石头。据推测，这些石头很可能是几百年前的信徒留下的，他们来到这里，祈求神明保佑自己的孩子，同时进奉“钱币”，希望能让神明听到自己的心愿。驹宫神社从2018年的发掘成果中获得灵感，制作出“钱石”的复制品，供参拜者购买后供奉在“阴阳石”前。

<繁体字>

駒宮神社：「陰陽石」與「錢石」

據傳，駒宮神社本殿（正殿）後面的斷崖，是自古以來就受到崇拜的對象。只需要稍稍發揮想像就能看出，凹凸不平的崖壁上有一處石頭形似一對彼此相向的男性和女性生殖器，這就是「陰陽石」。在日本，類似的石頭向來被認為是求子、安產和婚姻幸福的吉祥物。2018年，在對這處岩壁前方區域的發掘中出土了許多錢幣狀的小石頭。據推測，這些石頭是幾百年前的信徒留下，他們來這裡祈求神明保佑自己的孩子，同時進奉「錢幣」，希望神明能聽見自己的心願。駒宮神社從2018年的發掘成果中獲得靈感，製作出「錢石」的複製品，供參拜者購買後供奉在「陰陽石」前。

<日本語仮訳>

駒宮神社：「陰陽石」と「錢石」

駒宮神社の本殿の裏手にある断崖は、古来より信仰の対象となっていたとされています。少し想像力を働かせると、その凹凸のある表面の一部は、男性器と女性器が向かい合っているように見えます。これが

「陰陽石」です。日本では古くから、このように見える岩は、安産や子宝、夫婦円満などの縁起物とされてきました。2018年にこの岩の前の地面を発掘した際、コイン（銭）に似た形をした小石が大量に見つかりました。これらの石は何百年も前に、子供にまつわることで神の助けを求めて祈りに来た帰依者が残したと考えられており、より願いが叶うよう「銭」を神に捧げたと考えられています。2018年の発見をきっかけに、駒宮神社ではこの「銭石」のレプリカを作成し、参拝者が購入して「陰陽石」の前に置いておくことができるようになりました。

【タイトル】 駒宮神社：日向シャンシャン馬の伝統

【想定媒体】 QR

<簡体字>**驹宫神社：日向市の“シャンシャン馬”(Shan-shan Uma)传统**

驹宫神社里诸多的马匹雕像提醒着来访者，这种动物在本地历史上曾扮演过极其重要的角色。最晚自奈良时代(710-794)以来，如今宫崎县所在地区一直都是著名的良马产地，在过去的数个世纪里，驹宫神社周边曾经拥有众多的牧马场。其中，距离神社约4公里的立石与本地流传的神武天皇的故事有关，他是传说中的日本第一位天皇。相传，神武小的时候得到了一位龙神赠送的马，名“龙石”，从此，一人一马形影不离。神武长大后，为了成为伟大的统治者而必须离开家乡，不得不将自己心爱的坐骑留下。据说这对伙伴分别的地点就在立石，江户时代(1603-1867)之前，当地一直拥有一片牧马场。

饫肥藩（“饫”，音同“玉”；今宫崎县南部海岸地区）藩主（日本封建时代的领主）伊东家族每年向驹宫神社捐赠一匹马，作为其信仰与支持的象征。在一些年度祭典上，来自周边乡村的人们相聚神社，跳起与马有关的舞蹈，举办马匹拍卖会。据说，“シャンシャン馬”(Shan-shan Uma)的传统就起源于这些活动。这项活动如今早已风靡整个日南市，形式各有不同，但多半都少不了新婚夫妇同骑披红带彩的马匹这一环节。有说法认为，“シャンシャン”一词就是模仿庆典活动中马具上的铃铛所发出的声响。

<繁体字>**駒宮神社：日向市の「シャンシャン馬」(Shan-shan Uma)傳統**

駒宮神社裡諸多的馬匹雕像提醒著到訪遊客，這種動物在當地歷史上曾扮演過極其重要的角色。至少自奈良時代（710-794）以來，如今宮崎縣所在地區一直都是著名的良馬產地，駒宮神社周邊在數個世紀裡曾經擁有許多牧馬場。其中，距離神社約4公里的立石與當地流傳的神武天皇的故事有關，祂是傳說中的日本第一位天皇。相傳，神武小的時候得到了一位龍神贈送的馬，名「龍石」，從此一人一馬形影不離。神武長大後，為成為一名偉大的統治者而離開家鄉時，不得不將自己心愛的坐騎留下來。據說一人一馬分別的地點就在立石，江戶時代（1603-1867）以前，當地一直擁有一片牧馬場。

飢肥藩（「飢」，音同「玉」；今宮崎縣南部海岸地區）藩主（日本封建時代的領主）伊東家每年向駒宮神社捐贈一匹馬，象徵對神社的信仰與支持。在一些年度祭典上，來自周邊鄉村的人們會相聚神社，跳起有關馬的舞蹈，舉辦馬匹拍賣會。據說，「シャンシャン馬」（Shan-shan Uma）的傳統就起源於這些活動。如今這個活動早已風靡整個日南市，形式各有不同，但多半都少不了新婚夫婦同騎飾有紅綵帶的馬匹這一活動。有一種說法認為，「シャンシャン」一詞就是模仿慶典活動中馬具上的鈴鐺所發出的聲響。

<日本語仮訳>

駒宮神社：日向シャンシャン馬の伝統

駒宮神社には数多くの馬の像があり、当地の歴史において馬が重要な役割を果たしてきたことを感じさせます。現在の宮崎県のあたりは、少なくとも奈良時代（710-794）から馬の繁殖地として有名で、駒宮の近くには何世紀にもわたって多くの繁殖場がありました。そのうちの一つである立石は、神社から約4km離れた場所にあり、伝説の初代天皇である神武天皇にちなんだ伝承が残っています。物語では、龍神が若き神武に「龍石」という馬を贈り、彼と馬は切っても切れない関係になりました。神武が成長し、偉大な支配者になるために故郷の村を出発するにあたり、彼は愛馬を置いて行かなければなりません。神武と龍石は、江戸時代（1603-1867）まで馬の放牧場があった立石で別れたと言われています。

飢肥藩（現在の宮崎県南部沿岸地域）の藩主であった伊東家は、信仰と庇護の象徴として毎年駒宮神社に馬を寄進していました。毎年恒例のお祭りでは、近隣の村の人たちが集まり、馬をモチーフにした踊りを披露したり、馬の競売を行ったりしていました。これらの行事から生まれたのが、現在の日南市の全域でさまざまな形で行われている「シャンシャン馬」であり、主に新婚夫婦が精巧な装飾を施した馬に乗る行事です。「シャンシャン」という言葉は、装飾した馬の馬具についている鐘の音を表していると考えられています。

【タイトル】 吾平津神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>**吾平津神社**

吾平津媛，是日本神话中首位天皇“神武天皇”的第一位妻子。在他们成婚生子后，神武出发东征，打败敌对部落，最终在这个国家的中部（今奈良县）建立了政权。有些故事版本说吾平津媛同样参与了这趟征程，有些则说她当时留在家中为丈夫祈祷。

数百年来，这里一直是油津村的总镇守（庇护整个村落的神社）。神社最初为海之女神“乙姬”而建，她被尊为“乙姬大明神”。民间传说常可见到这位女神的踪迹，有时还有一只猴子和一只雉鸡相伴左右。1868年明治维新后，由于政府鼓励崇拜和维护与本土神话或皇室血脉起源传说有关的场所，神社遂改奉吾平津媛为主祭神，并改名“吾平津神社”。尽管如此，伴随海女神乙姬的两只动物的雕像依然被保留下来，至今仍守护在神社入口处。

<繁体字>**吾平津神社**

吾平津媛，是日本神話中首位天皇「神武天皇」的第一位妻子。在他們成婚生子後，神武出發東征，打敗敵對部落，終在這個國家中部（今奈良縣）建立了政權。有些故事版本說吾平津媛同樣參與了這趟征程，而有些則說她當時留在家中為丈夫祈禱。

數百年來，這裡一直是油津村的總鎮守（庇護整個村落的神社）。神社最初為海之女神「乙姬」而建，她被尊為「乙姬大明神」。民間傳說常可見到這位女神的蹤跡，有時還有一隻猴子和一隻雉雞相伴左右。1868年明治維新後，由於政府鼓勵崇拜和維護與本土神話或皇室血脈起源傳說有關的場域，所以神社改奉吾平津媛為主祭神，並改名「吾平津神社」。儘管如此，伴隨海女神乙姬的兩只動物的雕像被保留了下來，至今仍守護在神社入口處。

<日本語仮訳>**吾平津神社**

日本神話では、吾平津媛は伝説の初代天皇である神武の最初の妻です。二人は一緒に暮らし、子供をもうけた後、神武は全国を統治する旅に出て、敵対する部族を倒し、日本の中心、現在の奈良県に政府を樹立しました。吾平津媛は、夫の旅に同行する説と、夫の成功を祈って留まる説があります。

古くからここは油津村の総鎮守（村全体を守る神社）でした。もともとは海の女神・乙姫を祀っていたため、「乙姫大明神」と呼ばれていました。多くの民話に登場するこの女神は、時には猿と雉の二人の仲間と一緒に登場することもあります。1868年明治維新後に、明治天皇（1852-1912）の政府は、神道を国教として制度化し、在来神話や皇室の起源伝説にまつわる場所の崇拝と維持を奨励しました。このような背景から、神社は吾平津媛を主祭神とし、「吾平津神社」に改名されました。神社の参道には、現在も吾平津媛の仲間である猿と雉の動物の像が鎮座しています。

【タイトル】 吾田神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>

吾田神社

吾田神社是一处古老的祭祀场所，据传，上千年来它始终是本地农业社区的精神信仰中心。表演神乐舞，举行仪式，祈祷丰收，是神社每年一度的“春日祭”的特色。神乐舞中包含了再现日本神话故事场景的部分。当地人相信，吾田神社背后的小山上安葬着“手研耳命”，在神话传说中，他是日本首位天皇“神武天皇”与妻子“吾平津媛”的第一个孩子，出生在一个名叫“吾田”的地方。神武天皇去世后，手研耳命试图继承父亲的皇位，却被同父异母的弟弟挫败并杀死，最终被埋葬在母亲家乡的村庄里。

吾田神社将这位命运不济的皇子与他的母亲一同视为神道教神明，加以供奉。神社背后森林覆盖的小山被认为是一处史前的墓葬地。

<繁体字>

吾田神社

吾田神社是一處古老的祭祀場所，據傳，上千年來此處一直是當地農業聚落的精神信仰中心。表演神樂舞，舉行儀式，祈禱豐收，是神社每年一度的春日祭的特色。神樂舞中包含了再現日本神話故事場景的部分。當地人相信，吾田神社背後的小山上安葬著「手研耳命」，神話傳說中，他是日本首位天皇「神武天皇」與妻子「吾平津媛」的第一個孩子，出生在一個名叫「吾田」的地方。神武天皇死後，手研耳命試圖繼承父親的皇位，卻被同父異母的弟弟擊敗並殺死，最終被埋葬在母親家鄉的村莊裡。

吾田神社將這位命運不濟的皇子與他的母親一同被奉為神道教神明加以供奉。神社背後森林覆蓋的小山被認為是一處史前的墓葬地。

<日本語仮訳>

吾田神社

吾田神社は、千年以上も前から地域の農民たちの精神的な拠り所であったとされる古い社です。毎年春に神社で行われる例祭では、五穀豊穰を祈願する神楽が奉納されます。こうした踊りの中には、日本神話の場面を再現したものもあります。地元の信仰では、手研耳命の墓が吾田神社の裏山にあります。神話では、手研耳命は伝説の初代天皇神武とその最初の妻である吾平津媛の第一子で、「吾田」と呼ばれる地の出身として記述されています。父の死後、皇位を継ごうとした手研耳命は、異母兄弟に阻止されて殺され、母の故郷の村に葬られます。

吾田神社は、悲劇の皇子とその母親の両方を祭神として祀っています。神社裏の森林に覆われた丘は、先史時代の埋葬地と考えられています。

【タイトル】 祇園神社

【想定媒体】 看板

<簡体字>**祇園神社**

祇園神社位于一处天然岩洞中，这里自古以来就是祭祀拜神之地。岩洞地处旧油津港的入口，过去，港口总与洪水、疫病和其他不幸有关，由此即可看出神社的精神意义。古代日本人通常认为，这类灾祸的起因是触怒了龙神，神明的怒火需要得到安抚。在油津地区，安抚仪式的举办地就是此处岩洞。1924年，在当地一位铁路主管的主导下，洞内建起了神社。

祇園神社隶属于京都的八坂神社，那里每年都会举办“祇園祭”。神社供奉风暴之神“建速须佐之男命”，人们相信，这位神明能够保护信徒免受疫病及怒海之害。他最著名的战绩当属杀死“八歧大蛇”，这或许是日本神话中最有名的一条“龙”。传说建速须佐之男命成功斩杀这条生有八个头的大蛇后，从蛇尾巴中拔出了如今作为皇室三神器之一而受到崇敬的“草薙剑”。

<繁体字>**祇園神社**

如今祇園神社所在的天然岩洞，自古以來就是祭祀拜神之地。其地處舊油津港的入口，過去港口總與洪水、疫病和其他不幸有關，由此即可看出神社的精神意義。古代的日本人通常認為這類災禍是因龍神發怒而招致，神明的怒火需要得到安撫。在油津地區，安撫儀式的舉辦地就是這處岩洞。1924年，在一名當地鐵路官員的支持下，於洞內建起了神社。

祇園神社隸屬於京都的八坂神社，那裡每年都會舉辦祇園祭。神社供奉風暴之神「建速須佐之男命」，人們相信這位神明能夠保護信徒免受疫病及怒海之災。祂最著名的戰績要數殺死了或許是日本神話中最有名的一條「龍」。傳說，建速須佐之男命斬殺了這條生有八個頭的「八歧大蛇」，從大蛇尾巴中拔出了如今作為皇室三神器之一而受到崇敬的「草薙劍」。

<日本語仮訳>**祇園神社**

現在の祇園神社がある天然の洞窟は、古来より崇拝の場となっています。旧油津港の入り口に位置するこの場所は、港が洪水や伝染病などの災いをもたらしてきたという背景から、その精神的な意味合いを感じ取ることができます。古代日本では、このような災難は、怒りに燃える龍神の仕業であり、その怒りを鎮める必要があると考えられていました。油津では、この洞窟でそのような儀式が行われていました。1924年に、地元の鉄道会社の幹部が中心となり、洞窟内に神社が建てられました。

祇園神社は、毎年祇園祭が行われる京都の八坂神社の系列神社で、嵐の神である建速須佐之男命を祀っています。疫病と海の怒りから信者を守ると信じられているこの神は、おそらく日本神話で最も有名な「龍」を退治したことで知られています。建速須佐之男命は八つの頭を持つ大蛇「八岐大蛇（ヤマタノオロチ）」を退治し、その尾から今では日本の三種の神器の一つとして崇拝されている「草薙剣」を抜いたと言われています。

【タイトル】日本の神話：淤能碁呂島

【想定媒体】WEB

<簡体字>**日本神話：淤能碁呂島**

日本の创世神话从天、地以及七代原始神的出现开始。七代神中，最末一代诞生了创造神“伊邪那岐命”和“伊邪那美命”兄妹，他们正是这一系列神话的主角。其他原始神授命伊邪那岐命和伊邪那美命前去给大地“赋形”。那时还没有土地，只有几块如“浮脂”一样飘荡流散的东西。这对兄妹站在天上，将一柄名为“天沼”的矛向下插入海中，开始搅动。当他们提起长矛，凝结的盐块自矛尖滴落，形成了第一座岛屿，这就是“淤能碁呂島”。伊邪那岐命和伊邪那美命随后降落到这座岛上，建起了一座神殿和一根天柱。

<繁体字>**日本神話：淤能碁呂島**

日本の創世神話從天、地以及七代原始神的出現開始。七代神中，最末一代誕生了創造神「伊邪那岐命」和「伊邪那美命」兄妹倆，祂們便是這部系列神話的主角。其他神明授命伊邪那岐命和伊邪那美命前去給大地「塑形」。那時沒有土地，只有幾塊飄蕩流散的「浮脂」一樣的東西。這對兄妹站在天上，將一柄名為「天沼」的矛向下插入海中，開始攪動。當祂們拔起長矛，凝結的鹽塊自矛尖滴落，形成了一座島嶼，這就是「淤能碁呂島」。伊邪那岐命和伊邪那美命隨後降落到這座島上，建造了一座神殿和一根天柱。

<日本語仮訳>**日本の神話：淤能碁呂島**

日本の創造神話は、天、地、そして7代続く原始の神々が登場するところから始まります。7代の最後の世代に、神話の主人公となる創造神、伊邪那岐命と伊邪那美命の兄妹が登場します。ほかの神々は伊邪那岐命と伊邪那美命に地球を「形にする」ことを命じますが、この時点では地球は漂流する油のような塊にすぎませんでした。天に立ち、兄妹は「天沼矛」を海に降ろしてかき混ぜます。引き上げると、矛の先

端から塩の塊が滴り落ち、「淤能碁呂（オノゴロ）」と呼ばれる島が形成されます。伊邪那岐命と伊邪那美命は島に降り立ち、その上に神殿と天の御柱を建てました。

【タイトル】 日本の神話：神々の完成

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日本神话：神明的结合

在“淤能碁吕岛”上，“伊邪那岐命”和“伊邪那美命”认识到两人的身体构造有所不同，也就是说，他们有孕育子孙的能力。这对神明决定相背绕天柱而行，直到再次相遇。相遇后，伊邪那美命禁不住说：“好美的男神！”伊邪那岐命紧跟着感叹：“好美的女神！”二人遂交合。于是，他们有了两个孩子，然而都是畸形死婴。兄妹俩迷惑不解，便向天上的神明寻求帮助。诸神指出，因为伊邪那美命先开口说话，才导致他们生下了残缺的孩子，应当由男性先开口，而不是女性。

对于这个故事有多种解读，但大多指向中国哲学，尤其是儒家思想的影响。日本神话成书于公元8世纪，当时，儒家思想已经对日本的宫廷学者和精英阶层产生了深刻的影响。中国儒家尊崇男性，将女性置于较低的社会地位。至于为什么会把对女性的主动性警示引入伊邪那岐命和伊邪那美命的创世神话中，这个问题必须结合神话整理编撰时的社会背景来加以理解。另一方面，伊邪那美命分娩时不幸过世的情节，或许也反映了古代早产、流产高发及婴儿死亡率高的社会现象。

<繁体字>

日本神話：神明的結合

在「淤能碁呂島」上，「伊邪那岐命」和「伊邪那美命」認識到牠們的身體構造有差異，也就是說，牠們有孕育子孫的能力。這對神明決定相背繞天柱而行，直到再次相遇。相遇後伊邪那美命禁不住說：「好美的男神！」緊跟著伊邪那岐命也感歎：「好美的女神！」二人遂交合。於是，牠們有了兩個孩子，但都是畸形死嬰。兄妹倆很迷惑，牠們向天上的神明尋求幫助。諸神指出，因為伊邪那美命先開口說話，才會導致牠們生下殘缺的孩子。應當由男性先開口，而不是女性。

對於這個故事有許多解讀，但大多指向中國哲學，尤其是受儒家思想的影響甚多。日本神話成書於西元8世紀，當時，儒家思想已經對日本的宮廷學者和精英階層產生了深刻的影

響。中國儒家尊崇男性，將女性置於較低的社會地位。至於為什麼會把對女性的主動性警示引入伊邪那岐命和伊邪那美命的創世神話，這個問題必須結合神話整理編撰時的社會背景來加以理解。另一方面，伊邪那美命生產時不幸過世的故事情節，或許也反映了古代容易發生早產、流產及嬰兒死亡率偏高的社會現象。

<日本語仮訳>

日本の神話：神々の完成

淤能碁呂島で伊邪那岐命と伊邪那美命は、自分たちの身体の造りが違うこと、つまり子孫を残す能力を持っていることに気づきます。神々は再会するまで島の天の御柱を反対方向に周ることにし、再会したところで、伊邪那美命が先に言いました、「まあ、なんと愛しい男神よ。」と。その後、伊邪那岐命が言いました、「まあ、なんと愛しい女神よ。」。そして、二人は愛し合いました。彼らには子供が二人産まれましたが、二人とも異形で生命力がありませんでした。惑った伊邪那岐命と伊邪那美命は、天つ神の助言を受けることにしました。彼らは、伊邪那美命が先に声をかけたことが異形の子供の原因であったことを明らかにします。つまり、女性ではなく男性から声をかけるべきだったのです。

この物語についてはいくつかの注釈がありますが、8世紀に神話を書き留めた朝廷の学者たちに中国の哲学、特に儒教が影響を与えたとの説が有力です。当時の日本では、エリートの間で儒教が定着していました。儒教は男尊女卑の思想で、女性は社会的に劣った立場に置かれていました。伊邪那岐命と伊邪那美命の物語に盛り込まれた女性の主体性に対する警告は、神話が書かれた当時の社会の文脈の中で理解されなければなりません。また、伊邪那美命の出産時死亡の話は、古代社会における早産や乳幼児の死亡率の高さを反映している可能性もあります。

【タイトル】日本の神話：日本列島の誕生

【想定媒体】WEB

<簡体字>

日本神话：日本列岛的诞生

“伊邪那岐命”和“伊邪那美命”学会了正确的受孕生产方法，孕育出了众多孩子。

首先，伊邪那美命产下了八大岛屿：淡路、四国、隐岐、九州、壹岐、对马、佐渡、本州，日本列岛就此基本成型。这八个岛屿是古代日本人所能掌控的土地，其中，本州、四国和九州占据了现代日本四大岛之三；淡路岛座落在本州与四国之间的濑户内海；隐岐、壹岐、对马和佐渡位于日本海。在神话叙事里，日本常常被称作“大八岛国”，它既特指伊邪那岐命和伊邪那美命生下的第一批岛屿，也指代这个岛国。就后一种意义而言，“八”只是虚指，表示“许多”的意思。

伊邪那美命后来又相继生下了一些比较小的岛屿，其中大多数都位于濑户内海，与大八岛共同组成了完整的日本列岛。

<繁体字>

日本神話：日本列島的誕生

「伊邪那岐命」和「伊邪那美命」在學會了正確的受孕生產方法之後，孕育出了許多孩子。

首先，伊邪那美命生下了八大島嶼：淡路、四國、隱岐、九州、壹岐、對馬、佐渡、本州，日本列島就此基本成型。這八座島嶼是古代日本人所能掌控的土地，其中，本州、四國和九州佔據了現代日本四大島之三；淡路島坐落於本州與四國之間的濑戶內海；隱岐、壹岐、對馬和佐渡位於日本海。在神話敘事裡，日本常常被稱作「大八島國」，它既特指伊邪那岐命和伊邪那美命生下的第一批島嶼，也代指這個島國。就後一種意義而言，「八」只是虛指，表示「許多」的意思。

伊邪那美命後來又繼續生下了一些比較小的島嶼，其中大多數都位於濑戶內海，與大八島共同組成了完整的日本列島。

<日本語仮訳>

日本神話：日本列島の誕生

正しい子の成し方を教えられた伊邪那岐命と伊邪那美命は、多くの名だたる子供を生むこととなります。

まず、伊邪那美命は8つの島を生みました。それらは、淡路、四国、隠岐、九州、壱岐、対馬、佐渡、本州で、日本列島を形成しました。この8つの島は、古代日本人が支配していた土地です。そのうち、本州、四国と九州は近代日本の主要4島のうちの3島で、淡路島は本州と四国の間の瀬戸内海、隠岐・壱岐・対馬・佐渡は日本海に位置しています。神話では、日本はしばしば「大八島国」と呼ばれています。これは、伊邪那岐命と伊邪那美命が最初に作った島を指すと共に、島国全般を指しており、後者の意味では「八」は単に「多数」を表したものとなります。

伊邪那美命はその後、瀬戸内海にある島を始めとしていくつかの小さな島を生み、日本列島を完成させました。

【タイトル】 日本の神話：神々の誕生

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**日本神話：神的誕生**

世界已成，該有居民入住了。下一步，“伊邪那美命”生下了許許多多不同的神明，他們居住在八大神島上，掌管着不同的自然元素，有風之神、水之神、木之神、山之神、平原之神，乃至於各種各樣的家庭守護神和其他精靈。諸神散入世間，又造出更多的神明。

不幸的是，伊邪那美命在分娩火神時被嚴重燒傷，她苦苦掙扎翻滾，從她的體液中又生出如礦山之神、土地之神、農耕之神等更多的神明。最終，伊邪那美命傷重而亡。至此，她一共生下了 14 座島嶼和 35 位神明。

<繁体字>**日本神話：神的誕生**

世界已然成形，該有居民入住了。下一步，「伊邪那美命」生下了許許多多不同的神明，他們居住在八大神島上掌管著不同的自然元素：有風之神、水之神、木之神、山之神、平原之神，乃至於各種各樣關於家的守護神和其他精靈。諸神散入世間，再造出更多的神明。

然而，伊邪那美命在生育火神時被嚴重燒傷。她苦苦掙扎翻滾，從她的體液中又生出了如礦山之神、土地之神、農耕之神等更多的神明。最終，伊邪那美命傷重而亡。至此，她共誕下 14 座島嶼和 35 位神明。

<日本語仮訳>**日本神話：神々の誕生**

住むことのできる世界が整うと、伊邪那美命は 8 つの神々の島に住み、自然の要素を司る様々な神々を生みました。その中には、風の神、水の神、木の神、山の神、野の神などの神々のほか、様々な家の神やその他の精霊が含まれていました。彼らは国中に広がり、さらに多くの神々を生み出しました。

しかし、伊邪那美命は火の神を生む際に、大火傷を負ってしまいます。彼女がもがき苦しむうちに、その体液から鉾山の神、土の神、農耕の神などの神々が現れました。合わせて14の島と35柱の神々を生んだ伊邪那美命は、その時の傷がもとで命を落としてしまいます。

【タイトル】 日本の神話：火の神の斬首

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日本神話：火之神的斬首

妻子“伊邪那美命”的死，让“伊邪那岐命”悲痛流涕，从他的泪水中诞生了又一位神明：泉水女神。

安葬了妻子之后，伊邪那岐命转身走向这场悲剧的肇事者“火之迦具土神”。他满怀怒火，拔出宝剑，只一挥就砍下了火之迦具土神的头颅。血从剑锋滴落到地上，生出八位新的神明；与此同时，从火之迦具土神残缺的躯体里也生出了另外八位神明，其中包括岩之神、剑之神、雷之神、炎之神、瀑之神、山谷之神等。他们的出现，意味着当时人类认知的世界已经从温和美丽的天堂，走向了更加复杂、危险的世俗人间。

<繁体字>

日本神話：火之神的斬首

妻子「伊邪那美命」的死，令「伊邪那岐命」悲痛流涕，自祂的淚水中誕生了又一位神明「泉水女神」。

安葬了妻子之後，伊邪那岐命轉身走向這場悲劇的肇事者「火之迦具土神」。祂滿懷怒火，拔出寶劍，只一揮就砍下了火之迦具土神的頭顱。血從劍鋒滴落到地上，生出八位新的神明；與此同時，從火之迦具土神殘缺的軀體裡也生出了另外八位神明，其中包括岩之神、劍之神、雷之神、炎之神、瀑之神、山谷之神等，祂們的出現意味著人類認知的世界已經從溫和美麗的天堂，走向了更加複雜、危險的世俗人間。

<日本語仮訳>

日本神話：火の神の斬首

妻の伊邪那美命の死に打ちひしがれて泣いていた伊邪那岐命の涙から、もう 1 柱の神、湧水の女神が生まれました。

妻を葬った伊邪那岐命は、悲劇の原因となった火の神・火之迦具土神の方を向きます。怒りに駆られた伊邪那岐命は剣を抜き、一振りで火之迦具土神の首をはねました。刃から地面に滴り落ちた血から新たに 8 柱の神が生まれ、さらに傷を負った火之迦具土神の体からも 8 柱の神が生まれました。これらは岩の神、剣の神、雷の神、炎の神、滝の神、谷の神であり、その出現はこの世界が牧歌的な国からより複雑で危険な場所へと進化していく様を象徴しています。

【タイトル】 日本の神話：黄泉の国へ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日本神话：前往黄泉之国

“伊邪那岐命”无法接受他深爱的“伊邪那美命”就这样死去，决定深入“黄泉之国”，将她带回来。他在黄泉之国找到了伊邪那美命，请求她返回生者的世界，劝她说这样就能继续一起完成创造世界的使命。但伊邪那美命说她回不去了，因为她已经吃下了黄泉的食物。伊邪那岐命再三敦促伊邪那美命去跟“黄泉之神”商量。她答应了，但要求伊邪那岐命耐心等待，期间绝对不许看她。可心焦难耐的伊邪那岐命终究没能忍住，不料看到的却是身躯已然腐烂不堪的伊邪那美命。

暴怒的伊邪那美命召来黄泉丑女，对伊邪那岐命紧追不放。伊邪那岐命一边逃跑，一边向身后扔出种子。种子落地生根，长出葡萄藤和其他植物，分散了丑女的注意力。为驱散追兵，伊邪那岐命还扔出了桃子——在古代日本，人们认为这种果实拥有神秘的力量。最终，赶在被亲自追上来的伊邪那美命抓住之前，伊邪那岐命成功逃出黄泉之门，并用一块巨大的圆石封闭了黄泉与人世的通道。夫妻俩隔着石头对话，伊邪那美命咒骂丈夫，发誓要每天杀死世间 1000 人，直到时间的尽头。伊邪那岐命反击说，那么人世间每天必定有 1500 名婴儿降生。故事中有出生与死亡数字争执的情节，很可能是基于古代日本的实际人口增长情况而撰写。

<繁体字>

日本神話：前往黃泉之國

「伊邪那岐命」無法接受祂深愛的「伊邪那美命」就這樣死去，決定奔赴黃泉之國將她帶回來。祂在黃泉之國找到了伊邪那美命，請求她回到生者的世界，說服她這樣就能繼續一起完成創造世界的使命。可伊邪那美命說她回不去了，因為已經吃下了黃泉的食物。伊邪那岐命再三敦促伊邪那美命去跟黃泉之神商量。她答應了，但要求伊邪那岐命耐心等待，並絕對不許看她。可心焦難耐的伊邪那岐命終究沒能忍住看了，但看到的卻是身軀已腐爛不堪的伊邪那美命。

暴怒的伊邪那美命召來黃泉醜女，對伊邪那岐命緊追不放。伊邪那岐命一邊逃跑，一邊向身後扔出種子。種子落地生根，長出葡萄藤和其他植物，分散了醜女的注意力。為驅散追兵，伊邪那岐命還扔出了桃子。在古代日本，人們認為這種果實擁有神秘的力量。最終，趕在被親自追上來的伊邪那美命抓住之前，伊邪那岐命成功逃出黃泉之門，並用一塊巨大的圓石封閉了黃泉與人世的通道。夫妻倆隔著石頭對話，伊邪那美命咒罵丈夫，發誓要每天殺死世間 1000 人，直到時間的盡頭。伊邪那岐命反擊說，那麼人世間每天必定有 1500 名嬰兒降生。故事中有關出生與死亡數字的爭執情節，很可能是基於古代日本的實際人口增長情況而撰寫的。

<日本語仮訳>

日本神話：黄泉の国へ

伊邪那岐命は、愛する伊邪那美命の死に耐えきれなくなり、彼女を死者の住む黄泉の国から連れ戻すことを決意します。彼は黄泉の国まで旅をして伊邪那美命を見つけ、生者の国に戻って共に国造りを完成させようと彼女に懇願しました。しかし伊邪那美命は、死者の国で作ったものを食べてしまったため、もう戻れないと答えます。伊邪那岐命は何度も、伊邪那美命に黄泉の神々を説き伏せるよう促しました。彼女はそれに頷きましたが、伊邪那岐命に待っている間は彼女を見ることを禁じました。しかし、待ちきれなかった伊邪那岐命は、説得中に伊邪那美命の方を向いてしまい、ひどく腐った状態の伊邪那美命を見てしまいます。

激怒した伊邪那美命は、地獄の鬼婆たちを呼び出します。この鬼たちは逃げようとする伊邪那岐命を追いかけますが、彼は後ろに種を撒きながら走りました。この種は、地面に落ちるとすぐにブドウの木などの植物に成長し、女たちの気をそらしました。伊邪那岐命は、追っ手を振り切るために、古代日本では神秘的な力を持つとされていた桃を投げました。伊邪那岐命は黄泉の門を抜け出し、伊邪那美命がたどり着く前にその道を巨大な丸い石で塞ぎました。伊邪那美命は岩越しに夫を呪い、毎日 1,000 人の命を永久に奪い続けると伝えます。伊邪那岐命はそれに対抗し、毎日 1,500 人の赤ん坊を世に送り出すと約束しました。このやりとりは、古代日本で想定されていた人口増加ペースに基づいたものだったのかもしれませんが。

【タイトル】 日本の神話：禊

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日本神话：禊

返回生者的世界后，“伊邪那岐命”想要立刻洗掉在黄泉之国沾染的污浊。于是，他脱掉衣服，整个人浸入水中清洗身体，这就是日本传说里的第一次洗濯净化仪式，称“禊”（音同“戏”）或“祓”（音同“福”）。从他丢下的衣物里生出了一系列新的神明，清洗过程中又诞生了更多的神明。最后，当他洗到脸部时，神道教众神之中最重要的三位出现了：洗涤左眼时诞生了太阳女神“天照大御神”；洗涤右眼，有了月神“月读命”；海洋与风暴之神“建速须佐之男命”则在他清洗鼻子时诞生。至此，诸神诞生，创世神话告终。

在日本第一部书面历史著作《古事记》的记载中，伊邪那岐命的这次洗濯净化发生在日向国（今宫崎县）。公元8世纪时，身处当时首都奈良的宫廷学者们首次着手整理日本神话，之所以选择日向国为故事发生的地点，很可能是因为它地处遥远的东南方，被认为是最接近东升的旭日，亦即最接近神域的地方。这种与太阳的特殊关联同样体现在当地地名上。在进入现代社会以前的日本，日向国是全国唯一以“日”字入名的县级行政区域。

“禊”是神道教的核心仪式之一，通常用于参拜前完成对身、心两方面的净化。在神社里，到访者在入口的手水舍清洁手和口，即可视为完成禊礼。

<繁体字>

日本神話：禊

回到生者的世界後，「伊邪那岐命」立刻想要洗掉在陰世沾染的汙濁。於是，祂脫掉衣服，整個人浸入水中清洗身體，這就是日本傳說裡的第一次洗濯淨化儀式：稱「禊」（音同「戲」）或「祓」（音同「福」）。從祂丟下的衣物裡生出了一系列新的神明，而清洗過程中又誕生了更多的神明。最後，當祂洗到臉部時，神道教眾神之中最重要的三位出現了：洗滌左眼時誕生了太陽女神「天照大御神」；洗滌右眼，有了月神「月讀命」；海洋與風暴之神「建速須佐之男命」則在祂清洗鼻子時誕生。至此，諸神誕生，創世神話告終。

根據日本第一部書面歷史著作《古事記》的記載，伊邪那岐命的這次洗濯淨化發生在日向國（今宮崎縣）。西元8世紀，身處當時首都奈良的宮廷學者們首次著手整理日本神話，之所以選擇日向國為故事發生的地點，很可能是因為它地處遙遠的東南方，那裡是被認為最接近東升的旭日，也就是最接近神域的地方。這份與太陽的特殊關聯同樣體現在當地地名上。在進入現代社會以前的日本，日向國是全國唯一以「日」字入名的縣級行政區域。

「禊」是神道教的核心儀式之一，通常用於在參拜前完成身、心兩方面的淨化。在神社裡，到訪遊客在入口的手水舍清潔手和口，即為完成禊禮。

<日本語仮訳>

日本神話：禊

生者の国に戻った伊邪那岐命は、黄泉の国の穢れを洗い流そうとしました。彼は服を脱ぎ去り、水に浸かって体を清めました。脱ぎ捨てられた服から新たな神々が生まれ、また伊邪那岐命が身を洗うことでさらに多くの神々が生まれました。これは日本神話のなかで最初の「禊」または「祓」と呼ばれる清めになります。最後に顔をこすった際、神道の神々の中で最も重要な3柱が現れました。それが、伊邪那岐命の左目から生まれた太陽の女神である天照大御神、右目から生まれた月の神である月読命、鼻から生まれた海と嵐の神である建速須佐之男命です。これらの神々の誕生で、天地開闢の神話は締め括られます。

日本で最初に書かれた歴史書である『古事記』には、伊邪那岐命の禊は日向国（現在の宮崎県）で行われたと記されています。日向は南東のはるか彼方に位置しており、日の出に最も近い場所、ひいては神々の国に最も近い場所だと考えられていたため、8世紀の学者たちが当時の都である奈良で日本神話を編纂した際に日向を舞台に選んだと考えられます。このような太陽との結びつきは、その地名にも表れています。日向は、近代以前の日本で唯一「日」の文字がその名に使われている国でした。

禊は、神道における中心的な儀式であり、参拝の前に心身を清めるために行われます。神社の入り口で手と口を洗うことがこれに当たります。

【タイトル】日本の神話：木花咲耶姫

【想定媒体】WEB

<簡体字>**日本神话：木花咲耶姬**

创世神话之后，紧接着的就是“天照大神”如何派孙子“琼琼杵尊”降世并管理人间的故事。这一系列神话确立了日本皇室血脉的神圣性。故事就从琼琼杵尊与“木花咲耶姬”（“咲”，音同“笑”）的相遇开始。两人坠入爱河，琼琼杵尊决定向木花咲耶姬的父亲山神“大山津见”提亲，求娶他的女儿。

大山津见同意了，但有一个条件：琼琼杵尊必须一并迎娶木花咲耶姬和她的姐姐“磐长姬”。但琼琼杵尊拒绝了相貌稍逊的磐长姬，只娶了木花咲耶姬。大山津见震怒，说：唯有同时与他的两个女儿结婚，琼琼杵尊才能享有永生的幸福。花朵娇妍却易逝，岩石黯淡却能长久。琼琼杵尊既然拒绝了磐长姬，也就意味着抛弃了永生。对于古代日本人来说，这一次命运攸关的选择，恰恰解释了，为什么天皇身为活着的神明，却依然同普通人一样遭受着生老病死的困扰。

木花咲耶姬很快就怀上了三胞胎，可琼琼杵尊不肯相信这是他的孩子。于是，木花咲耶姬将自己锁进小屋，放火烧房。她坚信，神明的孩子一定能够毫发无伤地顺利出生。最终，三名男婴和他们的母亲一起从烈焰中安然脱身。

<繁体字>**日本神話：木花咲耶姬**

創世神話之後，緊接著的是「天照大神」如何派孫子「瓊瓊杵尊」降世並管理世間的故事。這一系列故事確立了日本皇室血脈的神聖性，故事就從瓊瓊杵尊與「木花咲耶姬」（「咲」，音同「笑」）的相遇開始。兩人墜入愛河以後，瓊瓊杵尊決定向木花咲耶姬的父親山神「大山津見」提親，求娶祂的女兒。

大山津見同意了，但有一個條件：瓊瓊杵尊必須一併迎娶木花咲耶姬和她的姐姐磐長姬。但瓊瓊杵尊拒絕了相貌稍遜的磐長姬，只娶了木花咲耶姬。震怒的大山津見說：唯有同時與祂的兩個女兒結婚，瓊瓊杵尊才能享有永生的幸福。花朵嬌妍卻易逝，岩石黯淡卻能長久。

瓊瓊杵尊既然拒絕了磐長姬，也就意味著拋棄了永生。對於古代日本人來說，這一次攸關命運的選擇，解釋了為什麼天皇身為活著的神，卻像普通人一樣遭受生老病死的困擾這個問題。

木花咲耶姬很快就懷上了三胞胎，但瓊瓊杵尊不肯相信這是祂的孩子。於是，木花咲耶姬將自己鎖進小屋，放火燒房。她堅信，無論如何，神明的孩子都能夠毫髮無傷地順利出生。結果，三名男嬰和祂們的母親一起從烈焰中脫身而出。

<日本語仮訳>

日本神話：木花咲耶姬

日本神話では、天地開闢の神話に続いて、太陽の女神である天照大御神が孫である瓊瓊杵尊を天から降ろして天下を治めさせたという伝説があります。天皇家の神々の系譜を示したこの一連の話は、瓊瓊杵尊が木花咲耶姬と出会うところから始まります。2人は恋に落ち、瓊瓊杵尊は木花咲耶姬の父である山の神・大山津見に結婚の承諾を求めることを決意します。

大山津見は同意するにあたって、ひとつの条件を出しました。それは、瓊瓊杵尊が木花咲耶姬と彼女の姉である磐長姫の両方と結婚しなければならないというものでした。しかし、瓊瓊杵尊は木花咲耶姬だけを娶り、美しさで劣る磐長姫を拒絶しました。激怒した大山津見は、瓊瓊杵尊は2人の娘と結婚することのみ、永遠の幸せを手に入れることができたと明かします。花は美しいけれども儂いのに対し、岩は見るからに冴えないけれども永続性があります。磐長姫を拒絶したことで、瓊瓊杵尊は不死を手放してしまいました。古代日本において、この運命的な選択は、生ける神とされてきた日本の天皇が普通の人間と同様に寿命がある理由を説明しています。

木花咲耶姬はすぐに三つ子を妊娠しましたが、瓊瓊杵尊は子供たちが自分の子であると信じるできませんでした。木花咲耶姬は、神の子供は何があっても無傷で生まれてくるという自信から、小屋に自らを閉じ込めて火を放ちます。すると3人の男の赤ん坊が母親と一緒に炎の中から現れました。

【タイトル】 日本の神話：山幸彦と海幸彦

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日本神话：山幸彦和海幸彦

在“木花咲耶姬”（“咲”，音同“笑”）和“琼琼杵尊”的三个孩子中，“山幸彦”和“海幸彦”长大后分别成为了出色的猎人和优秀的渔夫。一天，山幸彦提议兄弟俩交换工具，体验一下彼此的行当。就这样，山幸彦拿着哥哥海幸彦的钓钩出海捕鱼，而海幸彦则开始尝试捕猎。不料山幸彦弄丢了从哥哥手里借来的钓钩，怎么也找不到。无奈之下，他折断自己的宝剑，打造了许多新的鱼钩。但海幸彦始终不肯接受。

这时，一位名叫“盐椎”的老翁找到沮丧至极的山幸彦，指点他乘船出海，去海神“绵津见”的宫殿里寻找失落的钓钩。山幸彦依言而行。刚到海神宫殿，他就遇见了绵津见的女儿“丰玉姬”，两人一见钟情，坠入爱河。鉴于山幸彦的神明血脉，绵津见认可了他们的关系。山幸彦受邀参加了一场盛大的筵席，最终与丰玉姬结了婚。夫妻俩一起在海神宫殿里度过了三年幸福快乐的时光。

然而随着时光流逝，山幸彦越来越心神不定。他想起了自己当初出海是为了找回失落的哥哥的钓钩。丰玉姬请求父亲帮忙，绵津见于是下令海中所有的鱼都到他的宫殿集合，以此帮助山幸彦寻找丢失的钓钩。所有的鱼都到了，只除了海鲷，据说它的嘴巴受了伤。绵津见再次召唤海鲷，发现它的伤痛正是源自挂在嘴上的一枚钓钩，而山幸彦也认出了那就是他哥哥的那一枚。

终于找回了哥哥的钓钩，山幸彦决定回到陆地。作为饯别礼，绵津见送给他一对可以控制潮汐的宝珠。山幸彦将钓钩送还给哥哥，可海幸彦依然拒不接受，更对自己的兄弟口出恶言。于是，山幸彦用海神赠送的宝珠召来海潮。海幸彦几乎溺毙，最终只能屈服。

宫崎县沿海有好几处神社都供奉着这个传说故事里的神明，其中包括“青岛神社”。在神社每年一度的冬日祭“裸参り”（Hadakamairi，意为裸身参拜）上，人们会演绎山幸彦自海神宫殿回归陆地的场面。人群兴高采烈地聚集在岸边，欢迎他的归来。参加者浑身上下只裹一条兜裆布，冲入冰冷的海浪中迎接神明，同时完成“禊”（音同“戏”；洗濯净化）礼。

<繁体字>

日本神話：山幸彥和海幸彥

在「木花咲耶姬」（「咲」，音同「笑」）和「瓊瓊杵尊」的三個孩子中，「山幸彥」和「海幸彥」長大後分別成了出色的獵人和優秀的漁夫。一天，山幸彥提議兄弟倆交換工具，體驗一下彼此平時如何維生。就這樣，山幸彥拿著哥哥海幸彥的釣鉤出海捕魚，而海幸彥則開始嘗試打獵。不料山幸彥弄丟了從哥哥手裡借來的釣鉤，怎麼也找不到。祂只得折斷自己的寶劍，打了許多新的魚鉤，但海幸彥就是不肯接受。

這時，一位名叫「鹽椎」的老翁找到沮喪至極的山幸彥，指點祂乘船出海，去海神「綿津見」的宮殿裡尋找失落的釣鉤。山幸彥依言而行，剛到海神宮殿，就遇到了綿津見的女兒豐玉姬，倆人陷入愛河。鑒於山幸彥的神明血脈，綿津見認可了祂們的關係。山幸彥受邀參加了一場盛大的筵席，最終與豐玉姬結了婚。夫妻倆一起在海神宮殿裡度過了三年幸福快樂的時光。

然而隨著時光流逝，山幸彥越來越心神不定。祂記起了自己當初出海的理由，是為了找回失落的哥哥的釣鉤。豐玉姬請求父親綿津見幫忙，下令海中所有的魚都到祂的宮殿集合，看是否能找到山幸彥丟失的釣鉤。所有魚都到了，除了海鯛，據說是牠的嘴巴受了傷。綿津見再次召喚海鯛，得知牠的傷痛來自掛在嘴上的一隻魚鉤，而山幸彥也認出那正是祂哥哥的那一枚。

在終於找回了哥哥的釣鉤後，山幸彥決定回到陸地。作為臨別贈禮，綿津見送給祂一對可以控制潮汐的寶珠。山幸彥去把釣鉤還給哥哥，可海幸彥依然拒不接受，還對自己的兄弟口出不遜。於是山幸彥用海神贈送的寶珠召來海潮，海幸彥幾乎溺斃，最終只能屈服。

宮崎縣沿海有好幾處神社都供奉著這個傳說故事裡的神明，青島神社就是其中一處。在神社每年一度的冬日祭「裸參り」（Hadakamairi，意為裸體參拜）上，會演繹山幸彥自海神宮殿回歸陸地的場面，興高采烈的人群聚集在岸邊，歡迎祂的歸來。參加者渾身上下只裹一條兜襠布，衝入冰冷的海浪中迎接神明，同時完成「禊」（音同「戲」；洗濯淨化）禮。

<日本語仮訳>

日本神話：山幸彥と海幸彥

木花咲耶姬と瓊瓊杵尊の3人の子供たちには、狩獵の達人に成長した山幸彦と、漁の名人となった海幸彦がいました。ある日、山幸彦はお互いの仕事を知るために2人の道具を交換することを提案します。山幸彦は兄の釣り針を持って釣りに出かけ、海幸彦は狩りに挑戦しました。しかし、山幸彦は借りていた

釣り針を失くしてしまい、どれだけ探しても見つかりません。山幸彦は剣を折って新しい釣り針を何本も作りますが、海幸彦はそれを受け取りませんでした。

途方に暮れていた山幸彦のもとに塩槌という名の老人が訪ねてきて、船に乗って海の神である綿津見の宮殿に行き、釣り針を探すように伝えました。山幸彦は言われた通りにし、宮殿に到着すると、綿津見の娘である豊玉姫と出会います。2人は恋に落ち、綿津見は、山幸彦が神の家系であることから2人の関係を認めました。山幸彦は大宴会に招かれ、やがて豊玉姫と結婚します。2人は3年の間、幸せに暮らしました。

時が経つにつれ、山幸彦は不安を募らせていきました。そもそも失くしてしまった兄の釣り針を見つけようとして海に出たことを思い出したのです。豊玉姫は父に搜索を手伝ってほしいと頼みます。山幸彦が探している釣り針を見つけようとした綿津見は、海にいるすべての魚たちを宮殿に集めるように命じました。口を痛めたという鯛を除いて、すべての魚が集まりました。綿津見がその鯛を呼び寄せると、痛みは釣り針が引っかかっていたせいだと判明し、山幸彦にはそれが兄の釣り針だと分かりました。

兄の釣り針を取り戻した山幸彦は、陸に戻ることを決意します。別れの品として、綿津見は山幸彦に潮を操ることのできる一对の宝珠を渡しました。山幸彦は海幸彦に釣り針を返そうとしますが、海幸彦はそれを断り、弟を脅しました。山幸彦は海の神からもらった宝珠を使って潮を呼び寄せて海幸彦を溺れさせ、ついに海幸彦は屈します。

宮崎県沿岸部には、この物語の登場人物を神格化して祀っている神社がいくつかあります。その中のひとつである青島神社では、毎年冬に行われる「裸参り」で、山幸彦が綿津見神の宮殿から帰還して、歓喜に沸く人々に海辺で迎え入れられるシーンを再現しています。ふんどしのみを身に付けた参加者たちが冷たい波の中に走り込んで山幸彦を迎え、禊の儀式を行います。

【タイトル】日本の神話：鷓鴣草葺不合尊

【想定媒体】WEB

<簡体字>

日本神話：鷓鴣草葺不合尊

制服了哥哥的“山幸彦”这时也收到了好消息，“丰玉姬”告诉他，他们的孩子很快就要出生，希望山幸彦能为她修建一座小屋作为产房。她说，这座屋子应当建在陆地上，因为天神的后代一定不能在海里出生。于是，山幸彦开始着手为妻子修建小屋，搜集来鷓鴣的羽毛准备铺屋顶。可还没等屋顶盖完，丰玉姬就要临盆了。她进入小屋，恳求山幸彦在孩子生下来之前绝对不要往里看她。无奈，山幸彦终究没能忍住诱惑，看到海神的女儿丰玉姬竟然变成了一头巨大的鰐鮫（鲨鱼）。真身被发现，丰玉姬满心痛苦地回到海中，留下了她刚刚出生的孩子。就这样，这孩子得到了一个不那么吉祥的名字：“鷓鴣草葺不合尊”，意思是“鷓鴣羽毛屋顶还没完工就出生的人”。他由丰玉姬的妹妹“玉依姬”抚养长大，并在成年后迎娶她为妻。

作为神道教神明，鷓鴣草葺不合尊受供于日南市的鷓户神宫。本地人相信，鷓户神宫本殿（正殿）所在的海边岩洞就是他出生的地方。

<繁体字>

日本神話：鷓鴣草葺不合尊

制服了哥哥的山幸彦這時也收到了好消息，豐玉姬告訴祂，祂們的孩子很快就要出生，希望山幸彦為她修建一座小屋作為產房。她說，這座屋子應當建在陸地上，因為天神的後代一定不能在海裡出生。山幸彦動手開始為妻子修建小屋，並準備了鷓鴣的羽毛來鋪屋頂。可是還沒等屋頂蓋完，豐玉姬就要臨產了。她進入小屋，懇求山幸彦在孩子生下來之前絕不可偷窺她。然而，山幸彦終究沒能忍住誘惑，祂看到海神的女兒豐玉姬居然變成了一條巨大的鰐鮫（鯊魚）。真身被暴露，豐玉姬滿心痛苦地回到海中，留下了她剛剛出世的孩子。於是，這孩子得到了一個不那麼吉祥的名字：「鷓鴣草葺不合尊」，也就是「鷓鴣羽毛屋頂還沒完工就出生的人」。祂由豐玉姬的妹妹玉依姬撫養長大，成年後迎娶她為妻。

鷓鴣草葺不合尊作為神道教神明，受供於日南市的鷓戶神宮。當地人相信鷓戶神宮本殿（正殿）所在的海邊岩洞就是祂出生的地方。

<日本語仮訳>

日本神話：鷓鴣草葺不合尊

兄に打ち勝った山幸彦は豊玉姫から、もうすぐ子供が生まれるので、産屋を建てておいて欲しいという嬉しい知らせを受けます。彼女によると、天の神の子孫が海の中で生まれてはならないため、産屋は陸上に建てなければならないとのことでした。山幸彦は妻のために産屋を建て始めますが、鵜の羽でできた屋根が完成する前に妻が産気づいてしまいます。中に入った豊玉姫は、子供が生まれるまでは自分を見ないでほしいと山幸彦に懇願します。しかし、山幸彦は誘惑に抗えず、海の娘である豊玉姫が巨大なサメに変身している姿を見てしまいます。本当の姿を見られてしまった豊玉姫は、生まれたばかりの赤ん坊を残して嘆き悲しみながら海へと帰っていきました。この子供には、「鵜の羽でできた屋根が間に合わなかった者」を意味する鷓鴣草葺不合尊という可哀想な名前が付けられました。鷓鴣草葺不合尊は、豊玉姫の妹・玉依姫に育てられますが、彼の成人後、2人は結婚します。

日南市の鵜戸神宮では、鷓鴣草葺不合尊がご神体として祀られています。この地方の伝承によると、鵜戸神宮本殿がある海岸の洞窟が彼の生まれた場所とされています。

【タイトル】 日本の神話：鷓鴣草葺不合尊の系譜

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

日本神話：鷓鴣草葺不合尊の家族譜系

“鷓鴣草葺不合尊”和妻子“玉依姬”共有4个儿子。四兄弟长大后，最小的儿子带着哥哥们踏上了统一全日本的征途。他们从日向国（今宫崎县）出发，一路东进，打败了众多敌手，最终抵达如今奈良县境内的一个地方。在那里，这位小儿子创立政权，自封为日本第一位君权神授的统治者，称“神武天皇”。他的外祖父是海神，父系的祖先是天神和山神，所以注定了要统治整个天下。自第一代的神武天皇至今，君临日本的天皇已经世袭了126代，期间从未中断。宫崎县内有许多神社供奉神武天皇，或多少与他有所关联，其中最重要的一处就是宫崎神宫。

<繁体字>

日本神話：鷓鴣草葺不合尊の家族譜系

「鷓鴣草葺不合尊」和妻子「玉依姬」共有4個兒子。四兄弟長大後，最小的兒子便帶著哥哥們踏上了統一全日本的征途。他們從日向國（今宮崎縣）出發，一路東進，打败了許多敵手，最終抵達如今奈良縣境內的一個地方。在那裡，這位小兒子創立政權，自封為日本第一位神授皇權的統治者，稱「神武天皇」。他的外祖父是海神，父系的祖先裡有天神和山神，所以他註定要統治整個天下。君臨日本的天皇，自第一代神武天皇開始至今已經世襲了126任，期間從未中斷。宮崎縣內有許多神社供奉神武天皇，或至少與他有所關聯，其中最重要的一處就是宮崎神宮。

<日本語仮訳>

日本神話：鷓鴣草葺不合尊の系譜

鷓鴣草葺不合尊と妻の玉依姫には4人の息子が産まれました。成人すると、末の息子は成長した兄たちを連れて日本全国を治める旅に出ます。彼らは日向国（現在の宮崎県）から東進し、多くの敵と戦

って打ち負かし、現在の奈良県がある場所へとたどり着きました。その場所で末の息子は政権を樹立し、自らを「神武天皇」とし、神により定められた日本で最初の統治者であると宣言しました。海の神を母方に、天と山の神を父方の先祖に持つ神武天皇は、地上を支配する運命にあります。神武天皇は、彼から現在の第 126 代天皇に至るまで途切れることなく統治してきたとされている、天皇の伝統的な系譜における初代天皇となります。宮崎には神武天皇を祀っている神社や、彼に縁のある神道の遺跡が数多くあります。そのなかでも特に有名なのが宮崎神宮です。

| | | | |
|------|-----|------|--|
| 地域番号 | 013 | 協議会名 | 「琉球王国のグスク及び関連遺跡群」 世界遺産登録 20 周年記念事業実行委員会 |
|------|-----|------|--|

解説文一覧

| 解説文番号 | スポット名 (タイトル) | 中国語文字数 | 想定媒体 |
|---------|--------------|--------|------|
| 013-001 | 首里城と琉球王国 | 1955 | WEB |
| 013-002 | 円覚寺跡 | 795 | WEB |
| 013-003 | 円鑑池と弁財天堂 | 590 | WEB |
| 013-004 | 龍潭 | 505 | WEB |
| 013-005 | 中城御殿跡 | 840 | WEB |
| 013-006 | 第 32 軍司令部壕 | 985 | WEB |
| 013-007 | 綾門大道 | 930 | WEB |
| 013-008 | 真珠道 | 525 | WEB |
| 013-009 | 守礼門 | 785 | WEB |
| 013-010 | 正殿跡 | 1260 | WEB |
| 013-011 | 御内原 | 1135 | WEB |
| 013-012 | 東のアザナ | 270 | WEB |
| 013-013 | 銭蔵 | 280 | WEB |

【タイトル】 首里城と琉球王国

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**首里城与琉球王国**

首里城是琉球王国“第二尚氏王朝”(1469-1879)最了不起的建筑丰碑。虽有观点认为此
前这里就建有城堡，但直到这代王朝，它的规模与重要性才得到极大提升。

冲绳的历史波折动荡，一代又一代统治者在中国、日本本岛、朝鲜半岛等周遭强大政
权的影响下努力求存，享受过繁荣，也经历过衰微。公元 14 世纪前后，琉球摆脱“群雄割
据”，进入山南、中山、山北三大政权并立的“三山时代”，1372 年（明洪武五年）至次
年，三国相继开启了琉球政权与中国长达 500 余年的往来历史。

1429 年，三国统一，“第一尚氏王朝”诞生。1469 年，第一尚氏王朝灭亡，最后一位国
王尚德王(1441-1469)没有留下子嗣。金丸是一名出身于伊是名岛的农夫，他经朝廷推举即
位，建立“第二尚氏王朝”，改称尚圆王(1415-1476)，继续保持着与明王朝的关系。

在第二尚氏王朝第三任国王尚真(1465-1526)的统治下，琉球王国享有了一段长期的和
平与繁荣。尚真大力提倡艺术发展，并推进那霸港周边的基础设施建设，积极拓展国际贸
易。他还大兴土木，树碑立庙，修建住宅、园林、桥梁，并完成了首里城的扩建与整修。

尽管尚真王的继承者再也没能重现这份和平与繁荣，也不曾企及当年的文化成就，但
在 1879 年琉球改名“冲绳”归入日本以前，首里城始终是琉球王国的宫廷所在地和琉球群岛
的政治、文化中心。王室迁出后，这座古城先后被改作军营、学校，最终在 1925 年成为神
社。

グスク(Gusuku)是什么？

グスク(Gusuku)，即琉球王国的城堡，大多建成于 12 至 16 世纪，同首里城一样，昭
示着那个时代的繁荣兴盛。那时的琉球群岛由分裂割据走向大一统王国，享有独立的主权，
海外贸易欣欣向荣。

除首里城外，冲绳境内现存的主要古城遗址还包括今归仁城、座喜味城、胜连城、中
城城等，它们均已被收入联合国教科文组织(UNESCO)世界遗产名录。

首里城的文献保存得相当完善，其他古城遗址却少有历史记录留存，关于它们的建筑
结构和用途，还有许多谜题未解。但有一点可以明确，这些古城都具备军事防御和精神信

仰中心的双重功用，军事、住宅和仪典设施无一或缺。石灰岩筑就的城墙是它们共同的特征，虽然当年的木结构建筑几乎都没能保留下来，但考古和历史研究已经为我们清晰勾勒出了其主体建筑的规模、布局，以及当时城中居民的风俗习惯和日常生活方式。

日式和琉球式的古城堡有许多共通之处，比如：都被设计为多重封闭结构，每一重都具备防御功能，称为“郭”；都建于地势最高处以策安全。但琉球古城的城墙通常呈现自然的动态曲线走势，日式古城则多为锐利的直线尖角形态。此外，琉球古城也没有日本本岛古城那样高大的多层防御式木构“櫓”（即瞭望塔、箭楼）。

首里城的构造

首里城修建在一座显眼的小山上，最高点海拔 130 米。一览无余的开阔视野和淡水资源的存在使其成为了修建城堡的理想地点。

古城最初只有“内郭”，直到 16 世纪中期才在外围增加了环形“外郭”。自然蜿蜒的城墙采用琉球本地出产的石灰岩修筑，墙体严丝合缝，厚度约 3 米，高度 6 到 15 米不等。城墙环绕下的内郭建在呈阶梯状的宽广区域，庇护着琉球王国最重要的朝堂、宫殿和仪典场所，其中就包括被称为“正殿”的核心主殿。城内所有建筑都沿东西向中轴线分布，轴线本身则由一系列庭院组成。

全盛时期的首里城共有 13 座城门，其中 4 座是在城墙墙体上开出的拱形大石门，为明显的中式风格。其它城门则是典型的日式木门楼，衔接于两段城墙之间，上覆中式屋顶。门楼和重要建筑都漆成红色。

首里城内最知名的，是一个包括大型仪典场所和神圣树林在内的区域，名叫“京之内”。其中散布着几处石头建筑的祈祷祭拜点，它们被视为关系着整个王国隆盛的重要场所。整个古城郭内共有约 10 处这样的祈祷点。

重要的文化中心

第二尚氏王朝时期，首里城周边区域蓬勃发展，成为了一大国际化中心，集东方文化、政治与经济为一体，文雅博学的政府官员和高门贵族大都聚居于此。

城堡外围巧妙点缀了流水小桥，景色愈发宜人；不远处建起了寺庙和其他宗教设施；堂皇的宫殿和豪华的贵族宅邸纷纷拔地而起；专司海外贸易、教育、艺术以及工艺品制造的机构也都簇拥在城堡周围。

琉球王国与中、日两国关系密切，两国使臣都曾正式造访首里城，这也使得它成为了外来文化交汇的中心，逐渐形成了独具一格的文化。这种融合性在首里城的设计与工艺上也体现得淋漓尽致，例如，城堡内最具仪式性的区域，总体上是效仿北京紫禁城的结构与设计，同时大量运用了中 国 宫 殿 建 筑 的 元 素 及 主 题；而另有一些重要建筑则遵循日式设计

原则，在某些地方又不时能看到朝鲜半岛建筑的影子。但雄伟的城墙和城郭的功能布局却是地地道道、独一无二的琉球风格。

浴火与重生的轮回

首里城曾五次被毁，又不断重生。它在 1453 年、1660 年和 1709 年先后三次遭遇火灾，1945 年 5 月又在冲绳岛战役中经历了毁灭性的海上轰炸。1992 年，几处主要建筑得以精心修复，石头城墙和城门也完成重建。然而，2019 年 10 月的一场大火再次将正殿与周边若干建筑付之一炬，修复重建工作如今正在进行中。

<繁体字>

首里城與琉球王國

首里城是琉球王國「第二尚氏王朝」（1469-1879）最了不起的建築里程碑，雖說有觀點認為在此之前這裡就建有城，但直到這一王朝時期，首里城的規模和重要性才大幅提升。

沖繩的歷史波瀾動盪，一代又一代統治者在中國、日本本島、朝鮮半島等周遭強大政權的影響下努力求存，享受過繁榮，也經歷過衰微。西元 14 世紀前後，琉球擺脫「群雄割據」，進入山南、中山、山北三大政權並立的「三山時代」，1372 年（明洪武五年）至次年，三國相繼開啟了琉球政權與中國長達 500 餘年的往來歷史。

1429 年，三國統一，「第一尚氏王朝」建立，1469 年，第一尚氏王朝滅亡，最後一位國王尚德王（1441-1469）未留下子嗣。金丸是出身伊是名島的農夫，經朝廷推舉即位，建立「第二尚氏王朝」，改稱尚圓王（1415-1476），繼續保持著與明王朝的關係。

在第二尚氏王朝第三任國王尚真（1465-1526）的統治下，琉球王國享有了一段長期的和平與繁榮，尚真鼓勵發展藝術，推動那霸港周邊的基礎設施建設，大力拓展國際貿易。他還大興土木，樹碑立廟，修建住宅、園林、橋樑，並完成了首里城的擴建與修整。

儘管尚真王的繼承者再也沒能重現這份和平與繁榮，也不會企及當年的文化成就，但在 1879 年琉球改名「沖繩」歸入日本之前，首里城始終是琉球王國的宮廷所在地，更是琉球群島的政治、文化中心。王室遷出後，這座古城先後被改作軍營、學校，最終在 1925 年成為神社。

グスク (Gusuku) 是什麼？

グスク (Gusuku)，即琉球王國的城，大多數建成於 12 至 16 世紀，和首里城一樣，昭示著那個時代的繁榮興盛。那時的琉球群島由分裂割據走向大一統王國，享有獨立的主權，海外貿易欣欣向榮。

除首里城外，沖繩境內現存的主要古城遺址還包括今歸仁城、座喜味城、勝連城、中城城等，它們均已被收入聯合國教科文組織（UNESCO）世界遺產名錄。

首里城的文獻保存相當完善，可其他古城遺址卻少有歷史記錄留存，關於其他古城的建築結構和用途，還有許多謎題未解。但能夠確定的是，這些古城都具備著軍事防禦和精神信仰中心的雙重功用，軍事、住宅和儀典設施一應俱全。古城共同的特徵是石灰岩城牆，雖然當年的木結構建築幾乎都沒能保留下來，但考古和歷史研究已經為我們清晰勾勒出了其中主體建築的規模、佈局，以及當時城中居民的風俗習慣和日常生活方式。

日式和琉球式的古城有許多共通之處，比如：都被設計成多重封閉結構，每一重都具備防禦功能，稱為「郭」；都建於地勢最高處以策安全。但琉球古城的城牆通常呈現自然的動態曲線走勢，日式古城則多為銳利的直線尖角形態。此外，琉球古城也沒有日本本島古城那樣高大的多層防禦式木構「櫓」（即瞭望塔、箭樓）。

首里城的構造

首里城修建在一座顯眼的小山上，最高點海拔 130 公尺。一覽無餘的開闊視野和淡水水源的存在，讓小山成為修建城堡的理想地點。

古城最初只有「內郭」，直到 16 世紀中期才在週邊增加了環形「外郭」。自然蜿蜒的城牆採用琉球出產的石灰岩修築，牆體嚴絲合縫，厚度約 3 公尺，高度 6 到 15 公尺不等。城牆環繞下的內郭建在呈階梯狀的寬廣區域，庇護著琉球王國最重要的朝堂、宮殿和儀典場所，其中就包括被稱為「正殿」的核心主殿。城內所有建築都沿東西向中軸線分佈，軸線本身則由一系列庭院組成。

全盛時期的首里城共有 13 座城門，其中 4 座是在城牆牆體上開鑿出的拱形大石門，為明顯的中式風格。其他城門則是典型的日式木門樓，銜接於兩段城牆之間，上覆中式屋頂。門樓和重要建築都漆成紅色。

首里城內最知名的是一個包括大型儀典場所和神聖樹林在內的區域，名叫「京之內」。其中散佈著幾處石頭建築的祈禱祭拜點，均為關係著整個王國隆盛的重要所在，整個古城郭內共有約 10 處這樣的祈禱點。

重要的文化中心

第二尚氏王朝時期，首里城周邊區域蓬勃發展，成為了一大國際化中心，集東方文化、政治與經濟為一體，文雅博學的政府官員和高門貴族大都聚居於此。

城周邊巧妙地點綴著流水小橋，景色愈發宜人；不遠處建起了寺廟和其他宗教設施；堂皇的宮殿和豪華的貴族宅邸紛紛拔地而起；專司海外貿易、教育、藝術以及工藝品製造的機構也都簇擁在首里城周圍。

琉球王国與中、日兩國關係密切，兩國使臣都曾正式造訪首里城，這也令其成為了外來文化交匯的中心，逐漸形成了獨具一格的文化。這種融合性在首里城的設計與工藝上也體現得淋漓盡致。例如，城內最具儀式性的區域總體說來是效仿北京紫禁城的結構與設計，同時運用了大量的中國宮殿建築的元素和主題；而另有一些重要建築則遵循日式設計原則，在某些地方又不時能看到朝鮮半島建築的影子。但雄偉的城牆和城郭的功能佈局卻是道道地地、獨一無二的琉球風格。

浴火與重生的輪迴

首里城曾五次被毀，又不斷重生，於 1453 年、1660 年和 1709 年先後三次遭遇火災，1945 年 5 月又在沖繩島戰役中經受了毀滅性的海上轟炸。1992 年，幾處主要建築得以精心修復，石頭城牆和城門也完成重建。然而，2019 年 10 月的一場大火再次將正殿與周邊若干建築付之一炬，修復重建工作如今正在進行中。

<日本語仮訳>

首里城と琉球王国

首里城は、琉球王国の第二尚氏王統（1469-1879）の最も偉大な建築物です。以前にもこの地に城が築かれていたという説がありますが、その規模と重要性はこの時代になってから大きくなりました。

沖繩は、中国、日本本土、朝鮮半島などの強力な周辺政権の影響下で、何世代にもわたって統治者が生き残りをかけて奮闘し、繁栄を享受したり、衰退を経験したりと、波乱万丈の歴史を歩んできました。14 世紀頃、琉球は「群雄が割拠する」状況から抜け出し、山南、中山、山北の三大政権が並立する「三山時代」に突入しました。1372 年（明の洪武 5 年）から翌年にかけて、三国は琉球政権と中国との間に 500 年に及ぶ関係をスタートさせました。

1429 年、三国は統一され、「第一尚氏王統」が誕生しました。1469 年、最後の王である尚徳（1441-1469）は子孫がなきまま、第一尚氏王統が途絶えました。伊是名島の農民であった金丸は、朝廷によって選出され、「第二尚氏王統」を成立させ、尚円（1415-1476）と改名し、明との関係を維持し続けました。

第二尚氏王統の第 3 代王・尚真（1465-1526）の時代、琉球王国は長い間、平和と繁栄が続きました。尚真は芸術を奨励し、那覇港周辺のインフラの整備を進め、国際貿易を大きく拡大しました。記念碑や寺院、住宅、庭園、橋などを建設し、さらには首里城の増築や美化を行いました。

尚真の後継者はいずれも、尚真ほどの平和、繁栄、そして文化的成果を実現することはできませんでした。しかし首里城は、1879 年に琉球列島が沖繩と改称されて日本に併合されるまでの間、琉球王国の宮廷であり、琉球列島の政治・文化の中心地でした。王族が退去した後、首里城は軍の兵舎、学校、そして 1925 年には神社になりました。

琉球王国のグスク

琉球王国のグスクの多くは、12 世紀から 16 世紀にかけて建設されたもので、首里城と同様に、それぞれの城跡が当時の繁栄を物語っています。当時、琉球諸島は分割された国々から統一した王国へと移行し、独立した主権を持ち、海外との貿易も盛んに行われていました。

沖縄に現存する主なグスクは、首里城のほか、今帰仁城、座喜味城、勝連城、中城城などがあり、いずれもユネスコの世界遺産に登録されています。

首里城の史料はかなり保存されていますが、他のグスクについては史料が少なく、建築構造や用途については多くの謎が残されています。明らかなのは、これらの城跡はいずれも軍事的な防衛と精神的な中心として、二重の目的を持ち合わせており、軍事施設、居住施設、儀式施設などが備わっていました。石灰岩の城壁が特徴的で、当時の木造建築物はほとんど残っていませんが、考古学や歴史学の研究により、主要な建物の規模や配置、街の住人の習慣や日常生活などはかなり解明されています。

日本の城と琉球の城には、防衛用の「郭」が何重にも配置され、最も高いところが最も安全になるように設計など、多くの共通点があります。しかし、琉球グスクの城壁は自然でダイナミックな曲線を描いていることが多い一方、日本の城壁は鋭く直線的で角張った形をしています。また、琉球の城には、日本本土の城のような大きく高層の、防御のための木造の「櫓」はありませんでした。

首里城の構造

首里城は、最も高いところで海拔 130 メートルの丘に建てられています。視界を遮るものがなく、淡水が手に入るため、城を建てるには理想的な場所でした。

首里城は当初「内郭」しかありませんでしたが、16 世紀半ばになって、その外側に環状の防御空間「外郭」が追加されました。琉球石灰岩で作られた自然に曲がりくねった城壁は、隙間なく積み上げられており、厚さは約 3 メートル、高さは 6～15 メートルとさまざまです。城壁に囲まれた内郭は、段々畑のようになっている広大な場所で、「正殿」と呼ばれる大広間をはじめ、琉球王国の最も重要な行政用、居住用、そして儀式関連の建築物などが守られるようにしてレイアウトされていました。これらの建物は東から西に走る軸に沿って配置され、その軸は中庭群で構成されていました。

最盛期の首里城には 13 の門があり、そのうち 4 つの門は、城壁に切り込まれた大きなアーチ型の石製の門で、中国様式となっています。ほかの門は、日本風の特徴的な設計、つまり城壁に入れた木造の門番小屋という設計になっていますが、その屋根は中国の様式になっています。また、門楼や重要な建物には赤い漆が塗られました。

首里城で最も注目すべきものは「京の内」と呼ばれるエリアで、そこには大規模な祭祀場や神聖な木立があります。またいくつかの石造りの祈りの場が点在しており、王国全体の繁栄にとって重要であると考えられていました。このような祈りの場は、首里城内に 10 か所ほどありました。

重要な文化の中心地

第二尚氏王統時代には、首里城の周辺エリアは繁栄し、国際的な東洋文化・政治・経済の一大中心地となり、優雅で学識のある官吏や貴族が多く住んでいました。

城の周辺には橋や小川などにより巧みに景観が整備され、すぐ近くに寺院などの宗教施設、壮大な宮殿や豪華な貴族の邸宅が次々に建てられ、海外貿易や教育、芸術・工芸などの専門機関も城の近くに設置されました。

琉球王国は中国や日本との関係が深く、両国の使節団が公式に首里城を訪れていました。そのため、首里城は外国の文化が融合する中心地となり、独自の文化が徐々に形成されていきました。それは首里城の設計や技術にも見られます。例えば、城内の最も儀式的な場所は、全体的に北京の紫禁城の構造やデザインを参考にしており、中国の宮殿建築の要素やモチーフが多用されています。その他の一部の重要な建物は日本の設計原理に基づいており、また一方で朝鮮半島に先例を辿ることができる特徴もあります。しかし、要塞の荘厳な城壁や機能的なレイアウトは、琉球様式ならではのものです。

繰り返される火災と再建

首里城は5回破壊され、何度も再建されています。1453年、1660年、そして1709年に焼失し、1945年5月の沖縄戦では艦砲射撃で壊滅的被害を受けました。1992年にはいくつかの主要な建物が丁寧に修復され、石垣や門も完成しました。しかし、2019年10月の火災で、再び正殿とその周辺のいくつかの建築物が破壊されました。現在、復旧・復興作業が行われています。

【タイトル】 円覚寺跡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**圆觉寺旧址**

圆觉寺是一座佛教寺院，坐落在首里城的北城墙外，有时人们也称它为“天德山”（圆觉寺的山号）。寺院为尚真王在 1492 年修建，原是第二尚氏王朝的王室家庙，也是禅宗临济宗在琉球王国的总本山（禅宗总部）。

作为琉球王国第一座佛教大寺，圆觉寺有着重要的标志性意义，它体现了本地文化与中、日、朝鲜半岛文化之间千丝万缕的关系。同时，它也是琉球王国努力向东亚文明靠拢的有力证明。

数世纪以来，这座寺院经历过不止一次的浴火重生，却终究还是毁于 1945 年的冲绳岛战役。如今的正门于 1968 年重建，它是全寺仅存的木构建筑。

结构布局

圆觉寺占地面积不大，依陡坡而建，外有高大石墙合围。寺院坐东面西，正对圆鉴池和并财天堂，三者共同组成了一个独特的建筑群。它的整体格局和寺名都承袭自镰仓“圆觉寺”，后者的建成时间比它早 200 年。圆觉寺共有七大主建筑，沿中轴线分布，这是禅宗寺院的典型布局，称“七堂伽蓝”（在此指山门、佛殿、法堂、斋堂、僧舍、浴室、茅厕齐备的寺院）。

正门两侧当年曾有一对仁王像（金刚力士像）侍立。进门正对一个石墙庭院，庭院中心是一座长方形的莲花池，名叫“放生池”。池上有一座“放生桥”，石桥上刻有精美的中式图纹，有可能是来自中国的礼物，现已被指定为国家重要文化财产。一条小道连接庭院和高陡的石头台阶，石阶顶上就是高大的“三门”（山门）与寺庙核心建筑“金堂”（大雄宝殿），两者都为双层结构。其他重要建筑还包括一个大殿、一座钟楼和一个讲经堂。

圆觉寺被认定为“国家史迹”，但如今仅存正门、侧门、放生池和部分石墙，其他建筑旧貌只能由地面残留痕迹来推测想象了。

外来影响

圆觉寺巧妙地将日本、中国、或许还有朝鲜半岛的风格元素融入琉球本土的建筑材料与设计之中，支撑屋檐的精巧木制托架是典型的禅宗建筑风格，寺院整体却又比它所承袭

的日式禪寺更加厚重、敦實。石牆環繞的第一重院落看上去仿佛深深陷入了地面以下，讓人不由聯想到不遠處的王室陵寢“玉陵”。

<繁體字>

圓覺寺舊址

圓覺寺是一座佛教寺院，坐落在首里城的北城牆外，有時人們也稱它為「天德山」（圓覺寺的山號）。寺院為尚真王在 1492 年修建，原是第二尚氏王朝的王室家廟，也是禪宗臨濟宗在琉球王國的總本山（禪宗總部）。

作為琉球王國第一座佛教大寺，圓覺寺有著重要的標誌性意義，它不僅體現了在地文化與中、日、朝鮮半島文化之間千絲萬縷的聯繫，也是琉球王國努力向東亞文明靠攏的有力證明。

數世紀以來，這座寺院經歷過數次的浴火重生，但終究還是毀於 1945 年的沖繩島戰役。如今的正門於 1968 年重建，它也是全寺僅存的木構建築。

結構佈局

圓覺寺占地面積不大，沿陡坡而建，外有高大石牆合圍。寺院坐東朝西，正對圓鑑池和弁財天堂，三者共同組成了獨特的建築群。這裡的整體格局和寺名都承襲自鎌倉「圓覺寺」，不過後者的建成時間要早 200 年。圓覺寺共有七大主建築，沿中軸線分佈，這是禪宗寺院的典型佈局，稱「七堂伽藍」（此指山門、佛殿、法堂、齋堂、僧舍、浴室、茅廁齊備的寺院）。

正門當年會有一對仁王像（金剛力士像）侍立兩側，進門正對一座石牆庭院，庭院中心是一座長方形的蓮花池，名叫「放生池」。池上有一座「放生橋」，石橋上刻有精美的中式圖紋，所以很可能是來自中國的贈禮，現已被指定為國家重要文化財產。一條小道連接庭院和高陡的石頭台階，石階頂上就是高大的「三門」（山門）和寺廟核心建築「金堂」（大雄寶殿），兩者均為雙層結構。其他重要建築還包括大殿、鐘樓和講經堂。

圓覺寺被認定為「國家史跡」，但如今僅存正門、側門、放生池和部分石牆，其他建築舊貌只能由地面殘留痕跡來推測想像了。

外來影響

圓覺寺巧妙地將日本、中國、或許還有朝鮮半島的風格元素融入琉球本土的建築材料與設計之中，支撐屋簷的精巧木質托架是典型的禪宗建築特色，但寺院整體風格卻又比日式禪寺更加厚重、敦實。石牆環繞的第一重院落看上去仿佛深陷地面以下，讓人不由聯想到不遠處的王室陵寢「玉陵」。

<日本語仮訳>

円覚寺跡

円覚寺は、首里城の北の城壁のすぐ外にある仏教寺院で、山号である「天徳山」と呼ばれることもあります。1492年に尚真王が第二尚氏王統の菩提寺として、また琉球王国における禅宗の臨済宗の総本山としても知られています。

琉球王国で最初の大規模な仏教寺院である円覚寺は、この地域の文化と中国、日本、朝鮮半島の文化との密接な関係を表す重要なシンボルとなりました。同時に、琉球王国が東アジアの文明に近づこうとしていたことを雄弁に語るものでもありました。

何世紀にもわたって、この寺院は火災に見舞われ、そして何度も復元をされてきましたが、1945年の沖縄戦でついに破壊されてしまいました。現在の総門は1968年に再建されたもので、寺院全体の中で唯一現存する木造建築です。

境内の配置

円覚寺の境内は狭く、急な斜面になっており、高い石垣で囲まれています。寺院は「円鑑池」と「弁財天堂」のある西の方を向いており、これらが一体となって独特な建築群を形成しています。全体の配置や寺の名前は、それより200年前に建てられた鎌倉の「円覚寺」に基づいています。寺院全体では、7つの主要な建物が中心軸に沿って明確に配置されている、「七堂伽藍」（山門・仏殿・法堂・庫裡・僧堂・浴室・東司を備えた寺院）と呼ばれる禅寺の典型的なレイアウトとなっていました。

総門の両脇には、かつて一对の仁王像（金剛力士像）が立っていました。総門は石垣で囲まれた中庭に面しています。中庭の中央には、「放生池」と呼ばれる長方形の蓮池があります。池の上には、中国から贈られたのではないかと思われる、中国様式の美しい彫刻が施された石橋「放生橋」があり、国に重要文化財と指定されています。そこから急勾配の石段へと続く小道があり、石段を上ると、そこには背の高い2階建ての「三門（山門）」と寺院の中心となる2階建ての「仏殿」がありました。その他に、大殿、鐘楼、講堂などの重要な建物がありました。

円覚寺は「国指定史跡」に認定されていますが、現在は総門、脇門、放生池と石垣の一部が残っているだけで、その他の建物のかつての姿は、地面に残された痕跡から想像するしかありません。

海外からの影響

円覚寺では、地元琉球の建築材料や設計に、日本や中国、そしてひょっとすると朝鮮半島の様式の要素が巧みに取り入れられていました。軒先を支える精巧な木造の腕木は禅宗建築の典型的なもののですが、全体としてはモデルとなった日本の禅宗寺院よりも壮大でゴツゴツしたものとなっていました。石壁に囲まれた一つ目の中庭は、地面に深く沈んでいるように見え、近くの「玉陵」を想起させます。

【タイトル】 円鑑池と弁財天堂

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**圆鉴池和弁財天堂**

圆鉴池毗邻首里城北墙外，是个石壁蓄水池。水池建于 1502 年，原本是城堡重力供水系统的一部分，用于储蓄出自城堡内的天然淡水，同时为下方的“龙潭”供水。水池与圆觉寺等周边的佛教建筑群完美融合，俨然一体。

弁財天堂

弁財天堂是一座小佛堂，建在圆鉴池一侧的人工小岛上，因供奉弁財天女而得名。但最初，它是为供奉 15 世纪中期朝鲜半岛第 7 代国王世祖李瑈赠送的高丽版《大藏经》而建。1609 年，九州萨摩藩入侵琉球，佛堂和佛经一同被毁。1621 年佛堂重建后，转而供奉守护女神——弁財天女神像，该佛像原本供于附近的圆觉寺。如今的天女神像来自萨摩藩，于 1685 年被迎请入堂。弁財天堂为原木所建，不事彩绘装饰，朴素简明，几何感强烈，与周围环境和谐融洽，这也是琉球建筑的典型特征之一。

天女桥

一座漂亮的高拱石桥将弁財天堂所在的小岛与邻近的水岸连接起来，这就是“天女桥”（原名“观莲桥”）。天女桥以琉球石灰岩修筑，整体造型设计取自中国南方水乡常见的单拱石桥风格。桥栏杆上雕刻着错落的莲花，另有许多模仿木桥结构的设计细节。它是首里地区几处建筑杰作之一，体现了中国与琉球群岛之间不容忽视的文化与美学交流。此外，连接圆鉴池与龙潭池壁的水道上也有一座拱桥，名叫“龙渊桥”，据推测与天女桥建于同一时期。比起在 1945 年冲绳岛战役中被毁的弁財天堂来，天女桥更幸运一些，受损较小。两者均在 1969 年完成重建，天女桥在 1972 年被指定为国家重要文化财产。

<繁体字>**圓鑑池和弁財天堂**

圓鑑池毗鄰首里城北牆外，是個石壁蓄水池。水池建於 1502 年，原本是首里城重力供水系統的一部分，用於儲蓄出自城內的天然淡水，並為下方的「龍潭」供水。水池和圓覺寺等周邊的佛教建築群完美融合，儼然一體。

弁財天堂

靠圓鑑池一側的人工小島就是弁財天堂的所在地。弁財天堂是一座小佛堂，因供奉弁財天女而得名。但最初是為供奉 15 世紀中期朝鮮半島第 7 代國王世祖李瑈贈送的高麗版《大藏經》而建。1609 年，九州薩摩藩入侵琉球，佛堂和佛經一同被毀。1621 年，佛堂重建，轉而供奉原本供於附近圓覺寺中的守護女神——弁財天女神像。如今我們看到的天女像來自薩摩藩，於 1685 年迎請入堂。弁財天堂為原木所建，不事雕琢漆彩，樸素簡明，充滿強烈的幾何感，與周圍環境和諧融洽，這也是琉球建築的典型特徵之一。

天女橋

一座漂亮的高拱石橋將弁財天堂所在的小島與鄰近的水岸連接起來，這就是「天女橋」（原名「觀蓮橋」）。天女橋以琉球石灰岩修築，整體造型設計取自中國南方水鄉常見的單拱石橋風格。橋欄杆上雕刻著錯落的蓮花，另有許多模仿木橋結構的設計細節。天女橋是首里地區幾處建築傑作之一，體現了中國與琉球群島之間不容忽視的文化與美學交流。此外，連接圓鑑池與龍潭池壁的水道上也有一座拱橋，名「龍淵橋」，據推測與天女橋建於同一時期。比起在 1945 年沖繩島戰役中被毀的弁財天堂來，天女橋更幸運一些，受損較小。兩者均於 1969 年完成重建，天女橋在 1972 年被指定為國家重要文化財產。

<日本語仮訳>

円鑑池と弁財天堂

円鑑池は、首里城の北の城壁の外側にある石垣で囲まれたため貯水池です。1502 年に重力式給水システムの一部として建設されたもので、城の天然の淡水源から水を集めて、その下の龍潭に水を供給するためのものです。この池は、円覚寺をはじめとする周囲の仏教建築群と見事に調和していました。

弁財天堂

円鑑池の片側に作られた小さな島が「弁財天堂」の敷地です。この小さな仏教寺院は弁財天を祀っているため、弁財天堂と呼ばれるようになりました。しかし当初は 15 世紀半ばに朝鮮半島の第 7 代国王である李瑈から贈られた『高麗大藏經』を安置するために建てられました。1609 年、九州の薩摩藩が琉球に侵攻した際、経典とともにお堂が破壊されましたが、1621 年にお堂が再建され、それまで近くの円覚寺に安置されていた守り神の女神である弁財天像が祀られるようになりました。現在の像は 1685 年に移されたもので、薩摩藩から送られたものです。塗装されていない木材で作られたこの建

物は、シンプルで飾り気がなく、幾何学的な設計になっており、また周囲の環境とも調和しており、これは琉球の建築の顕著な特徴の一つとなっています。

当初は 15 世中頃に朝鮮半島の王から送られた重要な仏教の経典を安置するために建設されました。

天女橋

弁財天堂が立つ島とすぐそばの池の岸を結ぶ、高いアーチ型の美しい石橋が「天女橋」（旧称「観蓮橋」）です。琉球石灰岩で造られたこの橋は、中国南部の水郷地帯でよく見られるシングルアーチの石橋の設計に基づき造られています。橋の手すりには蓮の花が彫られていたり、木造の橋の構造を模したデザインが多く見られます。この橋は首里地域のいくつかの代表的な建築物のひとつであり、中国と琉球諸島の文化や美意識の重要な交流を表しています。また、天女橋と同時期に造られたと思われる、円鑑池と龍潭の間の石垣に造られた排水路にかけられているアーチ型の橋「龍淵橋」があります。1945 年の沖縄戦で破壊された弁財天堂に比べて、天女橋は幸運にも損傷はそれほどではありませんでした。どちらの橋も 1969 年に再建され、天女橋は 1972 年に国の重要文化財に指定されました。

013-004

「琉球王国のグスク及び関連遺跡群」
世界遺産登録 20 周年記念事業実行委員会

【タイトル】 龍潭

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

龙潭

龙潭是一个人造大水潭，坐落于首里城下山坡的平坦处，最初是在接待中国使臣时，为他们提供休闲娱乐活动的地方。

1427 年，在尚巴志王的指派下，一位名叫“怀机”的琉球官员，出面主持龙潭的修造事宜。怀机出生于中国，曾在中国学习园林景观建筑，水潭边的花木以及靠近首里城一侧的假山均出自他的设计。

龙潭水引自首里城内的天然淡水水源，流经圆鉴池后注入其中。龙潭东侧以前有一个“松崎马场”，马场对面曾设“国学”与“孔庙”。

高贵的娱乐

招待中国使臣的水上娱乐活动都在龙潭举办。中国使臣的到来通常都与琉球国王的葬礼、册封大典或其他仪典相关。届时若适逢九月初九重阳节，还会举办隆重优雅的龙舟大赛。

此外，在巧妙的设计之下，龙潭水面刚好能映出首里城的倒影，堪为一景，历来多有文人墨客作诗称颂。潭中当年有放养鱼，因此龙潭又有“鱼小堀”之名。

是公园，也是高雅的休闲处所

琉球王国时期仅供宫廷独享的龙潭，如今已是路人可及的公共景观。自 19 世纪 70 年代冲绳纳入日本后，龙潭周围建起了学校，变得愈发亲民。如今，这凉爽的林荫水岸早已成为本地不可或缺的一道风景，不但为来访者提供躲避冲绳灼灼烈日的荫凉，还能让人们置身美好的风光之中，眺望远处丽日晴空下的首里城。

<繁体字>

龍潭

龍潭坐落於首里城下山坡的平坦地帶，是一個人造大水潭，初衷是在接待中國使臣時，為他們提供休閒消遣活動。

1427年、在尚巴志王の指派下、一位名叫「懷機」の琉球官員出面主持龍潭の修造事宜、懷機出生於中國、曾在中國學習園林景觀建造、水潭邊的花木以及靠近首里城一側的假山均出自他的設計。

龍潭水引自首里城内の天然淡水水源、源水流經圓鑑池後注入其中。龍潭東側以前有一個「松崎馬場」、馬場對面曾設「國學」和「孔廟」。

高貴的娛樂

龍潭是招待中國使臣水上娛樂活動的地點、通常在琉球舉行國王葬禮、冊封大典或其他儀典時、中國使臣會來訪。若適逢九月初九重陽節、還會舉辦隆重優雅的龍舟大賽。

此外、龍潭水面剛好能映出首里城的倒影、巧妙的設計堪為一景、吸引無數文人墨客來此作詩稱頌。潭中當年有放養魚、因此龍潭又有「魚小堀」之名。

是公園，也是高雅的休閒處所

龍潭在琉球王國時期僅供宮廷獨享、不過今天已成為百姓隨意進出的公共景點。自1870年代沖繩納入日本後、龍潭周圍建起了學校、龍潭也逐漸開放給大眾使用。如今、這裡涼爽的林蔭水岸已成為本地不可或缺的一道風景、不但為來訪者提供躲避沖繩灼灼烈日的蔭涼、還能讓人們置身美好的風光之中、眺望遠處麗日晴空下的首里城。

<日本語仮訳>

龍潭

龍潭は、首里城が立つ丘の麓にある平坦な場所に位置する大きな人工の池で、もともとは中国からの使節団をもてなすために使われていました。

1427年、琉球の役人である「懷機」は、尚巴志王から龍潭建設の指揮を任されました。中国で生まれ、中国で造園を学んだ彼は、龍潭周辺の花や木の植栽、首里城近くの築山の造成などを担当しました。

龍潭には、首里城内の天然淡水が円鑑池を経由して引かれています。龍潭の東側には、かつて「松崎馬場」があり、馬場の向かいには「国学」と「孔子廟」が建てられていました。

優雅なもてなし

龍潭は中国からの使節団を水辺でもてなす場として使われていました。中国の使節団は、通常、琉球国王の葬儀や即位式などの儀式に合わせて首里城を訪れました。9月9日に行われる「重陽の儀」の祭りでは、優雅で気品のある龍舟のレースも行われました。

また、龍潭の水面に首里城が反射する景色は巧みに計画されたもので、多くの文人や歌人に歌われてきました。龍潭にはたくさんの魚が放流されていて、「魚小堀」とも呼ばれていました。

上流階級のレジャースポットと公営公園

龍潭は琉球王朝時代には王朝の人物のみが楽しめる場でしたが、道から一般の人も眺めることができる人気の景観でもありました。1870年代に沖縄が日本に併合されて以来、龍潭周辺にはいくつかの学校が建設され、一般の人々にも親しまれるようになりました。現在では、涼しげな木陰の水辺は、地元の素晴らしい景観となっています。ここは、沖縄の灼熱の太陽を遮るのになくてはならない場となっているだけでなく、遠くに澄んだ太陽に照らされた空を背景にした首里城の美しい姿を眺めることもできます。

【タイトル】 中城御殿跡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**中城御殿旧址**

“中城御殿”是琉球国王世子的宅邸。无论从规模、品质，还是其不容忽视的卓越性来说，中城御殿都是琉球建筑的集大成者，同时又不乏独创性。宫殿以“中城”为名，是因为通常国王世子都会被分封到“中城间切”，称“中城王子”。“间切”为冲绳方言，古冲绳地区的行政区划名，中城间切包括今北中城村、中城村及宇流麻市津坚岛等地，位于冲绳岛中部的。原宅邸始建于 17 世纪，紧邻“中山门”，位处举办仪典的大道旁，往来首里城十分便捷。

1873 年，就在王国覆灭前不久，中城御殿迁移至龙潭对面的开阔地上。1879 年首里城改作日本军事设施后，新的中城御殿便成了留在冲绳岛内的王室成员的主要居所。宫殿周围一带多为数百年老宅和园林，是琉球精英学者与贵族的聚居地。

布局与设计

和首里城一样，这座宫殿的布局同样遵循琉球本地风俗。公共行政区正对南大门，属于开放区域；世子、家眷及王室成员的居所在后部，为私人区域；最隐蔽的区域专供女眷使用，名叫“御内原”，与首里城的御内原相似。

中城御殿的建筑布局及设计兼取中、日之长，同时保有琉球的风格特征。整个建筑群包括约 20 座独立的高床式木建筑，与琉球式的庭园、中庭间杂交错，以檐廊相连。石墙起到了进一步区隔以及定义空间的作用。整座宅邸最有趣的一大特色在于：虽然沿中轴线清晰分布的门户和庭院都带有中国宫廷建筑风格，但整体结构上却看不到中式建筑中典型的严格对称布局。这里的建筑排布更自由，更接近日式审美并兼顾功能的考量。

宫殿后部的丘陵地带上方，有一座占地广阔的中国式景观园林。明治元年(1868)，来自久米村的郑良佐等三人被派到中国福州学习风水，归来后凭借所学完成了这片园林的选址和布局设计。

毁灭与复兴

中城御殿向来是王室子弟的居所。1945 年 5 月在冲绳岛战役中，所有原始建筑几乎全毁，只留下了一口井和巨大的石头宫墙。同时，不计其数的王室珍宝和历史文献也在战火

中遗失。幸运的是，大量详实可靠的文字记录和照片资料都被保存了下来。加上 1966 年在宫殿遗址上建造的冲绳县立博物馆已于 2008 年拆除，各项重要的发掘工作得以就地展开。

<繁体字>

中城御殿舊址

「中城御殿」是琉球國王世子的宅邸，無論從規模、品質，還是其高調的風格來說，中城御殿都是琉球建築的集大成者，同時又不乏獨創性。宮殿以「中城」為名，是因為通常國王的世子都會被分封到「中城間切」，稱「中城王子」。「間切」是沖繩方言，古沖繩地區的行政區劃名，中城間切包括今北中城村、中城村及宇流麻市津堅島等地，位於沖繩島中部。原宅邸始建於 17 世紀，緊鄰「中山門」，地處舉辦典禮的大道旁，往來首里城十分方便。

1873 年，就在王國覆滅前夕，中城御殿遷移至龍潭對面的開闊地上。1879 年首里城改作日本軍事設施後，新的中城御殿就成了滯留在沖繩島上的王室成員的主要居所。宮殿周圍一帶多為數百年老宅和園林，是琉球精英學者和貴族的聚居地。

佈局與設計

和首里城一樣，這座宮殿的佈局同樣遵循琉球當地風俗。公共行政區正對南大門，屬於開放區域；世子、家眷及王室成員的居所在後部，為私人區域；最私密的區域專供女眷使用，名「御內原」，與首里城的御內原相似。

中城御殿的建築佈局及設計兼取中、日之長，同時保有琉球的風格特徵。整個建築群包括約 20 座獨立的高床式木建築，與琉球式的庭園、中庭間雜交錯，以簷廊相連。石牆起到了進一步區隔以及空間規劃的作用。整座宅邸最有趣的一大特色在於：雖然沿清晰中軸線分佈的門戶和庭院都帶有中國宮廷建築風格，但整體結構上卻看不到中式建築中典型的嚴格對稱佈局。這裡的建築佈局更自由，也更接近日式審美並兼顧功能性。

宮殿後部的丘陵地帶上方有一座占地廣闊的中國式景觀園林，明治元年（1868 年），來自久米村的鄭良佐等三人被派到中國福州學習風水，歸來後憑藉所學完成了這片園林的選址和佈局設計。

毀滅與復興

中城御殿一直是王室子弟的居所。1945 年 5 月在沖繩島戰役中，所有原始建築幾乎全毀，只留下了一口井和巨大的石頭宮牆。同時，不計其數的王室珍寶和歷史文獻也在戰火中散失。幸運的是，大量詳實可靠的文字記錄和照片資料都被保存了下來。加上 1966 年在宮殿遺址上建造的沖繩縣立博物館已於 2008 年拆除，各項重要的發掘工作得以重新展開。

<日本語仮訳>

中城御殿跡

沖縄の中部に位置する「中城御殿」は、琉球の王世子のための宮殿でした。規模、質、突出した存在感などの点において、琉球建築の最高傑作といえると同時に、オリジナリティにも富んでいました。「中城」と名付けられたのは、王世子は通常「中城間切」の統治が任され、「中城王子」と呼ばれていたためです。間切、古代沖縄県の行政区分のひとつである。中城間切は現：中城村、北中城村、うるまなどを指します。元々の邸宅は17世紀に建てられたもので、中山門の近くにある儀式用の大通りにあり、首里城との行き来も容易でした。

中城御殿は、琉球王朝時代が終わる直前の1873年に、龍潭に面した広々としたところに移築されました。1879年に首里城が日本の軍用施設になると、移築された中城御殿は沖縄に残った王族の本邸になりました。中城御殿は数百年ものの歴史を有する邸宅や庭園に囲まれ、当時この地区には琉球の上流階級の学者や貴族が住んでいました。

配置と設計

首里城と同じく、中城御殿のレイアウトは琉球の慣習に従っています。一般の行政関連のエリアは南向きの正門に面しており、オープンエリアとなっています。王世子たちやその家族、王室のメンバーの住居は奥のプライベートエリアにありました。最もプライベートなエリアは女性の家族のためのもので、最も奥深くにあり、首里城のものと同様に、「御内原」と呼ばれていました。

中城御殿の建築レイアウトやデザインは、琉球スタイルを踏襲しつつ、中国と日本の特徴を融合させたものになっています。建築群全体は、約20棟の独立した高床式の木造建築物に琉球様式の庭園や中庭がちりばめられ、屋根のある廊下で結ばれていました。石垣は、空間をさらに分割し、明確にする役割を果たしています。最も興味深い特徴のひとつは、明確な中心軸に沿った門や中庭が中国の宮殿建築の様式が由来となっているにもかかわらず、中国建築によく見られる厳格な対称性のあるレイアウトが構造には見られないことです。建造物はより自由な配置になっており、これは日本の美意識や機能面の感性により近いものです。

中城御殿の裏手にある広い丘陵地には、中国様式の庭園がありました。明治元年（1868年）に、久米村出身の鄭良佐ら3名は風水を学ぶために中国の福州に派遣され、帰国後、学んだことをもとにこの庭園の敷地の選定と配置設計を担当しました。

破壊と再建

中城御殿は、王族の子孫の住居として使われていましたが、1945年5月、沖縄戦で破壊され、元々あった建物のうち、残ったのは井戸がひとつと巨大な石垣だけでした。また、多くの王室の宝物や歴史史料も散逸しました。幸いなことに、数多くの信頼できる記録や写真が残されていました。1966年に宮殿の跡地に建てられた沖縄県立博物館が2008年に解体されたため、重要な発掘調査をこの場所で行うことができるようになりました。

【タイトル】 第 32 軍司令部壕

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**第 32 军司令部战壕**

第 32 军司令部战壕是位于首里城地下的一个地道群，由日本陆军在二战期间建造，旨在防备美军对冲绳岛发起进攻。工程于 1944 年 12 月动工，在次年 3 月冲绳岛战役爆发之前停工。5 月底，日军退守冲绳岛南部，司令部的使用时间总计不过一个月左右。但司令部战壕的存在别具意义，非常有助于后世了解冲绳岛战役中首里城所遭遇的命运，以及岛上众多居民伤亡的惨状。

选择首里城的理由

早在 1879 年，首里城就曾被用作日军军营。当时，琉球王国覆灭，成为了日本的冲绳县。几十年后，太平洋战争爆发，盟军逼近日本。日本军队意识到有必要深挖战壕，以备势必到来的战争。因此，多个日军占领的太平洋岛屿上都修建有地下防御工事，其中就包括冲绳岛和日本本岛。

选择在首里城下修建这样一处庞大的地下司令部，主要基于这里的几大天然优势：城堡所在的小山为坚硬的琉球石灰岩山体，被认为能够经受得住来自海上和空中的重火力轰炸；居高临下的地势，可确保周遭环境一览无余。但建造者似乎从未考虑过，一座军事基地可能为首里城和其他无价的历史遗迹带来怎样的风险。毕竟，一旦战争打响，司令部所在地必定会成为主要攻击目标。1945 年 4 月到 5 月间，美国海军的集火炮击摧毁了地下司令部，随后到来的地面战争和空袭更是几乎将整个首里地区夷为平地。5 月下旬，日本驻军撤退至南部的摩文仁地区。

此处地下司令部如今仍有部分留存，但出于安全考虑，暂时还不适合对公众开放。

布局和功能

此处地下设施由一条中心长坑道和五条与之相连接的岔道组成，全长逾 1 公里。司令部在“ハンタン山”（Hantanyama，即从龙潭、圆鉴池到首里城的陡坡）设有一个混凝土入口，坑道蜿蜒穿过首里城下方，直达另一侧的金城町。战壕最深处距离地面约 30 米。整个设施共有 5 个主要出入口，但大部分已不可见。坑道内曾容纳约 1000 人驻扎，包括军官、志愿兵、工人、学生及其他人员。此外，战壕内除配备军火库和军工技术设施外，还设有

数量众多的办公室、厨房、公共休息室、起居生活区等，较大的套间和会议室则供指挥官专用。

毁弃及其在战后的意义

为了避免地下司令部被登岛盟军利用，日军在撤离时炸毁了战壕。不少坑段被毁，但仍有部分区域未受波及。战后，人们在幸存的地道内支起钢梁和支架，以免坑道继续坍塌，只是出于安全考虑，依然封闭了所有出入口。随着时间推移，人们渐渐认识到此处遗址在帮助后世了解冲绳岛战役和首里城历史方面的意义，所以赋予它的评价也越来越高。

<繁体字>

第 32 軍司令部戰壕

第 32 軍司令部戰壕是位於首里城地下的一處地道群，由日本陸軍在二戰期間建造，以防備美軍對沖繩島發起進攻。工程於 1944 年 12 月動工，在次年 3 月沖繩島戰役爆發之前停工。5 月底，日軍退守沖繩島南部，司令部的使用時間總計不超過一個月左右。但司令部戰壕的存在別具意義，有助於後世理解沖繩島戰役中首里城所遭遇的命運，以及島上眾多居民傷亡的慘狀。

選擇首里城的理由

早在 1879 年，首里城就曾作為日軍軍營。當時，琉球王國覆滅，成為了日本的沖繩縣。幾十年後，太平洋戰爭爆發，盟軍逼近日本。日本軍隊意識到有必要深挖戰壕，以備勢必到來的戰爭。因此，多個日占太平洋島嶼上都修建了地下防禦工事，其中就包括了沖繩島和日本本島。

選擇在首里城下修建如此龐大的地下司令部，主要基於島上的幾大天然優勢：首里城所在的小山為堅硬的琉球石灰岩山體，被認為能經受住來自海上和空中的猛烈轟炸；居高臨下的地勢，可確保視野一覽無餘。可惜建造者似乎並未考慮過，一座軍事基地可能為首里城和其他無價的歷史遺跡帶來怎樣的風險。畢竟，一旦戰爭打響，司令部所在地必定會成為主要攻擊目標。1945 年 4 月到 5 月間，美國海軍的集火炮擊摧毀了地下司令部，緊隨其後的地面戰爭和空襲更幾乎將整個首里地區夷為平地。5 月下旬，日本駐軍撤退至南部的摩文仁地區。

如今，這處地下司令部仍有部分留存，但出於安全考慮暫時未對大眾開放。

佈局和功能

地道群由一條中心長坑道和五條與之相連接的岔道組成，全長逾 1 公里，司令部在「ハantan山」（Hantanyama，即從龍潭、圓鑑池到首里城的陡坡）設有一個混凝土入口，

坑道蜿蜒穿過首里城下方，直達另一側的金城町。戰壕最深處距離地面約 30 公尺。整個設施共有 5 個主要出入口，但大部分已消失。坑道內曾容納約 1000 人駐紮，包括軍官、志願兵、工人、學生及其他人員。此外，戰壕內除配備軍火庫和軍工技術設施外，還設有數量眾多的辦公室、廚房、公共休息室、起居生活區等，較大的套房和會議室則歸指揮官專用。

毀棄及其在戰後的意義

為了避免地下司令部被盟軍利用，日軍在撤離時炸毀了戰壕，不少坑段被毀，但仍有部分區域未受波及。戰後，人們在倖存的地道內支起鋼樑和支架，以免坑道繼續坍塌。只是出於安全考慮，依然封閉了所有出入口。隨著時間推移，人們漸漸認識到這處遺址在幫助後世瞭解沖繩島戰役和首里城歷史方面的意義，所以對戰壕的評價也越來越高。

<日本語仮訳>

第 32 軍司令部壕

首里城の地下にある「第 32 軍司令部壕」は、第二次世界大戦中に旧日本陸軍が沖縄をアメリカ軍の攻撃から守るために建設した地下壕群です。1944 年 12 月に着工し、翌年 3 月に沖縄戦が勃発する直前まで工事が続きました。5 月末には日本軍が沖縄南部に撤退したため、司令部が使用されたのは約 1 ヶ月間でした。しかし、この司令部壕は、沖縄戦での首里城の運命や、沖縄の人々の計り知れない犠牲と人命の損失を理解する上で、非常に重要な意味を持っています。

首里城が選ばれた理由

首里城は、琉球王国が廃止され、沖縄が日本の県になった 1879 年に日本軍の駐屯地になりました。数十年後、太平洋戦争が勃発し、連合軍が日本に接近してきました。日本軍は、来るべき戦争に備えて深い塹壕を掘る必要があると考え、日本が占領した太平洋の島々の多くに、また沖縄や日本本土の地下にも、防護用の施設が建設されました。

首里城の地下にこのような大規模な司令部を設置したのは、硬い琉球石灰岩の丘が海や空からの激しい攻撃にも耐えられると考えられたこと、標高の高い場所にあるため周囲の環境が見渡せることなど、自然の利点があったからです。しかし、首里城をはじめとする貴重な史跡に軍事基地ができることによって、攻撃されるリスクは考えられていなかったようです。1945 年 4 月から 5 月にかけて、米海軍の集中的な砲撃で地下の司令部が破壊され、その後地上戦と空襲と併せて首里の地上にあるほぼ全てのものが壊滅されました。日本軍の駐屯隊は、5 月末に南部の摩文仁に逃れることができました。

この地下司令部の一部は現在も残っていますが、安全面の理由から、一般公開はされていません。

配置と設備

この地下施設は、1 本の長い中央トンネルから 5 本のトンネルが枝分かれした構造になっており、全長は 1km 以上に及びます。司令部壕のコンクリートの入り口は「ハンタン山」（「龍潭」と隣の「円鑑池」から首里城へかけての急傾斜地）にあり、塹壕は首里城の下を通り、反対側の金城町まで続い

ています。トンネルの最も深いところは、地上から約 30 メートルです。司令部壕内には 5 つの主な出入口がありましたが、そのほとんどが見ることができなくなっています。壕内には、士官、志願兵、労働者、学生など約 1,000 人が滞在できる施設が備えられております。また、兵器庫や技術関連の施設に加えて、数多くの事務所、厨房、談話室、居住区などが設けられていました。大きな部屋や会議室が司令官のために用意されました。

放棄と戦後の重要性

地下司令部が侵攻部隊に利用されるのを防ぐため、日本軍は撤退する際に地下壕を爆破しました。多くは崩壊しましたが、無傷のままの箇所もありました。戦後、崩壊を防ぐために、まだ入ることが出来る部分に鉄の梁や柱が設置されましたが、安全のために出入口はすべて塞がれました。時間が経つにつれ、沖縄戦や首里城の歴史を理解する上での重要性が徐々に認識され、司令部壕に対する評価が高まってきました。

【タイトル】 綾門大道

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**綾門大道**

綾門大道是通往首里城的主干道，意思是“通往美丽大门的道路”。大道为东西走向，全长约 500 米，连接“中山門”（又称“下綾門”）和“守礼門”（又称“上綾門”），有历史学家称其为“琉球黄金之路”。这条宽阔的大道串联起了一系列重要的建筑、宫殿和贵族宅邸，包括国王世子殿“中城御殿”、萨摩藩使臣宅邸“御客屋”、王室陵寝“玉陵”、安国寺和天界寺，就连琉球本土信仰中地位尊崇神圣的“御岳”（字面义表示“神圣的地方”，也称“腰当森”“拜山”）也都正对着它。此外，綾門大道的超然地位还体现在路面上：以细碎石灰岩砾石铺就，所用石材皆被精心加工打磨。

綾門大道主要供居住在首里城外围的上流阶层使用，是他们的社交和文化中心。平民阶层很少随意造访，毕竟这个地方更讲究规矩，要求举止有度、进退有节、安静守礼。但新年期间例外，届时，綾門大道上会举办各种公开的庆祝活动，包括骑术比赛（不比速度，只比马匹的走姿）和大型拔河比赛。此外，在传统阴历七月奉迎先人亡灵的盂兰盆节期间，这里也会开设市集，摆出各种向民众售卖食物和小物杂货的小摊。

如今，一条现代公路循着古綾門大道的路线通到了首里城。“玉陵”和“安国寺”（虽然已经改换了模样）依然矗立在路旁，只是当年大道两旁的堂皇贵族宅邸早已被学校和其他现代建筑设施所取代。

中山門

中山門是一座中国牌楼式的木质坊門，建于 1428 年，是綾門大道的起点。直到大约 100 年后，守礼門才出现在大道的另一端。两座坊門的设计如出一辙，数个世纪以来，始终双双以地标的姿态指明通往首里城的道路。

“中山”之名出自明王朝的一份礼物。1425 年，明朝派遣使臣前来，祝贺尚巴志王（1372–1439）登基加冕，并送上一幅题字“中山”的书法作品作为贺礼——过去，尚巴志王就是以“中山王国”为根基，统一三大分立政权，结束“三山时代”，成功创建了琉球王国，开启大一统的全新时代。修建中山門的初衷，就是为了展示按照这幅书法作品制作的巨大漆

木牌匾，宣布尚巴志王的尚氏王朝得到了中国朝廷的认可，以示名正言顺。就这一点而言，中山门堪称是一座极具代表性的政治与文化纪念碑。

然而，随着 19 世纪 70 年代琉球王国的覆亡，通往首里城的绶门大道失去了它存在的意义，中山门也随之渐渐荒废。1908 年，中山门被彻底拆除。如今只能通过照片一睹它当年的模样。

<繁体字>

綾門大道

綾門大道是通往首里城的主幹道，意思是「通往美麗大門的道路」。大道為東西走向，全長約 500 公尺，連接「中山門」（又稱「下綾門」）和「守禮門」（又稱「上綾門」），有歷史學家稱其為「琉球黃金之路」。寬闊的大道串聯起了一排重要的建築、宮殿和貴族宅邸，包含國王世子殿「中城御殿」、薩摩藩使臣宅邸「御客屋」、王室陵寢「玉陵」、安國寺和天界寺，就連琉球本土信仰中地位尊崇神聖的「御嶽」（字面義表示「神聖的地方」，也稱「腰當森」「拜山」）的大門都正對主路。此外，綾門大道的崇高地位還表現在路面上：以細碎石灰岩礫石鋪就，石材皆精心加工打磨。

綾門大道主要供居住在首里城周邊的上流階層使用，是他們的社交和文化中心，平民階層很少有機會造訪。畢竟，這片區域有許多規矩和講究，人們需舉止有度、進退有節、安靜守禮。不過在新年期間是例外，綾門大道上會舉辦各種公開的慶祝活動，包括騎術比賽（不比速度，只比馬匹的走姿）和大型拔河比賽。此外，傳統陰曆七月奉迎先人亡靈的盂蘭盆節期間，這裡也會開設市集，擺出各式小攤向民眾販賣小吃和雜貨。

如今，一條現代公路循著古綾門大道的路線通到了首里城，「玉陵」和「安國寺」（今天已經改換了模樣）依然矗立在路旁，只是當年大道兩旁的堂皇貴族宅邸早已被學校和其他現代建築設施所取代。

中山門

中山門是一座中國牌樓式的木質坊門，建於 1428 年，是綾門大道的起點。直到大約 100 年後，守禮門才出現在大道的另一端。兩座坊門的設計相仿，數個世紀以來，兩門始終以地標之姿標示著通往首里城的道路。

「中山」之名出自明王朝的一份禮物。1425 年，明朝派遣使臣前來，祝賀尚巴志王（1372-1439）登基加冕，並送上一幅題字「中山」的書法作品作為賀禮——而尚巴志王就是以「中山王國」為根基，統一了三大分立政權，結束「三山時代」，成功創建了琉球王國，開啟大一統的全新時代。修建中山門的初衷，就是為了掛上按照這幅書法作品製作的巨大漆木牌匾，宣告尚巴志王的尚氏王朝得到了中國朝廷的認可，以示名正言順。就這一

點而言，中山門堪稱是一座極具代表性的政治與文化紀念碑。

然而，隨著 1870 年代琉球王國的覆亡，通往首里城的綾門大道失去了存在的意義，中山門也隨之漸漸荒廢。1908 年，中山門被徹底拆除。如今只能通過照片一睹當年的風采。

<日本語仮訳>

綾門大道

綾門大道は、首里城に通じる大通りで、「美しい門に通じる道」という意味です。中山門（別称：下の綾門）と守礼門（別称：上の綾門）を結ぶ東西約 500 メートルのこの道を「琉球の黄金の道」と呼ぶ歴史家もいます。王世子の御殿の「中城御殿」、薩摩藩からの使節団が利用した公邸「御客屋」、王室墓廟の「玉陵」、安國寺や天界寺、そして琉球の土着の信仰において重要な聖域である「御嶽」（文字通り「神聖な場所」を意味し、「腰当森」または「拝山」とも呼ばれています）など、重要な建築物、宮殿、そして貴族の邸宅がこの大通りに面して並んでいました。かつて、綾門大道の重要性を反映するかのように、路面は細かく砕いて滑らかに加工した石灰岩の砂利が敷かれていました。

綾門大道は、主に首里城の周辺に住む上流階級の人々が利用し、彼らの交流と文化の中心地となっていました。庶民が訪れることはほとんどありませんでしたが、この場所では静かで節度のある振る舞いや正しい礼儀作法が要求されていたと考えられています。しかしお正月は例外で、綾門大道では様々な一般公開されたお祝いの催しが行われ、競馬（速さではなく、馬の走法の美しさを競う）や大人数の綱引きなどが行われました。また、旧暦の 7 月に故人の霊を迎えるお盆の時期には、ここに屋台が設置され、町の住民に食べ物や飾り物が販売されました。

現在、旧綾門大道に沿って首里城へと続く近代的な道路が整備されています。「玉陵」と「安國寺」は（当時の姿とは異なるものの）まだ残っていますが、かつて綾門大道に並んでいた大きな邸宅群は、今は学校やその他の現代の建築物に取って代わられています。

中山門

中山門は、1428 年に綾門大道の起点として建てられた中国様式の屋根付きの木造の門です。大通りの反対側に「守礼門」が建てられたのはそれから 100 年ほど後のことです。これら 2 つの門の設計はほとんど同じで、数世紀にわたって首里城への道を示す街の大きな目印になっていました。

「中山門」という名前は、1425 年に尚巴志王（1372-1439）の即位を祝うために遣わされた明朝の使者が「中山」と刻まれた銘を寄贈したことに由来しています。かつて尚巴志王が「中山王国」を本拠地にして 3 つの対立する地区の統一し、「三山時代」に終止符を打ち、琉球王国の樹立を成功させました。中山門を建設した当初の目的は、この書に基づいて作られた大きな漆塗りの扁額を掛けることで、尚巴志王が中国からも王として正式に認められたことを公に示すためでした。それゆえ、中山門は、政治面でも文化面でも極めて重要なモニュメントでした。

1870 年代に琉球王朝が解体されると、首里城に通じる綾門大道は存在意義を失い、中山門も徐々に荒廃しました。中山門は 1908 年に完全に取り壊され、現在では当時の様子を写真でしか知ることはできません。

【タイトル】 真珠道

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**真珠道**

真珠道是一条重要的历史街道，建于 1522 年，起点靠近守礼门。“真珠”即“珍珠”，取自于道路本身的外观：这是一条以琉球石灰岩块精心铺就的道路，新建成时洁白俨然有光。它是首里城向那霸港口派兵所用的军事干道，修建初衷是为了应对海盗登岸抢劫的威胁。

真珠道全长约 4 公里，为这一地区的基础设施工程建设做出了卓越的贡献。道路始于首里城附近，一路横穿首里金城町，经国场川河口，最终直抵那霸港南岸的垣花。沿途与其他岔道交错连接，便于首里城外的其他军队也能及时赶来汇合。由于识名村也在真珠道沿线，后来国王及其近侍随从往返王家别邸“识名园”时也会走这条路。

这条道路的大部分路段持续使用了数个世纪之久，其他尚保存完好的部分也都得到了很好的发掘与研究，因此，后世对它的设计与结构知之甚详。

金城町石道

真珠道现存一段约 300 米长的路段，称“金城町石道”。它带着数百年来岁月痕迹，蜿蜒穿行在首里城外西南坡上曾经的贵族区“金城町”里，更以路旁藤蔓覆盖的古老石墙和蔽日浓荫而闻名。这段道路能保有如今的面貌，是一代又一代人精心维护的结果，加之它在二战中几乎没有被损毁，因而得以保留着当年首里地区的传统风貌。它众多的岔路小巷和幽静角落，都是游人寻幽探秘、感受琉球王国晚期日常生活氛围的好去处。

<繁体字>**真珠道**

真珠道是一條重要的歷史街道，建於 1522 年，起點靠近守禮門。「真珠」即「珍珠」，取自於道路本身的外觀：琉球石灰岩精心鋪就的石疊道，新建成時潔白儼然有光。真珠道是首里城向那霸港口派兵所用的軍事幹道，最初修建主要為了應對海盜登岸搶劫的威脅。

真珠道全長約 4 公里，是推進這片地區的基礎設施工程建設的幕後功臣。道路始於首里城附近，一路橫穿首里金城町，經國場川河口，最終直抵那霸港南岸的垣花。沿途與其他岔道交錯連接，以便首里城外的其他軍隊能及時趕來匯合。由於識名村也在真珠道沿線，

後來國王及其近侍隨從往返王家別邸「識名園」時也會走這條路。

數個世紀以來，這條道路的大部分路段一直有人走動。其他保存還完好的路段，也都進行了充分的發掘與研究，因此，後世對真珠道的設計和結構知之甚詳。

金城町石道

真珠道現存一段約 300 公尺長的路段，稱「金城町石道」，石道蜿蜒穿行於首里城外西南坡上往昔的貴族區「金城町」。數百年來的歲月痕跡，路旁藤蔓覆蓋的古老石牆，以及蔽日濃蔭，讓金城町石道名聲在外。這段道路能保有如今的面貌，是一代又一代人精心維護的成果。更幸運的是，在二戰中幾乎沒有受到損毀，也得以保留著當年首里的傳統風貌。這裡擁有眾多的岔路小巷和幽靜角落，是遊客尋幽探秘、感受琉球王國晚期日常生活氛圍的好去處。

<日本語仮訳>

真珠道

真珠道は、1522 年に建設された重要な歴史上の通りで、守礼門の近くから始まっています。日本語の真珠は「パール」という意味で、この名前は道路の外観に由来しています。琉球石灰岩のブロックを隙間なく敷き詰めて丁寧に舗装された表面は、作られた当時は白く輝いていました。真珠道は首里城から那覇港に向かって兵士を派遣するための軍用道路で、元々は海賊の脅威に対する防衛を目的に作られたものでした。

真珠道は全長約 4 キロメートルで、この地域のインフラ整備において工学上重要な貢献をしました。真珠道は首里城の近くから始まり、首里の金城町を横切り、国場川の河口のそばを通過して、那覇港の南岸にある垣花まで続きます。途中、他の通りと交差しているため、首里城外のほかの拠点から出発した兵士とも合流することができました。また、識名村も道沿いにあつたため、後に真珠道は王とその側近が別荘の「識名園」に行き来する際にも使われました。

真珠道の大部分はその後何世紀にもわたって使われてきましたが、それ以外の保存状態が良好な部分では発掘や研究が行われています。そのため、真珠道の設計と造設に関しては詳しく判明していません。

金城町石畳通

真珠道には現在「金城町石畳通」として知られる約 300m の区間があります。数世紀にわたる使用により磨耗していますが、首里城の南西の斜面に広がる金城町というかつての貴族の地区を曲がりくねりながら横切っています。つる植物に覆われた古い石垣、そして木の枝が大きく張り出して屋根のようになっていることで有名です。いまの状態が保たれているのは何世代にもわたって慎重に保全が行われてきたからで、また第 2 次世界大戦でもほとんど被害を受けなかったことから、首里の伝統的な街並みの雰囲気はいまに伝えています。何本もの細い路地が枝分かれし、街の隠れ家的地区が多く存在

しているので、来訪者にとって、琉球の黄昏時代の日常生活の雰囲気を経験する最適な場所になっています。

【タイトル】 守礼門

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**守礼門**

守礼門是一座仪典性质的中式彩漆木坊门，紧邻首里城。它建于尚清王时期(1527-1555)，是冲绳最知名、最为醒目的地标建筑之一。首里城最初的主仪门是位于守礼門以西约 500 米开外的中山門，比守礼門早一个世纪建成，是琉球朝廷官员迎接外国使臣和其他重要来宾的地方。但实际上，中山門太远，多有不便，于是新建一座更靠近城堡的仪門势在必行。

“守礼”二字出自 1579 年明朝万历皇帝的一道诏书，其中有言：“惟尔琉球国……足称守礼之邦”。守礼門建成后，上面便悬挂了一面题写着“守礼之邦”四个大字的朱漆牌匾。它既表明了琉球是尊奉儒家文化的国度，同时也有对民众施以教化的含义。尽管在不同时期門上也曾经悬挂过其他匾额，但与守礼門关联最深的，依然是儒家之“礼”。

设计中的外来元素

和中山門一样，守礼門的造型同样基于中国式的牌坊，門上有类似“櫓”（塔楼）的坊顶，下层的赤瓦屋顶横跨整座坊門，上面另外叠着一个同轴居中的小屋顶。但整体来说，它的设计是融合了不同文化的产物：以中国式样为基础，同时受多种风格影响，这也是现存重要琉球遗迹所共有的特征。而守礼門的独特之处在于，它的底部使用了特制的雕花石板，这有可能是为抵挡台风而特别采取的加固措施。

守礼門高约 7 米，宽 8 米，横向长于纵向，没有安装任何門扉，寓意不设防的喜庆、好客之情。

冲绳文化认同的象征

守礼門是琉球文化的象征符号。在首里城所展示的形象中，常常是最引人注目的焦点，就连 1853 年至 1854 年期间随同美国海军准将马修·佩里所率舰队前来琉球王国的军事工程师和艺术家，也留下了相关记录。琉球王国于 1879 年覆灭，守礼門却幸存了下来。在首里城化身为日军军营、学校和神社的漫长岁月变迁中，始终矗立不倒的它告诉人们：这里是通往首里城的大门。

守礼門在 1933 年被日本政府指定为国宝，却毁于 1945 年的冲绳岛战役。鉴于其巨大

的公众影响力和重要的文化意义，它成为战后首里地区第一个得以重建的建筑。如今的守礼门建成于 1958 年。

<繁体字>

守禮門

守禮門是一座儀典性質的中式彩漆木坊門，緊鄰首里城，建於尚清王時期（1527-1555），是沖繩最知名、最醒目的標誌建築之一。首里城最初的主城門是位於守禮門以西約 500 公尺開外的中山門，比守禮門早一個世紀建成，是琉球朝廷官員迎接外國使臣和其他重要來賓的地方。然而人們發現，中山門還是太遠，多有不便，於是就順理成章修建一座更靠近首里城的新城門。

「守禮」二字出自 1579 年明朝萬曆皇帝的一道詔書，其中有言：「惟爾琉球國……足稱守禮之邦」。守禮門建成後，上面便懸掛了一面題寫著「守禮之邦」四個大字的朱漆牌匾。它既表達了琉球王國尊奉儒家文化，同時也暗含對民眾施以教化。儘管在不同時期的門上也曾經懸掛過其他匾額，但與守禮門關聯最深的，依然是儒家之「禮」。

設計中的外來元素

和中山門一樣，守禮門的造型同樣基於中國式的牌坊，門上有類似「櫓」（塔樓）的坊頂，下層的赤瓦屋頂橫跨整座坊門，上面另外疊著一個同軸居中的小屋頂。但整體來說，守禮門的設計是融合不同文化的產物，可謂中式為體，多種風格為用，這也是現存重要琉球遺跡所共有的特徵。而守禮門的獨特之處在於，底部使用了特製的雕花石板，這有可能是為抵擋颱風而特別採取的加固措施。

守禮門高約 7 公尺，寬 8 公尺，橫向長於縱向，沒有安裝任何門扉，以此表達不加設防的喜慶、好客之情。

沖繩文化認同的象徵

守禮門是琉球文化的象徵符號，在首里城所展示的形象中，常常是最引人注目的焦點，就連 1853 年至 1854 年期間隨同美國海軍準將馬修·佩里所率艦隊前來琉球王國的軍事工程師和藝術家，也留下了相關記錄。雖然琉球王國在 1879 年覆滅，守禮門卻倖存下來，在首里城化身日軍軍營、學校和神社等的漫長歲月變遷中，它始終矗立不倒，以示這座古老城門就在此處。

守禮門於 1933 年被日本政府指定為國寶，卻在 1945 年的沖繩島戰役焚毀。鑒於其巨大的公眾影響力和重要的文化意義，守禮門成為了戰後首里地區首座重建的建築，如今的守禮門建成於 1958 年。

<日本語仮訳>

守礼門

守礼門は首里城のとても近くにある儀式用の中国様式の多色彩の塗装が施された木製の門です。尚清王の時代（1527-1555）に建てられたもので、沖縄の最も有名で、目立つシンボルの一つです。首里城の本来の儀式用の門は、それより西に約 500 メートルのところにある「中山門」で、守礼門より 100 年前に建てられ、琉球宮廷の高官が外国の使節団や重要な客人を迎える場所として使われていました。しかし、中山門は遠くて不便なので、城の近くに新しい儀式用の門を作る必要がありました。

「守礼門」という名前は、1579 年に明の万歴帝が出した「琉球は守礼の邦と称するに足りる」という勅語に由来しています。守礼門が完成すると、「守禮之邦」と刻まれた赤色の漆塗りの扁額が門の上部に掲げられました。これは、琉球が儒教の原則を尊重することを宣言し、また一般の人々にもそうするよう命じる勸告でもありました。時期によってはほかの額も掛けられていましたが、やはり守礼門は守礼（礼節を守る）という儒教の美德に最も強く結びついています。

デザインに見られる海外の影響

中山門と同じく、守礼門の様式は中国の「牌坊（牌楼）」をベースにしており、門の幅いっぱいの大きさの赤い瓦屋根があり、その真ん中には「櫓（塔）」のようなさらに高い屋根が載っています。しかし、全体としては、全ての重要な琉球のモニュメントと同じく、そのデザインは基本的な中国様式に様々なスタイルの影響を取り入れた折衷様式です。守礼門の特徴は、おそらくは台風対策として、独特な彫刻を施した石板が門の基礎を補強しています。

守礼門は高さ約 7 メートル、幅約 8 メートルと、縦よりも横に長く、また一切扉がないことから、防衛用ではなく、祝賀とおもてなしの雰囲気醸し出しています。

沖縄文化のアイデンティティの象徴

守礼門は琉球文化のシンボルであるため、首里城を紹介する画像にはしばしばハイライトとして登場します。1853 年から 1854 年にかけてアメリカ海軍のペリー提督が率いる艦隊とともに琉球王朝を訪れたアメリカ軍の技師や芸術家たちも、守礼門の記録を残しています。1879 年に琉球王国は滅びましたが、守礼門は生き残りました。首里城が日本軍の兵舎、学校、神社などに姿を変えた後も、城への入り口がここであることを示し続けてきました。

守礼門は 1933 年に日本政府から国宝に指定されましたが、1945 年の沖縄戦で破壊されました。そのパブリックおよびカルチャーにおける重要性の大きさから、首里で戦後最初に再建された建物です。現在の守礼門は 1958 年に完成したものです。

【タイトル】 正殿跡

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

正殿遗址

“正殿”是首里城最主要的宫殿建筑。它是占地广阔的仪典场所“御庭”的核心，与两旁用于接待中、日使臣的大型迎宾馆组成了一个建筑群。此外，它也是琉球最大的木构建筑物。在琉球王国的历史上，正殿曾三次毁于火灾，又三次重建，1945 年再次毁于冲绳岛战役。经过精心修复，这座大殿于 1992 年重现于世，同时修复的还有几处关联建筑。然而，2019 年 10 月的大火又一次焚毁了正殿以及周边 7 座建筑。

布局和设计

就整体布局而言，“正殿”加上“御庭”，俨然构建起了一个“小紫禁城”。秉持琉球经典建筑的一贯特色，其细节设计在保有本土风格的基础上，受到了来自中国、日本、朝鲜半岛以及亚洲其他国家的多重影响。

正殿的建筑外形大体为双层的中国宫殿式样，内部却是三层结构。而正殿中央延伸出来形似山墙的弧形结构名叫“唐破风”，则是借鉴了日本的建筑设计，弧形顶下有四根立柱支撑，亦有遮蔽正门入口的作用。宫殿采用朱漆涂色，配以精美的彩色装饰，中间两根立柱上盘绕着代表王室的金龙。整个建筑立于一个琉球石灰岩台基底座上，基座上有石雕立柱和装饰精美的石栏杆。正殿屋顶最初铺设的是木板，在 17 世纪晚期更换为灰色或黑色的陶瓦，最后才改铺为琉球式的红色素烧瓦，搭配白色灰泥勾缝装饰。

独特的龙柱

正中的石灰岩台阶在 18 世纪中期才拓宽为扇形。台阶前后四角各立有一根龙柱，前面两根高约 3 米，后面两根则小一些，以此营造出前后距离与空间透视上的错觉，这些被认为是琉球的独创设计。

龙，向来是正统王权的象征，只有皇帝和国王才能使用龙纹装饰。正殿中随处可见龙的图案，从巨大的屋顶装饰、立柱、天花板，到扶手栏杆，无所不在。

功能分区与用途

正殿一层称“下库理”，是国王理政和举办仪典的地方。这层殿内有一个高台，称“御

差床”，是国王的御座。高台四周立有红漆柱，上方屋梁上绘有金龙和五彩祥云纹饰。

二层叫“大库理”，也有一个以龙纹装饰的华美王座。上方悬挂的几块牌匾均为中国皇帝题赐，但其中“中山世土”这块是根据历史记录复制而成。这一层主要供女性使用，但王室男性成员也能参与在这里举办的王家仪典，通常，这些活动都仅限王室成员和高级女官出席。

第三层为阁楼，主要用于通风透气。

古地基遗址

考古发掘的成果显示，正殿初建的时间有可能早至 14 世纪晚期。数个世纪以来，这座建筑曾多次被大火烧毁，又在原地重建。现存石头地基的修建时间横跨 15 至 17 世纪，充分展示了宫殿规模逐步扩大与石头建筑工艺不断进步的过程：最初粗糙、不经加工的石头构建，如何一步步被精心切割、严丝合缝的琉球石灰岩构造取代；中央台阶如何一次次拓宽、改良。

在 1986 年开始的又一次重建规划中，人们决定保留这些考古现场，并向公众开放。新筑的水泥台基在原来的基础上抬高了 68 厘米，托起重修的正殿，同时安装玻璃地板用以展示老地基。在 2019 年末那场摧毁了正殿的大火之后，人们搭建起一座配有大玻璃窗格的临时建筑，在为遗址提供保护的同时，继续向来访者开放。

尽管大火造成了巨大的损失，令诸多文化珍宝灰飞烟灭，但幸好这些地基犹存，它们依然讲述着首里城正殿的故事，并勾起我们对它一路走来、一次又一次浴火重生的记忆。

<繁体字>

正殿遗址

「正殿」為首里城最主要的宮殿建築，是占地廣闊的儀典場所「御庭」的核心，與兩旁用於接待中、日使臣的大型迎賓館組成了一個建築群。此外，它也是琉球最大的木構建築物。在琉球王國的歷史上，正殿歷經三次火災，又三次重建，1945 年再次毀於沖繩島戰役。經過精心修復，這座大殿於 1992 年重現於世，同時修復的還有幾處相關建築。然而，2019 年 10 月的大火又一次焚毀了正殿以及周邊 7 座建築。

佈局和設計

就整體佈局而言，「正殿」加上「御庭」，儼然構建起了一個「小紫禁城」。秉持琉球經典建築的一貫特色，其細節設計在保有在地風格的基礎上，受到了來自中國、日本、朝鮮半島以及亞洲其他國家的多重影響。

正殿的建築外形大體為雙層的中國宮殿式樣，內部實際是三層結構，正殿中央延伸出來形似山牆的弧形結構名叫「唐破風」，則是借鑒了日本的建築設計，弧形頂下有四根立柱支撐，亦有遮蔽正門入口的用途。宮殿採用朱漆塗色，配以精美的彩色裝飾，中間兩根立柱上盤繞著代表王室的金龍。整棟建築立於琉球石灰岩台基底座上，基座上有石雕立柱和裝飾精美的石欄杆。正殿屋頂最初鋪設的是木板，在 17 世紀晚期更換為灰色或黑色的陶瓦，最後才改鋪成更為琉球式的紅色素燒瓦，搭配白色灰泥勾縫裝飾。

獨特的龍柱

在 18 世紀中期，正中的石灰岩台階才拓寬為扇形。台階前後四角各立有一根龍柱，前面兩根高約 3 公尺，後面兩根則小一些，以此營造出前後距離與空間透視上的錯覺。這些被認為是琉球的獨創設計。

龍，向來是正統王權的象徵，只有皇帝和國王才能使用龍紋裝飾。正殿中隨處可見龍的圖案，從巨大的屋頂裝飾、立柱、天花板，到扶手欄杆，無所不在。

功能分區與用途

正殿一層稱「下庫理」，是國王日常理政和舉辦典禮儀式的地方。這層殿內有一個高台，稱「御差床」，是國王的御座。高台四周立有紅漆柱，上方屋樑上繪有金龍和五彩祥雲紋飾。

二層叫「大庫理」，也有一個以龍紋裝飾的華美王座，上方懸掛的幾塊牌匾均為中國皇帝題賜，只其中「中山世土」一塊是根據歷史記錄複製的展示品。這一層主要供女性使用，但王室男性成員也能參與在這裡舉辦的王家儀典，不過這些活動都僅限王室成員和高級女官出席。

第三層為閣樓，主要用於通風透氣。

古地基遺址

考古發掘的成果顯示，正殿初建的時間有可能早至 14 世紀晚期。數個世紀以來，這座建築曾多次被大火燒毀，又在原地重建。現存石頭地基的修建時間橫跨 15 至 17 世紀，清晰展示了宮殿規模逐步擴大與石頭建築工藝不斷進步的過程：最初粗糙、不經加工的石頭構建，如何一步步被精心切割、嚴絲合縫的琉球石灰岩構造取代；中央台階如何一次次拓寬、改良。

在 1986 年開始的又一次重建規劃中，人們決定保留這些考古現場，並向公眾開放。新築的水泥台基在原來的基礎上抬高了 68 公分，托起了重修的正殿，同時安裝玻璃地板來展示下面的老地基。2019 年末那場摧毀了正殿的大火過後，人們搭建起一座配有大玻璃窗格的臨時建築，在保護遺址的同時，繼續向來訪者開放。

儘管大火造成了巨大的損失，讓諸多文化珍寶灰飛煙滅，但幸好還有這些地基繼續講述著首里城正殿的故事，喚起我們對它一路走來、一次又一次浴火重生的記憶。

<日本語仮訳>

正殿跡

「正殿」は首里城で最も主要な宮殿でした。儀式用の広い中庭である「御庭」の中心的存在であり、両側にある中国と日本の使節団を迎える大きな迎賓館とともに、一大建築群を形成していました。正殿は琉球最大の木造建築物でもありました。琉球王国の歴史の中で、正殿は3度焼失し、3度の再建を経て、1945年の沖縄戦で再び破壊されました。1992年に正殿は関連するいくつかの建物とともに再び慎重に復元されました。しかし、2019年10月の大規模な火災によって、再び正殿をはじめ、その周辺の7つの建物が焼失しました。

配置と設計

正殿と御庭の全体のレイアウトは、北京の紫禁城をもっと小さなスケールで似せるよう意図されたものです。琉球のモニュメント的な建築物が通常そうであるように、その特有のデザインは、中国、日本、朝鮮とその他のアジア地域の影響が固有の感性と同様に組み合わせられたものになっています。

正殿は2階建ての中国の宮殿のような外観ですが、内部は実際には3階建ての構造になっていました。正殿中央の山形のように伸びる曲線構造は「唐破風」と呼ばれ、日本の建築デザインを借用したものです。4本の柱で支えられており、正面玄関を雨風から守る役割も果たしていました。全体が主に赤い漆塗りでしたが、色とりどりの美しい鑄造の装飾も施されており、中央の柱には王家の象徴である金色の龍が巻かれていました。琉球石灰岩の台座の上に建物全体が建っており、台座には彫刻が施された石の腕木と美しく装飾された欄干がついていました。正殿の屋根は、当初は木製の屋根板で覆われていましたが、17世紀後半には灰色または黒の陶器の瓦に変わり、最終的には琉球様式の赤い素焼きの瓦に白い装飾的な漆喰が目立つ屋根に変更されました。

独特の龍柱

中央の石灰岩の階段が扇型に拡張されたのは、18世紀半ばのことです。階段の前後の各コーナーには龍の柱が立っており、手前の2本は高さ約3メートル、奥の2本は小さめで、人工的な遠近感と距離の錯覚を生み出しています。これらは琉球で独自に考案されたものと考えられています。

龍のモチーフは王権の正当性の象徴であるため、皇帝や王しか装飾として使用することができませんでした。巨大な屋根の装飾や柱、天井、手すりに至るまで、正殿のいたるところに龍のモチーフが使用されました。

用途と機能

正殿の1階は「下庫理」と呼ばれ、国王が執務する場所および儀式などが行われるところでした。この階には「御差床」と呼ばれる高台があり、国王の玉座だったそうです。高台の周りには赤い漆塗りの柱があり、天井の梁には金色の龍や色とりどりの瑞雲が描かれていました。

2階は「大庫理」と呼ばれ、こちらも龍をあしらった立派な玉座がありました。部屋の上部には、かつて中国皇帝から贈られた御書の扁額がいくつも掲げられていました。「中山世土」の扁額は古い記録をもとに再現したものを展示していました。このフロアは主に女性が利用していましたが、王族の男性は、王族や高位の女官が出席してここで行われるプライベートな式典や儀式に参加することが出来ました。

3階は屋根裏部屋で、主に換気のために使われていました。

古い礎の跡

考古学的な発掘調査の結果、この地にあった最も初期の正殿は14世紀後半のものであると判明しました。何世紀にもわたって、この建物は幾度も火災で焼失し、その都度同じ場所に再建されました。現存する石造りの礎は15世紀から17世紀にかけて作られたもので、正殿が徐々に拡張していった様子や、石の加工技術が徐々に進歩していったことを物語っています。最初は荒削りで表面加工がされていなかった石の建造物は、丁寧にカットされ、隙間なく敷き詰めた琉球石灰岩にとって代わり、中央の階段も徐々に広げられ、改良されていきました。

1986年に始まった再建計画の間に、これらの考古学的遺跡を保存し、そのままにして見える状態で残すことが決められました。復元された正殿は、元の土台より68センチ高いコンクリートの基礎の上に建てられ、床をガラス張りにすることで古い礎が見えるようにしました。2019年末に正殿が焼失した後、残ったものを保護し、それを見ることが出来る様に大きなガラス窓を備えた仮設の建物が建てられました。

この近年の火事は悲惨な文化的損失を意味しているにもかかわらず、これらの古い礎は首里城の正殿は、常に焼失と再建を繰り返してきたという歴史を思い出させてくれます。

【タイトル】 御内原

【想定媒体】 WEB

<簡体字>

御内原

“御内原”主要为居住空间设计。这里是王室成员日常生活的地方，吃饭、睡觉、教育、文化培训、休闲娱乐，全在此进行。御内原里居住女官，王室以外的男性不得入内。

此外，各类王室仪式也都在这里举办，包括国王的葬礼、新王的继位仪式等等。御内原里原有的几处宗教圣地现均已完成修复，这些圣地称“御岳”，出自琉球本土的御岳信仰，字面义即为“神圣的地方”，也称“腰当森”、“拜山”。近年刚刚重建的两处主建筑都幸运地逃过了 2019 年那场火灾，保全了下来。

女性的领域

御内原的特征在于私密、家庭和女性化，与拥有正殿和其他理政、仪式建筑的“御庭”刚好相反，御庭是正式的官方场所，公共、政治化和男性化是它的特点。

此处王室家眷的居所，住着后妃、公主和未成年的王子，陪伴他们的则是熟习传统文化与礼仪的宫廷贵妇。原则上，能够进入这一区域的男性只有国王和王子，但就连他们也并不住在这里，所以御内原是女人的专属领域。

御内原内多是日常生活活动，例如，织造王室服饰。但一部分还是致力于教化培养，包括熟习宫廷礼仪、仪式的作用和意义等。

阶梯式的布局和庭院结构

御内原的地形就像梯田一样，自正殿向东一路上行，跨越了好几级“台阶”。主要的生活区域环绕在一座被称为“后之御庭”的大庭院周围。庭院一侧的高大建筑名叫“世添御殿”，这是王后的私人寝殿，也是她处理后宫事务的主要场所。此处建筑目前尚未修复。

紧邻世添御殿的“世夸殿”，面积相当于一所大宅，内有一座带部分琉球式石围墙的小花园，正后方有一个名叫“金藏”的珠宝库。世夸殿通常供未出嫁的公主居住，但若是遇到先王去世，新王登基，这里就是举办继位仪式的地方。世夸殿已在 2019 年完成重建。

后之御庭的另一侧是“女官居室”，有着明显的生活区气息。“女官”即女性宫廷侍从，这里便是她们的居所。通常，城堡内常设女官近百人，但其中只有一部分居住在这里，其他女官都住在城外不远处。后者大都出自高门大户人家，原本在首里地区就有住宅，因此

可以每日出入，履行职务。住在女官殿的女侍则通常都被认为是来自首里以外的偏远乡村地区。女官殿后有一个大浴室（也称“汤屋”）和一个供应淡水的蓄水池。

御内原的主要生活区内也有几处“御岳”。

寝庙殿

世夸殿背后，有一个相对窄小、坡度更大的空间，比起“后之御庭”来，这里的仪典色彩更浓。“寝庙殿”就位于这里最里侧、最高的平顶台地，它的上方则是被称为“东台”的橿（瞭望塔／台）。这里被视为首里城内的隐秘圣所。寝庙殿四周环绕着高大的城墙，和几百米开外的“玉陵”一样铺着白色的珊瑚礁碎石，象征清净无垢，也表示尊崇敬意。这是国王去世后暂时停灵的地方，葬礼和继位大典的部分仪式也在这里举行。寝庙殿的正门叫“白银门”，是一个开在高大石墙上的拱顶门洞，上覆石雕屋顶，只有王位继承人才能通行。

<繁体字>

御內原

「御內原」主要為居住空間設計，這是王室成員日常生活的地方，吃飯、睡覺、教育、文化培訓、休閒娛樂，都在此進行。女官居住在御內原裡，王室以外的男性不得入內。

此外，各類王室儀典也都在這裡舉辦，包括國王的葬禮、新王的繼位儀式等等。御內原裡會有的幾處宗教聖地現均已完成修復，這些聖地稱「御嶽」，御嶽信仰出自琉球本土，字面義即為「神聖的地方」，也稱「腰當森」「拜山」。近年剛剛重建的兩處主建築都幸運地逃過了 2019 年那場火災倖存下來。

女性的領域

御內原的特質是私密性、家庭化和女性化，與擁有正殿和其他理政、儀典建築的御庭剛好相反。後者是正式的官方場所，公共、政治化和男性化是它的特徵。

作為王室家眷的居所，這裡住著后妃、公主和未成年的王子，陪伴他們的則是熟習傳統文化與禮儀的宮廷貴婦。原則上，能夠進入這一區域的男性只有國王和王子，但就連他們也並不住在這裡，所以御內原是女人的專屬王國。

御內原裡的活動通常圍繞著日常生活展開，例如，織造王室服飾。但相當一部分致力於教化培養，包括熟習宮廷禮儀、學習儀典的作用和意義等。

階梯式的佈局和庭院結構

御內原的地形就像梯田一樣，自正殿向東一路上行，跨越了好幾級「台階」。主要的生活區域環繞在一座被稱為「後之御庭」的大庭院周圍。庭院一側的高大建築名叫「世添

御殿」，是王后的私人寢殿，也是她處理後宮事務的主要場所。目前這棟建築尚未修復。

緊鄰世添御殿的「世誇殿」，面積相當於一所大宅，內有一座帶部分琉球式石圍牆的小花園。正後方有一個名叫「金藏」的珠寶庫。世誇殿通常給未出嫁的公主居住，但若是遇到先王去世新王登基，這裡就是舉辦繼位儀式的地方，世誇殿已在 2019 年完成重建。

後之御庭的另一側是「女官居室」，有著明顯的生活區氣息，「女官」即女性宮廷侍從，這裡就是她們的居所。通常，城堡內常設女官近百人，但其中只有一部分居住在這裡，其他女官都住在城外不遠處。後者大都出自高門大戶人家，原本在首里地區就有住宅，因此可以每日出入，履行職務。住在女官殿的女侍則通常是來自首里以外的偏遠鄉村地區。女官殿後有一個大浴室（也稱「湯屋」）和一個供應淡水的蓄水池。

御內原的主要生活區內也有幾處「御嶽」。

寢廟殿

世誇殿背後，有一個相對窄小，坡度更大的空間，比起「後之御庭」來，這裡儀式意味更濃。「寢廟殿」就位於這裡最高也是最內側的平頂台地，其上方則是被稱為「東台」的檣（瞭望塔／台）。這裡被認為是首里城內的隱秘聖所。寢廟殿四周環繞著高大的城牆，和幾百公尺外的「玉陵」一樣鋪著白色的珊瑚礁碎石，象徵清淨無垢，也表示尊崇敬意。這是國王去世後暫時停靈的地方，葬禮和繼位大典的部分儀式也在這裡舉行。寢廟殿的正門叫「白銀門」，是開在高大石牆上的拱頂門洞，上覆石雕屋頂，僅供王位繼承人通行。

<日本語仮訳>

御内原

「御内原」は、主に居住空間として設計されています。食事、睡眠、教育、文化訓練、娯楽など、王族の日常生活のすべてがここで行われていました。ここには女官が住んでおり、王族以外の男性は立ち入ることはできませんでした。

また、ここでは、王の葬儀やその後継者の継承儀式など、さまざまな王室関連の儀式が行われていました。このあたりには重要な聖域がありましたが、それらも復元されています。それは、琉球本土の御嶽信仰から「御嶽」と呼ばれ、文字通り「神聖な場所」を意味し、「腰当森」や「拜山」とも呼ばれています。近年再建されたばかりの2つの大きな建物は、幸いにも2019年の火災の被害から免れました。

女性の領域

御内原の特徴は、プライベートで、家庭的で、女性的であることで、正殿をはじめとする行政儀式のための建物を持つ「御庭」とは対照的でした。後者はパブリックで、政治的で、男性が取り仕切っていました。

ここには、王妃、王女、未成年の王子たちが住んでいました。伝統的な文化や礼儀作法に精通した女官たちが彼らの世話をしていました。原則として、このエリアに出入りできる男性は国王と王子達だけですが、彼らもここには住まず、御内原は女性だけの領域でした。

御内原で行われた活動は、王族の衣服を織るなどの日常生活を中心としたものでしたが、大部分は宮廷の儀礼を習得することや儀式の役割を学ぶなど、文化訓練に充てられました。

段丘と中庭がある設計

御内原は正殿から東へと登っているいくつかの段丘の上に広がっています。主な居住区の周りには、「後之御庭」と呼ばれる大きな中庭がありました。中庭の片側にある背の高い建物は「世添御殿」と呼ばれ、王妃の個人的な居住空間であり、御内原の行政を執り行う主な場所でした。なお、この建物はまだ復元されていません。

世添御殿に隣接する「世誇殿」は、大きな邸宅のようなサイズの居住用の建築物で、琉球様式の石垣で小さな庭を部分的に囲み、奥には「金蔵」と呼ばれる宝石庫がありました。世誇殿は通常、未婚の王女達の寝室ですが、王が亡くなり、王世子が即位すると、ここで継承の儀式が行われました。世誇殿は 2019 年に再建されました。

後之御庭の反対側には、居住空間の要素が極めて強い「女官居室」がありました。ここは、「女官」と呼ばれた女性官人たちの住居でした。首里城にはおよそ 100 人の女官が仕えていて、一部はここに住み、他の者は近隣に住んでいました。後者の多くは名家出身で、首里地域に住居を持っていたので、首里城に通って仕事を行うことができました。一方、女官居室に住んでいる人は、首里から遠く離れた農村部出身だったと考えられています。女官居室の裏側には「湯屋」と呼ばれる大浴場と淡水を供給する貯水池がありました。

御内原の主要な居住エリアには、「御嶽」と呼ばれる宗教的な聖域も含まれていました。

寝廟殿

世誇殿の裏側のエリアは、比較的狭く、より急峻な段状になっており、後之御庭よりも儀式的な雰囲気があります。「寝廟殿」はその一番奥の最も高い段に位置し、この上にあるのが「東のアザナ」と呼ばれる櫓です。ここは、首里城の隠れた神聖な場所と考えられます。寝廟殿は四方を高い城壁に囲まれており、数百メートル離れた「玉陵」と同じく、清浄と敬意の印として白いサンゴ砂が敷かれています。王の死後、その遺体が一時的にここに安置され、葬儀と即位式の一環としてここで儀式が行われました。寝廟殿の正門は「白銀門」と呼ばれ、石の彫刻が施された屋根を持つ高い石垣に開かれたアーチ型の門です。白銀門は、王位継承者のみが通ることを許されていました。

【タイトル】 東のアザナ

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**东台**

东台是首里城城墙东头的一座瞭望台，也是城堡的最高点，海拔约 140 米，拥有绝佳的视野。站在瞭望台上往外远眺，可将包括首里街区和那霸港在内的周遭景象尽收眼底。如果天气晴朗，可以一直看到东面的久高岛和西面的庆良间群岛；把视线投向城内，可俯瞰首里城全景，包括美不胜收的城墙。以前这里还悬挂了一口报时的大钟。

东台本身的形状结构也很独特：它被一分为二，类似肺叶状，两部分之间以一道狭窄的护墙通道连接。东台的入口是一个拱形小门，位于“美福门”附近，门后是夹在两堵陡峭墙壁间的一段长坡和一段石头楼梯。

城堡西面也有一处瞭望台，称“西台”，与东台遥遥相对。

<繁体字>**東台**

「東台」是首里城城牆東頭的一座瞭望臺，也是城堡的最高點，海拔約 140 公尺，擁有絕佳的視野。站在瞭望臺上向外遠眺，可將包括首里街區和那霸港在內的周邊景象盡收眼底，天氣晴朗的時候，還可以一直看到東面的久高島和西面的慶良間群島；把視線投向城內，可俯瞰首里城全景，包括美麗的城牆設計。這裡以前還懸挂了一口報時的大鐘。

東台本身的形狀結構也很獨特，被一分為二類似肺葉狀，兩部分之間以一道狹窄的護牆通道連接。東台的入口是一個拱形小門，位於「美福門」附近，門後是夾在兩堵陡峭牆壁間的一段長坡和一段石頭樓梯。

城堡西面也有一處瞭望臺，稱「西台」，與東台遙遙相望。

<日本語仮訳>**東のアザナ**

「東のアザナ」は、首里城の城郭の東端にある展望台で、首里城の中で最も標高が高く、海拔約 140m の高さにあるため、見晴らしが良いのが特徴です。外に目を向ければ、首里の街並みに加えて、

那覇港も見えますし、晴れた日には、東は久高島、西は慶良間諸島まで見渡すことができます。内側に目を向けば、首里城全体の構図を見渡して、城壁の設計の美しさを楽しむことができます。かつては、ここに吊るされた鐘が時を告げていました。

東のアザナの形状と構造も大変ユニークで、ロープのような二つの開けた空間が狭い胸墻のようなものでつながっています。東のアザナへの入り口は、「美福門」の近くにある石壁の小さなアーチ型の開口部で、その奥には、急な2つの壁に挟まれた長い坂道と石段があります。

また、首里城の反対側の端にも「西のアザナ」と呼ばれる見張り台があります。

【タイトル】 錢藏

【想定媒体】 WEB

<簡体字>**钱藏**

内外两道城墙之间也有许多建筑，“钱藏”（金库）就是其中之一，它位于首里城主城门之一的久庆门附近。地理位置决定了它非常适合用来储存宫廷日常生活所需物品，如珍贵的“泡盛”烧酒和油，以及日常开支所需要的钱币。钱藏附近还有一座小型马厩。

根据史料记载，钱藏是一座木造仓库，下有立柱支撑使其悬空，为传统的琉球风格。但现存记录中缺乏更多的直观细节信息，以至于目前还无法准确地将它复原。好在地基的发掘提供了支柱尺寸及布局的大致可靠信息。基于这些数据，此处建筑的一部分得以复原，并规划成现代化休息区，展示其当年的整体面貌。需要特别提及的是，原始钱藏的高度是如今所见的两倍。

<繁体字>**錢藏**

內外兩道城牆之間也有許多建築，「錢藏」（金庫）就是其中之一，它位於首里城主城門之一的久慶門附近。絕佳的地理位置，成為儲存宮廷日常生活所需物品的好去處，如珍貴的「泡盛」燒酒和油，以及日常開支所需要的錢幣，錢藏附近還有一座小型馬廄。

根據史料記載，錢藏是一座木造倉庫，下有立柱支撐使其懸空，為傳統的琉球風格。但現存記錄中缺乏更直觀的細節資訊，以至於我們目前還無法準確地將錢藏復原。好在地基的發掘提供了支柱尺寸及佈局的大致可信資訊。基於這些資料，這棟建築得以部分重建，規劃成現代化休息區來展示其當年的整體面貌。需要特別提及的是，原始錢藏的高度是如今所見的兩倍。

<日本語仮訳>**錢藏**

内側と外側の城壁の間にも数多くの建物があり、首里城の主な出入り口の一つである「久慶門」の近くにあったのが「錢蔵」です。この場所は、貴重な泡盛や油など日常生活に必要なものや、宮廷の経費に必要な金銭を保管するのに適していました。近くには小さな馬小屋もありました。

史料によると、この錢蔵は下から柱で支えられて、地面より高くなっている伝統的な琉球様式の木造の蔵でした。しかし、現存の記録では、詳細な視覚的記録が残っていないため、元の「錢蔵」を正確に復元することは出来ませんが、礎石の発掘により柱の大まかなサイズや位置が判明しました。これらのデータをもとに、錢蔵は一部が復元され、現代風の休憩所という形で全体的な構図がわかるようになっていきます。特筆すべきは、当時の錢蔵は現在の2倍の高さがあったということです。